

JP1 Version 13

JP1/Integrated Management 3 - Manager メッセージ

3021-3-L07-10

## 前書き

### ■ 対象製品

適用 OS のバージョン, JP1/Integrated Management 3 - Manager, JP1/Integrated Management 3 - View, および JP1/Integrated Management 3 - Agent が前提とするサービスパックやパッチなどの詳細については各製品のリリースノートで確認してください。

#### ●JP1/Integrated Management 3 - Manager (適用 OS : Windows)

P-2A2C-8EDL JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01

製品構成一覧および内訳形名

P-CC2A2C-9MDL JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01 (適用 OS: Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016)

P-CC2A2C-6HDL JP1/Integrated Management 3 - View 13-00 (適用 OS: Windows 11, Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows 10)

P-CC2A2C-9GDL JP1/Integrated Management 3 - Agent 13-01 (適用 OS: Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016)

P-CC842C-9GDL JP1/Integrated Management 3 - Agent 13-01 (適用 OS: Linux 9, Linux 8, Linux 7, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, Oracle Linux 7, SUSE Linux 15, SUSE Linux 12, Amazon Linux 2023)

P-CC2A2C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016)

P-CC842C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: Linux 9, Linux 8, Linux 7, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, Oracle Linux 7, SUSE Linux 15, SUSE Linux 12, Amazon Linux 2023)

P-CC1M2C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: AIX)

#### ●JP1/Integrated Management 3 - Manager (適用 OS : Linux)

P-842C-8EDL JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01

製品構成一覧および内訳形名

P-CC842C-9MDL JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01 (適用 OS: Linux 9, Linux 8, Linux 7, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, Oracle Linux 7, Amazon Linux 2023)

P-CC9W2C-9MDL JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01 (適用 OS: SUSE Linux 15, SUSE Linux 12)

P-CC2A2C-6HDL JP1/Integrated Management 3 - View 13-00 (適用 OS: Windows 11, Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows 10)

P-CC2A2C-9GDL JP1/Integrated Management 3 - Agent 13-01 (適用 OS: Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016)

P-CC842C-9GDL JP1/Integrated Management 3 - Agent 13-01 (適用 OS: Linux 9, Linux 8, Linux 7, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, Oracle Linux 7, SUSE Linux 15, SUSE Linux 12, Amazon Linux 2023)

P-CC2A2C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016)

P-CC842C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: Linux 9, Linux 8, Linux 7, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, Oracle Linux 7, SUSE Linux 15, SUSE Linux 12, Amazon Linux 2023)

P-CC1M2C-6LDL JP1/Base 13-00 (適用 OS: AIX)

## ■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## ■ 商標類

HITACHI, HiRDB, JP1, ServerConductor は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Active Directory は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

AIX は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

BSAFE は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Oracle(R), Java 及び MySQL は、Oracle, その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

Red Hat Enterprise Linux is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

SAP, および本文書に記載されたその他の SAP 製品, サービス, ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP SE の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の登録商標です。

Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Windows Server は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

その他記載の会社名, 製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本製品は、米国 Dell Inc.の Dell BSAFE(TM)ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <[rse@engelschall.com](mailto:rse@engelschall.com)> for use in the mod\_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.





## ■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Hyper-V	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Hyper-V(R)
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Hyper-V(R)
SCVMM	Microsoft(R) System Center Virtual Machine Manager 2008
	Microsoft(R) System Center Virtual Machine Manager 2012
Windows 10	Windows(R) 10 Enterprise 64-bit
	Windows(R) 10 Home 64-bit
	Windows(R) 10 Pro 64-bit
Windows 11	Windows(R) 11 Enterprise 64-bit
	Windows(R) 11 Home 64-bit
	Windows(R) 11 Pro 64-bit
Windows Server 2016	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard
Windows Server 2019	Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard
Windows Server 2022	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Datacenter
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard

Windows11, Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows 10 を総称して Windows と表記することがあります。

## ■ 発行

2024年3月 3021-3-L07-10

## ■ 著作権

Copyright (C) 2023, 2024 Hitachi, Ltd.

Copyright (C) 2023, 2024 Hitachi Solutions, Ltd.

## 変更内容

### 変更内容(3021-3-L07-10) JP1/Integrated Management 3 - Manager 13-01

追加・変更内容	変更箇所
次のメッセージを追加した。 KNBC10098-I, KNBC10099-W, KNBC10100-E, KNBC10101-E, KNBC20075-E, KNBC20076-E, KNBC20077-E, KNBC20078-E, KNBC20079-E	2.26
エージェントとして AIX 版の JP1/Base を追加した。	—
次の適用 OS を追加した。 • Amazon Linux 2023	—

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

## はじめに

このマニュアルは、JP1/Integrated Management 3 - Manager, JP1/Integrated Management 3 - View, および JP1/Integrated Management 3 - Agent のメッセージについて説明したものです。なお、このマニュアルでは、JP1/Integrated Management 3 - Manager, JP1/Integrated Management 3 - View, および JP1/Integrated Management 3 - Agent を総称して、JP1/Integrated Management または JP1/IM と表記します。また、このマニュアルでの JP1/Integrated Management - Manager, JP1/Integrated Management - View, および JP1/Integrated Management - Agent は、それぞれ JP1/Integrated Management 3 - Manager, JP1/Integrated Management 3 - View, および JP1/Integrated Management 3 - Agent と読み替えてください。

### ■ 対象読者

JP1/IM のメッセージの通知内容を調べたい方、エラーの対処方法を知りたい方を対象としています。具体的には次の方を対象としています。

- システムで発生する事象を一元監視するため、JP1/IM を管理、運用、操作するシステム管理者およびシステムオペレーター
- システムを管理するインフラの状態をシステムで発生する事象と関連づけて一元監視するため、JP1/IM を管理、運用、操作するシステム管理者およびシステムオペレーター
- OS およびアプリケーションについて知識がある方

### ■ マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

#### 第 1 章 メッセージの概要

JP1/Integrated Management - Manager および JP1/Integrated Management - View が出力するメッセージの出力先や形式など、メッセージの概要について説明しています。

#### 第 2 章 メッセージ一覧

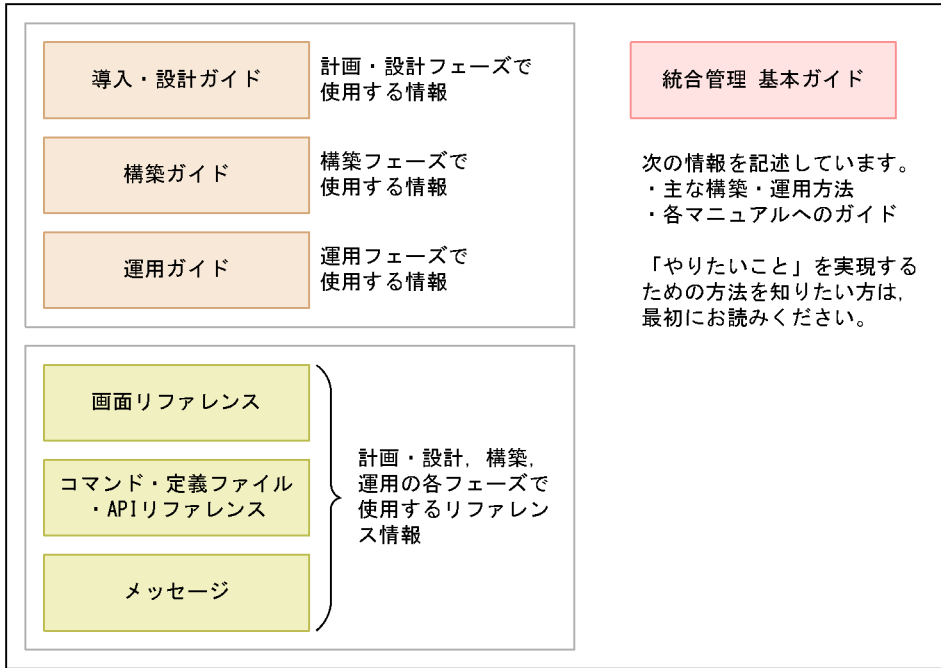
JP1/Integrated Management - Manager および JP1/Integrated Management - View が出力するメッセージの内容について説明しています。

### ■ マニュアルの体系

JP1/IM のマニュアルでは、システム的设计・構築・運用などのシステムのライフサイクルでの段階ごとに必要な情報を説明しています。目的に合わせて必要なマニュアルをお読みください。

JP1/IM のマニュアルとシステムのライフサイクルの関係を次の図に示します。





## ■ このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
[ ]	メニュー項目、画面名、ボタン名、およびキーボードのキーなどを示す。 例 メニュー項目：[新規作成] 画面名：[ログイン] 画面 ボタン名：[OK] ボタン キーボードのキー：[Ctrl] キー
[ ] - [ ]	画面のメニューから項目を選択する操作を示す。 例 [ファイル] - [新規作成] を選択する。 上記の例では、メニューバーの [ファイル] を選んで、プルダウンメニューの [新規作成] を選択することを示す。

## ■ Windows 版 JP1/IM, JP1/Base のインストール先フォルダの表記

このマニュアルでは、Windows 版 JP1/IM, JP1/Base のインストール先フォルダを次のように表記しています。

製品名	インストール先フォルダの表記	デフォルトインストール先フォルダ※
JP1/IM - View	View パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1CoView
JP1/IM - Manager	Manager パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1IMM
	Console パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cons
	Scope パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1Scope
JP1/IM - Agent	Agent パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1IMA
JP1/Base	Base パス	システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥JP1Base

注※ 各製品をデフォルトのままインストールした場合のインストール先フォルダを表しています。「システムドライブ:¥Program Files」と表記している部分は、インストール時の OS 環境変数によって決定されるため、環境によって異なる場合があります。

## ■ このマニュアルで使用する「Administrators 権限」について

このマニュアルで表記している「Administrators 権限」とは、ローカル PC に対する Administrators 権限です。ローカル PC に対して Administrators 権限を持つユーザーであれば、ローカルユーザー、ドメインユーザーおよび、Active Directory 環境で動作に違いはありません。

## ■ オンラインマニュアルについて

JP1/IM では、Web ブラウザーで参照できる HTML マニュアルを提供しています。オンラインマニュアルの内容は、このマニュアルと同様です。

オンラインマニュアルは、次の操作で目次が表示されます。

- JP1/IM - View : [ヘルプ] - [目次] を選択する。
- 統合オペレーション・ビューアー : [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] を選択する。

### 注意事項

- スタートメニューからオンラインマニュアルを表示させると、OS の設定によってすでに表示されているブラウザの画面上に HTML マニュアルが表示されることがあります。

## ■ 統合トレースログの出力先について

JP1/IM 12-10 から、JP1/IM - Manager の 32 ビット Java プロセスを、すべて 64 ビット Java プロセスに変更しました。このため、JP1/IM の各機能の Java プロセス機能が出力する統合トレースログの出力先が変更となります。

バージョン 12-10 以降の JP1/IM の各機能の統合トレースログの出力先を次に示します。ログファイルトラップ機能を使用している場合、出力先の変更に応じて設定変更が必要です。

統合トレースログの出力先 (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

- IM データベース
- セントラルスコープサービス
- プロセス管理
- コマンド実行
- 自動アクション
- インストールおよびセットアップ

統合トレースログの出力先 (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

- イベント基盤サービス
- セントラルコンソール・ビューアー
- セントラルスコープ・ビューアー
- 相関イベント発行サービス
- IM 構成管理
- IM 構成管理・ビューアー
- インテリジェント統合管理基盤

# 目次

前書き	2
変更内容	7
はじめに	8

<b>1</b>	<b>メッセージの概要</b>	<b>14</b>
1.1	メッセージの分類について	15
1.2	メッセージの出力先一覧	16
1.2.1	セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージ (KAVB0001~KAVB2000) の出力先	16
1.2.2	コマンド実行に関するメッセージ (KAVB2001~KAVB2999) の出力先	30
1.2.3	構成管理に関するメッセージ (KAVB3001~KAVB3200) の出力先	36
1.2.4	プロセス管理に関するメッセージ (KAVB3501~KAVB3999) の出力先	38
1.2.5	自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージ (KAVB4001~KAVB6000) の出力先	42
1.2.6	セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージ (KAVB6001~KAVB6999) の出力先	48
1.2.7	セントラルスコープサービスに関するメッセージ (KAVB7001~KAVB7999) の出力先	51
1.2.8	JP1/IMに関する共通メッセージ (KAVB8000~KAVB8999) の出力先	58
1.2.9	インストールおよびセットアップに関するメッセージ (KAVB9001~KAVB9999) の出力先	62
1.2.10	関連イベント発行サービスに関するメッセージ (KAJV2001~KAJV3999) の出力先	65
1.2.11	IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージ (KNAN20000~KNAN21999) の出力先	69
1.2.12	IM 構成管理に関するメッセージ (KNAN22000~KNAN26999) の出力先	75
1.2.13	IM 構成管理の共通メッセージ (KNAN29000~KNAN29999) の出力先	84
1.2.14	操作ログに出力されるメッセージ (KNAN30000~KNAN30003) の出力先	87
1.2.15	IM データベースのメッセージ (KNAN11005~KNAN11215, KFPH00212~KFPH00213, KFPS01850, KFPS05210) の出力先	87
1.2.16	インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ (KAJY00001~KAJY52032) の出力先	90
1.2.17	インテリジェント統合管理データベースに関するメッセージ (KNAN12005~KNAN12120) の出力先	96
1.2.18	IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージ (KAJY62000~KAJY65999) の出力先	99
1.2.19	対処アクションの自動実行機能に関するメッセージ (KAJY63000~KAJY63705) の出力先	99
1.2.20	対処アクションの手動実行機能に関するメッセージ (KAJY64000~KAJY64703) の出力先	100
1.2.21	JP1 イベント変換機能に関するメッセージ (KAJY67000~KAJY67199) の出力先	101
1.2.22	共通シークレットに関するメッセージ (KAJY68000~KAJY68019) の出力先	101
1.2.23	ファイル操作機能に関するメッセージ (KAJY68101~KAJY68125) の出力先	102
1.2.24	統合エージェントの管理に関するメッセージ (KAJY68201~KAJY68700) の出力先	103
1.3	メッセージの形式について	105
1.3.1	メッセージの出力形式	105

- 1.3.2 通信エラーメッセージの詳細情報 106
- 1.4 syslog と Windows イベントログの一覧 107
- 1.5 運用中にトラブルが発生した場合のシステム管理者の対応について 113

## 2 メッセージ一覧 114

- 2.1 メッセージの記載形式 115
- 2.2 セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージ (KAVB0001~KAVB2000) 116
- 2.3 コマンド実行に関するメッセージ (KAVB2001~KAVB2999) 382
- 2.4 構成管理に関するメッセージ (KAVB3001~KAVB3200) 459
- 2.5 プロセス管理に関するメッセージ (KAVB3501~KAVB3999) 496
- 2.6 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージ (KAVB4001~KAVB6000) 532
- 2.7 セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージ (KAVB6001~KAVB6999) 680
- 2.8 セントラルスコープサービスに関するメッセージ (KAVB7001~KAVB7999) 724
- 2.9 JP1/IM に関する共通メッセージ (KAVB8000~KAVB8999) 859
- 2.10 インストールおよびセットアップに関するメッセージ (KAVB9001~KAVB9999) 929
- 2.11 関連イベント発行サービスに関するメッセージ (KAJV2001~KAJV3999) 972
- 2.12 IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージ (KNAN20000~KNAN21999) 1035
- 2.13 IM 構成管理に関するメッセージ (KNAN22000~KNAN26999) 1143
- 2.14 IM 構成管理の共通メッセージ (KNAN29000~KNAN29999) 1352
- 2.15 操作ログに出力されるメッセージ (KNAN30000~KNAN30003) 1385
- 2.16 IM データベースのメッセージ (KNAN11005~KNAN11215, KFPH00212~KFPH00213, KFPS01850, KFPS05210) 1386
- 2.17 インテリジェント統合管理データベースに関するメッセージ (KNAN12005~KNAN12150) 1447
- 2.18 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ (KAJY00001~KAJY52032) 1481
- 2.19 IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージ (KAJY62000~KAJY62005) 1589
- 2.20 対処アクションの自動実行機能に関するメッセージ (KAJY63000~KAJY63704) 1592
- 2.21 対処アクションの手動実行機能に関するメッセージ (KAJY64000~KAJY64703) 1616
- 2.22 JP1 イベント変換機能に関するメッセージ (KAJY67000~KAJY67199) 1623
- 2.23 共通シークレットに関するメッセージ (KAJY68001~KAJY68126) 1624
- 2.24 ファイル操作機能に関するメッセージ (KAJY68101~KAJY68125) 1629
- 2.25 統合エージェントの管理に関するメッセージ (KAJY68200~KAJY68700) 1633
- 2.26 統合エージェント基盤に関するメッセージ(KNBC00001~KNBC20079) 1640

## 索引 1697

# 1

## メッセージの概要

JP1/IM - Manager, JP1/IM - View, および JP1/IM - Agent が出力するメッセージの出力先や形式など、メッセージの概要について説明します。

## 1.1 メッセージの分類について

ここでは、JP1/IM, JP1/Base, および JP1/AJS が出力するメッセージについての情報が、どのマニュアルに記載されているのかについて説明します。

表 1-1 メッセージ ID と記載マニュアル一覧

メッセージ ID	メッセージが記載されているマニュアル
KAJP で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Base メッセージ」
KAVA で始まるメッセージ	
KAIU で始まるメッセージ	
KAVB で始まるメッセージ	マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager メッセージ」※
KAJV で始まるメッセージ	
KNAN で始まるメッセージ	
KAJY で始まるメッセージ	
KFPH で始まるメッセージ	
KFPS で始まるメッセージ	
KNBC で始まるメッセージ	
KAVS で始まるメッセージ	
KAVT で始まるメッセージ	
KAVU で始まるメッセージ	
KAVV001~KAVV899	

注※

KAJY04400~KAJY04499, KAJY024300~KAJY024399 のメッセージについては、マニュアル「JP1/Operations Analytics メッセージ」を参照してください。KAJY04500~KAJY04599, KAJY024400~KAJY024499 のメッセージについては、JP1/Network Node Manager i のリリースノートを参照してください。

## 1.2 メッセージの出力先一覧

ここでは、JP1/IM が出力する各メッセージの出力先を一覧で示します。

SUSE Linux 15 以降の場合、出力先が syslog となっているメッセージは、デフォルトでは syslog には出力されずに、ジャーナルと呼ばれるログファイルに出力されます。そのため、syslog をジャーナルに読み替えてください。

### 1.2.1 セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージ (KAVB0001~KAVB2000) の出力先

JP1/IM のセントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージの出力先を示します。

#### セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログファイル※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

ダイアログ : メッセージダイアログボックス

JP1 イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

表 1-2 セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベントログ	ダイアログ	stdout	stderr	HNTRLib2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB0001	—	○	—	—	○	—	○	—	—	○



メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0002	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0003	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0004	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0005	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0007	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0008~ KAVB0010	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0011	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0013~ KAVB0015	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0061~ KAVB0063	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0101	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0104~ KAVB0107	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0108	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0109~ KAVB0110	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0111	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0112	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0121	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0122	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0123	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0201	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0204	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0207	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0208~ KAVB0214	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0216~	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0219										
KAVB0221	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0227	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0228	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0229	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0230~ KAVB0231	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0232~ KAVB0233	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0241	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0243~ KAVB0245	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0246	-	○	-	-	-	○※4	-	-	-	-
KAVB0247	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0248	-	○	-	-	-	○※4	-	-	-	-
KAVB0249~ KAVB0250	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0251	-	○	-	-	-	○※4	-	-	-	-
KAVB0252~ KAVB0253	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0255~ KAVB0267	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0270~ KAVB0271	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0281~ KAVB0282	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0291	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0292~ KAVB0293	-	○※1	-	-	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0301	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB0311～ KAVB0312	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0321～ KAVB0322	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0323～ KAVB0329	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○
KAVB0341～ KAVB0342	-	○※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0343～ KAVB0347	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0349～ KAVB0351	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0352～ KAVB0354	-	○※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0361～ KAVB0364	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0368	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0371～ KAVB0374	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0381	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0391～ KAVB0397	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB0401	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0411	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0412	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0413～ KAVB0414	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0415～ KAVB0419	-	○※5	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0422～	-	○※5	-	-	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0423										
KAVB0424	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0451～ KAVB0452	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0502～ KAVB0503	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0504～ KAVB0505	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0507～ KAVB0518	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0531～ KAVB0533	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0535	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0536	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0551	-	○※3	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB0552～ KAVB0553	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0554～ KAVB0555	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB0556	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0557	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0558	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB0559	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0560～ KAVB0563	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB0601～ KAVB0602	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0611～ KAVB0612	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0624	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0651～ KAVB0657	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB0658	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0680	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0681	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0682	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0683	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0684	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0685	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0686	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB0687	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0688	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0711～ KAVB0759	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0760～ KAVB0761	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB0762～ KAVB0763	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0801	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0802	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0803	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0804～ KAVB0806	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0807	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0810	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0811	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0821～ KAVB0823	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0824	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0825	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0826~ KAVB0827	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0828	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB0830	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0831~ KAVB0835	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0836	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
KAVB0837~ KAVB0842	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0851~ KAVB0854	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0855~ KAVB0858	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
KAVB0859~ KAVB0862	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0863	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0864	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0866	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0868~ KAVB0869	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0870~ KAVB0881	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0882	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0883~ KAVB0888	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0889	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0890~ KAVB0891	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0893	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB0894	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0895~ KAVB0896	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
KAVB0897	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB0898	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB0899~ KAVB0900	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0902~ KAVB0903	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB0961~ KAVB0962	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1002~ KAVB1003	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
KAVB1004	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○
KAVB1005	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
KAVB1010~ KAVB1011	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-
KAVB1012~ KAVB1017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1018	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1019	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1020~ KAVB1021	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1031~ KAVB1033	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1034~ KAVB1037	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1040~ KAVB1045	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1046	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○

メッセージID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベントログ	ダイアログ	stdout	stderr	HNTRLi b2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB1101~ KAVB1102	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1104~ KAVB1105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1111	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
KAVB1112~ KAVB1114	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1115	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○
KAVB1116~ KAVB1121	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1130~ KAVB1141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1148~ KAVB1149	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1150	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1151~ KAVB1152	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1153~ KAVB1154	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1155	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1157	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1158~ KAVB1162	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1163	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB1190	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB1191~ KAVB1192	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1200~ KAVB1205	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-



メッセージID	出力先										
	ビューアー						マネージャー				
	イベントログ	ダイアログ	std out	stderr	HNTRLi b2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2	
KAVB1206	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1207~ KAVB1210	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1211	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○
KAVB1401	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○
KAVB1501~ KAVB1502	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB1503~ KAVB1504	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1506~ KAVB1507	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1509	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1510	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB1512	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1513	-	-	-	-	-	○※4	-	-	-	-	-
KAVB1515	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1516	-	-	-	-	-	○※4	-	-	-	-	-
KAVB1517~ KAVB1522	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1523~ KAVB1525	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1526	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1527	-	-	-	-	-	○※4	-	-	-	-	-
KAVB1528~ KAVB1529	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○
KAVB1531~ KAVB1536	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1538~ KAVB1539	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB1540	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB1541～ KAVB1543	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1544	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB1551～ KAVB1552	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1554	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1556	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1558	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1570～ KAVB1576	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1577	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB1578～ KAVB1587	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1588	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1589	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1590～ KAVB1591	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1593～ KAVB1596	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1597	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1598	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1601～ KAVB1603	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1604～ KAVB1608	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1611～ KAVB1614	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1631～ KAVB1632	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1633～	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベントログ	ダイアログ	stdout	stderr	HNTRLi b2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB1634										
KAVB1635~ KAVB1640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1647~ KAVB1651	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1652	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
KAVB1653~ KAVB1655	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1656	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
KAVB1657~ KAVB1658	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1660~ KAVB1665	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1668	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1669	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1670	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1671	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-
KAVB1672~ KAVB1678	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB1680	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1681	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1682~ KAVB1683	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1684	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1685	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1686~ KAVB1689	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1691	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1692	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1694	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-

メッセージID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベント ログ	ダイア ログ	std out	std err	HNTRLi b2	JP1 イベ ント	syslog, イベント ログ	stdou t	stderr	HNTRLib2
KAVB1701~ KAVB1711	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1801~ KAVB1802	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1811~ KAVB1815	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1816	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB1821	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1831	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1832~ KAVB1833	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1834	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1841~ KAVB1842	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1843	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1844	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
KAVB1851	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
KAVB1852~ KAVB1862	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB1863	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1864	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB1865	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB1866	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○
KAVB1867	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1868	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1869	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○
KAVB1870	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1871	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1872	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

1. メッセージの概要

メッセージID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベントログ	ダイアログ	stdout	stderr	HNTRLi b2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB1873	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1874	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1880	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1884~ KAVB1891	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1892~ KAVB1893	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1894~ KAVB1898	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1899	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB1917~ KAVB1921	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1922	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1923	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1924~ KAVB1935	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1936~ KAVB1940	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1941	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1942	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1943~ KAVB1955	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1956~ KAVB1957	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB1958~ KAVB1965	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1969	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1970	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1971	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB1972~	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

メッセージ ID	出力先									
	ビューアー						マネージャー			
	イベントログ	ダイアログ	std out	stderr	HNTRLi b2	JP1 イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB1975										
KAVB1976~ KAVB1978	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1979	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB1981	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB1982~ KAVB1988	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1990 ~ KAVB1991	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB1993 ~ KAVB1994	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○

注※1 [イベント詳細] 画面の [メッセージ] に表示されます。

注※2 [イベント詳細] 画面の [メッセージ], および [関連イベント一覧] 画面の [関連イベント一覧] に表示されます。

注※3 [イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに表示されます。

注※4 ダミーイベントのメッセージとして表示されます。ダミーイベントは、次の制限事項があります。

- [イベントコンソール] 画面のイベント検索で検索できません。
- [統合オペレーション・ビューアー] 画面では表示できません。
- イベント検索 REST API では検索できません。
- イベントの詳細を表示した場合、JP1 イベントの基本属性および拡張属性は表示されません。
- このイベントに自動アクションを設定しても、アクションは実行されません。
- このイベントにイベント情報マッピングを定義しても、マッピングされません。
- このイベントは、モニター起動の対象外です。
- このイベントは、イベント取得フィルターのフィルター対象外です。
- このイベントは、関連イベントの発行処理の対象外です。

注※5 [コマンド実行] 画面の [実行結果] に表示されます。

## 1.2.2 コマンド実行に関するメッセージ (KAVB2001~KAVB2999) の出力先

JP1/IM のコマンド実行に関するメッセージの出力先を示します。

## コマンド実行に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

画面 : [コマンド実行] 画面, [アクション結果詳細] 画面

コマンド : コマンド実行履歴保存ディレクトリ (出力メッセージはjcocmdlog コマンドで確認できます)

JP1 イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLlib2/spool/

表 1-3 コマンド実行に関するメッセージの出力先一覧

メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2002	—	—	—	—	—	○	○	—
KAVB2003	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2005	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2012~ KAVB2013	—	—	—	—	—	○	○	—
KAVB2022~ KAVB2024	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2027	—	—	—	—	—	○	○	—
KAVB2029	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2031	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2037	—	—	○	—	—	—	—	—
KAVB2041	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2042	—	—	○	—	—	—	—	—

メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2051～ KAVB2052	－	－	○	－	－	○	○	－
KAVB2053～ KAVB2054	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB2055	－	－	○	－	－	○	○	－
KAVB2056	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB2057～ KAVB2062	－	－	○	－	－	○	○	－
KAVB2063～ KAVB2064	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB2065	－	－	－	－	－	○	○	－
KAVB2066～ KAVB2070	－	－	○	－	－	○	○	－
KAVB2071～ KAVB2072	－	－	○	－	－	○	○	○
KAVB2100～ KAVB2102	－	－	－	－	－	－	－	○
KAVB2103	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB2200～ KAVB2208	－	－	－	－	○	－	－	－
KAVB2209～ KAVB2210	－	－	○	－	○	－	－	－
KAVB2211	－	－	－	○	－	－	－	－
KAVB2212	○	－	○	－	○	－	－	－
KAVB2213	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB2214～ KAVB2218	－	－	○	－	○	－	－	－
KAVB2221	－	－	○	－	○	－	－	－
KAVB2222～ KAVB2224	－	－	－	○	－	－	－	－
KAVB2225	－	－	○	－	○	－	－	－
KAVB2227～ KAVB2228	－	－	○	－	－	－	－	－



メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2229~ KAVB2231	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2232~ KAVB2237	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2238	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2239~ KAVB2242	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2243	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2244~ KAVB2245	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2246	○	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2247	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2248	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2249	○	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2250~ KAVB2251	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2252	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2253	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2276~ KAVB2284	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2285~ KAVB2286	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2287	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2288	○	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2289~ KAVB2290	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2291	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2292	-	-	○	○	-	-	-	-
KAVB2293~ KAVB2294	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2295	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2296	-	-	○	-	-	-	-	-

メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2297~ KAVB2301	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2304	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2305~ KAVB2307	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2308	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2310~ KAVB2311	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2312	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2313	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2314	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2316~ KAVB2321	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2322	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2323~ KAVB2326	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2327	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2328~ KAVB2329	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2330	○	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2331	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2332	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2333	○	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2334~ KAVB2335	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2336	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2337	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2339	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2356	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2401	-	-	-	○	-	○	○	-
KAVB2402	-	-	○	-	-	-	-	○
KAVB2500	-	-	-	○	-	-	-	-

メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2501～ KAVB2529	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2530	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2531	-	-	○	○	-	-	-	-
KAVB2532	-	-	○	○	-	-	-	-
KAVB2534～ KAVB2539	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2540	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2541	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2542	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2543～ KAVB2547	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2548	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2549～ KAVB2552	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2553～ KAVB2557	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2559	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2560～ KAVB2561	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB2563	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2564	-	-	○	-	○	-	-	-
KAVB2565～ KAVB2567	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB2600	-	-	○	-	-	-	○	-
KAVB2605～ KAVB2607	-	-	○	-	-	○	○	-
KAVB2608～ KAVB2611	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2613～ KAVB2614	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB2615～ KAVB2616	-	-	○	-	-	○	○	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	stderr	画面	コマンド	JP1 イベント
KAVB2618~ KAVB2621	—	—	○	—	—	—	—	—
KAVB2623	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2626	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2627	—	—	○	—	—	—	—	—
KAVB2628	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2630	—	—	○	—	—	○	○	—
KAVB2631~ KAVB2640	—	—	○	—	—	—	—	—

### 1.2.3 構成管理に関するメッセージ (KAVB3001~KAVB3200) の出力先

JP1/IM の構成管理機能に関するメッセージの出力先を示します。

#### 構成管理に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLlib2/spool/

表 1-4 構成管理に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先				
	syslog	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	stderr
KAVB3001~	○	○	—	—	—

メッセージID	出力先				
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr
KAVB3004					
KAVB3005～ KAVB3006	—	—	○	—	○
KAVB3007	○	○	○	○	—
KAVB3008	—	—	○	—	○
KAVB3010～ KAVB3013	—	—	○	—	—
KAVB3015～ KAVB3018	—	—	○	—	—
KAVB3023～ KAVB3025	—	—	○	—	—
KAVB3031～ KAVB3035	—	—	○	—	—
KAVB3049～ KAVB3057	—	—	○	—	—
KAVB3059～ KAVB3060	—	—	○	—	—
KAVB3073～ KAVB3074	—	—	○	—	—
KAVB3078～ KAVB3079	—	—	○	—	—
KAVB3080～ KAVB3089	—	—	○	○	—
KAVB3090～ KAVB3093	—	—	—	○	—
KAVB3094～ KAVB3096	—	—	○	○	—
KAVB3097	—	—	—	○	—
KAVB3098～ KAVB3115	—	—	○	○	—
KAVB3116	—	—	○	—	—
KAVB3118～ KAVB3121	—	—	○	○	—
KAVB3123	—	—	○	○	—

メッセージ ID	出力先				
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr
KAVB3124	—	—	—	○	—
KAVB3133~ KAVB3135	—	—	○	—	—
KAVB3148~ KAVB3158	—	—	○	—	—
KAVB3159	—	—	—	○	—
KAVB3160~ KAVB3161	—	—	○	—	—
KAVB3162	—	—	○	○	—
KAVB3163	—	—	—	—	○
KAVB3164~ KAVB3173	—	—	○	—	—
KAVB3180~ KAVB3181	—	—	○	—	—
KAVB3185	—	—	○	—	—

## 1.2.4 プロセス管理に関するメッセージ (KAVB3501~KAVB3999) の出力先

JP1/IM のプロセス管理に関するメッセージの出力先を示します。

### プロセス管理に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログ※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

JP1 イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

## 注意事項

表中のメッセージ以外にも、内部エラーメッセージなどの、メッセージ ID 付きメッセージが出力されることがあります。

表 1-5 プロセス管理に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAVB3501	○	○	—	—	—	—
KAVB3502	—	—	○	—	○	—
KAVB3503	—	—	—	—	○	—
KAVB3504	—	—	○	—	○	—
KAVB3516	○	—	—	—	○	—
KAVB3552~ KAVB3554	—	—	○	—	—	—
KAVB3564	—	—	○	—	—	—
KAVB3574	—	—	○	—	—	—
KAVB3577~ KAVB3578	—	—	○	—	—	—
KAVB3586	—	—	○	—	—	—
KAVB3597	—	—	○	—	—	—
KAVB3599	—	—	○	—	—	—
KAVB3602~ KAVB3605	—	—	○	—	—	—
KAVB3608~ KAVB3610	—	—	○	—	—	—
KAVB3612	—	—	○	—	—	—
KAVB3613	○	○	○	—	—	○
KAVB3614	○	○	○	—	—	—
KAVB3616	—	—	—	—	—	○
KAVB3620	○	○	○	○	—	—

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAVB3621	○	—	○	—	—	—
KAVB3623	○	—	○	—	—	—
KAVB3624	○	○	○	—	—	—
KAVB3625	—	—	○	○	—	—
KAVB3626	○	○	○	○	—	—
KAVB3627	—	—	○	—	—	—
KAVB3631	—	—	○	—	—	—
KAVB3642	—	—	○	—	—	—
KAVB3643～ KAVB3644	○	○	○	—	—	—
KAVB3645～ KAVB3646	—	—	○	—	—	—
KAVB3647*	—	—	○	—	—	—
KAVB3649	○	○	○	○	—	—
KAVB3651～ KAVB3662	—	—	○	○	—	—
KAVB3663	—	—	—	—	○	—
KAVB3672	—	—	○	○	—	—
KAVB3674～ KAVB3678	—	—	○	○	—	—
KAVB3680～ KAVB3684	—	—	○	○	—	—
KAVB3685	—	—	—	○	—	—
KAVB3690～ KAVB3694	—	—	—	○	—	—
KAVB3705	—	—	○	—	—	—
KAVB3732	—	—	○	—	—	—
KAVB3736	—	—	○	—	—	—
KAVB3737	○	○	○	—	—	○
KAVB3743～ KAVB3745	—	—	○	—	—	—
KAVB3752	○	○	○	—	—	—



メッセージID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAVB3760～ KAVB3769	－	－	○	－	－	－
KAVB3777～ KAVB3779	－	－	○	－	－	－
KAVB3786	－	－	○	－	－	－
KAVB3788	○	○	○	－	－	－
KAVB3802	－	－	○	－	－	－
KAVB3828*	－	○	－	－	－	－
KAVB3840*	－	○	－	－	－	－
KAVB3841*	－	○	－	－	－	－
KAVB3846	－	－	○	－	－	－
KAVB3855	－	－	○	－	－	－
KAVB3862	○	○	○	－	－	－
KAVB3863	－	－	○	－	－	－
KAVB3870	○	○	－	○	－	－
KAVB3871	－	－	－	○	－	－
KAVB3872	○	○	－	○	－	－
KAVB3873	－	－	－	○	－	－
KAVB3874～ KAVB3875	○	○	－	○	－	－
KAVB3899	－	－	－	○	－	－
KAVB3905	－	－	○	－	－	－
KAVB3908	－	－	○	－	－	－
KAVB3910	－	－	○	－	－	－
KAVB3911～ KAVB3914	－	－	○	○	－	－
KAVB3915～ KAVB3917	－	－	○	－	－	－
KAVB3918	－	－	○	－	○	－
KAVB3935	－	－	○	－	－	－
KAVB3960	－	－	－	○	－	－

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAVB3961	—	—	○	○	—	—
KAVB3981	—	—	○	—	—	—
KAVB3984	—	—	○	—	—	—
KAVB3986	—	—	○	○	—	—

注※ UNIX の場合、標準エラー出力にも出力されます。

## 1.2.5 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージ (KAVB4001~KAVB6000) の出力先

JP1/IM の自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージの出力先を示します。

### 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル※

stderr : 標準エラー出力

ダイアログ : メッセージダイアログボックス

イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLlib2/spool/

表 1-6 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージの出力先一覧

メッセージID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLlib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2
KAVB4001	○	○	—	—	—	○	○
KAVB4002~ KAVB4003	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4004	○	○	—	○	—	○	—
KAVB4005~ KAVB4012	○	○	—	—	—	○	—
KAVB4013	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4014	—	—	○	—	—	—	○
KAVB4015	○	○	—	—	—	○	—
KAVB4016	—	—	—	—	—	○	—
KAVB4020~ KAVB4021	○	○	—	—	—	○	○
KAVB4022	—	—	—	○	—	○	—
KAVB4023	—	—	—	—	—	○	○
KAVB4024	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4026~ KAVB4027	—	—	—	—	—	○	—
KAVB4028~ KAVB4029	—	—	—	—	—	○	○
KAVB4050~ KAVB4051	—	—	—	○	—	—	○
KAVB4052~ KAVB4053	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4054	—	—	○	○	—	—	○
KAVB4055~ KAVB4056	—	—	○	—	—	—	○
KAVB4057~ KAVB4060	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4101	—	—	—	—	—	○	○

メッセージID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLlib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2
KAVB4120~ KAVB4133	○	○	-	-	-	○	○
KAVB4134	-	○	-	-	-	○	○
KAVB4135~ KAVB4147	○	○	-	-	-	○	○
KAVB4148	-	-	-	-	-	○	-
KAVB4150	○	○	-	-	-	○	○
KAVB4151~ KAVB4152	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4153~ KAVB4154	○	○	-	○	-	○	○
KAVB4155	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4180	○	○	-	-	-	○	○
KAVB4181	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4182	○	○	-	-	-	○	○
KAVB4250~ KAVB4251	-	-	-	○	-	-	○
KAVB4252~ KAVB4253	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4254	-	-	-	○	-	-	○
KAVB4350	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4400~ KAVB4405	-	-	○	-	-	-	○
KAVB4406~ KAVB4409	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4420~ KAVB4424	○*	-	-	-	-	-	○
KAVB4425	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4426~ KAVB4429	○*	-	-	-	-	-	○
KAVB4430~	-	-	○	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB4438							
KAVB4439	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4440～ KAVB4445	○*	—	—	—	—	—	○
KAVB4450～ KAVB4452	○	○	—	—	—	○	○
KAVB4500～ KAVB4508	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4600	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4602～ KAVB4616	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4620～ KAVB4641	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4650～ KAVB4664	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4666～ KAVB4670	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4671	○	—	—	—	—	—	—
KAVB4672	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4673～ KAVB4674	—	—	○	—	—	—	○
KAVB4675	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4676～ KAVB4679	—	—	○	—	—	—	—
KAVB4700～ KAVB4702	—	—	—	○	—	—	○
KAVB4703～ KAVB4708	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4710～ KAVB4711	—	—	—	—	—	—	○
KAVB4712	—	—	○	—	—	—	○

メッセージID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLlib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2
KAVB4713~ KAVB4715	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4750~ KAVB4762	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4764	-	-	○	-	-	-	-
KAVB4765~ KAVB4767	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4768	-	-	-	○	-	-	○
KAVB4769~ KAVB4777	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4780	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4785~ KAVB4787	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4788	-	-	-	○	-	-	○
KAVB4789~ KAVB4790	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4802	-	-	-	-	-	-	○
KAVB4803	-	-	○	-	-	-	○
KAVB4901~ KAVB4908	○	○	-	○	-	○	○
KAVB4909	○	○	○	○	-	○	○
KAVB5000~ KAVB5002	○	○	-	-	-	-	-
KAVB5050~ KAVB5068	○	○	-	-	-	-	-
KAVB5069	○	○	-	-	-	-	-
KAVB5070	○	○	-	-	-	-	○
KAVB5104~ KAVB5105	○	○	-	-	-	○	○
KAVB5106	○	○	-	○	-	○	○
KAVB5107~	○	○	-	-	-	○	○

メッセージ ID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib2
KAVB5108							
KAVB5109	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5110	○	○	-	-	-	○	○
KAVB5111	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5112	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5150~ KAVB5151	○	-	-	-	○	-	-
KAVB5152	-	-	-	-	-	-	○
KAVB5200~ KAVB5201	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5202~ KAVB5203	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5250~ KAVB5254	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5300~ KAVB5304	○	-	-	-	-	-	○
KAVB5350	-	-	-	-	○	-	○
KAVB5400~ KAVB5403	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5450~ KAVB5453	-	-	-	-	○	-	-
KAVB5454~ KAVB5460	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5461	-	-	-	-	○	-	-
KAVB5500	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5502	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5504	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5505	-	-	-	-	-	○	○
KAVB5506	-	-	-	-	-	○	-
KAVB5511~	-	-	-	-	-	○	○

メッセージ ID	出力先						
	ビューアー			マネージャー			
	ダイアログ	HNTRLlib2	イベント	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2
KAVB5561							
KAVB5711～ KAVB5758	—	—	—	—	—	—	○
KAVB5759	—	—	—	—	—	○	○
KAVB5760～ KAVB5762	—	—	—	—	—	—	○
KAVB5763	—	—	—	—	—	○	○
KAVB5800	—	—	—	○	—	—	—
KAVB5801	—	—	—	—	—	○	○
KAVB5802～ KAVB5803	—	—	—	—	—	○	—
KAVB5804	—	—	○	—	—	—	—
KAVB5806	—	—	—	—	—	—	○
KAVB5809～ KAVB5810	—	—	—	—	—	—	○
KAVB5820～ KAVB5821	—	—	—	—	—	○	—
KAVB5822	—	—	—	—	—	—	○

注※ 自動アクションの状態が「実行不可」の場合に、JP1/IM - View の [アクション結果詳細] 画面のメッセージ欄に表示されません。

## 1.2.6 セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージ (KAVB6001～KAVB6999) の出力先

JP1/IM のセントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージの出力先を示します。

### セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

HNTRLlib2：統合トレースログファイル※

ダイアログ：メッセージダイアログボックス



- ：出力する
- －：出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット)：システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット)：システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX：/var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

表 1-7 セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

メッセージID	出力先	
	HNTRLib2	ダイアログ
KAVB6006～ KAVB6007	－	○
KAVB6011	－	○
KAVB6013～ KAVB6015	－	○
KAVB6016	－	○
KAVB6018	－	○
KAVB6019	○	○
KAVB6020～ KAVB6021	－	○
KAVB6022	○	○
KAVB6023	－	○
KAVB6024～ KAVB6025	○	○
KAVB6029～ KAVB6033	－	○
KAVB6034	○	－
KAVB6036	－	○
KAVB6041	○	－
KAVB6042	○	○
KAVB6043～ KAVB6044	－	○
KAVB6046	○	○
KAVB6052～ KAVB6054	－	○

メッセージID	出力先	
	HNTRLib2	ダイアログ
KAVB6056～ KAVB6058	－	○
KAVB6059～ KAVB6060	○	○
KAVB6063～ KAVB6065	○	○
KAVB6066～ KAVB6068	－	○
KAVB6069	○	－
KAVB6070	○	○
KAVB6071	－	○
KAVB6072～ KAVB6073	○	○
KAVB6078～ KAVB6079	－	○
KAVB6082～ KAVB6083	－	○
KAVB6085～ KAVB6088	－	○
KAVB6090～ KAVB6093	－	○
KAVB6096～ KAVB6097	－	○
KAVB6099	－	○
KAVB6100～ KAVB6111	○	○
KAVB6112	－	○
KAVB6113～ KAVB6115	○	○
KAVB6120	○	○
KAVB6121	○	－
KAVB6193～ KAVB6195	－	○

メッセージ ID	出力先	
	HNTRLib2	ダイアログ
KAVB6196	○	○
KAVB6210～ KAVB6216	○	○
KAVB6218～ KAVB6220	○	○
KAVB6240～ KAVB6241	○	○
KAVB6250～ KAVB6252	○	○
KAVB6299～ KAVB6302	○	○
KAVB6305	○	—
KAVB6306～ KAVB6312	○	○
KAVB6401	○	—
KAVB6441～ KAVB6442	○	—
KAVB6500～ KAVB6509	○	○
KAVB6550～ KAVB6551	○	○
KAVB6560～ KAVB6561	○	○
KAVB6570～ KAVB6571	○	○
KAVB6601～ KAVB6604	○	○
KAVB6610～ KAVB6616	○	○

## 1.2.7 セントラルスコープサービスに関するメッセージ (KAVB7001～KAVB7999) の出力先

JP1/IM のセントラルスコープサービスに関するメッセージの出力先を示します。

## セントラルスコープサービスに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログファイル※1

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

ダイアログ : メッセージダイアログボックス

イベント : JP1 イベント

JCSSETUP : jcs\_setup.log (セットアップ時のログファイル) ※2

論理ホスト JCSSETUP : [論理ホスト] /jcs\_setup.log (セットアップ時のログファイル) ※3

○ : 出力する

— : 出力しない

注※1 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

注※2 下記ディレクトリに格納されます。

Windows : なし

UNIX : /var/opt/jp1scope/log/JCS\_SETUP/

注※3 下記ディレクトリに格納されます。

Windows : なし

UNIX : /var/opt/jp1scope/log/JCS\_SETUP/論理ホスト名/

表 1-8 セントラルスコープサービスに関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7001~ KAVB7003	○	○	—	—	—	—	—	—
KAVB7004~ KAVB7007	—	○	—	—	—	—	—	—
KAVB7100~ KAVB7115	—	○	—	—	—	—	—	—

メッセージID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7116	○	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7117~ KAVB7124	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7127~ KAVB7142	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7144~ KAVB7146	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7148	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7150~ KAVB7161	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7175~ KAVB7180	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7182~ KAVB7185	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7187~ KAVB7193	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7194	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7196~ KAVB7198	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7201	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7202	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7204	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7206~ KAVB7207	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7209~ KAVB7210	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7212~ KAVB7213	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7232	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7233~ KAVB7248	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7249~	-	○	-	-	-	-	-	-

メッセージID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7250								
KAVB7252	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7253	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7254~ KAVB7256	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7257	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7258~ KAVB7267	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7268	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7269	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7272~ KAVB7274	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7276~ KAVB7282	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7283	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7302~ KAVB7307	-	○	-	-	○	-	-	-
KAVB7350~ KAVB7366	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7367	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7368	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7377~ KAVB7398	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7399	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB7400~ KAVB7420	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7450~ KAVB7453	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7455	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7457~ KAVB7460	-	○	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7462~ KAVB7465	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7470~ KAVB7471	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7473	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7475	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7479~ KAVB7480	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7482~ KAVB7485	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7487~ KAVB7488	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7491~ KAVB7494	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7496~ KAVB7498	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7550	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7552	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7555~ KAVB7560	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7580~ KAVB7586	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7600~ KAVB7601	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7602~ KAVB7611	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7612~ KAVB7616	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7617	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7618	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7619	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7620~	-	○	-	○	-	-	-	-

メッセージID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7623								
KAVB7624~ KAVB7635	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7636	-	○	-	-	-	-	-	-
KAVB7637~ KAVB7638	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7640~ KAVB7642	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7643~ KAVB7658	-	-	-	○	-	-	-	○
KAVB7660~ KAVB7667	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7670~ KAVB7671	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7680~ KAVB7686	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7687~ KAVB7688	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7689~ KAVB7696	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7697	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7698~ KAVB7702	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7703~ KAVB7706	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7707	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7708~ KAVB7709	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7711	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7712	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7713	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7714~	-	-	-	○	-	-	-	-



メッセージID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7715								
KAVB7722	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7723~ KAVB7725	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7726	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7727	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7730	-	-	-	○	-	-	○	-
KAVB7731	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB7732	-	-	-	○	-	-	○	-
KAVB7733	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB7734~ KAVB7737	-	-	-	○	-	-	○	-
KAVB7750~ KAVB7751	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7753~ KAVB7755	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7765~ KAVB7767	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7770	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB7771~ KAVB7779	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7780	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB7781~ KAVB7782	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7790~ KAVB7802	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB7810	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7812~ KAVB7814	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7818	-	○	-	○	-	-	-	-
KAVB7900	-	-	-	-	-	○	-	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベント ログ	HNTRLi b2	stdout	stderr	ダイアログ	イベント	JCS SETUP	論理ホスト JCS SETUP
KAVB7901	-	○	-	-	-	○	-	-

## 1.2.8 JP1/IM に関する共通メッセージ (KAVB8000~KAVB8999) の出力先

JP1/IM に関する共通メッセージの出力先を示します。

### JP1/IM に関する共通メッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログファイル※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

ダイアログ : メッセージダイアログボックス

イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

- : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

表 1-9 JP1/IM に関する共通メッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先								
	ビューアー				マネージャー				
	ダイアログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	syslog, イベントログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	イベント
KAVB8000~ KAVB8003	○	-	-	○	-	-	○	○	-

メッセージ ID	出力先								
	ビューアー				マネージャー				
	ダイアログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	syslog, イベントログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	イベント
KAVB8051～ KAVB8055	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8060～ KAVB8063	－	－	－	－	○	－	－	○	○
KAVB8064	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8070	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8072	－	－	－	－	－	－	○※1	○	－
KAVB8073	－	－	－	－	－	○※1	－	○	－
KAVB8074	－	－	－	－	－	－	○	○	－
KAVB8080	－	－	－	－	○	－	－	○	－
KAVB8101～ KAVB8106	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8107	○	－	－	○	－	－	－	－	－
KAVB8108	－	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB8109	－	－	○	－	－	－	－	－	－
KAVB8201～ KAVB8208	－	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB8301～ KAVB8303	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8304～ KAVB8307	－	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB8400	－	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB8402～ KAVB8405	－	－	○	－	－	－	○	－	－
KAVB8406	－	○	－	－	－	○	－	－	－
KAVB8407	－	－	－	－	－	○	－	－	－
KAVB8408～ KAVB8409	－	－	○	－	－	－	○	－	－
KAVB8410	－	－	○	－	－	－	－	－	－
KAVB8411～ KAVB8412	－	－	－	－	－	－	○	－	－

メッセージ ID	出力先								
	ビューアー				マネージャー				
	ダイアログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	syslog, イベントログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	イベント
KAVB8413	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8414	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8415	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8416~ KAVB8417	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8418~ KAVB8422	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8423~ KAVB8424	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8425	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8426~ KAVB8427	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8428	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8430	-	-	-	-	-	-	○	○	-
KAVB8450~ KAVB8451	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB8452	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB8453~ KAVB8454	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB8456	-	-	-	-	-	-	-	○	○
KAVB8457	○	-	-	○	-	-	-	-	-
KAVB8500	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8550~ KAVB8552	○	-	-	-	-	-	-	-	-
KAVB8600~ KAVB8602	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB8603	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8604~ KAVB8610	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB8701~ KAVB8728	-	-	-	-	-	-	○	-	-

メッセージ ID	出力先								
	ビューアー				マネージャー				
	ダイアログ	stdo ut	stder r	HNTRLlib2	syslog, イベントログ	stdo ut	stder r	HNTRLlib2	イベント
KAVB8729~ KAVB8735	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8736~ KAVB8737	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8738~ KAVB8739	-	-	-	-	-	-	○	○	-
KAVB8740~ KAVB8741	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8800~ KAVB8802	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8810~ KAVB8812	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB8813~ KAVB8819	-	-	-	-	-	-	○※2	○	-
KAVB8820	-	-	-	-	-	-	-	○	-
KAVB8900~ KAVB8905	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8906~ KAVB8907	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8908~ KAVB8912	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8913~ KAVB8916	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8917	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8918	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8919	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8920	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8921~ KAVB8922	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8923	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8924~ KAVB8926	-	○	-	-	-	○	-	-	-

メッセージ ID	出力先								
	ビューアー				マネージャー				
	ダイアログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	syslog, イベントログ	stdo ut	stder r	HNTRLib2	イベント
KAVB8927~ KAVB8931	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8932	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8933	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8934	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8935	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8936~ KAVB8937	-	-	○	-	-	-	○	-	-
KAVB8938	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8939	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8940~ KAVB8942	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8943	-	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB8944~ KAVB8945	-	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8946	-	○	-	-	-	○	-	-	-
KAVB8947	-	-	○	-	-	-	○	-	-

注※1 jcohcctest コマンド実行時に表示されます。

注※2 UNIX の場合、標準エラー出力にも出力されます。

## 1.2.9 インストールおよびセットアップに関するメッセージ (KAVB9001~KAVB9999) の出力先

JP1/IM のインストールおよびセットアップに関するメッセージの出力先を示します。

### インストールおよびセットアップに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2：統合トレースログファイル※1

stdout：標準出力

stderr：標準エラー出力

ダイアログ：メッセージダイアログボックス

JCOSETUP：jco\_setup.log（セットアップ時のログファイル）※2

論理ホスト JCOSETUP：[論理ホスト] /jco\_setup.log（セットアップ時のログファイル）※3

○：出力する

－：出力しない

注※1 下記ディレクトリに格納されます。

Windows（32ビット）：システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows（64ビット）：システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX：/var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

注※2 下記ディレクトリに格納されます。

Windows：なし

UNIX：/var/opt/jp1cons/log/JCO\_SETUP/

注※3 下記ディレクトリに格納されます。

Windows：なし

UNIX：/var/opt/jp1cons/log/JCO\_SETUP/論理ホスト名/

表 1-10 インストールおよびセットアップに関するメッセージの出力先一覧

メッセージID	出力先							
	syslog	イベントログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	ダイアログ	JCOSETUP	論理ホスト JCOSETUP
KAVB9032	－	－	－	－	－	○	○	－
KAVB9033	－	－	－	－	－	－	－	－
KAVB9034～ KAVB9036	－	－	－	○	－	－	○	－
KAVB9038	－	－	－	－	○	○	○	－
KAVB9039	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB9051	－	－	－	○	－	－	○	－
KAVB9053	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB9054	－	－	－	○	－	－	○	－
KAVB9056	－	－	－	－	－	－	○	－
KAVB9057	－	－	－	○	－	－	○	－
KAVB9059	－	－	－	○	－	－	○	－

メッセージ ID	出力先							
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	ダイア ログ	JCOSET UP	論理ホスト JCOSETUP
KAVB9064	-	-	-	○	-	-	○	-
KAVB9072~ KAVB9080	-	-	-	-	-	-	-	○
KAVB9101~ KAVB9118	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB9119	-	-	-	-	○	-	-	-
KAVB9120	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9121	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9201~ KAVB9202	-	-	-	○	-	-	-	-
KAVB9251~ KAVB9252	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9255~ KAVB9256	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9301~ KAVB9302	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9400~ KAVB9401	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9404~ KAVB9423	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9425	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9429~ KAVB9432	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9434~ KAVB9441	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9444~ KAVB9445	○	○	○	○	○	-	-	-
KAVB9901~ KAVB9903	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9906~ KAVB9908	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9910	-	-	-	-	-	○	-	-
KAVB9912~	-	-	-	-	-	○	-	-



メッセージ ID	出力先							
	syslog	イベント ログ	HNTRLib 2	stdout	stderr	ダイア ログ	JCOSET UP	論理ホスト JCOSETUP
KAVB9920								
KAVB9925～ KAVB9929	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB9933～ KAVB9946	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB9950～ KAVB9956	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB9958～ KAVB9960	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB9990～ KAVB9991	－	－	－	－	－	○	－	－
KAVB9998～ KAVB9999	－	－	－	－	－	○	－	－

## 1.2.10 関連イベント発行サービスに関するメッセージ (KAJV2001～KAJV3999) の出力先

関連イベント発行サービスに関するメッセージの出力先を示します。

### 関連イベント発行サービスに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLib2 : 統合トレースログ※

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

JP1 イベント : JP1 イベント

○ : 出力する

－ : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

表 1-11 関連イベント発行サービスに関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAJV2002～ KAJV2004	—	—	○	—	—	—
KAJV2006～ KAJV2008	—	—	○	—	—	—
KAJV2010～ KAJV2011	○	○	—	—	—	—
KAJV2016～ KAJV2017	—	—	○	—	—	—
KAJV2020～ KAJV2021	—	—	○	—	—	—
KAJV2101～ KAJV2103	○	○	○	—	—	—
KAJV2104～ KAJV2106	—	—	○	—	—	—
KAJV2107	○	○	○	—	—	—
KAJV2108	—	—	○	—	—	—
KAJV2109	○	○	—	—	—	—
KAJV2110～ KAJV2112	○	○	○	—	—	—
KAJV2151	—	—	○	—	—	—
KAJV2152	○	○	○	—	—	—
KAJV2153～ KAJV2157	—	—	○	—	—	—
KAJV2161～ KAJV2163	—	—	○	—	—	—
KAJV2164	○	○	○	—	—	—
KAJV2165	—	—	○	—	—	—
KAJV2166	○	○	○	—	—	—
KAJV2167～ KAJV2176	—	—	○	—	—	—

メッセージID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAJV2177	○	○	○	—	—	—
KAJV2178～ KAJV2180	—	—	○	—	—	—
KAJV2188	—	—	○	—	—	○
KAJV2190～ KAJV2192	—	—	○	—	—	—
KAJV2193	○	○	○	—	—	—
KAJV2194	—	—	○	—	—	—
KAJV2195	○	○	○	—	—	—
KAJV2201～ KAJV2208	—	—	○	—	—	—
KAJV2210	—	—	○	—	—	—
KAJV2231～ KAJV2233	—	—	○	—	—	—
KAJV2234	—	—	○	—	—	○
KAJV2235～ KAJV2236	—	—	○	—	—	—
KAJV2238～ KAJV2240	—	—	○	—	—	—
KAJV2242～ KAJV2243	—	—	○	—	—	○
KAJV2244～ KAJV2246	—	—	○	—	—	—
KAJV2248～ KAJV2252	—	—	○	—	—	—
KAJV2301～ KAJV2305	—	—	○	—	—	—
KAJV2308～ KAJV2317	—	—	○	—	—	—
KAJV2320～ KAJV2321	—	—	○	—	—	—
KAJV2322	—	—	○	—	—	○
KAJV2324～	—	—	○	—	—	—

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAJV2325						
KAJV2401～ KAJV2404	－	－	○	－	－	－
KAJV2500～ KAJV2501	－	－	○	－	－	－
KAJV2502	－	－	○	－	－	○
KAJV2503	－	－	○	－	－	－
KAJV2901～ KAJV2904	○	○	○	－	－	－
KAJV2905	－	－	○	－	－	－
KAJV2906～ KAJV2907	○	○	○	－	－	－
KAJV3002～ KAJV3004	－	－	○	－	○	－
KAJV3010	○	○	－	－	○	－
KAJV3021～ KAJV3027	－	－	－	－	○	－
KAJV3040	－	－	－	－	○	－
KAJV3041～ KAJV3044	－	－	○	－	○	－
KAJV3101～ KAJV3104	－	－	○	－	○	－
KAJV3201	－	－	－	○	－	－
KAJV3205～ KAJV3206	－	－	○	－	○	－
KAJV3209	－	－	○	－	○	－
KAJV3211～ KAJV3212	－	－	○	－	○	－
KAJV3214～ KAJV3218	－	－	○	－	○	－
KAJV3261～ KAJV3262	－	－	－	○	－	－
KAJV3263	－	－	○	－	○	－

メッセージ ID	出力先					
	syslog	イベントログ	HNTRLib2	stdout	stderr	JP1 イベント
KAJV3264	-	-	-	○	-	-
KAJV3265	-	-	○	-	○	-
KAJV3281	-	-	-	○	-	-
KAJV3282	-	-	○	-	○	-
KAJV3283~ KAJV3285	-	-	-	○	-	-
KAJV3286	-	-	○	-	○	-
KAJV3291	-	-	○	○	-	-
KAJV3292	-	-	○	-	○	-
KAJV3293	-	-	-	-	○	-
KAJV3301	-	-	○	○	-	-
KAJV3302	-	-	○	-	○	-
KAJV3303	-	-	-	-	○	-
KAJV3311~ KAJV3312	-	-	-	○	-	-
KAJV3313~ KAJV3314	-	-	○	-	○	-
KAJV3315	-	-	-	-	○	-
KAJV3316~ KAJV3318	-	-	○	-	○	-
KAJV3801	○	○	○	-	○	-
KAJV3901	-*	-*	-*	-*	-*	-*
KAJV3902~ KAJV3905	○	○	-	-	-	-

注※ 作成に失敗したメッセージの出力先に出力されます。

## 1.2.11 IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージ (KNAN20000~KNAN21999) の出力先

JP1/IM の IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージの出力先を示します。

## JP1/IM の IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

- ：出力する
- －：出力しない

表 1-12 IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
		確認	問い合わせ				
KNAN20000	－	○	○	－	－	－	－
KNAN20001～ KNAN20003	－	－	○	－	－	－	－
KNAN20004	－	○	○	－	－	－	－
KNAN20005～ KNAN20006	－	－	○	－	－	－	－
KNAN20007	－	－	－	－	－	－	－
KNAN20008	－	－	○	－	－	－	－
KNAN20009	－	○	－	－	－	－	－
KNAN20010	－	○	○	－	－	－	－
KNAN20011	－	－	－	－	－	－	－
KNAN20020～ KNAN20024	－	○	－	－	－	－	－
KNAN20025～ KNAN20026	－	－	－	－	－	－	－
KNAN20030	－	－	○	－	－	－	－
KNAN20040～ KNAN20044	－	－	○	－	－	－	－
KNAN20045	－	－	－	○	－	－	－
KNAN20046	－	－	－	－	－	－	－
KNAN20048	－	－	－	－	－	－	－
KNAN20050～ KNAN20052	－	－	○	－	－	－	－

メッセージID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
			確認	問い合わせ			
KNAN20054	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20055~ KNAN20057	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20100~ KNAN20105	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20121~ KNAN20124	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20131~ KNAN20137	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20141~ KNAN20144	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20151~ KNAN20157	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20200~ KNAN20207	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20220~ KNAN20227	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20228	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20230~ KNAN20233	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20234	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20238	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20240~ KNAN20242	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20300	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20301~ KNAN20302	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20303	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20320~ KNAN20323	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20324~	-	-	○	-	-	-	-

メッセージID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
			確認	問い合わせ			
KNAN20325							
KNAN20326	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20329	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20330~ KNAN20331	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20333	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20352	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20353	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20354~ KNAN20355	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20356~ KNAN20357	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20358~ KNAN20359	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20360	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20362	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20363	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20364~ KNAN20365	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20400~ KNAN20401	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20402	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20403~ KNAN20405	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20407~ KNAN20409	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20410	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20411~ KNAN20415	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20416	-	-	-	○	-	-	-



メッセージID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
			確認	問い合わせ			
KNAN20418~ KNAN20421	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20422~ KNAN20423	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20424~ KNAN20425	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20426~ KNAN20432	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20433	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20437~ KNAN20438	-	-	○	○	-	-	-
KNAN20440	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20441	-	-	○	○	-	-	-
KNAN20480~ KNAN20482	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20483~ KNAN20484	-	○	○	-	-	-	-
KNAN20500	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20510	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20513	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20514	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20515	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20516	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20520	-	-	○	-	-	-	-
KNAN20530	-	-	-	○	-	-	-
KNAN20800~ KNAN20801	-	○	-	-	-	-	○
KNAN20802	-	-	-	-	-	-	○
KNAN20803	-	-	-	-	-	-	-
KNAN20810~	-	-	-	-	-	-	○

メッセージID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
			確認	問い合わせ			
KNAN20815							
KNAN20816	-	○	-	-	-	-	-
KNAN20820	-	-	-	-	-	○	-
KNAN20821~ KNAN20822	-	-	-	-	-	-	○
KNAN20823	-	○	-	-	-	-	○
KNAN20824	-	-	-	-	-	-	○
KNAN20825~ KNAN20826	-	○	-	-	-	-	○
KNAN21000~ KNAN21005	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21055	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21151	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21154	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21157	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21162	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21165	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21168~ KNAN21179	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21180~ KNAN21181	-	-	-	○	-	-	-
KNAN21183~ KNAN21187	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21300	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21301~ KNAN21304	-	-	-	○	-	-	-
KNAN21305~ KNAN21308	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21309	-	-	-	○	-	-	-
KNAN21310	-	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先						
	イベント ログ	統合 トレース ログ	画面			標準出力	標準エラー 出力
			メッセージダイアログ		処理中ダイ アログ		
			確認	問い合わせ			
KNAN21311	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21400~ KNAN21401	-	○	○	-	-	-	-
KNAN21402	-	-	○	-	-	-	-
KNAN21403~ KNAN21409	-	○	○	-	-	-	-
KNAN21410~ KNAN21412	-	-	○	-	-	-	-

## 1.2.12 IM 構成管理に関するメッセージ (KNAN22000~KNAN26999) の出力先

IM 構成管理に関するメッセージの出力先を示します。

### IM 構成管理に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

- ：出力する
- ：出力しない

表 1-13 IM 構成管理に関するメッセージの出力先一覧 (その 1)

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN22000~ KNAN22003	-	-	-	-
KNAN22004	-	-	-	○
KNAN22005	-	-	-	-
KNAN22006	-	-	-	○
KNAN22007~ KNAN22017	-	-	-	-

メッセージID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN22019~ KNAN22030	—	—	—	—
KNAN22031	—	—	—	○
KNAN22032~ KNAN22033	—	—	—	—
KNAN22050~ KNAN22057	—	—	—	—
KNAN22058	—	—	—	○
KNAN22060~ KNAN22062	—	—	—	—
KNAN22063	—	—	—	○
KNAN22064~ KNAN22065	—	—	—	—
KNAN22066	—	—	—	○
KNAN22067	—	—	—	—
KNAN22068	—	—	—	○
KNAN22069	—	—	—	—
KNAN22070	—	○	—	—
KNAN22071~ KNAN22073	—	—	—	—
KNAN22100~ KNAN22104	—	○	—	—
KNAN22200~ KNAN22201	—	—	—	—
KNAN22202	—	—	—	○
KNAN22203~ KNAN22209	—	—	—	—
KNAN22220~ KNAN22221	—	—	—	—
KNAN22223~ KNAN22225	—	—	—	—
KNAN22240~	—	—	—	○

メッセージID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN22241				
KNAN22243～ KNAN22245	—	—	—	—
KNAN22247～ KNAN22255	—	—	—	—
KNAN22263～ KNAN22267	—	—	—	—
KNAN22270	—	—	—	—
KNAN22271～ KNAN22274	—	—	—	○
KNAN22300	—	—	—	—
KNAN22301～ KNAN22302	—	—	—	○
KNAN22303	—	—	—	—
KNAN22304～ KNAN22306	—	—	—	○
KNAN22307	—	—	—	—
KNAN22308～ KNAN22315	—	—	—	○
KNAN22316～ KNAN22320	—	—	—	—
KNAN22321	—	—	—	○
KNAN22400～ KNAN22415	—	—	—	—
KNAN22421～ KNAN22430	—	—	—	—
KNAN22432～ KNAN22433	—	—	—	—
KNAN22435	—	—	—	—
KNAN22437～ KNAN22449	—	—	—	—
KNAN22451	—	—	—	—

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN22455～ KNAN22461	—	—	—	—
KNAN22463～ KNAN22469	—	—	—	—
KNAN22471～ KNAN22488	—	—	—	—
KNAN22491～ KNAN22503	—	—	—	—
KNAN22505～ KNAN22507	—	—	—	—
KNAN22510～ KNAN22511	—	—	—	—
KNAN22514～ KNAN22515	—	—	—	—
KNAN22517～ KNAN22518	—	—	—	—
KNAN22520～ KNAN22521	—	—	—	—
KNAN22523～ KNAN22524	—	—	—	—
KNAN22526～ KNAN22534	—	—	—	—
KNAN22600～ KNAN22608	—	—	—	—
KNAN22700～ KNAN22702	—	—	—	—
KNAN22800	—	○	—	—
KNAN22801～ KNAN22802	—	○	—	○
KNAN22803～ KNAN22812	—	○	—	—
KNAN22814	—	○	—	—
KNAN22816～	—	○	—	—

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN22817				
KNAN22819	—	○	—	—
KNAN22820～ KNAN22822	○	—	—	—
KNAN22823～ KNAN22832	—	○	—	—
KNAN22833	—	—	—	—
KNAN22834～ KNAN22844	—	○	—	—
KNAN22845	—	—	—	○
KNAN22846	—	○	—	○
KNAN22847～ KNAN22849	○	—	—	—
KNAN22850	—	○	—	—
KNAN22854	—	○	—	—
KNAN22857～ KNAN22858	—	○	—	○
KNAN22859～ KNAN22860	—	○	—	—
KNAN22861	—	—	—	—
KNAN22862～ KNAN22863	—	○	—	○
KNAN22875～ KNAN22876	—	—	—	—
KNAN22890	—	○	—	—

表 1-14 IM 構成管理に関するメッセージの出力先一覧 (その 2)

メッセージ ID	出力先		
	標準出力	標準エラー出力	統合ログ
KNAN23000	—	—	—
KNAN23001～ KNAN23003	—	—	○

メッセージID	出力先		
	標準出力	標準エラー出力	統合ログ
KNAN23004～ KNAN23006	－	－	－
KNAN23008～ KNAN23010	－	－	－
KNAN23011	－	－	○
KNAN24000	－	○	－
KNAN24001～ KNAN24008	－	○	○
KNAN24009	－	－	○
KNAN24010～ KNAN24011	－	○	○
KNAN24012～ KNAN24016	－	○	－
KNAN24017	－	－	○
KNAN24018	－	○	－
KNAN24030～ KNAN24031	○	－	○
KNAN24032～ KNAN24039	－	○	○
KNAN24040	－	－	○
KNAN24041～ KNAN24042	○	－	○
KNAN24050～ KNAN24052	○	－	○
KNAN24053	－	○	○
KNAN24060～ KNAN24063	－	○	－
KNAN24070	－	○	○
KNAN24100～ KNAN24107	○	－	－
KNAN24150～ KNAN24151	－	○	－
KNAN24153	－	○	－



メッセージ ID	出力先		
	標準出力	標準エラー出力	統合ログ
KNAN24155	-	○	-

表 1-15 IM 構成管理に関するメッセージの出力先一覧 (その 3)

メッセージ ID	出力先						
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ	syslog	統合ログ	JP1 イベント	ダイアログ
KNAN26000~ KNAN26001	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26002	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26003	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26006	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26025	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26026~ KNAN26028	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26039	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26050	○	-	-	-	-	-	-
KNAN26055	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26056	○	-	-	-	○	-	-
KNAN26057	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26058	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26063	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26069	-	○	-	-	-	-	○
KNAN26072~ KNAN26073	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26078	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26081	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26091	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26092	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26093	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26094~ KNAN26095	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26097	-	○	-	-	○	-	-

メッセージID	出力先						
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ	syslog	統合ログ	JP1 イベント	ダイアログ
KNAN26098	-	○	-	-	-	-	-
KNAN26099	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26101	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26102	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26103~ KNAN26104	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26106	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26107	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26108~ KNAN26109	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26119	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26140	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26142	-	-	-	-	○	○	-
KNAN26143	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26153	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26155	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26163	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26181~ KNAN26182	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26187	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26189	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26196	-	-	-	-	○	-	-
KNAN26206	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26208	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26209	-	○	-	-	○	-	-
KNAN26210	-	○	-	-	-	-	○
KNAN26211	-	○	-	-	○	-	○
KNAN26212	-	-	-	-	○	-	○
KNAN26214	○	-	-	-	-	-	-
KNAN26216~	○	-	-	-	-	-	-

メッセージID	出力先						
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ	syslog	統合ログ	JP1 イベント	ダイアログ
KNAN26217							
KNAN26223～ KNAN26226	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26230	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26239	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26243	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26247	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26249	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26251～ KNAN26252	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26256	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26258	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26261	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26266～ KNAN26267	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26269	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26271	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26274	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26278～ KNAN26279	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26281	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26285	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26287	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26293～ KNAN26294	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26296～ KNAN26297	－	○	－	－	○	－	－
KNAN26317～ KNAN26318	○	－	－	－	－	－	－
KNAN26319～ KNAN26320	－	○	－	－	－	－	－

メッセージ ID	出力先						
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ	syslog	統合ログ	JP1 イベント	ダイアログ
KNAN26322	—	○	—	—	○	—	—
KNAN26326～ KNAN26327	○	—	—	—	—	—	—
KNAN26328～ KNAN26332	—	○	—	—	○	—	—
KNAN26334	—	○	—	—	○	—	—
KNAN26336	—	○	—	—	—	—	—
KNAN26337	—	○	—	—	○	—	—
KNAN26338	—	○	—	—	○	—	—
KNAN26339～ KNAN26343	—	—	—	—	○	○	—
KNAN26344	—	—	—	—	○	—	—
KNAN26345～ KNAN26346	—	—	—	—	○	○	—
KNAN26350～ KNAN26353	—	—	—	—	○	○	—
KNAN26354	—	○	—	—	○	—	—

### 1.2.13 IM 構成管理の共通メッセージ (KNAN29000～KNAN29999) の出力先

IM 構成管理の共通メッセージの出力先を示します。

#### IM 構成管理の共通メッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

- ：出力する
- ：出力しない

表 1-16 IM 構成管理の共通メッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN29000～ KNAN29002	—	—	○	○
KNAN29003～ KNAN29007	—	—	—	○
KNAN29008	—	—	—	—
KNAN29009	—	—	—	○
KNAN29010	—	—	—	—
KNAN29011～ KNAN29012	—	—	—	○
KNAN29013	—	—	—	—
KNAN29014	—	—	—	○
KNAN29015～ KNAN29018	—	—	—	—
KNAN29019～ KNAN29020	—	—	—	○
KNAN29021～ KNAN29022	—	—	—	—
KNAN29023	—	—	—	○
KNAN29024	—	—	—	—
KNAN29025～ KNAN29027	—	—	—	○
KNAN29028～ KNAN29029	—	—	—	—
KNAN29030～ KNAN29033	—	—	—	○
KNAN29034	—	—	—	—
KNAN29036～ KNAN29037	—	—	—	○
KNAN29038	—	—	—	—
KNAN29041	—	—	—	○
KNAN29045～	—	—	—	—

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN29047				
KNAN29048	—	—	—	○
KNAN29049～ KNAN29056	—	—	—	—
KNAN29057～ KNAN29059	—	—	—	○
KNAN29060～ KNAN29064	—	—	—	—
KNAN29065	—	—	—	○
KNAN29066～ KNAN29067	—	—	—	—
KNAN29069	—	—	—	—
KNAN29070～ KNAN29071	—	—	—	○
KNAN29080～ KNAN29082	—	—	—	○
KNAN29083～ KNAN29084	—	○	—	—
KNAN29085～ KNAN29088	—	—	—	—
KNAN29090～ KNAN29091	—	—	—	○
KNAN29093～ KNAN29095	—	—	—	○
KNAN29097～ KNAN29099	—	—	—	○
KNAN29900～ KNAN29907	—	○	—	—
KNAN29909～ KNAN29914	—	○	—	—
KNAN29920	○	—	—	—
KNAN29921	—	—	—	—
KNAN29922	○	—	—	—

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN29923	—	—	—	—
KNAN29924	○	—	—	—
KNAN29926～ KNAN29927	○	—	—	—

## 1.2.14 操作ログに出力されるメッセージ (KNAN30000～KNAN30003) の出力先

操作ログに出力されるメッセージの出力先を示します。

操作ログのメッセージは、操作ログファイルに出力され、出力先は操作ログ定義ファイル (imm\_operationlog.conf) で設定します。初期値の出力先を次に示します。

Windows の場合

Manager パス¥log¥operationlog¥imm\_operation[n\*].log

UNIX の場合

/var/opt/jp1imm/log/operationlog/imm\_operation[n\*].log

注※

n は 1～16 の 10 進数です。

操作ログの出力の詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「付録 K 操作ログの出力」を参照してください。

## 1.2.15 IM データベースのメッセージ (KNAN11005～KNAN11215, KFPH00212～KFPH00213, KFPS01850, KFPS05210) の出力先

IM データベースのメッセージの出力先を示します。

### IM データベースのメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

○：出力する

－：出力しない

表 1-17 IM データベースのメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN11005～ KNAN11020	○	－	－	－
KNAN11021～ KNAN11027	－	○	－	－
KNAN11028	○	－	－	－
KNAN11029～ KNAN11065	－	○	－	－
KNAN11066	○	－	－	－
KNAN11067～ KNAN11071	－	○	－	－
KNAN11074～ KNAN11075	○	－	－	－
KNAN11076～ KNAN11077	－	○	－	－
KNAN11078～ KNAN11079	－	○	－	○
KNAN11080～ KNAN11089	－	○	－	－
KNAN11090～ KNAN11093	－	－	－	○
KNAN11094	－	○	－	－
KNAN11095	○	－	－	－
KNAN11096～ KNAN11099	－	○	－	－
KNAN11100～ KNAN11107	○	－	－	－
KNAN11108～ KNAN11109	－	○	－	－
KNAN11110～ KNAN11112	○	－	－	－
KNAN11113～	－	○	－	－



メッセージID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN11123				
KNAN11124~ KNAN11125	○	-	-	-
KNAN11140~ KNAN11145	-	○	-	-
KNAN11146~ KNAN11148	○	-	-	-
KNAN11150~ KNAN11151	○	-	-	-
KNAN11152	-	○	-	-
KNAN11153~ KNAN11154	○	-	-	-
KNAN11155~ KNAN11157	-	○	-	-
KNAN11158~ KNAN11159	○	-	-	-
KNAN11160~ KNAN11161	-	○	-	-
KNAN11162	○	-	-	-
KNAN11163~ KNAN11175	-	○	-	-
KNAN11176~ KNAN11189	○	-	-	-
KNAN11190~ KNAN11193	-	○	-	-
KNAN11194	○	-	-	-
KNAN11195~ KNAN11196	-	○	-	-
KNAN11197~ KNAN11198	○	-	-	-
KNAN11199	○	-	-	○
KNAN11200~ KNAN11203	○	-	-	-

メッセージID	出力先			
	標準出力	標準エラー出力	syslog, イベントログ	統合ログ
KNAN11204~ KNAN11206	—	○	—	—
KNAN11207~ KNAN11209	○	—	—	—
KNAN11210	—	○	—	—
KNAN11211~ KNAN11213	○	—	—	—
KNAN11214	—	○	—	—
KNAN11215	○	—	—	○
KFPH00212~ KFPH00213	—	—	○	—
KFPS01850	—	—	○	—
KFPS05210	—	—	○	—

## 1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ (KAJY00001~KAJY52032) の出力先

インテリジェント統合管理基盤のメッセージの出力先を示します。

### インテリジェント統合管理基盤のメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

syslog : syslog

stdout : 標準出力

stderr : 標準エラー出力

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル※

ダイアログ : メッセージダイアログボックス

統合オペレーション・ビューアー : [統合オペレーション・ビューアー] 画面

REST API 戻り値 : REST API 戻り値として出力

○ : 出力する

— : 出力しない

注※ 下記ディレクトリに格納されます。

Windows (32 ビット) : システムドライブ¥Program Files(x86)¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

Windows (64 ビット) : システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥

UNIX : /var/opt/hitachi/HNTRLib2/spool/

表 1-18 インテリジェント統合管理基盤のメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY00001-E	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY00004-I~ KAJY00006-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KAJY00007-E	○	-	-	○	○	-	-	-
KAJY00008-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KAJY00009-E~ KAJY00010-E	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY00011-E~ KAJY00014-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KAJY00015-W~ KAJY00016-W	-	-	○	○	-	-	-	-
KAJY00017-E	○	-	-	○	-	-	○	-
KAJY00018-E	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY00019-W~ KAJY00020-W	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY00021-E~ KAJY00022-E	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY00023-W	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY00024-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY00025-E	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY00026-W ~KAJY00027-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY00029-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY00030-W ~KAJY00031-E	-	-	-	-	○	-	-	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY01000-E	-	-	-	○	○	-	○	-
KAJY01001-E	-	-	-	-	-	○	-	-
KAJY02000-E~ KAJY02001-E	-	-	○	○	○	-	-	-
KAJY02002-E	-	-	○	○	○	-	○	-
KAJY02003-E	-	-	○	○	○	-	-	-
KAJY02004-W	-	-	○	-	○	-	-	-
KAJY02005-W	-	-	○	-	○	-	-	-
KAJY02006-W	-	-	○	-	○	-	-	-
KAJY02007-I~ KAJY02010-I	-	○	-	-	-	-	-	-
KAJY02011-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02012-E~ KAJY02018-E	-	-	○	○	-	-	-	-
KAJY02019-E	-	-	○	○	○	-	-	-
KAJY02020-E~ KAJY02021-E	-	-	○	○	○	-	-	-
KAJY02022-E	-	-	○	○	-	-	-	-
KAJY02023-E~ KAJY02024-E	-	-	○	○	○	-	-	-
KAJY02025-W	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02026-W	-	-	○	-	○	-	-	-
KAJY02028-W	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02029-E~ KAJY02030-E	-	-	○	○	-	-	-	-
KAJY02032-E~ KAJY02033-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02034-I~ KAJY02035-I	-	○	-	-	-	-	-	-
KAJY02038-E	-	-	○	○	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY02039-E	-	-	○	-	○	-	-	-
KAJY02040-E~ KAJY02041-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02043-E~ KAJY02044-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02045-W~ KAJY02046-W	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY02047-E~ KAJY02048-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY02049-E~ KAJY02050-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY02051-E~ KAJY02054-W	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY02055-I	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY02058-W	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY02060-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY02065-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY02073-I~ KAJY02078-E	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY04100-E~ KAJY04260-E*	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY04700-E~ KAJY04720-E	○	-	○	○	-	○	○	-
KAJY12000-E~ KAJY12015-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY22000-W	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY22001-E~ KAJY22005-E	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY22006-E~ KAJY22008-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY22009-E~ KAJY22011-E	-	-	-	-	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY22012-W	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY22015-E	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY22018-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY22019-E~ KAJY22022-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY22023-I~ KAJY22025-E	-	-	-	-	-	-	-	○
KAJY22026-W~ KAJY22028-W	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY22029-W~ KAJY22033-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY22034-W	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY22035-W~ KAJY22041-W	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY22042-W	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY22043-E	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY22044-W~ KAJY22046-E	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY22047-W	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY24100-E~ KAJY24261-W*	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY24600-E~ KAJY24620-E	○	-	-	○	-	○	○	-
KAJY32000-E~ KAJY32008-E	-	-	-	○	○	-	○	-
KAJY32010-W	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY32100-E~ KAJY32109-E	-	-	-	○	○	-	○	-
KAJY32110-W	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY32200-E~ KAJY32210-E	-	-	-	○	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY32211-E	-	-	-	-	○	-	○	-
KAJY32220-E	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY32221-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY32227-E	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY52001-E~ KAJY52002-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY52003-E	-	-	-	-	-	○	-	-
KAJY52004-E~ KAJY52005-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY52010-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY52012-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY52013-E~ KAJY52014-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY52015-W	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY52016-W~ KAJY52019-W	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY52020-E ~ KAJY52021-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY52022-E ~ KAJY52023-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY52024-W ~ KAJY52025-W	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY52026-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KAJY52027-E ~ KAJY52028-E	-	-	-	-	-	○	○	-
KAJY52029-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KAJY52030-E	-	-	-	-	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY52031-W	-	-	○	○	-	-	○	-
KAJY52032-W	-	-	-	○	-	-	○	-

注※

JP1/AJS または JP1/PFM のメッセージの埋め字として出力されるメッセージです。

## 1.2.17 インテリジェント統合管理データベースに関するメッセージ (KNAN12005~KNAN12120)

インテリジェント統合管理データベースのメッセージの出力先を示します。

### インテリジェント統合管理データベースのメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

表 1-19 インテリジェント統合管理データベースのメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先						
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ/syslog	HNTRLib2	統合ログ	Debug ログ	
KNAN12005-I ~ KNAN12008-I	○	-	-	-	-	○	
KNAN12009-Q	○	-	-	-	-	○	
KNAN12010-I ~ KNAN12016-I	○	-	-	-	-	○	
KNAN12017-E ~ KNAN12019-E	-	○	-	-	-	○	
KNAN12020-I	○	-	-	-	-	○	
KNAN12021-E ~ KNAN12034-E	-	○	-	-	-	○	
KNAN12035-I ~	○	-	-	-	-	○	



メッセージID	出力先					
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ/syslog	HNTRLlib2	統合ログ	Debug ログ
KNAN12038-I						
KNAN12040-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12041-E ~ KNAN12042-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12044-I ~ KNAN12045-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12047-I ~ KNAN12050-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12051-E ~ KNAN12053-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12054-I ~ KNAN12060-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12063-I ~ KNAN12068-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12071-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12075-I ~ KNAN12076-E	○	-	-	-	-	○
KNAN12077-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12079-I ~ KNAN12080-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12086-I ~ KNAN12090-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12091-E ~ KNAN12092-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12093-I	○	-	-	-	-	○

メッセージID	出力先					
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ/syslog	HNTRLlib2	統合ログ	Debug ログ
~ KNAN12094-I						
KNAN12095-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12097-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12098-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12099-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12100-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12101-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12102-E ~ KNAN12103-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12104-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12105-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12106-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12107-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12108-I ~ KNAN12109-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12111-E ~ KNAN12112-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12119-I ~ KNAN12120-I	○	-	-	-	-	○
KNAN12121-E ~ KNAN12127-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12130-E ~ KNAN12131-E	-	○	-	-	-	○
KNAN12134-E ~ KNAN12135-W	-	○	-	-	-	○

メッセージ ID	出力先					
	標準出力	標準エラー出力	イベントログ/syslog	HNTRLlib2	統合ログ	Debug ログ
KNAN12137-E	—	○	—	—	—	○
KNAN12141-E ～ KNAN12143-E	—	○	—	—	—	○
KNAN12146-E ～ KNAN12147-E	—	○	—	—	—	○
KNAN12150-E	—	○	—	—	—	○

## 1.2.18 IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージ (KAJY62000～KAJY65999) の出力先

IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージの出力先を示します。

### IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001～KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-20 IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY62000～ KAJY62005	—	—	—	—	—	—	○	—

## 1.2.19 対処アクションの自動実行機能に関するメッセージ (KAJY63000～KAJY63705) の出力先

対処アクションの自動実行機能に関するメッセージの出力先を示します。

## 対処アクションの自動実行機能に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001~KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-21 対処アクションの自動実行機能に関するメッセージの出力先一覧

メッセージID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLlib2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY63000~ KAJY63008	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY63023	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY63025~ KAJY63035	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY63036~ KAJY63037	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63039~ KAJY63051	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63052~ KAJY63058	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY63301~ KAJY63310	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63321	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63328~ KAJY63330	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63332	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63333	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY63700~ KAJY63705	-	-	-	-	○	-	-	-

## 1.2.20 対処アクションの手動実行機能に関するメッセージ (KAJY64000~KAJY64703) の出力先

対処アクションの手動実行機能に関するメッセージの出力先を示します。

## 対処アクションの手動実行機能に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001~KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-22 対処アクションの手動実行機能に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY64000~ KAJY64006	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY64012~ KAJY64020	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY64700~ KAJY64703	-	-	-	-	○	-	-	-

## 1.2.21 JP1 イベント変換機能に関するメッセージ (KAJY67000~KAJY67199) の出力先

JP1 イベント変換機能に関するメッセージの出力先を示します。

### JP1 イベント変換機能に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001~KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-23 JP1 イベント変換機能に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY67120	○	-	-	○	-	○	○	-

## 1.2.22 共通シークレットに関するメッセージ (KAJY68000~KAJY68019) の出力先

共通シークレットに関するメッセージの出力先を示します。

## 共通シークレットに関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001~KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-24 共通シークレットに関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY68001	-	-	-	○	○	-	-	-
KAJY68002	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68004	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY68007~ KAJY68009	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY68010~ KAJY68011	-	-	-	-	-	-	-	-
KAJY68012~ KAJY68013	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68016~ KAJY68018	-	-	-	○	-	-	○	-
KAJY68019	-	-	-	-	-	-	○	-

## 1.2.23 ファイル操作機能に関するメッセージ (KAJY68101~KAJY68125) の出力先

ファイル操作機能に関するメッセージの出力先を示します。

### ファイル操作機能に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001~KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-25 ファイル操作機能に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY68101～ KAJY68105	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68107	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68111	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68115～ KAJY68116	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY68119～ KAJY68120	-	-	-	○	-	-	-	-
KAJY68126	-	-	-	-	-	-	○	-

## 1.2.24 統合エージェントの管理に関するメッセージ (KAJY68201～KAJY68700) の出力先

統合エージェントの管理に関するメッセージの出力先を示します。

### 統合エージェントの管理に関するメッセージの出力先一覧

出力先一覧を表で示します。表中での出力先の凡例については、「[1.2.16 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ \(KAJY00001～KAJY52032\) の出力先](#)」を参照してください。

表 1-26 統合エージェントの管理に関するメッセージの出力先一覧

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY68201	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68203～ KAJY68207	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68208	-	-	-	-	○	-	-	-
KAJY68209	-	-	-	-	-	-	○	-
KAJY68210～	-	-	-	-	○	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	syslog, イベントログ	stdout	stderr	HNTRLib 2	ダイアログ	統合オペレーション・ビューアー	REST API 戻り値	対処アクション実行履歴ファイル
KAJY68212								
KAJY68213	—	—	—	—	—	—	○	—
KAJY68500~ KAJY68501	—	—	—	—	○	—	○	—
KAJY68700	—	—	—	—	○	—	—	—



## 1.3 メッセージの形式について

---

JP1/IM では、日本語と英語のメッセージをサポートしています。ここでは、JP1/IM が出力するメッセージ ID の付いたメッセージの出力形式を示します。このほかのメッセージについては、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12. トラブルシューティング」を参照してください。

### 1.3.1 メッセージの出力形式

メッセージはメッセージ ID と、それに続くメッセージテキストで構成されています。

#### 出力されるメッセージの形式

KAVBnnnnn-Z メッセージテキスト

KAJVnnnnn-Z メッセージテキスト

KNANnnnnnn-Z メッセージテキスト

KAJYnnnnn-Z メッセージテキスト

KFPHnnnnnn-Z メッセージテキスト

KFPSnnnnnn-Z メッセージテキスト

KNBCnnnnnn-Z メッセージテキスト

#### (1) メッセージ ID

メッセージ ID はシステム識別子、メッセージの通し番号、およびメッセージの種類で構成されています。

#### メッセージ ID の構成

K

システム識別子を示します。

AVB, AJV, NAN, AJY, FPH, FPS, または NBC

JP1/IM のメッセージであることを示します。

nnnn または nnnnn

メッセージの通し番号です。

Z

メッセージの種類を表します。

E：エラーメッセージを示します。処理は中断されます。

W：警告メッセージを示します。メッセージ出力後、処理は続行されます。

I：通知メッセージを示します。ユーザーに情報を知らせます。

Q：通知メッセージを示します。ユーザーに実行の選択を促します。

## 1.3.2 通信エラーメッセージの詳細情報

メッセージの中には、メッセージテキストの中に詳細情報が表示されるものがあります。これらのうち、通信エラーメッセージ（KAVB1200-E など）で表示される詳細情報、およびそのメッセージが表示された場合の原因と対策を示します。

### 通信エラーメッセージの詳細情報

詳細情報、原因、および対策の対応を次の表に示します。

表 1-27 通信エラーメッセージの詳細情報

詳細情報	原因	対策
B00	JP1/IM - View から JP1/IM - Manager が稼働しているマネージャーホストに到達できない	ネットワーク構成を確認する
B01	JP1/IM - Manager が起動していない	JP1/IM - Manager の起動を確認する
B02	JP1/IM - View から JP1/IM - Manager に接続するときのソケット作成中にエラーが発生した	ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないか確認し、リソース不足が発生している場合は解消する
B04	ホスト名解決できない	ネットワーク構成を確認する
B05	JP1/IM - View から JP1/IM - Manager に接続するときのソケット作成中に I/O エラーが発生した	ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないか確認し、リソース不足が発生している場合は解消する
B06	ホスト名解決できない	ネットワーク構成を確認する
B32	JP1/IM - View と JP1/IM - Manager の間でタイムアウトが発生した	SO_TIMEOUT の設定値を大きくする
H00	ホスト名解決できない	ネットワーク構成を確認する
H01	指定されたポートで接続できない	ポートの設定を確認する
H02	JP1/IM - Manager に接続できない	JP1/IM - Manager が稼働しているホストが起動しているか確認する
H03	JP1/IM - View から JP1/IM - Manager が稼働しているマネージャーホストに到達できない	ネットワーク構成を確認する
上記以外	—	表示されているメッセージの (O) に従う

(凡例)

—：なし

## 1.4 syslog と Windows イベントログの一覧

JP1/IM が出力する syslog と Windows イベントログの一覧を示します。

### syslog と Windows イベントログ一覧表

メッセージ ID と syslog, および Windows イベントログに出力される情報の対応を次の表に示します。

表 1-28 syslog と Windows イベントログ一覧表

メッセージ ID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベント ID	ソース
KAVB0001-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1211-W	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_WARNING	警告	1	次のどれか <ul style="list-style-type: none"> <li>• JP1/ ConsoleManager</li> <li>• JP1/ ConsoleCmd</li> <li>• JP1/IM View</li> </ul>
KAVB1501-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1502-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1510-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1517-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1518-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1519-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1520-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1521-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1522-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1633-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager

メッセージ ID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベント ID	ソース
KAVB1634-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1652-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB1656-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAVB2212-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB2246-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB2249-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB2288-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB2330-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB2333-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB3001-E~ KAVB3004-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3007-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3501-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3516-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB3613-W	LOG_USER	LOG_WARNING	警告	2	JP1/Console
KAVB3614-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3620-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3621-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB3623-E	LOG_USER	LOG_ERR	—	—	—
KAVB3624-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3626-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3643-E~ KAVB3644-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3649-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3737-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3752-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3788-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3862-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console

メッセージID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベントID	ソース
KAVB3870-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3872-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3874-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB3875-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4004-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4022-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4050-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	3	JP1/Console
KAVB4051-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	3	JP1/Console
KAVB4054-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4153-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4154-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4250-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4251-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4254-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4700-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	3	JP1/Console
KAVB4701-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	3	JP1/Console
KAVB4702-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4901-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4902-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4903-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4904-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4905-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4906-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4907-E	LOG_DAEMON,LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console

## 1. メッセージの概要

メッセージ ID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベント ID	ソース
KAVB4908-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB4909-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB5106-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/Console
KAVB7001-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/CentralScope
KAVB7002-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/CentralScope
KAVB7003-E	—	—	エラー	1	JP1/CentralScope
KAVB7116-E	—	—	エラー	1	JP1/CentralScope
KAVB8060-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>• JP1/Console</li> <li>• JP1/ConsoleManager</li> </ul>
KAVB8061-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>• JP1/Console</li> <li>• JP1/ConsoleManager</li> </ul>
KAVB8062-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ConsoleManager
KAVB8063-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ConsoleManager
KAVB8080-W	LOG_DAEMON	LOG_WARNING	警告	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2010-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2011-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2101-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2102-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2103-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ConsoleManager
KAJV2107-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ConsoleManager

## 1. メッセージの概要

メッセージ ID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベント ID	ソース
KAJV2109-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2110-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2111-I	LOG_DAEMON	LOG_INFO	情報	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2112-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2152-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2164-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2166-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2177-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2901-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2902-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2903-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2904-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2906-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV2907-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV3010-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV3801-E	LOG_USER	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV3901-E	—※	—※	—※	—※	JP1/ ConsoleManager
KAJV3902-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager

メッセージ ID	UNIX (syslog)		Windows (アプリケーションログ)		
	ファシリティ	レベル	種類	イベント ID	ソース
KAJV3903-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV3904-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KAJV3905-E	LOG_DAEMON	LOG_ERR	エラー	1	JP1/ ConsoleManager
KFPH00212-I	—	—	情報	30000	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/IM-M_DB_Server</li> <li>JP1/IM-M_DB_Server_論理ホスト名</li> </ul>
KFPH00213-W	—	—	情報	30000	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/IM-M_DB_Server</li> <li>JP1/IM-M_DB_Server_論理ホスト名</li> </ul>
KFPS01850-I	—	—	情報	30000	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/IM-M_DB_Server</li> <li>JP1/IM-M_DB_Server_論理ホスト名</li> </ul>
KFPS05210-I	—	—	情報	30000	次のどちらか <ul style="list-style-type: none"> <li>JP1/IM-M_DB_Server</li> <li>JP1/IM-M_DB_Server_論理ホスト名</li> </ul>

(凡例)

—：出力しない

注※ 作成に失敗したメッセージの出力内容で出力されます。



## 1.5 運用中にトラブルが発生した場合のシステム管理者の対応について

---

運用中にトラブルが発生した場合には、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12. トラブルシューティング」を参照してログ情報を採取し、初期調査をしてください。

トラブル要因の初期調査をする場合は、OS のログ情報（Windows の場合は Windows イベントログ、UNIX の場合は syslog）や、JP1/IM が出力する各種ログ情報を参照してください。これらのログ情報でトラブル発生時間帯の内容を参照して、トラブルを回避したり、トラブルに対処したりしてください。

また、トラブルが発生するまでの操作方法などを記録してください。同時に、できるだけ再現性の有無を確認するようにしてください。

# 2

## メッセージ一覧

JP1/IM - Manager, JP1/IM - View, および JP1/IM - Agent が出力するメッセージ ID の付いたメッセージの一覧を次に示します。

## 2.1 メッセージの記載形式

---

このマニュアルでのメッセージの記載形式を次に示します。

### メッセージ ID

英語メッセージテキスト

日本語メッセージテキスト

メッセージの説明文

(S)

システムの処置を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに、オペレーターのとる処置を示します。

## 2.2 セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージ (KAVB0001～KAVB2000)

---

### KAVB0001-E

System error occurred.

Details:詳細情報

システムエラーが発生しました

詳細情報：詳細情報

処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB0002-E

Specify the 入力情報.

入力情報を入力してください

画面の必須入力項目が入力されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力されていない項目を入力してください。

### KAVB0003-E

Specify the 入力情報 ranging from 条件 1 to 条件 2.

入力情報の入力範囲は条件 1 から条件 2 です

画面の入力項目に指定可能範囲外の値が入力されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目を正しく入力してください。

## KAVB0004-E

Failed to obtain the user profile.

ユーザープロファイルの取得に失敗しました

ユーザープロファイルを取得できませんでした。

(S)

その処理の実行を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVB0005-I

Updated the settings.

設定内容を更新しました

画面に入力した項目の設定が正常に終了しました。

## KAVB0007-E

Specify the 入力情報 ranging from 条件 1 to 条件 2.

入力情報:入力値

入力情報の入力範囲は条件 1 から条件 2 です

入力情報:入力値

画面の入力項目に指定可能範囲外の値が入力されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目を正しく入力してください。

## KAVB0008-E

Failed to obtain the 定義ファイル file.

Details:詳細情報

定義ファイルの取得に失敗しました

詳細情報：詳細情報

次の要因で、起動処理中に表示フィルターまたはイベント検索履歴が取得できませんでした。

- 通信エラーが発生した。

- 定義ファイルが壊れている。

(S)

条件に何も設定されていないフィルターを使用して起動処理を続行します。

(O)

JP1/IM - View を再起動してください。

接続しているマネージャーホストの統合トレースログにKAVB1531-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1531-E を参照してください。

## KAVB0009-E

Failed to obtain the 定義ファイル file.

Details: [詳細情報](#)

定義ファイルの取得に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

通信エラーが発生し、重要イベントフィルター、イベント取得フィルターまたはユーザーフィルターが取得できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0010-E

Failed to update the 定義ファイル file.

Details [詳細情報](#)

定義ファイルの更新に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

サーバの定義ファイルを更新できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0011-E

Add the 入力情報  
入力情報を追加してください

必須設定項目が追加されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力情報を追加してから、再実行してください。

## KAVB0013-E

The "入力情報" conditions exceed the maximum size (最大値).  
入力情報の条件が最大値(最大値)を超えています

画面の入力項目の条件が指定できる最大値を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目を正しく入力してください。

## KAVB0014-E

The business group or monitoring group is not defined.

定義情報

Group name = グループ名

業務グループ、または監視グループが定義されていません。

定義情報

グループ名:グループ名

定義されていない業務グループまたは監視グループが指定されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループが定義されているかシステム管理者に確認してください。

## KAVB0015-W

The configuration of a business group or monitoring group was changed while the settings window was displayed.

Do you want to continue?

設定画面の表示中に業務グループ・監視グループの構成が変更されました。

処理を続行しますか？

設定画面の表示中に業務グループまたは監視グループの構成が変更されました。業務グループまたは監視グループを指定している場合は、業務グループ名・監視グループ名が正しいか見直してください。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、指定された設定内容で処理を続行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断して設定画面に戻ります。

(O)

業務グループまたは監視グループを指定している場合は、業務グループ名または監視グループ名が正しいか見直してください。

## KAVB0061-E

The product information could not be acquired because there was not enough memory.

Detailed information:関数名, 戻り値

リソース不足のため製品情報取得に失敗しました

詳細情報：関数名, 戻り値

リソース不足のため、製品情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

リソース不足を解消したあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0062-E

The product information could not be acquired because the environment is invalid.

Detailed information:関数名, 戻り値

環境不正のため製品情報取得に失敗しました

詳細情報：関数名, 戻り値

環境不正のため、製品情報の取得に失敗しました。



(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。

アンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0063-E

A system error occurred during startup of 製品名.

製品名の起動でシステムエラーが発生しました。

製品名の起動時にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0101-E

Cannot connect to the connecting host.

接続ホストに接続できません

次の要因で、接続ホストに接続できませんでした。

- 接続ホスト名の入力に誤りがある。
- 接続ホストが起動していない。
- 接続ホストとの通信で何らかの障害が発生した。

統合監視 DB を使用している場合は、IM データベースサービスの状態が稼働中になっていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次の確認をしてから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力は正しいか。
- 接続ホストが起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題がないか。

統合監視 DB を使用している場合は、jimdbstatus コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認したら、再実行してください。マネージャーの統合トレースログに KAVB8602-E のメッセージが出力されている場合は、KAVB8602-E のメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAVB0104-E

Failed to authenticate the user.

ユーザー認証に失敗しました

ユーザー認証に失敗しました。ユーザー名またはパスワードの入力に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

ユーザー名、およびパスワードを確認してから、再実行してください。

## KAVB0105-E

Failed to authenticate the user.

Details: [詳細情報](#)

ユーザー認証に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

接続先ホスト上で設定されている認証サーバの名称が誤っています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

環境設定で、正しい認証サーバの名称を設定してください。

## KAVB0106-E

An error occurred in looking into the access authorization to JP1 resources.

Details: [詳細情報](#)

JP1 資源へのアクセス権照会中にエラーが発生しました

詳細情報: [詳細情報](#)

JP1 資源へのアクセス権照会中にエラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0107-E

Failed to obtain product information.

Details:詳細情報

製品情報取得に失敗しました

詳細情報：詳細情報

製品情報取得に失敗しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0108-E

An error occurred in the logout processing.

Connecting host:接続ホスト

Details:詳細情報

ログアウト処理中にエラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト

詳細情報：詳細情報

ログアウト処理中にエラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0109-E

Communication error occurred between the connecting host and the authentication server.

Connecting host:接続ホスト

接続ホストと認証サーバの間で、通信エラーが発生しました

接続ホスト：接続ホスト

接続ホストと認証サーバの間で、通信エラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 認証サーバが起動しているか。
- 接続ホストと認証サーバ間の通信ができるか。
- 認証サーバの設定が間違っていないか。

## KAVB0110-E

Failed to authenticate the user.

ユーザー認証に失敗しました

ユーザー認証に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡し、JP1 ユーザーの JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルの設定をしてください。

## KAVB0111-E

A connection to the authentication server could not be established.

認証サーバに接続できません

接続ホストから認証サーバに接続できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 認証サーバが起動しているか。
- 接続ホストと認証サーバ間の通信ができるか。
- 認証サーバの設定が間違っていないか。

- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

## KAVB0112-E

A communication error occurred in the logout processing.

Connecting host:接続ホスト

jpluser-name:JP1 ユーザー名

ログアウト処理中に通信エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト

JP1 ユーザー：JP1 ユーザー名

ログアウトに失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 接続ホストの JP1/IM - Manager が起動しているか。
- ネットワークに異常が発生していないか。

## KAVB0121-E

Central Scope is not installed on the connection host.

Connection host:接続ホスト

接続ホストにセントラルスコープがインストールされていません

接続ホスト:接続ホスト

接続ホストが JP1/IM - Manager (08-00 以降) の場合、セントラルスコープサービスの起動およびセントラルスコープサービスへのイベント配信の設定が有効になっていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

次の確認をしてから、再ログインしてください。

- 接続ホストが JP1/IM - Manager (08-00 以降) の場合、接続ホストでセントラルスコープサービスの起動およびセントラルスコープサービスへのイベント配信の設定が有効になっているか。

## KAVB0122-I

Closing the windows makes you log out. Are you sure you want to log out?

このウィンドウを閉じると終了（ログアウト）します。よろしいですか？

ログアウトしてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログアウトします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ログアウトしません。

#### KAVB0123-W

Central Scope is writing a file, so logout is not possible. Wait until the file output is finished.  
セントラルスコープがファイル出力中のため、ログアウトできません。ファイル出力が終了するまでお待ちください

JP1/IM - Manager がファイル出力中のため、ログアウトできません。

(S)

ログアウト処理を打ち切り、[監視ツリー] 画面を最前面に表示します。

(O)

JP1/IM - Manager のファイル出力が終了してから、ログアウトしてください。

#### KAVB0201-I

The event selected will be deleted. Are you sure you want to do this?  
選択中のイベントを削除します。よろしいですか？

選択中のイベントの表示を削除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のイベントを表示から削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のイベントを表示から削除しません。

#### KAVB0204-I

Are you sure to log out?  
終了（ログアウト）してもよろしいですか？

ログアウトしてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログアウトします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ログアウトしません。

#### KAVB0207-W

Your user profile is set up incorrectly. (File:ファイル名)  
The default settings will be used.

ユーザープロファイル（ファイル名：ファイル名）が正しく定義されていません。  
デフォルトの設定で起動します

ユーザープロファイルが正しく定義されていません。

(O)

メッセージダイアログボックスで表示されたユーザーのユーザープロファイルを採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0208-I

The selected events will be released. Do you want to continue?  
選択中のイベントを解除します。よろしいですか？

選択中の重要イベントを解除してよいのかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中の重要イベントを解除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中の重要イベントを解除しません。

#### KAVB0209-I

The status of the selected event will be changed to 対処状況.  
Are you sure you want to do this?  
選択中のイベントの状態を対処状況に変更します。よろしいですか？

選択中のイベントの状態を対処状況に変更してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のイベントの状態が対処状況に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のイベントの状態が対処状況に変更されません。

#### KAVB0210-E

The conditions for 入力情報 is either duplicated.  
入力情報の条件が重複しています

画面の入力項目に同じ条件が複数個指定されています。

複数の条件が指定できる場合は、同じ条件を複数個指定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を見直してから、再実行してください。

#### KAVB0211-E

The conditions for 入力情報 is either duplicated.

入力情報:入力値

入力情報の条件が重複しています

入力情報:入力値

画面の入力項目に同じ条件が複数個指定されています。

複数の条件が指定できる場合は、同じ条件を複数個指定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目を正しく入力してください。

#### KAVB0212-Q

One or more of the selected events was acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

The selected events (not including any that were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state) will be changed to the "対処状況" status.

Do you want to continue?

選択中のイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがあります。

統合監視 DB が無効なときに取得したイベントを除く選択中のイベントの状態を"対処状況"に変更します。

よろしいですか？

選択しているイベントの対処状況を変更するとき、選択しているイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがありました。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、統合監視 DB が無効なときに取得したイベント以外の状態を変更します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

状態が変更できなかったイベントは、検索対象にイベント DB を指定してイベント検索し、再実行してください。



## KAVB0213-Q

One or more of the selected events was acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

The selected events (not including any that were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state) will be deleted.

Do you want to continue?

選択中のイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがあります。

統合監視 DB が無効なときに取得したイベントを除く選択中のイベントを削除します。

よろしいですか？

選択しているイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがありました。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、統合監視 DB が無効なときに取得したイベント以外を削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

再ログインしてください。

## KAVB0214-Q

One or more of the selected events was acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

The selected events (not including any that were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state) will be released.

Do you want to continue?

選択中のイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがあります。

統合監視 DB が無効なときに取得したイベントを除く選択中のイベントを解除します。

よろしいですか？

選択しているイベントの中に統合監視 DB が無効なときに取得したイベントがありました。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、統合監視 DB が無効なときに取得したイベント以外を解除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

再ログインしてください。

## KAVB0216-E

The selected events were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

The statuses of these events cannot be changed.

選択中のイベントは、統合監視 DB が無効なときに取得したイベントです。

選択中のイベントの状態は変更できません

変更するとき、選択しているイベントが、すべて統合監視 DB が無効なときに取得したイベントでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

状態が変更できなかったイベントは、検索対象にイベント DB を指定してイベント検索し、再実行してください。

## KAVB0217-E

The selected events were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

These events cannot be deleted.

選択中のイベントは、統合監視 DB が無効なときに取得したイベントです。

選択中のイベントは削除できません

選択しているイベントが、すべて統合監視 DB が無効なときに取得したイベントでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

再ログインしてください。

## KAVB0218-E

The selected events were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

These events cannot be released.

選択中のイベントは、統合監視 DB が無効なときに取得したイベントです。

選択中のイベントは解除できません

選択しているイベントが、すべて統合監視 DB が無効なときに取得したイベントでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

再ログインしてください。

## KAVB0219-E

The selected events were acquired while the integrated monitoring database was in an invalid state.

No information related to these events can be acquired.

選択中のイベントは、統合監視 DB が無効なときに取得したイベントです。

選択中のイベントに関する情報を取得できません

選択中のイベントが、統合監視 DB が無効なときに取得したイベントでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示できなかったイベントは、検索対象にイベント DB を指定してイベント検索し、再実行してください。

## KAVB0221-E

A common extended attribute cannot be specified.

共通の拡張属性は指定できません

固有の拡張属性だけが指定できます。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

共通の拡張属性は表示項目として表示できるため、マッピングできません。固有の拡張属性を指定してください。

## KAVB0223-E

The mapping of the event information to the display item (表示項目) of the event ID (イベント ID) is already defined.

イベント ID (イベント ID) の表示項目 (表示項目) へのイベント情報マッピングはすでに定義されています

一つのイベントに対して一つの表示項目へのマッピングが複数設定されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

一つのイベントに対して一つの表示項目へのマッピングは、一つだけ設定できます。マッピング先の表示項目の内容とイベント ID を見直し、一つの表示項目へのマッピングが重複しないようにしてください。

#### KAVB0227-W

Reflecting the settings into the manager will affect the JP1/IM - View linked to the manager.  
Are you sure you want to do this?

設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に影響します。  
よろしいですか？

設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に表示されるイベントが変化することがあります。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、設定内容は反映されません。

#### KAVB0228-E

The event-information mapping definition was reflected in the manager, but the attempt to save the definition failed. When the manager stops, the current settings will be lost.

イベント情報マッピング定義はマネージャーに反映されましたが、定義の保存に失敗しました。マネージャーを停止すると今回の設定は失われます

マッピング定義はマネージャーに反映されましたが、保存処理に失敗したため、マネージャーを停止すると、設定が失われます。

(S)

マッピングはマネージャーに反映されたため機能しますが、保存処理は打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0229-I

Are you sure you want to cancel the notification suppression of 機能名?

機能名の通知抑止を解除します。よろしいですか？

通知抑止を解除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると通知抑止解除処理を行います。[いいえ] ボタンをクリックすると通知抑止解除処理を行いません。

## KAVB0230-E

An attempt to cancel the notification suppression of 機能名 has failed.(detailed code = コード)  
機能名の通知抑止解除に失敗しました 詳細コード:コード

通知抑止の解除処理に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0231-E

An attempt to obtain the notification status has failed.  
通知状態の取得に失敗しました。

機能通知状態の取得に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

イベント一覧の表示を再度更新してください。実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0232-W

These settings will be added to the first line of the definition, so that the added definition will have the highest priority level. If these settings are applied to the manager, JP1/IM - View will be affected because it is linked to the manager. Are you sure you want to apply these settings?  
追加した定義を最優先とするため、設定内容を定義の先頭に追加します。設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に影響します。よろしいですか？

追加した重大度変更定義を最優先するため、定義ファイルの先頭に追加します。設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に表示されるイベントが変化することがあります。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、設定内容は反映されません。

## KAVB0233-Q

The setting details will be added to the beginning of the definition so that the added display message change definitions will have priority. If these setting details are applied to the manager, JP1/IM - View, which is linked to the manager, will be affected. Do you want to continue?

追加した表示メッセージ変更定義を最優先とするため、設定内容を定義の先頭に追加します。設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に影響します。よろしいですか？

追加した表示メッセージ変更定義を最優先とするため、設定内容を定義ファイルの先頭に追加します。設定内容をマネージャーに反映すると、マネージャーに接続している JP1/IM - View に表示されるイベントが変化することがあります。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、設定内容は反映されません。

## KAVB0241-E

入力情報 is not a correct date or time information.

入力情報に日付・時刻とはみなせない値が入力されています

画面に入力した日付や時刻の情報に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

正しい日付や時刻を入力してから、再実行してください。

## KAVB0243-E

The settings for an event ID is incorrect.

Specify the event ID in 8-digits hexadecimal number.

イベント ID の設定が正しくありません

16 進数 8 桁で設定してください

画面に入力したイベント ID の情報に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

正しいイベント ID を入力して、再実行してください。

## KAVB0244-E

The settings for an event ID is incorrect.  
Specify the event ID in 8-digits hexadecimal number.

入力情報:入力値

イベント ID の設定が正しくありません

16 進数 8 桁で設定してください

入力情報:入力値

画面に入力したイベント ID の情報に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

正しいイベント ID を入力して、再実行してください。

## KAVB0245-E

Specify conditions for 入力情報.

入力情報の条件を設定してください

画面上の条件を設定する項目に、何も条件が設定されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定してから、再実行してください。

## KAVB0246-E

The filter condition exceeds the maximum length. (Maximum length:最大長)

フィルター条件の最大長 (最大長) を超えて指定しています

画面で設定したフィルター条件文の合計の長さが、フィルター条件文の最大長を超えています。

- イベント検索の場合：JP1/Base (06-00 以前) は 4,096 バイト、JP1/Base (06-51) は 65,536 バイト
- イベント取得フィルターの場合：除外条件群または適用中の共通除外条件群を設定しているときは 65,536 バイト、設定していないときは 61,440 バイト。ただし、共通除外条件の動作モードが拡張モードの場合は、イベント取得条件は 65,536 バイト、共通除外条件 (拡張) は 10,485,760 バイト。
- 重要イベントフィルターの場合：65,536 バイト
- ユーザーフィルターの場合：1,048,576 バイト
- 表示フィルターの場合：1,048,576 バイト

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0247-E

入力情報 exceeds the maximum number of items that can be input. (Maximum number: 個数)  
入力情報は入力可能個数（個数個）を超えて指定しています

設定した条件が、その項目で入力できる個数を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0248-E

The settings for a regular expression is incorrect.  
正規表現の指定が正しくありません

指定した正規表現に誤りがあります。

(S)

イベント検索の場合は、イベント検索は実行されません。この場合、[イベント検索条件設定] 画面を閉じ、[イベントコンソール] 画面に戻ります。

次のフィルターの設定画面では、メッセージダイアログボックスが表示されたあとに再度入力を待ちます。

- イベント取得フィルター
- 重要イベントフィルター
- ユーザーフィルター
- 表示フィルター

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0249-W

The filter condition exceeds the maximum length. (最大長) The filtercondition can be added or deleted, but cannot be added or copied.



フィルター条件が最大長（最大長）を超えています。フィルター条件の編集および削除はできますがフィルター条件の追加および複製はできません

画面で設定したフィルター条件文の合計の長さが、フィルター条件文の最大長を超えています。このため、フィルター条件文の追加および複製はできません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0250-I

Do you really want to delete this filter?

このフィルターを削除してよろしいですか？

選択したフィルターを削除してもよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択したフィルターを削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、削除しません。

#### KAVB0251-E

The search cannot be performed for the specified condition because the search host's JP1/Base does not support the exclusion condition.

検索ホストの JP1/Base が除外条件に対応していないため、指定された条件では検索できません

検索対象となるホストの JP1/Base が 08-50 より前のバージョンであるため、除外条件を含むイベント検索が実行できませんでした。

(S)

イベント検索は実行されません。

(O)

イベント検索の実行先に指定したホストの、JP1/Base のバージョンを確認してください。除外条件を指定する場合は、JP1/Base 08-50 以降がインストールされている必要があります。

#### KAVB0252-E

入力情報 is either duplicated.

入力情報が重複しています

指定した値はすでに指定されています。

(S)

再度，入力を待ちます。

(O)

条件を見直してから，再度実行してください。

### KAVB0253-Q

Are you sure you want to delete the selected 項目?  
選択中の項目を削除してよろしいですか？

選択中の項目を削除してもよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると，選択している項目を削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると，選択している項目を削除しません。

### KAVB0255-E

The common extended attribute is already defined.  
指定した属性名はすでに設定されています

固有の拡張属性は AND 条件で入力するため，条件を重複して入力はできません。

(S)

再度，入力を待ちます。

(O)

条件を見直して，再度設定してください。

### KAVB0256-E

The specified condition group name already exists.  
指定した条件群名はすでに設定されています

条件群一覧には重複した条件群名の指定はできません。

(S)

再度，入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して，再実行してください。

### KAVB0257-I

Are you sure you want to delete this condition group?

この条件群を削除してよろしいですか？

選択した条件群を削除してもよいかの確認です。

- (O) [はい] ボタンをクリックすると、選択した条件群を削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択した条件群を削除しません。

#### KAVB0258-E

Specify the condition group name.  
条件群名を指定してください

条件群名が設定されていません。

- (S) 再度、入力を待ちます。
- (O) 条件群名を設定して、再実行してください。

#### KAVB0259-E

The specified filter name already exists.  
指定したフィルター名はすでに存在します

同じフィルター名は指定できません。

- (S) 再度、入力を待ちます。
- (O) 条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0260-E

A filter being applied cannot be deleted.  
適用中のフィルターは削除できません

指定したフィルターが適用中であるため、削除できません。

- (S) 処理を終了し、[イベント取得条件一覧] 画面に戻ります。
- (O) 適用中のフィルターをほかの条件に切り替え、再実行してください。

## KAVB0261-I

The search is complete.  
検索が終了しました

イベント検索の終了を通知します。

## KAVB0262-I

The search reached the end of the event database.  
イベント DB の最後尾まで検索が終了しました

イベント DB の先頭から最後尾までイベント検索が終了しました。これ以降に登録されたイベントを検索する場合は、[次イベント検索] ボタンをクリックしてください。

(S)

処理を終了します。

## KAVB0263-I

The search reached the beginning of the event database.  
イベント DB の先頭まで検索が終了しました

イベント DB の最後尾から先頭までのイベント検索が終了しました。

(S)

処理を終了します。

## KAVB0264-I

The search is complete.  
検索が終了しました

検索時のイベント取得件数分のイベント検索が終了しました。

(S)

処理を終了します。

## KAVB0265-I

The search has reached the end of the Integrated Monitoring Database.  
統合監視 DB の最後尾まで検索が終了しました

統合監視 DB の先頭から最後尾までのイベント検索が終了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVB0266-I

The search has reached the beginning of the Integrated Monitoring Database.  
統合監視 DB の先頭まで検索が終了しました

統合監視 DB の最後尾から先頭までのイベント検索が終了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVB0267-E

1 件の共通除外条件(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超えています。(条件群の上限サイズ:65536byte)

画面で設定した共通除外条件 1 件当たりの拡張モードの共通除外条件群のフィルターサイズが上限サイズを超えています。

(S)

再度, 入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して, 再度実行してください。

#### KAVB0270-E

一部の制御でイベント取得フィルターの切り替えに失敗しました

一部の制御でイベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターの切り替え処理を打ち切ります。

(O)

マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか確認してください。エラーメッセージが出力されている場合, そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。出力されていない場合は資料採取ツールを使用して資料採取し, 管理者に連絡してください。

#### KAVB0271-E

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターの切り替え処理を打ち切ります。

(O)

マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか確認してください。エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。出力されていない場合は、統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されていることを確認してから再度実行してください。KAVB4003-I のメッセージが出力されていない、かつ統合監視 DB を使用している場合は、jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認し、統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されたあと、再度実行してください。問題が解決されない場合は、資料採取ツールを使用して資料採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0281-E

The user(入力情報) is either duplicated in a field or defined in another user's filter.

ユーザー（入力情報）はフィールド内で重複しているか、他のユーザーフィルターに定義されています

同一ユーザーが複数回指定されています。または、ほかのユーザーフィルターですでに定義されています。一人のユーザーは一つのユーザーフィルターにしか定義できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

対象ユーザー名を正しく入力してから、再実行してください。

## KAVB0282-E

You cannot use a space character as a delimiter to specify 入力情報.

入力情報の指定に区切り記号として空白が使用されています

複数のユーザーを設定するときに、区切り文字に空白が使用されています。複数のユーザーを入力するときは、区切り文字にコンマを使用してください。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

不正な空白の入力を修正してから、再実行してください。

## KAVB0291-E

Failed to obtain detailed event information.

イベント詳細情報の取得に失敗しました

詳細表示するイベントの情報をセントラルコンソールマネージャーから取得する際に、予期できない障害を検出しました。

(S)

イベント詳細情報の表示処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM - View および JP1/IM - Manager の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0292-I

Details cannot be displayed because no event is selected.

イベントが選択されていないため、詳細を表示できません

[イベントコンソール] 画面でイベントが選択されていないため、[イベント詳細] 画面に詳細情報を表示できません。

(O)

[イベントコンソール] 画面でイベントを一つ選択してください。

#### KAVB0293-I

Details cannot be displayed because multiple events are selected.

イベントが複数選択されているため、詳細を表示できません

[イベントコンソール] 画面でイベントが複数選択されているため、[イベント詳細] 画面に詳細情報を表示できません。

(O)

[イベントコンソール] 画面でイベントを一つ選択してください。

#### KAVB0301-E

System error occurred in Tool Launcher.

統合機能メニュー画面でシステムエラーが発生しました

[統合機能メニュー] 画面処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0311-W

An event that is not in the manager was in the repeated events.  
繰り返しイベントの中に、マネージャーにないイベントがありました

マネージャーにない繰り返しイベントがありました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB0312-E

The maximum number of events that can be changed at a time is スクロールバッファ最大数.  
Please select the events again.

一度に変更できるイベントは、最大スクロールバッファ最大数件です。イベントを選択し直して下さい

一度に対処状況を変更できるイベント件数は、JP1/IM - View の [イベントコンソール] 画面では最大 2,000 件です。選択しているイベントの総数 (非集約イベント, 集約イベント, 集約中イベント, および繰り返しイベントを含む) が、最大件数を超過しています。

(S)

処理を中断します。対処状況は変更しません。

(O)

選択するイベントの総数 (非集約イベント, 集約イベント, 集約中イベント, および繰り返しイベントを含む) が、JP1/IM - View の [イベントコンソール] 画面は 2,000 件以下になるように選択してください。

## KAVB0321-Q

Are you sure you want to save the CSV file now? (file=ファイル名)  
CSV ファイルを保存します。よろしいですか?  
(ファイル名=ファイル名)

ファイルを保存するかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを保存します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを保存しません。

## KAVB0322-Q

Are you sure you want to overwrite the existing CSV file? (file=ファイル名)  
CSV ファイルを上書きしますか?



(ファイル名=ファイル名)

ファイルを上書きするかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存しません。

#### KAVB0323-E

An attempt to open the CSV file has failed. (details = 詳細情報)

CSV ファイルのオープンに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

CSV ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

CSV ファイルの出力処理を中断します。

(O)

詳細情報に示される情報に対応した対処をしてから、CSV 出力を再実行してください。問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0324-E

An attempt to lock the CSV file has failed. (file=ファイル名)

CSV ファイルをロックすることができませんでした

(ファイル名=ファイル名)

ファイルの排他権取得に失敗しました。

(S)

CSV ファイルの出力処理を中断します。

(O)

次の確認をしてから、CSV 出力を再実行してください。

- ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか。
- 一つのファイルに対して同時に出力していないか。

#### KAVB0325-E

An attempt to output the CSV file has failed. (file=ファイル名)

CSV ファイルの出力に失敗しました

(ファイル名=ファイル名)

ファイルの出力に失敗しました。

- (S)  
CSV ファイルの出力処理を中断します。
- (O)  
CSV ファイル出力先の空き容量が不足していないか確認し、CSV 出力を再実行してください。

#### KAVB0326-E

A memory shortage occurred during output of the CSV file. (file=ファイル名)  
CSV ファイルの出力処理でメモリー不足が発生しました  
(ファイル名=ファイル名)

CSV ファイルの出力処理でメモリー不足が発生しました。

- (S)  
CSV ファイルの出力処理を中断します。
- (O)  
空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、CSV 出力を再実行してください。

#### KAVB0327-E

The file cannot be saved because the file name is too long. (file=ファイル名)  
ファイル名が長すぎるため保存することができません  
(ファイル名=ファイル名)

CSV ファイルのファイル名が絶対パスで 259 文字を超えています。

- (S)  
CSV ファイルの出力処理を中断します。
- (O)  
ファイル名を絶対パスで 259 文字以下にしてから、CSV 出力を再実行してください。

#### KAVB0328-E

The file cannot be saved because of an invalid file name. (file=ファイル名)  
無効なファイル名のため保存することができません  
(ファイル名=ファイル名)

無効なファイル名のため保存できません。無効なファイル名は次のとおりです。

- 1.「: , ? , " , < , > , |」のどれかの文字が含まれている場合。

2. [CON, PRN, AUX, NUL, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9] のどれかと完全一致する場合 (小文字も含む)。

3. 1., 2.のどちらかのファイル名に加え, 「.xxx」の場合 (xxx は任意の文字)。

(例) CON.txt, PRN.txt.csv

(S)

CSV ファイルの出力処理を中断します。

(O)

ファイル名を変更してから, CSV 出力を再実行してください。

## KAVB0329-E

An I/O error occurred during output of the CSV file. (file=ファイル名)

CSV ファイルの出力処理で入出力エラーが発生しました

(ファイル名=ファイル名)

CSV ファイルの出力処理で入出力エラーが発生しました。

(S)

CSV ファイルの出力処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAVB0341-W

The event database on ホスト名 does not contain the related event. (serial number=イベント DB 内通し番号)

関連イベント (イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号) がホスト名のイベントデータベースにありませんでした

表示しようとした関連イベントがホスト名のイベント DB にありません。

この現象は, マネージャー上のイベント DB の容量を超えて新しいイベントが到着しているか, イベント DB を削除した場合に発生します。

(S)

関連イベントの表示を続行します。

(O)

次の確認をしてください。

- イベント DB が削除されていないか。
- イベント DB の容量が小さい値になっていないか。

## KAVB0342-W

The related event cannot be displayed because it is filtered by the user filter. (serial number in the event database= イベント DB 内通し番号)

関連イベント（イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号）はユーザーフィルターによってフィルタリングされたため、表示できません

表示しようとした関連イベントはユーザーフィルターによってフィルタリングされたため、表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

ユーザーフィルターの条件を見直してください。

## KAVB0343-E

A system error occurred on the server during acquisition of the related event. (server name = サーバ名, reason = 要因)

関連イベントを取得するときにサーバでシステムエラーが発生しました。サーバ名:サーバ名, 要因:要因

関連イベントを取得するときにサーバでシステムエラーが発生しました。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

ネットワークに異常が発生していないか確認してください。

問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0344-E

A memory shortage occurred on the server during acquisition of the related event. (server name = サーバ名)

関連イベントを取得するときにサーバでメモリー不足が発生しました。サーバ名:サーバ名

関連イベントを取得するときにサーバでメモリーが不足しました。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

空きメモリー容量が十分に確保されているか確認してください。

問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0345-E

The event buffer on the server cannot accept the acquisition of the related event. (server name = サーバ名)

サーバ上のイベントバッファが関連イベントの取得を受け付けられる状態ではありません。サーバ名:サーバ名

サーバ上のイベントバッファが関連イベントの取得を受け付けられる状態ではありません。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

時間をおいて再実行してください。

## KAVB0346-E

A system error occurred while acquiring the related event from the event service on ホスト名. (reason = 要因)

関連イベントを取得するときにホスト名のイベントサービスでシステムエラーが発生しました。要因: 要因

ホスト名のイベントサービスから関連イベントを取得するときにシステムエラーが発生しました。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合は、イベントサービス起動後、マネージャーを再起動して回復してください。

問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0347-E

The related event could not be acquired because it was not possible to connect to the event service on ホスト名.

ホスト名のイベントサービスに接続できなかったため、関連イベントを取得できませんでした

マネージャーとイベントサービスとの接続が確立できません。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合は、イベントサービス起動後、マネージャーを再起動して回復してください。

## KAVB0349-E

The related event could not be acquired because a communication error occurred with the event service on **ホスト名**.

**ホスト名**のイベントサービスとの通信でエラーが発生したため、関連イベントを取得できませんでした

ホスト名のイベントサービスから関連イベントを取得するときに通信エラーが発生しました。次の要因が考えられます。

- マネージャーが起動されていない。
- イベントサービスが起動されていない。
- 処理要求の負荷が一時的に高くなっている。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

要因に従って対処してください。

- マネージャーが起動されているか確認してください。
- イベントサービスが起動されているか確認してください。
- リトライしてください。何度リトライしても成功しない場合は、ビューアーを再起動してリトライしてください。

## KAVB0350-W

Manager host identification processing failed. The status of the related event cannot be changed.

マネージャーホスト識別処理に失敗しました。関連イベントに対して対処状況の変更はできません

関連イベント取得先ホストとマネージャーホストの識別処理に失敗したため、対処状況の変更ができません。

(S)

関連イベントを表示しますが、表示された関連イベントに対して対処状況の変更ができません。

(O)

表示対象イベントの発行元ホストとの通信に問題がないか確認してから、再実行してください。

確認したあとに再実行しても回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0351-E

The related event cannot be displayed because the data necessary for acquiring the event is not present.

関連イベントの取得に必要なデータがないため、関連イベントを表示できません

内部エラーが発生したため関連イベントを表示できません。

(S)

関連イベントは表示できませんが、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0352-E

The related event could not be acquired because an error occurred. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号)

エラーが発生したため、関連イベント（イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号）を取得できませんでした

エラーが発生したため、関連イベントを取得できませんでした。

(S)

関連イベントの取得を中断します。

(O)

ダイアログボックスに表示されたメッセージ、または統合トレースログに出力されたメッセージを確認して、そのメッセージの対処方法に従ってください。

## KAVB0353-W

The integrated monitoring database on ホスト名 does not contain a related event. (serial number = イベント DB 内通し番号)

関連イベント（イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号）がホスト名の統合監視 DB にありませんでした

表示しようとした関連イベントがホスト名の統合監視 DB にありません。

この現象は、マネージャー上の統合監視 DB の容量を超えて新しいイベントが到着しているか、相関中、または集約中に統合監視 DB を有効から無効に変更した場合に発生します。

(S)

関連イベントの表示を続行します。

(O)

統合監視 DB の有効、無効を変更した場合は、再ログインしてください。

#### KAVB0354-I

A related event (event database serial number = イベント DB 内通し番号) cannot be displayed because the user does not have the permissions necessary to reference the event.

関連イベント(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号)を参照する権限がないため、表示できません

表示しようとした関連イベントに対しては、参照する権限がないため表示できません。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB0361-E

An attempt to copy to the clipboard failed because the clipboard is full (バイト数 bytes).

クリップボードへコピーする情報が制限値 (バイト数バイト) を超えているため、クリップボードへのコピーに失敗しました

クリップボードへコピーする情報が制限値 (バイト数) を超えているため、クリップボードへのコピーに失敗しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

選択している件数を減らして、再実行してください。

#### KAVB0362-E

An attempt to copy to the clipboard failed because the clipboard is being used.

クリップボードが使用中のため、クリップボードへのコピーに失敗しました

クリップボードがほかのアプリケーションにより使用中のため、クリップボードへのコピーに失敗しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

ほかのアプリケーションがクリップボードを使用していないか確認し、再実行してください。

#### KAVB0363-E

A memory shortage occurred during processing to copy to the clipboard.



クリップボードへのコピー処理でメモリー不足が発生しました

クリップボードへのコピー処理でメモリー不足が発生しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。

#### KAVB0364-E

An attempt to copy to the clipboard has failed. (reason = 要因)

クリップボードへのコピーに失敗しました。 要因:要因

クリップボードへのコピーに失敗しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0368-W

There are no events in the integrated monitoring database that were registered before the specified period.

指定期間より前に登録されたイベントが統合監視 DB にありません

ビューアーホストの時刻がマネージャーホストの時刻より遅れているため、指定期間より前に登録されたイベントが統合監視 DB にありません。

(S)

[表示開始位置の指定] 領域を無効にし、処理を続行します。

(O)

ビューアーホストの時刻がマネージャーホストの時刻より遅れています。ビューアーホストの時刻の設定を見直してください。

#### KAVB0371-E

The IM-View configuration file does not exist.

IM-View 設定ファイルが存在しません

IM-View 設定ファイルがありません。

(S)

デフォルトの値で処理を続行します。

(O)

定義ファイルを確認し、JP1/IM - View を再起動してください。定義ファイルに問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0372-E

An attempt to read the IM-View configuration file has failed. (reason = 要因)

IM-View 設定ファイルの読み込みに失敗しました。要因:要因

IM-View 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

デフォルトの値で処理を続行します。

(O)

アクセス権が正しく設定されているか確認し、JP1/IM - View を再起動してください。定義ファイルに問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0373-E

A value defined for an item (項目名) in the IM-View configuration file is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

IM-View 設定ファイルの項目 (項目名) に設定された値が不正です。デフォルト値 (デフォルト値) を使用します

メッセージに表示された IM-View 設定ファイルの項目の値に誤りがあります。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

IM-View 設定ファイルの値を修正し、JP1/IM - View を再起動してください。

#### KAVB0374-E

A value defined for an item (項目名) in the IM-View configuration file is outside the valid range. The default value (デフォルト値) will be used.

IM-View 設定ファイルの項目 (項目名) に設定された値が範囲外です。デフォルト値 (デフォルト値) を使用します

メッセージに表示された IM-View 設定ファイルの項目の値が範囲外です。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

IM-View 設定ファイルの値を修正し、JP1/IM - View を再起動してください。

## KAVB0381-W

An error occurred during initialization processing necessary for outputting to the integrated trace log.

統合トレースログ出力の初期化処理でエラーが発生しました

統合トレースログ出力の初期化処理でエラーが発生しました。統合トレースログにメッセージを出力できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のサービスが起動していることを確認してください。

- Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2

起動していない場合は、サービスを起動し、JP1/IM - View を再起動してください。

サービスが起動している場合、メッセージダイアログボックスを閉じて、起動した JP1/IM - View を再起動してください。

同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0391-E

The definition of the settings file(ファイル名) for consolidated display of repeated events is invalid. (maintenance information = 保守情報)

繰り返しイベントの集約設定ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

繰り返しイベントの集約設定ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

繰り返しイベントの集約設定ファイルからのデータの読み込みを停止し、繰り返しイベントの集約表示の設定がされていない状態で、処理を続行します。

(O)

[ユーザー環境設定] 画面で、繰り返しイベントの集約表示の設定を再度行ってください。

または、繰り返しイベントの集約設定ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0392-E

The definition of the view filter definition file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

表示フィルター定義ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

表示フィルター定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

表示フィルター定義ファイルからのデータの読み込みを停止し、表示フィルターの設定がされていない状態で、処理を続行します。

(O)

[表示フィルター一覧] 画面で、表示フィルターの設定を再度行ってください。

または、表示フィルター定義ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0393-E

The definition of the event acquisition filter definition file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

イベント取得フィルター定義ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

イベント取得フィルター定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

イベント取得フィルター定義ファイルからのデータの読み込みを停止し、処理を続行します。JP1/IM - View から [システム環境設定] 画面を起動できなくなります。

(O)

イベント取得フィルター定義ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしていない場合、JP1/IM - Manager を停止して、次の手順で初期状態のイベント取得フィルター (JP1/SES イベント以外を取得するフィルター) にリストアしてください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、イベント取得フィルターの設定を再度行ってください。

初期状態のイベント取得フィルターにリストアする手順を次に示します。

Windows の場合：

物理ホストのリストア手順：

```
cd Console パス¥conf¥console¥filter
copy receive_filter.conf.model receive_filter.conf
```

論理ホストのリストア手順：

```
cd 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter
copy receive_filter.conf.model receive_filter.conf
```

UNIX の場合：

物理ホストのリストア手順：

```
cd /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter
cp -p receive_filter.conf.model receive_filter.conf
```

論理ホストのリストア手順：

```
cd 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter
cp -p receive_filter.conf.model receive_filter.conf
```

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0394-E

The definition of the event acquisition filter list file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

イベント取得フィルター一覧格納ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

イベント取得フィルター一覧格納ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

イベント取得フィルター一覧格納ファイルからのデータの読み込みを停止し、処理を続行します。  
JP1/IM - View から [システム環境設定] 画面を起動できなくなります。

(O)

イベント取得フィルター一覧格納ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

イベント取得フィルター一覧格納ファイルをバックアップしていない場合、JP1/IM - Manager を停止して、次の手順でイベント取得フィルター一覧格納ファイルを削除してください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、イベント取得フィルターの設定を再度行ってください。

イベント取得フィルター一覧格納ファイルを削除する手順を次に示します。

Windows の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd Console パス¥conf¥console¥filter
```

```
del ファイル名 (receive_filter_list.conf)
```

論理ホストの削除手順：

```
cd 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter
```

```
del ファイル名 (receive_filter_list.conf)
```

UNIX の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (receive_filter_list.conf)
論理ホストの削除手順：
cd 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (receive_filter_list.conf)
```

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0395-E

The definition of the event search filter definition file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

イベント検索フィルター定義ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

イベント検索フィルター定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

イベント検索フィルター定義ファイルからのデータの読み込みを停止し、イベント検索条件の設定がされていない状態で、処理を続行します。

(O)

[イベント検索条件設定] 画面で、イベント検索条件の設定を再度行ってください。

または、イベント検索フィルター定義ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0396-E

The definition of the severe event(s) filter definition file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

重要イベントフィルター定義ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

重要イベントフィルター定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

重要イベントフィルター定義ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

重要イベントフィルター定義ファイルをバックアップしていない場合、JP1/IM - Manager を停止して、次の手順で重要イベントフィルター定義ファイルを削除してください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、重要イベントフィルターの設定を再度行ってください。

重要イベントフィルター定義ファイルを削除する手順を次に示します。

Windows の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd Console パス¥conf¥console¥filter
del ファイル名 (serious_filter_ex.conf)
```

論理ホストの削除手順：

```
cd 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter
del ファイル名 (serious_filter_ex.conf)
```

UNIX の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (serious_filter_ex.conf)
```

論理ホストの削除手順：

```
cd 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (serious_filter_ex.conf)
```

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0397-E

The definition of the event receiver filter definition file(ファイル名) is invalid. (maintenance information = 保守情報)

ユーザーフィルター定義ファイル(ファイル名)の定義が不正です (保守情報:保守情報)

ユーザーフィルター定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

ユーザーフィルター定義ファイル (ファイル名) をバックアップしている場合、JP1/IM - Manager を停止して、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。

ユーザーフィルター定義ファイルをバックアップしていない場合、JP1/IM - Manager を停止して、次の手順でユーザーフィルター定義ファイルを削除してください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、ユーザーフィルターの設定を再度行ってください。

ユーザーフィルター定義ファイルを削除する手順を次に示します。

Windows の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd Console パス¥conf¥console¥filter
del ファイル名 (user_filter_ex.conf)
```

論理ホストの削除手順：

```
cd 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter
del ファイル名 (user_filter_ex.conf)
```

UNIX の場合：

物理ホストの削除手順：

```
cd /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (user_filter_ex.conf)
```

論理ホストの削除手順：

```
cd 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter
rm ファイル名 (user_filter_ex.conf)
```

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0401-E

System error occurred in the command execution screen.

コマンド実行画面でシステムエラーが発生しました

[コマンド実行] 画面処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0411-E

Cannot initialize the command execution session.

Reason:要因

コマンド実行セッションを初期化する事ができません

要因：要因

コマンド実行制御との初期化中に障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

通信暗号化機能を使用していない場合は、表示される要因に従って、次の点を確認してください。

- 「ポート番号が無効です」 「The port number is invalid.」  
指定したポート番号を確認してください。
- 「JP1/Base への接続に失敗しました」 「Fail to connect JP1/Base.」



接続サーバの JP1/Base に接続できませんでした。接続サーバの JP1/Base が起動されていないおそれがあります。接続サーバの状態を確認してください。また、通信障害が発生しているおそれがあります。サーバとの接続状態を確認してください。

- 「接続がタイムアウトしました」 「Connection has timed out.」  
サーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。
- 「サーバからのデータ受信に失敗しました」 「There is a bad response from the server.」
- 「データの送受信に失敗しました」 「Socket error occurred.」
- 「接続に失敗しました」 「Connection has failed.」  
通信障害が発生しています。サーバとの接続状態を確認してください。
- 上記以外の要因  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0412-E

An error occurred in terminating the command execution session.

Reason: **要因**

コマンド実行セッションを終了する時にエラーが発生しました

要因： **要因**

コマンド実行制御との終了処理中に障害を検出しました。

(S)

その処理の実行を打ち切ります。

(O)

KAVB0411-E を参照してください。

## KAVB0413-E

An error occurred in executing the command.

Reason: **要因**

コマンド実行時にエラーが発生しました

要因： **要因**

コマンドの実行中に、コマンド実行制御で障害を検出しました。

(S)

処理の実行を打ち切ります。

(O)

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

通信暗号化機能を使用していない場合は、表示される要因に従って入力した値の長さを確認後、再実行してください。

- 「ホスト名の入力値の長さが不正です」 「The length of the hostname is incorrect.」
- 「コマンド長が不正です」 「The length of the command is incorrect.」
- 「環境変数ファイル名の入力値の長さが不正です」 「The length of the environment parameter is incorrect.」

上記以外は、KAVB0411-E を参照してください。

## KAVB0414-E

An error occurred while receiving the execution result of command.

Reason: **要因**

コマンド実行結果受信中にエラーが発生しました

要因: **要因**

コマンドの実行結果を受信中に、コマンド実行制御で障害を検出しました。実行中のコマンドまたは先行入力されたコマンドの実行結果は取得できません。

(S)

その処理の実行を打ち切ります。

(O)

KAVB0411-E を参照してください。

## KAVB0415-E

実行ホスト名に指定された業務グループ、または監視グループが定義されていないため、コマンドが実行できません。(実行ホスト名: **実行ホスト名**)

実行ホスト名に指定した業務グループ、または監視グループが定義されていないため、コマンドを実行できませんでした。

このメッセージは、JP1/Base の jccomdshow コマンドでは確認できません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

実行ホスト名に指定した業務グループ、または監視グループを見直して再度実行してください。それでも実行できない場合は、システム管理者に連絡し、業務グループの設定を確認してください。

## KAVB0416-E

実行ホスト名に指定されたホストが管理対象でないため、コマンドが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

実行ホスト名に指定したホストが管理対象でないため、コマンドが実行できませんでした。

このメッセージは、JP1/Base のjcocmdshow コマンドでは確認できません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

実行ホスト名に指定したホストを見直して再度実行してください。それでも実行できない場合は、システム管理者に連絡し、業務グループの設定を確認してください。

## KAVB0417-E

実行ホスト名に指定された業務グループに対してコマンドを実行する権限がないため、コマンドが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

実行ホスト名に指定した業務グループに対してコマンドを実行する権限がないため、コマンドを実行できませんでした。

このメッセージは、JP1/Base のjcocmdshow コマンドでは確認できません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

実行ホスト名に指定した業務グループ、または監視グループを見直して再度実行してください。それでも実行できない場合は、システム管理者に連絡し、業務グループの設定を確認してください。

## KAVB0418-E

実行ホスト名に指定されたホストに対してコマンドを実行する権限がないため、コマンドが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

実行ホスト名に指定したホストにはコマンドを実行する権限がないため、コマンドを実行できませんでした。

このメッセージは、JP1/Base のjcocmdshow コマンドでは確認できません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

実行ホスト名に指定したホストを見直して再度実行してください。それでも実行できない場合は、システム管理者に連絡し、業務グループの設定を確認してください。

#### KAVB0419-E

実行ホスト名に指定されたホスト名と同じ名称のホストグループが定義されているため、コマンドが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

ホストグループに対してコマンドを実行することはできません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡し、ホストグループの設定を見直してください。

#### KAVB0422-E

A host is not defined for the business group or monitoring group. (group name = グループ名)  
業務グループ、または監視グループにホストが定義されていません。(グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループにホストが定義されていないため、コマンドが実行できませんでした。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループにホストが定義されているかシステム管理者に確認してください。

#### KAVB0423-E

The business group or monitoring group is not defined. (group name = グループ名)  
業務グループ、または監視グループが定義されていません。(グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていないため、コマンドが実行できませんでした。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループが定義されているかシステム管理者に確認してください。

## KAVB0424-E

A execution host name is invalid.

実行ホスト名が不正です

実行ホスト名が不正なため、処理を続行できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行ホスト名を見直してから再度実行してください。

## KAVB0451-W

Failed to read the input history.

入力履歴の読み込みに失敗しました

入力履歴の読み込みに失敗しました。

(S)

入力履歴情報がない状態で、処理を続行します。

## KAVB0452-W

Failed to save the input history.

入力履歴の保存に失敗しました

入力履歴の書き込みに失敗しました。

(S)

入力履歴情報を反映しないで、処理を続行します。

## KAVB0502-I

Are you sure to close without pressing the "Apply" button?

適用ボタンが押されていませんが終了してよろしいですか？

設定内容は [適用] ボタンをクリックしないと有効になりません。[適用] ボタンをクリックしないで画面を終了しようとしています。

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容を反映しないで画面を終了します。[いいえ] ボタンをクリックすると、画面を終了しません。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容を反映しないで画面を終了します。[いいえ] ボタンをクリックすると、画面を終了しません。

#### KAVB0503-I

Are you sure to delete this line?

この行を削除してよろしいですか？

選択行を削除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択行を削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択行を削除しません。

#### KAVB0504-E

Failed to obtain the result of an action.

アクション結果の取得に失敗しました

何らかの理由で、アクション結果情報を取得できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

操作し直してください。

#### KAVB0505-E

Failed to read/write/update the action definition.

アクション定義の読み込み／書き込み／変更に失敗しました

何らかの理由で、アクション定義の読み込み、書き込み、または変更ができませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

操作し直してください。

#### KAVB0507-E

Do not input ¥ at the end of an action.

アクションの末尾に¥は入力できません

アクションの末尾に"¥"が入力されました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力するアクションを見直して、再度操作してください。

#### KAVB0508-E

The settings for 設定項目 are incorrect.

設定項目の設定が正しくありません

設定項目の設定内容が正しくありません。

(S)

再度、設定を待ちます。

(O)

再度、操作してください。

#### KAVB0509-E

The extended attribute name was specified incorrectly.

You can use capital letters, numerics and underlines only.

The name must begin with a capital letter.

拡張属性名の指定が正しくありません

使用できる文字は、英大文字か数字かアンダーラインです

先頭は英大文字です

拡張属性名の指定が間違っています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

再度、操作してください。

#### KAVB0510-E

You can specify up to 100 discretionary extend attributes.

設定できる任意の拡張属性は 100 件以内です

設定した拡張属性の数が 100 件を超えています。

(S)

再度、設定を待ちます。

(O)

任意の拡張属性の数を 100 件以内にして、再設定してください。

#### KAVB0511-E

An action name is duplicated.

アクション名が重複しています

同じアクション名のアクションがすでに設定されています。

同じアクション名は指定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

アクション名を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0512-E

The combination of comparison conditions among multiple event attributes that have the same name is invalid.

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です

同一属性に対するイベント条件の比較キーワードの組み合わせが不正です。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

イベント条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0513-Q

One or more event conditions have not been set up.

The event conditions that have not been set up will be excluded. Do you want to continue?

未設定のイベント条件があります。

未設定のイベント条件を除外してよろしいですか？

未設定のイベント条件があるため、未設定のイベント条件を除外してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、未設定のイベント条件を除外して処理を続行します。



[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

未設定のイベント条件を削除するか、イベント条件を設定してください。

#### KAVB0514-E

The total number of characters (bytes) in the operands exceeds the maximum (最大長).  
イベント条件の属性値の合計が最大長 (最大長) を超えています

設定したイベント条件の属性値の合計が最大長を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

イベント条件を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0515-E

When you specify an 実行オプション, specify an action.  
実行オプションが指定されています。  
アクションを指定してください

アクションを指定していない状態で実行オプションを指定しています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

実行内容を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB0516-E

イベント条件の属性値が最大長 (最大長) を超えています

設定したイベント条件の属性値が最大長を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

イベント条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB0517-W

Using the regular expression you specified, the processing to match JP1 events will take a long time. This will affect the performance of event reception. Are you sure you want to apply this expression?

cause: 要因

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのためイベント受信性能に影響があります。適用してよろしいですか？

要因: 要因

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのため、イベント受信性能に影響があります。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、入力した内容で適用されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、入力した内容は適用されません。

(O)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現を修正してください。

- 「先頭または末尾に「.\*」が指定されています」[".\*" is specified at the beginning or the end.]  
先頭または末尾に指定されている「.\*」を削除してください。
- 「「.\*」が連続して指定されています」[".\*" is specified repeatedly.]  
連続して指定されている個所の「.\*」を一つにしてください。

## KAVB0518-E

An action ID is duplicated.

アクション ID が重複しています

同じアクション ID のアクションがすでに設定されています。

同じアクション ID は指定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

アクション ID を設定し直して、再実行してください。

## KAVB0531-I

Are you sure to require re-execution?

再実行要求を行います。よろしいですか？

選択した自動アクションへの再実行要求を行ってよいかの確認です。

(○)

[はい] ボタンをクリックすると、再実行要求を行います。[いいえ] ボタンをクリックすると、再実行要求を行いません。

#### KAVB0532-I

The list of action results was updated.

更新しました

アクション結果一覧の更新が正常に終了しました。

#### KAVB0533-I

No action result corresponds to the update setting.

更新条件に該当するアクション結果がありません

更新条件に該当するアクション結果がありません。

次の原因が考えられます。

- 更新条件に合うアクション結果がない。
- アクション情報ファイルの情報が上書きされた。

(○)

更新条件を見直してください。

更新条件が正しい場合は、アクション情報ファイルの容量を見直してください。

#### KAVB0535-I

The cancel request will be executed. Is this OK?

キャンセル要求を行います。よろしいですか？

選択した自動アクションへのキャンセル要求を行ってよいかの確認です。

(○)

[はい] ボタンをクリックすると、キャンセル要求を行います。[いいえ] ボタンをクリックすると、キャンセル要求を行いません。

#### KAVB0536-I

The action is not in a re-executable state. Click the Refresh button in the **画面名** window, and then check the status.

アクションが再実行できる状態にありません。**画面名**で更新ボタンを押して状態を確認してください

アクションの再実行要求後、更新ボタンをクリックする前に再度アクションの再実行を要求しました。または、アクション情報ファイルにそのアクションのデータが存在しないため、アクションの再実行ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

画面名の [更新] ボタンをクリックして、最新のアクションの状態を確認してください。

## KAVB0551-E

The number of accumulated response-waiting events on the manager exceeded the maximum (2000).

マネージャーで滞留している応答待ちイベントが上限 2000 件を超えました

マネージャーで滞留している応答待ちイベントが上限を超えたため、マネージャーで滞留している最も古い応答待ちイベントの滞留が解除されました。

(S)

処理を続行します。

(O)

マネージャーの統合トレースログを確認し、応答待ちイベントの滞留が解除されたことを示すメッセージ KAVB1801-E の対処方法に従って対処してください。

対処が完了した場合、[イベントコンソール] 画面で滞留状態監視を通知復帰し、再度上限を超えた場合に滞留状態が通知されるようにしてください。

## KAVB0552-I

The response was successful.

応答に成功しました

応答処理が成功しました。

(S)

応答処理を終了し、[応答入力] 画面を更新します。

## KAVB0553-Q

A response will now be executed. Is this OK?

応答します。よろしいですか？

応答してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、応答します。[いいえ] ボタンをクリックすると、応答しません。

## KAVB0554-E

An attempt to respond failed.

(reason = 要因)

応答に失敗しました

要因:要因

応答処理が失敗しました。

(S)

応答処理を打ち切ります。

(O)

表示される要因に従って次の点を確認してください。

Fail to connect server.

サーバへの接続に失敗しました

応答待ちイベントを発行したサーバの JP1/Base に接続できませんでした。応答待ちイベントを発行したサーバの JP1/Base が起動されていないおそれがあります。応答待ちイベントを発行したサーバの状態を確認してください。また、通信障害が発生しているおそれがあります。応答待ちイベントを発行したサーバとの接続状態を確認してください。

Connection has timed out.

接続がタイムアウトしました

応答待ちイベントを発行したサーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。このメッセージが頻繁に出る場合は、応答待ちイベントに対する応答または状態確認のタイムアウト時間の設定を見直してください。

Socket error occurred.

データの送受信に失敗しました

通信障害が発生しています。応答待ちイベントを発行したサーバとのネットワークの状態を確認してください。

Invalid data was received from the program product that sent the response-waiting event.

応答待ちイベントを発行した PP から不正なデータを受信しました

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・ 応答待ちイベントを発行した製品の資料
- ・ JP1/IM - Manager の資料（資料採取ツールによる採取）

要因に応答待ちイベントを発行した製品のメッセージが出力されている場合

要因に表示される応答待ちイベントを発行した製品のメッセージの対処方法に従い対処してください。

Server is busy.

サーバが処理中です

接続先のサーバが処理中のため、要求が受け付けられませんでした。しばらく待ってから再実行してください。

There is no valid receiver for the response.

応答対象が見つかりません

応答待ちイベントを発行した製品の環境が不正のため、処理を実行できませんでした。応答待ちイベントを発行した製品の環境を見直してください。

上記以外の要因

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0555-E

An attempt to check the status failed.

(reason = 要因)

状態確認に失敗しました

要因:要因

応答待ちイベントに対応する応答先の状態確認が失敗しました。

(S)

[応答入力] 画面の表示を打ち切ります。

(O)

表示される要因に従って次の点を確認してください。

Fail to connect server.

サーバへの接続に失敗しました

応答待ちイベントを発行したサーバの JP1/Base に接続できませんでした。応答待ちイベントを発行したサーバの JP1/Base が起動されていないおそれがあります。応答待ちイベントを発行したサーバの状態を確認してください。また、通信障害が発生しているおそれがあります。応答待ちイベントを発行したサーバとの接続状態を確認してください。

Connection has timed out.

接続がタイムアウトしました

応答待ちイベントを発行したサーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。このメッセージが頻繁に出る場合は、応答待ちイベントに対する応答または状態確認のタイムアウト時間の設定を見直してください。

Socket error occurred.

データの送受信に失敗しました

通信障害が発生しています。応答待ちイベントを発行したサーバとのネットワークの状態を確認してください。

Invalid data was received from the program product that sent the response-waiting event.

応答待ちイベントを発行した PP から不正なデータを受信しました

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・ 応答待ちイベントを発行した製品の資料
- ・ JP1/IM - Manager の資料（資料採取ツールによる採取）

要因に応答待ちイベントを発行した製品のメッセージが出力されている場合

要因に表示される応答待ちイベントを発行した製品のメッセージの対処方法に従い対処してください。

Server is busy.

サーバが処理中です

接続先のサーバが処理中のため、要求が受け付けられませんでした。しばらく待ってから再実行してください。

There is no valid receiver for the response.

応答対象が見つかりません

応答待ちイベントを発行した製品の環境が不正のため、処理を実行できませんでした。応答待ちイベントを発行した製品の環境を見直してください。

上記以外の要因

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0556-I

The response cannot be accepted.

応答を受けられない状態です

応答先が応答を受けられない状態のため、応答しませんでした。

(S)

応答処理を終了し、[応答入力] 画面を更新します。

## KAVB0557-E

The selected response-waiting event does not exist in the file for accumulated response-waiting events.

選択中の応答待ちイベントの応答待ちイベント滞留ファイルに存在しません

選択中の応答待ちイベントの滞留が解除されたため、応答待ちイベント滞留ファイルに存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

イベント検索を行い、対象の応答待ちイベントの状態を確認してください。

イベント検索を行っても対象の応答待ちイベントが表示されない場合は、応答待ちイベントがイベントDBにも存在しません。この場合は、JP1/IM - View から操作できません。JP1/IM - View から操作できなくなった応答待ちイベントに回答したい場合は、応答待ちイベントの発行元で対処してください。

## KAVB0558-E

Failed to obtain the selected response-waiting event. Cannot continue processing.  
応答待ちイベントの取得に失敗しました。処理を続行できません

応答待ちイベントの取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

マネージャの統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001~KAVB2000 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0559-Q

The selected events will now be released from the hold-and-accumulate state. Is this OK?  
選択中のイベントを滞留解除します。よろしいですか？

選択中のイベントの滞留を解除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のイベントの滞留を解除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のイベントの滞留を解除しません。

## KAVB0560-E

An attempt to release an event from the hold-and-accumulate state has failed.



## 滞留解除に失敗しました

滞留解除に失敗しました。

(S)

滞留解除処理を打ち切ります。

(O)

マネージャの統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001~KAVB2000 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0561-E

The operation (操作) cannot be performed because response-waiting event management function is disabled.

応答待ちイベント管理機能が無効のため、操作できません

応答待ちイベント管理機能が無効のため、操作できません。

(S)

操作を中断します。

(O)

応答待ちイベントを使用する場合は、jcoimdef コマンドを使用して応答待ちイベント管理機能を有効に設定した上で JP1/IM - View を再起動してください。

応答待ちイベントを使用しない場合は、JP1/IM - View を再起動してください。

## KAVB0562-E

A response was successful, but an attempt to release a response-waiting event from the hold-and-accumulate state has failed.

応答に成功しましたが、応答待ちイベントの滞留解除に失敗しました

応答待ちイベントの応答に成功しましたが、応答待ちイベント滞留ファイルから応答待ちイベントを削除する際にエラーが発生したため、応答待ちイベントを滞留解除できませんでした。

(S)

応答処理を打ち切ります。

(O)

マネージャの統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001~KAVB2000 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

問題解決後、応答待ちイベントを手動で削除する場合は、次の手順で操作してください。

1. 応答に成功した応答待ちイベントの対処状況を「対処済」にする。
2. 応答に成功した応答待ちイベントを [応答待ちイベント] ページで滞留解除する。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0563-E

The response and the release from the hold-and-accumulate state of the response-waiting event were successful, but an attempt to change the action status failed.

応答および応答待ちイベントの滞留解除に成功しましたが、対処状況の変更に失敗しました

応答待ちイベントの応答に成功し、応答待ちイベントの滞留解除に成功しましたが、対処状況の変更に失敗しました。

(S)

応答処理を打ち切ります。

(O)

マネージャの統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001~KAVB2000 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

問題解決後、応答待ちイベントの対処状況を手動で変更する場合は、次の手順で操作してください。

1. 応答に成功した応答待ちイベントを検索する。
2. 検索した応答待ちイベントの対処状況を「対処済」に変更する。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0601-E

System error occurred in analyzing the definition.

定義情報の解析中にシステムエラーが発生しました

定義情報の解析処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0602-E

Memory shortage occurred in analyzing the definition.

定義情報の解析中にメモリー不足が発生しました

定義情報の解析処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

十分なメモリーを確保したあと、再実行してください。

## KAVB0611-E

Failed to execute the application.

Command name :**実行コマンド**

Details:**詳細情報**

アプリケーションの実行に失敗しました

実行コマンド：**実行コマンド**

詳細情報：**詳細情報**

アプリケーション実行中に、何らかの障害が発生しました。

(S)

アプリケーションの実行を打ち切ります。

(O)

定義ファイルに指定した実行パス名およびアクセス権が正しく設定されているか確認してから、再実行してください。

## KAVB0612-E

Failed to execute the application due to error in command line specifications.

Command Name : **実行コマンド**

コマンドラインに誤りがあるためアプリケーションの実行に失敗しました

実行コマンド : **実行コマンド**

コマンドライン生成中に何らかの障害が発生しました。

(S)

アプリケーションの実行を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0624-W

A failure occurred in obtaining the application(アプリケーション実行 ID) 出力先 result .

Details: **詳細情報**

アプリケーション (アプリケーション実行 ID) 出力先結果取得中に障害が発生しました

詳細情報 : **詳細情報**

アプリケーション実行結果の取得処理中に、何らかの障害が発生しました。

(S)

アプリケーションの実行結果取得を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0651-W

The block (識別子) is multiply specified. The newer block is effective. (定義ファイル名:行番号)

ブロック (識別子) が重複して指定されています, 新しいブロックを有効にします (定義ファイル名:行番号)

同じ識別子を定義したブロックが複数定義されています。

(S)

以前に定義されたブロックを無効にし, 新しいブロックを有効にして, 解析処理を続行します。

(O)

識別子の指定を確認してから, 再実行してください。

## KAVB0652-W

An invalid descriptor (識別子) is specified. 処理内容 (定義ファイル名:行番号)  
不正な識別子 (識別子) が指定されています, 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

不正な識別子が指定されています。要因として次のどちらかが考えられます。

- システムで登録済みの識別子が指定されている。  
"default\_browser", "root"
- 識別子が指定されていない。

(S)

処理内容を実行し, 解析処理を続行します。

(O)

識別子の指定を確認してから, 再実行してください。

## KAVB0653-W

An invalid path name (パス名) is specified. 処理内容 (定義ファイル名:行番号)  
不正なパス名 (パス名) が指定されています, 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

指定したパス名がない, またはファイルではありません。

(S)

処理内容を実行し, 解析処理を続行します。

(O)

パス名の指定を確認してから, 再実行してください。

ただし, 連携製品をインストールしていない場合に出力されたときは, 対処不要です。

## KAVB0654-W

Failed to convert the registry definition (レジストリー定義). 処理内容 (定義ファイル名:行番号)  
レジストリー定義 (レジストリー定義) の変換に失敗しました, 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

レジストリーの変換に失敗しました。

(S)

処理内容を実行し, 解析処理を続行します。

(O)

レジストリーの指定を確認してから, 再実行してください。

## KAVB0655-W

The descriptor(識別子) specified is not defined. 処理内容 (定義ファイル名:行番号)  
指定された識別子 (識別子) は定義されていません, 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

指定された識別子が定義されていません。

(S)

処理内容を実行し, 解析処理を続行します。

(O)

アプリケーション定義ファイル, または機能メニュー定義ファイルのブロック定義を確認してから, 再実行してください。

ただし, 連携製品をインストールしていない場合に出力されたときは, 対処不要です。

## KAVB0656-W

The application execution definition is not specified for the block (識別子). 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

ブロック (識別子) にアプリケーション実行定義が指定されていません, 処理内容 (定義ファイル名:行番号)

指定された定義ブロックに, アプリケーション実行定義が指定されていません。

(S)

定義ブロックを無効にして, 解析処理を続行します。

(O)

定義ブロックに, アプリケーション実行定義を指定してから, 再実行してください。

ただし, 連携製品をインストールしていない場合に出力されたときは, 対処不要です。

## KAVB0657-W

The default browser is not registered.  
デフォルトブラウザが登録されていません

デフォルトの WWW ブラウザーが登録されていません。

(S)

デフォルトの WWW ブラウザーの定義を無効にして, 解析処理を続行します。

(O)

拡張子 (html) に WWW ブラウザーを割り当ててから, 再実行してください。

## KAVB0658-W

Failed to read the image file.

イメージファイルの読み込みに失敗しました

イメージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イメージを表示せず処理を続行します。

(O)

定義ファイルに指定したイメージファイル名を確認してから、再実行してください。

## KAVB0680-I

JP1/IM - Incident Master のインシデント登録画面を起動しました。イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号

JP1/IM - Incident Master の [インシデント登録] 画面を起動しました。

## KAVB0681-E

JP1/IM - Incident Master のインシデント登録画面が起動できませんでした。イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号 要因:要因

JP1/IM - Incident Master のインシデント登録画面の起動に失敗しました。

(S)

JP1/IM - Incident Master のインシデント登録画面の起動を打ち切ります。

(O)

要因に「URL が不正です」と表示された場合は、インシデント手動登録定義ファイルに記載された JP1/IM - Incident Master の URL が正しいか確認してください。間違っている場合は、修正してください。

要因に「ブラウザが起動できません」が表示された場合は、OS の HTML ファイルに関連づけられているアプリケーションの設定を見直してください。

そのほかの要因の場合は、資料採取ツールを使用して資料採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0682-I

JP1/IM - Service Support の [登録先プロセスワークボード選択] 画面を起動しました。イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号

JP1/IM - Service Support の [登録先プロセスワークボード選択] 画面を起動しました。

## KAVB0683-E

JP1/IM - Service Support の [登録先プロセスワークボード選択] 画面が起動できませんでした。イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号 要因:要因

JP1/IM - Service Support の [登録先プロセスワークボード選択] 画面の起動に失敗しました。

(S)

JP1/IM - Service Support の [登録先プロセスワークボード選択] 画面の起動を打ち切ります。

(O)

- 要因：URL が不正です  
インシデント手動登録定義ファイルに記載された JP1/IM - Service Support の URL が正しいか確認してください。間違っている場合は、修正してください。
- 要因：ブラウザが起動できません  
OS の HTML ファイルに関連づけられているアプリケーションの設定を見直してください。  
そのほかの要因の場合は資料採取ツールを使用して資料を採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0684-I

The default browser has started. (link = リンク先, host name = ホスト名, event database serial number = イベント DB 内通し番号)

デフォルトブラウザを起動しました。リンク先:リンク先 ホスト名:ホスト名 イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号

連携製品の画面を起動しました。

## KAVB0685-E

The default browser could not be started. (link = リンク先, host name = ホスト名, event database serial number = イベント DB 内通し番号, cause = 要因)

デフォルトブラウザを起動できませんでした。リンク先:リンク先 ホスト名:ホスト名 イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号 要因:要因

OS のデフォルトブラウザの起動に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

要因に「URL が不正です」と表示された場合は、イベントガイドメッセージファイルに記載された連携製品の URL が正しいか確認してください。間違っている場合は、修正してください。



## KAVB0686-W

The syntax of a parameter is invalid. 要因 (file name = ファイル名)  
パラメーターの記述が不適切です。要因 (ファイル名:ファイル名)

インシデント手動登録定義ファイルのパラメーターの記述が不正です。

(S)

該当するパラメーターを無視して処理を継続します。

(O)

要因に表示されたインシデント手動登録定義ファイルの誤りを訂正してください。

## KAVB0687-I

The Select Report Window in JP1/PFM - Web Console has started. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, host displaying performance report = 性能レポート表示ホスト名)

JP1/PFM - Web Console のレポート選択画面を起動しました。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 性能レポート表示ホスト:性能レポート表示ホスト名)

JP1/PFM - Web Console のレポート選択画面を起動しました。

## KAVB0688-E

The Select Report Window in JP1/PFM - Web Console could not be started. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, host displaying performance report = 性能レポート表示ホスト名, cause = 要因)

JP1/PFM - Web Console のレポート選択画面が起動できませんでした。(イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号, 性能レポート表示ホスト:性能レポート表示ホスト名, 要因:要因)

JP1/PFM - Web Console のレポート選択画面の起動に失敗しました。

(S)

JP1/PFM - Web Console のレポート選択画面の起動を打ち切ります。

(O)

OS の HTML ファイルに関連づけられているアプリケーションの設定を見直してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールを使用して資料採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0711-E

More than 10 AND conditions have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
AND 条件の指定が 10 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の指定が 10 件を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0712-E

An ampersand (&) cannot be specified for a parameter group of an action block at the front of an AND condition. (line = 行番号, file = ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0713-E

More than 256 event conditions have been specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0714-E

The parameter パラメーター名 cannot be specified because a rule has been specified for the action. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションにルールを指定しているためパラメーター名は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

ルール起動用のアクションを指定している場合は、ユーザー名・実行先ホスト名/グループ名・環境変数ファイル名を指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0715-E

The location of the version of the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

自動アクション定義のファイルバージョンの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルのバージョンをファイルの先頭以外に指定しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0716-E

The version information for the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

バージョン情報が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0717-E

The parameter パラメーター is missing. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター(パラメーター)が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターが指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0718-E

The shared block has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックが重複しています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックが重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0719-E

An invalid parameter is specified. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0720-E

An invalid parameter is specified in an action block. (action = アクション名, invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています (アクション名: アクション名, 無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0721-E

An action block does not end with an "end-act" statement. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションブロックの終端がありません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックの終端がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0722-E

An action name is not specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0723-E

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, an action name cannot be specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合はアクション名は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合、アクション名は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0724-E

An action name is duplicated. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0725-E

An action name exceeds the maximum length. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が最大長を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0726-E

The parameter パラメーター名 is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0727-E

No value is specified for the parameter パラメーター名. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の後に値が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0728-E

The parameter **パラメーター名** is specified more than once. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**が複数指定されています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0729-E

No value is specified for the parameter **パラメーター名**. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の後に値が指定されていません (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0730-E

The parameter **パラメーター名** is specified more than once. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**が複数指定されています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0731-E

The number of characters (bytes) in the parameter **パラメーター名** exceeds the maximum.  
(action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**,  
ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0732-E

The number of characters (bytes) in the parameter **パラメーター名** exceeds the maximum.  
(action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**,  
ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0733-E

An event condition block does not end with an "end-act" statement. (action = **アクション名**,  
line = **行番号**, file = **ファイル名**)

イベント条件ブロックの終端がありません (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル  
名: **ファイル名**)

イベント条件ブロックの終端がありません。



(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0734-E

The event condition block is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
イベント条件の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の記述が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0735-E

The event condition block attribute name is invalid. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
イベント条件の属性名の記述が不適切です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の属性名が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0736-E

The attribute name is not specifiable. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
指定できない属性名です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない属性名が指定されました。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0737-E

The comparison key word for the event conditions is invalid. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
イベント条件の比較キーワードの記述が不適切です (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の比較キーワードが不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0738-E

The comparison key word is not specifiable. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
指定できない比較キーワードです (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない比較キーワードが指定されました。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0739-E

The number of event condition operands exceeds the maximum number. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
イベント条件のオペランドが最大数を超過しています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが最大数を超過しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0740-E

An event condition operand is duplicated. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0741-E

An event ID operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0742-E

A regular expression is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

正規表現の指定が不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

正規表現の指定が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0743-E

A critical operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0744-E

An operand is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0745-E

The combination of comparison conditions among multiple event attributes that have the same name is invalid. (attribute = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0746-E

The number of characters (bytes) in an operand exceeds the maximum. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超えています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0747-E

The total number of characters (bytes) in the operands exceeds the maximum. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超えています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0748-E

The specified value for the parameter パラメーター名 is outside the valid range. (specified value= 指定値, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名に指定した値が範囲外です (指定値: 指定値, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターに指定している値が範囲外です。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0749-E

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, det cannot be specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0750-E

Version information of an action definition file is specified more than once. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0751-E

A shared block is specified after an action block. (line = 行番号, file = ファイル名)

共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0752-E

A shared block does not end with an "end-act" statement. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックの終端がありません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックの終端がありません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0753-E

An invalid parameter is specified for a shared block. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0754-E

The parameter パラメーター名 is specified more than once. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名が複数指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0755-E

No value is specified for the parameter パラメーター名. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の後に値が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

- (S) 処理を終了します。
- (O) マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0756-E

The parameter パラメーター名 is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

- (S) 処理を終了します。
- (O) マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0757-E

An error occurred while reading a action definition file. (reason = 要因, line = 行番号, file = ファイル名)  
アクション定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました (要因: 要因, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルの読み込み中に予期せぬエラーが発生しました。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0758-E

The size of the action definition file exceeds the upper limit. (file name = ファイル名, upper limit = 最大サイズ)  
アクション定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

アクション定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

- (S) アクション定義ファイルを読み込まないで処理を終了します。



(O)

アクション定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、再実行してください。

#### KAVB0759-E

The same action ID is specified more than once. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

aid が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定したアクション ID が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

#### KAVB0760-W

The action setting was discarded from JP1/IM - View because an action definition in which a business group or a monitoring group was specified as an execution host name is set in JP1/IM - Manager.

業務グループ、または監視グループを実行ホスト名に指定したアクション定義が JP1/IM - Manager に設定されているため、JP1/IM - View からのアクション設定を破棄しました

業務グループ、または監視グループを実行ホスト名に指定したアクション定義が JP1/IM - Manager に設定されているため、JP1/IM - View からのアクション設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

業務グループ、または監視グループを実行ホスト名に指定したアクション定義が JP1/IM - Manager に設定されている場合は、09-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB0761-W

The setting was discarded from JP1/IM - View because an definition in which a business group or a monitoring group was specified is set in JP1/IM - Manager. (definition type = 定義種別)  
JP1/IM - Manager の設定に業務グループ、または監視グループが指定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。(定義種別:定義種別)

業務グループ、または監視グループが JP1/IM - Manager の設定に指定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。業務グループ、または監視グループが JP1/IM - Manager の設定に指定されている場合は、09-50 より前の JP1/IM - View では設定できません。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

09-50 以降の JP1/IM - View を使用して設定してください。

## KAVB0762-E

You cannot specify an action ID if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は aid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、アクション ID は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0763-E

You cannot specify "valid" if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は valid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、valid は指定できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。

## KAVB0801-E

The option (オプション) is invalid.

オプション (オプション) は無効です

無効なオプションが指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

#### KAVB0802-E

An essential option (オプション) is not specified.

必須オプション (オプション) が指定されていません

必須オプションが指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

#### KAVB0803-E

The option (オプション) is duplicated.

オプション (オプション) が重複しています

オプションが重複して指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

#### KAVB0804-E

The argument of the option (オプション) is insufficient.

オプション (オプション) の引数が不足しています

オプションの引数が不足しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定した引数を見直してください。

## KAVB0805-E

The argument value (引数) of the option (オプション) is invalid.  
オプション (オプション) の引数値 (引数) が不正です

オプションの引数値が正しくありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションの指定値を正しく指定し直してください。

## KAVB0806-E

The maximum number of serial numbers in the event DB is 100. (Option : オプション)  
オプション (オプション) で指定できるイベント DB 内通し番号は最大 100 個までです

オプションで指定したイベント DB 内通し番号が 100 個を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したイベント DB 内通し番号を 100 個以下にしてください。

## KAVB0807-E

The option オプション and the option オプション cannot be specified at the same time.  
オプションオプションとオプションオプションを同時に指定することはできません

同時に指定できないオプションが指定されているため、実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

## KAVB0810-E

Specify an argument (引数値) after the option (オプション).  
オプション (オプション) のあとに引数値を指定してください

表示されたオプションのあとに引数値が指定されていないため、実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

表示されたオプションのあとに、引数値を指定してください。

## KAVB0811-E

When you specify a password, specify a host\_name and a user\_name.

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名を指定してください

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名も指定する必要があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名も指定してください。

## KAVB0821-E

The manager does not have the specified event. (Serial number: イベント DB 内通し番号)

The corresponding status of following events could not be changed.

指定されたイベント（イベント DB 内通し番号：イベント DB 内通し番号）がマネージャーにありません。

このイベント以降のイベントでは対処状況を変更できませんでした

指定したイベントがマネージャーにありません。このイベント以降のイベントの対処状況を変更しません。

(S)

処理を終了します。

## KAVB0822-E

The event status of the specified event (Serial number : イベント DB 内通し番号) could not be changed.

The corresponding status of following events could not be changed.

指定されたイベント（イベント DB 内通し番号：イベント DB 内通し番号）の対処状況をマネージャーに反映できませんでした。

このイベント以降のイベントでは対処状況を変更できませんでした

指定したイベントの対処状況をマネージャーに反映できませんでした。このイベント以降のイベントの対処状況は変更しません。

(S)

処理を終了します。

(O)

- イベントサービスが起動しているか確認してください。  
起動していなかった場合は、イベントサービスが起動してから、再実行してください。
  - 統合監視 DB を使用している場合は、次に示すメッセージがマネージャーの統合トレースログに出力されていないか確認し、出力されている場合は、メッセージの対方法に従ってください。
    - KAVB1663-E
    - KAVB1664-E
    - KAVB1665-E
    - KAVB1674-E
    - KAVB1675-E
    - KAVB1676-E
- 出力されていない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0823-E

The specified key (キー値) is invalid. Check the specified value.  
指定したキー値 (キー値) が誤っています。指定値を確認してください

指定したキー値が誤っています。

(S)

処理を終了します。

(O)

キー値を正しく指定してください。

## KAVB0824-E

The specified event is not an updateable event. (Serial number :イベント DB 内通し番号)  
This command will now stop.  
指定したイベント (イベント DB 内通し番号 : イベント DB 内通し番号) は更新できないイベントです。処理を中止します

更新できないイベントが指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

イベント DB 内通し番号の指定を見直してください。

## KAVB0825-E

A memory shortage occurred during execution of the command. (コマンド名)  
コマンド (コマンド名) を実行中にメモリー不足が発生しました

コマンド実行中にメモリー不足が発生しました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
コマンドが実行できるようメモリーを確保したあと、再度解析処理を実行してください。

## KAVB0826-E

An exception occurred while the log output was being prepared.

コマンドの起動中にシステムエラーが発生しました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
標準エラー出力に出力されたトレース情報の採取、および、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0827-E

An exception occurred while an error message was being created.  
エラーメッセージ作成中に例外が発生しました

エラーメッセージの作成中に予期しない例外が発生しました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0828-E

Memory became insufficient during execution of JP1/IM - View.  
JP1/IM - View の起動中にメモリー不足が発生しました

JP1/IM - View の起動中にメモリー不足が発生したため、起動できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - View が起動できるようメモリーを確保したあと、再度 JP1/IM - View を起動してください。

### KAVB0830-E

An invalid logical host name (論理ホスト名) is specified.

不適切な論理ホスト名 (論理ホスト名) が指定されています

指定した論理ホスト名が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

正しい論理ホスト名を指定して、再実行してください。

### KAVB0831-E

JP1/IM - Manager has started.

JP1/IM - Manager が起動しています

JP1/IM - Manager が起動しているため、コマンドが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager を停止して、再実行してください。

### KAVB0832-E

Common definition information setting has failed.

共通定義情報の設定に失敗しました

共通定義情報の設定に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

再実行してください。再実行してもエラーになる場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAVB0833-E

An attempt to read the event acquisition settings in the system profile has failed.  
システムプロファイル内のイベント取得条件設定の読み込みに失敗しました

次の要因で、システムプロファイル内のイベント取得条件設定の読み込みができませんでした。

- ほかのアプリケーションが `.system` ファイルを使用している。
- `.system` ファイルの読み込みができない。
- `system.conf` ファイルの内容が壊れている。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の確認をしてから、再実行してください。

- ほかのアプリケーションが `.system` ファイルを使用していないか。
- `.system` ファイルを読み込みできるか。

上記の要因でない場合、`system.conf` ファイルの内容が壊れているおそれがあるため、`system.conf.model` ファイルで `system.conf` ファイルを上書きして、設定情報を初期状態に戻したあと、システム環境を再設定してください。

## KAVB0834-E

An attempt to move the event acquisition filter has failed.  
イベント取得フィルタの移行に失敗しました

次の要因で、イベント取得フィルターの移行ができませんでした。

- ほかのアプリケーションが `receive_filter.conf` ファイルを使用している。
- `receive_filter.conf` ファイルへの書き込みができない。
- ディスク空き容量が不足している。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ほかのアプリケーションが `receive_filter.conf` ファイルを使用していないか。
- `receive_filter.conf` ファイルへの書き込みができるか。
- イベント取得フィルターの移行に十分なディスク空き容量があるか。

## KAVB0835-E

Only one jcochafmode command can be executed at one time.

jcochafmode コマンドは複数同時に実行できません

jcochafmode コマンドを実行中です。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行中のjcochafmode コマンド処理が終了したあとに、再実行してください。

## KAVB0836-I

The event acquisition filter was switched from interchangeability to the ordinary mode.

イベント取得フィルタを互換から通常モードに切り替えました

イベント取得フィルタを互換モードから通常モードに切り替えました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0837-E

The start of JP1/IM - Manager was not able to be confirmed. Please confirm whether JP1/IM - Manager has stopped and execute the command again.

JP1/IM - Manager の起動状態を確認できませんでした。JP1/IM - Manager が停止しているか確認して再度コマンドを実行してください。

JP1/IM - Manager の起動状態を確認できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドで JP1/IM - Manager の停止を確認して、再実行してください。

論理ホストを指定している場合、論理ホストの共有ディスクがマウントされていることを確認してください。

## KAVB0838-E

The settings for common definition information are incorrect. Key:(キー値) param:(取得値)

共通定義情報の設定が正しくありません。キー値：(キー値) 取得値：(取得値)

共通定義情報に設定されている値が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

バックアップファイルからキー値に対応するファイルを取り出して、jbssetcnf コマンドで共通定義を再設定してください。

#### KAVB0839-E

Failed to read common definition information. Key:(キー値)

共通定義情報の読み込みに失敗しました。キー値：(キー値)

共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

バックアップファイルからキー値に対応するファイルを取り出して、jbssetcnf コマンドで共通定義を再設定してください。

#### KAVB0840-E

A system error occurred while executing the command (コマンド名).

Details:(詳細情報)

コマンド (コマンド名) を実行中にシステムエラーが発生しました。

詳細コード：(詳細情報)

コマンド実行中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0841-E

No executing permission.

実行権限がありません

コマンドを実行する権限がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

Administrators などの実行権限を持ったユーザーでログインし直して、再実行してください。

#### KAVB0842-E

Setting information in the system profile is invalid.

Details:(詳細コード)

システムプロファイルの設定情報が不正です。

詳細コード：(詳細コード)

システムプロファイルの設定情報が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

.system.model ファイルで.system ファイルを上書きして設定情報を初期状態に戻したあと、システム環境を再設定してください。

#### KAVB0851-E

JP1/IM - Manager is not running.

JP1/IM - Manager が起動していません。

JP1/IM - Manager が起動していないため、切り替えが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager の起動を確認し、再実行してください。

#### KAVB0852-E

The startup status of JP1/IM - Manager could not be checked.

JP1/IM - Manager の起動状態が確認できませんでした。

JP1/IM - Manager の起動状態が確認できないため、切り替えが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager の起動を確認し、再実行してください。

## KAVB0853-E

The event acquisition filter is operating in a compatible mode  
イベント取得フィルターが互換モードで動作しています。

イベント取得フィルターが互換モードで動作しているため、切り替えが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

イベント取得フィルターのモードを確認し、再実行してください。

## KAVB0854-E

The specified filter does not exist.(filterID:フィルター ID)  
指定されたフィルターは存在しません。フィルター ID：フィルター ID

引数で指定されたフィルター ID を持つフィルター条件が存在しないため、切り替えが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

イベント取得フィルターの一覧を表示し、指定した ID のフィルターが存在するか確認してから、再実行してください。

## KAVB0855-I

The aquisition filter in ホスト名 will now be switched.(filterID:フィルター ID)  
ホスト名のイベント取得フィルターを切り替えます。フィルター ID：フィルター ID

イベント取得フィルター切り替え実行の開始メッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0856-I

The list of event acquisition filters will now be displayed. (host name: ホスト名)  
イベント取得フィルター一覧を表示します。ホスト名：ホスト名

イベント取得フィルター一覧表示の実行開始メッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0857-I

A connection to JP1/IM - Manager has been established.  
JP1/IM - Manager に接続しました

JP1/IM - Manager に接続しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0858-I

The event acquisition filter was switched successfully.  
イベント取得フィルターの切り替えに成功しました

イベント取得フィルター切り替え処理の正常終了メッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0859-E

An attempt to switch the event acquisition filter has failed. (service = 制御)  
制御のイベント取得フィルターの切り替えに失敗しました

表示された制御のイベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

ほかの制御に対するイベント取得フィルターの切り替え処理を続行します。

(O)

表示された制御が起動しているか確認してください。起動している場合、統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか確認してください。エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。出力されていない場合は資料採取ツールを使用して資料採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0860-I

Switching of the event acquisition filter was successful. (service = 制御)  
制御のイベント取得フィルターの切り替えに成功しました

表示された制御のイベント取得フィルターを切り替えました。

## KAVB0861-I

Switching of the event acquisition filter has finished.

イベント取得フィルターの切り替えが完了しました

イベント取得フィルターの切り替えが完了しました。

## KAVB0862-E

An attempt to switch the event acquisition filter has failed.

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターの切り替え処理を打ち切ります。

(O)

統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか確認してください。エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。出力されていない場合は、統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されていることを確認してから再度実行してください。KAVB4003-I のメッセージが出力されていない、かつ統合監視 DB を使用している場合は、jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認し、統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されたあと、再度実行してください。問題が解決されない場合は、資料採取ツールを使用して資料採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB0863-E

The specified common exclusion condition does not exist. (common exclusion condition ID = 共通除外条件群 ID)

指定された共通除外条件は存在しません。共通除外条件群 ID：共通除外条件群 ID

引数で指定された共通除外条件群 ID を持つ共通除外条件が存在しないため、切り替えが実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

イベント取得フィルターおよび共通除外条件の一覧を表示し、指定した ID の共通除外条件が存在するか確認してから、再実行してください。

## KAVB0864-I

The common exclusion condition will now be enabled. (common exclusion condition ID = 共通除外条件群 ID[,共通除外条件群 ID...])

共通除外条件を有効にします。共通除外条件群 ID：共通除外条件群 ID[,共通除外条件群 ID...]

共通除外条件を有効にします。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB0866-E

A common exclusion condition ID is duplicated.

共通除外条件群 ID が重複しています

指定された共通除外条件群 ID が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定している共通除外条件群の ID が重複しているので、指定を見直してください。

#### KAVB0868-I

All common exclusion conditions will now be enabled.

すべての共通除外条件を有効にします

設定されているすべての共通除外条件群 ID を有効に設定します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB0869-I

All common exclusion conditions will now be disabled.

すべての共通除外条件を無効にします

設定されているすべての共通除外条件群 ID を無効に設定します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB0870-E

The common exclusion conditions could not be set because the maximum length of the event acquisition filter (65536 bytes) was exceeded.

イベント取得フィルターの最大長を超えたため、共通除外条件を設定できませんでした。最大長:  
(65536byte)

イベント取得フィルターに設定できる最大長を超えています。



(S)

処理を終了します。

(O)

イベント取得フィルターまたは共通除外条件の条件を最大長に収まる範囲で再設定してください。

#### KAVB0871-E

The common exclusion condition does not exist.

共通除外条件は存在しません

共通除外条件が存在しないため、共通除外条件の有効・無効を切り替える処理を終了しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件の一覧を表示し、共通除外条件が存在するかを確認してから、再実行してください。

#### KAVB0872-E

The JP1/Base instance on the manager host does not support the common exclusion condition.

マネージャーホストの JP1/Base が共通除外条件に対応していません

マネージャーホストの JP1/Base が共通除外条件に対応しているバージョンではありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

マネージャーホストの JP1/Base のバージョンを確認してください。共通除外条件を設定する場合は、対応しているバージョンの JP1/Base がインストールされている必要があります。

#### KAVB0873-E

Information about the event cannot be output because the IM Database service is not running.

IM データベースサービスが起動していないため、イベントの情報を出力することができません

統合監視 DB が起動していないため、イベントを取得できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

統合監視 DB を起動してから再実行してください。

## KAVB0874-E

Information about the event cannot be output because the Integrated Monitoring Database has not been set up.

統合監視 DB がセットアップされていないため、イベントの情報を出力することができません

統合監視 DB がセットアップされていないため、出力するイベントが存在しません。

(S)

処理を終了します。

(O)

統合監視 DB をセットアップしてから再実行してください。

## KAVB0875-E

The ファイル種別 file ファイル名 does not exist.

ファイル種別ファイルが存在しません (ファイル名: ファイル名)

指定したファイルが存在しません。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定するファイル名が正しいか確認してから、再実行してください。

## KAVB0876-E

An attempt to read the ファイル種別 file ファイル名 has failed.

ファイル種別ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル名: ファイル名)

ファイルの読み込み処理で I/O エラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0877-E

The syntax of an item file is invalid. 要因 (line = 行番号, file name = ファイル名)

項目ファイルの記述が不適切です。要因 (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

項目ファイルの内容に誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

不正内容から要因を特定し、項目ファイルを見直してから再実行してください。

#### KAVB0878-E

The syntax of a filter file is invalid. 要因 (line = 行番号, file name = ファイル名)  
フィルターファイルの記述が不適切です。要因 (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

フィルターの内容に誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

不正内容から要因を特定し、フィルターを見直してから再実行してください。

#### KAVB0879-E

The format specified for 指定項目 is invalid.  
指定項目の指定形式が不正です

入力された日時が半角数字で YYYYMMDDhhmmss の形式ではありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

入力する日時を見直してから再実行してください。

#### KAVB0880-E

The value specified for 指定項目 is outside the valid range.  
指定項目に範囲外の値が入力されています

入力された日時が UTC 1970/01/01 00:00:00 より過去または 2099/12/31 23:59:59 より未来です。

(S)

処理を終了します。

(O)

入力する日時を見直してから再実行してください。

## KAVB0881-E

The value specified for 指定項目 is not valid date and time information.  
指定項目に日付・時刻とはみなせない不正な値が入力されています

入力された日時が存在しない日付または時刻です。

(S)

処理を終了します。

(O)

入力する日時を見直してから再実行してください。

## KAVB0882-I

出力したイベント件数 events were successfully output in the 機能名.  
出力したイベント件数のイベントの機能名に成功しました

イベントのレポート出力に成功しました。

(S)

処理を終了します。

## KAVB0883-E

The 機能名 failed. (detailed information = 詳細情報)  
イベントの機能名に失敗しました。詳細情報: 詳細情報

イベントのレポート出力に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

コマンド実行後に表示されたエラーメッセージの詳細情報に従い対処してください。

### 詳細情報

4：ファイル入出力エラー

101：統合監視 DB が未セットアップ

102：IM データベースサービスが起動していない

103：IM データベースサービスとの接続でエラーが発生した

254：メモリー不足

255：システムエラー

## KAVB0884-E

Multiple instances of the jcoevtreport command cannot be executed at the same time.  
jcoevtreport コマンドは、複数実行できません

jcoevtreport コマンドは、複数実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

実行中の jcoevtreport コマンドを終了させてから、jcoevtreport コマンドを再実行してください。

## KAVB0885-E

The file cannot be saved because the file name is too long. (file = ファイル名)  
ファイル名が長すぎるため保存することができません (ファイル名=ファイル名)

ファイル名が絶対パスで 250 文字を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

ファイル名を絶対パスで 250 文字以下にしてから、再実行してください。

## KAVB0886-E

The serial number of the output file reached the maximum value.  
出力ファイルの通し番号が上限値に達しました

出力ファイルの通し番号が上限値に達しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

出力ファイル名を変更してから再実行してください。

## KAVB0887-E

The size of the ファイル種別 file exceeds the upper limit. (file name = ファイル名, upper limit = 最大サイズ)  
ファイル種別ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

指定されたファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

指定されたファイルを読み込まないで処理を終了します。

(O)

ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、再実行してください。

## KAVB0888-E

The common exclusion condition group (extended) cannot be changed.

共通除外条件群(拡張)は変更できません

共通除外条件が拡張されていないので、拡張モードの共通除外条件群は変更できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

-e オプションで共通除外条件を有効、または無効にしてください。

または、共通除外条件の動作モードを拡張モードに変更してから、再度コマンドを実行してください。

## KAVB0889-I

The common exclusion condition will now be disabled. (common exclusion condition group IDs = 共通除外条件群 ID[,共通除外条件群 ID...])

共通除外条件を無効にします。共通除外条件群 ID：共通除外条件群 ID[,共通除外条件群 ID...]

共通除外条件を無効にします。

(S)

処理を続行します。

## KAVB0890-E

The common exclusion condition group cannot be extended because the event acquisition filter (for compatibility) is being used.

イベント取得フィルター(互換用)を使用しているため共通除外条件群は拡張できません

イベント取得フィルター（互換用）を使用しているため、共通除外条件群を拡張できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、イベント取得フィルターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更する必要があります。jcochafmode コマンドを使い、イベント取得フィル

ターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更してから、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB0891-E

The common exclusion condition group cannot be extended because a JP1/Base regular expression is not extended. Revise the prerequisite regular expressions.

JP1/Base の正規表現が拡張されていないため共通除外条件群は拡張できません。前提となる JP1/Base の正規表現の設定を見直してください

JP1/Base で使用する正規表現が拡張されていないため、共通除外条件群を拡張できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、JP1/Base で使用する正規表現が拡張正規表現である必要があります。JP1/Base で使用する正規表現の設定を変更したあとに再度コマンドを実行してください。

#### KAVB0893-E

The common exclusion conditions extended definition file (ファイル名) cannot be opened.

共通除外条件拡張定義ファイル(ファイル名)が開けません

共通除外条件拡張定義ファイルが見つかりません。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したファイルが存在するか、また、指定したファイルに参照権限があるかを確認してから再実行してください。

#### KAVB0894-I

The operation mode of the common exclusion conditions will be displayed. (host name = ホスト名)

operation mode = 動作モード

共通除外条件の動作モードを表示します(ホスト名:ホスト名)

動作モード : 動作モード

共通除外条件の動作モードを表示します。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0895-I

The operation mode of the common exclusion conditions was changed to basic mode.  
共通除外条件の動作モードを基本モードに変更しました

共通除外条件の動作モードを基本モードに変更しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0896-I

The operation mode of the common exclusion conditions was changed to extended mode.  
共通除外条件の動作モードを拡張モードに変更しました

共通除外条件の動作モードを拡張モードに変更しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0897-I

The common exclusion conditions extended definition file was output.  
共通除外条件拡張定義ファイルを出力しました

共通除外条件拡張定義ファイルを正常に出力しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB0898-E

The operation mode of the common exclusion conditions could not be changed. (cause = 要因)  
共通除外条件の動作モードを変更できませんでした。(要因:要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因：ファイル入出力エラーが発生しました

次のディレクトリに対して三つの項目を確認してから、再度実行してください。

<Windows の場合>



物理ホスト：Console パス¥conf¥console¥filter¥

論理ホスト：共有フォルダ¥JP1Cons¥conf¥console¥filter¥

<UNIX の場合>

物理ホスト：/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter/

項目 1.ファイルの書き込みができるかどうか確認してください。書き込みができない場合は書き込み権限を設定してください。

項目 2.共通除外条件拡張定義ファイル (common\_exclude\_filter\_論理ホスト名.conf) がある場合、ほかのアプリケーションで使用していないかどうか確認してください。ほかのアプリケーションで使用している場合は、アプリケーションを終了してください。

項目 3.共通除外条件拡張定義ファイルを出力するために十分なディスク空き容量があるかどうか確認してください。

要因：イベント取得フィルター取得時にファイル入出力エラーが発生しました、イベント取得フィルター更新時にファイル入出力エラーが発生しました

次のディレクトリに対して二つの項目を確認してから、再度実行してください。

<Windows の場合>

物理ホスト：Console パス¥conf¥console¥filter¥

論理ホスト：共有フォルダ¥JP1Cons¥conf¥console¥filter¥

<UNIX の場合>

物理ホスト：/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter/

項目 1.ファイルの書き込みができるかどうか確認してください。書き込みができない場合は書き込み権限を設定してください。

項目 2.イベント取得フィルター定義一覧ファイル (receive\_filter\_list.conf) がある場合、ほかのアプリケーションで使用していないかどうか確認してください。ほかのアプリケーションで使用している場合は、アプリケーションを終了してください。

二つの項目に当てはまらない場合、イベント取得フィルター定義ファイルが壊れているおそれがあります。イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしているときは、リストア後に再度実行してください。バックアップしていないときは、次に示すコマンドを実行してファイルを作成し、再度実行してください。

<Windows の場合>

```
copy Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf.model Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf
```

<UNIX の場合>

```
cp -p /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf.model /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf
```

要因：メモリー不足が発生しました

十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB0899-W

A regular expression that cannot be used was specified. (line number = 行番号)  
使用できない正規表現が指定されています。(行番号:行番号)

使用できない正規表現が指定されています。

(S)

処理を継続します。

(O)

次の手順で、対処してください。

1. `jcochfilter` コマンドの `-check` オプションを次のように実行し、定義内容をチェックする。  
`jcochfilter -check` 出力された共通除外条件拡張定義ファイル
2. `jcochfilter` コマンドの実行結果を基に共通除外条件拡張定義ファイルを修正する。
3. `jcochfilter` コマンドの `-ef` オプションを次のように実行し、修正した定義内容をシステムに反映する。  
`jcochfilter -ef` 修正した共通除外条件拡張定義ファイル [ `-h` 論理ホスト名 ]

## KAVB0900-E

The specified operation mode of the common exclusion conditions is already set.  
指定された共通除外条件の動作モードはすでに設定されています

指定した共通除外条件の動作モードはすでに設定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定した共通除外条件の動作モードを見直してください。

## KAVB0902-W

The business group or monitoring group is not defined. (group name = グループ名)  
業務グループ、または監視グループが定義されていません。(グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていないため、コマンドが実行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを定義するか、指定した業務グループまたは監視グループを見直して再度実行してください。

#### KAVB0903-E

The business group or monitoring group is not defined. (group name = グループ名)  
業務グループ、または監視グループが定義されていません。(グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていないため、コマンドが実行できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループが定義されているかシステム管理者に確認してください。

#### KAVB0961-E

Reading of the system color definition file was stopped. (detailed information = 詳細情報)  
システムカラー定義ファイルの読み込みを中止しました。(詳細情報:詳細情報)

システムカラー定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

システムカラー定義ファイルの読み込みを中止します。

(O)

- システムカラー定義ファイルがあるか確認してください。システムカラー定義ファイルがない場合は、システムカラー定義ファイルを作成してください。
- システムカラー定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、システムカラー定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

これら以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB0962-W

A parameter in the system color definition file being read will be ignored. 詳細情報 (line number = 行番号)

読み込み中のシステムカラー定義ファイルのパラメーターを無視します。詳細情報 (行番号:行番号)

読み込み中のシステムカラー定義ファイルのパラメーターを無視しました。

(S)

読み込み中のシステムカラー定義ファイルのパラメーターを無効にし、読み込み処理を続行します。

(O)

パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にシステムカラー定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

- 不要なパラメーターがある場合は、行番号を参考に不要なパラメーターを削除するかコメントアウトしてください。
- パラメーターに値が指定されていない場合は、パラメーターに値を指定してください。
- パラメーターに指定された値が不正な場合は、パラメーターの値を見直し、修正してください。
- パラメーターに指定された値が範囲外の場合は、パラメーターの値を見直し、修正してください。
- パラメーターが複数指定されている場合は、不要なパラメーターを削除するかコメントアウトしてください。
- 指定できない重大度の場合は、重大度の指定を見直し、修正してください。

#### KAVB1002-I

The command (コマンド名) terminates normally.

コマンド (コマンド名) が正常終了しました

コマンドが正常終了しました。

#### KAVB1003-I

The command (コマンド名) terminates abnormally.

コマンド (コマンド名) が異常終了しました

コマンドが異常終了しました。

#### KAVB1004-E

System error occurred in executing the command (コマンド名).

コマンド (コマンド名) を実行中にシステムエラーが発生しました

コマンド実行中にシステムエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1005-I

The command (コマンド名) has started.

コマンド (コマンド名) を開始しました

コマンドを開始しました。

#### KAVB1010-E

Extra arguments(識別子) are specified.

過剰な引数 (識別子) が指定されています

コマンドに余分な引数が指定されています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの使用方法を確認して、再度入力してください。

#### KAVB1011-E

Arguments are missing.

引数が不足しています

コマンドに指定する引数が不足しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの使用方法を確認して、再度入力してください。

#### KAVB1012-E

The reading of the command button definition file was stopped. (detailed information = 詳細情報)

コマンドボタン定義ファイルの読み込みを中止しました。(詳細情報:詳細情報)

コマンドボタン定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドボタン定義ファイルの読み込みを中止します。

(O)

- コマンドボタン定義ファイルがあるか確認してください。コマンドボタン定義ファイルがない場合は、コマンドボタン定義ファイルを作成してください。
- コマンドボタン定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、コマンドボタン定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

これら以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1013-E

The reading of the command button definition file was stopped. 詳細情報 (line number = 行番号)

コマンドボタン定義ファイルの読み込みを中止しました。詳細情報 (行番号:行番号)

コマンドボタン定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドボタン定義ファイルの読み込みを中止します。

(O)

def, end-def パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

## KAVB1014-W

The command button definition was disabled while being read. 詳細情報 (line number = 行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義を無効にしました。詳細情報 (行番号:行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義を無効にしました。

(S)

読み込み中のコマンドボタン定義を無効にし、読み込み処理を続行します。

(O)

パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

- コマンドボタン定義数が最大件数を超過している場合は、不要なコマンドボタン定義を削除するか、コメントアウトしてください。
- usr パラメーターに対象ユーザー名が指定されていない場合は、usr パラメーターを削除するか、usr パラメーターに対象ユーザー名を指定してください。
- btn, end-btn パラメーターの指定に誤りがある場合は、btn, end-btn パラメーターの組み合わせを確認し、修正してください。

- def, end-def パラメーターの指定に誤りがある場合は、def, end-def パラメーターの組み合わせを確認し、修正してください。

## KAVB1015-W

A parameter in the command button definition file being read will be ignored. 詳細情報 (line number = 行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターを無視します。詳細情報 (行番号:行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターを無視しました。

(S)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターを無視し、読み込み処理を続行します。

(O)

パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

- 不要なパラメーターがある場合は、行番号を参考に不要なパラメーターを削除するかコメントアウトしてください。
- パラメーターが複数指定されている場合は、不要なパラメーターを削除するかコメントアウトしてください。

## KAVB1016-W

An error exists in a parameter in the command button definition file being read. 詳細情報 (line number = 行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターに誤りがあります。詳細情報 (行番号:行番号)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターに誤りがありました。

(S)

読み込み中のコマンドボタン定義ファイルのパラメーターの設定を変更し、読み込み処理を続行します。

(O)

パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

- パラメーターに値が指定されていない場合は、パラメーターに値を指定してください。
- パラメーターに指定された値が不正な場合は、パラメーターの値を見直し、修正してください。
- ホストグループのコメントが最大文字数を超過している場合は、最大文字数を超えないようにホストグループのコメントを変更してください。
- ホストグループの対象ユーザー名数が最大数を超過している場合は、ホストグループを分割するか、不要な対象ユーザーを削除してください。

- ホストグループの対象ユーザー名が最大バイト数を超えている、または重複している場合は、対象ユーザー名を修正してください。
- [コマンド] ボタンのコメントが最大文字数を超えている場合は、最大文字数を超えないように [コマンド] ボタンのコメントを修正してください。

## KAVB1017-W

The Command button being loaded was disabled. 詳細情報 (line number = 行番号)  
読み込み中の [コマンド] ボタンを無効にしました。詳細情報 (行番号:行番号)

読み込み中の [コマンド] ボタンを無効にしました。

### (S)

読み込み中の [コマンド] ボタンを無効にし、読み込み処理を続行します。

### (O)

パラメーターの指定に誤りがあります。メッセージの詳細情報と行番号を参考にコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、修正してください。

- [コマンド] ボタン数が最大件数を超えている場合は、不要な [コマンド] ボタンを削除するか、コメントアウトしてください。
- [コマンド] ボタン名が指定されていない場合は、[コマンド] ボタン名を指定してください。
- [コマンド] ボタン名が最大文字数を超えている場合は、[コマンド] ボタン名を最大文字数より小さくしてください。
- cmd パラメーターが指定されていない場合は、cmd パラメーターを指定してください。
- コマンドラインが指定されていない場合は、コマンドラインを指定してください。
- コマンドラインが最大バイト数を超えている場合は、コマンドラインを指定してください。
- 環境変数ファイル名が指定されていない場合は、環境変数ファイル名を指定してください。
- 環境変数ファイル名が最大バイト数を超えている場合は、最大バイト数を超えないように環境変数ファイル名を変更してください。
- 実行ホスト名が指定されていない場合は、実行ホスト名を指定してください。
- 実行ホスト名が最大バイト数を超えている場合は、最大バイト数を超えないように実行ホスト名を変更してください。
- [コマンド] ボタン名が重複している場合は、[コマンド] ボタン名を変更してください。
- [コマンド] ボタン名に制御文字が含まれている場合は、[コマンド] ボタン名から制御文字を削除してください。
- btn, end-btn パラメーターの指定に誤りがある場合は、btn, end-btn パラメーターの組み合わせを確認し、修正してください。



## KAVB1018-E

The command button definition file could not be read.

コマンドボタン定義ファイルを読み込めませんでした

コマンドボタン定義ファイルを読み込めなかったため、[コマンド実行] 画面を表示できませんでした。

(S)

[コマンド実行] 画面の表示を中止します。

(O)

KAVB1012-E~KAVB1017-W のメッセージに従ってコマンドボタン定義ファイルの定義内容を見直し、再度 [コマンド実行] 画面を表示してください。

## KAVB1019-Q

[コマンド] ボタン名 will be executed. Do you want to continue?

Comment: [コマンド] ボタンのコメント

[コマンド] ボタン名を実行します。よろしいですか？

説明: [コマンド] ボタンのコメント

[コマンド] ボタンを実行します。よろしいですか？

(S)

[はい] を選択すると [コマンド] ボタンを実行します。[いいえ] を選択すると実行しません。

## KAVB1020-W

The location of the command button definition file version is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

コマンドボタン定義ファイルのファイルバージョンの記述箇所が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

コマンドボタン定義ファイルのファイルバージョンが先頭にありません。

(S)

デフォルトのファイルバージョンを仮定して処理を継続します。

(O)

コマンドボタン定義ファイルの先頭に、ファイルバージョンを記載してください。

## KAVB1021-W

The version information for the command button definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

コマンドボタン定義ファイルのファイルバージョン情報が不正です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

バージョン情報が不正です。

(S)

デフォルトのファイルバージョンを仮定して処理を継続します。

(O)

コマンドボタン定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB1031-Q

The values below will be set. Do you want to continue?

Button name = [コマンド] ボタン名

Comment = [コマンド] ボタンのコメント

次の内容で実行します。よろしいですか？

ボタン名: [コマンド] ボタン名

説明: [コマンド] ボタンのコメント

コマンドを実行してよいかどうかを問い合わせます。

(O)

[実行] ボタンをクリックするとコマンドを実行します。[キャンセル] ボタンをクリックするとコマンドを実行しないで、[コマンド実行内容プレビュー] 画面を終了します。

## KAVB1032-W

The specified string could not be converted or is too long.

The values below will be set. Are you sure you want to continue?

Button name = [コマンド] ボタン名

Comment = [コマンド] ボタンのコメント

変数を置き換えられない項目、または上限値を超過して値が切り捨てられた項目がありました。

次の内容で実行しますか？

ボタン名: [コマンド] ボタン名

説明: [コマンド] ボタンのコメント

変数を置き換えられない項目、または上限値を超過して値が切り捨てられた項目がありました。

(S)

[実行] ボタンをクリックするとコマンドを実行します。[キャンセル] ボタンをクリックするとコマンドを実行しないで、[コマンド実行内容プレビュー] 画面を終了します。

(O)

[コマンド実行内容プレビュー] 画面に表示されている内容を確認してください。

#### KAVB1033-I

The client application started. (command = コマンドライン)

クライアントアプリケーションを起動しました。(コマンド:コマンドライン)

クライアントアプリケーションを起動しました。

#### KAVB1034-E

The client application failed to start. (command = コマンドライン)

クライアントアプリケーションの起動に失敗しました。(コマンド:コマンドライン)

クライアントアプリケーションの起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンドラインをコマンドプロンプトで実行できるかを確認してください。

実行できる場合は再度実行してください。

#### KAVB1035-E

The command cannot be executed because a JP1 event that references information is not specified.

引き継ぐ JP1 イベントが指定されていないため、コマンドを実行できません

引き継ぐ JP1 イベントが指定されていないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンド実行を中断します。

(O)

引き継ぐ JP1 イベントを指定してから再度実行してください。

#### KAVB1036-W

The input exceeded the size of the input area. The part exceeding the limit will be truncated. (maximum size = 上限サイズ)

切り捨て前の値が、入力エリアの上限サイズを超えています。上限を超えた部分は元に戻すことはできません。(上限サイズ:上限サイズ)

切り捨て前の値が、入力エリアの上限サイズを超えています。上限を超えた部分は元に戻せません。

(S)

上限を超えた部分を切り捨てた値を表示します。

(O)

JP1 イベントの属性値を引き継ぐ前の入力値を見直してください。

## KAVB1037-E

The command cannot be executed because the value specified for **項目** exceeds the maximum. (maximum size = **上限サイズ**)

**項目**に指定された値が、上限サイズを超えているため、コマンドを実行できません。(上限サイズ:**上限サイズ**)

項目に指定した値が上限値を超えています。または、イベント情報を変換したあとの値が、項目の上限値を超えています。

上限値は、「実行ホスト名」の場合は 255 バイト (IM 構成管理サービスを起動していて、実行ホスト名に業務グループ名または監視グループ名を指定した場合は 2,048 バイト)、「実行コマンド」の場合は 4,096 バイト、「環境変数ファイル」の場合は 255 バイトです。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの実行時に、項目の上限値を超えないように「実行ホスト名」、「実行コマンド」、「環境変数ファイル」の長さを調整します。

## KAVB1040-W

The unconverted string specified in the **定義ファイル** already exists. (line number = **行番号**)  
**定義ファイル**に指定された変換前の文字が重複しています。(行番号:**行番号**)

定義ファイルに指定された変換前の文字が重複しています。

(S)

重複した定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている箇所です。誤りを修正してください。

## KAVB1041-W

The unconverted string specified in the **定義ファイル** is invalid. (line number = **行番号**)  
**定義ファイル**に指定された変換前の文字が不正です。(行番号:**行番号**)

定義ファイルに指定された変換前の文字が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAVB1042-W

The converted string specified in the 定義ファイル is invalid. (line number = 行番号)  
定義ファイルに指定された変換後の文字列が不正です。(行番号:行番号)

定義ファイルに指定された変換後の文字列が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAVB1043-W

The number of definitions in the 定義ファイル exceeds the limit. (最大数 items)  
定義ファイルに指定された定義数が最大数(最大数件)を超えています

定義ファイルに指定された定義数が定義できる最大数を超えています。

(S)

最大数を超えた定義を無視して処理を続行します。

(O)

定義数を見直し、修正してください。

#### KAVB1044-W

The format of a definition in the 定義ファイル is invalid. (line number = 行番号)  
定義ファイルに指定された定義のフォーマットが不正です。(行番号:行番号)

定義ファイルに指定された定義が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

## KAVB1045-I

The 定義ファイル was loaded.  
定義ファイルを読み込みました

定義ファイルを読み込みました。

## KAVB1046-E

The 定義ファイル failed to load.  
定義ファイルの読み込みに失敗しました

定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

定義ファイルの読み込みを中止し、[コマンド実行] 画面を起動しません。

(O)

定義ファイルが読み込み可能になっているかを確認してください。

読み込み可能な場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のリソース不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1101-E

System error occurred in analyzing the definition file.  
定義ファイル解析中にシステムエラーが発生しました

定義ファイル解析中にシステムエラーが発生しました。

(S)

定義ファイルの解析を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1102-E

Memory shortage occurred in analyzing the definition file.  
定義ファイル解析中にメモリー不足が発生しました

定義ファイル解析中にメモリー不足が発生しました。

(S)

定義ファイルの解析を中止します。

(O)

解析処理ができるようメモリーを確保したあと、再度解析処理を実行してください。

#### KAVB1104-W

The business group or monitoring group is not defined. (definition type = 定義種別, filter name = フィルター名, definition name = 定義名, group name = グループ名)

業務グループ、または監視グループが定義されていません。(定義種別:定義種別, フィルター名:フィルター名, 定義名:定義名, グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを定義するか、指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

#### KAVB1105-W

The business group or monitoring group is not defined. (definition type = 定義種別, filter name = フィルター名, definition name = 定義名)

業務グループ、または監視グループが定義されていません。(定義種別:定義種別, フィルター名:フィルター名, 定義名:定義名)

該当する定義に指定されていた業務グループまたは監視グループが定義されていません。

(S)

該当する業務グループまたは監視グループの指定を無効化し、処理を続行します。

(O)

該当する定義を見直し再設定してください。

#### KAVB1111-E

An I/O error occurred in analyzing the file (ファイル名).

ファイル (ファイル名) を解析中に入出力エラーが発生しました

定義ファイル解析中に入出力エラーが発生しました。

(S)

定義ファイルの解析を中止します。または入出力エラーが発生したファイルの解析を中止して処理を続行します。

(O)

エンコードファイル内の値が正しく設定されているか確認してください。または、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1112-E

Cannot access the directory (ディレクトリ名).  
ディレクトリ (ディレクトリ名) にアクセスできません

ディレクトリがないか、ファイル名が指定されています。またはディレクトリに対するアクセス権がありません。

(S)

ディレクトリに対する解析を中止します。

(O)

ディレクトリを正しく指定し直してください。

#### KAVB1113-W

Cannot access the file (ファイル名).  
ファイル (ファイル名) にアクセスできません

ファイルがないか、ディレクトリ名が指定されています。またはファイルに対するアクセス権がありません。

(S)

ファイル名で指定されたファイルに対する解析を中止し、他ファイルの処理を続行します。

(O)

ファイルを正しく指定し直してください。

#### KAVB1114-W

The block is constructed incorrectly. 処理内容, Cause 原因情報 (ファイル名:行数)  
ブロックが正しく構成されていません, 処理内容, 原因:原因情報 (ファイル名:行数)

定義ファイル内のブロックが正しく構成されていないため、処理内容を実行します。

(S)

指定したファイルに対する解析を中止し、他ファイルの処理を続行します。



(O)

原因情報に従って、ブロックを正しく構成してください。

#### KAVB1115-W

The record is constructed incorrectly. 処理内容, Cause 原因情報 (ファイル名:行数)  
レコードが正しく構成されていません, 処理内容, 原因:原因情報 (ファイル名:行数)

定義ファイル内のレコードが正しく構成されていないため、処理内容を実行します。

(S)

処理内容を実行し、処理を続行します。

(O)

原因情報に従って、レコードを正しく構成してください。

#### KAVB1116-W

Mandatory parameters(識別子) are not specified. 処理内容, (ファイル名:行数)  
必須パラメーター (識別子) が指定されていません, 処理内容 (ファイル名:行数)

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に、必須パラメーターが指定されていないため、処理内容を実行します。

(S)

処理内容を実行し、処理を続行します。

(O)

不足しているパラメーターを定義してください。

ただし、連携製品をインストールしていない場合に出力されたときは、対処不要です。

#### KAVB1117-W

Extra parameters (識別子) are specified. 処理内容:(ファイル名:行数)  
過剰なパラメーター (識別子) が指定されています, 処理内容 (ファイル名:行数)

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に、余分なパラメーターが指定されているため、処理内容に示す処理を実行します。

(S)

処理内容を実行し、処理を続行します。

(O)

余分なパラメーターを削除してください。

## KAVB1118-W

Undefined parameters(識別子) are specified. 処理内容:(ファイル名:行数)

未定義のパラメーター（識別子）が指定されています，処理内容（ファイル名:行数）

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に，未定義のパラメーターが指定されているため，**処理内容**に示す処理を実行します。

(S)

処理内容を実行し，処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager のバージョンを確認し，そのバージョンでサポートされている内容で定義し直してください。

## KAVB1119-W

Invalid value (識別子) is specified. 処理内容:(ファイル名:行数)

不正な値（識別子）が指定されています，処理内容（ファイル名:行数）

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に，不正な値が指定されているため，**処理内容**に示す処理を実行します。

(S)

処理内容を実行し，処理を続行します。

(O)

正しい値に定義し直してください。

## KAVB1120-W

The value(識別子) is duplicated. 処理内容 (ファイル名:行数)

値（識別子）が重複しています，処理内容（ファイル名:行数）

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に，すでに定義されている値が指定されているため，**処理内容**に示す処理を実行します。

(S)

処理内容を実行し，処理を続行します。

(O)

すでに定義されている値か，現在の定義を変更してください。

## KAVB1121-W

"識別子 1" and "識別子 2" cannot be specified at the same time. 処理内容: (ファイル名:行数)

"識別子 1"と"識別子 2"は同時に指定できません、処理内容（ファイル名:行数）

定義ファイル内または定義ファイルのレコード内に、同時に指定できない値が指定されているため、**処理内容**に示す処理を実行します。

(S)

処理内容を実行し、処理を続行します。

(O)

識別子 1 または識別子 2 を削除してください。

## KAVB1130-W

An attempt to read the file that defines which items are displayed for event conditions has failed. (file: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル名: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1131-W

The display item is not specified. (file = ファイル名)

表示項目が指定されていません (ファイル名: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていないため、デフォルト値を指定します。

(S)

デフォルト値を使用して、処理を続行します。

(O)

イベント条件表示項目定義ファイルに表示項目を指定して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1132-W

More than 256 display item have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が 256 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が 256 件を超えています。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。257 件以降は無視します。

(O)

イベント条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1133-W

The display item has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が重複しています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

イベント条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1134-W

An invalid display item is specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
無効な表示項目が指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

イベント条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1135-E

The file that defines which items are displayed for event conditions was not found.  
イベント条件表示項目定義ファイルが見つかりません

イベント条件表示項目定義ファイルが見つかりません。

(S)

イベント条件表示項目定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- イベント条件表示項目定義ファイルがあるか確認してください。イベント条件表示項目定義ファイルがない場合は、イベント条件表示項目定義ファイルを作成してください。
- イベント条件表示項目定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、イベント条件表示項目定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1136-W

Reading of the common exclusion conditions display item definition file failed. (file name = ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1137-W

The display item is not specified. (file = ファイル名)

表示項目が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていないため、デフォルト値を指定します。

(S)

デフォルト値を使用して、処理を続行します。

(O)

共通除外条件表示項目定義ファイルに表示項目を指定して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1138-W

More than 256 display item have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が 256 件を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が 256 件を超えています。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。257 件以降は無視します。

(O)

共通除外条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1139-W

The display item has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

共通除外条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1140-W

An invalid display item is specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
無効な表示項目が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

共通除外条件表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

共通除外条件表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1141-E

The common exclusion conditions display item definition file was not found.  
共通除外条件表示項目定義ファイルが見つかりません

共通除外条件表示項目定義ファイルが見つかりません。

(S)

共通除外条件表示項目定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 共通除外条件表示項目定義ファイルがあるか確認してください。共通除外条件表示項目定義ファイルがない場合は、共通除外条件表示項目定義ファイルを作成してください。
- 共通除外条件表示項目定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、共通除外条件表示項目定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

### KAVB1148-Q

The selected 項目 1 will be changed to 項目 2. Do you want to continue?

選択中の項目 1 を項目 2 に変更します。よろしいですか？

選択中の項目 1 を項目 2 に変更します。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、続行します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断して元の画面に戻ります。

### KAVB1149-Q

Are you sure you want to delete the selected filters?

選択中のフィルターをすべて削除してよろしいですか？

選択中のフィルターをすべて削除してもよいかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、選択したフィルターを削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択したフィルターを削除しません。

### KAVB1150-I

An additional common exclusion conditions group was registered. (common exclusion conditions group ID = 共通除外条件群 ID, common exclude conditions group name = 共通除外条件群名, registering user = ユーザー名)

追加共通除外条件群を登録しました。(共通除外群 ID:共通除外条件群 ID, 共通除外群名:共通除外条件群名, 登録ユーザー:ユーザー名)

追加共通除外条件群を登録しました。

## KAVB1151-Q

Are you sure you want to delete the selected conditions groups?

選択中の条件群をすべて削除してよろしいですか？

選択中の条件群をすべて削除してよろしいですか？

(S)

[はい] ボタンをクリックすると選択した条件群を削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると選択した条件群を削除しません。

## KAVB1152-Q

The selected additional common exclusion conditions groups will be changed to common exclusion conditions groups. Do you want to continue?

選択中の「追加共通除外条件群」を「共通除外条件群」に変更します。よろしいですか？

選択中の「追加共通除外条件群」を「共通除外条件群」に変更します。よろしいですか？

(S)

[はい] ボタンをクリックすると選択した追加共通除外条件群を共通除外条件群に変更します。[いいえ] ボタンをクリックすると変更しません。

## KAVB1153-E

The auto-input definition file for common exclusion conditions was not found.

共通除外条件自動入力定義ファイルが見つかりません

共通除外条件自動入力定義ファイルが見つかりません。

(S)

共通除外条件自動入力定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから `jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 共通除外条件自動入力定義ファイルがあるか確認する。共通除外条件自動入力定義ファイルがない場合は、共通除外条件自動入力定義ファイルを作成する。
- 共通除外条件自動入力定義ファイルに読み込み権限があるか確認する。読み込み権限がない場合は、共通除外条件自動入力定義ファイルに読み込み権限を設定する。

## KAVB1154-W

The auto-input definition file for common exclusion conditions failed to load. (file name = ファイル名)



共通除外条件自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

共通除外条件自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

共通除外条件自動入力定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のリソース不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1155-E

No more definitions can be added because the number of definitions in the common exclusion conditions group (extended) has reached the maximum. (maximum number of definitions in the conditions group = 上限数)

共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数に達しているため、これ以上定義できません。(条件群の上限数:上限数)

共通除外条件群（拡張）の定義数が上限数に達しているため、これ以上定義できません。

(O)

不要な共通除外条件群を削除してください。

## KAVB1156-W

The event acquisition filter settings from JP1/IM - View were discarded because the settings for event acquisition filters that use additional common exclusion conditions are configured in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に追加共通除外条件を使用したイベント取得フィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に追加共通除外条件を使用したイベント取得フィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効にして処理を続行します。

- (O)
- 追加共通除外条件群を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して設定する場合は、10-00 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB1157-E

No more definitions can be added because the size of the additional exclusion conditions group (extended) filters has reached the maximum. (conditions group maximum size = 上限サイズ)

共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズに達しているため、これ以上定義できません。(条件群の上限サイズ:上限サイズ)

共通除外条件群（拡張）のフィルターサイズが上限サイズに達しているため、これ以上定義できません。

- (O)
- 不要な共通除外条件群を削除するか、またはフィルターの上限サイズに収まるように条件群を定義してください。

#### KAVB1158-W

An attribute name has not been specified. (file name = ファイル名)

属性名が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

共通除外条件自動入力定義ファイルに属性名が指定されていないため、デフォルト値を使用します。

- (S)
- デフォルト値を使用して処理を続行します。
- (O)
- 共通除外条件自動入力定義ファイルに属性名を指定してから `jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB1159-W

An invalid attribute name is specified. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

無効な属性名が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

共通除外条件自動入力定義ファイルに無効な属性名が指定されています。

- (S)
- その行を無視して処理を続行します。
- (O)
- 共通除外条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正してから `jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1160-W

The attribute name is specified multiple times. (line number = 行番号, file name = ファイル名)  
属性名の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

共通除外条件自動入力定義ファイルに重複した属性名が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

共通除外条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正してからjco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1161-W

The common exclusion conditions group name was truncated because it exceeded 最大長 bytes.

共通除外条件群名の長さが最大長バイトを超えているため、超過した文字列を削除しました

共通除外条件自動入力定義ファイルで指定した共通除外条件群名の長さが上限を超えています。

(S)

超過分の文字列を削除して処理を続行します。

(O)

共通除外条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正してからjco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1162-W

The value of the parameter パラメーター is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーターの値が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示されたパラメーターの値が不適切です。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

共通除外条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正してからjco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードするか、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1163-E

The common exclusion conditions could not be set. (cause = 要因)

共通除外条件を設定できません。(要因:要因)

共通除外条件を設定するときにエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の要因の場合、JP1/IM - Manager の共通除外条件の動作モードを確認してから、JP1/IM - View を再起動後に再度実行してください。

- 「イベント取得フィルターが互換モードで動作しています。」
- 「共通除外条件の動作モードが基本モードで動作しています。」

次の要因の場合、定義ファイルが壊れている可能性があります。JP1/IM - Manager を停止し、共通除外条件の動作モードを一度基本モードに変更してから再度拡張モードに変更して共通除外条件（拡張）定義を初期化してください。

- 「定義ファイルに誤りがあります。」

次の要因の場合、IM データベースサービスの状態が稼働中になっていません。マネージャーの統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されていることを確認してから再度実行してください。KAVB4003-I のメッセージが出力されていない、かつ統合監視 DB を使用している場合は、jimbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認し、統合トレースログに KAVB4003-I のメッセージが出力されたあと、再度実行してください。

- 「イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。」

次の要因の場合、保存時に文字化けする文字が定義に含まれています。環境依存文字など文字化けする文字を使用しないようにして再度反映してください。

- 「保存できない文字が含まれています。」

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1190-E

An error occurred while reading the system definition file. (cause = 要因, file name = ファイル名)

システムの定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

システムの定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

システムの定義ファイルの内容を無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1191-E

An error occurred while reading the severity change definition file. (cause = 要因, file name = ファイル名)

重大度変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

重大度変更定義ファイルの内容を無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1192-E

An error occurred while reading the display message change definition file. (cause = 要因, file name = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

表示メッセージ変更定義ファイルの内容を無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1200-E

Communication error occurred in establishing the connection.

Host name: ホスト名, Port number: ポート番号

Details: 詳細情報

接続中に通信エラーが発生しました

ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号

詳細情報:詳細情報

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

## KAVB1201-E

Communication error occurred in receiving data.

Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**

Details: [詳細情報](#)

受信中に通信エラーが発生しました

ホスト名:**ホスト名**, ポート番号:**ポート番号**

[詳細情報](#):[詳細情報](#)

通信中に受信処理が失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度、操作してください。

また、IPv6 アドレスでは接続はできません。接続しているマネージャーホストの統合トレースログに KAVB1880-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1880-E を参照してください。

## KAVB1202-E

Communication error occurred in sending data.

Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**

Details: [詳細情報](#)

送信中に通信エラーが発生しました

ホスト名:**ホスト名**, ポート番号:**ポート番号**

[詳細情報](#):[詳細情報](#)

通信中に送信処理が失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度、操作してください。

また、IPv6 アドレスでは接続はできません。接続しているマネージャーホストの統合トレースログに KAVB1880-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1880-E を参照してください。

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KAVB1203-E

Communication error occurred during communication.

Host name: ホスト名, Port number: ポート番号

Details: 詳細情報

通信中に通信エラーが発生しました

ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号

詳細情報:詳細情報

通信中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度、操作してください。

また、IPv6 アドレスでは接続はできません。接続しているマネージャーホストの統合トレースログに KAVB1880-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1880-E を参照してください。

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KAVB1204-E

An error occurred in the communication processing.

Host name: ホスト名, Port number: ポート番号

Details: 詳細情報

通信処理中にエラーが発生しました

ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号

詳細情報:詳細情報

ビューアー側で通信処理中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1205-E

Timeout occurred in the server processing.  
Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**  
サーバ側処理がタイムアウトしました  
ホスト名:**ホスト名**, ポート番号:**ポート番号**

サーバ側処理でタイムアウトになりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

通信タイムアウト時間の設定を見直してください。

また、IPv6 アドレスでは接続はできません。接続しているマネージャーホストの統合トレースログに KAVB1880-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1880-E を参照してください。

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KAVB1206-E

An error occurred in starting the server.  
Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**  
Details: **詳細情報**  
サーバ起動中にエラーが発生しました  
ホスト名:**ホスト名**, ポート番号:**ポート番号**  
詳細情報:**詳細情報**

サーバ起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ネットワーク管理者に連絡してください。

## KAVB1207-E

An error occurred in the communication processing on the server side.  
Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**  
Details: **詳細情報**  
サーバ側通信処理でエラーが発生しました  
ホスト名:**ホスト名**, ポート番号:**ポート番号**  
詳細情報:**詳細情報**



サーバ側で通信処理中にエラーが発生しました。

統合監視 DB を使用している場合は、IM データベースサービスの状態が稼働中になっていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

- `jcochstat` コマンドの使用時にこのメッセージが表示された場合  
`jcochstat` コマンドは、JP1/IM - Central Console (Satellite Console) 06-00 に対しては使用できません。指定した JP1/IM - Central Console (Satellite Console) のバージョンを確認してください。
- 統合監視 DB を使用している場合  
`jimdbstatus` コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認できたら、再実行してください。マネージャーホストの統合トレースログに KAVB8602-E メッセージが出力されている場合は、KAVB8602-E メッセージの対処方法に従って対処してください。
- 上記以外の場合  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1208-E

An error occurred in communication processing.

Details:[詳細情報](#)

通信処理中にエラーが発生しました

詳細情報:[詳細情報](#)

サーバ側で通信処理中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- また、IPv6 アドレスでは接続はできません。接続しているマネージャーホストの統合トレースログに KAVB1880-E のメッセージが出力されている場合、KAVB1880-E を参照してください。

## KAVB1209-E

An error occurred in the server side communication processing.

Details:[詳細情報](#)

サーバ側通信処理でエラーが発生しました

サーバ側で通信処理中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- JP1/IM - Console View 06-51 のログイン時にこのメッセージが表示された場合  
JP1/IM - Console View 06-51 は、JP1/IM - Central Console (Satellite Console) 06-00 と接続できません。指定した JP1/IM - Central Console (Satellite Console) のバージョンを確認してください。
- 上記以外の場合  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1210-E

A communication error occurred while establishing a connection.

Cannot convert the host name into an IP address.

Confirm the host name.

Host name: **ホスト名**, Port number: **ポート番号**

Details: **詳細情報**

接続中に通信エラーが発生しました。

ホスト名を IP アドレスに変換できません。

ホスト名を確認してください

ホスト名: **ホスト名**, ポート番号: **ポート番号**

詳細情報: **詳細情報**

接続中に通信エラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

DNS 環境で運用している場合は DNS の設定を確認してください。

hosts ファイルで運用している場合は hosts ファイルの設定を確認してください。

## KAVB1211-W

The port number of the **サービス名** service could not be acquired.

The default port number **ポート番号** will be used now and the system will run.

Confirm the setting.

サービス名サービスのポート番号を取得できませんでした。  
ポートポート番号番(デフォルト)を使用し起動します。  
設定を確認してください

JP1/IM - Manager 起動時に、ポート番号の取得に失敗しました。

(S)

デフォルトのポート番号を使用し、処理を続行します。

(O)

ポート番号の設定を見直してください。

## KAVB1401-E

Failed to build a message due to an exception (例外クラス名).  
例外 (例外クラス名) が発生しましたが、メッセージの構築に失敗しました

例外が発生しましたが、メッセージの構築に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1501-E

Cannot execute the request. Invalid data is included in the request to the server.  
Server name=サーバ名  
Request to server=サーバへの要求  
サーバへの要求に不正な情報が含まれていたため、処理を実行できませんでした  
サーバ名=サーバ名  
サーバへの要求=サーバへの要求

サーバへの要求に不正な情報が含まれていました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1502-E

System error occurred in the server.  
Server name=サーバ名  
サーバでシステムエラーが発生しました  
サーバ名=サーバ名

システムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1503-E

Memory shortage occurred in the server.  
Server name=サーバ名  
サーバでメモリー不足が発生しました  
サーバ名=サーバ名

サーバでメモリーが不足しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

マネージャー側のマシンで、使用していないアプリケーションを終了してください。

## KAVB1504-E

An error occurred in the communication between the server and Event Service.  
Server name=サーバ名  
サーバとイベントサービス間の通信でエラーが発生しました  
サーバ名=サーバ名

次の要因が考えられます。

- マネージャーが起動されていない。
- イベントサービスが起動されていない。
- 処理要求の負荷が一時的に高くなっている。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因に従って対処してください。

- マネージャーが起動されているか確認してください。
- イベントサービスが起動されているか確認してください。
- リトライしてください。何度リトライしても成功しない場合は、ビューアーを再起動してリトライしてください。

## KAVB1506-E

Cannot find the file in the server.

Server name=サーバ名

File name=ファイル名

サーバでファイルを見つけることができませんでした

サーバ名=サーバ名

ファイル名=ファイル名

マネージャーで障害が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVB1507-E

The object on the server is not in the state to be able to accept the request.

Server name=サーバ名

Object=オブジェクト

Status=ステータス

Request=要求

サーバ上のオブジェクトが要求を受け付けられる状態ではありません

サーバ名=サーバ名

オブジェクト=オブジェクト

ステータス=ステータス

要求=要求

サーバへの要求が受け付けられる状態ではありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

時間をおいて再実行してください。

## KAVB1509-E

Failed to communicate with the server.

Server name=サーバ名

サーバとの通信に失敗しました

サーバ名=サーバ名

次の要因が考えられます。

- マネージャーが起動されていない。
- イベントサービスが起動されていない。
- 処理要求の負荷が一時的に高くなっている。
- IM データベースサービスの状態が稼働中になっていない。
- 通信暗号化機能の設定が正しくない。
- 接続ホストとの通信で何らかの障害が発生した。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因に従って対処してください。

- マネージャーが起動されているか確認してください。
- イベントサービスが起動されているか確認してください。
- リトライしてください。何度リトライしても成功しない場合は、ビューアーを再起動してリトライしてください。
- 統合監視 DB を使用している場合は、`jimdbstatus` コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認できたら、再実行してください。マネージャーホストの統合トレースログに KAVB8602-E メッセージが出力されている場合は、KAVB8602-E メッセージの対処方法に従って対処してください。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。
- 接続ホストとの通信に問題がないか確認してください。

## KAVB1510-E

Failure either in the file or network I/O on the server.

Server name=サーバ名

サーバでファイル又はネットワークでの入出力に失敗しました

サーバ名=サーバ名

マネージャーで障害が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

マネージャーの統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001~KAVB2000 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1512-E

System error occurred.

システムエラーが発生しました

システムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVB1513-W

Cannot display some event(s).

There were no events to obtain from the event buffer on the connecting host.

All the events except the above will be displayed.

To search for an event which was not displayed, specify the search conditions in the event search condition settings dialog as follows:

- (1) In "Search host", specify the name of the connecting host.

(2) In "Registered timeframe", specify the times when the events before and after this event were registered.

Check to see if the following conditions are met when this event appears frequently.

(1) The "Interval" value that was set for "Automatic refresh" in the Preferences window is too long.

(2) The "Num. of events to acquire at update" value that was set in the Preferences window is too small.

(3) The "Event buffer" value for the Manager that was set in the System Environment Settings window is too small.

表示できなかったイベントがあります。

表示できなかったイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、以下の検索条件を指定し検索してください。

(1) 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する

(2) 登録時刻として、このイベントの前又は後に表示されているイベントの登録時刻を指定する

このイベントが頻繁に表示される場合は、以下の条件に該当していないか確認し、必要があれば設定値を見直してください。

(1) [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「表示内容の自動更新」の「更新間隔」の設定値が長い

(2) [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「更新時のイベント取得件数」の設定値が小さい

(3) [システム環境設定] 画面で設定されている、マネージャーの「イベントバッファー」の設定値が小さい

取得しようとしたイベントがすでに接続ホストのイベントバッファーになかったため、イベントを表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

このイベントが頻繁に表示される場合、次の条件が該当しないか設定を見直してください。

- [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「表示内容の自動更新」の「更新間隔」の設定値が長い。
- [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「更新時のイベント取得件数」の設定値が小さい。
- [システム環境設定] 画面で設定されている、マネージャーの「イベントバッファー」の設定値が小さい。

## KAVB1515-E

Failed to obtain the information about the event selected. Cannot continue processing.

選択中のイベントに関する情報の取得に失敗しました。処理を続行できません

選択中のイベント情報を、イベントサービスまたは統合監視 DB から取得できませんでした。



(S)

処理を中断します。

(O)

- 選択したイベントの内容、スクロールバッファ上の位置、イベントサービスが起動しているか、または選択していたイベントがイベント DB 上にあるか確認してください。
- 統合監視 DB を使用している場合は、次のメッセージがマネージャーの統合トレースログに出力されていないか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従ってください。
  - KAVB1660-E
  - KAVB1661-E
  - KAVB1662-E
  - KAVB1678-E

出力されていない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1516-W

An error occurred in acquiring an event from the event service.

Cannot recover the error after attempting the number of retries specified in the system profile.

No more events will be displayed from now on due to this error. Please check if the event service is running or not.

If not, recover the error by re-executing the manager after starting the event service.

イベントサービスからイベントを取得するときにエラーが発生しました。

システムプロファイルに指定された回数リトライしましたが、回復しません。

このため、以降のイベントは表示されません。

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合は、イベントサービス起動後、マネージャーを再起動して、回復してください

イベントサービスからイベントを取得するときにエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合は、イベントサービス起動後、マネージャーを再起動して、回復してください。

イベント検索実行後にこのメッセージが [イベントコンソール] 画面の [イベント検索] ページに表示された場合は、検索ホスト名が正しいかどうか確認してください。

マネージャー上で接続ホスト名および検索ホスト名が、アドレス解決できるようにしてください。

## KAVB1517-I

Started the manager.

マネージャーを起動しました

マネージャーを起動しました。

## KAVB1518-I

Stopped the manager.

マネージャーを停止しました

マネージャーを停止しました。

## KAVB1519-I

Stopping the manager because a termination request was received.

終了要求を受信したため、マネージャーを停止します

終了要求を受信したため、マネージャーを停止しました。

## KAVB1520-E

Stopping the manager because an interruption.

Details: [詳細情報](#)

割り込みが発生しました。マネージャーを停止します

詳細情報: [詳細情報](#)

マネージャーで障害が発生しました。

(S)

マネージャーを停止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVB1521-E

Stopping the manager because an error occurred.

Details: [詳細情報](#)

エラーが発生しました。マネージャーを停止します

詳細情報: [詳細情報](#)

マネージャーで障害が発生しました。

(S)

マネージャーを停止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVB1522-E

JP1/Base Event Service could not be connected so no further events will be displayed.  
イベントサービスとの接続が確立できません。  
このため、以降のイベントは表示されません

マネージャーとイベントサービスとの接続が確立できません。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合は、イベントサービス起動後、マネージャーを再起動して、回復してください。

イベント検索実行後にこのメッセージが出力された場合は、検索ホスト名が正しいかどうか確認してください。

通信暗号化機能を使用している場合は、以下を確認し設定を見直してください。

- マネージャーと検索ホストの JP1/Base の通信暗号化機能の設定が一致しているか
- マネージャーと検索ホストの JP1/Base の非 SSL 通信ホスト設定ファイルの設定が一致しているか
- 検索ホストのサーバ証明書に対応するルート証明書がマネージャーに配置されているか

## KAVB1523-E

Some of the events selected no longer exist in the event DB on the Manager host.  
So, their event attributes have not been changed.  
選択中のイベントがマネージャーにありません。  
対処などの属性を変更できなかったイベントがあります

対処状況の変更、または削除の実行時に選択していたイベントがイベント DB 上にありません。このため、イベント属性を更新できませんでした。このような現象は、マネージャー上のイベント DB の容量を超えて新しいイベントが到着しているか、イベント DB を削除した場合に発生します。

(S)

操作したイベントコンソール上の表示を更新し、処理を続行します。

## KAVB1524-E

Could not apply the changes in the selected JP1 event attributes to the event DB on the Manager host.

対処などの操作で選択していたイベントをマネージャーに反映できませんでした

JP1/Base のイベントサービスとの通信に失敗しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

- JP1/Base のイベントサービスが起動されているか確認し、起動していない場合は再起動後に再度操作してください。
- 統合監視 DB を使用している場合は、次のメッセージがマネージャーの統合トレースログに出力されていないか確認し、出力されている場合は、メッセージの対方法に従ってください。
  - ・ KAVB1663-E
  - ・ KAVB1664-E
  - ・ KAVB1665-E
  - ・ KAVB1674-E
  - ・ KAVB1675-E
  - ・ KAVB1676-E

出力されていない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1525-E

An internal definition file is invalid. (詳細情報)

内部定義ファイルが正しく定義されていません (詳細情報)

内部定義ファイルの定義内容が正しくありません。

(S)

JP1/IM - Manager と JP1/IM - View の処理を終了します。また、jcochstat コマンドの処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1526-E

The specified event cannot change the corresponding conditions. Confirm the specified number of the serial number in the event DB.

指定したイベントは対処状況を変更できません。イベント DB 内通し番号の指定値を確認してください

更新できないイベントのイベント DB 内通し番号を指定しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

イベント DB 内通し番号の指定を見直してください。

## KAVB1527-E

A condition that cannot be received by the search host is included.

検索ホストで受け付けられない条件が含まれています

バージョン 06-00 以前のイベントサービスに対して、イベントサービスがサポートしていない、次のどちらかの検索条件を指定してイベント検索を実行しています。

- 「を含む」または「を含まない」を指定している。
- 複数の対処状況を同時に指定している。

または、バージョン 06-51 以前のイベントサービスに対して、イベントサービスがサポートしていない「正規表現」を指定しています。

(S)

[イベント検索条件設定] 画面を閉じ、[イベントコンソール] 画面に戻ります。

(O)

- 「と一致する」「と一致しない」「から始まる」のどれかを指定して検索を再実行してください。
- 対処状況を一つだけ指定して再実行してください。

## KAVB1528-E

The specified value of a definition setting is out of range. (設定項目:設定値)

設定項目の設定値 (設定値) が範囲外です

設定値が範囲外です。

(S)

設定値を丸めて動作します。

(O)

設定値を見直してください。

## KAVB1529-E

The value of a common definition setting is out of range. (ラベル:設定値)

共通定義 (ラベル) の設定値 (設定値) が範囲外です

設定値が範囲外です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

設定値を見直してください。

## KAVB1531-E

```
定義ファイル is corrupt.  
filename: ファイル名  
定義ファイルが壊れています  
ファイル: ファイル名
```

定義ファイルが壊れているため、定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

ファイル名に表示された定義ファイルのバックアップから定義ファイルをリストアし、JP1/IM - Manager を再起動してください。定義ファイルをバックアップしていない場合は、定義ファイルごとに次を実施してください。

- イベント取得フィルター定義ファイルの場合、次の方法でイベント取得フィルター定義ファイルをコピーしてください。そのあと、JP1/IM - Manager を再起動しイベント取得フィルターの定義を設定し直してください。

Windows の場合：

```
copy Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf.model
```

```
Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf
```

UNIX の場合：

```
cp -p /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf.model
```

```
/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf
```

- そのほかの定義ファイルの場合、定義ファイルを削除したあとに JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1532-E

```
The specified value of a definition setting is out of range.(設定項目:設定値)  
設定項目の設定値 (設定値) が範囲外です
```

設定値が範囲外です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

設定値を見直してください。

#### KAVB1533-E

A value defined for an item (設定項目) is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.  
(jpluser-name = JP1 ユーザー名)

設定項目の値が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。(JP1 ユーザー名:JP1 ユーザー名)

設定値が不正です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

JP1 ユーザーの [ユーザー環境設定] で設定項目を設定し直してください。

#### KAVB1534-E

A value defined for an item (設定項目) is outside the valid range. The default value (デフォルト値) will be used.(jpluser-name = JP1 ユーザー名)

設定項目の値が範囲外です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。(JP1 ユーザー名:JP1 ユーザー名)

設定値が範囲外です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

JP1 ユーザーの [ユーザー環境設定] で設定項目を設定し直してください。

#### KAVB1535-E

A connection to the authentication server could not be established.

認証サーバに接続できません

認証サーバに接続できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 認証サーバが起動しているか。
- 認証サーバと通信できるか。
- 認証サーバの設定が間違っていないか。
- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

## KAVB1536-E

設定項目 is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

設定項目が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

設定値が不正です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

JP1 ユーザーの [ユーザー環境設定] で設定項目を設定し直してください。

## KAVB1538-W

The ページ that was displayed at the last logout could not be displayed. The Monitor Events page will be displayed.

前回ログアウト時に表示していたページを表示できませんでした。[イベント監視] ページを表示します

前回ログアウト時に表示していたページを表示できませんでした。

(S)

[イベント監視] ページを表示します。

(O)

該当するページを表示する設定になっているか確認してください。なお、[応答待ちイベント] ページは、応答待ちイベント管理機能、および応答待ちイベントの応答・操作の設定を有効にすると表示されます。

## KAVB1539-W

The View filter that was selected at the last logout was not found. The View filter will be disabled and a screen will be displayed. (page = ページ, View filter name = 表示フィルター名)

前回ログアウト時に選択していた表示フィルターが見つかりませんでした。表示フィルターを無効にして画面を表示します。(ページ:ページ, 表示フィルター名:表示フィルター名)



表示フィルターが削除，または表示フィルター名が変更されたため，前回ログアウト時にページで選択していた表示フィルターが見つかりませんでした。

(S)

ページの表示フィルターを無効にして画面を表示します。

(O)

前回ログアウト時に選択していた表示フィルターが削除，または変更されていないか確認してください。

## KAVB1540-W

Cannot display some event(s). (page = ページ)

There were no events to obtain from the event buffer on the connecting host.

All the events except the above will be displayed.

To search for an event which was not displayed, specify the search conditions in the event search condition settings dialog as follows:

(1) In "Search host", specify the name of the connecting host.

(2) In "Registered timeframe", specify the times when the events before and after this event were registered.

Check to see if the following conditions are met when this event appears frequently.

(1) The "Interval" value that was set for "Automatic refresh" in the Preferences window is too long.

(2) The "Num. of events to acquire at update" value that was set in the Preferences window is too small.

(3) The "Event buffer" value for the Manager that was set in the System Environment Settings window is too small.

表示できなかったイベントがあります。(ページ:ページ)

表示できなかったイベントを確認するには，[イベント検索条件設定] 画面を表示し，以下の検索条件を指定し検索してください。

(1) 検索ホスト名として，接続中のホスト名を指定する

(2) 登録時刻として，このイベントの前又は後に表示されているイベントの登録時刻を指定する

このイベントが頻繁に表示される場合は，以下の条件に該当していないか確認し，必要があれば設定値を見直してください。

(1) [ユーザー環境設定] 画面で設定されている，「表示内容の自動更新」の「更新間隔」の設定値が長い

(2) [ユーザー環境設定] 画面で設定されている，「更新時のイベント取得件数」の設定値が小さい

(3) [システム環境設定] 画面で設定されている，マネージャーの「イベントバッファ」の設定値が小さい

取得しようとしたイベント（隠しイベントも含む）がすでに接続ホストのイベントバッファになかったため，ページにイベントを表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

このイベントが頻繁に表示される場合、以下の条件が該当しないか設定を見直してください。

- [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「表示内容の自動更新」の「更新間隔」の設定値が長い。
- [ユーザー環境設定] 画面で設定されている、「更新時のイベント取得件数」の設定値が小さい。
- [システム環境設定] 画面で設定されている、マネージャーの「イベントバッファ」の設定値が小さい。

## KAVB1541-E

The start position for event collection could not be obtained. The range of events to be collected at login will be disabled, and the Event Console will appear.

イベント取得開始位置を取得できませんでした。ログイン時のイベント取得範囲を無効にして画面を表示します

ログイン時のイベント取得開始位置を取得できませんでした。次の要因が考えられます。

- JP1/IM - View と JP1/IM - Manager の通信で通信エラーが発生した。
- IM データベースサービスに接続できない。

(S)

ログイン時のイベント取得範囲を無効にして、画面を表示します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 統合トレースログを確認し、このメッセージより前に JP1/IM - View のエラーメッセージが出力されていないか確認する。エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処する。
- IM データベースサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースサービスを起動する。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認する。

上記を確認したあと、JP1/IM - View を再起動してください。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1542-E

An error occurred during the collection of events from the integrated monitoring database. The range of events to be collected at login will be disabled, and the Event Console will appear.

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。ログイン時のイベント取得範囲を無効にして画面を表示します

IM データベースサービスに接続できないため、統合監視 DB からイベントを取得できません。

(S)

ログイン時のイベント取得範囲を無効にして画面を表示します。

(O)

IM データベースサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

上記を確認したあと、JP1/IM - View を再起動してください。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1543-E

Event information could not be obtained from the integrated monitoring database, because that database is currently inactive. The range of events to be collected at login will be disabled, and the Event Console will appear.

統合監視 DB が無効なため、統合監視 DB からイベントを取得することができません。ログイン時のイベント取得範囲を無効にして画面を表示します

統合監視 DB が無効なため、統合監視 DB からイベントを取得できません。

(S)

ログイン時のイベント取得範囲を無効にして画面を表示します。

(O)

統合監視 DB の設定を確認し、JP1/IM - View を再起動してください。

### KAVB1544-W

The 機能名 is enabled, but the 前提機能名 is disabled. To use the 機能名, enable the 前提機能名. 機能名は有効で設定しましたが、前提機能名は無効で設定されています。機能名を使用する場合は、前提機能名も有効に設定してください

有効に設定している機能の前提機能が無効に設定されています。有効に設定している機能を使用する場合は、前提機能の設定も有効にしてください。

(S)

処理を終了します。

(O)

メッセージに表示されている機能を使用する場合は、前提機能の設定も有効にしてください。

## KAVB1551-E

An attempt to save the event-information mapping definition failed.  
イベント情報マッピング定義の保存に失敗しました

マッピング定義ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

マッピング定義の保存を打ち切り、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1552-E

An attempt to read the event-information mapping definition failed.  
イベント情報マッピング定義の読み込みに失敗しました

マッピング定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

デフォルトのマッピング定義を使用して、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1554-E

A nonnumeric attribute value (属性値) cannot be mapped to a time-related display item (属性名).

時刻に関する表示項目 (属性名) に数値以外の属性値 (属性値) をマッピングすることはできません

時刻に関する表示項目に、数値 (UTC 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 からの秒数) 以外の値が指定されています。

(S)

この時刻に関する表示項目へのマッピングを無視し、マッピング処理を続行します。

(O)

時刻に関する表示項目には、数値 (0~4,102,444,799 = UTC 1970 年 1 月 1 日 00:00:00~2099 年 12 月 31 日 23:59:59) を指定してください。

## KAVB1556-E

During mapping of event information, a system error occurred.  
イベント情報マッピング中にシステムエラーが発生しました

マッピングの処理中に、予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1558-E

An attempt to update the notification status has failed. (function ID = ID, detailed code = コード)

通知状態の更新に失敗しました。 機能 ID:ID 詳細コード:コード

通知状態の更新に失敗しました。

(S)

通知状態の更新処理を中断します。

(O)

同じメッセージが何度も表示される場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1570-I

A connection request from JP1/IM - View was refused because startup of the IM database service has not finished yet.

IM データベースサービスの起動完了を待っているため、JP1/IM-View からの接続要求を拒否しました

IM データベースサービスの起動完了を待っているため、JP1/IM - View からの接続要求を拒否しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB1571-I

A connection request from JP1/IM-Console View V6 (6i) was refused.

JP1/IM - Console View V6(6i)からの接続要求を拒否しました

JP1/IM - Console View V6 (6i) からの接続を拒否する設定が有効になっているため、接続を拒否しました。

## KAVB1572-I

A connection request from jcochstat was refused.

jcochstat コマンドからの接続要求を拒否しました

jcochstat コマンドからの接続を拒否する設定が有効になっているため、接続を拒否しました。

## KAVB1573-W

The filter setting from JP1/IM - View was discarded, because an event receiver filter that uses OR is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に論理和を使用したユーザーフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのユーザーフィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に論理和を使用したユーザーフィルターが設定されているため、07-00 以前のバージョンの JP1/IM - View からのユーザーフィルターの設定を破棄しました。

(S)

ユーザーフィルターの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

論理和を使用したユーザーフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対してユーザーフィルターを設定する場合は、バージョン 07-10 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1574-W

The event acquisition settings in the system environment settings were discarded, because the version of JP1/IM - View currently in use is version 07-00 or earlier.

使用している JP1/IM - View のバージョンがバージョン 07-00 以前であるため、システム環境設定の設定項目の内、イベント取得条件の設定は有効になりません

使用している JP1/IM - View がバージョン 07-00 以前であるため、システム環境設定のイベント取得条件の設定は無効です。イベント取得条件の設定を参照および使用はできません。

(S)

イベント取得条件の設定を無効として、処理を続行します。

(O)

イベント取得フィルターを設定する場合は、バージョン 07-10 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1575-W

The filter setting from JP1/IM - View was discarded, because a severe event definitions that uses OR is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に論理和を使用した重要イベント定義が設定されているため、JP1/IM - View からの重要イベント定義の設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に論理輪を使用した重要イベント定義が設定されているため、07-00 以前のバージョンの JP1/IM - View からの重要イベント定義の設定を破棄しました。

(S)

重要イベント定義の設定を無効として、処理を続行します。

(O)

論理和を使用した重要イベント定義が設定されている JP1/IM - Manager に対して重要イベント定義を設定する場合は、バージョン 07-10 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1576-E

The filtering process for severe event definitions has failed. (Serial number: イベント DB 内通し番号, Event ID: イベント ID)

重要イベント定義のフィルタリング処理を行えませんでした (イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号, イベント ID: イベント ID)

重要イベント定義が取得できないため、重要イベント定義のフィルタリング処理に失敗しました。重要イベント定義のフィルタリング処理に失敗したイベントは、重要イベント定義に合致していても [イベントコンソール] 画面の [重要イベント] ページに表示されません。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1577-I

A status operation was performed. (user who performed the operation = JP1 ユーザー, event ID = イベント ID, status before operation = 対処前状況, status after operation = 対処後状況)

対処状況の操作が行われました (操作ユーザー: JP1 ユーザー, イベント ID: イベント ID, 対処前状況: 対処前状況, 対処後状況: 対処後状況)

対処状況の操作が行われました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB1578-E

An attempt to read the status event definition file (processupdate.conf) has failed. The default value will be used. (reason = 要因)

対処状況イベント定義ファイル(processupdate.conf)の読み込みに失敗しました。デフォルト値を使用します。要因: 要因

対処状況イベント定義ファイル (processupdate.conf) の読み込みに失敗しました。デフォルト値である「対処状況イベント (00003F11) を発行しない」を仮定して処理を続行します。

(S)

デフォルト値である「対処状況イベント（00003F11）を発行しない」を仮定して処理を続けます。

(O)

- 要因に「ファイルが存在しません」が表示された場合  
対処状況イベント定義ファイルのモデルファイル（processupdate.conf.model）を processupdate.conf の名称でコピーし、必要に応じて定義を変更して JP1/IM - Manager を再起動してください。  
ファイルが存在する場合は、アクセス権が正しく設定されているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- 要因に「ファイル入出力エラーが発生しました」が表示された場合  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因に上記以外が表示された場合  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1579-E

There is an error in the status event definition file (processupdate.conf). The default value will be used. (line 行番号 = 詳細情報)

対処状況イベント定義ファイル(processupdate.conf)にエラーがあります。デフォルト値を使用します (行番号 行目):詳細情報

対処状況イベント定義ファイル（processupdate.conf）に無効な値が設定されているため、デフォルト値である「対処状況イベント（00003F11）を発行しない」を仮定して処理を続けます。

(S)

デフォルト値である「対処状況イベント（00003F11）を発行しない」を仮定して処理を続けます。

(O)

定義ファイルが正しく設定されているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB1580-I

A JP1 event (イベント ID) was issued.  
JP1 イベント(イベント ID)を発行しました

JP1 イベントを発行しました。

(S)

処理を続けます。



## KAVB1581-E

Information necessary for the status event (イベント ID) could not be acquired from the event DB. (reason = 要因)

対処状況イベント(イベント ID)に必要な情報をイベントデータベースから取得できませんでした。要因:要因

対処状況イベント (00003F11)に必要な情報をイベント DB から取得できなかったため、対処状況イベント (00003F11) が発行できませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

JP1/Base のイベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。

JP1/Base のイベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1582-E

A JP1 event (イベント ID) could not be issued. (reason = 要因)

JP1 イベント(イベント ID)が発行できませんでした。要因:要因

JP1 イベントが発行できませんでした。

(S)

JP1 イベントの発行を中止します。

(O)

JP1/Base のイベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。

JP1/Base のイベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1583-W

The filter setting (フィルター) from JP1/IM - View was discarded because the filter setting (フィルター) that uses the exclusion condition is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に除外条件を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのフィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に除外条件を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

除外条件を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して設定を行う場合は、08-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB1584-W

The setting of the event acquisition filter from JP1/IM - View was discarded because the event acquisition filter setting that uses the common exclusion condition is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に共通除外条件を使用したイベント取得フィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に共通除外条件を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

共通除外条件を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して設定を行う場合は、08-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB1585-I

Reading of the guide information file has finished. (ファイル名)

Number of guide information items: ガイド情報数

ガイド情報ファイル(ファイル名)の読み込みを終了しました

ガイド情報数:ガイド情報数

イベントガイド情報ファイル (ファイル名) から、ガイド情報数件のイベントガイド情報を読み込みました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB1586-W

An error occurred while reading a guide information file. (ファイル名)

Line: 行番号

Guide information: タグ名

Details: 要因コード

ガイド情報ファイル(ファイル名)の読み込み中にエラーが発生しました

行番号:行番号

ガイド情報:タグ名

イベントガイド情報ファイル, または, イベントガイドメッセージファイルの記述に誤りがありました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次の要因コードに従って, ファイル名の記述誤り (行番号) を修正し, JP1/IM - Manager を再起動, またはリロード (jco\_spmd\_reload コマンドを実行) してください。

- 要因コード: 000  
説明: その他のエラー  
対処: システム管理者に連絡してください。
- 要因コード: 001  
説明: 未サポート構文がありました。[END]まで無視します。[EV\_GUIDE\_イベントガイド番号]以外のタグが記述された場合, 出力されます。  
対処: 該当する個所を修正してください。
- 要因コード: 002  
説明: 未サポート構文がありました。この行は無視します。  
対処: 該当する個所を修正してください。
- 要因コード: 101  
説明: DESC\_VERSION が複数指定されています。このDESC\_VERSIONは無視します。  
対処: DESC\_VERSION は一つだけ指定してください。
- 要因コード: 201  
説明: [EV\_GUIDE\_イベントガイド番号]タグの指定が不正です。イベントガイド番号が 1~9999 の数字で指定されていません。このイベントガイド情報は無視します。  
対処: イベントガイド番号を 1~9999 の数字に変更してください。
- 要因コード: 202  
説明: [EV\_GUIDE\_イベントガイド番号]タグが複数存在します。このイベントガイド情報は無視します。  
対処: [EV\_GUIDE\_イベントガイド番号]タグがイベントガイド情報ファイル内で一意になるように指定してください。
- 要因コード: 203  
説明: イベントガイド情報の定義数が最大値を超えています。このイベントガイド情報以降は, 無視します。  
対処: 定義数が最大値を超えないよう設定し直してください。
- 要因コード: 204  
説明: [END]で閉じていません。これ以降のイベントガイド情報は無視します。

対処：[EV\_GUIDE\_イベントガイド番号]は[END]で閉じてください。

- 要因コード：205  
説明：EV\_GUIDE, EV\_FILE の指定がありません。  
対処：EV\_GUIDE, EV\_FILE でイベントガイドメッセージを指定してください。
- 要因コード：301  
説明：EV\_COMP の定義数が最大値を超えています。この比較条件は無視します。  
対処：定義数が最大値を超えないように設定し直してください。
- 要因コード：302  
説明：EV\_COMP 属性値が不正です。属性名:属性値のフォーマットで記述されていません。  
対処：属性名:属性値のフォーマットで記述してください。
- 要因コード：303  
説明：EV\_COMP が指定されていません。このイベントガイド情報を無効にします。  
対処：EV\_COMP を指定してください。
- 要因コード：304  
説明：比較条件の正規表現が不正です。  
対処：比較条件の正規表現を修正してください。
- 要因コード：305  
説明：属性名の先頭が、「B.」または「E.」になっていません。  
対処：属性名は、「B.」で始まる JP1 イベントの基本属性、または「E.」で始まる JP1 イベントの拡張属性を指定してください。
- 要因コード：401  
説明：EV\_GUIDE 属性が複数指定されています。このEV\_GUIDE 属性は無視します。  
対処：EV\_GUIDE 属性は一つだけ指定してください。
- 要因コード：402  
説明：イベントガイドメッセージ長が最大値を超えています。  
対処：イベントガイドメッセージの長さを最大値までにしてください。
- 要因コード：403  
説明：「\$」が一つしか記述されていません。  
対処：「\$」を指定する場合は、「¥\$」と記述してください。
- 要因コード：404  
説明：「¥」が一つしか記述されていません。  
対処：「¥」を指定する場合は、「¥¥」と記述してください。
- 要因コード：405  
説明：置き換え文字の指定に誤りがあります。  
対処：置き換え文字の指定を見直して、修正してください。

- 要因コード：501  
説明：EV\_FILE 属性が複数指定されています。このEV\_FILE 属性は無視します。  
対処：EV\_FILE 属性は一つだけ指定してください。
- 要因コード：502  
説明：イベントガイドメッセージファイル名が最大値を超えています。このEV\_FILE 属性は無視します。  
対処：イベントガイドメッセージファイル名の長さを最大値までにしてください。
- 要因コード：601  
説明：EV\_USER 属性が複数指定されています。このEV\_USER 属性は無視します。  
対処：EV\_USER 属性は一つだけ指定してください。
- 要因コード：602  
説明：EV\_COMP 属性に指定された JP1 ユーザー名に誤りがあります。  
対処：一つの JP1 ユーザー名は最大 31 バイトまでです。JP1 ユーザーを見直して、修正してください。
- 要因コード：603  
説明：EV\_USER 属性に指定された JP1 ユーザー名が 100 個を超えています。101 個目以降の JP1 ユーザー名は無視します。  
対処：EV\_USER 属性に指定する JP1 ユーザー名を 100 個までにしてください。
- 要因コード：604  
説明：EV\_USER 属性に JP1 ユーザー名が指定されていません。  
対処：EV\_USER 属性に JP1 ユーザー名を指定してください。

## KAVB1587-E

An error occurred while reading a guide information file. (ファイル名)

Details: 要因コード

ガイド情報ファイル(ファイル名)の読み込み中にエラーが発生しました

要因:要因コード

イベントガイド情報ファイル、または、イベントメッセージファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

ファイル名の読み込み処理を打ち切り、処理を続行します。

(O)

次の要因コードに従って、ファイル名の格納場所やアクセス権を確認してから、JP1/IM - Manager を再起動、またはリロード (jco\_spmd\_reload コマンドを実行) してください。

- 要因コード：000  
説明：その他のエラー

- 要因コード：001  
説明：ファイルが開けません。
- 要因コード：002  
説明：ファイルサイズが最大値より大きくなっています。  
対処：ファイルサイズを最大値以内にしてください。
- 要因コード：003  
説明：I/O エラーが発生しました。
- 要因コード：004  
説明：サポートしていないファイルバージョンです。  
対処：07-51 から 09-10 までは” 1” を指定してください。09-50 以降の場合は,” 1” または” 2” を指定してください。

### KAVB1588-I

There is no matching guide information.  
ガイド情報はありません

イベントに対応したイベントガイド情報は、ありませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

イベントに対応したイベントガイド情報を設定する場合は、イベントガイド情報ファイルに、イベントガイド情報を表示するための定義をしてください。

### KAVB1589-E

An attempt to start the default browser has failed.  
デフォルトブラウザの起動に失敗しました

OS のデフォルトブラウザの起動に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

拡張子 (html) に WWW ブラウザーを割り当ててから、再実行してください。

### KAVB1590-E

The definition file for manually registering incidents was not found. The function for manually registering incidents cannot be used.

インシデント手動登録定義ファイルが見つかりません。インシデント手動登録機能は使用できません

インシデント手動登録定義ファイルが見つかりません。インシデント手動登録機能が使用できません。

(S)

インシデント手動登録定義ファイルの読み込み処理を打ち切ります。

(O)

インシデント手動登録定義ファイルがある場合、インシデント手動登録ファイルが読み込み可能になっているか確認してください。インシデント手動登録定義ファイルがない場合、インシデント手動登録ファイルを `incident.conf.model` ファイルから再作成してください。

## KAVB1591-E

An attempt to read the definition file for manually registering incidents has failed. The function for manually registering incidents cannot be used. (reason = 要因 )

インシデント手動登録定義ファイルの読み込みに失敗しました。インシデント手動登録機能は使用できません。 要因:要因

インシデント手動登録定義ファイルの読み込みに失敗しました。インシデント手動登録機能が使用できません。

(S)

インシデント手動登録定義ファイルの読み込み処理を打ち切ります。

(O)

次の内容を確認したあと、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

- 要因が「メモリ不足が発生しました」の場合は、十分なメモリーを確保してください。
- その他の要因の場合は、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

問題が解決されない場合、資料採取ツールで資料を採取し、管理者に連絡してください。

## KAVB1593-W

The event acquisition filter settings cannot be removed from JP1/IM - View because an event acquisition filter that uses common exclusion conditions (extended) is set for JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に共通除外条件(拡張)を使用したイベント取得フィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に拡張モードの共通除外条件群を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

拡張モードの共通除外条件群を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して JP1/IM - View からフィルターを設定する場合は、09-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB1594-W

The event acquisition filter settings from JP1/IM - View were discarded because common exclusion conditions are set for the event acquisition filter settings from JP1/IM - View.

JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定に共通除外条件が設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定に共通除外条件が設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

共通除外条件群を設定する場合は、共通除外条件の動作モードを基本モードに変更してください。

#### KAVB1595-W

フィルター setting from JP1/IM - View was discarded because **フィルター名** setting that uses an event-source-host name is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に発生元ホスト名を使用した**フィルター名**が設定されているため、JP1/IM - View からの**フィルター**の設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に発生元ホスト名の条件を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

発生元ホスト名の条件を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して JP1/IM - View からフィルターを設定する場合は、09-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

#### KAVB1596-W

JP1/IM - Manager discarded settings for the filter "フィルター" in a version of JP1/IM - View earlier than 11-00 because a filter (**フィルター**) that uses the program-specific extended attributes is specified in JP1/IM - Manager.



JP1/IM - Manager に固有の拡張属性を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - Manager は 11-00 より前の JP1/IM - View からのフィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に固有の拡張属性を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - Manager は 11-00 より前の JP1/IM - View からのフィルターの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

固有の拡張属性の条件を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対してフィルターを設定する場合は、11-00 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1597-E

The filter "フィルター" cannot be specified in versions of JP1/IM - View earlier than 11-00 because a filter (フィルター) that uses the program-specific extended attributes is specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager に固有の拡張属性を使用したフィルターが設定されているため、11-00 より前の JP1/IM - View ではフィルターを設定できません

JP1/IM - Manager に固有の拡張属性を使用したフィルターが設定されているため、11-00 より前の JP1/IM - View ではフィルターを設定できません。

(S)

JP1/IM - View の処理を中断します。

(O)

固有の拡張属性の条件を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対してフィルターを設定する場合は、11-00 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1598-Q

The specified attribute name "属性名" is set as the item name "項目名". Do you want to continue?

指定した属性名(属性名)は項目名(項目名)として設定されます。よろしいですか？

属性名で入力した固有の拡張属性を項目名として設定してもよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、入力した固有の拡張属性を設定します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、入力した固有の拡張属性を設定しません。

## KAVB1601-W

The basic definition can not be extended. (ファイル名:行数)

基本定義は拡張できません(ファイル名:行数)

拡張属性定義ファイルでは、基本定義は拡張できません。

(S)

ブロックを無効にし、処理を続行します。

(O)

該当ブロックの拡張フラグを”false”に変更するか、プラットフォーム名を”base”以外に変更してください。

## KAVB1602-W

Import definition is incorrect.

Import source:ファイル名

Import destination:ファイル名

インポート定義が不正です

インポート元ファイル:ファイル名

インポート先ファイル:ファイル名

インポートファイルがないか、ディレクトリ名が指定されています。またはインポートファイルに対するアクセス権がありません。

インポート元ファイルのインポートはできません。

(S)

インポートせずに、処理を続行します。

(O)

インポートファイル名を正しく定義し直してください。または拡張しないブロックの拡張フラグを”false”に変更してください。

## KAVB1603-W

The attribute(識別子) for the attribute name is not found.

product name : プロダクト名

block type : ブロック種別

block platform : プラットフォーム名

属性名 (識別子) に対応する属性値が見つかりません

product name : プロダクト名

block type : ブロック種別

拡張属性定義ファイル内に、属性名に対応する属性値が記述されていません。

- (S)  
レコードを無効にし、処理を続行します。
- (O)  
識別子に対応する属性値を定義してください。または該当レコードを削除してください。

## KAVB1604-E

The configuration file for inheriting incident information could not be found. The function for manually registering incidents cannot be used.

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルが見つかりません。インシデント手動登録機能は使用できません

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルが見つかりません。

- (S)  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルの読み込み処理を打ち切ります。
- (O)  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルがある場合、インシデント引き継ぎ情報設定ファイルが読み込み可能になっているか確認してください。インシデント引き継ぎ情報設定ファイルがない場合、インシデント引き継ぎ情報設定ファイルをincident\_info.conf.model ファイルから再作成してください。

## KAVB1605-E

Failed to read the configuration file for inheriting incident information. The function for manually registering incidents cannot be used. (reason = 要因)

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルの読み込みに失敗しました。インシデント手動登録機能は使用できません (要因:要因)

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルの読み込みに失敗したため、インシデント手動登録機能は使用できません。

- (S)  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルの読み込み処理を打ち切ります。
- (O)  
次の内容を確認したあと、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。
  - 要因が「I/O エラーが発生しました」の場合は、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - 要因が「メモリ不足が発生しました」の場合は、十分なメモリーを確保してください。

その他の要因, または問題が解決されない場合, 資料採取ツールで資料を採取し, 管理者に連絡してください。

## KAVB1606-W

The syntax of a definition is invalid. 要因 (定義ファイル名:行番号)  
定義の記述が不適切です。要因 (定義ファイル名:行番号)

定義の記述が不適切です。

- (S)  
該当する行を無視して処理を継続します。
- (O)  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルを修正して, JP1/IM - Manager を再起動するか, jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1607-W

The item field ID (案件項目指定 ID) is specified more than once. (定義ファイル名:行番号)  
案件項目指定 ID (案件項目指定 ID) が重複しています (定義ファイル名:行番号)

案件項目指定 ID が重複しています。

- (S)  
該当する行を無視して処理を継続します。
- (O)  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルを修正して, JP1/IM - Manager を再起動するか, jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1608-E

The function for manually registering incidents cannot be used, because there are no valid definitions in the configuration file for inheriting incident information.  
インシデント引き継ぎ情報設定ファイルに有効な定義がないためインシデント手動登録機能は使用できません

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルに有効な定義がないため, インシデント手動登録機能は使用できません。

- (S)  
インシデント手動登録機能を無効にします。

(O)

インシデント引き継ぎ情報設定ファイルに有効な定義を一つ以上設定して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB1611-W

The table version is not previously defined. 処理内容(ファイル名:行数)  
テーブルバージョンが先に定義されていません, 処理内容(ファイル名:行数)

インターフェース定義ファイルの先頭に、テーブルバージョンが定義されていないため、処理内容を実行します。

(S)

処理内容を実行し、処理を続行します。

(O)

テーブルバージョンを定義ファイルの先頭に定義し直してください。

#### KAVB1612-W

The number of defined attributes exceeds the limit (属性名の最大定義数). The definition after this line will be ignored. (ファイル名:行数)

属性名の定義数が制限値 (属性名の最大定義数) を超えました, 以降の定義を無効にします (ファイル名:行数)

インターフェース定義ファイルのサブキーレコード内で、属性名の定義数が最大値を超えたため、以降の定義を無効にします。

(S)

最大数以降のレコードを無効にし、処理を続行します。

(O)

該当定義ファイルから、余分な属性名を削除してください。

#### KAVB1613-W

No definition for the value(識別子). (ファイル名)  
値 (識別子) に対応する定義がありません (ファイル名)

インターフェース定義ファイル内に、対応するインターフェースレコードまたはサブキーレコードが記述されていません。

(S)

レコードを無効にし、処理を続行します。

(O)

該当定義ファイルに、インターフェースレコードまたはサブキーレコードを記述してください。

## KAVB1614-W

Invalid version (バージョン) is specified. (PRODUCT\_NAME="プロダクト名":EVENT\_ID="イベント ID")

不正なバージョン (バージョン) が指定されています (PRODUCT\_NAME="プロダクト名":EVENT\_ID="イベント ID")

インターフェース定義ファイル内で、指定したバージョンの値が誤っているか、前後関係が逆に記述されています。

または、同一ファイル内もしくはほかのファイル内に、同じプロダクト名、バージョン、イベント ID を持つ定義がすでに記述されています。

(S)

値が誤っている場合、デフォルト値で処理を続行します。前後関係が逆の場合、そのまま処理を続行します。定義が重複している場合は、辞書順で先に読み込んだ定義を採用します。

(O)

該当定義ファイルの指定バージョンを正しく定義し直してください。

## KAVB1631-E

An event color scheme file was not found. (File: ファイル名)  
イベント配色ファイルが見つかりません (ファイル名:ファイル名)

デフォルトファイルが存在しないか、アクセス権がありません。

(S)

システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を続行します。JP1 ユーザーごとのファイルがないか、アクセス権がない場合は出力せず、デフォルトファイルを読みます。

(O)

ファイルの存在とアクセス権を確認してください。アクセス権がない場合は、付与してください。ファイルがない場合は、再インストールしてください。再インストールしてもファイル消失が発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1632-E

An I/O error occurred during the reading of an event color scheme file. (File: ファイル名)  
イベント配色ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました (ファイル名:ファイル名)

ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生したので、リトライを3回実行しましたが、すべて失敗しました。

(S)

JP1 ユーザーごとのファイルの読み込み時に発生した場合は、デフォルトファイルを読み込みます。デフォルトファイルの読み込み時に発生した場合は、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を続行します。

(O)

ファイルシステムに異常がないかどうかを確認してください。異常がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1633-E

A memory shortage occurred during the reading of an event color scheme file. (File: ファイル名)

イベント配色ファイルの読み込み中にメモリ不足が発生しました (ファイル名:ファイル名)

ファイルの読み込み中にメモリー不足が発生しました。

(S)

ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を続行します。

(O)

サーバが動作しているマシンのメモリー使用量を確認してください。メモリーが不足している場合は、メモリーを確保して再ログインしてください。メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1634-E

A system error occurred during the reading of an event color scheme file. (File: ファイル名)

イベント配色ファイルの読み込み中にシステムエラーが発生しました (ファイル名:ファイル名)

システムエラーが発生しました。

(S)

ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1635-E

An attempt to read the system profile has failed. The default value will be used. (cause = 要因)

システムプロファイルの読み込みに失敗しました。デフォルト値で起動します。要因：要因

システムプロファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

システムプロファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して処理を続けます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1636-E

An invalid value is specified for **データ名** in the system profile. The default value will be used. (invalid value = **不正值**, default value = **デフォルト値**)

システムプロファイルの**データ名**に不正な値が設定されています。デフォルト値を使用します (不正値：**不正值**, デフォルト値:**デフォルト値**)

システムプロファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

不正な値のデータにデフォルト値を設定し、処理を続けます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1637-E

An I/O error occurred during reading of the system profile. A retry was performed but the file could not be read. The default values will be used. (file = **ファイル名**)

システムプロファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。リトライしましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。デフォルト値を使用します **ファイル名**：**ファイル名**

システムプロファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。

(S)

システムプロファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を続けます。

(O)

ファイルシステムに異常がないかどうかを確認してください。異常がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1638-E

An attempt to read the severe-event attribute-value definition file has failed. The default settings will be used. (cause = **要因**)



重要イベント属性値定義ファイルの読み込みに失敗しました。デフォルトの設定を使用します 要因：  
要因

重要イベント属性値定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

重要イベント属性値定義ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1639-E

A setting in the severe-event attribute-value definition file is invalid. The default settings will be used. (cause = 要因)

重要イベント属性値定義ファイルの設定が不正です。デフォルトの設定を使用します 要因：要因

重要イベント属性値定義ファイルのデータに不正な値が設定されています。

(S)

不正な値のデータにデフォルト値を設定し、処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1640-E

An I/O error occurred during reading of the severe-event attribute-value definition file. The default settings will be used. (file = ファイル名)

重要イベント属性値定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。デフォルトの設定を使用します。ファイル名：ファイル名

重要イベント属性値定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。

(S)

重要イベント属性値定義ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を継続します。

(O)

ファイルシステムに異常がないかどうかを確認してください。異常がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1647-E

An I/O error occurred during reading of the user filter definition file. A retry was performed, but the file could not be read. Startup will use the default values.

ユーザーフィルター定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。リトライしましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。デフォルト値で起動します

ユーザーフィルター定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。

(S)

ユーザーフィルター定義ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1648-E

An I/O error occurred during reading of the severe-event filter definition file. A retry was performed, but the file could not be read. Startup will use the default values.

重要イベントフィルター定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。リトライしましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。デフォルト値で起動します。

重要イベントフィルター定義ファイルの読み込み中に入出力エラーが発生しました。

(S)

重要イベントフィルター定義ファイルの読み込みを中断し、システムが持つデフォルトの設定を使用して、処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1649-E

Binding failed for at least one IP address. (IP address of successful bind = IP アドレス, IP address of failed bind = IP アドレス)

一部の IP アドレスのバインドに失敗しました

成功したアドレス:IP アドレス

失敗したアドレス:IP アドレス

一部の IP アドレスがバインドできませんでした。

(S)

バインドしたソケットを使って処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1650-E

An attempt to read common definition information has failed. Startup will use the default values. (key = キー名, default value = デフォルト値)

共通定義情報の読み込みに失敗しました。デフォルト値で起動します。キー名:キー名,デフォルト値:デフォルト値

共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

共通定義情報の読み込みを中断し、デフォルトの値を使用して、処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1651-E

An invalid value is specified for キー名 common definition information has failed. Startup will use the default values. (invalid data = 不正値)

共通定義情報のキー名に不正な値が設定されています。デフォルト値で起動します。不正値:不正値

共通定義情報のキー名に不正な値が設定されています。

(S)

共通定義情報の読み込みを中断し、キー名に対するデフォルト値を使用して、処理を継続します。

(O)

キー名に対する値を設定し直し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB1652-E

Failed to initialize the Event Console Service. The Event Console Service terminates abnormally. Details:詳細情報

イベントコンソールサービスの初期化に失敗しました。イベントコンソールサービスを異常終了します 詳細情報:詳細情報

イベントコンソールサービスの初期化処理に失敗しました。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ (KAVB0001～KAVB2000 のエラーメッセージ)、KAVB8605-E, KAVB8606-E, または KAVB8607-E が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

JP1/Base 起動後に通信暗号化機能の設定を不正な値に変更した可能性があります。JP1/IM - Manager および JP1/Base を停止してから通信暗号化機能の設定を見直し、JP1/Base および JP1/IM - Manager を起動してください。

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1653-E

An error occurred during communication processing of the event console service. A retry was performed, but recovery was not successful. Communication processing will now be initialized.

イベントコンソールサービスの通信処理でエラーが発生しました。リトライ処理を行いました。回復しませんでした。通信処理を初期化します

通信処理の再初期化をします。

(S)

通信処理の再初期化をします。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1654-E

An error occurred during re-initialization of communication processing of the event console service. The error prevents re-initialization from continuing.

イベントコンソールサービスの通信処理の再初期化中に続行不能なエラーが発生しました。

イベントコンソールサービスが異常終了しました。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1655-E

An error occurred during a connection request from JP1/IM-View.

JP1/IM-View からの接続要求処理中にエラーが発生しました

JP1/IM - View からの接続要求処理中にエラーが発生しました。

(S)

JP1/IM - View との接続を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1656-I

Reloading the manager because a reload request was received.

リロード要求を受信したため、マネージャーをリロードします

リロード要求を受け付けました。

(S)

リロードを開始します。

## KAVB1657-I

A 要求 request was received.

要求 の要求を受け付けました

画面で選択した**要求**について、接続サーバに実行を要求しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB1658-I

The max. number of concurrent executions which can be processed by the server was exceeded.

Wait a while, perform **要求** again.

(max. number = **制限数**)

サーバで処理できる同時実行制限数を超過しました。

時間をおいて、再度**要求**を行ってください

(制限数：**制限数**)

画面で選択した**要求**について、接続サーバに実行を要求しましたが、接続サーバでの同時実行制限数を超過していたため、実行されませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

時間をおいて、再実行してください。

## KAVB1660-E

The event base service cannot be connected to.

Event information could not be acquired.

イベント基盤サービスに接続できません。

イベントを取得できませんでした

イベント基盤サービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

jco\_spmc\_status コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベント基盤サービスが起動しているか確認し、再実行してください。

## KAVB1661-E

The IM Database service cannot be connected to.

Event information could not be acquired.

IM データベースサービスに接続できません。

イベントを取得できませんでした

IM データベースサービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動し、再度操作してください。IM データベースサービスが起動している場合は、ほかの JP1/IM - View の操作によって、統合監視 DB がビジー状態のおそれがあります。しばらく待ってから再度操作してください。

## KAVB1662-E

The selected event no longer exists in the Integrated Monitoring Database.

Information about the selected event could not be acquired.

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなりました。

選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなったため、選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした。

(S)

イベントに関する情報の取得を中止します。

## KAVB1663-E

The event base service cannot be connected to.

The effects of the operation **操作名** could not be applied to the Integrated Monitoring Database.

イベント基盤サービスに接続できません。

**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベント基盤サービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベント基盤サービスが起動しているか確認し、再実行してください。

## KAVB1664-E

The IM Database service cannot be connected to.

The effects of the operation **操作名** could not be applied to the Integrated Monitoring Database.

IM データベースサービスに接続できません。

**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

IM データベースサービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動し、再度操作してく

ださい。IM データベースサービスが起動している場合は、ほかの JP1/IM - View の操作によって、統合監視 DB がビジー状態のおそれがあります。しばらく待ってから再度操作してください。

## KAVB1665-E

The selected event no longer exists in the Integrated Monitoring Database.

An event exists for which the effects of the operation **操作名** could not be applied to the Integrated Monitoring Database.

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなりました。

**操作名**操作を統合監視 DB に反映できなかったイベントがあります

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなったため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できなかったイベントがあります。

(S)

処理を中断します。

## KAVB1668-E

The selected event no longer exists in the Integrated Monitoring Database.

The effects of the operation **操作名** could not be applied to the Integrated Monitoring Database.

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなりました。

**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

選択中のイベントが統合監視 DB からなくなったため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

## KAVB1669-I

The severe event definition file has been read. Next, processing will be performed using the definition read from the acquired event. (Event acquired at the end:Arrival time = **最後に取得したイベントの到着時刻**, serial number in event DB = **最後に取得したイベントのイベント DB 内通し番号**)

重要イベント定義ファイルを読み込みました。次に取得したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(最後に取得したイベント：到着時刻=**最後に取得したイベントの到着時刻**, イベント DB 内通し番号=**最後に取得したイベントのイベント DB 内通し番号**)

重要イベント定義ファイルを読み込んだときに出力されるメッセージです。



## KAVB1670-W

マネージャーホスト識別処理に失敗しました  
イベント検索ページから対処状況の変更ができません

検索ホストとマネージャーホストの識別処理に失敗したため、対処状況の変更ができません。対処状況の変更ができるのはログインしているマネージャーホストのイベント DB からの検索結果だけです。

(S)

処理を続行しますが、[イベント検索] 画面からの対処状況の変更ができません。

(O)

検索ホストとの通信に問題がないか確認してから、再実行してください。

再実行しても回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1671-W

An error occurred in acquiring an event from the integrated monitoring database.  
Cannot recover the error after attempting the number of retries specified in the system profile.  
No more events will be displayed from now on due to this error.  
統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。  
システムプロファイルに指定された回数リトライしましたが、回復しません。  
このため、以降のイベントは表示されません

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。

(S)

イベント検索処理を中止します。

(O)

IM データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースを再起動して再実行してください。

## KAVB1672-E

Memo entries could not be set because the function that sets the memo entries is disabled.  
メモ情報の設定機能が無効のため、メモ情報を設定できませんでした

メモ情報の設定機能が無効なため、編集したメモ情報を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

メモ情報の設定機能を有効にしてから、再実行してください。

## KAVB1673-E

The **操作名** operation could not be performed on the integrated monitoring database because that database is currently inactive.

統合監視 DB が無効なため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

統合監視 DB の設定が無効になっているため、[イベントコンソール] 画面の操作内容を統合監視 DB に反映できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

統合監視 DB の設定を有効にするか、再ログインしてから、再実行してください。

## KAVB1674-E

The **操作名** operation could not be performed on the integrated monitoring database because an error occurred in that database.

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、[イベントコンソール] 画面の操作内容を統合監視 DB に反映できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

- IM データベースサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、起動してから再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1675-E

The **操作名** operation could not be performed on the integrated monitoring database because the event service could not connect to that database.

イベントサービスに接続できないため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベントサービスに接続できないため、[イベントコンソール] 画面の操作内容を統合監視 DB に反映できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

- マネージャー上のイベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、起動してから再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1676-E

The **操作名** operation could not be performed on the integrated monitoring database because an error occurred in the event database.

イベント DB の操作中にエラーが発生したため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベント DB の操作中にエラーが発生したため、[イベントコンソール] 画面の操作内容を統合監視 DB に反映できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足の場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1677-E

Information about the selected events could not be acquired because the integrated monitoring database is currently inactive.

統合監視 DB が無効なため、選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした

統合監視 DB の設定が無効になっているため、選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

統合監視 DB の設定を有効にするか、再ログインしてから、再実行してください。

## KAVB1678-E

Information about the selected events could not be acquired because an error occurred in the integrated monitoring database.

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、選択中のイベントに関する情報を取得できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

- IM データベースサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、起動してから再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足の場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1680-Q

The event search will be canceled. Is this OK?

イベント検索をキャンセルします。よろしいですか？

イベント検索をキャンセルしてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、イベント検索をキャンセルします。[いいえ] ボタンをクリックすると、イベント検索をキャンセルしません。

## KAVB1681-I

The event search was canceled.

イベント検索をキャンセルしました

イベント検索のキャンセル処理が正常に終了しました。

## KAVB1682-E

An attempt to cancel the event search has failed.

## イベント検索のキャンセルに失敗しました

イベント検索のキャンセルをしましたが、検索処理のキャンセルに失敗しました。

(S)

キャンセルの処理を中止します。

(O)

次のことを確認してください。

- 検索先ホストのイベントサービスが起動しているか。
- ネットワークに異常が発生していないか。
- 空きメモリー容量が十分に確保されているか。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

上記について問題がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1683-W

処理 is not possible during an event search.

Wait until the event search has ended.

イベント検索中は**処理**ができません。

イベント検索が終了するまでお待ちください

JP1/IM - Manager でイベント検索中のため**処理**ができません。

(S)

メッセージを出力した画面を最前面に表示します。

(O)

イベント検索をキャンセルするか、イベント検索が終了するまでお待ちください。

## KAVB1684-I

The event search has already ended.

イベント検索がすでに終了しています

イベント検索のキャンセルをしましたが、すでに検索処理が終了していました。

(S)

キャンセル処理を終了します。

## KAVB1685-W

The event acquired from the event service during the event search will be ignored because the event contains invalid information. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reason code = 要因コード)

イベント検索時にイベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号 要因コード:要因コード

イベント検索時にイベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します。

(S)

不正な情報を含むイベントを無視して処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 要因コードが 3 の場合

イベントの到着時刻が不正です。マネージャーでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。

- 要因コードが 4 の場合

イベントの登録時刻が不正です。イベントが登録されたホストでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。

上記で問題がない場合、または上記以外の場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1686-E

A connection cannot be established with the event service specified for the search host name. (search host name = 検索ホスト名)

検索ホスト名に指定されたイベントサービスとの接続が確立できません。(検索ホスト名:検索ホスト名)

検索ホスト名に指定したホストとの接続が確立しないため、イベント検索できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

検索ホスト名に指定したホストを見直して再度実行してください。それでも実行できない場合は、システム管理者に連絡し、業務グループの設定を確認してください。

## KAVB1687-E

A business group or monitoring group cannot be specified for the name of a search host (the host to be searched for events). (search host name = 検索ホスト名)

検索ホスト名には業務グループ、監視グループは指定できません。(検索ホスト名:検索ホスト名)

検索ホスト名には業務グループ、および監視グループは指定できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

検索ホスト名に指定したホストを見直して再度実行してください。

## KAVB1688-W

The conditions for the event-source host name have been specified by [event-source host name] and [program-specific extended attributes]. Do you want to continue?

発生元ホスト名の条件が [発生元ホスト名] と [固有の拡張属性] で指定されていますが、続行してよろしいですか？

固有の拡張属性の条件にE.JP1\_SOURCEHOST が指定されています。固有の拡張属性の条件からE.JP1\_SOURCEHOST を削除してください。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、続行します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断して元の画面に戻ります。

(O)

固有の拡張属性の条件からE.JP1\_SOURCEHOST を削除し、再度実行してください。

## KAVB1689-W

入力情報 have been specified by 項目 1 and 項目 2. Do you want to continue?

入力情報が項目 1 と項目 2 で指定されていますが、続行してよろしいですか？

入力情報が項目 1 と項目 2 の両方で指定されています。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、続行します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断して元の画面に戻ります。

(O)

「繰り返しイベントの条件が [繰り返しイベント] と [固有の拡張属性] で指定されている」と表示される場合は、固有の拡張属性の条件からJP1\_IMSUPPRESS\_TYPE を削除し、再度実行してください。

「監視抑止 ID の条件が [監視抑止 ID] と [固有の拡張属性] で指定されている」と表示される場合は、固有の拡張属性の条件から JP1\_IMSUPPRESS\_ID を削除し、再度実行してください。

## KAVB1691-W

The filter setting from JP1/IM - View was discarded because フィルター that use the action type are specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager にアクション種別を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのフィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager にアクション種別を使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

アクション種別を指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して設定を行う場合は、08-00 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1692-W

An operation could not be performed for an event because the user does not have the permissions necessary to perform the operation. (operation name = 操作名)

操作ができなかったイベントがあります。操作に必要な権限がありません。(操作名:操作名)

操作できなかったイベントがあります。

(S)

操作に必要な権限があるイベントだけ操作を実行します。

(O)

イベントに対して操作に必要な権限があるか確認してください。

## KAVB1694-E

The user does not have the permissions necessary to perform the operation on the selected event. (operation name = 操作名)

選択中のイベントに対して操作に必要な権限がありません。(操作名:操作名)

選択中のイベントに対して、操作に必要な権限がありません。

(S)

操作を中断します。



(O)

選択中のイベントに対して操作に必要な権限があるか確認してください。

## KAVB1701-E

An attempt to write data to the action profile(ファイル名) has failed. (detailed information = 詳細情報)

アクションプロファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

アクションプロファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

アクションプロファイルへのデータの書き込みを停止し、アクションプロファイルを書き込み前の状態に回復します。

(O)

アクションプロファイルを更新するため、[アクション結果更新条件設定] 画面を起動したあと、再度 [アクション結果更新条件設定] 画面を閉じてください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥actprofile

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥actprofile

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/actprofile

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/actprofile

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1702-E

An attempt to write data to the settings file(ファイル名) for consolidated display of repeated events has failed. (detailed information = 詳細情報)

繰り返しイベントの集約設定ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報: 詳細情報)

繰り返しイベントの集約設定ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

繰り返しイベントの集約設定ファイルへのデータの書き込みを停止し、繰り返しイベントの集約設定ファイルを書き込み前の状態に回復します。

(O)

[ユーザー環境設定] 画面で、繰り返しイベントの集約表示の設定を再度行ってください。  
また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥correlation

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥correlation

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/correlation

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/correlation

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1703-E

An attempt to write data to the view filter definition file(ファイル名) has failed. (detailed information = 詳細情報)

表示フィルター定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

表示フィルター定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

表示フィルター定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、表示フィルター定義ファイルを書き込み前の状態に回復して、処理を続行します。

(O)

[表示フィルター設定] 画面で、表示フィルターの設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1704-E

An attempt to write data to the event acquisition filter definition file(ファイル名) has failed.  
(detailed information = 詳細情報)

イベント取得フィルター定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:  
詳細情報)

イベント取得フィルター定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

### (S)

イベント取得フィルター定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、イベント取得フィルター定義ファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

### (O)

[システム環境設定] 画面で、イベント取得フィルターの設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1705-E

An attempt to write data to the event acquisition filter list file(ファイル名) has failed. (detailed information = 詳細情報)

イベント取得フィルター一覧格納ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

イベント取得フィルター一覧格納ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

### (S)

イベント取得フィルター一覧格納ファイルへのデータの書き込みを停止し、イベント取得フィルター一覧格納ファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

### (O)

[システム環境設定] 画面で、イベント取得フィルターの設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1706-E

An attempt to write data to the event search filter definition file(ファイル名) has failed.  
(detailed information = 詳細情報)

イベント検索フィルター定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:  
詳細情報)

イベント検索フィルター定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

イベント検索フィルター定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、イベント検索フィルター定義ファイルを書き込み前の状態に回復して、処理を続行します。

(O)

[イベント検索条件設定] 画面で、イベント検索条件の設定を再度行ってください。  
また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ (ディレクトリ) ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ (ディレクトリ) にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1707-E

An attempt to write data to the severe event (S) filter definition file(ファイル名) has failed.  
(detailed information = 詳細情報)

重要イベントフィルター定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:  
詳細情報)

重要イベントフィルター定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

重要イベントフィルター定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、重要イベントフィルター定義ファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

(O)

[重要イベント定義] 画面で、重要イベントフィルターの設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1708-E

An attempt to write data to the event receiver filter definition file(ファイル名) has failed.  
(detailed information = 詳細情報)

ユーザーフィルター定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

ユーザーフィルター定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

ユーザーフィルター定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、ユーザーフィルター定義ファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

(O)

[ユーザーフィルター設定] 画面で、ユーザーフィルターの設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥filter

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：



共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥filter

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1709-E

An attempt to write data to the event-information mapping definition file(ファイル名) has failed. (detailed information = [詳細情報](#))

イベント情報マッピング定義ファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:[詳細情報](#))

イベント情報マッピング定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

イベント情報マッピング定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、イベント情報マッピング定義ファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

(O)

[イベント情報マッピング定義] 画面で、イベント情報マッピング定義の設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ (ディレクトリ) ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ (ディレクトリ) にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥mapping

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥mapping

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/mapping

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/mapping

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1710-E

An attempt to write data to the system profile(ファイル名) has failed. (detailed information = 詳細情報)

システムプロファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

システムプロファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

システムプロファイルへのデータの書き込みを停止し、システムプロファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

(O)

[システム環境設定] 画面で、システム環境の設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥profile

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥profile

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/profile

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/profile

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1711-E

An attempt to write data to the user profile(ファイル名) has failed. (detailed information = 詳細情報)

ユーザープロファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

ユーザープロファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

### (S)

ユーザープロファイルへのデータの書き込みを停止し、ユーザープロファイルを書き込み前の状態に回復します。

マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。

### (O)

[ユーザー環境設定] 画面で、ユーザー環境の設定を再度行ってください。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスに、フォルダ (ディレクトリ) ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ (ディレクトリ) にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥console¥profile

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥console¥profile

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/console/profile

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/profile

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1801-E

The oldest response-waiting event was released from the hold-and-accumulate state because the maximum number of response-waiting events that can be accumulated was exceeded. (event ID = イベント ID, host that sent response-waiting event = ホスト名, name of product that sent response-waiting event = プロダクト名, response ID = 識別子, event database serial number for response-waiting event = 通し番号)

応答待ちイベントが滞留できる件数の上限を超えたため最も古い応答待ちイベントの滞留を解除しました。(イベント ID: イベント ID, 応答待ちイベント発行ホスト: ホスト名, 応答待ちイベント発行プロダクト名: プロダクト名, 応答対象識別子: 識別子, 応答待ちイベントのイベント DB 内通し番号: 通し番号)

マネージャーで滞留している応答待ちイベントが上限を超えたため、マネージャーで滞留している最も古い応答待ちイベントの滞留が解除されました。

(S)

処理を続行します。

(O)

応答待ちイベント発行元の製品で、応答待ちイベントの発行数の見積もりを見直してください。

応答待ちイベントが見積もり以上に出力されている場合は、応答待ちイベント発行元の製品にお問い合わせください。

また、滞留が解除された応答待ちイベントに対して応答する場合は、[イベント検索] ページからイベント検索を行い、対象の応答待ちイベントに対して応答してください。

応答待ちイベントがイベント DB および応答待ちイベント滞留ファイルに存在しない場合は、JP1/IM - View から応答できません。JP1/IM - View から応答できなくなった応答待ちイベントに応答したい場合は、応答待ちイベントの発行元で対処してください。

## KAVB1802-W

The filter setting (フィルター) from JP1/IM - View was discarded because the filter setting (フィルター) that uses the response-waiting event condition is specified in JP1/IM - Manager. JP1/IM - Manager に応答待ちイベントを使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からのフィルターの設定を破棄しました

JP1/IM - Manager に応答待ちイベントを使用したフィルターが設定されているため、JP1/IM - View からの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効として、処理を続行します。

(O)

応答待ちイベントを指定したフィルターが設定されている JP1/IM - Manager に対して設定を行う場合は、08-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1811-E

An attempt to open the file for accumulated response-waiting events has failed. (detailed information = 詳細情報)

応答待ちイベント滞留ファイルのオープンに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

応答待ちイベント滞留ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

応答待ちイベント滞留ファイルのファイルオープンに失敗したため、[イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに応答待ちイベントが表示されません。

また、応答待ちイベント滞留ファイルに応答待ちイベントは保存されません。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。

- 到着時刻として、[イベント監視] ページに表示されている JP1 イベント（イベント ID：00003F42）の前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥response

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥response

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/response

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/response

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1812-E

The area to be destroyed (破壊されているデータ領域) of the file for accumulated response-waiting events has been destroyed.

応答待ちイベント滞留ファイルの破壊されているデータ領域が破壊されています

応答待ちイベント滞留ファイルの内容が不正のため、データの読み込みに失敗しました。

(S)

破壊されている応答待ちイベント滞留ファイルを退避し、新規に応答待ちイベント滞留ファイルを作成します。

なお、応答待ちイベント滞留ファイルの読み込みに失敗したため、[イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに応答待ちイベントが表示されません。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- 到着時刻として、[イベント監視] ページに表示されている JP1 イベント（イベント ID：00003F42）の前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥response

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥response

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/response

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/response

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1813-E

The event data in the file for accumulated response-waiting events has been destroyed. (index ID of the event data = 応答待ちイベントデータのインデックス ID)

応答待ちイベント滞留ファイルの応答待ちイベントデータが破壊されています (インデックス ID: 応答待ちイベントデータのインデックス ID)

応答待ちイベント滞留ファイルの内容が不正のため、データの読み込みに失敗しました。

(S)

破壊されている応答待ちイベントデータの読み込み処理を中止して、処理を続行します。

なお、応答待ちイベントデータの読み込みに失敗したため、[イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに読み込みに失敗した応答待ちイベントが表示されません。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- 到着時刻として、[イベント監視] ページに表示されている JP1 イベント（イベント ID：00003F42）の前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥response

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥response

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/response

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/response

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1814-E

An attempt to read data from the file for accumulated response-waiting events has failed.  
(detailed information = [詳細情報](#))

応答待ちイベント滞留ファイルからのデータの読み込みに失敗しました (詳細情報:[詳細情報](#))

応答待ちイベント滞留ファイルからのデータの読み込みに失敗しました。

(S)

応答待ちイベント滞留ファイルの読み込みに失敗したため、[イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに応答待ちイベントが表示されません。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- 到着時刻として、[イベント監視] ページに表示されている JP1 イベント（イベント ID：00003F42）の前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。



Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥response

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥response

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/response

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/response

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1815-E

An attempt to write data to the file for accumulated response-waiting events has failed.  
(detailed information = [詳細情報](#))

応答待ちイベント滞留ファイルへのデータの書き込みに失敗しました ([詳細情報:詳細情報](#))

応答待ちイベント滞留ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

応答待ちイベント滞留ファイルへの書き込みに失敗したため、[イベントコンソール] 画面の [応答待ちイベント] ページに応答待ちイベントが表示されません。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- 到着時刻として、[イベント監視] ページに表示されている JP1 イベント (イベント ID : 00003F42) の前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のパスのフォルダ (ディレクトリ) にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥response

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥response

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/response

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/response

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1816-W

A response-waiting event could not be displayed.

To search for the event, specify the search conditions in the dialog box for setting the event search conditions as follows:

- (1) As the host to be searched for, specify the name of the connected host.
- (2) As the response-waiting event, specify the target event.
- (3) As the arrival timeframe, specify the times when the events before and after this event arrived.

表示できなかった応答待ちイベントがあります。

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、以下の検索条件を指定してください。

- (1) 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- (2) 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- (3) 到着時刻として、この JP1 イベントの前又は後に表示されているイベントの到着時刻を指定する。

応答待ちイベント滞留ファイルからのデータの入出力に失敗したため、応答待ちイベントページに応答待ちイベントを表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

表示できなかった応答待ちイベントを確認するには、[イベント検索条件設定] 画面を表示し、次の検索条件を指定してください。

- 検索ホスト名として、接続中のホスト名を指定する。
- 応答待ちイベントとして、対象を指定する。
- 到着時刻として、この JP1 イベントの前または後ろに表示されているイベントの到着時刻を指定する。

## KAVB1821-E

Memory shortage occurred.  
メモリー不足が発生しました

メモリーが不足しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager が動作しているマシンのメモリー使用量を確認してください。メモリーが不足している場合は、JP1/IM - Manager を再起動してください。メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1831-E

An attempt to establish a connection to the IM database service has failed.  
IM データベースサービスとの接続に失敗しました

IM データベースサービスとの接続に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimdbstatus コマンドで、IM データベースサービスの起動を確認し、起動していない場合は起動してください。

IM データベースサービスが起動している場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1832-E

An error occur while attempting to register an event into the integrated monitoring database. The system will retry registering the event. (detailed information = [詳細情報](#))  
統合監視 DB へのイベント登録処理でエラーが発生しました。統合監視 DB へのイベント登録をリトライします (詳細情報:[詳細情報](#))

統合監視 DB にイベントを登録する処理でエラーが発生しました。

(S)

イベント登録処理をリトライします。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

IM データベースサービスが起動している場合、イベント登録処理の回復を通知する 3F54 イベントが発行されている、または統合トレースログに KAVB1833-I メッセージが出力されているかどうかを確認してください。

回復しない場合は、資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

### KAVB1833-I

An error occur while attempting to register an event into the integrated monitoring database. However, after several retries, the event was registered into the database. The event base service is restarting event acquisition.

統合監視 DB へのイベント登録処理で発生していたエラーが回復しました。イベント基盤サービスはイベント取得を再開しています

統合監視 DB へのイベント登録処理のエラーが回復しました。

(O)

統合監視 DB へのイベント登録を再開しました。

### KAVB1834-E

A system error occur while attempting to register an event into the integrated monitoring database.

統合監視 DB へのイベント登録処理でシステムエラーが発生しました

統合監視 DB へのイベント登録処理でシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料を採取しシステム管理者に連絡してください。

### KAVB1841-I

The events from 削除対象始点日時 to 削除対象終点日時 were deleted from the integrated monitoring database.

削除対象始点日時から削除対象終点日時のイベントを統合監視 DB から削除しました

削除対象始点日から削除対象終点日のイベントを統合監視 DB から削除しました。

### KAVB1842-W

Events not output for preservation have exceeded the deletion warning level (削除警告位置%). 保存出力していないイベントが削除警告位置 (削除警告位置%) を超えました

統合監視 DB 内の保存出力していない JP1 イベントの割合が、削除警告通知位置を超えました。

### KAVB1843-Q

An event condition that has not been specified in the Event Condition list has been added.  
Would you like to delete this condition?

[イベント条件]リストに設定されていないイベント条件が追加されています。削除してよろしいですか？

[イベント条件]リストに設定されていないイベント条件が追加されているため、設定されていないイベント条件を定義から削除してよいかの確認です。

- (O)
- [はい] ボタンをクリックすると、削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、削除しません。

### KAVB1844-E

An abnormal the IM database termination has been detected.  
IM データベースサービスの異常停止を検知しました

IM データベースサービスの異常停止を検知しました。

- (S)
- IM データベースサービスとの接続をリトライします。

- (O)
- IM データベースサービスを再起動してください。

### KAVB1851-I

A common exclusion conditions extended definition file (ファイル名) was applied to JP1/IM - Manager.

共通除外条件拡張定義ファイル(ファイル名)を JP1/IM - Manager に反映しました

拡張モードの共通除外条件群の定義を JP1/IM - Manager に反映しました。

- (S)
- 処理を続行します。

### KAVB1852-W

The version information of the common exclusion conditions extended definition file is invalid. (line number = 行番号)

共通除外条件拡張定義のファイルバージョン情報が不正です。(行番号:行番号)

共通除外条件拡張定義のファイルバージョン情報が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1853-E

The location of the version of the common exclusion conditions extended definition file is invalid. (line number = 行番号)

共通除外条件拡張定義のファイルバージョンの記述箇所が不適切です。(行番号:行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルのファイルバージョンが先頭にありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1854-E

The condition group name is too long. (line number = 行番号)

条件群名が最大長を超えています。(行番号:行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの条件群名が最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1855-E

The condition group name does not exist. (line number = 行番号)

条件群名がありません。(行番号:行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの条件群名が記載されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

## KAVB1856-E

The condition group name is duplicated. (condition group name = 条件群名, line number = 行番号)

条件群名が重複しています。(条件群名: 条件群名, 行番号: 行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの条件群名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

## KAVB1857-E

An invalid parameter is specified. (invalid parameter = パラメーター名, line number = 行番号)

無効なパラメーターが指定されています。(無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルに、使用できないパラメーターが指定されている、または定義ブロック外にパラメーターの指定があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

## KAVB1858-E

The syntax of a common exclusion conditions extension definition is invalid. 要因 (condition group name = 条件群名, line number = 行番号)

共通除外条件拡張定義の記述が不適切です。要因(条件群名: 条件群名, 行番号: 行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの条件ブロックに定義不正があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

- 要因 001：イベント条件ブロックが指定されていません。  
イベント条件ブロックを指定してください。
- 要因 002：イベント条件ブロックが複数指定されています。  
不要なイベント条件ブロックを削除してください。

- 要因 003：イベント条件ブロックの終端がありません。  
イベント条件ブロックの終端を記述してください。
- 要因 004：パラメーターの記述が不適切です。  
パラメーターの記述を見直し、修正してください。
- 要因 006：無効なパラメーターが指定されています。
  - ・ファイルバージョンの記述を見直し、誤りがある場合は訂正してください。
  - ・パラメーターの記述を見直し、誤りがある場合は修正してください。
- 要因 007：イベント条件ブロックの終端が不適切です。  
イベント条件の終端の記述を見直し、修正してください。
- 要因 100：イベント条件が最大件数を超過しています。  
不要なイベント条件を削除してください。
- 要因 101：イベント条件の記述が不適切です。  
イベント条件の記述を見直し、修正してください。
- 要因 102：イベント条件の属性名の記述が不適切です。  
イベント条件の属性名の記述を見直し、修正してください。
- 要因 103：指定できない属性名です。  
イベント条件の属性名を見直し、修正してください。
- 要因 104：イベント条件の比較キーワードの記述が不適切です。  
イベント条件の比較キーワードの記述を見直し、修正してください。
- 要因 105：指定できない比較キーワードです。  
イベント条件の比較キーワードを見直し、修正してください。
- 要因 106：イベント条件のオペランドが最大件数を超過しています。  
不要なオペランドを削除してください。
- 要因 107：イベント条件のオペランドが重複しています。  
重複しているオペランドを削除してください。
- 要因 108：イベント ID の記述が不適切です。  
イベント ID の記述を見直し、修正してください。
- 要因 109：正規表現の記述が不適切です。  
正規表現の記述を見直し、修正してください。
- 要因 110：重大度の記述が不適切です。  
重大度の記述を見直し、修正してください。
- 要因 111：オペランドの記述が不適切です。  
オペランドの記述を見直し、修正してください。
- 要因 112：同一の属性に対するイベント条件の組み合わせが不適切です。



イベント条件を見直し、修正してください。

- 要因 113：イベント条件ブロックのイベント条件の総バイト数が最大バイト数を超過しています。  
イベント条件を見直し、イベント条件ブロックのイベント条件の総バイト数が、最大バイト数を超えないように修正してください。
- 要因 116：時刻範囲の記述が不適切です。  
時刻範囲の記述を見直し、修正してください。
- 要因 201：保存できない文字が含まれています。  
保存時に文字化けする文字が定義に含まれています。環境依存文字など文字化けする文字を使用しないようにしてください。なお、この要因の場合は、条件群名は「-」と表示されます。

## KAVB1859-E

The syntax of パラメーター名 parameter is invalid. 要因 (condition group name = 条件群名, line number = 行番号)

パラメーター名パラメーターの記述が不適切です。要因(条件群名:条件群名, 行番号:行番号)

表示されているパラメーターの記載が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

- 要因 001：パラメーターが指定されていません。  
パラメーターを指定してください。
- 要因 002：パラメーターが複数指定されています。  
不要なパラメーターを削除してください。
- 要因 003：条件群 ID が範囲外です。  
条件群 ID の記述を見直し、修正してください。
- 要因 004：条件群 ID が指定されていません。  
条件群 ID を指定してください。
- 要因 005：パラメータの値が不適切です。  
パラメーターの値を見直し、修正してください。
- 要因 006：パラメーターの値が設定されていません。  
パラメーターの値を設定してください。
- 要因 007：コメントが最大バイト数を超過しています。  
コメントが最大バイト数を超えないように修正してください。
- 要因 008：コメントが設定されていません。

cmt の後ろにコメントを指定するか、cmt の行を削除してください。

- 要因 010：期間が範囲外です。  
期間の指定を見直し、修正してください。
- 要因 011：開始日、または終了日の指定が不適切です。  
開始日、終了日の記述を見直し、修正してください。
- 要因 012：date パラメーターの指定形式が不適切です。  
開始日-終了日の形式で指定してください。
- 要因 013：開始日、または終了日が指定されていません。  
開始日、終了日を指定してください。
- 要因 014：曜日を示す番号が範囲外です。  
曜日の指定を見直し、修正してください。
- 要因 015：曜日の指定が不適切です。  
曜日の指定を見直し、修正してください。
- 要因 016：曜日が指定されていません。  
曜日を指定してください。
- 要因 018：開始時刻、または終了時刻が範囲外です。  
開始時刻、終了時刻の記述を見直し、修正してください。
- 要因 019：開始時刻、または終了時刻の指定が不適切です。  
開始時刻、終了時刻の記述を見直し、修正してください。
- 要因 020：rtime パラメーターの指定形式が不適切です。  
開始時刻-終了時刻の形式で指定してください。
- 要因 021：開始時刻が指定されていません。  
開始時刻を指定してください。
- 要因 032：開始日、または終了日に日付・時刻とはみなせない値が入力されています。  
開始日、終了日の記述を見直し、修正してください。
- 要因 033：条件群 ID が重複しています。  
重複しないように条件群 ID を修正してください。

## KAVB1860-E

No "end-def" statement exists in a definition block. (condition group name = 条件群名, line number = 行番号)

定義ブロックの終端がありません。(条件群名:条件群名, 行番号:行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの定義ブロックが閉じていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1861-E

The "end-def" statement of a definition block is invalid. (condition group name = 条件群名, line number = 行番号)

定義ブロックの終端が不適切です。(条件群名: 条件群名, 行番号: 行番号)

共通除外条件拡張定義ファイルの定義ブロックの終端に定義不正があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1862-E

The condition group name is invalid. (line number = 行番号)

条件群名が不適切です。(行番号: 行番号)

条件群名に定義不正があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通除外条件拡張定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

### KAVB1863-E

Updating of a common exclusions condition extended definition failed. (cause = 要因)

共通除外条件拡張定義の更新に失敗しました。(要因: 要因)

共通除外条件拡張定義の更新に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

- 要因：指定された共通除外拡張定義ファイルに誤りがあります。

jcochfilter コマンドのcheck オプションで共通除外条件定義ファイルをチェックして誤りを修正後、再実行してください。

- 要因：メモリ不足が発生しました。  
十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。
- 要因：ファイル入出力エラーが発生しました。  
ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
- 要因：保存できない文字が含まれています。  
保存時に文字化けする文字が定義に含まれています。jcochfilter コマンドのcheck オプションで共通除外条件定義ファイルをチェックして誤りを修正後、再実行してください。

問題が解決されない場合、およびそのほかの要因の場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1864-I

No syntax errors were found in the common exclusion conditions extended definition file (ファイル名).

共通除外条件拡張定義ファイル(ファイル名)の内容に誤りは見つかりませんでした

共通除外条件拡張定義ファイルの内容に誤りはありませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB1865-E

Only one jcochcefmode command can be executed at one time.

jcochcefmode コマンドは複数同時に実行できません

jcochcefmode コマンドを実行中です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

実行中のjcochcefmode コマンド処理の終了後に、再度実行してください。

## KAVB1866-E

An error occurred during reading of the common exclusion conditions extended definition file.  
(cause = 要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の要因の場合、定義ファイルが壊れている可能性があります。JP1/IM - Manager を停止し、共通除外条件の動作モードを一度基本モードに変更してから再度拡張モードに変更して共通除外条件（拡張）定義を初期化してください。

- 「定義ファイルに誤りがあります。」

次の要因の場合、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

- 「メモリ不足が発生しました。」

次の要因の場合、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- 「定義ファイル読み込み時に I/O エラーが発生しました。」

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1867-E

The size of a common exclusion condition group (extended) filter exceeds the limit. (condition group maximum size = 上限サイズ)

共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超えています。(条件群の上限サイズ:上限サイズ)

JP1/IM - Manager に適用しようとしている共通除外条件群のフィルターサイズが上限サイズを超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

フィルターの上限サイズに収まるように条件群を定義してください。

## KAVB1868-W

The number of common exclusion condition groups (extended) exceeds the limit. (maximum number of condition groups = 上限数)

共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数を超過しています。(条件群の上限数:上限数)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群の定義数が上限数を超過しています。

(S)

定義済みの条件群数で処理を継続します。

(O)

拡張モードの共通除外条件群の上限数を設定で増やす、または不要な条件群を削除してください。

## KAVB1869-E

The common exclusion condition group could not be updated. (cause = 要因)

共通除外条件群の更新ができません。(要因:要因)

共通除外条件拡張定義ファイルを更新するときにエラーが発生しました。

(S)

定義更新処理を終了します。

(O)

次の要因の場合、JP1/IM - Manager の共通除外条件の動作モードを確認してから、JP1/IM - View を再起動後に再度実行してください。

- 「JP1/IM - Manager が互換モードで動作している。」
- 「共通除外条件の動作モードが基本モードで動作しています。」
- 「共通除外条件の動作モードが拡張モードで動作しています。」

次の要因の場合、不要な共通除外条件群を削除してください。

- 「共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数を超過している。」
- 「共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超過している。」

次の要因の場合、定義ファイルが壊れている可能性があります。JP1/IM - Manager を停止し、共通除外条件の動作モードを一度基本モードに変更してから再度拡張モードに変更して共通除外条件（拡張）定義を初期化してください。

- 「定義ファイルに誤りがあります。」

次の要因の場合、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

- 「メモリ不足が発生しました。」

次の要因の場合、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- 「定義ファイル読み込み時に I/O エラーが発生しました。」

次の要因の場合、保存時に文字化けする文字が定義に含まれています。環境依存文字など文字化けする文字を使用しないようにして再度反映してください。

- 「保存できない文字が含まれています。」

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1870-E

The number of common exclusion condition groups (extended) exceeds the limit. (maximum number of condition groups = **上限数**)

共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数を超過しています。(条件群の上限数:**上限数**)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群の定義数が上限数を超過しています。

- (S) コマンドの処理を終了します。
- (O) 拡張モードの共通除外条件群の上限数を設定で増やす、または不要な条件群を削除してください。

## KAVB1871-W

The size of a common exclusion condition group (extended) filter exceeds the limit. (condition group maximum size = **上限サイズ**)

共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超過しています。(条件群の上限サイズ:**上限サイズ**)

JP1/IM - Manager に適用しようとしている共通除外条件群のフィルターサイズが上限サイズを超過しています。

- (S) 定義済みの条件群数で処理を継続します。

(O)

拡張モードの共通除外条件群の上限サイズを設定で増やす、または不要な条件群を削除してください。

## KAVB1872-W

Backup of the common exclusion conditions group (extended) failed.

共通除外条件群(拡張)のバックアップに失敗しました

拡張モードの共通除外条件群のバックアップに失敗しました。

(S)

処理を継続し、共通除外条件の動作モードを基本モードに変更します。共通除外条件拡張定義ファイルは空の状態で出力します。

(O)

次のディレクトリのシステム共通除外条件拡張定義ファイル (`common_exclude_filter.conf`) がほかのアプリケーションで使用されているか、存在していなかったおそれがあります。

ほかのアプリケーションでシステム共通除外条件拡張定義ファイルを使用している場合は、アプリケーションを終了し、手動でバックアップしてください。

<Windows の場合>

物理ホスト : `Console パス¥conf¥console¥filter¥`

論理ホスト : `共有フォルダ¥JP1Cons¥conf¥console¥filter¥`

<UNIX の場合>

物理ホスト : `/etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/`

論理ホスト : `共有ディレクトリ/jp1cons/conf/console/filter/`

## KAVB1873-W

The event acquisition filter settings from JP1/IM - View were discarded, because common exclusion condition groups (which are used to suppress the execution of automatic actions for events that meet the conditions) are specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager にイベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました。

JP1/IM - Manager にイベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されているため、JP1/IM - View からのイベント取得フィルターの設定を破棄しました。

(S)

JP1/IM - View からの設定を無効にして処理を続行します。

(O)

イベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されている JP1/IM - Manager に対してイベント取得フィルターを設定する場合は、11-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。



## KAVB1874-E

The event acquisition filter settings cannot be configured from JP1/IM - Viewer 11-50 or earlier, because common exclusion condition groups (which are used to suppress the execution of automatic actions for events that meet the conditions) are specified in JP1/IM - Manager.

JP1/IM - Manager にイベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されているため、11-50 より前の JP1/IM - View ではイベント取得フィルターを設定できません。

JP1/IM - Manager にイベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されているため、11-50 より前の JP1/IM - View ではイベント取得フィルターを設定できません。

(S)

JP1/IM - View の処理を中断します。

(O)

イベントを自動アクションの実行対象外にする共通除外条件群が設定されている JP1/IM - Manager に対してイベント取得フィルターを設定する場合は、11-50 以降の JP1/IM - View を使用してください。

## KAVB1880-E

The received request was aborted because it was sent from an IPv6 address. (source IP address = IP アドレス)

IPv6 アドレスで要求を受け付けたため要求を打ち切りました。(要求を受け付けた IP アドレス:IP アドレス)

サポートしていない IPv6 アドレスで要求を受け付けたため、要求を打ち切りました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認し、再度実行してください。

- IPv4 アドレスを取得できるホスト名か。
- IPv6 アドレスを指定していないか。

## KAVB1884-W

An attempt to read the display item definition file for the repeated event condition failed. (file name = ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1885-W

The display item is not specified. (file = ファイル名)  
表示項目が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていないため、デフォルト値を指定します。

(S)

デフォルト値を使用して、処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルに表示項目を指定して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1886-W

More than 256 display item have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が 256 件を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が 256 件を超えています。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。257 件以降は無視します。

(O)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1887-W

The display item has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1888-W

An invalid display item is specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

無効な表示項目が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1889-E

The display item definition file for the repeated event condition was not found.

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルが見つかりません

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルが見つかりません。

(S)

繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

- 繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルがあるか確認する。  
繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルがない場合は、繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルを作成してください。
- 繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルに読み込み権限があるか確認する。  
読み込み権限がない場合は、繰り返しイベント条件表示項目定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1890-E

The auto-input definition file for the repeated event condition was not found.

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルが見つかりません

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルが見つかりません。

(S)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルがあるか確認する。  
繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルがない場合は、繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルを作成してください。
- 繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに読み込み権限があるか確認する。  
読み込み権限がない場合は、繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1891-W

The auto-input definition file for the repeated event condition failed to load. (file name = ファイル名)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1892-E

No more definitions can be added because the number of definitions in the repeated event condition has reached the maximum (上限数).

繰り返しイベント条件数が上限(上限数)に達しているため、これ以上定義できません

繰り返しイベント条件数が上限数に達しているため、これ以上定義できません。

(O)

不要な繰り返しイベント条件を削除してください。

### KAVB1893-E

No more definitions can be added because the size of the repeated event condition has reached the maximum (上限サイズ).

繰り返しイベント条件のサイズが上限サイズ(上限サイズ)に達しているため、これ以上定義できません

繰り返しイベント条件が上限サイズに達しているため、これ以上定義できません。

(O)

不要な繰り返しイベント条件を削除してください。

### KAVB1894-W

An attribute name has not been specified. (file name = ファイル名)

属性名が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに属性名が指定されていないため、デフォルト値を使用します。

(S)

デフォルト値を使用して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに属性名を指定して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

### KAVB1895-W

An invalid attribute name is specified. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

無効な属性名が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに無効な属性名が指定されています。

(S)

無効な属性名の行を無視して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

### KAVB1896-W

The attribute name is specified multiple times. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

属性名の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルに重複した属性名が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1897-W

The repeated event condition name was truncated because it exceeded 最大長 bytes.

繰り返しイベント条件名の長さが最大長バイトを超えているため、超過した文字列を削除しました

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルで指定した繰り返しイベント条件名の長さが上限を超えています。

(S)

超過分の文字列を削除して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1898-W

The value of the parameter パラメーター is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターの値が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示されたパラメーターの値が不適切です。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

繰り返しイベント条件自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1899-E

The repeated event condition could not be set. (cause = 要因)

繰り返しイベント条件を設定できません。(要因:要因)

繰り返しイベント条件を設定するときにエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

- 要因が「繰り返しイベント監視抑止機能が無効です。」の場合は、JP1/IM - Manager の設定を確認し、JP1/IM - View の再起動後に再度実行してください。
- 要因が「現在定義されている繰り返しイベント条件が未対応のバージョンです。」の場合は、対応するバージョンの JP1/IM - View で接続してください。

問題が解決されない場合、およびそのほかの要因の場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスタクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1917-E

The severity change definition could not be set. (cause = 要因)

重大度変更定義を設定できません。(要因:要因)

重大度変更定義を設定するときにエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

- 要因が「定義ファイルに誤りがあります。」の場合は、JP1/IM - Manager の統合トレースログに出力される定義不正のメッセージを確認して、重大度変更定義ファイルを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。
- 要因が「定義ファイルが開けませんでした。」の場合は、次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。
  - ・重大度変更定義ファイルに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、重大度変更定義ファイルに書き込み権限を設定してください。
- 要因が「重大度変更機能が無効です。」の場合は、JP1/IM - Manager の設定を確認し、JP1/IM - View の再起動後に再度実行してください。
- 問題が解決されない場合、およびそのほかの要因の場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスタクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

Windows の場合：Windows イベントログ

UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1918-E

No more definitions can be added because the number of severity change definition has reached the maximum (上限).

重大度変更定義数が上限(上限)に達しているため、これ以上定義できません

重大度変更定義数が上限数に達しているため、これ以上定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

不要な重大度変更定義を削除してください。

## KAVB1919-E

No more definitions can be added because the size of the severity change definition has reached the maximum (上限サイズ).

重大度変更定義のサイズが上限サイズ(上限サイズ)に達しているため、これ以上定義できません

重大度変更定義が上限サイズに達しているため、これ以上定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

不要な重大度変更定義を削除してください。

## KAVB1920-E

The severity change definition was not found.

重大度変更定義ファイルが見つかりません

重大度変更定義ファイルが見つかりません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmc\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 重大度変更定義ファイルがあるか確認してください。重大度変更定義ファイルがない場合は、重大度変更定義ファイルを作成してください。
- 重大度変更定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、重大度変更定義ファイルに読み込み権限を設定してください。



## KAVB1921-E

There is an error in The severity change definition.

重大度変更定義ファイルに誤りがあります

重大度変更定義ファイルに誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager の統合トレースログに出力される定義不正のメッセージを確認して、重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1922-E

The display item definition file for the severity change definition was not found.

重大度変更定義表示項目定義ファイルが見つかりません

重大度変更定義表示項目定義ファイルが見つかりません。

(S)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager 起動時の場合は、デフォルト値を使用して処理を続行し、`jco_spm�_reload` コマンド実行時の場合は、読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

- 重大度変更定義表示項目定義ファイルがあるか確認してください。重大度変更定義表示項目定義ファイルがない場合は、重大度変更定義表示項目定義ファイルを作成してください。
- 重大度変更定義表示項目定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、重大度変更定義表示項目定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1923-E

The severity change definition exceeds the maximum length (上限サイズ).

重大度変更定義の上限サイズ(上限サイズ)を超えて指定しています

重大度変更定義が上限サイズに達しているため、これ以上定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

重大度変更定義ファイルの不要な重大度変更定義を削除してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1924-W

An attempt to read the display item definition file for the severity change definition failed. (file name = ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager 起動時の場合は、デフォルト値を使用して処理を続行し、jco\_spmd\_reload コマンド実行時の場合は、読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1925-W

More than 256 display item have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

表示項目の指定が 256 件を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が 256 件を超えています。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。256 件までを使用し、それ以降は無視します。

(O)

重大度変更定義表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1926-W

An invalid display item is specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

無効な表示項目が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

重大度変更定義表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1927-W

The display item has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
表示項目の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

重大度変更定義表示項目定義ファイルを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1928-W

The display item is not specified. (file = ファイル名)  
表示項目が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていないため、デフォルト値を指定します。

(S)

デフォルト値を使用して、処理を続行します。

(O)

重大度変更定義表示項目定義ファイルに表示項目を指定して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1929-E

The auto-input definition file for the severity change definition was not found.  
重大度変更定義自動入力定義ファイルが見つかりません

重大度変更定義自動入力定義ファイルが見つかりません。

(S)

重大度変更定義自動入力定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager 起動時の場合は、デフォルト値を使用して処理を続行し、`jco_spmd_reload` コマンド実行時の場合は、読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 重大度変更定義自動入力定義ファイルがあるか確認する。  
重大度変更定義自動入力定義ファイルがない場合は、重大度変更定義自動入力定義ファイルを作成してください。
- 重大度変更定義自動入力定義ファイルに読み込み権限があるか確認する。  
読み込み権限がない場合は、重大度変更定義自動入力定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1930-W

The auto-input definition file for the severity change definition failed to load. (file name = ファイル名)

重大度変更定義自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

重大度変更定義自動入力定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager 起動時の場合は、デフォルト値を使用して処理を続行し、jco\_spm�\_reload コマンド実行時の場合は、読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1931-W

The severity change definition name was truncated because it exceeded 最大長 bytes.

重大度変更定義名の長さが最大長バイトを超えているため、超過した文字列を削除しました

重大度変更定義自動入力定義ファイルで指定した重大度変更定義名の長さが上限を超えています。

(S)

超過分の文字列を削除して処理を続行します。

(O)

重大度変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1932-W

The value of the parameter パラメーター is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーターの値が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示されたパラメーターの値が不適切です。

- (S)  
その行を無視して処理を続行します。
- (O)  
重大度変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、  
jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1933-W

An attribute name has not been specified. (file name = ファイル名)  
属性名が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義自動入力定義ファイルに属性名が指定されていないため、デフォルト値を使用します。

- (S)  
デフォルト値を使用して処理を続行します。
- (O)  
重大度変更定義自動入力定義ファイルに属性名を指定して、JP1/IM - Manager を再起動するか、  
jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1934-W

An invalid attribute name is specified. (line number = 行番号, file name = ファイル名)  
無効な属性名が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義自動入力定義ファイルに無効な属性名が指定されています。

- (S)  
無効な属性名の行を無視して処理を続行します。
- (O)  
重大度変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、  
jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1935-W

The attribute name is specified multiple times. (line number = 行番号, file name = ファイル名)  
属性名の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

重大度変更定義自動入力定義ファイルに重複した属性名が指定されています。

- (S)  
重複した属性名の行を無視して処理を続行します。
- (O)  
重大度変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1936-E

The display message change definition could not be set. (cause = 要因)  
表示メッセージ変更定義を設定できません。(要因:要因)

表示メッセージ変更定義を設定するときにエラーが発生しました。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)
- 要因が「定義ファイルに誤りがあります。」の場合は、JP1/IM - Manager の統合トレースログに出力される定義不正のメッセージを確認して、表示メッセージ変更定義ファイルを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。
  - 要因が「定義ファイルがオープンできませんでした。」の場合は、次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。
    - ・表示メッセージ変更定義ファイルに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、表示メッセージ変更定義ファイルに書き込み権限を設定してください。
  - 要因が「表示メッセージ変更機能が無効です。」の場合は、JP1/IM - Manager の設定を確認し、JP1/IM - View の再起動後に再度実行してください。

問題が解決されない場合は、JP1/IM - Manager ホストで次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB1937-E

No more definitions can be added because the number of display message change definition has reached the maximum (上限).

表示メッセージ変更定義数が上限(上限)に達しているため、これ以上定義できません

表示メッセージ変更定義の数が上限に達しているため、これ以上定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

不要な表示メッセージ変更定義を削除してください。

## KAVB1938-E

No more definitions can be added because the size of the display message change definition has reached the maximum (上限).

表示メッセージ変更定義のサイズが上限サイズ(上限)に達しているため、これ以上定義できません

表示メッセージ変更定義のサイズが上限に達しているため、これ以上定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

不要な表示メッセージ変更定義を削除してください。

## KAVB1939-E

The display message change definition was not found.

表示メッセージ変更定義ファイルがありません

表示メッセージ変更定義ファイルがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 表示メッセージ変更定義ファイルがあるか確認してください。表示メッセージ変更定義ファイルがない場合は、表示メッセージ変更定義ファイルを作成してください。
- 表示メッセージ変更定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、表示メッセージ変更定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1940-E

There is an error in The display message change definition.

表示メッセージ変更定義ファイルに誤りがあります

表示メッセージ変更定義ファイルに誤りがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager の統合トレースログに出力される定義不正のメッセージを確認して、表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1941-E

The display item definition file for a display message change definition was not found.

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルがありません

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルがありません。

(S)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager の起動時は初期値を設定して処理を続行し、jco\_spmd\_reload コマンド実行時は読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルがあるか確認してください。表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルがない場合は、表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルを作成してください。
- 表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1942-E

The display message change definition exceeds the maximum length (上限).

表示メッセージ変更定義のサイズが上限(上限)を超えて指定しています

表示メッセージ変更定義のサイズが上限に達しているため、定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの不要な表示メッセージ変更定義を削除してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。



## KAVB1943-W

An attempt to read the display item definition file for a display message change definition failed. (file name = ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager の起動時は初期値を設定して処理を続行し、jco\_spmd\_reload コマンド実行時は読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1944-W

The number of specified display items in a display item definition file for a display message change definition exceeds the maximum (上限). (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が上限(上限)を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が上限を超えています。

(S)

読み込みを中止し、処理を続行します。上限までを使用し、それ以降は無視します。

(O)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1945-W

An invalid display item is specified in a display item definition file for a display message change definition. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに無効な表示項目が指定されています。

(S)

無効な表示項目を無視して処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1946-W

A display item in a display item definition file for a display message change definition is duplicated. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルの表示項目の指定が重複しています。

(S)

重複した行を無効にして処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルを修正して JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1947-W

No display items are specified in a display item definition file for a display message change definition. (file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに表示項目が指定されていないため、省略時の値を使用します。

(S)

省略時の値を使用して、処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義表示項目定義ファイルに表示項目を指定して JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spm�_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1948-E

The automatic input definition file for a display message change definition was not found.

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルがありません

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルがありません。

(S)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager の起動時は初期値を設定して処理を続行し、jco\_spm�\_reload コマンド実行時は読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルがあるか確認する。表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルがない場合は、表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルを作成する。
- 表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに読み込み権限があるか確認する。読み込み権限がない場合は、表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに読み込み権限を設定する。

## KAVB1949-W

The automatic input definition file for a display message change definition failed to load. (file name = **ファイル名**)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:**ファイル名**)

表示メッセージ変更件自動入力定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの読み込みを中止します。JP1/IM - Manager の起動時は初期値を設定して処理を続行し、jco\_spm�\_reload コマンド実行時は読み込み前の設定で処理を続行します。

(O)

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1950-W

The length of the name for a display message change definition for an automatic input definition file for a display message change definition will be truncated because it exceeds the maximum number of bytes (**上限**).

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの表示メッセージ変更定義名の長さが上限(**上限**)バイトを超えているため、超過した文字列を削除しました

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルで指定した表示メッセージ変更定義名の長さが上限を超えています。

(S)

超過した文字列を削除して処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1951-W

The value of the parameter "parameter" in an automatic input definition file for a display message change definition is invalid. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルのパラメーターの値に誤りがあります。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに表示されたパラメーターの値に誤りがあります。

(S)

その行を無視して処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1952-W

No attribute names are specified in an automatic input definition file for a display message change definition. (file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに属性名が指定されていません。(ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに属性名が指定されていないため、省略時の値を使用します。

(S)

省略時の値を使用して処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに属性名を指定して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1953-W

An invalid attribute name is specified in an automatic input definition file for a display message change definition. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに無効な属性名が指定されています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに無効な属性名が指定されています。

(S)

無効な属性名を無視して処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1954-W

An attribute name in an automatic input definition file for a display message change definition is duplicated. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの属性名の指定が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルに重複した属性名が指定されています。

(S)

重複した行を無効にして処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義自動入力定義ファイルの誤りを訂正して JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB1955-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for Event Console Service. (cause = 要因)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 要因が「キーストアの秘密鍵またはサーバ証明書が読み込めません。」の場合は、次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動してください。  
サーバ証明書、およびサーバ証明書に対応した秘密鍵が配置されていることを確認してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、JP1/IM - Manager を再起動してください。  
解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1956-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the command "コマンド名". (cause = 要因, file = ファイル名)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

コマンドの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

- 要因が「ルート証明書ファイルが見つかりません。」の場合は、次の確認をしてからコマンドを再実行してください。
  - ルート証明書があるか確認してください。
    - ・ルート証明書がある場合は、ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
    - ・ルート証明書がない場合はルート証明書を配置してください。
- 要因が「ルート証明書ファイルが読み込めません。」の場合は、次の確認をしてからコマンドを再実行してください。
  - ・ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
  - ・次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- Windows の場合:Windows イベントログ
- UNIX の場合:シスログ (syslog)

## KAVB1957-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for the command "コマンド名". (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先との暗号化通信に失敗しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

- 要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN または SAN と、jcochstat コマンドの-h オプションで指定したマネージャーホスト名が同じであることを確認して、コマンドを再実行してください。
- 要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をしてからコマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・ jcochstat コマンドの場合は-h オプションで指定したマネージャーホストのサーバ証明書に対応するルート証明書が、コマンドを実行したホストに配置されているか確認してください。配置されていない場合は、配置してください。
  - ・ jcochstat コマンドの場合は-h オプションで指定したマネージャーホストの通信暗号化機能が有効であることを確認してください。有効でない場合は、有効にしてください。
  - ・ jcochstat コマンドの場合は-h オプションで指定したマネージャーホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
  - ・ JP1/IM - Manager 起動後に通信暗号化機能の設定を変更した可能性があります。JP1/Base および JP1/IM - Manager を再起動し、通信暗号化機能の設定を反映してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1958-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for JP1/IM - View. (cause = 要因, directory = ディレクトリ名)

JP1/IM - View の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ディレクトリ名:ディレクトリ名)

JP1/IM - View の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

- 要因が「ルート証明書ファイルが 1 個も見つかりません。」の場合は、次の確認をしてから再ログインしてください。

ルート証明書があるか確認してください。

  - ・ ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ ルート証明書がない場合は、ルート証明書を配置してください。
- 要因が「すべてのルート証明書ファイルが読み込めません。」の場合は、次の確認をしてから再ログインしてください。
  - ・ ルート証明書があるか確認してください。ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。

- ・ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
- ・Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
- ・要因が「ルート証明書の配置先ディレクトリがありません。」の場合は、ルート証明書の配置先ディレクトリを作成してルート証明書を配置してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1959-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for JP1/IM - View. (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先との暗号化通信に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

- ・要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN、または SAN とセントラルコンソール・ビューアーの接続先のホスト名が同じであることを確認し、再ログインしてください。
- ・要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・接続先のマネージャーホストの通信暗号化機能が有効であることを確認してください。有効である場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに接続先のマネージャーホスト名が記載されていないことを確認してください。
  - ・統合トレースログに「一部のルート証明書の読み込みに失敗しました」が出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書に対応するルート証明書が JP1/IM - View に配置されているか確認してください。配置されていない場合は配置してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
- ・要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1960-E

A non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View was not found. (file = ファイル名)



JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の確認をしてから、再ログインしてください。

- 非暗号化通信ホスト設定ファイルがあるか確認してください。非暗号化通信ホスト設定ファイルがない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルを作成してください。
- 非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB1961-E

The non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View failed to load.  
(file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1962-E

The first line of the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View is not "[NO\_SSL\_HOST]". (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]を記載し、再ログインしてください。

## KAVB1963-E

The number of manager host names specified in the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数を見直して修正してください。修正後、再ログインしてください。

## KAVB1964-E

The length of a manager host name specified in the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View exceeds the maximum (上限). (line number = 行番号, file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが上限(上限)を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KAVB1965-E

The syntax for asterisks (\*) in the manager host name for the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View is invalid. (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の\*の記述が不適切です。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の「\*」の記述が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルを修正し、再ログインしてください。

マネージャーホスト名に「\*」を記載する場合は、[NO\_SSL\_HOST]の次の行に「\*」1個を記載してください。

「\*」だけを記載した場合は、すべてのマネージャーホストと通信が暗号化されないため、注意してください。

## KAVB1969-W

Failed to read some of the root authentication certificates used by the communication encryption function for JP1/IM - View. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, ...)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, ...)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みに失敗したファイルを無視して処理を続行します。

(O)

次のことを確認し、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
- ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。

## KAVB1970-E

A manager host name in the non-encryption communication host settings file is duplicated. (line number = 行番号, file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

#### KAVB1971-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for JP1/IM - View is no longer valid.(directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, ...)  
JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, ...)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態で運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

#### KAVB1972-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for the command "コマンド名" is no longer valid. (file = ファイル名)  
コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ファイル名:ファイル名)

コマンドの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態で運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

#### KAVB1973-E

A parameter of the communication encryption function for the command "コマンド名" is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)  
コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

コマンドの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の要因に従って対処し、コマンドを再実行してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が空文字です。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値がフルパスではありません。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値にフルパスを設定してください。

## KAVB1974-E

Parameters for the communication encryption function for the command "コマンド名" could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

コマンド(コマンド名)で通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:パラメーター名, 要因:要因)

コマンドで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の要因に従って対処し、コマンドを再実行してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターが未定義です。」の場合は、JP1/Baseの共通定義にパラメーターを設定してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1975-E

A file or directory specified for a parameter of the communication encryption function for the command "コマンド名" was not found. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能のパラメータで指定したパスにファイルまたはディレクトリがありません。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値)

コマンドの通信暗号化機能のパラメーターで指定したパスに、ファイルまたはディレクトリがありません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

パラメーターで指定したパスに、パラメーターに対応したファイルを配置し、コマンドを再実行してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1976-E

A parameter of the communication encryption function for the Event Console Service is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名: パラメーター名, パラメーター値: パラメーター値, 要因: 要因)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が空文字です。」の場合は、共通定義のパラメーターの値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値がフルパスではありません。」の場合は、共通定義のパラメーターの値にフルパスを設定してください。

## KAVB1977-E

Parameters for the communication encryption function for the Event Console Service could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

イベントコンソールサービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名: パラメーター名, 要因: 要因)

イベントコンソールサービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターが未定義です。」の場合は、共通定義にパラメーターを設定してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB1978-E

The keystore used by the communication encryption function for the Event Console Service could not be read. (file = **ファイル名**)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。(ファイル名:**ファイル名**)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。

(S)

イベントコンソールサービスを終了します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- キーストアの格納先ディレクトリがない場合は、格納先ディレクトリを作成してください。
- キーストアがある場合は、キーストアに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、キーストアに読み込み権限を設定してください。
- キーストアがない場合は、統合トレースログに「キーストアの作成に失敗しました」のメッセージが出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAVB1979-E

The following item was specified incorrectly: **入力情報**

**対処方法**

**入力情報**：入力値

**入力情報**の設定が正しくありません。

**対処方法**

**入力情報**：入力値

設定した値に誤りがあります。

(S)

メッセージダイアログボックスが表示されたあとに、再入力を待ちます。

(O)

設定した値を修正してください。修正後、再実行してください。

### KAVB1981-I

The definition file for opening monitor windows was applied to JP1/IM - Manager.  
モニター画面呼び出し定義ファイルを JP1/IM - Manager に反映しました

モニター画面呼び出し定義ファイルを JP1/IM - Manager に反映しました。

(S)

処理を継続します。

### KAVB1982-E

An attempt to read the definition file for opening monitor windows has failed. (cause = 要因)  
モニター画面呼び出し定義ファイルの読み込みに失敗しました。(要因:要因)

モニター画面呼び出し定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

モニター画面呼び出し定義ファイルは、jco\_spm�\_reload コマンド実行前の定義で動作します。

(O)

次の要因に従って対処してください。

- 要因が「I/O エラーが発生しました。」の場合は、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
- 要因が「メモリ不足が発生しました。」の場合は、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

問題が解決されない場合、その他の要因の場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB1983-I

The definition file for displaying performance reports was read successfully. The function for displaying performance reports of event-source hosts can now be used. (file = ファイル名)



性能レポート表示定義ファイルの読み込みに成功しました。事象発生元ホストの性能レポート表示機能が使用できます。(ファイル名:ファイル名)

性能レポート表示定義ファイルの読み込みに成功しました。性能表示機能が使用できます。

## KAVB1984-E

An attempt to read the definition file for displaying performance reports failed. The function for displaying performance reports of event-source hosts cannot be used. (cause = 要因, file = ファイル名)

性能レポート表示定義ファイルの読み込みに失敗しました。事象発生元ホストの性能レポート表示機能は使用できません。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

性能レポート表示定義ファイルの読み込みに失敗しました。性事象発生元ホストの性能レポート表示機能は使用できません。

(S)

性能レポート表示定義ファイルの読み込み処理を打ち切ります。

(O)

次の要因を確認し、JP1/IM - Manager を再起動するか、またはjco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 要因が「I/O エラーが発生しました。」の場合は、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
- 要因が「メモリ不足が発生しました。」の場合は、十分なメモリーを確保してください。
- 問題が解決されない場合、その他の要因の場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

Windows の場合：Windows イベントログ

UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB1985-E

There is an error in the definition file for displaying performance reports. The function for displaying performance reports of event-source hosts cannot be used. (cause = 要因, file = ファイル名)

性能レポート表示定義ファイルの内容に誤りがあります。事象発生元ホストの性能レポート表示機能は使用できません。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

性能レポート表示定義ファイルの内容に誤りがあります。性能表示機能が使用できません。

(S)

性能レポート表示定義ファイルの読み込み処理を打ち切ります。

(O)

次の要因を確認し、JP1/IM - Manager を再起動するか、またはjco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 要因が「URL が不正です。」の場合は、性能レポート表示定義ファイルに記載した URL が正しいか確認してください。誤っている場合は、修正してください。
- 要因が「複数の URL が指定されています。」の場合は、性能レポート表示定義ファイルに複数の URL が記載されていないか確認してください。複数の URL が記載されている場合は、URL の記載を一つにしてください。

## KAVB1986-E

The root certificate used by the communication-encryption function of the event console service has expired. (file name: ファイル名)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ファイル名:ファイル名)

イベントコンソールサービスの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

警告メッセージ出力後処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態で運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

## KAVB1987-E

The number of host names in the non-SSL communication host configuration file has exceeded the upper limit (上限). (file name: ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルのホスト名の件数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルのホスト名の件数が上限を超えています。

(S)

上限 (10,000 件) を超えた定義を無視して処理を続行します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルのホスト名の件数を見直して修正してください。

## KAVB1988-W

The length of a host name in the non-SSL communication host configuration file exceeds the upper limit (上限). (line number: 行番号, file name: ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルのホスト名の長さが上限(上限)を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルのホスト名の長さが最大長を超えています。

(S)

ホスト名の長さが最大長を超えている定義を無視して処理を続行します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの該当する行のホスト名を修正してください。

#### KAVB1990-E

Failed to read the non-SSL communication host configuration file. (file name: ファイル名)  
非 SSL 通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イベント検索処理を終了します。

(O)

ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB1991-E

[NO\_SSL\_HOST] is not specified at the beginning of the non-SSL communication host configuration file. (file name: ファイル名)

非 SSL 通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。(ファイル名:ファイル名)

JP1/Base の非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。

(S)

イベント検索処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]を記載してください。

#### KAVB1993-E

An error occurred during initialization of the communication-encryption function. (cause: 要因, file name: ファイル名)

通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

通信暗号化機能の初期化に失敗したため、クライアントからの要求を破棄します。

(S)

イベント検索処理を終了します。

(O)

要因が「ルート証明書がありません」の場合は、ルート証明書を配置してください。

要因が「ルート証明書を読み込めません」の場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。

## KAVB1994-E

The SSL communication processing failed. (cause: 要因, connection-destination host name: 接続先ホスト名)

SSL 通信処理に失敗しました。(要因:要因, 接続先ホスト名:接続先ホスト名)

SSL 通信処理に失敗したため、クライアントからの要求を破棄します。

(S)

イベント検索処理を終了します。

(O)

要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります」の場合

- 接続先ホストのサーバ証明書の CN または SAN と、イベント検索の接続先として指定したホスト名が同じであることを確認してください。

要因が「SSL のハンドシェイクに失敗」の場合

- ネットワーク環境を確認してください。
- マネージャーで通信暗号化機能を使用していない場合、検索ホストの通信暗号化機能が無効になっていること。通信暗号化機能が有効になっている場合は、検索ホストで非 SSL 通信ホスト設定ファイルにマネージャーホスト名を登録してください。
- マネージャーで通信暗号化機能を使用していて、検索ホストで通信暗号化機能が無効になっている場合、マネージャーの非 SSL 通信ホスト設定ファイルに検索ホスト名が登録されていることを確認してください。登録されていない場合は、登録してください。
- マネージャーと検索ホストで通信暗号化機能を使用している場合、双方の非 SSL 通信ホスト設定ファイルに互いのホスト名が登録されていないことを確認してください。登録されている場合は、互いのホスト名を削除してください。
- 接続先ホストのサーバ証明書に対応するルート証明書がマネージャーに配置されているか確認してください。配置されていない場合は配置してください。

上記の設定に問題がない場合、検索ホストで次の項目を確認してください。

- 接続先ホストの通信暗号化機能が有効であることを確認してください。有効である場合は、非 SSL 通信ホスト設定ファイルに接続先のホスト名が記載されていないことを確認してください。

要因が「共通の SSL バージョンまたは共通の暗号スイートがありません」の場合

- 共通の SSL バージョンまたは共通の暗号スイートを指定してください。

要因が「接続先のサーバ証明書の有効期限が切れています」の場合

- 接続先ホストのサーバ証明書が有効期間内であるか確認してください。
- 有効期間外である場合は、サーバ証明書を更新してください。

## 2.3 コマンド実行に関するメッセージ (KAVB2001～KAVB2999)

### KAVB2002-I

Command issued to ホスト名 host was not received within the specified time (Command : コマンド名).

ホスト名ホストに入力したコマンド名コマンドが規定時間内に受付られませんでした。

入力したコマンドが規定時間内に受け付けられませんでした。

(S)

入力されたコマンドの実行を継続します。

ただし、ホスト名ホストの電源断などの物理的な切断によって再起動したあと、1回目の実行で出力された場合は、コマンドを実行しません。

(O)

ホスト名ホストで、このメッセージを出力したホストの正式ホスト名を解決できない場合、このメッセージが出力されることがあります。ホスト名に表示される名称には、構成定義で定義した階層のホスト名が表示されます。

ホスト名ホストのhosts ファイルや DNS の登録、構成定義情報を確認してください。

ホスト名ホストの電源断などの物理的な切断によって再起動したあと、1回目の実行で出力された場合は、コマンドを再実行してください。

該当しない場合は、通信環境に問題がないか、システムのログや通信機器のログなどを確認してください。

### KAVB2003-E

Cannot connect to ホスト名 host; so, the コマンド名 command cannot be executed.

ホスト名ホストに接続できないため、コマンド名コマンドが実行できません。

コマンド転送先のホストに接続できないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- コマンド転送先のホストと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- コマンド転送先のホストの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は、資料採取ツールで自ホストおよびコマンド転送先ホストの資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章のjp1ping コマンドを参照してください。

## KAVB2005-E

The コマンド名 command was rejected because it could not be relayed to the local host.  
自ホストへの中継はできないため、コマンド名コマンドの実行を拒否しました。

コマンド実行要求を出した JP1/IM - Manager のホストとコマンド転送先ホストの IP アドレスが一致しています。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次のことを確認してください。

- 構成定義で定義したコマンド転送先ホストの IP アドレス解決に問題がないか。
- メッセージを出力したホスト名、IP アドレスが正しく設定されているか。

## KAVB2012-I

Received the コマンド名 command.  
コマンド名コマンドを受け付けました。

コマンドを受け付けました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB2013-I

Terminated the コマンド名 command. pid=プロセス ID terminate code=終了コード  
コマンド名のコマンドが実行終了しました。pid=プロセス ID terminate code=終了コード

コマンド名で示されるコマンドの実行が終了しました。入力したコマンドは Windows の場合cmd.exe, UNIX の場合は実行ユーザーのシェルの引数として実行します。そのためプロセス ID, 終了コードはそれらの値が出力されます。

## KAVB2022-E

Reception of the command was rejected because it exceeds the maximum length of 1024 bytes.

指定したコマンドの長さが上限値 (1024 バイト) を超えているため、コマンドの受け付けを拒否します。

引数を含めたコマンドの長さが、1,024バイトを超えています。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

引数を含めたコマンドの長さを見直してください。

## KAVB2023-E

Could not find the コマンド名 command.  
該当するコマンド名コマンドがありません。

該当するコマンドがありません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

Windows の場合はcmd.exe, UNIX の場合は実行するユーザーのシェルがあるか確認してください。

## KAVB2024-E

Command cannot be executed because the corresponding host(ホスト名) is not registered in hosts.  
ホスト(ホスト名)のアドレス解決ができないため、コマンドが実行できません。

ホスト名で示すホストのアドレスを解決できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

ホスト名のアドレスが解決できるようにしてください。

## KAVB2027-E

Cannot execute the command. Failed to simulate the user ユーザー名 environment.  
ユーザー名のユーザ偽装に失敗したため、コマンド実行できません。

ユーザーマッピングに失敗したため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次のことを確認してください。



- JP1 ユーザー (ユーザー名) が、コマンド実行先ホストのユーザーマッピングに定義されているか。
- ユーザーマッピングに定義した OS のユーザーが存在するか。また、その OS ユーザーはドメインユーザーとローカルユーザーを混同していないか。
- ユーザーマッピングに定義した JP1 ユーザー (ユーザー名) の「サーバホスト名」で、「\*」またはマネージャーホスト名が設定されているか。
- 実行先ホストが Windows の場合、ユーザーマッピングに定義した OS のユーザーに「サービスとしてログオン」および「ローカルログオン」の権利を与えているか。\*1
- 実行先ホストが Windows の場合、ユーザーマッピングに定義した OS のユーザーのパスワードが変更されていないか。
- 実行先ホストが Windows の場合、かつ物理ホストと論理ホストが同時に起動する運用の場合、jp1hosts 情報またはjp1hosts2 情報を設定したか。\*2
- 実行先ホストが UNIX の場合、ユーザーマッピングに定義した OS のユーザーのユーザー ID が有効かどうか。
- ユーザーマッピングに定義した OS のユーザーがドメインユーザーの場合、ドメインコントローラーを再起動しなかったか。

注※1 ユーザー権利の設定方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のユーザー管理の設定に関する章を参照してください。

注※2 設定方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のクラスタシステムで運用する場合の設定に関する章を参照してください。

## KAVB2029-I

Executed the コマンド名 command. pid=プロセス ID  
 コマンド名のコマンドを実行しました。pid=プロセス ID

コマンドを実行しました。

## KAVB2031-E

Cannot execute the command. The host (ホスト名) is not managed by JP1/Console.  
 ホスト (ホスト名) が管理対象でないため、コマンドが実行できません。

管理対象外のホストでコマンドを実行しようとしてしました。

または、実行ホストのホスト名が解決できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

- 実行ホストとして指定したホストを構成定義で定義してください。

実行ホストには、システム構成定義で定義されていて、ログインしているマネージャーホストの下位にあるホストを指定してください。

- 実行ホストのホスト名、構成定義で定義しているホスト名を解決できるように設定してください。

#### KAVB2037-I

Terminated Command Control.

コマンド制御を停止しました。

コマンド制御を停止しました。

#### KAVB2041-E

Could not find the Environment file(ファイル名).

環境変数ファイル (ファイル名) が見つかりません。

[コマンド実行] 画面やアクション定義で指定した環境変数ファイルが見つかりません。

(O)

指定したファイルが実行ホスト上にあるか、パスが間違っていないか確認してください。

#### KAVB2042-E

Jcocmd received an illegal request from process manager.

プロセス管理から不正な要求を受信しました。

コマンド制御がプロセス管理から不正な要求を受信しました。

(S)

リモートコマンドを終了します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。
- UNIX の場合は、/var/opt/jp1base 以下のディスク容量が十分に確保されているか。
- UNIX の場合は、/var/opt/jp1base 以下のパーミッションが適切であるか。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB2051-I

A timeout has occurred, since no reply has been obtained from the host [ホスト名]. Common configuration value RSPTIME\_START = [内部コード]

タイムアウトが発生しました。ホスト (ホスト名) から応答がありません。共通定義 RSPTIME\_START = [内部コード]

接続先ホストから応答がありません。

(S)

入力されたコマンドの実行を継続します。

(O)

ホスト名ホストで JP1/Base が起動しているか確認してください。

## KAVB2052-I

Since the connection with host [ホスト名] was released, command response processing was interrupted.

ホスト(ホスト名)との接続を解放しました。応答は中断されます。

ホストとの接続が解放されたため、コマンドの応答通知を中断します。コマンド実行中にホスト名のホストの JP1/Base を停止した場合、またはコマンドの実行に時間がかかっている場合に出力されることがあります。

(S)

ホストとの接続が解放されたため、コマンドの応答通知を中断します。コマンドの実行に時間がかかっている場合は、一時的にコネクションを解放しますが、コマンドは正常に実行されます。

(O)

時間のかかるコマンドを実行していない場合は、ホスト名のホストで JP1/Base が停止していないか確認してください。JP1/Base が起動している場合は、ネットワークに問題がないか確認してください。

## KAVB2053-E

Socket bind error. An attempt to bind the socket on host [ホスト名] to the port number [ポート番号] and address [IP アドレス] has failed. [内部メッセージ]

ソケットバインドエラー。ホスト(ホスト名)の bind システムコールに失敗しました。ポート番号：[ポート番号] IP アドレス [IP アドレス]。[内部メッセージ]

出力された IP アドレスにバインドできませんでした。

(S)

出力された IP アドレスで起動できません。または、コマンドを実行しません。

(O)

出力された IP アドレスが使用できる設定になっているか確認してください。

## KAVB2054-E

Socket listen error. An attempt to listen to the host [ホスト名] has failed. [内部メッセージ].  
ソケットリスンエラー。ホスト(ホスト名)の listen システムコールに失敗しました。[内部メッセージ]

listen システムコールが失敗しました。

(S)

出力されたホストの IP アドレスで、通信を受信できません。

(O)

リソース不足が発生していないか確認してください。

## KAVB2055-E

Cannot execute the command, since the host name [ホスト名] cannot be resolved.  
ホスト(ホスト名)のアドレス解決ができないため、コマンドが実行できません。

ホスト名の IP アドレスが解決できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

アドレスを解決できるようにしてください。

## KAVB2056-E

The request [ID] from host [ホスト名] was invalid, and has been rejected.  
不正なリクエスト ID[ID]をホスト(ホスト名)から受け取りました。コマンド実行要求は拒否されました。

不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

不正なパケットが流れていないか、通信環境を確認してください。

## KAVB2057-E

Cannot send the execution results of the command [コマンド名] from the host [ホスト名]. [内部メッセージ].  
コマンド[コマンド名][実行指示ホスト(ホスト名)]の実行結果を送信できません。[内部メッセージ]

コマンド実行結果の送信に失敗しました。

(S)

コマンド実行結果は送信されません。

(O)

コマンド実行先ホストでリソース不足が発生していないか確認してください。

### KAVB2058-E

The command request has been rejected, since the command queueing limit has been exceeded.

先行入力数を超えるため、コマンドの受け付けを拒否します。

先行入力数を超えて、コマンド実行要求を受け取りました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

jcocmddef コマンドで、キューの先行入力数を増やしてください。

先行入力数を増やしても、このメッセージが発生する場合は、次の対処をしてください。

- 実行時間の長いコマンドの要求を減らしてください。
- 要求するコマンドの数を減らしてください。

### KAVB2059-E

Due to an internal error, an attempt to execute the command [コマンド名] has failed. [内部メッセージ].

内部エラー。コマンド名のコマンドの実行に失敗しました。[内部メッセージ]

コマンド実行先ホストで、コマンド実行時にシステムコールに失敗しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

コマンド実行先ホストでリソース不足が発生していないか確認してください。

### KAVB2060-E

An internal error occurred while the results were being received.

内部エラー。コマンド実行結果受信中にエラーが発生しました。

コマンド実行指示ホストの内部プロセス間で、コマンド実行結果を転送中にエラーが発生しました。

(S)

コマンド実行結果は表示されません。

(O)

コマンド実行指示ホストでリソース不足が発生していないか確認してください。

### KAVB2061-E

Due to an internal error, the command request [コマンド名] has been rejected.  
内部エラー。コマンド実行要求[コマンド名]は拒否されました。

コマンド実行指示ホストの内部プロセス間で、コマンド名を転送中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

コマンド実行指示ホストでリソース不足が発生していないか確認してください。

### KAVB2062-E

The command [コマンド名] cannot be sent from host [ホスト名] to host [ホスト名].  
コマンドコマンド名をホスト(ホスト名)からホスト(ホスト名)へ送信できません。

コマンド実行要求送信時に、エラーが発生しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

送信先ホストでリソース不足が発生していないか確認してください。

### KAVB2063-I

Failed to acquire the port number of [サービス名]. The default port number is used. [内部メッセージ].  
[サービス名] のポート番号の取得に失敗しました。デフォルトポートで起動します。[内部メッセージ]

ポート番号を取得できませんでした。

(S)

デフォルトポートで起動します。

(O)

services ファイルに jplimcmda または jplimcmdc のサービス名のポート番号があるか確認してください。

## KAVB2064-E

Error in writing execution results to Command execution log.

コマンド実行履歴ファイルの書き込みに失敗しました

コマンド実行履歴ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

コマンド実行結果がコマンド実行履歴ファイルに保存されません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- システムのリソースが不足していないか確認してください。
- OS は正常に運用されているか確認してください。
- コマンド実行履歴ファイルの出力先のディスク容量が不足していないか確認してください。
- コマンド実行履歴ファイルの出力先のパーミッションが適切であるか確認してください。
- コマンド実行履歴ファイルが壊れているおそれがあります。コマンド実行履歴ファイルの確認方法、および回復方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(9) コマンド実行履歴ファイルが壊れている場合の対処方法」を参照してください。コマンド実行履歴ファイルの状態が正常だった場合、JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2065-W

Failed to load the Environment file(ファイル名).

環境変数ファイル(ファイル名)の読み込みに失敗しました。

環境変数ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを実行しますが、環境変数ファイルの内容は有効になりません。

(O)

ファイル名に、フォルダ名やディレクトリ名を指定していないか、また、ファイルの権限や内容が正しいかを確認してください。

## KAVB2066-I

A process under execution was deleted. command=[コマンド名], pid=[プロセス ID].

実行中のコマンドを削除しました. command=[コマンド名] pid=[プロセス ID].

コマンドの削除が成功しました。

## KAVB2067-I

A process under queuing was deleted. command=コマンド名  
キューイング中のコマンドを削除しました. command=コマンド名.

キューイング状態のコマンドが削除されました。

## KAVB2068-E

The [コマンド名] command could not be executed. (保守情報)  
[コマンド名]コマンドが実行できませんでした。[保守情報]

エラーが発生したため、コマンドを実行できませんでした。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

保守情報は「終了コード：エラー情報」です。この情報を基に次の点について確認してください。

- 終了コードが 10000, 10011~10099 の場合  
コマンド実行先ホストでリソースが不足していないか。
- エラー情報にシグナルが出力されている場合  
コマンド実行先ホストで、出力されているシグナルを発行しているプロセスがないか。

上記に該当しない場合、または解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2069-E

コマンド名 was rejected because forward transmission processing could not be performed. (ホスト名)

転送処理中のホストで処理できないため、コマンド名が拒否されました。(ホスト名)

ホスト名のコマンド実行制御で送信中のコマンドが滞留しており、これ以上のコマンドの送信は動作に支障を及ぼすおそれがあるため、送信中のコマンド名が拒否されました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

ホスト名のホストと実行先ホスト間でネットワーク障害が発生していないか確認してください。

## KAVB2070-W

Acquisition of the command execution results was interrupted because the specified maximum of xx lines was reached.



設定された上限[xx 行]に達したためコマンド実行結果の取得を打ち切りました。

設定された行数までのコマンド実行結果を取得したため、以降のコマンド実行結果の取得を打ち切りました。

(S)

実行結果は取得しませんが、コマンドの処理は実行します。

#### KAVB2071-W

In 実行先ホスト名, the number of queued commands requested from 実行元ホスト名 has exceeded the threshold (xx).

実行先ホスト名で実行元ホスト名から要求されたコマンドの先行入力数が閾値[xx 件]を超えました。

実行先ホスト名で実行元ホスト名からの自動アクション要求が先行入力数のしきい値[xx 件]に達しました。実行元ホスト名からの自動アクションが遅延しているおそれがあります。

(S)

処理を継続します。

(O)

次の内容について確認してください。

- 実行元ホスト名で自動アクションが大量に発生していないか確認してください。発生している場合は、自動アクションの抑止やコマンド同時実行数の拡大を検討してください。
- 実行先ホスト名で終了していないコマンドが残っていないか `jcocmdshow` コマンドで確認してください。コマンドが残っている場合は、`jcocmddel` コマンドなどで終了させてください。

#### KAVB2072-I

In 実行先ホスト名, the number of queued commands requested from 実行元ホスト名 has become 0.

実行先ホスト名で実行元ホスト名から要求されたコマンドの先行入力数が 0 件になりました。

実行先ホスト名で実行元ホスト名から要求された自動アクションの先行入力数が 0 件になりました。

(S)

処理を継続します。

#### KAVB2100-I

[ホスト名:JP1 ユーザー名] Command execution started.

[ホスト名:JP1 ユーザー名] コマンド実行を開始しました。

コマンド実行を開始しました。

## KAVB2101-I

[ホスト名:JP1 ユーザー名] Command execution ended normally.

[ホスト名:JP1 ユーザー名] コマンド実行が終了しました。

コマンド実行が終了しました。

## KAVB2102-E

[ホスト名:JP1 ユーザー名] Command execution ended abnormally.

[ホスト名:JP1 ユーザー名] コマンド実行が異常終了しました。

コマンド実行が異常終了しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

[コマンド実行] 画面に表示されるエラーメッセージを参照して対処してください。

## KAVB2103-E

An attempt to send a command execution operation event failed. (ret = [リターンコード])

コマンド実行操作イベントの送信に失敗しました。(ret = [リターンコード])

コマンド実行操作イベントの送信に失敗しました。

(S)

イベントの送信を中止して、処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- イベントサービスが起動しているか (jevstat コマンドで確認)。
- イベントサーバ設定ファイル (conf) のports パラメーターで AP 用ポートとして指定しているサービス名がservices ファイルに設定されているか。
- イベントサーバ設定ファイル (conf) のports パラメーターで指定しているアドレスと API 設定ファイルのserver パラメーターおよびclient パラメーターで設定しているアドレスが通信できるか。
- IPv6 ホストで ANY バインドの設定で運用している場合、jp1hosts2 に自ホストの IPv6 アドレスが割り当てられているか。

## KAVB2200-E

The [オプション] option is invalid.

[オプション] オプションは不正です

コマンドラインで指定されたオプションが不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

#### KAVB2201-E

The [オプション] option is defined more than once.  
[オプション]オプションが複数回指定されています

指定したオプションが重複しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

オプションの重複をなくして実行してください。

#### KAVB2202-E

The value for the [オプション] option is not specified.  
[オプション]オプションの引数が指定されていません

オプションに値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

#### KAVB2203-E

Specify between 1 and バイト数 bytes for Connected Host | Logical Host | Source Host Name.  
1 からバイト数バイトの値を指定してください。(Connected Host | Logical Host | Source Host Name )

オプションで指定した値の範囲が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メッセージの情報を基に次に示すホスト名の長さを確認してください。

- Connected Host の場合：-s オプションで指定したホスト名
- Logical Host の場合：-h オプションで指定したホスト名
- Source Host Name の場合：-ph オプションで指定したホスト名

#### KAVB2204-E

The number of arguments is invalid.

引数の数が不正です

引数の数値が大き過ぎるか小さ過ぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

#### KAVB2205-E

jcocmdshow was interrupted.

jcocmdshow コマンドが中断されました

コマンド実行中に割り込みが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ユーザーの指示によって中断されました。必要な場合、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB2206-E

Super user privilege is required to execute the command.

コマンドを実行するためには管理者権限が必要です

実行ユーザーに管理者権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

Administrators 権限または root 権限を持つユーザーで実行してください。

#### KAVB2207-E

The specified logical host [ホスト名] does not exist.

論理ホスト[ホスト名]は存在しません。

論理ホストの値が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-h で指定した論理ホスト名を確認してください。

#### KAVB2208-E

The specified connected host [ホスト名] is unknown.

接続先ホスト名[ホスト名]が解決できません

接続ホスト名が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-s で指定した接続先ホスト名を確認してください。

#### KAVB2209-E

An error occurred during retrieval of host information for the specified logical host [ホスト名].

指定された論理ホスト名[ホスト名]が存在しません

論理ホスト名が不正か、存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

論理ホストの共通定義情報設定に問題があります。論理ホストの設定を確認し、必要な場合は、論理ホストの再設定を行ってください。

#### KAVB2210-E

No response has been received from the connected host [ホスト名].

接続先ホスト[ホスト名]からの反応がありません

指定した接続先ホストが応答しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。
- 指定したホストが存在するか。
- 接続先ホストとのネットワーク通信が可能か。

#### KAVB2211-I

No commands exist in the command execution control for the specified request.  
指定された条件のコマンドはみつかりませんでした

コマンド実行制御に指定したコマンドは存在しません。

#### KAVB2212-E

Memory is insufficient at the jcocmdshow command executing host.  
jcocmdshow コマンドを実行したホストでメモリ不足が発生しました

メモリー確保エラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メモリー不足を解消したあとで、再実行してください。

#### KAVB2213-E

The maximum number of connections has been exceeded.  
接続最大数を超過しました。

利用可能な接続数以上の接続が発生しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストで利用可能な最大接続数を超過しました。しばらく待って、再実行してください。

#### KAVB2214-E

Processing at the connected host has been interrupted.  
接続先ホストで処理が割り込みにより中断されました

接続先ホストでアダプタコマンドが割り込みにより停止しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストでコマンドが中断されました。再度コマンドを実行してください。

### KAVB2215-E

Command execution control is not responding at the connected host.

接続先ホストのコマンド実行制御が応答しません

接続先ホストのアダプタコマンドが応答しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

### KAVB2216-E

An error during access to command execution control at the connected host.

接続先ホストでコマンド実行制御へのアクセスに失敗しました

論理ホストのアダプタコマンドが正常に動作していません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの論理ホスト設定に問題があります。接続先論理ホストの再設定を行ってください。

### KAVB2217-E

The connected host environment is invalid.

接続先ホストの環境が不正です

接続先ホストのアダプタコマンドが権限不足のため動作しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が管理者権限で起動しているか確認してください。

## KAVB2218-E

Invalid protocol data was received from command execution control.

接続先ホストでコマンド実行制御から不正なプロトコルを受信しました

接続先ホストのアダプタコマンドが不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

## KAVB2221-E

The contents of the configuration definition are corrupted. "[キー]¥¥JP1BASE" key does not exist.

共通定義キーが不正です。 "[キー]¥¥JP1BASE" キーが存在しません

共通定義キー「JP1BASE」が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

環境が不正です。JP1/Base を再インストールしてください。

## KAVB2222-W

Log directory information from the configuration definition under logical host [ホスト名] could not be retrieved. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト[ホスト名]の共通定義情報からログディレクトリ設定情報を取得できませんでした。ログ出力なしで続きます。

共通定義情報からログディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

## KAVB2223-W

Log settings information from the configuration definition under logical host [ホスト名] could not be retrieved. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト[ホスト名]の共通定義情報からログ設定情報を取得できませんでした。ログ出力なしで続きます。

共通定義情報からログ出力設定の取得に失敗しました。



(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

#### KAVB2224-W

An attempt to initialize the HNTR library has failed. Processing will continue without logging messages.

統合トレースログ機能の初期化に失敗しました。ログ出力なしで続行します

HNTRLib2 の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

#### KAVB2225-E

Invalid protocol data was received from command execution control.

jcocmd\_adaptercmd から不正なプロトコルを受信しました

コマンド実行制御から不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

#### KAVB2227-I

jcocmdshow started.

jcocmdshow コマンドを開始します

jcocmdshow コマンドが開始しました。

#### KAVB2228-I

jcocmdshow terminated. return code: [リターンコード].

jcocmdshow コマンドが終了しました。リターンコード: [リターンコード].

jcocmdshow コマンドが終了しました。

#### KAVB2229-E

Invalid source host name

不正な投入元ホスト名です

-ph オプションで指定した文字に不正な文字が入っています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-ph オプションの引数を確認してください。

## KAVB2230-E

The value for the -state option [引数] is invalid.

-state オプションの引数[引数]は不正です

r または q 以外の文字が -state オプションで使用されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-state オプションの引数を確認してください。

## KAVB2231-E

The maximum number of connections at the connected host has been exceeded. Wait a while, and then retry.

接続最大数を超過しました。しばらく待ってから再度実行してください

同時接続可能な最大数を超過しました。

(O)

接続最大数に達しました。しばらく待ってから再実行してください。

## KAVB2232-E

An error occurred during initialization of communication with the plug-in service at the jcocmdshow command executing host.

jcocmdshow コマンドを実行したホストでプラグインサービスとの通信初期化に失敗しました

プラグインサービス API の初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。

- OS は正常に運用されているか。
- -s オプションで指定したホストとのネットワークに問題が発生していないか。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB2233-E

An error occurred in the plug-in service on the jcocmdshow command executing host.

プラグイン API に不正なパラメーターが渡されたか、予期せぬエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。
- -s オプションで指定したホストとのネットワークに問題が発生していないか。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB2234-E

An error occurred while a request was being processed on the connected host.

接続先ホストで要求処理中にエラーが発生しました

接続先ホストの環境が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base を再設定してください。

### KAVB2235-E

An error occurred while data was being received from command execution control.

コマンド実行制御からのデータ受信時にエラーが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- データ受信エラー

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用可能か確認してください。

#### KAVB2236-E

An error occurred during data transmission to command execution control.

コマンド実行制御へのデータ送信時にエラーが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- データ送信エラー

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。
- 接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用可能か。

#### KAVB2237-E

The connected host version does not support this command.

接続先ホストは本コマンドに対応していません

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- バージョン不正
- 必要なコンポーネント不足

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base のバージョンが 07-10 以降であることを確認してください。

#### KAVB2238-E

The connection with the connected host terminated. Try again.

接続先ホストへの接続が中断されました。再度実行してください

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 接続が切断されました。

- (S)  
コマンドの処理を中断します。
- (O)  
接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用できるか確認してください。

## KAVB2239-E

A network connection with the connected host could not be established.  
接続先ホストへのネットワーク接続を確立できませんでした

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 接続エラー
- プラグインサービスがビジー

- (S)  
コマンドの処理を中断します。

- (O)  
次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- 接続先ホストと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は、資料採取ツールで自ホストおよび接続先ホストの資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章の `jp1ping` コマンドを参照してください。

## KAVB2240-E

The environment is invalid on the `jcocmdshow` command executing host.  
`jcocmdshow` コマンドを実行したホストの環境が不正です。

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 設定ファイルの文法エラー
- 設定ファイルが見つからない
- 論理ホストの共通定義情報が見つからない

- (S)  
コマンドの処理を中断します。

(O)

jcocmdshow コマンドを実行したホストの共通定義情報、またはプラグインサービス設定ファイルの内容が不正です。再度インストールしてください。

#### KAVB2241-E

Invalid protocol data was transmitted through the plug-in service.

プラグインサービスから不正なプロトコルが伝達されました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 不正データ受信

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

#### KAVB2242-E

JP1/Base does not support this command.

JP1/Base が本コマンドに対応していません

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- プラグインが見つからない

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が 07-10 以降であることを確認してください。バージョンに問題がなければ、環境が不正の場合があります。再インストールで回復してください。

#### KAVB2243-E

A timeout occurred during communication with the plug-in service. Try after a while.

プラグインサービスとの通信中にタイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再度実行してください

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- リクエストがタイムアウトした
- プラグインサービスがビジー

- プラグインサービスへの接続に失敗した

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB2244-E

The connection with connected host terminated.  
接続先ホストとの通信が中断されました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- プラグインサービスとの通信が切断された

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

#### KAVB2245-E

A timeout occurred during communication with the plug-in service.  
プラグインサービスとの通信中にタイムアウトが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- リクエストがタイムアウトした

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB2246-E

Failed to open catalog file /opt/jp1base/lib/nls/C/jp1BsCmdShow.cat

カタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

jcocmdshow コマンドは実行されません。

(O)

UNIX の場合、次の内容について確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- /opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ以下にカタログファイルがあるか。
- カタログファイル、および/opt/jp1base/lib/nls へのパスに読み取り権限があるか。

## KAVB2247-W

Unable to get message from the catalog file

カタログファイルからメッセージを取得できませんでした。カタログファイルが破損しているおそれがあります。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

環境変数 LANG を変更してコマンドを再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者へ連絡してください。

## KAVB2248-E

Memory allocation failed due to insufficient memory.

メモリー不足のため領域の確保に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メモリー不足を解消したあとで、再実行してください。

## KAVB2249-E

catopen() API failed. Error number: エラーコード

カタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

jcocmdshow コマンドは実行されません。

(O)

UNIX の場合、次の内容について確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- /opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ以下にカタログファイルがあるか。



- カタログファイル, および/opt/jp1base/lib/nls へのパスに読み取り権限があるか。

### KAVB2250-W

An attempt to initialize an individual trace log has failed. Processing will continue without logging messages.

個別トレースログの初期化に失敗しました。ログメッセージなしで処理を継続します

ログ出力処理の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力なしで処理を継続します。

### KAVB2251-W

An attempt to initialize an integrated trace log has failed. Processing will continue without logging messages.

統合トレースログの初期化に失敗しました。ログメッセージなしで処理を継続します

ログ出力処理の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力なしで処理を継続します。

### KAVB2252-E

The specified host to be connected is not subject to configuration management.

指定された接続先ホストは構成管理対象ではありません

接続先ホストが管理対象外のため、接続できませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-s オプションで指定した接続先ホスト名を確認してください。

### KAVB2253-E

A reply was not returned during communication processing at the host where the jco cmdshow command was executed.

jco cmdshow コマンドを実行したホストの通信処理時に応答が返りませんでした

通信処理中に接続先ホストとの通信に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドを実行したホストで、`jbs_spmd_status` コマンドを実行してすべてのサービスが起動しているか確認したあと、再実行してください。

#### KAVB2276-E

The [オプション] option is invalid.

[オプション] オプションは不正です

コマンドラインで指定されたオプションが不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

#### KAVB2277-E

The [オプション] option is defined more than once.

[オプション] オプションが複数回指定されています

指定したオプションが重複しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

オプションの重複をなくして実行してください。

#### KAVB2278-E

The value for the [オプション] option is not specified.

[オプション] オプションの引数が指定されていません

オプションに値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

## KAVB2279-E

Specify between 1 and [バイト数] bytes for Connected Host.

1 から [バイト数] バイトの値を指定してください。(Connected Host)

オプションで指定した値の範囲が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい値で実行してください。

## KAVB2280-E

The number of arguments is invalid.

引数の数が不正です

引数の数値が大き過ぎるか小さ過ぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい文法で実行してください。

## KAVB2281-E

jcocmddel was interrupted.

jcocmddel コマンドが中断されました

コマンド実行中に割り込みが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ユーザーの指示によって中断されました。必要な場合は、再実行してください。

## KAVB2282-E

Superuser privilege is required to execute the command.

コマンドを実行するためには管理者権限が必要です

実行ユーザーに管理者権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

Administrators 権限または root 権限を持つユーザーで実行してください。

### KAVB2283-E

The specified logical host **ホスト名** does not exist.

論理ホスト**ホスト名**は存在しません。

論理ホストの値が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-h で指定した論理ホスト名を確認してください。

### KAVB2284-E

The specified connected host [**ホスト名**] is unknown.

接続先ホスト名 [**ホスト名**] が解決できません

接続ホスト名が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-s で指定した接続先ホスト名を確認してください。

### KAVB2285-E

The specified logical host [**ホスト名**] does not exist.

指定された論理ホスト名**[ホスト名]**が存在しません

論理ホスト名が不正か、存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

論理ホストの共通定義情報設定に問題があります。論理ホストの設定を確認し、必要な場合は、論理ホストの再設定を行ってください。

## KAVB2286-E

No response has been received from the connected host [ホスト名].  
接続先ホスト [ホスト名] からの反応がありません

指定した接続したホストが応答しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。
- 指定したホストが存在するか。
- 接続先ホストとのネットワーク通信ができるか。

## KAVB2287-I

No command exists in command execution control.  
指定された条件のコマンドはみつかりませんでした

コマンド実行制御に指定したコマンドは存在しません。

## KAVB2288-E

Memory is insufficient on the jcomddel command executing host.  
jcomddel コマンドを実行したホストでメモリ不足が発生しました

メモリー確保エラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メモリー不足を解消したあとで、再実行してください。

## KAVB2289-E

<CommandID (S) >/ALL option is required.  
<コマンド ID>もしくは ALL オプションが指定されていません

コマンド ID または ALL オプションが指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

削除したいコマンド ID または ALL オプション（すべて削除したい場合）を指定してください。

#### KAVB2290-E

Command ID (S) cannot be specified with the ALL option.  
<コマンド ID>と ALL オプションが同時に指定されています

コマンド ID と ALL オプションが同時に指定されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

削除したいコマンド ID または ALL オプション（すべて削除したい場合）を指定してください。

#### KAVB2291-Q

Do you want to delete the specified command ID (S) [Y/y or N/n] ->  
このコマンド ID を削除してよろしいですか[Y/y or N/n] ->

コマンドを削除するかの確認です。

(S)

コマンドの処理は、ユーザーの応答待ちで停止します。

(O)

処理を続行するときは、Y または y を入力してください。処理を中断するときは、N または n を入力してください。

#### KAVB2292-I

The user cancelled the deletion of command (S) .  
削除コマンドを中断しました

jcocmdel コマンドが中断されました。

#### KAVB2293-I

The command (S) were deleted successfully from command execution control.  
コマンド実行制御内のコマンド削除に成功しました。

指定したコマンド ID の削除に成功しました。

## KAVB2294-W

The command ID (S) [コマンド ID] do not exist in command execution control.  
コマンド ID [コマンド ID] はコマンド実行制御内に存在しません

指定したコマンド ID は存在しません。

(S)

指定したコマンド ID は見つかりませんでした。

## KAVB2295-E

Invalid command ID. Specify a command ID between 0 and 4294967295.  
不正なコマンド ID です。コマンド ID は 0 から 4294967295 の間で指定してください

不正なコマンド ID が指定されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

適切な範囲のコマンド ID を指定してください。

## KAVB2296-E

The maximum number of connections on the connected host has been exceeded.  
接続最大数を超過しました。

接続先ホストで利用できる最大接続数を超過しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待って再実行してください。

## KAVB2297-E

Processing on the connected host was interrupted.  
接続先ホストで処理が割り込みにより中断されました

接続先ホストでアダプタコマンドが割り込みにより停止しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストでコマンドが中断されました。再度コマンドを実行してください。

#### KAVB2298-E

Command execution control is not responding on the connected host.

接続先ホストのコマンド実行制御が応答しません

接続先ホストのアダプタコマンドが応答しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

#### KAVB2299-E

An error occurred during access to command execution control on the connected host.

接続先ホストでコマンド実行制御へのアクセスに失敗しました

論理ホストのアダプタコマンドが正常に動作していません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの論理ホスト設定に問題があります。接続先論理ホストの再設定を行ってください。

#### KAVB2300-E

The connected host environment is invalid.

接続先ホストの環境が不正です

接続先ホストのアダプタコマンドが権限不足のため動作しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が管理者権限で起動しているか確認してください。

#### KAVB2301-E

Invalid protocol data was received in command execution control.

接続先ホストでコマンド実行制御から不正なプロトコルを受信しました



接続先ホストのアダプタコマンドが不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

#### KAVB2304-E

The contents of the configuration definition are corrupted. The "[キー]¥¥JP1BASE" key does not exist.

共通定義キーが不正です。 "[キー]¥¥JP1BASE" キーが存在しません

共通定義キー「JP1BASE」が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

環境が不正です。JP1/Base を再インストールしてください。

#### KAVB2305-W

Log directory information from the configuration definition under the logical host [ホスト名] could not be retrieved. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト[ホスト名]の共通定義情報からログディレクトリ設定情報を取得できませんでした。ログ出力なしで継続します。

共通定義情報からログディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

#### KAVB2306-W

Log settings information from configuration definition under logical host [ホスト名] could not be retrieved. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト[ホスト名]の共通定義情報からログ設定情報を取得できませんでした。ログ出力なしで継続します。

共通定義情報からログ出力設定の取得に失敗しました。

(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

## KAVB2307-W

An attempt to initialize the hntr library has failed. Processing will continue without logging messages.

統合トレースログ機能の初期化に失敗しました。ログ出力なしで継続します

HNTRLib2 の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力なしでコマンドを続行します。

## KAVB2308-E

Invalid protocol data was received from command execution control.

jcocmd\_adaptercmd から不正なプロトコルを受信しました

コマンド実行制御から不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

## KAVB2310-I

jcocmddel started.

jcocmddel コマンドを開始します

jcocmddel コマンドが開始しました。

## KAVB2311-I

jcocmddel terminated. return code: [リターンコード].

jcocmddel コマンドが終了しました。リターンコード: [リターンコード].

jcocmddel コマンドが終了しました。

## KAVB2312-W

ID (S) [コマンド ID] is (are) specified more than once. Processing will continue with unique ID (S) .

コマンド ID [コマンド ID] が複数回指定されています。一度だけ実行します

コマンド ID が重複して指定されています。

## KAVB2313-E

The maximum number of connections at the connected host has been exceeded. Try after a while.

接続最大数を超過しました。しばらく待ってから再度実行してください

同時接続可能な最大数を超過しました。

(S)

接続を打ち切られたため、処理を中断します。

(O)

接続最大数に達しました。しばらく待ってから再実行してください。

## KAVB2314-E

An invalid command ID was specified.

不正なコマンド ID が指定されました

不正なコマンド ID が指定されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンド ID の値は、0~4,294,967,295 の数値を指定してください。

## KAVB2316-E

An error occurred during initialization of communication with the plug-in service on the jcocmddel command executing host.

jcocmddel コマンドを実行したホストでプラグインサービスとの通信初期化に失敗しました

プラグインサービス API の初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。
- -s オプションで指定したホストとのネットワークに問題が発生していないか。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2317-E

An error occurred in the plug-in service on the jcocmddel command executing host.  
jcocmddel コマンドを実行したホストのプラグインサービスでエラーが発生しました

プラグイン API に不正なパラメーターが渡されたか、予期しないエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。
- -s オプションで指定したホストとのネットワークに問題が発生していないか。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2318-E

An error occurred during request processing on the connected host.  
接続先ホストで要求処理中にエラーが発生しました

接続先ホストの環境が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base を再設定してください。

## KAVB2319-E

An error occurred during data reception from command execution control.  
コマンド実行制御からのデータ受信時にエラーが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- データ受信エラー

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用可能か確認してください。

## KAVB2320-E

An error occurred during data transmission to command execution control.

コマンド実行制御へのデータ送信時にエラーが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- データ送信エラー

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。
- 接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用可能か。

## KAVB2321-E

The connected host version does not support this command.

接続先ホストは本コマンドに対応していません

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- バージョン不正
- 必要なコンポーネント不足

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base のバージョンが 07-10 以降であることを確認してください。

## KAVB2322-E

Connection with the connected host terminated. Try again.

接続先ホストへの接続が中断されました。再度実行してください

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 接続が切断された

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストとの間のネットワーク状態および設定が、正常に利用可能か確認してください。

## KAVB2323-E

A network connection with the connected host could not be established.

接続先ホストへのネットワーク接続を確立できませんでした

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 接続エラー
- プラグインサービスがビジー

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- 接続先ホストと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は、資料採取ツールで自ホストおよび接続先ホストの資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章の `jp1ping` コマンドを参照してください。

## KAVB2324-E

The environment is invalid on the `jcocmddel` command executing host.

コマンドを実行したホストの環境が不正です。

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 設定ファイルの文法エラー
- 設定ファイルが見つからない
- 論理ホストの共通定義情報が見つからない

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

`jcocmdshow` コマンドを実行したホストの共通定義情報、またはプラグインサービス設定ファイルの内容が不正です。再度インストールしてください。

## KAVB2325-E

Invalid protocol data was transmitted through the plug-in service.

プラグインサービスから不正なプロトコルが伝達されました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- 不正データ受信

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

通信中に不正なデータが混入しました。再実行してください。

## KAVB2326-E

JP1/Base does not support this command.

JP1/Base が本コマンドに対応していません

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- プラグインが見つからない

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が 07-10 以降であることを確認してください。バージョンに問題がなければ、環境が不正の場合があります。再インストールによって回復してください。

## KAVB2327-E

A timeout occurred during communication with the plug-in service. Try after a while.

プラグインサービスとの通信中にタイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再度実行してください

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- リクエストがタイムアウトした
- プラグインサービスがビジー
- プラグインサービスへの接続に失敗した

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB2328-E

The connection with the connected host terminated.

接続先ホストとの通信が中断されました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- プラグインサービスとの通信が切断された

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

接続先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

#### KAVB2329-E

A timeout occurred during communication with the plug-in service.

プラグインサービスとの通信中にタイムアウトが発生しました

プラグイン API で次のエラーが発生しました。

- リクエストがタイムアウトした

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB2330-E

Failed to open catalog file /opt/jp1base/lib/nls/C/jp1BsCmdDel.cat

カタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

jcocmdel コマンドは実行されません。

(O)

UNIX の場合、/opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ以下にカタログファイルがあるか、確認してください。



## KAVB2331-W

A message could not be acquired from the catalog file.

カタログファイルからメッセージを取得できませんでした。カタログファイルが破損しているおそれがあります。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

環境変数 LANG を変更してコマンドを再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者へ連絡してください。

## KAVB2332-E

Memory allocation failed due to insufficient memory.

メモリー不足のため領域の確保に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メモリー不足を解消したあとで、再実行してください。

## KAVB2333-E

catopen() API failed. Error number: エラーコード

カタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

jcocmdde1 コマンドは実行されません。

(O)

UNIX の場合、/opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ以下にカタログファイルがあるか、確認してください。

## KAVB2334-W

An attempt to initialize an individual trace log has failed. Processing will continue without logging messages.

個別トレースログの初期化に失敗しました。ログメッセージなしで処理を継続します

ログ出力処理の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力をしないで処理を継続します。

#### KAVB2335-W

An attempt to initialize an integrated trace log has failed. Processing will continue without logging messages.

統合トレースログの初期化に失敗しました。ログメッセージなしで処理を継続します

ログ出力処理の初期化に失敗しました。

(S)

ログ出力をしないで処理を継続します。

#### KAVB2336-E

The specified host to be connected is not subject to configuration management.

指定された接続先ホストは構成管理対象ではありません

接続先ホストが管理対象外のため、接続できませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-s オプションで指定した接続先ホスト名を確認してください。

#### KAVB2337-E

A reply was not returned during communication processing at the host where the jcocmddel command was executed.

jcocmddel コマンドを実行したホストの通信処理時に応答が返りませんでした

通信処理中に接続先ホストとの通信に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドを実行したホストで、jbs\_spmd\_status コマンドを実行してすべてのサービスが起動しているか確認したあと、再実行してください。

#### KAVB2339-E

An attempt to delete the commands has failed. Try again.

コマンド削除処理に失敗しました。再度実行してください

コマンド削除処理中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB2356-E

The value for the logical 論理ホスト名 is invalid.

論理ホストの値が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-h オプションで指定した論理ホスト名を確認してください。

#### KAVB2401-I

The logs of commands executed are not displayed for a setup which do not save them.

コマンド実行履歴は設定により保存されていないため表示しません

コマンド実行履歴は、設定により保存されていません。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

コマンド実行履歴を保存したい場合は、JP1/IM - Manager が存在するホスト上で次のコマンドを実行してください。

```
jcocmddef -actresult ON
```

#### KAVB2402-W

[ホスト名]The execution time of command execution exceeded the regulation value (数値 sec)

[ホスト名] コマンド実行の実行時間が数値秒を超えました

実行中のコマンドの実行時間が規定値を超えました。

(S)

コマンドの実行を継続します。

(O)

実行中のコマンドが何らかの理由で処理に長時間が掛かっています。jcccmdshow コマンドを使用してコマンドの内容を確認し、jccmddel コマンドを使用して実行中のコマンドを削除してください。

## KAVB2500-E

An attempt to open a catalog file has failed. A default message is used.

カタログファイルのオープンに失敗しました。デフォルトメッセージを使用します

メッセージリソースの読み込み処理に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再インストールしてください。

## KAVB2501-E

A value is invalid. (option = オプション名 値)

値が不正です。オプション:オプション名 値

表示されたオプションと値が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

正しいオプションおよび値を指定してください。

## KAVB2502-E

A value is invalid. The option [-host: logical host name (ホスト名)] is too long.

値が不正です。オプション:-host: 論理ホスト名(ホスト名)が長すぎます

論理ホスト名が長過ぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホスト名は 255 文字以下で指定してください。

## KAVB2503-E

The logical host ホスト名 does not exist on this host.

論理ホスト(ホスト名)はこのホストには存在しません

指定された論理ホストは存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

存在する論理ホスト名を指定してください。

#### KAVB2504-E

The host group file **ファイル名** cannot be opened.

ホストグループファイル(**ファイル名**)がオープンできません。

指定したホストグループファイルが見つかりません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストグループファイルが存在するか確認してください。

#### KAVB2505-E

The host group name is not defined.

ホストグループ名が定義されていません

ホストグループファイル内でホストグループ名が定義されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストグループファイル中のホストグループ名が正しく指定されているか確認してください。

#### KAVB2506-E

The format is invalid. (line = **行番号**)

フォーマットが不正です。 line:**行番号**

ホストグループファイルのフォーマットが不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストグループファイルの文法に誤りがあります。次の点を確認してください。

- ホストグループの定義で「{」および「}」が正しく記述されているか
- ホストグループの定義で「{」を記載する前にホストグループ名を複数記載していないか

ホストグループファイルの文法の誤りを修正してから、再実行してください。

#### KAVB2507-E

The group name **グループ名** is too long.

グループ名(**グループ名**)が長すぎます

ホストグループファイルで指定したグループ名が長過ぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

グループ名は 32 文字以下で指定してください。

#### KAVB2508-E

Access permission is lacking.

アクセス権限がありません

共通定義アクセス時に権限エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境が不正です。JP1/Base を再インストールしてください。

#### KAVB2509-E

The host name **ホスト名** is too long.

ホスト名(**ホスト名**)は長すぎます

ホスト名が長過ぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名は 255 文字以下で指定してください。

## KAVB2510-E

The value is invalid. The option [-group: group file name (ファイル名)] is too long.  
値が不正です。オプション: -group: グループファイル名(ファイル名)が長すぎます

ホストグループファイル名が長過ぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

グループファイル名は最大 1,023 文字です。ファイル名を変更して再実行してください。

## KAVB2511-E

An error occurred at the API of the common definition. (Access permission was lacking.)  
共通定義 API でエラーが発生しました (アクセス権がありません)

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2512-E

An error occurred at the API of the common definitions. (No entry was found.)  
共通定義 API でエラーが発生しました (エントリが見つかりません)

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2513-E

An error occurred at the API of the common definitions. (An invalid parameter was used.)  
共通定義 API でエラーが発生しました（不正パラメータが使用されました）

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2514-E

An error occurred at the API of the common definitions. (An internal error occurred.)  
共通定義 API でエラーが発生しました（内部エラーが発生しました）

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2515-E

An error occurred at the API of the common definitions. (An initialization error occurred.)  
共通定義 API でエラーが発生しました（初期化エラーが発生しました）

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。



- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2516-E

An error occurred at the API of the common definitions. (A logic conflict occurred.)

共通定義 API でエラーが発生しました (論理矛盾が発生しました)

共通定義アクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されているか。
- OS は正常に運用されているか。

解決しない場合は、資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2517-E

Super user privilege is required to execute the command.

コマンドを実行するためには管理者権限が必要です

コマンドを実行するユーザーに権限が不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

Administrators 権限または root 権限を持つユーザーで実行してください。

## KAVB2518-E

The specified directory path (ディレクトリ名) is too long.

指定されたディレクトリパスが長すぎます(ディレクトリ名)

指定したディレクトリパスが長過ぎます。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

コマンド実行履歴ファイルの保存先ディレクトリのパスを短くしてください。

#### KAVB2519-E

The specified host name (ホスト名) is too long.  
指定されたホスト名が長すぎます(ホスト名)

指定したホスト名が長過ぎます。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

指定した論理ホスト名が正しいか確認してください。

#### KAVB2520-E

The specified logical host (ホスト名) does not exist.  
指定された論理ホストがありません(ホスト名)

指定した論理ホストが設定されていません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

指定した論理ホスト名が正しいか確認してください。

#### KAVB2521-E

The specified directory (ディレクトリ名) does not exist.  
指定されたディレクトリがありません(ディレクトリ名)

指定したディレクトリが見つかりません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

コマンド実行履歴ファイルの保存先ディレクトリ名を確認してください。

#### KAVB2522-W

The command-execution log file for the executed command does not exist.  
コマンド実行のコマンド実行履歴ファイルがありません

[コマンド実行] 画面から実行されたコマンドの履歴がありません。

(S)

[コマンド実行] 画面から実行されたコマンドの履歴は出力されません。

(O)

[コマンド実行] 画面からのコマンド実行後、再実行してください。

## KAVB2523-E

The command-execution log file for the executed command cannot be opened.  
コマンド実行のコマンド実行履歴ファイルがオープンできません

[コマンド実行] 画面から実行されたコマンドの履歴ファイルがオープンできません。

(S)

[コマンド実行] 画面から実行されたコマンドの履歴は出力されません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- コマンド実行履歴ファイルの保存先のパーミッションが適切かどうか確認してください。
- コマンド実行履歴ファイルが壊れているおそれがあります。コマンド実行履歴ファイルの状態の確認方法、および回復方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(9) コマンド実行履歴ファイルが壊れている場合の対処方法」を参照してください。

コマンド実行履歴ファイルの状態が正常だった場合、JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2524-W

The command-execution log file for the automatic action does not exist.  
自動アクションのコマンド実行履歴ファイルがありません

自動アクションで実行されたコマンドの履歴がありません。

(S)

自動アクションで実行されたコマンドの履歴は出力されません。

(O)

自動アクションの実行後、再実行してください。

## KAVB2525-E

The command-execution log file for the automatic action cannot be opened.

自動アクションのコマンド実行履歴ファイルがオープンできません

自動アクションのコマンド実行履歴ファイルがオープンできません。

(S)

自動アクションで実行されたコマンドの履歴は出力されません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- コマンド実行履歴ファイルの保存先のパーミッションが適切かどうか確認してください。
- コマンド実行履歴ファイルが壊れているおそれがあります。コマンド実行履歴ファイルの状態の確認方法、および回復方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(9) コマンド実行履歴ファイルが壊れている場合の対処方法」を参照してください。

コマンド実行履歴ファイルの状態が正常だった場合、JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2526-W

Reading of the command-execution log file was interrupted.

コマンド実行履歴ファイルの読込が中断されました

ほかの処理によって、コマンド実行履歴ファイルに排他が行われたため、読み込み処理を中断しました。

(S)

コマンド実行履歴の出力を中断します。

(O)

次の処理が実行されていないかを確認し、`jcocmdlog` コマンドを再実行してください。

- 自動アクションの実行
- [コマンド実行] 画面からのコマンド実行
- ほかの `jcocmdlog` コマンドの実行

## KAVB2527-E

An attempt to read the command-execution log file has failed.

コマンド実行履歴ファイルの読込に失敗しました

コマンド実行履歴ファイルの読み込み中にエラーが発生したため、処理を中止しました。

(S)

コマンド実行履歴の出力を中止します。

(O)

コマンド実行履歴ファイルが壊れているおそれがあります。コマンド実行履歴ファイルの状態の確認方法、および回復方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(9) コマンド実行履歴ファイルが壊れている場合の対処方法」を参照してください。コマンド実行履歴ファイルの状態が正常だった場合、JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2528-E

The date is invalid.(日時)  
日時の指定が不正です (日時)

指定された日時に誤りがあります。次の点を確認してください。

- 日付誤り：カレンダーにない日を指定している。
- 時刻誤り：時・分・秒に不適切な値を指定している  
(時：00～23 分：00～59 秒：00～59)。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

日時の形式(YYYYMMDDhhmmss)に適切な値を指定して、再実行してください。

## KAVB2529-E

The range specified for the date is invalid.  
日時の範囲指定が不正です

開始日時に終了日時よりもあとの日時が指定されています。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

開始日時に終了日時よりも前の日時を指定して、再実行してください。

## KAVB2530-I

The jcocmdconv command started.  
jcocmdconv コマンドを起動しました。

jcocmdconv コマンドの処理を開始しました。

(S)

コマンドを実行します。

#### KAVB2531-I

jcocmdconv コマンドは終了しました。[リターンコード]

The jcocmdconv command terminated. (return code = リターンコード)

jcocmdconv コマンドが終了しました。

(S)

コマンド処理が完了しました。

#### KAVB2532-I

The user cancelled the conversion of the command-execution log file.

コマンド実行履歴ファイルの変換をキャンセルしました。

jcocmdconv コマンドの処理がユーザーによって停止されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

#### KAVB2534-E

The specified option オプション名 is invalid.

不正なオプション[オプション名]が指定されました。

コマンドラインで指定したオプションが不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいオプションを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2535-E

The number of arguments is invalid.

引数の数が不正です。

オプションの引数が正しくありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいオプションを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2536-E

The option オプション名 is specified more than once.  
[オプション名]オプションが複数指定されています。

一度しか指定できないオプションが複数指定されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいオプションを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2537-E

The value for the option オプション名 is not specified.  
[オプション名]オプションの値が不正です。

指定されたオプションの値が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいオプションを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2538-E

The directory does not exist. (directory-path = ディレクトリ名)  
[ディレクトリ名]ディレクトリは存在しません。

指定された実行元、または実行先ディレクトリは存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいディレクトリパスを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2539-E

The specified directory is too long. (directory-path = ディレクトリ名)  
指定されたディレクトリパスは長すぎます。[ディレクトリ名]

指定されたディレクトリは長過ぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいディレクトリパスを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB2540-E

The specified logical host does not exist. (logical-host-name = 論理ホスト名)

指定した論理ホスト [論理ホスト名] は存在しません。

論理ホスト名が不正か、存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

論理ホストの共通定義情報の設定に問題があります。論理ホストの設定を確認し、必要な場合は、論理ホストの再設定をしてください。

#### KAVB2541-E

The specified logical host name is too long. (logical-host-name = 論理ホスト名)

指定された論理ホスト名 [論理ホスト名] は長過ぎます。

指定された論理ホスト名が長過ぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-h オプションで指定した論理ホスト名を確認してください。

#### KAVB2542-E

Superuser permissions are required to execute the command.

コマンドを実行するにはスーパーユーザ権限が必要です。

実行ユーザーに管理者権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

Administrators 権限または root 権限を持つユーザーで実行してください。



## KAVB2543-E

Command execution will now stop because memory is insufficient.  
メモリ不足のためコマンドの実行を中断します。

メモリーを確保する際にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

メモリーを使用しているほかのプログラムを停止し、コマンドを再実行してください。

## KAVB2544-E

Command execution will now stop because disk space is insufficient.  
ディスク容量が不足しているためコマンドの実行を中断します。

実行先ディレクトリパスでディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスク容量を空け、コマンドを再実行してください。

## KAVB2545-E

The user does not have access permission for the file **ファイル名**.  
ファイル[ファイル名]のアクセス権がありません。

コマンド実行履歴ファイルへのアクセス権限がないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンド実行履歴ファイルへのアクセス権限があるか確認してください。

## KAVB2546-E

The jcocmdconv command was interrupted.  
jcocmdconv コマンドが中断されました。

コマンドの処理が中断されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドを再実行してください。

#### KAVB2547-E

Another jcocmdconv command is already running.

他の jcocmdconv コマンドが実行中です。

jcocmdconv コマンドの処理は、ほかの jcocmdconv コマンドが同じ論理ホストで実行されているため、停止しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

jcocmdconv コマンドがすでに起動していないか確認してください。

#### KAVB2548-I

The specified file **ファイル名** contains no data to be converted.

指定されたファイル[**ファイル名**]には変換対象のデータが存在しません。

指定された実行履歴ファイルに有効なレコードがありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

#### KAVB2549-E

The source file **ファイル名** could not be deleted.

旧形式のファイル[**ファイル名**]を削除できませんでした。

指定された旧形式のコマンド実行履歴ファイルは変換後に削除できませんでした。

(S)

実行先ファイルを削除しないでコマンドの処理が完了しました。

(O)

旧形式のコマンド実行履歴ファイルへのアクセス権限があるか確認してください。

## KAVB2550-E

A file with the name of the command-execution log file after conversion (ファイル名) already exists.

変換後のコマンド実行履歴ファイル[ファイル名]は既に存在します。

指定されたパスに変換後のコマンド実行履歴ファイルが存在したため、コマンドを実行できませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したパスのコマンド実行履歴ファイルを削除するか、異なるパスを指定してコマンドを再実行してください。

## KAVB2551-W

The command-execution log file for the executed command does not exist.

コマンド実行のコマンド実行履歴ファイルがありません。

旧形式の [コマンド実行] 画面から実行されたコマンドの履歴が存在しないため、変換をしません。

(S)

[コマンド実行] 画面から実行されたコマンド実行履歴ファイルの変換はしません。

## KAVB2552-W

The command-execution log file for the automatic action does not exist.

自動アクションのコマンド実行履歴ファイルがありません。

自動アクションのコマンド履歴ファイルが存在しないため、変換をしません。

(S)

自動アクションのコマンド実行履歴ファイルの変換はしません。

## KAVB2553-Q

Do you want to convert the command-execution log file? [Y/y or N/n] ->

コマンド実行履歴ファイルを変換しますか? [Y/y または N/n] ->

コマンド実行履歴ファイルを処理するための確認メッセージです。

(S)

コマンドの処理は、ユーザーの応答待ちで停止します。

- (O)  
コマンドの処理を続行するにはY/y を指定してください。コマンド処理を停止するためにはN/n を指定してください。

#### KAVB2554-Q

Do you want to delete the old-format command-execution log file **ファイル名**? [Y/y or N/n] ->  
旧形式のコマンド実行履歴ファイル[**ファイル名**]を削除しますか? [Y/y or N/n] ->

コマンド実行履歴ファイルを削除するための確認メッセージです。

- (S)  
コマンドの処理は、ユーザーの応答待ちで停止します。

- (O)  
旧形式のコマンド実行履歴ファイルを削除して処理を続行するためには、Y/y を指定してください。旧形式のコマンド実行履歴ファイルを削除しないで、処理を継続するためにはN/n を指定してください。

#### KAVB2555-W

An attempt to initialize the HNTR library has failed. Processing will continue without logging messages.

統合トレースライブラリの初期化に失敗しました。メッセージのログ出力なしで処理を継続します。

HNTRLib2 の初期化に失敗しました。

- (S)  
ログを出力しないでコマンドを続行します。

#### KAVB2556-W

An attempt to initialize an individual trace log has failed. Processing will continue without logging messages.

個別トレースログの初期化に失敗しました。メッセージのログ出力なしで処理を継続します。

個別トレースログの初期化に失敗しました。

- (S)  
ログを出力しないでコマンドを続行します。

#### KAVB2557-W

An attempt to initialize integrated and individual trace logs has failed. Processing will continue without logging messages.

統合および個別トレースログの初期化に失敗しました。メッセージのログ出力なしで処理を継続します。

HNTRLib2 と個別トレースログの初期化に失敗しました。

(S)

ログを出力しないでコマンドを続行します。

#### KAVB2559-E

The contents of the common configuration definition are corrupted. The 論理ホスト名¥JP1BASE key does not exist.

共通定義情報が壊れています。[論理ホスト名¥JP1BASE]キーがありません。

共通定義キー「JP1BASE」がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

環境が不正です。JP1/Base を再インストールしてください。

#### KAVB2560-W

Log directory information could not be obtained from the common configuration definition of the logical host 論理ホスト名. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト [論理ホスト名] の共通定義情報からログディレクトリ情報を取得できません。処理はメッセージをログ出力しないで続きます。

共通定義情報からログディレクトリの情報を取得するのに失敗しました。

(S)

ログを出力しないでコマンドの処理を実行します。

#### KAVB2561-W

Log settings information could not be obtained from the common configuration definition of the logical host 論理ホスト名. Processing will continue without logging messages.

論理ホスト [論理ホスト名] の共通定義情報からログ設定情報を取得できません。処理はメッセージをログ出力しないで続きます。

共通定義情報からログディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

ログを出力しないでコマンドの処理を実行します。

#### KAVB2563-E

An attempt to get user input has failed.

入力を受信に失敗しました。

標準出力からユーザー確認の取得に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドを再実行してください。再実行しても解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

### KAVB2564-E

An attempt to initialize the common definition information has failed.

共通定義情報の初期化に失敗しました。

共通定義情報の初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

製品が正しくインストールされているか確認してください。解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

### KAVB2565-E

An error occurred during command processing.

コマンドの処理中にエラーが発生しました。

処理中に次のどれかのエラーが発生しました。

- 共通定義を読み込めない。
- 実行元ファイルのオープンまたは読み込みができない。
- 処理中に使用した lck ファイルの作成または削除に失敗した。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

Jischk コマンドでコマンド実行履歴ファイルが破損していないか確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

### KAVB2566-E

Execute the command from the administrator console.

管理者コンソールよりコマンドを実行してください

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

## KAVB2567-E

Root privileges or JP1/Base administrator privileges are required to execute the command.

root 権限または JP1/Base 管理者権限で実行してください。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

root 権限または JP1/Base 管理者権限があるユーザーでコマンドを再実行してください。

## KAVB2600-I

New [プロセス名] Process with PID:[プロセス ID] is created.

新規[プロセス名]プロセスを作成しました。PID:[プロセス ID].

プロセス名プロセスを作成しました。

## KAVB2605-E

The request to execute the command was rejected because the number of connected hosts to be managed has reached the maximum. (host = ホスト名)

管理するホスト接続数が上限値に達したため、コマンド実行要求を拒否しました。ホスト:[ホスト名]

管理しているホスト間の接続が、製品の安全処理数として設定している上限を超えました。

(S)

コマンド実行要求は拒否されます。

(O)

次の「1 台の JP1/IM が管理できるホストの数」の制限値を基に構成を見直してください。

マネージャーホスト上の JP1/Base のイベントサーバ設定ファイル (conf) の通信タイプに「close」を指定した場合：2,500 台

マネージャーホスト上の JP1/Base のイベントサーバ設定ファイル (conf) の通信タイプに「close」以外を指定した場合：100 台 (UNIX の場合)、62 台 (Windows の場合)

ただし、これらの台数は最大構成です。システム構成およびネットワークトラフィックによって、管理できるホストの数が制限されます。

## KAVB2606-E

The automatic-action request コマンド名 was rejected because the maximum number of processing requests was exceeded. (host = ホスト名, process = プロセス名, pid = プロセス ID)  
処理可能な上限を超えたため、自動アクション要求（[コマンド名]）を拒否しました。実行要求元ホスト:[ホスト名] プロセス:[プロセス名] pid=[プロセス ID]

プロセスが処理しているコマンド数が、製品の安全処理数として設定している上限を超えました。自動アクション要求は、システムによって設定されている制限値を下回る数になるまで処理されません。

(S)

自動アクション要求は破棄されます。

(O)

- jcocmdshow コマンドとjcocmddel コマンドを使用して現在実行中のコマンドを確認し、重要でないコマンドを削除してください。
- 実行先ホストへのネットワーク接続が機能しているか確認してください。

## KAVB2607-E

The command-execution request コマンド名 was rejected because the maximum number of processing requests was exceeded. (host = ホスト名, process = プロセス名, pid = プロセス ID)  
処理可能な上限を超えたため、コマンド実行要求（[コマンド名]）を拒否しました。実行要求元ホスト:[ホスト名] プロセス:[プロセス名] pid= [プロセス ID]

プロセスが処理しているコマンド数が、製品の安全処理数として設定している上限を超えました。コマンド実行要求は、システムによって設定されている制限値を下回る数になるまで処理されません。

(S)

コマンド実行要求は破棄されます。

(O)

- jcocmdshow コマンドとjcocmddel コマンドを使用して現在実行中のコマンドを確認し、重要でないコマンドを削除してください。
- 実行先ホストへのネットワーク接続が機能しているか確認してください。

## KAVB2608-E

The process プロセス名 with the pid プロセス ID terminated abnormally. (return code = リターンコード)  
[プロセス名]プロセス, pid [プロセス ID]が異常終了しました。リターンコード:[リターンコード]



システムでエラーが発生したため、プロセスが異常終了しました。

(S)

プロセス名が次の場合、コマンド実行制御を異常終了します。

- jcocmdrouter
- jcocmdexe
- jcocmdcom

プロセス名が次の場合、各クライアントの以降のコマンド処理を停止します。

- jcocmdapi

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- JP1/Base が正常にインストールされているか。
- OS が正常に動いているか。

#### KAVB2609-I

The process プロセス名 with the pid プロセス ID has started.  
[プロセス名]プロセス, pid [プロセス ID]が開始しました。

プロセス名プロセスを開始しました。

#### KAVB2610-I

The process プロセス名 with the pid プロセス ID finished normally.  
[プロセス名]プロセス, pid[プロセス ID]が正常終了しました。

プロセス名プロセスが正常終了しました。

#### KAVB2611-E

An attempt to create the process プロセス名 has failed.  
[プロセス名]プロセスの作成に失敗しました。

プロセスの生成に失敗しました。

(S)

システム制限または内部エラーによってプロセスは開始できませんでした。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB2613-E

An attempt to allocate memory has failed. (process = プロセス名, pid = プロセス ID)  
メモリの確保に失敗しました。 プロセス[プロセス名] ,pid= [プロセス ID]

メモリーの確保に失敗しました。

(S)

システムは処理を続行します。

(O)

メモリーを使用しているほかのプログラムを停止し、コマンドを再実行してください。

## KAVB2614-E

An attempt to load the message file has failed.  
メッセージファイルのロードに失敗しました。

メッセージカタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

コマンド実行制御は終了します。

(O)

UNIX の場合、次について確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- /opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ以下にメッセージカタログファイル (Jcocmdmsg.cat) があるか。

## KAVB2615-E

An attempt to execute the command コマンド名 failed due to a memory shortage. (error code = エラーコード)  
メモリ不足のため[コマンド名]コマンドの実行に失敗しました。要因コード (エラーコード)

メモリー不足のため、コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- コマンド実行のために必要なメモリー、他システムリソースが十分にあるか。

## KAVB2616-E

An attempt to execute the command コマンド名 has failed. (pid = プロセス ID). (内部メッセージ)  
[コマンド名]コマンドの実行に失敗しました。pid= [プロセス ID]。[内部メッセージ]

コマンドが存在しないか、リソース不足以外の原因でコマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- コマンドを実行するために適切な権限があるか。

## KAVB2618-E

An internal error occurred while processing the results.  
結果処理中に内部エラーが発生しました。

コマンドの実行結果処理中にエラーが発生しました。これはコマンドの実行要求元ホストで発生します。

(S)

コマンド実行結果はコマンド実行履歴ファイルにログ出力されません。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- コマンド実行を要求するホストにリソースが十分にあるか。

## KAVB2619-E

An attempt to initialize the log has failed. (function name = 関数名, error code = エラーコード)  
ログの初期化に失敗しました。関数名：[関数名]。エラーコード：[エラーコード]

次のどちらかの原因によって、プロセスの起動中にログ出力の初期化に失敗しました。

- 共通定義パラメーターが見つからない、または間違っている。
- 大量のプロセスが同時実行中である。

(S)

ログは出力されませんが、コマンド実行制御は処理を続行します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- `jcocmdshow` コマンドと `jcocmddel` コマンドを使用して現在実行中のコマンドを確認し、重要でないコマンドを削除してください。

## KAVB2620-E

An error occurred during startup of the process プロセス名. (内部メッセージ)  
[プロセス名]プロセスの起動時にエラーが発生しました。[内部メッセージ]

次のどれかの原因によって、サービスの起動中にエラーが発生しました。

- 環境変数 `JP1_HOSTNAME` の長さが 256 文字を超えている。
- プロセスの起動時に十分なリソースがない。
- プロセスの起動時に内部エラーが発生した。

(S)

プロセスは異常終了します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 環境変数の長さを 255 文字以内で指定しているか。
- コマンド実行のために必要なメモリー、他システムリソースが十分にあるか。

## KAVB2621-E

An attempt to acquire the message from the message file has failed.  
メッセージファイルからメッセージの取得に失敗しました。

カタログファイルからメッセージを取得できませんでした。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

UNIX の場合、次について確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- `/opt/jp1base/lib/nls` ディレクトリ以下にメッセージカタログファイル (`Jcocmdmsg.cat`) があるか。

## KAVB2623-E

The command cannot be forwarded to the host **ホスト名** because the command length is **数値** bytes or more. This length is not supported by the earlier JP1/Base version on the host.  
(process = **プロセス名**, pid = **プロセス ID**).

転送先ホスト[**ホスト名**]にコマンドを転送できません。送信先の JP1/Base は[**数値**]バイト以上のコマンドに対応していません。(プロセス = **プロセス名**, pid = **プロセス ID**)。

実行先ホストにインストールされている JP1/Base のバージョンは指定されたコマンド長をサポートしていません。

(S)

コマンドは実行されません。

(O)

コマンドの実行先に指定したホストの、JP1/Base のバージョンを確認してください。JP1/Base 08-00 以降がインストールされている必要があります。

## KAVB2626-E

The command request [**コマンド名**] from host [**ホスト名**] contained the invalid command transmission option [%d], and has been rejected.

コマンド[**コマンド名**]要求は拒否されました。ホスト[**ホスト名**]で不正なコマンド送信オプション[%d]を受信しました。

マネージャーホストでコマンド実行要求を拒否しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

マネージャーホストでリソース不足が発生していないか確認してください。問題がなかった場合は、JP1/Base と JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者へ連絡してください。

## KAVB2627-E

The jcocmdconv command is accessing the command execution log file.

jcocmdconv コマンドがコマンド実行履歴ファイルにアクセスしています。

jcocmdconv コマンドの実行中に jcocmdapi プロセスの起動が行われました。

(S)

jcocmdapi プロセスは停止します。

(O)

jcocmdconv コマンドが実行されていないか確認してください。jcocmdconv コマンドの実行は JP1/Base が停止した状態で実行してください。

#### KAVB2628-E

Reception of the command was rejected because it exceeds the maximum length of 4096 bytes.

指定したコマンドの長さが上限値(4096 バイト)を超えているため、コマンドの受け付けを拒否します。

4,096 バイトを超えたコマンド要求を受信しました。

(S)

コマンドは実行されません。

(O)

[コマンド実行] 画面で指定したコマンド、自動アクションで指定されるコマンドの長さを確認してください。

#### KAVB2630-E

A request from a host without access permissions was rejected. (要求元ホスト名または要求元 IP アドレス)

許可されていないホストからの要求を拒否しました。(要求元ホスト名または要求元 IP アドレス)

許可されていないホストから要求を受信しました。

要求元ホスト名または要求元 IP アドレスには、要求元の IP アドレスからホスト名へ変換（逆引き）できる場合は、ホスト名が表示されます。逆引きできない場合は、要求元の IP アドレスが表示されます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

構成定義に上位ホストが設定されているか確認してください。設定されている場合、要求元ホスト名と一致しているか確認してください。

上位ホスト以外の要求元から要求を受信する場合は、共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に要求元のホスト名または IP アドレスを指定してください。

#### KAVB2631-W

An attempt to acquire the common definition information has failed. (label=ラベル名,code=エラー番号)

共通定義情報の取得に失敗しました。(label=ラベル名,code=エラー番号)

ラベル名の共通定義情報の取得に失敗しました。

(S)

起動時：ラベル名の共通定義を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

次のことを確認してください。

- ラベル名の共通定義情報の設定値に問題がないこと。
- システムのリソース・メモリーが十分に確保されていること。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB2632-W

An invalid value is specified for UPPER\_ONLY in the common definition.

共通定義 UPPER\_ONLY に不正値が指定されています。

共通定義 UPPER\_ONLY に不正値が指定されています。

(S)

起動時：共通定義 UPPER\_ONLY を 0 と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の値で処理を継続します。

(O)

共通定義 UPPER\_ONLY の設定値を見直してください。

## KAVB2633-W

An invalid host name is specified. (host=ホスト名)

無効なホスト名が指定されています。(host=ホスト名)

共通定義 ALT\_CLIENT\_HOSTS に無効なホスト名が指定されています。

(S)

起動時：共通定義 ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

次のことを確認してください。

- 256 バイト以上のホスト名を指定していないか。
- hosts, DNS, または jp1hosts2 の設定で、ホスト名に IP アドレスが割り当てられているか。

## KAVB2634-W

The specified host (ホスト名) already exists.  
指定したホスト(ホスト名)が重複しています。

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に指定したホスト名が重複しています。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。  
リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS の定義内容を見直してください。

## KAVB2635-W

The number of specified hosts exceeds the maximum number allowed. (上限数).  
指定したホストの数が上限数(上限数)を超えています。

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に指定したホストの数が上限数を超えています。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。  
リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS の定義内容を見直してください。

## KAVB2636-W

An attempt to resolve the name of an upper-host (ホスト名) failed. (code=エラー番号)  
上位ホスト(ホスト名)の名前解決に失敗しました。(code=エラー番号)

上位ホスト名の名前解決に失敗しました。

(S)

処理を継続します。ただし、これ以降は上位ホストから送信される要求が拒否されます。

(O)

hosts, DNS, またはjp1hosts2 の設定で、上位ホスト名に IP アドレスが割り当てられているか確認してください。

## KAVB2637-W

The IP address for the upper-host (ホスト名) could not be obtained.  
上位ホスト(ホスト名)の IP アドレス情報が取得できませんでした。



上位ホスト名の IP アドレス情報が取得できませんでした。主にメモリー不足時に発生します。

(S)

処理を継続します。ただし、これ以降は上位ホストから送信される要求が拒否されます。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。

## KAVB2638-W

An error occurred while the IP address information was being obtained.

IP アドレス情報取得中にエラーが発生しました。

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に定義されたホスト名の IP アドレス情報を取得中に、エラーが発生しました。主にメモリー不足時に発生します。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。十分なメモリーを確保してから、jbs\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

## KAVB2639-W

SSL communication processing failed.[保守情報]

SSL 通信処理に失敗しました。[保守情報]

SSL 通信処理に失敗したため、コマンドを実行しません。

(S)

次の処理を継続します。

(O)

通信暗号化機能（SSL 通信）の次の設定を確認してください。

- 文字列を指定するパラメーターの長さが最大長を超えていないか。
- ENABLE パラメーターの値が 0 または 1 になっているか。
- 接続元と接続先のENABLE パラメーターの値が一致しているか。
- CERTIFICATEFILE パラメーターおよびPRIVATEKEYFILE パラメーターで指定したファイル名が正しいか。
- CERTIFICATEFILE パラメーターで指定した証明書の CSR が、PRIVATEKEYFILE パラメーターで指定した秘密鍵で発行されているか。
- CACERTIFICATEFILE パラメーターで指定したファイル名が正しいか。

- SSLPROTOCOL パラメーターで指定した SSL 通信のバージョンが正しいか。
- SSLCIPHERS パラメーターで指定した暗号スイートが正しいか。
- BASESSL パラメーターで指定したサービス名が正しいか。
- サーバ側の SSLPROTOCOL パラメーターで指定した SSL 通信のバージョンがクライアント側で使用できるか。
- サーバ側の SSLCIPHERS パラメーターで指定した暗号スイートがクライアント側で使用できるか。

## KAVB2640-W

A certificate expired.

証明書の期限が切れています。

サーバ証明書またはルート証明書の有効期限が切れています。

(S)

処理を続行します。

(O)

サーバ証明書およびルート証明書の有効期限を確認してください。

## 2.4 構成管理に関するメッセージ (KAVB3001~KAVB3200)

### 注意事項

メッセージ一覧に示すメッセージ以外にも、内部エラーメッセージなどのメッセージ ID 付きメッセージが出力されます。

#### KAVB3001-E

Fail to get conf directory path. jp1BsCnfGetStringValue fail.

共通定義からconf ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 共通定義に JP1/Base のconf ディレクトリパスが定義されているか確認してください。

#### KAVB3002-E

Fail to get log directory path. jp1BsCnfGetStringValue fail.

共通定義からlog ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S) 処理を終了します。
- (O) 共通定義に JP1/Base のlog ディレクトリパスが定義されているか確認してください。

#### KAVB3003-E

HNTRLib Initialize fail. bslog NULL.

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

- (S) メッセージは出力されません。
- (O) JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

#### KAVB3004-E

HNTRLib Initialize fail.

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3005-E

Fail to open message file.

メッセージファイルのオープンに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

UNIX の場合、`/opt/jp1base/lib/nls` ディレクトリ下にカタログファイルがあるか、確認してください。

### KAVB3006-E

Fail to load resource.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3007-E

Fail to load catalog file.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

UNIX の場合、`/opt/jp1base/lib/nls` ディレクトリ下にメッセージファイル (`jbsrt.cat`) があるか、また、参照権限が適切か確認してください。

## KAVB3008-E

vsprintf error.

メッセージ出力の内部処理でエラーが発生しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

## KAVB3010-I

Cannot move to the log directory.

ログディレクトリに移動できませんでした。

ログ出力ディレクトリに移動できませんでした。

(S)

ログディレクトリに移動しません。

## KAVB3011-E

Failed to initialize JP1/IM communication infrastructure. Error Type = JBS\_EJP1HOSTS  
通信基盤の初期化に失敗しました. Error Type = JP1\_EJP1HOSTS

通信基盤の初期化に失敗しました。jp1hosts のデータに不正があり、読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通定義のjp1hosts の値を見直してください。

## KAVB3012-E

Failed to initialize JP1/IM communication infrastructure. jp1BsCommInit Error Code = エラー  
コード. Terminating

通信基盤の初期化に失敗しました. jp1BsCommInit Error Code = エラーコード. 終了します

通信基盤の初期化に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3013-I

Failed to acquire the port number. The default port number is used.

ポート番号の取得に失敗しました。デフォルトポートで起動します

ポート番号を取得できませんでした。

(S)

デフォルトポートで起動します。

(O)

services ファイルに構成管理のポート番号があるか確認してください。

### KAVB3015-E

Failed to initialize JP1/IM communication infrastructure. Terminating.

通信の初期化に失敗しました。終了します

すでにポートが使用されているなどの原因で、通信の初期化に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

構成管理のポートがすでに使われていないか確認してください。

通信方式に IP バインドを指定している場合、自ホストの IP アドレスのうち、無効な IP アドレスが指定されていないか確認してください。

### KAVB3016-E

Failed to create a thread communication to the process management. Terminating.

プロセス管理との通信スレッドの作成に失敗しました。終了します

プロセス管理との通信用スレッド作成に失敗しました。

(S)

構成管理を終了します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認して、再実行してください。

## KAVB3017-E

```
jbsspm_getfd function failed. Terminating  
jbsspm_getfd 関数が失敗しました. 終了します
```

通信用ファイルディスクリプタの取得に失敗しました。

(S)

終了します。

(O)

ほかのプログラムを終了してから、再実行してください。

## KAVB3018-I

```
jbsroute is running.  
構成管理は起動しました
```

構成管理の起動が完了しました。

(S)

構成管理が稼働状態になります。

## KAVB3023-I

```
Reload request was received.  
リロード要求を受信しました
```

プロセス管理からリロード要求を受信しました。

(S)

リロード処理を開始します。

## KAVB3024-I

```
jbsroute terminate.  
構成管理は終了します
```

構成管理を終了します。

(S)

構成管理を終了します。

## KAVB3025-E

```
Cannot get JP1_BIND_ADDR. jp1BsCnfGetStringValue = 関数の戻り値
```

JP1\_BIND\_ADDR が取得できませんでした。jp1BsCnfGetStringValue = 関数の戻り値

共通定義のJP1\_BIND\_ADDR の値が取得できませんでした。

(S)

「ANY」でバインドします。

(O)

共通定義にJP1\_BIND\_ADDR がないか確認してください。

### KAVB3031-I

There is no definition of conf directory path for JP1/IM - Console.

JP1/IM - Console の conf ディレクトリの定義はありません

JP1/IM - Manager のconf ディレクトリの定義が取得できませんでした。

(S)

JP1/Base として起動します。

(O)

JP1/Base だけがインストールされているマシンの場合は無視してください。

### KAVB3032-I

There is not JP1/IM - Console product Information.

JP1/IM - Console の製品情報はありません

JP1/IM の製品種別 (JP1/IM - Manager) が取得できません。

JP1/Base だけがインストールされているマシンでは必ず出力されます。

(S)

JP1/Base として起動します。

(O)

JP1/Base だけがインストールされているマシンの場合は無視してください。

### KAVB3033-I

JP1/IM - Central Console

JP1/IM - Central Console

JP1/IM - Manager がインストールされています。

(S)

構成管理は JP1/IM - Manager として動作します。



## KAVB3034-I

JP1/IM - Satellite Console

JP1/IM - Satellite Console

JP1/IM - Satellite Console がインストールされています。

(S)

構成管理は JP1/IM - Satellite Console として動作します。

## KAVB3035-I

JP1/Base

JP1/Base

JP1/Base がインストールされています。

(S)

構成管理は JP1/Base として動作します。

## KAVB3049-E

Failed to create communication data. jbsroute\_make\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの作成に失敗しました. jbsroute\_make\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの作成に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

メモリー不足でないか確認してください。

## KAVB3050-E

Failed to send communication data. jbsroute\_send\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの送信に失敗しました. jbsroute\_send\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの送信に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

構成定義で、通信できない下位ホストがないか確認してください。

### KAVB3051-E

Received configuration distribution request from JP1/Base  
JP1/Base から定義配布を受信しました

JP1/Base から定義配布を受信しました。JP1/Base だけがインストールされているマシンからは定義配布は行えません。

(S)

定義配布を中止します。

(O)

構成定義ファイルの定義で JP1/Base だけがインストールされているマシンに下位ホストを定義していないか見直してください。

### KAVB3052-E

JP1/IM - Central Console received configuration distribution request from JP1/IM - Satellite Console.  
JP1/IM - Central Console が JP1/IM - Satellite Console から定義配布を受信しました

構成定義で、JP1/IM - Satellite Console の下に JP1/IM - Manager が定義されています。

(S)

該当するホストには定義が配布されません。

(O)

JP1/IM - Satellite Console の下位に JP1/IM - Manager を定義しないように、構成定義ファイルを修正してください。

### KAVB3053-E

JP1/Base defines lower-level hosts.  
JP1/Base に下位ホストが定義されています

構成定義で JP1/Base に下位ホストが定義されています。

(S)

該当するホストには定義が配布されません。

(O)

次の点を確認してください。

- JP1/Base の下位にホストを定義しないように、構成定義ファイルを修正してください。
- 論理ホストでこのメッセージが出力された場合は、論理ホストの設定が完了しているか確認してください。完了していない場合は、次に示すセットアッププログラムで論理ホストのセットアップを行ってください。

Windows : jp1cohasetup.exe

UNIX : jp1cc\_setup\_cluster

## KAVB3054-E

Failed to get lower-level host in the definition file. jbsroute\_get\_under\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

下位ホスト取得に失敗しました. jbsroute\_get\_under\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

定義ファイルの下位ホスト取得関数に失敗しました。主にメモリー不足時に発生します。

(S)

該当するホストで、定義の配布などができません。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

## KAVB3055-E

Wrong attempt to distribute the configuration definition to the highest-level host from other host.

他ホストから、最上位ホストに定義配布をしようとした

最上位ホストとして定義されたホストに、別定義の定義ファイルが他ホストから送信されました。

(S)

該当するホストで、定義の配布などができません。

(O)

最上位のホストとして定義されているホストには、別のホストから構成定義を配布できません。いったん最上位ホストで構成情報を削除したあと、定義配布コマンドを実行してください。

## KAVB3056-E

Failed to get upper-level host. jbsroute\_get\_parent\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

上位ホスト取得に失敗しました. jbsroute\_get\_parent\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

上位ホストが取得できませんでした。

(S)

定義配布などができません。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

#### KAVB3057-E

Failed to get lower-level host. jbsroute\_get\_child\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

下位ホスト取得に失敗しました. jbsroute\_get\_child\_host Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

下位ホストが取得できませんでした。

(S)

定義配布などができません。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

#### KAVB3059-E

Failed to write data to configuration information file. jbsroute\_write\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

構成情報ファイルの書き込みに失敗しました. jbsroute\_write\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

構成定義ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

定義配布などができません。

(O)

conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限があるか確認してください。

#### KAVB3060-E

Failed to send communication data. jbsroute\_send\_rtdata\_hosts Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの送信に失敗しました. jbsroute\_send\_rtdata\_hosts Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの送信に失敗しました。

(S)

送信先ホストの定義配布などができません。

(O)

送信先ホストで JP1/Base が起動しているか確認してください。また、そのホストから通信できるか確認してください。

#### KAVB3073-E

Failed to get lower-level host information. jbsrt\_getunderhost Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

下位ホスト取得に失敗しました. jbsrt\_getunderhost Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

下位ホストが取得できませんでした。

(S)

構成管理コマンドを終了します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。

#### KAVB3074-E

Failed to delete configuration information file. jbsroute\_del\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

構成情報ファイルの削除に失敗しました. jbsroute\_del\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

構成定義ファイルを削除できませんでした。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限があるか確認してください。

#### KAVB3078-E

Failed to communication initialization. jbsroute\_send\_rtdata\_init Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信の初期化に失敗しました. jbsroute\_send\_rtdata\_init Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信の初期化に失敗しました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンド, または jbsrt\_sync コマンドを終了します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- サーバと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- サーバの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は, 資料採取ツールで自ホストおよびサーバの資料を採取して, システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については, マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章の jp1ping コマンドを参照してください。

## KAVB3079-E

Failed to receive communication data. jbsroute\_recv\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの受信に失敗しました. jbsroute\_recv\_rtdata Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

通信データの受信に失敗しました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンド, または jbsrt\_sync コマンドを終了します。

(O)

送信先ホストでエラーが発生していないか確認してください。

## KAVB3080-E

Failed to open the definition file.

定義ファイルのオープンに失敗しました

定義ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイルが conf/route/ディレクトリにあるか確認してください。

また, 構成定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。

## KAVB3081-E

Memory allocation failed.

メモリ確保に失敗しました

メモリーを確保できませんでした。

(S)

構成管理は処理を継続します。コマンドは異常終了します。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。

## KAVB3082-E

A line with more than two entries exists.

エントリが二つ以上ある行があります

定義ファイルに同じホスト名が複数あります。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイルに同じホストが定義されていないか確認してください。

## KAVB3083-E

No entries in a line.

エントリが一つもありません

定義ファイルにホスト名が1行もありません。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイルを確認してください。

## KAVB3084-E

Length of host name exceeds 256 characters. **ホスト名**

ホスト名が 256 文字以上あります。 **ホスト名**

定義ファイルのホスト名が 256 文字以上あります。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

ホスト名が 255 文字以下になるように、構成定義ファイルを見直してください。

## KAVB3085-E

Definition of management host is invalid. 管理ホスト名  
管理ホストの定義が不正です. 管理ホスト名

定義ファイルの管理ホストの定義が不正です。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

表示された管理ホスト名が、正しく「[ ] と [ ]」で囲まれていることを確認してください。

## KAVB3086-E

The host is specified more than once. ホスト名  
同一ホストがあります. ホスト名

定義ファイルに同一ホストが複数定義されています。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

同一ホストを複数定義しないように、構成定義ファイルを見直してください。

## KAVB3087-E

Managed host does not exist. ホスト名  
管理対象ホストがありません. ホスト名

管理対象ホストがない管理ホストが定義されています。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイルを見直し、管理ホストに管理対象ホストを記述してください。



## KAVB3088-E

The host is in a loop status. ホスト名  
ループしています. ホスト名

定義ファイルで階層がループしている定義があります。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイル  
を見直し、ループしているシステム構成を修正してください。

## KAVB3089-E

The highest-level host is different. ホスト名 ホスト名  
最上位ホストが異なっています. ホスト名 ホスト名

定義ファイルに最上位ホストが二つ以上定義されています。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを終了します。

(O)

構成定義ファイルを見直し、最上位ホストを一つにしてください。

## KAVB3090-E

Cannot get conf path from common definition.  
共通定義から conf パスが取得できません

共通定義から conf パスが取得できませんでした。

(S)

構成管理、またはコマンドを終了します。

(O)

共通定義に、JP1/Base の conf ディレクトリが定義されているか確認してください。

## KAVB3091-E

HNTRLib could not be initialized.  
HNTRLib が初期化できませんでした

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3092-E

HNTRLib could not be initialized.

HNTRLib が初期化できませんでした

メッセージ出力の初期化に失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

### KAVB3093-E

No execution authorization.

実行権限がありません

オペレーター権限（Windows の場合 Administrators グループ権限，UNIX の場合 root 権限または JP1/Base 管理者権限）がないユーザーで実行しようとしてしました。

(S)

処理を実行できません。

(O)

オペレーター権限を持つユーザーで実行してください。

### KAVB3094-I

Failed to acquire the port number. The default port number is used.

ポート番号の取得に失敗しました。デフォルトポートで起動します

ポート番号を取得できませんでした。

(S)

デフォルトポートで起動します。

(O)

services ファイルに構成管理のポート番号があるか確認してください。

## KAVB3095-E

Failed to load definition file.

定義ファイルのロードに失敗しました

定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを実行しません。

(O)

構成定義ファイルが正しい位置に配置されているか確認してください。

## KAVB3096-E

Cannot get the current host name from the definition file.

定義ファイルから自ホストを取得できませんでした

定義ファイルに自ホストが定義されていません。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを実行しません。

(O)

構成定義ファイルに自ホストを定義してください。

## KAVB3097-E

Failed to get the lower-level host name in the definition file.

下位ホストの取得に失敗しました

定義ファイルから下位ホストを取得する際にエラーが発生しました。

(S)

構成管理コマンドを実行しません。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。

## KAVB3098-E

JP1/Base defines lower-level hosts.

JP1/Base に下位ホストが定義されています

JP1/Base に下位ホストが定義されています。

(S)

該当するホストに構成定義を配布しません。

(O)

次の点を確認してください。

- JP1/Base の下位にホストを定義しないように、構成定義ファイルを修正してください。
- 論理ホストでこのメッセージが出力された場合は、論理ホストの設定が完了しているか確認してください。完了していない場合は、次に示すセットアッププログラムで論理ホストのセットアップを行ってください。

Windows : `jp1cohasetup.exe`

UNIX : `jp1cc_setup_cluster`

### KAVB3099-E

Failed to get the definition data.

定義データの取得に失敗しました

構成定義ファイルの読み込み時に入出力エラーなどが発生しました。

(S)

構成管理コマンドを実行しません。

(O)

`conf/route/`ディレクトリ下に書き込み権限があるか確認してください。

### KAVB3100-E

Failed to create communication data.

通信データの作成に失敗しました

通信データの作成に失敗しました。主にメモリー不足の時に発生します。

(S)

構成管理コマンドを実行しません。

(O)

メモリーが不足していないか確認してください。

### KAVB3101-E

Failed to connect to the server.

サーバ接続に失敗しました

サーバとの接続に失敗しました。

(S)

構成管理コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- サーバと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- サーバの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は、資料採取ツールで自ホストおよびサーバの資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章の `jp1ping` コマンドを参照してください。

## KAVB3102-E

Failed to send the data. Error Code = エラーコード. エラーコードの説明  
データ送信に失敗しました. Error Code = エラーコード. エラーコードの説明

構成管理サーバへのデータ送信に失敗しました。

(S)

`jbsrt_distrib`, または `jbsrt_sync` コマンドを終了します。

(O)

構成管理が起動しているか、メモリー不足が発生していないか確認してください。

## KAVB3103-E

Failed to receive the data.  
データ受信に失敗しました

構成管理サーバからのデータ受信に失敗しました。

(S)

`jbsrt_distrib`, または `jbsrt_sync` コマンドはエラーになります。

(O)

次の点を確認してください。

- JP1/IM をインストールしたあと、JP1/Base を再起動しているか。
- メモリーが不足していないか。
- `conf/route/ディレクトリ`以下に書き込みおよび読み込み権限があるか。

## KAVB3104-W

Cannot delete configurations for the host and its lower-level hosts. Try again after deleting each definition separately. **ホスト名**

以下のホスト及び下位ホストの構成情報が削除できませんでした。個別に削除した後、再度実行して下さい **ホスト名**

構成情報を削除できなかったホストがあります。

(O)

表示されたホストおよび下位ホストの構成情報を、`jbsrt_del` コマンドで個別に削除してください。

## KAVB3105-E

The server is processing.

サーバ処理中です

構成管理サーバの処理中に、定義配布などをしようとしたしました。

(S)

`jbsrt_distrib`, または `jbsrt_sync` コマンドがエラーになります。

(O)

しばらくしてから再実行してください。

## KAVB3106-I

Deleted the current configuration definition

構成情報を削除しました

`jbsrt_distrib` コマンドで構成情報を削除しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3107-E

Cannot set configuration in the host. **ホスト名**

以下のホストで構成情報が設定できません **ホスト名**

構成定義確認中に、構成情報を設定できないホストがあります。

(S)

`jbsrt_distrib` コマンドがエラーになります。

(O)

エラーになったホストで、次のことを確認してください。

- JP1/Base が起動しているか (jbs\_spm\_status コマンドで確認可能)。
- 構成管理のポート (初期設定は 20237/tcp) が起動しているか (netstat コマンドで確認可能)。
- 構成管理のポート (初期設定は 20237/tcp) がファイアウォールなどでフィルタリングされていないか。
- エラーになったホストの上位ホストから、エラーになったホストの名前解決ができるか (jp1ping コマンドで確認可能)。
- 名前解決した結果の IP アドレスは意図したとおりの正しい IP アドレスか。
- エラーになったホストが最上位ホストとして定義されていないか (jbsrt\_get コマンドで確認可能)。最上位ホストとして定義された構成情報が残っている場合は、jbsrt\_del コマンドで構成情報を削除してください。
- メモリーが不足していないか。
- conf/route/ディレクトリ以下に書き込みおよび読み込み権限があるか。

上記について問題がない場合は、エラーになったホストで次のことを確認してください。

1. jbsrt\_get コマンドを実行する。
2. 次のどれかの現象が発生したか確認する。
  - メッセージ KAVB3162-E が出力される。
  - jbsrt\_get コマンドが異常終了する。
  - 「上位ホスト」や「下位ホスト」に自ホスト名が表示されている。
  - 「自ホスト」に自ホスト名以外のホスト名が表示されている。
  - ホスト名が文字化けしている。
3. 上記の現象が発生している場合は以下の方法で回復してください。
  1. jbsrt\_del コマンドで構成定義情報を削除する。
  2. マネージャーホストから、jbsrt\_distrib コマンドで構成定義情報を再配布する。

## KAVB3108-E

Failed in definition distribution. Cannot set configuration information in the host. ホスト名  
定義配布に失敗しました。以下のホストで構成情報が設定できませんでした。ホスト名

構成定義配布時に、構成情報を配布できなかったホストがあります。

(O)

jbsrt\_distrib コマンドを再実行してください。再実行する際は、構成情報を削除せずに定義を配布します。前回エラーになったホストおよび下位ホストに定義が配布できたことが確認できれば、システム全体に構成定義を配布できたことになります。

## KAVB3109-I

Succeed the jbsrt\_distrib command  
定義配布コマンドが正常終了しました

定義配布コマンドが正常終了しました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドを正常終了します。

## KAVB3110-E

Definition data is not found.  
定義データが見つかりません

構成情報が設定されていません。

(S)

jbsrt\_sync コマンドを実行しません。

(O)

jbsrt\_distrib コマンドを実行したあと、jbsrt\_sync コマンドを実行してください。

jbsrt\_sync コマンドを実行している場合には、conf/route/ディレクトリがあるか、また、読み込み・書き込み権限があるか確認してください。

クラスタシステムで運用している場合、定義したconf ディレクトリがあるか、また、読み込み・書き込み権限があるか確認してください。

## KAVB3111-E

Failed to execute the jbsrt\_sync command. An error occurred in the host. **ホスト名**  
同期コマンドの実行に失敗しました. 以下のホストでエラーが発生しました. **ホスト名**

jbsrt\_sync コマンドの実行時にエラーが発生しました。

(S)

エラーとなるホストを表示します。

(O)

エラーになったホストで、JP1/Base が起動しているかどうか確認してください。起動している場合は、次の内容を確認してください。

1. jbsrt\_get コマンドを実行する。
2. 次の現象のうち、どの現象が発生したか確認する。
  - ・メッセージ KAVB3162-E が出力される。
  - ・jbsrt\_get コマンドが異常終了する。



- ・「上位ホスト」や「下位ホスト」に自ホスト名が表示されている。
- ・「自ホスト」に自ホスト名以外のホスト名が表示されている。
- ・ホスト名が文字化けしている。

上記の現象が発生している場合は、次の方法で回復してください。

1. `jbsrt_del` コマンドで構成定義情報を削除する。
2. マネージャーホストから、`jbsrt_distrib` コマンドで構成定義情報を再配布する。

## KAVB3112-I

```
Succeed the jbsrt_sync command  
同期コマンドが正常終了しました
```

同期コマンドが正常終了しました。

(S)

`jbsrt_sync` コマンドを正常終了します。

## KAVB3113-I

```
Definition does not exist.  
定義情報が存在しませんでした
```

構成情報が設定されていません。

(S)

`jbsrt_get`, `jbsrt_del` コマンドを終了します。

(O)

`jbsrt_distrib` コマンドを実行したあと、再実行してください。

`jbsrt_distrib` コマンドを実行している場合には、`conf/route/`ディレクトリがあるか、また、読み込み・書き込み権限があるか確認してください。

クラスタシステムで運用している場合には、定義した`conf` ディレクトリがあるか、また、読み込み・書き込み権限があるか確認してください。

## KAVB3114-E

```
Cannot access definition.  
定義情報にアクセスできませんでした
```

構成情報の読み込みに失敗しました。

(S)

`jbsrt_get`, `jbsrt_del` コマンドを終了します。

(O)

conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限があるかどうか確認してください。

#### KAVB3115-I

Deleted the definition data.

定義情報を消去しました

jbsrt\_del コマンドが正常終了しました。

(S)

jbsrt\_del コマンドを終了します。

#### KAVB3116-I

Get the logical host name from the environment variable of JP1\_HOSTNAME

環境変数 JP1\_HOSTNAME から論理ホスト名を取得しました

環境変数JP1\_HOSTNAME から論理ホスト名を取得しました。

(S)

環境変数JP1\_HOSTNAME から得た名前の論理ホストとして起動します。

(O)

物理ホストとして起動する場合は環境変数JP1\_HOSTNAME の設定を取り消してください。

#### KAVB3118-E

jbsrt\_distrib command is time out.

An error occurred in the host. **ホスト名**

定義配布コマンドがタイムアウトしました

以下のホストでエラーが発生しました **ホスト名**

jbsrt\_distrib コマンドがタイムアウトしました。

(S)

jbsrt\_distrib コマンドをエラー終了します。

(O)

次のことを確認したあと、コマンドを再実行してください。

- 下位ホストでエラーが発生していないか確認してください。**ホスト名**にサブマネージャーが含まれる場合、配下のホストの処理に時間が掛かっているおそれがあるため、サブマネージャーの統合トレースログを確認してください。

- サブマネージャー以下の処理が完了するのを待ってからコマンドを再実行してください。処理が完了したかどうかは、タイムアウト発生後にサブマネージャーホストにメッセージ KAVB3185-I が出力されているかどうかで確認できます。
- 下位ホストに問題がないにもかかわらず、このメッセージが出力される場合は、サブマネージャー以下の処理に掛かる時間が通信タイムアウト時間を超過していることが考えられます。サブマネージャーホストに出力されるメッセージ KAVB3185-I の処理時間を目安に通信タイムアウト時間を調整するか、またはシステム構成を見直してください。

## KAVB3119-E

jbsrt\_sync command is time out.

An error occurred in the host. **ホスト名**

同期コマンドがタイムアウトしました

以下のホストでエラーが発生しました **ホスト名**

jbsrt\_sync コマンドがタイムアウトしました。

(S)

jbsrt\_sync コマンドをエラー終了します。

(O)

次のことを確認したあと、コマンドを再実行してください。

- 下位ホストでエラーが発生していないか確認してください。**ホスト名**にサブマネージャーが含まれる場合、配下のホストの処理に時間が掛かっているおそれがあるため、サブマネージャーの統合トレースログを確認してください。
- サブマネージャー以下の処理が完了するのを待ってからコマンドを再実行してください。処理が完了したかどうかは、タイムアウト発生後にサブマネージャーホストにメッセージ KAVB3185-I が出力されているかどうかで確認できます。
- 下位ホストに問題がないにもかかわらず、このメッセージが出力される場合は、サブマネージャー以下の処理に掛かる時間が通信タイムアウト時間を超過していることが考えられます。サブマネージャーホストに出力されるメッセージ KAVB3185-I の処理時間を目安に通信タイムアウト時間を調整してください。

## KAVB3120-E

Failed to initialize JP1/IM communication infrastructure. Error Type = JBS\_EJP1HOSTS

通信基盤の初期化に失敗しました. Error Type = JP1\_EJP1HOSTS

通信基盤の初期化に失敗しました。jp1hosts のデータに不正があり、読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

共通定義のjplhosts の値を見直してください。

## KAVB3121-E

Failed to initialize JP1/IM communication infrastructure. jplBsCommInit Error Code = エラーコード

通信基盤の初期化に失敗しました. jplBsCommInit Error Code = エラーコード

通信基盤の初期化に失敗しました。

(S)

構成管理コマンドを終了します。

(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3123-E

Too many lower-level host. The maximum number is 直下の下位ホストの最大数

直下の下位ホストが多すぎます. 直下の下位ホストは直下の下位ホストの最大数台までです

構成定義で、直下の下位ホストに指定したホストの数が、最大数を超過しています。

(S)

該当するホストに構成情報を設定しません。

(O)

JP1/IM - Central Console 5 Node の直下の下位ホストに 6 台以上のホストを定義していないか、または JP1/IM - Central Console 10 Node の直下の下位ホストに 11 台以上のホストを定義していないか、確認してください。

## KAVB3124-E

Cannot get conf path from common definition with specified logical host name.

共通定義から指定された論理ホスト名の conf パスが取得できません

共通定義から指定された論理ホスト名のconf パスが取得できませんでした。

(S)

構成管理、またはコマンドを終了します。

(O)

指定した論理ホスト名が間違っていないか、また、指定した論理ホスト名の共通定義に、JP1/Base の conf ディレクトリが定義されているか確認してください。

## KAVB3133-E

Failed to execute jevreload command.  
jevreload コマンドの実行に失敗しました。

jevreload コマンドが実行できませんでした。

(S)

jevreload コマンドを実行しません。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

## KAVB3134-E

Failed to get install path.  
インストールパスが取得できませんでした。

Windows で JP1/Base のインストールパスが取得できませんでした。

(S)

jevreload コマンドを実行しません。

(O)

JP1/Base が正しくインストールされていること、および設定されていることを確認してください。  
解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3135-E

Failed to create jevreload process.  
jevreload プロセスの生成に失敗しました。

jevreload コマンドが実行できませんでした。

(S)

jevreload コマンドを実行しません。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

## KAVB3148-E

An attempt to use the jplgethostname function has failed.  
jplgethostname で失敗しました。

通信の初期化処理中に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

物理ホストの場合は自ホスト名の設定、論理ホストの場合は論理ホスト名の設定が正しいかどうか確認してください。

#### KAVB3149-E

An attempt to use the `jplgethostbyname(hostname:ホスト名)` function has failed.  
`jplgethostbyname(ホスト名:ホスト名)`で失敗しました。

該当のホスト名から IP アドレスへの解決で失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名に対し `jplping` が通るかどうか確認してください。DNS 運用の場合は、ネットワーク上に障害がないか確認してください。

#### KAVB3150-E

An attempt to create a socket has failed.  
ソケットの生成で失敗しました。

通信ソケットが生成できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

#### KAVB3151-E

An attempt to set socket options has failed.  
ソケットオプションの設定で失敗しました。

ソケットオプションの設定で失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

## KAVB3152-W

An attempt to bind has failed (IP address: IP アドレス).  
バインドで失敗しました.(IP アドレス: IP アドレス)

通信の初期化処理中に失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
該当 IP アドレスがネットワークカードに正しく割り当てられているか確認してください。

## KAVB3153-W

An attempt to listen has failed (IP address: IP アドレス).  
リッスンで失敗しました.(IP アドレス: IP アドレス)

通信の初期化処理中に失敗しました。

- (S)  
自ホストに定義されているすべての IP アドレスで通信待ち受け処理を試行するまで、処理を続行します。
- (O)  
該当 IP アドレスがネットワークカードに正しく割り当てられているか、また、通信環境が整っているか確認してください。

## KAVB3154-I

Bind and listen attempt has succeeded (IP address: IP アドレス).  
バインド・リッスンに成功しました.(IP アドレス: IP アドレス)

通信環境の初期化に成功しました。

- (S)  
処理を続行します。

## KAVB3155-E

No appropriate bind and listen IP address was found.  
バインド・リッスン可能なアドレスがひとつもありませんでした。

通信の初期化処理中に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。

(O)

通信環境を整えてから再実行してください。

## KAVB3156-W

An attempt to connect has failed (hostname: ホスト名, IP address: IP アドレス).  
コネクで失敗しました。(ホスト名: ホスト名, IP アドレス: IP アドレス)

通信の初期化処理中に失敗しました。

(S)

ホスト名で定義されるすべての IP アドレスへの接続を試行するまで、処理を続行します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- ネットワーク状態が正常か。
- サーバと IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) が一致しているか。
- サーバの JP1/Base が起動しているか。

解決できない場合は、資料採取ツールで自ホストおよびサーバの資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

IP アドレスのバージョン (IPv4/IPv6) の確認方法については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」のコマンドの章の jp1ping コマンドを参照してください。

## KAVB3157-I

An attempt to connect has succeeded (hostname: ホスト名, IP address: IP アドレス).  
コネクに成功しました。(ホスト名: ホスト名, IP アドレス: IP アドレス)

通信接続に成功しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3158-E

No appropriate bind and connect IP address was found.(hostname: ホスト名)  
バインド・コネク可能なアドレスがひとつもありませんでした。(ホスト名: ホスト名)

通信の初期化処理中に失敗しました。

(S)

処理を中断します。



(O)

OS のhosts 情報, DNS, またはjplhosts2 の設定を見直し, 接続先のホスト名に IP アドレスが割り当てられているか確認してください。また, 自ホストに接続先のホストに割り当てられた IP アドレスと同じバージョン (IPv4/IPv6) の IP アドレスを一つ以上割り当ててください。

## KAVB3159-E

Please set the logical host name to within 255 characters.  
論理ホスト名は 255 文字以内で指定してください。

論理ホスト名に 256 文字以上の文字列が指定されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホスト名は 255 文字以内で指定してください。

## KAVB3160-W

Part of TCP/IP wait response processing has failed, but jbsroute processing will continue.  
一部の通信待ち受け処理で失敗しましたが, 構成管理は起動処理を続行します。

一部の TCP/IP 通信待ち受け処理で失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

一部の IP アドレスが正しく設定できていないようです。JP1/Base の構成管理は縮退した状態で運転を続けますが, このままでは一部の通信処理が正しく行われませんので, 問題を解決してから再起動して運用するようにしてください。

## KAVB3161-E

An error occurred in system call. : 保守情報  
システムコールでエラーが発生しました : 保守情報

OS のシステムコールでエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は, 資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- システムのリソースが不足していないか。
- OS は正常に運用されているか。
- 通信環境は正常に運用されているか。

## KAVB3162-E

The configuration information file is invalid.  
構成情報ファイルが不正です。

構成定義ファイルが不正なため、読み込めません。

(S)

構成管理は処理を続行します。jbsrt\_distrib, jbsrt\_sync, およびjbsrt\_get コマンドを終了します。

(O)

次の手順で回復してください。

1. メッセージが出力されたホストでjbsrt\_del コマンドを実行し、構成定義情報を削除してください。
2. 最上位ホストからjbsrt\_distrib コマンドで構成定義情報を再配布してください。

## KAVB3163-E

Execute the command from the administrator console.  
管理者コンソールよりコマンドを実行してください

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

## KAVB3164-E

A request from a host without access permissions was rejected. (要求元ホスト名または要求元 IP アドレス)  
許可されていないホストからの要求を拒否しました(要求元ホスト名または要求元 IP アドレス)

許可されていないホストから要求を受信しました。

要求元ホスト名または要求元 IP アドレスには、要求元の IP アドレスからホスト名へ変換（逆引き）できる場合は、ホスト名が表示されます。逆引きできない場合は、要求元の IP アドレスが表示されます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

要求元ホスト名が構成定義に設定された上位ホストと一致しているか確認してください。

上位ホスト以外の要求元から要求を受信する場合は、共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTSに要求元のホスト名またはIPアドレスを指定してください。

## KAVB3165-W

An attempt to acquire the common definition information has failed. (label=ラベル名,code=エラー番号)

共通定義情報の取得に失敗しました(label=ラベル名,code=エラー番号)

ラベル名の共通定義情報の取得に失敗しました。

(S)

起動時：ラベル名の共通定義を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

次のことを確認してください。

- ラベル名の共通定義情報の設定値に問題がないこと。
- システムのリソース・メモリーが十分に確保されていること。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3166-W

An invalid value is specified for UPPER\_ONLY in the common definition.

共通定義 UPPER\_ONLY に不正値が指定されています

共通定義UPPER\_ONLYに不正値が指定されています。

(S)

起動時：共通定義UPPER\_ONLYを0と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の値で処理を継続します。

(O)

共通定義UPPER\_ONLYの設定値を見直してください。

## KAVB3167-W

An invalid host name is specified. (host=ホスト名)

無効なホスト名が指定されています(host=ホスト名)

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に無効なホスト名が指定されています。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

次のことを確認してください。

- 256 バイト以上のホスト名を指定していないか。
- hosts, DNS, またはjp1hosts2 の設定で、ホスト名に IP アドレスが割り当てられているか。

## KAVB3168-W

The specified host (ホスト名) already exists.

指定したホスト(ホスト名)が重複しています

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に指定したホスト名が重複しています。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS の定義内容を見直してください。

## KAVB3169-W

The number of specified hosts exceeds the maximum number allowed. (上限数).

指定したホストの数が上限数(上限数)を超えています

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に指定したホストの数が上限数を超えています。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

指定するホストの数を見直してください。

## KAVB3170-W

An attempt to resolve the name of an upper-host (ホスト名) failed. (code=エラー番号)

上位ホスト(ホスト名)の名前解決に失敗しました(code=エラー番号)

(S)

処理を継続します。ただし、これ以降は上位ホストから送信される要求が拒否されます。

(O)

hosts, DNS, またはjp1hosts2 の設定で、上位ホスト名に IP アドレスが割り当てられているか確認してください。

### KAVB3171-W

The IP address for the upper-host (ホスト名) could not be obtained.

上位ホスト(ホスト名)の IP アドレス情報が取得できませんでした

上位ホスト名の IP アドレス情報が取得できませんでした。主にメモリー不足時に発生します。

(S)

処理を継続します。ただし、これ以降は上位ホストから送信される要求が拒否されます。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。

### KAVB3172-W

An error occurred while the IP address information was being obtained.

IP アドレス情報取得中にエラーが発生しました

共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS に定義されたホスト名の IP アドレス情報を取得中に、エラーが発生しました。主にメモリー不足時に発生します。

(S)

起動時：共通定義ALT\_CLIENT\_HOSTS を未定義と仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。十分なメモリーを確保してから、jbs\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

### KAVB3173-W

There is an incorrect value in the common definition information. (label=ラベル名, value=値)

共通定義情報の値に誤りがあります (label=ラベル名,value=値)

共通定義に設定されているラベルの設定値に誤りがあります。

(S)

起動時：初期値を仮定して処理を継続します。

リロード時：リロード前の定義内容で処理を継続します。

(O)

共通定義の設定値を確認してください。

## KAVB3180-W

Communication with the host **ホスト名** timed out. (timeout period=**通信タイムアウト時間** seconds)

**ホスト名**との通信がタイムアウトしました(通信タイムアウト時間=**通信タイムアウト時間**秒)

**ホスト名**との通信がタイムアウトしました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- ネットワークの設定・状態を確認してください。
- 表示されたホストが下位ホストのサブマネージャーである場合、配下のホストの処理に時間が掛かっているおそれがあるため、サブマネージャーの統合トレースログを確認してください。
- サブマネージャー以下のホストに問題がないにもかかわらず、このメッセージが出力される場合は、処理に掛かる時間が通信タイムアウト時間を超過していることが考えられます。サブマネージャーホストに出力されるメッセージ KAVB3185-I の処理時間を目安に通信タイムアウト時間を調整してください。

## KAVB3181-W

An error occurred during communication with the host **ホスト名**.

**ホスト名**との通信中にエラーが発生しました

**ホスト名**との通信中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

ネットワークの設定・状態を確認してください。また、接続先ホストで JP1/Base が起動していることを確認してください。

## KAVB3185-I

Processing of the **要求名** sent to lower-level hosts is complete. (host name=**ホスト名**, processing time=**処理時間** seconds)

下位ホストへの**要求名**処理が完了しました(ホスト名=**ホスト名**,処理時間=**処理時間秒**)

下位ホストへの**要求名**処理が**処理時間秒**で完了しました。**要求名**には構成確認, 構成配布, 構成削除, 構成同期のどれかが表示されます。このメッセージは構成定義上のマネージャーホストに出力されます。ただし, エラーによって下位ホストへの処理を中断した場合は, このメッセージは出力されません。

(S)

処理を続行します。

## 2.5 プロセス管理に関するメッセージ (KAVB3501~KAVB3999)

### 注意事項

- メッセージの一覧に示すメッセージ以外にも、内部エラーメッセージなどのメッセージ ID 付きメッセージが出力されることがあります。
- プロセス管理に関するメッセージは、同ホストの JP1/Base, JP1/AJS (インストールしている場合) からも出力されることがあります。JP1/Base, JP1/AJS によって出力されるメッセージについては、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

### KAVB3501-E

An attempt to open the message file has failed.

メッセージファイルのオープンに失敗しました。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

Windows の場合

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

UNIX の場合

次の要因が考えられます。環境の確認を行ってください。

- /opt/jp1base/lib/nls 配下のファイルに読み取り権限がないおそれがあります。読み取り権限を与えてください。
  - システムでオープンできるファイルの最大値になっているおそれがあります。カーネルパラメータを見直してください。
  - 一時的なメモリー不足が考えられます。再実行してください。また、不要なプロセスを終了してください。
  - ディレクトリまたはファイルが削除されたおそれがあります。再インストールしてください。
- 解決できない場合は、資料採取ツールを採取して、システム管理者に連絡してください。

### KAVB3502-E

An attempt to read the message file has failed.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。



(O)

JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。

#### KAVB3503-E

An attempt to read the message file has failed.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

/opt/jp1base/lib/nls ディレクトリ下にメッセージファイル (jbsspm.cat) があるか、また、参照権限が適切か確認してください。

#### KAVB3504-E

An error occurred in internal processing to output a message.

メッセージ出力の内部処理でエラーが発生しました。

(S)

メッセージは出力されません。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

#### KAVB3516-E

An attempt to start the process management has failed. (errno = 要求コード)

プロセス管理の起動に失敗しました。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

製品が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVB3552-E

コンポーネント名 管理対象プロセス名 has timed out.

コンポーネント名の管理対象プロセス名への要求はタイムアウトしました

要求がタイムアウトしました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理で管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

リロード要求の場合、タイムアウト値を大きくして再実行してください。そのほかの場合、しばらく待ったあと、要求を再実行してください。再実行しても同じ現象が発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3553-E

SIGKILL was sent to 管理対象プロセス名 of コンポーネント名, but termination could not be detected.

コンポーネント名の管理対象プロセス名へ SIGKILL を送信しましたが、終了を検知できません

SIGKILL を送信しましたが、終了を検知できません。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

管理対象プロセス名が停止していることを確認してください。管理対象プロセス名が停止していない場合は、手動で停止してください。

#### KAVB3554-I

A コンポーネント名 reload request has finished.

コンポーネント名のリロード要求は完了しました

リロード要求が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3564-I

jxx\_spmd: コンポーネント名 will now start all inactive processes.

jxx\_spmd : コンポーネント名の停止中の全プロセスを起動します

停止中の管理対象のプロセスをすべて起動します。jxx は jco です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3574-I

jxx\_spmd\_reload: A reload request will now be sent to all running processes of コンポーネント名.

jxx\_spmd\_reload : コンポーネント名の起動中の全プロセスに対しリロード要求を送信します

起動中の管理対象のプロセスすべてに対しリロード要求を送信します。jxx は jco です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3577-I

jxx\_spmd\_stop: A stop request will now be sent to all processes of コンポーネント名.

jxx\_spmd\_stop : コンポーネント名の全プロセスに対し停止要求を送信します

管理対象のプロセスすべてに対し停止要求を送信します。jxx は jco です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3578-I

コンポーネント名 has ended.

コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

## KAVB3586-I

コンポーネント名 has terminated.

コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

## KAVB3597-I

jxx\_spmd\_stop -kill: A forced stop (kill) will be performed on all processes of コンポーネント名.

jxx\_spmd\_stop -kill : コンポーネント名の全プロセスに強制停止を行います

管理対象のプロセスすべてに対し強制停止を行います。jxx は jco です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3599-E

main\_loop: An invalid request was received for Service Control Manager. (event ID = 要求種別)

main\_loop : SCM から不正な要求を受け取りました eventid = 要求種別

不正な要求を受け取りました。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3602-I

コンポーネント名 received a startup report from 管理対象プロセス名.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名から起動完了通知を受信しました

起動完了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3603-I

All processes of コンポーネント名 are running.  
コンポーネント名の全プロセスが起動しました

管理対象プロセスがすべて起動しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3604-I

コンポーネント名 startup has finished.

コンポーネント名の起動が完了しました

サービスの起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

KAVB3605-I

コンポーネント名 completed to send the start up request to the 管理対象プロセス名.

コンポーネント名の管理対象プロセス名に対する起動要求が完了しました

異常終了した管理対象プロセスの再起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

KAVB3608-I

コンポーネント名 received a reload-completed notification from 管理対象プロセス名.

コンポーネント名の管理対象プロセス名からリロード完了通知を受信しました

管理対象プロセスからリロード完了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

KAVB3609-I

A コンポーネント名 reload request has finished.

コンポーネント名のリロード要求が完了しました

管理対象プロセスのリロード処理がすべて完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

KAVB3610-I

コンポーネント名 received an termination notification from 管理対象プロセス名.

コンポーネント名の管理対象プロセス名から終了通知を受信しました

管理対象プロセスから終了通知を受信しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3612-I

A stop request will now be sent to all processes of コンポーネント名.  
コンポーネント名の全プロセスに対し停止要求を送信します

管理対象プロセスすべてに対し停止要求を送信します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3613-W

A コンポーネント名 timeout occurred in 管理対象プロセス名. Processing continues.  
コンポーネント名の管理対象プロセス名の起動がタイムアウトしました 処理を継続します

管理対象プロセスの起動タイムアウトが発生しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

Windows の場合：

しばらく待ったあと、管理対象プロセスの起動が完了しないで、サービスが起動しない場合は、サービスを停止し再起動してください。

UNIX の場合：

しばらく待ったあと、管理対象プロセスの起動が完了しないで、サービスが起動しない場合は、jco\_stop で停止し再起動してください。

#### KAVB3614-E

Process management will now stop because an invalid コンポーネント名 status occurred.  
コンポーネント名不正な状態のためプロセス管理を停止します

不正な状態のためプロセス管理を停止します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3616-I

Restart of the コンポーネント名 管理対象プロセス名 has finished.  
コンポーネント名 の管理対象プロセス名 の再起動が完了しました

異常終了した管理対象プロセスの再起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3620-E

The user does not have permission to execute the command 実行コマンド名.  
実行権限がありません。実行コマンド名

Administrators 権限がないユーザーがコマンドを実行しようとしてしました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

Administrators 権限があるユーザーで実行してください。

#### KAVB3621-E

A fork system call failed during initialization: コンポーネント名  
初期化時に fork に失敗しました : コンポーネント名

プロセス管理の起動時にバックグラウンドで実行するための fork システムコールに失敗しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。また、OS が正常に運用されているか確認してください。

#### KAVB3623-E

The setsid function failed. (エラーの説明)

## setSID 関数が失敗しました エラーの説明

setSID システムコールが失敗しました。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。また、OS が正常に運用されているか確認してください。

## KAVB3624-E

An attempt to create a process management table has failed.

プロセス管理テーブルの作成に失敗しました

プロセス管理テーブルの作成に失敗しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか、また、製品が正しくインストールされているか確認してください。拡張起動プロセス定義ファイル (jplco\_service.conf) の設定値が正しく設定されているか確認してください。また、プロセス管理の管理対象プロセスが正常終了しないで残ってしまっていないか確認してください。

拡張起動プロセス定義ファイルを削除後、プロセス管理を起動してください。

## KAVB3625-E

An internal error occurred. Execution Command names differ. 実行コマンド名

内部エラー：実行コマンド名の不一致 実行コマンド名

実行コマンド名の不一致です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

実行コマンド名を確認してください。実行コマンド名を変更した場合は、動作しなくなります。

## KAVB3626-E

An attempt to create a lock file has failed. ロックファイルのパス-エラーの説明

ロックファイルの作成に失敗しました. ロックファイルのパス エラーの説明



ロックファイルの作成に失敗しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

conf ディレクトリがあるか、読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。また、クラスタシステムで運用している場合、定義したconf ディレクトリがあるか、読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。

#### KAVB3627-I

コンポーネント名 is already running.  
コンポーネント名はすでに起動しています

サービスの二重起動です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3631-E

build\_proc\_table : The return value NULL was returned to the getfield function. **設定値**  
build\_proc\_table : getfield 関数に戻り値 NULL が返りました. **設定値**.

拡張起動プロセス定義ファイル (jp1co\_service.conf) のエントリーが正しく設定されていません。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

拡張起動プロセス定義ファイルのエントリーが正しく設定されているか確認してください。

#### KAVB3642-E

An internal error occurred. Component names differ. **コンポーネント名**  
内部エラー : コンポーネント名の不一致 **コンポーネント名**

コンポーネント名の不一致です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3643-E

An attempt to open the environment definition file `ファイル名` has failed.  
環境定義ファイルがオープンできませんでした `ファイル名`

環境定義ファイルがオープンできませんでした。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

製品が正しくインストールされているか確認してください。

## KAVB3644-E

An attempt to expand the environment variables has failed.  
環境変数の展開に失敗しました

`jxx_spmd_env.conf` からの環境変数の読み込み処理に失敗しました。jxx は jco です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。

## KAVB3645-I

The logical hostname for process management is `論理ホスト名`.  
プロセス管理 `論理ホスト名` `論理ホスト名`

プロセス管理は論理ホストで起動します。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3646-I

The `オプション名` option is specified.  
`オプション名`オプションが指定されました

プロセス管理はオプション付きで起動します。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3647-E

The expiration of the time limit. 製品名称  
製品名称 使用期限が切れています

評価版の使用期限が切れました。

(S)

処理を中断します。

## KAVB3649-E

The environment variable of JP1\_HOSTNAME is empty.  
環境変数 JP1\_HOSTNAME が空文字です

環境変数JP1\_HOSTNAME の設定が正しくありません。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

環境変数JP1\_HOSTNAME に正しい論理ホスト名を設定するか、環境変数JP1\_HOSTNAME を削除してください。

## KAVB3651-I

Startup processing for コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の起動処理を開始します

プロセス管理が管理対象プロセスの起動処理を行います。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理が管理対象プロセスを起動します。

## KAVB3652-E

A timeout occurred during the wait for a response. (timeout period = タイムアウト秒 seconds)  
応答待ちタイムアウトが発生しました タイムアウト秒：タイムアウト秒

応答を待っている間にタイムアウトが発生しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

タイムアウト値を変えて再実行してください。

## KAVB3653-E

An attempt to send a request to the process management has failed.  
プロセス管理への要求送信に失敗しました

プロセス管理コマンドからプロセス管理への通信に失敗しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

/var/opt/jp1base/tmp ディレクトリがあるか確認してください。

## KAVB3654-E

An attempt to receive a response from the process management has failed.  
プロセス管理からの応答受信に失敗しました

プロセス管理コマンドがプロセス管理からのデータ受信に失敗しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

プロセス管理を再起動して、再実行してください。

## KAVB3655-E

Invalid data was received from the process management.  
プロセス管理から不正なデータを受信しました

プロセス管理コマンドがプロセス管理から不正なデータ受信しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。プロセス管理を再起動後、再実行してください。

## KAVB3656-I

The startup command terminated normally.  
起動コマンドは正常終了しました

プロセス管理の起動コマンドは正常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3657-E

The startup command terminated abnormally  
起動コマンドは異常終了しました

起動コマンドは異常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

jxx\_spmd\_status で状態を確認後、再実行してください。jxx は jco です。

#### KAVB3658-E

The startup command terminated abnormally due to an inconsistent state.  
起動コマンドは状態不正のため異常終了しました

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行した場合に出力されます。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから jxx\_spmd\_status で状態を確認後、再実行してください。jxx は jco です。

#### KAVB3659-I

There were no processes that could run.  
起動できるプロセスがありませんでした

起動できるプロセスがありません。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3660-E

Invalid data was received.  
不正なデータを受信しました

プロセス管理コマンドがプロセス管理から不正なデータ受信しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。プロセス管理を再起動後、再実行してください。

#### KAVB3661-E

An unexpected result code was received. (return code = リターンコード)  
ありえない結果コードを受信しました. Return Code = リターンコード

プロセス管理コマンドがプロセス管理からありえない結果コードを受信しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

jxx\_spm�\_status で状態を確認後、再実行してください。jxx は jco です。

#### KAVB3662-I

The process management is not running.  
プロセス管理は停止しています

プロセス管理が停止しています。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3663-E

Execute the command from the administrator console.  
管理者コンソールよりコマンドを実行してください

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

#### KAVB3672-I

A forced termination (kill) of コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の強制終了処理を開始します

プロセス管理の強制終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3674-I

Termination processing of コンポーネント名 has started.  
コンポーネント名の終了処理を開始します

プロセス管理の終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3675-I

The stop command terminated normally.  
終了コマンドは正常終了しました

プロセス管理の終了コマンドが正常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3676-E

The stop command terminated abnormally.  
終了コマンドは異常終了しました

終了コマンドは異常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから `jxx_spmc_status` で状態を確認後、再実行してください。jxx は jco です。

#### KAVB3677-E

The stop command terminated abnormally due to an inconsistent state.  
終了コマンドは状態不正のため異常終了しました

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB3678-I

There were no processes that could terminate.

終了できるプロセスが存在しませんでした

終了できるプロセスがありません。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3680-I

Reload processing for コンポーネント名 has started.

コンポーネント名のリロード処理を開始します

プロセス管理の管理対象プロセスのリロード処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3681-I

The reload command terminated normally.

リロードコマンドは正常終了しました

プロセス管理のリロードコマンドが正常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3682-E

The reload command terminated abnormally.

リロードコマンドは異常終了しました

リロードコマンドが異常終了しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。



(O)

管理対象プロセスで、リロード処理に失敗しているプロセスがないか確認してください。

#### KAVB3683-E

The reload command terminated abnormally due to an inconsistent state.

リロードコマンドは状態不正のため異常終了しました

プロセス管理がほかの処理をしている状態で、コマンドを実行しました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

#### KAVB3684-E

There were no processes that could be reloaded.

リロードできるプロセスが存在しませんでした

リロードできるプロセスがありません。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

管理対象プロセスが起動しているか確認してください。

#### KAVB3685-E

A timeout occurred in プロセス名.

プロセス名がタイムアウトしました

プロセス名で示すプロセスのリロード処理がタイムアウトしました。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

管理対象プロセスでリロード処理に失敗しているプロセスがないか確認してください。

#### KAVB3690-I

Processing to report the status of コンポーネント名 has started.

コンポーネント名の状態通知処理を開始します

プロセス管理の状態通知処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3691-I

All the processes have started.

プロセスは全て起動しています

すべての管理対象プロセスが起動しています。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3692-I

Some of the processes have started.

プロセスは一部起動しています

一部の管理対象プロセスが起動しています。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3693-I

All of the processes have stopped.

プロセスは全て停止しています

すべての管理対象プロセスが停止しています。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3694-I

Part of the process is now restarting.

プロセスは一部再起動中です

プロセス管理は一部再起動中です。

(S)

プロセス管理の状態通知コマンドを終了します。

## KAVB3705-I

管理対象プロセス名 is now starting. (process ID = プロセス ID)

管理対象プロセス名 開始中... pid = プロセス ID

管理対象プロセスを起動中です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3732-I

コンポーネント名 detected the termination of 管理対象プロセス名. (process ID = プロセス ID)

コンポーネント名 管理対象プロセス名の停止を検知しました プロセス ID = プロセス ID

管理対象プロセスの停止を検知しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3736-I

All processes of コンポーネント名 have stopped.

コンポーネント名の全プロセスが停止しました

管理対象プロセスがすべて停止しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

## KAVB3737-E

The コンポーネント名 管理対象プロセス名 terminated abnormally.

コンポーネント名 の 管理対象プロセス名は異常終了しました

管理対象プロセスの異常終了を検知しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

異常終了した管理対象プロセスが出力している統合トレースログを参照し、障害要因を取り除いてください。jxx\_spm�\_status コマンドで状態を確認後、再起動してください。jxx は jco です。もし、管理対象プロセスの出力しているメッセージが存在しなかった場合、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3743-I

コンポーネント名 has terminated.  
コンポーネント名を終了します

プロセス管理を終了します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

#### KAVB3744-I

コンポーネント名 startup has finished.  
コンポーネント名の起動が完了しました

サービスの起動が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3745-I

The コンポーネント名 startup request has finished.  
コンポーネント名の起動要求が完了しました

起動要求が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3752-E

An attempt to start 管理対象プロセス名 has finished. (return code = リターンコード, detail code = 要求コード)

管理対象プロセスの起動に失敗しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB3760-I

The changes to **ファイル名** were not applied.

**ファイル名** の変更は採用されませんでした

拡張起動プロセス定義ファイル(jp1co\_service.conf)の設定変更は採用されませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

#### KAVB3761-E

In the file **ファイル名**, the restart-or-not value is invalid. ( restart-or-not = **設定値**)

定義ファイル**ファイル名** : 再起動可否の値が不正です. **設定値**

拡張起動プロセス定義ファイル(jp1co\_service.conf)で設定された再起動可否の値が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

#### KAVB3762-I

Set 0 or 1 for the restart-or-not value.

再起動可否 : 0 か 1 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル(jp1co\_service.conf)で設定する再起動可否の値は 0 か 1 を設定してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

再起動可否の値は 0 か 1 を設定してください。

## KAVB3763-E

In the file **ファイル名**, the number-of-restarts value is invalid. (restart num. = **設定値**)  
定義ファイル**ファイル名** : 再起動回数の値が不正です. **設定値**

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定された再起動回数の値が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

## KAVB3764-I

Set 0 to 99 for the number-of-restarts value.  
再起動回数 : 0 から 99 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定する再起動回数の値は 0~99 を設定してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

再起動回数の値は 0~99 を設定してください。

## KAVB3765-E

In the file **ファイル名**, the restart interval value is invalid. (restart interval = **設定値**)  
定義ファイル**ファイル名** : リトライ間隔の値が不正です. **設定値**

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定されたリトライ間隔の値が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

## KAVB3766-I

Set 0 to 3600 for the restart interval value.  
リトライ間隔 : 0 から 3600 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定するリトライ間隔の値は 0~3,600 を設定してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

リトライ間隔の値は 0~3,600 を設定してください。

### KAVB3767-E

In the file `ファイル名`, the restart-count reset time is invalid. (restart-count reset time = `設定値`)  
定義ファイル`ファイル名` : 再起動回数リセット時間の値が不正です. `設定値`

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定された再起動回数リセット時間の値が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

設定値を変更して再実行してください。

### KAVB3768-I

Set 3600 to 2147483647 for the restart-count reset time.  
再起動回数リセット時間 : 3600 から 2147483647 を設定してください

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)で設定する再起動回数リセット時間の値は 3,600~2,147,483,647 を設定してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

再起動回数リセット時間の値は 3,600~2,147,483,647 を設定してください。

### KAVB3769-I

In `ファイル名`, check the entries: process-name|path|startup-option|restart-or-not|number-of-restarts|restart-interval|restart-count-reset-time|  
`ファイル名` のエンTRIESを確認してください : プロセス名|パス|起動オプション|再起動可否|再起動回数|リトライ間隔|再起動回数リセット時間|

拡張起動プロセス定義ファイル(`jp1co_service.conf`)のエントリーを確認してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

拡張起動プロセス定義ファイルのエントリーを確認してください。

#### KAVB3777-I

コンポーネント名: The stopped 管理対象プロセス名 will be restarted. (restart count = 再起動回数)

コンポーネント名: 停止した 管理対象プロセス名 を再起動します.再起動回数 = 再起動回数

停止した管理対象プロセスを再起動します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

管理対象プロセスを再起動します。

#### KAVB3778-I

コンポーネント名: A startup request was sent to the process 管理対象プロセス名.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 に起動要求を送信しました

管理対象プロセスに起動要求を送信しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3779-I

コンポーネント名: An attempt to send a startup request to the process 管理対象プロセス名 failed.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 の起動要求の送信が失敗しました

管理対象プロセスの起動要求送信に失敗しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB3786-E

To process 管理対象プロセスの子プロセス ID, the system sent the signal シグナル名.

pid = 管理対象プロセスの子プロセス ID のプロセスに シグナル名 を送信しました



管理対象プロセスの子プロセスにシグナルを送信しました。管理対象プロセスの子プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスが生成するプロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3788-E

コンポーネント名: The number of restarts of 管理対象プロセス名 exceeded the specified restart count.

コンポーネント名: 管理対象プロセス名 の再起動が設定再起動回数を超えました

管理対象プロセスの再起動回数が設定値を超えました。コンポーネント名は JPI\_CONS です。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。

(S)

処理を続行します。

(O)

異常終了した管理対象プロセスが出力している統合トレースログを参照し、障害要因を取り除いてください。jxx\_spm\_status コマンドで状態を確認後、プロセス管理を再起動してください。jxx は jco です。もし、管理対象プロセスの出力しているメッセージが存在しなかった場合、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3802-W

The process manager will not be monitored because an attempt to initialize the health check function failed.

ヘルスチェック機能の初期化に失敗したためプロセス管理は監視されません

ヘルスチェック機能の初期化に失敗したためプロセス管理は監視されません。

(S)

処理を続行します。

(O)

ヘルスチェック機能でプロセス管理を監視するためには、プロセス管理を再起動してください。

## KAVB3828-E

A system error occurred during startup of 製品名.

製品名の起動でシステムエラーが発生しました

製品名の起動時にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の OS のログを確認し、メモリー使用量、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほか  
に発生していないかを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB3840-E

The product information could not be acquired because there was not enough memory.  
(Detailed information:関数名,戻り値)

リソース不足のため製品情報取得に失敗しました(詳細情報:関数名,戻り値)

リソース不足のため、製品情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

リソース不足を解消したあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3841-E

The product information could not be acquired because the environment is invalid.(Detailed  
information:関数名,戻り値)

環境不正のため製品情報取得に失敗しました(詳細情報:関数名,戻り値)

環境不正のため、製品情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。

アンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB3846-I

コンポーネント名 completed the reload request.  
コンポーネント名のリロード要求は完了しました

リロード処理が完了しました。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3855-I

The process 管理対象プロセス名 will be terminated by SIGKILL. (process ID = プロセス ID)  
プロセス 管理対象プロセス名 SIGKILL で停止します... pid = プロセス ID

管理対象プロセスに SIGKILL を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3862-E

コンポーネント名: No processes could be started.  
コンポーネント名プロセスが一つも起動できませんでした

管理対象プロセスが一つも起動できませんでした。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理を終了します。

(O)

システムのメモリーが不足していないか、また、製品が正しくインストールされているか確認してください。

## KAVB3863-E

コンポーネント名: No processes can be reloaded.  
コンポーネント名 リロードできるプロセスがありません

管理対象プロセスがすべてリロードできる状態ではありませんでした。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

(O)

しばらく待ったあと、再実行してください。

## KAVB3870-E

The conf directory path cannot be obtained from the common definition.  
共通定義から conf ディレクトリパスが取得できません

共通定義から conf ディレクトリパスが取得できませんでした。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。

### クラスタシステムで運用している場合

プロセス管理コマンドで指定している引数の論理ホスト名が正しいか確認してください。また、環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

### クラスタシステムで運用していない場合

環境変数 JP1\_HOSTNAME を設定し、起動していないか確認してください。環境変数 JP1\_HOSTNAME を設定していない場合は、次の操作を行って回復してください。

- ・ Windows の場合

上書きインストールを行ってください。

- ・ UNIX の場合

jp1cc\_setup コマンド、または jp1cs\_setup コマンドを実行してください。

## KAVB3871-E

The conf directory path cannot be obtained by using the specified logical hostname.  
指定された論理ホスト名で conf ディレクトリパスが取得できません

指定された論理ホスト名で共通定義から conf ディレクトリパスが取得できませんでした。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

クラスタシステムでの運用が前提です。指定した論理ホスト名が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。

## KAVB3872-E

The log directory path cannot be obtained from the common definition information.

共通定義から log ディレクトリパスが取得できません

共通定義から log ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
**クラスタシステムで運用している場合**  
論理ホスト名の設定が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。
- クラスタシステムで運用していない場合**  
次の操作を行って回復してください。
- ・ Windows の場合  
修正インストールを行ってください。
  - ・ UNIX の場合  
セットアップコマンドを実行してください。

#### KAVB3873-E

The log directory path cannot be obtained by using the specified logical hostname.  
指定された論理ホスト名で log ディレクトリパスが取得できません

指定された論理ホスト名で共通定義から log ディレクトリパスが取得できませんでした。

- (S)  
プロセス管理コマンドを終了します。
- (O)  
クラスタシステムでの運用が前提です。指定した論理ホスト名が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。

#### KAVB3874-E

HNTRLib could not be initialized.  
HNTRLib が初期化できませんでした

HNTRLib2 が初期化できませんでした。ログが出力されません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
プロセス管理起動時の場合は、プロセス管理を停止し、再起動してください。

## KAVB3875-E

HNTRLib could not be initialized.  
HNTRLib が初期化できませんでした

HNTRLib2 が初期化できませんでした。ログが出力されません。

(S)

処理を続行します。

(O)

プロセス管理起動時の場合は、プロセス管理を停止し、再起動してください。

## KAVB3899-E

The work directory path cannot be acquired from the common definition information. (return code = リターンコード)  
共通定義から work ディレクトリパスが取得できません

共通定義から work ディレクトリパスが取得できませんでした。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

クラスタシステムで運用している場合、論理ホスト名の設定が正しいか、または設定が正常に終了しているか確認してください。クラスタシステムで運用していない場合は、次の操作を行って回復してください。

・Windows の場合

修正インストールを行ってください。

・UNIX の場合

セットアップコマンドを実行してください。

## KAVB3905-I

A stop request was sent to the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセス ID)  
プロセス 管理対象プロセス名に停止要求を送信しました... pid = プロセス ID

管理対象プロセスに停止要求を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3908-I

A reload request was sent to the process **管理対象プロセス名**. (process ID = **プロセス ID**)  
プロセス **管理対象プロセス名**にリロード要求を送信しました... pid = **プロセス ID**

管理対象プロセスにリロード要求を送信しました。**管理対象プロセス名**は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3910-I

SIGTERM will terminate the process **管理対象プロセス名**. (process ID = **プロセス ID**)  
プロセス **管理対象プロセス名** SIGTERM で停止します... pid = **プロセス ID**

管理対象プロセスに SIGTERM を送信しました。**管理対象プロセス名**は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3911-E

The process management daemon is busy.  
コマンド処理中です

コマンドを処理中です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。起動、停止、またはリロード処理中に、**jxx\_spmd**, **jxx\_spmd\_stop**, **jxx\_spmd\_reload** コマンドを実行した場合には出力されているときは、処理が完了するのを待ってから再実行してください。**jxx** は **jco** です。

## KAVB3912-I

The process is running.  
プロセスは起動しています

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3913-I

The process is not running.  
プロセスは停止しています

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

#### KAVB3914-E

An attempt to open the lock file under the conf directory has failed.  
conf ディレクトリのロックファイルがオープンできません

conf ディレクトリのロックファイルがオープンできませんでした。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

conf ディレクトリがあるか、または書き込み権限があるか確認してください。

クラスタシステムで運用している場合、定義したconf ディレクトリがあるか、または書き込み権限があるか確認してください。

#### KAVB3915-E

An error exists in the パラメーター名.  
パラメーター名の指定に誤りがあります

通信暗号化機能 (SSL 通信) のパラメーターに問題があります。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

表示されたパラメーター名のファイルまたはディレクトリにアクセスできるか確認してください。

また、通信暗号化機能 (SSL 通信) の次の設定を確認してください。

- ENABLE パラメーターの値が 0 または 1 になっているか。
- PRIVATEKEYFILE パラメーターで指定したファイルにパスフレーズが設定されていないか。
- CERTIFICATEFILE パラメーターで指定した証明書の CSR が、PRIVATEKEYFILE パラメーターで指定した秘密鍵で発行されているか。



- SSLPROTOCOL パラメーターで指定した SSL 通信のバージョンが正しいか。
- SSLCIPHERS パラメーターで指定した暗号スイートが正しいか。
- BASESSL パラメーターで指定したサービス名が正しいか。
- BASESSL パラメーターに jp1imcnda を指定している場合、PRIVATEKEYFILE パラメーター、CERTIFICATEFILE パラメーター、および SSLPROTOCOL パラメーターに値を設定しているか。

#### KAVB3916-I

SSL communication is enabled.

SSL 通信が有効です (SSL 通信の適用範囲)

#### KAVB3917-I

SSL communication is disabled.

SSL 通信が無効です

#### KAVB3918-E

Initialization of SSL communication failed. (保守情報)

SSL 通信初期化処理に失敗しました (保守情報)

SSL 通信処理の初期化に失敗しました。

(S)

プロセス管理コマンドを中止します。

(O)

通信暗号化機能 (SSL 通信) の定義が誤っていないか、OS のリソースおよびメモリー状況が著しく劣化していないか確認してください。

#### KAVB3935-E

create\_pre\_process\_entry: Memory allocation failed. (要求コード)

create\_pre\_process\_entry : メモリ確保に失敗しました : 要因コード

起動前処理管理テーブルの作成に失敗しました。起動前処理は行われません。

(S)

処理を続行します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。

## KAVB3960-I

Startup preprocessing is being performed.  
起動前処理中です

プロセス管理は起動前処理中です。

(S)

プロセス管理の状態通知コマンドを終了します。

## KAVB3961-E

The request could not be accepted because startup preprocessing is being performed.  
起動前処理中の為、要求を受けられません

プロセス管理は起動前処理中のため、コマンド要求を受け付けられませんでした。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

## KAVB3981-I

jxx\_spmd\_stop -job: A request to stop job restrictions will be sent to all processes of コンポーネント名.  
jxx\_spmd\_stop -job : コンポーネント名の全プロセスに対しジョブ制限停止要求を送信します

管理対象のプロセスすべてに対しジョブ制限停止要求を送信します。jxx は jco です。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

処理を続行します。

## KAVB3984-I

A request to stop job restrictions has been sent to the process 管理対象プロセス名. (process ID = プロセス ID)  
プロセス 管理対象プロセス名にジョブ制限停止要求を送信しました... pid = プロセス ID

管理対象プロセスにジョブ制限停止要求を送信しました。管理対象プロセス名は、プロセス管理の管理している各コンポーネントを構成しているプロセスの名前です。プロセス ID は、起動中の管理対象プロセスのプロセス ID です。

(S)

処理を続行します。

KAVB3986-I

Processing to stop コンポーネント名 job restrictions has started.

コンポーネント名のジョブ制限終了処理を開始します

プロセス管理のジョブ制限終了処理を開始します。コンポーネント名は JP1\_CONS です。

(S)

プロセス管理コマンドを終了します。

## 2.6 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージ (KAVB4001～KAVB6000)

---

### KAVB4001-W

Cannot open specified file(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
指定したファイル(ファイル名)がオープンできません : システムのエラーメッセージ

指定したファイルにアクセス権限がないなどで、ファイルがオープンできません。

(S)

指定したファイルに対する処理を中止します。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

### KAVB4002-W

Event Server cannot be connected.  
イベントサーバに接続できません

イベントサーバを起動していないか、イベントサーバが停止しました。

(S)

イベントサーバへの再接続処理を試みます。

(O)

イベントサーバを再起動してください。

### KAVB4003-I

Event Server is connected.  
イベントサーバに接続しました

イベントサーバとの接続に成功しました。

### KAVB4004-E

An invalid logical host name(論理ホスト名) is specified.  
不適切な論理ホスト名(論理ホスト名)が指定されています

環境変数JP1\_HOSTNAME またはコマンドの-h オプションに設定された論理ホスト名が誤っています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

環境変数JP1\_HOSTNAME またはコマンドの-h オプションの設定値を修正し、再実行してください。

#### KAVB4005-W

No Logical Host Name is specified.

論理ホスト名が指定されていません

環境変数JP1\_HOSTNAME に論理ホスト名が指定されていません。

(S)

デフォルトの論理ホスト名で処理を続行します。

(O)

論理ホスト名の指定が必要な場合は環境変数を設定し、再実行してください。

#### KAVB4006-W

An illegal option(-オプション) was specified.

不適切なオプション(-オプション)が指定されています

誤ったオプションが指定されています。

(S)

指定されたオプションの値を無視して処理を続行します。

(O)

オプションの設定値を修正し、再実行してください。

#### KAVB4007-W

No value is specified for option (-オプション).

オプション(-オプション)の値が指定されていません

値が必要なオプションに、値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を打ち切ります。

(O)

オプションの値を修正し、再実行してください。

#### KAVB4008-W

Extra argument (S) exist.

余分な引数が指定されています

余分な引数が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を修正し、再実行してください。

#### KAVB4009-W

Invalid value for option(-指定オプション).  
オプション(-指定オプション)の値に誤りがあります

指定したオプションの値に誤りがあります。

(S)

コマンドの処理を打ち切ります。

(O)

オプションの値を修正し、再実行してください。

#### KAVB4010-W

Option(-指定オプション) appears twice or more.  
オプション(-指定オプション)が2回以上指定されています

同じオプションが2回以上指定されています。

(S)

指定オプションを無視し、処理を続行します。

(O)

オプションの値を修正し、再実行してください。

#### KAVB4011-W

An invalid option combination exists.  
オプションの組み合わせが不正です

同時に指定できないオプションの組み合わせが指定されています。

(S)

指定したオプションを無視して処理を続行します。

(O)

オプションを正しく設定し直してください。

## KAVB4012-W

An invalid host name is specified for the JP1\_HOSTNAME environment variable.

環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定された論理ホスト名が誤っています

環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定された論理ホスト名が 255 バイトを超えているか、論理ホストとして共通定義に設定されていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定値を修正し、再実行してください。

## KAVB4013-I

Filtering will be performed according to the event acquisition filter.

イベント取得フィルターに従ってフィルタリングを行います

イベント取得フィルターに従ってフィルタリングを行います。

## KAVB4014-I

The event acquisition filter definition file was read. The read definitions will be used for processing from the next received event. (filter name = **フィルター名**, last received event = **到着時刻**, serial number in event DB = **イベント DB 内通し番号**)

イベント取得条件定義を読み込みました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(フィルター名：**フィルター名** , 最後に受信したイベント：**到着時刻=到着時刻** , イベント DB 内通し番号=**イベント DB 内通し番号**)

jcochfilter コマンド、または JP1/IM - View からの操作によって、イベント取得条件定義ファイルを読み込みました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から、読み込んだ定義の内容でイベント取得処理を行います。イベント基盤サービスがイベントを受信していない場合、到着時刻と番号は"--"になります。

## KAVB4015-W

An essential option (**必須オプション**) is not specified.

**必須オプション(必須オプション)**が指定されていません

必須オプションが指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し、再実行してください。

## KAVB4016-W

The 機能名 is enabled, but a prerequisite function is disabled. To use the 機能名, enable its prerequisite functions. (prerequisite functions: 前提機能名の一覧)

機能名は有効で設定しましたが、前提機能は無効で設定されています。機能名を使用する場合は、前提機能も有効に設定してください。(前提機能:前提機能名の一覧)

有効に設定している機能の前提機能が無効に設定されています。有効に設定している機能を使用する場合は、前提機能の設定も有効にしてください。

(S)

処理を終了します。

(O)

メッセージに表示されている機能を使用する場合は、前提機能の設定も有効にしてください。

## KAVB4020-W

Failed to get Common Defined Information(情報名). : 保守情報

共通定義情報(情報名)の取得に失敗しました : 保守情報

表示した共通定義情報の取得に失敗しました。

(S)

デフォルトの値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を修正して再実行してください。

## KAVB4021-W

File name is too long.

ファイル名が長過ぎます

インストールパス、または共通定義に設定したディレクトリかファイル名の指定値が長いため、ファイルの完全名が 256 バイトを超えています。

(S)

ファイルがないものとして処理を続行します。

(O)

インストールパスを短くして再インストールするか、共通定義の指定値を短くしてください。



## KAVB4022-E

No executing permission  
実行権限がありません

コマンドを実行する権限がありません。

- (S)  
処理を打ち切ります。
- (O)  
Administrators など、実行権限を持ったユーザーでログインして再実行してください。

## KAVB4023-W

An invalid value is specified for common definition information.(共通定義名=値)  
共通定義情報の指定が誤っています(共通定義名=値)

共通定義情報の設定値が間違っています。

- (S)  
デフォルトの値で処理を続行します。
- (O)  
共通定義情報の値を修正して、再実行してください。

## KAVB4024-I

正規表現方式(「JP1 独自」または「拡張正規表現」) will be used for the regular expression.  
正規表現は正規表現方式(「JP1 独自」または「拡張正規表現」)を使用します。

共通定義情報として取り出された正規表現方式を出力します。

## KAVB4026-E

The argument value (引数) of the option (オプション) is invalid.  
オプション (オプション) の引数値 (引数) が不正です

オプションの引数値が正しくありません。

- (S)  
処理を終了します。
- (O)  
オプションの指定値を正しく指定し直してください。

## KAVB4027-E

The same action ID is specified for -on and -off. (action ID = アクション ID)  
-on と -off に同じアクション ID が指定されています(アクション ID:アクション ID)

jcachange コマンドの-on と-off オプションに同じアクション ID が指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションの指定値を正しく指定し直してください。

## KAVB4028-E

The specified action ID is not defined in the action definition file. (action ID = アクション ID)  
指定されたアクション ID がアクション定義ファイルに定義されていません(アクション ID:アクション ID)

指定されたアクション ID がアクション定義ファイルに定義されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

アクション定義ファイルを確認し、存在するアクション ID を指定してください。

## KAVB4029-E

The condition for executing the action is not defined. (file = ファイル名)  
アクション実行条件が定義されていません(ファイル名: ファイル名)

アクション実行条件が定義されていないため、有効化または無効化に変更できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

アクション実行条件をアクション定義ファイルに記述してください。

## KAVB4050-I

Automatic Action was started. : 論理ホスト名  
自動アクション処理を開始します : 論理ホスト名

自動アクション処理プロセスを起動します。

(S)

これ以降に発生したイベントがアクションの対象となります。ただし、系切り替え対応機能を使用した場合は除きます。

#### KAVB4051-I

Automatic Action was terminated. : 論理ホスト名

自動アクション処理を終了します : 論理ホスト名

自動アクション処理プロセスを終了します。

(S)

これ以降自動アクション機能を実行しません。

#### KAVB4052-I

Reading Action Definition File(自動アクション定義ファイル名).

アクション定義ファイル(自動アクション定義ファイル名)を読み込みます

jcachange コマンドが実行されたため、自動アクション定義ファイルを再読み込みします。

(S)

これ以降、表示した自動アクション定義ファイルの内容で動作します。

#### KAVB4053-I

Suspended Automatic Action.

自動アクションを休止します

jcachange コマンドの-n オプションの指定によって、自動アクション処理を休止します。または、読み込んだ自動アクション定義ファイルに、有効なアクション定義がない場合にも、自動アクション処理を休止します。

(S)

自動アクションの実行を休止します。

#### KAVB4054-E

Automatic Action was terminated abnormally. (Hostname : ホスト名)

自動アクション処理が異常終了しました (ホスト名 : ホスト名)

続行できない障害が発生したため、ホスト (ホスト名) の自動アクション処理が異常終了しました。

(O)

自動アクション処理が異常終了したホストで、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4055-I

The action definition file was read and the automatic action function status was changed to operating. The processing will be based on the definitions read from the subsequently received (最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS)) events. (Definition=有効な定義数/ファイル内の全定義数, SEQNO=最後に処理したイベントのイベント DB 内通し番号) アクション定義ファイルを読み込み自動アクション機能を稼働状態にしました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(定義数：有効な定義数 / ファイル内の全定義数, 最後に受信したイベント：到着時刻=最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS), イベント DB 内通し番号=最後に処理したイベントのイベント DB 内通し番号)

jcachange コマンドまたは画面からの操作によって、自動アクション定義ファイルを読み込み、自動アクション機能が稼働状態になりました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から読み込んだアクション定義の内容でアクション処理を行います。

自動アクションがイベントを受信していない場合は、「到着時刻」と「イベント DB 内通し番号」には「--」が表示されます。

#### KAVB4056-I

Automatic action was suspended. Automatic actions cannot be executed for the subsequently received (最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS)) events. (SEQNO=最後に処理したイベントのイベント DB 内通し番号)

自動アクションを休止しました。次に受信したイベントから自動アクションが実行されません (最後に受信したイベント：到着時刻=最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS), イベント DB 内通し番号=最後に処理したイベントのイベント DB 内通し番号)

jcachange コマンドの-n オプションの指定によって自動アクションを休止します。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次からアクション処理を行いません。

自動アクションがイベントを受信していない場合は、「到着時刻」と「イベント DB 内通し番号」には「--」が表示されます。

(S)

これ以降、自動アクションの実行を休止します。

#### KAVB4057-I

The event base service was connected.

イベント基盤サービスと接続しました

アクション実行サービスからイベント基盤サービスに接続しました。

#### KAVB4058-E

An attempt to connect to the event base service failed.

イベント基盤サービスへの接続に失敗しました

イベント基盤サービスからアクション実行サービスへの接続に失敗しました。

(S)

イベント基盤サービスからの接続待ちを停止し、処理を続行します。

(O)

イベント基盤サービスが起動しているか `jco_spm�_status` コマンドを使用して確認してください。起動している場合、イベント基盤サービスの起動処理に時間が掛かり、イベント基盤サービスがアクション実行サービスへ接続する前に、アクション実行サービスが接続待ちを停止しているおそれがあります。イベント基盤サービスのリトライ設定を見直してください。リトライを設定し直しても接続できない場合やイベント基盤サービスが起動していない場合、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4059-I

The event base service was disconnected.

イベント基盤サービスとの接続を切断しました

アクション実行サービスとイベント基盤サービス間の接続を切断しました。

(S)

以降、イベント基盤サービスからアクション要求を受け付けません。

#### KAVB4060-E

An attempt to receive an action request from the event base service failed. :(Last SEQNO: アクション実行サービスがイベント基盤サービスから最後に受信したイベント内 DB 通し番号)

イベント基盤サービスからアクション要求の受信に失敗しました：(最後に受信したイベント DB 内通し番号:アクション実行サービスがイベント基盤サービスから最後に受信したイベント内 DB 通し番号)

イベント基盤サービスからアクション要求の受信に失敗しました。

(S)

イベント基盤サービスとの接続を切断し、以後再接続されるまでアクション要求を受信しません。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4101-W

Action Definition File(ファイル名) does not exist.

アクション定義ファイル(ファイル名)がありません

自動アクション定義ファイルがありません。

(S)

自動アクション定義ファイルの処理を中断します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4120-W

Invalid Event AND condition. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント AND 条件の記述に誤りがあります (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

先頭または無効なアクション定義にイベント AND 条件が指定されています。またはイベント AND 条件の記述のあとに空白がありません。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4121-W

Action Definition File(ファイル名) ends with Continuation character.

アクション定義ファイル(ファイル名)は継続文字で終わっています

自動アクション定義ファイルの最後が継続文字(¥)で終わっています。

(S)

該当する行の自動アクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4122-W

Length of parameter exceeds 最大長 bytes. (line: 行番号, file: ファイル名)

1件のパラメーター長が最大長バイトを超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

1件のアクション定義のパラメーター長(継続文字(¥)を含む)が最大長バイトを超えています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4123-W

Invalid Parameter Group Number. (line: 行番号, file: ファイル名)

パラメーターグループ番号の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義のパラメーターグループ番号が 0~9 以外であるか、パラメーターグループ番号の記述のあとに空白がありません。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4124-W

Cannot specify Event AND Condition when Parameter Group Number is specified. (line: 行番号, file: ファイル名)

パラメーターグループ番号を指定した場合はイベント AND 条件は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義にパラメーターグループ番号とイベント AND 条件の両方を指定しました。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4125-W

Invalid Event ID. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント ID の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義のイベント ID の記述がない、記述が誤っている、またはイベント ID の記述のあとに空白がありません。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4126-W

Invalid character specified. (line: 行番号, file: ファイル名)

不適切な文字が指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義に誤った文字を指定しています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4127-W

Invalid regular expression. (line: 行番号, file: ファイル名)

正規表現の記述に誤りがあります (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義の正規表現の記述に誤りがあります。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4128-W

Punctuation mark (S) (:): not specified. (line: 行番号, file: ファイル名)

区切り記号(:)が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

[:] が指定されていないため、アクションが確認できません。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4129-W

Action not specified. (line: 行番号, file: ファイル名)

アクションが指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)



ユーザー名、環境変数ファイル名、または実行先ホスト／グループ名が指定されているにもかかわらず、アクションが指定されていません。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4130-W

Invalid User Name. (line: 行番号, file: ファイル名)

ユーザー名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

ユーザー名の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4131-W

Invalid Environment File name. (line: 行番号, file: ファイル名)

環境変数ファイル名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

環境変数ファイル名の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4132-W

Invalid Execution Host or Group. (line: 行番号, file: ファイル名)

実行先ホスト／グループ名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

実行先ホスト／グループ名の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4133-W

More than 10 event AND conditions are specified in Action Definitions. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント AND 条件の指定が 10 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

10 件を超えるアクション定義にイベント AND 条件を指定しました。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4134-W

There is no effective Action Definition for the Action Definition File. (file: ファイル名)

アクション定義ファイルに有効なアクション定義がありません (ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイル中に、有効なアクション定義が 1 件もありません。

(S)

自動アクション定義を設定せず処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4135-W

Invalid Severity of Event Extended Attribute. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント拡張属性重大度の記述に誤りがあります (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義のイベント拡張属性重大度の記述に誤りがあります。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4136-W

More than 100 Event Extended Attributes are specified. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント拡張属性の指定が 100 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

100 件を超えるイベント拡張属性を 1 件のアクション定義に指定しました。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4137-W

Invalid Event Extended Attribute Name. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント拡張属性名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント拡張属性名の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4138-W

Invalid Event Extended Attribute Value. (line: 行番号, file: ファイル名)

イベント拡張属性値の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント拡張属性名の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4139-W

The version of the action definition file is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

バージョン情報の記述が誤っています。

(S)

自動アクション定義ファイルのバージョンを 2 と仮定して、処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して、再実行してください。

## KAVB4140-W

The location of the action status monitoring parameter is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
アクション状態監視パラメーターの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション状態監視パラメーターの記述箇所が誤っています。

(S)

該当する行の自動アクション状態監視パラメーターは無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4141-W

The action status monitoring parameter is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
アクション状態監視パラメーターの記述に誤りがあります (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション状態監視パラメーターの記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4142-W

The suppression time is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
抑止時間の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

抑止時間の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4143-W

The delay monitoring time is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
遅延監視時間の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

遅延監視時間の記述が誤っています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4144-W

The location of the action definition file version is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
アクション定義ファイルバージョンの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルバージョンの記述箇所が誤っています。

(S)

該当する行の自動アクション定義ファイルのバージョンは無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4145-W

The Suppression Time cannot be specified because event AND conditions are specified. (line: 行番号, file: ファイル名)  
イベントAND条件を指定しているため抑止時間は指定できません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント AND 条件が指定されているアクション定義に抑止時間が設定されています。

(S)

該当する行とイベント AND 条件に指定されたアクション定義は無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB4146-W

The length of Action parameter exceeds 最大長 bytes. (line: 行番号, file: ファイル名)  
アクションのパラメーター長が最大長バイトを超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義のアクションのパラメーター長が最大長バイトを超えています。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を継続します。

(O)

アクション定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

## KAVB4147-W

The length of the event monitoring condition parameter exceeds 最大長 bytes. (line = 行番号, file = ファイル名)

イベント監視条件に設定できるパラメーター長が最大長バイトを超えています (行番号:行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義パラメーターのイベント監視条件に設定できるパラメーター長が最大長バイトを超えています。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

アクション定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

## KAVB4148-E

The action ID is duplicated. (action ID = アクション ID)

アクション ID が重複しています(アクション ID:アクション ID)

指定したアクション ID が重複しています。

(S)

アクション定義ファイルの更新をしません。

(O)

重複したアクション ID を変更して、再度実行してください。

## KAVB4150-W

Failed to read data from Action Information File(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクション情報ファイル(ファイル名)からの読み込みに失敗しました : システムのエラーメッセージ

アクション情報ファイルからのデータの取得に失敗しました。

(S)

アクション情報ファイルに対する処理を打ち切ります。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

## KAVB4151-W

Failed to write data to Action Information File(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクション情報ファイル(ファイル名)への書き込みに失敗しました : システムのエラーメッセージ

アクション情報ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

アクション情報ファイルに対する処理を打ち切ります。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVB4152-I

Information for an unfinished action was erased.

未終了のアクションに対する情報を消去しました

アクション情報ファイルの容量が上限に達したので上書きしました。上書きする前のアクション情報ファイルにあった、未終了のアクションについてのデータは消去されました。

(S)

データを上書きします。情報が消去されたアクションは、系切り替えが発生しても再実行の対象とはなりません。

(O)

アクション情報ファイルの容量を見直してください。

#### KAVB4153-E

Failed to open Action Information File(アクション情報ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクション情報ファイル(アクション情報ファイル名)のオープンに失敗しました : システムのエラー  
メッセージ

指定されたアクション情報ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVB4154-E

Specified file(アクション情報ファイル名) is not Action Information File.

指定したファイル (アクション情報ファイル名) はアクション情報ファイルではありません

共通定義またはコマンドの引数に指定されたファイルは、アクション情報ファイルではないか、ファイルが壊れています。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

正しいアクション情報ファイルを指定するか、アクション情報ファイルを再度作成してください。

#### KAVB4155-E

The version of the action definition file is invalid. (line: 行番号, file: ファイル名)  
アクション定義ファイルのバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

DESC\_VERSION が 4 未満のため、アクション定義を有効化または無効化できませんでした。

(S)

アクション定義ファイルの更新処理を打ち切ります。

(O)

自動アクション定義ファイルのDESC\_VERSION が 4 になっていることを見直してください。

DESC\_VERSION が 1~3 の場合は、jcadefconv コマンドでDESC\_VERSION が 4 のアクション定義に変換してください。

#### KAVB4180-W

Failed to open Action Host Name File(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクションホスト名格納ファイル(ファイル名)のオープンに失敗しました : システムのエラーメッセージ

アクションホスト名格納ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

アクションホスト名格納ファイルへアクション、ホスト名を退避しません。

(O)

システムのエラーメッセージに従って、対処してください。

#### KAVB4181-W

Failed to write data to Action Host Name File(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクションホスト名格納ファイル(ファイル名)への書き込みに失敗しました : システムのエラーメッセージ

アクションホスト名格納ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

アクションホスト名格納ファイルに対する処理を打ち切ります。



(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVB4182-W

Failed to read data from Action Host Name File(ファイル名). : システムのエラーメッセージ  
アクションホスト名格納ファイル(ファイル名)からの読み込みに失敗しました : システムのエラーメッセージ

アクションホスト名格納ファイルからのデータの取得に失敗しました。

(S)

アクションホスト名格納ファイルに対する処理を打ち切ります。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。

#### KAVB4250-E

Cannot connect with Command Control because the logical host name could not be obtained. : 保守情報

論理ホスト名が取得できなかったためコマンド制御に接続できませんでした : 保守情報

論理ホスト名が取得できなかったため、コマンド制御に接続できませんでした。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

論理ホスト名を正しく設定してください。

#### KAVB4251-E

Error that prevented processing occurred in Command Execution. : 保守情報

コマンド実行で続行不能エラーが発生しました : 保守情報

コマンド実行への（再）接続時に続行できないエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

コマンド実行の状態を確認して対処してください。

## KAVB4252-I

Established connection with Command Execution.

コマンド実行に接続しました

コマンド実行に接続しました。

## KAVB4253-W

Failed to connect with Command Execution. : 保守情報

コマンド実行への接続に失敗しました : 保守情報

コマンド実行への接続に失敗しました。

(S)

コマンド実行への再接続を試みます。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。そのあと、コマンド実行の状態を確認し、起動していない場合は起動してください。

- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

## KAVB4254-E

Failed to initialize communication Infrastructure. : 保守情報

通信基盤の初期化に失敗しました : 保守情報

通信基盤の初期化に失敗しました。

(S)

エラーの発生したプロセスを終了します。

(O)

設定ファイルを確認して対処してください。

## KAVB4350-W

Error occurred in Environment File(環境変数ファイル名). : システムのエラーメッセージ

環境変数ファイル(環境変数ファイル名)の処理に失敗しました : システムのエラーメッセージ

移行対応のアクションを実行しようとしたところ、環境変数ファイルの操作でエラーが発生しました。

(S)

該当アクションを実行せずに処理を続行します。

(O)

システムのエラーメッセージを参考にして、エラーを解決してください。

#### KAVB4400-E

The run time of an action for an event exceeded the action delay monitoring time.(Event\_ID= イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号, Execution Host=アクション実行ホスト, Action Serial Number=アクション通し番号) Delay monitoring notifications will not be sent until suppression of the function for sending notifications to the action delay monitor is canceled.  
イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクション(実行ホスト=アクション実行ホスト, アクション通し番号=アクション通し番号)の実行時間がアクション遅延監視時間を超過しました。以降アクション遅延監視への通知機能の抑止を解除するまで、遅延監視の通知を実行しません

監視対象のアクションが、監視時間を経過しても終了しませんでした。

(S)

通知機能を実行します。

(O)

対象のアクションの設定内容を確認し、アクションの監視時間が適切かどうか確認してください。

監視時間が適切でない場合、適切な監視時間を設定してください。

監視時間が適切である場合、アクションが遅延しています。対処してください。

#### KAVB4401-I

Suppression of the function for sending notifications to the action delay monitor was canceled.  
アクション遅延監視機能の通知抑止を解除しました

アクション遅延監視の通知抑止を解除しました。

(S)

以降、アクションが監視時間を経過した場合には通知機能を実行します。

#### KAVB4402-E

An event status is abnormal.(event ID = イベント ID, event serial number = イベント DB 内通し番号, execution host = アクション実行ホスト, action serial number = アクション通し番号)  
Status monitoring notifications will not be sent until suppression of the function for sending notifications to the action status monitor is canceled  
イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクション(実行ホスト=アクション実行ホスト, アクション通し番号=アクション通し番号)の状態が異常状態になりました。以降アクション状態監視への通知機能の抑止を解除するまで、状態監視の通知を実行しません

アクションの状態が「実行不可」または「実行失敗」になりました。

(S)

通知機能を実行します。

(O)

対象のアクションが実行できない状態になりました。実行できなかった要因を取り除き、アクションを再実行してください。

#### KAVB4403-I

Suppression of the function for sending notifications to the action status monitor was canceled.

アクション状態監視機能の通知抑止を解除しました

アクション状態監視の通知抑止を解除しました。

(S)

以降、異常状態となったアクションが発生した場合には通知機能を実行します。

#### KAVB4404-E

Although the run time of an action exceeded the action delay monitoring time, an action delay notification event could not be sent because no action information exists in the action information file.(action serial number = アクション通し番号) Delay monitoring notifications will not be sent until suppression of the function for sending notifications to the action delay monitor is canceled.

アクション(アクション通し番号=アクション通し番号)の実行時間がアクション遅延監視時間を超過しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション遅延通知イベントを発行できませんでした。以降アクション遅延監視への通知機能の抑止を解除するまで、遅延監視の通知を実行しません

アクション遅延通知イベントを発行しようとしたのですが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション遅延通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認してください。適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。

## KAVB4405-E

Although an action status is abnormal, an action state notification event could not be sent because no action information exists in the action information file. Status monitoring notifications will not be sent until suppression of the function for sending notifications to the action status monitor is canceled. : 保守情報

アクションの状態が異常状態になりましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報がないためアクション異常状態通知イベントを発行できませんでした。以降アクション状態監視への通知機能の抑止を解除するまで、状態監視の通知を実行しません : 保守情報

アクション異常状態通知イベントを発行しようとしたのですが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション異常状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認してください。適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。

## KAVB4406-W

Information about actions for delay monitoring have been overwritten in the action information file.

遅延監視対象アクションの情報を上書きしました

監視対象アクションが、アクション情報ファイルからラップしました。そのため、遅延監視時間を経過したときに通知できませんでした。

(S)

監視対象アクションが、アクション情報ファイルからラップしたことを通知します。

(O)

監視対象アクションが、アクション情報ファイルからラップしました。今後、このアクションが遅延しても通知できません。このアクションの実行状態を確認したい場合は、jcccmdshow コマンドで確認してください。

## KAVB4407-E

The definition file for automatic action notification(ファイル名) cannot be opened. : 保守情報  
自動アクション通知定義ファイル(ファイル名)がオープンできません : 保守情報

自動アクション通知定義ファイルがオープンできません。

(S)

- JP1/IM - Manager 起動時の場合、デフォルト値で動作します。
- jco\_spmd\_reload コマンド実行時の場合、現在の定義を引き継ぎ、処理を継続します。

(O)

次の内容を確認し、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

- 自動アクション通知定義ファイルが存在するか。
- アクセス権が正しく設定されているか。

#### KAVB4408-E

There is an error in the definition file for automatic action notification(ファイル名). The default value will be used. (line 行番号) : 詳細情報

自動アクション通知定義ファイル(ファイル名)にエラーがあります。デフォルト値を使用します (行番号 行目) : 詳細情報

自動アクション通知定義ファイルに無効な値が設定されているため、デフォルト値で動作します。

(S)

- JP1/IM - Manager 起動時の場合、デフォルト値で動作します。
- jco\_spmd\_reload コマンド実行時の場合、現在の定義を引き継ぎ、処理を継続します。

(O)

定義ファイルが正しく設定されているか確認し、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

#### KAVB4409-E

The notification command (コマンド) could not be executed. : 保守情報

通知コマンド(コマンド)が実行できませんでした : 保守情報

通知コマンドが実行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

自動アクション通知定義ファイルが正しく設定されているか確認し、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

#### KAVB4420-W

Cannot execute action because substrings could not be obtained. (line: 行番号) : 保守情報

部分文字列の切り出しに失敗したためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の**行番号**に対応するアクションを実行しようとしたましたが、部分文字列の切り出しに失敗したため実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB4421-W

Cannot execute action because command line is too long. (line: 行番号) : 保守情報

コマンドラインが長過ぎるためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の**行番号**に対応するアクションを実行しようとしたましたが、コマンドラインが長過ぎるため実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB4422-W

Cannot execute action because the host name could not be obtained. (line: 行番号) : 保守情報

実行先ホスト名の取得に失敗したためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の**行番号**に対応するアクションを実行しようとしたましたが、アクションを実行するホスト名を取得できなかったため、実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB4423-W

Cannot execute action because Command Execution is not running. (line: 行番号, host: ホスト名) : 保守情報

コマンド実行が実行中でないためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号, ホスト: ホスト名) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の**行番号**に対応するアクションをホスト上で実行しようとしたましたが、コマンド実行が実行中でないため実行できませんでした。

なお、再実行された自動アクションについては、行番号に「-1」が表示されます。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB4424-W

Cannot execute action. (line: 行番号, host: ホスト名) : 保守情報

アクションが実行できませんでした (行番号: 行番号, ホスト: ホスト名) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の行番号に対応するアクションをホスト上で実行しようとしたが、アクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB4425-I

Expired AND events were abandoned. (number of events: 個数)

AND イベント保管期限切れのイベントを捨てました (捨てた個数: 個数)

AND イベントの保管期限が過ぎたため、期限切れのイベントを捨てました。

#### KAVB4426-W

Cannot execute action because Execution Host or Group name is too long. (line: 行番号) : 保守情報

実行先ホスト/グループ名が長過ぎるため、アクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の、行番号に対応するアクションを実行しようとしたが、受信イベント中の情報へ変換したあとの実行先ホスト名/グループ名が長過ぎるため、アクションを実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイル、およびアクション実行の契機となったイベントを確認してください。



## KAVB4427-W

Cannot execute action because User Name is too long. (line: 行番号) : 保守情報  
ユーザー名が長過ぎるためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の、行番号に対応するアクションを実行しようとしたが、受信イベント中の情報へ変換したあとのユーザー名が長過ぎるため、アクションを実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイル、およびアクション実行の契機となったイベントを確認してください。

## KAVB4428-W

Cannot execute action because Environment Definition File name is too long. (line: 行番号) : 保守情報  
環境変数ファイル名が長過ぎるためアクションが実行できませんでした (行番号: 行番号) : 保守情報

自動アクション定義ファイル中の、行番号に対応するアクションを実行しようとしたが、受信イベント中の情報へ変換したあとの環境変数ファイル名が長過ぎるため、アクションを実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

自動アクション定義ファイル、およびアクション実行の契機となったイベントを確認してください。

## KAVB4429-W

The action could not be executed because a memory shortage occurred. (line = 行番号) 保守情報  
メモリー不足が発生したためアクションが実行できませんでした(行番号: 行番号) : 保守情報

アクション定義ファイル中の行番号に対応するアクションを実行しようとしたが、受信したイベント中の情報に変換する途中でメモリー不足が発生したためアクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

システムのメモリーが不足していないか確認してください。また、OS が正常に運用されているか確認してください。

## KAVB4430-I

Execution of the action for an event was requested.(Event\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)

イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションの実行を要求しました

アクションの実行要求をコマンド制御のキューに登録しました。

## KAVB4431-I

Execution of the action for an event ended normally.(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号, Return\_code=終了コード)

イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションの実行が終了しました(終了コード=終了コード)

コマンド制御からアクションの実行完了通知を受け取り、アクションの状態を終了にしました。

## KAVB4432-E

Automatic action or command control of the action for an event ended abnormally. (EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)

イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションが自動アクションまたはコマンド制御において異常終了しました

アクションが自動アクションまたはコマンド制御で異常終了し、「実行失敗」か「実行不可」の状態になりました。

## KAVB4433-I

Execution of the action for an action state notification event was requested.(Event\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)

アクション状態通知イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションの実行を要求しました

アクションの実行要求をコマンド制御のキューに登録しました。

## KAVB4434-I

Execution of the action for an action state notification event ended normally.(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号, Return\_code=終了コード)

アクション状態通知イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションの実行が終了しました(終了コード=終了コード)

コマンド制御からアクションの実行完了通知を受け取り、アクションの状態を終了にしました。

## KAVB4435-E

Automatic action or command control of the action for an action state notification event ended abnormally.(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)

アクション状態通知イベント(EVENT\_ID=イベント ID, SEQNO=イベント DB 内通し番号)に対するアクションが自動アクションまたはコマンド制御において異常終了しました

アクションが自動アクションまたはコマンド制御で異常終了し、「実行失敗」か「実行不可」の状態になりました。

## KAVB4436-W

Although Execution of the action for an event was requested, an action state notification event could not be sent because no action information exists in the action information file. :

### 保守情報

アクションの実行を要求しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できません: 保守情報

アクションの実行を要求しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できませんでした。

### (S)

処理を続行します。

### (O)

アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認し、適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。

アクション情報ファイルの容量が適切に設定されている場合、アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点でアクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数のアクションを行っている場合、複数のアクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- 自動アクションで実行するコマンドの実行時間が長い場合で、デフォルト設定のときは、一つのコマンドが終了するまで次のコマンドを実行しないため、実行遅延が発生します。実行遅延を減少するには、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「13.4 自動アクションの検討」を参照して、設定をパラレルに変更してください。

## KAVB4437-W

Although Execution of the action for an event ended normally, an action state notification event could not be sent because no action information exists in the action information file. :

### 保守情報

アクションの実行が終了しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できません: 保守情報

アクションの実行が終了しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認し、適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。

アクション情報ファイルの容量が適切に設定されている場合、アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点でアクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数のアクションを行っている場合、複数のアクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- 自動アクションで実行するコマンドの実行時間が長い場合で、デフォルト設定のときは、一つのコマンドが終了するまで次のコマンドを実行しないため、実行遅延が発生します。実行遅延を減少するには、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「13.4 自動アクションの検討」を参照して、設定をパラレルに変更してください。

## KAVB4438-E

Although automatic action or command control of the action for an event ended abnormally, an action state notification event could not be sent because no action information exists in the action information file.: 保守情報

アクションが自動アクションまたはコマンド制御において異常終了しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できません: 保守情報

アクションが自動アクションまたはコマンド制御で異常終了しましたが、アクション情報ファイルにアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認し、適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。

アクション情報ファイルの容量が適切に設定されている場合、アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点でアクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数のアクションを行っている場合、複数のアクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し実行遅延を減少できます。
- アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し実行遅延を減少できます。
- 自動アクションで実行するコマンドの実行時間が長い場合で、デフォルト設定のときは、一つのコマンドが終了するまで次のコマンドを実行しないため、実行遅延が発生します。実行遅延を減少するには、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「13.4 自動アクションの検討」を参照して、設定をパラレルに変更してください。

## KAVB4439-E

An attempt to write data to the action re-execution file has failed. (action serial number = **アクション通し番号**, detailed information = **詳細情報**)

アクション再実行用ファイルへのデータの書き込みに失敗しました (アクション通し番号:**アクション通し番号**, 詳細情報:**詳細情報**)

アクション再実行用ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

アクション通し番号に示されるアクションのアクション再実行用ファイルへのデータの書き込みを停止し、処理を続行します。

(O)

アクション通し番号に示されるアクションの実行結果を確認し、必要があれば再実行してください。また、次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥action

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥action

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/action

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/action

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4440-W

The action could not be executed because a host is not defined for the business group or monitoring group. (execution host name = **実行ホスト名**)

業務グループ、または監視グループにホストが定義されていないため、アクションが実行できません。  
(実行ホスト名:**実行ホスト名**)

業務グループまたは監視グループにホストが定義されていないため、アクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループにホストを定義するか、業務グループ名または監視グループ名を見直して再度実行してください。

## KAVB4441-W

The action could not be executed because the business group or monitoring group is not defined. (execution host name = **実行ホスト名**)

業務グループ、または監視グループが定義されていないため、アクションが実行できません。(実行ホスト名:**実行ホスト名**)

業務グループまたは監視グループが定義されていないため、アクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを定義するか、業務グループ名または監視グループ名を見直して再度実行してください。

## KAVB4442-W

The action cannot be executed because the execution host name is invalid. (execution host name = **実行ホスト名**)

アクションの実行ホスト名が不正なため、アクションが実行できません。(実行ホスト名:**実行ホスト名**)

アクションの実行ホスト名が不正なため、アクションを実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

アクションの実行ホスト名を見直してください。

## KAVB4443-E

The action could not be executed because a host is not defined for the business group or monitoring group. (execution host name = 実行ホスト名)

業務グループ、または監視グループにホストが定義されていないため、アクションが実行できません。  
(実行ホスト名:実行ホスト名)

業務グループまたは監視グループにホストが定義されていないため、アクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループにホストが定義されているかシステム管理者に確認してください。

## KAVB4444-E

The action could not be executed because the business group or monitoring group is not defined. (execution host name = 実行ホスト名)

業務グループ、または監視グループが定義されていないため、アクションが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

業務グループまたは監視グループが定義されていないため、アクションが実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループ・監視グループが定義されているかシステム管理者に確認してください。

## KAVB4445-E

The action cannot be executed because the execution host name is invalid. (execution host name = 実行ホスト名)

アクションの実行ホスト名が不正なため、アクションが実行できません。(実行ホスト名:実行ホスト名)

アクションの実行ホスト名が不正なため、アクションを実行できませんでした。

(S)

アクションを実行しません。

(O)

アクションの実行ホスト名を見直してください。

## KAVB4450-E

I/O error occurred. : 保守情報

入出力エラーが発生しました : 保守情報

JP1/IM - View からのアクション定義・アクション再実行や、jcastatus コマンド・jcachange コマンドの実行の際にアクション実行サービス、イベント基盤サービス、またはイベントコンソールサービスで入出力エラーが発生しました。上記の画面操作やコマンドの実行の際に、アクション実行サービス、イベント基盤サービス、またはイベントコンソールサービスに対して処理要求を行います。画面操作やコマンドの実行が同時に複数発生したため、各サービスが処理できませんでした。

要求送信に失敗した場合、JP1/IM - View およびコマンドはリトライしますが、リトライにすべて失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

時間をおいて、再度コマンドを実行してください。

## KAVB4451-E

Because acquisition of exclusive rights failed. action definition file cannot be updated.

自動アクション定義ファイルの排他に失敗したため、自動アクション定義ファイルの更新に失敗しました

自動アクション定義ファイルの排他に失敗したため、自動アクション定義ファイルの更新に失敗しました。

(S)

他のユーザーの参照または更新の操作と競合し、一定時間待っても自動アクション定義ファイルをロックできないため、自動アクション定義ファイルの更新処理を終了します。

自動アクション機能は以前の定義で動作します。

(O)

再度、操作してください。

何度操作しても解決しない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4452-E

Because acquisition of exclusive rights failed. action definition file cannot be read.

自動アクション定義ファイルの排他に失敗したため、自動アクション定義の読み込みに失敗しました

自動アクション定義ファイルの排他に失敗したため、自動アクション定義の読み込みに失敗しました。



(S)

他のユーザーの更新の操作と競合し、一定時間待っても自動アクション定義ファイルをロックできないため、自動アクション定義の読み込み処理を終了します。

jcachange コマンドで-on, -off または-e オプションを指定して実行した場合または、[アクション設定]画面からの適用時に発生した場合、自動アクション定義ファイルの更新は成功しましたが、自動アクション機能への反映に失敗しました。自動アクション機能は以前の定義で動作します。

(O)

再度、操作してください。

何度操作しても解決しない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4500-W

Duplicate pre-conversion characters have been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line = 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が重複しています (行番号:行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が重複しています。

(S)

重複した定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が間違えている箇所です。間違いを修正してください。

## KAVB4501-W

An invalid pre-conversion character has been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line = 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が不正です (行番号:行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が間違えている箇所です。間違いを修正してください。

## KAVB4502-W

An invalid post-conversion character string has been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line = 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換後の文字列が不正です (行番号:行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換後の文字列が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が間違えている個所です。間違いを修正してください。

#### KAVB4503-W

The number of definitions specified in the configuration file for converting information during event succession has exceeded the maximum of **最大数**.

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義数が最大数(最大数件)を超えています

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義数が最大数(最大数件)を超えています。

(S)

最大数を超えた定義を無視して処理を続行します。

(O)

定義数を見直し、修正してください。

#### KAVB4504-W

The syntax of a definition, specified in the configuration file for converting event succession information, is invalid. (line = **行番号**)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義のフォーマットが不正です (行番号:行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が間違えている個所です。間違いを修正してください。

#### KAVB4505-I

The configuration file for converting event succession information was read.

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルを読み込みました

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルを読み込みました。

#### KAVB4506-W

An attempt to read the configuration file for converting event succession information has failed. (cause = **要因**)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みに失敗しました (要因:要因)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルが読み込み可能になっているかを確認してください。読み込み可能な場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4507-W

The number of common exclusion condition groups (extended) exceeds the limit. (maximum number of condition groups = 上限数)

共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数を超過しています。(条件群の上限数:上限数)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群の定義数が上限数を超過しています。

(S)

定義済みの条件群数で処理を継続します。

(O)

拡張モードの共通除外条件群の上限数を設定で増やす、または不要な条件群を削除してください。

## KAVB4508-W

The size of a common exclusion condition group (extended) filter exceeds the limit. (condition group maximum size = 上限サイズ)

共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超過しています。(条件群の上限サイズ:上限サイズ)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群のフィルターサイズが上限サイズを超過しています。

(S)

定義済みのフィルターサイズで処理を継続します。

(O)

フィルターの上限サイズに収まるように条件群を定義してください。

## KAVB4600-I

The severity change definition has been read. Next, processing will be performed using the definition read from the received event. (arrival time of the last received event = 到着時刻, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号)

重大度変更定義を読み込みました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(最後に受信したイベント：到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

重大度変更定義ファイルを読み込みました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から、読み込んだ定義の内容で重大度変更を行います。

## KAVB4602-W

The version information for the severity changing definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

重大度変更定義のファイルバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度変更定義ファイルのバージョン情報が不正です。

(S)

重大度変更定義ファイルのバージョンを 2 と仮定して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4603-W

The location of the severity changing definition file version is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

重大度変更定義のファイルバージョンの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度変更定義ファイルのファイルバージョンが先頭にありません。

(S)

デフォルトのファイルバージョンを仮定して処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの先頭に、ファイルバージョンを記載してください。記載後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4604-W

The name of a definition in the severity changing definition file exceeds the maximum length. (line = 行番号, file = ファイル名)

重大度変更定義の定義名が最大長を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックに指定した定義名の長さが最大長を超えています。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4605-W

No name has been defined for the severity changing definition file. (line = 行番号, file = ファイル名)

重大度変更定義の定義名がありません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックに定義名が指定されていません。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4606-W

The name of a definition in the severity changing definition file has been duplicated. (definition name = 定義名, line = 行番号, file = ファイル名)

重大度変更定義の定義名が重複しています (定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックの定義名が重複しています。

(S)

あとから読み込んだ定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4607-W

The invalid parameter パラメーター名 has been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度変更定義ファイルに、使用できないパラメーターが指定されている、または定義ブロック外にパラメーターの指定があります。

(S)

該当する行を無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4608-W

The syntax of a severity level change definition is invalid. 要因 (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

重大度変更定義の記述が不適切です。要因 (定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件ブロックに誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4609-W

The syntax of a parameter is invalid. 要因 (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

パラメーターの記述が不適切です。要因 (定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度変更定義ファイルのパラメーターの指定に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4610-E

An error occurred while reading the severity changing definition file (ファイル名): 要因

重大度変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました (要因: 要因, ファイル名: ファイル名)

重大度変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

定義ファイルが無視して、処理を続行します。

(O)

メッセージの要因コードに従って、定義ファイルを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。  
解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4611-E

An error occurred during severity change definition processing. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻, cause = 要因)

重大度変更定義処理でエラーが発生しました (イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号, 到着時刻: 到着時刻, 要因: 要因)

重大度の変更定義処理でエラーが発生しました。

(S)

定義ファイルは無視して、処理を続行します。

(O)

メッセージの要因コードに従い、対処してください。

001：256 バイトを超える重大度は変更できません。JP1 イベントの発行方法を見直してください。

002：拡張属性値の合計サイズが 10,000 バイトを超えました。JP1 イベントの発行方法を見直してください。

003：メモリー不足が発生しました。メモリー使用量を確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

255：資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4612-W

There is no "end-def" statement in the severity change definition block. (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

重大度変更定義ブロックの終端がありません (定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックが閉じていません。

(S)

該当する定義ブロックは無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4613-W

"end-def" statement in the severity change definition block is invalid. (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

重大度変更定義ブロックの終端が不適切です (定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックの終端に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4614-W

The name of a definition in the severity changing definition file is invalid. (line = 行番号, file name = ファイル名)

重大度変更定義の定義名が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ブロックの定義名に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

重大度変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4615-E

The size of the severity changing definition file exceeds the upper limit. (file name = ファイル名, upper limit = 最大サイズ)

重大度変更定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

重大度変更定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

重大度変更定義ファイルを読み込まないで処理を続行します。

(O)

重大度変更定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などが不见直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。



## KAVB4616-E

The severity change definition was not found.

重大度変更定義ファイルが見つかりません

重大度変更定義ファイルが見つかりません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動時に発生した場合、すべての JP1 イベントの重大度を変更しません。

jco\_spm�\_reload コマンド実行時に発生した場合、jco\_spm�\_reload コマンド実行前の重大度変更の定義で処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

- 重大度変更定義ファイルがあるか確認してください。重大度変更定義ファイルがない場合は、重大度変更定義ファイルを作成してください。
- 重大度変更定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、重大度変更定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB4620-W

A JP1 event contains an extension attribute that could not be specified. 要因 (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻, attribute name = 属性名)

JP1 イベントに設定できなかった拡張属性があります。要因(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 属性名:属性名)

JP1 イベントに設定できなかった拡張属性があります。

(S)

該当する拡張属性を設定しないで JP1 イベントを発行します。

(O)

JP1 イベントの発行方法を見直してください。

## KAVB4621-E

An event after the display message was changed could not be issued. 要因 (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻)

表示メッセージ変更後イベントを発行できませんでした。要因(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻)

表示メッセージ変更後イベントが発行できませんでした。

(S)

表示メッセージ変更後イベントの発行を中止します。

(O)

- 要因が「イベントサービスが起動していません。」の場合は、イベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、起動してください。  
イベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「メモリ不足が発生しました。」の場合は、メモリ使用量を確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4622-W

An attribute that could not have "E\_" added to the beginning of the attribute name during the processing to issue an event after a display message was changed exists. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻, attribute name = 属性名)

表示メッセージ変更後イベントを発行する処理で、属性名の先頭に"E\_"を付加できなかった拡張属性があります。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 属性名:属性名)

表示メッセージ変更後イベントを発行する処理で、属性名の先頭に"E\_"を付加できなかった拡張属性があります。

(S)

該当する拡張属性の属性名の先頭に"E\_"を付加しないで JP1 イベントを発行します。

(O)

JP1 イベントの発行方法を見直してください。

## KAVB4623-I

The display message change definition has been read. Next, processing will be performed using the definition read from the received event. (arrival time of the last received event = 到着時刻, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号)

表示メッセージ変更定義ファイルを読み込みました。次に受信したイベントから、読み込んだ定義に従って処理されます。(最後に受信したイベント:到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

表示メッセージ変更定義ファイルを読み込みました。

(S)

表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から、読み込んだ定義の内容で表示メッセージを変更します。

#### KAVB4624-W

The version information for the display message change definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのバージョン情報が不正です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのバージョン情報が不正です。

(S)

表示メッセージ変更定義ファイルのバージョンを 1 と仮定して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4625-W

The location of a display message change definition file is invalid. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのバージョンが先頭にありません。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのバージョンが先頭にありません。

(S)

省略時の値を仮定して処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの先頭に、ファイルバージョンを記載してください。記載後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4626-W

The length of a definition name specified in a definition block in a display message change definition exceeds the maximum. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックに指定した定義名の長さが上限を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックに指定した定義名の長さが上限を超えています。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4627-W

The definition name does not exist in a definition block in a display message change definition. (line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックに定義名がありません。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックに定義名が指定されていません。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4628-W

A definition name in a definition block in a display message change definition is duplicated. (definition name = 定義名, line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックの定義名が重複しています。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義の定義ブロックの定義名が重複しています。

(S)

あとから読み込んだ定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4629-W

An invalid parameter is specified in a display message change definition file. (invalid parameter = パラメーター名, line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルに無効なパラメーターが指定されています。(無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルに、使用できないパラメーターが指定されている、または定義ブロック外にパラメーターの指定があります。

(S)

該当する行を無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4630-W

An event condition block in a display message change definition is invalid. 要因 (definition name = 定義名, line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義のイベント条件ブロックに誤りがあります。要因(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義のイベント条件ブロックに誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4631-W

A parameter in a display message change definition file is invalid. 要因 (definition name = 定義名, line number = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのパラメーターの指定に誤りがあります。要因(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのパラメーターの指定に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4632-E

An error occurred while reading the display message change definition file. (cause = 要因, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

JP1/IM - Manager の起動時に発生した場合、すべての JP1 イベントのメッセージを変更しません。

jco\_spm�\_reload コマンド実行時に発生した場合、jco\_spm�\_reload コマンド実行前の表示メッセージ変更の定義に従って処理を続行します。

(O)

メッセージの要因コードに従い、対処してください。

- 001：メモリー不足が発生しました。メモリー使用量を確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 255：資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4633-E

An error occurred during display message change definition processing. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻, cause = 要因)

表示メッセージ変更処理でエラーが発生しました。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 要因:要因)

メッセージの変更処理でエラーが発生しました。

(S)

定義ファイルを無視して、処理を続行します。

(O)

メッセージの要因コードに従い、対処してください。

- 001：メモリー不足が発生しました。メモリー使用量を確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 255：資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4634-W

There is no "end-def" statement in the display message change definition block. (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックの終端がありません。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックが閉じていません。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4635-W

"end-def" statement in the display message change definition block is invalid. (definition name = 定義名, line = 行番号, file name = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックの終端に誤りがあります。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックの終端に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4636-W

The name of a definition in the display message change definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックの定義名に誤りがあります。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ブロックの定義名に誤りがあります。

(S)

該当する定義ブロックを無視して、処理を継続します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの該当する行の誤りを修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4637-E

The size of a display message change definition file exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのサイズが上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義ファイルのファイルサイズが上限を超えています。

(S)

表示メッセージ変更定義ファイルを読み込まないで処理を続行します。

(O)

表示メッセージ変更定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4638-E

The display message change definition was not found.

表示メッセージ変更定義ファイルがありません

表示メッセージ変更定義ファイルがありません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動時に表示メッセージ変更定義ファイルがなかった場合、すべての JP1 イベントのメッセージを変更しません。

`jco_spmd_reload` コマンド実行時に表示メッセージ変更定義ファイルがなかった場合、`jco_spmd_reload` コマンド実行前の表示メッセージ変更の定義に従って処理を続行します。

(O)

次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動するか、`jco_spmd_reload` コマンドを実行してリロードしてください。

- 表示メッセージ変更定義ファイルがあるか確認してください。表示メッセージ変更定義ファイルがない場合は、表示メッセージ変更定義ファイルを作成してください。
- 表示メッセージ変更定義ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、表示メッセージ変更定義ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB4639-W

The display message after the change will be truncated and then registered because its size exceeds the maximum. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, arrival time = 到着時刻)

変更後の表示メッセージのサイズが上限を超えたため、メッセージの超過した文字列を削除して登録します。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻)

変更後の表示メッセージのサイズが上限を超えたため、メッセージの超過した文字列を削除して登録します。

(S)

処理を継続します。

(O)

JP1 イベントの発行方法を見直してください。



## KAVB4640-W

The number of display message change definition exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

表示メッセージ変更定義数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

表示メッセージ変更定義数が上限を超えています。

(S)

超過した表示メッセージ変更定義を無視して処理を続行します。

(O)

不要な表示メッセージ変更定義を削除してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

## KAVB4641-W

Using the regular expression you specified, the processing to match JP1 events will take a long time. This will affect the performance of event reception. (attribute name = 属性名, definition name = 定義名, line = 行番号, file = ファイル名, cause = 要因)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのためイベント受信性能に影響があります。(属性名: 属性名, 定義名: 定義名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名, 要因: 要因)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのためイベント受信性能に影響があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現を修正してください。

- 要因が「先頭または末尾に「.\*」が指定されています」の場合は、先頭や末尾に指定されている「.\*」を削除してください。
- 要因が「「.\*」が連続して指定されています」の場合は、連続して指定されている個所の「.\*」を一つにしてください。

## KAVB4650-I

An event-source-host mapping definition was read. Processing will be performed by the definition read from the next received event. (last received event: reception time = 到着時刻, event database serial number = イベント DB 内通し番号)

発生元ホストマッピング定義ファイルを読み込みました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(最後に受信したイベント:到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

発生元ホストマッピング定義ファイルを読み込みました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から、読み込んだ定義の内容で発生元ホストをマッピングします。

## KAVB4651-W

The version information of the event-source-host mapping definition file is invalid. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルのバージョン情報が不正です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルのバージョン情報が不正です。

- (S) 発生元ホストマッピング定義ファイルのバージョン情報を 1 と仮定して処理を継続します。

- (O) 発生元ホストマッピング定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB4652-W

The location of the version of the event-source-host mapping definition file is invalid. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルのファイルバージョンの記述箇所が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルのファイルバージョンが先頭にありません。

- (S) デフォルトのファイルバージョンを仮定して処理を継続します。

- (O) 発生元ホストマッピング定義ファイルの先頭に、ファイルバージョンを記載してください。

## KAVB4653-W

The name of a definition in the event-source-host mapping definition is too long. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名が最大長を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名の長さが最大長を超えています。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4654-W

There is no definition name for an event-source-host mapping definition. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名がありません。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルの定義名が記載されていません。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4655-W

The name of a definition in the event-source-host mapping definition has been duplicated. (definition name = 定義名, line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名が重複しています。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名が重複しています。

(S)

あとから読み込んだ発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4656-W

An invalid parameter is specified. (invalid parameter = パラメーター名, line number = 行番号, file name = ファイル名)

無効なパラメーターが指定されています。(無効なパラメーター:パラメーター名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義ファイルに使用できないパラメーターが指定されている, または定義ブロック外にパラメーターの指定があります。

(S)

該当する行を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4657-W

The syntax of an event-source-host mapping definition is invalid. **要因** (definition name = **定義名**, line number = **行番号**, file name = **ファイル名**)

発生元ホストマッピング定義ファイルの記述が不適切です。 **要因** (定義名:**定義名**, 行番号:**行番号**, ファイル名:**ファイル名**)

発生元ホストマッピング定義ファイルの記述に誤りがあります。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4658-W

The syntax of a parameter is invalid. **要因** (definition name = **定義名**, line number = **行番号**, file name = **ファイル名**)

パラメーターの記述が不適切です。 **要因** (定義名:**定義名**, 行番号:**行番号**, ファイル名:**ファイル名**)

発生元ホストマッピング定義のマッピング元属性値の記述が不正です。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4659-E

An error occurred during reading of the event-source-host mapping definition file. (cause = **要因**, file name = **ファイル名**)

発生元ホストマッピング定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:**要因**, ファイル名:**ファイル名**)

発生元ホストマッピング定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

発生元ホストマッピング定義ファイルを無視して処理を続行します。

(O)

メッセージの要因に従い、定義ファイルを確認し、JP1/IM を再起動してください。  
資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB4660-E

An error occurred during the mapping of the event-source-host. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reception time = 到着時刻, cause = 要因)

発生元ホストのマッピング処理でエラーが発生しました。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 要因:要因)

発生元ホストのマッピング処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

メッセージの要因に従い、対処してください。

- 要因：001  
メモリー不足が発生しました。メモリー使用量を確認し、JP1/IM を再起動してください。
- 要因：255  
資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB4661-W

No "end-def" statement exists in a definition block. (definition name = 定義名, line number = 行番号, file name = ファイル名)

定義ブロックの終端がありません。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義が閉じていません。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4662-W

The "end-def" statement of a definition block is invalid. (definition name = 定義名, line number = 行番号, file name = ファイル名)

定義ブロックの終端が不適切です。(定義名:定義名, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の終端が不適切です。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4663-W

The name of an event-source-host mapping definition is invalid. (line number = 行番号, file name = ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名が不適切です。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

発生元ホストマッピング定義の定義名に定義不正があります。

(S)

該当する発生元ホストマッピング定義を無視して処理を継続します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの該当する行の誤りを訂正してください。

#### KAVB4664-E

The size of the event-source-host mapping definition file (ファイル名) exceeds the limit (最大サイズ).

発生元ホストマッピング定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

発生元ホストマッピング定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

発生元ホストマッピング定義ファイルを読み込まないで処理を続行します。

(O)

発生元ホストマッピング定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してリロードしてください。

#### KAVB4666-W

A host name of no more than 255 bytes can be specified for the event-source-host name. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reception time = 到着時刻)

発生元ホスト名に指定できるホスト名は 255 バイトまでです。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻)

発生元ホスト名に指定できるホスト名が 255 バイトを超えています。発生元ホストをマッピングできませんでした。

(S)

発生元ホスト名にメッセージ ID を設定して処理を続行します。

(O)

JP1 イベントの発行方法を見直してください。

#### KAVB4667-W

The attribute specified for the source\_attr parameter was not found. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reception time = 到着時刻, cause = 要因)

source\_attr パラメーターに指定された属性が見つかりません。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 要因:要因)

マッピング元属性値に指定された属性値が見つかりません。発生元ホストをマッピングできませんでした。

(S)

発生元ホスト名にメッセージ ID を設定して処理を続行します。

(O)

定義ファイルのマッピング元属性値を見直してください。

#### KAVB4668-W

An error occurred during the mapping of the event-source-host. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reception time = 到着時刻, cause = 要因)

発生元ホストのマッピング処理でエラーが発生しました。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 要因:要因)

発生元ホストのマッピング処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次の要因コードに従い、対処してください。

- 要因コード：001

固有の拡張属性値の個数が 100 個を超えました。JP1 イベントの発行方法を見直してください。

- 要因コード：002

拡張属性値の合計サイズが 10,000 バイトを超えました。JP1 イベントの発行方法を見直してください。

#### KAVB4669-E

An error occurred during reading of the system's event-source-host mapping definition file. (cause = 要因, file name = ファイル名)

システムの発生元ホストマッピング定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

システムの発生元ホストマッピング定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

システムの発生元ホストマッピング定義ファイルの内容を無視して処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4670-W

No more repeated events can be suppressed because the number of suppressed repeated events has reached the maximum (上限数).

抑止中の繰り返しイベント数が上限数(上限数)に達しました

抑止中の繰り返しイベント数が上限数に達しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB4671-E

The repeated event condition exceeds the maximum length (上限サイズ).

繰り返しイベント条件の上限サイズ(上限サイズ)を超えて指定しています

繰り返しイベント条件が上限サイズに達しているため、定義できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

不要な繰り返しイベント条件を削除してください。

#### KAVB4672-I

The repeated event monitoring suppression function was enabled.

繰り返しイベント監視抑止機能を有効にしました

繰り返しイベント監視抑止機能を有効にしました。

#### KAVB4673-I

A repeated event condition was registered. (repeated event condition name = 繰り返しイベント条件名, registering user = ユーザー名)



繰り返しイベント条件を登録しました。(繰り返しイベント条件名:繰り返しイベント条件名, 登録ユーザー:ユーザー名)

追加繰り返しイベント条件を登録しました。

#### KAVB4674-I

The definition file for the repeated event condition was updated. Next, processing will be performed using the definition read from the received event. (arrival time of the last received event = 到着時刻, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件を更新しました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(最後に受信したイベント:到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件を更新したときに出力されるメッセージです。

#### KAVB4675-W

Prerequisite functionality for the repeated event monitoring suppression function is not enabled. (cause = 要因)

繰り返しイベント監視抑止機能の前提機能が有効になっていません。(要因:要因)

繰り返しイベント監視抑止機能を使用する場合は、イベント保管機能を有効化してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

要因を見て、次の対処をしてください。

統合監視 DB が無効状態です

jcoimdef コマンドでイベント保管機能を有効にして、JP1/IM を再起動してください。

#### KAVB4676-I

Suppression of repeated events that match the repeated event condition (繰り返しイベント条件名) has started. (arrival time of the first suppressed event = 到着時刻, event database serial number of the first suppressed event = イベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件(繰り返しイベント条件名)に一致するイベントの抑止を開始しました。(抑止を開始したイベント:到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件に一致するイベントの抑止を開始しました。

#### KAVB4677-I

Suppression of repeated events that match the repeated event condition (繰り返しイベント条件名) has ended. (arrival time of the suppressed event = 抑止を開始したイベントの到着時刻 -

最後に抑止したイベントの到着時刻, event database serial number of the suppressed event = 抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)  
繰り返しイベント条件(繰り返しイベント条件名)に一致するイベントの抑止を終了しました。(抑止したイベント：到着時刻=抑止を開始したイベントの到着時刻 - 最後に抑止したイベントの到着時刻, イベント DB 内通し番号=抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件に一致するイベントの抑止を終了しました。

#### KAVB4678-I

Suppression of repeated events that match the repeated event condition (繰り返しイベント条件名) has terminated. (arrival time of the suppressed event = 抑止を開始したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS) - 最後に抑止したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS), event database serial number of the suppressed event = 抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件(繰り返しイベント条件名)に一致するイベントの抑止を打ち切り, 再度抑止を開始しました。(抑止したイベント：到着時刻=抑止を開始したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS) - 最後に抑止したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS), イベント DB 内通し番号=抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件に一致するイベントの抑止を打ち切り, 再度抑止を開始しました。

#### KAVB4679-I

Suppression of repeated events that match the repeated event condition (繰り返しイベント条件名) will continue. (arrival time of the suppressed event = 抑止を開始したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS) - 最後に抑止したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS), event database serial number of the suppressed event = 抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件(繰り返しイベント条件名)に一致するイベントの抑止が継続しています。(抑止したイベント：到着時刻=抑止を開始したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS) - 最後に抑止したイベントの到着時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS), イベント DB 内通し番号=抑止を開始したイベントのイベント DB 内通し番号 - 最後に抑止したイベントのイベント DB 内通し番号)

繰り返しイベント条件に一致するイベントの抑止が継続しています。

#### KAVB4700-I

The event base service was started. : 論理ホスト名  
イベント基盤サービスを開始します : 論理ホスト名

イベント基盤サービスを起動します。

## KAVB4701-I

The event base service was terminated. : 論理ホスト名  
イベント基盤サービスを終了します : 論理ホスト名

イベント基盤サービスを終了します。

(S)

これ以降、自動アクション処理およびイベント配信処理が実行されません。

## KAVB4702-E

The event base service was terminated abnormally. (Hostname : ホスト名)  
イベント基盤サービスが異常終了しました (ホスト名 : ホスト名)

続行できない障害が発生したため、ホスト (ホスト名) のイベント基盤サービスが異常終了しました。

(O)

統合トレースログに KAVB4780-E, KAVB8605-E, KAVB8606-E, または KAVB8607-E が出力されていないか確認してください。出力されている場合は、各メッセージの対処に従ってください。

出力されていない場合は、イベント基盤サービスが異常終了したホストで、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4703-E

Failed to read the event acquisition filter definition file. (File name : ファイル名)  
イベント取得フィルター定義ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル名 : ファイル名)

JP1/IM - Manager の起動中にイベント取得フィルター定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 表示されたファイルがあるか。  
表示されたファイルがない場合、手順 1.以降に示す定義ファイルの作成手順で、ファイルを作成してください。
- 表示されたファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みおよび書き込みの権限があるか。  
権限がない場合、権限を設定してください。

上記以外の場合、定義ファイルが壊れているおそれがあります。定義ファイルの作成手順でファイルを作成してください。

定義ファイルの作成手順を、次に示します。

1. `jco_spmd_status` コマンドで JP1/IM - Manager が停止していることを確認してください。
2. イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしている場合、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。
3. イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしていない場合、次の手順で初期状態のイベント取得フィルター (JP1/SES イベント以外を取得するフィルター) に戻してください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、イベント取得フィルターの定義を再度設定し直してください。初期状態のイベント取得フィルターに戻す手順を、次に示します。

Windows の場合：

```
copy Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf.model Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf
```

UNIX の場合：

```
cp -p /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf.model /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf
```

## KAVB4704-E

The event acquisition filter could not be created. :保守情報

イベント取得フィルターの作成に失敗しました：保守情報

イベント取得フィルターの生成処理に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

定義ファイルが壊れているおそれがあります。

1. イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしている場合、リストア後に JP1/IM - Manager を再起動してください。
2. イベント取得フィルター定義ファイルをバックアップしていない場合、次の手順で初期状態のイベント取得フィルター (JP1/SES イベント以外を取得するフィルター) に戻してください。その後 JP1/IM - Manager を起動し、イベント取得フィルターの定義を再度設定し直してください。初期状態のイベント取得フィルターに戻す手順を次に示します。

Windows の場合：

```
cd Console パス¥conf¥console¥filter
```

```
copy Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf.model Console パス¥conf¥console¥filter¥receive_filter.conf
```

UNIX の場合：

```
cd /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter
```

```
cp -p /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf.model /etc/opt/jp1cons/conf/console/filter/receive_filter.conf
```

## KAVB4705-E

An attempt to write data to the action definition backup file has failed. (detailed information = 詳細情報)

アクション定義バックアップファイルへのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:詳細情報)

アクション定義バックアップファイルへのデータの書き込みに失敗しました。jcastatus コマンドの-d オプションの実行結果表示が不正になる場合があります。

(S)

アクション定義バックアップファイルへのデータの書き込みを停止し、処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してから、jchange コマンドを再実行してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。
- 次のフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：Console パス¥log¥action

論理ホスト：共有フォルダ¥jp1cons¥log¥action

UNIX の場合：

物理ホスト：/var/opt/jp1cons/log/action

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1cons/log/action

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4706-W

The business group or monitoring group is not defined. (definition type = 定義種別, definition name = 定義名, group name = グループ名)

業務グループ、または監視グループが定義されていません。(定義種別:定義種別, 定義名:定義名, グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを定義するか、業務グループ名または監視グループ名を見直してください。

#### KAVB4707-E

The business group or monitoring group is not defined. (definition type = 定義種別, definition name = 定義名, group name = グループ名)

業務グループ, または監視グループが定義されていません。(定義種別:定義種別, 定義名:定義名, グループ名:グループ名)

業務グループまたは監視グループが定義されていません。

(S)

定義内容を反映しないで、処理を続行します。

(O)

指定した業務グループまたは監視グループを見直してください。

問題ない場合は、指定した業務グループまたは監視グループが定義されているかシステム管理者に確認してください。

#### KAVB4708-W

The business group or monitoring group is not defined. (definition type = 定義種別, definition name = 定義名)

業務グループ, または監視グループが定義されていません。(定義種別:定義種別, 定義名:定義名)

該当する定義に指定されていた業務グループまたは監視グループが定義されていません。

(S)

該当する業務グループまたは監視グループの指定を無効化し、処理を続行します。

(O)

該当する定義を見直し再設定してください。

#### KAVB4710-I

The event base service will use the 使用する共通除外条件.: 論理ホスト名

イベント基盤サービスは使用する共通除外条件を使用します:論理ホスト名

イベント基盤サービスは、使用する共通除外条件を使用します。

(S)

処理を継続します。

## KAVB4711-W

The event base service cannot use common exclusion condition groups (extended) because an event acquisition filter (for compatibility) is set.

イベント取得フィルター(互換用)が設定されているためイベント基盤サービスは共通除外条件群(拡張)を使用できません

イベント取得フィルター（互換用）が設定されているため、イベント基盤サービスは拡張モードの共通除外条件群を使用できません。

(S)

イベント取得フィルター（互換用）で処理を継続します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、イベント取得フィルターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更する必要があります。

`jcochafmode` コマンドを使い、イベント取得フィルターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。

`jcochafmode` コマンドでイベント取得フィルターの位置を一度変更すると戻せないため、注意してください。

共通除外条件群を拡張しない場合、次に示す JP1/IM - Manager の `jcochcefmode` コマンドを実行し、共通除外条件群の動作モードを基本モードにしてください。

```
jcochcefmode -m default [-h 論理ホスト名]
```

## KAVB4712-W

The event base service cannot use common exclusion condition groups (extended) because a regular expression used by JP1/Base is not extended. The event base service will start without any common exclusion condition groups (extended) being set.

JP1/Base で使用する正規表現を拡張していないためイベント基盤サービスは共通除外条件群(拡張)を使用できません。共通除外条件群(拡張)が設定されていない状態で起動します

JP1/Base で使用する正規表現を拡張していないため、イベント基盤サービスは拡張モードの共通除外条件群を使用できません。

(S)

共通除外条件群が未定義の状態を仮定して処理を継続します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、JP1/Base で使用する正規表現を拡張する必要があります。JP1/Base の正規表現を拡張してから JP1/IM - Manager を再起動してください。

正規表現を拡張すると JP1/Base および JP1/IM の機能に影響があります。拡張する方法については、JP1/Base のマニュアルを参照してください。

共通除外条件群を拡張しない場合、次に示す JP1/IM - Manager の `jcochcefmode` コマンドを実行し、共通除外条件群の動作モードを基本モードに設定してから JP1/IM - Manager を再起動してください。

```
jcochcefmode -m normal [-h 論理ホスト名]
```

## KAVB4713-E

An error occurred during reading of the common exclusion conditions extended definition file.

(cause = 要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

### (S)

イベント取得フィルターの切り替え時は、切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。関連イベント発行サービス起動時は、イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

### (O)

次の要因の場合、定義ファイルが壊れている可能性があります。JP1/IM - Manager を停止し、共通除外条件の動作モードを一度基本モードに変更してから再度拡張モードに変更して共通除外条件（拡張）定義を初期化してください。

- 「定義ファイルに誤りがあります。」

次の要因の場合、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

- 「メモリ不足が発生しました。」

次の要因の場合、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- 「定義ファイル読み込み時に I/O エラーが発生しました。」

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4714-E

The ファイル名 (ファイルパス) could not be created. The history cannot be output. (reason = 要因)



ファイル名(ファイルパス)を作成できませんでした。履歴を出力することができません。(要因：要因)

ファイルを作成できませんでした。履歴を出力することができません。

(S)

履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

次の対処を実施してください。

- 要因が「I/O エラーが発生しました。」の場合
  - ・ファイル名と同名のディレクトリがある場合は、削除してください。
  - ・ファイルの格納先ディレクトリに書き込み権限が設定されているか確認してください。設定されていない場合は、書き込み権限を設定してください。
  - ・ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないかを確認してください。開いて（ロックして）いる場合は閉じて（ロックを解除して）ください。
- 要因が「メモリ不足が発生しました。」の場合  
十分なメモリを確保してください。

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KA VB4715-E

The history could not be output, because an error occurred during the output of the ファイル名 (ファイルパス). (reason = 要因)

ファイル名(ファイルパス)への出力中にエラーが発生したため、履歴を出力できませんでした。(要因：要因)

履歴の出力中にエラーが発生したため、履歴を出力できませんでした。

(S)

履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

次の対処を実施してください。

- 要因が「I/O エラーが発生しました。」の場合  
次の内容を確認してください。

- ・ファイルに書き込み権限が設定されているかを確認してください。設定されていない場合は書き込み権限を設定してください。

- ・ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないかを確認してください。開いて（ロックして）いる場合は閉じて（ロックを解除して）ください。

- ・要因が「メモリ不足が発生しました。」の場合  
十分なメモリを確保してください。

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- ・ Windows の場合：Windows イベントログ
- ・ UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4750-I

The automatic action process was connected.

アクション実行サービスに接続しました

イベント基盤サービスからアクション実行サービスに接続しました。

## KAVB4751-E

An attempt to connect to the automatic action process failed.

アクション実行サービスへの接続に失敗しました

イベント基盤サービスからアクション実行サービスへの接続に失敗しました。設定された回数リトライを行いました。設定された回数リトライを行いましたが接続できませんでした。

(S)

アクション実行サービスへの接続を停止し、処理を続行します。

(O)

アクション実行サービスが起動しているか `jco_spm_status` コマンドを使用して確認してください。起動している場合、アクション実行サービスの起動処理に時間が掛かり、接続のリトライ回数とリトライ時間の範囲内で接続が確立できなかったことが考えられます。リトライの設定を見直してください。リトライを設定し直しても接続できない場合や、アクション実行サービスが起動していない場合、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4752-I

Central Scope was connected.

セントラルスコープに接続しました

イベント基盤サービスからセントラルスコープに接続しました。

## KAVB4753-E

An attempt to connect to Central Scope failed.

セントラルスコープへの接続に失敗しました

イベント基盤サービスからセントラルスコープの接続に失敗しました。設定された回数リトライを行いましたが、接続できませんでした。

(S)

セントラルスコープへの接続を停止し、処理を続行します。

(O)

セントラルスコープが起動しているか `jco_spmc_status` コマンドを使用して確認してください。起動している場合、セントラルスコープの起動処理に時間が掛かり、接続のリトライ回数とリトライ時間の範囲内で接続が確立できなかったことが考えられます。リトライの設定を見直してください。リトライを設定し直しても接続できない場合や、セントラルスコープが起動していない場合、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4754-I

Event Console Server was connected.

イベントコンソールサービスに接続しました

イベント基盤サービスからイベントコンソールサービスに接続しました。

## KAVB4755-E

An attempt to connect to Event Console Server failed.

イベントコンソールサービスへの接続に失敗しました

イベント基盤サービスがイベントコンソールサービスへの接続に失敗しました。設定された回数リトライを行いましたが接続できませんでした。

(S)

イベントコンソールサービスへの接続を停止し、処理を続行します。

(O)

イベントコンソールサービスが起動しているか `jco_spmc_status` コマンドを使用して確認してください。起動している場合、イベントコンソールサービスの起動処理に時間がかかり、接続のリトライ回数とリトライ時間の範囲内で接続が確立できなかったことが考えられます。リトライの設定を見直してください。リトライを設定し直しても接続できない場合やイベントコンソールサービスが起動していない場合、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4756-I

The automatic action process was disconnected.

アクション実行サービスとの接続を切断しました

イベント基盤サービスとアクション実行サービス間の接続を切断しました。

(S)

以降、アクション実行サービスへの自動アクション要求を送信しません。

## KAVB4757-I

Central Scope was disconnected.

セントラルスコープとの接続を切断しました

イベント基盤サービスとセントラルスコープの接続を切断しました。

(S)

以降、セントラルスコープへはイベントを送信しません。

## KAVB4758-I

Event Console Server was disconnected.

イベントコンソールサービスとの接続を切断しました

イベント基盤サービスとセントラルスコープの接続を切断しました。

(S)

以降、イベントコンソールへはイベントを送信しません。

## KAVB4759-E

An attempt to request transmission to the automatic action process failed.:(SEQNO: 送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号, Command: 送信に失敗した自動アクションのコマンド)

自動アクションプロセスへのアクション要求に失敗しました:(イベント DB 内通し番号:送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号, コマンド:送信に失敗した自動アクションのコマンド)

自動アクションプロセスへのアクション要求に失敗しました。設定された回数リトライしましたが、送信できませんでした。

(S)

表示されたイベントのアクションを送信せず、処理を続行します。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。コマンドを実行する必要がある場合は、表示されたコマンドを手動で実行してください。

#### KAVB4760-E

Event transmission to Central Scope failed.:(SEQNO: 送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号)

セントラルスコープへのイベント送信に失敗しました:(イベント DB 内通し番号:送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号)

セントラルスコープへのイベント送信に失敗しました。設定された回数リトライしましたが送信できませんでした。

(S)

表示されたイベントを送信せず、処理を続行します。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4761-E

Event transmission to Event Console Server failed.:(SEQNO: 送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号)

イベントコンソールサーバへのイベント送信に失敗しました:(イベント DB 内通し番号:送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号)

イベントコンソールサーバへのイベント送信に失敗しました。設定された回数リトライしましたが送信できませんでした。

(S)

表示されたイベントを送信せず、処理を続行します。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4762-W

The response to the request timed out.

要求に対する応答がタイムアウトしました

要求を送信したプロセスからの応答がタイムアウトしました。

(S)

タイムアウトになったプロセスとの接続を切断し処理を続行します。

## KAVB4764-W

An error occurred in acquiring an event from the event service. Please check if the event service is running or not. If not, recover the error by starting the event service.

イベントサービスからイベントを取得するときにエラーが発生しました。イベントサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合はイベントサービスを起動してください

イベントサービスからイベントを取得するときにエラーが発生しました。イベントサービスからイベント  
コンソールサービス、アクション実行サービスに対してイベント配信ができません。

(S)

処理を続行します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、イベントサービスを起動してください。イベントサービスが起動している場合、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4765-I

Event Flow Control Service detected the refused connection from the automatic action process. An attempt to request transmission to the automaedic action process was stopped.: (SEQNO: 送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号, Command: 送信に失敗した自動アクションのコマンド)

アクション実行サービスとの通信切断を検知しました。アクション実行サービスへのアクション要求を中止しました：(イベント DB 内通し番号:送信に失敗した自動アクションの契機イベントのイベント DB 内通し番号, コマンド:送信に失敗した自動アクションのコマンド)

アクション実行サービスとの通信が切断されたことをイベント基盤サービスが検知しました。

(S)

再接続されるまでアクション実行サービスへのアクション要求を行いません。

## KAVB4766-I

Event Flow Control Service detected the refused connection from Central Scope Server. Event transmission to Central Scope Server was stopped.:(SEQNO: イベント DB 内通し番号)

セントラルスコープとの通信切断を検知しました。セントラルスコープへのイベント送信を中止しました：(イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号)

セントラルスコープとの通信が切断されたことをイベント基盤サービスが検知しました。

(S)

再接続されるまでセントラルスコープへのイベント配信を行いません。

## KAVB4767-I

Event Flow Control Service detected the refused connection from Event Console Server. Event transmission to Event Console Server was stopped.:(SEQNO: イベント DB 内通し番号)

イベントコンソールサービスとの通信切断を検知しました。イベントコンソールサービスへのイベント送信を中止しました：(イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号)

イベントコンソールサービスとの通信が切断されたことをイベント基盤サービスが検知しました。

(S)

再接続されるまでイベントコンソールサービスへのイベント配信を行いません。

## KAVB4768-E

An attempt to initialize communication processing has failed. (reason = 要因)

通信処理の初期化に失敗しました。要因:要因

イベント基盤サービスの通信処理の初期化に失敗しました。

(S)

イベント基盤サービスを停止します。

(O)

ネットワークの設定が間違っているおそれがあります。統合トレースログまたは共通メッセージログを確認し、このメッセージの前に出力されているエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。ネットワークの設定が間違っていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4769-E

An attempt to initialize communication processing for the event base service has failed. (IP address = IP アドレス, port number = ポート番号, reason = 要因)

イベント基盤サービスの通信処理の初期化に失敗しました。IP アドレス:IP アドレス ポート番号:ポート番号 要因:要因

イベント基盤サービスの通信処理の初期化に失敗しました。

(S)

複数 LAN 設定時の場合、エラーが発生した IP アドレスを無視して処理を続行します。

複数 LAN 以外の場合、イベント基盤サービスを終了します。

(O)

services ファイルに定義されているサービス名 jplimfcs のポート番号がほかのサービスと重複していないことを確認してください。重複している場合、重複しないようにポート番号を変更してください。また、OS の設定やログを確認し、ネットワークが使用できることを確認してください。

上記に該当しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4770-W

An attempt at event acquisition processing from the specified event acquisition start location has failed. Acquisition will begin from the events (events after serial number イベント DB 内通し番号 in the event database) that are registered after JP1/IM - Central Console is started.(保守情報)

指定されたイベント取得開始位置のイベント取得処理に失敗しました。起動後に登録されたイベント(イベント DB 内通し番号 イベント DB 内通し番号以降のイベント)から取得を開始します:保守情報

JP1/IM - Manager 起動時にイベント基盤サービスで、指定されたイベント取得開始位置のイベントをイベントサービスから取得するときにエラーが発生しました。

起動後に登録されるイベントが、JP1/Base, JP1/IM - Manager で内部的に使用する連絡用イベントである場合、メッセージに表示されたイベントが取得できないことがあります。また、イベント取得フィルターやユーザーフィルターなどのフィルターによってメッセージに表示されたイベントがフィルタリングされることがあります。

(S)  
JP1/IM - Manager 起動後にイベントサービスに登録されたイベントから取得を開始します。

(O)  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4771-I

The event database has been switched, so the events from serial numbers イベント DB 内通し番号 1 to イベント DB 内通し番号 2 cannot be acquired.

イベントデータベースが切り替わったためイベント DB 内通し番号 イベント DB 内通し番号 1 からイベント DB 内通し番号 2 のイベントを取得することができません

イベント DB が切り替わったため、切り替わる前のイベント DB に格納されていたイベントが取得できませんでした。

(S)  
イベント DB の先頭からイベントの取得を開始します。

## KAVB4772-I

Acquisition will be started from the events registered after JP1/IM - Central Console is started, because no event exists in the event database.

イベントデータベースにイベントがないため起動後に登録されたイベントから取得を開始します

イベント DB にイベントがないためイベント取得開始位置で設定されたイベントが取得できませんでした。



(S)

JP1/IM - Manager 起動後にイベントサーバに登録されたイベントから取得を開始します。

## KAVB4773-E

Connection to the Event Server is not possible because the permission was not set.  
イベントサーバに接続するための権限が設定されていないためイベントサーバに接続できません

イベントサーバに接続するための権限が設定されていないためイベントサーバに接続できませんでした。

(S)

イベントを取得できないため、JP1/IM - Manager を終了します。

(O)

JP1/Base のイベントサーバ設定ファイルの users パラメーターに\*または、SYSTEM (Windows の場合)、root (UNIX の場合) を設定して JP1/Base, JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB4774-W

Acquisition will now be started from the events (events after serial number イベント DB 内通し番号 in the event database) registered after JP1/IM - Central Console is started, because the event acquisition start location (serial number in the event database: イベント DB 内通し番号) of 制御名 is invalid.

制御名のイベント取得開始位置(イベント DB 内通し番号: イベント DB 内通し番号)が不正であるため起動後に登録されたイベント(イベント DB 内通し番号 イベント DB 内通し番号以降のイベント)から取得を開始します

メッセージに表示された制御でイベント取得開始位置が不正であることを検知しました。制御名には「自動アクションサービス」「イベントコンソールサービス」「セントラルスコープサービス」「関連イベント発行機能」のどれかが表示されます。

(S)

メッセージに表示された制御は、JP1/IM - Manager 起動後にイベントサーバに登録されたイベントから取得を開始します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4775-I

The event database has been switched, so the event acquisition start location (serial number in the event database: イベント DB 内通し番号) of 制御名 was not found. Acquisition will now start from the start of the event registered in the event database (serial number in the event database: イベント DB 内通し番号).

イベントデータベースが切り替わったため**制御名**のイベント取得開始位置(イベント DB 内通し番号:**イベント DB 内通し番号**)が見つかりません。イベントデータベースに登録されたイベントの先頭(イベント DB 内通し番号:**イベント DB 内通し番号**)から取得を開始します

イベントデータベースが切り替わったため、メッセージで表示された制御のイベント取得開始位置が見つかりませんでした。制御名には「自動アクションサービス」「イベントコンソールサービス」「セントラルスコープサービス」「関連イベント発行機能」のどれかが表示されます。

イベントデータベースの先頭のイベントが、JP1/Base, JP1/IM - Manager で内部的に使用する連絡用イベントである場合、メッセージに表示されたイベントが取得できないことがあります。また、イベント取得フィルターやユーザーフィルターなどのフィルターによってメッセージに表示されたイベントがフィルタリングされることがあります。

(S)

メッセージに表示された制御は、イベント DB の先頭からイベントの取得を開始します。

## KAVB4776-W

The event acquired from the event service will be ignored because the event contains invalid information. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reason code = 要因コード)

イベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します イベント DB 内通し番号:**イベント DB 内通し番号** 要因コード:**要因コード**

イベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します。

(S)

不正な情報を含むイベントを無視して処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 要因コードが 3 の場合  
イベントの到着時刻が不正です。マネージャーでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。
- 要因コードが 4 の場合  
イベントの登録時刻が不正です。イベントが登録されたホストでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。

上記で問題がない場合、または上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4777-E

An attempt to switch the event acquisition filter failed because the event database contains an invalid event.

イベント DB に不正なイベントが含まれているためイベント取得フィルターの變更に失敗しました

イベント DB に不正なイベントが含まれているためイベント取得フィルターの變更に失敗しました。

(S)

變更前のイベント取得フィルターで処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4780-E

The Integrated Monitoring database is not set up.

統合監視 DB がセットアップされていません

統合監視 DB がセットアップされていません。

(S)

イベント基盤サービスを停止します。

(O)

jcodbsetup コマンドで統合監視 DB をセットアップして、JP1/IM - Manager を再起動してください。  
また、統合監視 DB を使用しない場合は、jcoimdef コマンドの -db オプションでイベント保管機能を無効にして JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB4785-E

An error occurred in the communication with プロセス名. (reason = 要因)

プロセス名との通信でエラーが発生しました。要因:要因

イベント基盤サービスと表示されたプロセスとのソケット通信でエラーが発生しました。

(S)

表示されたプロセスとの接続を切断し通信処理を中止します。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4786-E

Communication processing timed out because the process (プロセス名) did not respond.

プロセス(プロセス名)が応答しないため通信処理がタイムアウトしました

表示されたプロセスから送られた処理要求をイベント基盤サービスが受け付け、結果をプロセスに返信しようとしたが、プロセスが応答しないため通信処理がタイムアウトしました。

(S)

イベント基盤サービスは表示されたプロセスとの接続を切断し、処理を続行します。

(O)

マネージャーホストが高負荷になっていないかを確認してください。高負荷になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4787-E

An error occurred that prevented communication of the event base service from continuing.  
(reason = 要因)

イベント基盤サービスの通信処理で続行不能なエラーが発生しました。要因:要因

イベント基盤サービスのソケット通信で続行不能なエラーが発生しました。

(S)

複数 LAN 設定時の場合、エラーが発生したソケット通信を終了し、処理を続行します。

複数 LAN 以外の場合、通信可能なソケットがない場合、イベント基盤サービスを終了します。

(O)

JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4788-W

The port number of the サービス名 service could not be acquired. The default port number ポート番号 will be used now and the system will run. Confirm the setting.

サービス名サービスのポート番号を取得できませんでした。ポートポート番号番(デフォルト)を使用し起動します。設定を確認してください

JP1/IM - Manager 起動時に、ポート番号の取得に失敗しました。

(S)

デフォルトのポート番号を使用し、処理を続行します。

(O)

ポート番号の設定を見直してください。

## KAVB4789-W

A definition could not be reflected in Event Console Service because a communication error occurred. (details = 要因)

通信エラーが発生したため、イベントコンソールサービスに定義の値を反映できませんでした。要因：  
要因

通信エラーが発生したため、次の定義がイベントコンソールサービスに反映できませんでした。

- メモ情報の設定機能の有効/無効

(S)

リロード処理を続行します。

(O)

次の内容を確認し、リロード処理を再実行してください。

- イベントコンソールサービスが起動しているか。
- マネージャーが高負荷になっていないか。

再実行しても同じメッセージが表示される場合は資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4790-W

Saving of a business group ID failed. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reception time = 到着時刻, business group name = 業務グループ名, cause = 要因)

業務グループ ID の格納に失敗しました。(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号, 到着時刻:到着時刻, 業務グループ名:業務グループ名, 要因:要因)

業務グループによる参照・制限機能が有効時に業務グループ ID の格納に失敗したため、この JP1 イベントは、業務グループの JP1 ユーザーに通知できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

業務グループの JP1 ユーザーに、通知できなかった JP1 イベントがあることを連絡してください。

また、メッセージの要因に従い、対処してください。

- 要因：001  
固有の拡張属性値の個数が 100 個を超えました。JP1 イベントの発行方法を見直してください。
- 要因：002  
拡張属性値の合計サイズが 10,000 バイトを超えました。JP1 イベントの発行方法を見直してください。
- 要因：003  
メモリー不足が発生しました。メモリー使用量を確認し、JP1/IM を再起動してください。
- 要因：255  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4802-I

A severity change definition was registered. (severity change definition name = 重大度変更定義名, registering user = ユーザー名)

重大度変更定義を登録しました。(重大度変更定義名:重大度変更定義名, 登録ユーザー:ユーザー名)

追加重大度変更定義を登録しました。

## KAVB4803-I

A display message change definition was registered. (display message change definition name = 表示メッセージ変更定義名, registering user = ユーザー名)

表示メッセージ変更定義を登録しました。(表示メッセージ変更定義名:表示メッセージ変更定義名, 登録ユーザー:ユーザー名)

追加表示メッセージ変更定義を登録しました。

## KAVB4901-E

I/O error occurred. : 保守情報

入出力エラーが発生しました : 保守情報

ファイルの入出力などで I/O エラーが発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4902-E

Insufficient memory. : 保守情報

メモリー不足が発生しました : 保守情報

メモリー不足が発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4903-E

System error occurred. : 保守情報

システムエラーが発生しました：保守情報

システムエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

システムのエラーメッセージに従って対処してください。必要に応じて、資料を採取しシステム管理者に連絡してください。

## KAVB4904-E

System error occurred. : 保守情報

システムエラーが発生しました：保守情報

システムエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB4905-E

Failed to put message(メッセージ ID). : 保守情報

メッセージの出力に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

保守情報に従って対処してください。

## KAVB4906-E

System file(ファイル名) is corrupt. : 保守情報

システムファイル(ファイル名)が壊れています：保守情報

システムで管理しているファイルが壊れているか、または消去されています。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4907-E

No more space in file(ファイル名).  
ファイル(ファイル名)に空き容量がありません

書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量がありません。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB4908-E

Error that prevented processing occurred in Event Server. : 保守情報 イベント関数のリターンコード  
イベントサーバで続行不能エラーが発生しました : 保守情報 イベント関数のリターンコード

イベントサーバへの接続、イベントの登録、または取得時に続行できないエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

イベントサーバの状態を確認して対処してください。

#### KAVB4909-E

An attempt to set locale information has failed.  
ロケール情報の設定に失敗しました

OSにてサポートされていないロケールが設定されていたため、ロケール情報の設定に失敗しました。

(S)

- マネージャー起動時に出力された場合は、C ロケールを仮定して処理を続行しますが、動作は不定です。
- [アクション設定] 画面起動時および [アクション設定] 画面の [適用] ボタンをクリックしたときに出力された場合は、操作を打ち切ります。
- jcamakea コマンドの実行時に出力された場合は、処理を打ち切ります。



(O)

- マネージャー起動時に出力された場合は、jp1co\_env.conf ファイルの LANG の値が指定できる値であることを確認し、再起動してください。
- [アクション設定] 画面起動時および [アクション設定] 画面の [適用] ボタンをクリックしたときに出力された場合は、環境変数の値を確認して再起動したあと、操作してください。
- jcamakea コマンドの実行時に出力された場合は、実行環境の環境変数 LANG の値が指定できる値であることを確認してください。
- また、ロケール環境変数 (LC\_ALL, LC\_COLLATE, LC\_CTYPE, LC\_MONETARY, LC\_NUMERIC, LC\_TIME, LC\_MESSAGES) が設定されている場合には、ロケール環境変数に対して unset コマンドを実行して再実行してください。

対処を行っても回復しない場合は、ターミナル上で locale -a を実行し、OS にそのロケール (環境変数 LANG の値) がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、そのロケールをインストールしてください。

## KAVB5000-W

The Action Parameter Definitions window cannot be displayed because an item(項目名) not displayable by the connected IM-View is set. (line: 行番号, file: ファイル名)

接続している IM-View で表示できない項目(項目名)が設定されているため、アクション設定画面を表示できません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

接続している JP1/IM - View のバージョンでは処理できないアクション定義を含んでいるため、[アクション設定] 画面を起動できません。

(S)

アクション定義の読み込み処理を中断します。

(O)

次に示す項目を表示できるバージョンの JP1/IM - View で [アクション設定] 画面を起動してください。

- [状態監視] は、07-11 以降の JP1/IM - View で表示できます。
- [抑止時間] は、07-11 以降の JP1/IM - View で表示できます。
- [遅延監視時間] は、07-11 以降の JP1/IM - View で表示できます。
- [ルール] は、08-00 以降の JP1/IM - View で、JP1/IM - Rule Operation 連携機能を有効にした場合表示できます。ただし、JP1/IM - Manager が 13-00 以降の場合は JP1/IM - Rule Operation 連携機能を使用できないため、自動アクション定義ファイルのルール起動要求を設定しているアクション定義を削除してください。

## KAVB5001-E

The Action Parameter Definitions window could not be displayed because the version of the current automatic action definition is incompatible with the connected JP1/IM - View.

現在定義されている自動アクション定義が未対応のバージョンのため、[自動アクション設定] 画面を表示できませんでした

接続先の JP1/IM - Console で定義されているアクション定義のバージョンが未対応のバージョンのため、[自動アクション設定] 画面を表示できませんでした。

(S)

自動アクション定義の読み込み処理を中断します。

(O)

現在定義されている自動アクション定義を表示できるバージョンの JP1/IM - View で [アクション設定] 画面を起動してください。

なお、自動アクション定義のバージョンが 3 の場合は、09-00 以降の JP1/IM - View で表示できます。

自動アクション定義のバージョンが 4 の場合は、11-50 以降の JP1/IM - View で表示できます。

## KAVB5002-E

The Action Parameter Definitions window could not be updated because the version of the current automatic action definition is incompatible with the connected JP1/IM - View.

現在定義されている自動アクション定義が未対応のバージョンのため、自動アクション定義の更新ができませんでした

接続先のセントラルコンソール (JP1/IM - Console) で定義されているアクション定義のバージョンが未対応のバージョンのため、自動アクション定義の更新ができませんでした。

(S)

自動アクション定義の更新処理を中断します。

(O)

現在定義されているバージョンの自動アクション定義を表示できるバージョンの JP1/IM - View で [アクション設定] 画面を起動し、定義を更新してください。

なお、自動アクション定義のバージョンが 3 の場合は、09-00 以降の JP1/IM - View で表示できます。

自動アクション定義のバージョンが 4 の場合は、11-50 以降の JP1/IM - View で表示できます。

## KAVB5050-W

No Action Definition Information is specified.

アクション定義情報がありません

入力するアクション定義のヘッダー情報、またはアクション定義情報が指定されていません。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で定義を再入力してください。

## KAVB5051-W

An invalid Parameter Group Number or an invalid event AND condition is specified. (line: 行番号)

パラメーターグループ番号またはイベント AND 条件の指定が不当です (行番号: 行番号)

先頭のアクション定義にイベント AND 条件が指定されているか、[アクション詳細設定] 画面のパラメーターグループに 0~9 の数値, または&以外の文字が指定されています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で, アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5052-W

An invalid Event ID is specified. (line: 行番号)

イベント ID の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面のイベント ID が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で, アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5053-W

Invalid Message Text is specified. (line: 行番号)

メッセージテキストの指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面のメッセージに指定された正規表現が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で, アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5054-W

Invalid Event Basic Information is specified. (line: 行番号)

イベント基本情報の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面のイベント基本情報に指定された正規表現が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5055-W

Invalid Event Detail Information is specified. (line: 行番号)

イベント詳細情報の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面のイベント詳細情報に指定された正規表現が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

アクション定義情報を正しく指定して、再度 [アクション詳細設定] 画面を実行してください。

## KAVB5056-W

An invalid severity for Event Expansion Information is specified. (line: 行番号)

イベント拡張情報の重大度の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面のイベント拡張情報の重大度に指定された値が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5057-W

An invalid User Name is specified. (line: 行番号)

ユーザー名の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定された実行ユーザー名が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

#### KAVB5058-W

An invalid Environment Definition File is specified. (line: 行番号)  
環境変数ファイル名の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定された環境変数ファイル名が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

#### KAVB5059-W

An invalid Execution Host or Group is specified. (line: 行番号)  
実行先ホスト/グループ名の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定された実行ホスト名が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

#### KAVB5060-W

The length of one parameter exceeds 最大長 bytes. (line: 行番号)  
1件のパラメーター長が最大長バイトを超えています (行番号:行番号)

1件のアクション定義のパラメーター長が最大長バイトを超えています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5061-W

More than 100 Event Extended Attributes are specified. (line: 行番号)  
イベント拡張属性の指定が 100 件を超えています (行番号: 行番号)

100 件を超えるイベント拡張属性を 1 件のアクション定義に指定しました。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5062-W

An invalid Event Extended Attribute is specified. (line: 行番号)  
イベント拡張属性の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定されたイベント拡張属性の正規表現が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5063-W

No action is specified. (line: 行番号)  
アクションが指定されていません (行番号: 行番号)

ユーザー名、環境変数ファイル名、または実行先ホスト/グループ名が指定されていますが、アクションが指定されていません。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5064-W

More than 10 event AND conditions are specified in Action Definitions. (line: 行番号)  
イベント AND 条件の指定が 10 件を超えています (行番号: 行番号)

10 件を超えるアクション定義にイベント AND 条件を指定しました。

(S)

該当する行のアクション定義を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5065-W

Invalid Event Extended Attribute Name. (line: 行番号)

イベント拡張属性名の記述が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定されたイベント拡張属性名が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

アクション定義情報を正しく指定して、再度 [アクション詳細設定] 画面を実行してください。

#### KAVB5066-W

An invalid Suppression Time is specified. (line: 行番号)

抑止時間の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面で指定された抑止時間の値が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

アクション定義情報を正しく指定して、再度 [アクション詳細設定] 画面を実行してください。

#### KAVB5067-W

An invalid Delay Monitoring Time is specified. (line: 行番号)

遅延監視時間の指定が不適切です (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面に指定された遅延監視時間の値が誤っています。

(S)

アクション定義作成処理を中断します。

(O)

アクション定義情報を正しく指定して、再度 [アクション詳細設定] 画面を実行してください。

## KAVB5068-W

The length of Action parameter exceeds **最大長** bytes. (line: 行番号)  
アクションのパラメーター長が**最大長**バイトを超えています (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面で指定されたアクションのパラメーター長が**最大長**バイトを超えています。

- (S)  
アクション定義作成処理を中断します。
- (O)  
アクション定義情報を正しく指定して、再度 [アクション詳細設定] 画面を実行してください。

## KAVB5069-W

The length of the event monitoring condition parameter exceeds **最大長** bytes. (line = 行番号)  
イベント監視条件に設定できるパラメーター長が**最大長**バイトを超えています (行番号: 行番号)

[アクション詳細設定] 画面でイベント監視条件に設定できるパラメーター長が**最大長**バイトを超えています。

- (S)  
アクション定義作成処理を中断します。
- (O)  
[アクション詳細設定] 画面で、アクション定義情報を正しく入力し直してください。

## KAVB5070-E

An attempt to write data to the action definition file(**ファイル名**) has failed. (detailed information = **詳細情報**)  
アクション定義ファイル(**ファイル名**)へのデータの書き込みに失敗しました (詳細情報:**詳細情報**)

自動アクション定義ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

- (S)  
自動アクション定義ファイルへのデータの書き込みを停止し、自動アクション定義ファイルを書き込み前の状態に回復します。  
マネージャーに設定を反映しないで、処理を続行します。
- (O)  
[アクション設定] 画面で、自動アクションの設定を再度行ってください。  
また、次の内容を確認してください。
- ディスクの空き容量が不足していないか。
  - システムの物理メモリー、および仮想メモリーの空き容量が不足していないか。



- 次のパスに、フォルダ（ディレクトリ）ではなく、同名のファイルが存在していないか。
- 次のパスのフォルダ（ディレクトリ）にアクセス権が設定されているか。

Windows の場合：

物理ホスト：

Console パス¥conf¥action

Console パス¥conf¥tmp

論理ホスト：

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥action

共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥tmp

UNIX の場合：

物理ホスト：

/etc/opt/jp1cons/conf/action

/etc/opt/jp1cons/conf/tmp

論理ホスト：

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/action

共有ディレクトリ/jp1cons/conf/tmp

問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5104-W

The Action Definition file includes an invalid parameter.

アクション定義ファイルに不適切なパラメーターがあります

自動アクション定義ファイルに不適切な記述があります。

(S)

無効なアクション定義を読み飛ばし、処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの定義内容を確認し、再実行してください。

## KAVB5105-W

Failed to change the Action Definition file.

アクション定義ファイルの変更に失敗しました

自動アクション定義ファイルの変更に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認し、要因を取り除いたあと再実行してください。

- 自動アクション定義ファイルがあるか
- 別のプロセスが自動アクション定義ファイルにアクセスしていないか
- 自動アクション定義ファイルが読み取り、書き込み可能であるか
- デバイスに空き容量が十分にあるか

再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB5106-E

Current Directory is too long.

カレントディレクトリが長過ぎます

カレントディレクトリが長過ぎます。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

カレントディレクトリ+ファイル名が 255 バイト以内になるように変更して再実行してください。

### KAVB5107-W

Cannot connect to Automatic Action process.

自動アクションプロセスに接続できません：

自動アクションデーモン（サービス）に接続できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロセスが起動しているか、ビジー状態かどうかを確認して、再実行してください。

### KAVB5108-W

Cannot receive response from Automatic Action process.

自動アクションプロセスからの応答がありません

自動アクションデーモン（サービス）からの応答がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロセスが正常に稼働しているか確認後、再実行してください。

#### KAVB5109-W

Cannot receive response from the Event Console Service.  
イベントコンソールサービスからの応答がありません

イベントコンソールサービスからの応答がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロセスが正常に稼働しているかを確認後、再実行してください。

#### KAVB5110-W

Cannot receive response from the event base service.  
イベント基盤サービスからの応答がありません

イベント基盤サービスからの応答がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロセスが正常に稼働しているか確認後、再実行してください。

#### KAVB5111-W

The value for an option specified together with the -i option was invalid.  
-i オプションと一緒に指定されたオプションの値を反映できませんでした

-i オプションと一緒に指定されたオプションの値を反映できませんでした。

(S)

-i オプションと一緒に指定されたオプションの値を反映しないで、処理を続行します。

(O)

統合トレースログに KAVB4901-E, KAVB4789-W メッセージが出力されている場合は、出力されているエラーの対処方法に従ってください。

出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5112-E

Failed to change the automatic action definition file because there is a mistake in the automatic action definition file.

自動アクション定義ファイルの記述に誤りがあるため、自動アクション定義ファイルの変更に失敗しました

自動アクション定義ファイルの記述に誤りがあるため、自動アクション定義ファイルの変更に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

マネージャーの自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して、再度操作してください。エラー要因については、統合トレースログを確認してください。

## KAVB5150-W

There is no applicable data in the Command Executed log file.

コマンド実行履歴に該当データがありません

コマンド実行履歴から履歴を取得しようとしたのですが、該当データがありませんでした。

(S)

該当データを無視して処理を続行します。

(O)

「送信待機」状態のアクションをキャンセルした際に出力された場合には、コマンド実行先の JP1/Base にアクションの実行要求がキューイングされる前に自動アクションデーモン(サービス)での削除処理が完了したために出力されていますので、問題はありません。上記状況以外で出力された場合には、必要に応じて、コマンド実行履歴のサイズを大きくするなどしてください。

## KAVB5151-W

Failed to get data from Command Executed log file. : 保守情報

コマンド実行履歴からデータの取得に失敗しました : 保守情報

自動アクションのコマンド実行履歴から履歴を取得しようとしたのですが、コマンド実行履歴ファイルの操作でエラーが発生しました。

(S)

該当データを無視して処理を続行します。

(O)

保守情報に表示される要因コードに従って以降に示す確認をしてください。なお、保守情報は、「エラー発生個所番号 1 エラー発生個所番号 2 要因コード」のように表示されます。

- 要因コードが 1 の場合  
自動アクションのコマンド実行履歴ファイルがロックされています。時間をおいて再実行してください。
- 要因コードが 2 の場合  
システムに定義されているファイルの最大オープン数を超えています。OS のリソースを確保して再実行してください。
- 要因コードが 4 の場合  
自動アクションのコマンド実行履歴ファイルが壊れているおそれがあります。自動アクションのコマンド実行履歴ファイルの状態を確認する方法、および回復方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(9) コマンド実行履歴ファイルが壊れている場合の対処方法」を参照してください。  
自動アクションのコマンド実行履歴ファイルの状態が正常だった場合、JP1/IM の資料採取ツールを実行し、システム管理者に連絡してください。
- 要因コードが 5 の場合  
メモリーが不足しています。OS のリソースを確保して再実行してください。

## KAVB5152-W

An invalid response was received when the command was executed. (source host name = ホスト名, action serial number = アクション通し番号, cid = cid, reason code = 要因コード)  
コマンド実行から不正な応答を受信しました 送信元ホスト名:ホスト名 アクション通し番号:アクション通し番号 cid:cid 要因コード:要因コード

コマンド制御から受信した応答の時刻情報が不正です。自動アクション結果の開始時刻、または終了時刻が表示されない場合があります。

(S)

不正個所を無視して処理を続行します。

(O)

アクションが実行されたホストでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。

問題ない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5200-W

No Action Definition File is specified.  
アクション定義ファイルが指定されていません

コマンドの引数に自動アクション定義ファイル名が指定されていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

自動アクション定義ファイル名を指定して再実行してください。

## KAVB5201-W

More than 100 Action Definition Files are specified.

指定できるアクション定義ファイル数は最大 100 個までです

コマンドの引数に指定した自動アクション定義ファイル数が 100 を超えています。

(S)

101 個目以降に指定したファイル名を無視して、処理を続行します。

(O)

テキストエディターなどで自動アクション定義ファイルを統合して数を減らしてから、再実行してください。または 100 個までマージして作成した自動アクション定義ファイルと、101 個目以降の自動アクション定義ファイルを指定して再実行してください。

## KAVB5202-W

The specified Action Definition File(ファイル名) has no parameters.

指定したアクション定義ファイル(ファイル名)にパラメーターがありません

指定した自動アクション定義ファイルにチェック対象のパラメーターがありません。空白、改行、コメント行だけのファイルです。

(S)

該当する自動アクション定義ファイルの処理を中断します。複数のファイルを指定している場合は、次のファイルを処理します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5203-W

An invalid Action Definition exists. (line: 行番号 to 行番号, file: ファイル名)

無効になるアクション定義があります(行番号: 行番号 から 行番号, ファイル名: ファイル名)

不適切なアクション定義があったため、イベント AND 条件に指定されたアクション定義は、すべて無効となります。

(S)

該当する行のアクション定義は無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5250-W

Invalid Label name(ラベル名).

ラベル名(ラベル名)は不適切です

不適切なラベル名が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5251-W

Invalid value to Label name(ラベル名) is specified.

ラベル名(ラベル名)の値が不適切です

ラベル名に対し不適切な値が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5252-W

No value to Label name (ラベル名) is specified.

ラベル名(ラベル名)の値がありません

ラベル名に値する値が指定されていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5253-W

No Label name is specified.

ラベル名の指定がありません

ラベル名の指定がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5254-W

Failed to set value of Label name(ラベル名). : 保守情報

ラベル名(ラベル名)の設定に失敗しました : 保守情報

ラベル名の値の設定に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

共通定義の設定が破壊されていないか確認してください。

## KAVB5300-I

A request to re-execute an action was accepted.

アクションの再実行要求を受け付けました

アクションの再実行要求を受け付けました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB5301-W

There is no applicable data in the Action Information file.

アクション情報ファイルに該当データがありません

アクション情報ファイルからそのアクション情報を取得しようとしたのですが、データがありませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。



(O)

JP1/IM - Manager を導入または、アクション情報ファイルを消去してから、一度もアクションを実行していない場合と、アクション情報ファイル内でラップし、該当のアクション情報が見つからない場合に表示されます。

アクション情報ファイルのラップにより、このメッセージが表示された場合は、アクション情報ファイルの容量が適切であるか確認してください。適切でない場合はアクション情報ファイルの容量を見積もり、適切な容量を設定してください。アクション情報ファイルの容量が適切に設定されている場合、アクション実行サービス (jcamain) がデッドロックや無限ループなどで処理が停止 (ハングアップ) しているおそれがあります。アクション実行サービスが停止している場合は、資料を採取し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

jco\_spmd\_status コマンドを実行し、アクション実行サービスが起動しているか確認してください。アクション実行サービスが起動している場合は、次の内容を確認してください。

- ヘルスチェック機能を有効にしている場合  
KAVB5301-W メッセージが表示されたイベントのイベント到着時刻付近で、統合トレースログファイルに KAVB8060-E が出力されていないかを確認する。
- ヘルスチェック機能を無効にしている場合  
KAVB5301-W メッセージが表示されたイベントより前に受信したイベントでアクションの詳細が正しく表示されるかを確認する。

## KAVB5302-W

A request to re-execute an action could not be accepted.

アクションの再実行要求は受け付けられません

アクションの再実行要求をしましたが、JP1/IM - Console 06-51 以前の環境で実行したアクションであるため、再実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

アクションの内容を確認し、再実行したい場合は、[コマンド実行] 画面から実行してください。

## KAVB5303-W

The action's status does not allow re-execution.

Please click the "Update" button and check the status.

アクションが再実行できる状態にありません。更新ボタンを押して状態を確認してください

アクションの再実行要求後、[更新] ボタンをクリックする前にアクションの再実行を再度要求しました。または、アクション情報ファイルにそのアクションのデータが存在しないため、アクションの再実行はできません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

[アクション結果一覧] 画面の [更新] ボタンをクリックして、アクションの最新の状態を確認してください。

時間をおいて [更新] ボタンをクリックしたあともこのメッセージが出力される場合は、アクション情報ファイルにそのアクションのデータが存在していません。必要に応じてアクション情報ファイルのサイズを大きくしてください。

## KAVB5304-W

A request to re-execute an action failed.

アクションの再実行要求に失敗しました

アクションの再実行要求に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM - View の接続先ホストで JP1/Base が正常に起動しているかどうか確認してください。

## KAVB5350-I

No displayable action definition exists because an automatic action process is in the **自動アクションの状態 (停止または休止)** state.

自動アクションプロセスが**自動アクションの状態 (停止または休止)** 状態のため表示可能なアクション定義がありません

自動アクションプロセスが停止または休止状態のため、表示可能なアクション定義がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

## KAVB5400-E

Changing of the event distribution option was not possible.(Target file name: コピー先のファイル名, Original file name: コピー元のファイル名): エラー詳細

イベント配信オプションの設定を変更できませんでした(コピー先ファイル名:コピー先のファイル名  
コピー元ファイル名: コピー元のファイル名): エラー詳細

ファイルのコピーに失敗したため、イベント配信オプションの設定を変更できませんでした。

(S)

イベント配信オプションの設定は変更されません。

(O)

エラー情報に従ってコピー先ファイルとコピー元ファイルの状態を確認してください。ファイルが存在しない場合はシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB5401-E

Changing of the event distribution option was not possible. (file: ファイル名)  
イベント配信オプションの設定を変更できませんでした (ファイル名: ファイル名)

イベント配信オプションの設定を変更できませんでした。

(S)

イベント配信オプションの設定は変更されません。

(O)

拡張起動プロセス定義ファイルが、読み取りおよび書き込みができるかどうか確認してください。

#### KAVB5402-E

An attempt to specify startup settings for the Incident Registration Service has failed. (option = -n オプション指定値, reason = 要因, file name = ファイル名)  
インシデント登録サービスの起動設定に失敗しました オプション:-n オプション指定値 要因:要因 (ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - Manager 起動時に、インシデント登録サービスを起動する、または起動しないようにする設定に失敗しました。

(S)

設定する前の状態に戻します。

(O)

- 要因が[I/O Error]の場合  
ファイル名に示したファイルが読み取り、書き込み可能であるか確認してください。
- 要因が[System Error]の場合  
資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB5403-E

An attempt to specify startup settings for the correlation event generation service has failed. (option = -egs オプション指定値, reason = 要因, file name = ファイル名)

相関イベント発行サービスの起動設定に失敗しました オプション:-egs オプション指定値 要因:要因  
(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - Manager 起動時に、相関イベント発行サービスを起動する、または起動しないようにする設定に失敗しました。

(S)

設定する前の状態に戻します。

(O)

- 要因が[I/O Error]の場合  
ファイル名に示したファイルが読み取り、書き込みできるか確認してください。
- 要因が[System Error]の場合  
資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB5450-I

A request to cancel an action was received.  
アクションのキャンセル要求を受け付けました

アクションのキャンセル要求を受け付けました。

(S)

処理を継続します。

#### KAVB5451-I

Action cancellation processing has finished.  
アクションのキャンセル処理を終了しました

アクションのキャンセル処理を終了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVB5452-I

Action cancellation processing has been canceled.  
アクションのキャンセル処理を中断しました

アクションのキャンセル処理を中断しました。

(S)

処理を終了します。

## KAVB5453-I

Cancellation processing was not performed because the action did not exist in the Execution Host.(Action Serial Number=アクション通し番号, Execution Host=アクション実行ホスト名)

アクション(アクション DB 内通し番号=アクション DB 内通し番号,アクション=アクション, 実行ホスト=アクション実行ホスト名)が実行ホストに存在しないため、キャンセル処理を実行しませんでした

アクションが実行ホストに存在しないため、キャンセル処理を実行しませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

キャンセルしたアクションの状態によって、処置方法が異なります。

- キャンセルしたアクションの状態が「終了」の場合、アクションの実行がすでに完了しているため、キャンセル処理を実行できません。アクションの状態が「終了」であることを確認してください。
- キャンセルしたアクションの状態が「終了」以外の場合、アクション実行ホストが起動していることを確認してください。

## KAVB5454-E

Action cancellation processing has failed.

アクションのキャンセル処理が失敗しました

アクションのキャンセル処理が失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の内容を確認して、再実行してください。

- アクション実行ホストが起動しているか。
- アクション要求をした JP1/IM - Manager が起動しているか。
- ネットワークに異常が発生していないか。

## KAVB5455-W

The Action Serial Number(アクション通し番号) is specified more than once.

アクション通し番号(アクション通し番号)が複数回指定されています

アクション通し番号が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

アクション通し番号の重複をなくして再実行してください。

#### KAVB5456-W

A maximum of 20 Action Serial Numbers can be specified.  
指定できるアクション通し番号は最大 20 件までです

引数に指定したアクション通し番号が 20 件を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定するアクション通し番号を 20 件以下にして、再実行してください。

#### KAVB5457-W

The action for the specified Action Serial Number(アクション通し番号) does not exist.  
指定されたアクション通し番号(アクション通し番号)のアクションは存在しませんでした

引数に指定されたアクション通し番号が存在しませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

正しいアクション通し番号を指定して、再実行してください。

#### KAVB5458-W

An invalid Execution Host Name(アクション実行ホスト名) is specified.  
不適切な実行先ホスト名(アクション実行ホスト名)が指定されています

引数に指定されたアクション実行ホスト名が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

正しいアクション実行ホスト名を指定して、再実行してください。

#### KAVB5459-W

Cancellation is not possible because the action with the specified Action Serial Number(アクション通し番号) is not in a cancelable state.

指定されたアクション通し番号(アクション通し番号)のアクションはキャンセル可能な状態でないため、キャンセルできません

引数に指定したアクション通し番号のアクションがキャンセル可能な状態でないため、キャンセル処理を実行しませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

キャンセルできる状態のアクションを指定して再実行してください。

## KAVB5460-E

A request to cancel an action could not be processed by the Execution Host.

(Execution Host=アクション実行ホスト名, Action Serial Number=アクション通し番号)

実行先ホスト(実行ホスト=アクション実行ホスト名)でアクション(アクション通し番号=アクション通し番号)のキャンセル要求を処理できませんでした

アクション実行ホストがアクションのキャンセル要求を処理できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の内容を確認してください。

- アクション実行ホストの JP1/Base のバージョンが 07-10 以降か。
- アクション実行ホストが起動しているか。

## KAVB5461-I

Any action will be cancelled. Is this OK? [Y or N]

アクションをキャンセルします。よろしいですか? [Y or N]

指定したアクションに対してキャンセル要求をしてよいかの確認です。

(S)

入力を待ちます。

(O)

アクションをキャンセルする場合は Y または y を、キャンセルしない場合は N または n を入力してください。

## KAVB5500-E

The specified action definition file cannot be converted because its format is invalid.  
指定されたアクション定義ファイルのフォーマットが間違っているため変換できませんでした

指定されたアクション定義ファイルのフォーマットが間違っているため変換できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

jcamakea コマンドによってアクション定義ファイルの間違いを確認し、間違いを修正したあとに、再度jcadefconv コマンドを実行してください。

## KAVB5502-E

The pre-conversion name of the action definition file matches its post-conversion name.  
変換するアクション定義ファイル名と変換後のアクション定義ファイル名が重複しています

変換するアクション定義ファイル名と変換後のアクション定義ファイル名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

変換後のアクション定義ファイル名のファイル名を変更してください。

## KAVB5504-E

The name of the post-conversion action definition file cannot be used because a file with that name already exists.  
変換後のアクション定義ファイル名と同名のファイルがすでに存在します

変換後のアクション定義ファイル名と同名のファイルがすでに存在するため、アクション定義ファイルを変換できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

変換後のアクション定義ファイル名を変更して、再実行してください。

## KAVB5505-W

After conversion, the action definition file contains an item that is invalid in version 11-50 or later.



変換後のアクション定義ファイルに、11-50 以降の形式で定義不正となる項目があります

出力された 11-50 形式のアクション定義ファイルに、11-50 以降の形式で定義不正となる項目があります。

(S)

処理を終了します。

(O)

出力された 11-50 形式のアクション定義ファイルの不正箇所を修正してください。修正後、jcamakea コマンドで定義不正がないか確認してください。

## KAVB5506-W

The action definition file cannot be converted because the specified value of DESC\_VERSION is 4 or more.

変換するアクション定義ファイルに DESC\_VERSION が 4 以降のアクション定義ファイルが指定されています

変換するアクション定義ファイルに、DESC\_VERSION が 4 以降のアクション定義ファイルが指定されています。

(S)

変換処理を終了します。

(O)

変換するアクション定義ファイル名を確認し、間違いを修正したあとに再度jcadefconv コマンドを実行してください。

## KAVB5511-W

More than 10 AND conditions have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

AND 条件の指定が 10 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の指定が 10 件を超えています。

(S)

エラーのあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5512-W

An ampersand (&) cannot be specified for a parameter group of an action block at the front of an AND condition. (line = 行番号, file = ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません。

(S)

エラーのあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5513-W

More than 256 event conditions have been specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5515-W

The location of the version of the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

自動アクション定義のファイルバージョンの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルのバージョンをファイルの先頭以外に指定しています。

(S)

定義不正のある自動アクション定義ファイルのバージョンを無視して処理を継続します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

### KAVB5516-W

The version information for the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

バージョン情報が不正です。

(S)

自動アクション定義ファイルのバージョンを 3 と仮定して、処理を継続します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5517-W

The parameter パラメーター is missing. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター(パラメーター)が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターが指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5518-W

The shared block has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックが重複しています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックが重複しています。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5519-W

An invalid parameter is specified. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

無効なパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5520-W

An invalid parameter is specified in an action block. (action = アクション名, invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています (アクション名: アクション名, 無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5521-W

An action block does not end with an "end-act" statement. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションブロックの終端がありません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5522-W

An action name is not specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5523-W

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, an action name cannot be specified.  
(action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合はアクション名は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合はアクション名は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5524-W

An action name is duplicated. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が重複しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5525-W

An action name exceeds the maximum length. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が最大長を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が最大長を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5526-W

The parameter パラメーター名 is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5527-W

No value is specified for the parameter **パラメーター名**. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の後に値が指定されていません (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5528-W

The parameter **パラメーター名** is specified more than once. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**が複数指定されています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5529-W

No value is specified for the parameter **パラメーター名**. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の後に値が指定されていません (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5530-W

The parameter **パラメーター名** is specified more than once. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**が複数指定されています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5531-W

The number of characters (bytes) in the parameter **パラメーター名** exceeds the maximum. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5532-W

The number of characters (bytes) in the parameter **パラメーター名** exceeds the maximum. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

最大バイト数以内の文字列を有効として、処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5533-W

An event condition block does not end with an "end-act" statement. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件ブロックの終端がありません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件ブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5534-W

The event condition block is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5535-W

The event condition block attribute name is invalid. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の属性名の記述が不適切です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の属性名が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。



(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5536-W

The attribute name is not specifiable. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

指定できない属性名です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない属性名が指定されました。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5537-W

The comparison key word for the event conditions is invalid. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の比較キーワードの記述が不適切です (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の比較キーワードが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5538-W

The comparison key word is not specifiable. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

指定できない比較キーワードです (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない比較キーワードが指定されました。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5539-W

The number of event condition operands exceeds the maximum number. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件のオペランドが最大数を超過しています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが最大数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5540-W

An event condition operand is duplicated. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5541-W

An event ID operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5542-W

A regular expression is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

正規表現の指定が不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

正規表現の指定が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5543-W

A critical operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5544-W

An operand is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5545-W

The combination of comparison conditions among multiple event attributes that have the same name is invalid. (attribute = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

アクション定義ファイルの不正箇所を修正してください。修正後、jcamakea コマンドで定義ファイルの不正がないか確認してください。

## KAVB5546-W

The number of characters (bytes) in an operand exceeds the maximum. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超過しています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5547-W

The total number of characters (bytes) in the operands exceeds the maximum. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超過しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5548-W

The specified value for the parameter **パラメーター名** is outside the valid range. (specified value = **指定値**, action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

**パラメーター名**に指定した値が範囲外です (指定値: **指定値**, アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

表示されたパラメーターに指定している値が範囲外です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5549-W

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, det cannot be specified. (action = **アクション名**, line = **行番号**, file = **ファイル名**)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません (アクション名: **アクション名**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5550-W

Version information of an action definition file is specified more than once. (line = **行番号**, file = **ファイル名**)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています (行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています。

(S)

定義不正のあるバージョン情報を無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5551-W

A shared block is specified after an action block. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5552-W

A shared block does not end with an "end-act" statement. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックの終端がありません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

#### KAVB5553-W

An invalid parameter is specified for a shared block. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5554-W

The parameter パラメーター名 is specified more than once. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名が複数指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5555-W

No value is specified for the parameter パラメーター名. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の後に値が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5556-W

The parameter パラメーター名 is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

自動アクション定義ファイルの誤りを訂正して再実行してください。

## KAVB5557-W

An error occurred while reading an action definition file. (reason = 要因, line = 行番号, file = ファイル名)  
アクション定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました (要因: 要因, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルの読み込み中に予期せぬエラーが発生しました。

(S)

該当するアクションブロックまたはパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5558-E

The size of the action definition file exceeds the upper limit. (file name = ファイル名, upper limit = 最大サイズ)

アクション定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

アクション定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

アクション定義ファイルを読み込まないで処理を終了します。

(O)

アクション定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、jcamakea コマンドで定義ファイルの不正がないか確認してください。

## KAVB5559-W

The same action ID is specified more than once. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

aid が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション ID が重複しています。

(S)

定義不正のあるアクション ID を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5560-W

You cannot specify an action ID if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は aid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、アクション ID は指定できません。



(S)

定義不正のあるパラメーターグループを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5561-W

You cannot specify "valid" if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は valid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、valid は指定できません。

(S)

定義不正のあるパラメーターグループを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5711-W

More than 10 AND conditions have been specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

AND 条件の指定が 10 件を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の指定が 10 件を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5712-W

An ampersand (&) cannot be specified for a parameter group of an action block at the front of an AND condition. (line = 行番号, file = ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

AND 条件の先頭にあるアクションブロックのパラメーターグループに「&」は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5713-W

More than 256 event conditions have been specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の指定が 256 件を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5715-W

The location of the version of the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

自動アクション定義のファイルバージョンの記述箇所が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルのバージョンをファイルの先頭以外に指定しています。

(S)

定義不正のある自動アクション定義ファイルのバージョンを無視して処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5716-W

The version information for the automatic action definition file is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が不正です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

バージョン情報が不正です。

(S)

自動アクション定義ファイルのバージョンを 3 と仮定して、処理を継続します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5717-W

The parameter パラメーター is missing. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター(パラメーター)が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターが指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5718-W

The shared block has been duplicated. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックが重複しています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックが重複しています。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5719-W

An invalid parameter is specified. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

自動アクション定義ファイルに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

無効なパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5720-W

An invalid parameter is specified in an action block. (action = アクション名, invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています (アクション名: アクション名, 無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5721-W

An action block does not end with an "end-act" statement. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクションブロックの終端がありません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクションブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5722-W

An action name is not specified. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5723-W

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, an action name cannot be specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合はアクション名は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合はアクション名は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5724-W

An action name is duplicated. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が重複しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5725-W

An action name exceeds the maximum length. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション名が最大長を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション名が最大長を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5726-W

The parameter パラメーター名 is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5727-W

No value is specified for the parameter パラメーター名. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の後に値が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5728-W

The parameter パラメーター名 is specified more than once. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名が複数指定されています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5729-W

No value is specified for the parameter パラメーター名. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の後に値が指定されていません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5730-W

The parameter パラメーター名 is specified more than once. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名が複数指定されています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5731-W

The number of characters (bytes) in the parameter パラメーター名 exceeds the maximum. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5732-W

The number of characters (bytes) in the parameter パラメーター名 exceeds the maximum. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名の値が最大バイト数を超過しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの値が最大バイト数を超過しています。

(S)

最大バイト数以内の文字列を有効として、処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5733-W

An event condition block does not end with an "end-act" statement. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件ブロックの終端がありません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件ブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5734-W

The event condition block is invalid. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の記述が不適切です (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5735-W

The event condition block attribute name is invalid. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の属性名の記述が不適切です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の属性名が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。



## KAVB5736-W

The attribute name is not specifiable. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

指定できない属性名です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない属性名が指定されました。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5737-W

The comparison key word for the event conditions is invalid. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件の比較キーワードの記述が不適切です (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件の比較キーワードが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5738-W

The comparison key word is not specifiable. (attribute name = 属性名, comparison key word = 比較キーワード, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

指定できない比較キーワードです (属性名: 属性名, 比較キーワード: 比較キーワード, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

指定できない比較キーワードが指定されました。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5739-W

The number of event condition operands exceeds the maximum number. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件のオペランドが最大数を超過しています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが最大数を超過しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5740-W

An event condition operand is duplicated. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント条件のオペランドが重複しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5741-W

An event ID operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

イベント ID のオペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5742-W

A regular expression is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

正規表現の指定が不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

正規表現の指定が不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5743-W

A critical operand is invalid. (operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です (オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

重大度のオペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5744-W

An operand is invalid. (attribute name = 属性名, operand = オペランド, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが不適切です (属性名: 属性名, オペランド: オペランド, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが不適切です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5745-W

The combination of comparison conditions among multiple event attributes that have the same name is invalid. (attribute = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

複数指定された同一のイベント属性名間で比較条件の組み合わせが不正です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5746-W

The number of characters (bytes) in an operand exceeds the maximum. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超えています (属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドが最大バイト数を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5747-W

The total number of characters (bytes) in the operands exceeds the maximum. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超えています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

オペランドの総バイト数が最大バイト数を超えています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5748-W

The specified value for the parameter パラメーター名 is outside the valid range. (specified value = 指定値, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーター名に指定した値が範囲外です (指定値: 指定値, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターに指定している値が範囲外です。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5749-W

If an ampersand (&) is specified in a parameter group, det cannot be specified. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は det は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5750-W

Version information of an action definition file is specified more than once. (line = 行番号, file = ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション定義ファイルのバージョン情報が複数指定されています。

(S)

定義不正のあるバージョン情報を無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5751-W

A shared block is specified after an action block. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックがアクションブロックの後に指定されています。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5752-W

A shared block does not end with an "end-act" statement. (line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックの終端がありません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックの終端がありません。

(S)

定義不正のある共通ブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5753-W

An invalid parameter is specified for a shared block. (invalid parameter = パラメーター名, line = 行番号, file = ファイル名)  
共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています (無効なパラメーター: パラメーター名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

共通ブロックに無効なパラメーターが指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5754-W

The parameter パラメーター名 is specified more than once. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名が複数指定されています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターが複数指定されています。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5755-W

No value is specified for the parameter パラメーター名. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の後に値が指定されていません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの後に値が指定されていません。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5756-W

The parameter パラメーター名 is invalid. (line = 行番号, file = ファイル名)  
パラメーター名の記述が不適切です (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

表示されたパラメーターの記述が不適切です。

(S)

定義不正のあるパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

#### KAVB5757-W

An error occurred while reading an action definition file. (reason = 要因, line = 行番号, file = ファイル名)  
アクション定義ファイルの読み込みでエラーが発生しました (要因: 要因, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルの読み込み中に予期せぬエラーが発生しました。

(S)

該当するアクションブロックまたはパラメーターを無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5758-E

The size of the action definition file exceeds the upper limit. (file name = ファイル名, upper limit = 最大サイズ)

アクション定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大サイズ)を超えています

アクション定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

アクション定義ファイルを読み込まないで、処理を続行します。

(O)

アクション定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、ファイルサイズが最大値を超えないように修正してください。修正後、JP1/IM - Manager を再起動するか、または、アクション定義を更新してください。

## KAVB5759-W

Using the regular expression you specified, the processing to match JP1 events will take a long time. This will affect the performance of event reception. (attribute name = 属性名, action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名, cause = 要因)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのためイベント受信性能に影響があります。(属性名: 属性名, アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名, 要因: 要因)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのため、イベント受信性能に影響があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1 イベントのマッチング処理に時間の掛かる正規表現を修正してください。

- 「先頭または末尾に「.\*」が指定されています」[".\*" is specified at the beginning or the end.]  
先頭または末尾に指定されている「.\*」を削除してください。
- 「「.\*」が連続して指定されています」[".\*" is specified repeatedly.]  
連続して指定されている個所の「.\*」を一つにしてください。



## KAVB5760-W

The same action ID is specified more than once. (action = アクション名, line = 行番号, file = ファイル名)

aid が重複しています (アクション名: アクション名, 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

アクション ID が重複しています。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5761-W

You cannot specify an action ID if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は aid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、アクション ID は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5762-W

You cannot specify "valid" if you specified an ampersand (&) for the parameter group. (line = 行番号, file = ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は valid は指定できません (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

パラメーターグループに「&」を指定した場合は、valid は指定できません。

(S)

定義不正のあるアクションブロックを無視して処理を続行します。

(O)

誤りを訂正して自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

## KAVB5763-W

Make sure that the automatic action definition file does not contain a definition that requests that JP1/IM - Rule Operation enable rules.

自動アクション定義ファイルに JP1/IM - Rule Operation へのルール起動要求を設定しないでください

自動アクション定義ファイルに JP1/IM - Rule Operation へのルール起動要求を設定しないでください。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Rule Operation へのルール起動要求を設定しているアクション定義を削除し、jcoimdef コマンドで -rule オプションが OFF になっているか確認して、自動アクション定義ファイルを読み込み直してください。

JP1/IM - Rule Operation から JP1/Automatic Operation への移行が済んでいない場合は、移行ガイドを参照して移行してください。

## KAVB5800-I

The definition file for extended event attributes was read in to JP1/IM - Manager.

イベント拡張属性定義ファイルを JP1/IM - Manager に読み込みました

イベント拡張属性定義ファイルを JP1/IM - Manager に読み込みました。

(O)

読み込んだ定義ファイルの内容を JP1/IM - View に反映するには、JP1/IM - View を再起動してください。

## KAVB5801-E

An error occurred while the definition file for extended event attributes was being read.

(cause = 要因, file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

エラーが発生したイベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルを無視して処理を続行します。

(O)

- 要因が「定義ファイル読み込み時に I/O エラーが発生しました。」の場合は、定義ファイルが読み込み可能になっているかを確認してください。

読み込み可能な場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- ・ Windows の場合：Windows イベントログ
- ・ UNIX の場合：シスログ (syslog)
- ・ 要因が「読み込み中にメモリー不足が発生しました。」の場合は、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

問題が解決されない場合、およびその他の要因の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB5802-W

An attribute name specified in an extend file for the definition file for extended event attributes is duplicated in the standard file for the definition file for extended event attributes. (line number = 行番号, file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに指定されている属性名が、イベント拡張属性定義ファイルの標準ファイルに指定されている属性名と重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの拡張属性に指定されている属性名が、イベント拡張属性定義ファイルの標準ファイルに指定されている属性名と重複しています。

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに指定できる属性名は、イベント拡張属性定義ファイルの標準ファイルに指定されていない固有の拡張属性だけです。

(S)

該当する行を無視して処理を続行します。

(O)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの該当する行を削除してください。該当する行を削除したあと、jcoattrfcheck コマンドでイベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述をチェックしてください。

## KAVB5803-W

There is an error in an extend file for the definition file for extended event attributes. 要因 (maximum value = 最大値, line number = 行番号, file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。要因(最大値:最大値, 行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。

(S)

該当する行を無視して処理を続行します。

(O)

次のどれかの要因に従って、イベント拡張属性定義ファイルの該当する行番号の誤りを訂正してください。

- 要因：attr ステートメントの総数が最大数を超えています。  
不要なattr ステートメントを削除してください。
- 要因：name パラメーターのバイト数が最大バイト数を超えています。  
name パラメーターのバイト数が最大値を超えないように修正してください。
- 要因：title パラメーターのバイト数が最大バイト数を超えています。  
title パラメーターのバイト数が最大値を超えないように修正してください。

誤りを訂正したあと、jcoattrfcheck コマンドでイベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述をチェックしてください。

## KAVB5804-E

An attempt to read the definition file for extended event attributes failed because part of the definition file for extended event attributes could not be read.

イベント拡張属性定義ファイルを読み込もうとしましたが、一部のイベント拡張属性定義ファイルの読み込みに失敗しました

イベント拡張属性定義ファイルを読み込もうとしましたが、一部のイベント拡張属性定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みに成功したイベント拡張属性定義ファイルだけを JP1/IM - Manager に反映して処理を続行します。

(O)

マネージャーの統合トレースログを確認し、イベント拡張属性定義ファイルのエラーメッセージ (KAVB5801-E) が出力されていないかを確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAVB5806-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for Event Base Service. (host name of connection destination = **接続先ホスト名**, cause = **要因**)

イベント基盤サービスの通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:**接続先ホスト名**, 要因:**要因**)

接続先との暗号化通信に失敗しました。

(S)

イベントコンソールサービスへの接続を停止し、処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager を再起動してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB5809-E

A parameter of the communication encryption function for the Event Base Service is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

イベント基盤サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

イベント基盤サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

イベント基盤サービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。

#### KAVB5810-E

Parameters for the communication encryption function for the Event Base Service could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

イベント基盤サービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:パラメーター名, 要因:要因)

イベント基盤サービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

イベント基盤サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB5820-W

Some attributes are not specified in an extend file for the definition file for extended event attributes. (attribute name = 属性名, file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに指定されていない属性があります。(属性名:属性名, ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに、ほかの拡張ファイルに指定した属性名が指定されていません。イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに指定した属性名は、すべての拡張ファイルで一致させる必要があります。

ほかの拡張ファイルに指定した属性名は、該当のファイルにも指定されているとみなされ、属性名が表示または出力されます。

(S)  
指定されていない属性名は、該当のファイルに指定されているとみなして処理を続行します。

(O)  
イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルに、指定されていない属性を指定してください。

## KAVB5821-W

There is an error in an extend file for the definition file for extended event attributes. 要因 (line number = 行番号, file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。要因(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。

(S)  
該当する行を無視して処理を続行します。

(O)  
次の要因に従って、イベント拡張属性定義ファイルの該当する行番号の誤りを訂正してください。

- 要因：指定できない属性名です。

指定できない属性名を指定したattr ステートメントを削除してください。

誤りを訂正したあと、jcoattrfcheck コマンドでイベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述をチェックしてください。

## KAVB5822-W

There is an error in an extend file for the definition file for extended event attributes. (file = ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。(ファイル名:ファイル名)

イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述に誤りがあります。

(S)  
誤りのある記述を無視して処理を続行します。

(O)

jcoattrfcheck コマンドで、イベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述をチェックして、誤りを訂正してください。

誤りを訂正したあと、jcoattrfcheck コマンドでイベント拡張属性定義ファイルの拡張ファイルの記述をチェックしてください。

## 2.7 セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージ (KAVB6001～KAVB6999)

---

### KAVB6006-E

入力情報を入力してください

画面の必須入力項目が入力されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力されていない項目を入力してください。

### KAVB6007-I

処理中です。お待ちください...

処理の実行中です。

(S)

処理が終了するまで実行します。

(O)

処理が終了するまで待ってください。

### KAVB6011-I

終了（ログアウト）してもよろしいですか？

ログアウトしてよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ログアウトします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ログアウトしません。

### KAVB6013-I

すべての子の監視ノードも状態または監視状態に変更しますか？

すべての子の監視ノードも状態または監視状態に変更してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、子の監視ノードの状態が**状態または監視状態**に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、子の監視ノードについては変更されません。



## KAVB6014-I

監視ノードとすべての子の監視ノードを状態または監視状態に変更しますか？

監視ノードとすべての子の監視ノードを状態または監視状態に変更してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、監視ノードとすべての子の監視ノードが状態または監視状態に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、監視ノードは変更されません。

## KAVB6015-I

サーバ上に同名のデータが存在します。上書きしてもよろしいですか？

サーバデータを上書き更新するかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、データを上書きで更新します。[いいえ] ボタンをクリックすると、データを更新しません。

## KAVB6016-E

入力情報の入力数が入力可能個数（個数個）を超えています

入力情報の入力数が入力可能個数を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

正しい個数を入力してください。

## KAVB6018-I

データを削除してよろしいですか？

選択中のデータを削除してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のデータを表示域から削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のデータを表示域から削除しません。

## KAVB6019-E

アプリケーションの起動に失敗しました  
起動コマンド：起動コマンド

## 詳細情報：詳細情報

アプリケーション起動中に、何らかの障害が発生しました。

(S)

アプリケーションの起動を打ち切ります。

(O)

実行アプリケーションの配置が、インストール時と同じになっているか確認してください。

## KAVB6020-I

監視ノードを状態に変更しますか？

選択中の監視ノードの状態を状態に変更してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中の監視ノードの状態が状態に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中の監視ノードの状態は変更されません。

## KAVB6021-I

更新データがサーバに反映されていませんが、終了してよろしいですか？

更新データをサーバに反映せずに終了してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、更新を反映しないで画面を終了します。[いいえ] ボタンをクリックすると、画面を終了しません。

## KAVB6022-E

ファイル種別が見つかりません

ファイル名

ローカルファイルがないことの通知です。

(S)

通知されたファイルがなくても可能な処理を継続します。

(O)

ファイル種別が存在するかを確認してください。

## KAVB6023-I

サーバのデータを更新します。よろしいですか？

データをサーバに反映させてよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、更新データをサーバに反映します。[いいえ] ボタンをクリックすると、反映しません。

## KAVB6024-E

このファイルには対応していません ヘルプを参照してください

ビジュアルアイコンに未対応の形式の画像ファイルが指定されたため、プレビュー処理に失敗しました。

(S)

プレビュー処理を中断します。

(O)

指定したファイルがビジュアルアイコンに対応しているか、次の内容を確認してから、指定し直してください。

- ファイルの形式が (\*.gif, \*.jpg, \*.png) であるか。
- サイズが 24×24 ピクセル～2,048×2,048 ピクセルであるか。
- 260 バイトを超えないファイル名 (格納パスを含む) であるか。

## KAVB6025-W

ビジュアルアイコンが不正です  
ファイル名

ビジュアルアイコンに未対応の形式の画像ファイル**ファイル名**が指定されました。

同じ画面内に不正なビジュアルアイコンを設定した監視ノードが複数ある場合、ダイアログボックスには最初の不正なファイル名だけが出力されます。統合トレースログにはすべての不正なファイル名が出力されます。

(S)

[プロパティ] 画面の「アイコン(通常時)」で選択されているアイコンを使用し、処理を継続します。

(O)

指定したファイルがビジュアルアイコンに対応しているか、次の内容を確認してから、指定し直してください。

- ファイルの形式が (\*.gif, \*.jpg, \*.png) であるか。
- サイズが 24×24 ピクセル～2,048×2,048 ピクセルであるか。
- 260 バイトを超えないファイル名 (格納パスを含む) であるか。

## KAVB6029-I

背景画像をクリアします。よろしいですか？

設定されている背景画像をクリアしてよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、背景画像がクリアされます。[いいえ] ボタンをクリックすると、背景画像は変更されません。

## KAVB6030-I

適用ボタンが押されていませんが終了してよろしいですか？

設定内容は [適用] ボタンをクリックすると有効になります。[適用] ボタンをクリックしないで画面を終了しようとしています。設定内容を反映しないで画面を終了してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、設定内容を反映しないで画面を終了します。[いいえ] ボタンをクリックすると、画面を終了しません。

## KAVB6031-I

ファイル名を読み込みます。よろしいですか？

ローカルファイルを読み込むかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを読み込みます。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを読み込みません。

## KAVB6032-I

ファイル名を保存します。よろしいですか？

ローカルファイルを保存するかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを保存します。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを保存しません。

## KAVB6033-I

ファイル名を上書きしますか？

ローカルファイルを上書きするかどうかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存します。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存しません。

#### KAVB6034-E

データファイル解析中に入出力エラーが発生しました

ローカル定義ファイル解析中に入出力エラーが発生しました。

(S)

通知されたファイルがなくても可能な処理を継続します。

(O)

データ定義ファイルを編集しなかったかを確認してください。

#### KAVB6036-I

編集中のツリー構成情報を置き換えますか？

編集中のツリー構成情報をサーバに反映せずに、新しいツリー構成情報を読み込んでよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、表示中のツリー構成情報を新しいツリー構成情報に置き換えます。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、何もしないで起動元画面に戻ります。

#### KAVB6041-E

処理中にシステムエラーが発生しました

処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6042-E

処理中にメモリー不足が発生しました

処理中にメモリー不足が発生し、継続できなくなりました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

終了可能な画面を終了し、再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6043-E

監視ノードを自分自身に移動することはできません

監視グループが、ツリー部にある同一の監視グループにドラッグ&ドロップされました。監視ツリー上の監視ノードを自分自身に移動できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しい操作をやり直してください。

#### KAVB6044-E

監視グループを自分自身の子監視グループに移動することはできません

ツリー上の監視グループを自分自身の子監視グループに移動できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しい操作をやり直してください。

#### KAVB6046-E

ユーザー（ユーザー）には操作に必要な管理者権限がありません

操作に必要な管理者権限がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

管理者権限を持つユーザーでログインし直してください。

なお、[監視ツリー(編集中)] 画面での編集内容の反映時にこのメッセージが出力された場合は、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(15) JP1/IM - Manager, JP1/IM - View のどちらかのバージョンが古い場合の対処方法」を参照してください。

#### KAVB6052-I

監視ツリーの構成が変更されているため、最新の状態を取得します。

表示中のプロパティがある場合は、このメッセージを閉じた後、プロパティを閉じてください

監視ツリーの構成を更新する通知です。監視ツリーの監視範囲設定を有効にしている場合は、接続先サーバの再起動時也表示されます。

(S)

[OK] ボタンをクリックすると、監視ツリーの最新状態を取得します。

#### KAVB6053-E

正規表現の指定が正しくありません

指定した正規表現に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

使用できる正規表現を確認し、条件を設定し直してから、再実行してください。

#### KAVB6054-E

同じ監視ノード属性名がすでに登録されています

拡張属性は AND 条件で入力するため、条件を重複して入力できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直してから、再実行してください。

#### KAVB6056-I

ビジュアル監視画面のビジュアル監視データが変更されています。最新の状態を取得します

ビジュアル監視画面のビジュアル監視データを更新する通知です。

(S)

[OK] ボタンをクリックすると、ビジュアル監視データの最新状態を取得します。

#### KAVB6057-I

編集中のビジュアル監視データを置き換えますか？

編集中のビジュアル監視データをサーバに反映せずに、新しいビジュアル監視データを読み込んでよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、表示中のビジュアル監視データを新しいビジュアル監視データに置き換えます。[いいえ] ボタンをクリックすると、何もしないで起動元画面に戻ります。

#### KAVB6058-I

このウィンドウを閉じると終了（ログアウト）します。よろしいですか？

ログアウトしてよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、ログアウトします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ログアウトしません。

#### KAVB6059-I

該当するイベントがありません

状態変更イベント検索に指定した監視対象には、状態変更イベントがありませんでした。

(S)

操作を無視します。

(O)

状態変更イベントのある監視対象を選択して、実行してください。

#### KAVB6060-E

接続先サーバには対応していません

接続先サーバには対応していません。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先サーバのバージョンを確認してください。

なお、[監視ツリー(編集)] 画面での編集内容の反映時にこのメッセージが出力された場合は、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(15) JP1/IM - Manager, JP1/IM - View のどちらかのバージョンが古い場合の対処方法」を参照してください。

#### KAVB6063-E

元に戻す処理に失敗しました

監視ツリー編集操作を元に戻す処理で予期しないエラーが発生しました。



(S)

操作を無視します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6064-E

やり直しに失敗しました

監視ツリー編集操作を元に戻す処理の取り消し処理で予期しないエラーが発生しました。

(S)

操作を無視します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6065-E

ファイル種別ファイルのオープンに失敗しました  
ファイル名

書き込みまたは読み込み時に CSV ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

操作を無視します。

(O)

次のことを確認してください。

- 読み込み時の場合、読み込もうとしたファイルが存在するか。
- 保存時の場合、書き込もうとしたファイルが読み取り専用属性でないか。
- 保存時の場合、ほかのプログラムでそのファイルを開いていないか。
- 保存時の場合、システムで使用できない文字をファイル名にしていないか。

#### KAVB6066-E

監視ノードは監視グループへしかコピーまたは移動することはできません

監視ツリー上の監視ノードは監視グループへしかコピーまたは移動できません。

(S)

操作を無視します。

(O)

移動先が監視グループであることを確認してください。

#### KAVB6067-I

この操作は元に戻せません。よろしいですか？

元に戻せない処理を実行してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、操作を実行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、操作を実行しません。

#### KAVB6068-E

データの設定数が上限値値を超えています

データの設定数がすでに上限値に達しているため、新しいデータを登録できません。

(S)

操作を無視します。

(O)

既存のデータの中から不要なものを削除したあと、再度操作をしてください。

#### KAVB6069-E

ファイル種別ファイルのクローズに失敗しました  
ファイル名

書き込みまたは読み込み時に CSV ファイルのクローズに失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

読み込みまたは書き込みをしていたファイルを、ほかのプログラムで操作していないかを確認してください。

#### KAVB6070-E

画面の起動数が上限値値を超えています

画面の起動数がすでに上限値に達しているため、新しい画面を起動できません。

(S)

操作を無視します。

(O)

起動中の画面の中から不要なものを閉じたあと、再度操作をしてください。

## KAVB6071-E

このコピーには時間がかかる可能性があります。実行してよろしいですか？

監視ノード数の多いコピーを実行する場合、時間が掛かることがあります。実行してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、コピーを実行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、コピーを実行しません。

## KAVB6072-E

このファイルには対応していません

ファイル名

背景画像に、未対応の形式の画像ファイルまたは最大サイズ (2,048×2,048 ピクセル) を超える画像ファイルファイル名が指定されました。

(S)

操作を無視します。

(O)

背景画像として、対応している形式 (\*.gif, \*.jpg, \*.png) の最大サイズ (2,048×2,048 ピクセル) 以内の画像を選択し直してください。

## KAVB6073-E

背景画像ファイルが不正です

ファイル名

背景画像に、未対応の形式の画像ファイルまたは最大サイズ (2,048×2,048 ピクセル) を超える画像ファイルファイル名が指定されました。

(S)

背景画像を表示しないで、処理を継続します。

(O)

背景画像として、対応している形式 (\*.gif, \*.jpg, \*.png) の最大サイズ (2,048×2,048 ピクセル) 以内の画像を選択し直してください。

## KAVB6078-I

すべての子の監視ノードも監視または非監視に変更しますか？

すべての子の監視ノードも監視または非監視に変更してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、表示されているプロパティが更新され、子の監視ノードの状態が監視または非監視に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると、開いているプロパティが更新され、子の監視ノードについては変更されません。[キャンセル] をクリックすると、プロパティは更新されず [プロパティ] 画面に戻ります。

## KAVB6079-I

監視ノードとすべての子の監視ノードを監視または非監視に変更しますか？

監視ノードとすべての子の監視ノードを監視または非監視に変更してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、表示されているプロパティが更新され、監視ノードから子の監視ノードまでの状態が監視または非監視に変更されます。[いいえ] ボタンをクリックすると開いているプロパティの監視状態以外が更新され、監視状態は変更されません。[キャンセル] をクリックすると、プロパティは更新されず [プロパティ] 画面に戻ります。

## KAVB6082-E

イベント発行条件の指定可能件数は最大最大件数件です

イベント発行条件の指定個数が最大件を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6083-W

この操作を続けると監視ノード種別が監視ノード種別になります。  
よろしいですか？

操作の続行によって監視ノード種別に変更になってよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、監視ノード種別を監視ノード種別に変更し、操作を続行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、監視ノード種別の変更をせず、操作を続行しません。

## KAVB6085-E

監視ノード名が入力されていません

必須入力項目である監視ノード名が入力されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6086-E

不正な個別条件指定です(詳細情報)

不正な個別条件が指定されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

詳細情報に従って個別条件を修正の上、再入力してください。

## KAVB6087-E

データが入力されていません

必須入力項目であるデータが入力されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6088-E

同じ条件名がすでに設定されています

条件名は AND 条件で入力するため、条件を重複して入力できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6090-E

条件名の指定が正しくありません  
使用できる文字は、**使用できる文字**です  
先頭は英大文字です

指定した**条件名**に誤りがあります。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6091-E

同じ条件名の状態変更条件がすでに登録されています

同じ条件名の状態変更条件は重複して設定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6092-W

削除した共通条件は復元できません。共通条件(**共通条件名**)を削除してよろしいですか？

指定した共通条件を削除してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、削除しません。

## KAVB6093-E

条件名の入力範囲は**最小値**から**最大値**です

条件名には**最小値**より小さい値または**最大値**より大きい値は指定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6096-E

条件名の条件を設定してください

条件名の条件が設定されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6097-E

条件名の値は合計で最大文字までです

条件名の値の合計が最大文字数を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6099-E

¥が単独で入力されています。¥を指定する場合には、¥¥を指定してください

条件内に¥が単独で入力されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6100-E

ビジュアル監視画面情報が制限個数個を超えて取得されました。  
制限個数+1 個目以降は表示されません

ビジュアル監視画面情報が制限個数個を超えて取得されました。

(S)

制限個数個まで表示して、処理を続けます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6101-W

セントラルコンソールでイベント検索中は**処理**ができません。  
イベント検索が終了するまでお待ちください

JP1/IM - Manager でイベント検索を行っているので**処理**ができません。

(S)

[イベントコンソール] 画面を最前面に表示します。

(O)

イベント検索が終了するまで待ってください。

## KAVB6102-W

セントラルコンソールビューアーで表示イベントを保存中は**処理**ができません。

CSV ファイルの出力処理中に、セントラルスコープ・ビューアーでログアウト、または状態変更イベント検索を実行しています。

**処理**に表示される値は次のとおりです。

- ログアウト
- 状態変更イベント検索

(S)

ログアウトまたは状態変更イベント検索処理を中断します。

(O)

CSV 出力処理が終了してから、再実行してください。

## KAVB6103-E

選択された状態変更条件の共通条件が見つかりませんでした  
**最新状態を取得してください**

- 監視画面の場合  
選択された状態変更条件の共通条件が取得できませんでした。また、**太字**の文字列は非表示です。
- 編集画面の場合  
最新の定義を取得していない、または選択された状態変更条件の共通条件が取得できませんでした。

(S)

共通条件を未選択にして、状態変更条件を設定する画面を開きます。

(O)

- 監視画面の場合



資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 編集画面の場合

最新の定義を取得してください。最新の定義を取得しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6104-E

検索中にシステムエラーが発生しました

検索処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

検索処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6105-E

プロパティの取得に失敗しました

予期しないところでエラーが起こったためプロパティの取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6106-E

ビジュアル監視画面の取得に失敗しました

予期しないところでエラーが起こったためビジュアル監視画面の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6107-E

ガイドの取得に失敗しました

予期しないところでエラーが起こったためガイドの取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6108-W

サーバにある共通条件は 0 個です

共通条件の一覧の取得処理を行いました。サーバから取得した共通条件が 0 個でした。

(S)

処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6109-W

サーバにある共通条件は 0 個です

共通条件を登録後、共通条件の一覧の取得処理を行いました。サーバから取得した共通条件が 0 個でした。

(S)

処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6110-W

サーバにある共通条件は 0 個です

共通条件を削除後、共通条件の一覧の取得処理を行いました。サーバから取得した共通条件が 0 個でした。

(S)

処理を継続します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6111-E

共通条件の取得に失敗しました

共通条件の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6112-E

検索対象（ノード ID）は無効な検索位置です

検索を開始しようとした検索対象（ノード ID）が削除されたおそれがあります。

(S)

検索処理を中止します。

(O)

検索開始位置を指定し直して、再度検索してください。

## KAVB6113-E

同じ共通条件名の共通条件がすでに登録されています

同じ共通条件名は設定できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6114-W

選択されている監視グループは子ノード数個以上の子ノードを保持しているためアイコン表示は出来ません。

詳細表示で表示します。

次回起動時までこのメッセージは表示されません

アイコン表示するためには子ノード数未満でなければいけないため、アイコン表示ができません。

(S)

詳細表示で表示します。ただし、子ノード数個未満の監視グループを選択するとアイコン表示ができません。

(O)

監視グループ内の監視ノード数を子ノード数個未満にしてください。

## KAVB6115-W

読み込んだツリーには共通条件が含まれていません。

最新定義取得を行ってください

JP1/IM - View 07-00 で作成したツリーには共通条件の情報が含まれていません。JP1/IM - View 07-00 で作成したツリーを読み込んだ場合は、最新定義を取得してください。

(S)

読み込んだツリーを表示し、処理を継続します。

(O)

最新定義を取得してください。

## KAVB6120-E

CSV ファイル名は他のユーザーが使用しているため、操作できません

ほかのユーザーが CSV ファイル名を使用しているため、ファイル操作ができません。

(S)

CSV ファイルの操作を中断します。

(O)

ほかのユーザーが CSV ファイルを使用していないことを確認してから、再度操作してください。

## KAVB6121-W

CSV ファイル名をロックすることができませんでした

ロックファイルの作成に失敗しました。

(S)

CSV ファイルの操作を継続します。

(O)

操作対象のフォルダに書き込み権限があるか、確認してください。

## KAVB6193-E

条件名の入力範囲は最小値から最大値です  
条件名:不正入力値

条件名の入力範囲を超えています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6194-E

条件名の条件が重複しています  
条件名:不正入力値

条件名の条件が重複しています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6195-E

条件名の設定が正しくありません。16 進数 8 桁で設定してください  
条件名:不正入力値

条件名が 16 進数 8 けた以外で設定されています。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAVB6196-E

共通イベント監視条件は使用中のため削除できません

共通イベント監視条件は使用中のため、削除に失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

削除しようとした共通イベント監視条件がツリー中の汎用オブジェクトで使用されていないか確認したあと、再実行してください。

## KAVB6210-E

接続中に通信エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

詳細情報：詳細情報

指定されたホストへの接続に失敗しました。

<詳細情報>

N100：接続ホスト名が未指定です。

N101：ICMP ポートに到達できないメッセージが接続されたデータグラムに受信されました。

N104：セキュリティマネージャーによりソケット通信が許可されていません。

N105：その他原因不明の通信エラーが発生しました。

N106：接続後ログインに失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再度操作してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。
- 接続ホストの通信暗号化機能が有効な場合は、JP1/IM - View で暗号化通信の設定をしているか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spm\_status コマンドで確認してください。

## KAVB6211-E

接続中に入力ストリームの作成でエラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

再度、操作してください。

## KAVB6212-E

接続中に出力ストリームの作成でエラーが発生しました

ホスト名：**接続ホスト**，ポート番号：**接続ポート番号**

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

再度、操作してください。

## KAVB6213-E

接続中に通信エラーが発生しました。ホスト名を IP アドレスに変換できません。

ホスト名を確認してください

ホスト名：**接続ホスト**，ポート番号：**接続ポート番号**

詳細情報：[詳細情報](#)

指定されたホストへの接続に失敗しました。

<詳細情報>

N102：ホストの IP アドレスが判定できなかった場合

N103：ホスト名から IP アドレスが解決できなかった場合

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spmc_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6214-E

接続中に TCP 通信エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spmc_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6215-E

接続中に通信エラーが発生しました。

ホスト名、通信経路を確認してください

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spmc_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6216-E

接続中に通信エラーが発生しました。

サーバの起動を確認してください



ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spm_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6218-E

接続中にソケットの作成でエラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spm_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6219-E

接続中にソケットの作成で入出力エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spmc_status` コマンドで確認してください。

## KAVB6220-E

接続中にタイムアウト値の設定でエラーが発生しました

ホスト名：**接続ホスト**, ポート番号：**接続ポート番号**

指定されたホストへの接続に失敗しました。

(S)

ホストへの接続処理を中断します。

(O)

資料を採取し、ネットワーク管理者に連絡してください。

## KAVB6240-E

データ送信処理中にエラーが発生しました

ホスト名：**接続ホスト**, ポート番号：**接続ポート番号**

詳細情報：**詳細情報**

通信中に送信処理が失敗しました。

次の要因が考えられます。

<詳細情報>

N201：送信データがない。

N202：送信データの生成に失敗。

N203：送信データの取得に失敗。

N204：出力ストリームがない。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6241-E

送信中に通信エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

送信中に通信エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spm\_status コマンドで確認してください。

## KAVB6250-E

データ受信処理中にエラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

詳細情報：詳細情報

通信中に受信処理が失敗しました。

次の要因が考えられます。

<詳細情報>

N300：不正電文を受信しました。

N301：受信データの取得に失敗。

N302：入力ストリームがない。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6251-E

受信中に通信エラーが発生しました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

受信中に通信エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。
- 接続ホストに接続している JP1/IM - View の数が制限値に達していないか。
- 接続ホストの通信暗号化機能が有効な場合は、JP1/IM - View で暗号化通信の設定をしているか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spmc\_status コマンドで確認してください。

## KAVB6252-E

受信中にタイムアウトしました

ホスト名：接続ホスト, ポート番号：接続ポート番号

受信処理でタイムアウトしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。
- OS の CPU とメモリーの使用状況に問題はないか。
- 多大なディスク I/O が発生していないか。

また、ネットワーク管理者に連絡してください。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spmc\_status コマンドで確認してください。

## KAVB6299-E

通信処理中にメモリー不足が発生しました

通信処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

終了できる画面を終了し、再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6300-E

CSV のフォーマットに誤りがあります

詳細情報：詳細情報

ファイル名：ファイル名

エラー発生個所：行番号行目,列番号列目

CSV のフォーマットに誤りがあったため、処理を継続できなくなりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報の指示に従って CSV ファイルを修正し、再実行してください。

#### KAVB6301-E

CSV 入出力処理でメモリー不足が発生しました

ファイル名：ファイル名

CSV 入出力処理でメモリー不足が発生し、継続できなくなりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

終了できる画面を終了し、再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6302-E

CSV ファイル解析中に入出力エラーが発生しました

ファイル名：ファイル名

CSV ファイル解析中に入出力エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

CSV ファイルが閉じられていることを確認し、再実行してください。

## KAVB6305-E

共通変更条件の参照に失敗しました

共通変更条件の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6306-E

ビジュアル監視画面を構成中にシステムエラーが発生しました

予期しないエラーが発生したため、ビジュアル監視画面の構成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ビジュアル監視画面を一度閉じたあとに、再度表示してください。再度表示しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6307-W

監視ノードとリンクされていないアイコンを検出しました

ビジュアル監視画面名：ビジュアル監視画面名

読み込んだビジュアル監視画面情報内に監視ツリーとリンクされていない監視ノードが検出されました。

(S)

処理を継続します。

(O)

現在の監視ツリーに対応したビジュアル監視画面を使用するか、ビジュアル監視画面を作成した元の監視ツリーを使用してください。

## KAVB6308-E

共通変更条件を設定できませんでした

共通変更条件の設定に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6309-E

指定されたビジュアル監視画面情報を参照できませんでした  
ビジュアル監視画面 ID : ビジュアル監視画面 ID

ビジュアル監視画面情報 (ID : ビジュアル監視画面 ID) の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6310-E

ツリー情報を設定できませんでした

ツリー情報の設定に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6311-E

ツリー情報を参照できませんでした  
ツリー ID : ツリー ID

ツリー情報 (ID : ツリー ID) の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6312-E

ツリー情報に接続先サーバでは使用できない情報が含まれています。  
詳細はログファイルを参照してください  
ファイル名 : ログファイル名

ツリー情報に接続先サーバで使用できない情報が含まれているため、処理を継続できませんでした。

次の要因が考えられます。

- 詳細コードが0A の場合、背景画像が設定されています。
- 詳細コードが0B の場合、アイコン座標が設定されています。
- 詳細コードが0C の場合、状態変更条件の最大件数 4 件を超えています。
- 詳細コードが0D の場合、状態変更条件の個別条件で「と一致する」以外が設定されています。
- 詳細コードが0E の場合、状態変更条件に存在しない共通条件が設定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報を参照して、ツリーを修正してください。

- 詳細コードが0A の場合、[プロパティ] 画面で [背景画像設定] ボタンをクリックし、表示された画面で「背景画像なし」を選択してください。
- 詳細コードが0B の場合、親の監視ノードを選択し、[等間隔に整列] を実行してください。
- 詳細コードが0C の場合、状態変更条件の件数を 4 件に設定してください。
- 詳細コードが0D の場合、状態変更条件の個別条件を「と一致する」に変更してください。
- 詳細コードが0E の場合、最新定義を取得してください。または、共通条件を再設定してください。

## KAVB6401-E

例外（例外クラス名）が発生しましたが、メッセージの構築に失敗しました

例外が発生しましたが、メッセージの構築に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6441-E

ログファイル（ログファイル名）の作成でエラーが発生しました

ログファイルの作成に失敗しました。

(S)

ログファイルの作成を中断し、処理を続行します。



(O)

書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量が十分にあるか、ログファイルにアクセス権限があるかを確認し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6442-E

ログファイル (ログファイル名) の出力でエラーが発生しました

ログファイルへの書き込みに失敗しました。

(S)

ログファイルへの書き込み処理を中断し、処理を続行します。

(O)

書き込もうとしているファイルシステム、またはデバイスに空き容量が十分にあるか、ログファイルにアクセス権限があるかを確認し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6500-E

内部処理でシステムエラーが発生しました

データ処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6501-E

内部処理でメモリー不足が発生しました

データ処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

終了できる画面を終了し、再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6502-E

内部処理でシステムエラーが発生しました

データ処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6503-E

内部処理でメモリー不足が発生しました

データ処理中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

終了できる画面を終了し、再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6504-E

データ送信処理中にエラーが発生しました

詳細情報：詳細情報

送信電文作成中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

電文種別

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6505-E

データ受信処理中にエラーが発生しました

詳細情報：詳細情報

受信電文解析中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

電文種別

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6506-E

データ受信処理中にエラーが発生しました

詳細情報：詳細情報 1, 詳細情報 2

受信電文解析中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

電文種別

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6507-E

エラーメッセージ受信処理中にエラーが発生しました

詳細情報:詳細情報

エラーメッセージ電文解析中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

電文種別

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6508-E

回復不能なシステムエラーが発生しました。再ログインしてください

回復不能なシステムエラーが発生しました。再ログインしてください。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager を再起動してください。

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6509-E

監視ノードが見つかりませんでした。最新の監視ツリーを取得してください

監視ツリーから監視ノードが削除されたおそれがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

- [監視ツリー] 画面の場合  
メニューバーの [ツリーを最新状態に更新] を実行してください。
- [監視ツリー(編集中)] 画面の場合  
ツリーを新規に作成してください。

## KAVB6550-E

システム環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました  
詳細情報:行番号行

システム環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した行番号

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6551-E

システム環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました  
詳細情報:項目

システム環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した項目

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6560-E

ユーザー環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました

詳細情報:行番号行

ユーザー環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した行番号

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6561-E

ユーザー環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました

詳細情報:項目

ユーザー環境設定ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した項目

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6570-E

システム監視オブジェクト定義ファイル読み込み中にエラーが発生しました

## 詳細情報:行番号行

システム監視オブジェクト定義ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した行番号

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6571-E

システム監視オブジェクト定義ファイル読み込み中にエラーが発生しました

詳細情報:項目

システム監視オブジェクト定義ファイル読み込み中にエラーが発生しました。

<詳細情報>

エラーが発生した項目

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6581-W

The definition file (ファイル名) corresponding to the language type does not exist.

言語種別に対応する定義ファイル(ファイル名)が存在しません

言語種別に対応する定義ファイル(ファイル名)が存在しません。

(S)

画面表示の処理を続行します。

(O)

対応する定義ファイル(ファイル名)の定義ファイルが存在するか確認してください。

## KAVB6601-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for JP1/IM - View. (cause = 要因, directory = ディレクトリ)

JP1/IM - View の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ディレクトリ名:ディレクトリ)

JP1/IM - View の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- 要因が「ルート証明書が 1 個も見つかりません。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。  
ルート証明書があるか確認してください。
  - ・ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ルート証明書がない場合は、ルート証明書を配置してください。
- 要因が「すべてのルート証明書が読み込めません。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。
  - ・ルート証明書があるか確認してください。ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
  - ・Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「ルート証明書の配置先ディレクトリがありません。」の場合は、ルート証明書の配置先ディレクトリを作成し、ルート証明書を配置してください。

## KAVB6602-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for JP1/IM - View. (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- 要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN または SAN と、セントラルスコープ・ビューアーの接続先のホスト名が同じであることを確認し、再ログインしてください。
- 要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・ 接続先のマネージャーホストの通信データ暗号化機能が有効であることを確認してください。有効である場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに接続先のマネージャーホスト名が記載されていないことを確認してください。
  - ・ 統合トレースログに「一部のルート証明書の読み込みに失敗しました」が出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。
  - ・ 接続先のマネージャーホストのサーバ証明書に対応するルート証明書が JP1/IM - View に配置されているか確認してください。配置されていない場合は、配置してください。
  - ・ 接続先のマネージャーホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB6603-W

Failed to read some of the root authentication certificates used by the communication encryption function for JP1/IM - View. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, ...)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, ...)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みに失敗したファイルが無視して処理を続行します。

(O)

次のことを確認し、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
- ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。



## KAVB6604-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for JP1/IM - View is no longer valid. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態に運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

## KAVB6610-E

A non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View was not found. (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の確認をし、再ログインしてください。

- 非暗号化通信ホスト設定ファイルがあるか確認してください。非暗号化通信ホスト設定ファイルがない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルを作成してください。
- 非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB6611-E

The non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View failed to load. (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB6612-E

The first line of the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View is not "[NO\_SSL\_HOST]". (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]が記載されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]を記載し、再ログインしてください。

#### KAVB6613-E

The number of manager host names specified in the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数を見直して修正してください。修正後、再ログインしてください。

#### KAVB6614-E

The length of a manager host name specified in the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View exceeds the maximum (上限). (line number = 行番号, file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが上限(上限)を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが最大長を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KAVB6615-E

The syntax for asterisks (\*) in the manager host name for the non-encryption communication host configuration file for JP1/IM - View is invalid. (file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の\*の記述が不適切です。  
(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の「\*」の記述が不適切です。

(S)

処理を中断します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルを修正し、再ログインしてください。

マネージャーホスト名に「\*」を記載する場合は、[NO\_SSL\_HOST]の次の行に「\*」1個を記載してください。

「\*」だけを記載した場合は、すべてのマネージャーホストと通信が暗号化されないため、注意してください。

## KAVB6616-E

A manager host name in the non-encryption communication host settings file is duplicated. (line number = 行番号, file = ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - View の非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## 2.8 セントラルスコープサービスに関するメッセージ (KAVB7001～KAVB7999)

---

### KAVB7001-I

The JP1/IM - Central Scope daemon has started. (Logical hostname: 論理ホスト名)  
JP1/IM - Central Scope デーモンが起動しました(論理ホスト名:論理ホスト名)

セントラルスコープサービスが起動しました。物理ホストの動作の場合、論理ホスト名にはJP1\_DEFAULTが設定されます。

(S)

セントラルスコープサービスが起動しました。

### KAVB7002-I

The JP1/IM - Central Scope daemon terminated normally. (Logical hostname: 論理ホスト名)  
JP1/IM - Central Scope デーモンが正常終了しました(論理ホスト名:論理ホスト名)

セントラルスコープサービスが正常終了しました。物理ホストの動作の場合、論理ホスト名にはJP1\_DEFAULTが設定されます。

(S)

セントラルスコープサービスが正常終了しました。

### KAVB7003-E

The JP1/IM - Central Scope daemon terminated abnormally. (Logical hostname: 論理ホスト名, End code: 要因コード)  
JP1/IM - Central Scope デーモンが異常終了しました(論理ホスト名:論理ホスト名, 要因:要因コード)

セントラルスコープサービスが異常終了しました。物理ホストの動作の場合、論理ホスト名にはJP1\_DEFAULTが設定されます。

(S)

セントラルスコープサービスが異常終了しました。

(O)

要因コードを基に、システムの状態を確認してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因コード：4

説明：JP1/Base の通信基盤の初期化に失敗しました。

対処：マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照し、通信基盤の設定が正しいかどうか確認してください。

- 要因コード：7

説明：起動処理中に ANSI 例外が発生しました。

対処：メモリー不足やリソースが不足していないか確認してください。

- 要因コード：8

説明：起動処理中に HCCLib 例外が発生しました。

対処：メモリー不足やリソースが不足していないか確認してください。

- 要因コード：9

説明：セントラルスコープサービスの初期化処理中にエラーが発生しました。

対処：このメッセージより前の ID 付きエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

また、JP1/Base 起動後に通信暗号化機能の設定を不正な値に変更した可能性があります。JP1/IM - Manager および JP1/Base を停止してから通信暗号化機能の設定を見直し、JP1/Base および JP1/IM - Manager を起動してください。

- 要因コード：10

説明：プロセス管理デーモンに対して起動通知が行えませんでした。

対処：デーモンを直接起動せず、スタートスクリプト（Windows ではサービス）から起動したかどうか確認してください。

- 要因コード：255

説明：セントラルスコープサービス動作中に問題が発生し、異常終了しました。

対処：このメッセージより前の ID 付きエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAVB7004-E

JP1/IM - Central Scope daemon will now stop because the logical hostname is invalid.

プロセス管理から渡された論理ホスト名が不正なため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

プロセス管理から渡された論理ホスト名が不正なため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

論理ホスト名の定義内容に誤りがないか確認してください。

## KAVB7005-E

The JP1/IM - Central Scope daemon will now stop because the initialization of the JP1/Base common configuration failed.

JP1/Base の共通定義の初期化に失敗したため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

JP1/Base の共通定義の初期化に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

JP1/Base の設定に誤りがないか確認してください。

## KAVB7006-E

The JP1/IM - Central Scope daemon will now stop because an attempt to initialize the internal trace log has failed.

内部ログファイルの初期化に失敗したため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

内部ログファイルの初期化に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

JP1/IM - Manager をインストール後、JP1/Base をアンインストールしていないか確認してください。JP1/Base をアンインストールしていない場合は、システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなど、メモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7007-E

The JP1/IM - Central Scope daemon will now stop because an attempt to initialize the message log file has failed.

ID 付きメッセージ用ログファイル初期化に失敗したため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

ID 付きメッセージ用ログファイル初期化に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなど、メモリーの空き容量を増やすか、または、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7100-I

The initialization of the JP1/Base communication base has been completed.

JP1/Base の通信基盤の初期化が完了しました

JP1/Base の通信基盤の初期化が完了しました。

(S)

JP1/Base の通信基盤の初期化が完了しました。

## KAVB7101-W

The jp1hosts cannot be validated, because the definition of jp1host is invalid.  
jp1hosts の定義内容が誤っているため、jp1hosts の内容が有効になりません

jp1hosts の定義内容が誤っているため、jp1hosts の内容が有効になりません。

(S)

処理を継続します。

(O)

jp1hosts の定義内容に誤りがないか確認してください。

## KAVB7102-E

An attempt to initialize the JP1/BASE communication base failed. (error code:要因コード)  
JP1/Base の通信基盤の初期化に失敗しました(要因:要因コード)

JP1/Base の通信基盤の初期化に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

要因コードをもとに、JP1/Base の設定に誤りがないか確認してください。

- 要因コード：-1

説明：論理ホストキーが共通定義に存在しない。

対処：マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照し、共通定義で起動したサービスの論理ホスト定義が存在するか確認してください。

- 要因コード：-2

説明：JP1/Base の通信基盤の定義情報が不正である。

対処：マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照し、JP1/Base の通信基盤の定義情報に誤りがないか確認してください。

- 要因コード：-4

説明：論理ホストキーが共通定義に存在しないかつjp1hosts の定義が間違っている。

対処：マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照し、共通定義で起動したサービスの論理ホスト定義が存在するか確認してください。またjp1hostsの定義に誤りがないか確認してください。

- 要因コード：-5

説明：JP1/Baseの通信基盤の定義情報が不正であるかつjp1hostsの定義が間違っている。

対処：マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照し、JP1/Baseの通信基盤の定義情報やjp1hostsの定義に誤りがないか確認してください。

## KAVB7103-W

The JP1/IM - Central Scope daemon will be started using the default port number (20305), because an attempt to acquire the port number has failed.

ポート番号の取得に失敗したため、デフォルトのポート番号(20305)を用いてJP1/IM - Central Scopeデーモンを起動します

ポート番号の取得に失敗したため、デフォルトのポート番号(20305)を用いてセントラルスコープサービスを起動します。

(S)

処理を継続します。

(O)

サービスファイルの定義に誤りがないか確認してください。

## KAVB7104-W

The JP1/IM - Central Scope daemon will be started using the default port number (20305), because OS reserves the defined port number (within 1023).

定義されたポート番号がOSで予約している番号(1023以内)であるため、デフォルトのポート番号(20305)を用いてJP1/IM - Central Scopeデーモンを起動します

取得したポート番号がOSで予約している番号(1023以内)であるため、デフォルトのポート番号(20305)を用いてセントラルスコープサービスを起動します。

(S)

処理を継続します。

(O)

サービスファイルの定義に誤りがないか確認してください。

## KAVB7105-I

The data in the JP1/IM - Central Scope daemon will be updated due to the reload request from the process management daemon.



プロセス管理デーモンからのリロード要求により JP1/IM - Central Scope デーモン内のデータを更新します

プロセス管理デーモンからのリロード要求によりセントラルスコープサービス内のデータを更新します。

(S)

セントラルスコープサービス内のデータを更新します。

#### KAVB7106-I

The updating of the data within the JP1/IM - Central Scope daemon succeeded.  
JP1/IM - Central Scope デーモン内のデータの更新に成功しました

セントラルスコープサービス内のデータの更新に成功しました。

(S)

セントラルスコープサービス内のデータの更新が正常に終了しました。

#### KAVB7107-W

An attempt to update the data within JP1/IM - Central Scope has failed. The processing will continue using the old data.  
JP1/IM - Central Scope デーモン内のデータの更新に失敗しました，以前のデータを用いて処理を続行します

セントラルスコープサービス内のデータの更新に失敗しました，以前のデータを用いて処理を続行します。

(S)

処理を継続します。

(O)

一部のデータがリロードされていません。このメッセージより前のメッセージの内容を確認して対処してください。

#### KAVB7108-I

The JP1/IM - Central Scope daemon will be stopped because a stop request was sent from the process management daemon.  
JP1/IM - Central Scope デーモンはプロセス管理デーモンからの停止要求により停止します

セントラルスコープサービスはプロセス管理デーモンからの停止要求により停止します。

(S)

セントラルスコープサービスの停止処理を開始します。

## KAVB7109-E

The JP1/IM - Central daemon will be stopped because an invalid request was sent from the process management daemon.

プロセス管理デーモンから不正な要求があったため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

プロセス管理デーモンから不正な要求があったため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスの停止処理を開始します。

(O)

プロセス管理デーモンの動作が異常です。このメッセージより前のメッセージの内容に従って対処してください。

## KAVB7110-E

An attempt to report the startup to the process management daemon failed.

プロセス管理デーモンに対して起動通知を行うことができませんでした

プロセス管理デーモンに対して起動通知を行うことができませんでした。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

プロセス管理デーモンの動作が異常です。このメッセージより前のメッセージの内容に従って対処してください。

## KAVB7111-I

The creation of all the threads waiting for TCP/IP communication succeeded.

すべての TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました

すべての TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました。

(S)

すべての TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました。

## KAVB7112-W

The process continues even though a part of a thread waiting for TCP/IP communication has failed.

一部の TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しましたが、処理を続行します

一部の TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しましたが、処理を続行します。

(S)

一部の TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しました。処理を続行します。

(O)

一部の IP アドレスで TCP/IP ソケットの生成に失敗しています。このメッセージより前に出力されている KAVB7115-E のメッセージを参照して、問題のある IP アドレスが使用できるかどうか確認してください。

### KAVB7113-E

The JP1/IM - Central Scope daemon will now stop because the creation of all the threads waiting TCP/IP communication has failed.

すべての TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗したため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します

すべての TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

このメッセージより前に出力されている KAVB7115-E のメッセージを参照して、問題のある IP アドレスが使用できるかどうか確認してください。

### KAVB7114-I

The creation of the threads waiting for the TCP/IP communication by IP address (IP アドレス) succeeded.

IP アドレス(IP アドレス)での TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました

IP アドレスでの TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました。

(S)

IP アドレス(IP アドレス)での TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に成功しました。

### KAVB7115-E

An attempt to create the thread for waiting for the TCP/IP communication by the IP address (IP アドレス) has failed.

IP アドレス(IP アドレス)での TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しました

IP アドレスでの TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しました。

(S)

IP アドレスでの TCP/IP 通信待ち受けスレッドの生成に失敗しました。

(O)

JP1/IM - Manager が動作するサーバシステムの IP アドレスが使用できることを確認してください。  
また、システムおよび JP1/Base でのサーバ名称、IP アドレスの定義が正しいことを確認してください。

#### KAVB7116-E

The JP1/IM - Central Scope daemon was stopped, because the database version is too old.  
データベースのバージョンが古いため、サービスの起動を中止しました

データベースのバージョンが古いため、サービスの起動を中止しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

物理ホストの場合は `jp1csverup` コマンド、論理ホストの場合は `jp1cshaverup` コマンドを実行してデータベースを変換してください。

#### KAVB7117-I

Startup will use the environment variable LANG(環境変数 LANG) and the character encoding (文字コード).

環境変数 LANG (環境変数 LANG), 文字コード(文字コード)で起動します

環境変数 LANG (環境変数 LANG) と文字コード (文字コード) でサーバ, またはコマンドを起動します。Windows の場合は通常, 環境変数 LANG は出力されません。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7118-E

An attempt to set the message file has failed.  
メッセージファイルの設定に失敗しました

メッセージファイルの設定に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムメモリの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリ空き容量を増やすか、メモリの再見積りに基づいたメモリ増設をしたあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7119-E

An attempt to initialize the database has failed.  
データベースの初期化に失敗しました

データベースの初期化に失敗しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

インストール時に、データベースの構築に失敗しているおそれがあります。インストール時のログを確認の上、`jcsdbsetup` コマンドを実行してデータベースを再構築したあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。データベースが正しく構築されている場合は、カーネルパラメーターが不足しているおそれがあります。カーネルパラメーターの設定値を確認の上、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7120-E

An attempt to initialize the plugin service has failed. (err code: 要因コード)  
プラグインサービスの初期化に失敗しました(要因: 要因コード)

JP1/Base のプラグインサービスの初期化に失敗したため、セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7121-W

The database will be recovered from the backup because the database is corrupt.  
データベースが破損しているため、バックアップからリカバリします

セントラルスコープサービス起動時に、データベースの破損を検知したため、バックアップからリカバリーします。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

## KAVB7122-E

The JP1/IM-Central Scope daemon will be stopped because an attempt to recover the database failed. (Cause: 要因コード)

データベースのリカバリに失敗したため、JP1/IM - Central Scope デーモンを停止します(要因：要因コード)

セントラルスコープサービス起動時にデータベースの破損を検知し、リカバリー処理を試みましたが失敗しました。セントラルスコープサービスを停止します。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7123-I

Startup will use the monitored object DB version 監視オブジェクト DB の CSV バージョン.  
監視オブジェクト DB バージョン(監視オブジェクト DB の CSV バージョン)で起動します

監視オブジェクト DB のバージョンは監視オブジェクト DB の CSV バージョンで起動します。

(S)

処理を続行します。

## KAVB7124-W

Startup will use compatibility mode.  
互換モードで動作します

互換モードで動作します。バージョンアップ前の機能だけが使用できます。

(S)

処理を続行します。

(O)

バージョンアップ後の機能をすべてを使用するためには、物理ホストの場合はjp1csverup コマンド、論理ホストの場合はjp1cshaverup コマンドを実行してデータベースを変換してください。

## KAVB7127-E

The event monitoring thread ended abnormally (Cause:要因コード)

イベント監視スレッドが異常終了しました (要因:要因コード)

イベント監視スレッド内で異常を検知したためサービスを終了します。

(S)

サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7128-E

An attempt to initialize the event monitoring has failed because the memory was insufficient.

メモリ不足のためイベント監視の初期化が失敗しました

メモリー不足のためサービス起動時のイベント監視の初期化処理が失敗しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリー空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7129-E

An attempt to initialize the event monitoring has failed because the resource were insufficient.

リソース不足のためイベント監視の初期化が失敗しました

ファイルディスクリプタなどのリソース不足のため、サービス起動時のイベント監視の初期化処理が失敗しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

ファイルディスクリプタなどのシステムのリソースが不足していないか確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7130-E

An attempt to initialize the event monitoring has failed because the IM-CC (event flow control) was not started.

IM-CC(イベントフロー制御)が起動されていないため、イベント監視の初期化が失敗しました

JP1/IM - Manager（イベントフロー制御）が停止または未起動のため、サービス起動時のイベント監視の初期化処理が失敗しました。

(S)

サービスを停止します。

(O)

JP1/IM - Manager（イベントフロー制御）が起動されているか確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。

### KAVB7131-E

An attempt to initialize the event monitoring has failed. (Cause:要因コード)

イベント監視の初期化が失敗しました（要因:要因コード）

サービス起動時のイベント監視の初期化処理が失敗しました。

(S)

サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB7132-E

An attempt to monitor the event monitoring has failed because the memory was insufficient.

メモリ不足のためイベントの監視に失敗しました

イベント監視中にメモリー不足が発生して、イベント監視ができません。メモリー不足が解消すれば、イベント監視を続行します。

(S)

イベント監視を続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

### KAVB7133-E

An attempt to monitor the event has failed. (Cause:要因コード)

イベントの監視に失敗しました（要因:要因コード）

イベント監視に失敗しました。



(S)

イベント監視を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB7134-E

The event (イベント ID) has failed to change the node condition because the memory was insufficient

メモリ不足のためイベント (イベント ID) によるノードの状態変更ができませんでした

メモリー不足のため、受信したイベントによるノードの状態変更ができませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

### KAVB7135-E

The event (イベント ID) has failed to change the node condition because the database was not accessible.

データベースにアクセスできなかったためイベント (イベント ID) によるノードの状態変更ができませんでした

データベースにアクセスできなかったため、該当イベントによるノードの状態変更ができませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認してください。

### KAVB7136-E

The event (イベント ID) has failed to change the node condition. (Cause:要因コード).

イベント (イベント ID) によるノードの状態変更ができませんでした (要因:要因コード)

該当イベントによるノードの状態変更ができませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7137-E

An attempt to create the condition change event message for the monitoring node (node name:ノード ID) has failed because the memory was insufficient.

メモリ不足のため監視ノード（ノード名:ノード ID）の状態変更イベントメッセージを構築できませんでした

監視ノードの状態変更は成功しましたが、メモリー不足のため状態変更イベントのメッセージを構築できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードに設定された状態変更イベントの発行を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7138-E

An attempt to create the condition change event message for the monitoring node (node name:ノード ID) has failed. (Cause:要因コード)

監視ノード（ノード名:ノード ID）の状態変更イベントメッセージを構築できませんでした（要因:要因コード）

監視ノードの状態変更は成功しましたが、状態変更イベントのメッセージを構築できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードに設定された状態変更イベントの発行を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7139-W

The extended information of the monitoring node (ノード名) was dropped because the size of the received event is too large (イベント ID).

受信イベント（イベント ID）のサイズが大きすぎるため監視ノード（ノード名）の状態変更イベントの拡張情報が切り捨てられました。

受信したイベントの拡張情報のサイズが大き過ぎるため、状態変更した監視ノードの状態変更イベントに埋め込めませんでした。最大サイズ（10 キロバイト）を超えた分は切り捨てました。

(S)

イベント監視を続行します。

(O)

切り捨てられたイベントの拡張情報を参照しない場合は、何も処置する必要はありません。切り捨てられたイベントの拡張情報を参照する場合は、直接受信イベントの方を参照してください。

## KAVB7140-E

The status change event of the node (ノード名) was not issued because the memory was insufficient.

メモリ不足のためノード (ノード名) の状態変更イベントが発行できませんでした

監視ノードの状態変更は成功しましたが、メモリー不足のため状態変更イベントを発行できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更イベントの発信を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7141-E

The status change event of the node (ノード名) was not issued because the resource were insufficient

リソース不足のためノード (ノード名) の状態変更イベントが発行できませんでした

監視ノードの状態変更は成功しましたが、ファイルディスクリプタなどのリソース不足のため状態変更イベントを発行できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更イベントの発信を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

ファイルディスクリプタなどのシステムのリソースが不足していないか確認し、不要なプロセスを停止してください。

The status change event of the node (ノード名) was not issued. (Cause:要因コード).  
ノード (ノード名) の状態変更イベントが発行できませんでした (要因:要因コード)

監視ノードの状態変更は成功しましたが、状態変更イベントを発行できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更イベントの発信を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

要因コードを基にシステムの状態を確認してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因コード：10 IMEV\_S\_PARAM\_ERROR  
説明：イベントサービス API のパラメタが不正です。  
対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因コード：11 IMEV\_S\_SEQUENCE\_ERROR  
説明：イベントサービス API の発行順序が不正です。  
対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因コード：40 IMEV\_S\_CONNECT\_ERROR  
説明：イベントサービスとの接続ができません。  
対処：JP1/BASE (イベントサービス) が起動されているか確認してください。
- 要因コード：43 IMEV\_S\_IO\_ERR  
説明：イベントサービスとの通信で入出力エラーが発生しました。  
対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因コード：51 IMEV\_S\_NOMEMORY  
説明：メモリー不足です。  
対処：システムのメモリーを確認してください。
- 要因コード：52 IMEV\_S\_MAXOPEN  
説明：ファイルオープン数の限界に達したため、イベントサービスとの接続ができません。  
対処：システムのファイルオープン数の限界値を確認してください。
- 要因コード：60 IMEV\_S\_NOT\_LOADING  
説明：イベントサービスとの通信初期化処理が行われていません。  
対処：JP1/Base がインストールされているか確認してください。
- 要因コード：70 IMEV\_S\_SYSTEM\_ERROR  
説明：イベントサービス API でシステムエラーが発生しました。  
対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7144-E

An attempt to monitor the event has failed because the resources were insufficient.

リソース不足のためイベントの監視に失敗しました

ファイルディスクリプタなどのリソース不足のためイベントの監視に失敗しました。

(S)

そのイベントの受信を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

ファイルディスクリプタなどのシステムのリソースが不足していないか確認し、不要なプロセスを停止してください。

## KAVB7145-E

An attempt to monitor the event has failed because it was not possible to connect with the event flow control.

イベントフロー制御に接続できないため、イベント監視の監視に失敗しました

JP1/IM - Manager（イベントフロー制御）に接続できないため、イベントの監視に失敗しました。

(S)

そのイベントの受信を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

JP1/IM - Manager（イベントフロー制御）が起動しているか確認してください。

## KAVB7146-E

An attempt to monitor the event has failed because the event could not be recieved.

イベントサービス制御に接続できないため、イベント監視の初期化が失敗しました

JP1/Base（イベントサービス制御）に接続できないため、イベントの初期化に失敗しました。

(S)

サービスを停止します。

(O)

JP1/Base（イベントサービス制御）が起動しているか確認した上で、再度セントラルスコープサービスを起動してください。

## KAVB7148-E

Status change event for Node:ノード名 can't be launched. Because connection failed with Event service.

イベントサービス制御に接続できないためノード（ノード名:ノード名）の状態変更イベントが発行できませんでした

監視ノードの状態変更は成功しましたが、JP1/Base（イベントサービス制御）に接続できないため状態変更イベントを発行できませんでした。

(S)

受信したイベントによる監視ノードの状態変更イベントの発行を中止しますが、イベント監視は続行します。

(O)

JP1/Base（イベントサービス制御）が起動しているか確認してください。

### KAVB7150-I

The TCP/IP communication waiting thread started.

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが開始しました

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが開始しました。

(S)

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが開始しました。

### KAVB7151-I

The TCP/IP communication waiting thread terminated normally.

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが正常終了しました

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが正常終了しました。

(S)

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが正常終了しました。

### KAVB7152-E

The TCP/IP communication waiting thread terminated abnormally.

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが異常終了しました

TCP/IP 通信待ち受けスレッドが異常終了しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

このメッセージより前に出力されているメッセージを参照して対処してください。

## KAVB7153-W

The connection from JP1/IM - View will now be closed because the number of connection requests exceeds the maximum (64).

接続最大数である 64 台を超える接続要求であるため、JP1/IM - View からの接続を切断します

JP1/IM - View が接続台数が 64 台を超えたため、接続できませんでした。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

これ以上新規に接続できません。不要な接続を切断し、再度接続を行ってください。

## KAVB7154-W

An attempt to generate the communication request processing thread has failed, because there are not enough resources. The connection from JP1/IM - View will now be closed.

リソース不足のため、通信要求処理スレッドの生成に失敗しました。JP1/IM - View からの接続を切断します

リソースが不足のため、通信要求処理スレッドの生成に失敗しました。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

これ以上新規に接続できません。不要なアプリケーションを終了し、リソース不足を解消するか、不要な接続を切断して、再度接続を行ってください。

## KAVB7155-E

The connection from JP1/IM - View will now be closed because the protocol was incorrect.

プロトコル不正のため、JP1/IM - View からの接続を切断します

プロトコル不正のため、JP1/IM - View からの接続を切断します。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

JP1/IM - Manager を起動した時点から、通信暗号化機能の設定が変更されていないことを確認してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7156-E

The request processing object cannot be created because an unsupported request has been sent from JP1/IM - View.

JP1/IM - View から未サポートの要求が送られてきたため、要求処理オブジェクトの生成ができません

JP1/IM - View から未サポートの要求が送られてきたため、要求を処理できませんでした。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

JP1/IM - View の前提である JP1/IM - Manager のバージョンが実際の JP1/IM - Manager のバージョンと一致しているか確認してください。

## KAVB7157-E

The connection from JP1/IM - View will now be closed because an attempt to create the request processing object has failed.

要求処理オブジェクトの生成に失敗したため、JP1/IM - View からの接続を切断します

要求処理オブジェクトの生成に失敗したため、JP1/IM - View からの接続を切断します。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

JP1/IM - View の前提である JP1/IM - Manager のバージョンが実際の JP1/IM - Manager のバージョンと一致しているか確認してください。

## KAVB7158-E

The connection from JP1/IM - View will now be closed because the login authentication has not been performed.

ログイン認証が行われていないため、JP1/IM - View からの接続を切断します

ログイン認証が行われていないため、JP1/IM - View からの接続を切断します。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAVB7159-E

The connection from JP1/IM - View will now be closed because an error occurred during the request processing.

要求処理中にエラーが発生したため、JP1/IM - View からの接続を切断します

要求処理中にエラーが発生したため、JP1/IM - View からの接続を切断します。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。

(O)

このメッセージより前のメッセージ内容に従って対処してください。

## KAVB7160-W

The communication process will now end because the closing of the connection to JP1/IM-View has been detected.

JP1/IM - View との接続の切断を検知したため、通信処理を終了します

JP1/IM - View との接続の切断を検知したため、通信処理を終了します。

(S)

JP1/IM - View との通信処理を終了します。

(O)

JP1/IM - View でタイムアウトが発生していないか、通信環境に問題がないか確認してください。

## KAVB7161-W

The communication process will now end because the waiting request from JP1/IM - View timed out.

JP1/IM - View からの要求待ちがタイムアウトになったため、通信処理を終了します

JP1/IM - View からの要求待ちがタイムアウトになったため、通信処理を終了します。

(S)

JP1/IM - View との通信処理を終了します。

(O)

通信環境に問題がないか確認してください。

## KAVB7175-W

JP1/IM-CS (JP1/IM - Central Scope のバージョン) cannot process the request from JP1/IM-View (JP1/IM - View のバージョン).

JP1/IM - CS (JP1/IM - Central Scope のバージョン)は、JP1/IM - View (JP1/IM - View のバージョン)からの要求を処理できません

JP1/IM - View のバージョンの JP1/IM - View からの要求は処理できません。

(S)

JP1/IM - View との通信処理を終了します。

(O)

JP1/IM - View のバージョンを確認してください。

#### KAVB7176-E

JP1/IM-CS (JP1/IM - Central Scope のバージョン) cannot process the request from JP1/IM-View(JP1/IM - View のバージョン).

JP1/IM - CS (JP1/IM - Central Scope のバージョン) は JP1/IM - View (JP1/IM - View のバージョン) からの要求を処理できません

JP1/IM - View のバージョンの JP1/IM - View からの要求は処理できません。

(S)

JP1/IM - View との通信処理を終了します。

(O)

JP1/IM - View のバージョンを確認してください。

#### KAVB7177-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database could not be operated during backup, 要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(原因:バックアップ処理中のデータベース操作不能, 要因コード)

バックアップ処理中にデータベースの操作に失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7178-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: Memory was insufficient during backup.)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:バックアップ処理中のメモリ不足)

バックアップ処理中にメモリ不足が発生したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

サービスを停止し、システムメモリの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリの空き容量を増やすか、メモリの再見積りに基づいたメモリ増設を行ってください。

また、データベースが破損したおそれがあります。データベースを復旧したあと、サービスを再起動してください。

## KAVB7179-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database file was not found during backup.)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:バックアップ処理中にデータベースのファイルが見つからない)

バックアップ処理中にデータベースのファイルが見つからなかったため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリがあるか確認し、サービスを停止してデータベースを新規作成してから、サービスを再起動してください。

## KAVB7180-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The disk space was insufficient during backup.)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:バックアップ処理中にディスク容量不足)

バックアップ処理中にディスク容量不足が発生したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースを格納してあるディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除してください。

また、データベースが破損したおそれがあります。サービスを停止し、データベースを復旧したあと、サービスを再起動してください。

## KAVB7182-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database could not be accessed during backup.)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:バックアップ処理中にデータベースにアクセス不可)

バックアップ処理中にデータベースのアクセスに失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認してください。

## KAVB7183-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: Resources were insufficient during backup.)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:バックアップ処理中にリソース不足)

ファイルディスクリプタ不足のため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

ファイルディスクリプタが不足していないか確認し、不要なプロセスを停止してください。

また、データベースが破損したおそれがあります。サービスを停止し、データベースを復旧したあと、サービスを再起動してください。

## KAVB7184-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: Memory was insufficient.) Recovery also failed. (リカバリ失敗の要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因:メモリ不足), リカバリにも失敗しました(リカバリ失敗の要因コード)

メモリー不足のため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。リカバリー処理も失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

サービスを停止し、システムメモリの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリの空き容量を増やすか、メモリの再見積もりに基づいたメモリ増設を行ってください。

また、データベースが破損したおそれがあります。データベースを復旧したあと、サービスを再起動してください。

## KAVB7185-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The disk space was insufficient to update the database.) Recovery also failed. (リカバリ失敗の要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした。リカバリにも失敗しました(要因：ディスク容量不足でデータベース更新不可),リカバリにも失敗しました(リカバリ失敗の要因コード)

ディスク容量不足のため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。リカバリー処理も失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースを格納してあるディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除してください。

また、データベースが破損したおそれがあります。サービスを停止し、データベースを復旧したあと、サービスを再起動してください。

## KAVB7187-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database could not be accessed.) Recovery also failed. (リカバリ失敗の要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：データベースにアクセス失敗),リカバリにも失敗しました(リカバリ失敗の要因コード)

データベースへのアクセスに失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。リカバリー処理も失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認してください。

## KAVB7188-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database file was not found.) Recovery also failed. (リカバリ失敗の要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：データベースファイルが見つからない),リカバリにも失敗しました(リカバリ失敗の要因コード)

データベースファイルが見つからないため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。リカバリー処理も失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリがあるか確認し、サービスを停止してデータベースを新規作成してから、サービスを再起動してください。

## KAVB7189-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database could not be operated. 要求失敗の要因コード) Recovery also failed. (リカバリ失敗の要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：データベースが操作不能,要求失敗の要因コード),リカバリにも失敗しました(リカバリ失敗の要因コード)

データベースへの操作が失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。リカバリー処理にも失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7190-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: the memory is insufficient.), The database recovery operation succeeded.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：メモリ不足),リカバリに成功しました。

メモリー不足のため、JP1/IM - View からの操作要求は失敗しましたが、リカバリー処理には成功しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

### KAVB7191-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The disk space was insufficient to update the database.), The database recovery operation succeeded.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：ディスク容量不足でデータベース更新不可),リカバリーに成功しました。

ディスク容量不足のため、JP1/IM - View からの操作要求は失敗しましたが、リカバリー処理には成功しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

### KAVB7192-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database cannot be accessed.), The database recovery operation succeeded.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：データベースにアクセス失敗),リカバリーに成功しました。

データベースへのアクセスに失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求は失敗しましたが、リカバリー処理には成功しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

### KAVB7193-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database file was not found.), The database recovery operation succeeded.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：データベースファイルが見つからない),リカバリーに成功しました。

データベースファイルが見つからないため、JP1/IM - View からの操作要求は失敗しましたが、リカバリー処理には成功しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

## KAVB7194-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database cannot be operated, 要因コード), The database recovery operation succeeded.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(データベースが操作不能,要因コード),リカバリーに成功しました。

データベースへの操作が失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求は失敗しましたが、リカバリー処理には成功しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。監視ツリーの構成が正しいか確認してください。

## KAVB7196-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The requested operation is not authorized for the node ID (ノード ID) )

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：ノード ID(ノード ID)は操作要求に未対応)

ノード ID (ノード ID) は仮想ルートノードです。仮想ルートノードは JP1/IM - View からの操作要求(要求名)に対応していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

仮想ルートノードは操作要求 (要求名) ができません。仮想ルートノードの子ノードを指定して再度、操作してください。



## KAVB7197-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The JP1/IM -View version (View のバージョン) is not compatible with the JP1/IM-CS monitored object DB version (監視オブジェクト DB バージョン) )

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：JP1/IM - View(View のバージョン)と JP1/IM-CS の監視オブジェクト DB バージョンが不一致)

JP1/IM - View のバージョンと，JP1/IM - Central Scope の監視オブジェクト DB のバージョンが不一致のため，JP1/IM - View からの操作要求は実行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1/IM - View のバージョンと，JP1/IM - Central Scope の監視オブジェクト DB バージョンを再確認し，JP1/IM - Central Scope の監視オブジェクト DB バージョンに対応している JP1/IM - View から操作してください。操作可能な JP1/IM - View と JP1/IM - Central Scope の構成については，マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「11.2.2 JP1/IM の各製品の接続性」を参照してください。

## KAVB7198-W

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The status of the node ID (監視ノード ID) could not be changed to the monitored status because its group is in the unmonitored status)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が実行できませんでした(要因：ノード ID(監視ノード ID)の上位の監視グループが非監視状態)

操作を試みた監視ノードの上位の監視グループが非監視状態のため，JP1/IM - View の操作要求は失敗しました。上位の監視グループが非監視状態の場合は，監視ノードを監視状態から非監視状態に変更できません。監視ノードの監視状態から非監視状態に変更するためには上位の監視グループに対する操作権限が必要です。

(S)

処理を続行します。

(O)

操作を試みた監視ノードの上位の監視グループに対する操作権限を持つ JP1 ユーザーで操作してください。

## KAVB7201-E

A system error occurred while an operation request (login process) from JP1/IM-View was executing. (Detailed information: An error occurred during the login processing)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求（ログイン処理）を実行中に、システムエラーが発生しました。(詳細情報:ログイン処理中にエラーが発生しました)

ログイン処理中にエラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7202-E

An attempt to authenticate the user has failed.

JP1/IM - CS はユーザ認証に失敗しました

ユーザー認証に失敗しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

ユーザー名およびパスワードを確認してから、再実行してください。

#### KAVB7204-E

JP1/IM-CS cannot connect to the authentication server.

JP1/IM - CS が認証サーバに接続できません

認証サーバに接続できません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

認証サーバとの接続経路（認証サーバのアドレス、ネットワークなど）を確認してください。通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7206-E

A system error occurred the operation request (logout processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: An error occurred during the logout processing)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求（ログアウト処理）を実行中に、システムエラーが発生しました。(詳細情報:ログアウト処理中にエラーが発生しました)

ログアウト処理中にエラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7207-E

A system error occurred while the operation request (logout processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: A communication error occurred between the connecting host and the authentication server)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求（ログアウト処理）を実行中に、システムエラーが発生しました。(詳細情報:接続ホストと認証サーバの間で、通信エラーが発生しました)

接続ホストと認証サーバの間で、通信エラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7209-E

A system error occurred while the operation request (user list acquiring processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: An error occurred in user list acquiring processing)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求（ユーザー一覧取得処理）を実行中に、システムエラーが発生しました。(詳細情報:ユーザー一覧取得処理中にエラーが発生しました)

ユーザー一覧取得処理中にエラーが発生しました。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7210-E

A system error occurred while the operation request (user list acquiring processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: An attempt to acquire the user list has failed)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (ユーザー一覧取得処理) を実行中に, システムエラーが発生しました(詳細情報:ユーザー一覧が取得できませんでした)

ユーザー一覧が取得できませんでした。

(S)

再度, 入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAVB7212-E

A system error occurred while the operation request (user environment acquiring processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: An error occurred in user environment acquiring processing)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (ユーザ環境設定取得処理) を実行中に, システムエラーが発生しました(詳細情報:ユーザ環境設定取得処理中にエラーが発生しました)

ユーザー環境設定取得処理中にエラーが発生しました。

(S)

再度, 入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAVB7213-E

A system error occurred while the operation request (user environment acquiring processing) of JP1/IM-View was executing. (Detailed information: The user environment file does not exist)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (ユーザ環境設定取得処理) を実行中に, システムエラーが発生しました(詳細情報:ユーザ環境情報ファイルが存在しません)

ユーザー環境設定ファイルが存在しません。

(S)

再度, 入力を待ちます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAVB7232-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした

JP1/IM - View からの操作要求がエラーのために中断されました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

直前のエラー要因を表すログを確認し、対処してください。

### KAVB7233-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (cause: the data format was invalid)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:データフォーマット不正)

JP1/IM - View からの操作要求データがフォーマット不正です。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - Manager が動作するサーバシステムに対して不正なアクセスがないことを確認してください。また、JP1/IM - View のログを確認し、問題が発生していないことを確認してください。それらに問題ない場合は、システムエラーのおそれがあるので、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB7234-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The tree ID (ツリー ID) was not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:未登録のツリー ID(ツリー ID))

JP1/IM - View からの操作要求データに、サービスでサポートしていないツリー ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View で読み込む CSV ファイルのツリー ID が正しいか確認してください。

## KAVB7235-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The visual monitoring screen ID (ビジュアル監視画面 ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:未登録のビジュアル監視画面 ID (ビジュアル監視画面 ID))

JP1/IM - View からの操作要求データにサービスでサポートしていないビジュアル監視画面 ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

該当するビジュアル監視画面 ID がサポート範囲内 (1~64) か確認してください。

## KAVB7236-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The common event monitoring condition ID (共通イベント監視条件 ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:未登録の共通イベント監視条件 ID (共通イベント監視条件 ID))

JP1/IM - View からの操作要求データに、サービスでサポートしていない共通イベント監視条件 ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

該当する共通イベント監視条件 ID がサポート範囲内 (1~255) か確認してください。

## KAVB7237-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The memory is insufficient)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:メモリ不足)

メモリー不足のため JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

システムメモリの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリの空き容量を増やすか、メモリの再見積りに基づいたメモリ増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7238-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The resource was insufficient)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:リソース不足)

ファイルディスクリプタなどのリソース不足のため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

ファイルディスクリプタなどのシステムのリソースが不足していないか確認し、不要なプロセスを停止してください。

#### KAVB7239-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The disk space was insufficient to update the database)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:ディスク容量不足でデータベース更新不可)

データベースを格納してあるディスク容量が不足しているため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

データベースを格納してあるディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除してください。

#### KAVB7240-W

JP1/IM-CS temporarily failed in executing the operation request(要求名) from JP1/IM-View. (Cause:The database is used)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が一時的に実行できませんでした(要因:データベースが使用中)

データベースがほかの処理により使用中のため、JP1/IM - View からの操作要求が一時的に失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

時間をおいて、再度操作してください。

#### KAVB7241-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database cannot be accessed)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:データベースにアクセス不可)

データベースのアクセスに失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認してください。

#### KAVB7242-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database file was not found)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:データベースのファイルが見つからない)

データベースのファイルが見つからないため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

データベースのファイルおよびディレクトリがあるか確認し、サービスを停止してデータベースを新規作成した上で再起動してください。

#### KAVB7243-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The tree ID (ツリー ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:未登録のツリー ID (ツリー ID))

JP1/IM - View からの操作要求データにデータベースに定義されていないツリー ID が含まれています。



(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View で読み込む CSV ファイルのツリー ID が正しいか確認してください。

#### KAVB7244-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The node ID (ノード ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:未登録のノード ID (ノード ID))

JP1/IM - View からの操作要求データにデータベースに定義されていないノード ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View で監視ツリーのプロパティを表示し、該当するノード ID が存在するか確認してください。

#### KAVB7245-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The visual monitoring screen ID (ビジュアル監視画面 ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が失敗しました(要因: 未登録のビジュアル監視画面 ID (ビジュアル監視画面 ID))

JP1/IM - View からの操作要求データに、データベースに定義されていないビジュアル監視画面 ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View で [ビジュアル監視画面一覧編集] 画面または [ビジュアル監視画面を開く] 画面を閉じたあと、再実行してください。

#### KAVB7246-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The common event monitoring ID (共通イベント監視条件 ID) is not registered)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因: 未登録の共通イベント監視条件 ID (共通イベント監視条件 ID))

JP1/IM - View からの操作要求データに、データベースに定義されていない共通イベント監視条件 ID が含まれています。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View の [共通条件設定] 画面をいったん閉じて、再度開いてください。

#### KAVB7247-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The record in the database is invalid)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:データベースのレコード不正)

データベースに該当するレコードがないため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7248-E

JP1/IM-CS could not execute the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: The database cannot be operated, 要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) が実行できませんでした(要因:データベースの操作不能, 要因コード)

データベースへの操作が失敗したため、JP1/IM - View からの操作要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7249-E

JP1/IM-CS could not create the result response data for the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause: Memory was insufficient)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) に対する結果応答データを作成できませんでした(要因:メモリ不足)

JP1/IM - View からの操作要求が正常に実行されましたが、メモリー不足のため応答データを作成できませんでした。

(S)

JP1/IM - View との接続を切断します。サービスの要求受付は続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7250-E

JP1/IM-CS could not create the result response data for the operation request (要求名) from JP1/IM-View. (Cause:要因コード)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からの操作要求 (要求名) に対する結果応答データを作成できませんでした (要因:要因コード)

JP1/IM - View からの操作要求が正常に実行されましたが、応答データを作成できませんでした。

(S)

該当する JP1/IM - View との接続を切断します。サービスの要求受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7252-W

A part of the tree cannot be created, because the definition information of a linked product could not be acquired. (host=ホスト名, product=製品名)

定義情報を取得できない連携製品があるため、ツリーを一部生成できませんでした (host=ホスト名, product=製品名)

監視ツリーの自動生成で定義情報を取得できない連携製品があるため、監視ツリーを一部生成できませんでした。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 連携製品のサービスが停止していないか。
- 連携製品を操作中でないか。

## KAVB7253-W

A part of the tree cannot be created because the definition information of a linked product could not be acquired.

定義情報を取得できない連携製品があるため、ツリーを一部生成できませんでした

監視ツリーの自動生成で定義情報を取得できない連携製品があるため、監視ツリーを一部生成できませんでした。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 連携製品のサービスが停止していないか。
- 連携製品を操作中でないか。

## KAVB7254-E

A tree could not be created. (Cause number=要因番号)

ツリーを生成できませんでした (要因番号=要因番号)

監視ツリーの自動生成ができませんでした。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7255-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed. (要因番号=要因番号)

JP1/IM - View からの (要求名) が失敗しました (要因番号=要因番号)

JP1/IM - View からの要求が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7256-E

(要求名) will now stop, because the tree was updated.

ツリーが更新されているため (要求名) を中断します

すでに監視ツリーが更新されているため、要求された操作を中断します。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View でツリーを最新状態に更新したあと、再実行してください。

## KAVB7257-I

(要求名) cannot be executed because no update has been done.

更新されていないため (要求名) は行いません

更新されていないため、要求された操作は行いません。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

## KAVB7258-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed because the number of visual monitoring windows exceeded the limit.

ビジュアル監視画面数の上限に達したため JP1/IM - View からの(要求名)が失敗しました

ビジュアル監視画面数の上限に達したため JP1/IM - View から要求された操作が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

不要なビジュアル監視画面を削除したあと、再実行してください。

## KAVB7259-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed because the number of nodes exceeded the limit.

ノード数の上限に達したため JP1/IM - View からの(要求名)が失敗しました

ノード数の上限に達したため JP1/IM - View から要求された操作が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

不要なノードを削除したあと、再実行してください。

### KAVB7260-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed because the number of common event monitoring conditions exceeded the limit.

共通イベント監視条件数の上限に達したため JP1/IM - View からの(要求名)が失敗しました

共通イベント監視条件数の上限に達したため JP1/IM - View から要求された操作が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

不要な共通イベント監視条件を削除したあと、再実行してください。

### KAVB7261-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed because the system definition file could not be read.

システム定義ファイルの読み込みができなかったため JP1/IM - View からの(要求名)が失敗しました

システム定義ファイルの読み込みができなかったため JP1/IM - View から要求された操作が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAVB7262-E

An attempt to execute (要求名) from JP1/IM - View has failed because the common event monitoring condition ID (common event monitoring condition ID =共通イベント監視条件 ID) is in use.

共通イベント監視条件 ID (共通イベント監視条件 ID=共通イベント監視条件 ID) は使用中のため JP1/IM - View からの (要求名) が失敗しました

共通イベント監視条件 ID は使用中のため JP1/IM - View から要求された操作が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

削除しようとした共通イベント監視条件がツリー中の汎用オブジェクトで使用されていないか確認したあと、再実行してください。

#### KAVB7263-E

(要求名) will now stop because the visual monitoring window is updated.

ビジュアル監視画面が更新されているため (要求名) を中断します

ビジュアル監視画面が更新されているため JP1/IM - View から要求された操作を中断します。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

JP1/IM - View でビジュアル監視画面を最新状態に更新したあと、再実行してください。

#### KAVB7264-E

The same event monitoring condition name is already registered.

同じ共通条件名がすでに登録されています

共通条件名を重複して登録はできません。

(S)

共通イベント監視条件の更新を中断しますが、要求の受け付けは続行します。

(O)

共通条件名を設定し直して、再実行してください。

#### KAVB7265-E

Another user is making a tree.

他ユーザーが自動生成中です

ほかのユーザーが自動生成中のため自動生成が実行できません。

(S)

自動生成を中断しますが、要求の受付は続行します。

(O)

ほかのユーザーが実行した自動生成が完了するのを待って、再実行してください。

#### KAVB7266-W

An invalid common event monitoring condition is included in the node. (監視ノード ID)

ツリーの監視ノード (監視ノード ID)に未登録の共通イベント監視条件が含まれています

ツリーの監視ノードに未登録の共通イベント監視条件が含まれています。

(S)

該当する監視ノードを非監視状態にします。

(O)

該当する監視ノードの状態変更条件設定を確認してください。

#### KAVB7267-W

JP1/IM - CS could not create the tree completely. (要因)

ツリーを一部生成できませんでした(要因)

ツリーを一部生成できませんでした。

(S)

要求された操作を中止しますが、要求の受付は続行します。

(O)

要因に示された内容を確認し、対処してください。

#### KAVB7268-W

JP1/IM - CS could not completely execute the operation request (要求名) of JP1/IM - View completely.

JP1/IM-CS は JP1/IM - View からの操作要求(要求名)が一部実行できませんでした

JP1/IM - View からの操作要求が一部実行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前のエラー要因を表すログを確認し、対処してください。

#### KAVB7269-W

Failed to resolve hostname.Tree generation may have gone wrong in part.(host:ホスト名).

ホスト名を解決できませんでした。ツリー生成に一部失敗している可能性があります(host:ホスト名)。

ホスト名の解決ができなかったため、ツリー生成に一部失敗しているおそれがあります。

(S)

処理を続行します。



(O)

jcs\_hosts ファイルまたはhosts ファイルに、ホスト名が設定されているか確認してください。

#### KAVB7272-E

JP1/IM - CS could not execute the operation request (要求名) from command.

JP1/IM - CS はコマンドからの操作要求 (要求名) が実行できませんでした

コマンドからの操作要求がエラーのために中断されました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

直前のエラー要因を表すログを確認し、対処してください。

#### KAVB7273-W

JP1/IM - CS could not completely execute the operation request (要求名) of command.

JP1/IM - CS はコマンドからの操作要求 (要求名) が一部実行できませんでした

コマンドからの操作要求が一部実行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前のエラー要因を表すログを確認し、対処してください。

#### KAVB7274-W

An attempt to acquire the name of the destination host, for acquiring the definition information of the linked product (製品名), has failed.

連携製品(製品名)の定義情報取得先ホスト名取得に失敗しました

定義情報取得先ホスト名の取得に失敗しました。

(S)

定義情報取得先ホストを自ホストとして処理を続行します。

(O)

ほかのホストと連携する場合は、情報取得先ホストを設定してください。

#### KAVB7276-E

No linked product (製品名) has been installed or set up on the host (ホスト名).

ホスト(ホスト名)には連携製品(製品名)がインストールまたはセットアップされていません

連携製品がインストールまたはセットアップされていないため定義情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

連携製品をインストールまたはセットアップしてください。

#### KAVB7277-E

The service for the linked product (製品名) of the host (ホスト名) is not running.

ホスト(ホスト名)の連携製品(製品名)のサービスが起動していません

連携製品のサービスが起動していないため連携製品を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

連携製品のサービスを起動してください。

#### KAVB7278-E

User (JP1 ユーザー名) does not have permission to acquire the definition information of the linked product (製品名) of the host (ホスト名).

ユーザ(JP1 ユーザー名)にはホスト(ホスト名)の連携製品(製品名)の定義情報を取得する権限がありません

連携製品の定義情報を取得する権限がないため連携製品の定義情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

連携製品の定義情報を取得できるユーザーで自動生成を実行するか、ユーザーに権限を割り当ててください。

#### KAVB7279-E

An attempt to acquire the definition information of the linked product (製品名) of the host (ホスト名) has failed. (details: 詳細情報)

ホスト(ホスト名)の連携製品(製品名)の定義情報取得に失敗しました(詳細情報：詳細情報)

連携製品がエラーを返したため、連携製品の定義情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

詳細情報には連携製品が出力するメッセージが表示されます。連携製品のマニュアルで詳細情報のメッセージの対処法を確認してください。

## KAVB7280-E

The host (ホスト名), which was specified as the destination host for acquiring the definition information of the linked product (製品名), does not exist.

連携製品(製品名)の定義情報取得先ホストとして指定されたホスト(ホスト名)が存在しません

指定したホスト名が無効です。

(S)

処理を中止します。

(O)

ホスト名が正しいか確認してください。誤ったホストを指定している場合は、再度、定義情報取得先ホストを設定してください。

## KAVB7281-E

An attempt to acquire the definition information of the linked product (製品名) of the host (ホスト名) has failed. (cause number=要因番号)

ホスト(ホスト名)の連携製品(製品名)の定義情報取得に失敗しました(要因番号=要因番号)

JP1/Base がエラーを返したため、連携製品の定義情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

要因番号を基にシステムの状態を確認してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

- 要因番号：50  
説明：処理上限に達しています。  
対処：しばらくしてから再実行してください。
- 要因番号：101  
説明：パラメーターが不正です。  
対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。
- 要因番号：103

説明：JP1/Base の環境が不正です。

対処：JP1/Base が正しくインストールされているか確認してください。

• 要因番号：105

説明：連携製品の情報取得時にエラーが発生しました。

対処：資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

• 要因番号：107

説明：共通定義の値が不正です。

対処：JP1/Base が正しくセットアップされているか確認してください。

• 要因番号：108

説明：論理ホスト名が不正です。

対処：論理ホスト名に誤りがないか確認してください。

• 要因番号：114

説明：到達不能のネットワーク、または通信時の接続エラーです。

対処：ネットワークの設定・状態を確認してください。また、収集対象ホストで JP1/Base が起動していることを確認してください。

• 要因番号：115

説明：送信処理時にエラーが発生しました。

対処：ネットワークの設定・状態を確認してください。また、収集対象ホストで JP1/Base が起動していることを確認してください。

• 要因番号：116

説明：受信処理時にエラーが発生しました。

対処：ネットワークの設定・状態を確認してください。また、収集対象ホストで JP1/Base が起動していることを確認してください。

• 要因番号：117

説明：接続が切断されました。

対処：ネットワークの設定・状態を確認してください。また、収集対象ホストで JP1/Base が起動していることを確認してください。

• 要因番号：118

説明：不正なプロトコルの通信を受信しました。

対処：一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。

• 要因番号：119

説明：初期化が行われていません。

対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

• 要因番号：199

説明：予期しないエラーが発生しました。

対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

- 上記以外の要因番号

対処：システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7282-E

A timeout occurred while acquiring the definition information of the linked product (製品名) of the host (ホスト名).

ホスト(ホスト名)の連携製品(製品名)の定義情報取得中にタイムアウトが発生しました

連携製品の定義情報取得中にタイムアウトが発生しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

しばらくしてから再実行してください。

## KAVB7283-E

In (中項目種別:中項目名), the (小項目種別) has exceeded the restricted value (バイト数 byte), (大項目) updation is failed.

(中項目種別:中項目名) の(小項目種別)が制限値 (バイト数バイト) を超えているため、(大項目名)の更新に失敗しました

(中項目種別:中項目名) の(小項目種別)が制限値 (バイト数バイト) を超えているため、(大項目名)の更新に失敗しました。

メッセージ本文の可変値には次の値が表示されます。

- 中項目種別

ノード ID, 共通条件名, またはビジュアル監視画面

- 中項目名

中項目種別の項目に対応する実際の名称

- 小項目種別

監視ノード名, 基本情報の属性値, 共通条件の属性値, 状態変更条件の条件名, 個別条件の個別属性値, 共通条件名, 共通条件の属性値, [ビジュアル監視] 画面の画面名, または [ビジュアル監視] 画面のコメント

- バイト数

小項目種別の項目の最大長 (バイト)

- 大項目名

監視ツリー, 監視ノード, ビジュアル監視画面, または共通条件

(S)

処理を中断します。

(O)

中項目種別の中項目名の小項目種別に指定されている文字列を確認し、その文字列が UTF-8 のエンコーディングで制限値以内になるように修正してから、再度大項目名を更新してください。

### KAVB7302-E

JP1/IM-CS could not execute the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment. (Cause: An attempt to read the system environment setting file has failed)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求が実行できませんでした(要因: システム環境設定情報ファイルの読み込み失敗)

システム環境設定ファイルからデータを取得できません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

システム環境設定ファイルが存在しないか、アクセス権がありません。直前のメッセージで詳細を確認してください。

### KAVB7303-E

JP1/IM-CS could not execute the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment (Cause: The data format of the system environment setting file was invalid)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求が実行できませんでした(要因: システム環境設定情報ファイルのデータフォーマット不正)

システム環境設定情報の記述に誤りがあります。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

システム環境設定ファイルの内容に誤りがないか確認してください。

### KAVB7304-E

JP1/IM-CS could not execute the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment settings. (Cause: Memory was insufficient)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求が実行できませんでした(要因: メモリ不足)

メモリー不足のため、システム環境設定情報の取得処理が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリーの増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7305-E

JP1/IM-CS could not execute the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment settings.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求が実行できませんでした

内部エラーのため、システム環境設定情報の取得処理が失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7306-E

JP1/IM-CS could not create the result response data for the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment settings. (Cause: Memory was insufficient)

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求に対する結果応答データを作成できませんでした(要因:メモリ不足)

メモリー不足のため、システム環境設定情報取得要求に対する結果応答データを作成できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7307-E

JP1/IM-CS could not create the result response data for the request from JP1/IM-View for acquiring the system environment settings.

JP1/IM - CS は JP1/IM - View からのシステム環境設定情報取得要求に対する結果応答データを作成できませんでした

システム環境設定情報取得要求に対する結果応答データの作成に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7350-I

The guide information cannot be acquired because the definition of the guide information does not exist.

ガイド情報の定義が存在しないため、ガイド情報を取得できません

ガイド情報の定義が存在しないため、ガイド情報を取得できません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

所定のフォルダにガイド情報ファイルが存在するか確認してください。存在する場合は、セントラルスコープサービスの起動時のログを参照して、ガイド情報ファイル中にエラーが存在しないか確認してください。

#### KAVB7351-I

The guide information cannot be acquired because the event history does not exist.

イベント履歴が存在しないため、ガイド情報を取得できません

指定した監視ノードの状態が変化していないため、ガイド情報を取得できません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

ガイド機能は状態の変化した監視ノードを対象に実行してください。

#### KAVB7352-I

The guide information cannot be acquired because the event does not exist.

イベントが存在しないため、ガイド情報を取得できません

監視ノードの状態を変更したイベントがすでにイベント DB に存在しないため、ガイド情報を取得できません。



(S)

要求された操作を中止します。

(O)

監視ノードの状態が変化してからイベント DB の内容を削除していないか、またはイベント DB の容量が適切かを確認してください。

#### KAVB7353-E

The guide information cannot be acquired because an attempt to acquire the event history has failed.

イベント履歴取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません

イベント履歴の取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7354-E

The guide information cannot be acquired because an attempt to acquire the event has failed.

イベント取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません

イベントの取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7355-I

The corresponding guide information does not exist.

条件に一致するガイド情報が存在しません

条件に一致するガイド情報が存在しません。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

ガイド情報を出力する必要がある場合は、ガイド情報ファイルに記述を追加してください。

## KAVB7356-E

Guide information cannot be acquired because an attempt to acquire the guide message has failed.

ガイドメッセージ取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません

ガイドメッセージ取得に失敗したため、ガイド情報を取得できませんでした。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7357-E

Guide information cannot be acquired because a message development processing has failed.

ガイドメッセージ展開処理に失敗したため、ガイド情報を取得できません

ガイドメッセージ中の\$で始まる文字の展開に失敗したため、ガイド情報を取得できませんでした。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7358-W

The guide message file name is not specified.

ガイドメッセージファイル名が指定されていません

EV\_FILE でガイドメッセージファイル名が指定されていません。

(S)

ガイドメッセージが指定されていないものとして処理を続行します。

(O)

ガイドメッセージファイルの設定を見直してください。

## KAVB7359-E

Guide information could not be acquired because acquisition of the guide title message has failed.

ガイドタイトルメッセージ取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません

ガイドタイトルメッセージ取得に失敗したため、ガイド情報を取得できませんでした。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7360-W

The guide message file(ファイル名) does not exist.

ガイドメッセージファイル (ファイル名) は存在しません

EV\_FILE で指定したガイドメッセージファイル、またはデフォルトのガイドメッセージファイルが存在しません。

(S)

ガイドメッセージが指定されていないものとして処理を続行します。

(O)

EV\_FILE の内容、およびガイドメッセージファイルの設定を見直してください。

#### KAVB7361-E

An error occurred during reading of the guide message file.

ガイドメッセージファイルの読み込み中にエラーが発生しました

ガイドメッセージファイル読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7362-W

The file name length of the guide message file (ファイル名) exceeds the limit of 1024 bytes.

ガイドメッセージファイル名(ファイル名)の長さが 1024byte を超えています

ガイド情報ファイルのEV\_FILE タグで指定されたガイドメッセージファイル名の長さが 1,024 バイトを超えています。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7363-E

The file size of the guide message file (ファイル名) exceeds the limit of サイズ bytes.

ガイドメッセージファイル(ファイル名)のファイルサイズが上限値(サイズ)byte を超えています

ガイドメッセージファイルが読み込み可能なファイルサイズの上限値を超えています。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

ガイドメッセージファイルの記述量を見直してください。

#### KAVB7364-E

The user does not have permission to read the file ファイル名.

ファイル名ファイルの読み込み権限がありません

ガイドメッセージファイルに対する読み込み権限がありません。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

Windows の場合はシステムアカウントに対して、UNIX の場合はスーパーユーザーに対して、ガイドメッセージファイルに読み込み権限があるか見直してください。

#### KAVB7365-E

Memory became insufficient during processing of the guide message file.

ガイドメッセージファイル処理中にメモリ不足が発生しました

メモリー不足が発生しているため処理を続行できません。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、次の方法で、実行に必要なメモリーを確保して、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やす。
- メモリー容量を再見積もりして、メモリーを増設する。

## KAVB7366-E

The guide message file (ファイル名) is not a file.

ガイドメッセージファイル(ファイル名)はファイルではありません

ガイド情報ファイルのEV\_FILE タグで指定したガイドメッセージファイルに、ディレクトリなどファイルではない文字列が指定されています。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

ガイドメッセージファイルには、セントラルスコープサービスの LANG 環境の言語コードで記述されたテキストファイルを指定してください。

## KAVB7367-E

The version of the guide information definition file is invalid (DESC\_VERSION = バージョン).

ガイド情報ファイルのバージョンが不正です(DESC\_VERSION=バージョン)

指定したガイド情報ファイルのバージョンが不正です。DESC\_VERSION には、1 または 2 を指定してください。

(S)

ガイド機能は無効になります。

(O)

ガイド情報ファイルのDESC\_VERSION には 1 または 2 を指定してください。

## KAVB7368-E

An invalid guide message file is specified.

不正なガイドメッセージファイルが指定されました

不正なガイドメッセージファイルが指定されました。

(S)

ガイドの表示処理を中止します。

(O)

ガイドメッセージファイルには、セントラルスコープサービスの LANG 環境の言語コードで記述されたテキストファイルを指定してください。

## KAVB7377-W

The guide information definition could not be acquired because the guide information definition file does not exist.

ガイド情報ファイルが存在しないため、ガイド情報定義を取得できませんでした

ガイド情報ファイルが存在しません。

(S)

ガイド機能は無効とし、処理を続行します。

(O)

ガイド機能を使用する場合は、ガイド情報ファイルを作成してください。

#### KAVB7378-W

The guide information definition could not be acquired because the user does not have access permission for the guide information definition file.

ガイド情報ファイルのアクセス権限がないため、ガイド情報定義を取得できませんでした

ガイド情報ファイルに対するアクセス権がありません。

(S)

ガイド機能は無効とし、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルのアクセス権を確認してください。

#### KAVB7379-W

The guide information definition could not be acquired because an attempt to read the guide information definition file has failed.

ガイド情報ファイルの読み込みに失敗したため、ガイド情報定義を取得できませんでした

ガイド情報ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

ガイド機能は無効とし、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7380-W

The guide information definition could not be acquired because the guide information definition was not defined in the guide information definition file.

ガイド情報ファイルにガイド情報定義が定義されていないため、ガイド情報定義が取得できませんでした

ガイド情報ファイル中にガイド情報の定義が一つも存在しません。

(S)

ガイド機能は無効とし、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

## KAVB7381-W

The specified guide information definition was not validated because the number (条件式定義の数) of conditional expression definitions specified by the guide information definition (ガイド情報定義) is invalid.

ガイド情報定義(ガイド情報定義)で指定された条件式定義の数(条件式定義の数)が不正なため、指定されたガイド情報定義は有効になりません

ガイド情報定義で指定された条件式定義に、不正な値が指定されています。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

## KAVB7382-W

The specified conditional expression (条件式) was not validated because the attribute name (属性名) of the conditional expression definition (条件式定義の数) specified by the guide information definition (ガイド情報定義) is an invalid enhancement regular expression (detailed information: 詳細情報).

ガイド情報定義(ガイド情報定義)で指定された条件式定義(条件式定義の数)の属性名(属性名)に対する条件式(条件式)は不正な拡張正規表現であるため、指定された条件式は有効になりません(詳細情報: 詳細情報)

ガイド情報定義で指定された条件式に、不正な正規表現が指定されています。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

次の詳細情報を参照し、ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

- 詳細情報

Invalid pattern.

不正な正規表現である

対処

記述した正規表現が正しいか確認してください。

- **詳細情報**

Invalid contents within the {} pair.

繰り返し回数指定値が不正である

**対処**

{}の内部の繰り返し回数の指定が正しいか確認してください。

- **詳細情報**

Last character cannot be ¥.

末尾がエスケープ文字('¥')である

**対処**

¥で終了していないか確認してください。

- **詳細情報**

Invalid range within [] expression.

範囲指定の終了指定内容が不正である

**対処**

[]の指定内容が正しいか確認してください。

- **詳細情報**

Invalid subexpression backreference number.

数字を示す指定内容に不正な文字が含まれている

**対処**

数字の記述が適切か確認してください。

- **詳細情報**

?, \*, +, or {} is not preceded by a valid regular expression.

?\*+{}の前に有効な正規表現の指定がない

**対処**

?\*+{}の前に有効な正規表現があるか確認してください。

- **詳細情報**

() imbalance.

()が対応していない

**対処**

()が対応しているか確認してください。

- **詳細情報**

{ } imbalance.

{ }が対応していない

**対処**

{ }が対応しているか確認してください。



- **詳細情報**  
 [] imbalance.  
 []が対応していない  
**対処**  
 []が対応しているか確認してください。
- **詳細情報**  
 Invalid character class type referenced.  
 無効なキャラクタクラスが指定された  
**対処**  
 キャラクタクラスの指定が適切か確認してください。
- **詳細情報**  
 Invalid collating element referenced.  
 無効な照合要素が指定された  
**対処**  
 無効な照合要素を指定していないか確認してください。
- **詳細情報**  
 The REG\_EXTENDED flag is not specified.  
 拡張正規表現の指定のフラグ REG\_EXTENDED が指定されていない  
**対処**  
 システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- **詳細情報**  
 Out of memory.  
 メモリー不足になった  
**対処**  
 システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- **詳細情報**  
 Internal error.  
 内部エラーが発生した  
**対処**  
 システムエラーです。資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7383-W

The content of the guide information definition (ガイド情報定義) was not validated because the guide information message is not defined.

ガイド情報メッセージが定義されていないため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の内容は有効になりません

ガイド情報定義に、ガイド情報メッセージが定義されていません。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7384-W

The content of the guide information definition (ガイド情報定義) was not validated because the guide information message title is not defined.

ガイド情報メッセージタイトルが定義されていないため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の内容は有効になりません

ガイド情報定義に、ガイド情報メッセージタイトルが定義されていません。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7385-W

The content of the guide information definition (ガイド情報定義) was not validated because the number of conditional expression definitions is not defined.

条件式定義の数が定義されていないため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の内容は有効になりません

ガイド情報定義に、条件式定義の数が定義されていません。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7386-W

The conditional expression definition was not validated because the conditional expression definition (条件式定義) of the guide information definition (ガイド情報定義) is not defined.

ガイド情報定義(ガイド情報定義)の条件式定義(条件式定義)が定義されていないため、条件式定義は有効になりません

ガイド情報定義に、条件式定義が定義されていません。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7387-W

The conditional expression definition was not validated because the conditional contents (定義内容) of the expression definition (条件式定義) of the guide information definition (ガイド情報定義) are invalid.

ガイド情報定義(ガイド情報定義)の条件式定義(条件式定義)の定義内容(定義内容)が不正なため、条件式定義は有効になりません

ガイド情報定義で、条件式定義の定義内容が不正です。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7388-W

The guide information definition could not be acquired because the format of the guide information definition file is invalid.

ガイド情報ファイルのフォーマット不正のため、ガイド情報定義を取得できませんでした

ガイド情報定義ファイルのフォーマットが不正です。

(S)

ガイド機能は無効として、処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7389-W

The guide information definition could not be acquired because an attempt to acquire the path of the guide information definition file has failed.

ガイド情報ファイルのパス取得に失敗したため、ガイド情報定義を取得できませんでした

ガイド情報ファイルのパス取得に失敗しました。

(S)

ガイド機能は無効として、処理を続行します。

(O)

正しくセットアップされているか確認してください。

#### KAVB7390-W

The tag name is invalid, so the content of the guide information definition (ガイド情報定義) does not become effective.

タグ名が不正なため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の内容は有効になりません

ガイド情報ファイルに不正なタグが指定されています。

(S)

エラーの発生したタグを無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7391-W

The content of the guide information definition (ガイド情報定義) was not validated because the escape string (エスケープ文字列) of the guide information message is invalid.

ガイド情報メッセージのエスケープ文字列(エスケープ文字列)が不正なため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の定義は有効になりません

ガイド情報ファイルに不正なエスケープ文字が指定されています。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7392-W

The content of the guide information definition (ガイド情報定義) was not validated because the last character of the guide information message is an escape character.

ガイド情報メッセージの末尾がエスケープ文字のため、ガイド情報定義(ガイド情報定義)の定義は有効になりません

ガイド情報メッセージの末尾にエスケープ文字が指定されています。

(S)

エラーの発生したガイド情報定義を無視して処理を続行します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7393-I

The guide information definition was initialized successfully.  
ガイド情報定義の初期化に成功しました

ガイド情報定義の初期化に成功しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7394-I

The guide information definition was reloaded successfully.  
ガイド情報定義のリロードに成功しました

ガイド情報定義のリロードに成功しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7395-W

The length of the guide information message exceeds the limit of (ガイド情報メッセージ最大サイズ) bytes.  
ガイド情報メッセージが(ガイド情報メッセージ最大サイズ)byte を越えています

ガイド情報メッセージの長さが制限を超えています。

(S)

制限を超えた部分は無視して表示します。

(O)

ガイド情報定義ファイルの内容を見直してください。

#### KAVB7396-W

An attempt to initialize the guide information definition has failed.  
ガイド情報定義の初期化に失敗しました

ガイド情報定義の初期化に失敗しました。

(S)

ガイド機能は無効として、処理を続行します。

(O)

このメッセージより前のメッセージ内容に従って対処してください。

#### KAVB7397-W

The old guide information definition will be used because an attempt to reload the guide information definition has failed.

ガイド情報定義のリロードに失敗したため、以前のガイド情報定義を使用します

ガイド情報定義のリロードに失敗しました。

(S)

リロード前のガイド情報定義を使用して処理を続行します。

(O)

このメッセージより前のメッセージ内容に従って対処してください。

#### KAVB7398-W

The guide information definition cannot be used because an attempt to reload the guide information definition has failed.

ガイド情報定義のリロードに失敗したためガイド情報定義は使用できません

ガイド情報定義のリロードに失敗しました。

(S)

ガイド機能は無効にして処理を続行します。

(O)

このメッセージより前のメッセージ内容に従って対処してください。

#### KAVB7399-E

Guide information cannot be acquired because an attempt to acquire the maximum value of the guide message has failed.

ガイド情報メッセージの最大長の取得に失敗したため、ガイド情報を取得できません

ガイドメッセージの最大長の取得に失敗しました。

(S)

要求された操作を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7400-E

A system error occurred. (function: 関数名,errorcode: 要因コード,reason: 理由)  
システムエラーが発生しました(関数:関数名, 要因コード:要因コード, 理由:理由)

自動生成の処理中にエラーが発生しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7401-E

A system error occurred. (function: 関数名,errorcode: 要因コード)  
システムエラーが発生しました(関数:関数名, 要因コード:要因コード)

自動生成の処理中にエラーが発生しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7402-W

A system error occurred. (function: 関数名,errorcode: 要因コード,reason: 理由)  
システムエラーが発生しました(関数:関数名, 要因コード:要因コード, 理由:理由)

自動生成の処理中にエラーが発生しました。

(S)

自動生成の処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7403-W

A system error occurred. (function: 関数名,errorcode: 要因コード)  
システムエラーが発生しました(関数:関数名, 要因コード:要因コード)

自動生成の処理中にエラーが発生しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7404-E

Memory became insufficient.

メモリ不足が発生しました

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やしたあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7405-E

An argument is invalid.

引数不正が発生しました

API の引数の内容にエラーがあります。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7406-E

An attempt to create the tree failed because a definition file(ファイル名) is invalid.

定義ファイル(ファイル名)が不正のため、自動生成に失敗しました

自動生成で使用する定義ファイルの情報に、不正なフォーマットが存在しています。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAVB7407-E

Information from a linked product is invalid. (Host: **ホスト名**, identifier=**識別子**)  
連携製品の情報に不正があります(ホスト名:**ホスト名**, 識別子:**識別子**)

JP1/Base のプラグインで取得した情報に不正なフォーマットが存在しています。

(S)

不正な情報を読み飛ばして、自動生成の処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7408-E

An attempt to collect information from a linked product failed. (function:**関数名**, errorcode: **要因コード**, reason: **理由**)

連携製品情報を取得できませんでした(関数: **関数名**, 要因コード: **要因コード**, 理由: **理由**)

JP1/Base のプラグインサービスからの情報取得に失敗しました。

(S)

取得に失敗した連携製品以外に対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

連携製品のアダプタコマンドの設定が正しく行われているか確認してください。

## KAVB7409-E

Failed to collect the information from cooperation products. (function: **関数名**, errorcode: **要因コード**)

連携製品情報を取得できませんでした(関数: **関数名**, 要因コード: **要因コード**)

JP1/Base のプラグインサービスからの情報取得に失敗しました。

(S)

取得に失敗した連携製品以外に対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

連携製品のアダプタコマンドの設定が正しく行われているか確認してください。

## KAVB7410-W

An attempt to collect information from a linked product failed. (function:**関数名**, errorcode: **要因コード**, reason: **理由**)

連携製品情報を取得できませんでした(関数: **関数名**, 要因コード: **要因コード**, 理由: **理由**)

JP1/Base のプラグインサービスからの情報取得に失敗しました。

(S)

取得に失敗した連携製品以外に対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

連携製品のアダプタコマンドの設定が正しく行われているか確認してください。

#### KAVB7411-W

An attempt to collect information from a linked product failed. (function:関数名, errorcode: 要因コード)

連携製品情報を取得できませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード)

JP1/Base のプラグインサービスからの情報取得に失敗しました。

(S)

取得に失敗した連携製品以外に対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

連携製品のアダプタコマンドの設定が正しく行われているか確認してください。

#### KAVB7412-E

An attempt to collect the configuration definition of JP1/IM failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード, reason: 理由)

JP1/IM 構成定義情報を取得できませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード, 理由: 理由)

JP1/IM 構成定義情報の取得に失敗しています。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

JP1/IM システム構成（構成定義）が正しく設定されているか確認してください。

#### KAVB7413-E

An attempt to collect the configuration definition of JP1/IM failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード)

JP1/IM 構成定義情報を取得できませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード)

JP1/IM 構成定義情報の取得に失敗しています。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

JP1/IM システム構成（構成定義）が正しく設定されているか確認してください。

#### KAVB7414-W

An attempt to collect the configuration definition of JP1/IM failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード, reason: 理由)

JP1/IM 構成定義情報を取得できませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード, 理由: 理由)

JP1/IM 構成定義情報の取得に失敗しています。

(S)

自ホストだけに対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

JP1/IM システム構成（構成定義）が正しく設定されているか確認してください。

#### KAVB7415-W

An attempt to collect the configuration definition of JP1/IM failed. (function: 関数名,errorcode: 要因コード,reason: 理由)

JP1/IM 構成定義情報を取得できませんでした（関数: 関数名, 要因コード: 要因コード, 理由: 理由）

JP1/IM 構成定義情報の取得に失敗しています。

(S)

自ホストだけに対して、自動生成の処理を続行します。

(O)

JP1/IM システム構成（構成定義）が正しく設定されているか確認してください。

#### KAVB7416-E

An attempt to read the system definition file failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード, reason: 理由)

システム定義ファイルの読み込みができませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード, 理由: 理由)

自動生成で必要な定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7417-E

An attempt to read the system definition file failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード)  
システム定義ファイルの読み込みができませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード)

自動生成で必要な定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7418-W

An attempt to read the system definition file failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード,  
reason: 理由)

システム定義ファイルの読み込みができませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード, 理由: 理由)

自動生成で必要な定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7419-W

An attempt to read the system definition file failed. (function: 関数名, errorcode: 要因コード)  
システム定義ファイルの読み込みができませんでした(関数: 関数名, 要因コード: 要因コード)

自動生成で必要な定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動生成の処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7420-W

An attempt to resolve the host name (ホスト名) failed.  
ホスト名(ホスト名)を解決できませんでした

連携製品から取得したホスト名の解決に失敗しました。

- (S)  
ホスト名の解決に失敗したホスト以外に対して、自動生成の処理を続行します。
- (O)  
jcs\_hosts ファイルまたはhosts ファイルに、ホスト名が設定されているか確認してください。

#### KAVB7450-E

An attempt to convert the character code has failed because the memory was insufficient.  
メモリ不足のため文字コード変換処理に失敗しました

メモリーが不足しているため処理を続行できません。

- (S)  
文字コード変換処理を中止します。
- (O)  
システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7451-E

A system error occurred. (Detailed information: An attempt to convert the character code has failed)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報:文字コードの変換に失敗しました)

文字コード変換で失敗しました。

- (S)  
文字コード変換処理を中止します。
- (O)  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7452-E

A system error occurred. (Detailed information: The character code was invalid)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報:不正な文字コードです)

文字コード変換で対応していない文字コード間の変換を行おうとしました。

- (S)  
文字コード変換処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7453-E

A system error occurred. (Detailed information: The buffer area for storing the converted character string was insufficient)

システムエラーが発生しました。(詳細情報: 変換した文字列を格納するバッファ領域が不足しています)

変換した文字列を格納するバッファ領域に十分なサイズが確保されていません。

(S)

文字コード変換処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7455-E

The file operation processing has failed because the memory was insufficient.

メモリ不足のためファイル操作処理に失敗しました

メモリーが不足しているため処理を続行できません。

(S)

ファイル操作処理を中止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7457-E

The default value (既定する監視オブジェクト DB バージョン) will be used because the value specified for the monitored object DB version (監視オブジェクト DB バージョン) is invalid.

監視オブジェクト DB バージョン(監視オブジェクト DB バージョン)が不正のため、(既定する監視オブジェクト DB バージョン)を仮定します

監視オブジェクト DB バージョンが不正です。既定する監視オブジェクト DB バージョンを仮定します。

(S)

既定する監視オブジェクト DB バージョンを仮定して処理を続行します。

(O)

バージョンダウンインストールが行われているおそれがあります。サービスを停止したのち、監視オブジェクト DB を再セットアップしてください。

#### KAVB7458-E

The user does not have access permission for the definition file (ファイル名).

定義ファイル(ファイル名)に対するアクセス権がありません

指定されたファイルに対するアクセス権がありません。

(S)

ファイル操作処理を中止します。

(O)

指定されたファイルに対するアクセス権を確認してください。

#### KAVB7459-E

The monitored object DB has not been set up.

監視オブジェクト DB がセットアップされていません

監視オブジェクト DB がセットアップされていないため、セントラルスコープサービスの起動処理に失敗しました。

(S)

セントラルスコープサービスを停止します。

(O)

jcldbsetup コマンドを実行し、監視オブジェクト DB をセットアップしてください。

#### KAVB7460-E

The definition file (ファイル名) cannot be opened.

定義ファイル(ファイル名)をオープンできません

指定されたファイルをオープンできません。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7462-E

A system error occurred. (Detailed information: An attempt to initialize the lock has failed)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報:ロックの初期化に失敗しました)

ロックの初期化に失敗しました。

(S)

ファイル操作処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7463-W

English (Lang=C) is assumed as the language type because the language type could not be identified.

言語種別を特定できなかったため、言語種別に英語(LANG=C)を仮定します

言語種別(LANG)の設定を取得できませんでした。

(S)

言語種別に英語(LANG=C)を仮定して、処理を続行します。

(O)

JP1/Base で定義している言語種別(LANG)の設定を見直してください。

## KAVB7464-W

The definition file (ファイル名) corresponding to the language type does not exist.

言語種別に対応する定義ファイル(ファイル名)が存在しません

言語種別に対応する定義ファイル(ファイル名)が存在しません。

(S)

JP1/IM - Manager の動作する言語コードが英語(LANG=C)以外の場合は、英語(LANG=C)を仮定して該当する定義ファイルで処理を続行します。

JP1/IM - Manager の動作する言語コードが英語(LANG=C)の場合は、処理を中断します。

(O)

対応する定義ファイル(ファイル名)の定義ファイルが存在するか確認してください。

## KAVB7465-E

An attempt to acquire the size of the definition file (ファイル名) has failed.

定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズの取得に失敗しました



指定されたファイルのサイズの取得に失敗しました。

(S)

ファイルサイズ取得処理を中止します。

(O)

ファイルの状態を確認してください。また、直前のファイル操作に関するメッセージを確認してください。

#### KAVB7470-E

The contents of the definition information assigned to the file(ファイル名) is invalid (character string information:先頭 64 バイトの印字可能文字)

ファイル(ファイル名)に設定しようとしている定義情報の内容が不正です(文字列情報:先頭 64 バイトの印字可能文字)

指定された文字列データの構文が誤っているため、定義情報の設定に失敗しました。先頭 64 バイトの印字可能文字は、埋め込み文字です。

(S)

定義設定処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7471-E

An attempt to write the specified character string to the file (ファイル名) has failed (character string information: 先頭 64 バイトの印字可能文字)

指定された文字列をファイル(ファイル名)に書き込めません(文字列情報:先頭 64 バイトの印字可能文字)

指定された文字列データ(先頭 64 バイトの印字可能文字だけ出力)をファイルに書き込む処理でエラーが発生しました。先頭 64 バイトの印字可能文字は、埋め込み文字です。

(S)

定義設定処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7473-E

An attempt to acquire the attribute value that corresponds to the section (セクション名) and the attribute name (属性名) of the definition file (ファイル名) has failed.

定義ファイル(ファイル名)のセクション(セクション名)と属性名(属性名)に対応する属性値の取得に失敗しました

指定されたセクションと属性名に対応する属性値の検索処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7475-E

A system error has occurred. (Detailed information: An attempt to acquire the section name list has failed. Definition file:ファイル名, Section:セクション名)

システムエラーが発生しました(詳細情報:セクション名の一覧取得に失敗しました, 定義ファイル: ファイル名, セクション: セクション名)

指定されたセクション配下のセクション名一覧取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7479-E

The file size of the definition file (ファイル名) exceeds the limit ((サイズ)bytes).

定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが上限値(サイズ)byte を越えています

定義ファイルが読み込み可能なファイルサイズの上限値を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

定義ファイルのファイルサイズを上限値以内のサイズにしてください。

#### KAVB7480-E

A format error of the definition file occurred. The invalid code is included in the tag name and the attribute name.(line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルのフォーマットエラーです。タグ名、および、属性名に不正な文字コードが含まれています(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルのフォーマットエラーです。タグ名またはラベルは、2 バイトコードではなく、1 バイトコードを使用してください。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

タグ名またはラベルは、2 バイトコードではなく、1 バイトコードを使用してください。

#### KAVB7482-E

A syntax error exists in the definition file. The section does not start with the starting tag. (line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。セクションの先頭に開始タグがありません(詳細情報: 行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルで、セクションの先頭に開始タグがありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルで、開始タグが正しく記述されているか確認してください。

#### KAVB7483-E

A syntax error exists in the definition file. An invalid character is in the starting tag. (line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。開始タグに不正な文字コードが使われています(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルで、開始タグの「[」と「]」の中にタグ名がないか、不正な文字コードが使用されています。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイル内で、開始タグが正しく記述されているか確認してください。

#### KAVB7484-E

A format error exists in the definition file. The nesting of the section in the definition file exceeds the maximum value. (Detailed information: Maximum number of nests:最大ネスト数, line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルのフォーマットエラーです。定義ファイルにおいてセクションのネスト数が最大値を超えています。(詳細情報: 最大ネスト数: **最大ネスト数**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

定義ファイルで、可能なネスト数が最大値を超えています。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルで、セクションのネスト数を確認してください。

## KAVB7485-E

A format error exists in the definition file. The characters in one line exceed the maximum value. (Detailed information: Maximum number of characters:**最大文字数**, line number:**行番号**, file name:**ファイル名**)

定義ファイルのフォーマットエラーです。定義ファイルの 1 行あたりに定義できる最大文字数を超えています。(詳細情報: 最大文字数: **最大文字数**, 行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

定義ファイルで、1 行あたりに定義できる最大文字数を超えています。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルで、1 行あたりに定義している文字数を確認してください。

## KAVB7487-E

A syntax error exists in definition file. The starting tag or the ending tag does not exist.(Line number:**行番号**, file name:**ファイル名**)

定義ファイルの文法エラーです。開始タグまたは、終了タグがありません(行番号: **行番号**, ファイル名: **ファイル名**)

定義ファイルの文法エラーです。開始タグまたは終了タグがありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルで、開始タグおよび終了タグが正しく記述されているか確認してください。

## KAVB7488-E

A syntax error exists in the definition file. An attribute name does not exist in front of equal (=).(Line number:**行番号**, file name:**ファイル名**)

定義ファイルの文法エラーです。イコール(‘=’)の前に属性名がありません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルで、イコールの前に属性名が定義されていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルで、属性情報が正しく記述されているか確認してください。

## KAVB7491-E

A syntax error exists in the definition file. The format is invalid. (Line number:行番号, file name: ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。フォーマットが正しくありません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルのフォーマットが正しくありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルのフォーマットが正しく記述されているか確認してください。

## KAVB7492-E

A syntax error exists in the definition file. The definition tag does not correspond to the ending tag. (Line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。定義タグと終了タグが対応していません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルのフォーマットエラーです。定義タグと終了タグが対応していません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルの定義タグと終了タグの数、および、ネストが正しいか確認してください。

## KAVB7493-E

A syntax error exists in the definition file. The definition cannot be updated. (Line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。定義を更新できません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイルのフォーマットが正しくないため、定義を更新できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

定義ファイルのフォーマットが正しく記述されているか確認してください。

#### KAVB7494-E

The definition file processing cannot be executed because the memory is insufficient.  
メモリ不足のため、定義ファイル処理を実行できません

メモリーが不足しているため、処理を続行できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7496-E

A system error occurred. (Detailed information: An attempt to lock was executed even though the initialization of the lock has failed)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報: ロックの初期化に失敗したのにロックしようとしてしました)

ロックの初期化に失敗したのにロックしようとしてしました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7497-E

A system error occurred. (Detailed information: An attempt to unlock was executed even though the initialization of a lock has failed)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報: ロックの初期化に失敗したのにアンロックしようとしてしました)

ロックの初期化に失敗したのにアンロックしようとしてしました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7498-E

A system error occurred. (Detailed information: The initialization of a lock has failed)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報: ロックの初期化に失敗しました)

ロックの初期化に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7550-E

An attempt to read the common definition associated with jcs\_hosts has failed (Cause: 要因コード).  
jcs\_hosts に関連する共通定義情報の読み込みに失敗しました(要因: 要因コード)

jcs\_hosts に関連する共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因コードに従って、システムの状態を確認し、対処してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因コード：2

説明：キーが存在しません。

対処：正しくセットアップされているか確認してください。

- 要因コード：その他

説明：システムエラー

対処：資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7552-W

The value of the common definition (JCSHOSTS\_TYPE) is out of range (value: 値).  
共通定義情報(JCSHOSTS\_TYPE)の値が範囲外です(値: 値)

共通定義情報 (JCSHOSTS\_TYPE) の値に、範囲外の値が指定されています。

(S)

デフォルトの値 (キャッシング有効) で処理を続行します。

(O)

共通定義情報 (JCSHOSTS\_TYPE) に指定した値を確認してください。

## KAVB7555-W

```
jcs_hosts does not exist. The service will be continued with the jp1hosts or system hosts information.
```

```
jcs_hosts が存在しません。jp1hosts, または, システムの hosts 情報を使用してサービスを続行します
```

jcs\_hosts が存在しません。

(S)

jcs\_hosts は無効とし, jp1hosts または/etc/hosts を使用してサービスを続行します。

(O)

jcs\_hosts の定義が必要な場合は, jcs\_hosts の定義作成を行い, リロードしてください。

## KAVB7556-I

```
jcs_hosts was reloaded successfully.
```

```
jcs_hosts のリロードに成功しました
```

jcs\_hosts のリロードに成功しました。

(S)

新しいjcs\_hosts 定義でセントラルスコープサービスは動作します。

## KAVB7557-W

```
The old jcs_hosts will be used because an attempt to reload the jcs_hosts has failed.
```

```
jcs_hosts のリロードに失敗したため, 以前の jcs_hosts を使用します
```

jcs\_hosts 用の定義ファイルの文法エラーなどによって, リロードに失敗しました。

(S)

以前のjcs\_hosts を使用して, 処理を続行します。

(O)

jcshostsimport コマンドによってjcs\_hosts が排他されていないかを確認し, 再度リロードしてください。再度同様の現象となる場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。



## KAVB7558-E

The jcs\_hosts cannot be used because an attempt to reload the jcs\_hosts has failed.  
jcs\_hosts のリロードに失敗したため jcs\_hosts は使用できません。

jcs\_hosts のリロードに失敗しました。

(S)

jcs\_hosts は無効とし、処理を続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7559-E

An attempt to initialize jcs\_hosts has failed.  
jcs\_hosts の初期化に失敗しました

jcs\_hosts の初期化に失敗しました。

(S)

jcs\_hosts は無効とし、処理を続行します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設をしたあとで、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB7560-I

jcs\_hosts was initialized successfully.  
jcs\_hosts の初期化に成功しました

jcs\_hosts の初期化に成功しました。

## KAVB7580-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the Central Scope Service. (cause = 要因)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「メモリー不足が発生しました。」の場合は、OSのログを確認し、メモリーが不足していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保後、JP1/IM - Managerを再起動してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、JP1/IM - Managerを再起動してください。

## KAVB7581-E

A parameter of the communication encryption function for the Central Scope Service is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名: パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Managerを再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が空文字です。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値がフルパスではありません。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値にフルパスを設定してください。

## KAVB7582-E

Parameters for the communication encryption function for the Central Scope Service could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

セントラルスコープサービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名: パラメーター名, 要因:要因)

セントラルスコープサービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターが未定義です。」の場合は、JP1/Base の共通定義にパラメーターを設定してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7583-E

A file or directory specified for a parameter of the communication encryption function for the Central Scope Service could not be found. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定したパスにファイルまたはディレクトリがありません。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定したパスに、ファイルまたはディレクトリがありません。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- パラメーターで指定したパスに、パラメーターに対応したファイルまたはディレクトリがあるか確認してください。パラメーターに対応したファイルまたはディレクトリがない場合は、配置してください。
- パラメーターで指定したパスが秘密鍵またはサーバ証明書の場合、ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB7584-E

A file specified for a parameter of the communication encryption function for the Central Scope Service could not be read. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定したファイルが読み込めません。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定したファイルが読み込めません。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

パラメーターで指定したパスのファイルのフォーマットに問題がないことを確認してください。

次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB7585-E

A private key specified for a parameter of the communication encryption function for the Central Scope Service does not correspond to the server authentication certificate. (private key parameter = 秘密鍵パラメーター名, private key parameter value = 秘密鍵パラメーター値, server certificate parameter = サーバ証明書パラメーター名, server certificate parameter value = サーバ証明書パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定した秘密鍵が読み込めません。  
(秘密鍵パラメーター名:秘密鍵パラメーター名, 秘密鍵パラメーター値:秘密鍵パラメーター値, サーバ証明書パラメーター名:サーバ証明書パラメーター名, サーバ証明書パラメーター値:サーバ証明書パラメーター値)

セントラルスコープサービスの通信暗号化機能のパラメーターで指定した秘密鍵が読み込めません。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- サーバ証明書と秘密鍵が対になっていることを確認してください。対になっていない場合は、対になっているサーバ証明書と秘密鍵を配置してください。
- 秘密鍵のファイルのフォーマットに問題がないことを確認してください。
- 秘密鍵にパスフレーズが設定されている場合は、パスフレーズを解除してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ

- ・UNIX の場合：シスログ (syslog)

#### KAVB7586-E

A library required for the Central Scope Service was not found.

セントラルスコープサービスに必要なライブラリがありません。

セントラルスコープサービスに必要なライブラリがありません。

(S)

セントラルスコープサービスを終了します。

(O)

JP1/Base を再インストールし、JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB7600-E

The logical hostname (論理ホスト名) does not exist.

論理ホスト名(論理ホスト名)が存在しません

指定された論理ホストが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した論理ホスト名が誤っていないか見直して、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7601-E

The user does not have execution permission.

実行権限がありません

実行権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

Windows の場合は Administrators 権限、UNIX の場合はスーパーユーザー権限を持つユーザーで実行してください。

#### KAVB7602-E

Command execution will stop because memory is insufficient.

メモリ不足のためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリー空き容量を増やしたあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7603-E

Command execution will stop because disk capacity is insufficient.

ディスク容量が不足しているためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除したあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7604-E

An error occurred during initialization of the database.

データベースの初期化中にエラーが発生しました

データベース初期化中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

データベースディレクトリ以下のファイルおよびディレクトリに対する実行ユーザーの読み込みまたは書き込み権限を確認してください。

#### KAVB7605-E

An error occurred during database access.

データベースアクセス中にエラーが発生しました

データベースアクセス中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

データベースディレクトリ以下のファイルおよびディレクトリに対する実行ユーザーの読み込みまたは書き込み権限を確認してください。

#### KAVB7606-E

A connection could not be established with the JP1/IM - Central Scope service.  
JP1/IM - Central Scope サービスとの接続に失敗しました

セントラルスコープサービスとの接続に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

セントラルスコープサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、セントラルスコープサービスを起動したあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7607-E

The connection with the JP1/IM - Central Scope Service has been lost.  
JP1/IM - Central Scope サービスとの通信が切断されました

セントラルスコープサービスとの通信が切断されました。

- JP1/Base の共通定義 API でエラーが発生した。
- 定義ファイル入出力時にエラーが発生した。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の両方を確認してください。

- セントラルスコープサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、セントラルスコープサービスを起動したあと、再度コマンドを実行してください。
- JP1/IM - Manager を起動した時点と比べて、通信暗号化機能の設定が変わっていないことを確認してください。

#### KAVB7608-E

The request could not be performed because a communication timeout error occurred.  
通信タイムアウトが発生しました

通信タイムアウトが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

統合トレースログ (HNTRLib2) でセントラルスコープサービスに関するエラーが発生していないか確認してください。

#### KAVB7609-E

The response received from the JP1/IM - Central Scope Service is not valid.  
JP1/IM-Central Scope サービスからの応答データが不正です

セントラルスコープサービスから不正な応答データを受信しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7610-E

The command (コマンド名) has been interrupted.  
コマンド(コマンド名)の実行が中断されました

ユーザーの中断指示によって処理を中断しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ユーザーの中断指示によって処理を中断したことを示すメッセージです。再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7611-E

An attempt to connect to the JP1/IM - Central Scope Service has failed because the jp1hosts definition for the specified logical host (論理ホスト名) is invalid.  
指定された論理ホスト(論理ホスト名)のjp1hostsの定義が誤っているため、JP1/IM - Central Scope サービスとの接続に失敗しました

指定された論理ホストのjp1hostsの定義が誤っています。

(S)

コマンドの処理を中断します。



(O)

指定された論理ホストのjp1hosts の定義を見直してください。

#### KAVB7612-E

The command option is invalid. (オプション名)  
コマンドオプションが不正です。(オプション名)

間違ったコマンドオプションが指定されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7613-E

The オプション名 option is specified more than once.  
オプション名 オプションが 2 回以上指定されました

同じオプションが 2 回以上指定されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

#### KAVB7614-E

The value for the オプション名 option is not specified.  
オプション名 オプションに値が指定されていません

オプションに値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

#### KAVB7615-E

The オプション名 option is mandatory.  
オプション名 オプションは必須です

必須オプションを指定しませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

#### KAVB7616-E

The length of the value for the オプション名 option cannot be greater than 数値.  
オプション名 オプションに指定した値の長さは、数値 文字以上は指定できません

オプションに指定した値の文字列長が制限値を超えています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

#### KAVB7617-E

管理者コンソールよりコマンドを実行してください  
Execute the command from the administrator console.

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

#### KAVB7618-E

An invalid value is specified for the オプション名 option.  
オプション名 オプションに不正な値が指定されました

オプションに不正な値が指定されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

## KAVB7619-E

A system error occurred.  
システムエラーが発生しました

システムエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7620-E

An error occurred during an attempt to set the locale.  
ロケールの設定で、システムエラーが発生しました

ロケールの設定で、システムエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7621-W

Locale C is assumed because an attempt to set the locale has failed.  
ロケールの設定に失敗したため、ロケールはCを仮定します

ロケールの設定に失敗したため、ロケールはCを仮定します。環境変数 LANG または LC\_ で始まるキーのどれかに不正な値が設定されているおそれがあります。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

環境変数の値を見直し、不正な設定を修正してください。

## KAVB7622-E

An attempt to initialize the log has failed.  
ログの初期化に失敗しました

ログの初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- UNIX の場合は JP1/IM - Manager のリリースノートを参照して、ファイル関連のカーネルパラメーターが正しい設定になっているか。
- メモリー不足が発生していないか。
- ディスク容量不足が発生していないか。

## KAVB7623-E

An attempt to initialize the common definition has failed.

共通定義の初期化に失敗しました

共通定義の初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7624-I

The コマンド名 command finished successfully.

コマンド名 コマンドの実行が正常終了しました

コマンドの実行が正常終了しました。

(S)

コマンドを正常終了します。

## KAVB7625-E

A service or another command is already running.

セントラルスコープサービス、またはバージョンアップコマンドが既に実行中のため、実行できません

セントラルスコープサービスが起動中か、バージョンアップコマンドがすでに実行中です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

サービスが起動中の場合は、バージョンアップは完了しているため、実行する必要はありません。  
ほかのバージョンアップコマンドが実行中の場合は、同コマンドが終了するのを待ってください。同コマンドが失敗した場合、再実行してください。

#### KAVB7626-E

An internal error occurred during execution of the command.  
コマンド実行中に内部エラーが発生しました

コマンド実行中に内部エラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7627-E

Another command, コマンド名, is already running.  
コマンド名 コマンドが既に実行中です

同コマンドがすでに実行中です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

実行中のコマンドの終了を待って、再実行してください。

#### KAVB7628-E

The user does not have permission to read or write the file ファイル名.  
ファイル名 ファイルの読み込み、または書き込み権限がありません

ファイルの読み込みまたは書き込み権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ファイルのアクセス権を確認してください。

## KAVB7629-E

An attempt to execute has failed because another user is using the database.

データベースが使用中のため、実行できません

ほかの機能によってデータベースが使用されているため、データベースにアクセスできません。このため、コマンドの実行に一時的に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

時間をおいて、再実行してください。

## KAVB7630-I

The status of the monitoring node (監視ノード ID) has been set to 状態.

監視ノード(監視ノード ID)の状態を状態に変更しました

監視ノードの状態が変わったことを通知する情報メッセージです。

(S)

コマンドを終了します。

## KAVB7631-E

The specified monitoring node (監視ノード ID) does not exist in the monitoring tree.

指定した監視ノード(監視ノード ID)は監視ツリーに存在しません

指定した監視ノード ID の監視ノードは監視ツリーに存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した監視ノード ID の監視ノードが監視ツリーに存在するか確認してください。

## KAVB7632-E

The status of the specified monitoring node (監視ノード ID) cannot be changed because it is unmonitored.

指定した監視ノード(監視ノード ID)は非監視のため、監視ノードの状態は変更できません

指定した監視ノードは非監視のため、監視ノードの状態は変更できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した監視ノードを監視にして、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7633-E

The status of the specified monitoring node (監視ノード ID) cannot be changed to 状態, because the monitoring node is a group node. Group nodes can only be changed to “Initial” status.  
指定した監視ノード(監視ノード ID)は監視グループです。監視グループは初期状態にしか変更できないため、状態に変更できません

指定した監視ノードは監視グループのため、初期状態にしか変更できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

初期状態以外の状態に変更する場合は、監視オブジェクトを指定してください。

#### KAVB7634-E

The jcschstat command ended abnormally.  
jcschstat コマンドが異常終了しました

jcschstat コマンドが異常終了しました。このメッセージは実行中に出力されたメッセージのあとに出力されます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

実行中に出力されたメッセージに対する対処方法に従って、対処してください。

#### KAVB7635-E

The maximum number of monitoring nodes that can be specified with the command is 数値.  
コマンドに指定できる監視ノードの最大値は数値です

コマンドに指定できる監視ノードの数が最大値を超えました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドのオプションの仕様を確認してください。

#### KAVB7636-E

The operation could not be executed because the central scope service or another command is already executing.

セントラルスコープサービス, またはその他のコマンドが既に実行中のため, 実行できません

セントラルスコープサービスが起動中か, そのほかのコマンドが実行中です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

サービスが起動中の場合, `jcsdbsetup` コマンドを実行はできません。サービスを停止させてください。そのほかのコマンドが実行中の場合, そのコマンドが終了するのを待ってください。

#### KAVB7637-E

An attempt to create the lock file has failed.

ロックファイルの作成に失敗しました

ロックファイルの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

論理ホストで実行している場合, 共有ディスクがマウントされているか確認し, 再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7638-W

An error occurred during initialization of the database, The database recovery operation succeeded.

データベースアクセス中にエラーが発生しました, リカバリーに成功しました

サーバ側のデータベースアクセス処理中にエラーが発生しました。リカバリーに成功しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

ツリー構成情報ファイルの内容はサーバに反映されていません。統合トレースログでサーバ側の処理のエラー原因を確認し, 再度コマンドを実行してください。



## KAVB7640-I

The database creation succeeded.

DB の作成に成功しました

監視オブジェクト DB の作成に成功しました。

(S)

監視オブジェクト DB を作成します。

## KAVB7641-E

The parameter is invalid.

引数が不正です

引数が不正です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

コマンドの引数を見直して、再実行してください。

## KAVB7642-E

The database creation could not be created. (return value : 戻り値)

DB の作成ができませんでした (戻り値 : 戻り値)

監視オブジェクト DB の作成ができませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

戻り値に従って、システムの状態を確認し、対処を行ってください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 戻り値 : 1

説明 : 論理ホスト名が不正

対処 : 引数で指定した論理ホスト名が正しいか確認してください。

- 戻り値 : 4

説明 : コマンドを実行する権限がない

対処 : ログインアカウントが Administrators 権限であることを確認してください。

- 戻り値 : 10

説明 : JP1/IM - Manager の定義情報がセットアップされていない

対処：JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

- 戻り値：12

説明：メモリー不足

対処：システムメモリーを確認してください。

- 戻り値：13

説明：ディスク不足

対処：ディスクの空き容量を確認してください。

- 戻り値：20

説明：データベースがすでに存在する

対処：データベースを再作成する場合は、-f オプションを指定してコマンドを再実行してください。

- 戻り値：99

説明：そのほかの要因のエラーが発生した

#### KAVB7643-I

The processing to set up the JP1/IM-CS logical host will now start.

セントラルスコープの論理ホストの設定処理を開始します。

(S)

セントラルスコープの論理ホストの設定処理を開始します。

#### KAVB7644-I

Processing to copy the definition file has started.

論理ホストの設定ファイルの共有ディスクへのコピー処理を開始します。

(S)

論理ホストの設定ファイルの共有ディスクへのコピー処理を開始します。

#### KAVB7645-I

JP1/IM Central Scope cluster environment setup completed successfully.

論理ホスト環境のセットアップに成功しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB7646-E

Logical host of JP1/IM-CC is not setup.

セントラルコンソールの論理ホスト環境がセットアップされていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

セントラルコンソールの論理ホスト環境をセットアップしたあと、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7647-E

Specified shared directory does not exist

指定した共有ディレクトリが存在しません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した共有ディレクトリを見直した上で、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7648-E

Failed to get default configuration data

設定情報の取得に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

物理ホストの JP1/Base, JP1/IM - Manager が、正しくインストール、セットアップされているか確認してください。

#### KAVB7649-E

Failed to register configuration data

設定情報の登録に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

物理ホストの JP1/Base, JP1/IM - Manager が、正しくインストール、セットアップされているか確認してください。

## KAVB7650-E

cannot create ディレクトリ名

ディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した共有ディレクトリの名称, およびアクセス権を確認の上, コマンドを再実行してください。

## KAVB7651-E

cannot create database for logical host

データベースの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

共有ディレクトリのディスク容量が十分か確認してください。

## KAVB7652-E

Failed to update JP1/IM-CC conf files

セントラルコンソールの設定に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

セントラルコンソールの共有ディスクがマウントされているか確認し, 再度セットアップを実行してください。

## KAVB7653-E

Logical host of JP1/IM-CS is not setup

実行系のセットアップが行われていない論理ホストに対して待機系のセットアップを試みました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

実行系のセットアップをしてから, 待機系のセットアップを実行してください。

## KAVB7654-E

Failed to setup socket bind configuration

物理ホストの共通定義の設定に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

物理ホストの JP1/Base, JP1/IM - Manager が, 正しくインストール, セットアップされているか確認してください。

## KAVB7655-I

The logical host database will now be created.

論理ホストのデータベース作成処理を開始します。

(S)

論理ホストのデータベースの作成処理を開始します。

## KAVB7656-I

Update processing of the JP1/IM-CC definition file will now start.

セントラルコンソールの定義ファイルの更新処理を開始します。

(S)

セントラルコンソールの定義ファイルの更新処理を開始します。

## KAVB7657-I

Physical host communications will now be set up.

物理ホストの通信設定を開始します。

(S)

物理ホストの通信設定を開始します。

## KAVB7658-I

The JP1/IM-CS logical host will now be set up.

セントラルスコープの論理ホストの設定処理を開始します。

(S)

セントラルスコープの論理ホストの設定処理を開始します。

#### KAVB7660-I

Importing of the monitoring tree definition from the file **ファイル名** was successful.  
ファイル名ファイルから監視ツリー定義のインポートに成功しました

監視ツリー定義のインポートに成功しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB7661-E

There is an error in the specified file. (**ファイル名**)  
指定したファイル(**ファイル名**)に誤りがあります。

指定したファイルに誤りがあります。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

jcldbexport コマンドで出力したファイルを指定してください。

#### KAVB7662-E

The specified input file (**ファイル名**) does not exist.  
指定したファイル(**ファイル名**)は存在しません

指定したファイルは存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したファイルが存在するか確認してください。

#### KAVB7663-E

A monitoring tree definition does not exist in the specified file.  
指定したファイルに監視ツリー定義が存在しません

指定したファイルに監視ツリー定義が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

jcsdbexport コマンドで出力したファイルを指定してください。

#### KAVB7664-W

An invalid common event monitoring condition is included in the node.

監視ツリーの監視ノードに未登録の共通イベント監視条件が含まれています

ツリーの監視ノードに未登録の共通イベント監視条件が含まれています。

(S)

コマンドの実行は成功しましたが、該当する監視ノードを非監視状態にします。

(O)

監視ノードの状態変更条件設定を確認してください。

#### KAVB7665-E

The specified definition file **ファイル名** is not a file.

指定されたファイル(**ファイル名**)はファイルではありません

引数で指定されたファイルはファイルではありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定されたファイルはファイルではありません。確認の上、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7666-E

The file (**ファイル名**) could not be imported because the file version is not compatible with the JP1/IM-CS monitored object DB version.

JP1/IM-CS の監視オブジェクト DB バージョンが、**ファイル(ファイル名)**のファイルバージョンに対応していないため、インポートを中止しました

JP1/IM - Central Scope は、**ファイル(ファイル名)**のファイルバージョンに対応していません。指定したファイルは上位バージョンの JP1/IM - Central Scope で作成されている可能性があります。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ファイルバージョンを確認の上、そのファイルバージョンのファイルに対応している JP1/IM - Central Scope に対して監視ツリー定義をインポートしてください。

## KAVB7667-E

In (中項目種別:中項目名), the (小項目種別) has exceeded the restricted value (バイト数 byte), import is failed.

(中項目種別:中項目名) の(小項目種別)が制限値 (バイト数バイト) を超えているため、インポートに失敗しました

(中項目種別:中項目名) の(小項目種別)が制限値 (バイト数バイト) を超えているため、インポートに失敗しました。

メッセージ本文の可変値には次の値が表示されます。

- **中項目種別**  
ノード ID, 共通条件名, またはビジュアル監視画面
- **中項目名**  
中項目種別の項目に対応する実際の名称
- **小項目種別**  
監視ノード名, 基本情報の属性値, 共通条件の属性値, 状態変更条件の条件名, 個別条件の個別属性値, 共通条件名, 共通条件の属性値, [ビジュアル監視] 画面の画面名, または [ビジュアル監視] 画面のコメント
- **バイト数**  
小項目種別の項目の最大長 (バイト)

(S)

処理を中断します。

(O)

ツリー構成ファイルをエクスポートした環境で、中項目種別の中項目名の小項目種別に指定されている文字列を確認し、その文字列が UTF-8 のエンコーディングで制限値以内になるように修正してください。そのあと、再度ツリー構成ファイルのエクスポートをしてください。

エクスポートしたツリー構成ファイルを、インポートしたい環境に移行し、再度インポートしてください。

## KAVB7670-I

Exporting of the monitoring tree definition to the file ファイル名 was successful.

ファイル(ファイル名)への監視ツリー定義の出力に成功しました

ファイル(ファイル名)への監視ツリー定義の出力に成功しました。



(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB7671-E

There is no data in the database for the specified tree ID.

指定したツリー ID はデータベースに存在しません

指定したツリー ID はデータベースに存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したツリー ID の監視ツリーがデータベースに存在するか確認してください。

#### KAVB7680-E

An attempt to create jcs\_hosts has failed (Cause:要因コード)

jcs\_hosts の作成に失敗しました(要因:要因コード)

jcs\_hosts の作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

要因コードに従って、システムの状態を確認し、対処してください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因コード：1024

説明：オープン可能なファイル数の上限を超えました

対処：システムのファイルリソースの状態を確認してください。

- 要因コード：その他

説明：システムエラー

対処：資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7681-E

A syntax error exists in the definition file. Specify the host name within 1-255 characters. (Line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。ホスト名は 1～255 文字の範囲で指定してください(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中に記述されているホスト名の長さが 255 バイトを超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7682-E

A syntax error exists in the definition file. The maximum number of hosts that can be specified for one IP address is (ホスト数). (Line number: 行番号, file name: ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。ひとつの IP アドレスに指定されているホスト名は最大(ホスト数)個までです(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中に記述されている IP アドレスに指定されているホストの数が最大値を超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7683-E

A syntax error exists in the definition file. (文字列) is not an IP address. (Line number: 行番号, file name: ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。(文字列)は IP アドレスではありません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中の IP アドレスに、IP アドレスとして認識できない文字列が指定されています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7684-W

A syntax error exists in the definition file. Multiple hosts (ホスト名) are specified for an IP address (IP アドレス). (Line number: 行番号, file name: ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。IP アドレス(IP アドレス)に対してホスト名(ホスト名)が複数回指定されています(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中の一つの IP アドレスに対して、同じホスト名が複数回指定されています。

(S)

処理を続行します。

(O)

定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB7685-W

A syntax error exists in the definition file. Only the first definition of IP address is validated because the IP address (IP アドレス) is specified several times. (Line number:行番号, file name:ファイル名)

定義ファイルの文法エラーです。IP アドレス (IP アドレス) の定義が重複しているため最初の定義が有効になります (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中に、同じ IP アドレスが複数指定されています。

(S)

処理を続行します。

(O)

定義ファイルの内容を確認してください。

#### KAVB7686-E

A system error occurred while the command was executing.  
コマンドの実行中にシステムエラーが発生しました

コマンドの実行中にシステムエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンド実行時の保守資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7687-E

The command option specification is invalid. You must specify the -o, -r, or -d option.  
コマンドオプションの指定誤りです。-o,-r,-d オプションのいずれかを必ず指定する必要があります

必須オプションが指定されていません。

(S)

必須オプションが指定されていません。コマンドの処理を中断します。

(O)

-o, -r, または-d オプションのどれかを指定して、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7688-E

The command option specification is invalid. The -o, -r, and -d options cannot be specified simultaneously.

コマンドオプションの指定誤りです。-o,-r,-d オプションを同時に指定することはできません

-o, -r, -d オプションが同時に指定されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

-o, -r, -d オプションは同時には指定できません。確認してください。

#### KAVB7689-E

An attempt to open jcs\_hosts has failed. (Cause:要因コード).

jcs\_hosts のオープンに失敗しました(要因:要因コード)

jcs\_hosts のオープンに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

要因コードに従って、システムの状態を確認し、対処してください。システムが正常に回復しない場合は、コマンド実行時の保守資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因コード：1024

説明：オープン可能なファイル数の上限を超えました

対処：システムのファイルリソースの状態を確認してください。

- 要因コード：その他

説明：システムエラー

対処：資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7690-E

An error occurred while jcs\_host was being accessed. (cause:要因コード)

jcs\_hosts のアクセス中にエラーが発生しました(要因:要因コード)

jcs\_hosts へのアクセス中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンド実行時の保守資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7691-E

The command execution will be stopped because the memory is insufficient.

メモリ不足のためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やしたあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7692-E

The user does not have the access permission for accessing the specified definition file (ファイル名) for jcs\_hosts.

指定された jcs\_hosts 用定義ファイル(ファイル名)にアクセスする権限がありません

アクセスできません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したファイルのアクセス権限を確認してください。

#### KAVB7693-E

The specified definition file (ファイル名) for jcs\_hosts does not exist.

jcs\_hosts 用定義ファイル(ファイル名)が存在しません

ファイルが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

引数に指定したファイル名が存在しません。確認の上、再度コマンドを実行してください。

## KAVB7694-E

A system error occurred. (Detailed information: An error occurred in system call)  
システムエラーが発生しました。(詳細情報:システムコールでエラーが発生しました)

システムコールでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やしたあと、再度コマンドを実行してください。

## KAVB7695-E

The user does not have execution permission.  
実行権限がありません

Administrators 権限がないユーザーで実行しようとしてしました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

jcshostsimport コマンドは Administrators 権限を持ったユーザーだけが実行できます。

## KAVB7696-E

The jcs\_hosts is invalid.  
jcs\_hosts が不正な状態です

jcs\_hosts が破損しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

jcs\_hosts が破損しています。再セットアップしてください。それでもシステムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7697-E

An attempt to initialize the log has failed (Cause:要因コード)  
ログの初期化に失敗しました(要因:要因コード)

ログの初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しくセットアップされているか確認し、必要に応じて再セットアップしてください。システムが正常に回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB7698-E

The Jcs\_hosts is busy.  
jcs\_hosts は使用中です。

別の処理でjcs\_hosts が使用されています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

別の処理でjcs\_hosts を使用していないか確認してください。

#### KAVB7699-E

No entry is in the definition file (file name:ファイル名)  
定義ファイル中に定義が一つもありません。(ファイル名:ファイル名)

指定された定義ファイルにキーが存在しないため、処理を終了します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

定義ファイルに定義を記述して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7700-E

The process will be terminated because an attempt to read the definition file failed. (file name:ファイル名)  
定義ファイルの読み込みに失敗したため処理を終了します。(ファイル名:ファイル名)

定義ファイルの読み込みに失敗したため、コマンドの処理を終了します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7701-I

The jcshostsimport command successfully ended.  
jcshostsimport コマンドが正常に終了しました

コマンドの処理が正常終了しました。

#### KAVB7702-E

A syntax error exists in the definition file. The host is not specified. (Line number:行番号 file name:ファイル名).  
定義ファイルの文法エラーです。ホストが指定されていません(行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中に、ホスト名が指定されていない行が存在します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7703-E

An attempt to initialize the common definition has failed. (Cause:要因コード).  
共通定義の初期化に失敗しました(要因:要因コード)

共通定義情報の初期化に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しくセットアップされているか確認してください。

- 要因コード：-2  
説明：共通定義情報の初期化に失敗した。  
対処：正しくセットアップされているか確認してください。

#### KAVB7704-E

An attempt to set the locale has failed.  
Locale の設定に失敗しました



(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

OS の Locale の設定を確認してください。

### KAVB7705-W

C is assumed because an attempt to set the Local has failed.

Locale の設定に失敗しましたため C を仮定します

(S)

Locale を C に仮定して処理を続行します。

(O)

OS の Locale の設定を確認してください。

### KAVB7706-E

The logical host (論理ホスト名) does not exist.

論理ホスト(論理ホスト名)が存在しません。

指定された論理ホストが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した論理ホスト名が誤っていないか確認してください。

### KAVB7707-E

The number of IP addresses specified for one host exceeds the limit (最大数). (file name:ファイル名).

ホスト名に対する IP アドレスの定義数が最大数(最大数)を越えています(ファイル名:ファイル名)

一つのホスト名に対して指定できる IP アドレスが最大数を超えました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

## KAVB7708-E

An attempt to acquire the common definition has failed.  
共通定義情報の取得に失敗しました

共通定義にキーが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

セットアップされているか確認してください。

## KAVB7709-E

A system error occurred. (Cause:要因コード)  
システムエラーが発生しました。(要因:要因コード)

引数解析処理中に致命的なエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7711-E

The command option specification is invalid.  
コマンドオプションの指定誤りです

コマンドの引数が正しくありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドの引数が正しくありません。引数を見直して、`jcshostsexport` コマンドを再実行してください。

## KAVB7712-E

The `jcs_hosts` does not exist.  
`jcs_hosts` が存在しません

`jcs_hosts` が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい DB ファイル名を指定して `jcshostsexport` を実行してください。

### KAVB7713-E

JP1/IM-CS is not set up.

JP1/IM-CS はセットアップされていません

JP1/IM - Manager がセットアップされていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager を再インストールしてください。

### KAVB7714-W

The command execution will be stopped because the disk space is insufficient.

ディスク容量不足のためコマンドの実行を中止します

コマンドの実行に必要なディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスクの空き容量を確認してください。

### KAVB7715-E

The specified definition file `ファイル名` is not a file.

指定された `jcs_hosts` 用定義ファイル(`ファイル名`)はファイルではありません

引数で指定された `jcs_hosts` 用定義ファイルはファイルではありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定された `jcs_hosts` 用定義ファイルはファイルではありません。確認の上、再度コマンドを実行してください。

## KAVB7722-E

The logical host (論理ホスト名) is not specified.  
論理ホスト (論理ホスト名) が設定されていません

論理ホストが設定されていません, または, 指定された論理ホストの情報は存在しませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定された論理ホスト名が正しいか, またはセットアップが正しく行われているか確認してください。

## KAVB7723-E

The command option is invalid. The option (オプション名) cannot be recognized.  
コマンドオプションの指定誤りです。オプション(オプション名)は認識できません

指定したオプションが不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して, コマンドを再実行してください。

## KAVB7724-E

The command option is invalid. The option (オプション名) is specified redundantly.  
コマンドオプションの指定誤りです。オプション(オプション名)が重複しています

指定したオプションが重複しています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定したオプションを確認の上, 再度コマンドを実行してください。

## KAVB7725-E

The command option is invalid. The value of the option (オプション名) is invalid.  
コマンドオプションの指定誤りです。オプション(オプション名)の値が不正です

指定されたオプションに必要な値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したオプションを確認の上、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7726-E

A syntax error exists in the definition file. An IP address should be specified within 1-63 characters. (Line number:行番号, file name:ファイル名).

定義ファイルの文法エラーです。IP アドレスは 1~63 文字の範囲で指定してください (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

定義ファイル中に指定されている IP アドレスが長過ぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

定義ファイルの文法エラーです。定義ファイルの誤りを修正して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB7727-E

The command execution will be stopped because the memory is insufficient.

メモリ不足のためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やしたあと、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB7730-I

The JP1/IM - Central Scope setup will now start.

セントラルスコープのセットアップコマンドを開始しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7731-I

The file ファイル名 was relocated.

ファイル名のファイルを配置しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7732-E

'/opt/jp1base/bin/jbssetcnf' could not be executed.

/opt/jp1base/bin/jbssetcnf コマンドが実行できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/Base, JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVB7733-I

ファイル名 was registered to the common definition.

共通定義情報の登録に成功しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7734-E

ファイル名 could not be registered to the common definition.

共通定義情報の登録に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/Base, JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVB7735-I

The registration of the common definition data has completed.

共通定義情報の登録が完了しました。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB7736-E

The system environment could not be set.

システム環境を設定できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

#### KAVB7737-I

JP1/IM - Central Scope setup has completed.

セントラルスコープのセットアップコマンドが終了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB7750-I

Upgrading of the database version has finished.

データベースのバージョンアップは完了しました

データベースのバージョンアップは完了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KAVB7751-I

The database version has already been upgraded.

データベースはバージョンアップ済みです

データベースはバージョンアップ済みです。

(S)

コマンドの処理を中断します。

## KAVB7753-E

The specified work path (指定したパス) does not exist.  
指定したワークパス (指定したパス) が存在しません

指定したワークパスが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したワークパスが存在するか確認してください。

## KAVB7754-W

The database will now be recovered from the backup because the database is corrupted.  
データベースが破損していたため、バックアップからリカバリーしました

jp1csverup コマンド, jp1cshaverup コマンド実行時にデータベースの破損を検知したため、バックアップからリカバリーしました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

最新の編集結果が反映されていないおそれがあります。JP1/IM - View で監視ツリーの構成を確認し、監視ツリーが正しいか確認してください。

## KAVB7755-E

Command execution will now stop because the attempt to recover the database failed.  
データベースのリカバリーに失敗したため、コマンドの実行を中断します

jp1csverup コマンド, jp1cshaverup コマンド実行時にデータベースの破損を検知し、リカバリー処理を試みましたが失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

データベースが破損し、監視ツリーの情報が失われたため、jcsdbsetup コマンドでデータベースをセットアップしたあと、再度監視ツリーを構築してください。

## KAVB7765-E

An attempt to copy the definition file ファイル名 has failed.



定義ファイル (ファイル名) のコピーに失敗しました

定義ファイル (ファイル名) のコピーに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の点を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- **ファイル名**ファイルが、**Scope** パス¥conf¥ディレクトリに存在するか確認してください。  
存在しない場合は、JP1/IM - Manager をインストールし直してください。
- 指定した論理ホストの共有フォルダ以下に¥JP1Scope¥conf¥フォルダが存在するか確認してください。  
存在しない場合は、再度jp1cshasetup コマンドでセントラルスコープの論理ホストの設定を行ってください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- ディスク容量不足が発生していないか確認してください。

## KAVB7766-E

An attempt to add the common definition key has failed.

共通定義へのキーの追加に失敗しました

共通定義へのキーの追加に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7767-E

An attempt to delete the database has failed.

データベースの削除に失敗しました

データベースの削除に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

サービスが起動中でないか確認し、起動中の場合はサービスを停止したあと、再実行してください。  
サービスが停止中の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7770-I

The data was backed up successfully.

資料の採取を正常に終了しました

資料が正常に採取されたことを通知する情報メッセージです。

(S)

コマンドを終了します。

## KAVB7771-W

The logical host 論理ホスト名 does not exist.

論理ホスト（論理ホスト名）が存在しません

指定された論理ホストが存在しません。

(S)

指定した論理ホストの資料は採取せずに、処理を継続します。

(O)

指定した論理ホスト名が誤っていないか見直して、再度資料採取コマンドを実行してください。

## KAVB7772-E

Command execution will stop because disk capacity is insufficient.

ディスク容量が不足しているためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除するなどして空き容量を増やしたあと、再度資料採取コマンドを実行してください。

## KAVB7773-E

The command option is invalid.

コマンドオプションが不正です

間違ったコマンドオプションが指定されました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資料採取コマンドを実行してください。

#### KAVB7774-E

Command execution will stop because memory is insufficient.  
メモリ不足のためコマンドの実行を中断します

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリー空き容量を増やしたあと、再度資料採取コマンドを実行してください。

#### KAVB7775-W

The shared directory used by the specified logical host (論理ホスト名) was not found.  
(Shared directory = 共有ディレクトリパス)  
指定された論理ホスト (論理ホスト名) で使用している共有ディレクトリ (共有ディレクトリパス) が見つかりません

指定された論理ホストの共有ディレクトリが存在しません。

(S)

処理を継続し、物理ホストの情報だけを採取します。

(O)

共有ディレクトリをマウントし、再度資料採取コマンドを実行してください。

#### KAVB7776-W

A part of the data was not correctly acquired.  
一部の資料が採取できませんでした

一部の資料が採取できませんでした。このメッセージは実行中に出力されたメッセージのあとに出力されます。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

実行中に出力されたメッセージに対する対処方法に従って、対処してください。

## KAVB7777-W

An attempt to acquire data for 採取ディレクトリまたはファイル did not finish successfully.  
採取ディレクトリまたはファイルの資料が正常に採取できませんでした

採取ディレクトリまたはファイルの資料が正常に採取できませんでした。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

jcs\_log\_failure.log のリストを参照して、採取元資料が存在する場合には、採取できなかった資料を手動で採取してください。

## KAVB7778-W

An attempt to acquire information from the registry for 製品名または論理ホスト名 has failed.  
製品名または論理ホスト名の情報が取得できませんでした

製品名または論理ホスト名の情報が取得できませんでした。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

jcs\_log\_failure.log のリストを参照して、採取元の資料が存在する場合、採取できなかった資料を手動で採取してください。

## KAVB7779-E

An attempt to create the directory (指定したパス) has failed.  
ディレクトリ(指定したパス)を作成できませんでした

指定したパスのディレクトリを作成できませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定したディレクトリの上位のディレクトリに対する実行ユーザーの読み込みまたは書き込み権限を見直して、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB7780-W

The directory used by the physical host was not found. (ディレクトリパス)  
物理ホストで使用しているディレクトリ (ディレクトリパス) が見つかりません

物理ホストで使用しているディレクトリが存在しません。

(S)

ディレクトリパス以下の資料は採取せず、処理を継続します。

(O)

ディレクトリパスが一時的に接続されていないことはないか確認してください。

#### KAVB7782-W

An attempt to acquire the Windows event log (イベントログの種類) has failed.  
Windows イベントログ(イベントログの種類)は採取できませんでした

Windows イベントログの採取に失敗しました。

イベントログの種類：System または Application

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

イベントビューアーを使用して Windows イベントログを手動で採取してください。

#### KAVB7790-I

The pre-installation processing of JP1/IM-Central Scope will now start.

JP1/IM - Manager のインストール前処理を開始します。

(S)

JP1/IM - Manager のインストール前処理を開始します。

#### KAVB7791-E

A prerequisite product has not been installed.

前提製品がインストールされていません。

(S)

インストールを中断します。

(O)

前提製品をインストール後に再度インストールしてください。

#### KAVB7792-I

The pre-installation processing of JP1/IM - Central Scope will now end.

JP1/IM - Manager のインストール前処理を終了します。

(S)

JP1/IM - Manager のインストール前処理を終了します。

#### KAVB7793-I

The post-installation processing of JP1/IM - Central Scope will now start.

JP1/IM - Manager のインストール後処理を開始します。

(S)

JP1/IM - Manager のインストール後処理を開始します。

#### KAVB7794-I

The JP1/IM - Central Scope service will now be registered.

JP1/IM - Manager サービスを登録します。

(S)

/etc/services ファイルにポート番号を追加します。

#### KAVB7795-I

The JP1/IM - Central Scope service was registered.

JP1/IM - Manager サービスを登録しました。

(S)

/etc/services ファイルにポート番号を追加しました。

#### KAVB7796-E

The JP1/IM - Central Scope service could not be registered.

JP1/IM - Manager サービスの登録ができませんでした。

(S)

インストールを続行します。

(O)

インストール終了後に/etc/services にポート番号を追加してください。

#### KAVB7797-I

The post-processing of JP1/IM - Central Scope installation will now end.

JP1/IM - Manager のインストール後処理を終了します。

(S)

JP1/IM - Manager のインストール後処理を終了します。

#### KAVB7798-I

The uninstallation of JP1/IM - Central Scope will now start.

JP1/IM - Manager のアンインストールを開始します。

(S)

JP1/IM - Manager のアンインストールを開始します。

#### KAVB7799-E

An attempt to set the system environment has failed.

/opt/jp1cons/bin/jcoimdef コマンドが正常に実行できなかったため、システム環境の設定に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

アンインストール後、手動で/opt/jp1cons/bin/jcoimdef コマンドを引数「-s」「OFF」を指定して実行してください。

#### KAVB7800-E

'/opt/jp1scope/bin/jcsdbsetup' could be executed.

'/opt/jp1scope/bin/jcsdbsetup' コマンドが実行できませんでした

jcsdbsetup コマンドが正常に実行できなかったため、セントラルスコープのデータベース作成に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

インストール後、手動でjcsdbsetup コマンドを実行してください。

#### KAVB7801-E

'/opt/jp1scope/bin/jp1cs\_setup' could be executed.

'/opt/jp1scope/bin/jp1cs\_setup' コマンドが実行できませんでした

jp1cs\_setup コマンドが正常に実行できなかったため、セントラルスコープのセットアップ処理に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

インストール後、手動でjp1cs\_setup コマンドを実行してください。

## KAVB7802-E

The stop of services failed.  
サービスの停止に失敗しました

サービスの停止に失敗しました。

(S)

インストール、またはアンインストールを中断します。

(O)

手動で JP1/IM - Manager を停止したあと、インストール、またはアンインストールしてください。

## KAVB7810-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the command "コマンド名". (cause = 要因)  
コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因)

コマンドの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7812-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for the command "コマンド名". (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)  
コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先との暗号化通信に失敗しました。



(S)

コマンドを実行しません。

(O)

JP1/IM - Manager 起動後に通信暗号化機能の設定を変更した可能性があります。JP1/Base および JP1/IM - Manager を再起動し、通信暗号化機能の設定を反映してから、コマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7813-E

A parameter of the communication encryption function for the command "コマンド名" is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

コマンドの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の要因に従って対処し、コマンドを再実行してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。

## KAVB7814-E

Parameters for the communication encryption function for the command "コマンド名" could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

コマンド(コマンド名)で通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:パラメーター名, 要因:要因)

コマンドで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

コマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB7818-E

A library required for the command "コマンド名" was not found.

コマンド(コマンド名)に必要なライブラリがありません。

コマンドに必要なライブラリがありません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

JP1/IM - Manager の通信暗号化を行っている場合、JP1/IM - Manager のバージョンに対応した JP1/Base をインストールし、JP1/IM - Manager を再起動したあと、コマンドを再実行してください。

JP1/IM - Manager の通信暗号化を行っていない場合、JP1/Base と JP1/IM - Manager の再インストールとセットアップを行い、JP1/IM - Manager を再起動したあと、コマンドを再実行してください。

## KAVB7900-I

監視ノード名の状態が状態から状態に変わりました。

監視ノードの状態が変わったことを通知する情報メッセージです。

(S)

監視ノード名の監視ノードの状態を変更しました。

## KAVB7901-W

The number of status change event for the monitored node 監視ノード ID has reached the threshold.

監視ノード(監視ノード ID)の状態変更イベントの件数が上限を超えました

監視ノード (監視ノード ID) の状態変更イベントの件数が上限を超えました。

(S)

監視ノード (監視ノード ID) の対処済み連動機能は無効とし、処理を続行します。

(O)

状態変更イベントの検索を実行して、状態変更イベントの内容を確認してください。問題がなければ、監視ノードの状態を手動で変更して状態変更イベントの履歴をクリアしてください。

## 2.9 JP1/IM に関する共通メッセージ (KAVB8000~KAVB8999)

### KAVB8000-W

Option(指定オプション) appears twice or more.  
オプション(指定オプション)が2回以上指定されています

同じオプションが2回以上指定されています。

(S)

指定オプションは無視して、処理を続行します。

(O)

オプションの値を設定し直し、再実行してください。

### KAVB8001-W

Specify an argument (引数値) after the option(オプション).  
オプション (オプション) のあとに引数値を指定してください

表示されたオプションのあとに引数値が指定されていないため、実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

表示されたオプションのあとに、表示された引数値を指定してください。

### KAVB8002-W

No Logical Host Name is specified.  
論理ホスト名が指定されていません

環境変数JP1\_HOSTNAME に論理ホスト名が指定されていません。

(S)

デフォルトの論理ホスト名で処理を続行します。

(O)

論理ホスト名の指定が必要な場合は、環境変数を設定し再実行してください。

### KAVB8003-W

An invalid logical host name (論理ホスト名) is specified.  
不適切な論理ホスト名(論理ホスト名)が指定されています

引数に指定された論理ホスト名が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

正しい論理ホスト名を指定して、再実行してください。

#### KAVB8051-I

The health check will now start. (host name = ホスト名)  
ヘルスチェックを開始します(ホスト名=ホスト名)

ヘルスチェックを開始します。

(S)

ヘルスチェックを開始します。

#### KAVB8052-I

The health check will now stop. (host name = ホスト名)  
ヘルスチェックを終了します(ホスト名=ホスト名)

ヘルスチェックを終了します。

(S)

ヘルスチェックを終了します。

#### KAVB8053-E

The health check will now stop because an error occurred. (host name = ホスト名) : 保守情報  
エラーが発生したため、ヘルスチェックを終了します(ホスト名=ホスト名) : 保守情報

エラーが発生したため、ヘルスチェックを終了します。

(S)

ヘルスチェックを終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8054-E

The definition file of the health check(ファイル名) cannot be opened. : 保守情報  
ヘルスチェック定義ファイル(ファイル名)がオープンできません : 保守情報

ヘルスチェック定義ファイルがオープンできません。

(S)

JP1/IM - Manager 起動時の場合は、ヘルスチェックを無効にします。jco\_spmd\_reload コマンド実行時の場合は、現在の定義を引き継ぎ、処理を継続します。

(O)

ヘルスチェック定義ファイルが存在するか、アクセス権が正しく設定されているか確認し、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

## KAVB8055-E

There is an error in the definition file of the health check(ファイル名). The default value will be used. (line 行番号) : 詳細情報

ヘルスチェック定義ファイル(ファイル名)にエラーがあります。デフォルト値を使用します (行番号 行目) : 詳細情報

ヘルスチェック定義ファイルに無効な値が設定されているため、デフォルト値で動作します。

詳細情報にはエラー個所を含んだ文字列が表示されます。

(S)

JP1/IM - Manager 起動時の場合は、エラーとなった定義項目だけデフォルト値で動作します。jco\_spmd\_reload コマンド実行時の場合は、エラーとなった定義項目だけ現在の定義を引き継ぎ、処理を継続します。

(O)

定義ファイルが正しく設定されているか確認し、jco\_spmd\_reload コマンドを実行してください。

## KAVB8060-E

An abnormality was detected in 機能名. (host name = ホスト名, process name = プロセス名, process ID = プロセス ID) : 保守情報

機能名 の異常を検知しました (ホスト名=ホスト名, プロセス名=プロセス名, プロセス ID=プロセス ID) : 保守情報

機能の異常を検知しました。次の要因が考えられます。

- プロセスが異常終了した。
- プロセスがハングアップした。
- サーバまたはネットワークの負荷が高くなっている。

(S)

処理を継続します。

(O)

サーバまたはネットワークの負荷が高くなっていないかを確認してください。  
負荷が高くなっていない場合は、次の対処を実施してください。

Windows の場合：

機能名が `evflow`, `evgen`, `evtcon`, `jcfmain` の場合、`jcogencore` コマンドを使用して異常が検知された機能のダンプを出力してください。

ダンプの出力後、資料採取ツールを実行して資料を採取し、管理者に連絡してください。

`jcogencore` コマンドを使用したあとは JP1/IM - Manager を再起動してください。

機能名が `jcain` の場合、ダンプを出力できません。資料採取ツールを実行して資料を採取し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

UNIX の場合：

`jcogencore` コマンドを使用して異常が検知された機能のダンプを出力してください。ダンプを出力した機能（プロセス）は停止します。

ダンプの出力後、資料採取ツールを実行して資料を採取し、管理者に連絡してください。

`jcogencore` コマンドを使用したあとは JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8061-I

機能名 has been recovered. (host name = ホスト名, process name = プロセス名, process ID = プロセス ID) : 保守情報

機能名 が回復しました (ホスト名=ホスト名, プロセス名=プロセス名, プロセス ID=プロセス ID) : 保守情報

機能が回復しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB8062-E

An abnormality was detected in 機能名. (host name = ホスト名, process name = プロセス名) : 保守情報

機能名 の異常を検知しました (ホスト名=ホスト名, プロセス名=プロセス名) : 保守情報

機能の異常を検知しました。次の要因が考えられます。

- プロセスが異常終了した。
- プロセスがハングアップした。
- サーバまたはネットワークの負荷が高くなっている。

(S)

処理を継続します。

(O)

サーバまたはネットワークの負荷が高くなっていないかを確認してください。

負荷が高くなっていない場合は、JP1/Base の資料を採取し、JP1/Base のイベントサービスと JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8063-I

機能名 has been recovered. (host name = ホスト名, process name = プロセス名) : 保守情報

機能名 が回復しました (ホスト名=ホスト名, プロセス名=プロセス名) : 保守情報

機能が回復しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB8064-W

The function 機能名 was detected not to be responding. (host name = ホスト名, process name = プロセス名)

機能名の無応答状態を検知しました (ホスト名=ホスト名, プロセス名=プロセス名)

メッセージに表示された機能の無応答状態を検知しました。

(S)

ヘルスチェックを続行します。無応答状態が続いた場合、ヘルスチェック機能が異常を通知します。

(O)

マシンの高負荷によって発生する場合がありますので、マシンの状態を確認してください。負荷が高くなっている場合は、負荷を下げてください。

## KAVB8070-E

The JP1 event イベント ID could not be issued. : 保守情報

JP1 イベント(イベント ID)が発行できませんでした : 保守情報

JP1 イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。

## KAVB8071-I

The JP1 event イベント ID was issued.  
JP1 イベント(イベント ID)を発行しました

JP1 イベントを発行しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB8072-E

The notification command コマンド could not be executed. : 保守情報  
通知コマンド(コマンド)が実行できませんでした : 保守情報

通知コマンドが実行できませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

定義ファイルが正しく設定されているか確認し、jco\_spm�\_reload コマンドを実行してください。

## KAVB8073-I

The notification command コマンド was executed.  
通知コマンド(コマンド)を実行しました

通知コマンドを実行しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB8074-W

No notification command is specified. (file name = ファイル名)  
通知コマンドが指定されていません (ファイル名=ファイル名)

定義ファイルに通知コマンドが設定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義ファイルに通知コマンドの指定が必要な場合は通知コマンドを設定し、再実行してください。



## KAVB8080-W

An attempt to obtain the IPv4 address has failed.

IPv4 アドレスの取得に失敗しました

JP1/IM - Manager の前提条件である IPv4 アドレスの取得に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

マネージャーホストでの JP1/Base の設定に問題があるおそれがあります。JP1/Base の jplhosts2 に、マネージャーホストの IPv4 アドレスが設定されているかを確認してください。

JP1/Base の設定に問題がない場合、ネットワークに問題が発生していないかを確認してください。

## KAVB8101-E

An attempt to open the system file(ファイル名) has failed. : システムのエラーコード

システムファイル(ファイル名)のオープンに失敗しました : システムのエラーコード

システムが管理するシステムファイルのオープンに失敗しました。

(S)

- ファイル名が `ecsseq.inf` の場合

システムファイルの読み込み時にファイルオープンに失敗した場合、`jcoimdef` コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1に指定されていても、イベントコンソールサービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからイベントバッファーに格納します。

システムファイルの書き込み時にファイルオープンに失敗した場合、システムファイルを削除し、処理を続行します。処理を続行し、エラーが回復した場合は、システムファイルを再作成します。エラーが回復しないでシステムファイルが再作成されない場合は、JP1/IM - Manager の再起動時にイベントコンソールサービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからイベントバッファーに格納します。

- ファイル名が `fcsseq.inf` の場合

システムファイルの読み込み時にファイルオープンに失敗した場合、`jcoimdef` コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからアクションマッチング処理を行います。

システムファイルの書き込み時にファイルオープンに失敗した場合、システムファイルを削除し、処理を続行します。処理を続行し、エラーが回復した場合は、システムファイルを再作成します。エラーが回復しないでシステムファイルが再作成されない場合は、JP1/IM - Manager の再起動時にイベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからアクションマッチング処理を行います。

- ファイル名が `fcssendseq.inf` の場合

システムファイルの読み込み時にファイルオープンに失敗した場合、jcoimdef コマンドで設定する応答待ちイベント管理のシステム設定が有効に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントから応答待ちイベントの判定処理を行います。

システムファイルの書き込み時にファイルオープンに失敗した場合、システムファイルを削除し、処理を続行します。処理を続行し、エラーが回復した場合は、システムファイルを再作成します。エラーが回復しないでシステムファイルが再作成されない場合は、JP1/IM - Manager の再起動時にイベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントから応答待ちイベントの判定処理を行います。

以降**ファイル名**に表示されたシステムファイルのオープンに成功するまで、このメッセージは出力されません。

(O)

OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8102-E

The system file(**ファイル名**) will be created again because the file was corrupted. : **破壊されたシステムファイルのデータ内容**

システムファイル(**ファイル名**)が破壊されているため、システムファイルを新規に作成します : **破壊されたシステムファイルのデータ内容**

システムが管理するシステムファイルの内容が不正のため、データの読み込みに失敗しました。

(S)

現在のシステムファイルを削除し、新規にシステムファイルを作成します。

- **ファイル名**がecsseq.inf の場合

jcoimdef コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1 に指定されていても、イベントコンソールサービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからイベントバッファに格納します。

- **ファイル名**がfcsseq.inf の場合

jcoimdef コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1 に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからアクションマッチング処理を行います。

- **ファイル名**がfcssendseq.inf の場合

jcoimdef コマンドで設定する応答待ちイベント管理のシステム設定が有効に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントから応答待ちイベントの判定処理を行います。

(O)

- **ファイル名**がecsseq.inf の場合

統合トレースログを確認し、イベントコンソールサービスのエラーメッセージ（KAVB0001～KAVB2000 のエラーメッセージ）が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

- ファイル名が `fcsseq.inf`, `fcssendseq.inf` の場合

統合トレースログを確認し、イベント基盤サービスのエラーメッセージ（KAVB4001～KAVB6000 のエラーメッセージ）が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

また、OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8103-E

An attempt to read data from the system file(ファイル名) has failed. : システムのエラーコード  
システムファイル(ファイル名)からのデータの読み込みに失敗しました : システムのエラーコード

システムが管理するシステムファイルからのデータの読み込みに失敗しました。

(S)

- ファイル名が `ecsseq.inf` の場合

`jcoimdef` コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1 に指定されていても、イベントコンソールサービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからイベントバッファに格納します。

- ファイル名が `fcsseq.inf` の場合

`jcoimdef` コマンドで設定するイベント取得開始位置のシステム設定が-1 に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントからアクションマッチング処理を行います。

- ファイル名が `fcssendseq.inf` の場合

`jcoimdef` コマンドで設定する応答待ちイベント管理のシステム設定が有効に指定されていても、イベント基盤サービス起動後にイベント DB に登録された JP1 イベントから応答待ちイベントの判定処理を行います。

(O)

OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8104-E

An attempt to write data to the system file(ファイル名) has failed. : システムのエラーコード  
システムファイル(ファイル名)へのデータの書き込みに失敗しました : システムのエラーコード

システムが管理するシステムファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

(S)

書き込みに失敗したシステムファイルを削除し、処理を続行します。

(O)

OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8105-E

An attempt to delete the system file(ファイル名) has failed. : システムのエラーコード  
システムファイル(ファイル名)の削除に失敗しました : システムのエラーコード

システムが管理するシステムファイルの削除に失敗しました。

(S)

ファイル削除処理を停止し、処理を続行します。

(O)

OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8106-E

機能名 could not be started because the environment is invalid. (cause = 要因, details = 詳細  
コード)

環境不正のため機能名が起動できませんでした (要因:要因, 詳細コード:詳細コード)

環境不正のため機能名が起動できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。JP1/IM - Manager をアンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8107-E

JP1/IM - View could not be started because the environment is invalid. (cause = 要因, details = 詳細コード)

環境不正のため JP1/IM - View が起動できませんでした (要因:要因, 詳細コード:詳細コード)

環境不正のため JP1/IM - View が起動できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。JP1/IM - Manager をアンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8108-E

The command (コマンド名) could not be executed because the environment is invalid. (cause = 要因, details = 詳細コード)

環境不正のためコマンド(コマンド名)が起動できませんでした (要因:要因, 詳細コード:詳細コード)

環境不正のためコマンド (コマンド名) が起動できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。JP1/IM - Manager をアンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8109-E

The command (コマンド名) could not be executed because the environment is invalid. (cause = 要因, details = 詳細コード)

環境不正のためコマンド(コマンド名)が起動できませんでした (要因:要因, 詳細コード:詳細コード)

環境不正のためコマンド (コマンド名) が起動できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。JP1/IM - Manager をアンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8201-E

The configuration definition information could not be acquired. (manager host name = マネージャーのホスト名)

構成定義情報が取得できませんでした。(マネージャーのホスト名:マネージャーのホスト名)

構成定義情報が取得できませんでした。

(S)

構成情報を取得できなかったマネージャーホストの管理ノードのカウント処理を打ち切り、処理を続行します。

(O)

次のことを確認して、コマンドを再実行してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 論理ホストに対して管理ノードのカウント処理をしている場合は、共有ディスクにアクセスできることを確認してください。
- OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB8202-E

Information about the remote monitoring configuration could not be acquired. (manager host name = マネージャーのホスト名)

リモート監視構成が取得できませんでした。(マネージャーのホスト名:マネージャーのホスト名)

リモート監視構成が取得できませんでした。

(S)

リモート監視構成が取得できなかったマネージャーホストの管理ノードのカウント処理を打ち切り、処理を続行します。

(O)

次のことを確認して、コマンドを再実行してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 論理ホストに対して管理ノードのカウント処理をしている場合は、共有ディスクにアクセスできることを確認してください。
- OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)
- ファイルをロックするアプリケーション（ウイルスチェックソフト製品など）が実行中の場合、ファイルをロックするアプリケーションとの競合によって該当メッセージが出力されることがあります。ファイルをロックするアプリケーションを停止して再実行してください。

## KAVB8203-E

The destination path could not be accessed. (path = パス)  
出力先パスにアクセスできません。(パス:パス)

出力先パスにアクセスできません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認して、コマンドを再実行してください。

- 出力先のフォルダまたはディレクトリと同名のファイルがないか確認してください。
- 出力先のフォルダまたはディレクトリがあるか確認してください。
- 出力先のフォルダまたはディレクトリに出力ファイルと同名のフォルダまたはディレクトリがないか確認してください。
- 出力先のフォルダまたはディレクトリに書き込み権限と読み込み権限があるか確認してください。書き込み権限と読み込み権限がない場合は、出力先のフォルダまたはディレクトリに書き込み権限と読み込み権限を設定してください。
- 出力ファイルに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、出力ファイルに書き込み権限を設定してください。

## KAVB8204-E

An attempt to output the file containing the list of managed nodes failed. (file = ファイル名)  
管理ノードリストファイルの出力に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

管理ノードリストファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認して、コマンドを再実行してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)
- ファイルをロックするアプリケーション（ウイルスチェックソフト製品など）が実行中の場合、ファイルをロックするアプリケーションとの競合によって該当メッセージが出力されることがあります。ファイルをロックするアプリケーションを停止して再実行してください。

- 出力先のフォルダまたはディレクトリに書き込み権限と読み込み権限があるか確認してください。書き込み権限と読み込み権限がない場合は、出力先のフォルダまたはディレクトリに書き込み権限と読み込み権限を設定してください。
- 出力ファイルに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、出力ファイルに書き込み権限を設定してください。

#### KAVB8205-E

The file cannot be saved because the file name is too long. (file = ファイル名)  
ファイル名が長すぎるため保存することができません。(ファイル名:ファイル名)

ファイル名が絶対パスで 250 文字を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

ファイル名を絶対パスで 250 文字以下にしてから、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8206-E

A memory shortage occurred.  
メモリー不足が発生しました。

メモリー不足が発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

メモリ使用量を確認して、コマンドを再実行してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8207-E

A system error occurred.  
システムエラーが発生しました。

システムエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAVB8208-E

An attempt to output the file containing the list of managed nodes failed. (file = ファイル名)  
管理ノードリストファイルの出力に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

管理ノードリストファイルの出力に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したファイル名に絶対パス形式でアクセスできるか確認してください。アクセスできない場合は、アクセスできるファイル名を指定して、コマンドを再実行してください。

## KAVB8301-W

Parameters for the operation log output function for JP1/IM - Manager could not be collected. The default settings will be used, and processing will continue. (parameter = パラメーター名, default value = デフォルト値)

JP1/IM - Manager で操作ログ出力機能のパラメーターが取得できません。デフォルト値を設定して処理を続行します。(パラメーター名:パラメーター名, デフォルト値:デフォルト値)

JP1/IM - Manager で操作ログ出力機能のパラメーターが取得できません。

(S)

パラメーターのデフォルト値を使用して、JP1/IM - Manager の起動処理を続行します。

(O)

jsbgetcnf コマンドを実行して、パラメーターの値が正しいことを確認してください。

問題ないことを確認した上で再度発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8302-W

Parameters for the operation log output function for JP1/IM - Manager contained an error. The default settings will be used, and processing will continue. (parameter = パラメーター名, default value = デフォルト値)

JP1/IM - Manager の操作ログ出力機能のパラメーターに誤りがあります。デフォルト値を設定して処理を続行します。(パラメーター名:パラメーター名, デフォルト値:デフォルト値)

JP1/IM - Manager の操作ログ出力機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

パラメーターのデフォルト値を使用して、JP1/IM - Manager の起動処理を続行します。

(O)

パラメーターの値に有効な値を設定してください。

設定した値を JP1/IM - Manager に反映するには、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8303-W

Parameters for the operation log output function for JP1/IM - Manager contained an error.  
(parameter = パラメーター名, cause = 要因)

JP1/IM - Manager の操作ログ出力機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, 要因: 要因)

JP1/IM - Manager の操作ログ出力機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

JP1/IM - Manager は操作ログ出力機能が無効の状態です。

(O)

次の要因に従って対処してください。

問題が解決されない場合や、次の要因以外が表示された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「指定したパスが最大長を超えています」の場合  
パラメーターに指定したパスが 217 バイト以内であることを確認してください。
- 要因が「指定したパスが見つかりません」の場合  
パラメーターに指定したパスが存在するか確認してください。  
操作ログファイルの出力先に、操作ログファイルと同名のフォルダ、またはディレクトリがないか確認してください。同名のフォルダ、またはディレクトリがある場合は削除してください。
- 要因が「パスが指定されていません」の場合  
パラメーターの値に有効なパスを設定してください。
- 要因が「指定したパスの形式が不正です」の場合  
パラメーターの値に絶対パスを設定してください。

なお、パラメーターに設定した値を JP1/IM - Manager に反映するには、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8304-E

An I/O error occurred while the operation log output function was starting.

The operation log output function was disabled, and data will no longer be output to the operation log.

操作ログ出力機能の初期化中に入出力エラーが発生しました。操作ログ出力機能を無効にして以降の操作ログは出力しません

操作ログ出力機能の初期化中に入出力エラーが発生しました。

(S)

操作ログ出力機能を無効にして以降の操作ログを出力しません。

(O)

次のことを確認して、JP1/IM - Manager を再起動してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 操作ログファイルおよび操作ログファイルの出力先ディレクトリがあるか確認してください。  
操作ログファイルおよび操作ログファイルの出力先ディレクトリがある場合は、書き込み権限があるか確認してください。  
書き込み権限がない場合は、書き込み権限を設定してください。
- 操作ログファイルの出力先の空き容量が不足していないか確認してください。
- 操作ログファイルの出力先に、操作ログファイルと同名のフォルダ、またはディレクトリがないか確認してください。同名のフォルダ、またはディレクトリがある場合は削除してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB8305-W

An attempt to output data to the operation log failed.

Processing will now continue without data being output to the operation log.

操作ログの出力に失敗しました。操作ログを出力しないで処理を続行します

操作ログの出力に失敗しました。

(S)

操作ログを出力しないで処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 操作ログファイルおよび操作ログファイルの出力先ディレクトリがあるか確認してください。  
操作ログファイルおよび操作ログファイルの出力先ディレクトリがある場合は、書き込み権限があるか確認してください。  
書き込み権限がない場合は、書き込み権限を設定してください。
- 操作ログファイルの出力先の空き容量が不足していないか確認してください。

- 操作ログファイルの出力先に、操作ログファイルと同名のフォルダ、またはディレクトリがないか確認してください。同名のフォルダ、またはディレクトリがある場合は削除してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB8306-E

A system error occurred while the operation log output function was starting.

The operation log output function was disabled, and data will no longer be output to the operation log.

操作ログ出力機能の初期化中にシステムエラーが発生しました。操作ログ出力機能を無効にして以降の操作ログは出力しません

操作ログ出力機能の初期化中にシステムエラーが発生しました。

(S)

操作ログ出力機能を無効にして以降の操作ログは出力しません。

(O)

次のことを確認して、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 直前にエラーメッセージまたは警告メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。
- エラーメッセージまたは警告メッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8307-W

A system error occurred while outputting the operation log. Processing will now continue without data being output to the operation log.

操作ログの出力中にシステムエラーが発生しました。操作ログを出力しないで処理を続行します

操作ログの出力中にシステムエラーが発生しました。

(S)

操作ログを出力しないで処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。

- 直前にエラーメッセージまたは警告メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。

- エラーメッセージまたは警告メッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8400-E

The option is invaild  
オプションが不正です

オプションが不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを確認し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8402-E

Specify the process ID.  
プロセス ID を指定してください

プロセス ID が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

プロセス ID を指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8403-E

The process ID is specified more than once.  
プロセス ID が複数指定されています

プロセス ID が複数指定されている。

(S)

処理を終了します。

(O)

プロセス ID を一つだけ指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8404-E

Specify the process ID of 制御名 process.  
(制御名)プロセスのプロセス ID を指定してください

JP1/IM - Manager または JP1/IM - View プロセスのプロセス ID が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager または JP1/IM - View プロセスのプロセス ID を指定して、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8405-E

The process ID is invalid.  
プロセス ID が不正です

プロセス ID の値が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

プロセス ID が指定されていることを確認し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8406-I

The core dump file will be output.  
コアダンプファイルを出力します

コアダンプファイルを出力します。

(S)

処理を継続します。

#### KAVB8407-I

When the core dump is output, プロセス名 will stop. Is this OK? (y/n)  
コアダンプを出力するとプロセス名は停止します。よろしいですか? (y/n)

コアダンプ出力の実行を確認します。

(S)

ユーザー応答を待ちます。y が入力された場合、処理を継続します。n が入力された場合、コマンドを終了します。

(O)

コマンド実行を継続する場合はy を入力、コマンド実行を中断する場合はn を入力してください。

## KAVB8408-E

The specified process is not running.  
指定したプロセスは起動していません

指定したプロセスが起動していません。

(S)

処理を終了します。

(O)

プロセスが起動しているかどうか確認してください。

## KAVB8409-E

An error occurred during command execution. (cause : 要因)  
コマンド実行中にエラーが発生しました 要因:要因

コマンド実行中にエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因を確認し、コマンドを再実行してください。コマンドが実行できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8410-E

The process management process of JP1/IM -View is not running.  
JP1/IM - View のプロセス管理プロセスが起動していません

JP1/IM - View のプロセス管理プロセスが起動していません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - View が起動していることを確認してください。または、JP1/IM - View のプロセス管理プロセス(jcoview.exe)が起動していることを確認してください。

## KAVB8411-E

The user lacks execution permission.  
実行権限がありません

コマンドの実行権限がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

Administrators などの権限を持ったユーザーでログインし直し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8412-E

```
JP1/IM - Manager is not running.  
JP1/IM - Manager が起動していません
```

JP1/IM - Manager が起動していません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager が起動しているかどうか確認してください。

#### KAVB8413-E

```
An attempt to send the thread dump output request has failed.  
スレッドダンプ出力要求の送信に失敗しました
```

スレッドダンプの出力要求の送信に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の点を確認してください。

- JP1/IM - View の場合は、JP1/IM - View のプロセス管理 (jcoview.exe) が起動しているかどうか。
- JP1/IM - Manager の場合は、プロセス管理プロセス (jco\_spmd.exe) が起動しているかどうか。

#### KAVB8414-I

```
The thread dump output request has been sent.  
スレッドダンプ出力要求を送信しました
```

スレッドダンプの出力要求の送信が完了しました。

(S)

処理を継続します。



## KAVB8415-E

An attempt to open the message file has failed.

メッセージファイルのオープンに失敗しました

メッセージファイルのオープンに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8416-I

The core dump file has been output.

コアダンプファイルを出力しました

コアダンプファイルを出力しました。

(S)

処理を継続します。

## KAVB8417-I

Please enter a number for the process to output the core dump file [1-7]:

コアダンプファイルを出力するプロセスに該当する番号を入力してください [1-7]:

コアダンプファイルを出力するプロセスに該当する番号を入力します。

(S)

入力を待ちます。

(O)

コアダンプファイルを出力するプロセスに該当する番号を入力してください。

## KAVB8418-E

The specified logical host name does not exist.

指定した論理ホスト名は存在しません

指定した論理ホストがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定した論理ホスト名を確認し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8419-E

An attempt to read a shared configuration definition has failed.  
共通定義情報の読み込みに失敗しました

共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8420-E

Specify the process name of JP1/IM - Manager.  
JP1/IM - Manager のプロセス名を指定してください

JP1/IM - Manager のプロセス名が指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager のプロセス名を指定し、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8421-E

The process management daemon is busy.  
コマンド処理中です

コマンドの処理中です。

(S)

処理を終了します。

(O)

処理が終わってから、コマンドを再実行してください。

#### KAVB8422-E

The lock file in the conf directory cannot be opened.  
conf ディレクトリのロックファイルがオープンできません

ロックファイルのオープンに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

conf ディレクトリがあるか、または、書き込み権限があるか確認してください。クラスタシステムで運用している場合は、定義したconf ディレクトリがあるか、または、書き込み権限があるか確認してください。

#### KAVB8423-I

The core dump file (ファイル名) will be overwritten. Is this OK? (y/n):

コアダンプファイル(ファイル名)を上書きします。よろしいですか？ [y/n]:

コアダンプファイルを上書きしてよいかの確認です。

(O)

y を選択すると、コアダンプファイルを上書きします。n を選択すると、上書きしません。

#### KAVB8424-I

Please enter a number for the process to output the dump file [1-6]:

ダンプファイルを出力するプロセスに該当する番号を入力してください

コアダンプさせるプロセスに該当する番号を入力します。

#### KAVB8425-E

The process information could not be obtained by the process management daemon. (cause: 要因)

プロセス情報の取得に失敗しました 要因:要因

ダンプを出力するプロセス情報の取得に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドを確認してプロセス管理が正常に動作していることを確認してください。  
jco\_spmd\_status コマンドが異常終了する場合、統合トレースログを確認し、プロセス管理のエラーメッセージが出ていないか確認してください。  
出ている場合、そのメッセージの対処方法に従って処理してください。  
上記を確認して問題がない場合は、資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8426-I

The process to output the dump is not running.

JP1/IM - Cenral Console のダンプ出力可能なプロセスは停止しています。

JP1/IM - Manager のダンプ出力可能なプロセスは停止しているためダンプ出力はできません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

## KAVB8427-I

When outputting dumps for the three processes evflow, jcamain, and evtcon at the same time, output the dumps in order of evtcon, jcamain, and evflow.

evflow,jcamain,evtcon の3つのプロセスに対して同時にダンプ出力させる場合は、evtcon, jcamain, eflow の順番にダンプ出力させてください。

evflow, jcamain, evtcon の三つのプロセスに対して同時にダンプ出力させる場合は、evtcon, jcamain, evflow の順番に出力させてください。

(S)

コマンドの処理を続行します。

## KAVB8428-W

The core dump file was not found.

コアダンプファイルが見つかりません

次の理由によりコアダンプファイルが見つかりませんでした。

- コアダンプファイルが出力されていない。
- コアダンプファイルの出力先ディレクトリ、またはファイル名が変更されている。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか

コアダンプファイルは、次に示すデフォルトの出力先ディレクトリに出力されます。空き容量が不足している場合、コアダンプファイルが出力されません。

物理ホストの場合：/var/opt/jp1cons/log/

論理ホストの場合：共有ディレクトリ/jp1cons/log/

- コアダンプファイルのファイルサイズの設定が0になっていないか

root ユーザーのコアダンプファイルのファイルサイズの設定を確認してください。コアダンプファイルのファイルサイズが 0 になっている場合、コアダンプファイルが出力されません。

- コアダンプファイルに関連するカーネルパラメーターの設定がデフォルトから変更されていないか (Linux 限定)

Linux のカーネルパラメーターで、コアダンプファイルの出力先ディレクトリまたはファイル名がデフォルトの設定から変更されている場合、出力されたコアダンプファイルを見つけることができません。

コアダンプファイルの出力先ディレクトリ、ファイル名を変更するカーネルパラメーターは `kernel.core_pattern` です。設定を確認してください。

なお、コアダンプファイルの出力先ディレクトリまたはファイル名をデフォルトの設定から変更している場合、資料採取ツールの実行時にコアダンプファイルを採取できないことがあります。資料採取ツールは、次に示すデフォルトの出力先ディレクトリにあるファイル名が `core` から始まるファイルを採取します。

物理ホストの場合： `/var/opt/jp1cons/log/`

論理ホストの場合： **共有ディレクトリ**/`jp1cons/log/`

資料採取ツールで、事前に出力したコアダンプファイルを採取したい場合、資料採取ツールの実行前に次のことを実施しておく必要があります。

- コアダンプファイルの出力先ディレクトリを変更している場合  
出力されたコアダンプファイルをデフォルトの出力先ディレクトリにコピーしておく。
- コアダンプファイルのファイル名を変更している場合  
出力されたコアダンプファイルのファイル名を `core` から始まるファイル名にリネームしておく。

## KAVB8430-E

The file cannot be saved because of an invalid file name. (file=ファイル名)

無効なファイル名のため保存することができません (ファイル名=ファイル名)

無効なファイル名のため保存できません。無効なファイル名は次のとおりです。

1. 「: , ? , " , < , > , |」 のどれかの文字が含まれている場合。
2. 「CON, PRN, AUX, NUL, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9」 のどれかと完全一致する場合 (小文字も含む)。
3. 1., 2. のどちらかのファイル名に加え, 「.xxx」 の場合 (xxx は任意の文字)。  
(例) `CON.txt, PRN.txt.conf`

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイル名、ディレクトリ名を変更してから、再実行してください。

## KAVB8450-I

The reference/operation permission function of the business group has been enabled.

業務グループによる参照・操作制限機能を有効にしました

業務グループによる参照・操作制限機能を有効にしました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB8451-W

A prerequisite function of the reference/operation permission function of the business group is not enabled.(cause = 要因)

業務グループによる参照・操作制限機能の前提機能が有効になっていません。(要因:要因)

業務グループによる参照・操作制限機能を使用する場合は、イベント保管機能、IM 構成管理サービス、発生元ホストのマッピング機能を有効化してください。

(S)

処理を続行します。

(O)

要因に従って、次の対処をしてください。

- 統合監視 DB が無効状態です  
jcoimdef コマンドでイベント保管機能を有効にし、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- IM 構成管理サービスが起動していません  
jcoimdef コマンドで IM 構成管理サービスを起動する設定にし、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- 発生元ホストのマッピング機能が無効状態です  
jcoimdef コマンドで発生元ホストのマッピング機能を有効にし、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8452-E

The operation cannot be executed because the reference/operation permission function of the business group changed from active to inactive while logged in.

ログイン中に業務グループによる参照・操作制限機能が有効から無効に変更されたため、実行できません

ログイン中に業務グループによる参照・操作制限機能が有効から無効に変更されたため、実行できません。

(S)

その処理を打ち切ります。

(O)

再ログインしてから、再度実行してください。

#### KAVB8453-I

The business group was updated. Processing will be performed from the next-received event. (last received event: reception time = 到着時刻, event database serial number = イベント DB 内通し番号)

業務グループを反映しました。次に受信したイベントから処理されます。(最後に受信したイベント: 到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)

業務グループを反映しました。次に受信したイベントから処理します。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB8454-W

The business group could not be updated. (cause = 要因)

業務グループを反映できませんでした。(要因:要因)

業務グループを反映できませんでした。

(S)

業務グループを反映しないで、変更前の業務グループで処理を続行します。

(O)

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。通信暗号化機能を使用していない場合は、要因ごとに対処してください。

- IM データベースサービスが起動していません  
IM データベースサービスが起動しているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- コネクションエラーが発生しました  
一時的にコネクションが取得できない、コネクションが使用できない状態となっているおそれがあります。  
JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 通信エラーが発生しました
- メモリー不足が発生しました  
メモリ使用量、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。  
JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 統合監視 DB が未セットアップです  
jcodbsetup コマンドで統合監視 DB をセットアップして、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- 統合監視 DB が無効状態です。  
統合監視 DB を有効にして、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- 業務グループの反映中にエラーが発生しました  
JP1/IM - Manager が高負荷になっていないか確認してください。再度実行しても同じメッセージが表示される場合は、JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。
- 予期せぬエラーが発生しました  
JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8456-E

The business group could not be updated. (cause = 要因)

業務グループを反映できませんでした。(要因:要因)

JP1/IM - Manager の起動時に、業務グループを反映できませんでした。

(S)

業務グループを反映しないで、処理を続行します。

(O)

要因ごとに対処してください。

- IM データベースサービスが起動していません  
IM データベースサービスが起動しているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。
- コネクションエラーが発生しました  
一時的にコネクションが取得できない、またはコネクションが使用できない状態となっているおそれがあります。  
JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 通信エラーが発生しました
- メモリー不足が発生しました  
メモリ使用量、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。  
JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- IM 構成管理 DB が未セットアップです



jcfdbssetup コマンドで IM 構成監視 DB をセットアップして、JP1/IM - Manager を再起動してください。また、IM 構成管理サービスを使用しない場合は、jcoimdef コマンドの-cf オプションで IM 構成管理サービスの起動を無効にして JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 予期せぬエラーが発生しました  
JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8457-E

ログイン中にマネージャーの設定が変更されたため、業務グループ・監視グループが指定できるように、または指定できないようになりました。再ログインしてください。

ログイン中にマネージャーの設定が変更されたため、業務グループまたは監視グループが指定できるように、または指定できないようになりました。再ログインしてください。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
再ログインしてください。

## KAVB8500-E

Execute the command from the administrator console.  
管理者コンソールよりコマンドを実行してください

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)  
コマンドの処理を終了します。

(O)  
管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

## KAVB8550-E

The manual has not been moved.  
マニュアルが配置されていません

製品ディレクトリに、マニュアルが配置されていません。

(S)  
処理を中断します。

(O)  
製品に添付している電子マニュアル媒体で電子マニュアルを配置してください。

## KAVB8551-E

Help for this screen cannot be found.

画面のヘルプが見つかりません

製品ディレクトリに配置されているマニュアルが古い、または誤ったマニュアルが配置されている可能性があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

製品に添付している電子マニュアル媒体で電子マニュアルを配置してください。

## KAVB8552-E

The manual is corrupted. Reinstall JP1/IM.

マニュアルが不正です。インストールしなおしてください

マニュアルが不正な状態のため、マニュアルを表示できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - View を使用している場合は、JP1/IM - View を再インストールしてください。

WWW 版イベントコンソール画面を使用している場合は、JP1/IM - Manager を再度インストールしてください。

## KAVB8600-I

The service 制御名 confirmed that the IM database service started.

制御名は IM データベースサービスの起動完了を確認しました

制御名が IM データベースサービスの起動を確認しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB8601-I

The service 制御名 is waiting for the IM database service to start.

制御名は IM データベースサービスの起動完了を待っています

制御名は IM データベースサービスの起動完了を待っています。

(S)

IM データベースサービスの起動を待ちます。

## KAVB8602-E

The service 制御名 could not be started because the status of the IM database service could not be confirmed. (details = 要因)

IM データベースサービスの起動完了を確認できないため、制御名を起動できません。要因:要因

IM データベースサービスの起動完了を確認できなかったため、制御名を起動できませんでした。

(S)

制御名を終了します。

(O)

要因を見て、次の対処をしてください。

- 要因：IM データベースサービスが開始または停止処理中
- 要因：IM データベースサービスが停止中

jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してから、次の操作をしてください。

Windows の場合：

IM データベースサービスを起動してから、再度 JP1/IM - Manager を起動してください。

UNIX の場合：

JP1/IM - Manager を停止し、jco\_start コマンドを再実行してください。

SELinux が有効状態の場合は JP1/IM - Manager を停止した後、jimdbupdate コマンドを実行し、SELinux セキュリティコンテキストを設定してから jco\_start コマンドを再度実行してください。

OS の起動時に発生した場合、次の共通定義情報を設定し、タイムアウトしないようにリトライ回数を増やしてください。

- [論理ホスト名¥JP1CONSOLEMANAGER¥IMDB]
- DB\_START\_RETRY\_COUNT

- 要因：IM データベースサービスが再起動中断状態

jimdbstop -f を実行し、IM データベースサービスを強制停止してから、次の操作をしてください。

Windows の場合：

IM データベースサービスを起動してから、再度 JP1/IM - Manager を起動してください。

UNIX の場合：

jco\_start コマンドを再実行してください。

- 要因：IM データベースサービスが未セットアップ

IM データベースサービスをセットアップしてから JP1/IM - Manager を起動してください。

- 要因：状態確認エラー

- 要因：システムエラー  
JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

### KAVB8603-E

A request cannot be executed because the service 制御名 is waiting for the IM database service to start.

制御名が IM データベースサービスの起動完了を待っているため、処理を実行できません

制御名が IM データベースサービスの起動完了を待っているため、処理を実行できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。

IM データベースサービスが稼働中になったことを確認できたら、再実行してください。

マネージャーホストの統合トレースログに KAVB8602-E メッセージが出力されている場合は、KAVB8602-E メッセージの対処方法に従って対処してください。

### KAVB8604-I

A connection to the Integrated Monitoring database has been established.

統合監視 DB と接続しました

統合監視 DB と接続しました。

(S)

統合監視 DB と接続しました。

### KAVB8605-E

Initialization of the Integrated Monitoring database API has failed. (reason = 要因)

統合監視 DB の API 初期化に失敗しました 要因:要因

統合監視 DB の API 初期化に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサービスで使用しているポート番号が他製品と重複していないか確認してください。

ポート番号が重複している場合は、重複しないポート番号で IM データベースサービスの再セットアップをしてください。

ポート番号が重複していない、または再セットアップしても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8606-E

An attempt to establish a connection when initializing the Integrated Monitoring database has failed. (reason = 要因)

統合監視 DB の初期化処理で接続の取得に失敗しました 要因:要因

統合監視 DB の初期化処理で接続の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因ごとに対処してください。

- 要因：未起動エラー

IM データベースサービスが起動しているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 要因：接続エラー

一時的に接続が取得できない状態、または接続が使用できない状態である可能性があります。JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 要因：システムエラー

IM データベースサービスで使用しているポート番号が他製品と重複していないか確認してください。ポート番号が重複している場合は、重複しないポート番号で IM データベースサービスの再セットアップをしてください。ポート番号が重複していない、または再セットアップしても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8607-E

Initialization of an Integrated Monitoring database table has failed. (reason = 要因)

統合監視 DB のテーブル初期化に失敗しました 要因:要因

統合監視 DB のテーブル初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因ごとに対処してください。

- 要因：未起動エラー

IM データベースサービスが起動しているか確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- 要因：通信エラー，リソース不足  
メモリ使用量，ファイルディסקリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認し，JP1/IM - Manager を再起動してください。JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は，JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 要因：コネクションエラー  
一時的にコネクションが取得できない，またはコネクションが使用できない状態となっている可能性があります。JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は，JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。
- 要因：システムエラー  
IM データベースサービスで使用しているポート番号が他製品と重複していないか確認してください。ポート番号が重複している場合は，重複しないポート番号で IM データベースサービスの再セットアップをしてください。ポート番号が重複していない，または再セットアップしても回復しない場合は，JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8608-W

The function "機能名" cannot be used because an attempt to check the table schema of an IM database service failed.

IM データベースサービスのテーブルスキーマの確認に失敗したため，機能名は使用できません

IM データベースサービスのテーブルスキーマの確認に失敗したため，機能は使用できません。

(S)

イベント基盤サービスの起動処理を続行します。

(O)

メモリ使用量，ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認し，JP1/IM - Manager を再起動してください。

JP1/IM - Manager を再起動しても回復しない場合は，JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8609-W

The function "機能名" cannot be used because an IM database service has not been updated.

IM データベースサービスをアップデートしていないため，機能名は使用できません

IM データベースサービスをアップデートしていないため，機能は使用できません。

(S)

イベント基盤サービスの起動処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager を停止し、jimdbupdate コマンドで統合監視 DB をアップデートしてから JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB8610-W

Please update the IM database service.

IM データベースサービスをアップデートしてください

IM データベースサービスが古いバージョンになっています。最新バージョンにアップデートする必要があります。

(S)

イベント基盤サービスの起動処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager を停止し、jimdbupdate コマンドで統合監視 DB をアップデートしてから JP1/IM - Manager を再起動してください。

#### KAVB8701-E

The option (オプション) is invalid.

オプション (オプション) は無効です

無効なオプションが指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

#### KAVB8702-E

An essential option (オプション) is not specified.

必須オプション (オプション) が指定されていません

必須オプションが指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

### KAVB8703-E

The option (オプション) is duplicated.  
オプション (オプション) が重複しています

オプションが重複して指定されています。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

### KAVB8704-E

Specify an argument (引数値) after the option (オプション).  
オプション (オプション) のあとに引数値を指定してください

表示されたオプションのあとに引数値が指定されていないため、実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

表示されたオプションの後に、引数値を指定してください。

### KAVB8705-E

The option オプション and the option オプション cannot be specified at the same time.  
オプションオプションとオプションオプションを同時に指定することはできません

同時に指定できないオプションが指定されているため、実行できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションを正しく指定し直してください。

### KAVB8706-E

The specified email address exceeds the maximum length. (maximum length = 最大長 bytes)  
指定したメールアドレスが最大長を超えています (最大長=最大長バイト)

指定したメールアドレスが最大長を超えています。



(S)

処理を終了します。

(O)

指定したメールアドレスを見直して、再度実行してください。

#### KAVB8707-E

The specified email address is invalid.

指定したメールアドレスが不正です

指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したメールアドレスを見直して、再度実行してください。

#### KAVB8708-E

The subject of the specified email exceeds the maximum length. (maximum length = 最大長 bytes)

指定したメールの主題が最大長を超えています (最大長=最大長バイト)

指定したメールの主題が最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したメールの主題を見直して、再度実行してください。

#### KAVB8709-E

The body of the specified email exceeds the maximum length. (maximum length = 最大長 bytes)

指定したメールの本文が最大長を超えています (最大長=最大長バイト)

指定したメールの本文が最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したメールの本文を見直して、再度実行してください。

## KAVB8710-E

The specified password exceeds the maximum length. (maximum length = 最大長 bytes)  
指定したパスワードが最大長を超えています (最大長=最大長バイト)

指定したパスワードが最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したパスワードを見直して、再度実行してください。

## KAVB8711-E

An invalid logical host name (論理ホスト名) is specified.  
不適切な論理ホスト名(論理ホスト名)が指定されています

指定した論理ホスト名が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

正しい論理ホスト名を指定して、再度実行してください。

## KAVB8712-E

The address of the recipient is not specified.  
送信先メールアドレスが指定されていません

送信先メールアドレスが指定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のどちらかで送信先メールアドレスを指定して、再度実行してください。

- jimmail コマンドの -to オプション
- メール環境定義ファイルの DefaultTo パラメーター

## KAVB8713-E

Failed to read the email environment definition file. (reason = 要因)  
メール環境定義ファイルの読み込みに失敗しました (要因:要因)

メール環境定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに、対処してください。

- 要因：ファイルをロックすることができませんでした  
ファイルの排他権の取得に失敗しました。再度、コマンドを実行してください。
- 要因：ファイルが見つかりません  
メール環境定義ファイルが格納先にあるか確認してください。  
格納先にはない場合は、メール環境定義ファイルのモデルファイルをコピーしてメール環境定義ファイルを作成し、再定義してください。
- 要因：入出力エラーが発生しました  
メール環境定義ファイルにアクセス権があるか確認してください。  
また、ファイルシステムに異常がないか確認してください。  
再度コマンドを実行しても回復しない場合、JP1/IMの資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8714-E

The definition contents of the email environment definition file are invalid. (parameter name = パラメーター名, reason = 要因)

メール環境定義ファイルの定義内容が不正です (パラメーター:パラメーター名, 要因:要因)

メール環境定義ファイルの定義内容が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに対処して、再度コマンドを実行してください。

- 要因：パラメーターが指定されていません  
該当パラメーターをメール環境定義ファイルに定義してください。
- 要因：パラメーターに値が指定されていません  
該当パラメーターの設定値を定義してください。
- 要因：パラメーターが重複しています  
該当パラメーターが重複しています。定義を見直してください。
- 要因：使用できない文字が指定されています  
該当パラメーターの設定値に使用できない文字が指定されています。設定値を見直してください。

- 要因：設定値が不正です  
該当パラメーターの設定値を見直してください。
- 要因：設定値が最大長を超過しています  
該当パラメーターの設定値の最大長を見直してください。
- 要因：指定できる最大件数を超過しています  
該当パラメーターの設定値の件数を見直してください。
- 要因：無効なパラメーターが指定されています  
該当パラメーターの誤りを修正してください。

## KAVB8715-W

The email environment definition file is invalid. The command will continue processing by using the default value. (parameter name = パラメーター名, default value = デフォルト値, reason = 要因)

メール環境定義ファイルに誤りがあります。デフォルトの設定値で処理を続けます (パラメーター: パラメーター名, デフォルト値: デフォルト値, 要因: 要因)

メール定義ファイルの定義内容に誤りがあります。

(S)

デフォルト値を仮定して、処理を続けます。

(O)

要因ごとに対処してください。

- 要因：パラメーターが指定されていません  
該当パラメーターをメール環境定義ファイルに定義してください。
- 要因：パラメーターに値が指定されていません  
該当パラメーターの設定値を定義してください。
- 要因：使用できない文字が指定されています  
該当パラメーターの設定値に使用できない文字が指定されています。設定値を見直してください。
- 要因：指定できない文字コードが指定されています  
メール環境定義ファイルのCharset パラメーターに指定した文字コードを見直してください。
- 要因：ポート番号が数値ではありません、ポート番号が範囲外です  
該当パラメーターの設定値に指定したポート番号の値を見直してください。指定できるポート番号は1~65535です。
- 要因：設定値が不正です  
該当パラメーターの設定値を見直してください。
- 要因：設定値が最大長を超過しています

該当パラメーターの設定値の最大長を見直してください。

## KAVB8716-E

The connection to an SMTP server timed out. (SMTP サーバ名:ポート番号)  
SMTP サーバへの接続がタイムアウトしました (SMTP サーバ名:ポート番号)

SMTP サーバへの接続でタイムアウトが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

サーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。このメッセージが頻繁に出る場合は、メール環境定義ファイルのConnectTimeout およびSoTimeout のタイムアウト時間の設定を運用に合わせて変更してください。

## KAVB8717-E

The connection to an SMTP server was refused. (SMTP サーバ名:ポート番号, reason = 要因)  
SMTP サーバへの接続が拒否されました (SMTP サーバ名:ポート番号, 要因)

SMTP サーバへの接続でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに対処してください。

- 要因：接続先ホストが見つかりません

次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。

- SMTP サーバのホスト名が正しいか
- SMTP サーバのホスト名の名前解決ができるか
- SMTP ポート番号が正しいか

- 要因：ホストに接続できません

次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。

- SMTP サーバが起動しているか
- SMTP サーバとマネージャーホストとの接続状態
- 通信障害が発生していないか

- 要因：メールサーバのエラー:詳細メッセージ

詳細メッセージを確認して再度コマンドを実行してください。回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8718-E

An error occurred while an SMTP server was being connected to. (details = 詳細情報)  
SMTP サーバへの接続でエラーが発生しました (詳細情報:詳細情報)

SMTP サーバへの接続でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8719-E

An SMTP server refused the login attempt. (SMTP サーバ名:ポート番号)  
SMTP サーバがログインを拒否しました (SMTP サーバ名:ポート番号)

SMTP サーバとの認証に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

メール環境定義ファイルに定義した認証アカウント、`jimmailpasswd` コマンドで設定した認証パスワードを見直してください。

## KAVB8720-E

The connection to a POP3 server timed out. (POP3 サーバ名:ポート番号)  
POP3 サーバへの接続がタイムアウトしました (POP3 サーバ名:ポート番号)

POP3 サーバへの接続でタイムアウトが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

サーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。このメッセージが頻繁に出る場合は、メール環境定義ファイルの`ConnectTimeout` および`SoTimeout` のタイムアウト時間の設定を運用に合わせて変更してください。

## KAVB8721-E

The connection to a POP3 server was refused. (POP3 サーバ名:ポート番号, reason = 要因)  
POP3 サーバへの接続が拒否されました (POP3 サーバ名:ポート番号, 要因)

POP3 サーバへの接続でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに対処してください。

- 要因：接続先ホストが見つかりません  
次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。
  - ・ POP3 サーバのホスト名が正しいか
  - ・ POP3 サーバのホスト名の名前解決ができるか
  - ・ POP3 ポート番号が正しいか
- 要因：ホストに接続できません  
次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。
  - ・ POP3 サーバが起動しているか
  - ・ POP3 サーバとマネージャーホストとの接続状態
  - ・ 通信障害が発生していないか
- 要因：メールサーバのエラー:詳細メッセージ  
詳細メッセージを確認して再度コマンドを実行してください。  
回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8722-E

An error occurred while a POP3 server was being connected to. (details = 詳細情報)  
POP3 サーバへの接続でエラーが発生しました (詳細情報:詳細情報)

POP3 サーバへの接続でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8723-E

A POP3 server refused the login attempt. (POP3 サーバ名:ポート番号)  
POP3 サーバがログインを拒否しました (POP3 サーバ名:ポート番号)

POP3 サーバとの認証に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

メール環境定義ファイルに定義した認証アカウント、`jimmailpasswd` コマンドで設定した認証パスワードを見直してください。

#### KAVB8724-W

Part of the subject of the email was truncated.

メールの主題の一部を切り捨てました

メールの主題が最大サイズを超過しているため、メールの主題の一部を切り捨てました。

(S)

処理を継続します。

(O)

メールの主題が最大サイズに収まるようにメールの主題の内容を見直してください。

#### KAVB8725-E

The number of specified email addresses exceeds the maximum. (maximum number = 最大件数)

指定したメールアドレスが最大件数を超えています。(最大件数=最大件数)

指定したメールアドレスが最大件数を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

指定したメールアドレスを見直して、再度実行してください。

#### KAVB8726-E

An error occurred while the email was being sent. (reason = 要因)

メールの送信処理でエラーが発生しました (要因:要因)

メールの送信処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに対処してください。



- 要因：接続先ホストが見つかりません  
次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。
  - ・ SMTP サーバのホスト名が正しいか
  - ・ SMTP サーバのホスト名の名前解決ができるか
  - ・ SMTP ポート番号が正しいか
- 要因：ホストに接続できません  
次の項目を確認して再度コマンドを実行してください。
  - ・ SMTP サーバが起動しているか
  - ・ SMTP サーバとマネージャーホストとの接続状態
  - ・ 通信障害が発生していないか
- 要因：タイムアウトしました  
サーバまたはネットワークの負荷が高い状態のため、タイムアウトが発生しました。しばらく待ってから再実行してください。  
このメッセージが頻繁に出る場合は、メール環境定義ファイルのConnectTimeout およびSoTimeout のタイムアウト時間の設定を運用に合わせて変更してください。
- 要因：メールサーバのエラー:詳細メッセージ  
詳細メッセージを確認して再度コマンドを実行してください。  
回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAVB8727-E

No executing permission.

実行権限がありません

コマンドを実行する権限がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

Administrators など、実行権限を持ったユーザーでログインして再実行してください。

## KAVB8728-E

Failed to set the password. (reason = 要因)

パスワードの設定に失敗しました (要因:要因)

パスワードの書き込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

要因ごとに、対処して、再度jimailpasswd コマンドを実行してください。

- 要因：ファイルが見つかりません

メール環境定義ファイルが格納先にあるか確認してください。

格納先にはない場合は、メール環境定義ファイルのモデルファイルをコピーしてメール環境定義ファイルを作成し、再定義してください。

メール環境定義ファイルがある場合は、書き込みおよび読み込みのアクセス権があるか確認してください。

- 要因：入出力エラーが発生しました

メール環境定義ファイルに書き込みおよび読み込みのアクセス権があるか確認してください。

また、ファイルシステムに異常がないかを確認してください。

再度コマンドを実行しても回復しない場合、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB8729-I

The email was successfully sent.

メールの送信に成功しました

メールの送信に成功しました。

#### KAVB8730-I

The password was successfully set.

パスワードの設定に成功しました

パスワードの設定に成功しました。

#### KAVB8731-I

The command (コマンド名) has started.

コマンド (コマンド名) を開始しました

コマンドを開始しました。

#### KAVB8732-I

The command (コマンド名) terminates normally.

コマンド (コマンド名) が正常終了しました

コマンドが正常終了しました。

### KAVB8733-I

The command (コマンド名) terminates abnormally.

コマンド (コマンド名) が異常終了しました

コマンドが異常終了しました。

### KAVB8734-I

The password was successfully deleted.

パスワードの削除に成功しました

パスワードの削除に成功しました。

### KAVB8735-I

A password is not set.

パスワードは設定されていません

パスワードは設定されていませんでした。

### KAVB8736-E

The authentication method is not configured correctly.

認証方式が正しく設定されていません

認証方式が正しく設定されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

メール環境定義ファイルの AuthMethod パラメーターの値にPOP またはSMTP どちらかを設定してください。

### KAVB8737-E

The specified password is invalid. Multi-byte characters cannot be used.

指定したパスワードが不正です。マルチバイト文字は使用できません

指定したパスワードが不正です。パスワードにマルチバイト文字は使用できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

パスワードにマルチバイト文字は使用できません。  
パスワードに指定できる文字は、半角文字だけです。  
指定したパスワードを見直して、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB8738-E

A memory shortage occurred during execution of the command. (コマンド名)  
コマンド (コマンド名) を実行中にメモリー不足が発生しました

コマンド実行中にメモリー不足が発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

コマンドが実行できるようメモリーを確保したあと、再度実行してください。

#### KAVB8739-E

A system error occurred while executing the command (コマンド名).Details:(詳細情報)  
コマンド (コマンド名) を実行中にシステムエラーが発生しました。詳細コード:(詳細情報)

コマンド実行中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8740-E

An exception occurred while the log output was being prepared.

コマンドの起動中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

標準エラー出力に出力されたトレース情報の採取、および、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8741-E

The argument value (引数) of the option (オプション) is invalid.

オプション (オプション) の引数值 (引数) が不正です

オプションの引数值が正しくありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

オプションの指定値を正しく指定し直してください。

## KAVB8800-E

An attempt to stop the JP1/IM - Manager has failed.

リトライしましたが、JP1/IM - Manager が停止しませんでした。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドを実行し、JP1/IM - Manager の状態を確認してください。停止していない場合は、jco\_stop コマンドを再実行してください。

IM データベースサービスを使用している場合は、jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが停止していない場合は、jco\_stop コマンドを再実行してください。

## KAVB8801-E

An attempt to stop the IM Database service has failed.

リトライしましたが、IM データベースが停止しませんでした。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが停止していない場合は、jco\_stop コマンドを再実行してください。

## KAVB8802-E

An attempt to stop the Intelligent Integrated Management Database has failed.

リトライしましたが、インテリジェント統合管理データベースが停止しませんでした。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

jimgndbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースの状態を確認してください。インテリジェント統合管理データベースが停止していない場合は、jimgndbstop コマンドを再実行してください。

#### KAVB8810-I

JP1/IM - Manager is running with the communication encryption function enabled.

JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が有効の状態です。

JP1/Base の共通定義で通信暗号化機能が有効のため、JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が有効の状態です。

(S)

JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が有効の状態です。

#### KAVB8811-I

JP1/IM - Manager is running with the communication encryption function disabled.

JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が無効の状態です。

JP1/Base の共通定義で通信暗号化機能が無効のため、JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が無効の状態です。

(S)

JP1/IM - Manager は通信暗号化機能が無効の状態です。

#### KAVB8812-W

Failed to delete the keystore used by the communication encryption function for JP1/IM - Manager. (file = ファイル名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの削除に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの削除に失敗しました。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理または停止処理を続行します。

(O)

- 次に示すディレクトリに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、書き込み権限を設定してください。

Windows の場合

物理ホスト：Manager パス¥conf¥ssl

論理ホスト：共有フォルダ¥JP1IMM¥conf¥ssl

UNIX の場合

物理ホスト：/etc/opt/jp1imm/conf/ssl

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1imm/conf/ssl

- キーストアがあるか確認してください。キーストアがある場合は、キーストアを削除してください。

## KAVB8813-E

Failed to create the keystore to be used by the communication encryption function for JP1/IM - Manager. (file = ファイル名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの作成に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの作成に失敗しました。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次のことを確認して、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してください。

- 次に示すディレクトリに書き込み権限があるか確認してください。書き込み権限がない場合は、書き込み権限を設定してください。

Windows の場合

物理ホスト：Manager パス¥conf¥ssl

論理ホスト：共有フォルダ¥JP1IMM¥conf¥ssl

UNIX の場合

物理ホスト：/etc/opt/jp1imm/conf/ssl

論理ホスト：共有ディレクトリ/jp1imm/conf/ssl

- キーストアがあるか確認してください。キーストアがある場合は、キーストアを削除してください。

## KAVB8814-E

A parameter of the communication encryption function for JP1/IM - Manager is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が空文字です。」の場合は、共通定義のパラメーターの値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値がフルパスではありません。」の場合は、共通定義のパラメーターの値にフルパスを設定してください。

## KAVB8815-E

Parameters for the communication encryption function for JP1/IM - Manager could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = 要因)

JP1/IM - Manager で通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:パラメーター名, 要因:要因)

JP1/IM - Manager で通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターが未定義です。」の場合は、共通定義にパラメーターを設定してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB8816-E

A file or directory specified for a parameter of the communication encryption function for JP1/IM - Manager was not found. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定したパスにファイルまたはディレクトリがありません。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値)



JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定したパスに、ファイルまたはディレクトリがありません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- パラメーターで指定したパスに、パラメーターに対応したファイルまたはディレクトリがあるか確認してください。パラメーターに対応したファイルまたはディレクトリがない場合は配置してください。
- パラメーターで指定したパスが秘密鍵、またはサーバ証明書の場合、ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KAVB8817-E

A file specified for a parameter of the communication encryption function for JP1/IM - Manager could not be read. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値)  
JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定したファイルが読み込めません。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定したファイルが読み込めません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- パラメーターで指定したパスのファイルのフォーマットに問題がないことを確認してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KAVB8818-E

A private key specified for a parameter of the communication encryption function for JP1/IM - Manager could not be read. (parameter for the private key = パラメーター名, parameter value for the private key = パラメーター値, parameter for the server authentication certificate = パラメーター名, parameter value for the server authentication certificate = パラメーター値)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定した秘密鍵が読み込めません。(秘密鍵パラメーター名:パラメーター名, 秘密鍵パラメーター値:パラメーター値, サーバ証明書パラメーター名:パラメーター名, サーバ証明書パラメーター値:パラメーター値)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能のパラメーターで指定した秘密鍵が読み込めない, またはサーバ証明書と対になっていません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

次のことを確認し, JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

- サーバ証明書と秘密鍵が対になっていることを確認してください。対になっていない場合は, 対になっているサーバ証明書, および秘密鍵を配置してください。
- 秘密鍵のファイルのフォーマットに問題がないことを確認してください。
- 秘密鍵にパスワードが設定されている場合は, パスワードを解除してください。
- 次の OS のログを確認し, ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
  - Windows の場合: Windows イベントログ
  - UNIX の場合: シスログ (syslog)

## KAVB8819-E

A library required for JP1/IM - Manager was not found.

JP1/IM - Manager に必要なライブラリがありません

JP1/IM - Manager に必要なライブラリがありません。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を中止します。

(O)

JP1/IM - Manager の通信暗号化を行っている場合, JP1/IM - Manager のバージョンに対応した JP1/Base をインストールし, JP1/IM - Manager を再起動してください。

JP1/IM - Manager の通信暗号化を行っていない場合, JP1/Base と JP1/IM - Manager の再インストールとセットアップを行い, JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAVB8820-W

The directory of the keystore used by the communication encryption function for JP1/IM - Manager was not found. Therefore, the directory will be created, and processing will continue.  
(directory = ディレクトリ名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの格納先ディレクトリがないため、作成して処理を続行します。(ディレクトリ名:ディレクトリ名)

JP1/IM - Manager の通信暗号化機能で使用するキーストアの格納先ディレクトリがないため、作成して処理を続行します。

(S)

JP1/IM - Manager の起動処理を続行します。

#### KAVB8900-E

The command option is invalid.

指定したコマンドオプションは不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8901-E

The command option (オプション) is duplicated.

指定したコマンドオプション(オプション)が重複しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8902-E

The logical host (論理ホスト名) does not exist.

指定した論理ホスト名が存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した論理ホスト名が誤っていないか見直して、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB8903-E

The host name is not specified in the -h option.

-h オプションにホスト名が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB8904-E

The shared directory (共有ディレクトリパス) used by the specified logical host (論理ホスト名) was not found.

指定された論理ホスト (論理ホスト名) で使用している共有ディレクトリ (共有ディレクトリパス) が見つかりません。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

実行系のホストの場合、共有ディレクトリをマウントし、再度資料採取ツールを実行してください。  
待機系のホストの場合、共有ディレクトリがマウントされていないため問題ありません。

## KAVB8905-E

The specified directory (資料格納ディレクトリ名) is invalid.

指定したディレクトリ (資料格納ディレクトリ名) が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい資料格納ディレクトリを指定して、再度資料採取コマンドを実行してください。

Windows の場合、次を確認してください。

- 予約デバイス名 (AUX, CON, NUL, PRN, COM1~COM9, LPT1~LPT9) や , ; % & ^ ! を指定していないか。
- 129 バイト以上のディレクトリ名を指定していないか。

## KAVB8906-E

The directory has the same name as an existing file (ファイル名).

ディレクトリと同じ名称のファイル(ファイル名)がすでに存在します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

同じ名称のファイルを削除してから再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8907-E

The directory (ディレクトリ名) could not be written to.

ディレクトリ(ディレクトリ名)に書き込みできませんでした。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディレクトリに対する実行ユーザーの書き込み権限を見直してから、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8908-W

The directory (ディレクトリパス) used by the physical host does not exist.

物理ホストで使用しているディレクトリが存在しません。

(S)

ディレクトリパス以下の資料は採取せず、処理を継続します。

(O)

ディレクトリパスが一時的に未接続になっていないか確認してください。

#### KAVB8909-E

コマンド名 does not exist.

コマンドが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドが削除されていないか確認してください。コマンドが存在しない場合、JP1/IM - Manager をインストールし直してください。

## KAVB8910-E

There is not enough free disk space to execute the command.

コマンドの実行に必要なディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除するなどして空き容量を増やしたあと、再度資料採取ツールを実行してください。

なお、途中まで採取した資料は残ったままですので、削除してください。

## KAVB8911-E

There is not enough memory to execute the command.

コマンドの実行に必要なメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムの空きメモリー容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリー空き容量を増やしたあと、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB8912-W

An attempt to acquire the Windows event log (イベントログの種類) has failed.

Windows イベントログの採取に失敗しました。

イベントログの種類：System または Application

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

イベントビューアーを使用して Windows イベントログを手動で採取してください。

## KAVB8913-E

The specified file cannot be read (ファイル名).

指定したファイル名は読み込むことができません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したファイルに対する読み込み権限があるかどうか確認し、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8914-E

The specified file does not exist (ファイル名).

指定したファイルは存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

存在するファイルを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8915-E

The specified directory has the same name as an existing file (ファイル名).

指定した資料格納ディレクトリと同じ名称のファイル(ファイル名)がすでに存在します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

別のディレクトリを指定するか、同じ名称のファイルを削除してから、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8916-E

A write operation cannot be performed for the specified directory (ディレクトリ名).

指定した資料格納ディレクトリには書き込みできません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

別のディレクトリを指定するか、指定ディレクトリの上位のディレクトリに対する実行ユーザーの書き込み権限を確認してから、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB8917-E

An attempt to create the directory (ディレクトリ名) has failed.

ディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

別のディレクトリを指定するか、指定ディレクトリの上位のディレクトリに対する実行ユーザーの書き込み権限を確認してから、再度資料採取ツールを実行してください。

## KAVB8918-I

The data was successfully acquired.

資料が正常に採取されたことを通知する情報メッセージです。

(S)

コマンドを終了します。

## KAVB8919-E

Some of the data could not be acquired.

一部の資料が採取できませんでした。このメッセージは実行中に出力されたメッセージのあとに出力されません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

実行中に出力されたメッセージの対処方法に従って、対処してください。

## KAVB8920-I

Deletion of the core dump file (ダンプファイル名) has finished.

コアダンプファイル(ダンプファイル名)の削除が完了しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

## KAVB8921-I

情報 will be acquired.



情報の資料を採取することを通知する情報メッセージです。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8922-I

情報 has been acquired.

情報の資料が採取されたことを通知する情報メッセージです。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8923-W

情報 could not be acquired.

情報の資料が採取されなかったことを通知する警告メッセージです。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

jim\_log\_result.log のリストを参照して、採取元の資料が存在する場合、採取できなかった資料を手動で採取してください。

#### KAVB8924-I

The directory already exists. (ディレクトリ名)

The directory will be re-created.

ディレクトリ名がすでに存在します。ディレクトリを再作成します。

(S)

Windows の場合：応答に答えた場合ディレクトリを削除し処理を継続します。

UNIX の場合：処理を継続します。

(O)

Windows の場合：処理を続行する場合、何かのキーを押してください。処理を中断したい場合、[Ctrl] + [C] キーを押してください。

UNIX の場合：なし

#### KAVB8925-I

The directory does not exist. (ディレクトリ名) The directory will be created.

ディレクトリ名が存在しません。ディレクトリを作成します。

(S)

Windows の場合：応答に答えた場合ディレクトリを作成し処理を継続します。

UNIX の場合：処理を継続します。

(O)

Windows の場合：処理を続行する場合、何かのキーを押してください。処理を中断したい場合、[Ctrl] + [C] キーを押してください。

UNIX の場合：なし

#### KAVB8926-I

Data acquisition processing will start.

資料採取を開始します。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8927-I

Execution of the コマンド名 command will start.

コマンドの実行を開始します。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8928-I

コマンド名 execution is ended. (ERRORLEVEL=エラーレベル)

コマンドの実行が終了しました。

ERRORLEVEL:コマンドのリターンコード

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8929-I

情報 will be acquired. Please wait.

情報を採取しています。しばらくお待ちください。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8930-E

An attempt to delete the directory (ディレクトリ名) has failed.

ディレクトリの削除に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディレクトリを別のプロセスが使用中でないか確認してください。別のプロセスが使用中でないことを確認するか、別のディレクトリを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8931-W

コマンド名 does not exist.

コマンドが存在しません。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

コマンドが削除されていないか確認してください。コマンドが存在しない場合、JP1/IM - Manager をインストールし直してください。

#### KAVB8932-E

コマンド名 does not exist.

コマンドが存在しません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドが削除されていないか確認してください。コマンドが存在しない場合、JP1/Base, JP1/IM - Manager をインストールし直してください。

#### KAVB8933-E

An attempt to access the registry for(情報) has failed.(詳細情報)

情報のレジストリのアクセスに失敗しました。

詳細情報：RegOpenKeyEx/RegEnumKeyEx 関数に渡した引数とリターンコード。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

#### KAVB8934-I

The following logical host (S) exist on this machine:

論理ホスト名

To acquire information about a logical host, execute "**コマンド名** -f output-directory-name -h logical-hostname".

このマシンには以下の論理ホストが存在します。

**コマンド名** -h **論理ホスト名** を実行し論理ホストの情報を採取してください。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

**コマンド名** -h **論理ホスト名** を実行し論理ホストの情報を採取してください。

#### KAVB8935-I

The following logical host (S) exist on this machine:

論理ホスト名

To acquire information about a logical host, execute "**コマンド名**-f output-directory-name -h logical-hostname".

このマシンには以下の論理ホストが存在します。

**コマンド名** -h **論理ホスト名** を実行し論理ホストの情報を採取してください。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

**コマンド名** -h **論理ホスト名** を実行し論理ホストの情報を採取してください。

#### KAVB8936-W

An attempt to create the directory (**ディレクトリ名**) has failed.

ディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

指定ディレクトリの上位のディレクトリに対する実行ユーザーの書き込み権限を確認してから、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8937-W

An attempt to execute コマンド has failed. (rc=詳細情報)

コマンドの実行に失敗しました。

詳細情報：コマンドのリターンコード。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

直前に出力されたメッセージに従って、対処してください。

#### KAVB8938-I

Execution of コマンド was successful.

コマンドの実行に成功しました。

(S)

コマンドの処理を続行します。

#### KAVB8939-E

The user does not have execution permission for the command (コマンド名).

コマンドに実行権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドの権限を確認してください。

#### KAVB8940-I

Deletion of the thread dump file has finished.

スレッドダンプファイルの削除が完了しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KAVB8941-I

Do you want to delete all the core dump files below the directory **ディレクトリ名?** [yes/no]

**ディレクトリ名**に示すディレクトリ配下のコアダンプファイルを削除するかどうかを確認するメッセージです。

(S)

応答に yes または y を答えた場合、コアダンプファイルを削除しコマンドの処理を終了します。

応答に no または n を答えた場合、コアダンプファイルを削除せずにコマンドの処理を終了します。

(O)

コアダンプファイルを削除する場合、yes または y を入力してください。

コアダンプファイルを削除しない場合、no または n を入力してください。

#### KAVB8942-I

Do you want to delete all the thread dump files below the directory **ディレクトリ名?** [yes/no]

**ディレクトリ名**に示すディレクトリ配下のスレッドダンプファイルを削除するかどうかを確認するメッセージです。

(S)

応答に yes または y を答えた場合、スレッドダンプファイルを削除しコマンドの処理を終了します。

応答に no または n を答えた場合、スレッドダンプファイルを削除せずにコマンドの処理を終了します。

(O)

スレッドダンプファイルを削除する場合、yes または y を入力してください。

スレッドダンプファイルを削除しない場合、no または n を入力してください。

#### KAVB8943-E

A write operation cannot be performed because a file with the same name (**ファイル名**) already exists.

同じファイルが存在するため書き込みできません。

(S)

ファイルを作成せずに処理を続行します。

(O)

ファイル書き込み権限を確認してください。ファイルが不要であればファイルを削除したあと、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KAVB8944-I

ファイル名 already exists. Do you want to overwrite it? [yes/no]

すでにファイルが存在します。上書きしますか。

(S)

応答に yes または y を答えた場合、ファイル上書きしコマンドの処理を続行します。

応答に no または n を答えた場合、ファイルを上書きせずにコマンドの処理を続行します。

(O)

ファイルを上書きする場合、yes または y を入力してください。

ファイルを上書きしない場合、no または n を入力してください。

#### KAVB8945-I

Is the device (デバイス名) ready? [yes/no]

デバイスは準備できていますか。

(S)

応答に yes または y を答えた場合、デバイスに対して資料採取を行い、コマンドの処理を続行します。

応答に no または n を答えた場合、デバイスに対して資料採取を行わずにコマンドの処理を続行します。

(O)

デバイスに対して資料採取を行う場合、yes または y を入力してください。

デバイスに対して資料採取を行わない場合、no または n を入力してください。

#### KAVB8946-I

Do you want to delete all the thread dump files below the directory ディレクトリ名? [y/n]

ディレクトリ名に示すディレクトリ配下のスレッドダンプファイルを削除するかどうかを確認するメッセージです。

(S)

応答に y を答えた場合、スレッドダンプファイルを削除しコマンドの処理を終了します。

応答に n を答えた場合、スレッドダンプファイルを削除せずにコマンドの処理を終了します。

(O)

スレッドダンプファイルを削除する場合、y を入力してください。

スレッドダンプファイルを削除しない場合、nを入力してください。

## KAVB8947-W

An attempt to get the IM Database backup file failed.

IM データベースのバックアップファイルの採取に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

次の内容を確認してください。

- IM データベースが起動しているか。
- システムのメモリーが十分に確保されているか。
- 資料採取フォルダのディスク領域に、IM データベースのバックアップが保存できるだけの十分な空き領域が存在するか。



## 2.10 インストールおよびセットアップに関するメッセージ (KAVB9001～KAVB9999)

---

### KAVB9032-E

An attempt to switch the action information file has failed. (code = 保守コード)

アクション情報ファイルの移行に失敗しました。保守コード：保守コード

アクション情報ファイルの移行に失敗しました。

(S)

インストールを続行します。

(O)

保守コードを基に対処してください。

- 保守コード：2

エラー内容：移行処理中に失敗しました。

対処方法：資料採取ツールで資料を採取後に、システム管理者に連絡してください。その際、保守コードもあわせて連絡してください。

- 保守コード：3

エラー内容：入出力エラー

対処方法：資料採取ツールで資料を採取後に、システム管理者に連絡してください。その際、保守コードもあわせて連絡してください。

- 保守コード：4

エラー内容：メモリーエラー

対処方法：インストール完了後、またはクラスタバージョンアップ完了後に、使用していないアプリケーションを停止してください。そのあと、再度インストール、またはクラスタバージョンアップを実施してください。

### KAVB9033-I

The switch of the action information file has finished.

アクション情報ファイルの移行が完了しました。

(S)

インストールを続行します。

### KAVB9034-E

An attempt to change the permission for the file [ファイル名] has failed.

ファイル [ファイル名] 権限の変更に失敗しました。

(S)

セットアップおよびインストールを中断します。

(O)

次のことを確認してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 空きディスク容量, 空きメモリー容量が十分に確保されているか。

上記原因の対処をしたあと, JP1/IM - Manager のセットアップ, およびインストールを再実行してください。

## KAVB9035-E

An attempt to copy the file [ファイル名] has failed.

ファイル [ファイル名] のコピーに失敗しました。

(S)

セットアップおよびインストールを中断します。

(O)

次のことを確認してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 空きディスク容量, 空きメモリー容量が十分に確保されているか。

上記原因の対処をしたあと, JP1/IM - Manager のセットアップ, およびインストールを再実行してください。

## KAVB9036-E

The file [ファイル名] does not exist.

[ファイル名] のファイルが存在しません。

(S)

セットアップおよびインストールを中断します。

(O)

次のことを確認してください。

- [ファイル名] のファイルが存在するか。
- 空きディスク容量, 空きメモリー容量が十分に確保されているか。

上記原因の対処をしたあと, JP1/IM - Manager のインストールを再実行してください。

## KAVB9038-E

An attempt to register common definition information has failed.

共通定義情報の登録に失敗しました

インシデント登録環境定義ファイルに記載されている共通定義情報の登録に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

- インストール時に発生した場合

インストール終了後、`jbsgetcnf` コマンドを使用して物理ホストの共通定義情報に下記項目が登録されているか確認してください。

[JP1\_DEFAULT¥JP1CONSOLEMANAGER¥JCDMAIN]以下

- OPERATION\_LOG\_SIZE
- OPERATION\_LOG\_NUM

[JP1\_DEFAULT¥JP1CONSOLEMANAGER¥JCDMAIN¥DBMS]以下

- PDNAMEPORT

共通定義情報を確認後、共通定義情報が登録されていない場合、`jbssetcnf` コマンドを使用してインシデント登録環境定義ファイル (`jcdmain.conf.update`) の内容を設定してください。

- クラスタバージョンアップコマンド実行時に発生した場合

再度クラスタバージョンアップコマンドを実行してください。再実行しても同じメッセージが出力される場合は、JP1/Base と JP1/IM の資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9039-I

Common definition information was registered.

共通定義情報を登録しました

インシデント登録環境定義ファイルに記載されている共通定義情報を登録しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9051-I

The Central Console Service setup will now start.

JP1/IM - Manager のセットアップを開始します。

(S)

JP1/IM - Manager のセットアップを開始します。

## KAVB9053-I

The file [ファイル名] was relocated.

定義ファイル [ファイル名] を配置しました。

(S)

定義ファイル [ファイル名] を配置しました。

## KAVB9054-E

'/opt/jp1base/bin/jbssetcnf' could not be executed.

/opt/jp1base/bin/jbssetcnf コマンドを実行できません。

(S)

セットアップを中断します。

(O)

/opt/jp1base/bin/jbssetcnf コマンドを実行できるか確認してください。

ファイル自体が存在しない場合は、JP1/Base を再インストールしてから、再セットアップしてください。

/opt/jp1base/bin/jbssetcnf コマンドが実行できることを確認後、JP1/IM - Manager のセットアップを再実行してください。

## KAVB9056-I

[ファイル名] was registered to the common definition.

[ファイル名] を共通定義に登録しました。

(S)

[ファイル名] を共通定義に登録しました。

## KAVB9057-E

[ファイル名] could not be registered to the common definition.

[ファイル名] を共通定義に登録できませんでした。

(S)

セットアップを中断します。

(O)

[ファイル名] の内容を確認後、JP1/IM - Manager のセットアップを再実行してください。

[ファイル名] の内容に誤りがない場合は、JP1/Base を再インストールしてから、再セットアップしてください。

#### KAVB9059-I

The registration of the common definition data has completed.

共通定義情報の登録が完了しました。

#### KAVB9064-I

The Central Console Service setup has completed.

JP1/IM - Manager のセットアップが完了しました。

(S)

JP1/IM - Manager のセットアップが完了しました。

#### KAVB9072-I

The Central Console Service Cluster environment setup will now start.

JP1/IM - Manager クラスタ環境セットアップを開始します。

(S)

JP1/IM - Manager クラスタ環境セットアップを開始します。

#### KAVB9073-I

The logical host setup processing will now start.

論理ホストの設定処理を開始します。

(S)

論理ホストの設定処理を開始します。

#### KAVB9074-E

An attempt to get the configuration data of the physical host failed.

物理ホストの共通定義情報採取に失敗しました。

(S)

クラスタセットアップを中断します。

(O)

共有ディスクにアクセスできるか確認してください。

jbsgetcnf コマンドを実行できるか確認してください。

ファイル自体が存在しない場合は、JP1/Base を再インストールしてから、再セットアップしてください。

jbsgetcnf コマンドが実行できることを確認後、JP1/IM - Manager のクラスタセットアップを再実行してください。

#### KAVB9075-E

The configuration data could not be registered.

共通定義情報を登録できませんでした。

(S)

セットアップを中断します。

(O)

jbssetcnf コマンドを実行できるか確認してください。

ファイル自体が存在しない場合は、JP1/Base を再インストールしてから、再セットアップしてください。

jbssetcnf コマンドが実行できることを確認後、JP1/IM - Manager のクラスタセットアップを再実行してください。

#### KAVB9076-I

The configuration files of the physical host will now be copied to the shared disk.

物理ホストの定義ファイルを共有ディスクにコピーします。

#### KAVB9077-E

The folder [共有ディスク]/jplcons/conf could not be created on the shared disk.

共有ディスクにフォルダを作成できませんでした。

(S)

クラスタセットアップを中断します。

(O)

共有ディスクにアクセスできるか確認してください。

共有ディスクにアクセスできることを確認後、JP1/IM - Manager のクラスタセットアップを再実行してください。

#### KAVB9078-I

The IP address will now be bound to the TCP/IP socket.

TCP/IP ソケットに IP アドレスをバインドします。

(S)

TCP/IP ソケットに IP アドレスをバインドします。

#### KAVB9079-I

The acquisition of the shared disk name will now start.

共有ディスクの名称を取得する処理を開始します。

(S)

共有ディスク名称取得処理を開始します。

#### KAVB9080-E

An attempt to get the [論理ホスト] configuration data failed.

共通定義情報採取に失敗しました。

(S)

クラスタセットアップを中断します。

(O)

共有ディスクにアクセスできるか確認してください。

jbsgetcnf コマンドを実行できるか確認してください。

ファイル自体が存在しない場合は、JP1/Base を再インストールしてから、再セットアップしてください。

jbsgetcnf コマンドが実行できることを確認後、JP1/IM - Manager のクラスタセットアップを再実行してください。

#### KAVB9101-I

The upgrading of the logical host environment will now start.

論理ホスト環境のバージョンアップを開始します。

(S)

論理ホスト環境のバージョンアップを開始します。

#### KAVB9102-I

The upgrading of the logical host environment has finished.

論理ホスト環境のバージョンアップが完了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVB9103-E

A specified argument is invalid.

指定した引数が正しくありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しい引数を指定して、再実行してください。

#### KAVB9104-E

A specified logical host name is invalid.

指定した論理ホスト名が正しくありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しい論理ホスト名を指定して、再実行してください。

#### KAVB9105-E

An attempt to upgrade the logical host environment has failed.

論理ホスト環境のバージョンアップに失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

直前に表示されるメッセージに従って対処してください。

#### KAVB9106-E

The file "ファイル名" could not be copied.

ファイル（フォルダまたはディレクトリを含む）のコピーに失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。



(O)

次のことを確認して、再実行してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 共有ディスクにアクセスできるか。
- 共有ディスクに対して書き込み権限があるか。
- ほかのアプリケーションが JP1/IM - Manager のファイルを使用していないか。
- 空きディスク容量、空きメモリー容量が十分確保されているか。
- Administrators 権限（Windows の場合）またはスーパーユーザー権限（UNIX の場合）で実行しているか。

#### KAVB9107-E

The file "ファイル名" could not be created.

ファイル（フォルダまたはディレクトリを含む）の作成に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認して、再実行してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 共有ディスクにアクセスできるか。
- 共有ディスクに対して書き込み権限があるか。
- ほかのアプリケーションが JP1/IM - Manager のファイルを使用していないか。
- 空きディスク容量、空きメモリー容量が十分確保されているか。
- Administrators 権限（Windows の場合）またはスーパーユーザー権限（UNIX の場合）で実行しているか。

#### KAVB9108-E

The configuration definition "共通定義ファイル名" could not be registered. (詳細コード)

次の要因で、共通定義の反映に失敗しました。

- 詳細コードが900012000 の場合、共通定義ファイルが読み込めなかった。
- 詳細コードが900012002 の場合、jbssetcnf コマンドが実行できなかった。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認して、再実行してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 共有ディスクにアクセスできるか。
- 共有ディスクに対して書き込み権限があるか。
- ほかのアプリケーションが JP1/IM - Manager のファイルを使用していないか。
- 空きディスク容量、空きメモリー容量が十分確保されているか。
- Administrators 権限 (Windows の場合) またはスーパーユーザー権限 (UNIX の場合) で実行しているか。

## KAVB9109-E

The system environment could not be set. (詳細コード)

次の要因で、システム環境の設定に失敗しました。

- 詳細コードが900011000 の場合、設定ファイル (Windows : Console パス¥conf¥jp1co\_spmd.conf, UNIX : /etc/opt/jp1cons/conf/jp1co\_spmd.conf) が読み込めなかった。
- 詳細コードが900011001 の場合、設定ファイル (Windows : Console パス¥conf¥jp1co\_spmd.conf, UNIX : /etc/opt/jp1cons/conf/jp1co\_spmd.conf) のオプション指定に誤りがあった。
- 詳細コードが900011002 の場合、jcoimdef コマンドが実行できなかった。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

詳細コードが900011000 または900011002 の場合、次のことを確認して、再実行してください。

- JP1/IM - Manager が起動していないか。
- 共有ディスクにアクセスできるか。
- 共有ディスクに対して書き込み権限があるか。
- ほかのアプリケーションが JP1/IM - Manager のファイルを使用していないか。
- 空きディスク容量、空きメモリー容量が十分確保されているか。
- Administrators 権限 (Windows の場合) またはスーパーユーザー権限 (UNIX の場合) で実行しているか。

詳細コードが900011001 の場合、設定ファイル (Windows : Console パス¥conf¥jp1co\_spmd.conf, UNIX : /etc/opt/jp1cons/conf/jp1co\_spmd.conf) のオプションを確認して、再実行してください。

## KAVB9110-E

Insufficient memory has occurred.

メモリー不足が発生しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ほかのアプリケーションを終了するなど、メモリーを十分に確保して再実行してください。

## KAVB9111-E

An attempt to restore the logical host environment has failed.

エラーが発生したため処理を中断して、元の論理ホスト環境を復元しようとしたのですが、復元処理に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- Windows の場合：  
バックアップされたファイルが、共有フォルダ¥jp1cons¥tmp¥conf¥フォルダにあることを確認してから、次の操作を行ってください。
  1. 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥をフォルダごと削除する。
  2. 共有フォルダ¥jp1cons¥tmp¥conf¥を共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥に移動する。
  3. 同時に発生しているエラーの原因を取り除いたあと、再実行する。
- UNIX の場合：  
バックアップされたファイルに共有ディレクトリ/jp1cons/tmp/conf/があることを確認してから、次の操作を行ってください。
  1. 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/をディレクトリごと削除する。
  2. 共有ディレクトリ/jp1cons/tmp/conf/を共有ディレクトリ/jp1cons/conf/に移動する。
  3. 同時に発生しているエラーの原因を取り除いたあと、再実行してください。

## KAVB9112-E

Only one jp1cohaveup command can be executed at one time. Alternatively, a backup file remains from the last execution time.

クラスタ環境移行コマンドを実行しています。または、前回、クラスタ環境移行コマンドの実行を途中で中断したため、バックアップファイルが残っています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

クラスタ環境移行コマンドは複数同時に実行できません。クラスタ環境移行コマンドを実行している場合、処理が終了してから再実行してください。

前回のバックアップファイルが残っている場合、次の操作をしたあと、再実行してください。

- Windows の場合：
  1. 共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥をフォルダごと削除する。
  2. 共有フォルダ¥jp1cons¥tmp¥conf¥を共有フォルダ¥jp1cons¥conf¥に移動する。
- UNIX の場合：
  1. 共有ディレクトリ/jp1cons/conf/をディレクトリごと削除する。
  2. 共有ディレクトリ/jp1cons/tmp/conf/を共有ディレクトリ/jp1cons/conf/に移動する。

## KAVB9113-E

Failed to acquire information about the host that was specified by the common definition information [キー値].

共通定義情報で指定しているホスト（キー値）の情報取得に失敗しました。

表示されるキー値は次のとおりです。

- ¥JP1DEFAULT¥CONSOLE\_MANAGER¥CONF\_DIR
- ¥ホスト名¥CONSOLE\_MANAGER¥CONF\_DIR
- ¥ホスト名¥CONSOLE\_MANAGER¥JP1CONS\_WORK\_PATH
- ¥ホスト名¥CONSOLE\_MANAGER¥JP1CONS\_LOGDIR

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9114-E

Failed to acquire the installation path from the registry [製品名].

レジストリからインストールパスの取得に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB9115-E

No permission for execution.

コマンドを実行する権限がありません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

Administrators などの実行権限を持ったユーザーでログインし直して、再実行してください。

#### KAVB9116-W

Failed to delete the temporary file created during processing. (ファイル名)

移行処理のために作成した一時ファイルが削除できませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

表示されたファイルを削除してください。

#### KAVB9117-I

An attempt to restore the logical host environment will now start.

環境の復元処理を開始します。

(S)

環境の復元処理を開始します。

#### KAVB9118-I

An attempt to restore the logical host environment has finished.

環境の復元処理を終了します。

(S)

環境の復元処理を終了します。

## KAVB9119-E

An attempt to switch the extended startup process definition file has failed. (code = code)

拡張起動プロセス定義ファイルの移行に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

保守コードを確認し、上書きインストールを再実行してください。

## KAVB9120-E

An attempt to switch the extended startup process definition file has failed. Installation will continue using the pre-installation settings file. Please re-install 製品名, using an overwrite installation. (code = 保守コード)

拡張起動プロセス定義ファイルの移行に失敗しました。インストール前の設定ファイルでインストールを続行します。再度、製品名を上書きインストールしてください。保守コード=保守コード

拡張起動プロセス定義ファイルの作成に失敗しました。ファイルを既存のファイルに復元し、処理を継続します。

(S)

ファイルの作成に失敗しました。既存のファイルに復元し、処理を継続します。

(O)

拡張起動プロセス定義ファイルの属性が読み取り属性でないか確認し、再度インストールを実行してください。

## KAVB9121-I

The switch of the extended startup process definition file has finished.

拡張起動プロセス定義ファイルの移行が完了しました。

(S)

処理を終了します。

## KAVB9201-I

The service dependencies were successfully changed.

サービスの依存関係の変更に成功しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

## KAVB9202-E

An attempt to change the service dependencies has failed. (details = 詳細情報)

サービスの依存関係の変更に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

表示される詳細情報に従って、次の点を確認してください。

- **詳細情報**：You do not have the required execution permissions.  
対処方法：実行権限がありません。Administrators 権限があるユーザーでコマンドを再実行してください。
- **詳細情報**：The service does not exist.  
対処方法：JP1/IM - Manager サービスが登録されていません。JP1/IM - Manager サービスが登録されているか確認し、再実行してください。  
JP1/IM - Manager サービスが登録されていない場合、JP1/IM - Manager を再インストールしてください。
- **詳細情報**：その他  
対処方法：資料採取ツールで資料を採取し、表示された詳細情報をシステム管理者に連絡してください。

## KAVB9251-E

The evaluation version can be used only as a new installation, or as an overwrite installation of the evaluation version of the same software version.

評価版は新規インストール、もしくは同じバージョンの評価版への上書きインストールでのみご使用になれます。

評価版のインストールに失敗しました。評価版は新規インストールまたは同じバージョンの評価版への上書きインストールの場合だけインストールできます。

(S)

処理を中断します。

(O)

すでに入っている製品をアンインストールして再度インストールしてください。

## KAVB9252-E

The release version cannot be installed because either the trial version or a different software version of the evaluation version is installed.

体験版もしくは異なるバージョンの評価版が既にインストールされているため製品版はインストールできません。

製品版のインストールに失敗しました。製品版は新規インストール、製品版への上書きインストール、または同じバージョンの評価版への上書きインストールの場合だけインストールできます。

(S)

処理を中断します。

(O)

すでに入っている製品をアンインストールして再度インストールしてください。

## KAVB9255-E

The product cannot be installed because an instance of **製品名** for which the software model name is different is already installed.

異なる形名の**製品名**がすでにインストールされているためインストールできません。

(S)

処理を中断します。

(O)

インストール済みの製品と上書きインストールする製品の形名を確認してください。

インストール済みの製品がご利用の OS 環境をサポートしている場合は、上書きインストールする製品を選択し直して再度インストールしてください。インストール済みの製品がご利用の OS 環境をサポートしていない場合は、アンインストールしてから再度インストールしてください。

## KAVB9256-E

The product cannot be installed because the currently installed version of the product does not support downgrade installations.

既にインストールされている製品はバージョンダウンインストールに対応していません。

バージョンダウンをしようとしたため、インストールに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

すでに入っている製品をアンインストールして、再度インストールしてください。

## KAVB9301-E

The product information could not be acquired because there was not enough memory.  
(Detailed information:関数名,戻り値)



リソース不足のため製品情報取得に失敗しました(詳細情報:関数名,戻り値)

リソース不足のため、製品情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

リソース不足を解消したあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9302-E

The product information could not be acquired because the environment is invalid.(Detailed information:関数名,戻り値)

環境不正のため製品情報取得に失敗しました(詳細情報:関数名,戻り値)

環境不正のため、製品情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。

アンインストール、および再インストールしたあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9400-I

The Prometheus component is now installed.

Prometheus コンポーネントをインストールしました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9401-I

The Exporter component is now installed. [Exporter name:Exporter 名]

Exporter コンポーネントをインストールしました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9404-E

An argument is invalid.

引数が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

引数を確認してください。

## KAVB9405-E

The specification of the directory is incorrect.

ディレクトリの指定に誤りがあります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しいディレクトリを指定してコマンドを再実行してください。

## KAVB9406-E

An I/O error occurred during processing. [rc:保守コード]

ファイルまたはディレクトリへのアクセス中に、I/O エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

原因を取り除いたあとにコマンドを再実行してください。I/O エラーの発生要因としては次のものが考えられます。

- ディスク容量が不足している
- ディレクトリのアクセス権限がない

## KAVB9407-I

The same or a newer version of Monitoring Agent is already installed.

同じバージョンまたは新しいバージョンのコンポーネントがインストールされているため、インストールは不要です。

(S)

コマンドの実行を終了します。

#### KAVB9408-E

Failed to register or unregister the service. [Service name:サービス名, rc:保守コード]

サービスの登録または解除に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの実行権限を確認してください。

サービスが稼働中の場合は手動で停止させ、監視エージェントのプロセスが動作していないことを確認してください。その後、再度コマンドを実行してください。

#### KAVB9409-E

The service is already registered. [Service name:サービス名]

すでにサービスが登録されています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

指定したインストール先ディレクトリに誤りがないか確認してください。インストールする監視モジュールと同じ、または、別の監視モジュールがすでにインストールされている場合、インストールされているディレクトリを指定してください。

監視モジュールをアンインストールしたあとで、このエラーメッセージが出力される場合は、実施したアンインストールの手順に漏れがないか確認してください。

#### KAVB9410-E

You do not have permission to execute the command.

コマンドの実行権限がありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドの実行権限を確認してください。

## KAVB9411-E

The installation was canceled because the service has not been stopped. [Service name:サービス名]

サービスが停止状態でないため、インストール処理を中止しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービスを停止してから再実行してください。

## KAVB9412-E

An unexpected exception has occurred.

予期しないエラーが発生しました。

次の要因が考えられます。

- 監視モジュールパッケージ内に必要なファイルが存在しない。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

要因を確認し、再実行してください。

解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9413-I

The installation has started.

インストールを開始しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9414-I

The installation ended successfully.

インストールが正常に完了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KAVB9415-I

A new installation of the Prometheus component will now be performed.

Prometheus コンポーネントを新規インストールします。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB9416-I

A new installation of the Exporter component will now be performed.

Exporter コンポーネントを新規インストールします。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB9417-I

An update installation of the Prometheus component will now be performed.

Prometheus コンポーネントを更新インストールします。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB9418-I

An upgrade installation of the Exporter component will now be performed.

Exporter コンポーネントを更新インストールします。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB9419-I

The installation of the Prometheus component will be skipped.

同じバージョンまたは新しいバージョンの Prometheus コンポーネントがすでにインストールされているため、Prometheus コンポーネントのインストールをスキップします。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9420-I

The installation of the Exporter component will be skipped.

同じバージョンまたは新しいバージョンの Exporter コンポーネントがすでにインストールされているため、Exporter コンポーネントのインストールをスキップします。

(S)

処理を続行します。

## KAVB9421-E

The product cannot be installed because the currently installed version of the product does not support downgrade installations.

既にインストールされている製品はバージョンダウンインストールに対応していません。

バージョンダウンを行おうとしたため、インストールに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

既に入っている製品をアンインストールして、再度インストールしてください。

## KAVB9422-E

This platform is unsupported. Installation will now be cancelled.

このプラットフォームは未サポートです。インストールを中断します。

このプラットフォームは未サポートです。

(S)

処理を中断します。

(O)

サポート OS にインストールしてください。

## KAVB9423-E

The login account does not have the permissions necessary for installation. Please log in as a user with administrator permissions.

ログインアカウントはインストールするために必要な権限を持っていません。管理者アカウントを使用してください。

ログインアカウントはインストールするために必要な権限を持っていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

管理者アカウントを使用してインストールしてください。

#### KAVB9429-E

Failed to create a file.

ファイルの作成に失敗しました。

ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

空きディスク容量、空きメモリー容量が十分に確保されているか確認したあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9431-E

The entered value is invalid. [item = 項目名]

入力した値が不正です。[項目：項目名]

入力した値が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

有効な値を設定してください。

#### KAVB9432-W

An error occurred during initial setup. After installation finishes, perform the initial setup again.

初期設定の実行中にエラーが発生しました。インストール終了後、再設定してください。

初期設定の実行中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

jimasetup コマンドのログを確認し、出力されているメッセージの対処方法に従って対処したあと、jimasetup コマンドの引数に phost を指定して実行し、初期設定を完了させてください。

#### KAVB9434-Q

The initial settings are as follows. Do you want to continue installation? (y/n)

初期設定は次の通りです。インストールを続行しますか？ (y/n)

表示した初期設定の値でインストールを続行するか確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

インストールを続行する場合は、y を入力してください。

インストールを続行しない場合は、n を入力してください。

#### KAVB9435-E

An environment variable is not set. [environment variable = 環境変数]

環境変数が設定されていません。[環境変数： 環境変数]

インストール時に設定が必須である環境変数をすべて設定し、再度インストールしてください。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数を設定し、再度インストールしてください。

#### KAVB9436-E

The value set for an environment variable is invalid. [environment variable = 環境変数]

環境変数に設定した値が不正です。[環境変数： 環境変数]

メッセージに表示された環境変数を含むすべての環境変数の設定値を見直したあと、再度インストールしてください。

(S)

処理を中断します。

(O)

設定値を見直したあと、再度インストールしてください。



## KAVB9437-W

Failed to disable the service.

サービスの無効化に失敗しました。

サービスの無効化に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

アンインストール後に、手動でサービスを削除してください。

## KAVB9438-E

At least one required item of information about the connection-destination manager host is not entered.

接続先のマネージャーホストの情報に未入力項目があります。

接続先のマネージャーホストの情報に未入力項目があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

未入力項目に値を設定してください。

## KAVB9439-E

The initial secret you entered did not match the initial secret you entered again for confirmation. Re-enter them both.

初期シークレットと初期シークレット確認が一致しません。再入力してください。

初回接続用シークレットと初回接続用シークレット確認が一致しません。

(S)

処理を続行します。

(O)

再入力してください。

## KAVB9440-E

The proxy authentication password you entered did not match the proxy authentication password you entered again for confirmation. Re-enter them both.

プロキシ認証のパスワードとプロキシ認証のパスワード確認が一致しません。再入力してください。

プロキシ認証のパスワードとプロキシ認証のパスワード確認が一致しません。

(S)

処理を続行します。

(O)

再入力してください。

#### KAVB9441-W

The information required for connecting via a proxy is missing, so the entered value will be ignored.

プロキシ経由で接続する場合の情報が不足しているため、入力値は無効になります。

プロキシ経由で接続する場合の情報が不足しているため、入力値は無効になります。

(S)

処理を続行します。

#### KAVB9444-W

An error occurred during registration of the initial secret. After installation finishes, reregister the initial secret.

初期シークレットの登録中にエラーが発生しました。インストール終了後、再登録してください。

初期シークレットの登録中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

jimasecret コマンドのログを確認し、出力されているメッセージの対処方法に従って対処してください。対処したあと、jimasecret コマンド (-key のキー名にはimmgr.initial\_secret を指定) を実行して、初期シークレットの登録を行ってください。

#### KAVB9445-W

An error occurred during registration of the proxy password. After installation finishes, reregister the proxy password.

プロキシパスワードの登録中にエラーが発生しました。インストール終了後、再登録してください。

プロキシパスワードの登録中にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

jimasecret コマンドのログを確認し、出力されているメッセージの対処方法に従って対処してください。対処したあとは、jimasecret コマンド (-key のキー名に immgr.proxy\_user. 認証 ID を指定) を実行して、プロキシーパスワードの登録を行ってください。

#### KAVB9901-W

This platform is unsupported. Do you want to cancel installation?

このプラットフォームは未サポートです。インストールを中断しますか？

処理を中断してよいかの確認です。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、処理を中断します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を続行します。

(O)

サポートしている OS にインストールしてください。

#### KAVB9902-E

This platform is unsupported. Installation will now be cancelled.

このプラットフォームは未サポートです。インストールを中断します。

このプラットフォームは未サポートです。

(S)

処理を中断します。

(O)

サポート OS にインストールしてください。

#### KAVB9903-E

The login account does not have the permissions necessary for installation. Please log in as a user with administrator permissions.

ログインアカウントはインストールするために必要な権限を持っていません。

管理者アカウントを使用してください。

ログインアカウントはインストールするために必要な権限を持っていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

管理者アカウントを使用してインストールしてください。

## KAVB9906-W

The specified installation path is invalid. Please specify a fixed disk.

インストール先として指定されたパスが不正です。  
固定ディスクを指定してください。

インストール先として指定されたパスが不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

インストール先として指定できるドライブは固定ディスクだけです。指定したパスを確認してから、再度正しいインストールパスを指定してください。

## KAVB9907-E

An attempt to uninstall 製品名 バージョン has failed.

製品名 バージョン のアンインストールに失敗しました。

製品名 バージョン のアンインストールに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

移行時のリカバリー手順に従い、対処してください。

## KAVB9908-E

An attempt to stop the service has failed.

サービスの停止に失敗しました。

サービスの停止に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

## KAVB9910-E

An attempt to copy a file has failed.

ファイルのコピーに失敗しました。

ファイルのコピーに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9912-E

An attempt to open a file has failed.

Unopened file: ファイル名

ファイルのオープンに失敗しました。

オープンに失敗したファイル: ファイル名

ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9913-E

An attempt to access a file has failed.

Inaccessible file: ファイル名

ファイルにアクセスできませんでした。

アクセスできなかったファイル: ファイル名

ファイルにアクセスできませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9914-E

Installation will now be cancelled because information necessary for the installation is insufficient.

インストールに必要な情報が不足しているためインストールを中断します。

インストールに必要な情報が不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

### KAVB9915-E

Information could not be written to the registry.

レジストリに情報を設定できませんでした。

レジストリーに情報を設定できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

### KAVB9916-W

An attempt to register a service into the Services file has failed.

Unregistered service: サービス名 ポート番号/プロトコル

SERVICES ファイルへサービスの登録に失敗しました。

登録に失敗したサービス : サービス名 ポート番号/プロトコル

services ファイルへのサービスの登録に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

インストール完了後に、ダイアログボックスに表示された登録に失敗したサービスをservices ファイルに登録してください。

### KAVB9917-W

An attempt to register the PATH environment variable has failed.

Unregistered path: パス名

環境変数 Path の設定に失敗しました。

登録に失敗した値 : パス名

環境変数Path の設定に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

インストール完了後に、ダイアログボックスに表示された登録に失敗した値を環境変数Pathに登録してください。

## KAVB9918-W

An attempt to acquire a logical host name has failed. Please make sure the (JP1Console\_'logical host name') service of the logical host has stopped, and then continue the installation. Do you want to continue?

設定されている論理ホスト名の取得に失敗しました。

論理ホストのサービス(JP1Console\_論理ホスト名)が停止していることを確認して処理を続行してください。

処理を続行しますか？

設定されている論理ホスト名の取得に失敗しました。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、処理を続行します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

論理ホストのサービス(JP1Console\_論理ホスト名)が起動している場合は、サービスを停止後、処理を続行してください。

## KAVB9919-E

The installation will stop because the (サービス名) service is running.

サービス(サービス名)が起動しているため、処理を中断します。

サービス(サービス名)が起動しているため、処理を中断します。

(S)

処理を中断します。

(O)

サービス名に示されたサービスを停止後、再度インストールを実行してください。

## KAVB9920-E

An attempt to move to 製品名 バージョン failed because the common definition could not be registered.

共通定義情報の登録に失敗したため、製品名 バージョン の移行に失敗しました。

共通定義情報の登録に失敗したため、製品名 バージョンの移行に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

移行時のリカバリー手順に従い、対処してください。

#### KAVB9925-E

A file necessary for installation was not found.  
インストールに必要なファイルが見つかりません。

インストールに必要なファイルが見つかりません。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB9926-E

JP1/Integrated Manager - Central Console has been uninstalled.  
Uninstall JP1/Integrated Manager - Central Scope, and then re-install JP1/Integrated Management - Central Console.  
JP1/Integrated Manager - Central Console がアンインストールされています。  
JP1/Integrated Manager - Central Scope をアンインストールした後、  
再度インストールを実行してください。

JP1/Integrated Manager - Central Console がアンインストールされています。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/Integrated Manager - Central Scope をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9927-E

An attempt to register a service has failed.  
サービスの登録に失敗しました。

サービスの登録に失敗しました。



(S)

処理を中断します。

(O)

コンピュータを再起動したあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9928-E

An attempt to create a file has failed.

ファイルの作成に失敗しました。

ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9929-E

An attempt to acquire common definition information has failed.

共通定義情報の取得に失敗しました。

共通定義情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9933-W

An attempt to delete a port has failed.

Service for the undeleted port: サービス名

ポートの削除に失敗しました。

削除に失敗したサービス : サービス名

ポートの削除に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

- (O)  
インストールが完了したあと、ダイアログに表示された、削除に失敗したサービスを SERVICES ファイルから削除してください。

#### KAVB9934-W

An attempt to delete a path in the PATH environment variable has failed. Undeleted path:

パス名

環境変数 Path の削除に失敗しました。

削除に失敗した値：パス名

環境変数Path の削除に失敗しました。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
インストール完了後に、ダイアログボックスに表示された削除に失敗した値を環境変数Path から削除してください。

#### KAVB9935-E

The installation path specified for 製品名 バージョン cannot be used because it is not on a fixed disk.

製品名 バージョン のインストール先が固定ディスクではないため、インストールできません。

製品名 バージョンのインストール先が、固定ディスクではありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
製品名に示された製品が正しくインストールされていることを確認してください。

#### KAVB9936-E

An attempt to register the common definition information has failed.

共通定義情報の登録に失敗しました。

共通定義情報の登録に失敗しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
JP1/Base が正しくインストールされていることを確認してください。

## KAVB9937-W

There is not enough free space on the disk specified as the installation destination. Specify another disk.

インストール先として指定されたディスクには十分な空き容量がありません。  
他のディスクを指定してください。

インストール先として指定されたディスクには十分な空き容量がありません。

(S)

処理を続行します。

(O)

空き容量が十分にあるドライブを選択してください。

## KAVB9938-E

A prerequisite version of JP1/Base is not installed. The installation will now stop.  
前提バージョンの JP1/Base がインストールされていません。インストールを中断します。

前提バージョンの JP1/Base がインストールされていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

前提バージョンの JP1/Base をインストールしてください。

## KAVB9939-E

An attempt to change the display name of a service has failed. (Service that failed to be changed: サービス名)

サービス表示名の変更に失敗しました。  
変更に失敗したサービス : サービス名

サービス表示名の変更に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

サービス名に表示されたサービスを停止したあと、再度インストールしてください。

## KAVB9940-E

Unsetup has not been performed for the IM database service on the physical host.

物理ホストの IM データベースサービスがアンセットアップされていません。

IM データベースサービスがアンセットアップされていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

jcodbunsetup コマンドおよびjcfdbunsetup コマンドで、IM データベースサービスをアンセットアップしたあと、再度アンインストールしてください。

## KAVB9941-E

Unsetup has not been performed for the IM database service on the logical host. (Logical host name: 論理ホスト名)

論理ホストの IM データベースサービスがアンセットアップされていません。

論理ホスト名: 論理ホスト名

論理ホストの IM データベースサービスがアンセットアップされていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

jcodbunsetup コマンドおよびjcfdbunsetup コマンドで、論理ホストの IM データベースサービスをアンセットアップしたあと、再度アンインストールしてください。

## KAVB9942-Q

To enable the communications encryption function, use the same version of JP1/IM - Manager and JP1/Base. If you want to use the communications encryption function in disabled state, continue the installation. Do you want to continue the installation?

通信暗号化機能を有効にする場合は、JP1/IM - Manager と JP1/Base のバージョンを合わせてください。通信暗号化機能が無効の場合は、インストールを続行してください。インストールを続行しますか？

インストール先システムの構成が通信暗号化を使用できない状況のため、確認します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

- Windows の場合：

インストールを続行する場合は [はい] ボタンをクリックしてください。

インストールを終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

- UNIX の場合：  
インストールを続行する場合は"y"を入力してください。  
インストールを終了する場合は"n"を入力してください。

#### KAVB9943-E

Failed to obtain information about the JP1/Base. The installation will now stop.  
JP1/Base の情報取得に失敗しました。インストールを中断します。

JP1/Base の情報取得に失敗しました。インストールを中断します。

(S)

インストールを中断します。

(O)

- 新規インストールの場合：  
前提バージョンの JP1/Base が正しくインストールされているか確認してください。JP1/Base が正しくインストールされている場合は、システム管理者に連絡してください。
- 上書きインストールまたはバージョンアップインストールの場合：  
前提バージョンの JP1/Base が正しくインストールされているか確認してください。JP1/Base が正しくインストールされている場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KAVB9944-E

Unsetup has not been performed for the Intelligent Integrated Management Database service on the physical host.

インテリジェント統合管理データベースサービスがアンセットアップされていません。

Linux 環境の場合、このメッセージは、Hitachi PP Installer の端末上には出力しません。インストーラーのログだけに出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimgndbunsetup コマンドで、インテリジェント統合管理データベースサービスをアンセットアップしたあと、再度アンインストールを実行してください。

#### KAVB9945-E

Unsetup has not been performed for the Intelligent Integrated Management Database service on the logical host. (Logical host name: 論理ホスト名)

論理ホストのインテリジェント統合管理データベースサービスがアンセットアップされていません。

Linux 環境の場合、このメッセージは、Hitachi PP Installer の端末上には出力しません。インストーラーのログだけに出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimgndbunsetup コマンドで、論理ホストのインテリジェント統合管理データベースサービスをアンセットアップしたあと、再度アンインストールを実行してください。

## KAVB9946-E

An error occurred in the internal processing of the Intelligent Integrated Management Database.

インテリジェント統合管理データベースの内部処理でエラーが発生しました。

Linux 環境の場合、このメッセージは、Hitachi PP Installer の端末上には出力しません。インストーラーのログだけに出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージの対処に従ってください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、必要なファイルが存在しない、またはファイルの実行権限がないことが考えられます。JP1/IM - Manager を上書きインストールしたあと、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAVB9950-E

日立トレースライブラリのインストールに失敗しました。  
JP1/IM-View のインストーラ終了後に  
再度 JP1/IM-View のインストールを実行してください。

日立トレースライブラリのインストールに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インストール処理終了後、再度 JP1/IM - View のインストールを実行してください。

## KAVB9951-E

定義ファイル格納フォルダの退避に失敗しました。

定義ファイル格納フォルダの退避に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールを実行してください。

## KAVB9952-E

統合機能メニューのイメージファイルの退避に失敗しました。

統合機能メニューのイメージファイルの退避に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なサービスを停止させたあと、再度インストールを実行してください。

## KAVB9953-E

定義ファイル格納フォルダの復帰に失敗しました。

定義ファイル格納フォルダの復帰に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

移行時のリカバリ手順に従い、対処してください。

## KAVB9954-E

統合機能メニューのイメージファイルの復帰に失敗しました。

統合機能メニューのイメージファイルの復帰に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

移行時のリカバリ手順に従い、対処してください。

## KAVB9955-E

レジストリから情報を取得できませんでした。

レジストリから情報を取得できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なアプリケーションを停止させたあと、再度インストールを実行してください。

## KAVB9956-E

アクセス権限の追加に失敗しました。

アクセス権限の追加に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なアプリケーションを停止させたあと、再度インストールを実行してください。

## KAVB9957-E

An attempt to delete JRE has failed. (directory: Console パス または View パス¥bin¥jre)

JRE の削除に失敗しました。

ディレクトリ: Console パス または View パス¥bin¥jre

JP1/IM - Manager または JP1/IM - View のプログラムが実行中などによって、J2RE のファイルやディレクトリにアクセスできず、削除に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager または JP1/IM - View のプログラムが実行中の場合は、終了させてください。手動で Console パスまたは View パス¥bin¥jre フォルダを削除したあと、再度インストールを実行してください。

## KAVB9958-W

共通定義情報の登録に失敗しました。ファイル名：ファイル名

共通定義情報の登録に失敗しました。



(S)

処理を継続します。

(O)

インストール完了後に、次のコマンドを実行してください。

jbssetcnf.exe ファイル名

### KAVB9959-E

ログインアカウントはインストールまたはアンインストールするために必要な権限を持っていません。  
管理者アカウントを使用してください。

ログインアカウントは、インストールまたはアンインストールするために必要な権限を持っていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

管理者アカウントを使用してインストールまたはアンインストールしてください。

### KAVB9960-Q

The Rule Operation Viewer becomes unavailable if you update the version of JP1/IM - View. Before updating the version, use the Rule Operation Viewer to migrate rule definitions to JP1/Automatic Operation. Are you sure you want to continue installation?

JP1/IM-View のバージョンアップ後はルールオペレーション・ビューアーを使用できなくなります。ルールオペレーション・ビューアーを使ってルール定義を JP1/Automatic Operation へ移行した後にバージョンアップしてください。インストールを続行しますか？

JP1/IM - View のバージョンアップ後は、ルールオペレーション・ビューアーを使用できなくなります。

(S)

[はい] ボタンをクリックすると、処理を続行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断します。

(O)

JP1/IM - View のインストールを続行する場合は [はい] ボタンをクリックしてください。インストールを中止する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

### KAVB9990-E

Memory is insufficient. Please stop any unnecessary applications, and then execute installation again.

メモリが不足しています。

不要なアプリケーションを停止後、再度インストールしてください。

メモリーが不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なアプリケーションを停止したあと、再度インストールしてください。

#### KAVB9991-E

An internal error has occurred. Acquire the relevant data, and then contact the system administrator.

内部エラーが発生しました。

資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

内部エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

#### KAVB9998-E

An error might exist in the operation. Please install by using HCD\_INST.EXE.

操作に誤りがある可能性があります。HCD\_INST.EXE よりインストールを行ってください。

操作に誤りがある可能性があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

HCD\_INST.EXE からインストールしてください。

#### KAVB9999-E

Code 9999

The media might be defective. Please contact the seller.

コード 9999

媒体不良の可能性があります。購入元にご連絡ください。

媒体不良の可能性があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

購入元にご連絡ください。

## 2.11 関連イベント発行サービスに関するメッセージ (KAJV2001～KAJV3999)

---

### KAJV2002-E

A value set for common definition information (共通定義) is outside the valid range. The default value (デフォルト値) will be used. (valid range = 最小値 to 最大値)

共通定義情報(共通定義)に設定された値が範囲外です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。  
範囲：最小値-最大値

メッセージに表示された共通定義情報に、範囲外の値が設定されています。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を表示された範囲で設定してください。

### KAJV2003-E

A value (設定値) set for common definition information (共通定義) is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

共通定義情報(共通定義)に設定された値(設定値)が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

メッセージに表示された共通定義情報の値に誤りがあります。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を修正してください。

### KAJV2004-E

An attempt to read common definition information (共通定義) has failed. The default value (デフォルト値) will be used. (reason = 要因)

共通定義情報(共通定義)の読み込みに失敗しました。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。要因：要因

メッセージに表示された共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2006-E

A value set for common definition information (共通定義) is outside the valid range. The value (リロードする前の値) from before the reload will be used. (valid range = 最小値 to 最大値)  
共通定義情報(共通定義)に設定された値が範囲外です。リロードする前の値(リロードする前の値)を使用します。 範囲：最小値-最大値

メッセージに表示された共通定義情報に、範囲外の値が設定されています。

(S)

メッセージに表示されたリロードする前の設定値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を表示された範囲で設定してください。

#### KAJV2007-E

A value (設定値) set for common definition information (共通定義) is invalid. The value (リロードする前の値) from before the reload will be used.  
共通定義情報(共通定義)に設定された値(設定値)が不正です。リロードする前の値(リロードする前の値)を使用します

メッセージに表示された共通定義情報の値に誤りがあります。

(S)

メッセージに表示されたリロードする前の設定値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を修正してください。

#### KAJV2008-E

An attempt to read common definition information (共通定義) has failed. The value (リロードする前の値) from before the reload will be used. (reason = 要因)  
共通定義情報(共通定義)の読み込みに失敗しました。リロードする前の値(リロードする前の値)を使用します。 要因：要因

メッセージに表示された共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージに表示されたリロードする前の設定値で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2010-E

Common definition information (共通定義) required for the correlation event generation service has not been set.

相関イベント発行サービスに必要な共通定義情報(共通定義)が設定されていません

相関イベント発行サービスの起動に必要な共通定義情報が設定されていません。

(S)

相関イベント発行サービスを停止します。

(O)

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。

## KAJV2011-E

Common definition information (共通定義) required for the correlation event generation function has not been set.

相関イベント発行機能に必要な共通定義情報(共通定義)が設定されていません

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能の起動に必要な共通定義情報が設定されていません。

(S)

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。

## KAJV2016-W

The number of common exclusion condition groups (extended) exceeds the limit. (maximum number of condition groups = 上限数)

共通除外条件群(拡張)の定義数が上限数を超過しています。(条件群の上限数:上限数)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群の定義数が上限数を超過しています。

(S)

定義済みの条件群数で処理を継続します。

(O)

拡張モードの共通除外条件群の上限数を設定で増やす、または不要な条件群を削除してください。

## KAJV2017-W

The size of a common exclusion condition group (extended) filter exceeds the limit. (condition group maximum size = 上限サイズ)

共通除外条件群(拡張)のフィルターサイズが上限サイズを超えています。(条件群の上限サイズ:上限サイズ)

JP1/IM - Manager に定義されている共通除外条件群のフィルターサイズが上限サイズを超えています。

(S)

定義済みのフィルターサイズで処理を継続します。

(O)

フィルターの上限サイズに収まるように条件群を定義してください。

## KAJV2020-E

The setting for the language code is invalid. English will be assumed, and processing will continue. (set language code = 言語コード)

言語コードの設定が不正です。英語を仮定して処理を続行します。設定された言語コード:言語コード

JP1/IM - Manager でサポートしていない言語コードが環境変数ファイル (jp1co\_env.conf) のLANG に設定されています。

(S)

言語コードの設定を英語にして処理を続行します。

(O)

環境変数ファイル (jp1co\_env.conf) のLANG の設定を見直してください。

## KAJV2021-I

A JP1 event (イベント ID) could not be issued. (reason = 要因)

JP1 イベント(イベント ID)が発行できませんでした。 要因:要因

表示されたイベント ID の JP1 イベントが発行できませんでした。

(S)

イベントの発行を中止します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、起動してください。

イベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2101-I

The correlation event generation service has started.

相関イベント発行サービスを起動しました

相関イベント発行サービスを起動しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2102-I

The correlation event generation service has stopped.

相関イベント発行サービスを停止しました

相関イベント発行サービスを停止しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2103-E

The correlation event generation service has terminated abnormally.

相関イベント発行サービスが異常終了しました

相関イベント発行サービスが異常終了しました。

(S)

相関イベント発行サービスが異常終了しました。

(O)

統合トレースログまたは共通メッセージログを確認し、このメッセージの前には出力されているエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJV2104-I

A termination request was received from process management.

プロセス管理から終了要求を受信しました

プロセス管理から停止要求を受信しました。

(S)

相関イベント発行サービスの停止処理を開始します。



## KAJV2105-I

A reload request was received from process management.  
プロセス管理からリロード要求を受信しました

プロセス管理からリロード要求を受信しました。

(S)

相関イベント発行サービスのリロード処理を開始します。

## KAJV2106-E

An invalid request was received from process management. (request code = 要求コード)  
プロセス管理から不正な要求を受信しました。要求コード:要求コード

プロセス管理から不正な要求を受信しました。

(S)

不正な要求を無視して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2107-E

An attempt to communicate with process management has failed. (reason = 要因)  
プロセス管理との通信に失敗しました。要因:要因

JP1/IM - Manager のプロセス管理プロセスとの通信に失敗しました。

(S)

相関イベント発行サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2108-I

Reload processing has finished.  
リロード処理が完了しました

リロード処理が完了しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2109-E

The log output function could not be initialized. Data cannot be output to the integrated trace log and by-process trace log. (reason = 要因)

ログ出力機能が初期化できませんでした。統合トレースログとプロセス別トレースログに出力できません。要因:要因

- 統合監視 DB を使用していない場合  
 関連イベント発行サービスの起動時に、ログ出力機能を初期化できませんでした。
- 統合監視 DB を使用している場合  
 イベント基盤サービスの関連イベント発行機能の起動時に、関連イベント発行機能のログ出力機能を初期化できませんでした。

(S)

処理を続行しますが、共通メッセージログ以外のログが出力できません。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2110-I

The correlation event generation function has started.

関連イベント発行機能を起動しました

イベント基盤サービスの関連イベント発行機能を起動しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2111-I

The correlation event generation function has stopped.

関連イベント発行機能を停止しました

イベント基盤サービスの関連イベント発行機能を停止しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2112-E

The correlation event generation function has terminated abnormally.

関連イベント発行機能が異常終了しました

イベント基盤サービスの関連イベント発行機能が異常終了しました。

(S)

イベント基盤サービスの関連イベント発行機能が異常終了しました。

(O)

統合トレースログまたは共通メッセージログを確認し、このメッセージの前に出力されているエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJV2151-E

An attempt to obtain the port number has failed. The default port number (20383) will be used. (reason = 要因)

ポート番号の取得に失敗しました。デフォルトのポート番号(20383)を使用します。要因:要因

関連イベント発行サービスが使用するポート番号が取得できませんでした。

(S)

デフォルトのポート番号で処理を続行します。

(O)

services ファイルにサービス名jp1imegs が定義されていることを確認してください。定義されていない場合、サービス名jp1imegs を定義してください。デフォルトのポート番号は 20383 です。定義されている場合、services ファイルが読み取り可能であることを確認してください。読み取り可能である場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2152-E

An attempt to initialize communication processing has failed. (reason = 要因)

通信処理の初期化に失敗しました。要因:要因

関連イベント発行サービスの通信処理の初期化に失敗しました。

(S)

関連イベント発行サービスを停止します。

(O)

ネットワークの設定が誤っているおそれがあります。

統合トレースログまたは共通メッセージログを確認し、このメッセージの前に出力されているエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

ネットワークの設定が誤っていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2153-E

An error occurred while communicating with a command. (reason = 要因)

コマンドとの通信中にエラーが発生しました。要因:要因

コマンドとの通信中にエラーが発生しました。

- (S) 処理を続行します。
- (O) 通信エラーの場合、コマンドを実行中に強制終了していないかを確認してください。  
強制終了していない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2154-E

Communication processing timed out because the command (コマンド) did not respond.  
(timeout time = タイムアウト時間)  
コマンド(コマンド)が応答しないため通信処理がタイムアウトしました。タイムアウト時間:タイムアウト時間

表示されたコマンドから送られた処理要求を関連イベント発行サービスが受け付け結果をコマンドに返信しようとしたが、コマンドが応答しないため通信処理がタイムアウトしました。

- (S) 関連イベント発行サービスはコマンドとの接続を切断し、処理を続行します。
- (O) マネージャーホストが高負荷になっていないかを確認してください。  
高負荷になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2155-E

The data sent from the command (コマンド) is invalid. The sent data will be ignored.  
コマンド(コマンド)から送信されたデータが不正です。送信されたデータを無視します

表示されたコマンドから送られたデータが不正でした。

- (S) 関連イベント発行サービスはコマンドから送られたデータを無視して処理を続行します。
- (O) 表示されたコマンドの実行を途中で中断していないかを確認してください。  
途中で中断していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2156-E

An attempt to initialize communication processing for the correlation event generation service has failed. (IP address = IP アドレス, port number = ポート番号, reason = 要因)

相関イベント発行サービスの通信処理の初期化に失敗しました。IP アドレス:IP アドレス ポート番号:  
ポート番号 要因:要因

相関イベント発行サービスの通信処理の初期化に失敗しました。

(S)

複数 LAN 設定時はエラーが発生した IP アドレスを無視して処理を続行します。

複数 LAN 以外の場合は、相関イベント発行サービスを終了します。

(O)

services ファイルに定義されているサービス名 jplimegs のポート番号がほかのサービスと重複していないことを確認してください。

重複している場合、重複しないようにポート番号を変更してください。

OS の設定やログを確認し、ネットワークが使用できることを確認してください。

上記が該当しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2157-E

The port number of the サービス名 service could not be acquired. The default port number  
ポート番号 will be used now.

サービス名サービスのポート番号を取得できませんでした。ポートポート番号番(デフォルト)を使用  
します。

ポート番号が取得できませんでした。

(S)

デフォルトのポート番号で処理を続行します。

(O)

取得に失敗したサービス名のポート番号がほかのサービスと重複していないことを確認してください。  
重複している場合、重複しないようにポート番号を変更してください。また、OS の設定やログを確認  
し、ネットワークが使用できることを確認してください。

上記に該当しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2161-I

A connection with the event service has been established.

イベントサービスと接続しました

イベントサービスと接続しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2162-I

The connection with the event service has been canceled.  
イベントサービスとの接続を切断しました

イベントサービスとの接続を切断しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2163-E

An attempt to establish a connection with the event service has failed. Another attempt to connect will now be performed. (reason = 要因)  
イベントサービスとの接続に失敗しました。接続をリトライします。要因:要因

イベントサービスとの接続に失敗しました。

(S)

イベントサービスとの接続をリトライします。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動している場合、イベントサービスの設定が正しいかを確認してください。

正しい場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2164-E

An error occurred while connected with the event service. Processing cannot continue.  
(reason = 要因)  
イベントサービスとの接続中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

イベントサービスとの接続中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

関連イベント発行サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2165-E

An error occurred while communicating with the event service. The system will try to communicate again. (reason = 要因)  
イベントサービスと通信中にエラーが発生しました。通信をリトライします。要因:要因

イベントサービスとの通信中にエラーが発生しました。

(S)

イベントサービスとの通信をリトライします。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。

起動している場合、イベントサービスの設定が正しいかを確認してください。

正しい場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2166-E

An error occurred while connected with the event service. Processing cannot continue.  
(reason = 要因)

イベントサービスとの通信中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

イベントサービスとの通信中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

関連イベント発行サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2167-E

An attempt to update the event acquisition filter has failed. (reason = 要因)

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。要因:要因

イベント取得フィルターの更新に失敗しました。

(S)

更新前のフィルターで処理を続行します。

(O)

要因が「イベントサービスとの通信中に一時的なエラーが発生しました」の場合、JP1/Base イベントサービスとの通信でエラーが発生しています。統合トレースログを確認し、イベントサービスに問題が発生していないかを確認してください。

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合、メモリーを確保してください。

## KAJV2168-E

An attempt to update the event acquisition filter failed because a system error occurred.  
(reason = 要因)

システムエラーが発生したためイベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。要因:要因

システムエラーが発生したため、イベント取得フィルターの更新に失敗しました。

(S)

更新前のフィルターで処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2169-E

The received JP1 event could not be stored in memory. (serial number in the event database for the received JP1 event = イベント DB 内通し番号)

受信した JP1 イベントをメモリーに格納できませんでした。受信した JP1 イベントのイベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号

受信した JP1 イベントをメモリーに格納できませんでした。

(S)

格納できなかった JP1 イベントをとばして処理を続行します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2170-E

The definition file for the event acquisition filter was not found.

イベント取得条件定義ファイルが見つかりません

イベント取得条件定義ファイルが見つかりませんでした。

(S)

イベント取得フィルター切り替え時は、切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。関連イベント発行サービス起動時は、イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

JP1/IM - View の [システム環境設定] 画面でイベント取得条件を設定し直してください。

## KAJV2171-E

An attempt to read the definition file for the event acquisition filter has failed. (reason = 要因)

イベント取得条件定義ファイルの読み込みに失敗しました。要因:要因



イベント取得条件定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルター切り替え時は、切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。  
関連イベント発行サービス起動時は、イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

要因が「ファイル入出力エラーが発生しました」の場合、OS のログを確認し、リソース不足が発生していないかを確認してください。

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2172-E

The correlation event generation service will continue processing, using the setting to acquire all JP1 events.

関連イベント発行サービスはすべての JP1 イベントを取得する設定で処理を続行します

イベント取得フィルターの設定に失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJV2173-E

The correlation event generation service will continue processing using the event acquisition filter from before the change.

関連イベント発行サービスは切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します

イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。

(O)

このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJV2174-E

A system error occurred while reading the definition file for the event acquisition filter.  
(reason = 要因)

イベント取得条件定義ファイルが不正です。 要因:要因

イベント取得条件定義ファイルが不正であるため、イベント取得フィルターの設定、または切り替えに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルター切り替え時は、切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。  
関連イベント発行サービス起動時は、イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2175-I

The correlation event generation service will acquire all JP1 events, because the event acquisition filter (for compatibility) is set.

イベント取得フィルター(互換用)が設定されているため関連イベント発行サービスはすべての JP1 イベントを取得します

イベント取得フィルター（互換用）が設定されているため関連イベント発行サービスはすべての JP1 イベントを取得します。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2176-E

A system error occurred while reading to the definition file for the event acquisition filter. (reason = 要因)

イベント取得条件定義ファイルの読み込み中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

システムエラーが発生したため、イベント取得条件定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2177-E

Connection to the event service is not possible because the permission was not set.

イベントサービスに接続するための権限が設定されていないためイベントサービスに接続できません

イベントサービスに接続するための権限が設定されていないためイベントサービスに接続できませんでした。

(S)

関連イベント発行サービスの起動時に発生した場合は、イベントを取得できないため関連イベント発行サービスを停止します。

(O)

JP1/Base のイベントサーバ設定ファイルのusers パラメーターに\*または、SYSTEM (Windows の場合)、root (UNIX の場合) を設定して JP1/Base,JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAJV2178-E

Connection to the event service is not possible because the permission was not set.

イベントサービスに接続するための権限が設定されていないためイベントサービスに接続できません

イベントサービスに接続するための権限が設定されていないためイベントサービスに接続できませんでした。イベント取得フィルターの切り替えに失敗しました。

(S)

イベント取得フィルターの切り替え時に動時に発生した場合は、切り替え前のイベント取得フィルターで処理を続行します。

(O)

JP1/Base のイベントサーバ設定ファイルのusers パラメーターに\*または、SYSTEM (Windows の場合)、root (UNIX の場合) を設定して JP1/Base,JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAJV2179-I

The event acquisition filter definition file was read. The read definitions will be used for processing from the next received event. (filter name = **フィルター名**, last received event = **到着時刻**, serial number in event DB = **イベント DB 内通し番号**)

イベント取得条件定義を読み込みました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(フィルター名:**フィルター名**, 最後に受信したイベント:**到着時刻=到着時刻**, イベント DB 内通し番号=**イベント DB 内通し番号**)

jcochfilter コマンド、または JP1/IM - View からの操作によって、イベント取得条件定義ファイルを読み込みました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から、読み込んだ定義の内容でイベント取得処理をします。関連イベント発行サービスがイベントを受信していない場合、到着時刻と番号は"--"になります。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2180-W

The event acquired from the event service will be ignored because the event contains invalid information. (event database serial number = イベント DB 内通し番号, reason code = 要因コード)

イベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号 要因コード:要因コード

イベントサービスから取得したイベントに不正な情報が含まれていました。このため取得したイベントを無視します。

(S)

不正な情報を含むイベントを無視して処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 要因コードが 3 の場合  
イベントの到着時刻が不正です。マネージャーでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。
- 要因コードが 4 の場合  
イベントの登録時刻が不正です。イベントが登録されたホストでシステムの時刻を確認し、時刻が正しく設定されているか確認してください。

上記で問題がない場合、または上記以外の場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2188-I

An additional common exclusion conditions group was registered. (common exclusion conditions group ID = 共通除外条件群 ID, common exclude conditions group name = 共通除外条件群名, registering user = ユーザー名)

追加共通除外条件群を登録しました。(共通除外群 ID:共通除外条件群 ID, 共通除外群名:共通除外条件群名, 登録ユーザー:ユーザー名)

追加共通除外条件群を登録しました。

## KAJV2190-I

A connection with the event base service has been established.

イベント基盤サービスと接続しました

イベント基盤サービスと接続しました。

## KAJV2191-I

The connection with the event base service has been canceled.

イベント基盤サービスとの接続を切断しました

イベント基盤サービスとの接続を切断しました。

## KAJV2192-E

An attempt to establish a connection with the event base service has failed. Another attempt to connect will now be performed. (reason = 要因)

イベント基盤サービスとの接続に失敗しました。接続をリトライします。要因:要因

イベント基盤サービスとの接続に失敗しました。

(S)

イベント基盤サービスとの接続をリトライします。

(O)

イベント基盤サービスが起動しているか確認してください。起動している場合、イベント基盤サービスの設定が正しいかを確認してください。正しい場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2193-E

An error occurred while connected with the event base service. Processing cannot continue. (reason = 要因)

イベント基盤サービスとの接続中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

イベント基盤サービスとの接続中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

インシデント登録サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2194-E

An error occurred while communicating with the event base service. The system will try to communicate again. (reason = 要因)

イベント基盤サービスとの通信中にエラーが発生しました。通信をリトライします。要因:要因

イベント基盤サービスとの通信中にエラーが発生しました。

(S)

イベント基盤サービスとの通信をリトライします。

(O)

イベント基盤サービスが起動しているか確認してください。起動している場合、イベント基盤サービスの設定が正しいかを確認してください。正しい場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2195-E

An error occurred while connected with the event base service. Processing cannot continue.  
(reason = 要因)

イベント基盤サービスとの通信中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

イベント基盤サービスとの通信中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

インシデント登録サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2201-E

The system profile of the correlation event generation service was not found. The default value will be used.

相関イベント発行サービスのシステムプロファイルが見つかりません。デフォルト値を使用します

相関イベント発行システムプロファイルが見つかりません。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルを作成してください。

#### KAJV2202-E

A setting (設定項目名) for the system profile of the correlation event generation service has not been set. The default value (デフォルト値) will be used.

相関イベント発行サービスのシステムプロファイルに設定項目(設定項目名)が設定されていません。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

相関イベント発行システムプロファイルに設定項目が設定されていません。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルに設定項目を設定してください。

### KAJV2203-E

The value (設定値) set for a setting (設定項目) in the system profile of the correlation event generation service is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

相関イベント発行サービスのシステムプロファイルの設定項目(設定項目)に設定された値(設定値)が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

相関イベント発行システムプロファイルの表示された設定項目の値が不正です。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルの表示された設定項目の値を正しく設定してください。

### KAJV2204-E

An attempt to read the system profile of the correlation event generation service has failed. The default value will be used. (reason = 要因)

相関イベント発行サービスのシステムプロファイルの読み込みに失敗しました。デフォルト値を使用します。要因:要因

相関イベント発行システムプロファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルが読み込み可能かを確認してください。

読み込み可能な場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV2205-E

The system profile of the correlation event generation function was not found. The default value will be used.

相関イベント発行システムプロファイルが見つかりません。デフォルト値を使用します

相関イベント発行機能のシステムプロファイルが見つかりません。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルを作成してください。

#### KAJV2206-E

A setting (設定項目名) for the system profile of the correlation event generation function has not been set. The default value (デフォルト値) will be used.

相関イベント発行機能のシステムプロファイルに設定項目(設定項目名)が設定されていません。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

相関イベント発行システムプロファイルに設定項目が設定されていません。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルに設定項目を設定してください。

#### KAJV2207-E

The value (設定値) set for a setting (設定項目) in the system profile of the correlation event generation function is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

相関イベント発行機能のシステムプロファイルの設定項目(設定項目)に設定された値(設定値)が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

相関イベント発行システムプロファイルの表示された設定項目の値が不正です。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

相関イベント発行システムプロファイルの表示された設定項目の値を正しく設定してください。

#### KAJV2208-E

An attempt to read the system profile of the correlation event generation function has failed. The default value will be used. (reason = 要因)

相関イベント発行システムプロファイルの読み込みに失敗しました。デフォルト値を使用します。要因:要因

相関イベント発行機能のシステムプロファイルの読み込みに失敗しました。



- (S)  
デフォルト値で動作します。
- (O)  
相関イベント発行システムプロファイルが読み込み可能かを確認してください。  
読み込み可能な場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2210-E

An attempt to switch the event acquisition filter failed because the event database contains an invalid event.

イベント DB に不正なイベントが含まれているためイベント取得フィルターの変更に失敗しました

イベント DB に不正なイベントが含まれているためイベント取得フィルターの変更に失敗しました。

- (S)  
変更前のイベント取得フィルターで処理を続行します。
- (O)  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2231-I

The correlation event generation definition file will now be read. (file name = ファイル名)

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) を読み込みます

相関イベント発行定義ファイルを読み込みます。

- (S)  
処理を続行します。

#### KAJV2232-I

The read definitions will be used for processing from the next received JP1 event. (number of definitions = 有効な定義数/ファイル内の全定義数, time of last received event = 到着時刻, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号)

次に受信した JP1 イベントから読み込んだ相関イベント発行定義で処理されます。(定義数:有効な定義数/ファイル内の全定義数, 最後に受信したイベント:到着時刻=到着時刻, イベント DB 内通し番号 = イベント DB 内通し番号)

jcoegschange コマンドによって相関イベント発行定義ファイルを読み込みました。表示されるイベント DB 内通し番号で示されるイベントの次から読み込んだ相関イベント発行定義の内容で相関イベント発行処理をします。

(S)

処理を続行します。

#### KAJV2233-I

The correlation event generation definition has not been applied.

相関イベント発行定義が適用されていません

相関イベント発行定義が適用されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

相関イベント発行機能を使用する場合は、相関イベント発行定義ファイルを作成し、jcoegschange コマンドを使用して適用してください。

#### KAJV2234-I

The correlation event generation function has stopped.

相関イベント発行機能を停止しました

相関イベント発行機能を停止しました。

(S)

処理を停止します。

#### KAJV2235-E

The correlation event generation definition file was not found. (file name = ファイル名)

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) が見つかりません

相関イベント発行定義ファイルが見つかりません。

(S)

処理を続行します。

(O)

jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度定義してください。

#### KAJV2236-E

There is an error in the contents of the correlation event generation definition file. (file name = ファイル名, line = 行番号, incorrect contents = 不正内容)

相関イベント発行定義ファイル（ファイル名）の記載内容に間違いがあります。行番号:行番号 不正内容:不正内容

相関イベント発行定義ファイルの内容に誤りがあります。

(S)

相関イベント発行定義を変更しないで処理を続行します。

(O)

不正内容から要因を特定し、相関イベント発行定義を見直してください。

要因を取り除いてから jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度定義してください。

再実行してもエラーが発生する場合は、JP1/IM - Manager の資料採取ツールを使用して資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2238-E

An attempt to read the correlation event generation definition file failed because a file I/O error occurred. (file name = ファイル名)

ファイル入出力エラーが発生したため、相関イベント発行定義ファイルの読み込み（ファイル名）に失敗しました

ファイル入出力エラーのため相関イベント発行定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

OS のファイル入出力が過負荷状態になっていないことを確認してください。

過負荷状態になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2239-E

An attempt to read the correlation event generation definition file has failed. (file name = ファイル名, reason = 要因)

相関イベント発行定義ファイル（ファイル名）の読み込みに失敗しました。要因:要因

相関イベント発行定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2240-E

Event correlation processing will continue using the correlation event generation definitions from before the update, because an attempt to update the definitions failed.

相関イベント発行定義の更新に失敗したため、更新前の相関イベント発行定義で相関イベント発行処理を続行します

相関イベント発行定義ファイルの更新に失敗しました。

(S)

更新前の相関イベント発行定義で相関イベント発行処理を続行します。

(O)

このメッセージの直前に出力されるメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJV2242-I

The correlation event generation definition file has been read, and the definitions for the correlation event generation function have been updated. (file name = ファイル名)

相関イベント発行定義ファイル（ファイル名）を読み込み、相関イベント発行機能に反映しました

相関イベント発行定義ファイルを読み込み、相関イベント発行機能に反映しました。

## KAJV2243-I

The correlation event generation function has been restarted.

相関イベント発行機能を再開しました

相関イベント発行機能を再開しました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2244-I

The correlation event generation definition storage file will now be read.

相関イベント発行定義保存ファイルを読み込みます

- 統合監視 DB を使用していない場合  
相関イベント発行サービスが相関イベント発行定義保存ファイルを読み込みます。
- 統合監視 DB を使用している場合  
イベント基盤サービスの相関イベント発行機能が相関イベント発行定義保存ファイルを読み込みます。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2245-E

The correlation event generation definition storage file was not found.

相関イベント発行定義保存ファイルが見つかりません

相関イベント発行定義保存ファイルが見つかりませんでした。

(S)

相関イベント発行定義を設定していない状態で処理を続行します。

(O)

jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度反映してください。

## KAJV2246-E

An incorrect definition was detected because the correlation event generation definition storage file is corrupt. (line = 行番号, incorrect contents = 不正内容)

相関イベント発行定義保存ファイルが壊れているため定義不正が検出されました。 行番号:行番号 不正内容:不正内容

相関イベント発行定義保存ファイルが壊れているため定義不正が検出されました。

(S)

不正箇所を無視して処理を続行します。

相関イベント発行条件に不正がある場合は、不正のある相関イベント発行条件を無視して処理を続行します。

(O)

jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度反映してください。

## KAJV2248-E

An attempt to read the correlation event generation definition storage file failed because a file I/O error occurred.

ファイル入出力エラーが発生したため、相関イベント発行定義保存ファイルの読み込みに失敗しました

ファイル入出力エラーが発生したため、相関イベント発行定義保存ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

相関イベント発行定義を設定していない状態で処理を続行します。

(O)

OS のファイル入出力が過負荷状態になっていないことを確認してください。過負荷状態になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2249-E

An attempt to read the correlation event generation definition storage file has failed. (reason = 要因)

相関イベント発行定義保存ファイルの読み込みに失敗しました。要因:要因

相関イベント発行定義保存ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

相関イベント発行定義を設定していない状態で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2250-I

The correlation event generation definition storage file has been read, and the definitions for the correlation event generation function have been updated.

相関イベント発行定義保存ファイルを読み込み、相関イベント発行機能に反映しました

相関イベント発行定義保存ファイルを読み込みました。

(S)

処理を続行します。

## KAJV2251-E

The size of the correlation event generation definition file (ファイル名) exceeds the upper limit (最大値 MB).

相関イベント発行定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大値 MB)を超えています

相関イベント発行定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

相関イベント発行定義を変更せずに処理を続行します。

(O)

指定した相関イベント発行定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度反映してください。

## KAJV2252-E

The size of the correlation event generation definition storage file exceeds the upper limit (最大値 MB).

相関イベント発行定義保存ファイルのファイルサイズが最大値(最大値 MB)を超えています

相関イベント発行定義保存ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

相関イベント発行定義を設定していない状態で処理を続行します。

(O)

jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度定義してください。

## KAJV2301-W

A JP1 event (event ID = イベント ID, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号) could not be correlated because the correlation event generation condition (相関イベント発行条件名) has already correlated 最大数 pairs of JP1 events.

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名)はすでに最大数組の JP1 イベントを相関しているため JP1 イベント(イベント ID=イベント ID, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号)を相関できませんでした

一つの相関条件は同時相関数 (CORRELATION\_NUM) で指定した数 (指定しない場合 10) の組の JP1 イベントを同時に相関できます。

メッセージに表示された発行条件がすでに最大数組の JP1 イベントを相関しているため、受信した JP1 イベントに対する発行処理ができませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

発行条件を見直してください。

- タイムアウト時間が不要に長く設定されていないかを確認してください。
- イベント条件の組み合わせが正しいことを確認してください。

## KAJV2302-E

The event (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号) conforming to the correlation event generation condition (correlation event generation condition name = 発行条件名) could not be correlated. (reason = 要因)

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:発行条件名)に合致したイベント(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号)を相関できませんでした。 要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合

発行処理が続行できないため、関連イベント発行サービスを停止します。

- ・統合監視 DB を使用している場合

発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの関連イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2303-E

The correlation event generation condition (condition name = 関連イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号) changed to the correlating state, but correlation processing was cancelled because a system error occurred. (reason = 要因)

関連イベント発行条件(関連イベント発行条件名:関連イベント発行条件名, 発行処理番号:発行処理番号)が関連状態になりましたが、システムエラーが発生したため発行処理を中断しました。 要因:要因

関連イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合

処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合

発行処理が続行できないため、関連イベント発行サービスを停止します。

- ・統合監視 DB を使用している場合

発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの関連イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2304-E

The correlation event generation condition (condition name = 関連イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号) exceeded the timeout time, but a system error occurred during timeout processing. (reason = 要因)



相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:相関イベント発行条件名, 発行処理番号:発行処理番号)がタイムアウト時間を過ぎましたが, タイムアウト処理中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため, 相関イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため, イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は, メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAJV2305-E

The correlation event generation condition (condition name = 相関イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号) changed to the 相関状態 state, but a system error occurred while registering an JP1 event. (reason = 要因)

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:相関イベント発行条件名, 発行処理番号:発行処理番号)が相関状態になりましたが, JP1 イベントを登録中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため, 相関イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため, イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は, メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2308-E

The correlation event generation condition (condition name = 相関イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号) changed to the 相関状態 state, but a system error occurred while outputting to the correlation event generation history. (reason = 要因)

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:相関イベント発行条件名, 発行処理番号:発行処理番号)が相関状態になりましたが、イベント発行履歴への出力中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

### (S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため、相関イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

### (O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2309-W

The correlation event generation condition (condition name = 相関イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号) changed to the 相関状態 state, but the correlation data being processed could not be deleted from memory. (reason = 要因)

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:相関イベント発行条件名, 発行処理番号:発行処理番号)が相関状態になりましたが、メモリーから相関中のデータを削除することができませんでした。要因:要因

相関イベント発行処理中にエラーが発生しましたため、表示された発行条件とイベントに対する発行処理ができませんでした。

### (S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合

発行処理が続行できないため、 相関イベント発行サービスを停止します。

- ・統合監視 DB を使用している場合

発行処理が続行できないため、 イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2310-E

A system error occurred while deleting a correlation event generation condition during correlation. Information on the trigger for deleting the correlation event generation condition cannot be correctly output to the history file. (reason = 要因)

相関イベント発行処理中の相関イベント発行条件を削除するときにシステムエラーが発生しました。相関イベント発行条件を削除する契機情報が履歴ファイルに正しく出力できません。要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2311-E

Information from when the correlation event generation service was stopped could not be saved. (unsaveable information = 保存できなかった情報, reason = 要因)

相関イベント発行サービスの停止時の情報を保存することができませんでした。保存できなかった情報=保存できなかった情報 要因:要因

相関イベント発行サービスの停止時に、停止状態を保存できませんでした。

次回起動時に表示された情報を引き継ぐことができません。

(S)

停止処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2312-E

Information from the last termination could not be restored. (unrestorable information = 復元できない情報, reason = 要因)

前回停止時の情報を復元することができません。復元できない情報=復元できない情報 要因:要因

関連イベント発行機能の引き継ぎ情報を復元できませんでした。

(S)

起動処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2313-E

A system error occurred while correlating an event using the correlation event generation condition. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, condition name = 関連イベント発行条件名, reason = 要因)

関連イベント発行条件(関連イベント発行条件名:関連イベント発行条件名)でイベント(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号)を関連処理中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

関連イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため、関連イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの関連イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2314-E

A system error occurred during timeout processing for the data being correlated. (reason = 要因)

関連中データのタイムアウト処理中にシステムエラーが発生しました。 要因:要因

相関イベント発行処理中データのタイムアウト処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため、相関イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2315-E

A system error occurred during processing for a correlation that was not established. (reason = 要因)

相関の不成立処理でシステムエラーが発生しました。 要因:要因

相関の不成立処理でシステムエラーが発生しました。

(S)

要因が「メモリー不足が発生しました」の場合  
処理を続行します。

要因が上記以外の場合

- ・統合監視 DB を使用していない場合  
発行処理が続行できないため、相関イベント発行サービスを停止します。
- ・統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。

メモリー不足以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2316-W

The status of the correlation processing at the time the service stopped previously could not be inherited because the event acquisition starting position was set at 0-144 and the service was started.

イベント取得開始位置に 0~144 を設定して起動されたため、前回停止時の相関処理の状態を引き継ぎませんでした

イベント取得開始位置に 0~144 を設定してセントラルコンソールが起動されたため、前回停止時の相関処理の状態を引き継がないで相関処理を再開しました。

(S)

前回停止時の相関処理の状態は相関イベント発行履歴ファイルに出力します。イベント取得開始位置以降に発生した JP1 イベントからイベント相関処理を再開します。

(O)

イベント取得開始位置の設定を見直してください。

## KAJV2317-E

Information from when the correlation event generation function was stopped could not be saved. (unsaveable information = 保存できなかった情報, reason = 要因)

相関イベント発行機能の停止時の情報を保存することができませんでした。保存できなかった情報=保存できなかった情報 要因:要因

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止した時に、停止状態を保存できませんでした。

次回起動時に表示された情報を引き継ぐことができません。

(S)

停止処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2320-E

The correlation event could not be generated. (reason = 要因, event ID = イベント ID, condition name = 相関イベント発行条件名, correlation number = 発行処理番号)

相関イベントが発行できませんでした。 要因:要因 イベント ID:イベント ID 相関イベント発行条件名:相関イベント発行条件名 発行処理番号:発行処理番号

相関イベントが発行できませんでした。

(S)

イベントの発行を中止します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。  
イベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2321-E

An attempt to create a correlation event has failed. (attribute name = 属性名, reason = 要因)  
相関イベントの作成に失敗しました。属性名：属性名 要因：要因

相関イベントの作成に失敗しました。

(S)

イベントの発行を中止します。

(O)

相関イベント発行定義の SUCCESS\_EVENT または FAIL\_EVENT に設定した属性値の定義が属性値の最大長を超えていないか確認してください。

## KAJV2322-W

A JP1 event (event ID = イベント ID, serial number in the event database = イベント DB 内通し番号) could not be correlated because the number of correlated JP1 event pairs has reached the upper limit (20,000).  
相関中の JP1 イベントの組が上限(20000 組)に達しているため JP1 イベント (イベント ID=イベント ID, イベント DB 内通し番号=イベント DB 内通し番号) を相関できませんでした

相関中の JP1 イベントの組が上限 (20,000 組) に達しました。

(S)

イベント条件に一致する JP1 イベントが新たに発行された場合、相関を行わないで処理を続行します。  
すでに発行処理中の JP1 イベントの組は相関されます。  
このメッセージは相関中の JP1 イベントの組が上限に達したときに出力されたあと、相関中の JP1 イベントの組が 16,000 組以下になるまでは再度出力されません。

(O)

発行処理中の JP1 イベントをすべてクリアする場合は、次のどれかの操作をしてください。

- jcoegschange コマンドを実行し、相関イベント発行定義を反映し直す。
- 相関イベント発行機能の起動オプションを cold に設定して、JP1/IM - Manager を再起動する。
- jcoegsstop コマンドを実行して相関イベントの発行処理を停止したあと、jcoegsstart コマンドを実行し、発行処理を再開する。

## KAJV2324-E

There is no event correlation information for when the correlation event generation service stopped.

相関イベント発行サービス停止時のイベント相関情報が存在しません

相関イベント発行サービス停止時に正しく終了処理が行われなかったため、イベント相関情報が存在しません。

(S)

相関イベント発行サービス起動時の起動オプションの設定に関係なく、cold スタートと同様の動作で処理を開始します。

(O)

統合トレースログを確認し、相関イベント発行サービスのエラーメッセージ (KAJV2001~KAJV3999 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2325-E

There is no event correlation information for when the correlation event generation function stopped.

相関イベント発行機能停止時のイベント相関情報が存在しません

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止した時に正しく終了処理が行われなかったため、イベント相関情報が存在しません。

(S)

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能で、起動時の起動オプションをどのように設定したかに関係なく、cold スタートと同様の動作で処理を開始します。

(O)

統合トレースログを確認し、イベント基盤サービスの相関イベント発行機能のエラーメッセージ (KAJV2001~KAJV3999 のエラーメッセージ) が出力されているか確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2401-E

The correlation event generation history file could not be created. The history cannot be output.

相関イベント発行履歴ファイルを作成できませんでした。相関イベント発行履歴を出力することができません



相関イベント発行履歴ファイルを作成できませんでした。相関イベント発行履歴を出力できません。

(S)

相関イベント発行履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

相関イベント発行履歴ファイルを入れるディレクトリに書き込み権限が設定されているか確認してください。

書き込み権限がある場合、メモリーやファイルディスクリプタなどの OS のリソースが不足していないか確認してください。

## KAJV2402-E

A system error occurred while outputting the correlation event generation history. (reason = 要因)

相関イベント発行履歴の出力中にシステムエラーが発生しました。要因:要因

相関イベント発行履歴の出力中にシステムエラーが発生したため相関イベント発行履歴を出力できませんでした。

(S)

相関イベント発行履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2403-E

An I/O error occurred while outputting the correlation event generation history.

相関イベント発行履歴の出力中に入出力エラーが発生しました

相関イベント発行履歴の出力中に入出力エラーが発生したため発行履歴を出力できませんでした。

(S)

相関イベント発行履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

相関イベント発行履歴ファイルに書き込み権限が設定されているか確認してください。

書き込み権限がある場合、メモリーやファイルディスクリプタなどの OS のリソースが不足していないか確認してください。

## KAJV2404-E

A memory shortage occurred while outputting the correlation event generation history.

相関イベント発行履歴の出力中にメモリー不足が発生しました

相関イベント発行履歴の出力中にメモリー不足が発生したため相関イベント発行履歴を出力できませんでした。

(S)

相関イベント発行履歴を出力しないで処理を続行します。

(O)

OS のログを確認し、メモリーが不足していないか確認してください。

メモリーが不足している場合、メモリーを確保してください。

## KAJV2500-I

The correlation event issuing service will use the **使用する共通除外条件. : 論理ホスト名**  
相関イベント発行サービスは**使用する共通除外条件**を使用します:**論理ホスト名**

相関イベント発行サービスは、**使用する共通除外条件**を使用します。

(S)

処理を継続します。

## KAJV2501-W

The correlation event issuing service cannot use common exclusion condition groups (extended) because an event acquisition filter (for compatibility) is set.

イベント取得フィルター(互換用)が設定されているため相関イベント発行サービスは共通除外条件群(拡張)を使用できません

イベント取得フィルター（互換用）が設定されているため、相関イベント発行サービスは拡張モードの共通除外条件群を使用できません。

(S)

イベント取得フィルター（互換用）で処理を継続します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、イベント取得フィルターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更する必要があります。

`jcochafmode` コマンドを使い、イベント取得フィルターの位置をイベントコンソールサービスからイベント基盤サービスに変更してから、`JP1/IM - Manager` を再起動してください。

`jcochafmode` コマンドでイベント取得フィルターの位置を一度変更すると戻せないため、注意してください。

共通除外条件群を拡張しない場合、次に示す `JP1/IM - Manager` の `jcochcefmode` コマンドを実行し、共通除外条件群の動作モードを基本モードにしてください。

`jcochcefmode -m default [-h 論理ホスト名]`

## KAJV2502-W

The correlation event issuing service cannot use common exclusion condition groups (extended) because the regular expressions used by JP1/Base are not extended. The correlation event issuing service will start without any common exclusion condition groups (extended) being set.

JP1/Base で使用する正規表現を拡張していないため、関連イベント発行サービスは共通除外条件群(拡張)を使用できません。共通除外条件群(拡張)が設定されていない状態で起動します。

JP1/Base で使用する正規表現を拡張していないため、関連イベント発行サービスは拡張モードの共通除外条件群を使用できません。

(S)

共通除外条件群が未定義の状態を仮定して処理を継続します。

(O)

共通除外条件群を拡張するには、JP1/Base で使用する正規表現を拡張する必要があります。JP1/Base の正規表現を拡張してから JP1/IM - Manager を再起動してください。

正規表現を拡張すると JP1/Base および JP1/IM の機能に影響があります。拡張する方法については、JP1/Base のマニュアルを参照してください。

共通除外条件群を拡張しない場合、次に示す JP1/IM - Manager の `jcochcefmode` コマンドを実行し、拡張モードの共通除外条件群が設定されていない状態で起動してください。

```
jcochcefmode -m normal [-h 論理ホスト名]
```

## KAJV2503-E

An error occurred during reading of the common exclusion conditions extended definition file.  
(cause = 要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。(要因:要因)

共通除外条件拡張定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

イベント取得フィルター切り替え時は、切り替える前のイベント取得フィルターで処理を続行します。関連イベント発行サービス起動時は、イベント取得フィルターに何も設定していない状態で処理を続行します。

(O)

次の要因の場合、定義ファイルが壊れている可能性があります。JP1/IM - Manager を停止し、共通除外条件の動作モードを一度基本モードに変更してから再度拡張モードに変更して共通除外条件（拡張）定義を初期化してください。

- 「定義ファイルに誤りがあります。」

次の要因の場合、十分なメモリーを確保したあと、再度実行してください。

- 「メモリ不足が発生しました。」

次の要因の場合、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。

- 「定義ファイル読み込み時に I/O エラーが発生しました。」

そのほかの要因または問題が解決されない場合は、次の OS のログを確認してください。

- Windows の場合：Windows イベントログ
- UNIX の場合：シスログ (syslog)

OS のログを確認後、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかどうかを確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2901-E

A system error occurred. (reason = 要因)  
システムエラーが発生しました。要因:要因

システムエラーが発生しました。

(S)

エラーの発生した処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2902-E

An error occurred during an abnormal termination of the correlation event generation service. The service will now be forced to terminate. (reason = 要因)  
相関イベント発行サービスの異常終了時にエラーが発生しました。強制終了します。要因:要因

相関イベント発行サービスの異常終了時にエラーが発生しました。

(S)

相関イベント発行サービスを強制終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2903-E

Processing cannot continue because an error occurred while the correlation event generation service was starting. (reason = 要因)  
相関イベント発行サービスの起動中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

相関イベント発行サービスの起動中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

相関イベント発行サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2904-E

An error occurred while the correlation event generation service was stopping. The correlation event generation service cannot terminate normally. A forced termination will now be performed. (reason = 要因)

相関イベント発行サービスの停止中にエラーが発生しました。相関イベント発行サービスを正常に終了することができません。強制終了します。 要因:要因

相関イベント発行サービスの停止時にエラーが発生しました。

(S)

相関イベント発行サービスを強制終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV2905-E

A system error occurred while correlating an event using the correlation event generation condition. (serial number in the event database = イベント DB 内通し番号, generation condition name = 発行条件名, reason = 要因)

相関イベント発行条件(相関イベント発行条件名:発行条件名)でイベント(イベント DB 内通し番号:イベント DB 内通し番号)を相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。 要因:要因

相関イベント発行処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

- 統合監視 DB を使用しない場合  
発行処理が続行できないため、相関イベント発行サービスを停止します。
- 統合監視 DB を使用している場合  
発行処理が続行できないため、イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2906-E

Processing cannot continue because an error occurred while the correlation event generation function was starting. (reason = 要因)

相関イベント発行機能の起動中に続行不可能なエラーが発生しました。要因:要因

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能の起動中に続行不可能なエラーが発生しました。

(S)

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を停止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV2907-E

An error occurred while the correlation event generation function was stopping. The correlation event generation function cannot terminate normally. A forced termination will now be performed. (reason = 要因)

相関イベント発行機能の停止中にエラーが発生しました。相関イベント発行機能を正常に終了することができません。強制終了します。要因:要因

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能の停止時にエラーが発生しました。

(S)

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能を強制終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3002-E

A value set for common definition information (共通定義) is outside the valid range. The default value (デフォルト値) will be used. (valid range = 最小値 to 最大値)

共通定義情報(共通定義)に設定された値が範囲外です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。  
範囲:最小値-最大値

メッセージに表示された共通定義情報に、範囲外の値が設定されています。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を表示された範囲で設定してください。

## KAJV3003-E

A value set (設定値) for common definition information (共通定義) is invalid. The default value (デフォルト値) will be used.

共通定義情報(共通定義)に設定された値(設定値)が不正です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します

メッセージに表示された共通定義情報の値に誤りがあります。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

共通定義情報の値を修正してください。

## KAJV3004-E

An attempt to read common definition information (共通定義) has failed. The default value (デフォルト値) will be used. (reason = 要因)

共通定義情報(共通定義)の読み込みに失敗しました。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。 要因:要因

メッセージに表示された共通定義情報の読み込みに失敗しました。

(S)

メッセージに表示されたデフォルトの値で処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3010-E

Common definition information (共通定義) required for the コマンド command has not been set. コマンドに必要な共通定義情報(共通定義)が設定されていません

コマンドの起動に必要な共通定義情報が設定されていません。

(S)

デフォルト値で動作します。

(O)

JP1/IM - Manager を再インストールしてください。

## KAJV3021-E

An unsuitable parameter (引数) has been specified.

不適切な引数(引数)が指定されています

不適切な引数が指定されています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

引数を見直して再実行してください。

#### KAJV3022-E

The parameter (引数) value has not been specified.

引数(引数)の値が指定されていません

表示された引数に必要な値が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

引数に値を指定して再実行してください。

#### KAJV3023-E

The parameter (引数) value is invalid.

引数(引数)の値が不正です

表示された引数に指定した値が不正です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

引数に正しい値を指定して再実行してください。

#### KAJV3024-E

Duplicated parameters (引数) cannot be specified.

引数(引数)は重複して指定できません

表示された引数は重複して指定することはできません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

引数を見直して再実行してください。



## KAJV3025-E

Parameters (引数 1, 引数 2) cannot be simultaneously specified.

引数(引数 1, 引数 2)は同時に指定できません

表示された引数は同時に指定することはできません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

引数を見直して再実行してください。

## KAJV3026-E

Specify the parameter (引数).

引数(引数)を指定してください

必須の引数が指定されていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

表示された引数を指定してください。

## KAJV3027-E

An unsuitable logical host name has been specified.

不適切な論理ホスト名が指定されています

存在しないホスト名か、JPI\_DEFAULT が指定されています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

論理ホスト名を見直して再実行してください。

## KAJV3040-E

You do not have execution permission.

実行権限がありません

コマンドを実行するための権限がありません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

実行するコマンドを使用できる実行権限を持ったユーザーでログインし直して、再実行してください。

#### KAJV3041-E

A processing timeout occurred because the correlation event generation service did not respond.

相関イベント発行サービスが応答しないため処理がタイムアウトしました

相関イベント発行サービスが応答しないためコマンドの処理がタイムアウトしました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

相関イベント発行サービスまたは OS が過負荷状態になっているおそれがあります。時間をおいて再度コマンドを実行してください。

#### KAJV3042-E

An attempt to establish a connection with the correlation event generation service has failed. Check whether the event correlation service is running.

相関イベント発行サービスとの接続に失敗しました。相関イベント発行サービスが起動しているか確認してください

相関イベント発行サービスとの接続に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

相関イベント発行サービスが起動しているか確認してください。

#### KAJV3043-E

A processing timeout occurred because the event base service did not respond.

イベント基盤サービスが応答しないため処理がタイムアウトしました

イベント基盤サービスが応答しないためコマンドの処理がタイムアウトしました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

イベント基盤サービスまたは OS が過負荷状態になっているおそれがあります。時間をおいて再度コマンドを実行してください。

#### KAJV3044-E

An attempt to establish a connection with the event base service has failed. Check whether the event base service is running.

イベント基盤サービスとの接続に失敗しました。イベント基盤サービスが起動しているか確認してください

イベント基盤サービスとの接続に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

イベント基盤サービスが起動しているか確認してください。

#### KAJV3101-E

An I/O error occurred while communicating with the correlation event generation service.

関連イベント発行サービスとの通信で入出力エラーが発生しました

関連イベント発行サービスとの通信中に入出力エラーが発生し、通信に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

関連イベント発行サービスでエラーが発生していないかを、統合トレースログで確認してください。確認後、再度コマンドを実行してください。

#### KAJV3102-E

Invalid data was received from the correlation event generation service.

関連イベント発行サービスから不正なデータを受信しました

関連イベント発行サービスから不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

関連イベント発行サービスでエラーが発生していないかを、統合トレースログで確認してください。

確認後、再度コマンドを実行してください。

### KAJV3103-E

An I/O error occurred while communicating with the event base service.

イベント基盤サービスとの通信で入出力エラーが発生しました

イベント基盤サービスとの通信中に入出力エラーが発生し、通信に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

イベント基盤サービスでエラーが発生していないか統合トレースログで確認してください。

確認後、再度コマンドを実行してください。

### KAJV3104-E

Invalid data was received from the event base service.

イベント基盤サービスから不正なデータを受信しました

イベント基盤サービスから不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

イベント基盤サービスでエラーが発生していないか統合トレースログで確認してください。

確認後、再度コマンドを実行してください。

### KAJV3201-I

The correlation event generation definition file (ファイル名) has been read, and the definitions for the correlation event generation function on (ホスト名) have been updated.

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) を読み込み、ホスト名の相関イベント発行機能に反映しました

メッセージに表示されたホストの相関イベント発行定義ファイルを読み込み、相関イベント発行機能を稼働状態にしました。

### KAJV3205-E

There is an invalid definition in the correlation event generation definition.

相関イベント発行定義に不正な定義があります

相関イベント発行定義に不正な定義があります。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

統合トレースログに出力されるメッセージに従って、不正箇所を修正してください。

## KAJV3206-E

An attempt to update the correlation event generation definition for **ホスト名** has failed.  
(reason = **要因**)

**ホスト名**の相関イベント発行定義の更新に失敗しました。要因:**要因**

- 統合監視 DB を使用していない場合  
相関イベント発行サービスでエラーが発生したため、相関イベント発行定義の更新に失敗しました。
- 統合監視 DB を使用している場合  
イベント基盤サービスの相関イベント発行機能でエラーが発生したため、相関イベント発行定義の更新に失敗しました。

(S)

- 統合監視 DB を使用していない場合  
相関イベント発行サービスは、更新操作前の状態で処理を続行します。
- 統合監視 DB を使用している場合  
イベント基盤サービスの相関イベント発行機能は、更新操作前の状態で処理を続行します。

(O)

- 「他のコマンドが実行中です」  
jcoegschange コマンドが相関イベント発行定義ファイルを変更しているか、jcoegsstatus コマンドが相関イベント発行定義ファイルを参照しているため、処理をリトライしましたが反映できませんでした。再実行してください。
- 「入出力エラーが発生しました」  
Windows の場合は Windows イベントログ、UNIX の場合は syslog ファイルを確認し、ファイル容量不足やファイル入出力に関する OS のエラーが発生していないか確認してください。  
発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 「メモリー不足が発生しました」  
メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。  
メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 上記以外の場合

統合トレースログを確認し、関連イベント発行サービスのエラーが出力されていないかを確認してください。

出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従って対処してください。

### KAJV3209-E

The correlation event generation definition file for **ホスト名** was not found. (file name = **ファイル名**)

**ホスト名**の関連イベント発行定義ファイル（**ファイル名**）が見つかりません

関連イベント発行定義ファイルが見つかりません。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。
- (O)  
jcoegschange コマンドを実行し、再度関連イベント発行定義ファイルを設定してください。

### KAJV3211-E

The correlation event generation service is currently performing **処理** processing.

関連イベント発行サービスが**処理**処理中です

関連イベント発行サービスが起動または停止処理中のためコマンドの処理ができません。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。
- (O)  
関連イベント発行サービスが起動中の場合は、jco\_spm�\_status で起動を確認したあとに実行してください。関連イベント発行サービスが停止中の場合は、コマンドの処理が実行できません。実行する場合は、関連イベント発行サービスを起動したあとに、コマンドを実行してください。

### KAJV3212-E

Inappropriate characters were specified in the correlation event generation definition file name.

指定された関連イベント発行定義ファイル名に不適切な文字が使用されています。

指定された関連イベント発行定義ファイル名に不適切な文字が使用されています。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
指定したファイル名に不適切な文字（英数字とアンダースコア「\_」以外の文字）が使用されていないか確認してください。

#### KAJV3214-E

The extension of the specified correlation event generation definition file is not conf.  
指定された相関イベント発行定義ファイルの拡張子が conf ではありません

指定された相関イベント発行定義ファイルの拡張子がconf ではありません。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
相関イベント発行定義ファイル名には拡張子conf を付けてください。

#### KAJV3215-E

The directory cannot be specified for a correlation event generation definition file.  
相関イベント発行定義ファイルにディレクトリは指定できません

相関イベント発行定義ファイルにディレクトリは指定できません。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
相関イベント発行定義ファイルの格納パスに格納されたファイルのファイル名を指定してください。

#### KAJV3216-E

An invalid file name was specified for the correlation event generation definition file.  
相関イベント発行定義ファイル名に無効なファイル名が指定されました

無効なファイル名のため読み込むことができません。

Windows では、拡張子conf を除いたファイル名が以下のファイルは使用できません。

[CON,PRN,AUX,NUL,COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9,LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9]

(例) CON.conf, PRN.conf

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した相関イベント発行定義ファイル名を見直し、再実行してください。

#### KAJV3217-E

The size of the correlation event generation definition file (ファイル名) exceeds the upper limit (最大値 MB).

相関イベント発行定義ファイル(ファイル名)のファイルサイズが最大値(最大値 MB)を超えています

相関イベント発行定義ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した相関イベント発行定義ファイルの内容に余分なコメントや冗長な定義などがないか見直し、再実行してください。

#### KAJV3218-E

The correlation event generation function is currently performing 処理 processing.

相関イベント発行機能が処理処理中です

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能が起動または停止処理中のためコマンドの処理ができません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能が起動中の場合は、jco\_spmc\_status コマンドで起動を確認したあとに実行してください。イベント基盤サービスが停止中の場合は、コマンドの処理が実行できません。実行する場合は、イベント基盤サービスを起動したあとに、コマンドを実行してください。

#### KAJV3261-I

The status of the correlation event generation service for ホスト名 will now be displayed.

ホスト名の相関イベント発行サービスの状態を表示します

相関イベント発行サービスの状態を表示します。

#### KAJV3262-I

The correlation event generation service for ホスト名 has stopped.

ホスト名の相関イベント発行サービスは停止しています

相関イベント発行サービスは停止しています。



(S)

コマンドの処理を終了します。

## KAJV3263-E

An attempt to acquire the status of the correlation event generation service for **ホスト名** has failed. (reason = **要因**)

**ホスト名**の相関イベント発行サービスの状態取得に失敗しました。要因:**要因**

相関イベント発行サービスの状態が取得できないため、状態を表示できませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

要因メッセージごとに次のように対処してください。

- 「他のコマンドが実行中です」

jcoegschange コマンドで相関イベント発行定義ファイルを変更しているか、jcoegsstatus コマンドが相関イベント発行定義ファイルを参照しているため、処理をリトライしましたが参照できませんでした。再実行してください。

- 「入出力エラーが発生しました」

Windows の場合は Windows イベントログ、UNIX の場合は syslog ファイルを確認し、ファイル容量不足やファイル入出力に関する OS のエラーが発生していないか確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 上記以外の場合

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3264-I

The status of the correlation event generation function for **ホスト名** will now be displayed.

**ホスト名**の相関イベント発行機能の状態を表示します

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能の状態を表示します。

## KAJV3265-E

An attempt to acquire the status of the correlation event generation function for **ホスト名** has failed. (reason = **要因**)

**ホスト名**の相関イベント発行機能の状態取得に失敗しました。要因:**要因**

イベント基盤サービスの相関イベント発行機能の状態が取得できないため、状態を表示できませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

要因メッセージごとに次のように対処してください。

- 「他のコマンドが実行中です」

jcoegschange コマンドで相関イベント発行定義ファイルを変更しているか、jcoegsstatus コマンドが相関イベント発行定義ファイルを参照しているため、処理をリトライしましたが参照できませんでした。再実行してください。

- 「入出力エラーが発生しました」

Windows の場合は Windows イベントログ、UNIX の場合はsyslog ファイルを確認し、ファイル容量不足やファイル入出力に関する OS のエラーが発生していないか確認してください。発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 上記以外の場合

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV3281-I

The correlation event generation definition for **ホスト名** will now be displayed.  
ホスト名の相関イベント発行定義を表示します

相関イベント発行定義を表示します。

### KAJV3282-E

An attempt to obtain the correlation event generation definition for **ホスト名** has failed.  
(reason = **要因**)  
ホスト名の相関イベント発行定義の取得に失敗しました。要因:**要因**

相関イベント発行条件の状態が取得できないため、相関イベント発行条件の状態を表示できませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV3283-I

The correlation event generation definition for **ホスト名** has not been defined.  
ホスト名の相関イベント発行定義は定義されていません

相関イベント発行定義は定義されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

相関イベント発行定義を定義してください。

### KAJV3284-I

Operations will proceed without a set correlation event generation definition because an attempt to read the correlation event generation definition for **ホスト名** has failed.

**ホスト名**の相関イベント発行定義の読み込みに失敗したため、相関イベント発行定義を設定していない状態で動作しています

相関イベント発行定義の読み込みに失敗したため、相関イベント発行定義を設定していない状態で動作しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

OS のファイル入出力が過負荷状態になっていないことを確認してください。

過負荷状態になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV3285-I

Operations will continue while ignoring an invalid correlation event generation definition of **ホスト名**.

**ホスト名**の相関イベント発行定義に不正があるため、不正な相関イベント発行条件を無視して動作しています

相関イベント発行機能に反映している相関イベント発行定義が壊れたため、不正になっている条件があります。

相関イベント発行機能は、不正な相関イベント発行条件を無視して動作しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

`jcoegschange` コマンドを実行して相関イベント発行定義を再度反映してください。

### KAJV3286-E

The size of the correlation event generation definition storage file exceeds the upper limit (最大値 MB).

相関イベント発行定義保存ファイルのファイルサイズが最大値(最大値 MB)を超えています

相関イベント発行定義保存ファイルのファイルサイズが最大値を超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

jcoegschange コマンドを使用して相関イベント発行定義を再度定義してください。

### KAJV3291-I

The correlation event generation function for **ホスト名** has restarted.

**ホスト名**の相関イベント発行機能を再開しました

相関イベント発行機能を再開しました。

(S)

処理を続行します。

### KAJV3292-E

An attempt to restart the correlation event generation function for **ホスト名** has failed.

(reason = **要因**)

**ホスト名**の相関イベント発行機能の再開に失敗しました。要因：**要因**

相関イベント発行機能の再開に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

メッセージに出力される次の要因に従って対処してください。

- 要因が「メモリー不足が発生しました」の場合、メモリー不足が発生していないかどうか確認してください。メモリー不足が発生している場合はメモリーを確保してください。メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「イベント基盤サービスの相関イベント発行機能が無効です」の場合、相関イベント発行機能が有効になっているか確認してください。
- 要因が上記以外の場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV3293-W

The correlation event generation function for **ホスト名** has already started.

**ホスト名**の相関イベント発行機能はすでに開始しています

相関イベント発行機能はすでに開始しています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

### KAJV3301-I

The correlation event generation function for **ホスト名** has stopped.  
ホスト名の相関イベント発行機能を停止しました

相関イベント発行機能を停止しました。

(S)

処理を続行します。

### KAJV3302-E

An attempt to stop of the correlation event generation function for **ホスト名** has failed.  
(reason = **要因**)  
ホスト名の相関イベント発行機能の停止に失敗しました。要因：**要因**

相関イベント発行機能の停止に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

メッセージに出力される次の要因に従って対処してください。

- 要因が「メモリー不足が発生しました」の場合、メモリー不足が発生していないかどうか確認してください。メモリー不足が発生している場合はメモリーを確保してください。メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「イベント基盤サービスの相関イベント発行機能が無効です」の場合、相関イベント発行機能が有効になっているか確認してください。
- 要因が上記以外の場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KAJV3303-W

The correlation event generation function for **ホスト名** has already stopped.  
ホスト名の相関イベント発行機能はすでに停止しています

相関イベント発行機能はすでに停止しています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

## KAJV3311-I

The content of the correlation event generation definition file (ファイル名) will now be checked.

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) の内容をチェックします。

相関イベント発行定義ファイルの内容をチェックします。

(S)

処理を続行します。

## KAJV3312-I

No mistakes were found in the content of the correlation event generation definition file (ファイル名).

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) の内容に誤りは見つかりませんでした。

相関イベント発行定義ファイルの内容に誤りはありませんでした。

(S)

コマンドの処理を終了します。

## KAJV3313-E

There is an invalid definition in the correlation event generation definition.

相関イベント発行定義に不正な定義があります

相関イベント発行定義に不正な定義があります。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

標準エラー出力に出力されたメッセージに従って、不正箇所を修正してください。

## KAJV3314-E

There is an error in the contents of the correlation event generation definition file. (file name = ファイル名, line = 行番号, incorrect contents = 不正内容)

相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) の記載内容に間違いがあります。行番号:行番号 不正内容:不正内容

相関イベント発行定義ファイルの内容に誤りがあります。

(S)

処理を続行します。

(O)

メッセージに従って、不正箇所を修正してください。

## KAJV3315-W

The correlation event generation definition does not contain a valid definition.  
相関イベント発行定義に有効な定義がありません

相関イベント発行定義ファイルに有効な条件が1件も定義されていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

## KAJV3316-E

The correlation event generation definition file (ファイル名) was not found.  
相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) が見つかりません

相関イベント発行定義ファイルが見つかりません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定したファイルのパスが誤っていないか確認してください。

## KAJV3317-E

An attempt to read the correlation event generation definition file (ファイル名) failed because a file I/O error occurred.  
ファイル入出力エラーが発生したため、相関イベント発行定義ファイル (ファイル名) の読み込みに失敗しました

ファイル入出力エラーのため相関イベント発行定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

OSのファイル入出力が過負荷状態になっていないことを確認してください。

過負荷状態になっていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3318-E

An attempt to check the correlation event generation definition file (ファイル名) has failed. (reason = 要因)

相関イベント発行定義ファイル(ファイル名)のチェックに失敗しました。要因:要因

相関イベント発行定義ファイルのチェックに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

要因メッセージごとに次のように対処してください。

- 「メモリー不足が発生しました」の場合  
メモリー不足が発生していないか確認してください。メモリー不足が発生している場合は、メモリーを確保してください。  
メモリー不足が発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 上記以外の場合  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3801-E

A system error occurred when using the コマンド command. (reason = 要因)

コマンドでシステムエラーが発生しました。要因:要因

コマンドの処理で続行不可能なシステムエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJV3901-E

An attempt to create the message (message ID = ID) has failed. (reason = 要因)

メッセージ(メッセージ ID:ID)の作成に失敗しました。 要因:要因

メッセージの作成中に予期せぬエラーが発生しました。

(S)

メッセージの出力を打ち切り、処理を続行します。



(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV3902-E

The message could not be output to 出力先. (reason = 要因) (message = メッセージ)  
メッセージを出力先に出力できませんでした。要因:要因 (メッセージ:メッセージ)

表示された出力先にメッセージを出力する際に予期せぬエラーが発生しました。

(S)

メッセージの出力を打ち切り、処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV3903-E

An attempt to initialize the integrated trace log has failed. (reason = 要因)  
統合トレースログの初期化に失敗しました。要因:要因

統合トレースログの初期化に失敗しました。

(S)

統合トレースログにメッセージを出力できません。  
共通メッセージログに出力されるメッセージは出力されます。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV3904-E

The output destination of the message cannot be acquired. (reason = 要因)  
メッセージの出力先が取得できません。要因:要因

メッセージの出力先がリソースから取得できませんでした。

(S)

メッセージを OS のログに出力して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJV3905-E

An attempt to acquire the output information for the message has failed. (reason = 要因)

メッセージの出力情報の取得に失敗しました。要因:要因

メッセージの出力情報がリソースから取得できませんでした。

(S)

メッセージを OS のログに出力して処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## 2.12 IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージ (KNAN20000～KNAN21999)

---

### KNAN20000-E

A system error has occurred.

Detail code: 詳細コード

システムエラーが発生しました

詳細コード: 詳細コード

システムエラーが発生しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを終了します。

(O)

次の詳細コードが表示された場合は、各対処に従ってください。

- V000001

JP1/Base がアンインストールされたおそれがあります。

JP1/IM - View の定義情報が削除されているため、JP1/IM - View をアンインストールして、JP1/IM - View を再インストールしてください。

上記以外の詳細コードが表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN20001-E

Memory was insufficient.

Detail code: 詳細コード

メモリ不足が発生しました

詳細コード: 詳細コード

メモリー不足が発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

メモリーの空き容量が不足していないかを確認し、IM 構成管理・ビューアーを再起動してください。

### KNAN20002-E

A system error occurred when 処理

処理システムエラーが発生しました

システムエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20003-I

The application terminated normally.

IM 構成管理・ビューアーは正常に終了しました

IM 構成管理・ビューアーは正常に終了しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを終了します。

#### KNAN20004-E

The application terminated abnormally.

IM 構成管理・ビューアーは異常終了しました

IM 構成管理・ビューアーは異常終了しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを終了します。

(O)

次の確認および対処をしてください。

- IM 構成管理サービスが正常に起動しているか確認してください。
- このメッセージより前のメッセージの内容に従って対処してください。

この方法で解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20005-E

An internal error occurred when 処理.

処理で内部エラーが発生しました

IM 構成管理・ビューアーで内部エラーが発生しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20006-E

Invalid data was received from the server when 処理.  
処理でサーバが受信したデータが不正です

サーバが受信したデータが不正です。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20007-E

An error occurred for the command "処理".  
処理でエラーが発生しました

待機および停止処理に失敗しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20008-E

An error occurred when 処理.  
処理でエラーが発生しました

IM 構成管理・ビューアーでエラーが発生しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20009-I

The application forced termination.  
IM 構成管理・ビューアーは強制終了しました

IM 構成管理・ビューアーは強制終了しました。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを終了します。

#### KNAN20010-E

Execution of the specified application failed.

Application: アプリケーション名

Detail code: 詳細コード

指定されたアプリケーションの実行に失敗しました

アプリケーション: アプリケーション名

詳細コード: 詳細コード

アプリケーションの実行に失敗しました。

(S)

アプリケーションの実行を中断します。

(O)

アプリケーションが正しくインストールまたはセットアップされていることを確認してから、再実行してください。

#### KNAN20011-W

Since there is an error in the registry key, CF-View is started by using default value.

Registry key : レジストリーキー名

レジストリの値が不正です

IM 構成管理ビューアーはデフォルト値で起動します

レジストリキー: レジストリーキー名

レジストリの値が不正です。

(S)

IM 構成管理・ビューアーを起動します。

(O)

レジストリに適切な値が入っているか確認し、再実行してください。

#### KNAN20020-W

CF-View started by using the default values because a file could not be read.

File name: ファイル名

Detail code: 詳細コード

ファイルの読み込みに失敗したため、デフォルト値を使用して IM 構成管理・ビューアーを起動します  
ファイル名: ファイル名  
詳細コード: 詳細コード

ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

定義値をデフォルト値と仮定し、処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- メモリーの空き容量が不足していないか。
- ファイルが存在するか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

## KNAN20021-W

CF-View started by using the default values because there is an error in a file.

File name: ファイル名

Attribute name: 属性名

Detail code: 詳細コード

ファイルにエラーがあるため、デフォルト値を使用して IM 構成管理・ビューアーを起動します

ファイル名: ファイル名

属性名: 属性名

詳細コード: 詳細コード

ファイルの内容にエラーがあります。

(S)

定義値をデフォルト値と仮定し、処理を続行します。

(O)

ファイルの内容が正しく設定されているかどうかを確認してから、再実行してください。

## KNAN20022-E

A file could not be created.

File name: ファイル名

Detail code: 詳細コード

ファイルが作成できません

ファイル名: ファイル名

## 詳細コード: 詳細コード

ファイルが作成できませんでした。

(S)

ファイルの作成を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- ディレクトリのアクセス権が正しく設定されているか。
- 指定したパスのディレクトリがあるか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ファイル名に次に示す不正な文字が含まれていないか。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*

## KNAN20023-E

An error occurred when writing to a file.

File name: ファイル名

Detail code: 詳細コード

ファイルの書き込み中にエラーが発生しました

ファイル名: ファイル名

詳細コード: 詳細コード

ファイルの書き込み中にエラーが発生しました。

(S)

ファイルの書き込みを中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

## KNAN20024-E

An error occurred when deleting a file.

File name: ファイル名

ファイルの削除中にエラーが発生しました



ファイル名: ファイル名

ファイルの削除中にエラーが発生しました。

(S)

ファイルの削除を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

## KNAN20025-E

The content of the file is invalid.

File name: ファイル名

Attribute name: 属性名

ファイル内容が不正です

ファイル名: ファイル名

属性名: 属性名

ヘルプファイルの内容に不正な値が入っているか、またはファイルが存在しません。

(S)

オンラインマニュアルは表示しないで、IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- helpid.txt ファイルの属性が有効であるか。
- helpid.txt ファイルの属性が正常に設定されているか。

## KNAN20026-E

An error occurred while reading a file.

File name: ファイル名

Detail code: 詳細コード

ファイルの読み込み中にエラーが発生しました

ファイル名: ファイル名

詳細コード: 詳細コード

ヘルプファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

(S)

オンラインマニュアルは表示しないで、IM 構成管理・ビューアーを続行します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- メモリーの空き領域は十分か。
- ヘルプファイルがあるか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。

## KNAN20030-W

イメージファイル was not found.

Path: パス名

イメージファイルが見つかりません

パス名: パス名

イメージファイル表示中にエラーが発生しました。

(S)

画像なしで処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ファイルが存在するか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

## KNAN20040-E

An item was not input. Please input it, and then try again.

Item : 入力項目

未入力項目があります

未入力項目を入力し、再度実行してください

入力項目名: 入力項目名

必須入力項目が入力されていません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

未入力項目を入力し、再度実行してください。

## KNAN20041-E

The format of an item is invalid. Please change the value of the item, and then try again.

Item: **入力項目**

入力項目の入力形式が正しくありません

入力項目の入力値を変更し、再度実行してください

入力項目: **入力項目**

入力項目の入力形式が正しくありません。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目の入力値を変更し、再度実行してください。

## KNAN20042-E

The value of an item is outside the valid range. Please change the value of the item and then try again.

Item : **入力項目**

Valid range: **入力範囲**

入力項目の入力値が範囲外です

入力項目の入力値を変更し、再度実行してください

入力項目: **入力項目**

入力範囲: **入力範囲**

入力項目の入力値が範囲外です。

(S)

再度、入力を待ちます。

(O)

入力項目の入力値を変更し、再度実行してください。

## KNAN20043-E

The number of values that can be set for an item has exceeded the upper limit. Please change the values of the item and then try again.

Item: **入力項目**

Upper limit: **上限値**

入力項目の設定数が上限値を超えています

入力項目の入力値を変更し、再度実行してください

入力項目: 入力項目

上限値: 上限値

入力項目の設定数が上限値を超えています。

(S)

再度, 入力を待ちます。

(O)

入力項目の入力値を変更し, 再実行してください。

#### KNAN20044-E

The invalid characters are input in the file name.

Please change the input value and re-execute.

File name : ファイル名

ファイル名に不正な文字が入力されました

入力値を変更し, 再度実行してください

ファイル名: ファイル名

ファイル名に不正な文字が入力されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから, 再実行してください。

- ファイル名に制御文字が入っていないか。
- ファイル名に予約デバイス名が入っていないか。
- ファイル名に次に示す不正な文字が含まれていないか。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*

#### KNAN20045-Q

Changes to the common system settings have not been saved.

Are you sure you want to close the common system setup window?

編集したシステム共通設定が保存されません

システム共通設定画面を閉じますか？

[システム共通設定] 画面を閉じてよいかの確認です。

- (O)
- [はい] ボタンをクリックすると、[システム共通設定] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[システム共通設定] 画面を閉じません。

#### KNAN20046-E

The passwords do not match.  
Confirm the passwords, and then try again.  
入力されたパスワードが異なります  
パスワードを確認し、再度実行してください

入力されたパスワードが異なります。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- パスワードを確認し、再度実行してください。

#### KNAN20048-W

The system common setting for remote monitoring is not set.  
リモート監視のシステム共通設定が設定されていません

リモート監視のシステム共通設定が設定されていません。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- リモート監視のシステム共通設定を確認し、設定を行ってから再度実行してください。

#### KNAN20050-W

The exclusive edit status of 排他データ data was forcibly released by the user ユーザー名:View  
ホスト名.  
ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)により排他データデータの排他編集状態が強制解除されました

ほかのユーザーによって排他編集状態が強制解除されました。

- (S)
- 処理を続行します。

(O)

編集中のデータはサーバに更新できなくなるため、内容を保存してください。保存したあと編集画面を閉じ、再度画面を開いて排他編集権を取得してください。

#### KNAN20051-E

Failed to acquire latest information since IM configuration management DB cannot be accessed.

IM 構成管理 DB にアクセスできないため、最新情報の取得に失敗しました

サーバからのデータ取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサービスが正常に起動しているか確認し、再実行してください。

この方法で解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20052-W

An error occurred in the initialization processing of the integrated trace log output.

統合トレースログ出力の初期化処理でエラーが発生しました

統合トレースログ出力の初期化処理でエラーが発生しました。統合トレースログにメッセージを出力できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のサービスが起動していることを確認してください。

- Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2

起動していない場合は、サービスを起動し、IM 構成管理・ビューアーを再起動してください。

#### KNAN20054-E

The IP address for the local host could not be found.

localhost の IP アドレスが見つかりません

エージェントホストの IP アドレスが取得できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

localhost が IP アドレス解決することを確認してから、再実行してください。

#### KNAN20055-E

The specified encoding "文字コード" is not supported.  
文字コード(文字コード)はサポートしていません

サポートしていない文字コードが指定されました。

(S)

処理を続行します。

(O)

サポートされている文字コードを指定してください。

#### KNAN20056-I

The latest status will be acquired because the IM Configuration and host list information has changed. If any processes are being executed, close them after closing this message.  
IM 構成、もしくはホスト情報が更新されました  
最新の情報を取得します

IM 構成（システムの階層構成）、またはホスト情報が更新されたので、最新の情報を取得します。

#### KNAN20057-I

サーバーから最新の情報を取得します

IM 構成、またはホスト情報が更新されたので、最新の情報を取得します。

#### KNAN20100-E

Address resolution for the specified connection destination host name failed.  
Connection destination host name: 接続ホスト名  
指定された接続ホスト名のアドレスの解決に失敗しました  
接続ホスト名: 接続ホスト名

接続ホスト名の入力に誤りがあるため、接続ホストに接続できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

入力した接続ホスト名が正しいかどうかを確認してから、再実行してください。

## KNAN20101-E

Communication error occurred in establishing the connection.

Connection destination host name: 接続ホスト名

Port number: ポート番号

接続中に通信エラーが発生しました

接続ホスト名: 接続ホスト名

ポート番号: ポート番号

接続ホストが起動していないため、指定されたホストに接続できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力は正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。
- IM 構成管理 DB がセットアップされているかどうか。
- IM 構成管理を使用する設定にしているかどうか。
- IM データベースが起動しているかどうか。
- 接続ホスト名に IPv6 アドレスを入力していないか。
- 接続ホスト名に入力しているホスト名に対して、IPv4 アドレスが解決できるか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spmc\_status コマンドで確認してください。

## KNAN20102-E

Communication error occurred in establishing the connection.

Connection destination host name: 接続ホスト名

Port number: ポート番号

Detail code: 詳細コード

接続中に通信エラーが発生しました

接続ホスト名: 接続ホスト名

ポート番号: ポート番号



## 詳細コード: 詳細コード

ホスト接続中に、通信エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。
- 接続ホスト名に IPv6 アドレスを入力していないか。
- 接続ホスト名に入力しているホスト名に対して、IPv4 アドレスが解決できるか。
- 接続ホストの通信暗号化機能が有効な場合は、JP1/IM - View で暗号化通信の設定をしているか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、jco\_spmc\_status コマンドで確認してください。

## KNAN20103-E

A communication error occurred while sending data.

Host name: 接続ホスト名

Port number: ポート番号

Detail code: 詳細コード

データ送信中に、通信エラーが発生しました

接続ホスト名: 接続ホスト名

ポート番号: ポート番号

詳細コード: 詳細コード

データ送信中に、通信エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名は正しく設定されているか。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

## KNAN20104-E

A communication error occurred while receiving data.

Host name: 接続ホスト名

Port number: ポート番号

Detail code: 詳細コード

データ受信中に、通信エラーが発生しました

接続ホスト名:接続ホスト名

ポート番号:ポート番号

詳細コード:詳細コード

データ受信中に、通信エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spm_status` コマンドで確認してください。

## KNAN20105-E

A timeout occurred during the wait for a response of リクエスト名.

Connection destination host name: 接続ホスト名

Port number: ポート番号

リクエスト名の応答待ちがタイムアウトしました

接続ホスト名: 接続ホスト名

ポート番号: ポート番号

処理の応答待ちがタイムアウトしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、しばらく時間をおいてから再実行してください。

- 接続ホストは起動しているか。

- 接続ホストとの通信に問題はないか。

このメッセージが頻繁に出る場合は、タイムアウト時間の設定を見直してください。上記の方法で解決できない場合は、システム管理者に連絡し、マネージャホストの負荷を確認してください。

## KNAN20121-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for CF - View. (cause = 要因, directory = ディレクトリ名)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ディレクトリ名:ディレクトリ名)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 要因が「ルート証明書ファイルが1個も見つかりません。」の場合は、次の確認をしてから再ログインしてください。ルート証明書があるか確認してください。
  - ルート証明書がある場合は読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ルート証明書がない場合はルート証明書を配置してください。
- 要因が「すべてのルート証明書ファイルが読み込めません。」の場合は、次の確認をしてから再ログインしてください。
  - ルート証明書があるか確認してください。ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
  - Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「ルート証明書の配置先ディレクトリがありません。」の場合は、ルート証明書の配置先ディレクトリを作成し、ルート証明書を配置してください。

## KNAN20122-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for CF - View. (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先と暗号化通信に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN または SAN と、IM 構成管理・ビューアーの接続先のホスト名が同じであることを確認し、再ログインしてください。
- 要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・接続先のマネージャーホストの通信暗号化機能が有効であることを確認してください。有効である場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに接続先のマネージャーホスト名が記載されていないことを確認してください。
  - ・統合トレースログに「一部のルート証明書の読み込みに失敗しました」が出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書に対応するルート証明書が JP1/IM - View に配置されているか確認してください。配置されていない場合は、配置してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20123-W

Failed to read some of the root authentication certificates used by the communication encryption function for CF - View. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, …)  
IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, …)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みに失敗したファイルは無視して処理を続行します。

(O)

次のことを確認してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。

## KNAN20124-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for CF - View is no longer valid. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, …)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, …)

IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期限外の状態に運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

## KNAN20131-E

A non-encryption communication host configuration file for CF - View was not found. (file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してから、再ログインしてください。

- 非暗号化通信ホスト設定ファイルがあるか確認してください。非暗号化通信ホスト設定ファイルがない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルを作成してください。
- 非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KNAN20132-E

The non-encryption communication host configuration file for CF - View failed to load. (file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20133-E

The first line of the non-encryption communication host configuration file for CF - View is not "[NO\_SSL\_HOST]". (file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。  
(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に[NO\_SSL\_HOST]を記載し、再ログインしてください。

## KNAN20134-E

The number of manager host names specified in the non-encryption communication host configuration file for CF - View exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、マネージャーホスト名の件数を見直して、修正してください。修正後、再ログインしてください。

## KNAN20135-E

The length of a manager host name specified in the non-encryption communication host configuration file for CF - View exceeds the maximum (上限). (line number = 行番号, file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが上限(上限)を超えています (行番号: 行番号, ファイル名: ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KNAN20136-E

The syntax for asterisks (\*) in the manager host name for the non-encryption communication host configuration file for CF - View is invalid. (file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の\*の記述が不適切です。(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の「\*」の記述が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルを修正し、再ログインしてください。

マネージャーホスト名に「\*」を記載する場合は、[NO\_SSL\_HOST]の次の行に「\*」1個を記載してください。「\*」だけを記載した場合は、すべてのマネージャーホストと通信が暗号化されないため、注意してください。

## KNAN20137-E

A manager host name in the non-encryption communication host settings file is duplicated. (line number = 行番号, file = ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KNAN20141-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for CF - View for the base manager. (cause = 要因, directory = ディレクトリ名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ディレクトリ名:ディレクトリ名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 要因が「ルート証明書が 1 個も見つかりません。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。ルート証明書があるか確認してください。
  - ・ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ルート証明書がない場合は、ルート証明書を配置してください。
- 要因が「すべてのルート証明書が読み込めません。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。
  - ・ルート証明書があるか確認してください。ルート証明書がある場合は、読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
  - ・Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 要因が「ルート証明書の配置先ディレクトリがありません。」の場合は、ルート証明書の配置先ディレクトリを作成し、ルート証明書を配置してください。

## KNAN20142-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for CF - View for the base manager. (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)



接続先と暗号化通信に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- 要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN または SAN と、拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの接続先のホスト名が同じであることを確認し、再ログインしてください。
- 要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をし、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・接続先のマネージャーホストの通信暗号化機能が有効であることを確認してください。有効である場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに接続先のマネージャーホスト名が記載されていないことを確認してください。
  - ・統合トレースログに「一部のルート証明書の読み込みに失敗しました」が出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書に対応するルート証明書が JP1/IM - View に配置されているか確認してください。配置されていない場合は、配置してください。
  - ・接続先のマネージャーホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20143-W

Failed to read some of the root authentication certificates used by the communication encryption function for CF - View for the base manager. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, …)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, …)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用する一部のルート証明書の読み込みに失敗しました。

(S)

読み込みに失敗したファイルを無視して処理を続行します。

(O)

次のことを確認し、再ログインしてください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。
- ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。

## KNAN20144-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for CF - View for the base manager is no longer valid. (directory = ディレクトリ名, file = ファイル名, ファイル名, …)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ディレクトリ名:ディレクトリ名, ファイル名:ファイル名, ファイル名, …)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態で運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

## KNAN20151-E

A non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager was not found. (file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。(ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルがありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

次のことを確認し、再ログインしてください。

- 非暗号化通信ホスト設定ファイルがあるか確認してください。非暗号化通信ホスト設定ファイルがない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルを作成してください。
- 非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、非暗号化通信ホスト設定ファイルに読み込み権限を設定してください。

## KNAN20152-E

The non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager failed to load. (file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20153-E

The first line of the non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager is not "[NO\_SSL\_HOST]". (file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に [NO\_SSL\_HOST]がありません。(ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に [NO\_SSL\_HOST]がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの先頭に [NO\_SSL\_HOST]を記載し、再ログインしてください。

## KNAN20154-E

The number of manager host names specified in the non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager exceeds the maximum (上限). (file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限(上限)を超えています。(ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の件数が上限を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、マネージャーホスト名の件数を見直して、修正してください。修正後、再ログインしてください。

## KNAN20155-E

The length of a manager host name specified in the non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager exceeds the maximum (上限). (line number = 行番号, file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の長さが上限(上限)を超えています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルの、マネージャーホスト名の長さが最大長を超えています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KNAN20156-E

The syntax for asterisks (\*) in the manager host name for the non-encryption communication host configuration file for CF - View for the base manager is invalid. (file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の\*の記述が不適切です。(ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名の「\*」の記述が不適切です。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルを修正し、再ログインしてください。

マネージャーホスト名に「\*」を記載する場合は、[NO\_SSL\_HOST]の次の行に「\*」1個を記載してください。

「\*」だけを記載した場合は、すべてのマネージャーホストと通信が暗号化されないため、注意してください。

## KNAN20157-E

A manager host name in the non-encryption communication host settings file is duplicated.  
(line number = 行番号, file = ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。(行番号:行番号, ファイル名:ファイル名)

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの非暗号化通信ホスト設定ファイルのマネージャーホスト名が重複しています。

(S)

処理を終了します。

(O)

非暗号化通信ホスト設定ファイルの、該当する行のマネージャーホスト名を修正し、再ログインしてください。

## KNAN20200-E

The option "オプション" is invalid.

オプション(オプション)は無効です

無効なオプションが指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションを正しく指定してください。

## KNAN20201-E

The option "オプション" is duplicated.

オプション(オプション)が重複しています

オプションが重複して指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションを正しく指定してください。

## KNAN20202-E

Specify the 値 argument after the option "オプション".

オプション(オプション)のあとに値を指定してください

表示されたオプションのあとに引数値が指定されていないため、実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたオプションのあとに、引数値を指定してください。

#### KNAN20203-E

The argument value of the option "オプション" includes an unusable character.

オプション(オプション)の引数値に使用できない文字が含まれています

オプションの引数値に使用できない文字が含まれています。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数値を正しく指定してください。

#### KNAN20204-E

The value specified in the argument of the option "オプション" exceeds the maximum value of 最大値 bytes.

オプション(オプション)の引数値に指定された値は最大値最大値バイトを超えています

オプションの引数値が指定できる長さを超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数値を正しく指定してください。

#### KNAN20205-E

If you specify a password, also specify a host name and user name.

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名を指定してください

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名も指定する必要があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

パスワードを指定する場合は、ホスト名とユーザー名も指定してください。

## KNAN20206-E

The product information could not be acquired because there was not enough memory.

Detailed information: 関数名, 戻り値

リソース不足のため製品情報取得に失敗しました

詳細情報: 関数名, 戻り値

リソース不足のため製品情報取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムのリソースが不足していないか確認してください。

リソース不足を解消したあと、再実行してください。

この方法で解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20207-E

The product information could not be acquired because the environment is invalid.

Detailed information: 関数名, 戻り値

環境不正のため製品情報取得に失敗しました

詳細情報: 関数名, 戻り値

環境不正のため製品情報取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。

システムに障害が発生してしない場合はアンインストールし、再インストールしたあとに再実行してください。

この方法で解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20220-Q

Are you sure you want to log out?

終了(ログアウト)してもよろしいですか？

ログアウトしてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログアウトします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ログアウトしません。

#### KNAN20221-Q

Do you want to delete the selected host?

選択中のホストを削除しますか？

選択中のホストを削除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のホストを削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のホストを削除しません。

#### KNAN20222-Q

Do you want to collect the host information of the selected host?

When the host is included in the agent configuration, the profile list on the server is deleted.

選択中のホストからホスト情報を収集しますか？

ホストがエージェント構成に含まれる場合はサーバで保存しているプロファイルリストを削除します

選択中のホストのホスト情報を収集してよいかの確認です。

ホストがエージェント構成に含まれる場合はホスト情報収集により製品情報が更新されるためエージェント構成のプロファイルリストを削除します。再度プロファイル一括収集を実行するか [プロファイル表示/編集] 画面を開いてプロファイルリストを取得してください。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のホストのホスト情報を収集します。[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のホストのホスト情報を収集しません。

#### KNAN20223-Q

Do you want to acquire the IM configuration applied in the current system?

Acquiring the IM configuration will update the IM configuration on the server to the latest information.

現在システムに反映されている IM 構成を取得しますか？

IM 構成取得を実行すると、サーバで保持している IM 構成が最新の情報に更新されます

IM 構成（システムの階層構成）を反映してよいかの確認です。



(O)

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を取得します。[いいえ] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を取得しません。

#### KNAN20224-Q

Do you want to synchronize the IM configuration?

Synchronizing the IM configuration integrates separately created IM configurations.

IM 構成を同期しますか？

IM 構成同期を実行すると、分割定義した IM 構成が統合されます

IM 構成（システムの階層構成）を同期してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を同期します。[いいえ] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を同期しません。

#### KNAN20225-Q

Do you want to verify the IM configuration?

Verification of the IM configuration checks whether the IM configuration information set for each host in the IM configuration matches the IM configuration information on the server.

IM 構成を検証しますか？

IM 構成検証を実行すると、IM 構成内の各ホストに設定された IM 構成情報とサーバで保持している IM 構成情報が一致することを検証します

IM 構成（システムの階層構成）を検証してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を検証します。[いいえ] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）を検証しません。

#### KNAN20226-Q

Do you want to perform a batch collection of the profile information?

This function collects the profile information of all hosts in the agent configuration.

プロファイル情報を一括収集しますか？

一括収集ではエージェント構成に含まれるすべてのホストのプロファイル情報を収集します

プロファイル情報を一括収集してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を一括収集します。[いいえ] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を一括収集しません。

#### KNAN20227-Q

The configuration file will be applied to all hosts in the agent configuration. The date of the configuration files on the hosts will not be confirmed.

Do you want to continue?

エージェント構成内の全てのホストに設定ファイルを反映します

ホストに存在する設定ファイルの日付は確認しません

反映しますか？

プロファイル情報を一括反映してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を一括反映します。[いいえ] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を一括反映しません。

#### KNAN20228-E

Startup of View of the base manager (ホスト名) failed.

Please confirm the following and then try again:

- IM-CF is set up in the base manager host.
- The service of the IM-CF server (jcfmain) has started on the base manager host.
- Login to the base manager host is possible with the currently logged in user name and password.

拠点マネージャー(ホスト名)の IM 構成管理・ビューアーの起動に失敗しました

次のことを確認して再度実行してください

- ・ホストで IM 構成管理をセットアップしている。
- ・ホストでサーバのサービス(jcfmain)が起動している。
- ・現在ログイン中のユーザー名でログイン可能である。

拠点マネージャーの IM 構成管理・ビューアーの起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再実行してください。

- ・拠点マネージャーホストで IM 構成管理がセットアップされているか。
- ・拠点マネージャーホストで IM 構成管理サーバのサービス (jcfmain) が起動しているか。

- 拠点マネージャーホストに現在ログインしているユーザー名およびパスワードでログインできるか。
- 拠点マネージャーホストの通信暗号化機能が有効な場合は、JP1/IM - View で暗号化通信の設定をしているか。

## KNAN20230-Q

Agent configuration does not exist. Do you want to delete the agent configuration maintained in the Server?

エージェント構成が存在しません。サーバで保持している IM 構成を削除しますか？

エージェント構成が存在しません。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
[はい] ボタンをクリックすると、サーバで保持しているエージェント構成を削除します。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、サーバで保持しているエージェント構成を削除しません。

## KNAN20231-Q

Do you want to collect the virtual machine configuration of 仮想化管理種別 from the selected host? Processing takes a long time when information for many guest OSs is collected.

選択中のホストから仮想化管理種別の仮想化構成を収集しますか？

収集するゲスト OS の数が多い場合は、処理に時間がかかります。

仮想化構成を収集してよいかの確認です。

- (S)  
処理を続行します。
- (O)  
[はい] ボタンをクリックすると、仮想化構成を収集します。[いいえ] ボタンをクリックすると、仮想化構成を収集しません。

## KNAN20232-Q

Do you want to batch collect all virtualization configurations?

仮想化構成を一括収集しますか？一括収集ではすべての仮想化構成を収集します。

仮想化構成を一括収集してよいかの確認です。

- (S)  
処理を続行します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、仮想化構成を一括収集します。[いいえ] ボタンをクリックすると、仮想化構成を一括収集しません。

#### KNAN20233-Q

Do you want to apply the virtualization configuration to the Central Scope monitoring tree?  
仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しますか？

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映してよいかの確認です。

(S)

処理を続行します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映します。[いいえ] ボタンをクリックすると、仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しません。

#### KNAN20234-I

The virtualization configuration was applied successfully to the Central Scope monitoring tree.

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しました

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しました。

#### KNAN20238-Q

Do you want to collect the host information from the host during selection?

If the host information is collected, all the remote monitoring operated by the host during selected is stopped.

選択中のホストからホスト情報を収集しますか？

ホスト情報を収集すると、選択中のホストで稼働しているリモート監視は全て停止されます。

選択中のホストからホスト情報収集してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集しません。

#### KNAN20240-Q

Are you sure you want to forced terminate the application?

IM 構成管理・ビューアーを強制終了してもよろしいですか？

IM 構成管理・ビューアーを強制終了してもよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成管理・ビューアーを強制終了します。処理中の操作はキャンセルされません。

[いいえ] ボタンをクリックすると、IM 構成管理・ビューアーを終了しません。

## KNAN20241-Q

Do you want to collect host information from the selected host?

If the host is included in the agent configuration, the profile list on the server will be deleted.

If the host is included in the remote monitoring configuration, all remote monitoring on the selected host will stop.

選択中のホストからホスト情報を収集しますか？

ホストがエージェント構成に含まれる場合は、サーバで保存しているプロファイルリストを削除します。

ホストがリモート監視構成に含まれる場合は、選択中のホストで稼働しているリモート監視はすべて停止されます。

選択中のホストからホスト情報を収集してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集しません。

## KNAN20242-Q

Do you want to collect host information from the selected host?

If the host is included in the agent configuration, the profile list on the server will be deleted.

If the host is included in the remote monitoring configuration, all remote monitoring on the selected host might stop depending on the results of host information collection.

選択中のホストからホスト情報を収集しますか？

ホストがエージェント構成に含まれる場合は、サーバで保存しているプロファイルリストを削除します。

ホストがリモート監視構成に含まれる場合は、ホスト情報収集の結果により選択中のホストのリモート監視がすべて停止する場合があります。

選択中のホストからホスト情報を収集してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ホスト情報を収集しません。

## KNAN20300-E

実行系ホスト and 待機系ホスト are the same. Specify different hosts, and then try again.

実行系ホストと待機系ホストが同じです

異なるホストに変更し、再度実行してください

実行系ホストと待機系ホストが同じです。

(S)

入力画面に戻ります。

(O)

実行系ホストと待機系ホストを異なるホストにしてから、再実行してください。

## KNAN20301-Q

If you change the host type, the virtualization configuration information will be deleted.

Do you want to change the host type?

ホスト種別を変更すると、仮想化構成情報が削除されます。

よろしいですか？

ホスト種別を変更してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、仮想化構成情報を削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、仮想化構成情報を削除しません。

## KNAN20302-Q

The host name contains invalid characters. Some functions might be unusable.

Do you want to continue?

ホスト名に不正な文字が含まれているため、一部の機能が実行できない場合があります

続行しますか？

不正な文字が含まれているホスト名を登録してよいかの確認です。

(S)

処理を続行します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホストを登録します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ホストを登録しません。

## KNAN20303-E

The JP1 event that occurred during distribution of the agent configuration might not have been transferred.

Do you want to reflect the IM configuration?

選択中のホストでリモート監視が稼働しているため、リモート通信種別の変更はできません

選択中のホストでリモート監視が稼働しているため、リモート通信種別の変更はできません。

(S)

入力画面に戻ります。

(O)

リモートログ監視、リモートイベントログ監視をすべて停止してから再度実行してください。

## KNAN20320-Q

A configuration file is being edited.

Are you sure you want to close the profile window?

編集中の設定ファイルが存在します

プロフィール画面を終了しますか？

[プロフィール表示/編集] 画面を閉じてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、[プロフィール表示/編集] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[プロフィール表示/編集] 画面を閉じません。

## KNAN20321-Q

Do you want to save the contents of the configuration file being edited to the server?

Even if the configuration file is saved, it will not be applied to 製品名 of the host "ホスト名".

編集中の設定ファイルの内容をサーバに保存しますか？

設定ファイルを保存してもホスト(ホスト名)の製品名には反映されません

設定ファイルをサーバに保存してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、設定ファイルをサーバに保存します。[いいえ] ボタンをクリックすると、設定ファイルをサーバに保存しません。

## KNAN20322-Q

Do you want to apply the configuration file to 製品名 of the host "ホスト名"?

設定ファイルの内容をホスト(ホスト名)の製品名に反映しますか？

設定ファイルを反映してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、設定ファイルを反映します。[いいえ] ボタンをクリックすると、設定ファイルを反映しません。

#### KNAN20323-Q

Do you want to collect the profile プロファイル名 for 製品名 of the host "ホスト名"?

Collecting the profile information updates the contents of the configuration file in the server to the latest information.

ホスト(ホスト名)の製品名のプロファイル情報(プロファイル名)を収集しますか？

プロファイル情報を収集すると、サーバで保持している設定ファイルの内容が最新の情報に更新されます

プロファイル情報を収集してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を収集します。[いいえ] ボタンをクリックすると、プロファイル情報を収集しません。

#### KNAN20324-I

The configuration file of the profile プロファイル名 for 製品名 of the host "ホスト名" was successfully saved in the server.

ホスト(ホスト名)の製品名のプロファイル名の設定ファイルはサーバに保存されました

設定ファイルはサーバに保存されました。

#### KNAN20325-I

The configuration file of the profile プロファイル名 for 製品名 was successfully applied to the host "ホスト名".

製品名のプロファイル名の設定ファイルをホスト(ホスト名)に反映しました

設定ファイルをホストに反映しました。

#### KNAN20326-Q

Do you want to rebuild the profile tree of 製品名 of the host "ホスト名"?

When the profile tree is updated, the profiles on the server are deleted, and then the profile tree is collected from the hosts.

The profiles of services that are not operated in the current agent host cannot be managed.



ホスト(ホスト名)の製品名のプロファイル一覧を再構築しますか？

プロファイル一覧を更新すると、サーバで保存しているプロファイルを削除した後にホストからプロファイル一覧を取得します

プロファイル一覧を再構築してよいかの確認です。

(○)

[はい] ボタンをクリックすると、プロファイル一覧を再構築します。[いいえ] ボタンをクリックすると、プロファイル一覧を再構築しません。

#### KNAN20329-Q

The configuration file of the profile プロファイル名 has not been saved.

All changes will be lost. Do you want to continue?

プロファイル名の設定ファイルは保存されていません

処理を続行しますか？

処理を続行するかの確認です。

(○)

[はい] ボタンをクリックすると、処理を続行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を続行しません。

#### KNAN20330-E

The host (ホスト名) does not support individual collection of profile information.

Please execute the profile batch collection item from the main window.

ホスト(ホスト名)はプロファイル情報の個別収集に対応していません

IM 構成管理画面のプロファイル一括収集メニューを実行して収集してください

プロファイル情報の個別収集に対応していないホストです。

(S)

処理を中断します。

(○)

[IM 構成管理] 画面でプロファイル一括収集を実行してください。

#### KNAN20331-E

The selected configuration file does not exist on the server.

Please execute the profile batch collection item from the main window.

設定ファイルがサーバに存在しません

プロファイル一括収集を実行してください

設定ファイルがサーバに存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

[IM 構成管理] 画面でプロファイル一括収集を実行してください。

#### KNAN20333-I

Setup file does not exist in agent host.

エージェントホストに設定ファイルが存在しません

エージェントホストに設定ファイルが存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストに設定ファイルが存在するかどうか確認してください。

#### KNAN20352-Q

Do you want to delete the selected log file trap from the profile list?

選択中のログファイルトラップをプロファイル一覧から削除しますか？

ログファイルトラップの設定ファイルをプロファイル一覧から削除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップの設定ファイルを削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップの設定ファイルを削除しません。

#### KNAN20353-I

The log file trap of **監視名** for **製品名** was successfully deleted from IM Configuration Management.

IM 構成管理から**製品名**の**監視名**のログファイルトラップを削除しました

ログファイルトラップの設定ファイルをサーバから削除しました。

#### KNAN20354-Q

Do you want to stop the selected log file trap?

選択中のログファイルトラップを停止しますか？

ログファイルトラップを停止してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップが停止します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップが停止しません。

#### KNAN20355-Q

The configuration file "設定ファイルパス" on the agent host "ホスト名" already exists.

Do you want to overwrite the file on the agent host?

エージェントホスト(ホスト名)の設定ファイル(設定ファイルパス)が既に存在します

エージェントホストの設定ファイルを上書きしますか？

エージェントホストの設定ファイルを上書きしてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、エージェントホストの設定ファイルを上書きします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、設定ファイルの反映を中止します。

#### KNAN20356-I

The log file trap of 監視名 for 製品名 on the host "ホスト名" was successfully stopped.

ホスト(ホスト名)で製品名の監視名のログファイルトラップを停止しました

エージェントの設定ファイルプロセスを停止しました。

#### KNAN20357-E

An attempt to add the log file trap for 監視名 failed. (Details = 詳細情報)

ログファイルトラップ(監視名)の追加に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

次の要因で、ログファイルトラップの追加に失敗しました。

- 設定ファイルの追加に失敗した
- 同じ監視名のログファイルトラップがすでに存在する
- 同じファイル名のログファイルトラップがすでに存在する
- ログファイルトラップのプロファイルの数が最大数を越えた

(S)

ログファイルトラップの追加を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- IM 構成管理の設定ファイル(ファイル名)の追加に失敗しました。  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - ・メッセージに表示されたパスのアクセス権を変更していないか。
  - ・ディスク容量が十分確保されているか。
- 同じ監視名(監視名)のログファイルトラップが既に存在します  
監視名を変更して、再度ログファイルトラップを追加してください。
- 同じファイル名(ファイル名)のログファイルトラップが既に存在します  
監視名を変更して、再度ログファイルトラップを追加してください。
- ログファイルトラップのプロファイルの数が最大数を超過しました  
不要となったログファイルトラップを削除してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20358-Q

The path of the configuration file on the agent host "設定ファイルパス" is different from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス".

The processes will be stopped, and then the file on the agent host "設定ファイルパス" will be deleted.

Do you want to continue?

エージェントホストで使用している設定ファイルパス(設定ファイルパス)と、IM 構成管理で保存しているエージェントホストの設定ファイルパス(設定ファイルパス)が異なります

プロセスを停止すると、エージェントホストから(設定ファイルパス)のファイルを削除します  
処理を続行しますか？

エージェントホストで動作している設定ファイルのパスと、IM 構成管理で保存しているパスが異なる場合に出力されるメッセージです。

(O)

エージェントホストの設定ファイルのパスが、IM 構成管理でプロファイルを収集した場合と異なります。

IM 構成管理で管理しているプロファイルをエージェントホストで変更しないように注意してください。

[はい] ボタンをクリックすると、プロセスを停止し、IM 構成管理で保存しているパスの設定ファイルをエージェントホストから削除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中止します。

## KNAN20359-Q

The path of the configuration file on the agent host "設定ファイルパス" is different from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス".

A new file "設定ファイルパス" will be used.

Do you want to continue?

エージェントホストで使用している設定ファイルパス(設定ファイルパス)と、IM 構成管理で保存しているエージェントホストの設定ファイルパス(設定ファイルパス)が異なります

新しい設定ファイルは、(設定ファイルパス)となります

処理を続行しますか？

エージェントホストで動作している設定ファイルのパスと、IM 構成管理で保存しているパスが異なる場合に出力されるメッセージです。

(O)

エージェントホストの設定ファイルのパスが、IM 構成管理でプロファイルを収集した場合と異なります。

IM 構成管理で管理しているプロファイルをエージェントホストで変更しないように注意してください。

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成管理で保存しているパスに設定ファイルを反映し、ログファイルトラップを再起動します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中止します。

## KNAN20360-E

The path of the agent host configuration file "設定ファイルパス" differs from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス".

エージェントホストの設定ファイルのパス(設定ファイルパス)と、IM 構成管理で保存しているパス(設定ファイルパス)が異なります

エージェントホストで動作している設定ファイルのパスと、IM 構成管理で保存しているパスが異なる場合に出力されるメッセージです。

(S)

ログファイルトラップのリロードを中止します。

(O)

エージェントホストの設定ファイルのパスが、IM 構成管理でプロファイルを収集した場合と異なります。

このメッセージが出力された場合は、次の対処をしてください。

- ログファイルトラップを再起動して反映してください。再起動して反映する場合、メッセージ「KNAN20359-Q」が表示されます。

- プロファイルツリーを再構築して、最新のプロファイルを取得してください。ただし、反映していないプロファイルの内容はすべて破棄されます。

## KNAN20362-Q

Do you want to start the selected log file trap?  
選択中のログファイルトラップを起動しますか？

ログファイルトラップを起動してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップを起動します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、ログファイルトラップを起動しません。

## KNAN20363-I

The log file trap of 監視名 for 製品名 on the host "ホスト名" was started successfully.  
ホスト(ホスト名)で製品名の監視名のログファイルトラップを起動しました

エージェントのログファイルトラップを起動しました。

## KNAN20364-I

イベントログトラップ on the host "ホスト名" was successfully started.  
ホスト(ホスト名)でイベントログトラップを起動しました

ホストのイベントログトラップを起動しました。

## KNAN20365-I

イベントログトラップ on the host "ホスト名" was successfully stopped.  
ホスト(ホスト名)でイベントログトラップを停止しました

ホストのイベントログトラップを停止しました。

## KNAN20400-Q

Do you want to replace the IM configuration information being edited?  
編集中の IM 構成情報を置き換えますか？

既存の IM 構成情報（システムの階層構成の情報）を編集中的内容に置き換えてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、編集中の IM 構成情報（システムの階層構成の情報）を置き換えます。[いいえ] ボタンをクリックすると、編集中の IM 構成情報（システムの階層構成の情報）に置き換えません。

## KNAN20401-Q

The read IM configuration information includes one or more hosts that are not registered in the host list. In order to continue, unregistered hosts must be registered in the host list.

Do you want to add the unregistered hosts to the host list?

読み込んだ IM 構成情報にホスト一覧に登録されていないホストが含まれています

続行するためにはホスト一覧に未登録ホストを登録する必要があります

ホスト一覧に未登録ホストを登録しますか？

未登録ホストをホスト一覧に登録してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録します。[いいえ] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録しないで、ファイルの読み込みを中断します。

## KNAN20402-E

The syntax of the IM configuration information in the specified file is invalid.

File name = ファイル名

Line number = 行番号

Details = 詳細情報

指定されたファイルの IM 構成情報の構文が不正です

ファイル名: ファイル名

行番号: 行番号

詳細情報: 詳細情報

読み込んだファイルが構文エラーとなりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従って再実行してください。

- 括弧はサポートされていません  
括弧を削除してください。
- 使用できない文字が含まれています  
次の不正な文字が含まれていないか確認してください。

/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*

- ホスト名の最大長を超えました  
ホスト名は最大長を超えないように指定してください。
- 上位ホストが指定されていません  
エージェントの上位にホストを定義してください。
- マネージャーホストが存在しません  
マネージャーホストが正しく定義されているか確認してください。
- 同じホストが 2 個以上指定されています  
ホストは一つだけ指定してください。
- ファイル内容に何も記載されていません  
IM 構成情報（システムの階層構成の情報）を定義してください。
- 拠点マネージャーの IM 構成が不正です  
拠点マネージャーの IM 構成（システムの階層構成）が正しく定義されているか確認してください。

### KNAN20403-Q

The IM configuration being edited has not been applied to the system.  
Do you want to close the window for editing the IM configuration?  
編集中の IM 構成がシステムに反映されていません  
IM 構成編集画面を終了しますか？

[IM 構成編集] 画面を閉じてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、[IM 構成編集] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[IM 構成編集] 画面を閉じません。

### KNAN20404-Q

When the IM configuration is applied to the system, the existing configuration is deleted, and then the new configuration is distributed.  
All of the hosts defined in the IM configuration must be running.  
Do you want to apply the IM configuration?  
IM 構成をシステムに反映する場合、既存の構成を削除した後に配布します  
IM 構成に定義したホストが全て起動している必要があります  
IM 構成を反映しますか？

IM 構成（システムの階層構成）をシステムに反映してよいかの確認です。



(O)

[はい] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）をシステムに反映します。[いいえ] ボタンをクリックすると、IM 構成（システムの階層構成）をシステムに反映しません。

#### KNAN20405-Q

In order to change the base manager, lower level hosts must be deleted.

Do you want to delete the lower level hosts?

拠点マネージャーに変更するためには下位のホストを削除する必要があります

下位ホストを削除しますか？

拠点マネージャーに変更するために下位ホストを削除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、下位ホストを削除し、拠点マネージャーに変更します。[いいえ] ボタンをクリックすると、下位ホストを削除しないで、拠点マネージャーも変更しません。

#### KNAN20407-I

The latest configuration will be acquired because the IM configuration has been changed.

IM 構成が更新されました

最新の IM 構成を取得します

反映操作が正常終了しました。

#### KNAN20408-I

The IM configuration was successfully saved.

IM 構成を保存しました

IM 構成（システムの階層構成）を保存しました。

#### KNAN20409-E

The selected node cannot be moved to its own child node.

選択したホストを下位ホストに移動できません

選択されたホストは指定されたホストの下位に移動できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

移動先には下位ホスト以外を指定してください。

## KNAN20410-Q

Do you want to delete the selected node?  
指定したホストを削除します。よろしいですか？

指定したホストを削除するかの確認です。

- (O)
- [はい] ボタンをクリックすると、ホストを削除します。[いいえ] ボタンをクリックすると、ホストを削除しません。

## KNAN20411-E

The selected node cannot be moved to itself.  
ホストを自分自身に移動することはできません

指定されたホストの移動元には移動できません。

- (S)
- 処理を中断します。
- (O)
- 移動先には、移動元以外を指定してください。

## KNAN20412-E

Host exchange for the host (ホスト名) failed.  
Please confirm the following and then try again:  
- The host is registered.  
- The host does not exist in the IM configuration.  
ホスト(ホスト名)は交換できませんでした

ホスト交換に失敗しました。

次の内容を確認してから、再実行してください。

- [交換後ホスト] に登録されていないホスト名が入力されているか。
- [交換後ホスト] にシステムの階層構成に含まれていないホスト名が入力されているか。

- (S)
- 処理を中断します。

- (O)
- 次の内容を確認してから、再実行してください。
- ホストが登録されているか。

- ホストが IM 構成（システムの階層構成）に含まれていないか。

#### KNAN20413-I

The IM configuration tree has unregistered host (ホスト名). Please register and perform [Update to latest host information] to continue.

IM 構成内に未登録ホスト(ホスト名)が存在します

ホストを登録し、IM 構成編集画面を最新情報に更新してください

[IM 構成編集] 画面が表示されたままの状態、ホスト一覧に存在するホストがリネーム、または削除されました。

#### KNAN20414-I

The host (ホスト名) is unregistered. Please register and perform [Update to latest host information] to continue.

ホスト(ホスト名)は登録されていません

ホストを登録し、IM 構成編集画面を最新情報に更新してください

[IM 構成編集] 画面が最新情報に更新されたあと、リネームまたは削除されたホストが追加されました。

#### KNAN20415-I

The host (ホスト名) in the IM configuration tree does not exist in the host list information. Please perform [Update to latest host information] to continue.

IM 構成内のホスト(ホスト名)はホスト一覧に存在しません

ホストを登録し、IM 構成編集画面を最新情報に更新してください

新規にホストが登録され、[IM 構成編集] 画面を最新情報に更新しない状態で、IM 構成取得が実行されました。

#### KNAN20416-Q

The host name contains invalid characters. Some functions might be unusable.

Host name:ホスト名

Do you want to continue?

ホスト名に不正な文字が含まれているため、一部の機能が実行できない場合があります

ホスト名：ホスト名

続行しますか？

不正な文字が含まれているホスト名を登録してよいかの確認です。

(S)

処理を続行します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホストを登録します。[いいえ] ボタンをクリックすると、読み込んだファイルを採用しません。

## KNAN20418-Q

Do you want to replace the agent configuration being edited?  
編集中のエージェント構成情報を置き換えますか？

編集中のエージェント構成を破棄してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、編集中のエージェント構成情報を置き換えます。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、編集中のエージェント構成情報を置き換えません。

## KNAN20419-Q

Do you want to replace the remote monitoring configuration being edited?  
編集中のリモート監視構成情報を置き換えますか？

編集中のリモート監視構成を破棄してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、編集中のリモート監視構成情報を置き換えます。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、編集中のリモート監視構成情報を置き換えません。

## KNAN20420-Q

The agent configuration includes one or more hosts that are not registered in the host list.  
To continue, unregistered hosts must be registered in the host list.  
Do you want to add the unregistered hosts to the host list?  
読み込んだエージェント構成情報にホスト一覧に登録されていないホストが含まれています  
続行するためにはホスト一覧に未登録ホストを登録する必要があります  
ホスト一覧に未登録ホストを登録しますか？

未登録ホストをホスト一覧に登録してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録します。  
[いいえ] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録しないで、ファイル読み込みを中断します。

## KNAN20421-Q

The remote monitoring configuration includes one or more hosts that are not registered in the host list.

To continue, unregistered hosts must be registered in the host list.

Do you want to add the unregistered hosts to the host list?

読み込んだリモート監視構成情報にホスト一覧に登録されていないホストが含まれています

続行するためにはホスト一覧に未登録ホストを登録する必要があります

ホスト一覧に未登録ホストを登録しますか？

未登録ホストをホスト一覧に登録してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、未登録ホストをホスト一覧に登録しないで、ファイル読み込みを中断します。

## KNAN20422-E

The syntax of the agent configuration in the specified file is invalid.

File name: **ファイル名**

Line number: **行番号**

Details: **詳細情報**

指定されたファイルのエージェント構成情報の構文が不正です

ファイル名: **ファイル名**

行番号: **行番号**

詳細情報: **詳細情報**

読み込んだファイルが構文エラーとなりました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従って再実行してください。

- 括弧はサポートされていません  
括弧を削除してください。
- 使用できない文字が含まれています  
次の不正な文字が含まれていないか確認してください。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*
- ホスト名の最大長を超えました

ホスト名は最大長を超えないように指定してください。

- 上位ホストが指定されていません  
エージェントの上位にホストを定義してください。
- マネージャーホストが存在しません  
マネージャーホストが正しく定義されているか確認してください。
- 同じホストが2個以上指定されています  
ホストは一つだけ指定してください。
- ファイル内容に何も記載されていません  
構成情報（エージェント構成またはリモート監視構成）を定義してください。
- 拠点マネージャーのエージェント構成が不正です  
拠点マネージャーのエージェント構成（システムの階層構成）が正しく定義されているか確認してください。

## KNAN20423-E

The syntax of the remote monitoring configuration in the specified file is invalid.

File name: **ファイル名**

Line number: **行番号**

Details: **詳細情報**

指定されたファイルのリモート監視構成情報の構文が不正です

ファイル名: **ファイル名**

行番号: **行番号**

詳細情報: **詳細情報**

[エージェント構成編集] 画面を閉じてよいかの確認です。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従って再実行してください。

- 括弧はサポートされていません  
括弧を削除してください。
- 使用できない文字が含まれています  
次の不正な文字が含まれていないか確認してください。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*
- ホスト名の最大長を超えました  
ホスト名は最大長を超えないように指定してください。

- 上位ホストが指定されていません  
エージェントの上位にホストを定義してください。
- マネージャーホストが存在しません  
マネージャーホストが正しく定義されているか確認してください。
- 同じホストが2個以上指定されています  
ホストは一つだけ指定してください。
- ファイル内容に何も記載されていません  
構成情報（エージェント構成またはリモート監視構成）を定義してください。

#### KNAN20424-Q

The agent configuration has not been applied.  
Are you sure you want to close the window for editing the agent configuration?  
編集中のエージェント構成が反映されていません  
エージェント構成編集画面を終了しますか？

[エージェント構成編集] 画面を閉じてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、[エージェント構成編集] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[エージェント構成編集] 画面を閉じません。

#### KNAN20425-Q

The remote monitoring configuration has not been applied.  
Are you sure you want to close the window for editing the remote monitoring configuration?  
編集中的リモート監視構成が反映されていません  
リモート監視構成編集画面を終了しますか？

[リモート監視構成編集] 画面を閉じてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、[リモート監視構成編集] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[リモート監視構成編集] 画面を閉じません。

#### KNAN20426-I

The agent configuration was saved.  
エージェント構成を保存しました

エージェント構成を保存しました。

## KNAN20427-I

The remote monitoring configuration was saved.

リモート監視構成を保存しました

リモート監視構成を保存しました。

## KNAN20428-I

An unregistered host "ホスト名" exists in the agent configuration.

Register the host, and then update the information in the window for editing the agent configuration.

エージェント構成内に未登録ホスト(ホスト名)が存在します

ホストを登録し、エージェント構成編集画面を最新情報に更新してください

[エージェント構成編集] 画面が表示されたままの状態、ホスト一覧に存在するホストがリネーム、または削除されました。

(O)

ホストを登録し、[エージェント構成編集] 画面を最新情報に更新してください。

## KNAN20429-I

An unregistered host "ホスト名" exists in the remote monitoring configuration.

Register the host, and then update the information in the window for editing the remote monitoring configuration.

リモート監視構成内に未登録ホスト(ホスト名)が存在します

ホストを登録し、リモート監視構成編集画面を最新情報に更新してください

[リモート監視構成編集] 画面が表示されたままの状態、ホスト一覧に存在するホストがリネーム、または削除されました。

(O)

ホストを登録し、[リモート監視構成編集] 画面を最新情報に更新してください。

## KNAN20430-I

A host "ホスト名" in the agent configuration does not exist in the host list.

Update the information in the window for editing the agent configuration.

エージェント構成内のホスト(ホスト名)はホスト一覧に存在しません

ホストを登録し、エージェント構成編集画面を最新情報に更新してください

新規にホストが登録され、[エージェント構成編集] 画面を最新情報に更新しない状態で、IM 構成取得が実行されました。



(O)

ホストを登録し、[エージェント構成編集] 画面を最新情報に更新してください。

#### KNAN20431-I

A host "ホスト名" in the remote monitoring configuration does not exist in the host list.  
Update the information in the window for editing the remote monitoring configuration.

リモート監視構成内のホスト(ホスト名)はホスト一覧に存在しません

ホストを登録し、リモート監視構成編集画面を最新情報に更新してください

新規にホストが登録され、[リモート監視構成編集] 画面を最新情報に更新しない状態で、IM 構成取得が実行されました。

(O)

ホストを登録し、[リモート監視構成編集] 画面を最新情報に更新してください。

#### KNAN20432-E

Reflection of the agent configuration has failed.

Details: [詳細情報](#)

エージェント構成の反映に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

エージェント構成の反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- 最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されています。  
最上位ホストを接続先ホストに変更してください。
- エージェント構成情報に未登録ホストがあります。  
ホストが登録されているか確認してください。

#### KNAN20433-E

Reflection of the remote monitoring configuration has failed.

Details: [詳細情報](#)

リモート監視構成の反映に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

リモート監視構成の反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- 最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されています。  
最上位ホストを接続先ホストに変更してください。
- リモート監視構成情報に未登録ホストがあります。  
ホストが登録されているか確認してください。

## KNAN20437-Q

When an agent configuration is reflected in the system, the existing agent configuration is deleted, and the new configuration is distributed.

All hosts that are defined in the existing agent configuration must be running.

All hosts that are defined in the new agent configuration must be running.

The JP1 event that occurred during distribution of the agent configuration might not have been transferred.

When a host is removed from an agent configuration, the profile list on the server is deleted.

Do you want to reflect the agent configuration in the IM configuration?

エージェント構成をシステムに反映する場合、既存のエージェント構成を削除した後に配布します  
既存のエージェント構成に定義したホストが全て起動している必要があります

また、反映するエージェント構成に定義したホストが全て起動している必要があります

エージェント構成の配布中に発生した JP1 イベントは転送されない可能性があります

エージェント構成からホストを外すとサーバで保存しているホストのプロファイルを削除します

エージェント構成を IM 構成に反映しますか？

エージェント構成を反映してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、エージェント構成を反映します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、エージェント構成を反映しません。

## KNAN20438-Q

When a host is deleted from a remote monitoring configuration, all remote monitoring for that host is stopped, and the profile is deleted.

Do you want to reflect the agent configuration into the IM configuration?

リモート監視構成からホストを削除する場合、該当ホストのリモート監視は全て停止し、プロファイルを削除します

リモート監視構成を IM 構成に反映しますか？

リモート監視構成を反映してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、リモート監視構成を反映します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、リモート監視構成を反映しません。

#### KNAN20440-Q

When an agent configuration is reflected in the system, all hosts that are defined in the agent configuration must be running.

When a host is removed from an agent configuration, the profile list on the server is deleted.

Do you want to reflect the agent configuration in the IM configuration?

エージェント構成をシステムに反映する場合、エージェント構成に定義したホストが全て起動している必要があります

エージェント構成からホストを外す場合は JP1 イベントが上位ホストに転送されない設定にしてください

エージェント構成からホストを外すとサーバで保存しているホストのプロファイルを削除します

エージェント構成を IM 構成に反映しますか？

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、エージェント構成を IM 構成に反映します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、エージェント構成を IM 構成に反映しません。

#### KNAN20441-Q

When an agent configuration is reflected in the system, all target hosts to be changed, and their higher-level manager hosts, must be running.

When a host is removed from an agent configuration, the profile list on the server is deleted.

Do you want to reflect the agent configuration in the IM configuration?

エージェント構成をシステムに反映する場合、エージェント構成の変更対象のホストとその上位のマネージャーホストが全て起動している必要があります

エージェント構成からホストを外すとサーバで保存しているホストのプロファイルを削除します

エージェント構成を IM 構成に反映しますか？

エージェント構成を登録してよいかの確認です。

エージェント構成の変更対象のホストとは、エージェント構成の定義を削除または追加したホストを指します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、エージェント構成を IM 構成に反映します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、エージェント構成を IM 構成に反映しません。

#### KNAN20480-Q

Do you want to read the file "ファイル名"?  
ファイル名を読み込みます。よろしいですか？

ファイルを読み込んでよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを読み込みます。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを読み込みません。

#### KNAN20481-Q

Do you want to save the file "ファイル名"?  
ファイル名を保存します。よろしいですか？

ファイルに保存してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルに保存します。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルに保存しません。

#### KNAN20482-Q

Do you want to overwrite the file "ファイル名"?  
ファイル名を上書きしますか？

ファイルを上書き保存してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしません。

#### KNAN20483-E

An attempt to read データ名 failed.  
File name: ファイル名  
データ名の読み込みに失敗しました  
ファイル名: ファイル名

ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再度実行してください。

- ファイルが存在するか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

## KNAN20484-E

An attempt to save データ名 failed.

File name: ファイル名

データ名の保存に失敗しました

ファイル名: ファイル名

ファイルの保存に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ディスク容量が不足していないか。
- メモリーの空き容量が不足していないか。
- リソースが不足していないか。
- ファイルがあるか。
- ファイルのアクセス権限が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

この方法で解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN20500-Q

Do you want to forcibly release the exclusive edit status of the selected user?

If the exclusive edit status is forcibly released, data being edited might be lost.

選択したユーザーの排他編集状態を強制解除しますか？

排他編集状態を強制解除すると編集中のデータが失われる可能性があります

排他編集状態の強制解除を実行してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、排他編集状態の強制解除を実行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、排他編集状態の強制解除を実行しません。

#### KNAN20510-I

処理 completed.  
処理が完了しました

処理が完了しました。

#### KNAN20513-Q

Do you want to interrupt 処理?  
処理を中断しますか？

処理を中断してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、処理を中断します。[いいえ] ボタンをクリックすると、処理を中断しません。

#### KNAN20514-I

Processing to interrupt 処理 completed.  
処理の中断処理が完了しました

中断処理が完了しました。

#### KNAN20515-Q

The window for displaying execution results will close. Is this OK?  
実行結果表示画面を閉じます。よろしいですか？

画面を閉じてよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、[実行結果表示] 画面を閉じます。[いいえ] ボタンをクリックすると、[実行結果表示] 画面を閉じません。

#### KNAN20516-I

処理 cannot be interrupted because it has already completed.  
処理は終了しています

すでに処理が終了しているため、中断できませんでした。

## KNAN20520-I

処理. Please wait...

処理中です。お待ちください…

サーバと通信中です。

(O)

サーバの処理が完了するまでしばらくお待ちください。

## KNAN20530-W

The topmost host is not a connection destination host.

If the topmost host is not a connection destination host, an error will occur when the IM configuration is applied.

Do you want to exchange hosts as specified?

最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されています

最上位ホストが接続ホスト以外の場合、IM 構成反映でエラーとなります

ホスト交換を続行しますか？

最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されています。

(S)

処理を続行します。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、ホスト交換を続行します。[いいえ] ボタンをクリックすると、ホスト交換を中止します。

## KNAN20800-E

Command execution failed.

Detailed information : API 名, エラーコード

コマンドの実行に失敗しました

詳細情報: API 名, エラーコード

コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20801-E

Command execution failed. (detail code = 詳細コード)  
コマンドの実行に失敗しました。(詳細コード: 詳細コード)

コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか。
- メモリーの空き容量が不足していないか。

#### KNAN20802-E

Please execute the command from an administrator console.  
管理者コンソールよりコマンドを実行してください

このコマンドは管理者コンソール上で実行する必要があります。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

管理者コンソール上でコマンドを再実行してください。

#### KNAN20803-E

Command execution failed because the user does not have execution permission.  
実行権限がないため、コマンドの実行に失敗しました

実行権限がないため、コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

Administrators 権限を持つユーザーで実行してください。



## KNAN20810-I

A thread dump output request was sent.  
スレッドダンプ出力要求を送信しました

スレッドダンプの出力要求の送信が完了しました。

(S)

コマンドを正常終了します。

## KNAN20811-E

Please specify the process ID and then try again.  
プロセス ID を指定し、再度実行してください

プロセス ID が指定されていません。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

プロセス ID を指定し、コマンドを再実行してください。

## KNAN20812-E

Multiple process IDs were specified. Please correct the argument and then try again.  
プロセス ID が複数指定されています  
引数を修正し、再度実行してください

プロセス ID が複数指定されています。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

プロセス ID を一つ指定し、コマンドを再実行してください。

## KNAN20813-E

The specified process ID was invalid. Please correct the argument and then try again.  
プロセス ID が不正です  
引数を修正し、再度実行してください

プロセス ID の値が不正です。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

プロセス ID が正しく指定されていることを確認し、コマンドを再実行してください。

#### KNAN20814-E

Please specify the process ID of the IM configuration management/viewer and then try again.

IM 構成管理・ビューアーのプロセス ID を指定し、再度実行してください

IM 構成管理・ビューアーのプロセス ID が指定されていません。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

IM 構成管理・ビューアーのプロセス ID を指定してください。

#### KNAN20815-E

The jcfview process of the IM configuration management viewer is not running.

IM 構成管理・ビューアーの jcfview プロセスが起動していません

IM 構成管理・ビューアーの jcfview プロセスが起動していません。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

IM 構成管理・ビューアーが起動していることを確認してください。また、IM 構成管理・ビューアーの jcfview プロセス (jcfview.exe) が起動していることを確認してください。

#### KNAN20816-E

Transmission of a thread dump output request failed.

スレッドダンプ出力要求の送信に失敗しました

スレッドダンプ出力要求の送信に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

IM 構成管理・ビューアーの jcfview\_evt プロセス (jcfview\_evt.exe) が起動しているかどうか確認してください。

## KNAN20820-I

Setup terminated normally.  
セットアップが正常に終了しました

セットアップが正常に終了しました。

(S)

コマンドを正常終了します。

## KNAN20821-I

Unsetup terminated normally.  
アンセットアップが正常に終了しました

アンセットアップが正常に終了しました。

(S)

コマンドを正常終了します。

## KNAN20822-E

An invalid parameter was specified.  
無効なパラメータが指定されました

jcovcfsetup セットアップコマンドの引数に無効なオプションが指定されました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

jcovcfsetup セットアップコマンドの引数に有効なオプションを指定してください。有効なオプションは次のとおりです。

- セットアップ処理をする場合は、jcovcfsetup -i、またはjcovcfsetup と指定してください。
- アンセットアップ処理をする場合は、jcovcfsetup -u と指定してください。

## KNAN20823-E

Command execution failed because acquisition of JP1/IM - View installation information failed.

JP1/IM - View のインストール情報の取得に失敗したため、コマンドの実行に失敗しました

IM 構成管理・ビューアーのインストール情報の取得に失敗したため、コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

IM 構成管理・ビューアーが正しくインストールされていることを確認してから、再実行してください。

#### KNAN20824-E

Setup cannot be performed because the shortcut destination does not exist.

ショートカットの追加先が存在しないためセットアップできません

IM 構成管理・ビューアーのプログラムフォルダが存在しないため、jcovcfsetup セットアップコマンドはショートカットを追加できません。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

IM 構成管理・ビューアーをインストールしたあとに、[スタート] - [プログラム] で表示される、IM 構成管理・ビューアーのメニューの位置や名称が変更されていないことを確認してから再実行してください。

#### KNAN20825-E

Unsetup failed. (Detailed information : API 名, エラーコード).

アンセットアップに失敗しました

詳細情報: API 名, エラーコード

アンセットアップに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN20826-E

Setup failed. (Detailed information : API 名, エラーコード)

セットアップに失敗しました

詳細情報: API 名, エラーコード

セットアップに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21000-E

The number of connections to the server exceeds the maximum value of **最大接続数**.  
サーバへの最大接続数(**最大接続数**)を超えました

サーバへの最大接続数を超えました。

(S)

処理を中断します。

(O)

最大接続数以内で接続してください。

## KNAN21001-E

User authentication failed.  
Confirm the specified user name and password, and then try again.  
ユーザー認証に失敗しました

ユーザー認証に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザー名、およびパスワードを確認してから、再実行してください。

## KNAN21002-E

A communication error occurred between the specified connection destination host and authentication server.  
接続ホストと認証サーバの間で、通信エラーが発生しました

認証サーバに接続できなかったため、ログインに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先ホスト上で認証サーバの設定に誤りがないか確認してください。

通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KNAN21003-E

A login operation failed.

ログインに失敗しました

ログインに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認してから、再ログインしてください。

- 接続ホスト名の入力正しいか。
- ポート番号は使用できる番号か。
- 接続ホストは起動しているか。
- 接続ホストとの通信に問題はないか。

なお、接続ホストが起動されているかどうかは、`jco_spm_status` コマンドで確認してください。

## KNAN21004-E

A communication error occurred between the connected host and the authentication server during logout.

認証サーバアクセスエラーが発生したため、ログアウトに失敗しました

認証サーバアクセスエラーが発生したため、ログアウトに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続先ホスト上で認証サーバの設定に誤りがないか確認してください。

## KNAN21005-E

A logout operation failed.

ログアウトに失敗しました

ログアウトに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

接続ホスト上で認証サーバの設定に誤りがないか確認してください。

## KNAN21055-E

Application of the IM configuration failed.

Details: A host that is not a connection-destination host has been specified for the top-level host.

IM 構成の反映に失敗しました

詳細: 最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されています

最上位ホストに接続ホスト以外のホストが指定されたため、IM 構成（システムの階層構成）の反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

最上位ホストに接続ホストを指定し、再実行してください。

## KNAN21151-E

The collection of profile list is failed.

Get the latest information and confirm whether the host exists.

プロフィール一覧の取得に失敗しました

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

ホストが IM 構成管理 DB 上に存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

## KNAN21154-E

The collection of operation definition information is failed.

Get the latest information and confirm whether the host exists.

有効設定情報の取得に失敗しました

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

指定されたホストはホスト一覧に存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21157-E

The collection of Configuration file content is failed.  
Get the latest information and confirm whether the host exists.  
設定ファイルの取得に失敗しました  
最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

指定されたホストはホスト一覧に存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21162-E

Batch collection for the host failed.  
Get the latest information and confirm whether the host exists.  
プロファイルの一括収集に失敗しました  
最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

指定されたホストが存在しなかったため、プロファイルの一括収集に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21165-E

Application of the configuration files failed.  
Update the information, and then confirm whether the host exists.  
設定ファイルの反映に失敗しました  
最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

指定されたホストがホスト一覧に存在しません。



(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21168-E

Batch application of the profiles failed.

Update the information, and then confirm whether the host exists.

プロファイルの一括反映に失敗しました

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

指定したホストがホスト一覧に存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21169-E

Acquisition of exclusive edit rights failed.

Get the latest information and confirm whether the host exists.

排他権の取得に失敗しました

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

排他権の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストが登録されていることを確認してから再実行してください。

#### KNAN21170-W

The configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 on the agent host might have been changed.

Do you want to apply the changes?

エージェントホストのプロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)が書き換えられた可能性があります  
反映を続行しますか？

サーバに保持している設定ファイルは、エージェントホストで使用している最新の設定ファイルではないおそれがあります。

次の原因が考えられます。

- ほかのユーザーによってエージェントホストの設定ファイルが書き換えられた
- ホスト情報を収集して設定ファイルの収集日時をクリアしたあと、プロファイル収集を実行していない
- インポートした設定ファイルで反映している

(S)

- 「はい」を選択した場合  
エージェントのプロファイル情報を反映します。
- 「いいえ」を選択した場合  
処理を中断します。

(O)

エージェント側で設定ファイルの内容を確認してから、反映を続行してください。

## KNAN21171-E

リクエスト名 cannot be executed.

Details: [詳細](#)

Close all of the Profile Display/Edit windows, apply the IM configuration, and then try again.

リクエスト名は実行できません

詳細: [詳細](#)

全てのプロファイル表示/編集画面を閉じ、IM 構成反映後、再度実行してください

リクエストリクエスト名は実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 指定された製品はサポート対象外です  
JP1/Base のバージョンが 09-00 以上か確認してください。
- IM 構成が反映されていません  
[IM 構成編集] 画面で IM 構成（システムの階層構成）を反映し、再実行してください。

## KNAN21172-E

The リクエスト名 cannot be executed because the database was updated.

Please close all the opened profile windows and invoke again after refreshing the main window.

IM 構成管理 DB が更新されたため、リクエスト名は実行できません

全てのプロファイル表示/編集画面を閉じ、IM 構成管理画面を最新情報に更新後、再度実行してください

リクエストリクエスト名は実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

すべての [プロファイル表示/編集] 画面を閉じ、[IM 構成管理] 画面を最新情報に更新してから、再実行してください。

## KNAN21173-E

Saving the configuration file in server is failed.

Get the latest information and confirm whether the host exists.

設定ファイルをサーバへ保存できませんでした

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください

設定ファイルをサーバに保存できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

[IM 構成管理] 画面を最新情報に更新し、ホストが登録されているか確認してください。

## KNAN21174-E

Application of changes failed because an error occurred when moving the configuration file (ファイル名) for プロファイル種別.

Detail Information: [詳細情報](#)

Edited contents might be stored in host (ホスト名) because rollback of configuration file is also failed.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の転送に失敗したため、編集内容を反映できませんでした

詳細情報: [詳細情報](#)

設定ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の設定ファイル(ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

設定ファイルの転送に失敗したため、編集内容を反映できませんでした。

また、ホストのバージョンが 08-50 以下のため、設定ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
エージェントホストの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (`jbsdfts_srv.conf`) の設定を確認してください。
- 他のセッションが排他しています  
[ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。
- ディレクトリが存在しません  
指定されたディレクトリが在り、アクセスできることを確認してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 通信エラーが発生しました  
対象ホストがあるか確認してください。  
ホストがある場合は、ネットワークが有効であるか確認してください。
- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- サービスもしくはプロセスのリロードに失敗しました  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作を行ったあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21175-E

The log file trap failed to be applied because an error occurred when the reload command was executed.

Error code: エラーコード. For details, see the description of the jevlogreload command in the JP1/Base manual.

The configuration file "ファイル名" on the host "ホスト名" will be returned to the state it was in after the changes had been made because the configuration file failed to be rolled back.

リロードコマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました  
エラーコード: エラーコード, 詳しくは JP1/Base のマニュアル[コマンド: jevlogreload]を参照してください

設定ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の設定ファイル(ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

リロード/起動コマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。

詳しくは JP1/Base のマニュアル (jevlogstart コマンド, jevlogreload コマンドおよび表示されたエラーコードが示すエラー内容)を確認してください。

また、ホストのバージョンが 08-50 以下のため、設定ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の操作を実行してください。

- JP1/Base のマニュアル (jevlogstart コマンド, jevlogreload コマンド) でメッセージに表示されたエラーコードの詳細を確認し、対処してください。
- 有効設定情報を確認の上、設定ファイルを編集し直し、再度リロードしてください。

## KNAN21176-E

Application of changes to the configuration file (ファイル名) for プロファイル種別 failed.

Cause: 詳細情報

Edited contents might be stored in host (ホスト名) because rollback of configuration file also failed.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の編集内容を反映できませんでした

詳細情報: 詳細情報

設定ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の設定ファイル(ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

設定ファイルの編集内容を反映できませんでした。

また、ホストのバージョンが 08-50 以下のため、設定ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

有効設定情報を確認の上、設定ファイルを編集し直し、再度リロードしてください。  
また、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - ・メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ・ファイルがあるか。
  - ・ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ファイル名が長すぎます  
ファイル名、またはパスを短くしてから再実行してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。
- 設定ファイルに記述ミスが含まれているか、JP1/Base が正常に稼働していない可能性があります  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21177-E

Application of changes to the configuration file (設定ファイル名) for プロファイル種別 failed.  
Cause: 詳細情報

The rollback function of the configuration file is not supported for JP1/Base version of host (ホスト名).

Edited contents might be stored in host (ホスト名).

プロファイル種別の設定ファイル(設定ファイル名)の編集内容を反映できませんでした

詳細情報: 詳細情報

設定ファイルのロールバック機能は、ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンには対応していないため、ホスト(ホスト名)の設定ファイル(設定ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

設定ファイルの編集内容を反映できませんでした。

また、ホストのバージョンが 08-51 以下のため、設定ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

有効設定情報を確認の上、設定ファイルを編集し直し、再度リロードしてください。

また、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。
- 設定ファイルに記述ミスが含まれているか、JP1/Base が正常に稼働していない可能性があります  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから、再実行してください。
  - ・ メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ・ ファイルがあるか。
  - ・ ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ ファイルを別のアプリケーションで開いて (ロックして) いないか。

- ファイル名が長すぎます  
ファイル名、またはパスを短くしてから再実行してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21178-E

Application of changes failed for the configuration file (ファイル名) for プロファイル種別.

Detail Information: [詳細情報](#)

Reload with old configuration file is also failed.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の反映に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

また、ロールバックした設定ファイルのリロードに失敗しました

設定ファイルの反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

有効設定情報を確認の上、設定ファイルを編集し直し、再度リロードしてください。

また、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の確認をしてから再実行してください。
  - メモリの空き容量は十分か。
  - ファイルが存在するか。
  - ファイルのアクセス権限が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ファイル名が長すぎます  
ファイル名またはパスを短くしてから、再実行してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスもしくはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作をしたあと再実行してください。
  - サービスもしくはプロセスを起動する。
  - [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました



ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。
- 設定ファイルに記述ミスが含まれているか、JP1/Base が正常に稼働していない可能性があります  
該当するサービスもしくはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと再実行してください。
  - ・ サービスもしくはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されている可能性があります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しい確認してください。
- サービスもしくはプロセスのリロードに失敗しました  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、または設定ファイルが正しく記述されているかどうかを確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21179-E

The log file trap failed to be applied because an error occurred when the reload command was executed.

Error code: エラーコード

The configuration file, which was rolled back, failed to be reloaded.

リロードコマンドの実行中にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました

エラーコード: エラーコード

また、ロールバックした設定ファイルのリロードに失敗しました

リロードコマンド実行中にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- JP1/Base のマニュアルでjevlogreload コマンドを参照し、エラーコードの詳細について確認してください。
- 有効設定情報に従って、設定ファイルを編集し、再実行してください。

## KNAN21180-E

Application of the log file trap for 監視名 failed.

Details: 詳細情報

The startup definition file of the host "ホスト名" has been overwritten by IM Configuration Management because rollback of the startup definition file failed.

監視名のログファイルトラップの反映に失敗しました

詳細情報: 詳細情報

起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています

ログファイルトラップの反映に失敗しました。

また、起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
エージェントホストの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。
- 他のセッションが排他しています  
[ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。
- ディレクトリが存在しません  
指定されたディレクトリが在り、アクセスできることを確認してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - サービスまたはプロセスを起動する。
  - [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 通信エラーが発生しました

取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

また、JP1/Base が稼働しているか確認してください。

JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。

- ・ サービスまたはプロセスを起動する。
- ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました  
マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- エージェントホストでメモリー不足が発生しました  
エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - ・ メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ・ ファイルがあるか。
  - ・ ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。  
取得先ホストの JP1/Base が正常に動作しているか確認してください。
- 設定ファイルに記述ミスが含まれているか、JP1/Base が正常に稼働していない可能性があります  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

The log file trap for 監視名 failed to start.

Details: 詳細情報

The configuration file of the host "ホスト名" has been overwritten with the edited configuration file because rollback of the configuration file failed.

監視名のログファイルトラップの起動に失敗しました

詳細情報: 詳細情報

設定ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の設定ファイルは、編集後の内容に書き換えられています

ログファイルトラップの起動に失敗しました。

また、設定ファイルのロールバックに失敗したため、設定ファイルは、編集後の内容に書き換えられています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
ログファイルトラップサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、ログファイルトラップサービスを起動し、再実行してください。
- 起動オプションが不正です  
次の内容を確認してください。
  - ・ 起動オプションが正しく指定されているか。
  - ・ 追加オプションに -f, -a オプションを指定していないか。
- 監視名(監視名)のログファイルトラップは既に起動しています  
エージェントホストで動作しているログファイルトラップを確認してください。
- 設定ファイルの構文が不正か、または指定されたログファイルが存在しません  
次の内容を確認してください。
  - ・ 設定ファイルの内容が正しいかどうか。
  - ・ 指定したログファイルがあるか。
  - ・ 指定したログファイルパスに空白が含まれている場合は、ダブルクォーテーション (") で囲まれているか。

確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 設定ファイルの配置に失敗しました。(パス: パス)

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- メッセージに表示されたパスのアクセス権が正しく設定されているか。
- メッセージに表示されたパスにファイルが存在する場合、そのファイルが上書きできるか。
- ディスク容量が十分確保されているか。

- 起動定義ファイル (起動定義ファイルパス) の更新に失敗しました

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
- 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ディスク容量が十分確保されているか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21183-E

The log file trap for 監視名 failed to start.

Details: 詳細情報

The startup definition file of the host "ホスト名" has been overwritten by IM Configuration Management because rollback of the startup definition file failed.

監視名のログファイルトラップの起動に失敗しました

詳細情報: 詳細情報

起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています

ログファイルトラップの起動に失敗しました。

また、起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません

ログファイルトラップサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、ログファイルトラップサービスを起動し、再実行してください。

- 起動オプションが不正です

次の内容を確認してください。

- 起動オプションが正しく指定されているか。
- 追加オプションに -f, -a オプションを指定していないか。

- 監視名(監視名)のログファイルトラップは既に起動しています

エージェントホストで動作しているログファイルトラップを確認してください。

- 設定ファイルの構文が不正か、または指定されたログファイルが存在しません

次の内容を確認してください。

- 設定ファイルの内容が正しいかどうか。
- 指定したログファイルがあるか。
- 指定したログファイルパスに空白が含まれている場合は、ダブルクォーテーション (") で囲まれているか。

確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 設定ファイルの配置に失敗しました。(パス: パス)

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- メッセージに表示されたパスのアクセス権が正しく設定されているか。
- メッセージに表示されたパスにファイルが存在する場合、そのファイルが上書きできるか。
- ディスク容量が十分確保されているか。

- 起動定義ファイル(起動定義ファイルパス)の更新に失敗しました

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
- 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ディスク容量が十分確保されているか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21184-E

The log file trap for 監視名 failed to stop.

Details: [詳細情報](#)

The startup definition file of the host "ホスト名" has been overwritten by IM Configuration Management because rollback of the startup definition file failed.

監視名のログファイルトラップの停止に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、ホスト(ホスト名)の起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています

ログファイルトラップの停止に失敗しました。

また、起動定義ファイルのロールバックに失敗したため、起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
ログファイルトラップサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、ログファイルトラップサービスを起動し、再実行してください。
- ログファイルトラップの停止コマンドの実行に失敗しました  
エージェントホストでログファイルトラップの停止コマンドが実行できるか確認してください。
- エージェントホストの設定ファイル(ファイル名)の削除に失敗しました  
エージェントホストが表示されたファイル名の設定ファイルを手動で削除してください。
- 起動定義ファイル (起動定義ファイルパス) の更新に失敗しました  
エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。
  - 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
  - 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ディスク容量が十分確保されているか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21185-E

Batch collection cannot be performed because the agent configuration does not exist.

エージェント構成が存在しないため、一括収集処理は実行できません

エージェント構成が存在しない環境で一括収集処理を実行しようとしています。

リモート監視構成ではプロファイルの一括収集はできません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

リモート監視構成だけの場合は、このメッセージを無視してください。または、エージェント構成を定義し、再実行してください。

## KNAN21186-E

Batch application processing was not performed because the agent configuration does not exist.

エージェント構成が存在しないため、一括反映処理は実行できません

エージェント構成が存在しない環境で一括反映処理を実行しようとしています。

リモート監視構成ではプロファイルの一括反映はできません。

(S)

プロファイルの一括反映を中止します。

(O)

リモート監視構成だけの場合は、このメッセージを無視してください。または、エージェント構成を定義し、再実行してください。

## KNAN21187-W

The configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 on the agent host might have been changed.

Do you want to collect the プロファイル種別?

エージェントホストのプロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)が書き換えられた可能性があります  
プロファイル種別を収集しますか？

サーバに保持している設定ファイルは、エージェントホストで使用している最新の設定ファイルではないおそれがあります。

次の原因が考えられます。

- ほかのユーザーによってエージェントホストの設定ファイルが書き換えられた
- ホスト情報を収集して設定ファイルの収集日時をクリアしたあと、プロファイル収集を実行していない
- インポートした設定ファイルで反映している

(S)

- 「はい」を選択した場合  
エージェントのプロファイル情報を収集します。



- 「いいえ」を選択した場合  
処理を中断します。

(O)

エージェント側で設定ファイルの内容を確認してから、収集を続行してください。

## KNAN21300-E

An attempt to paste a business group or a monitoring group failed because the path length exceeds the limit "制限値 byte".

業務グループまたは監視グループのパスの長さが制限値(制限値バイト)以上のため、貼り付けできませんでした

貼り付けを行うと、パスの長さが制限値を超える監視グループが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務グループ名、または監視グループ名を短くしてから再度実行してください。

## KNAN21301-Q

Do you want to apply the business group changes to the system?

If you apply when bizmonmode is ON, the restriction of controlling event monitoring is performed according to the changed business group configuration.

業務グループの編集情報を反映しますか？

業務グループの操作・参照制限が有効になっている場合、反映を行うと、編集した業務グループの構成に従ってイベント監視の操作・参照制限を行います

編集した業務グループの内容を反映してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、業務グループの編集情報を反映します。

業務グループの操作・参照制限が有効になっている場合、反映を行うと、イベント監視の操作・参照制限を行う範囲が編集した業務グループの構成に変わります。

[いいえ] ボタンをクリックすると、業務グループの編集情報を反映しません。

## KNAN21302-Q

Do you want to apply the business groups to the central scope monitoring tree?

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーへ反映しますか？

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーへ反映してよいかの確認です。

(O)

- [はい] ボタンをクリックすると、業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映します。
- [いいえ] ボタンをクリックすると、業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しません。

### KNAN21303-Q

Do you want to delete the selected business group?  
選択中の業務グループを削除しますか？

業務グループを削除してよいかの確認です。

(O)

- [はい] ボタンをクリックすると、選択中の業務グループを削除します。
- [いいえ] ボタンをクリックすると、選択中の業務グループを削除しません。

### KNAN21304-Q

Do you want to delete the selected monitoring group?  
選択中の監視グループを削除しますか？

監視グループを削除してよいかの確認です。

(O)

- [はい] ボタンをクリックすると、選択中の監視グループを削除します。
- [いいえ] ボタンをクリックすると、選択中の監視グループを削除しません。

### KNAN21305-E

Names are duplicated in the same layer of the business group.  
Duplicated names: **重複している名前**  
業務グループの同じ階層で名前が重複しています  
重複している名前: **重複している名前**

業務グループの同じ階層に同名のホストまたは監視グループが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務グループ名または監視グループ名を変更してから再度実行してください。

### KNAN21306-E

The host "ホスト名" cannot be deleted because it is registered in a business group "業務グループ名".

ホスト(ホスト名)は業務グループ(業務グループ名)に含まれるため、削除できません

業務グループに所属するホストは削除できません。削除する場合は、ホストを業務グループから登録解除してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホストを業務グループから登録解除してから再度実行してください。

## KNAN21307-E

The business group or monitoring group could not be created or edited because the length of the path exceeds the limit "制限値 bytes".

業務グループまたは監視グループのパスの長さが制限値(制限値バイト)以上のため、作成または変更できませんでした

業務グループ・監視グループを作成または変更すると、パスの長さが制限値を超える監視グループが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務グループ名、または監視グループ名を短くしてから再度実行してください。

## KNAN21308-Q

If the hosts "ホスト名" are unregistered from the business group, they will also be unregistered from all corresponding monitoring groups.

Do you want to continue?

ホスト(ホスト名)を業務グループから登録解除すると、所属している全ての監視グループからも登録解除されます

操作を続行しますか？

ホストが所属しているすべての監視グループから登録解除してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、選択中のホストを登録解除します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、選択中のホストを登録解除を削除しません。

## KNAN21309-Q

Executing the リクエスト名 request will cause all edited information in the business group to be lost.

Do you want to continue?

リクエスト名を行うと、業務グループの編集内容が失われます  
操作を続行しますか？

編集中の業務グループの内容を破棄してよいかの確認です。

(O)

[はい] ボタンをクリックすると、リクエスト名の操作を行います。

[いいえ] ボタンをクリックすると、リクエスト名の操作を行いません。

## KNAN21310-E

Host Name of the host "既存ホスト名" cannot be changed since the monitoring group of the same name "新ホスト名" already exists in the same heirarchy.

同じ階層に同名の監視グループ(新ホスト名)が存在するため、ホスト(既存ホスト名)の名前を変更できません

ホストが所属する業務グループの階層に同名の監視グループが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

同一階層に同名の監視グループが存在しない名前を指定し再度実行してください。

## KNAN21311-E

The operation to 上限値 cannot be performed because the number of levels for business groups and monitoring groups exceeds the limit (操作 levels).

業務グループと監視グループの階層の深さが制限値(上限値階層)を超えるため、操作できません

操作を行うと、業務グループと監視グループの階層の深さが制限値を超える監視グループが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務グループと監視グループの階層の深さが制限値に収まるように業務グループを作成してください。

## KNAN21400-W

Collection of host information from host "ホスト名" partially succeeded.

Collection of host information from JP1/Base succeeded while collection of host information from the remote host failed.

Details: [詳細情報](#)

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に一部成功しました

JP1/Base からのホスト情報の収集に成功しました

リモートによるホスト情報の収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

指定されたホストのホスト情報の収集に一部成功しました。

(S)

リモートによるホスト情報を収集しません。

(O)

リモートによるホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リモート通信設定が設定されていません  
ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。

- 監視対象ホストに接続できません  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。
  - 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
  - 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
  - 監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- ・ 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・ JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません  
システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。
- リモート監視プロセスの作成に失敗しました  
システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21401-W

Collection of host information from host (ホスト名) partially succeeded.

Collection of host information from the remote host succeeded while collection of host information from JP1/Base failed.

Details: [詳細情報](#)

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に一部成功しました

リモートによるホスト情報の収集に成功しました

JP1/Base からホスト情報収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

指定されたホストのホスト情報の収集に一部成功しました。

(S)

JP1/Base からのホスト情報を収集しません。

(O)

JP1/Base からのホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。ただし、エージェント構成の監視を行わない場合、対処は必要ありません。なお、エージェント構成の監視を行わない場合でも、IM 構成に含まれるまでこのメッセージが出力されます。

指定されたホストと通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました。

- ・ 接続ホストが起動しているか。
- ・ ホストに接続可能か。
- ・ JP1/Base が起動しているか。
- ・ 名前解決ができるようになっているか。

ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました

- ・ JP1/Base のバージョンを 09-00 以上にしてください。

ホスト種別が実際と異なるため、ホスト(ホスト名)のホスト情報収集に失敗しました。(登録されているホスト種別: 登録されているホスト種別, 実際のホスト種別: 実際のホスト種別)

- ・ ホスト属性編集を行い、ホスト種別を訂正してから再度実行してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB アクセスエラー)

- ・ `jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストとの接続に失敗しました)

- ・ 接続ホストが起動しているか。
- ・ ホストに接続可能か。
- ・ JP1/Base が起動しているか。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストに接続中に取得したデータは不正です)

- ・ 取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。取得先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: リソースが不足しています)

- ・ ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストがビジーです)

- ・ しばらく時間をおいてから再実行してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました)

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ受信に失敗しました)

- ・ OS のリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。
- ・ 接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 不正な動作環境でリクエストが実行されました)

- ・ IM 構成 (システムの階層構成) が削除されているおそれがあります。
- ・ [IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21402-E

The collection of host information for a host "ホスト名" failed.

The collection of host information failed from JP1/Base.

Detailed information: [詳細情報](#)

The collection of remote host information failed.

Detailed information: [詳細情報](#)

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に失敗しました

JP1/Base からホスト情報収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

リモートによるホスト情報の収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

ホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

JP1/Base からのホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。ただし、エージェント構成の監視を行わない場合、JP1/Base からホスト情報収集の失敗に対して対処は必要ありません。また、リモート監視構成の監視を行わない場合、リモートによるホスト情報収集の失敗に対して対処は必要ありません。エージェント構成の監視またはリモート監視構成の監視を行わない場合でも、IM 構成に含まれるまでこのメッセージが出力されます。

指定されたホストと通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました。

- ・接続ホストが起動しているか。
- ・ホストに接続可能か。
- ・JP1/Base が起動しているか。
- ・名前解決ができるようになっているか。

ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました

- ・JP1/Base のバージョンを 09-00 以上にしてください。

ホスト種別が実際と異なるため、ホスト(ホスト名)のホスト情報収集に失敗しました。(登録されているホスト種別: [詳細情報](#), 実際のホスト種別: [詳細情報](#))

- ・ホスト属性編集を行い、ホスト種別を訂正してから再度実行してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB アクセスエラー)

- ・jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストとの接続に失敗しました)

- ・接続ホストが起動しているか。
- ・ホストに接続可能か。



- ・JP1/Base が起動しているか。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストに接続中に取得したデータは不正です)

- ・取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。取得先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: リソースが不足しています)

- ・ディスク容量, メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストがビジーです)

- ・しばらく時間をおいてから再実行してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました)

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ受信に失敗しました)

- ・OS のリソース, メモリー状況, 接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。
- ・接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。

ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 不正な動作環境でリクエストが実行されました)

- ・IM 構成 (システムの階層構成) が削除されているおそれがあります。
- ・[IM 構成検証] を実行して, 現在の構成が正しいか確認してください。

リモートによるホスト収集でエラーが発生し, 次の詳細情報が表示された場合は, 各対処に従ってください。

- ・リモート通信設定が設定されていません

ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。

- ・監視対象ホストに接続できません

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は, 次の事項を確認してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は, SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は, 次の事項を確認してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。

- 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。

- JPI/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません

システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21403-E

Host "ホスト名" failed to collect host information from the remote host.

Details: [詳細情報](#)

ホスト(ホスト名)のリモートによるホスト情報の収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

ホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

リモートによるホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リモート通信設定が設定されていません

ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。

- 監視対象ホストに接続できません

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・ 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・ 監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・ 監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- ・ 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・ WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- ・ 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・ JPI/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません

システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21404-E

There is a host for which IM configuration synchronization failed.

Take action according to the manual, and then retry IM configuration synchronization.

Host where acquisition of the agent configuration failed. (Host: ホスト名)

Host where acquisition of the remote configuration failed. (Host: ホスト名)

IM 構成の同期に失敗したホストがあります。マニュアルに従って対処を実行したあと、IM 構成の同期を再度実行して下さい

エージェント構成の取得に失敗しました(ホスト: ホスト名)

リモート監視構成の取得に失敗しました(ホスト: ホスト名)

同期に失敗しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

エージェント構成の取得に失敗したホスト（拠点マネージャー）で、JP1/Base が起動しているかどうか確認してください。起動している場合は次について確認してください。

jbsrt\_get コマンドを実行する。

次のどれかの現象が発生したか確認する。

- メッセージ KAVB3162-E が出力される。
- jbsrt\_get コマンドが異常終了する。
- 「上位ホスト」や「下位ホスト」に自ホスト名が表示されている。
- 「自ホスト」に自ホスト名以外のホスト名が表示されている。
- ホスト名が文字化けしている。

上記の現象が発生している場合は次の方法で回復してください。

1. エージェント構成の取得に失敗したホスト（拠点マネージャー）で、jbsrt\_del コマンドを実行し、IM 構成を削除する。
2. マネージャーホストから、一括配布方式で再度 IM 構成の反映を実行する。

リモート監視構成の取得に失敗したホスト（拠点マネージャー）で次について確認してください。

- 拠点マネージャーで IM 構成管理が起動していることを確認してください。なお、拠点マネージャーでリモート監視構成が存在しない場合は、このメッセージを無視してください。
- IM 構成管理・ビューアーを接続し、リモート監視構成が表示できるか確認してください。
- 拠点マネージャーで通信暗号化機能が有効な場合は、拠点マネージャーのルート証明書が接続先マネージャーに設定されているかを確認してください。詳細な対処方法はマニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(59) 通信暗号化機能が有効の JP1/IM - View で、エラーが表示される場合の対処方法」の「IM 構成の同期でリモート監視構成の取得に失敗する場合」を参照してください。

## KNAN21405-W

Collection of host information from host "ホスト名" partially succeeded.

Collection of host information from JP1/Base succeeded while collection of host information from the remote host failed.

Detailed information: **詳細情報**

All remote monitoring on the host "ホスト名" stopped, because collection of remote host information failed.

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に一部成功しました

JP1/Base からのホスト情報の収集に成功しました

リモートによるホスト情報の収集に失敗しました

**詳細情報: 詳細情報**

リモートによるホスト情報の収集に失敗したため、ホスト(ホスト名)で稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

指定されたホストのホスト情報の収集に一部成功しました。リモートによるホスト情報の収集に失敗したため、ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(S)

リモートによるホスト情報を収集しません。

ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(O)

詳細情報ごとに対処してから、リモートによるホスト情報の収集を再度実行してください。

リモートによるホスト情報の収集が正常終了した後に、停止したリモート監視を再起動してください。

リモートによるホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リモート通信設定が設定されていません

ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。

- 監視対象ホストに接続できません

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- 監視対象ホスト名のホストで SSH サーバーが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホストにログインするユーザのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザ名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。

- ・ 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・ JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません

システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21406-W

Collection of host information from host (ホスト名) partially succeeded.

Collection of host information from the remote host succeeded while collection of host information from JP1/Base failed.

Detailed information: [詳細情報](#)

All remote monitoring on the host "ホスト名" stopped, because the OS of the host changed around the time that the host information was collected. (OS before collection = 収集前の OS 名, OS after collection = 収集後の OS 名)

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に一部成功しました

リモートによるホスト情報の収集に成功しました

ホスト情報収集の実行前後でホストの OS が変更されているため、ホスト(ホスト名)で稼働しているリモート監視をすべて停止しました。(収集前の OS 名: 収集前の OS 名, 収集後の OS 名: 収集後の OS 名)

JP1/Base からホスト情報収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

指定されたホストのホスト情報の収集に一部成功しました。ホスト情報収集の実行前後でホストの OS が変更されているため、ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(S)

JP1/Base からのホスト情報を収集しません。

ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(O)

監視対象ホストの OS が変更されているため、監視対象ホストが正しいか確認してください。

監視対象ホストが正しい場合は、リモート監視のプロファイルの設定が収集後の OS に適しているか確認した後に、停止したリモート監視を再起動してください。また、詳細情報ごとに対処してから、ホスト情報の収集を再度実行してください。

JP1/Base からのホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 指定されたホストと通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました。
  - ・接続ホストが起動しているか。
  - ・ホストに接続可能か。
  - ・JP1/Base が起動しているか。
  - ・名前解決ができるようになっているか。
- ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました
  - ・JP1/Base のバージョンを 09-00 以上にしてください。
- ホスト種別が実際と異なるため、ホスト(ホスト名)のホスト情報収集に失敗しました。(登録されているホスト種別: **ホスト種別**, 実際のホスト種別: **ホスト種別**)
  - ・ホスト属性編集を行い、ホスト種別を訂正してから再度実行してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB アクセスエラー)
  - ・jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストとの接続に失敗しました)
  - ・接続ホストが起動しているか。
  - ・ホストに接続可能か。
  - ・JP1/Base が起動しているか。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストに接続中に取得したデータは不正です)
  - ・取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。取得先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: リソースが不足しています)
  - ・ディスク容量, メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストがビジーです)

- ・しばらく時間をおいてから再実行してください。
- ・ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました)
- ・ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ受信に失敗しました)
  - ・OSのリソース, メモリー状況, 接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。
  - ・接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- ・ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 不正な動作環境でリクエストが実行されました)
  - ・IM 構成 (システムの階層構成) が削除されているおそれがあります。
  - ・[IM 構成検証] を実行して, 現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は, 資料採取ツールを使って資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

監視対象ホストが正しくない場合は, システム構成を見直してください。

## KNAN21407-E

The collection of host information for a host "ホスト名" failed.

The collection of host information failed from JP1/Base.

Detailed information: [詳細情報](#)

The collection of remote host information failed.

Detailed information: [詳細情報](#)

All remote monitoring on the host ""ホスト名" stopped, because collection of remote host information failed.

ホスト(ホスト名)のホスト情報の収集に失敗しました

JP1/Base からホスト情報収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

リモートによるホスト情報の収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

リモートによるホスト情報の収集に失敗したため, ホスト(ホスト名)で稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

ホスト情報の収集に失敗しました。リモートによるホスト情報の収集に失敗したため, ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

### (S)

ホスト情報を収集しません。

ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。



(O)

詳細情報ごとに対処してから、ホスト情報の収集を再度実行してください。

リモートによるホスト情報の収集が正常終了した後に、停止したリモート監視を再起動してください。

リモートによるホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リモート通信設定が設定されていません

ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。

- 監視対象ホストに接続できません

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- 監視対象ホスト名のホストで SSH サーバーが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホストにログインするユーザのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザ名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- JPI/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません

システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

JP1/Base からのホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 指定されたホストと通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました。
  - ・ 接続ホストが起動しているか。
  - ・ ホストに接続可能か。
  - ・ JP1/Base が起動しているか。
  - ・ 名前解決ができるようになっているか。
- ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました
  - ・ JP1/Base のバージョンを 09-00 以上にしてください。
- ホスト種別が実際と異なるため、ホスト(ホスト名)のホスト情報収集に失敗しました。(登録されているホスト種別: **ホスト種別**, 実際のホスト種別: **ホスト種別**)
  - ・ ホスト属性編集を行い、ホスト種別を訂正してから再度実行してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB アクセスエラー)
  - ・ jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストとの接続に失敗しました)
  - ・ 接続ホストが起動しているか。
  - ・ ホストに接続可能か。
  - ・ JP1/Base が起動しているか。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: ホストに接続中に取得したデータは不正です)
  - ・ 取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。取得先ホストの JP1/Base が起動しているか確認してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: リソースが不足しています)
  - ・ ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストがビジーです)
  - ・ しばらく時間をおいてから再実行してください。
- ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました)
  - ・ OS のリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

- ・接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- ・ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 不正な動作環境でリクエストが実行されました)
  - ・IM 構成 (システムの階層構成) が削除されているおそれがあります。
  - ・[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21408-E

Host "ホスト名" failed to collect host information from the remote host.

Detailed information: [詳細情報](#)

All remote monitoring on the host "ホスト名" stopped, because collection of remote host information failed.

ホスト(ホスト名)のリモートによるホスト情報の収集に失敗しました

詳細情報: [詳細情報](#)

リモートによるホスト情報の収集に失敗したため、ホスト(ホスト名)で稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

ホスト情報の収集に失敗しました。リモートによるホスト情報の収集に失敗したため、ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

### (S)

ホスト情報を収集しません。

ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

### (O)

詳細情報ごとに対処してから、ホスト情報の収集を再度実行してください。

リモートによるホスト情報の収集が正常終了した後に、停止したリモート監視を再起動してください。

リモートによるホスト収集でエラーが発生し、次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ・リモート通信設定が設定されていません  
ホストのリモート通信設定を設定してから再度実行してください。
- ・監視対象ホストに接続できません  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。
  - ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
  - ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
  - ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバーが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホストにログインするユーザのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定および WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 認証に失敗しました

監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- ・SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

・[システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザ名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。

- ・監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません

システム共通設定の SSH ページから秘密鍵の存在するファイルパスを設定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN21409-W

Host information from the host "ホスト名" was successfully collected.

All remote monitoring on the host "ホスト名" stopped, because the OS of the host changed around the time that the host information was collected. (OS before collection = 収集前の OS 名, OS after collection = 収集後の OS 名)

ホスト(ホスト名)からのホスト情報を収集しました。

ホスト情報収集の実行前後でホストの OS が変更されているため、ホスト(ホスト名)で稼働しているリモート監視をすべて停止しました。(収集前の OS 名：収集前の OS 名, 収集後の OS 名：収集後の OS 名)

ホスト情報を収集しました。ホスト情報収集の実行前後でホストの OS が変更されているため、ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(S)

ホストで稼働しているリモート監視をすべて停止しました。

(O)

監視対象ホストの OS が変更されているため、監視対象ホストが正しいか確認してください。

監視対象ホストが正しい場合は、リモート監視のプロファイルの設定が収集後の OS に適しているか確認した後に、停止したリモート監視を再起動してください。

監視対象ホストが正しくない場合は、システム構成を見直してください。

## KNAN21410-E

An attempt to copy to the clipboard failed because the clipboard is being used.

クリップボードが使用中のため、クリップボードへのコピーに失敗しました

クリップボードがほかのアプリケーションによって使用中のため、クリップボードへのコピーに失敗しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

ほかのアプリケーションがクリップボードを使用していないか確認し、再実行してください。

## KNAN21411-E

A memory shortage occurred during processing to copy to the clipboard.

クリップボードへのコピー処理でメモリー不足が発生しました

クリップボードへのコピー処理でメモリー不足が発生しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

次のことを確認し、再実行してください。

- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- Windows イベントログを確認し、OS のリソース不足が発生していないか確認してください。

## KNAN21412-E

An attempt to copy to the clipboard has failed.

クリップボードへのコピーに失敗しました

クリップボードへのコピーに失敗しました。

(S)

クリップボードへのコピー処理を中断します。

(O)

再実行してください。

このメッセージが頻繁に出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## 2.13 IM 構成管理に関するメッセージ (KNAN22000~KNAN26999)

### KNAN22000-I

The host "ホスト名" was successfully registered.

ホスト(ホスト名)を登録しました

ホストの登録に成功しました。

(S)

ホストを登録しました。

### KNAN22001-I

An attribute for the host "ホスト名" was successfully changed.

ホスト(ホスト名)のホスト属性を変更しました

指定されたホストの属性を変更しました。

(S)

ホスト属性を変更しました。

### KNAN22002-I

Host information from the host "ホスト名" was successfully collected.

ホスト(ホスト名)からのホスト情報を収集しました

エージェントホストからホスト情報を収集しました。

(S)

ホスト情報を収集しました。

### KNAN22003-I

The host "ホスト名" was successfully deleted.

ホスト(ホスト名)を削除しました

指定されたホストの削除に成功しました。

(S)

ホストを削除しました。

### KNAN22004-E

Collection of host information from all hosts failed. (Cause: エラーコード)

全てのホストからホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

すべてのホストの検索に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22005-E

Host "ホスト名" cannot be registered because a host with the same name is already registered.  
同名のホストが登録済みのため、ホスト(ホスト名)が登録できません

ホストはすでに IM 構成管理 DB に登録されています。

(S)

ホストを登録しません。

(O)

重複しないホスト名を登録してください。

## KNAN22006-E

Registration of the host "ホスト名" failed because the number of registered hosts exceeded the maximum limit 登録ホスト上限数.

登録できるホストの上限登録ホスト上限数を超えたため、ホスト(ホスト名)の登録に失敗しました。  
(最大登録ホスト数: 登録ホスト上限数)

登録できるホストの上限を超えたため、ホストの登録に失敗しました。

(S)

ホストを登録しません。

(O)

次のどちらかの方法で対処してください。

- IM 構成管理に登録されている不要なホストを削除する。
- 登録ホスト上限数が 1024 の場合、IM データベースサービスのサイズを L サイズに拡張する。

## KNAN22007-E

The host "ホスト名 1" cannot be registered because the host "ホスト名 2" specified in 関連ホスト is not registered.



関連ホストで指定されたホスト(ホスト名 2)が未登録のため、ホスト(ホスト名 1)が登録できません

実行系ホスト、待機系ホスト、または VMM ホストに指定されたホストは登録されていません。

(S)

ホストを登録しません。

(O)

実行系ホスト、待機系ホスト、または VMM ホストのホスト名は、ホスト一覧に登録されているホストを指定してください。

## KNAN22008-E

Registration of the host "ホスト名" failed. (Cause: エラーコード)

ホスト(ホスト名)の登録に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

ホストの登録に失敗しました。

(S)

ホストを登録しません。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22009-E

Registration of the host "ホスト名" failed because the host type of the host "関連ホスト名" specified in 関連ホスト is incorrect.

関連ホストで指定されたホスト(関連ホスト名)の種別が不正なため、ホスト(ホスト名)の登録に失敗しました

指定されたホストの種別が不正なため、ホストの登録に失敗しました。

(S)

ホストを登録しません。

(O)

次のホスト種別ごとの条件を見直してください。

- VMM ホストには、物理ホストを指定してください。
- 実行系ホストには、物理ホストか仮想ホストを指定してください。
- 待機系ホストには、物理ホストか仮想ホストを指定してください。

## KNAN22010-E

An attribute of the host "ホスト名" cannot be changed because the host "ホスト名" specified in 関連ホスト is not registered.

関連ホストで指定されたホスト(ホスト名)が未登録のため、ホスト(ホスト名)のホスト属性を変更できません

指定されたホストが未登録のため、ホスト属性を変更できません。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

VMM ホスト，実行系ホスト，または待機系ホストのホスト名は，ホスト一覧に登録されているホストを指定してください。

## KNAN22011-E

An attribute of the host "ホスト名" cannot be changed because the host type of the host "関連ホスト名" specified in 関連ホスト is incorrect.

関連ホストで指定された，ホスト(関連ホスト名)の種別が不正なため，ホスト(ホスト名)のホスト属性を変更できません

指定されたホストの種別が不正なため，ホスト属性を変更できません。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

次のホスト種別ごとの条件を見直してください。

- VMM ホストには，物理ホストを指定してください。
- 実行系ホストには，物理ホストか仮想ホストを指定してください。
- 待機系ホストには，物理ホストか仮想ホストを指定してください。

## KNAN22012-E

An attempt to change a host attribute for the host "ホスト名" failed. (Details: エラーコード)  
ホスト(ホスト名)に対するホスト属性の変更に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

指定されたホストのホスト属性の変更ができませんでした。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ログファイルトラップはそのホストで動作しています  
対象ホストで動作しているリモートログファイルトラップおよびリモートイベントログトラップを停止してから再度実行してください。
- ファイルの操作ができません  
次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認し、再度実行してください。
  - Windows の場合：Windows イベントログ
  - UNIX の場合：シスログ (syslog)

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

詳細情報が上記以外の場合は、`jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22013-E

The host attribute cannot be changed to **ホスト種別** because host **ホスト名** is referenced as **関連ホスト** from **ホスト名 2**.

ホスト(**ホスト名**)はホスト(**ホスト名 2**)から**関連ホスト**として参照されているため、ホスト属性を**ホスト種別**に変更できません

指定されたホストはほかのホストによって参照されているため、ホスト属性の変更はできません。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

参照元ホストのホスト属性を編集し、参照されないように変更したあと、再実行してください。

## KNAN22014-E

The host attribute cannot be changed because the host "**ホスト名**" is the local host.

ホスト(**ホスト名**)は自ホストのため、ホスト属性を変更できません

自ホストのホスト属性の変更はできません。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

自ホストのホスト種別は変更しないでください。

Collection of host information from the host "ホスト名" failed. (Details: エラーコード)  
ホスト(ホスト名)からホスト情報の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

指定されたホストのホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
接続先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。  
接続先ホストの JP1/Base が正常に動作しているか確認してください。  
マネージャーホストと接続先ホストの接続状態を確認してください。  
通信暗号化機能を使用している場合は、以下を確認し設定を見直してください。
  - ・ マネージャーと接続先ホストの JP1/Base の通信暗号化機能の設定が一致しているか
  - ・ マネージャーと接続先ホストの JP1/Base の非 SSL 通信ホスト設定ファイルの設定が一致しているか
  - ・ 接続先ホストのサーバ証明書に対応するルート証明書がマネージャーに配置されているか
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- 接続先ホストがビジーです  
しばらく時間をおいてから再度実行してください。
- 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました
- 接続先ホストからのデータ受信に失敗しました  
OS のリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22016-E

Collection of host information failed because the version of JP1/Base on the host **ホスト名** is not supported.

ホスト(**ホスト名**)の JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました

指定されたホストの JP1/Base のバージョンがサポート対象外のため、ホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

JP1/Base のバージョンを 09-00 以上にしてください。

## KNAN22017-E

Collection of host information failed because a connection could not be established with the host "**ホスト名**".

ホスト(**ホスト名**)と通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました

指定されたホストと通信できなかったため、ホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

次の内容を確認してから、再実行してください。

- 接続先ホストが起動しているか。
- 接続先ホストに接続できるか。
- 接続先ホストの JP1/Base が起動しているか。
- マネージャーホストで、**ホスト名**の名前解決ができるようになっているか。
- マネージャーホストおよび接続先ホストの JP1/Base の設定が正しいか。
- 接続先ホストの負荷が高くなっていないか。
- 接続先ホストとのネットワークの負荷が高くなっていないか。

## KNAN22019-E

An attempt to collect host information for the host "**ホスト名**" failed because the actual host type is different from the registered host type. (registered host type = **登録ホスト種別**, collected host type = **実ホスト種別**)

ホスト種別が実際と異なるため、ホスト(**ホスト名**)のホスト情報収集に失敗しました。(登録されているホスト種別: **登録ホスト種別**, 実際のホスト種別: **実ホスト種別**)

指定されたホストのホスト種別が実際と異なるため、ホスト情報の収集に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

ホスト属性を編集してホスト種別を訂正してから、再実行してください。

## KNAN22020-E

The host "ホスト名" cannot be deleted because a local host cannot be deleted.  
ホスト(ホスト名)は自ホストなので削除できません

自ホストは削除できません。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

自ホストは削除できません。

## KNAN22021-E

The host "ホスト名" cannot be deleted because hosts in an IM configuration cannot be deleted.  
ホスト(ホスト名)はIM構成に含まれるため、削除できません

指定されたホストはIM構成（システムの階層構成）に含まれるため、削除できません。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

ホストをIM構成（システムの階層構成）から外して、再実行してください。

## KNAN22022-E

The host "ホスト名 1" cannot be deleted because it is referenced as 関連ホスト host for the host "ホスト名 2".  
ホスト(ホスト名 1)はホスト(ホスト名 2)から関連ホストとして参照されているため削除できません

指定されたホストはほかのホストによって参照されているため、削除できません。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

参照元ホストのホスト属性を編集し、参照されないように変更したあと、再実行してください。

## KNAN22023-E

Deletion of the host "ホスト名" failed. (Cause: エラーコード)  
ホスト(ホスト名)の削除に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

指定されたホストの削除に失敗しました。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

`jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22024-E

Acquisition of product information for the host "ホスト名" failed. (Cause: エラーコード)  
ホスト(ホスト名)の製品情報の取得に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

指定されたホストの製品情報の取得に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

`jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22025-E

Acquisition of host information for the host "ホスト名" failed. (Cause: エラーコード)  
ホスト(ホスト名)のホスト情報の取得に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

指定されたホストのホスト情報の取得に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

`jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22026-E

An attribute of the host "ホスト名" could not be changed because the host name "新規ホスト名" is already registered.

ホスト名(新規ホスト名)は登録されているため、ホスト(ホスト名)の属性を変更できませんでした

入力したホスト名がすでに登録されているため、ホストの属性を変更できません。

(S)

変更したホスト属性は登録しません。

(O)

別のホスト名を入力し、再実行してください。

## KNAN22027-W

Host information cannot be collected because the user ユーザー名: View ホスト名 is collecting information for the host "ホスト名".

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト(ホスト名)のホスト情報収集のため、実行できません

ほかのユーザーがホスト情報収集のため、情報収集は実行できません。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく時間をおいてから再実行する。

## KNAN22028-E

Host Registration failed because the number of registered hosts exceeded the maximum limit  
最大登録ホスト数.

最大登録ホスト数を超えたため、ホストの登録に失敗しました。(最大登録ホスト数: 最大登録ホスト数)

登録できるホストの上限を超えたため、ホストの登録に失敗しました。

(S)

ホストを登録しません。



(O)

IM 構成管理に登録されているホスト数と選択した構成情報のファイルのホスト数の合計が**最大登録ホスト数**を超えました。次のどれかの方法で対処してください。

- 選択した構成情報ファイルの不要なホストを削除する。
- IM 構成管理に登録されている不要なホストを削除する。
- **最大登録ホスト数**が 1024 で、IM 構成管理に登録されているリモート監視対象ホストと構成情報ファイルのリモート監視対象ホストの合計が 1024 台以下の場合は、IM データベースのサイズを L サイズに拡張する。

## KNAN22029-E

Host registration failed because the host "VMM ホスト名", whose virtualization management type is "仮想化管理種別", cannot be specified as the VMM host of the host "ホスト名".

仮想化管理種別(仮想化管理種別)を設定しているホスト(VMM ホスト名)は、ホスト(ホスト名)の VMM ホストに指定できないため、ホストの登録に失敗しました

VMM ホストに使用できないホストを VMM ホストとして指定しているため、ホストの登録はできません。

(S)

ホストの登録を中止します。

(O)

VMM ホストに指定しているホストの仮想化管理種別を変更してください。

## KNAN22030-E

Host attributes could not be changed because the host "VMM ホスト名", whose virtualization management type is "仮想化管理種別", cannot be specified as the VMM host of the host "ホスト名".

仮想化管理種別(仮想化管理種別)を設定しているホスト(VMM ホスト名)は、ホスト(ホスト名)の VMM ホストに指定できないため、ホストの属性を変更できません

仮想化管理種別を設定しているホストは、VMM ホストに指定できないため、ホストの属性を変更できません。

(S)

ホストの更新を中止します。

(O)

VMM ホストに指定しているホストの仮想化管理種別を変更してください。

## KNAN22031-E

The request "操作名" cannot be executed for the host "ホスト名" because the host contains data of a higher version.

ホスト(ホスト名)は上位バージョンのデータを保持しているため、操作(操作名)は実行できません

上位バージョンのデータを保持しているホストに対する操作は実行できません。

(S)

ホストに対する操作を中止します。

(O)

JP1/IM - Manager のバージョンを確認して、対応するバージョンのビューアーから操作してください。

## KNAN22032-E

The host "ホスト名" cannot be deleted because hosts in a business group cannot be deleted.

ホスト(ホスト名)は業務グループに所属しているため、削除できません

削除しようとしているホストは業務グループに所属しています。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

ホストを業務グループから削除したあと、再実行してください。

## KNAN22033-E

ホスト(ホスト名)はリモート監視が定義されているため、削除できません

削除しようとしているホストはリモート監視構成に含まれています。

(S)

ホストを削除しません。

(O)

ホストをリモート監視構成から削除したあと、再実行してください。

## KNAN22050-I

The virtualization configuration for the host "ホスト名" was collected successfully.

ホスト(ホスト名)の仮想化構成を収集しました

ホストの仮想化構成を収集しました。

(S)

ホストの仮想化構成を収集しました。

#### KNAN22051-I

The host virtualization configuration was changed because the host "ホスト名" did not exist in the collected virtualization configuration.

収集した仮想化構成にホスト(ホスト名)は存在しなかったため、ホストの仮想化構成を変更しました

仮想サーバとして登録されていたホストが、収集した仮想化構成に存在しなかったため、ホストの仮想化構成を変更しました。

#### KNAN22052-E

The virtualization configuration for the host "ホスト名" cannot be collected because the host is locked by the user "ユーザー名:View ホスト名".

ユーザ(ユーザー名: View ホスト名)が排他権を取得しているため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成は収集できません

ほかのユーザーが排他権を取得しているため、仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成を収集しません。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。排他権を取得したオペレーターの状態を確認してから、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて、[排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく時間をおいてから再実行する。

#### KNAN22053-E

The virtualization configuration for the host "ホスト名" cannot be collected because host information is being updated.

ホスト情報が更新されているため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成は収集できません

ホスト情報が更新されているため、ホストの仮想化構成は収集できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

ホスト情報を更新して再実行してください。

## KNAN22054-E

The virtualization configuration for the host "ホスト名" cannot be collected because the profile information is locked by the user "ユーザー名:View ホスト名".

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がプロファイルの排他権を取得しているため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成は収集できません

ほかのユーザーがプロファイルの排他権を取得しているため、ホストの仮想化構成は収集できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。排他権を取得したオペレーターの作業状況を確認してから、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて、[排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく時間をおいてから再実行する。

## KNAN22055-E

The virtualization configuration for the host "ホスト名" cannot be collected because profile information is being updated.

プロファイル情報が更新されているため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成は収集できません

プロファイル情報が更新されているため、ホストの仮想化構成は収集できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

プロファイル情報を取得し、再実行してください。

## KNAN22056-E

The host "ホスト名" cannot be updated because it is locked by the user "ユーザー名: View ホスト名".

ホスト(ホスト名)がユーザー(ユーザー名: View ホスト名)によって排他権を取得されているため、更新できません

ほかのユーザーが排他権を取得しているため、ホスト情報が更新できません。

(S)

ホストの情報を更新しません。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。排他権を取得したオペレーターの作業状況を確認してから、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて、[排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく時間をおいてから再実行する。

#### KNAN22057-I

The host "ホスト名", whose type is "VMM ホスト/仮想ホスト", was registered successfully.  
ホスト(ホスト名)： 種別(VMM ホスト/仮想ホスト)を登録しました

仮想化構成を収集した際に、未登録のホストを検出し、登録しました。

#### KNAN22058-E

Collection of the virtualization configuration for the host "ホスト名" has failed. (cause = [詳細情報](#))  
ホスト(ホスト名)の仮想化構成の収集は失敗しました。(詳細情報:[詳細情報](#))

仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ホスト (ホスト名) が見つかりません  
詳細情報に表示されたホストがホスト一覧に存在するか確認してください。
- ユーザ名/パスワード/ドメイン名のいずれかが不正です  
正しいユーザー名、パスワード、またはドメイン名を入力してください。  
正しいユーザー名、パスワード、またはドメイン名を入力しても、このメッセージが表示される場合は、IP アドレスが解決できるホスト名が設定されているかどうか確認してください。
- 指定されたユーザーは仮想化構成を取得する権限がありません  
仮想化構成を取得する権限を持つユーザーで実行しているかどうか確認してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
仮想化環境管理ソフトから、仮想マシンを正しく管理できるか確認してください。
- SCVMM 管理コンソールのバージョンが不一致です  
JP1/IM - Manager ホストの SCVMM 管理コンソールと接続先の SCVMM が接続できるようにバージョンを合わせてください。

- VMM データベースエラーが発生しました  
VMM データベースが正しく動作しているか確認してください。
  - 前提製品が利用可能でないか、ユーザー名/パスワード/ドメイン名のいずれかが不正な可能性があります  
前提製品がインストールされていない場合は、インストールしてから再実行してください。  
入力したユーザー名、パスワード、またはドメイン名を確認して入力してください。  
正しいユーザー名、パスワード、またはドメイン名を入力しても、このメッセージが表示される場合は、IP アドレスが解決できるホスト名が設定されているかどうか確認してください。
  - KVM ホストでエラーが発生しました  
KVM ホストが正しく動作しているか、libvirt サービスが起動しているか確認し、再度実行してください。
  - HCSM がビジー状態です  
接続先の HCSM が正しく動作しているか確認し、しばらく時間をおいてから再度実行してください。
  - HCSM へのログインに失敗しました  
指定したユーザー名およびパスワードで HCSM にログインできるか確認してください。
  - 次に示す詳細情報および HCSM エラーコード
    - HCSM との接続に失敗しました:HCSM エラーコード
    - HCSM からの情報取得に失敗しました:HCSM エラーコード
    - HCSM で内部エラーが発生しました:HCSM エラーコード
    - HCSM の処理でエラーが発生しました:HCSM エラーコード
 指定したユーザー名およびパスワードで HCSM にログインできるか確認してください。また、接続先の HCSM が正しく動作しているか確認してください。
- 上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22060-E

An attempt to update details for the host "ホスト名" failed because the registered host (登録済みの属性) is different from the actual type (収集した属性).

収集したホスト(ホスト名)の仮想化構成において、登録済みの属性(登録済みの属性)と収集した属性(収集した属性)が一致しないためホスト情報を更新できません

収集した仮想化構成で、ホストの属性が一致しないためホスト情報を更新できません。

(S)

属性が不一致となったホストおよび下位ホストの情報を更新しません。

(O)

次の内容を確認したあと、ホストを削除するか実システムに対応するように編集してください。ホストの削除、または編集後は仮想化構成を再収集してください。

- ホスト名が同一の別ホストか。
- ホスト種別は正しいか。
- 仮想化管理種別は正しいか。

#### KNAN22061-E

Collection of the virtualization configuration failed because the user "ユーザー名:View ホスト名" is now batch collecting the virtualization configurations.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が仮想化構成一括収集を実行しているため、仮想化構成は収集できません

ほかのユーザーが仮想化構成を収集しているため、仮想化構成は収集できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

#### KNAN22062-E

Collection of the virtualization configuration failed for the host "ホスト名" because the communication type is not supported.

ホスト(ホスト名)の通信種別はサポートしていないため、仮想化構成の収集に失敗しました

ホストの通信種別はサポートしていないため、仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

ホストの通信種別を再設定し、再実行してください。

#### KNAN22063-E

Collection of the virtualization configuration failed for the host "ホスト名" because a prerequisite component is not available.

前提製品が利用可能でないため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成の収集に失敗しました

ホストで前提製品が利用できないため、仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

前提製品をインストールしてから再実行してください。

#### KNAN22064-E

Collection of the virtualization configuration failed because the export command is executing.  
エクスポート中は仮想化構成の収集を実行できません

エクスポート中は仮想化構成の収集を実行できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

#### KNAN22065-E

Collection of the virtualization configuration failed for host "ホスト名" because the user name is not registered.  
ホスト(ホスト名)でユーザー名が未登録のため、仮想化構成の収集を実行できません

ホストでユーザー名が未登録のため、仮想化構成の収集を実行できません。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

ホストの編集を行い、ユーザー名とパスワードを登録してから再実行してください。

#### KNAN22066-E

Collection of the virtualization configuration failed because communication with host "ホスト名" was not possible.  
ホスト(ホスト名)と通信できなかったため、仮想化構成の収集に失敗しました

ホストと通信できなかったため、仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- 収集先のホストは起動しているか。
- 収集先の仮想化環境管理ソフトウェアの起動、セットアップが完了しているか。



- ホストとの通信障害が発生していないか。
- 収集先の仮想化環境管理ソフトウェアが SCVMM の場合、JP1/IM - Manager ホストの SCVMM 管理コンソールと収集先ホストの SCVMM が接続できるか。また、バージョンが合っているか。
- HCSM からの仮想化構成収集の場合、ユーザー名やパスワードの指定が誤っていないか。また、指定したユーザー名やパスワードを用いて、マネージャーホストから HCSM にログインできるか。

#### KNAN22067-E

Collection of the virtualization configuration is not supported for the host "ホスト名".

ホスト(ホスト名)で仮想化構成の収集はサポートされていません

UNIX OS で稼働する IM 構成管理から SCVMM の仮想化構成の収集はサポートしていないため、ホストからの仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

UNIX OS で稼働する IM 構成管理から SCVMM の仮想化構成の収集はサポートしていないため、Windows OS で稼働する IM 構成管理から収集してください。

#### KNAN22068-E

Collection of the virtualization configuration failed for the host "ホスト名" because the environment is invalid.

環境不正のためホスト(ホスト名)の仮想化構成の収集が失敗しました

環境不正のため仮想化構成の収集が失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22069-E

The host name (ホスト名) contains invalid characters (不正文字).

Host information cannot be collected.

ホスト名(ホスト名)に不正な文字(不正文字)が含まれているため、ホスト情報の収集は実行できません

ホスト名に不正な文字が含まれているため、ホスト情報の収集は実行できません。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- ホスト名を変更して不正な文字を取り除き、再実行してください。
- ホスト名に不正な文字を含むホストからホスト情報を収集しない。

## KNAN22070-W

The virtual machine configuration collected from the host (ホスト名) contains at least one node that cannot acquire the host name.

ホスト(ホスト名)から収集した仮想化構成にホスト名が取得できないノードがありました

ホストから収集した仮想化構成にホスト名が取得できないノードがありました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 仮想化環境管理ソフトで管理している仮想ホストや VMM ホストは仮想化環境管理ソフトのサポート範囲の環境か。
- 仮想ホストに前提製品がインストールされているか。
- 仮想化環境管理ソフトの画面から仮想ホストの実ホスト名が確認できるか。

## KNAN22071-W

The virtual machine configuration collected from the host (ホスト名) is partial as the configuration is not supported.

ホスト(ホスト名)から収集した仮想化構成は一部サポートしていない構成を含んでいます

ホストから収集した仮想化構成はサポートしていない構成です。

(S)

処理を続行します。

(O)

指定したホストからは仮想化構成を収集できないため、手動で仮想ホストを登録してください。

## KNAN22072-E

The virtualization configuration cannot be collected for host "ホスト名" because the password is not registered.

パスワードが指定されていないため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成の収集はできません

パスワードが指定されていないため、仮想化構成を収集できませんでした。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

ホストのパスワードを設定し、再実行してください。

#### KNAN22073-E

The virtualization configuration cannot be collected for host "ホスト名" because the private key file name is not registered.

秘密鍵ファイルパスが指定されていないため、ホスト(ホスト名)の仮想化構成の収集はできません

秘密鍵ファイルパスが指定されていないため、仮想化構成の収集に失敗しました。

(S)

仮想化構成の収集を中止します。

(O)

ホストの秘密鍵ファイルパスを設定し、再実行してください。

#### KNAN22100-E

An argument is incorrect.

引数が不正です

引数が不正です。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22101-E

Common definition initialization failed.

共通定義の初期化に失敗しました

共通定義の初期化に失敗しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22102-E

The command jplagentinfo will now stop because the logical host "ホスト名" does not exist.  
指定された論理ホストは存在しません。(論理ホスト名: ホスト名)

指定された論理ホストは存在しません。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

セットアップ済みの論理ホストを指定してください。

## KNAN22103-E

An internal error occurred. (Command name: jplagentinfo, error code: エラーコード)  
内部エラーが発生しました。(コマンド名: jplagentinfo, エラーコード: エラーコード)

内部エラーが発生しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22104-E

The command コマンド名 terminated abnormally. (error code = エラーコード)  
コマンド名コマンドが異常終了しました。(エラーコード: エラーコード)

コマンドが異常終了しました。

(S)

ホスト情報を収集しません。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22200-I

An agent configuration does not exist.  
エージェント構成が存在しませんでした

エージェント構成が存在しなかったため、エージェント構成を取得できませんでした。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を終了します。

## KNAN22201-E

Acquisition of the agent configuration failed because the acquired configuration is invalid.  
エージェント構成の取得に失敗しました。(詳細情報: 取得した IM 構成が不正です)

取得したエージェント構成が不正です。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

jbsrt\_get コマンドで、エージェント構成を確認してください。

## KNAN22202-E

Registration of the agent configuration failed because the maximum number of hosts (登録ホスト上限値) was exceeded.

登録できるホスト情報の上限(登録ホスト上限値)を超えたため、エージェント構成の登録に失敗しました

登録できるホスト情報の上限を超えたため、エージェント構成を登録できません。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

次のどちらかの方法で対処してください。

- IM 構成管理に登録されている不要なホストを削除する。
- 登録ホスト上限数が 1024 の場合、IM データベースサービスのサイズを L サイズに拡張する。

## KNAN22203-E

Registration of the agent configuration failed because registration of the host "ホスト名" failed.  
(Cause: エラーコード)

エージェント構成の登録に失敗しました。(詳細情報: ホスト(ホスト名)の登録に失敗しました。要因: エラーコード)

ホスト情報の登録に失敗したため、取得したエージェント構成は登録できません。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- このホストは既に登録されています  
別のホスト名を入力し、再実行してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22204-E

Registration of the agent configuration failed because writing to the database failed.  
エージェント構成の登録に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB への書き込みに失敗しました)

IM 構成管理 DB への書き込みに失敗したため、エージェント構成の登録ができません。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22205-E

Collection of the agent configuration failed because the local host name "ホスト名 1" is different from the registered host name "ホスト名 2".  
エージェント構成中の自ホスト名(ホスト名 1)が、ホスト一覧に登録されている自ホスト名(ホスト名 2)と異なります

エージェント構成中の自ホスト名が、ホスト一覧に登録されている自ホスト名と異なります。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

自ホスト名を編集し、エージェント構成に使用されているホスト名に変更したあと、再実行してください。

## KNAN22206-E

Acquisition of the agent configuration failed. (Cause: [詳細情報](#))

エージェント構成の取得に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

内部エラーが発生したため、エージェント構成の取得できません。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- JP1/Base の実行環境が不正な状態となっています
- JP1/Base の設定ファイルにアクセスできませんでした  
次の内容を確認してください。
  - ・ 共通定義に、JP1/Base の conf ディレクトリが定義されているか。
  - ・ JP1/Base のセットアップが正常終了したか。
- 処理中に JP1/Base で内部エラーが発生しました  
次の内容を確認してください。
  - ・ メモリーが不足していないか。
  - ・ 構成管理が起動しているか。
  - ・ JP1/IM をインストールしたあと、JP1/Base を再起動しているか。
  - ・ conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限、および読み込み権限があるか。
- IO エラーが発生しました
- 設定ファイルの読み込みに失敗しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか、または設定ファイルの読み込み権限があるか確認してください。
- 共通定義が取得できませんでした  
JP1/Base の共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合は、環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

KNAN22207-I

The collection of the IM compositions ended.

IM 構成の取得が終了しました

IM 構成（システムの階層構成）の取得が終了しました。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の取得を終了します。

## KNAN22208-E

Agent Configuration collection is failed. (Cause: Configuration includes incorrect host name (ホスト名).)

エージェント構成に不正なホスト(ホスト名)が含まれているため、取得できません

エージェント構成に不正なホストが含まれているため、取得できません。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の取得を中止します。

(O)

jbsrt\_get コマンドを実行し、出力されたホスト名が次の条件に該当するか確認してください。

- ホスト名の初めと終わりが文字か数字であるか。
- ホスト名の初めと終わりが「-」または「.」であるか。

上記の条件に該当しないホストがある場合は、実システムの構成からそのホストを削除してください。

## KNAN22209-I

The agent configuration does not exist. Do you want to apply the agent configuration stored on the server?

エージェント構成が存在しません。サーバで保持しているエージェント構成に反映しますか？

エージェント構成が存在しません。サーバで保持しているエージェント構成に反映するかどうかを確認するメッセージです。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の取得を続行します。

## KNAN22220-E

The IM configuration for the host "ホスト名" is invalid.  
(ホスト名)の IM 構成が不正です

マネージャーホストと表示されたホストの IM 構成（システムの階層構成）が一致していません。

(S)

検証を中止します。

(O)

表示されたホストでjbsrt\_get コマンドを実行し、IM 構成を確認してください。

jbsrt\_get コマンドを実行した結果、IM 構成が存在しない場合、一括配布方式で IM 構成を反映してから検証を再実行してください。



ほかの IM 構成に含まれている場合、IM 構成を見直し、その IM 構成から削除および反映してから検証を再実行してください。

ホストが拠点マネージャーで、上位ホスト名が表示されない場合、統合マネージャーから IM 構成の同期を実行してください。

ホストが統合マネージャーの場合、IM 構成管理が保持する構成を使用する際は IM 構成を反映してから検証を再実行してください。また、JP1/Base が保持する構成を使用する際は IM 構成取得を実行してから検証を再実行してください。

## KNAN22221-E

IM configuration verification for the host "ホスト名" is not supported.

(ホスト名)は IM 構成の検証に対応していません

ホストの JP1/Base のバージョンが古いため、IM 構成（システムの階層構成）の検証に対応していません。

(S)

ホストの検証は中止し、残りのホストの検証を継続します。

(O)

JP1/Base を 09-00 以上にバージョンアップしてください。09-00 より古いバージョンの JP1/Base を使用したい場合は、直接そのホストにログインし、jbsrt\_get コマンドを実行して IM 構成を確認してください。

## KNAN22223-E

IM configuration information could not be acquired from the host "ホスト名". (Cause: 詳細情報)

ホストから IM 構成情報を取得できませんでした。(ホスト名: ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

ホストから IM 構成情報（システムの階層構成の情報）を取得できませんでした。

(S)

ホストの検証は中止し、残りのホストの検証を継続します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- 接続先ホストがビジーです  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。

- ホストとの接続に失敗しました  
取得先ホストとの接続に失敗しました。  
取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。  
また、取得先ホスト上で JP1/Base が起動していることを確認してください。
- 接続先の JP1/Base は非サポートのバージョンです  
JP1/Base のバージョンが 09-00 以上か確認してください。
- 接続先ホストからのデータ受信に失敗しました
- 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました  
OS のリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- ホストとの接続が切断されました
- ホストとの接続がタイムアウトしました  
取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。  
また、取得先ホスト上で JP1/Base が起動していることを確認してください。
- 構成が存在しませんでした
- 設定ファイルの記述が不正です  
jbsrt\_get コマンドを実行し、IM 構成（システムの階層構成）がホストにあるか確認してください。  
IM 構成（システムの階層構成）がない場合は、[IM 構成編集] 画面で、一括配布方式で反映させてください。
- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから、再実行してください。
  - ・メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ・ファイルがあるか。
  - ・ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。
- 共通定義が取得できませんでした  
JP1/Base の共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合、環境変数 JP1\_HOSTNAME の設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

## KNAN22224-I

The IM configuration of the host "ホスト名" is normal.

(ホスト名)の IM 構成は正常です

ホストの IM 構成（システムの階層構成）が正常であることを通知するメッセージです。

(S)

残りのホストの検証を継続します。

#### KNAN22225-E

IM Configuration verification for the host (ホスト名) is failed. (Cause: DB Updation is failed.)  
ホスト(ホスト名)の IM 構成検証に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB の更新に失敗しました)

IM 構成管理 DB の更新に失敗したため、IM 構成検証に失敗しました。

(S)

残りのホストの検証を継続します。

(O)

IM 構成管理 DB が起動しているか確認し、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22240-E

An attempt to apply the IM configuration failed because database registration failed.  
(details = エラーコード)

IM 構成管理 DB の登録に失敗したため、IM 構成が反映できませんでした。(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB の登録に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の確認をしてから再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ファイルがあるか。
  - ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

- そのホストは存在しません

[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に対象ホストが登録されているか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22241-E

An attempt to apply changes to the JP1/Base definition file (jbsrt\_route.conf) failed.  
JP1/Base の定義ファイル(jbsrt\_route.conf)への反映に失敗しました

JP1/Base の定義ファイル (jbsrt\_route.conf) への反映に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

JP1/Base の定義ファイル (jbsrt\_route.conf) に書き込みできるか確認し、再実行してください。

## KNAN22243-E

An attempt to apply the IM configuration failed. (Cause: エラーコード)  
IM 構成の反映に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

内部エラーが発生したため、IM 構成 (システムの階層構成) の反映ができません。

(S)

反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ファイルがあるか。
  - ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて (ロックして) いないか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22244-E

Cannot delete configuration for the host and its lower-level hosts. Try again after deleting configuration of the host "ホスト名" each definition separately.

次のホスト及び下位ホストの IM 構成の削除に失敗しました。マニュアルに従って対処を実行したあと、IM 構成の反映を再度実行して下さい。(ホスト: ホスト名)

ホストおよび下位ホストの IM 構成（システムの階層構成）の削除に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

表示されたホストおよび下位ホストで `jbsrt_del` コマンドを実行し、IM 構成（システムの階層構成）を削除したあと、再実行して下さい。

## KNAN22245-E

Cannot set configuration for the host. Please execute the action according to the manual and apply the IM configuration again. (host: ホスト名)

IM 構成の反映に失敗したホストがあります。マニュアルに従って対処を実行したあと、IM 構成の反映を再度実行して下さい。(ホスト: ホスト名)

IM 構成（システムの階層構成）の反映に失敗したホストがあります。

(S)

反映を中止します。

(O)

エラーになったホストで、次の内容を確認して下さい。

- JP1/Base が起動しているか。
- JP1/Base の構成管理のポート番号がエラーになったホストの上位ホストと同じか。
- JP1/Base に下位ホストを定義していないか。
- JP1/IM - Manager の上位ホストが JP1/IM - Satellite Console ではないか。
- 拠点マネージャーまたは中継マネージャーで、JP1/IM - Central Console 5 Node の直下に 6 台以上のホストを定義していないか。
- 拠点マネージャーまたは中継マネージャーで、JP1/IM - Central Console 10 Node の直下に 11 台以上のホストを定義していないか。
- エラーになったホストの上位ホストから、エラーになったホストのホスト名解決ができるか。
- エラーになったホストが以前最上位ホストとして定義されていなかったか。最上位ホストとして定義された IM 構成（システムの階層構成）が残っている場合は、エラーになったホストで `jbsrt_distrib` コマンドを使用し、IM 構成（システムの階層構成）を削除して下さい。
- JP1/IM をインストールしたあと、JP1/Base を再起動しているか。
- メモリーが不足していないか。

- JP1/Base インストールディレクトリ、または論理ホストの共有ディスクのconf/route/ディレクトリ以下に、書き込み権限および読み込み権限があるか。

上記について問題がない場合は、エラーになったホストで次の操作を実行してください。

1. jbsrt\_get コマンドを実行する。
2. 次の現象のうち、どの現象が発生したか確認する。
  - メッセージ KAVB3162-E が出力される。
  - jbsrt\_get コマンドが異常終了する。
  - 「上位ホスト」や「下位ホスト」に自ホスト名が表示されている。
  - 「自ホスト」に自ホスト名以外のホスト名が表示されている。
  - ホスト名が文字化けしている。

上記の現象が発生している場合は、次の方法で回復してください。

1. エラーになったホストでjbsrt\_del コマンドを実行し、IM 構成（システムの階層構成）を削除する。
2. マネージャーホストから、一括配布方式で IM 構成（システムの階層構成）の反映を再実行する。

## KNAN22247-E

Application of the IM configuration failed because host **ホスト名** is not registered.  
ホスト(ホスト名)が登録されていないため、反映できません

ホスト(ホスト名)が登録されていないため、反映できません。

(S)

反映を中止します。

(O)

ホストが登録されているか確認し、再実行してください。

## KNAN22248-I

IM Configuration is reflected successfully.  
IM 構成の反映に成功しました

IM 構成（システムの階層構成）の反映が成功しました。

(S)

反映が終了しました。

## KNAN22249-E

Application of the IM configuration failed. (Cause: "詳細メッセージ")  
IM 構成の反映に失敗しました。(詳細情報: 詳細メッセージ)

IM 構成（システムの階層構成）の反映に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

詳細情報に対応した次の対処を実施してください。

- JP1/Base との接続に失敗しました  
JP1/Base が起動しているか確認してください。
- JP1/Base がビジー状態です  
しばらく時間をおいてから、再度実行してください。
- タイムアウトが発生しました  
次の内容を確認してください。
  - ・ 下位ホストでエラーが発生していないか確認してください。
  - ・ 定義配布に時間が掛かり過ぎる場合、jbsrt\_distrib コマンドがタイムアウトします。システム構成を見直してください。
- IM 構成の定義ファイルの読み込みに失敗しました  
次の内容を確認してください。
  - ・ 構成定義ファイルが正しい位置に配置されているか。
  - ・ conf/route/ディレクトリ下に書き込み権限があるか。
- JP1/Base で通信エラーが発生しました  
次の内容を確認してください。
  - ・ 共通定義の jp1hosts の値を見直してください。
  - ・ JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。上記の方法で対処できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- JP1/Base の実行環境が不正な状態となっています  
次の内容を確認してください。
  - ・ 共通定義に、JP1/Base の conf ディレクトリが定義されているか。
  - ・ JP1/Base のセットアップが正常終了したか。
- 処理中に JP1/Base で内部エラーが発生しました  
次の内容を確認してください。
  - ・ メモリーが不足していないか。
  - ・ 構成管理が起動しているか。
  - ・ JP1/IM をインストールしたあと、JP1/Base を再起動しているか。
  - ・ conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限および読み込み権限があるか。
- IM 構成内に自ホスト名がありません  
構成定義ファイルに自ホストを定義してください。

- IM 構成から削除されたリモートホストに対する監視の実行  
ログファイルトラップが起動しているリモート監視ホストを IM 構成から削除しているか確認してください。
- IM 構成が最新ではない可能性があります  
最新ホスト情報に更新して、再実行してください。

## KNAN22250-E

Synchronization of the IM configuration failed. Please execute the action according to the manual and execute the IM synchronization again. (host: ホスト名)

IM 構成の同期に失敗したホストがあります。マニュアルに従って対処を実行したあと、IM 構成の同期を再度実行して下さい。(ホスト: ホスト名)

表示されたホストでエラーが発生したため、同期に失敗しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

エラーになったホストで、JP1/Base が起動しているかどうか確認してください。起動している場合は、次の操作を実行してください。

1. jbsrt\_get コマンドを実行する。
2. 次の現象のうち、どの現象が発生したか確認する。
  - メッセージ KAVB3162-E が出力される。
  - jbsrt\_get コマンドが異常終了する。
  - 「上位ホスト」や「下位ホスト」に自ホスト名が表示されている。
  - 「自ホスト」に自ホスト名以外のホスト名が表示されている。
  - ホスト名が文字化けしている。

上記の現象が発生している場合は、次の方法で回復してください。

1. エラーになったホストで jbsrt\_del コマンドを実行し、IM 構成（システムの階層構成）を削除する。
2. マネージャーホストから、一括配布方式で IM 構成（システムの階層構成）の反映を再実行する。

## KNAN22251-E

Synchronization failed because the Base Manager is not defined.

拠点マネージャーが定義されていないため、同期は実行できません

拠点マネージャーが定義されていないため、同期は実行できません。

(S)

同期を中止します。



(O)

拠点マネージャーを定義して、再実行してください。

## KNAN22252-I

Synchronization of the IM configuration ended successfully.

IM 構成の同期が終了しました

同期が終了しました。

(S)

同期が終了しました。

## KNAN22253-E

Synchronization of the IM configuration failed because an error occurred during acquisition of the IM configuration. (error code = エラーコード)

同期した IM 構成が取得できませんでした。(詳細情報: エラーコード)

同期した IM 構成（システムの階層構成）を IM 構成管理 DB に反映中にエラーが発生しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- そのホストは存在しません  
[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に対象ホストが登録されているか確認してください。
- 同名のホスト(ホスト名)が定義されています  
統合マネージャーで jbsrt\_get コマンドを実行し、統合マネージャーと拠点マネージャーで同名のホストが定義されていないかを確認してください。同名のホストが定義されている場合は、システム内でホスト名が重複しないように、IM 構成を編集して、IM 構成反映を行ったあとに再度 IM 構成同期を行ってください。
- 取得したエージェント構成中の自ホスト名(ホスト名 1)がホスト一覧に登録されている自ホスト名(ホスト名 2)と異なります  
JPI/Base に反映されているエージェント構成の自ホストがエイリアスホスト名の可能性があるため、エージェント構成を反映してから再度実行してください。
- 登録できるホストの上限(登録ホスト上限値)を超えました

JP1/Base に反映されているエージェント構成のホスト数が上限を超えています。不要なホストを削除してエージェント構成を反映するか、IM 構成管理 DB のサイズの拡張を検討してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22254-E

Synchronization of the IM configuration failed. (Cause: エラーコード)

IM 構成の同期に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

同期に失敗しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから、再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ファイルがあるか。
  - ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22255-E

IM Configuration synchronization is failed. (Cause: 詳細メッセージ)

IM 構成の同期に失敗しました。(詳細情報: 詳細メッセージ)

同期に失敗しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 処理中に JP1/Base で内部エラーが発生しました  
次の内容を確認してください。
  - メモリーが不足していないか。
  - 構成管理が起動しているか。

- ・ JP1/IM をインストールしたあと、JP1/Base を再起動しているか。
  - ・ conf/route/ディレクトリ以下に書き込み権限および読み込み権限があるか。
  - JP1/Base との接続に失敗しました  
JP1/Base が起動しているか確認してください。
  - JP1/Base がビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
  - IM 構成が存在しません  
jbsrt\_get コマンドを実行し、IM 構成（システムの階層構成）がホストにあるか確認してください。  
IM 構成（システムの階層構成）がない場合は、[IM 構成編集] 画面で反映させてください。
  - タイムアウトが発生しました  
取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。  
また、取得先ホスト上で JP1/Base が起動していることを確認してください。
  - JP1/Base の実行環境が不正な状態となっています  
次の内容を確認してください。
    - ・ 共通定義に、JP1/Base の conf ディレクトリが定義されているか。
    - ・ JP1/Base のセットアップが正常終了したか。
  - JP1/Base の設定ファイルにアクセスできませんでした  
ファイルのアクセス権が正しく設定されているか確認してください。また、ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか確認してください。
  - JP1/Base で通信エラーが発生しました  
次の内容を確認してください。
    - ・ 共通定義の jp1hosts の値を見直してください。
    - ・ JP1/Base のセットアップが正常終了したか確認してください。
 上記の方法で対処できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- 上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22263-E

Acquisition of the agent configuration information failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、エージェント構成を取得できませんでした(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、エージェント構成を取得できませんでした。

(S)

IM 構成（システムの階層構成）の取得を中止します。

(O)

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- そのホストは存在しません  
[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に対象ホストが登録されているか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22264-E

The host name (ホスト名) contains invalid characters (不正文字).

The IM configuration cannot be changed.

ホスト名(ホスト名)に不正な文字(不正文字)が含まれているため、IM 構成を変更できません

ホスト名に不正な文字が含まれているため、IM 構成を変更できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- ホスト名を変更して不正な文字を取り除く。
- ホスト名に不正な文字を含むホストを IM 構成から取り除く。

## KNAN22265-E

Remote connection was not possible. (Host name: ホスト名, Detail information: 詳細情報)

リモート接続できませんでした。(ホスト名: ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

リモート接続できないため IM 構成の検証に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

- 監視対象ホストに接続できません
- ログファイルの収集がタイムアウトしました  
リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度起動してください。
  - 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。

- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度起動してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・Windows の接続数上限を超えて接続していないか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

リモートイベントログトラップ起動時にメッセージが出力された場合は、次の事項を確認したあと、リモートイベントログトラップを再度起動してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・WMI サービスが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、ログファイルの収集がタイムアウトしたときは、次の事項を確認してください。

- ・システムの負荷を確認してください。
- ・ホストが起動しているか確認してください。
- ・接続数の上限を超えていないか確認してください。
- ・システム共通設定の IM ホストアカウントが正しく設定しているか確認してください。
- ・リモート通信設定が設定されていません  
リモート通信設定を設定してください。
- ・認証に失敗しました

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- ・SSH 認証の設定が正しいか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- ・[システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、ログファイルの収集がタイムアウトしたときは、次の事項を確認してください。

- ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- ・ 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・ JPI/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 秘密鍵が存在しません  
マネージャホストに秘密鍵が存在するか確認してください。
- リモート監視プロセスの作成に失敗しました  
システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。

## KNAN22266-E

Acquisition of the remote monitoring configuration information failed because a database access error occurred. (Details: エラーコード)

DB アクセスエラーが発生したため、リモート監視構成を取得できませんでした。(詳細情報: エラーコード)

リモート監視構成を取得できませんでした。

(S)

リモート監視構成を取得しません。

(O)

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- そのホストは存在しません  
IM 構成管理画面のホスト一覧に対象ホストが存在するか確認してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22267-E

Synchronization of the remote monitoring configuration failed. (Details: 詳細情報)

リモート監視構成の同期に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

リモート監視構成の同期ができませんでした。

(S)

同期を中止します。

(O)

次について確認してください。

- 監視対象ホスト名が名前解決するか。
- 監視対象ホストが起動しているか。
- 拠点マネージャで IM 構成管理が起動しているか。
- 監視対象ホストのファイアウォールの設定を見直してください。
- 監視対象ホストのネットワーク接続が問題ないか。
- 拠点マネージャホストの通信暗号化機能が有効な場合は、上位マネージャホストでルート証明書の設定を行っているか。

### KNAN22270-E

Invalid response received from the base manager host. (Host name: ホスト名)  
拠点マネージャからの応答が不正です。(ホスト名: ホスト名)

拠点マネージャからの応答が不正です。

(S)

同期を中止します。

(O)

拠点マネージャのバージョンを確認してください。拠点マネージャの IM データベースサービスが起動しているかを確認してください。

### KNAN22271-I

The agent configuration is deleted.  
エージェント構成を削除します

エージェント構成を削除します。

(S)

エージェント構成を削除します。

### KNAN22272-I

The agent configuration is updated.  
エージェント構成を上書き反映します

エージェント構成を上書き反映します。

(S)

エージェント構成を上書き反映します。

#### KNAN22273-I

The agent configuration was reflected.

エージェント構成の反映が終了しました

エージェント構成の反映でjbsrt\_distrib コマンドの実行が終了したことを通知するメッセージです。

#### KNAN22274-I

Changes made to the agent configuration will be reflected.

エージェント構成を差分反映します

エージェント構成を差分反映します。

(S)

エージェント構成を差分反映します。

#### KNAN22300-I

The virtualization configuration was applied successfully to the Central Scope monitoring tree.

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しました

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しました。

(S)

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しました。

#### KNAN22301-E

The virtualization configuration could not be applied to the Central Scope monitoring tree because an attempt to output the virtualization configuration failed. (cause = [詳細情報](#))

仮想化構成の出力が失敗したためセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。



(O)

次の詳細情報が表示された場合は、対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、次の内容を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22302-E

The virtualization configuration could not be applied to the Central Scope monitoring tree because the user "ユーザー名:View ホスト名" is currently performing the same operation.  
ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しているため、同時に実行できません

ほかのユーザーが仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映しているため、同時に実行できません。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

## KNAN22303-E

The virtualization configuration could not be applied to the Central Scope monitoring tree because an attempt to export the Central Scope monitoring tree failed. (cause = 詳細情報)  
セントラルスコープから監視ツリーのエクスポート処理が失敗したため、監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。

(O)

jcsdbexport コマンドが実行できるか確認してください。jcsdbexport コマンドが正常に実行できる場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22304-E

The virtualization configuration could not be applied to the Central Scope monitoring tree because an attempt to create the monitoring tree failed. (cause = 詳細情報)

監視ツリーの作成処理が失敗したためセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました
- ディスク不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、次の内容を確認してください。

- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22305-E

The virtualization configuration could not be applied to the Central Scope monitoring tree because an attempt to import the virtualization configuration into the Central Scope monitoring tree failed. (cause = 詳細情報)

セントラルスコープへ監視ツリーのインポート処理が失敗したため、監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました
- ディスク不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

- セントラルスコープがビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、次の内容を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22306-E

An attempt to apply the virtualization configuration to the Central Scope monitoring tree has failed. (cause =詳細情報)

セントラルスコープ監視ツリーへの反映が失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

仮想化構成をセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

仮想化構成の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- セントラルスコープがビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、次の内容を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22307-I

Business groups were applied successfully to the Central Scope monitoring tree.

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しました

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しました。

(S)

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しました。

## KNAN22308-E

Business groups could not be applied to the central scope monitoring tree because an attempt to output business groups failed. (Details: [詳細情報](#))

業務グループの出力が失敗したためセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、次を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22309-E

Business groups could not be applied to the central scope monitoring tree because the user "ユーザー名: View ホスト名" is currently performing the same operation.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しているため、同時に実行できません

ほかのユーザーが業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映しているため、同時に実行できません。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再度実行してください。

## KNAN22310-E

Business groups could not be applied to the central scope monitoring tree because an attempt to export the central scope monitoring tree failed. (Details: [詳細情報](#))

セントラルスコープから監視ツリーのエクスポート処理が失敗したため、監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました
- ディスク不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- セントラルスコープがビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、次を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。

エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22311-E

Business groups could not be applied to the central scope monitoring tree because an attempt to create the monitoring tree failed. (Details: [詳細情報](#))

監視ツリーの作成処理が失敗したためセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました
- ディスク不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- セントラルスコープのエクスポートファイルのデータバージョンが古いため、セントラルスコープのインポートファイルの生成に失敗しました  
jp1csverup コマンドを実行して、セントラルスコープのデータバージョンを最新にしてください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、次を確認してください。

- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22312-E

Business groups could not be applied to the central scope monitoring tree because an attempt to import business groups into the central scope monitoring tree failed. (Details: [詳細情報](#))

セントラルスコープへの監視ツリーのインポート処理が失敗したため、監視ツリーに反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました
- ディスク不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- セントラルスコープがビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、次を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。

エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22313-E

An attempt to apply business groups to the central scope monitoring tree has failed. (Details: 詳細情報)

セントラルスコープ監視ツリーへの反映が失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

業務グループをセントラルスコープの監視ツリーに反映できませんでした。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- メモリー不足が発生しました  
ディスク容量、メモリなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- セントラルスコープがビジー状態です  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、次を確認してください。

- セントラルスコープが正しくセットアップされているか、またはサービスが正常に起動しているか。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22314-E

An attempt to apply the changes of business groups to the system failed because database registration failed.

IM 構成管理 DB への登録に失敗したため、業務グループの反映に失敗しました

IM 構成管理 DB への登録に失敗したため、業務グループの反映に失敗しました。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次を確認してください。

- `jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか確認してください。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22315-E

An attempt to apply the changes of business groups to the central console failed.

セントラルコンソールへの反映に失敗しました

セントラルコンソールへの反映に失敗したため、業務グループの編集情報反映に失敗しました。

(S)

業務グループの反映を中止します。

(O)

次を確認してください。

- `jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- マネージャーの統合トレースログを確認してエラーメッセージが出力されていないか。  
エラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージの対処方法に従って対処してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22316-I

Edited business groups were applied to the system.

業務グループの反映を行いました

業務グループを反映しました。

(S)

業務グループを反映しました。



## KNAN22317-I

A business group "業務グループ名" was added.  
業務グループ(業務グループ名)が追加されました

業務グループが追加されました。

(S)

業務グループが追加されました。

## KNAN22318-I

A business group "業務グループ名" was deleted.  
業務グループ(業務グループ名)が削除されました

業務グループが削除されました。

(S)

業務グループが削除されました。

## KNAN22319-I

A host "ホスト名" was registered to the business group "業務グループ名".  
業務グループ(業務グループ名)にホスト(ホスト名)が登録されました

業務グループにホストが登録されました。

(S)

業務グループにホストが登録されました。

## KNAN22320-I

A host "ホスト名" was unregistered from the business group "業務グループ名".  
業務グループ(業務グループ名)からホスト(ホスト名)が登録解除されました

業務グループからホストが登録解除されました。

(S)

業務グループからホストが登録解除されました。

## KNAN22321-E

An attempt to apply the changes of business groups to the system failed because the sum total of business groups and monitoring groups reached the limit (上限値).

業務グループ・監視グループの合計数が上限値(上限値)を超えるため、業務グループの反映に失敗しました

業務グループ・監視グループの合計数が上限値に達しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要な業務グループ・監視グループを削除してから操作してください。

#### KNAN22400-I

The profile list was acquired successfully.

プロファイル一覧を取得しました

管理可能なプロファイル一覧の取得が終了しました。

#### KNAN22401-E

Acquisition of the profile list failed because the host type is not selected.

プロファイル一覧の取得に失敗しました。(詳細情報: ホスト種別が選択されていません)

対象ホストのホスト種別が"不明"であるため、管理可能なプロファイル一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

[ホスト属性編集] 画面から対象ホストのホスト種別を選択し、再実行してください。

#### KNAN22402-E

Collection of the profile list failed because host information has not been acquired.

ホスト情報が収集されていないため、プロファイル収集は実行できません

対象ホストのホスト情報が正しくないため、管理可能なプロファイル一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報を収集し直してください。

#### KNAN22403-E

Acquisition of the profile list failed. (Detail Information: 詳細情報)

対象ホストに接続できないため、管理可能なプロファイル一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません

マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。

[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、一括配布方式で [エージェント構成編集] 画面の [エージェント構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。

- 他のセッションが排他しています

[ログインユーザー一覧] 画面で、排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- エージェントホスト側の JP1/Base の資料

- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません

該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。

- サービスまたはプロセスを起動する。
- [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

- 通信エラーが発生しました

取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

また、JP1/Base が稼働しているか確認し、通信方式の設定および JP1/Base の設定が正しいかを見直してください。

JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作を実行してください。

- サービスまたはプロセスを起動する。
- [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

- ビジー状態のためリトライをしてください

しばらく時間をおいてから再実行してください。

- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました  
マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- エージェントホストでメモリー不足が発生しました  
エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
エージェントホストの次のパス配下にある操作対象の設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。

Windows の場合:Base パス¥conf

UNIX の場合:/etc/opt/jp1base/conf

また、エージェントホストとのネットワーク状況・状態を確認し、エージェントホスト側の JP1/Base が稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- エージェントホスト側の JP1/Base の資料

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22404-E

Acquisition of the profile list failed because the specified host is not registered.

プロファイル一覧の取得に失敗しました。(詳細情報: ホストが登録されていません)

対象ホストがホスト一覧に登録されていないため、管理可能なプロファイル一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

[IM 構成管理] 画面のホスト一覧から、対象ホストが正しく登録されているかどうか確認してください。

## KNAN22405-E

Acquisition of the profile list failed because a database access error occurred. (Cause: 詳細情報)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、プロファイル一覧が取得できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

管理可能なプロファイル一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- OS 情報が存在しません

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。

表示されていない場合は、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されるか確認してください。

- リソースが不足しています

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

`jimdbstatus` コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

- プロファイルは既に登録されています

- プロファイル名が重複しているプロセスもしくはサービスがあります。異なるプロファイル名にしてください

同一の設定ファイルから複数のログファイルトラップが起動している可能性があります。

ログファイルトラップはエージェントマシンにログインし、一つの設定ファイルに対して、一つ起動するようにしてください。

同じ定義内容で複数のログファイルトラップを起動させたい場合は、別の名称のファイルに内容をコピーし、実行してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22406-E

Acquisition of the profile list failed. (Cause: エラーコード)

プロフィール一覧の取得に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

管理できるプロフィール一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 製品が存在しません

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に製品情報に JP1/Base が表示されているか確認してください。

JP1/Base 表示されていない場合には、[HOST情報の収集] を実行したあとで、再実行してください。

プロファイル一覧の取得先が自ホストの場合、エージェント構成が反映されていません。エージェント構成を反映したあとで、再実行してください。

- ファイルの操作ができません

次の確認をしてから再実行してください。

- メモリーの空き容量が不足していないか。
- ファイルがあるか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

- ホストに接続中に取得したデータは不正です

一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。

また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。

- 該当するサービスまたはプロセスが稼働していません

JP1/Base のプロセスすべてが正常に起動しているか確認してください。

- 不正な動作環境でリクエストが実行されました

IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。

[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

- 設定ファイル名が重複しているログファイルトラップがあります

稼働中のログファイルトラップおよび起動定義ファイルのログファイルトラップで、設定ファイル名が重複していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22407-E

Collection of the profile list failed because the specified host is not in the agent configuration.

ホストはエージェント構成に含まれていないため、プロファイル収集は実行できません

エージェント構成に含まれていないため、プロファイル収集は実行できません。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

ホストをエージェント構成に入れてから、再実行してください。

## KNAN22408-E

Collection of the profile list failed because the product "製品名" does not exist on the specified host.

プロダクト製品名がホストに存在しないため、プロフィール収集は実行できません

プロダクトがホストに存在しないため、プロフィール収集は実行できません。

(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

ホストで JP1/Base がインストールされているか、また起動しているか確認してから再実行してください。

## KNAN22409-E

Collection of the profile list failed because the specified host is not a managed host.

指定ホストは管理対象ホストではないため、プロフィール収集は実行できません

指定ホストは管理対象ホストではないため、プロフィール収集は実行できません。

(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

IM 構成（システムの階層構成）に指定ホストを追加してから、再実行してください。

## KNAN22410-E

Acquisition of the profile list failed because the profile "プロフィール種別" is not usable.

プロフィール種別のプロフィールが利用可能ではないため、プロフィール一覧の取得に失敗しました

プロフィールが利用可能ではないため、プロフィール一覧の取得に失敗しました。

(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

次の内容を確認してください。

- ネットワークが有効であるか。
- JP1/Base が起動しているか。

## KNAN22411-W

Collection of the profile list was interrupted because the maximum number プロファイル種別 that can be managed for 製品名 was exceeded.

製品名で管理できるプロファイル種別の最大値を超えたため、プロファイルリストの収集が中断されました

管理できるプロファイルの最大値を超えたため、プロファイル一覧の収集が中断されました。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

サーバで定義されている管理可能な設定ファイル数の上限を超えないようにプロセスを起動させるか、または管理可能な設定ファイル数の上限値を変更してから再実行してください。

## KNAN22412-E

Profile management failed because the host name of host ホスト名 is defined with IP address. Please define real host name.

ホスト名が IP アドレスで設定されているため、ホスト(ホスト名)のプロファイル情報を管理できません。ホスト名を正しいホスト名に修正してください

選択されたホストのホスト名が IP アドレスで設定されているため、プロファイル情報を管理できません。

(S)

該当するホストに対する [プロファイル表示/編集] 画面の表示を中止します。

また、プロファイルの一括収集および一括反映処理で、該当ホストだけに対する処理をスキップします (ほかのホストは、通常通り収集および反映できます)。

(O)

次の手順で、IP アドレスをホスト名に変更してください。

1. ホスト一覧で、ホスト名が IP アドレスになっているホストを選択する。
2. メニューバーから [編集] - [ホスト属性編集] を選択する。
3. [ホスト属性編集] 画面でホスト名に変更する。
4. [IM 構成編集] 画面を起動し、反映を実行する。

## KNAN22413-E

Collection of the profile list failed because host information (ホスト情報種別) has not been acquired.

ホスト情報(ホスト情報種別)が収集されていないため、プロファイル収集は実行できません

対象ホストのホスト情報が収集されていないため、管理できるプロファイル一覧の取得に失敗しました。



(S)

プロフィール一覧の収集を中止します。

(O)

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報を収集し直してください。

#### KNAN22414-W

A part of profile is displayed because host information (ホスト情報種別) has not been acquired.  
ホスト情報(ホスト情報種別)が収集されていないため、一部のプロフィールのみ表示します

対象ホストのホスト情報が一部収集されていないため、表示できるプロフィールだけを表示します。

(S)

プロフィール一覧の取得を継続します。

(O)

すべてのプロフィールを表示する場合は [IM 構成管理] 画面から、ホスト情報を収集し直してください。

#### KNAN22415-E

Batch application processing of ホスト名 was not performed because host information (agent) has not been collected.

ホスト情報(エージェント)を収集していないため、ホスト(ホスト名)の一括反映処理は実行できません

ホスト情報を収集していないため、ホストの一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

ホスト情報を収集してから、再実行してください。

#### KNAN22421-I

Operation definition information for プロファイル種別 was collected successfully.  
プロフィール種別の有効設定情報を収集しました

有効設定情報の収集が終了しました。

(S)

有効設定情報を収集しました。

Collection of operation definition information for プロファイル種別 failed. (Detail Information: 詳細情報)

プロファイル種別の有効設定情報の収集が出来ませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

対象ホストに接続できないため、有効設定情報の収集に失敗しました。

(S)

有効設定情報の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。  
[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、一括配布方式で [エージェント構成編集] 画面の [エージェント構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。
- 他のセッションが排他しています  
[ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作を実行したあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 通信エラーが発生しました  
取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作を実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました

マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。

- エージェントホストでメモリー不足が発生しました

エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22423-E

Collection of operation definition information failed because the host is not registered.  
ホストが登録されていないため、有効設定情報の収集は実行できません

有効設定情報の収集に失敗しました。

(S)

有効設定情報の収集を中止します。

(O)

[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に、対象ホストが正しく登録されているか確認してください。

## KNAN22424-E

Collection of operation definition information for プロファイル種別 failed. (Cause: 詳細情報)  
プロファイル種別の有効設定情報の収集に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

エラーが発生したため、有効設定情報の収集に失敗しました。

(S)

有効設定情報の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再度実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- その製品はサポートされていません  
[IM 構成管理] 画面から、製品情報に表示されている JP1/Base のバージョンが 09-00 以上であることを確認してください。JP1/Base のバージョンが 09-00 以上だった場合、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 JP1/Base のバージョンが 09-00 以上であることを確認してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。

また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。

- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。
- 認証サーバが 1 台も設定されていません  
[JP1/Base 環境設定] ダイアログボックス（Windows の場合）または `jbssetusrsv` コマンド（UNIX の場合）で認証サーバの登録処理をしたあと、コマンドを再実行してください。
- ユーザーマッピングの登録がされていません  
ユーザーマッピングの情報が登録されていない、またはマッピング情報ファイルが壊れているおそれがあります。ユーザーマッピング設定コマンドを再実行してください。
- JP1/Base の実行環境が不正です  
[JP1/Base 環境設定] ダイアログボックス（Windows の場合）または `jbssetusrsv` コマンド（UNIX の場合）で認証サーバの登録処理をやり直してください。  
解決できない場合は、次の内容を確認してください。
  - ・共通定義に、JP1/Base の `conf` ディレクトリが定義されているか。
  - ・JP1/Base のセットアップが正常終了したか。
  - ・Windows の場合：インストール先フォルダ `¥jp1base¥conf¥user_acl¥blockade` フォルダ下の `blockade` ファイルにアクセス権限などの問題がないか。
  - ・UNIX の場合： `/etc/opt/jp1base/conf/user_acl/blockade` ディレクトリ下の `blockade` ファイルにアクセス権限などの問題がないか。
- 指定されたイベントログトラップが起動していません  
該当するイベントログトラップが他ユーザーによって停止されているか、異常終了しているおそれがあります。統合トレースログの該当するイベントログトラップのログを確認してください。
- 指定されたログファイルトラップが起動していません  
該当するログファイルトラップが他ユーザーによって停止されているか、異常終了しているおそれがあります。統合トレースログの該当するログファイルトラップのログを確認してください。

上記以外の詳細情報が出力された場合、または上記の方法で解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22425-I

The contents of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 was collected successfully.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の内容を収集しました

設定ファイルの内容の収集が終了しました。

(S)

設定ファイルを収集しました。

Collection of the contents of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed.  
(Detail Information: 詳細情報)

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)が収集できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

対象ホストに接続できないため、設定ファイルの内容の収集に失敗しました。

(S)

設定ファイルの内容の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません

マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。

[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、一括配布方式で [エージェント構成編集] 画面の [エージェント構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。

- 設定ファイルの読み込みに失敗しました

メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。

- 他のセッションが排他しています

[ログインユーザー一覧] 画面で、排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- エージェントホスト側の JP1/Base の資料

- ファイルが存在しません

- ログファイルトラップ情報の場合

ログファイルトラップを停止してから、ログファイルトラップを起動してください。

・ イベント転送情報、 イベントログトラップ情報、 ローカルアクション情報の場合  
メッセージに表示された設定ファイルまたはディレクトリが存在し、 アクセスできることを確認してください。

ファイルが存在しない場合は、 エージェントホスト側で設定ファイルを作成し、 再実行してください。

- ディレクトリが存在しません  
ログファイルトラップ起動定義ファイルに指定されたファイルまたはディレクトリが存在し、 アクセスできることを確認してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、 次の操作をしたあと、 再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 通信エラーが発生しました  
取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、 JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
JP1/Base が稼働していない場合は、 次の操作を実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました  
マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、 再実行してください。
- エージェントホストでメモリー不足が発生しました  
エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、 再実行してください。
- システムエラーが発生しました  
メッセージに表示された設定ファイル、 ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先ディレクトリに同名のファイルがないかを確認してください。  
問題が解決されない場合は、 資料採取ツールを使用して資料採取し、 システム管理者に連絡してください。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
メッセージに表示された設定ファイル、 ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、 ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。  
また、 対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し、 対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、 システム管理者に連絡してください。

- ・ マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- ・ エージェントホスト側の JP1/Base の資料

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22427-E

Collection of operation definition information failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、有効設定情報の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、有効設定情報の収集に失敗しました。

(S)

有効設定情報の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ・ IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ・ リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ・ OS 情報が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。  
表示されていない場合は、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されるか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22428-E

Collection of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because an attempt to save the profile file failed.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の収集に失敗しました。(詳細情報: 設定ファイルの保存に失敗しました)

設定ファイルの内容の収集に失敗しました。

(S)

設定ファイルの内容の収集を中止します。

(O)

次の内容を確認してください。

- ファイルまたはディレクトリが在り、アクセスできるか。
- ディスク容量は十分に確保されているか。

## KNAN22429-E

Collection of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed. (Cause: エラーコード)

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

内部エラーが発生したため、設定ファイルの内容の収集に失敗しました。

(S)

設定ファイルの内容の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - サービスまたはプロセスを起動する。
  - [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ファイルがあるか。
  - ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて (ロックして) いないか。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成 (システムの階層構成) が削除されているおそれがあります。  
[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KNAN22430-E

Batch collection of profiles failed because the user ユーザー名: View ホスト名 is executing the batch operation "一括収集/反映中".

プロファイルの一括収集に失敗しました。(詳細情報: ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が一括収集/反映中)

ほかのユーザーがプロファイルの一括収集または一括反映を行っているため、プロファイルの一括収集ができません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- ほかのユーザーによる一括収集、または一括反映が終了してから再実行する。

## KNAN22432-E

Collection of 製品名 of the host "ホスト名" failed because the system is now performing batch collection of profiles. (Cause: エラーコード)

プロファイルの一括収集中、ホスト(ホスト名)の製品名の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

プロファイルの一括収集中に、特定のホストのプロファイルを収集できなかったことを通知するメッセージです。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22433-E

Collection of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because another user is currently accessing the file.

他のユーザーが設定ファイルにアクセスしているため、プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の収集に失敗しました

ほかのユーザーが設定ファイルにアクセスしているため、設定ファイルの収集に失敗しました。

(S)

設定ファイルの内容の収集を中止します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

## KNAN22435-E

Batch collection of profiles failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、プロファイル一括収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーのためプロファイル一括収集に失敗しました。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 製品が存在しません

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に製品情報に JP1/Base が表示されているか確認してください。JP1/Base 表示されていない場合には、[ホスト情報の収集] を実行したあとで、再実行してください。

- プロファイルが存在しません

[IM 構成管理] 画面からプロファイル収集状態を確認し、収集済み、または一部収集済みであることを確認してください。

- OS 情報が存在しません

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。

表示されていない場合には、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されているか確認してください。

- リソースが不足しています

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。

IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22437-E

Batch collection of profiles failed because the host does not exist in the database.

プロファイルの一括収集に失敗しました。(詳細情報: IM 構成管理 DB 内にホストが見つかりません)

IM 構成管理 DB 内にホストが見つからないため、処理を実行できません。

- (S)  
プロファイルの一括収集を中止します。
- (O)  
[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に、対象ホストが正しく登録されているか確認してください。

#### KNAN22438-E

Collection of the configuration file failed because the host is not registered.  
ホストが登録されていないため、設定ファイルの収集は実行できません

ホストが登録されていないため、設定ファイルの収集は実行できません。

- (S)  
設定ファイルの内容の収集を中止します。
- (O)  
[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に、対象ホストが正しく登録されているか確認してください。

#### KNAN22439-E

Collection of the configuration file failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)  
IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、設定ファイルの収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、設定ファイルの収集に失敗しました。

- (S)  
設定ファイルの内容の収集を中止します。
- (O)  
次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。
  - 製品が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に製品情報に JP1/Base が表示されているか確認してください。JP1/Base 表示されていない場合には、[ホスト情報の収集] を実行したあとで、再実行してください。
  - IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
  - プロファイルが存在しません

[IM 構成管理] 画面からプロファイル収集状態を確認し、収集済み、または一部収集済みであることを確認してください。

- リソースが不足しています

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

- OS 情報が存在しません

[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。

表示されていない場合は、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されているか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22440-E

Collection of the configuration file "ファイル名" for プロファイル名 failed because the specified profile type is not supported for logical hosts.

論理ホストでは指定されたプロファイルをサポートしていないため、プロファイル名の設定ファイル(ファイル名)の収集に失敗しました

論理ホストでは指定されたプロファイルをサポートしていないため、設定ファイルの収集に失敗しました。

(S)

プロファイルの収集を中止します。

(O)

環境が不正です。

JP1/IM - Manager をインストールし直してください。

## KNAN22441-E

Profile information for the host "ホスト名" cannot be collected using batch acquisition because the host information is locked by the user "ユーザー名:View ホスト名".

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト情報の排他権を取得しているため、一括収集処理でホスト(ホスト名)のプロファイル情報は収集できません

ユーザーがホスト情報の排他権を取得しているため、一括収集処理で収集できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。

- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN22442-E

Profile information for the host "ホスト名" cannot be collected using batch acquisition because the host information is being updated.

ホスト情報が更新されているため、一括収集処理でホスト(ホスト名)のプロファイル情報は収集できません

ホスト情報が更新されているため、一括収集処理で収集できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

最新情報を取得し、再実行してください。

## KNAN22443-E

製品名 of "ホスト名" cannot be collected using batch collection because the profile information is locked by the user "ユーザー名:View ホスト名".

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がプロファイル情報の排他権を取得しているため、一括収集処理でホスト(ホスト名)から製品名のプロファイル情報は収集できません

ユーザーがプロファイル情報の排他権を取得しているため、一括収集処理で収集できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN22444-E

製品名 of "ホスト名" cannot be collected using batch collection because profile information is being updated.

プロファイル情報が更新されているため、一括収集処理でホスト(ホスト名)から製品名のプロファイル情報は収集できません

プロファイル情報が更新されているため、一括収集処理で収集できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

最新情報を取得し、再実行してください。

#### KNAN22445-E

Batch collection cannot be performed because the IM configuration tree is being updated.  
IM 構成情報が更新されているため、一括収集処理は実行できません

IM 構成情報（システムの階層構成の情報）が更新されているため、一括収集処理は実行できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

最新情報を取得し、再実行してください。

#### KNAN22446-E

Batch collection cannot be performed because the IM configuration is being locked by the user "ユーザー名:View ホスト名".  
ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成情報の更新権を取得しているため、一括収集処理は実行できません

ユーザーが IM 構成情報（システムの階層構成の情報）の更新権を取得しているため、一括収集処理は実行できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 更新権が解放されたあとに再実行する。

#### KNAN22447-E

Batch collection cannot be performed because IM configuration verification is being performed by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成の検証を実施中のため、一括収集処理は実行できません

ユーザーが IM 構成 (システムの階層構成) の検証を実施しているため、一括収集処理は実行できません。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく待ってから再実行する。

## KNAN22448-E

Batch collection terminated abnormally.

一括処理が異常終了しました

一括処理が異常終了しました。

(S)

プロファイルの一括収集を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22449-I

Setup file "ファイル名" for プロファイル種別 does not exist in Agent host.

エージェントホストにプロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)が存在しません

エージェントホストに設定ファイルが存在しません。

(S)

設定ファイルの内容の収集を中止します。

(O)

エージェントホスト上に設定ファイルが存在するか、またはアクセスできるか確認し、再実行してください。

## KNAN22451-E

The profile "監視名" cannot be deleted because the it is running.

プロファイル(監視名)は起動中のため削除できません

プロファイルは起動中のため削除できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

プロファイルを停止させてから再実行してください。

## KNAN22452-E

Creation of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because the maximum number of files for プロファイル種別 has been exceeded.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の作成に失敗しました。

(詳細情報: 定義可能なプロファイル種別の最大設定ファイル数を超えました)

エージェントホストで定義できる最大設定ファイル数を超えたため、設定ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

[プロファイルツリー再構築] を実行し、サーバで定義されている管理できる設定ファイル数の上限が超えていないかどうか確認してください。

## KNAN22454-E

Creation of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because a file with the same name already exists.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の作成に失敗しました。

(詳細情報: 同名の設定ファイルが存在します)

エージェントホストに同じ名称の設定ファイルが存在するため、設定ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

同じ設定ファイル名のログファイルトラップが存在していないか確認してください。

同じ設定ファイル名のログファイルトラップが存在する場合は、監視名を変更して、再度ログファイルトラップを追加してください。

## KNAN22455-I

Changes to the configuration file "ファイル名" of プロファイル種別 were successfully saved on the server.



プロフィール種別の設定ファイル(ファイル名)の編集内容をサーバに保存しました

サーバへのプロフィールの編集内容の保存に成功しました。

(S)

設定ファイルをサーバに保存しました。

## KNAN22456-E

Application of the configuration file failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、設定ファイルの反映に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

サーバへのプロフィールの編集内容の保存に失敗しました。

(S)

設定ファイルの保存を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- OS 情報が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。  
表示されていない場合には、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されているか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22457-E

The configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 could not be saved. (Cause: エラーコード)

プロフィール種別の設定ファイル(ファイル名)の編集内容をサーバへ保存できませんでした。(詳細情報: エラーコード)

内部エラーが発生したため、サーバへのプロフィールの編集内容の保存に失敗しました。

(S)

サーバへの編集内容の保存を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません

次の内容を確認してから、再実行してください。

- メモリーの空き容量が不足していないか。
- ファイルがあるか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN22458-I

Exclusive edit rights for 製品名 of the host "ホスト名" were successfully acquired.

ホスト(ホスト名)の製品名の排他権を取得しました

排他編集権の取得に成功しました。

(S)

排他権を取得しました。

### KNAN22459-E

An attempt to save the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because another user is currently accessing the file.

他のユーザーが設定ファイルにアクセスしているため、プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)を保存できませんでした

ほかのユーザーがホストまたは製品の排他権を取得しているため、排他権の取得に失敗しました。

(S)

設定ファイルの保存を中止します。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

### KNAN22460-I

Editing changes were successfully applied to the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別.

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)に編集内容を反映しました

エージェントホストのプロファイルに、サーバにて編集したプロファイルの内容を反映しました。

(S)

設定ファイルを反映しました。

## KNAN22461-E

Batch application of profiles failed because the user ユーザー名: View ホスト名 is executing a batch "収集/反映" operation.

プロファイルの一括反映に失敗しました。(詳細情報: ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が一括収集/反映中です)

ほかのユーザーがプロファイルの一括収集または一括反映を行っているため、プロファイルの一括反映ができません。

(S)

プロファイルの一括反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- ほかのユーザーによる一括収集、または反映が終了してから再実行する。

## KNAN22462-E

Creation of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed. (Cause: エラーコード)

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)は作成できませんでした。

(詳細情報: エラーコード)

環境が不正なため、設定ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- 再インストールを実行後、再実行してください。
- 上記で解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22463-E

During batch application of profiles, an attempt to apply the changes of **製品名** of the host "ホスト名" failed, because the profile list for the product does not exist in the database.

プロファイルの一括反映中、ホスト(ホスト名)の**製品名**の編集内容の反映に失敗しました。(詳細情報: プロファイル設定情報が IM 構成管理 DB に存在しません)

プロファイルの一括反映中に、特定のホストのプロファイルを反映できませんでした。

(S)

プロファイルの一括反映を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- プロファイルが収集済みであるか。
- [プロファイル表示/編集] 画面でプロファイルの内容を参照できるか。

## KNAN22464-I

Editing changes were successfully applied to the profile for log file trapping "**監視名**".

ログファイルトラップ情報(**監視名**)の編集内容を反映しました

エージェントホストのプロファイルに、サーバにて編集したプロファイルの内容を反映しました。

(S)

設定ファイルを反映しました。

## KNAN22465-E

Creation of the configuration file "**ファイル名**" for **プロファイル種別** failed because a new profile cannot be created in this version of JP1/Base.

**プロファイル種別**の設定ファイル(**ファイル名**)の作成は、本バージョンの JP1/Base ではサポートされていないため、実行できません

設定ファイルの作成は、使用しているバージョンではサポートされていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

サポートされているバージョンをご使用ください。

Application of changes failed because an error occurred when moving the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別. (Detail Information: 詳細情報)

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の編集内容を反映できませんでした。(詳細情報: 詳細情報)

エージェントホストに接続できないため、編集内容の反映に失敗しました。

(S)

エージェントホストへの編集内容の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません

マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。

[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、一括配布方式で [エージェント構成編集] 画面の [エージェント構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。

- 設定ファイルの書き込みに失敗しました

メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに書き込み権限があるか、出力先に同名のディレクトリがないか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に書き込み権限があるかを確認してください。

- 設定ファイルの読み込みに失敗しました

メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。

- 他のセッションが排他しています

[ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料
- ディレクトリが存在しません  
指定されたディレクトリが在り、アクセスできることを確認してください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 通信エラーが発生しました  
取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。
  - ・サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- サービスもしくはプロセスのリロードに失敗しました  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました  
マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- エージェントホストでメモリー不足が発生しました  
エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作のあと、再度実行してください。
  - ・ログファイルトラップサービスを起動する。

- 起動オプションが不正です  
次を確認してください。
  - ・起動オプションが正しく指定されているか。
  - ・追加オプションに-f, -a オプションを指定していないか。
- 監視名(監視名)のログファイルトラップは既に起動しています  
エージェントホスト上で動作しているログファイルトラップを確認してください。
- 設定ファイルの構文が不正か、または指定されたログファイルが存在しません。  
次を確認してください。
  - ・設定ファイルの内容が正しいかどうか、また指定したログファイルが存在するか。
  - ・指定したログファイルパスに空白が含まれている場合は、「"」で囲われているか。
  - ・指定した起動ロケールがエージェントホストに存在するか。
  - ・マルチプロセス対応トレースを監視する場合は、設定ファイルの FILETYPE パラメーターに HTRACE を指定しているか。
  - ・ログファイルトラップサービスが稼働しているか。
  - ・エージェントホストのディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか。
  - ・上記の対処をしても問題が解決しない場合、エージェントホストで、IM 構成管理で指定した設定内容と同じ設定内容で JP1/Base のログファイルトラップ起動コマンド (jevlogstart) を実行し、ログファイルトラップが正常に起動するか確認してください。jevlogstart コマンドでも、ログファイルトラップが正常に起動しない場合は、表示されたエラーメッセージの対処に従ってください。一方、jevlogstart コマンドではログファイルトラップが正常に起動する場合は、JP1/IM - Manager の資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- イベントサービスが起動していません  
エージェントのイベントサービスが起動しているか確認してください。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。  
また、対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
  - ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22467-E

Application of the configuration file failed because the host is not registered.

ホストが登録されていないため、設定ファイルの反映に失敗しました

エージェントホストへの編集内容の反映に失敗しました。

(S)

エージェントホストへの編集内容の反映を中止します。

(O)

[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に、対象ホストが正しく登録されているか確認してください。

## KNAN22468-E

Application of changes to the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed. (Cause: エラーコード)

プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の編集内容を反映できませんでした。(詳細情報: エラーコード)

内部エラーが発生したため、エージェントホストへの編集内容の反映に失敗しました。

(S)

エージェントホストへの編集内容の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルの操作ができません  
次の内容を確認してから、再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - ファイルがあるか。
  - ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ファイル名が長すぎます  
ファイル名を絶対パスで 259 文字以内にしてください。
- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - サービスまたはプロセスを起動する。
  - [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました  
IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。



[IM 構成検証] を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定および状態を確認してください。
- リロードコマンド実行時のエラー：設定ファイルに記述ミスが含まれているか、サービスが稼働していない可能性があります  
設定ファイルの定義内容を見直してください。  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 設定ファイルに記述ミスが含まれているか、JP1/Base が正常に稼働していない可能性があります  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 起動定義ファイル({起動定義ファイルパス})の更新に失敗しました  
エージェントホストで、次の確認をしてください。
  - ・ 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
  - ・ 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ ディスク容量がいっぱいではないか。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22469-W

The configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 in the agent host might have been changed.

エージェントホストのプロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)が書き換えられた可能性があります

エージェントホスト側で、設定ファイルが書き換えられた可能性があります。

(S)

処理を継続します。

(O)

エージェントホストの設定ファイルの内容を直接確認してください。

注

エージェントホストから収集すると、編集内容が上書きされてしまいます。

## KNAN22471-E

Batch application of a configuration failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、設定ファイルの一括反映に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、設定ファイルの一括反映に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- 製品が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に製品情報に JP1/Base が表示されているか確認してください。  
画面に何も表示されない場合は、[ホスト情報の収集] を実行したあと、再実行してください。
- OS 情報が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。  
表示されていない場合は、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されているか確認してください。
- プロファイルが存在しません  
[IM 構成管理] 画面からプロファイル収集状態を確認し、収集済み、または一部収集済みであることを確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22472-E

Batch application for a host failed because the host is not registered.

ホストが登録されていないため、設定ファイルの一括反映に失敗しました

ホストが登録されていないため、設定ファイルの一括反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

### KNAN22473-I

Exclusive edit rights for the 製品名 of the host "ホスト名" was released successfully.  
ホスト(ホスト名)の製品名の排他権を解放しました

排他権の解放に成功したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

### KNAN22474-E

Batch application was not performed because 製品名 does not exist on the host "ホスト名".  
ホスト(ホスト名)に製品名が存在しないため、反映は実行しません

ホストに該当製品が存在しないため、反映は実行しません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

ホストに JP1/Base がインストールされているか確認し、再実行してください。

### KNAN22475-E

Application of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because another user is currently accessing the file.  
他のユーザーがアクセスしているため、プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の反映に失敗しました

ほかのユーザーがアクセスしているため、設定ファイルの反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

## KNAN22476-E

During batch application, application of the host "ホスト名" failed. (Cause: エラーコード)  
一括反映処理でホスト(ホスト名)のプロファイル情報の反映に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

一括反映処理でプロファイル情報の反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

詳細情報の内容を確認してください。その内容に従って対処し、再実行してください。  
解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22477-E

An attempt to save the configuration file to the server failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、サーバへの設定ファイルの保存に失敗しました。  
(詳細情報: エラーコード)

IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、サーバへの設定ファイルの保存に失敗しました。

(S)

設定ファイルの保存を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- OS 情報が存在しません  
[IM 構成管理] 画面から、ホスト情報に OS 種別が表示されているか確認してください。  
表示されていない場合は、[ホスト情報の収集] を実行し、再度 OS 種別が表示されているか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22478-E

An attempt to save the configuration file to the server failed because the host is not registered.

ホストが登録されていないため、設定ファイルをサーバへ保存できませんでした

ホストが登録されていないため、設定ファイルをサーバへ保存できませんでした。

(S)

設定ファイルの保存を中止します。

(O)

〔IM 構成管理〕画面のホスト一覧に、対象ホストが正しく登録されているか確認してください。

## KNAN22479-E

Application of the configuration file "ファイル名" for プロファイル名 failed because application of the specified profile type is not supported for logical hosts.

論理ホストでは指定された設定ファイルの反映をサポートしていないため、ホスト(プロファイル名)のファイル名の反映に失敗しました

論理ホストでは指定された設定ファイルの反映をサポートしていないため、設定ファイルの反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

環境が不正です。

JP1/IM - Manager をインストールし直してください。

## KNAN22480-E

Batch application of the host "ホスト名" was not performed because the host is locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト情報の排他権を取得しているため、ホスト(ホスト名)のプロファイル情報の一括反映処理は実行できません

ほかのユーザーがホスト情報の排他権を取得しているため、プロファイル情報の一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧]画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。

- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN22481-E

Batch application of the host "ホスト名" was not performed because another user is currently updating the host information.

ホスト情報が更新されているため、ホスト(ホスト名)のプロファイル情報の一括反映処理は実行できません

ホスト情報が更新されているため、プロファイル情報の一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

## KNAN22482-E

Batch application of 製品名 of the host "ホスト名" was not performed because the profile information is locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がプロファイル情報の排他権を取得しているため、ホスト(ホスト名)から製品名のプロファイル情報の一括反映処理は実行できません

ユーザーがプロファイル情報の排他権を取得しているため、プロファイル情報の一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN22483-E

Batch application of 製品名 of the host "ホスト名" was not performed because the profile information is being updated.

プロファイル情報が更新されているため、ホスト(ホスト名)から製品名のプロファイル情報の一括反映処理は実行できません

プロファイル情報が更新されているため、プロファイル情報の一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

#### KNAN22484-E

Batch application processing was not performed because another user is currently updating the IM configuration tree.

IM 構成が更新されているため、一括反映処理は実行できません

IM 構成（システムの階層構成）が更新されているため、一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

#### KNAN22485-E

Batch application processing was not performed because the IM configuration is locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成の更新権を取得しているため、一括反映処理は実行できません

ユーザーが IM 構成（システムの階層構成）の更新権を取得しているため、一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 更新権が解放されたあとに再実行する。

#### KNAN22486-E

Batch application processing was not performed because IM configuration verification was being performed by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成の検証を実行しているため、一括反映処理は実行できません

ユーザーが IM 構成 (システムの階層構成) の検証を実行しているため、一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- しばらく時間をおいてから再実行する。

## KNAN22487-E

Batch application processing of ホスト名 was not performed because host information has not been collected.

ホスト情報を収集していないため、ホスト(ホスト名)の一括反映処理は実行できません

ホスト情報を収集していないため、ホストの一括反映処理は実行できません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

ホスト情報を収集してから、再実行してください。

## KNAN22488-E

Application of the configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed because the configuration file does not exist in the server.

設定ファイルがサーバに存在しないため、プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)の反映に失敗しました

設定ファイルがサーバに存在しないため、設定ファイルの反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- プロファイルを収集してあるか。



- [プロフィール表示/編集] 画面でプロフィールの内容を参照できるか。

## KNAN22491-E

Batch application terminated abnormally.

一括反映が異常終了しました

一括反映が異常終了しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22492-E

The configuration file "ファイル名" for 監視名 cannot be reloaded because a startup option was changed.

起動オプションが変更されたため、監視名の設定ファイル(ファイル名)はリロードできません

起動オプションが変更されたため、設定ファイルはリロードできません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- リロードを実行したい場合  
変更した起動オプションを元に戻し、再実行してください。
- 起動オプションを変更したい場合  
[再起動による反映] メニューを選択し、ログファイルトラップを再起動してください。

## KNAN22493-E

Reflection of Log File Trap failed. (Cause: Error occurred during the reload command execution of Log File Trap. Command execution error code: エラーコード. Please refer JP1/Base manual for details. (Command: jevlogreload))

リロードコマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。(エラーコード: エラーコード 詳しくは JP1/Base のマニュアル[コマンド: jevlogreload]を参照してください)

リロード/起動コマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

JP1/Base のマニュアル (jevlogstart, jevlogreload コマンド) を参照し、コマンド実行時のエラーコードを基に対処してください。

#### KNAN22494-E

Acquisition of exclusive edit rights failed. (Cause: Host is not registered.)

排他権の取得に失敗しました。(詳細情報: ホストが登録されていません)

指定されたホストがホスト一覧に存在しないため、排他権の取得に失敗しました。

(S)

排他編集権の取得を中止します。

(O)

最新情報に更新し、ホストが存在するか確認してください。

#### KNAN22495-E

Rollback of configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 failed.

Note: The configuration file "ファイル名" stored the host "ホスト名" is changed to the contents of after-editing.

設定ファイルのロールバック処理でエラーが発生したため、プロファイル種別の設定ファイル(ファイル名)をロールバックできませんでした。ホスト(ホスト名)の設定ファイル(ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

設定ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

ロールバック処理を中止します。

(O)

有効設定情報を確認し、設定ファイルを編集し直して、再度リロードしてください。

#### KNAN22496-W

Rollback of configuration file "ファイル名" for プロファイル種別 is not executed because the rollback is not supported for JP1/Base's version of host "ホスト名".

Note: The configuration file "ファイル名" stored the host "ホスト名" is changed to the contents of after-editing.

ホスト(ホスト名)の JP1/Base のバージョンには、設定ファイルのロールバック機能は未対応のため、**プロファイル種別**の設定ファイル(ファイル名)をロールバックできませんでした。ホスト(ホスト名)の設定ファイル(ファイル名)は、編集後の内容に書き換えられています

JP1/Base のバージョンが対応していないため、設定ファイルのロールバックができませんでした。

(S)

ロールバック処理を中止します。

(O)

設定ファイルを編集し直して、再度リロードしてください。

#### KNAN22497-I

Application of the configuration file **ファイル名** for **プロファイル種別** was not reflected because the configuration file does not exist in Server.

サーバに設定ファイルが存在しないため、**プロファイル種別**の設定ファイル(ファイル名)は反映しませんでした

サーバに設定ファイルが存在しないため、**プロファイル種別**の反映は実行しませんでした。

(S)

**プロファイル種別**以外のプロファイル反映を実行します。

#### KNAN22498-E

Application of the configuration file **ファイル名** for **プロファイル種別** was not performed because the configuration file contains control characters.

制御文字が含まれているため、**プロファイル種別**の設定ファイル(ファイル名)は反映できませんでした

設定ファイルの中に制御文字が含まれているため、反映できませんでした。

(S)

**プロファイル種別**以外のプロファイルを反映し、終了します。

(O)

設定ファイル内にある制御文字を削除したあとに再度実行してください。

#### KNAN22499-E

Error occurred during reload command execution for **プロファイル種別** with the old configuration file.

ロールバックされた**プロファイル種別**の設定ファイルのリロード中にエラーが発生しました

ロールバックされた**プロファイル種別**の設定ファイルのリロードに失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

有効設定情報に従って、設定ファイルを編集し、再実行してください。

## KNAN22500-E

An attempt to start the log file trap for 監視名 failed. (Details = 詳細情報)

ログファイルトラップ(監視名)の起動に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

次の要因で、ログファイルトラップの起動に失敗しました。

- DB アクセスエラー
- ログファイルトラップサービスが起動していない
- 起動オプションが不正
- 設定ファイルの構文が不正
- ファイル監視数の上限を超えている
- 指定されたログファイルが存在しない
- 指定されたログファイルトラップがすでに起動している
- ログファイルトラップ起動コマンドの実行に失敗
- 動作定義ファイルの配置に失敗した
- イベントサービスが起動していない
- 起動定義ファイルの更新に失敗した

(S)

ログファイルトラップの起動を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。  
[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、一括配布方式で [エージェント構成編集] 画面の [エージェント構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。
- 設定ファイルの書き込みに失敗しました

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに書き込み権限があるか、出力先に同名のディレクトリがないか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に書き込み権限があるかを確認してください。

- 設定ファイルの読み込みに失敗しました

設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。また、統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、JP1/Base の conf ディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。

IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

- ログファイルトラップサービスが起動していません

ログファイルトラップサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、ログファイルトラップサービスを起動し、再実行してください。

- 起動オプションが不正です

次の内容を確認してください。

- 起動オプションが正しく指定されているか。
- 追加オプションに -f, -a オプションを指定していないか。

- 監視名(監視名)のログファイルトラップは既に起動しています

エージェントホストで動作しているログファイルトラップを確認してください。

- 設定ファイルの構文が不正か、または指定されたログファイルが存在しません

次の内容を確認してください。

- 設定ファイルの内容が正しいかどうか。
- 指定したログファイルがあるか。
- 指定したログファイルパスに空白が含まれている場合は、ダブルクォーテーション (") で囲まれているか。
- 指定した起動ロケールをエージェントホストの OS で設定できるか。
- マルチプロセス対応トレースファイルを監視する場合は、設定ファイルの FILETYPE パラメーターに HTRACE を指定しているか。
- ログファイルトラップサービスが起動しているか。
- エージェントホストのディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか。
- ファイル監視数の上限を超えていないか (JP1 イベントが出ているか確認)

- 設定ファイルの配置に失敗しました。(パス: パス)

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- メッセージに表示されたパスのアクセス権が正しく設定されているか。

- ・メッセージに表示されたパスにファイルが存在する場合、そのファイルが上書きできるか。
- ・ディスク容量が十分確保されているか。
- ・イベントサービスが起動していません  
エージェントホストのイベントサービスが起動しているか確認してください。
- ・起動定義ファイル（**起動定義ファイルパス**）の更新に失敗しました  
エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。
  - ・起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
  - ・起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ・ディスク容量が十分確保されているか。

上記の対処でも問題が解決されない場合、IM 構成管理で指定した設定内容と同じ設定内容で JP1/Base の `jevlogstart` コマンドをエージェントホスト上で実行し、ログファイルトラップが正常に起動するか確認してください。

`jevlogstart` コマンドでログファイルトラップが正常に起動する場合は、JP1/IM - Manager の資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

`jevlogstart` コマンドでログファイルトラップが正常に起動しない場合は、表示されたエラーメッセージの対処に従ってください。

- ・ディレクトリが存在しません  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。
- ・システムエラーが発生しました  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・マネージャースト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
  - ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料
- ・ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。  
また、対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・マネージャースト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
  - ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料
- ・他のセッションが排他しています  
[ログインユーザー一覧] 画面で、排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料

• 通信エラーが発生しました

対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

また、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。

対象ホストの JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。

- ・サービスまたはプロセスを起動する。
- ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

上記以外の詳細情報が出力された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22501-E

An attempt to stop the log file trap for 監視名 failed. (Details = 詳細情報)

ログファイルトラップ(監視名)の停止に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

次の要因で、ログファイルトラップの停止に失敗しました。

- DB アクセスエラー
- ログファイルトラップサービスが起動していない
- ログファイルトラップ停止コマンドの実行に失敗
- エージェントホストの設定ファイルの削除に失敗
- 起動定義ファイル(起動定義ファイルパス)の更新に失敗した

### (S)

ログファイルトラップの停止を中止します。

### (O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません

ログファイルトラップサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合には、ログファイルトラップサービスを起動したあと、再実行してください。

- ログファイルトラップの停止コマンドの実行に失敗しました  
エージェントホストでログファイルトラップの停止コマンドが実行できるか確認してください。
- エージェントホストの設定ファイル(ファイル名)の削除に失敗しました  
エージェントホストが表示されたファイル名の設定ファイルを手動で削除してください。
- 起動定義ファイル(起動定義ファイルパス)の更新に失敗しました  
エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。
  - 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
  - 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ディスク容量が十分確保されているか。
- ファイルが存在しません  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。
- ディレクトリが存在しません  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。
- 設定ファイルの書き込みに失敗しました  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに書き込み権限があるか、出力先に同名のディレクトリがないか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。また、対象ホストの統合トレースログにJP1/Baseのエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストのJP1/Baseのconfディレクトリ以下に書き込み権限があるかを確認してください。
- 設定ファイルの読み込みに失敗しました  
ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。また、対象ホストの統合トレースログにJP1/Baseのエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストのJP1/Baseのconfディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。
- アクセス権がありません  
エージェントのJP1/Baseのホストアクセス制限定義ファイル(jbsdfts\_srv.conf)の設定内容を確認し、マネージャーホストからのアクセスが許可されていることを確認してください。
- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。



また、対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
  - ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料
  - 他のセッションが排他しています  
[ログインユーザー一覧] 画面で、排他権を取得しているユーザーを確認してください。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。  
また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
    - ・マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
    - ・エージェントホスト側の JP1/Base の資料
  - 通信エラーが発生しました  
対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
対象ホストの JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。
    - ・サービスまたはプロセスを起動する。
    - ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- 上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22502-I

A profile for log file trapping was sent, but the process for the log file trap was stopped.  
(Monitoring-target-name = 監視名)

ログファイルトラップ情報を送付しましたが、ログファイルトラップのプロセスが停止中でした。(監視名: 監視名)

ログファイルトラップ情報を送付しましたが、ログファイルトラップのプロセスが停止中でした。送付したログファイルトラップ情報は、ログファイルトラップのプロセスを起動したときに有効になります。

(S)

設定ファイルを反映しました。

(O)

送付したファイルを有効にするには、ログファイルトラップのプロセスを起動してください。

Deletion of the log file trap for 監視名 failed. (Details = 詳細情報)

ログファイルトラップ(監視名)の削除に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

次の要因で、ログファイルトラップの削除に失敗しました。

- 設定ファイルの削除に失敗した
- 起動定義ファイル(起動定義ファイルパス)の更新に失敗した

(S)

ログファイルトラップの削除を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- IM 構成管理の設定ファイル(ファイル名)の削除に失敗しました  
次の内容を確認してから再実行してください。
  - メモリーの空き容量が不足していないか。
  - メッセージに表示されたファイルがあるか。
  - メッセージに表示されたファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - メッセージに表示されたファイルを別のアプリケーションで開いて (ロックして) いないか。
- 起動定義ファイル (起動定義ファイルパス) の更新に失敗しました  
エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。
  - 起動定義ファイルのフォーマットが正しく設定されているか。
  - 起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
  - ディスク容量が十分確保されているか。
- システムコールエラーが発生しました  
次の確認をしてから再実行してください。
  - エージェントホストでログファイルトラップ起動定義ファイルのアクセス権が正しく設定されているかを確認してください。
  - エージェントホストの OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。Windows の場合：Windows イベントログ  
UNIX の場合：シスログ (syslog)
  - エージェントホストでファイルをロックするアプリケーション (ウイルスチェックソフト製品など) が実行中の場合、ファイルをロックするアプリケーションとの競合によって、当該メッセージ

が出力される可能性があります。エージェントでファイルをロックするアプリケーションを停止して再実行してください。

- ディレクトリが存在しません

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。

- ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました

メッセージに表示された設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。

また、対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- エージェントホスト側の JP1/Base の資料

- 設定ファイルの読み込みに失敗しました

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。

- アクセス権がありません

エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定内容を確認し、マネージャーホストからのアクセスが許可されていることを確認してください。

- 他のセッションが排他しています

[ログインユーザー一覧] 画面で、排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- エージェントホスト側の JP1/Base の資料

- 通信エラーが発生しました

対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

また、対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。

対象ホストの JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。

- ・サービスまたはプロセスを起動する。
- ・[プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22505-I

The log file trap of the monitoring target name "監視名" has already been stopped.  
監視名(監視名)のログファイルトラップは既に停止しています

ログファイルトラップはすでに停止しています。

## KNAN22506-W

The log file trap "監視名" was stopped successfully, but deletion of the configuration file "設定ファイルパス" on the agent host failed.

ログファイルトラップ(監視名)を停止しましたが、エージェントホストの設定ファイル(設定ファイルパス)の削除に失敗しました

エージェントホストの設定ファイルの削除に失敗しました。

- (S)  
エージェントホストの設定ファイルを削除しないでログファイルトラップを停止します。
- (O)  
表示されたパスのエージェントホストの設定ファイルを手動で削除してください。

## KNAN22507-W

There are one or more invalid definitions in the 起動定義ファイル. These definitions will be skipped. 不正のあった全ての行番号をコンマ区切りで表示

起動定義ファイルに不正な定義が存在したため、読み込みを一部スキップしました。不正のあった全ての行番号をコンマ区切りで表示

表示された起動定義ファイルに不正な定義が存在したため、読み込みを一部スキップしました。

- (S)  
表示された起動定義ファイルの不正な定義を読み込まないで、処理を続行します。
- (O)  
表示された起動定義ファイルの不正のあった行で、次の内容を確認してください。

- ・ 定義を正しい形式で記述しているか。
- ・ 動作定義ファイル名 (-f オプション) を指定しているか。
- ・ 定義に指定した値が文字列長の最大値を超えていないか。

監視対象ログファイルトラップ名の記述が文字列長の最大値を超える場合は、複数のログファイルトラップに分けて記述してください。

- 監視名または動作定義ファイル名が重複している定義がないか。

## KNAN22510-I

The log file trap for 監視名 was deleted successfully.

ログファイルトラップ(監視名)を削除しました

ログファイルトラップの削除が終了しました。

## KNAN22511-I

The log file trap for 監視名 was stopped successfully.

ログファイルトラップ(監視名)を停止しました

ログファイルトラップの停止が終了しました。

## KNAN22514-W

The configuration file "設定ファイルパス" on the agent host "ホスト名" already exists.

エージェントホスト(ホスト名)の設定ファイル(設定ファイルパス)が既に存在します

メッセージ「KNAN20355-Q」が表示された場合に、[はい] ボタンをクリックすると出力されるメッセージです。

(S)

エージェントホストの設定ファイルを上書きし、反映します。

(O)

メッセージ「KNAN20355-Q」が表示された場合に [はい] ボタンをクリックすると、エージェントホストの設定ファイルを上書きしてから反映します。

IM 構成管理で管理しているプロファイルをエージェントホストで変更しないように注意してください。

## KNAN22515-W

The path of the configuration file on the agent host "設定ファイルパス" is different from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス" during process stop of log file trap operation.

ログファイルトラップ停止時に、エージェントホストで動作する設定ファイルパス（設定ファイルパス）と、IM 構成管理が保持している設定ファイルパス（設定ファイルパス）が異なります

メッセージ「KNAN20358-Q」が表示された場合に、[はい] ボタンをクリックすると出力されるメッセージです。

(S)

IM 構成管理で保存しているパスの設定ファイルをエージェントホストから削除します。

(O)

エージェントホストの設定ファイルのパスが、IM 構成管理でプロファイルを集めた場合と異なるときに出力されます。

メッセージ「KNAN20358-Q」が表示された場合に [はい] ボタンをクリックすると、プロセスを停止し、IM 構成管理で保存しているパスの設定ファイルをエージェントホストから削除します。

IM 構成管理で管理しているプロファイルを変えないように注意してください。

## KNAN22517-W

The path of the configuration file on the agent host "設定ファイルパス" is different from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス" during process restart of log file trap operation.

ログファイルトラップ再起動時に、エージェントホストで動作する設定ファイルパス（設定ファイルパス）と、IM 構成管理が保持している設定ファイルパス（設定ファイルパス）が異なります

メッセージ「KNAN20359-Q」が表示された場合に、[はい] ボタンをクリックすると出力されるメッセージです。

(S)

IM 構成で保存しているパスに設定ファイルを反映し、ログファイルトラップを再起動します。

(O)

エージェントホストの設定ファイルのパスが、IM 構成管理でプロファイルを集めた場合と異なるときに出力されます。

メッセージ「KNAN20359-Q」が表示された場合に [はい] ボタンをクリックすると、IM 構成管理で保存しているパスに設定ファイルを反映し、ログファイルトラップを再起動します。

IM 構成管理で管理しているプロファイルを変えないように注意してください。

## KNAN22518-E

The log file trap failed to be reloaded because the path of the configuration file on the agent host "設定ファイルパス" is different from the path saved in IM Configuration Management "設定ファイルパス".

エージェントホストで動作している設定ファイルパス（設定ファイルパス）と、IM 構成管理が保持している設定ファイルパス（設定ファイルパス）が異なるため、ログファイルトラップのリロードに失敗しました

エージェントホストで動作している設定ファイルのパスと、IM 構成管理で保存しているパスが異なる場合に出力されるメッセージです。

(S)

ログファイルトラップのリロードを中止します。

(O)

プロファイルを収集したときに、エージェントホストで動作している設定ファイルのパスが、IM 構成管理が保持している設定ファイルパスと異なる場合に出力されます。

次の対処をしてください。

- ログファイルトラップを再起動して反映してください。再起動して反映する場合、メッセージ「KNAN20359-Q」が表示されます。
- プロファイルツリーを再構築して、最新のプロファイルを取得してください。ただし、反映していないプロファイルの内容はすべて破棄されます。

## KNAN22520-E

Rollback of the startup definition file "起動定義ファイルパス" failed. The startup definition file stored on the host "ホスト名" was changed by IM Configuration Management.

起動定義ファイル(起動定義ファイルパス)のロールバックに失敗しました。ホスト(ホスト名)の起動定義ファイルは、IM 構成管理によって書き換えられています

起動定義ファイルのロールバックに失敗しました。

(S)

ロールバック処理を中止します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが表示される場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22521-I

The log file trap for 監視名 was started successfully.

ログファイルトラップ(監視名)を起動しました

ログファイルトラップを起動しました。

## KNAN22523-I

The configuration file "ファイル名" for 監視名 was successfully sent.

監視名の設定ファイル(ファイル名)を送付しました

設定ファイルをエージェントに送付しました。

## KNAN22524-E

An attempt to send the configuration file "ファイル名" for 監視名 failed.

## 監視名の設定ファイル(ファイル名)の送付に失敗しました

設定ファイルの送付に失敗しました。

(S)

設定ファイルの送付を中止します。

(O)

エージェントホストで、次の内容を確認してから再実行してください。

- 次のパスのアクセス権が正しく設定されているか、ディスク容量が十分確保されているか。  
Windows の場合：Base パス¥conf  
UNIX の場合：/etc/opt/jp1base/conf
- 取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。
- JP1/Base が稼働しているか確認してください。
- 設定ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。
- 同じ設定ファイル名のログファイルトラップが存在していないか確認してください。
- 設定ファイル出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。
- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。
- ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権があるか確認してください。
- 上記で解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22526-W

The 起動定義ファイル failed to be read. The startup definition file will be skipped.

起動定義ファイルの読み込みに失敗したため、起動定義ファイルの読み込みをスキップしました

表示された起動定義ファイルの内容が不正なため、起動定義ファイルの読み込みをスキップしました。

(S)

表示された起動定義ファイルを読み込まないで処理を続行します。

(O)

表示されたログファイルトラップ起動定義ファイルのアクセス権を確認してください。

起動中のログファイルトラップと監視名または動作定義ファイル名が重複している定義がないかを確認してください。

ログファイルトラップ起動定義ファイルに指定されたファイルまたはディレクトリが存在し、アクセスできることを確認してください。



ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先ディレクトリに同名のファイルがないかを確認してください。存在する場合は削除してください。

ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。

対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。

対象ホストの JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作を実行してください。

- ・ サービスまたはプロセスを起動する。
- ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

## KNAN22527-W

The 起動定義ファイル failed to be read. The startup definition file will be skipped. And There are one or more invalid definitions in the 起動定義ファイル. These definitions will be skipped. 不正のあった行番号をコンマ区切りで表示

起動定義ファイルの読み込みに失敗したため、起動定義ファイルの読み込みをスキップしました。また、起動定義ファイルに不正な定義が存在したため、読み込みを一部スキップしました。不正のあった行番号をコンマ区切りで表示

表示された起動定義ファイルの内容が不正なため、起動定義ファイルの読み込みをスキップしました。また、表示された起動定義ファイルに不正な定義があったため、読み込みを一部スキップしました。

(S)

表示された起動定義ファイル、および起動定義ファイルの不正な定義を読み込まないで処理を続行します。

(O)

表示された起動定義ファイルのアクセス権を確認してください。

また、表示された起動定義ファイルの不正のあった行で、次の内容を確認してください。

- ・ 定義を正しい形式で記述しているか。
- ・ 定義に指定した値が文字列長の最大値を超えていないか。  
監視対象ログファイルトラップ名の記述が文字列長の最大値を超える場合は、複数のログファイルトラップに分けて記述してください。
- ・ 監視名または動作定義ファイル名が重複している定義がないか。

## KNAN22528-W

The log file trap "監視名" was deleted successfully, but deletion of the configuration file "設定ファイルパス" on the agent host failed.

ログファイルトラップ(監視名)を削除しましたが、エージェントホストの設定ファイル(設定ファイルパス)の削除に失敗しました

エージェントホストの設定ファイルの削除に失敗しました。

(S)

エージェントホストの設定ファイルを削除しないでログファイルトラップを削除します。

(O)

表示されたパスのエージェントホストのファイルを手動で削除してください。

表示されたファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。

## KNAN22529-E

The remote monitoring configuration file **構成定義ファイル名** does not exist on the server.  
サーバにはリモート監視設定ファイル(設定ファイル名: **構成定義ファイル名**)が存在しません

リモート監視ログファイルトラップの動作定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

リモート監視ログファイルトラップの表示を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22530-E

The configuration file "**監視名**" cannot be reloaded because the specified startup option ("**起動オプション**") does not match the startup option of the log file trap that is currently running.  
**起動オプション(起動オプション)**に指定された内容が、稼働中のログファイルトラップの起動オプションと一致していないため、**監視名**のリロードはできません

起動オプションに指定された内容が、稼働中のログファイルトラップの起動オプションと一致していないため、設定ファイルはリロードできません。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- リロードを実行したい場合  
[有効設定情報] ページで、稼働中のログファイルトラップの起動オプションを確認して、起動オプションを一致させてから再実行してください。
- 起動オプションを変更したい場合  
反映方法の再起動を選択して、ログファイルトラップを再起動してください。

## KNAN22531-E

Application of log file trap contents failed because an error occurred when the reload command was executed. (Cause: [詳細情報](#). Error code: [エラーコード](#). For details, see the description of the jevlogreload command in the JP1/Base manual.)

リロードコマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。(詳細情報: [詳細情報](#) エラーコード: [エラーコード](#) 詳しくは JP1/Base のマニュアル[コマンド: jevlogreload]を参照してください)

リロード/起動コマンド実行時にエラーが発生したため、ログファイルトラップの反映に失敗しました。

(S)

設定ファイルの反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 設定内容に誤りがあります  
設定内容の誤りを修正して、再実行してください。
- MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターが変更されました  
リロードを実行したい場合は、[有効設定情報] ページを確認して、MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを一致させてから再実行してください。  
MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを変更する場合は、反映方法の再起動を選択して、ログファイルトラップを再起動してください。

なお、エラーコードの詳細については、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」の jevlogreload コマンドの説明を参照してください。

## KNAN22532-E

Changes could not be applied to the profile for log file trapping ("監視名"). (Details = [詳細情報](#))  
ログファイルトラップ情報(監視名)の編集内容を反映できませんでした。(詳細情報: [詳細情報](#))

エージェントホストへのログファイルトラップ情報の編集内容の反映に失敗しました。

(S)

エージェントホストへの編集内容の反映を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
マネージャーが保持しているエージェント構成と、システムで有効になっているエージェント構成が不一致になっている、または削除されているおそれがあります。  
[IM 構成管理] 画面の [IM 構成検証] を実行し、システムで有効になっているエージェント構成と一致しているかを確認してください。不一致の場合、[エージェント構成編集] 画面の [エージェン

ト構成の反映] を実行し、エージェント構成を一致させてください。また、エージェントの JP1/Base のホストアクセス制限定義ファイル (jbsdfts\_srv.conf) の設定を確認してください。

- 設定ファイルの書き込みに失敗しました

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに書き込み権限があるか、出力先に同名のディレクトリがないか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に書き込み権限があるかを確認してください。

- 設定ファイルの読み込みに失敗しました

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルに読み込み権限があるか、ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。設定ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの出力先に同名のディレクトリがないかを確認してください。また、対象ホストの統合トレースログに JP1/Base のエラーメッセージや警告メッセージが出力されていないか、対象ホストの JP1/Base の conf ディレクトリ以下に読み込み権限があるかを確認してください。

- 他のセッションが排他しています

[ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認してください。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放してください。

また、エージェントホスト側の JP1/Base が正常に稼働しているか確認してください。

上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- ・ マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
- ・ エージェントホスト側の JP1/Base の資料

- ディレクトリが存在しません

ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルが存在し、アクセスできることを確認してください。

- 該当するサービスもしくはプロセスが稼働していません

該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。

- ・ サービスまたはプロセスを起動する。
- ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

- 通信エラーが発生しました

取得対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。

また、JP1/Base が稼働しているか確認してください。

JP1/Base が稼働していない場合は、次の操作をしてください。

- ・ サービスまたはプロセスを起動する。
- ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

- ビジー状態のためリトライをしてください  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- サービスもしくはプロセスのリロードに失敗しました  
該当するサービスまたはプロセスが稼働しているか、また設定ファイルが正しく記述されているか確認してください。  
稼働していない場合は、次の操作をしたあと、再実行してください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。
- マネージャーホストでメモリー不足が発生しました  
マネージャーホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- エージェントホストでメモリー不足が発生しました  
エージェントホストの空きメモリー容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。稼働していない場合には、次の操作のあと、再実行してください。
  - ・ ログファイルトラップサービスを起動する。
- 起動オプションが不正です  
次を確認してください。
  - ・ 起動オプションが正しく指定されているか。
  - ・ 追加オプションに -f, -a オプションを指定していないか。
- 監視名(監視名)のログファイルトラップは既に起動しています  
エージェントホスト上で動作しているログファイルトラップを確認してください。
- 設定ファイルの構文が不正か、または指定されたログファイルが存在しません。  
次を確認してください。
  - ・ ログファイルトラップ動作定義ファイル、ログファイルトラップ起動定義ファイルの内容が正しいかどうか、また指定したログファイルが存在するか。
  - ・ 指定したログファイルパスに空白が含まれている場合は、「"」で囲われているか。
  - ・ 指定した起動ロケールがエージェントホストに存在するか。
  - ・ マルチプロセス対応トレースを監視する場合は、設定ファイルのFILETYPE パラメーターにHTRACEを指定しているか。
  - ・ ログファイルトラップサービスが稼働しているか。
  - ・ エージェントホストのディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか。
  - ・ 起動オプションを変更していないか。

・ログファイルトラップ動作定義ファイル，ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか，ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。

上記の対処をしても問題が解決しない場合，エージェントホストで，IM 構成管理で指定した設定内容と同じ設定内容で JP1/Base のログファイルトラップ起動コマンド (jevlogstart) を実行し，ログファイルトラップが正常に起動するか確認してください。jevlogstart コマンドでも，ログファイルトラップが正常に起動しない場合は，表示されたエラーメッセージの対処に従ってください。一方，jevlogstart コマンドではログファイルトラップが正常に起動する場合は，JP1/IM - Manager の資料採取ツールを使って資料を採取し，システム管理者に連絡してください。

- ・ イベントサービスが起動していません  
エージェントのイベントサービスが起動しているか確認してください。
- ・ 設定内容に誤りがあります  
設定内容の誤りを修正して，再実行してください。
- ・ MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターが変更されました  
リロードを実行したい場合は，[有効設定情報] ページを確認して，MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを一致させてから再実行してください。MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを変更する場合は，反映方法の再起動を選択して，ログファイルトラップを再起動してください。
- ・ ロールバック用の設定ファイルの作成に失敗しました  
メッセージに表示された設定ファイル，ログファイルトラップ起動定義ファイルにアクセス権限があるか，ほかのアプリケーションでそのファイルをロックしていないか確認してください。  
また，対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認し，対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
上記で対処が出来ない場合は資料採取ツールを使って下記資料を採取し，システム管理者に連絡してください。
  - ・ マネージャーホスト側の JP1/IM-Manager, JP1/Base の資料
  - ・ エージェントホスト側の JP1/Base の資料
- ・ エラーコード:3 詳しくは JP1/Base のマニュアル[コマンド:jevlogreload]を参照してください  
対象ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また，対象ホストの JP1/Base が稼働しているか確認してください。  
対象ホストの JP1/Base が稼働していない場合は，次の操作をしてください。
  - ・ サービスまたはプロセスを起動する。
  - ・ [プロファイル表示/編集] 画面で [プロファイルツリー再構築] を実行する。

上記以外の詳細情報が出力された場合は，資料採取ツールを使って資料を採取し，システム管理者に連絡してください。

## KNAN22533-E

Application of the IM configuration failed. (Host name: ホスト名, Cause: 詳細情報)

IM 構成の反映に失敗しました。(ホスト: ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

IM 構成（システムの階層構成）の反映に失敗しました。

(S)

反映を中止します。

(O)

詳細情報に対応した次の対処を実施してください。

- タイムアウトが発生しました

次の内容を確認したあと、再実行してください。

- 下位ホストでエラーが発生していないか確認してください。ホスト名にサブマネージャーが含まれる場合、配下のホストの処理に時間が掛かっていることが考えられるため、サブマネージャーの統合トレースログを確認してください。

- サブマネージャー以下の処理が完了するのを待ってから IM 構成の反映を再実行してください。処理が完了したかどうかは、タイムアウト発生後にサブマネージャーホストに、メッセージ KAVB3185-I が出力されているかどうかで確認できます。

- 下位ホストに問題がないにもかかわらず、このメッセージが出力される場合は、サブマネージャー以下の処理に掛かる時間が通信タイムアウト時間を超過していることが考えられます。サブマネージャーホストに出力されるメッセージ KAVB3185-I の処理時間より大きい値に `jbsrt_distrib` コマンドの通信タイムアウト時間を調整してください。または JP1/Base の差分配布機能を利用し、数百台から 500 台程度に分割して反映してください。

## KNAN22534-E

IM Configuration synchronization is failed.(Host name: **ホスト名**, Cause: **詳細情報**)

IM 構成の同期に失敗しました。(ホスト: **ホスト名**, 詳細情報: **詳細情報**)

同期に失敗しました。

(S)

同期を中止します。

(O)

詳細情報に対応した次の対処を実施してください。

- タイムアウトが発生しました

次の内容を確認したあと、再実行してください。

- 下位ホストでエラーが発生していないか確認してください。ホスト名にサブマネージャーが含まれる場合、配下のホストの処理に時間が掛かっていることが考えられるため、サブマネージャーの統合トレースログを確認してください。

- ホスト名とのネットワークの設定・状態を確認してください。また、取得先ホスト上で JP1/Base が起動していることを確認してください。

・サブマネージャー以下の処理が完了するのを待ってから IM 構成の同期を再実行してください。  
処理が完了したかどうかは、タイムアウト発生後にサブマネージャーホストに、メッセージ KAVB3185-I が出力されているかどうかで確認できます。

・下位ホストに問題がないにもかかわらず、このメッセージが出力される場合は、サブマネージャー以下の処理に掛かる時間が通信タイムアウト時間を超過していることが考えられます。サブマネージャーホストに出力されるメッセージ KAVB3185-I の処理時間より大きい値に jbsrt\_sync コマンドの通信タイムアウト時間を調整してください。

## KNAN22600-I

Collection of service information from the host "ホスト名" ended successfully.

サービス稼働情報の収集が終了しました。(ホスト名: ホスト名)

サービス稼働情報の収集が終了しました。

(S)

サービス稼働情報の収集が終了しました。

## KNAN22601-E

Collection of service information failed because the JP1/Base service of host "ホスト名" is not running.

JP1/Base が起動していないため、サービス稼働情報を収集できません。(ホスト名: ホスト名)

JP1/Base が起動していないため、サービス稼働情報を収集できません。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

JP1/Base が起動しているか確認し、再実行してください。

## KNAN22602-E

Collection of service information failed because the connection with the host "ホスト名" was lost.

ホストに接続できません。(ホスト名: ホスト名)

ホストに接続できません。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

JP1/Base が起動しているか確認し、再実行してください。



## KNAN22603-E

Collection of service information failed because the connection with the host "ホスト名" timed out.

接続がタイムアウトしました。(ホスト名: ホスト名)

接続がタイムアウトしました。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

JP1/Base の状態を確認し、再実行してください。

## KNAN22604-W

The JP1/Base version on the host "ホスト名" is not supported.

ホストの JP1/Base は非サポートのバージョンです。(ホスト名: ホスト名)

ホストの JP1/Base は非サポートのバージョンです。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

JP1/Base のバージョンが 09-00 以上か確認してください。

## KNAN22605-E

Collection of service information failed because the version of JP1/Base of the host "ホスト名" and the database are not the same.

ホストの JP1/Base はバージョンが IM 構成管理 DB と一致していません。(ホスト名: ホスト名)

ホストの JP1/Base のバージョンが IM 構成管理 DB と一致していません。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

ホスト情報を収集し直したあとで再実行してください。

## KNAN22606-E

Service operation information collection for the host "ホスト名" failed because a database access error occurred. (Cause: 詳細情報)

IM 構成管理 DB アクセスエラーのためホスト(ホスト名)のサービス稼働情報の収集に失敗しました。  
(詳細情報: 詳細情報)

IM 構成管理 DB アクセスエラーのため、ホストのサービス稼働情報の収集に失敗しました。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- そのホストは存在しません  
[IM 構成管理] 画面のホスト一覧に対象ホストが登録されているか確認してください。
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

## KNAN22607-E

Collection of service information failed. (Cause: エラーコード)  
サービス稼働情報の収集に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

サービス稼働情報の収集に失敗しました。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。
- 接続先ホストがビジーです  
しばらく時間をおいてから再実行してください。
- 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました
- 接続先ホストからのデータ受信に失敗しました  
OS のリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、接続先ホストの IM 構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
一時的に不正なデータを受信したおそれがあります。再実行してください。  
また、取得先ホストとのネットワークの設定・状態を確認してください。
- 不正な動作環境でリクエストが実行されました

IM 構成（システムの階層構成）が削除されているおそれがあります。

【IM 構成検証】を実行して、現在の構成が正しいか確認してください。

- 共通定義が取得できませんでした

JP1/Base の共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。

クラスタシステムで運用している場合、環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22608-E

The service operation information collection for ホスト名 host is failed. (Cause: The execution of collection command コマンド名 is failed.)

ホスト(ホスト名)のサービス稼働情報の収集に失敗しました。(詳細情報: コマンドコマンド名の実行に失敗しました)

コマンドの実行に失敗したため、サービス稼働情報の収集に失敗しました。

(S)

サービス稼働情報の収集を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22700-E

The update permission for the business group could not be acquired because another user has locked the group. (User ユーザー名: View ホスト名)

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が業務グループの更新権を取得しているため、業務グループの更新権を取得できませんでした

ほかのユーザーが業務グループの更新権を取得しているため、業務グループの更新権を取得できませんでした。

(S)

更新権の取得を中止します。

(O)

次の順番で実行してください。

1. ログインユーザー一覧画面で更新権を取得しているユーザーを確認する。

問題がなければ更新権を取得しているユーザーにチェックを入れて【排他編集解除】ボタンをクリックし、更新権を解放します。

2. 更新権が解放されたあとに再度実行してください。

## KNAN22701-E

Login is not possible because the operation is restricted by business group.

業務グループによる参照・操作制限が有効に設定されているため、ログインできません

JP1 ユーザーが JP1\_Console 資源グループに対する必要な操作権限を保持しておらず、業務グループによる参照・操作制限が有効に設定されているため、ログインできません。

(S)

ログインを中止します。

(O)

JP1 ユーザーが、JP1\_Console 資源グループに対して次のどれかの JP1 権限レベルを保持していることを確認してください。

JP1\_CF\_Admin, JP1\_CF\_Manager, JP1\_CF\_User, JP1\_Console\_Admin,  
JP1\_Console\_Operator, JP1\_Console\_User

## KNAN22702-E

Cannot acquire a lock of business group because host lock is acquired.

ホストの更新権が取得されているため、業務グループの更新権を取得できませんでした

ホストの更新権が取得されているため、業務グループの更新権を取得できませんでした。

(S)

更新権の取得を中止します。

(O)

JP1 ユーザーが、JP1\_Console 資源グループに対して次のどれかの JP1 権限レベルを保持していることを確認してください。

JP1\_CF\_Admin, JP1\_CF\_Manager, JP1\_CF\_User, JP1\_Console\_Admin,  
JP1\_Console\_Operator, JP1\_Console\_User

ホストの更新権を解放してから、再度実行してください。

## KNAN22800-E

The logical host " 論理ホスト名" does not exist.

指定された論理ホストは存在しません。(論理ホスト名: 論理ホスト名)

指定した論理ホストは存在しません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

論理ホスト名を確認し、再実行してください。

#### KNAN22801-E

The user does not have execution permission.

ユーザーは実行権限を持っていません

コマンド実行ユーザーは実行権限を持っていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の実行権限を持つユーザーに変更して、再実行してください。

- Windows の場合：Administrators 権限
- UNIX の場合：スーパーユーザー権限

#### KNAN22802-E

Command execution will now stop because memory is insufficient.

メモリ不足のためコマンドの実行を中断します

メモリー不足のためコマンドの実行を中断します。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

十分なメモリー領域を確保してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN22803-E

Command execution will now stop because disk capacity is insufficient.

ディスクの空き容量が足りません。処理を中断します

ディスクの空き容量が足りません。処理を中断します。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

十分なディスク領域を確保してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN22804-E

Command execution failed because a database access error occurred. (Cause: エラーコード)  
IM 構成管理 DB アクセスエラーが発生したため、コマンドの実行に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

コマンド実行中に IM 構成管理 DB でエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- このホストは既に登録されています  
別のホスト名を入力し、再実行してください。
- 登録されているホスト数が最大値を超えました  
ホストの登録数が最大数を超えています。
- IM 構成管理 DB アクセスエラー  
jimdbstatus コマンドを実行して、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。  
IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22805-E

A connection could not be established with the server.  
サーバに接続できませんでした

コマンドがサーバに接続できませんでした。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドを実行し、jcfmain が起動していることを確認してください。jcfmain が起動していることが確認できたら、再実行してください。

また、JP1/IM - Manager を起動した時点と比べて、通信暗号化機能の設定が変わっていないことを確認してください。

## KNAN22806-E

The connection with the server was lost.  
サーバとの接続が切断されました

コマンドとサーバとの接続が切断されました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

IM 構成管理サービスの起動を確認し、停止している場合は IM 構成管理サービスを起動し、再実行してください。IM 構成管理サービスが起動している場合は、サーバで処理結果および次に該当していないか確認し、原因を取り除いて再実行してください。

- ネットワークが使用できない状態となっている。
- メモリやポートなど OS のリソース不足が一時的に発生している。
- JPI/IM - Manager を起動した時点と比べて、通信暗号化機能の設定が異なっている。

なお、コマンドを実行している画面を選択状態などで一時的に出力を抑止している場合にも、このメッセージが表示されることがあります。その場合は、選択状態を解除するなど出力の抑止を解除して再実行してください。

## KNAN22807-E

The connection with the server timed out.  
接続がタイムアウトしました

コマンドの接続がタイムアウトしました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

IM 構成管理サービスの起動を確認し、再実行してください。

## KNAN22808-E

The command was interrupted.  
コマンドが中断されました

[Ctrl] + [C] キーによってコマンドが中断されたことを通知するメッセージです。

(S)

コマンドが中断されました。

## KNAN22809-E

The command option "オプション" is invalid.  
オプションが不正です。(オプション: オプション)

オプションが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

#### KNAN22810-E

The command option "オプション" is specified more than once.  
オプションが複数回指定されました。(オプション: オプション)

オプションが複数回指定されました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

#### KNAN22811-E

The option "オプション値" is mandatory.  
オプション(オプション値)は省略できません

オプションが不足しています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

#### KNAN22812-E

The maximum length of the value for the option "オプション値" is 最大長.  
オプションが長すぎます。(オプション: オプション値, 最大長: 最大長)

オプションが長すぎます。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。



## KNAN22814-E

The value of the option "オプション値" is invalid.  
オプション(オプション値)の値が不正です

オプションの値が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

## KNAN22816-E

No value is specified for the option "オプション値".  
オプション(オプション値)の値が指定されていません

必須オプションの値が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションに値が指定されているか確認し、再実行してください。

## KNAN22817-E

Please execute the command from an administrator console.  
管理者コンソールからコマンドを実行してください

管理者コンソールからコマンドを実行してください。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールからコマンドを実行してください。

## KNAN22819-E

The following command options are mutually exclusive: オプション値.  
コマンドオプション(オプション値)は同時に指定できません

同時に指定できないコマンドオプションがあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

#### KNAN22820-I

The command コマンド名 will now start.

コマンド名を開始します

コマンドの開始を通知するメッセージです。

(S)

コマンドを開始します。

#### KNAN22821-I

A connection with the JP1/IM-CF server was established.

サーバとの接続に成功しました

コマンドのサーバ接続に成功しました。

(S)

コマンドを続行します。

#### KNAN22822-I

The command コマンド名 ended successfully.

コマンド名が正常に終了しました

コマンドが正常に終了しました。

(S)

コマンドが終了しました。

#### KNAN22823-E

A command failed because the file format is invalid. (file name: ファイル名, line number: 行数, details: 詳細情報)

ファイルの定義が不正です。(ファイル名: ファイル名, 行数: 行数, 詳細情報: 詳細情報)

ファイルの定義が不正なため、コマンドが実行できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- (ファイル名)に制御文字が含まれています  
メッセージに表示されたファイルの中にある制御文字を削除してください。
- ホスト名(ホスト名)に不正な文字を含んでいます  
ホスト名を英数字で指定してください。
- ホスト(ホスト名)のホスト名の長さが最大値(最大長)を超えています  
ホスト名の長さは、メッセージに表示されている最大長を超えないように指定してください。
- ファイル内に VMM ホスト/実行系ホスト/待機系ホスト(ホスト名)が存在しません  
メッセージに表示されている VMM ホスト、実行系ホストまたは待機系ホストがファイル内に記載されているか確認してください。  
ファイル内に記載されていない場合は追加してください。
- 物理ホスト(ホスト名)に実行系ホスト名、待機系ホスト名または VMM ホスト名を指定しないでください  
物理ホストには、実行系ホスト、待機系ホストまたは VMM ホスト以外のホストを指定してください。
- 不明ホスト(ホスト名)に実行系ホスト名、待機系ホスト名または VMM ホスト名を指定しないでください  
不明ホストには、実行系ホスト、待機系ホストまたは VMM ホスト以外のホストを指定してください。
- 仮想ホスト(ホスト名)に実行系ホスト名、または待機系ホスト名を指定しないでください  
仮想ホストには、実行系ホストまたは待機系ホスト以外のホストを指定してください。
- 実行系ホスト/待機系ホスト(ホスト名)が物理ホストまたは仮想ホストではありません  
実行系ホストまたは待機系ホストには、物理ホストまたは仮想ホストを指定してください。
- 仮想ホスト(ホスト名)に VMM ホスト名を指定してください  
仮想ホストには、VMM ホストを指定してください。
- VMM ホスト(ホスト名)は物理ホストを指定してください  
VMM ホストには、物理ホストを指定してください。
- 論理ホスト(ホスト名)に VMM ホスト名を指定しないでください  
論理ホストには、VMM ホスト以外のホストを指定してください。
- 実行系ホスト名と待機系ホスト名が同じです  
実行系ホストと待機系ホストの両方に同じホストを指定することはできません。それぞれ異なるホストを指定してください。

- ヘッダー情報が見つかりません/ヘッダー情報が不正です/CSV のフォーマットに誤りがあります  
ファイルのヘッダー情報, または CSV のフォーマットが正しく記載されているか確認してください。
  - 製品名が不正です  
製品名が正しく記載されているか確認してください。
  - (値)の数が最大値を超えています/(カラム名)の長さが最大値を超えています/(値)の長さが最大値を超えています  
値の数および長さは, マニュアルに記載されている最大値を超えないように指定してください。
  - (値)に不正な文字が含まれています  
メッセージに表示された値に次の文字が含まれていないか確認してください。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*
  - ホストの数が最大値(1024)を超えています  
IM データベースのサイズを L サイズに拡張してください。
  - ホストの数が最大値(10000)を超えています  
エクスポートファイルのホスト数が不正です。最大値を超えないようにホストを指定してください。
  - 空白行があります  
ファイル内に空白の行を入れないようにしてください。
  - ホスト(ホスト名)が重複しています  
同じホストを二つ以上指定しないでください。
  - ホスト種別の値が不正です  
ホスト種別には, physical, logical, virtual, unknown のどれかを指定してください。
  - 業務グループ(業務グループ名)が monitoring\_system\_data.csv に存在しません  
monitoring\_system\_data.csv の中身が正しいか確認してください。
  - 列(列)が最大長(最大長)を超えました  
列の最大長を超えないように指定してください。
  - (ファイル名)に制御文字が含まれています  
制御文字が含まれているか確認してください。
  - (ファイル名)の数が最大値を超えています  
該当個所の数を確認してください。
  - 業務グループ(業務グループ名)が monitoring\_system\_data.csv に存在しません  
monitoring\_system\_data.csv に業務グループ名が存在するか確認してください。
  - ホスト名(ホスト名)は業務グループ(業務グループ名)に存在しません
- 上記以外の詳細情報が表示された場合は, 詳細情報で指定された項目を確認および修正して, 再実行してください。

A command failed because the file format is invalid. (file name: **ファイル名**, details: **詳細情報**)  
ファイルの定義が不正です。(ファイル名: **ファイル名**, 詳細情報: **詳細情報**)

ファイルの定義が不正なため、コマンドが実行できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ヘッダー情報のフォーマットに誤りがあります/CSV のフォーマットに誤りがあります  
ファイルのヘッダー情報、または CSV のフォーマットが正しく記載されているか確認してください。
- 物理ホストの(**ホスト名**)は存在しません  
VMM ホスト、実行系ホストまたは待機系ホストに指定された物理ホストの定義が存在しません。  
メッセージに表示されているホストの定義を記載してください。
- (**ファイル名**)に制御文字が含まれています  
ファイル内に次の文字が含まれていないか確認してください。  
/, :, ?, ¥", <, >, |, ¥¥, \*
- ホスト名(**ホスト名**)に不正な文字を含んでいます  
ホスト名を英数字で指定してください。
- ホスト(**ホスト名**)のホスト名の長さが最大値(**最大長**)を超えています  
ホスト名の長さは、メッセージに表示されている最大長を超えないように指定してください。
- ホストの数が最大値(1024)を超えています  
自ホストを含めたホスト数が最大値を超えないように**ファイル名**に示すファイルの内容を見直すか、  
IM データベースのサイズを L サイズに拡張してください。
- ホストの数が最大値(10000)を超えています/自ホストを含めたホスト数が最大値を超えています  
自ホストを含めたホスト数が最大値を超えないように**ファイル名**に示すファイルの内容を見直してください。
- タグ(protocol\_ver)が不正です  
コマンドの-o オプションで指定したディレクトリ以下にあるインポートファイルのフォーマット形式には対応していません。インポート情報のprotocol\_verを確認してください。
- 最上位ホスト(**ホスト名**)が異なります  
最上位ホストには、自ホストを指定してください。
- ホスト(**ホスト名**)の拠点マネージャー構成が不正です  
拠点マネージャーとして指定されているホストの IM 構成 (システムの階層構成) が正しく定義されているか確認してください。

- ホスト(ホスト名)が複数指定されています  
ホストは一つだけ指定してください。
- ホスト(ホスト名)がループしています  
IM 構成 (システムの階層構成) がループしています。IM 構成 (システムの階層構成) の定義を見直し、ループしないように指定し直してください。
- ファイル内容が不正です  
system\_tree\_information の内容に誤りがあります。system\_tree\_information の内容を見直してください。
- マネージャーホスト(ホスト名)が存在しません  
マネージャーホストに指定されているホストが存在しません。ホスト情報が定義されているか確認してください。
- ホスト(ホスト名)は拠点マネージャではありません  
拠点マネージャであるか確認してください。
- エージェントホストは使用できません  
エージェントホスト以外を使用してください。
- 中継マネージャは指定できません  
中継マネージャ以外を指定してください。
- マネージャファイルフォーマットが不正です  
マネージャファイルフォーマットが正しいか確認してください。
- 管理対象ホストに自ホスト(ホスト名)が定義されています  
自ホストが管理対象ホストに定義されている IM 構成 (システムの階層構成) はインポートできません。自ホストが管理対象ホストに定義されていない IM 構成 (システムの階層構成) を使用してください。

## KNAN22825-E

The import operation failed because the profile information of the host "ホスト名" is locked by ユーザー名:View ホスト名.

ホスト(ホスト名)のプロファイルが(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています。インポートを中止します

ほかのユーザーにプロファイルが排他されているためインポートできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

## KNAN22826-E

The import operation failed because the IM configuration information is locked by ユーザー名:View ホスト名.

IM 構成が(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています。インポートを中止します

ほかのユーザーに IM 構成 (システムの階層構成) が排他されているためインポートできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

## KNAN22827-E

The import operation failed because the host "ホスト名" is locked by ユーザー名:View ホスト名. ホスト(ホスト名)が(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています。インポートを中止します

ほかのユーザーにホストが排他されているためインポートできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

## KNAN22828-E

The import operation failed because the version of the file is not supported. (file = ファイル名) ファイルは未対応のバージョンのためインポートできません。(ファイル: ファイル名)

ファイルは未対応のバージョンのためインポートできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

マネージャーのバージョンに対応したエクスポートファイルを指定し、再実行してください。

## KNAN22829-W

The host will be automatically registered because the specified host name does not exist in host list file. (host = ホスト名)

ホスト名がホスト一覧に定義されていないため、登録します。(ホスト名: ホスト名)

エクスポートファイル (host\_input\_data.csv) に存在しないホストを登録します。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

エクスポートファイル (host\_input\_data.csv) に存在しないホストが、エクスポートファイル (system\_tree\_information.txt) に書かれていた場合、またはほかのホストでエクスポートしたファイルをインポートする場合に出力されますが、メッセージを無視してください。

## KNAN22830-E

The specified path does not exist. (path = パス)

指定されたパスがありません。(パス名: パス)

指定したパスがないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

指定したファイルがあるか、またはアクセスできるか確認し、再実行してください。

## KNAN22831-E

The file cannot be accessed. (file = パス)

ファイルにアクセスできません。(ファイル名: パス)

指定ファイルにアクセスできないため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

指定したディレクトリパスおよびファイルがあるか、またはアクセスできるか確認し、再実行してください。

## KNAN22832-E

The file reading operation failed. (Cause: 詳細情報)

ファイルの読み込みに失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

指定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。



(O)

次の内容を確認してから再実行してください。

- メモリーの空き容量が不足していないか。
- ファイルがあるか。
- ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。

#### KNAN22833-W

An attempt to acquire a message from the resource file failed.

メッセージの読み込みに失敗しました

メッセージファイルに該当メッセージが存在しませんでした。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22834-E

The command "コマンド名" cannot be executed because the command "コマンド名" is executing.

コマンド名コマンドが実行中のため、コマンド名コマンドは実行できません

ほかのコマンドが実行中のため、指定コマンドは実行できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ほかのコマンドの実行が終了したあと、再実行してください。

#### KNAN22835-E

A file with the same name already exists.

同名のファイルが存在します

指定したファイルと同名のファイルが存在します。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

指定ファイルを確認し、再実行してください。

#### KNAN22836-E

Command operation failed because an I/O error occurred. (details = 詳細情報)  
出力時にエラーが発生しました。(詳細情報: 詳細情報)

出力時に I/O エラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22837-W

The profile information of the host "ホスト名" is locked by ユーザー名:View ホスト名.  
ホスト(ホスト名)のプロファイルが(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています

ほかのユーザーにプロファイルが排他されています。

ほかのユーザーによってプロファイルが変更される可能性があります。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

#### KNAN22838-W

The IM configuration information is locked by ユーザー名:View ホスト名.  
IM 構成が(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています

ほかのユーザーに IM 構成（システムの階層構成）が排他されています。

ほかのユーザーによって IM 構成（システムの階層構成）が変更される可能性があります。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

## KNAN22839-W

The host "ホスト名" is locked by ユーザー名:View ホスト名.  
ホスト(ホスト名)が(ユーザー名: View ホスト名)によって排他されています

ほかのユーザーにホストが排他されています。

ほかのユーザーによってホスト情報が変更される可能性があります。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

排他権が解放されたあと、再実行してください。

## KNAN22840-E

The number of command arguments is invalid.  
コマンド引数の個数が不正です

コマンド引数の個数が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

コマンド引数を確認し、再実行してください。

## KNAN22841-I

The profile information does not exist. The import operation is carried out without the profile information.  
指定パスにプロファイルが存在しません。プロファイル以外をインポートします

指定パスにプロファイルが存在しません。プロファイル以外をインポートします。

(S)

コマンドを続行します。

## KNAN22842-E

Creation of a CSV file failed. (file name = ファイル名, details = 詳細情報, error code = エラーコード)  
CSV ファイルの作成に失敗しました。(ファイル名: ファイル名, 詳細情報: 詳細情報, エラーコード: エラーコード)

CSV ファイルの作成に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ファイルまたはディレクトリパスが存在しません  
指定パス名は合っているか、ファイルがあるか、またはアクセスできるか確認してください。
- ディスク容量が不足しています  
ディスク容量、メモリーなどのリソースが不足していないか確認してください。
- アクセス権がありません  
指定パスのアクセス権を確認してください。
- ファイルをオープンしすぎています  
リソース不足で、ファイルを開けませんでした。  
不要なファイルを開いている場合には、ファイルを閉じたあとに再実行してください。

また、上記の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22843-E

The file format is invalid. (file name = ファイル名, details = 詳細情報, line number = 行番号)  
ファイルフォーマットが不正です。(ファイル名: ファイル名, 詳細情報: 詳細情報, 行番号: 行番号)

ファイルフォーマットが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

詳細情報の内容を確認してください。その内容に従って対処し、再実行してください。

解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN22844-E

Creation of a temporary CSV file failed. (details = 詳細情報)  
一時保存用 CSV ファイルの作成に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

一時保存用 CSV ファイルの作成に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- アクセス権がありません  
指定パスのアクセス権を確認してください。
  - レジストリから JP1CONFIG\_TMPDIR を取得できません  
共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合に、コマンドの-h オプションを実行したときは、論理ホスト名が正しいか確認してください。  
また、環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。
  - JP1CONFIG\_TMPDIR で指定されているパスは存在しません  
tmp ディレクトリがあるか確認してください。また、指定したパスへの読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合は、次の内容を確認してください。
    - 定義した log ディレクトリがあるか。
    - 共有ディスクがマウントされているか。
    - 指定したパスへの読み込み権限および書き込み権限があるか。
    - コマンドの-h オプションを実行した場合は、コマンドを実行したホストが実行系であるか。
  - Temp ディレクトリパスの長さが最大値を超えました  
jcfmkcsdata で指定したファイル名が、OS の許容範囲を超えました。  
ファイル名を短くしてから、コマンドを再実行してください。
- また上記の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22845-E

```
Log initialization failed.  
ログの初期化に失敗しました
```

ログの初期化に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の内容を確認してください。

- log ディレクトリがあるか、または log ディレクトリに読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。
- クラスタシステムで運用している場合は、次の内容を確認してください。
  - 定義した log ディレクトリがあるか。

- ・共有ディスクがマウントされているか。
- ・定義した log ディレクトリに読み込み権限および書き込み権限があるか。
- ・コマンドの-h オプションを実行した場合は、コマンド実行したホストが実行系であるか確認してください。

## KNAN22846-E

A command terminated abnormally. (Cause: 詳細情報)

コマンドが異常終了しました。(詳細情報: 詳細情報)

コマンドが異常終了しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ・ CSV ファイル書き込み中にエラーが発生しました
- ・ CSV ファイルオープン中にエラーが発生しました
- ・ ファイルの操作ができません

次の内容を確認してから、再実行してください。

- ・ メモリーの空き容量が不足していないか。
- ・ ファイルがあるか。
- ・ ファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ・ ファイルを別のアプリケーションで開いて（ロックして）いないか。
- ・ 共通定義の読み込みができません  
共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合に、コマンドの-h オプションを実行したときは、論理ホスト名が正しいか確認してください。  
また、環境変数JP1\_HOSTNAME の設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。
- ・ 一時 CSV ファイルオープン中にエラーが発生しました  
Windows の場合、tmp ディレクトリがあるか確認してください。  
UNIX の場合、/var/opt/jp1imm/にtmp ディレクトリがあるか、tmp ディレクトリに読み込み権限および書き込み権限があるか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合、次の内容を確認してください。
  - ・ 共有ディスクのJP1IMM ディレクトリの下に定義した log ディレクトリがあるか。
  - ・ 共有ディスクがマウントされているか。
  - ・ 読み込み権限および書き込み権限があるか。

コマンドの-h オプションを実行した場合、コマンド実行したホストが実行系であるか確認してください。

- 新規ノードに不正ノード ID が設定されています

IMCS\_ExportFile に指定したファイルが不正です。jcsdbexport コマンドで出力したファイルを指定してください。

- リモート監視プロセスの作成に失敗しました

マネージャーホストの OS が Windows の場合、システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。UNIX の場合、プロセス起動関連の OS 設定を見直してください。

- 指定されたコマンドのオプションが不正です

起動オプションに誤った指定があります。IM 構成管理・ビューアーから、起動オプションについて、次の内容を確認してください。

- 監視ログファイル数の上限を超えていないか。
- 追加オプションが指定可能なオプションと指定値であるか。

- 起動オプションが不正です

- JP1/Base コマンドの引数が不正です

起動オプションに誤った指定があります。IM 構成管理・ビューアーから起動オプションについて、次の内容を確認してください。

- 追加オプションが指定できるオプションと指定値であるか。

- JP1/Base コマンド実行エラー

JP1/Base の環境を確認してください。

JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが、停止中または再起動していないか確認してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが停止している場合は、JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンを起動してからリモート監視のプロファイルすべてを起動または再起動してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが再起動している場合は、リモート監視のプロファイルすべてを停止してから起動または再起動してください。

- 内部エラーが発生しました

- リモート監視プロセスとの通信に失敗しました

- マネージャファイルフォーマットが不正です

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

上記の方法で解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN22847-I

Conversion of an input file will now start.

入力ファイルの変換を開始します

入力ファイルの変換を開始します。

(S)

コマンドを続行します。

#### KNAN22848-I

Conversion of an input file was successful.

入力ファイルの変換に成功しました

入力ファイルの変換に成功しました。

(S)

コマンドを続行します。

#### KNAN22849-I

Conversion of an input file ended normally.

入力ファイルの変換が正常に終了しました

入力ファイルの変換が正常に終了しました。

(S)

コマンドを終了します。

#### KNAN22850-E

The specified path "パス" includes a reserved device name.

指定したパス(パス)は、予約デバイス名を含んでいます

指定したパスは、予約デバイス名を含んでいます。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

予約デバイス名を含まないパスを指定して、再実行してください。

#### KNAN22854-E

The command "コマンド名," cannot be executed because the virtualization configuration is being collected.

仮想化構成収集中はコマンド(コマンド名)を実行できません

仮想化構成収集中のため、コマンドを実行できません。



(S)

コマンドを中止します。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

#### KNAN22857-E

The host name "ホスト名" contains at least one invalid character.

ホスト名(ホスト名)に不正な文字を含んでいます

ホスト名に不正な文字を含んでいます。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ホスト名に使用している不正な文字を取り除いて、再実行してください。

#### KNAN22858-E

The host name "ホスト名" exceeds the maximum length (最大値).

ホスト名(ホスト名)は最大値(最大値)を超えています

ホスト名は最大値を超えています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ホスト名は最大値を超えないようにしてください。

#### KNAN22859-E

A command failed because the file format is invalid. (file name = ファイル名, line number = 行番号, details = 詳細情報)

ファイルフォーマットが不正です。(ファイル名: ファイル名, 行番号: 行番号, 詳細情報: 詳細情報)

ファイルフォーマットが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

詳細情報で指定された項目を確認および修正して、再実行してください。

## KNAN22860-W

The host name (ホスト名) contains invalid characters. Some functions might be unusable.  
ホスト名(ホスト名)に不正な文字を含んでいるため、一部の機能が実行できない場合があります

ホスト名に不正な文字を含んでいるため、一部の機能が実行できない場合があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

ホスト名の変更を検討してください。

ホスト名を変更する場合は、次の手順を実行してください。

1. ホスト一覧で、ホスト名を変更するホストを選択する。
2. メニューバーから [編集] - [ホスト属性編集] を選択する。
3. [ホスト属性編集] 画面でホスト名を変更する。
4. [IM 構成編集] 画面を起動し、反映を実行する。

## KNAN22861-W

The group configuration information is locked by the user "ユーザー名: View ホスト名".  
ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が業務グループの更新権を取得しています

業務グループの更新権を取得しているユーザーが存在します。

ほかのユーザーによって業務グループが変更される可能性があります。

(S)

処理を継続します。

(O)

次の順番で実行してください。

1. ログインユーザー一覧画面で更新権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ更新権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、更新権を解放します。
2. 更新権が解放されたあとに再度実行してください。

## KNAN22862-E

The command was not executed because execution of the command would cause the number of commands being concurrently executed to exceed the limit (5).  
コマンドの同時実行数の上限(5)を超えたため、実行を停止します

コマンドの同時実行数の上限を超えたため、コマンドの実行を終了します。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

同時実行しているコマンドが上限を超えていないか確認してください。超えている場合は、同時実行しているコマンドの終了後に、コマンドを再実行してください。

## KNAN22863-E

A part of profile is displayed because host information (ホスト情報種別) has not been acquired. セントラルスコープのエクスポートファイルのデータバージョンが古いため、セントラルスコープのインポートファイルの生成に失敗しました。(ファイル名: ファイル名, データバージョン: データバージョン)

入力に指定されたセントラルスコープのエクスポートファイルのデータバージョンが古いため、コマンドの処理の続行ができませんでした。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

08-10-00 以降のデータバージョンのセントラルスコープのエクスポートファイルを指定してください。セントラルスコープのエクスポートファイルを最新版にするためには次のことを実施してください。

1. JP1/IM - Manager サービスを停止し、jp1csverup コマンドを実行する。
2. 実行完了後にjcsdbexport コマンドでエクスポートファイルを作成する。

## KNAN22875-E

The monitoring group configuration is not the same between IM Configuration Management and the configuration information files.

監視グループの構成が一致していません

監視グループの構成が一致していません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

監視グループの構成を合わせたあと、再度実行してください。

## KNAN22876-E

The business group does not exist in IM Configuration Management. (Business group: **業務グループ**)

IM 構成管理に業務グループが存在しません。(業務グループ名: **業務グループ**)

IM 構成管理に業務グループが存在しません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

業務グループの構成を合わせたあと、再度実行してください。

## KNAN22890-E

Importing cannot be performed because remote monitoring is running.

リモート監視が動作中のためインポートできません

リモート監視が動作中のためインポートを中止します。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

[プロファイル表示/編集] 画面, jcfallogstat コマンドのALL オプション, またはjcfaleltstat コマンドのALL オプションで動作しているリモート監視を確認し, リモート監視を停止させてから再度実行してください。

## KNAN23000-I

Login was successful. (user name = **ユーザー名**, host = **ホスト名**)

ログインに成功しました。(ユーザー名: **ユーザー名**, ホスト: **ホスト名**)

ログインに成功しました。

(S)

ログインに成功しました。

## KNAN23001-E

Login cannot be performed because the number of users connected to the server exceeds the maximum limit of **最大値**.

ログインしているユーザー数が**最大値(最大値)**を超えたため, ログインできません

ログインしているユーザー数が**最大値**を超えたため, ログインできません。

(S)

ログイン処理を中止します。

(O)

ほかのユーザーがログアウトしたあと、再ログインしてください。

## KNAN23002-E

User authentication failed. (user name = ユーザー名, host =ホスト名)  
ユーザー認証に失敗しました。(ユーザー名: ユーザー名, ホスト: ホスト名)

ユーザー認証は失敗しました。

(S)

ログイン処理を中止します。

(O)

ユーザー名とパスワードを見直して、再ログインしてください。

## KNAN23003-E

A connection to the authentication server could not be established.  
認証サーバに接続できませんでした

認証サーバに接続できないため、ログインが失敗しました。

(S)

ログイン処理を中止します。

(O)

- 認証サーバの起動、および接続可否を確認したあと、再ログインしてください。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認し、再ログインしてください。

## KNAN23004-E

Login failed. (user name = ユーザー名, host =ホスト名, details = 詳細情報)  
ログインに失敗しました。(ユーザー名: ユーザー名, ホスト: ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

ログインに失敗しました。

(S)

ログイン処理を中止します。

(O)

詳細情報に「共通定義が取得できませんでした」と表示された場合は、次の対処をしてください。

- 共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合は、環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN23005-E

Logout failed because a communication error occurred between the connecting host and the authentication server. (user name = ユーザー名, host = ホスト名)

認証サーバとの通信エラーが発生したため、ログアウトに失敗しました。(ユーザー名: ユーザー名, ホスト: ホスト名)

認証サーバとの通信エラーが発生したため、ログアウトに失敗しました。

(S)

ログアウト処理を中止します。

(O)

認証サーバの起動、および接続可否を確認したあと、再度ログアウトしてください。

## KNAN23006-E

Logout failed. (user name = ユーザー名, host = ホスト名, details = 詳細情報)

ログアウトに失敗しました。(ユーザー名: ユーザー名, ホスト: ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

ログアウトに失敗しました。

(S)

ログアウト処理を中止します。

(O)

詳細情報に「共通定義が取得できませんでした」と表示された場合は、次の対処をしてください。

- 共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。  
クラスタシステムで運用している場合、環境変数 JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN23008-E

Acquisition of the list of users failed. (details = 詳細情報)

ユーザー一覧の取得に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

ユーザー一覧の取得に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN23009-E

The session timed out. (timeout = タイムアウト値)

セッションがタイムアウトしました。(タイムアウト: タイムアウト値)

セッションがタイムアウトしました。

(S)

処理を中止します。

(O)

再ログインしてください。

### KNAN23010-I

Logout was successful. (user name = ユーザー名, host = ホスト名)

ログアウトに成功しました。(ユーザー名: ユーザー名, ホスト: ホスト名)

ログアウトに成功しました。

(S)

ログアウトに成功しました。

### KNAN23011-I

The received request was aborted because it was sent from an IPv6 address. (source IP address = 要求元の IP アドレス)

サポートしていない IPv6 アドレスで要求を受け付けたため、要求を打ち切りました。(要求元の IP アドレス: 要求元の IP アドレス)

サポートしていない IPv6 アドレスで要求を受け付けたため、要求を打ち切りました。

(S)

ログイン処理を中止します。

### KNAN24000-E

A command option is invalid.

コマンドの引数が不正です

コマンドの引数が不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しい引数を指定して、再実行してください。

#### KNAN24001-E

The specified file "ファイル名" is invalid.  
指定したファイル(ファイル名)が不正です

指定したファイルが不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいファイルを指定して、再実行してください。

#### KNAN24002-E

The file "ファイル名" does not exist.  
ファイルが存在しません。(ファイル名: ファイル名)

指定した入力ファイルがありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定した入力ファイルが存在するか、またはアクセスできるか確認してください。

#### KNAN24003-E

The output file "ファイル名" already exists.  
出力ファイル(ファイル名)が存在します

出力ファイルが存在します。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

存在しない出力ファイル名を指定して、コマンドを再実行してください。



## KNAN24004-E

The user does not have access permission for the specified file "ファイル名".  
指定したファイル(ファイル名)にアクセス権がありません

指定したファイルにアクセス権がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したファイルのアクセス権を確認してください。

## KNAN24005-E

No executing permission.  
実行権限がありません

実行権限がありません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

指定したファイルのアクセス権を確認してください。

## KNAN24006-E

The memory was insufficient to execute the command.  
メモリ不足が発生しました

メモリー不足が発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

システムメモリーの空き容量を確認し、不要なプロセスを停止するなどしてメモリーの空き容量を増やすか、メモリーの再見積りに基づいたメモリー増設を行ってください。

## KNAN24007-E

An IO error occurred. (information = 保守情報)  
入出力エラーが発生しました: 保守情報

入出力エラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

#### KNAN24008-E

An attempt to start the Java VM failed.

Java VM の起動に失敗しました

Java VM の起動に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

#### KNAN24009-E

Command execution failed. (information = 保守情報)

コマンドの実行に失敗しました: 保守情報

コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- KVM ホストでエラーが発生しました  
KVM ホストが正しく動作しているか、libvirt サービスが起動しているか確認し、再度実行してください。
- HCSM がビジー状態です  
接続先の HCSM が正しく動作しているか確認し、しばらく時間をおいてから再度実行してください。
- HCSM へのログインに失敗しました  
コマンドに指定したユーザー名およびパスワードで HCSM にログイン可能か確認してください。
- 次に示す詳細情報および HCSM エラーコード
  - ・ HCSM との接続に失敗しました:HCSM エラーコード
  - ・ HCSM からの情報取得に失敗しました:HCSM エラーコード
  - ・ HCSM で内部エラーが発生しました:HCSM エラーコード
  - ・ HCSM の処理でエラーが発生しました:HCSM エラーコード

コマンドに指定したユーザー名およびパスワードで HCSM にログイン可能か確認してください。接続先の HCSM が正しく動作しているか確認してください。

詳細情報が上記以外の場合は、ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

上記を確認しても解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24010-E

Execute this command from the manager console.

管理者コンソールからコマンドを実行してください

管理者コンソールから実行されていません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

管理者コンソールからコマンドを実行してください。

## KNAN24011-W

Acquisition of information from common definitions failed. (information = 保守情報)

共通定義からの情報取得に失敗しました: 保守情報

共通定義の取得に失敗しました。デフォルト値で処理を継続します。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

## KNAN24012-E

The "オプション" option is mandatory.

オプション(オプション)は省略できません

オプションが不足しています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

## KNAN24013-E

The command option "オプション" is invalid.  
オプションが不正です。(オプション：オプション)

オプションが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

## KNAN24014-E

The command option "オプション" is specified more than once.  
オプションが複数回指定されました。(オプション：オプション)

オプションが複数回指定されました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

## KNAN24015-E

No value is specified for the option "オプション".  
オプション(オプション)の値が指定されていません

オプションの値が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

## KNAN24016-E

The value of the option "オプション" is invalid.  
オプション(オプション)の値が不正です

オプションの値が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションを確認し、再実行してください。

#### KNAN24017-W

An attempt to open the catalog file has failed. (information = 保守情報)

カタログファイルのオープンに失敗しました。

(S)

環境変数 LANG を C として、コマンドの処理を継続します。

(O)

使用できる環境変数 LANG の値を設定してください。

#### KNAN24018-E

The host ホスト名 is duplicated  
ホスト(ホスト名)が複数回指定されています

同一ホストが複数回指定されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ホスト名の指定を確認し、再実行してください。

#### KNAN24030-I

Acquisition of virtual machine configuration information will now start.  
仮想化構成情報の取得を開始します

仮想化構成情報の取得を開始します。

(S)

仮想化構成情報の取得を開始します。

#### KNAN24031-I

Virtual machine configuration information was successfully output.  
仮想化構成情報の出力に成功しました

仮想化構成情報の出力に成功しました。

(S)

仮想化構成情報の出力に成功しました。

### KNAN24032-W

There is the Virtual OS of the **ホスト名** host that could not be taken the vm hostname. (VM name : **VM 名**)

ホスト(**ホスト名**)で、仮想ホスト名が取得できない仮想 OS がありました。(VM 名: **VM 名**)

ホスト名の仮想ホスト名が取得できませんでした。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

指定したホストの仮想 OS で、仮想ホスト名が取得できる設定か確認してください。

### KNAN24033-W

Username or password for "**ホスト名**" host is wrong.

ホスト(**ホスト名**)に対するユーザー名またはパスワードが異なります

ホスト (**ホスト名**) の認証に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

正しいユーザー名とパスワードを指定してください。

### KNAN24034-E

Acquisition of the virtual machine configuration information failed.

仮想化構成情報が取得できませんでした

仮想化構成情報が取得できませんでした。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

このメッセージより前に出力されているメッセージを参照して対処してください。

## KNAN24035-W

A communication error for the host "ホスト名" occurred.

ホスト(ホスト名)で通信エラーが発生しました

ホスト (ホスト名) との通信でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を継続します。

(O)

次の内容を確認してください。

- 指定したホストで、仮想環境ソフトウェアが起動しているか。
- ファイアウォールなどにより通信できない状態でないか。
- -m オプションで指定した通信種別で通信できる設定か。
- HCSM からの仮想化構成収集の場合、ユーザー名やパスワードの指定が誤っていないか。また、指定したユーザー名やパスワードを用いて、マネージャーホストから HCSM にログインできるか。

## KNAN24036-W

The host "ホスト名" is not VMware ESX Server or is not a supported version of VMware ESX Server.

ホスト(ホスト名) は VMware ESX Server でないか、サポート対象外バージョンの VMware ESX Server です

ホスト (ホスト名) は VMware ESX Server でないか、サポート対象外バージョンの VMware ESX Server です。

(S)

コマンドの実行を継続します。

(O)

接続先ホストが、サポート対象の VMware ESX Server か確認してください。

## KNAN24037-W

The host name of the host "ホスト" is different from the SSL certification host name.

ホスト(ホスト名)のホスト名が、SSL 証明書中のホスト名と異なります

ホスト (ホスト名) のホスト名が、SSL 証明書中のホスト名と異なります。

(S)

コマンドの実行を継続します。

(O)

SSL 証明書に組み込んだホスト名を指定してください。

#### KNAN24038-W

An SSL certification for the host "ホスト名" was not found.  
ホスト(ホスト名)の SSL 証明書が見つかりません

ホスト (ホスト名) の SSL 証明書が見つかりません。

(S)

コマンドの実行を継続します。

(O)

keytool コマンドを使って、ホスト (ホスト名) に対する SSL 証明書を組み込んでください。

#### KNAN24039-E

The file vmware.keystore, which stores the certification information, is invalid.  
証明書を格納した vmware.keystore ファイルが不正です

証明書を格納したvmware.keystore ファイルが不正です。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

vmware.keystore ファイルを削除し、keytool コマンドで、vmware.keystore ファイルを再作成してください。

#### KNAN24040-I

A connection to the VMM host could be established. (host name=ホスト名, VMM name=VMM 名, version=バージョン)  
VMM ホストに接続しました。(ホスト名: ホスト名, VMM 名: VMM 名, バージョン: バージョン)

VMM ホストに接続しました。

(S)

仮想化構成情報を取得します。

#### KNAN24041-I

Updating of the virtualization configuration will now start.  
仮想化構成の更新を開始します



仮想化構成の更新を開始します。

(S)

仮想化構成の更新を開始します。

#### KNAN24042-I

The virtualization configuration was updated successfully.

仮想化構成の更新に成功しました

仮想化構成の更新に成功しました。

(S)

仮想化構成の更新に成功しました。

#### KNAN24050-I

Conversion of the input file will now start.

入力ファイルの変換を開始します

入力ファイルの変換を開始します。

(S)

コマンドの処理を継続します。

#### KNAN24051-I

The input file was successfully converted.

入力ファイルの変換に成功しました

入力ファイルの変換に成功しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

#### KNAN24052-I

Conversion of the input file ended normally.

入力ファイルの変換が正常に終了しました

入力ファイルの変換が正常に終了しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

## KNAN24053-E

The maximum number of managable hosts was exceeded.

管理できる最大ホスト数を超過しました

管理できる最大ホスト数を超過しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

管理するホストの数を見直してください。

## KNAN24060-W

Analysis of the virtualization information collected from the host "ホスト名" has failed.

ホスト(ホスト名)から収集した仮想化情報の解析に失敗しました

指定したホストから取得した仮想化情報の解析中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

指定されたホストで JP1/SC/CM が正しく動作しているか確認し、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24061-W

Collection of the virtualization information from the host "ホスト名" has failed. (cause = 詳細情報)

ホスト(ホスト名)から仮想化情報を取得できませんでした。(詳細：詳細情報)

指定したホストから取得した仮想化情報の解析中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- ホストに接続中に取得したデータは不正です  
取得先ホストの JP1/Base から不正なデータが送られてきたおそれがあります。取得先ホストの JP1/Base が正常に動作しているか確認してください。
- 接続先ホストがビジーです  
しばらく時間をおいてから再実行してください。

- 接続先ホストへのデータ送信に失敗しました  
OSのリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、接続先ホストのIM構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- 接続先ホストからのデータ受信に失敗しました  
OSのリソース、メモリー状況、接続先ホストとのネットワーク状況・状態を確認してください。  
また、接続先ホストのIM構成管理サービスが起動していることを確認してください。
- JP1/SC/CMでエラーが発生しました  
指定されたホストで、JP1/SC/CMが正しく動作しているか確認し、再度実行してください。
- リソースが不足しています  
ディスク容量、メモリーなどOSのリソースが不足していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24062-W

JP1/SC/CM is not running on the host "ホスト名".  
ホスト(ホスト名)でJP1/SC/CMが動作していません

指定されたホストでJP1/SC/CMが動作していないか、IM構成管理との連携が設定されていません。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

次の点を確認して、再実行してください。

- 指定されたホストにJP1/SC/CMがインストールされているか。
- 指定されたホストのJP1/SC/CMがIM構成管理との連携に対応しているバージョンか。
- 指定されたホストのJP1/SC/CMが正しく起動しているか。
- 指定されたホストのJP1/SC/CMとIM構成管理の連携の設定が正しく行われているか。

なお、JP1/SC/CMとIM構成管理の連携の設定が正しく行われているか確認するには、JP1/SC/CMがインストールされているホストの、Baseパス¥plugin¥confに次のファイルが存在するかどうかを確認してください。

Adapter\_HITACHI\_SERVERCONDUCTOR\_SERVERMANAGER.conf

ファイルが存在しない場合は、JP1/ServerConductor/Control Managerのマニュアルでファイルの格納先を参照して、設定を行ってください。

## KNAN24063-W

There is the Virtual OS of the ホスト名 host that could not be taken the vm hostname.(VMM name : VMM名)

ホスト(ホスト名)で、仮想ホスト名が取得できない仮想 OS がありました。(VMM 名: VMM 名)

ホスト名、VMM 名から取得したデータで仮想ホスト名が取得できませんでした。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

指定されたホストの仮想 OS で、仮想ホスト名が取得できる設定になっているか確認してください。

## KNAN24070-W

SSH connection with host "ホスト名" failed.(cause = 詳細情報)

ホスト(ホスト名)との SSH 接続に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

ホストとの SSH 接続に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を継続します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 秘密鍵が存在しません  
SSH 秘密鍵のパスを確認しファイルがあるか、またはアクセスできるか確認してください。
- 認証に失敗しました  
次の事項を確認してください。
  - ・仮想化ホストに通信できるか。
  - ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。
  - ・指定した秘密鍵ファイルが、正しい秘密鍵であるか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。  
上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24150-E

A parameter of the communication encryption function for the command "コマンド名" is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

コマンドの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、コマンドを再実行してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Baseの共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。

## KNAN24151-E

Parameters for the communication encryption function for the command "コマンド名" could not be collected. (parameter = パラメーター名, cause = パラメーター値)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:パラメーター名, 要因:要因)

コマンドで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

コマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24153-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the command "コマンド名". (cause = 要因)

コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因)

コマンドの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

コマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN24155-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for the command "コマンド名". (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)  
コマンド(コマンド名)の通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先との暗号化通信に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager 起動後に通信暗号化機能の設定を変更した可能性があります。JP1/Base および JP1/IM - Manager を再起動し、通信暗号化機能の設定を反映してから、コマンドを再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26000-I

The remote event-log trap will now start. (Host name: 監視対象ホスト名)  
リモートイベントログトラップを開始します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを開始します。

(S)

リモート監視イベントログトラップを開始します。

## KNAN26001-I

The remote event-log trap has stopped. (Host name: 監視対象ホスト名)  
リモートイベントログトラップを停止しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを停止します。

(S)

リモート監視イベントログトラップを停止します。

## KNAN26002-E

The remote event-log trap will now stop due to error. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名)  
続行できないエラーが発生したため、リモートイベントログトラップを停止します。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップで続行できないエラーが発生しました。

(S)

リモート監視イベントログトラップを停止します。

(O)

直前にエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージに従って対処してください。エラーメッセージが出力されていない場合は、リモート監視イベントログトラップを再起動してください。リモート監視イベントログトラップを起動しても回復しない場合は、JP1/IM - Manager を再起動してからリモート監視ログファイルトラップを起動してください。回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26003-E

A connection to the event server cannot be established.

イベントサーバに接続できません

イベントサービスが起動していないため、リモート監視イベントログトラップが開始できませんでした。

(S)

リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを停止します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを再度起動してください。

## KNAN26006-I

Reloading of the remote event-log trap has finished. (Host name: 監視対象ホスト名)

リモートイベントログトラップのリロードが完了しました(監視対象ホスト名:監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップのリロードが完了しました。

## KNAN26025-E

Acquisition of event log data failed. (Host name: 監視ホスト名, Code: 要因コード)

イベントログの取得に失敗しました。(監視対象: 監視ホスト名, 詳細コード: 要因コード)

イベントログを監視中に、Windows の API の機能で要因コードのエラーが発生しました。このメッセージ以降、イベントログを正しく監視できないおそれがあります。code = 1500 の場合、イベントログが壊れているおそれがあります。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26026-I

An event log can now be monitored. (Host name: 監視対象ホスト名)

イベントログの監視が可能になりました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

イベントログの監視中に発生したエラーから回復し、イベントログの監視ができる状態になりました。

(S)

イベントログの監視を継続します。

## KNAN26027-I

The system will now retry reading the event log. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名)

イベントログの読み込みをリトライします。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

イベントログの監視中に読み込みに失敗したため、リトライします。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前にリトライの原因となるエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処を行ってください。出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

なお、リトライの原因が WMI 接続失敗によるものであった場合、DCOM によって Windows イベントログに複数のエラーイベントが出力されます。この場合、リトライするたびに、Windows イベントログに DCOM のエラーイベントが出力されます。

## KNAN26028-E

Monitoring will now stop because the event log could not be read after the specified number of retries. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名)

指定された回数リトライ処理を行いましたが、イベントログの読み込みが出来ないため監視を停止します。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

イベントログ監視時に、読み込みに失敗しました。指定された回数リトライしましたが、読み込めないため該当するイベントログの監視を停止します。

(S)

イベントログの監視を停止します。



(O)

直前にリトライの原因となるエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処を行ってください。出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26039-E

The specified remote log-file trap failed to start. (Host name: **監視対象ホスト名**, Monitoring-target-name: **監視名**, Details: **詳細メッセージ**)

起動対象のリモートログファイルトラップの開始に失敗しました。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**, 詳細情報: **詳細メッセージ**)

リモート監視ログファイルトラップの起動時にエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 動作定義ファイルが不正です  
動作定義ファイルに誤った指定があります。動作定義ファイルの内容を確認してください。
- 認証に失敗しました  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。
  - ・ SSH 認証の設定が正しいか。以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。  
監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。
  - ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。
- 秘密鍵が存在しません  
SSH 秘密鍵のパスを確認してください。
- 監視対象ホストに接続できません  
監視対象ホストが存在するか確認してください。
- ログファイルの収集がタイムアウトしました  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度起動してください。
  - ・ 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
  - ・ 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。

- ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度起動してください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・Windows の接続数上限を超えて接続していないか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、ログファイルの収集がタイムアウトしたときは、次の事項を確認してください。

- ・システムの負荷が高くなっていないか。
  - ・ホストが起動しているか。
  - ・接続数の上限を超えていないか。
  - ・システム共通設定の IM ホストアカウントが正しく設定されているか。
  - ・マネージャホストおよび監視対象ホストで DCOM の設定が正しく設定されているか。
- ・監視対象のログファイルにアクセスできません

次の事項を確認してください。

- ・ログファイルが存在するか。
- ・ログファイルのパスがリモート監視で指定する形式で正しく指定されているか。
- ・ログファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- ・監視対象ホストが Windows の場合、ファイル共有の接続を許可するユーザー数の上限を超えていないか。また、監視対象ホスト名のホストへ通信できるか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、次の事項を確認してください。

・監視対象ホストが Windows の場合、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続および WMI 接続の設定が正常に実施できているか。

・監視対象ホストが UNIX の場合、SSH 接続の設定が正常に実施できているか。また、監視対象ファイルのパスに半角英数字、「-」、「\_」、「.」、「/」以外の文字が含まれていないか。

ログファイルが存在しなくても監視したい場合は、jcfallogstart コマンド、またはjcfallogdef コマンドの-r オプションを指定してください。

- ・監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限を超えています

監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限值を超えていないか確認してください。監視できるファイルサイズの上限值を超えている場合は、監視対象のログファイルのファイルサイズが上限値以下になるように、ログファイルの出力設定を見直してください。

- ・監視ファイル数の合計が管理可能な監視ファイル数の上限を超えました

リモート監視の監視ファイル数の合計が、管理できる監視ファイル数の上限を超えていないか確認してください。リモート監視を停止し、監視するファイル数を減らしてください。

- ログファイルトラップサービスが起動していません  
次の事項を確認してください。
  - ・ ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。ログファイルトラップサービスが停止している場合は、ログファイルトラップサービスを起動したあと、リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを再起動してください。
  - ・ 統合トレースログを確認して、JP1/Base のメッセージ KAVA3663-E または KAVA3917-E が出力されていないか確認してください。出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従ってください。
- イベントサービスが起動していません  
イベントサービスが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。
- 起動オプションが不正です  
起動オプションに誤った指定があります。起動オプションを確認してください。
  - ・ 追加オプションが指定可能なオプションと指定値であるか。
- 同一監視名が稼働しています  
同一監視名が稼働しているか確認してください。
- JP1/Base との通信に失敗しました  
JP1/Base を再起動可能な場合は、再起動してください。
- JP1/Base コマンド実行エラー  
JP1/Base の環境を確認してください。
- 収集プロセス数の上限に達しています  
収集プロセスの上限に達しているため、不要なログファイルトラップを停止してから再度起動してください。
- リモート監視プロセスの作成に失敗しました  
マネージャーホストの OS が Windows の場合、システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。  
UNIX の場合、プロセス起動関連の OS 設定を見直してください。
- 指定されたコマンドのオプションが不正です  
起動オプションに誤った指定があります。起動オプションを確認してください。
  - ・ 監視ログファイル数の上限を超えているか。
  - ・ 追加オプションが指定可能なオプションと指定値であるか。
- JP1 イベントサービスの接続に失敗しました  
イベントサービスを再起動可能な場合は、再起動してください。
- JP1/Base コマンドの引数が不正です  
起動オプションを確認してください。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26050-I

The targeted remote log-file traps have started. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

起動対象のリモートログファイルトラップを開始しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

起動対象のリモートログファイルトラップを開始しました。

#### KNAN26055-I

The remote log-file trap will now start. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップを開始します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを開始します。

(S)

リモート監視ログファイルトラップを開始します。

#### KNAN26056-I

The remote log-file trap has stopped. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップを停止しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを停止します。

(S)

リモート監視ログファイルトラップを停止します。

#### KNAN26057-E

The remote log-file trap will stop due to error. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

続行できないエラーが発生したため、リモートログファイルトラップを停止します。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップで続行できないエラーが発生しました。

(S)

リモート監視ログファイルトラップを停止します。

(O)

直前にエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージに従って対処してください。エラーメッセージが出力されていない場合は、リモート監視イベントログトラップを再起動してください。リモート監視イベントログトラップを起動しても回復しない場合は、JP1/IM - Manager を再起動してからリモート監視ログファイルトラップを再起動してください。回復しない場合は、資料採取ツールで資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26058-E

An error occurred during the opening of the log-file trap action definition file.

動作定義ファイルのオープンでエラーが発生しました

動作定義ファイルのオープンでエラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

動作定義ファイルの指定に誤りがないか、また、Windows の場合は予約デバイス名を指定していないか確認し、コマンドを再実行してください。

また、Windows では、多数のログファイルを同時に監視しようとした場合にこのメッセージが表示されることがあります。この場合、不要なログファイル監視を停止したあと、コマンドを再実行してください。

## KNAN26063-E

The action definition file contains an invalid definition. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

動作定義ファイルの中に誤った指定があります。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップの動作定義ファイルに誤った指定があります。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

次の事項を確認して、コマンドを再実行してください。

- 動作定義ファイルの内容を確認してください。
- リモート監視イベントログトラップの動作定義ファイルで次のパラメーターを使用する場合は、JP1/Base および JP1/IM - Manager のバージョンを 11-10 以上にしてください。使用しない場合は、次のパラメーターを削除してください。
  - open-retry-times

- open-retry-interval

リモート監視イベントログトラップの場合は、監視名に「-」（半角ハイフン）が出力されます。

## KNAN26069-E

An attempt to stop the specified remote log-file trap failed. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Details: 詳細メッセージ)

停止対象のリモートログファイルトラップの停止に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, 詳細情報: 詳細メッセージ)

停止対象のリモート監視ログファイルトラップの停止時にエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

IM データベースが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度停止してください。

- ログファイルの収集がタイムアウトしました

監視対象ホストからの応答がないため、リモートログファイルトラップおよびリモートイベントログトラップを強制停止しました。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26072-W

There is no response from the specified remote log-file trap. (Host name: ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

停止対象のリモートログファイルトラップからの応答がありません。(監視対象ホスト名: ホスト名, 監視名: 監視名)

指定したリモート監視ログファイルトラップからの応答がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

jcfallogstop コマンドを実行しても応答がない場合は、しばらくしてから、jcfallogstat コマンドを実行してください。jcfallogstop コマンドで対象のリモート監視ログファイルトラップが停止していることを確認できた場合は、特に対処する必要はありません。

jcfalllogstat コマンドを実行しても対象のリモート監視ログファイルトラップが停止していない場合、またはそのほかのコマンドを実行しても応答がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26073-W

There is no response from the specified remote event-log trap. (Host name: ホスト名)  
停止対象のリモートイベントログトラップからの応答がありません。(監視対象ホスト名: ホスト名)

リモート監視イベントログトラップからの応答がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

jcfaletstop コマンドを実行しても応答がない場合は、しばらくしてから、jcfaletstat コマンドを実行してください。jcfaletstop コマンドで対象のリモート監視ログファイルトラップが停止していることを確認できた場合は、特に対処する必要はありません。

jcfaletstat コマンドを実行しても対象のリモート監視イベントログトラップが停止していない場合、またはそのほかのコマンドを実行しても応答がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26078-I

Reloading of the remote log-file trap has finished. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップのリロードが完了しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップのリロードが完了しました。

## KNAN26081-E

An attempt to reload the remote log-file trap has failed. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Details: 詳細メッセージ)

リモートログファイルトラップのリロードに失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, 詳細情報: 詳細メッセージ)

リモート監視ログファイルトラップのリロードに失敗しました。

(S)

リロード処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 動作定義ファイルが不正です  
動作定義ファイルに誤った指定があります。  
マネージャーホストの統合トレースログで直前に出力されている JP1/Base のメッセージ KAVA3633-E を参照し、動作定義ファイルの誤りを修正して再実行してください。
- MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターが変更されました  
リロードでプロファイルが反映できないパラメーターを変更してリロードしています。  
マネージャーホストの統合トレースログで直前に出力されている JP1/Base のメッセージ KAVA3634-E を参照し、リロードで反映できないパラメーターを確認してください。リロードを実行したい場合は、[有効設定情報] ページを確認して、MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを一致させてから再実行してください。  
リロードでプロファイルが反映できないパラメーターを変更する場合は、再起動でプロファイルを反映してください。
- JP1/Base コマンドの引数が不正です  
起動オプションを確認してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
次の事項を確認してください。
  - ・ ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。ログファイルトラップサービスが停止している場合は、ログファイルトラップサービスを起動したあと、リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを再起動してください。
  - ・ 統合トレースログを確認して、JP1/Base のメッセージ KAVA3663-E または KAVA3917-E が出力されていないか確認してください。出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従ってください。
- イベントサービスが起動していません  
イベントサービスが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。
- JP1/Base コマンド実行エラー  
JP1/Base の環境を確認してください。  
JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが、停止中または再起動していないか確認してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが停止している場合は、JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンを起動してからリモート監視のすべてのプロファイルを起動または再起動してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが再起動している場合は、リモート監視のすべてのプロファイルを停止してから起動または再起動してください。
- 指定されたログファイルトラップが起動していません  
指定したログファイルトラップの動作状況を確認してください。
- ログファイルの収集がタイムアウトしました  
監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度リロードしてください。



- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップを再度リロードしてください。

- ・監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- ・監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- ・Windows の接続数上限を超えて接続していないか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、次の事項を確認してください。

- ・システムの負荷を確認してください
- ・ホストが起動しているか確認してください
- ・接続数の上限を超えていないか確認してください
- ・システム共通設定の IM ホストアカウントが正しく設定しているか確認してください。
- ・監視ファイル数の合計が管理可能な監視ファイル数の上限を超えました  
リモート監視の監視ファイル数の合計が、管理できる監視ファイル数の上限を超えていないか確認してください。リモート監視を停止し、監視するファイル数を減らしてください。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26091-I

The relevant log file was successfully re-read. (Host name: **監視対象ホスト名**, Monitoring-target-name: **監視名**, Log file name: **ログファイル名**)

該当ログファイルの再読み込みに成功しました。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**, ログファイル名: **ログファイル名**)

ログファイルをリモート監視している時に発生したエラーから回復し、ログファイルのリモート監視ができる状態になりました。

## KNAN26092-E

An error occurred while connecting to the manager host's JP1/Base. (Code: **エラー番号**)

マネージャーホストの JP1/Base への接続中にエラーが発生しました。(詳細コード: **エラー番号**)

マネージャーホストの JP1/Base への接続中にエラーが発生しました。

### (S)

リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを停止します。

(O)

マネージャーホストの JP1/Base のログファイルトラップサービスが正常に起動しているか確認してください。

#### KNAN26093-I

The system will now retry reading the relevant log file. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Log file name: ログファイル名)

該当ログファイルの読み込みをリトライします。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

該当するログファイルの読み込みをリトライします。

(S)

処理を続行します。

(O)

直前にリトライの原因となるエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処を行ってください。出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26094-E

The relevant log file could not be read after the specified number of retries, so monitoring will stop. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Log file name: ログファイル名)

指定された回数リトライ処理を行いましたが、該当ログファイルの読み込みが出来ないため監視を停止します。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

ログファイル監視時に、読み込みに失敗しました。指定された回数リトライしましたが、読み込めないため該当するログファイルの監視を停止します。

(S)

リモート監視ログファイルトラップを停止します。

(O)

直前にリトライの原因となるエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処を行ってください。出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26095-E

The relevant log file can no longer be monitored. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Log file name: ログファイル名)

該当ログファイルを正しく監視することが出来ない状態になりました。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

監視対象ログファイルの状態が異常のため、該当するログファイルを正しく監視できません。異常の要因については、エラー番号を参照してください。

code=AL000026: 監視中のログファイルが削除された。

code=AL000027: 監視中のログファイルが再作成された。

code=AL000028: 監視中のログファイルのサイズが小さくなった。

code=AL000045: 監視中のログファイルのヘッダーサイズが監視可能なヘッダーサイズの上限を超えた。

code=AL000046: 監視中のログファイルのサイズが監視可能なファイルサイズの上限を超えた。

code=AL000052: 監視対象ホストで OS コマンドの実行に失敗した。

次回のリモートログファイルトラップ起動時は、前回停止時のリモートログファイルトラップの状態を引き継ぐことができません。

## (S)

該当するログファイルの監視を停止します。

## (O)

- code=AL000026 または code=AL000027 の場合  
監視中のログファイルが削除されていないか、再作成されていないかを確認してください。  
リモート監視対象ファイルへのアクセス権があるかを確認してください。  
問題ない場合は、動作定義ファイルに指定したログファイルの形式 (FILETYPE) を見直して、正しい形式に修正したあと、リモートログファイルトラップを再起動してください。
- code=AL000028 の場合  
監視中のログファイルの中身が削除されていないかを確認してください。  
監視ファイルのファイルサイズが 2 ギガバイトを超えた場合に出力されることがあります。監視ファイルのファイルサイズを確認して、2 ギガバイトを超えないように運用してください。  
動作定義ファイルに指定したログファイルの形式 (FILETYPE) を見直して、正しい形式に修正したあと、リモートログファイルトラップを再起動してください。
- code=AL000045 の場合  
リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイルの HEADLINE で指定した監視中のログファイルのヘッダーサイズが、監視できるヘッダーサイズの上限を超えていないか確認してください。また、確認したあと、リモートログファイルトラップを再起動してください。
- code=AL000046 の場合

監視中のログファイルのサイズが監視できるファイルサイズの上限を超えていないか確認してください。上限を超えている場合、監視対象のログファイルの出力設定を見直し、監視できるファイルサイズの制限を超えないようにしたあと、リモート監視ログファイルトラップを再起動してください。

- code=AL000052 の場合  
統合トレースログを確認し、直前に出力されたメッセージに従って、対処してください。

## KNAN26097-E

Command execution failed because a remote log-file trap corresponding to the Monitoring-target-name is already running. (Host name: **監視対象ホスト名**, Monitoring-target-name: **監視名**)  
リモートログファイルトラップは稼働中のため実行できません。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**)

すでに同一の監視名でリモートログファイルトラップが起動しています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した監視名のリモート監視ログファイルトラップがすでに起動していないか、jcfallogstat コマンドで確認してください。稼働している場合は、停止後に再度実行してください。

## KNAN26098-E

A remote log-file trap corresponding to the Monitoring-target-name does not exist. (Host name: **監視対象ホスト名**, Monitoring-target-name: **監視名**)

指定した監視名のリモートログファイルトラップは存在しません。(監視対象ホスト: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**)

指定した監視名のリモートログファイルトラップが存在しません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視名を確認してください。

## KNAN26099-E

An attempt to connect monitored host failed. (Host name: **監視対象ホスト名**)

指定した監視対象ホストに接続できません。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**)

指定した監視対象ホストは存在しません。

(S)

処理を終了します。

(O)

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が UNIX の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信ができるか。
- 監視対象ホスト名のホストで SSH サーバが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、SSH 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信ができるか。
- Windows の接続数上限を超えて接続していないか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合はマネージャーホストおよび監視対象ホストで DCOM の設定が正しく設定されているかを確認してください。

リモートイベントログトラップ起動時にメッセージが出力された場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信ができるか。
- 監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

## KNAN26101-I

Remote log-file trap information is displayed.(Host name: 監視対象ホスト名): Monitoring-target-name: 監視名, Options: オプション情報, Watch-file: 監視ファイル名

リモートログファイルトラップの起動時の情報を表示します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, オプション情報: オプション情報, 監視ファイル名: 監視ファイル名)

リモート監視ログファイルトラップ起動時の情報です。

(S)

処理を続行します。

## KNAN26102-E

The remote log-file trap cannot start. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップを開始出来ません。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを開始できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

このメッセージより前に出力されている該当リモート監視ログファイルトラップに対するエラーメッセージを対処してから、リモート監視ログファイルトラップを起動してください。

### KNAN26103-I

The remote log-file trap will automatically start. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップを自動開始します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを自動的に開始します。

(S)

処理を続行します。

### KNAN26104-I

The remote log-file trap has automatically stopped. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップを自動停止しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを自動的に停止します。

(S)

処理を続行します。

### KNAN26106-I

Remote event-log trap information is displayed. (Monitoring-target-name: 監視対象ホスト名):  
Options: オプション情報

リモートイベントログトラップの起動時の情報を表示します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, オプション情報: オプション情報)

リモートイベントログトラップ起動時の情報です。

(S)

処理を続行します。

## KNAN26107-E

The remote event-log trap cannot start. (Code: エラー番号, Host name: 監視対象ホスト名)  
リモートイベントログトラップを開始出来ません。(詳細コード: エラー番号, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを開始できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

このメッセージより前に出力されている該当リモート監視イベントログトラップに対するエラーメッセージを対処してから、リモート監視イベントログトラップを起動してください。

## KNAN26108-I

The remote event-log file trap will now automatically start. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)  
リモートイベントログトラップを自動開始します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを自動的に開始します。

(S)

処理を続行します。

## KNAN26109-I

The remote event-log trap has automatically stopped. (Host name: 監視対象ホスト名)  
リモートイベントログトラップを自動停止しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを自動的に停止します。

(S)

処理を続行します。

## KNAN26119-E

The specified monitored host is invalid. (Host name: 監視対象ホスト名)  
指定された監視対象ホストが不正です。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

指定された監視対象ホストが不正です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視対象ホストについて次の事項を確認してください。

- ホスト情報が登録されているか
- リモート構成の設定が正しく設定されているか
- ホスト情報が取得状態であるか

## KNAN26140-W

The amount of data that a remote log file trap collected from the log file exceeded the limit. The log entries output from the last collection time to this collection time will not be output as JP1 events. (host name: 監視対象ホスト名, monitoring-target name: 監視名, log file name: ログファイル名, previous collection time: 前回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss) , this collection time: 今回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss))

リモートログファイルトラップにおいて、監視対象のログファイルから収集したデータのサイズが制限値を超えました。前回収集日時から今回収集日時までに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名, 前回収集日時: 前回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss), 今回収集日時: 今回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss))

監視対象のログファイルから収集したデータのサイズが、収集できる制限値を超えたため、前回収集日時前後から今回収集日時前後までに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。

(S)

ログファイルトラップを継続します。

(O)

監視対象ホストで、監視対象のログファイルの前回収集日時前後から今回収集日時前後の間に出力されているログのデータを確認してください。

同一の監視対象ログファイルで、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次の対処を検討してください。

- 監視間隔を短くする。
- 起動オプションにフィルタ (jcfallogstart コマンドの-filter オプション) を指定する。
- リモート監視ログファイルトラップのログ取得上限の設定値を変更する。
- エージェント構成で監視する。

## KNAN26142-W

The amount of data that a remote event-log trap collected from the host exceeded the limit. The event-log entries output from the last collection time to this collection time will not be



output as JP1 events. (host name: 監視対象ホスト名,previous collection time: 前回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss) ,this collection time: 今回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss))

リモートイベントログトラップにおいて、監視対象ホストから収集したイベントログのサイズが制限値を超えました。前回収集日時から今回収集日時までに出力されているイベントログは、JP1 イベントとして出力されません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 前回収集日時: 前回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss), 今回収集日時: 今回収集日時 (yyyy/MM/dd hh:mm:ss))

監視対象ホストから収集したイベントログのサイズが、収集できる制限値を超えたため、前回収集日時から今回収集日時までに出力されているイベントログは、JP1 イベントとして出力されません。次回の監視では、監視対象ホストマシンで今回収集日時以降の時間に出力されたイベントログを収集します。

前回収集日時には、リモートイベントログトラップによりイベントログが JP1 イベントとして出力された最後の日時が表示されます。

リモートイベントログトラップが動作していても、JP1 イベントとして出力されるイベントログがなかった場合は、「前回収集日時」に反映されません。

(S)

イベントログトラップを継続します。

(O)

監視対象ホストで、前回収集日時から今回収集日時までに出力されているイベントログのデータを確認してください。なお、前回収集日時より今回収集日時が前の時間である場合、マネージャーマシンと監視対象ホストの日時が異なっています。この場合、次回の監視以降もこのメッセージが出力され続けるおそれがあるので、マネージャーマシンと監視対象ホストの日時を合わせてください。

同一の監視対象ホストで、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次の対処を検討してください。

- マネージャーマシンと監視対象ホストの日時が異なっていないか確認する。
- 監視対象ホストに、監視対象ホストの現在時刻より未来の時刻のイベントログが存在しないか確認し、存在する場合は削除する。
- [プロファイル表示/編集] 画面の [設定ファイル] ページ、または `jcfaletstart` コマンドの `-filter` オプションで事前フィルターを設定する。
- 監視間隔を短くする。
- リモート監視イベントログトラップのログ取得上限の設定値を変更する。
- エージェント構成で監視する。

## KNAN26143-W

The total value of the upper limits on obtained logs exceeds Maximum. Estimate the total capacity of the logs again. If you continue monitoring in the current state, remote log file traps and remote event log traps might not work properly.

ログ取得上限の合計値が、最大値を超えています。再見積もりを行ってください。このまま監視を続行した場合、リモートログファイルトラップやリモートイベントログトラップが行われない可能性があります。

最大値：10MB

1 台の JP1/IM - Manager がリモート監視ログファイルトラップとリモート監視イベントログトラップで収集できるログの取得上限が、最大値を超えています。

最大値を超えていると、次の現象が発生するおそれがあります。

- リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップが実行されない。
- ログファイルに出力されたログや、イベントログを JP1 イベントへ変換する処理が遅延する。

(S)  
リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを継続します。

(O)  
ログ取得上限の合計値を再見積もりしてください。

## KNAN26153-E

The WMI connection to the monitored host cannot be established. (Host name: 監視対象ホスト名, Code: 詳細コード)

監視対象ホストへの WMI 接続に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 詳細コード: 詳細コード)

監視対象マシンへの WMI 接続に失敗しました。

(S)  
コマンドの処理を終了します。

(O)  
次の事項を確認してください。

- 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

## KNAN26155-E

Account authentication failed. (Host name: 監視対象ホスト名)

アカウントの認証に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

アカウントの認証に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

リモートログファイルトラップ起動時にメッセージが出力され、監視対象ホスト名のホストの OS が Windows の場合は、次の事項を確認してください。

- [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

リモートイベントログトラップ起動時にメッセージが出力された場合は、次の事項を確認してください。

- [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

## KNAN26163-E

An attempt to start the specified remote event-log trap has failed. (Host name: **監視対象ホスト名**, Details: **詳細メッセージ**)

起動対象のリモートイベントログトラップの開始に失敗しました。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**, 詳細情報: **詳細メッセージ**)

リモート監視イベントログトラップの起動時にエラーが発生しました。

(S)

リモート監視イベントログトラップを停止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 動作定義ファイルが不正です  
動作定義ファイルに誤った指定があります。動作定義ファイルの内容を確認してください。  
リモート監視イベントログトラップの動作定義ファイルで次のパラメーターを使用する場合は、JP1/Base および JP1/IM - Manager のバージョンを 11-10 以上にしてください。使用しない場合は、次のパラメーターを削除してください。
  - open-retry-times
  - open-retry-interval
- 認証に失敗しました

次の事項を確認してください。

- ・ [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- ・ 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- ・ JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 監視対象ホストに接続できません
- ログファイルの収集がタイムアウトしました  
リモートイベントログトラップ起動時にメッセージが出力された場合は、次の事項を確認したあと、リモートイベントログトラップを再度起動してください。
  - ・ 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
  - ・ 監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
  - ・ 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
  - ・ WMI サービスが起動しているか

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、ログファイルの収集がタイムアウトしたときは、次の事項を確認してください。

- ・ システムの負荷を確認してください
- ・ ホストが起動しているか確認してください
- ・ 接続数の上限を超えていないか確認してください
- ・ システム共通設定の IM ホストアカウントが正しく設定されているか確認してください
- リモート監視プロセスの作成に失敗しました  
システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。
- 指定されたコマンドのオプションが不正です  
起動オプションに誤った指定があります。起動オプションを確認してください。
  - ・ 監視ログファイル数の上限を超えているか
  - ・ 追加オプションが指定可能なオプションと指定値であるか
- イベントサービスが起動していません  
イベントサービスが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。
- ログファイルトラップサービスが起動していません  
次の事項を確認してください。

・ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。ログファイルトラップサービスが停止している場合は、ログファイルトラップサービスを起動したあと、リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを再起動してください。

・統合トレースログを確認して、JP1/Base のメッセージ KAVA3663-E または KAVA3917-E が出力されていないか確認してください。出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従ってください。

- JP1/Base コマンド実行エラー

JP1/Base の環境を確認してください。

JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが、停止中または再起動していないか確認してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが停止している場合は、JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンを起動してからリモート監視のすべてのプロファイルを起動または再起動してください。JP1/Base LogTrap サービスまたはデーモンが再起動している場合は、リモート監視のすべてのプロファイルを停止してから起動または再起動してください。

- JP1/Base との通信に失敗しました

JP1/Base を再起動可能の場合は、再起動してください。

- JP1 イベントサービスの接続に失敗しました

イベントサービスを再起動可能の場合は、再起動してください。

- JP1/Base コマンドの引数が不正です

起動オプションを確認してください。

- 収集プロセス数の上限に達しています

収集プロセスの上限に達しているため、不要なログファイルトラップを停止してから再度起動してください。

- 同一監視名が稼働しています

同一監視名が稼働しているか確認してください。

- 監視対象ホストに接続できません

次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。

- ・監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。

- ・JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- リモートイベントログトラップは既に起動しています

監視対象ホストでリモート監視イベントログトラップがすでに起動していないか確認してください。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26181-E

The SSH private key was not created.

SSH 秘密鍵が存在しません

SSH 秘密鍵が存在しません。

(S)

処理を終了します。

(O)

SSH 秘密鍵のパスを確認してください。

## KNAN26182-E

SSH authentication failed. (Host name: ホスト名)

SSH 接続の認証に失敗しました。(監視対象ホスト名: ホスト名)

SSH 接続の認証に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- システム共通設定の秘密鍵ファイル名に指定した秘密鍵が、正しい秘密鍵であるか。
- 指定した秘密鍵と公開鍵の組み合わせが正しいか。
- SSH が正しく設定されているか。  
SSH の設定については、Windows の場合、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 構築ガイド」の「1.18.3 SSH の設定 (Windows の場合)」, UNIX の場合、「2.17.1 SSH の設定 (UNIX の場合)」を参照してください。
- 指定した秘密鍵を使用した監視対象ホストへ SSH 接続できるか。

## KNAN26187-E

The monitored log file cannot be accessed, or collection of the log file failed. (host name: 監視対象ホスト名, monitoring-target name: 監視名, log file name: ログファイル名)

監視対象ホストのログファイルにアクセスできません。または、ログファイルの収集処理に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

監視対象ホストのログファイルにアクセスできません。または、ログファイルの収集処理に失敗しました。

(S)

監視対象ホストのログファイル収集処理をリトライします。

(O)

次の事項を確認してください。

- ログファイルが存在するか。
- ログファイルのパスがリモート監視で指定する形式で正しく指定されているか。
- ログファイルのアクセス権が正しく設定されているか。

監視対象ホストが Windows の場合、次の事項も確認してください。

- ファイル共有の接続を許可するユーザー数の上限を超えていないか。
- 監視対象ホスト名のホストへ通信できるか。
- [プロファイル表示/編集] 画面の [設定ファイル] ページで設定する [フィルター] または `jcfaleltdef` コマンドの `-filter` オプションに指定した正規表現の文字列が誤っていないか。
- 監視対象ホストの SSH 接続で使用するユーザーで、次のコマンドを実行できるか。

Linux の場合

```
/bin/grep -E 'フィルターに指定した正規表現文字列' 監視対象ログファイルパス
```

Solaris の場合

```
/usr/xpg4/bin/grep -E 'フィルターに指定した正規表現文字列' 監視対象ログファイルパス
```

Solaris, Linux 以外の場合

```
/usr/bin/grep -E 'フィルターに指定した正規表現文字列' 監視対象ログファイルパス
```

以上の事項を確認して異常がない場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホストが Windows の場合、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) および WMI 接続の設定が正常に実施できているか。
  - 監視対象ホストが UNIX の場合、SSH 接続の設定が正常に実施できているか。
- ログファイルが存在しなくても監視したい場合は、`-r` オプションを指定してください。

## KNAN26189-E

The size of the monitored log file has exceeded the limit that can be monitored. (host name: 監視対象ホスト名, monitoring-target name: 監視名, log file name: ログファイル名, file size: ファイルサイズ (バイト))

監視対象のログファイルが監視可能なファイルサイズの上限を超えています。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名, サイズ: ファイルサイズ (バイト))

監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限を超えています。

(S)

該当するリモート監視ログファイルトラップを停止します。

(O)

監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限值を超えていないか確認してください。監視できるファイルサイズの上限を超えている場合は、監視対象のログファイルのファイルサイズが上限値以下になるように、ログファイルの出力設定を見直してください。

## KNAN26196-E

The network connection timed out while the log file was being read. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名, Log file name: ログファイル名)

ログ収集がタイムアウト時間を過ぎても完了しませんでした。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

ログの読み込み中に接続がタイムアウトしました。

(S)

処理を中止します。

(O)

ネットワークの設定を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26206-E

The specified remote event-log trap failed to stop. (Host name: 監視対象ホスト名, Details: 詳細メッセージ)

停止対象のリモートイベントログトラップの停止に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 詳細情報: 詳細メッセージ)

停止対象のリモート監視イベントログトラップの停止時にエラーが発生しました。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- IM 構成管理 DB アクセスエラー

IM データベースが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度停止してください。

- ログファイルの収集がタイムアウトしました

監視対象ホストからの応答がないため、リモートログファイルトラップおよびリモートイベントログトラップを強制停止しました。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26208-E

An attempt to reload the remote event-log trap has failed. (Host name: 監視対象ホスト名, Details: 詳細メッセージ)

リモートイベントログトラップのリロードに失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 詳細情報: 詳細メッセージ)



リモート監視イベントログトラップのリロードに失敗しました。

(S)

リロード処理を中断します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 動作定義ファイルが不正です

動作定義ファイルに誤った指定があります。動作定義ファイルの内容を確認してください。

リモート監視イベントログトラップの動作定義ファイルで次のパラメーターを使用する場合は、JP1/Base および JP1/IM - Manager のバージョンを 11-10 以上にしてください。使用しない場合は、次のパラメーターを削除してください。

- open-retry-times
- open-retry-interval

- 指定されたイベントログトラップが起動していません

指定したイベントログトラップの動作状況を確認してください。

- 認証に失敗しました

次の事項を確認してください。

- [システム共通設定] または [リモート監視設定] のユーザー名、パスワード、ドメイン名が正しく設定されているか。
- 監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
- JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

- 監視対象ホストに接続できません

- ログファイルの収集がタイムアウトしました

リモートイベントログトラップ起動時にメッセージが出力された場合は、次の事項を確認したあと、リモートイベントログトラップを再度起動してください。

- 監視対象ホスト名のホストへの通信が可能か。
- 監視対象ホストにログインするユーザーのパスワードが有効期限を過ぎていないか。
- 監視対象ホスト名のリモート通信種別が正しく設定されているか。
- WMI サービスが起動しているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記方法で解決できない場合、ログファイルの収集がタイムアウトしたときは、次の事項を確認してください。

- システムの負荷が高くなっていないか。
- ホストが起動しているか。

- ・接続数の上限を超えていないか。
- ・システム共通設定の IM ホストアカウントが正しく設定されているか。
- ・リモート監視プロセスの作成に失敗しました  
システム共通設定の IM ホストアカウントの設定を確認してください。
- ・指定されたコマンドのオプションが不正です  
起動オプションに誤った指定があります。起動オプションを確認してください。
  - ・監視ログファイル数の上限を超えているか。
  - ・追加オプションが指定可能なオプションと指定値であるか。
- ・イベントサービスが起動していません  
イベントサービスが稼働しているか確認してください。停止している場合はイベントサービスを起動したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。
- ・ログファイルトラップサービスが起動していません  
次の事項を確認してください。
  - ・ログファイルトラップサービスが稼働しているか確認してください。ログファイルトラップサービスが停止している場合は、ログファイルトラップサービスを起動したあと、リモート監視ログファイルトラップまたはリモート監視イベントログトラップを再起動してください。
  - ・統合トレースログを確認して、JP1/Base のメッセージ KAVA3663-E または KAVA3917-E が出力されていないか確認してください。出力されている場合、そのメッセージの対処方法に従ってください。
- ・JP1/Base コマンド実行エラー  
JP1/Base を再起動可能な場合は、再起動してください。
- ・JP1/Base との通信に失敗しました  
JP1/Base を再起動可能な場合は、再起動してください。
- ・JP1 イベントサービスの接続に失敗しました  
イベントサービスを再起動可能な場合は、再起動してください。
- ・JP1/Base コマンドの引数が不正です  
起動オプションを確認してください。
- ・収集プロセス数の上限に達しています  
収集プロセスの上限に達しているため、不要なログファイルトラップを停止してから再度起動してください。
- ・監視対象ホストに接続できません  
次の事項を確認したあと、リモートログファイルトラップまたはリモートイベントログトラップを再度起動してください。
  - ・監視対象ホスト名のホストで DCOM が正しく設定されているか。
  - ・JP1/IM - Manager のホストで DCOM が正しく設定されているか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、WMI 接続の設定が正常に実施できているか確認してください。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26209-E

The database is not running.

データベースが起動していません

データベースへの接続に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

IM データベースの起動を確認し、確認後に再度実行してください。

#### KNAN26210-E

Collection of the profile list failed because the specified host is not in the remote monitoring configuration.

ホストはリモート監視構成に含まれていないため、プロファイル収集は実行できません

ホストはリモート監視構成に含まれていないため、プロファイル収集は実行できません。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

ホストをリモート監視構成に入れてから再度実行してください。

#### KNAN26211-E

The number of remote log-file trap action definition files and the number of remote event-log trap action definition files has reached the limit of manageable action definition files.

リモートログファイルトラップ動作定義ファイル、および、リモートイベントログトラップ動作定義ファイルの数が管理可能な動作定義ファイル数の上限に達しています

リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイル、および、リモート監視イベントログトラップ動作定義ファイルの数が管理できる動作定義ファイル数の上限に達しています。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

不要なリモートログファイルトラップ動作定義ファイル、および、リモートイベントログトラップ動作定義ファイルを削除して再度定義してください。

#### KNAN26212-E

The number of remote log-file trap action definition files and the number of remote event-log trap action definition files running at the same time has reached the limit.

稼動中のリモートログファイルトラップ動作定義ファイル、および、リモートイベントログトラップ動作定義ファイルの数が、同時実行数の上限に達しています

動作定義ファイルの数が、同時実行数の上限に達しています。

(S)

プロファイル一覧の収集を中止します。

(O)

不要なリモートログファイルトラップ、およびリモートイベントログトラップを停止して再度実行してください。

#### KNAN26214-I

The operation status of the specified remote log-file traps will now be displayed.

指定したリモートログファイルトラップの動作状況を表示します

リモート監視ログファイルトラップの動作状況を表示します。

#### KNAN26216-I

The operation status of the remote log-file traps for the specified monitored host will now be displayed. (Host name: **監視対象ホスト名**)

指定した監視対象ホストにおける、リモートログファイルトラップの動作状況を表示します。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**)

監視対象ホストのリモート監視ログファイルトラップの動作状況を表示します。

#### KNAN26217-I

The operation status of all the remote log-file traps will now be displayed.

すべてのリモートログファイルトラップの動作状況を表示します

すべてのリモート監視ログファイルトラップの動作状況を表示します。

## KNAN26223-Q

This operation will delete the remote log-file trap corresponding to the Monitoring-target-name from the specified monitored host from the profiles tree. Do you want to continue? (Y/N)

この操作を行うと、指定した監視名のリモートログファイルトラップが、指定した監視対象ホストのプロファイルツリーから削除されます。続行しますか？(Y/N)

## KNAN26224-Q

This operation will delete all the remote log-file traps running for the specified monitored host from the profiles tree. Do you want to continue? (Y/N)

この操作を行うと、指定した監視対象ホストで起動しているすべてのリモートログファイルトラップがプロファイルツリーから削除されます。続行しますか？(Y/N)

## KNAN26225-Q

This operation will delete all the remote log-file traps from the profiles tree. Do you want to continue? (Y/N)

この操作を行うと、すべてのリモートログファイルトラップがプロファイルツリーから削除されます。続行しますか？(Y/N)

## KNAN26226-I

The specified remote log-file traps have stopped. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップを停止しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを停止しました。

## KNAN26230-I

The specified remote log-file traps have been deleted. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップを削除しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップを削除しました。

## KNAN26239-I

The specified remote log-file traps have been reloaded. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップをリロードしました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップをリロードしました。

#### KNAN26243-E

The specified remote log-file traps are not running. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップは稼働していません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

指定したリモートログファイルトラップは稼働していません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KNAN26247-E

Remote event-log traps are already running on the specified monitored host. (Host name: 監視対象ホスト名)

指定された監視対象ホストにおいて、リモートイベントログトラップは既に稼働しています。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

指定された監視対象ホストでは、リモートイベントログトラップはすでに稼働しています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KNAN26249-I

The remote event-log traps started. (Host name: 監視対象ホスト名)

リモートイベントログトラップを開始しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップを開始しました。

#### KNAN26251-I

The operation status of the remote event-log traps on the specified monitored host will now be displayed. (Host name: 監視対象ホスト名)

指定した監視対象ホストのリモートイベントログトラップの動作状況を表示します。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

監視対象ホストのリモート監視イベントログトラップの動作状況を表示します。

## KNAN26252-I

The operation status of all remote event-log traps will now be displayed.

すべてのリモートイベントログトラップの動作状況を表示します

すべてのリモート監視イベントログトラップの動作状況を表示します。

## KNAN26256-I

The remote event-log traps on the monitored host have been stopped. (Host name: **監視対象  
ホスト名**)

指定した監視対象ホストのリモートイベントログトラップを停止しました。(監視対象ホスト名: **監視  
対象ホスト名**)

監視対象ホストのリモート監視イベントログトラップを停止しました。

## KNAN26258-E

No remote event-log traps are running on the specified monitored host. (Host name: **監視対象  
ホスト名**)

指定した監視対象ホストのリモートイベントログトラップは稼働していません。(監視対象ホスト名: **監視  
対象ホスト名**)

指定した監視対象ホストのリモートイベントログトラップは稼働していません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

## KNAN26261-I

The remote event-log traps on the monitored host have been reloaded. (Host name: **監視対象  
ホスト名**)

指定した監視対象ホストのリモートイベントログトラップをリロードしました。(監視対象ホスト名: **監視  
対象ホスト名**)

監視対象ホストのリモート監視イベントログトラップをリロードしました。

## KNAN26266-E

The specified parameter value is outside the valid range. (option: **オプション**, parameter: **パラ  
メーター**)

指定されたパラメーターが範囲外です。(オプション: **オプション**, パラメーター: **パラメーター**)

指定されたパラメーターが範囲外です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

オプションに指定する値を見直したあと、再度実行してください。

#### KNAN26267-E

Command execution failed because another user is currently using the command. (Host name: **監視対象ホスト**)

他のユーザーが操作中のため、コマンドの実行に失敗しました。(監視対象ホスト: **監視対象ホスト**)

ほかのユーザーが操作中のため、コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

時間をおいて、再度実行してください。

#### KNAN26269-I

Remote log-file traps have been reloaded. (number successful: **成功**, number failed: **失敗**)

リモートログファイルトラップのリロード処理が完了しました。(成功: **成功件**, 失敗: **失敗件**)

リモート監視ログファイルトラップのリロード処理が完了しました。

#### KNAN26271-I

Remote log-file traps have stopped. (number successful: **成功**, number failed: **失敗**)

リモートログファイルトラップの停止処理が完了しました。(成功: **成功件**, 失敗: **失敗件**)

リモート監視ログファイルトラップの停止処理が完了しました。

#### KNAN26274-I

The remote log-file trap profile was successfully added. (monitored host: **監視対象ホスト名**, Monitoring-target-name: **監視名**)

リモートログファイルトラップのプロファイルの追加に成功しました。(監視対象ホスト: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**)

リモート監視ログファイルトラップのプロファイルの追加に成功しました。

#### KNAN26278-I

Event file traps have stopped. (number successful: **成功**, number failed: **失敗**)



リモートイベントログトラップの停止処理が完了しました。(成功: 成功件, 失敗: 失敗件)

リモート監視イベントログトラップの停止処理が完了しました。

#### KNAN26279-I

Event file traps were reloaded. (number successful: 成功, number failed: 失敗)

リモートイベントログトラップのリロード処理が完了しました。(成功: 成功件, 失敗: 失敗件)

リモート監視イベントログトラップのリロード処理が完了しました。

#### KNAN26281-I

The remote event-log trap profile was successfully Saved. (monitored host: 監視対象ホスト名)

リモートイベントログトラップのプロファイルの保存に成功しました。(監視対象ホスト: 監視対象ホスト名)

リモート監視イベントログトラップのプロファイルの保存に成功しました。

#### KNAN26285-I

The remote log-file trap profile was successfully deleted. (monitored host: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

リモートログファイルトラップのプロファイルの削除に成功しました。(監視対象ホスト: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リモート監視ログファイルトラップのプロファイルの削除に成功しました。

#### KNAN26287-I

Remote log-file trap profiles were deleted. (number successful: 成功, number failed: 失敗)

リモートログファイルトラップのプロファイルの削除処理が完了しました。(成功: 成功件, 失敗: 失敗件)

リモート監視ログファイルトラップのプロファイルの削除処理が完了しました。

#### KNAN26293-E

The コマンド command was canceled due to a forced release of exclusive editing rights. (command name: コマンド, Host name: 監視対象ホスト名)

排他編集権の強制解除が実行されたため、コマンドはキャンセルされました。(コマンド名: コマンド, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

排他編集権の強制解除が実行されたため、コマンドはキャンセルされました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

排他権を取得し直して、再実行してください。

#### KNAN26294-E

An I/O error occurred.

I/O エラーが発生しました

I/O エラーが発生しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

次のことを確認してください。

- システムのリソース・メモリーが十分に確保されていること
- イベントログが壊れていないこと (イベントビューアーで参照できるかどうか)

システムのリソース・メモリーが不足している、またはイベントログが壊れている場合は、要因を取り除いた上で再度実行してしてください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26296-E

The specified host does not exist in the remote configuration. (Host name: 監視対象ホスト名)

指定したホストはリモート監視構成に存在しません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

指定したホストはリモート監視構成に存在しません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

コマンドで指定した監視対象ホストをリモート監視構成に登録してください。

#### KNAN26297-E

The monitored host OS is not Windows. (monitored host: 監視対象ホスト名)

監視対象ホストの OS が Windows ではありません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

監視対象ホストの OS が Windows ではありません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視対象ホストの OS を確認し、再度実行してください。

#### KNAN26317-I

No hosts exist in the remote configuration.

リモート監視構成にホストが存在しません

リモート監視構成にホストが存在しません。

#### KNAN26318-I

No Windows hosts exist in the remote configuration.

リモート監視構成に Windows ホストが存在しません

リモート監視構成に Windows ホストが存在しません。

#### KNAN26319-E

The specified log file name "ログファイル名" is invalid.

指定したログファイル名(ログファイル名)は不正です

指定したログファイル名は不正です。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

ログファイル名の誤りを訂正してから再度実行してください。

#### KNAN26320-E

The number of specifiable log files has been exceeded.

指定可能なログファイル数の上限を超過しています

監視可能なファイル数の上限に達しているため、処理に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視中のファイルを確認し、不要な監視を終了してから、再度実行してください。

## KNAN26322-E

The remote log-file trap service of the manager host's JP1/Base is not running.  
マネージャーホストのJP1/Baseのログファイルトラップサービスが起動していません

マネージャーホストのJP1/Baseのログファイルトラップサービスが起動していないため、コマンドの処理を終了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

マネージャーホストのJP1/Baseのログファイルトラップサービスを起動してから、再実行してください。

## KNAN26326-I

The log file trap of the monitoring target name "監視名" has already been stopped.  
監視名監視名のリモートログファイルトラップは既に停止しています

リモート監視ログファイルトラップはすでに停止しています。

## KNAN26327-I

Specified Event Log file trap has already been stopped.  
指定されたリモートイベントログトラップは既に停止しています

指定されたリモート監視イベントログトラップはすでに停止しています。

## KNAN26328-E

An attempt to access the monitored file failed. (monitored host: 監視対象ホスト名, monitoring-target-name: 監視名)

監視対象のログファイルにアクセスできません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

監視対象のログファイルにアクセスできません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

次の事項を確認してください。

- ログファイルが存在するか。
- ログファイルのパスがリモート監視で指定する形式で正しく指定されているか。

- ログファイルのアクセス権が正しく設定されているか。
- 監視対象ホストが Windows の場合、ファイル共有の接続を許可するユーザー数の上限を超えていないか。また、監視対象ホスト名のホストへ通信できるか。

以上の事項を確認して異常がない場合は、次の事項を確認してください。

- 監視対象ホストが Windows の場合、NetBIOS (NetBIOS over TCP/IP) および WMI 接続の設定が正常に実施できているか。
- 監視対象ホストが UNIX の場合、SSH 接続の設定が正常に実施できているか。

ログファイルが存在しなくても監視したい場合は、jcfallogstart コマンドまたはjcfallogdef コマンドの-r オプションを指定してください。

## KNAN26329-E

The monitored log file could not be read. (monitored host: 監視対象ホスト名, monitoring-target name: 監視名)

監視するログファイルの読み込みに失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

ログファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視するログファイルがある、またはアクセスできるか確認し、再度実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26330-E

The Windows event log could not be read. (monitored host: 監視対象ホスト名)

Windows イベントの読み込みに失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

イベントログの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視するログを確認し、再度実行してください。

## KNAN26331-E

The version of the manager host's JP1/Base doesn't support the remote configuration.

マネージャーホストの JP1/Base のバージョンはリモート監視をサポートしていません

マネージャースホストの JP1/Base のバージョンはリモート監視をサポートしていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

JP1/Base のバージョンを 09-50 以上にしてください。

## KNAN26332-E

The network connection timed out while the log file was being read. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

ログ収集がタイムアウト時間を過ぎても完了しませんでした。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

ログ収集がタイムアウト時間を過ぎても完了しませんでした。

(S)

処理を中止します。

(O)

ネットワークの設定を確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26334-E

The size of the monitored log file has exceeded the limit that can be monitored. (host name: 監視対象ホスト名, monitoring-target-name: 監視名)

監視対象のログファイルが監視可能なファイルサイズの上限を超えています。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限を超えています。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

監視対象のログファイルが監視できるファイルサイズの上限值を超えていないか確認して、コマンドを再度実行してください。監視できるファイルサイズの上限值を超えている場合は、監視対象のログファイルのファイルサイズが上限値以下になるように、ログファイルの出力設定を見直してください。

## KNAN26336-E

The number of monitored files has exceeded the limit.

監視ファイル数の合計が管理可能な監視ファイル数の上限を超えました

監視ファイル数の合計が、管理できる監視ファイル数の上限を超えました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

リモート監視の監視ファイル数の合計が、管理できる監視ファイル数の上限を超えていないか確認してください。リモート監視を停止し、監視するファイル数を減らしてください。

#### KNAN26337-E

The result of the command using SSH connection was invalid. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target name: 監視名)

SSH 接続でのコマンドの実行結果が不正です。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

監視対象ホストでのコマンド実行結果が不正です。

(S)

処理を終了します。

(O)

SSH 接続が正常に設定できているか確認してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26338-E

The OS command execution failed in the remote monitored host. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target name: 監視名, User: ユーザー, Command line: コマンドライン)

リモート監視の監視対象ホストで OS コマンドの実行に失敗しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ユーザー: ユーザー, コマンドライン: コマンドライン)

リモート監視の監視対象ホストで OS コマンドの実行に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

表示されたユーザーで監視対象ホストにログインして表示された OS コマンドを実行し、戻り値が 0 であることを確認してください。戻り値が 0 以外である場合は、監視対象ホストの環境を見直し、戻り値が 0 となるようにしてください。

解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN26339-W

Failed to save the state of the remote log file trap when the log was collected. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名)

ログ収集時にリモートログファイルトラップの状態の保存に失敗しました。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**, 監視名: **監視名**)

ログ収集時のリモート監視ログファイルトラップの状態の保存に失敗しました。

回復を通知する 00003FDB イベントが発行されなかった場合、リモート監視を停止・起動したときに、停止している間に出力されたログをトラップできないか、または同じログを 2 回トラップし、JP1 イベントが重複することがあります。

回復を通知する 00003FDB イベントが発行された場合、リモート監視を停止・起動したときに正常に稼働します。

(S)

リモート監視を続行します。

(O)

回復を通知する 00003FDB イベントが発行されたか確認してください。

回復を通知する 00003FDB イベントが発行されない場合、次を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

Windows の場合：Windows イベントログ

UNIX の場合：シスログ (syslog)

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26340-W

Failed to save the state of the remote event log trap when the log was collected. (host name = **監視対象ホスト名**)

ログ収集時にリモートイベントログトラップの状態の保存に失敗しました。(監視対象ホスト名: **監視対象ホスト名**)

ログ収集時のリモート監視イベントログトラップの状態の保存に失敗しました。

回復を通知する 00003FDC イベントが発行されなかった場合、リモート監視を停止・起動したときに、停止している間に出力されたログをトラップできないか、または同じログを 2 回トラップし、JP1 イベントが重複することがあります。

回復を通知する 00003FDC イベントが発行された場合、リモート監視を停止・起動したときに正常に稼働します。



(S)

リモート監視を続行します。

(O)

回復を通知する 00003FDC イベントが発行されたか確認してください。

回復を通知する 00003FDC イベントが発行されない場合、次を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26341-W

Failed to restore the remote log file trap to its state when it was last terminated. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名)

前回停止時のリモートログファイルトラップの状態を復元できませんでした。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

前回停止時のリモート監視ログファイルトラップの状態を復元できませんでした。

(S)

該当するリモート監視ログファイル監視について、前回停止時のリモート監視ログファイルトラップの状態を引き継がないでリモート監視を開始します。

(O)

リモート監視の前の停止からこのメッセージが出力されるまでの間に監視対象のログに出力されているログのデータを確認してください。リモート監視の前の停止時刻は、マネージャホストの統合トレースログにメッセージ KNAN26056-I, KNAN26092-E, KNAN26094-E, KNAN26095-E のどれかが出力されている時刻、または JP1/IM - Manager の前の停止時刻です。

また、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- 次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

Windows の場合：Windows イベントログ

UNIX の場合：シスログ (syslog)

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26342-W

Failed to restore the remote log file trap to its state when it was last terminated. (host name = 監視対象ホスト名)

前回停止時のリモートイベントログトラップの状態を復元できませんでした。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

前回停止時のリモート監視イベントログトラップの状態を復元できませんでした。

(S)

該当する監視対象ホストで前回停止時のリモート監視イベントログトラップの状態を引き継がないでリモート監視を開始します。

(O)

リモート監視の前の停止からこのメッセージが出力されるまでの間に監視対象ホストで出力されているイベントログのデータを確認してください。リモート監視の前の停止時刻は、マネージャーホストの統合トレースログにメッセージ KNAN26001-I, KNAN26028-E, KNAN26092-E のどれかが出力されている時刻、または JP1/IM - Manager の前の停止時刻です。

また、このメッセージが頻繁に出力される場合は、次を確認してください。

- ディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- メモリー不足が発生していないか確認してください。
- Windows イベントログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

問題が解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN26343-W

The remote log file trap was not restored to its state when it was last terminated, because the trap was in a state where it could not be monitored. (details = 詳細情報, host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名, log file name = ログファイル名)

前回停止時のリモートログファイルトラップの状態を復元しても監視できない状態のため、前回停止時のリモートログファイルトラップの状態を復元しませんでした。(詳細情報: 詳細情報, 監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, ログファイル名: ログファイル名)

前回停止時のリモート監視ログファイルトラップの状態を復元しても監視できない状態のため、前回停止時のリモート監視ログファイルトラップの状態を復元しませんでした。

(S)

前回停止時のリモート監視ログファイルトラップの状態を引き継がないでリモート監視を開始します。

(O)

- 詳細情報が「監視中のログファイルが削除または再作成されました」の場合  
監視中のログファイルが削除されていないか、再作成されていないかを確認してください。

リモート監視対象ファイルへのアクセス権があるかを確認してください。

問題ない場合は、動作定義ファイルに指定したログファイルの形式 (FILETYPE) を見直して、正しい形式に修正したあと、リモート監視ログファイルトラップを再起動してください。

- 詳細メッセージが「監視中のログファイルのサイズが小さくなりました」の場合  
監視中のログファイルの中身が削除されていないかを確認してください。

問題ない場合は、動作定義ファイルに指定したログファイルの形式 (FILETYPE) を見直して、正しい形式に修正したあと、リモート監視ログファイルトラップを再起動してください。

## KNAN26344-W

Failed to delete the state maintenance file for remote monitoring. (file name = ファイル名)  
リモート監視状態保持ファイルの削除に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

リモート監視状態保持ファイルの削除に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

メッセージに表示したファイルを削除してください。

## KNAN26345-I

An error related to saving the state of the remote log file trap that occurred during log collection was resolved. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名)  
ログ収集時に発生していたリモートログファイルトラップの状態の保存のエラーが回復しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

ログ収集時に発生していたリモート監視ログファイルトラップの状態の保存のエラーが回復しました。

(S)

リモート監視を続行します。

## KNAN26346-I

An error related to saving the state of the remote event log trap that occurred during log collection was resolved. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名)  
ログ収集時に発生していたリモートイベントログトラップの状態の保存のエラーが回復しました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名)

ログ収集時に発生していたリモート監視イベントログトラップの状態の保存のエラーが回復しました。

(S)

リモート監視を続行します。

The backup files for the monitored log files were not found. The log entries output to the backup files between the last collection time and the current collection time will not be output as JP1 events. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名, log file name = 監視対象ログファイル名, last collection time = yyyy/MM/dd hh:mm:ss, current collection time = yyyy/MM/dd hh:mm:ss, user = ユーザー, command line executed = 実行したコマンドライン)  
 監視対象のログファイルの退避ファイルが見つかりません。前回収集日時から今回収集日時までに退避ファイルに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, 監視対象ログファイル名: 監視対象ログファイル名, 前回収集日時: yyyy/MM/dd hh:mm:ss, 今回収集日時: yyyy/MM/dd hh:mm:ss, ユーザー: ユーザー, 実行したコマンドライン: 実行したコマンドライン)

リモート監視の監視対象ホストで退避ファイルが見つかりませんでした。

前回収集日時前後から今回収集日時前後までに退避ファイルに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。

メッセージに表示された実行したコマンドラインは、退避ファイルを検索する際に実行した次の OS コマンドが表示されます。また、OS コマンドはメッセージに表示されたユーザーで実行しました。

- find 監視対象のディレクトリパス -xdev -inum 監視対象のログファイルの退避ファイルの inode

(S)

リモート監視を継続します。

(O)

監視対象ホストにログインしてメッセージの実行したコマンドラインに表示された inode を保持する退避ファイルがあるか確認してください。

退避ファイルがある場合は、前回収集日時前後から今回収集日時前後の間に出力されているログのデータを確認してください。

また、[リモート監視設定] 画面または [システム共通設定] 画面で設定した、ユーザーの権限が不足しているおそれがあります。設定したユーザーに対して退避ファイルの読み込み権限があることを確認してください。また、退避ファイルがあるディレクトリおよびその上位のすべてのディレクトリに、読み込み権限および書き込み権限があることを確認してください。権限がない場合は、権限を設定してください。

権限を設定後、メッセージに表示された実行したコマンドラインを実行して、退避ファイルが標準出力に表示されることを確認してください。

退避ファイルがない場合は、次の点を確認してください。

- 退避ファイルが監視中に削除された可能性があります。  
退避ファイルは退避ファイルが作成されてから、次にログファイルがトラップされるまで削除しないでください。

- 監視対象ログファイルの形式が、リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイルに指定した FILETYPE (SEQ2 形式) の形式でないおそれがあります。

SEQ2 形式は監視対象ファイルをコピーして退避ファイルを作成する形式を監視できません。監視対象ログファイルの形式が SEQ2 形式であることを確認してください。

監視対象ログファイルの形式が SEQ2 形式でない場合は、リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイルの FILETYPE を見直して、リモート監視を再起動してください。

リモート監視ログファイルトラップで監視できるログファイルの形式の詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の監視できるログ情報を説明している章を参照してください。

## KNAN26351-E

All trapping of remote log files on monitored host "監視対象ホスト名" will now stop. (cause = 要因)

監視対象ホスト監視対象ホスト名のすべてのリモートログファイルトラップを停止します。(要因: 要因)

次の要因でリモート監視ログファイルトラップを停止します。

「リモートによるホスト情報収集に失敗しました。」

「監視対象ホストの OS が変更されていました。」

(S)

監視対象ホストのすべてのリモート監視ログファイルトラップを停止します。

(O)

次の要因に従って対処してください。

解決されない場合は資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 要因が「リモートによるホスト情報収集に失敗しました。」の場合は、リモートによるホスト情報の収集を再実行して正常終了したあとに、停止したリモート監視ログファイルトラップを再起動してください。
- 要因が「監視対象ホストの OS が変更されていました。」の場合は、監視対象ホストが正しいか確認してください。

監視対象ホストが正しい場合は、リモート監視のプロファイルの設定が収集後の OS に適しているか確認したあとに、停止したリモート監視ログファイルトラップを再起動してください。なお、次のリモート監視の起動時は、前回停止時のリモート監視ログファイルトラップを引き継ぐことができません。監視対象ホストが正しくない場合は、システム構成を見直してください。

## KNAN26352-W

The backup files for the monitored log files were not found. The log entries output to the backup files between the last collection time and the current collection time will not be output as JP1 events. (host name = 監視対象ホスト名, monitoring target = 監視名, log file name = 監

視対象ログファイル名, last collection time = yyyy/MM/dd hh:mm:ss, current collection time = yyyy/MM/dd hh:mm:ss, user = ユーザー)

監視対象のログファイルの退避ファイルが見つかりません。前回収集日時から今回収集日時までに退避ファイルに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名, 監視対象ログファイル名: 監視対象ログファイル名, 前回収集日時: yyyy/MM/dd hh:mm:ss, 今回収集日時: yyyy/MM/dd hh:mm:ss, ユーザー: ユーザー)

リモート監視の監視対象ホストで退避ファイルが見つかりませんでした。

前回収集日時前後から今回収集日時前後までに退避ファイルに出力されているログは、JP1 イベントとして出力されません。

(S)

リモート監視を継続します。

(O)

監視対象ホストにログインしてメッセージに表示された監視対象ログの退避ファイルがあるか確認してください。

退避ファイルがある場合は、前回収集日時前後から今回収集日時前後の間に出力されているログのデータを確認してください。

また、次の点を確認してください。

- [リモート監視設定] 画面または [システム共通設定] 画面で設定した、ユーザーの権限が不足しているおそれがあります。

設定したユーザーで JP1/IM - Manager ホストから監視対象ホストのログファイルが読み取り可能になっていることを確認してください。読み取り可能になっていない場合は、読み取り可能にしてください。

- 監視対象ログファイルの形式が、リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイルに指定した FILETYPE (SEQ2 形式) の形式でないおそれがあります。

SEQ2 形式は監視対象ファイルをコピーして退避ファイルを作成する形式を監視できません。監視対象ログファイルの形式が SEQ2 形式であることを確認してください。

監視対象ログファイルの形式が SEQ2 形式でない場合は、リモート監視ログファイルトラップ動作定義ファイルの FILETYPE を見直して、リモート監視を再起動してください。

リモート監視ログファイルトラップで監視できるログファイルの形式の詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の監視できるログ情報を説明している章を参照してください。

退避ファイルがない場合は、退避ファイルが監視中に削除された可能性があります。

退避ファイルは退避ファイルが作成されてから、次にログファイルがトラップされるまで削除しないでください。

## KNAN26353-E

Trapping of remote event log files on monitored host "監視対象ホスト名" will now stop. (cause = 要因)

監視対象ホスト 監視対象ホスト名のリモートイベントログトラップを停止します。(要因: 要因)

次の要因でリモート監視イベントログトラップを停止します。

「リモートによるホスト情報収集に失敗しました。」

(S)

監視対象ホストのリモート監視イベントログトラップを停止します。

(O)

次の要因に従って対処してください。

解決されない場合は資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

- 要因が「リモートによるホスト情報収集に失敗しました。」の場合は、リモートによるホスト情報の収集を再実行して正常終了したあとに、停止したリモート監視イベントログトラップを再起動してください。

## KNAN26354-E

A parameter of the action definition file other than MARKSTR and ACTDEF was changed. (Host name: 監視対象ホスト名, Monitoring-target-name: 監視名)

動作定義ファイルの MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターが変更されました。(監視対象ホスト名: 監視対象ホスト名, 監視名: 監視名)

リロードで反映できない動作定義ファイルのパラメーターを変更してリモート監視ログファイルトラップをリロードしているため、リロードに失敗しました。

(S)

メッセージに表示した監視対象ホスト名、監視名のリロードを中止します。

(O)

マネージャーホストの統合トレースログで直前に出力されている JP1/Base のメッセージ KAVA3634-E を参照し、リロードで反映できないパラメーターを確認してください。

リロードを実行したい場合は、[有効設定情報] ページを確認して、MARKSTR, ACTDEF 以外のパラメーターを一致させてから再実行してください。

リロードでプロファイルが反映できないパラメーターを変更する場合は、リモート監視ログファイルトラップを再起動してプロファイルを反映してください。

## 2.14 IM 構成管理の共通メッセージ (KNAN29000~KNAN29999)

### KNAN29000-I

The JP1/IM - Configuration daemon has started. (host = ホスト名)

IM 構成管理サービスを起動しました。(ホスト: ホスト名)

IM 構成管理サービスが起動しました。

(S)

IM 構成管理サービスを起動しました。

### KNAN29001-I

The JP1/IM - Configuration daemon ended normally. (host = ホスト名)

IM 構成管理サービスを終了しました。(ホスト: ホスト名)

IM 構成管理サービスを停止しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了しました。

### KNAN29002-E

The JP1/IM - Configuration daemon terminated abnormally. (host = ホスト名)

IM 構成管理サービスが異常終了しました。(ホスト: ホスト名)

IM 構成管理サービスが異常終了しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の内容を実行してください。

- IM 構成管理 DB が正常に起動しているか確認し、IM 構成管理サービスを再起動してください。
- JP1/Base 起動後に通信暗号化機能の設定を不正な値に変更した可能性があります。JP1/IM - Manager および JP1/Base を停止してから通信暗号化機能の設定を見直し、JP1/Base および JP1/IM - Manager を起動してください。
- このメッセージより前のメッセージの内容に従って対処してください。

上記の方法で解決しない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KNAN29003-E

The JP1/IM - Configuration daemon cannot start because the host name is invalid. (host = ホスト名)

ホスト名が不正なため、IM 構成管理サービスが起動できませんでした。(ホスト: ホスト名)

不正な論理ホスト名が指定されたため、IM 構成管理サービスが起動できません。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29004-E

The JP1/IM - Configuration daemon cannot start because initialization of JP1 common definitions failed.

JP1 共通定義アクセスの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした

JP1 共通定義アクセスの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29005-E

The JP1/IM - Configuration daemon cannot start because initialization of the integrated trace log failed.

統合トレースログの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした

統合トレースログの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29006-E

The JP1/IM - Configuration daemon cannot start because initialization of the log of each process failed.

プロセス別トレースログの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした

プロセス別トレースログの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29007-E

The JP1/IM - Configuration daemon cannot start because an initialization of the database failed.

IM 構成管理 DB の初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした

IM 構成管理 DB との接続処理に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

IM 構成管理サービスを使用しない場合は、jcoimdef コマンドの-cf オプションで IM 構成管理サービスの機能を無効にしてください。

IM 構成管理サービスを使用する場合は、IM 構成管理 DB がセットアップされているか確認してください。

IM 構成管理 DB がセットアップされていない場合は、jcfdbsetup コマンドで IM 構成管理 DB をセットアップしてから、JP1/IM - Manager を起動してください。

IM 構成管理 DB が既にセットアップされている場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29008-I

Initialization of the JP1/Base communication finished successfully.

JP1/Base の通信基盤の初期化に成功しました

JP1/Base の通信基盤の初期化に成功しました。

(S)

JP1/Base の通信基盤の初期化に成功しました。

## KNAN29009-E

Initialization of JP1/BASE communication is failed. (error code = エラーコード)

JP1/Base の通信基盤の初期化に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

JP1/Base の通信基盤の初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

共通定義情報が設定されていない状態です。設定が正しいか確認してください。

クラスタシステムで運用している場合、環境変数JP1\_HOSTNAME に設定している論理ホスト名が正しいか確認してください。

解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29010-W

A common definition value is invalid. The default value will be assigned. (key = キー名, default value = デフォルト値)

共通定義が不正です。デフォルト値を採用します。(キー名: キー名, デフォルト値: デフォルト値)

共通定義が不正なため、デフォルト値を採用します。

(S)

処理を継続します。

## KNAN29011-E

Acquisition of the common directory path name failed.

conf ディレクトリの取得に失敗しました

共通定義からconf ディレクトリの取得に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29012-E

Acquisition of the log directory path name failed.

log ディレクトリの取得に失敗しました

共通定義からlog ディレクトリの取得に失敗したため、IM 構成管理サービスは起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

論理ホスト環境で発生した場合は、jplcfhassetup の実行が済んでいるか確認してください。

上記で解決されない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29013-W

The JP1/IM - CF daemon will be started using the default port number **ポート番号** because acquisition of the port number failed.

IM 構成管理サービスはポート番号を取得できなかったため、デフォルトのポート(**ポート番号**)を使用します。

IM 構成管理サービスはポート番号を取得できなかったため、デフォルトのポートを使用して起動します。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN29014-E

The JP1/IM - CF daemon cannot start because initialization of the service failed.

IM 構成管理サービスの初期化に失敗しました

サービスの初期化に失敗しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29015-I

The JP1/IM - CF daemon will be reloaded.

IM 構成管理サービスのリロードを開始します

IM 構成管理サービスのリロードを開始します。

(S)

IM 構成管理サービスのリロードを開始します。

#### KNAN29016-I

The JP1/IM - CF daemon was reloaded successfully.

IM 構成管理サービスのリロードが完了しました

IM 構成管理サービスのリロードが完了しました。

(S)

IM 構成管理サービスのリロードが完了しました。

### KNAN29017-W

An attempt to reload the JP1/IM - CF daemon failed.

IM 構成管理サービスのリロードに失敗しました

IM 構成管理サービスのリロードに失敗しました。

(S)

リロード前のデータを使用して稼働します。

### KNAN29018-I

The JP1/IM - CF daemon will stop because a stop request was received from the process management daemon.

IM 構成管理サービスは正常終了処理に入ります

IM 構成管理サービスは正常終了処理に入ります。

(S)

IM 構成管理サービスは正常終了処理に入ります。

### KNAN29019-E

The JP1/IM - CF will stop because an invalid request was received from the process management daemon. (error code = エラーコード)

IM 構成管理サービスは異常終了処理に入ります。(詳細情報: エラーコード)

異常終了によって、IM 構成管理サービスが停止しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の内容を実行してください。

- IM 構成管理 DB が正常に起動しているか確認し、IM 構成管理サービスを再起動してください。
- このメッセージより前のメッセージの内容に従って対処してください。

上記の方法で解決しない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29020-E

Startup completion could not be reported to the process management daemon.  
SPMD に起動完了が通知できませんでした

SPMD に起動完了が通知できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29021-I

Creation of all the threads waiting for TCP/IP communication completed successfully.  
全ての TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました

すべての TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました。

(S)

すべての TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました。

## KNAN29022-W

Creation of some threads waiting for TCP/IP communication failed, but processing will continue.  
一部の TCP/IP 接続待ちスレッドの生成に失敗しましたが、処理は続行されました

一部の TCP/IP 接続待ちスレッドに失敗しましたが、処理は継続します。

(S)

処理を継続します。

## KNAN29023-E

The JP1/IM - CF daemon will stop because the creation of all the threads waiting for TCP/IP communication did not succeed.  
全ての TCP/IP 接続待ちスレッドの生成に失敗したため、IM 構成管理サービスは停止しました

すべての TCP/IP 接続待ちスレッドの生成に失敗したため、IM 構成管理サービスを終了します。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29024-I

Creation of threads waiting for the TCP/IP communication completed successfully. (IP address = IP アドレス)

TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました。(IP アドレス: IP アドレス)

TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました。

(S)

TCP/IP 接続待ちスレッドの作成が完了しました。

#### KNAN29025-E

An attempt to create a thread waiting for the TCP/IP communication failed. (IP address = IP アドレス)

TCP/IP 接続待ちスレッドの作成に失敗しました。(IP アドレス: IP アドレス)

TCP/IP 接続待ちスレッドの作成に失敗しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29026-I

The IM configuration management service will now start. (language = 環境変数 and character encoding = 文字コード)

IM 構成管理サービスを起動します。(LANG: 環境変数, 文字コード: 文字コード)

IM 構成管理サービスが起動する環境変数を通知するメッセージです。

(S)

IM 構成管理サービスを起動します。

#### KNAN29027-E

Initialization of the plugin service failed. (error code = エラーコード)

JP1 プラグインマネージャーの初期化に失敗しました。(詳細情報: エラーコード)

JP1 プラグインマネージャーの初期化に失敗したため、IM 構成管理サービスが起動できません。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

詳細情報に「リソースが不足しています」と表示された場合は、次の対処をしてください。

- ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

上記以外の詳細情報が表示された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29028-I

The TCP/IP communication waiting thread started.

TCP/IP 接続待ちスレッドが開始しました

TCP/IP 接続待ちスレッドが開始したことを通知するメッセージです。

(S)

TCP/IP 接続待ちスレッドが開始しました。

#### KNAN29029-I

The TCP/IP communication waiting thread terminated normally.

TCP/IP 接続待ちスレッドが終了しました

TCP/IP 接続待ちスレッドが終了したことを通知するメッセージです。

(S)

TCP/IP 接続待ちスレッドが終了しました。

#### KNAN29030-E

The TCP/IP communication waiting thread terminated abnormally.

TCP/IP 接続待ちスレッドが異常終了しました

TCP/IP 接続待ちスレッドが異常終了しました。

(S)

TCP/IP 接続待ちスレッドが終了しました。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KNAN29031-E

The connection with the client will be closed because an invalid protocol was received from the client.

不正なプロトコルを受信したため、接続を切断します

不正なプロトコルを受信したため、接続を切断します。

(S)

IM 構成管理・ビューアーとの接続を切断します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29032-E

The connection with the client will be closed because reception of a request failed.

リクエストの受付に失敗したため、接続を切断します

リクエストの受付に失敗したため、接続を切断します。

(S)

IM 構成管理・ビューアーとの接続を切断します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29033-E

The connection with the client will be closed because an error occurred during request processing.

リクエスト処理中にエラーが発生したため、接続を切断します

リクエスト処理中にエラーが発生したため、接続を切断します。

(S)

IM 構成管理・ビューアーとの接続を切断します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29034-E

Communication processing will now end because the connection with the client was closed.

コネクションが切断されたため、通信処理を終了します

コネクションが切断されたため、通信処理を終了します。

(S)

IM 構成管理・ビューアーとの接続を切断します。

(O)

再度 IM 構成管理・ビューアーからログインしてください。

#### KNAN29036-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because of insufficient disk space to update the database.

ディスク容量不足のため、(リクエスト名)リクエストは実行できません

ディスク容量不足のため、リクエストの実行を中止します。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

空きディスク容量が十分に確保されていることを確認し、再実行してください。

#### KNAN29037-E

リクエスト名 failed because the database could not be accessed.

IM 構成管理 DB にアクセスできないため、リクエスト名に失敗しました

IM 構成管理 DB にアクセスできないため、リクエストの実行を中止します。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

IM データベースサービスが起動しているか確認し、再実行してください。

この方法で解決しない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29038-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the logged-in user "ユーザー名" does not have update permission.

ユーザー(ユーザー名)に権限が無いため、(リクエスト名)リクエストは実行できません

ユーザーの権限不足のため、リクエストの実行を中止します。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

必要な権限を割り当てたあと、再実行してください。

#### KNAN29041-E

A request could not be executed. (request = リクエスト名, error code = 詳細情報)  
リクエストは実行できません。(リクエスト: リクエスト名, 詳細情報: 詳細情報)

リクエストの実行に失敗しました。

(S)

リクエストの処理を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 業務グループ更新権の取得

ログインユーザー一覧画面で更新権を取得しているユーザーを確認し、問題がなければ更新権を取得しているユーザーにチェックを入れて【排他編集解除】ボタンをクリックし、更新権を解放します。更新権が解放されたあとに再度実行してください。

上記の以外の詳細情報が出力された場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29045-E

The format of a received request was was invalid. (request = リクエスト名)  
不正なリクエスト形式を受け付けました。(リクエスト: リクエスト名)

不正なリクエスト形式を受け付けました。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29046-E

A received request could not be executed. (request = リクエスト名, error code = エラーコード)  
受信したリクエストは実行できません。(リクエスト: リクエスト名, 詳細情報: エラーコード)

受信したリクエストが実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次の詳細情報が表示された場合は、各対処に従ってください。

- 指定された製品はサポート対象外です  
インストールされている製品のバージョンが 09-00 以上か確認してください。
- IM 構成が反映されていません  
[IM 構成編集] 画面で IM 構成（システムの階層構成）を反映してから、再実行してください。

### KNAN29047-W

A request could not be executed because the database is busy. (request = リクエスト名)  
IM 構成管理 DB がビジー状態のためリクエストが実行できません。(リクエスト: リクエスト名)

IM 構成管理 DB がビジー状態のためリクエストが実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

ほかのユーザーがデータベースを更新中のため、しばらく時間をおいたあと、最新情報に更新してください。

### KNAN29048-E

The JP1/IM - Configuration daemon will now stop because registration of an IM host failed.  
自ホストの登録に失敗したため、IM 構成管理サービスは停止します

自ホストの登録に失敗したため、IM 構成管理サービスは停止します。

(S)

IM 構成管理サービスを停止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN29049-W

The request "リクエスト名" cannot be executed because another user is updating the IM configuration tree.

IM 構成が更新されているため、リクエスト名は実行できません

IM 構成（システムの階層構成）が更新されているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

## KNAN29050-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the profile is locked by another user. ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がプロファイル情報の排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーがプロファイル情報の排他権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN29051-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the host is locked by another user. ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト情報の排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーがホスト情報の排他権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN29052-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the IM configuration is locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成の更新権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーが IM 構成（システムの階層構成）の更新権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN29053-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because IM configuration verification is being performed by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が IM 構成の検証を実行しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーが IM 構成（システムの階層構成）の検証を実行しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 処理が終了したあとに再実行する。

## KNAN29054-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the host "ホスト名" is locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト(ホスト名)のホスト情報の排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーがホスト情報の排他権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。
- 排他権が解放されたあとに再実行する。

## KNAN29055-W

The request "リクエスト名" cannot be executed because another user is updating the host.  
ホスト情報が更新されているため、リクエスト名は実行できません

ホスト情報が更新されているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

## KNAN29056-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the profile for the host "ホスト名" is locked by another user.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト(ホスト名)のプロファイル情報の排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーがプロファイル情報の排他権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。

問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。

- 排他権が解放されたあとに再実行する。

#### KNAN29057-E

"リクエスト名" was forcibly canceled by the user ユーザー名:ホスト名  
ユーザー(ユーザー名: ホスト名)により排他権の強制解除が実行されたため、リクエスト名はキャンセルされました

ユーザーにより排他権の強制解除が実行されたため、実行中の処理はキャンセルされました。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

排他権を取得し直して、再実行してください。

#### KNAN29058-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the lock was forcibly cancelled by the user ユーザー名:ホスト名.  
ユーザー(ユーザー名: ホスト名)により排他権の強制解除が実行されたため、リクエスト名は実行できません

ユーザーにより排他権の強制解除が実行されたため、実行予定の処理は実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

排他権を取得し直して、再実行してください。

#### KNAN29059-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the lock was forcibly released.  
排他権の強制解除を実行したため、リクエスト名は実行できません

排他権の強制解除を実行したため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

排他権を取得し直して、再実行してください。



## KNAN29060-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because processing is in progress.  
処理が実行中のため、リクエスト名は実行できません

処理が実行中のため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

処理が終了したあとに再実行してください。

## KNAN29061-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the IM Configuration is already locked. Release the lock and then try again.

IM 構成の更新権が既に取得されています。更新権を解放後にリクエスト名を再度実行してください

IM 構成（システムの階層構成）の更新権はすでに取得しています。更新権を解放したあとに再実行してください。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

更新権が解放されたあとに再実行してください。

## KNAN29062-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the product "製品名" of the host "ホスト名" has been locked by the user ユーザー名:View ホスト名.

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)がホスト(ホスト名)の製品名の排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーがプロファイルの排他権を取得しているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- [ログインユーザー一覧] 画面で排他権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ、排他権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、排他権を解放する。

- 排他権が解放されたあとに再実行する。

### KNAN29063-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the product "製品名" of host "ホスト名" is being updated by another user.

ホスト(ホスト名)の製品名のプロファイル情報が更新されているため、リクエスト名は実行できません

プロファイル情報が更新されているため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

最新情報に更新して再実行してください。

### KNAN29064-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because an error occurred while trying to acquire the lock.

排他権の取得に失敗したため、リクエスト名は実行できません

排他権の取得に失敗したため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

排他権を取得し直して、再実行してください。

### KNAN29065-W

Initialization of a profile failed.

プロファイルの初期化に失敗しました

プロファイルの初期化に失敗しました。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN29066-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the database was updated.

IM 構成管理 DB が更新されたため、リクエスト(リクエスト名)は実行できません。最新情報に更新してください

IM 構成管理 DB が更新されたため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

最新情報に更新してください。

#### KNAN29067-E

The connection from a client for which login authentication was not performed will now be closed.

ログインされていないクライアントからの接続のため、コネクションを切断します

ログインされていないクライアントからの接続のため、コネクションを切断します。

(S)

処理を継続します。

(O)

ログインしたあと、再実行してください。

#### KNAN29069-E

The request cannot be processed because the database was updated.

IM 構成管理 DB が更新されたため、リクエストは実行できません。最新情報に更新してください

IM 構成管理 DB が更新されたため、リクエストは実行できません。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

最新情報に更新してください。

#### KNAN29070-E

Since startup status of IM database service could not be confirmed, IM configuration management service cannot be started.(Status :ステータス)

IM 構成管理 DB の起動状態を確認できなかったため、IM 構成管理サービスが起動できませんでした。(ステータス: ステータス)

IM 構成管理 DB の起動状態を確認できなかったため、IM 構成管理サービスが起動できませんでした。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

IM 構成管理 DB が起動しているか確認し、再実行してください。

#### KNAN29071-E

The JP1/IM - Configuration daemon is not started because the resource initialization is failed.

リソースの初期化に失敗したため、IM 構成管理デーモンは起動できませんでした。

リソースの初期化に失敗したため、IM 構成管理デーモンは起動できませんでした。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN29080-I

IM 構成管理サービスは IM データベースサービスの起動完了を確認しました

IM 構成管理サービスが IM データベースサービスの起動を確認しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNAN29081-I

IM 構成管理サービスは IM データベースサービスの起動完了を待っています

IM 構成管理サービスは IM データベースサービスの起動完了を待っています。

(S)

IM データベースサービスの起動を待ちます。

#### KNAN29082-E

IM データベースサービスの起動完了を確認できないため、IM 構成管理サービスを起動できません。

要因: 要因

IM データベースサービスの起動完了を確認できなかったため、IM 構成管理サービスを起動できませんでした。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

要因を見て、次の対処をしてください。

- 要因：IM データベースサービスが開始または停止処理中
- 要因：IM データベースサービスが停止中  
jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してから、次の操作をしてください。  
Windows の場合：  
IM データベースサービスを起動してから、再度 JP1/IM - Manager を起動してください。  
UNIX の場合：  
JP1/IM - Manager を停止し、jco\_start コマンドを再実行してください。  
SELinux が有効状態の場合は JP1/IM - Manager を停止した後、jimdbupdate コマンドを実行し、SELinux セキュリティコンテキストを設定してから jco\_start コマンドを再度実行してください。
- 要因：IM データベースサービスが再起動中断状態  
jimdbstop -f を実行し、IM データベースサービスを強制停止してから、次の操作をしてください。  
Windows の場合：  
IM データベースサービスを起動してから、再度 JP1/IM - Manager を起動してください。  
UNIX の場合：  
jco\_start コマンドを再実行してください。
- 要因：IM データベースサービスが未セットアップ  
jcfdbsetup コマンドで IM 構成管理 DB をセットアップしてから、JP1/IM - Manager を起動してください。IM 構成管理サービスを使用しない場合は、jcoimdef コマンドの-cf オプションで IM 構成管理サービスの機能を無効にしてください。
- 要因：状態確認エラー
- 要因：システムエラー  
JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KNAN29083-E

IM 構成管理サービスが起動中のため、処理を実行できません

IM 構成管理サービスが起動中のため処理を実行できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

jco\_spm�\_status コマンドを実行し、jcfmain が起動していることを確認してください。jcfmain が起動していることが確認できたら、再実行してください。

## KNAN29084-E

IM データベースサービスの起動完了を待っているため、処理を実行できません

構成管理サービスが IM データベースサービスの起動完了を待っているため、処理を実行できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認できたら、再実行してください。マネージャーの統合トレースログに KNAN29082-E メッセージが出力されている場合は、KNAN29082-E メッセージの対処方法に従って対処してください。

## KNAN29085-W

Acquisition of the contents of the configuration file "ファイル名" failed.

設定ファイル(ファイル名)の取得に失敗しました

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

設定ファイルが存在しているか確認してください。

## KNAN29086-W

A configuration parameter is invalid. The default value will be assigned. (parameter = キー名, default value = デフォルト値)

設定項目が不正です。デフォルト値を採用します。(項目名:項目名, デフォルト値:デフォルト値)

設定項目が不正なため、デフォルト値を採用します。

(S)

処理を継続します。

(O)

設定が正しく設定されているか確認してください。

## KNAN29087-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because the business group configuration is locked by the user "ユーザー名: View ホスト名".

ユーザー(ユーザー名: View ホスト名)が業務グループの排他権を取得しているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーが業務グループの更新権を取得しているため、操作できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の順番で実行してください。

1. ログインユーザー一覧画面で更新権を取得しているユーザーを確認する。  
問題がなければ更新権を取得しているユーザーにチェックを入れて [排他編集解除] ボタンをクリックし、更新権を解放してください。
2. 更新権が解放されたあとに再度実行する。

## KNAN29088-E

The request "リクエスト名" cannot be executed because another user is updating the Group configuration tree.

他のユーザーが業務グループ構成ツリーの反映を行っているため、リクエスト名は実行できません

ほかのユーザーが業務グループ構成ツリーの反映を行っているため、操作できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ほかのユーザーの業務グループ構成ツリーの反映が完了してから再度実行してください。

## KNAN29090-E

A parameter of the communication encryption function for the IM Configuration Management Service is invalid. (parameter = パラメーター名, parameter value = パラメーター値, cause = 要因)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名:パラメーター名, パラメーター値:パラメーター値, 要因:要因)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターに有効な値が設定されていません。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が空文字です。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値が最大長を超えています。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値に最大長以内の値を設定してください。
- 要因が「パラメーターの値がフルパスではありません。」の場合は、JP1/Base の共通定義のパラメーターの値にフルパスを設定してください。

## KNAN29091-E

Parameters for the communication encryption function for the IM Configuration Management Service could not be collected. (parameter = **パラメーター名**, cause = **要因**)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名:**パラメーター名**, 要因:**要因**)

IM 構成管理サービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「パラメーターが未定義です。」の場合は、JP1/Base の共通定義にパラメーターを設定してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29093-E

The keystore used by the communication encryption function for the IM Configuration Management Service could not be read. (file = **ファイル名**)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。(ファイル名:**ファイル名**)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。



(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次のことを確認し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- キーストアがある場合は、キーストアに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、キーストアに読み込み権限を設定してください。
- キーストアがない場合は、統合トレースログに「キーストアの作成に失敗しました」のメッセージが出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。

## KNAN29094-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the IM Configuration Management Service. (cause = 要因)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「キーストアの秘密鍵またはサーバ証明書が読み込めません。」の場合は、次の確認をしてから JP1/IM - Manager を再起動してください。
  - ・サーバ証明書、およびサーバ証明書に対応した秘密鍵が配置されていることを確認してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KNAN29095-E

An error occurred during the initialization of the communication encryption function for the IM Configuration Management Service. (cause = 要因, file= ファイル名)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。(要因:要因, ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能の初期化処理でエラーが発生しました。

(S)

IM 構成管理サービスを終了します。

(O)

次の要因に従って対処し、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 要因が「ルート証明書ファイルが見つかりません。」の場合は、ルート証明書があるか確認してください。
  - ・ルート証明書がある場合は、ルート証明書に読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、ルート証明書に読み込み権限を設定してください。
  - ・ルート証明書がない場合は、ルート証明書を配置してください。
- 要因が「ルート証明書ファイルが読み込めません。」の場合は、次の確認をしてください。
  - ・ルート証明書のファイルに問題がないことを確認してください。
  - ・次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足がほかに発生していないかを確認してください。
    - ・ Windows の場合：Windows イベントログ
    - ・ UNIX の場合：シスログ (syslog)

## KNAN29097-W

The root authentication certificate used by the communication encryption function for the IM Configuration Management Service is no longer valid. (file = ファイル名)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。(ファイル名:ファイル名)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能で使用するルート証明書が有効期間外です。

(S)

処理を続行します。

(O)

ルート証明書を有効期間外の状態に運用することに問題があるか確認してください。問題がある場合は、ルート証明書を更新してください。

## KNAN29098-E

Failed to encrypt communications by using the communication encryption function for the IM Configuration Management Service. (host name of connection destination = 接続先ホスト名, cause = 要因)

IM 構成管理サービスの通信暗号化機能で暗号化通信に失敗しました。(接続先ホスト名:接続先ホスト名, 要因:要因)

接続先との暗号化通信に失敗しました。

(S)

リクエストの実行を中止します。

(O)

- 要因が「サーバ証明書の CN または SAN と接続先のホスト名が異なります。」の場合は、接続先のマネージャーホストのサーバ証明書の CN または SAN と、接続先ホスト名が同じであることを確認し、再実行してください。
- 要因が「通信エラーが発生しました。」の場合は、次の確認をしてから再実行してください。解決されない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
  - ・統合トレースログに「一部のルート証明書の読み込みに失敗しました」が出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください
  - ・接続先ホストのサーバ証明書に対応するルート証明書がマネージャーホストに配置されているか確認してください。配置されていない場合は、配置してください。
  - ・接続先ホストのサーバ証明書が有効期間内かどうか確認してください。有効期間外の場合は、サーバ証明書を更新してください。
- 要因が「システムエラーが発生しました。」の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN29099-W

"A value set for common definition information (共通定義名) is outside the valid range. The defaultvalue(デフォルト値) will be used."

共通定義情報 (共通定義名)に設定された値が範囲外です。デフォルト値(デフォルト値)を使用します。

共通定義の設定値が範囲外です。

(S)

設定値を無視し、デフォルト値で動作します。

(O)

設定値を見直してください。

## KNAN29900-I

JP1/IM Configuration Management Cluster environment setup will start now.

IM 構成管理の論理ホストの設定処理を開始します。

(S)

IM 構成管理の論理ホストの設定処理を開始します。

## KNAN29901-I

Copying of the configuration files of logical host to the shared disk will start now.

論理ホストの設定ファイルの共有ディスクへのコピー処理を開始します。

(S)

論理ホストの設定ファイルの共有ディスクへのコピー処理を開始します。

#### KNAN29902-I

```
JP1/IM Configuration Management cluster environment setup completed successfully.
```

論理ホスト環境のセットアップに成功しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KNAN29903-E

```
Logical host of JP1/IM-CC is not setup.
```

セントラルコンソールの論理ホスト環境がセットアップされていません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

セントラルコンソールの論理ホスト環境をセットアップしたあと、コマンドを再実行してください。

#### KNAN29904-E

```
Specified shared directory does not exist.
```

指定した共有ディレクトリが存在しません。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

指定した共有ディレクトリを見直した上で、コマンドを再実行してください。

#### KNAN29905-E

```
Failed to get default configuration data.
```

設定情報の取得に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

- (O)  
物理ホストの JP1/Base および JP1/IM - Manager が、正しくインストールおよびセットアップされているか確認してください。

#### KNAN29906-E

Failed to register configuration data.

設定情報の登録に失敗しました。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
物理ホストの JP1/Base および JP1/IM - Manager が、正しくインストールおよびセットアップされているか確認してください。

#### KNAN29907-E

cannot create ディレクトリ名

ディレクトリの作成に失敗しました。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
指定した共有ディレクトリの名称およびアクセス権を確認の上、コマンドを再実行してください。

#### KNAN29909-E

Logical host of JP1/IM-CF is not setup.

IM 構成管理の論理ホスト環境がセットアップされていません。

- (S)  
コマンドの処理を終了します。

- (O)  
IM 構成管理の論理ホスト環境をセットアップしたあと、コマンドを再実行してください。

#### KNAN29910-E

Failed to setup socket bind configuration.

物理ホストの共通定義の設定に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

物理ホストの JP1/Base, JP1/IM - Manager が, 正しくインストール, セットアップされているか確認してください。

#### KNAN29911-I

Updating of JP1/IM-CC configuration files will start now.

セントラルコンソールの定義ファイルの更新処理を開始します。

(S)

セントラルコンソールの定義ファイルの更新処理を開始します。

#### KNAN29912-I

Setting up of socket bind configuration for default environment will start now.

物理ホストの通信設定を開始します。

(S)

物理ホストの通信設定を開始します。

#### KNAN29913-I

The logical host setup processing of JP1/IM-CF will start now.

IM 構成管理の論理ホストの設定処理を開始します。

(S)

IM 構成管理の論理ホストの設定処理を開始します。

#### KNAN29914-E

Failed to update JP1/IM-CC conf files.

セントラルコンソールの設定に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

(O)

セントラルコンソールの共有ディスクがマウントされているか確認し, 再度セットアップを実行してください。

## KNAN29920-I

The JP1/IM - Configuration setup will now start.

IM 構成管理のセットアップコマンドを開始しました。

(S)

処理を続行します。

## KNAN29921-I

The definition file `ファイル名` was relocated.

`ファイル名`のファイルを配置しました。

(S)

処理を続行します。

## KNAN29922-E

'`/opt/jp1base/bin/jbssetcnf`' could not be executed.

`/opt/jp1base/bin/jbssetcnf` コマンドが実行できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/Base および JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

## KNAN29923-I

`ファイル名` was registered in the common definition.

共通定義情報の登録に成功しました。

(S)

処理を続行します。

## KNAN29924-E

`ファイル名` could not be registered in the common definition.

共通定義情報の登録に失敗しました。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

JP1/Base, JP1/IM - Manager が正しくインストールされているか確認してください。

#### KNAN29926-I

JP1/IM-Configuration setup has finished.

IM 構成管理のセットアップコマンドが終了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。

#### KNAN29927-I

JP1/IM-Configuration setup has finished.

IM 構成管理のセットアップコマンドが終了しました。

(S)

コマンドの処理を終了します。



## 2.15 操作ログに出力されるメッセージ (KNAN30000~KNAN30003)

---

### KNAN30000-I

A login operation was successful.

ログインしました

ログインに成功した場合のメッセージです。

### KNAN30001-W

A login operation failed.

ログインに失敗しました

ログインに失敗した場合のメッセージです。

### KNAN30002-I

A logout operation was successful.

ログアウトしました

ログアウトに成功した場合のメッセージです。

### KNAN30003-W

A logout operation failed.

ログアウトに失敗しました

ログアウトに失敗した場合のメッセージです。

## 2.16 IM データベースのメッセージ (KNAN11005~KNAN11215, KFPH00212~KFPH00213, KFPS01850, KFPS05210)

---

### KNAN11005-I

The IM database service will now be set up.  
IM データベースサービスをセットアップします

IM データベースサービスのセットアップを開始するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

### KNAN11006-I

Size of the IM database service : サイズ  
IM データベースサービスのサイズ : サイズ

作成する IM データベースサービスのサイズを通知するメッセージです。

サイズにはセットアップ情報ファイルの項目「IMDBSIZE」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

### KNAN11007-I

The data storage directory of the IM database service : ディレクトリ名  
IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリ : ディレクトリ名

作成する IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリを通知するメッセージです。

ディレクトリ名にはセットアップ情報ファイルの項目「IMDBDIR」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

### KNAN11008-I

Port number of the IM database service : ポート番号  
IM データベースサービスのポート番号 : ポート番号

作成する IM データベースサービスのポート番号を通知するメッセージです。

ポート番号にはセットアップ情報ファイルの項目「IMDBPORT」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11009-Q

Do you want to continue processing? (Y/N):

処理を続行しますか？ (Y/N) :

処理を継続するかユーザーに問い合わせるためのメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

処理を継続する場合はY/y を入力します。処理を中断する場合は、N/n を入力します。

#### KNAN11010-I

Setup will now start.

セットアップを開始します

IM データベースサービスのセットアップ開始を通知するためのメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11011-I

Setup was canceled.

セットアップを終了します

セットアップコマンド実行時に出力された KNAN11009-Q メッセージで、N/n を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11012-I

Setup ended normally.

セットアップは正常に終了しました

IM データベースサービスのセットアップが正常に終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

#### KNAN11013-I

The IM database service will now be installed.

IM データベースサービスをインストールします

IM データベースサービスのインストール開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11014-I

The IM database service was installed.

IM データベースサービスをインストールしました

IM データベースサービスのインストール終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11015-I

The IM database service has already been installed.

IM データベースサービスは既にインストールされています

セットアップコマンド実行時にすでに IM データベースサービスがインストールされている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11016-I

The system database area of the IM database service will now be created.

IM データベースサービスのシステム DB 領域を作成します

IM データベースサービスのシステム DB 領域の作成開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11017-I

The system database area of the IM database service was created.  
IM データベースサービスのシステム DB 領域を作成しました

IM データベースサービスのシステム DB 領域の作成終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11018-I

The system database area of the IM database service has already been created.  
IM データベースサービスのシステム DB 領域は既に作成されています

セットアップコマンド実行時にすでにシステム DB 領域が作成されている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11019-I

The integrated monitoring database area of the IM database service will now be created.  
IM データベースサービスの統合監視 DB 領域を作成します

IM データベースサービスの統合監視 DB 領域の作成開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11020-I

The integrated monitoring database area of the IM database service was created.  
IM データベースサービスの統合監視 DB 領域を作成しました

IM データベースサービスの統合監視 DB 領域の作成終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11021-E

A command option is invalid.  
コマンドの引数が不正です

コマンドの引数が不正の場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

Usage に出力された引数を参照し、正しい引数に変更してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11022-E

Superuser permissions are required to execute the command.

コマンドを実行するためには管理者権限が必要です

コマンドを実行したユーザーに管理者権限がない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

Administrators 権限または root 権限を持つユーザーで実行してください。

#### KNAN11023-E

An internal error occurred. (error code = エラーコード)

内部エラーが発生しました。(エラーコード:エラーコード)

内部エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

エラーコードには、エラーの発生要因コードを出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11024-E

Memory allocation has failed.

メモリの確保に失敗しました

メモリーの確保に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

不要なプログラムを終了してください。

## KNAN11025-E

A message resource could not be obtained.

A resource could not be obtained.

メッセージリソースの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11026-E

A message resource could not be created.

A resource could not be created message.

メッセージリソースの取得でメッセージの組み立てに失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11027-E

A message resource could not be initialized.

A resource could not be initialized.

メッセージリソースの初期化で、メッセージリソースの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11028-I

Please wait.

しばらくお待ちください

コマンドが実行中であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11029-E

Acquisition of the status of the IM database service has failed.

IM データベースサービスの状態取得に失敗しました

サービスコントロールマネージャに登録されている IM データベースサービスのサービス「JP1/IM-Manager DB Cluster Service」と「JP1/IM-Manager DB Server」のサービスの状態取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

- Windows の場合：  
IM データベースサービスのサービス「JP1/IM-Manager DB Cluster Service」と「JP1/IM-Manager DB Server」が登録されていることを確認してください。登録されている場合はサービスを停止し、コマンドを再実行してください。登録されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
- UNIX の場合：  
資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11030-E

A required key is not specified in the setup information file. (key = 項目名)

セットアップ情報ファイルに必須項目が指定されていません。(項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定したセットアップ情報ファイルの項目が不正の場合に出力するメッセージです。

**項目名:**指定の必要な項目

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージの項目名に出力された項目から、セットアップ情報ファイルに指定した項目を指定し、コマンドを再実行する。

## KNAN11031-E

The integrated monitoring database area has already been created.



統合監視 DB のセットアップは既に行われています

セットアップコマンド実行時に統合監視 DB がセットアップ済みの場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合監視 DB を再度セットアップする場合は、統合監視 DB をアンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

## KNAN11032-E

Acquisition of log directory information from common definitions failed.

共通定義からログディレクトリ設定情報を取得できませんでした

共通定義情報からログディレクトリ設定情報が取得できなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホストの場合：

引数に指定したホスト名の JP1/IM - Manager の論理ホストを作成してください。すでに作成されている場合、再度、JP1/IM - Manager の論理ホストを作成してください。解決できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

物理ホストの場合：

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。解決できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11033-E

Log initialization has failed. (code = エラーコード, status = エラーステータス)

ログの初期化に失敗しました。 (code:エラーコード, status:エラーステータス)

HNTRLIB2 によるログの初期化に失敗した場合に出力されるメッセージです。

エラーコードには HNTR2\_Initialize() の戻り値が出力されます。

エラーステータスには HNTR2\_Initialize() の失敗した要因を取得する HNTR2\_GetLastError() の戻り値が出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

「Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2」 サービスが起動していることを確認してから、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力された場合は、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11034-E

An attempt to stop the IM database service has failed.  
IM データベースサービスの停止に失敗しました

IM データベースサービスの停止に失敗した場合に出力されるメッセージです。

HiRDB が不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

- Windows の場合：

IM データベースサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。IM データベースサービスの停止に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。コマンド再実行時に再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- UNIX の場合：

-f オプションを指定して `jimdbstop` コマンドを実行し、IM データベースサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。IM データベースサービスの停止に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。コマンド再実行時に再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11035-E

An attempt to start the IM database service has failed.  
IM データベースサービスの起動に失敗しました

IM データベースサービスの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。

HiRDB が不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

- Windows の場合：

IM データベースサービスを起動してから、コマンドを再実行してください。IM データベースサービスの起動に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- UNIX の場合：

-f オプションを指定して `jimdbstop` コマンドを実行し、IM データベースサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。IM データベースサービスの停止に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。コマンド再実行時に再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

SELinux が有効状態になっている場合は `jimdbupdate` コマンドを実行し、SELinux セキュリティコンテキストを設定してからコマンドを再実行してください。

## KNAN11036-E

The installation directory of the IM database service cannot be created.

IM データベースサービスのインストールディレクトリが作成できません

セットアップコマンドの `-f` オプションに指定したセットアップ情報ファイルで、IM データベースサービスのインストールディレクトリの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップ情報ファイルの項目「IMDBENVDIR」に記載した、IM データベースサービスのインストールディレクトリを、ディレクトリが作成できるパスに変更してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11037-E

The data storage directory of the IM database service cannot be accessed.

IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリにアクセスできません

IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリにアクセスできなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

クラスタ構成の場合、コマンドを実行するホストに共有ディスクが割り当てられているかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11038-E

A key specified in the setup information file is invalid. (key = 項目名)

セットアップ情報ファイルに指定した項目が不正です。(項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、セットアップ情報ファイルの項目の値が不正の場合に出力されるメッセージです。

項目名：不正な項目名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力された項目から、セットアップ情報ファイルに指定した項目の値を見直してから、コマンドを再実行してください。

### KNAN11039-E

The logical host number is duplicated. (key = 項目名)

論理ホスト番号が重複しています。(項目名:項目名)

論理ホスト番号が重複した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホスト番号を変更してから、コマンドを再実行してください。

### KNAN11040-E

The setup information file does not exist.

セットアップ情報ファイルが存在しません

セットアップコマンドの-f オプションに指定したセットアップ情報ファイルが存在しない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップ情報ファイルが存在するかどうか確かめてから、正しいパスを指定してコマンドを再実行してください。

### KNAN11041-E

Installation of the IM database service has failed.

IM データベースサービスのインストールに失敗しました

IM データベースサービスのインストールに失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してください。このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11042-E

Creation of the system database area has failed. Please execute the setup again after the cause of the error is solved, and execute unsetup.

システム DB 領域の作成に失敗しました。エラーの原因を解決し、一度アンセットアップを行ってから、再度セットアップを実行してください

システム DB 領域の作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行し、一度アンセットアップをしてからコマンドを再実行してください。このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11043-E

The data storage directory of the IM database service cannot be made.

IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリが作成できません

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、セットアップ情報ファイルの項目「IMDBDIR」の、IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリが作成できなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップ情報ファイルに指定したディレクトリが作成できるかどうか確認してください。また、ほかのホストの IM データベースのセットアップで同じディレクトリを作成していないか確認してください。すでに同じディレクトリが存在している場合は、別のディレクトリを指定し、コマンドを再実行してください。

## KNAN11044-E

A port number is duplicated. (key = 項目名)

ポート番号が重複しています。(項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、セットアップ情報ファイルの項目「IMDBPORT」に指定したポート番号が重複している場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、システム内で一意となるポート番号を指定してから、コマンドを再実行してください。

- ほかの論理ホストのセットアップで指定したポート番号と重複がないか。
- services ファイルに記載されているポート番号と重複がないか。
- ほかの製品の組み込み HiRDB で使用しているポート番号と重複がないか。
- ほかの製品、OS などが使用する一時ポート番号と重複がないか。

## KNAN11045-E

The content of the setup information file is different from the IM configuration database setup.

(key = 項目名, value = 値)

セットアップ情報ファイルの内容が IM 構成管理 DB 作成時と異なります。(項目名:項目名, 値:値)

統合監視 DB のセットアップ実行時に指定したセットアップ情報ファイルの内容が、IM 構成管理 DB のセットアップ時に指定したセットアップ情報ファイルの内容と異なっている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップコマンドでセットアップ情報ファイルを指定する場合は、セットアップ情報ファイルの内容を IM 構成管理 DB のセットアップ時に指定した値と同じ値に変更し、コマンドを再実行してください。または、セットアップコマンド実行時、-s オプションを指定し、コマンドを再実行してください。

## KNAN11046-E

The service JP1/IM3-Manager DB Server\_論理ホスト名 is not running.

「JP1/IM3-Manager DB Server\_論理ホスト名」サービスが起動していません

コマンド実行時に、IM データベースサービスが起動していない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたサービスが起動しているかどうか確認してください。起動していない場合は、起動させてからコマンドを再実行してください。

#### KNAN11047-E

A key name specified in the setup information file is invalid. (key = 項目名)

セットアップ情報ファイルに指定した項目名が不正です。(項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定したセットアップ情報ファイルの項目名が不正の場合に出力されるメッセージです。

項目名：不正な項目名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力された項目から、セットアップ情報ファイルに指定した項目を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11048-E

A key name specified in the setup information file is duplicated. (key = 項目名)

セットアップ情報ファイルに指定した項目名が重複しています。(項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定したセットアップ情報ファイルの項目が重複している場合に出力されるメッセージです。

項目名：重複している項目名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力された項目から、セットアップ情報ファイルに指定した重複している項目を削除してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11049-E

The [オプション名] option is invalid.

[オプション名]オプションは不正です

指定できないオプションが指定された場合、またはオプション値に値が指定されていない場合に出力されるメッセージです。

オプション：指定不可能なオプション

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11050-E

The [オプション名] option is defined more than once.

[オプション名]オプションが複数回指定されています

オプションが複数回指定された場合に出力されるメッセージです。

オプション：複数回指定されたオプション

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11051-E

An illegal value is specified for the [オプション名] option.

[オプション名]オプションに指定できない値が指定されています

オプションに指定した値が不正の場合に出力されるメッセージです。

オプション：値が不正なオプション

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションの指定値を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11052-E

Acquisition of the installation path from the registry has failed. (error code = エラーコード)

レジストリからインストールパスの取得に失敗しました。(エラーコード:エラーコード)



レジストリから JP1/IM - Manager のインストールパスの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11053-E

An attempt to read a file has failed. (file name = ファイル名)

ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルの読み込みに失敗した場合に出力されるメッセージです。

**ファイル名:** ファイルの読み込みに失敗したファイル名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたファイルが読み込めるかどうかを確認し、読み込める場合は JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。

#### KNAN11054-E

The format of a file is invalid. (file name = ファイル名)

ファイルのフォーマットが不正です。(ファイル名:ファイル名)

ファイルのフォーマットが不正の場合に出力されるメッセージです。

**ファイル名:** フォーマットが不正なファイル名

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてください。

#### KNAN11055-E

An attempt to set an environment variable has failed.

環境変数の設定に失敗しました

IM データベースサービスに接続するための環境変数の設定が失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数に値が設定できることを確認してから、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11056-E

An attempt to write a file has failed. (file name = ファイル名)  
ファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルの書き込みに失敗した場合に出力されるメッセージです。

ファイル名：書き込みに失敗したファイル名

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11057-E

An attempt to copy a file has failed. (file name = ファイル名)  
ファイルのコピーに失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルのコピーに失敗した場合に出力されるメッセージです。

ファイル名：コピーに失敗したファイル名

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11058-E

Processing was interrupted because there is not enough free disk space.  
ディスク容量が不足しているためコマンドの実行を中断します

セットアップ情報ファイルに指定した、IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリに必要な空き容量が不足している場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリのディスクで空き容量を確保するか、必要な空き容量があるディレクトリに変更してコマンドを再実行してください。

## KNAN11059-E

Acquisition of a host name has failed.

ホスト名の取得に失敗しました

OS のホスト名取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

hostname コマンドを実行し、正常にホスト名が出力されることを確認してから、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11060-E

There is not enough free space in the disk containing the installation directory of the IM database service.

IM データベースサービスのインストールディレクトリのディスク容量が不足しています

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、セットアップ情報ファイルの項目「IMDBENVDIR」に指定した IM データベースサービスのインストールディレクトリに必要な空き容量が不足している場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースの環境構築ディレクトリのディスクで空き容量を確保するか、必要な空き容量があるディレクトリに変更してコマンドを再実行してください。

## KNAN11061-E

Processing was interrupted because the IM database service is running.

IM データベースサービスが起動中のため処理を中断します

アンセットアップ実行時に IM データベースサービスが起動中のためエラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。

### KNAN11062-E

Processing was interrupted because at least one file is being used.

一部のファイルが使用中のため処理を中断します

セットアップ実行時にファイルが使用されていたため、エラーが発生したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。

### KNAN11063-E

A file necessary for installing the IM database service is missing.

IM データベースサービスのインストールに必要なファイルが不足しています

セットアップ実行時に、IM データベースサービスのインストールに必要なファイルが削除されていた場合  
に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager を上書きインストールしてから、コマンドを再実行してください。

### KNAN11064-W

Unsetup ended. But file deletion has failed. It is necessary to reboot the OS.

アンセットアップは終了しましたが、ファイルの削除に失敗しました。OS の再起動が必要です

IM データベースサービスのアンインストール時にファイルの削除に失敗した場合に出力されるメッセージ  
です。

(S)

処理を継続します。

(O)

OS を再起動すると、削除に失敗したファイルが削除されます。

## KNAN11065-E

The file **ファイル名** does not exist.

ファイルが存在しません。(ファイル名:ファイル名)

コマンドの実行に必要なファイルが存在しない場合に出力されるメッセージです。

ファイル名：HiRDB の設定ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたファイルが存在するかどうかを確認し、存在しない場合は JP1/IM - Manager を再インストールしてください。ファイルが存在する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11066-I

Installation directory of the IM database service : **ディレクトリ名**

IM データベースサービスのインストールディレクトリ : **ディレクトリ名**

作成する IM データベースサービスのインストールディレクトリを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11067-E

Creation of an RD area has failed.

RD エリアの作成に失敗しました

RD エリアの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11068-E

Creation of a table has failed.

テーブルの作成に失敗しました

テーブルの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11069-E

The data storage directory of the IM database service cannot be made on a shared disk.  
共有ディスクに IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリが作成できません

セットアップコマンドの-f オプションに指定したセットアップ情報ファイルの項目「SHAREDDBDIR」の共有ディスクの IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリが作成できなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップ情報ファイルに指定したディレクトリが作成できるかどうか確認してください。また、ほかのホストの IM データベースのセットアップで同じディレクトリを作成していないか確認してください。すでに同じディレクトリが存在している場合は、別のディレクトリを指定して、コマンドを再実行してください。

## KNAN11070-E

Registration of a stored function has failed.  
ストアドファンクションの登録に失敗しました

ストアドファンクションの登録に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11071-E

Other commands of the IM database service are executing.  
他の IM データベースサービス運用コマンドが実行中です

コマンド実行時に、IM データベースサーバですでにほかのコマンドが実行されている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースサーバでのほかのコマンドの終了を待ってから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11074-I

The IM configuration database area of the IM database service will now be created.

IM データベースサービスの IM 構成管理 DB 領域を作成します

統合監視 DB 領域の作成開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11075-I

The IM configuration database area of the IM database service was created.

IM データベースサービスの IM 構成管理 DB 領域を作成しました

統合監視 DB 領域の作成終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11076-E

The IM configuration database area has already been created.

IM 構成管理 DB のセットアップは既に行われています

IM 構成管理 DB がセットアップ済みの場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM 構成管理 DB を再度セットアップする場合は、IM 構成管理 DB をアンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

#### KNAN11077-E

The specified logical host **ホスト名** does not exist.

指定された論理ホスト名[ホスト名]が存在しません

コマンド実行時に指定された論理ホスト名が存在しない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager の論理ホストが設定されていることを確認してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11078-E

Creation of the integrated monitoring database area has failed. Please execute the setup again after the cause of the error is solved, and execute unsetup.

統合監視 DB 領域の作成に失敗しました。エラーの原因を解決し、一度アンセットアップを行ってから、再度セットアップを実行してください

セットアップ時に統合監視 DB 領域の作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行し、一度アンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

このメッセージが統合トレースログに出力されている場合は、コンソールに出力されているメッセージの対処を実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11079-E

Creation of the IM configuration database area has failed. Please execute the setup again after the cause of the error is solved, and execute unsetup.

IM 構成管理 DB 領域の作成に失敗しました。エラーの原因を解決し、一度アンセットアップを行ってから、再度セットアップを実行してください

IM 構成管理 DB 領域の作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行し、一度アンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

このメッセージが統合トレースログに出力されている場合は、コンソールに出力されているメッセージの対処を実行してください。



このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11080-E

The specified set-up type is different from the currently set-up type.

セットアップ済み環境のセットアップ種別と異なるセットアップ種別が指定されています

実行系でセットアップしたホスト上で、コマンドに `-c standby` オプションを指定した場合、または待機系でセットアップしたホスト上で、コマンドに `-c online` オプションを指定した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数を見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11081-E

The content of the setup information file is different from the integrated monitoring database setup. (key = 項目名, value = 値)

セットアップ情報ファイルの内容が統合監視 DB 作成時と異なります。(項目名:項目名, 値:値)

IM 構成管理 DB のセットアップ実行時に指定した、セットアップ情報ファイルの内容が、統合監視 DB のセットアップ時に指定したセットアップ情報ファイルの内容と異なっている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップコマンドでセットアップ情報ファイルを指定する場合は、セットアップ情報ファイルの内容を統合監視 DB のセットアップ時に指定した値と同じ値に変更してから、コマンドを再実行してください。または、セットアップコマンド実行時、`-s` オプションを指定してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11082-E

A network drive cannot be specified.

ネットワークドライブは指定できません

指定したパスが、ネットワークドライブの場合に出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

DB セットアップコマンドの場合は、IMDBDIR, IMDBENVDIR, SHAREDDBDIR のどれかにネットワークドライブのパスを指定していないか確認してください。

DB バックアップリカバリコマンドの場合は、引数に指定したパスにネットワークドライブのパスを指定していないか確認してください。

## KNAN11083-E

A file name reserved by Windows cannot be specified.

Windows の予約ファイル名は指定できません

指定したパスに Windows の予約ファイル名が含まれている場合に出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

DB セットアップコマンドの場合は、IMDBDIR, IMDBENVDIR, SHAREDDBDIR のどれかに Windows の予約ファイル名が含まれていないか確認してください。

DB バックアップリカバリコマンドの場合は、引数に指定したパスに Windows の予約ファイル名が含まれていないか確認してください。

## KNAN11084-E

Creation of a database file system area has failed.

DB ファイルシステム領域の作成に失敗しました

DB ファイルシステム領域の作成に失敗した場合に出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、次の内容を確認し、一度アンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

- IMDBDIR に指定したパスのファイルシステムがラージファイルに対応しているか。
- カーネルパラメーターが適切に設定されているか。
- LOGICALHOSTNAME または ONLINEHOSTNAME に指定したホスト名に誤りはないか。指定したホスト名が正しく `hosts` ファイルに設定されているか。

## KNAN11085-E

The service JP1/IM3-Manager database Cluster Service\_論理ホスト名 is running.  
「JP1/IM3-Manager DB Cluster Service\_論理ホスト名」サービスが起動しています

コマンド実行時に IM データベースサービスのクラスタ用サービスが起動している場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたサービスを停止してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11086-E

Could not start setup.  
セットアップを開始できませんでした

セットアップの開始に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してから、コマンドを再実行してください。このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11087-W

Deletion of the file ファイル名 has failed.  
ファイルの削除に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルの削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

コマンドが終了したあと、メッセージに出力されたファイルを削除してください。

## KNAN11088-E

Deletion of the file ファイル名 has failed.  
ファイルの削除に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルの削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11089-E

```
Creation of the directory ディレクトリ名 has failed.  
ディレクトリの作成に失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名)
```

ディレクトリの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたディレクトリが作成できるか確認してください。

## KNAN11090-I

```
The integrated monitoring database was created. (host name = ホスト名, database size = サ  
イズ, port number = ポート番号, database storage directory = DB 格納先, database installation  
directory = DB 環境構築先, database storage directory [SHARE] = 共有ディスクの DB 格納先)  
統合監視 DB を作成しました。(ホスト名:ホスト名 サイズ:サイズ ポート番号:ポート番号 DB 格納  
先:DB 格納先 DB 環境構築先:DB 環境構築先 DB 格納先[共有]:共有ディスクの DB 格納先)
```

作成した統合監視 DB の情報を出力するメッセージです。

**ホスト名**：論理ホストの場合は論理ホスト名を出力，物理ホストの場合は(JP1\_DEFAULT)を出力

**サイズ**：DB サイズを出力

**ポート番号**：ポート番号を出力

**DB 格納先**：DB 格納先を出力

**DB 環境構築先**：データベースのインストール先を出力

**共有ディスクの DB 格納先**：クラスタ環境の場合は共有ディスクに作成したデータベースの格納先を出力。  
物理ホストの場合は空文字を出力

(S)

処理を継続します。

## KNAN11091-I

The integrated monitoring database was deleted. (host name = ホスト名, database size = サイズ, port number = ポート番号, database storage directory = DB 格納先, database installation directory = DB 環境構築先, database storage directory [SHARE] = 共有ディスクの DB 格納先)  
統合監視 DB を削除しました。(ホスト名:ホスト名 サイズ:サイズ ポート番号:ポート番号 DB 格納先:DB 格納先 DB 環境構築先:DB 環境構築先 DB 格納先[共有]:共有ディスクの DB 格納先)

削除した統合監視 DB の情報を出力するメッセージです。

**ホスト名**：論理ホストの場合は論理ホスト名を出力，物理ホストの場合は(JP1\_DEFAULT)を出力

**サイズ**：DB サイズを出力

**ポート番号**：ポート番号を出力

**DB 格納先**：DB 格納先を出力

**DB 環境構築先**：データベースのインストール先を出力

**共有ディスクの DB 格納先**：クラスタ環境の場合は共有ディスクに作成したデータベースの格納先を出力。  
物理ホストの場合は空文字を出力

(S)

処理を継続します。

## KNAN11092-I

The IM configuration database was created. (host name = ホスト名, database size = サイズ, port number = ポート番号, database storage directory = DB 格納先, database installation directory = DB 環境構築先, database storage directory [SHARE] = 共有ディスクの DB 格納先)  
IM 構成管理 DB を作成しました。(ホスト名:ホスト名 サイズ:サイズ ポート番号:ポート番号 DB 格納先:DB 格納先 DB 環境構築先:DB 環境構築先 DB 格納先[共有]:共有ディスクの DB 格納先)

作成した IM 構成管理 DB の情報を出力するメッセージです。

**ホスト名**：論理ホストの場合は論理ホスト名を出力，物理ホストの場合は(JP1\_DEFAULT)を出力

**サイズ**：DB サイズを出力

**ポート番号**：ポート番号を出力

**DB 格納先**：DB 格納先を出力

**DB 環境構築先**：データベースのインストール先を出力

**共有ディスクの DB 格納先**：クラスタ環境の場合は共有ディスクに作成したデータベースの格納先を出力。  
物理ホストの場合は空文字を出力

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11093-I

The IM configuration database was deleted. (host name = ホスト名, database size = サイズ, port number = ポート番号, database storage directory = DB 格納先, database installation directory = DB 環境構築先, database storage directory [SHARE] = 共有ディスクの DB 格納先)  
IM 構成管理 DB を削除しました。(ホスト名:ホスト名 サイズ:サイズ ポート番号:ポート番号 DB 格納先:DB 格納先 DB 環境構築先:DB 環境構築先 DB 格納先[共有]:共有ディスクの DB 格納先)

削除した IM 構成管理 DB の情報を出力するメッセージです。

ホスト名：論理ホストの場合は論理ホスト名を出力，物理ホストの場合は(JP1\_DEFAULT)を出力

サイズ：DB サイズを出力

ポート番号：ポート番号を出力

DB 格納先：DB 格納先を出力

DB 環境構築先：データベースのインストール先を出力

共有ディスクの DB 格納先：クラスタ環境の場合は共有ディスクに作成したデータベースの格納先を出力。  
物理ホストの場合は空文字を出力

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11094-E

Other processes are accessing the IM database service.  
他のプロセスが IM データベースサービスにアクセス中です

コマンド実行時に他プロセスが IM データベースサービスにアクセス中のため，コマンドが実行できないことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager サービスを停止してから，コマンドを再実行してください。

または，ほかの DB 運用コマンドが実行中でないか確認し，コマンドが終了したあとに再実行してください。

## KNAN11095-I

Shared disk for data storage directory of the IM database service: 共有ディスクの格納先  
共有ディスクの IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリ : 共有ディスクの格納先

クラスタのセットアップで、作成する IM データベースサービスの共有ディスクのデータ格納ディレクトリを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11096-E

JP1\_DEFAULT is specified for the hostname.  
ホスト名に JP1\_DEFAULT は指定できません

引数に指定できない文字列を指定したときに表示されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数を見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11097-E

There is not enough free space on the disk containing the data storage directory of the IM database service. (key = 項目名, necessary size = 容量 Mbyte)  
IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリのディスク容量が不足しています。(項目名:項目名 必要なサイズ:容量 Mbyte)

セットアップ情報ファイルに記載した、IM データベースサービスのデータ格納ディレクトリおよび共有のデータ格納ディレクトリに、IM データベースサービスを作成するために必要なディスク容量が存在しない場合に出力されるメッセージです。

項目名 : IMDBDIR, または, SHAREDDBDIR

必要なサイズ : IM データベースサービスを作成するのに必要な容量 (メガバイト)

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- 指定するディレクトリを空き容量が存在するディスクに変更する。

- 指定したディレクトリに、メッセージに出力されたサイズの空き容量を確保する。

## KNAN11098-W

An attempt to change the startup type of the service JP1/IM3-Manager database Server\_論理  
ホスト名 has failed.

「JP1/IM3-Manager DB Server\_論理ホスト名」サービスのスタートアップの種類の変更に失敗しました

メッセージに出力されたサービス名のサービスのスタートアップの種類を「自動」から「手動」への変更に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

コマンドの正常終了後に、サービスを管理する画面からメッセージに出力されたサービスのスタートアップの種類を、「自動」から「手動」に変更してください。

## KNAN11099-E

Initialization of common definitions has failed.

共通定義の初期化に失敗しました

共通定義情報の初期化に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11100-I

Unsetup of the IM database service will now be performed.

IM データベースサービスをアンセットアップします

IM データベースサービスのアンセットアップを開始するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11101-I

Unsetup will now start.

アンセットアップを開始します



IM データベースサービスのアンセットアップ処理を開始するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11102-I

The integrated monitoring database area of the IM database service will now be deleted.  
IM データベースサービスの統合監視 DB 領域を削除します

統合監視 DB 領域の削除開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11103-I

The integrated monitoring database area of the IM database service was deleted.  
IM データベースサービスの統合監視 DB 領域を削除しました

統合監視 DB 領域の削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11104-I

The system database area of the IM database service will now be deleted.  
IM データベースサービスのシステム DB 領域を削除します

システム DB 領域の削除開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11105-I

The system database area of the IM database service was deleted.  
IM データベースサービスのシステム DB 領域を削除しました

システム DB 領域の削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11106-I

The IM database service will now be uninstalled.

IM データベースサービスをアンインストールします

IM データベースサービスのアンインストール開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11107-I

The IM database service was uninstalled.

IM データベースサービスをアンインストールしました

IM データベースサービスのアンインストール終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11108-I

Unsetup ended normally.

アンセットアップは正常に終了しました

IM データベースサービスのアンセットアップが正常に終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

## KNAN11109-E

The IM database service is not set up.

IM データベースサービスがセットアップされていません

セットアップコマンドが実行できていない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN11110-I

Unsetup was canceled.

アンセットアップを終了します

アンセットアップコマンド実行時に出力された KNAN11009-Q メッセージに対して、N/n を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11111-I

The system database area of the IM database service will not be deleted.

IM データベースサービスのシステム DB 領域は削除しません

システム DB 領域を削除しないことを通知するメッセージです。次のどちらかの場合に出力されます。

- 統合監視 DB のアンセットアップコマンド実行時に、IM 構成管理 DB がセットアップされている場合
- IM 構成管理 DB のアンセットアップコマンド実行時に、統合監視 DB がセットアップされている場合

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11112-I

The IM database service will not be uninstalled.

IM データベースサービスのアンインストールは実行しません

IM データベースサービスをアンインストールしないことを通知するメッセージです。次のどちらかの場合に出力されます。

- 統合監視 DB のアンセットアップコマンド実行時に、IM 構成管理 DB がセットアップされている場合
- IM 構成管理 DB のアンセットアップコマンド実行時に、統合監視 DB がセットアップされている場合

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11113-E

The integrated monitoring database is not set up.

統合監視 DB がセットアップされていません

IM 構成管理 DB だけがセットアップされている環境で、統合監視 DB 領域のアンセットアップコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN11114-E

Deletion of a system database area has failed.

システム DB 領域の削除に失敗しました

システム DB 領域の削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してから、コマンドを再実行してください。このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11115-E

Uninstallation of the IM database service has failed.

IM データベースサービスのアンインストールに失敗しました

IM データベースサービスのアンインストールに失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してから、コマンドを再実行してください。

問題が解決しない場合はマシンを再起動し、コマンドを再実行してください。

再び同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11116-E

An attempt to update the setup list has failed.

セットアップリストの更新に失敗しました

セットアップリストの更新に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11117-E

The IM database service is running.  
IM データベースサービスが起動しています

IM データベースサービスのアンインストール時に IM データベースサービスが起動している場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11118-E

The specified path is invalid.  
指定したパスの形式が不正です

指定したパスが相対パスである場合、指定したパスの区切り文字が不正であるときに出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、コマンドを再実行してください。

- 相対パスを指定していないか。
- パスの区切り文字が重複していないか。
- Windows の場合、ファイル名の末尾に「.」や半角空白が付加されていないか。

## KNAN11119-W

Deletion of at least one file has failed. (directory name = ディレクトリ名)  
一部のファイルの削除に失敗しました。(ディレクトリ名:ディレクトリ名)

メッセージに出力されたディレクトリ内のファイルの削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

コマンドが終了したあとに、メッセージに出力されたディレクトリを削除してください。

## KNAN11120-E

Acquisition of a file has failed. (file name:ファイル名)  
ファイルの取得に失敗しました。(ファイル名:ファイル名)

ファイルの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたファイルを確認し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11121-E

The IM configuration database is not set up.  
IM 構成管理 DB がセットアップされていません

統合監視 DB だけがセットアップされている環境で、IM 構成管理 DB 領域のアンセットアップコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN11122-E

Deletion of the integrated monitoring database area has failed.  
統合監視 DB 領域の削除に失敗しました

統合監視 DB 領域の削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

IM 構成管理 DB を使用している場合は、IM 構成管理 DB をアンセットアップしたあと、システムを再起動して IM データベースのアンセットアップを完了させてください。

IM 構成管理 DB を使用していない場合は、システムを再起動して IM データベースのアンセットアップを完了させてください。

## KNAN11123-E

Deletion of the IM configuration database area has failed.  
IM 構成管理 DB 領域の削除に失敗しました

IM 構成管理 DB 領域の削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

統合監視 DB を使用している場合は、統合監視 DB をアンセットアップしたあと、システムを再起動して IM データベースのアンセットアップを完了させてください。

統合監視 DB を使用していない場合は、システムを再起動して IM データベースのアンセットアップを完了させてください。

## KNAN11124-I

The IM configuration database area of the IM database service will now be deleted.  
IM データベースサービスの IM 構成管理 DB 領域を削除します

IM 構成管理 DB 領域の削除開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11125-I

The IM configuration database area of the IM database service was deleted.  
IM データベースサービスの IM 構成管理 DB 領域を削除しました

IM 構成管理 DB 領域の削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11140-E

An error occurred while the IM database service was being installed. (error code:エラーコード)  
IM データベースサービスのインストール中にエラーが発生しました。(エラーコード:エラーコード)

IM データベースサービスのインストール中にエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のエラーコードが表示された場合は、各対処に従ってください。

- エラーコード：02

何らかのプロセス（イベントビューアーやウィルススキャン、バックアップソフトなど）によって IM データベースサービスのファイルが使用されているため、更新できないファイルがあります。マシンを再起動し、イベントビューアーやウィルススキャン、バックアップソフトなどを起動してい

ない状態で、コマンドを再実行してください。コマンドのオプションにセットアップ情報ファイルを指定している場合は、コマンドを再実行する際に、セットアップ情報ファイルの内容を変更しないでください。

- エラーコード：02 以外

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合は、そのメッセージの対処を実行し、マシンを再起動してからコマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、次の内容を確認し、マシンを再起動してからコマンドを再実行してください。

- IMDBDIR に指定したパスのファイルシステムがラージファイルに対応しているか。
- カーネルパラメーターが適切に設定されているか。
- LOGICALHOSTNAME または ONLINEHOSTNAME に存在しないホスト名を指定していないか。
- LOGICALHOSTNAME に指定したホストに結び付けられた論理 IP が有効になっているか。

上記の対処をしても再び同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11141-E

An error occurred while the system DB area was being created. (error code:エラーコード)  
システム DB 領域の作成中にエラーが発生しました。(エラーコード:エラーコード)

システム DB 領域の作成中にエラーが発生した場合に出力するメッセージです。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

次の内容を確認し、一度アンセットアップしてからコマンドを再実行してください。

- IMDBDIR に指定したパスのファイルシステムがラージファイルに対応しているか。
- カーネルパラメーターが適切に設定されているか。
- LOGICALHOSTNAME または ONLINEHOSTNAME に存在しないホスト名を指定していないか。
- LOGICALHOSTNAME に指定したホストに結び付けられた論理 IP が有効になっているか。
- IM データベースをセットアップする物理ホストまたは論理ホストのホスト名が次の条件に合致しているか。次の条件に合致していない場合は条件に合致するホスト名を設定してください。ホスト名は OS 再起動を実施しても変更されないように設定してください。
  - 物理ホスト名  
半角英数字、半角ハイフン (-)、ピリオド (.) で構成される 32 文字以内の文字列であること。
  - 論理ホスト名  
半角英数字、半角ハイフン (-) で構成される 32 文字以内の文字列であること。



## KNAN11142-E

An error occurred while the IM database service was being uninstalled. (error code:エラーコード)

IM データベースサービスのアンインストール中にエラーが発生しました。(エラーコード:エラーコード)

IM データベースサービスのアンインストール中に、エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してから、コマンドを再実行してください。このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、システムを再起動してから、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11143-E

Configuration of the IM database service is invalid.

IM データベースサービスの構成が不正です

IM データベースサービスのファイル構成が、不正な状態になっている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースのインストールディレクトリ、またはデータ格納ディレクトリが参照できるかどうかを確認し、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力される場合は、IM データベースサービスを一度アンセットアップし、再度セットアップしてください。

## KNAN11144-W

Configuration of the IM database service is invalid.

IM データベースサービスの構成が不正です

アンセットアップ時に、IM データベースサービスのファイル構成が不正な状態になっている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

メッセージ「KNAN11009-Q」で処理を中断後、次の項目を確認してから、再度アンセットアップを実行してください。

- IM データベースのインストールディレクトリ、またはデータ格納ディレクトリにファイルが残っていないか確認してください。ファイルが残っている場合は、ファイルをすべて消去してください。
- クラスタ環境の実行系でアンセットアップを実行した場合は、共有ディスクがマウントされているか確認してください。共有ディスクがマウントされていない場合はマウントしてください。

メッセージ「KNAN11009-Q」で中断しないで処理を継続した場合は、IM データベースサービスのアンセットアップを完了するために、システムを再起動してください。

## KNAN11145-E

The file or directory cannot be accessed. (path name = パス名)

ファイルまたはディレクトリにアクセスできません。(パス名:パス名)

ファイルまたはディレクトリにアクセスできなかった場合に出力されるメッセージです。

パス名: アクセスできなかったファイルまたはディレクトリのパス名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたパス名にアクセスできるか確認してください。メッセージに出力されたパス名が共有ディスクを示している場合は、共有ディスクにアクセスできるか確認してください。

## KNAN11146-I

Logical host name: 論理ホスト名

論理ホスト名: 論理ホスト名

作成する IM データベースサービスの論理ホスト名を通知するメッセージです。

論理ホスト名にはセットアップ情報ファイルの項目「LOGICALHOSTNAME」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

## KNAN11147-I

Online host name: 実行系のホスト名

実行系のホスト名: 実行系のホスト名

作成する IM データベースサービスの実行系のホスト名を通知するメッセージです。

実行系のホスト名にはセットアップ情報ファイルの項目「ONLINEHOSTNAME」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11148-I

Logical host number: 論理ホスト番号

論理ホスト番号 : 論理ホスト番号

作成する IM データベースサービスの論理ホスト番号を通知するメッセージです。

論理ホスト番号にはセットアップ情報ファイルの項目「LOGICALHOSTNUMBER」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11150-I

The IM database service will now be backed up.

IM データベースサービスのバックアップを開始します

IM データベースサービスのバックアップ開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11151-I

The IM database service was successfully backed up.

IM データベースサービスのバックアップは正常に終了しました

IM データベースサービスのバックアップ終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11152-E

An attempt to back up the IM database service has failed.

IM データベースサービスのバックアップに失敗しました

IM データベースサービスのバックアップに失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11153-I

The IM database service will now be recovered.

IM データベースサービスのリカバリーを開始します

IM データベースサービスのリカバリー開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11154-I

The IM database service was successfully recovered.

IM データベースサービスのリカバリーは正常に終了しました

IM データベースサービスのリカバリー終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11155-E

Recovery of the IM database service has failed.

IM データベースサービスのリカバリーに失敗しました

IM データベースサービスのリカバリーに失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11156-E

The backup file does not exist.

バックアップファイルが存在しません

リカバリーコマンド実行時に-i オプションに指定したバックアップファイルが存在しない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

-i オプションに指定したバックアップファイル名を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11157-E

The specified recovery format is different from the format of the backup data.

バックアップデータ形式と異なるリカバリー形式が指定されています

次のどちらかの場合に出力されるメッセージです。

- 障害復旧用にバックアップしたデータを拡張用のリカバリーコマンドで指定した場合
- 拡張用にバックアップしたデータを障害復旧用のリカバリーコマンドで指定した場合

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンドの引数、またはバックアップファイルを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11158-I

The IM database service will now be reorganized.

IM データベースサービスの再編成を開始します

IM データベースサービスの再編成開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11159-I

The IM database service was successfully reorganized.

IM データベースサービスの再編成は正常に終了しました

IM データベースサービスの再編成終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11160-E

Reorganization of the IM database service has failed.

IM データベースサービスの再編成に失敗しました

IM データベースサービスの再編成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11161-I

The unused area of the IM database service will now be deallocated.

IM データベースサービスの空き領域解放を開始します

IM データベースサービスの空き領域解放開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11162-I

The unused area of the IM database service was successfully deallocated.

IM データベースサービスの空き領域解放は正常に終了しました

IM データベースサービスの空き領域解放終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11163-E

Deallocation of the unused area of the IM database service has failed.

## IM データベースサービスの空き領域解放に失敗しました

IM データベースサービスの空き領域解放に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN11164-E

The configuration of the IM database service is different than from when the backup was performed.

バックアップ時と IM データベースサービスの構成が違います

障害復旧用のリカバリーコマンド実行時の DB サイズや DB セットアップ構成が、障害復旧用のバックアップ取得時の構成と異なる場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

バックアップ取得時と同じ DB セットアップ構成にしてから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11165-E

A directory with the same name already exists. (directory name = ディレクトリ名)

同一名称のディレクトリが既に存在します。(ディレクトリ名:ディレクトリ名)

バックアップファイルと同名のディレクトリが存在する場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

バックアップファイル名を変更してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11166-E

A directory cannot be specified.

ディレクトリは指定できません

指定したパスが、ディレクトリ名の場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11167-E

A UNC path name cannot be specified.

UNC パス名は指定できません

指定したパスが UNC パス形式のパスの場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11168-E

A stream name cannot be specified.

ストリーム名は指定できません

指定したパスが、ストリーム形式の場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11169-W

A backup file with the same name already exists. The existing file will be overwritten.

同名のバックアップファイルが既に存在します。バックアップファイルは上書きされます

バックアップコマンド実行時に、出力するバックアップファイル名と同一のファイル名が存在するため、既存のファイルが上書きされることを通知するメッセージです。このメッセージが出力されたあとに、処理を継続するかどうかのユーザー問い合わせ「KNAN11009-Q」が出力されます。

(S)

処理を継続します。



(O)

処理を続行する場合は、このメッセージのあとに出力される「KNAN11009-Q」でY/yを入力してください。処理を中止する場合は、このメッセージのあとに出力される「KNAN11009-Q」でN/nを入力してください。

#### KNAN11170-E

The specified path is too long. (path size = パスの最大長)  
指定したパスが長すぎます。(パス最大長:パスの最大長)

指定したパスが、指定できるバイト長を超えた場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11171-E

Creation of the directory for storing backup files has failed.  
バックアップファイル格納先ディレクトリの作成に失敗しました

バックアップコマンドの-o オプションに指定したバックアップファイルを格納するディレクトリの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

バックアップファイルを格納するディレクトリを、バックアップファイルが格納できるディレクトリパスに変更してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11172-E

An internal error occurred while the IM database service was being backed up.  
IM データベースサービスのバックアップ中にエラーが発生しました

IM データベースサービスのバックアップ処理中に予期しないエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、コマンドを再実行してください。

- バックアップファイル出力先に指定したパスは正しいか。
- バックアップファイル出力先のディレクトリに書き込みできるか。
- バックアップファイル出力先と同名のディレクトリがあるか。

#### KNAN11173-E

An internal error occurred while the IM database service was being recovered.

IM データベースサービスのリカバリー中にエラーが発生しました

IM データベースサービスのリカバリー中に予期しないエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

MAINT の場合、次の内容を確認し、コマンドを再実行してください。

- 同じ OS で取得したバックアップファイルを指定しているか。
- バックアップ取得時と同じ DB 構成か。
- 現在の IM データベースのセットアップ情報ファイルはバックアップ取得時と同じか。

EXPAND の場合、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.5.3(60) 拡張リカバリーに失敗した場合の対処手順」を参照してください。

#### KNAN11174-E

An internal error occurred while the IM database service was being reorganized.

IM データベースサービスの再編成中にエラーが発生しました

IM データベースサービスの再編成中に予期しないエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースのインストールディレクトリに十分な空き容量があるか確認し、コマンドを再実行してください。

#### KNAN11175-E

An internal error occurred while unused area of the IM database service was being deallocated.

IM データベースサービスの空き領域解放中にエラーが発生しました

IM データベースサービスの空き領域解放中に予期しないエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11176-I

The backup was canceled.

バックアップを終了します

バックアップコマンド実行時に出力された「KNAN11009-Q」でN/nを入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11177-I

The reorganization was canceled.

再編成を終了します

再編成コマンド実行時に出力された「KNAN11009-Q」でN/nを入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11178-I

Deallocation of the unused area of the IM database service was canceled.

空き領域解放を終了します

空き領域解放コマンド実行時に出力された「KNAN11009-Q」でN/nを入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11179-I

Processing to start the IM database service will now start.

IM データベースサービスの起動処理を開始します

IM データベースサービスの起動処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11180-I

Processing to start the IM database service ended normally.

IM データベースサービスの起動処理は正常に終了しました

IM データベースサービスの起動処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11181-I

Processing to start or stop the IM database service is in progress.

IM データベースサービスは開始処理中、または停止処理中です

IM データベースサービスの状態が起動処理中または停止処理中であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11182-I

The IM database service is running.

IM データベースサービスは稼働中です

IM データベースサービスの状態が稼働状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11183-I

The IM database service is stopped.

IM データベースサービスは停止中です

IM データベースサービスの状態が停止状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11184-I

The IM database service started normally.

IM データベースサービスを開始しました

IM データベースサービスが起動したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11185-I

Processing to stop the IM database service will now start.

IM データベースサービスの停止処理を開始します

IM データベースサービスの停止処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11186-I

Processing to stop the IM database service ended normally.

IM データベースサービスの停止処理は正常に終了しました

IM データベースサービスの停止処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11187-I

The IM database service stopped normally.

IM データベースサービスを停止しました

IM データベースサービスが停止したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11188-I

The status of the IM database service will now be confirmed.

IM データベースサービスの稼働状態確認処理を開始します

IM データベースサービスの稼働状態確認処理の開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11189-I

The status of the IM database service was successfully confirmed.

IM データベースサービスの稼働状態確認処理は正常に終了しました

IM データベースサービスの稼働状態確認処理の終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11190-W

The IM database service is stopped (restarting was interrupted).

IM データベースサービスは中断状態です

IM データベースサービスの状態が中断状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

`jimdbstop -f` コマンドを使用して IM データベースサービスを強制停止してから、IM データベースを再起動してください。

#### KNAN11191-E

An internal error occurred during confirmation of the status of the IM database service.

IM データベースサービスの稼働状態確認処理に失敗しました

IM データベースサービスの稼働状態確認に失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM データベースのインストールディレクトリまたはデータ格納ディレクトリが参照できるかどうかを確認し、コマンドを再実行してください。再び同じメッセージが出力される場合は、IM データベースサービスを一度アンセットアップしてから、再度セットアップしてください。

## KNAN11192-E

Please execute this command from an administrator console.

管理者コンソールからコマンドを実行してください

UAC 対応で管理者権限がない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN11193-E

The IM database service is not set up. It is necessary to specify the option (オプション名).

IM データベースサービスが未セットアップのためオプション名の指定が必要です

データベースがセットアップされていない場合は、-f オプションの指定が必要です。-s オプションは指定できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数を見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN11194-I

The recovery was canceled.

リカバリを終了します

リカバリコマンド実行時に出力された KNAN11009-Q メッセージで、N/n を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN11195-E

The specified directory does not exist.

指定したディレクトリは存在しません

指定したディレクトリがなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたディレクトリがあるか確認してください。

#### KNAN11196-E

The directory for storing backup files does not exist.  
バックアップファイル格納先ディレクトリが存在しません

指定したバックアップ情報ファイルを格納するディレクトリがなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたディレクトリがあるか確認してください。

#### KNAN11197-I

The IM database service will now be updated.  
IM データベースサービスのアップデートを開始します

IM データベースサービスのアップデートを開始します。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11198-I

The IM database service was successfully updated.  
IM データベースサービスのアップデートは正常に終了しました

IM データベースサービスのアップデートは正常に終了しました。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11199-E

Failed to update the IM database service.  
IM データベースサービスのアップデートに失敗しました

IM データベースサービスのアップデートに失敗しました。

(S)

処理を中断します。



(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージを対処してから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11200-I

The update was canceled.  
アップデートを終了します

アップデートを終了します。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN11201-I

The IM database service is the latest.  
IM データベースサービスは最新の状態です

IM データベースサービスは最新の状態です。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN11202-I

The overwrite is necessary for the IM database.  
IM データベースサービスの上書きインストールが必要です

IM データベースサービスの上書きインストールが必要です。

(S)

- i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行した場合は処理を継続します。
- i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行していない場合は処理を終了します。

(O)

-i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行していない場合は、-i オプションを指定してから、再度jimdbupdate コマンドを実行してください。

#### KNAN11203-I

host name: ホスト名  
ホスト名 : ホスト名

作成する IM データベースサービスのホスト名を通知するメッセージです。

ホスト名には、セットアップ情報ファイル (jimdbsetupinfo.conf) のIMDBHOSTNAME に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

### KNAN11204-E

An attempt to update the index of the IM database service has failed.

IM データベースサービスのインデックスの更新に失敗しました

IM データベースサービスのインデックスの更新に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。

解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNAN11205-E

Failed to establish a connection to an IM database service.

IM データベースサービスのコネクションの取得に失敗しました

IM データベースサービスのコネクションの取得に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/IM - Manager サービスを停止してから、コマンドを再実行してください。

再実行しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

### KNAN11206-E

An error occurred while an operation was being performed for an IM database service.

IM データベースサービスの操作中にエラーが発生しました

IM データベースサービスの操作中にエラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

ディスク容量、メモリーなど OS のリソースが不足していないか確認してください。  
解決できない場合は、資料採取ツールを使って資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNAN11207-I

An update of the table schema of an IM database service is required.

IM データベースサービスのテーブルスキーマの更新が必要です

IM データベースサービスのテーブルスキーマの更新が必要です。

(S)

-i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行した場合は処理を継続します。  
-i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行していない場合は処理を終了します。

(O)

-i オプションを指定し、jimdbupdate コマンドを実行していない場合は、-i オプションを指定してから、再度jimdbupdate コマンドを実行してください。

#### KNAN11208-I

The table schema of the IM database service will be updated.

IM データベースサービスのテーブルスキーマを更新します

IM データベースサービスのテーブルスキーマの更新開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11209-I

The table schema of the IM database service was updated.

IM データベースサービスのテーブルスキーマを更新しました

IM データベースサービスのテーブルスキーマの更新終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN11210-W

The table schema could not be checked because a common disk could not be accessed.

共有ディスクにアクセスできないため、テーブルスキーマを確認できませんでした

共有ディスクにアクセスできないため、テーブルスキーマを確認できませんでした。

(S)

テーブルスキーマの確認をスキップして、処理を続けます。

(O)

実行系で発生した場合は、共有ディスクがマウントされているかどうかを確認してから、コマンドを再実行してください。

再実行しても回復しない場合は、JP1/IM の資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

#### KNAN11211-I

An update of the configuration files of an IM database service is required.

IM データベースサービスの設定ファイルの更新が必要です

IM データベースサービスの設定ファイルの更新が必要です。

(S)

-i オプションを指定し、`jimdbupdate` コマンドを実行した場合は処理を続けます。

-i オプションを指定し、`jimdbupdate` コマンドを実行していない場合は処理を終了します。

(O)

-i オプションを指定しないで `jimdbupdate` コマンドを実行した場合は、-i オプションを指定して再度 `jimdbupdate` コマンドを実行してください。

#### KNAN11212-I

The configuration files of the IM database service will be updated.

IM データベースサービスの設定ファイルを更新します

IM データベースサービスの設定ファイルの更新開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を続けます。

#### KNAN11213-I

The configuration files of the IM database service were updated.

IM データベースサービスの設定ファイルを更新しました

IM データベースサービスの設定ファイルの更新終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を続けます。

#### KNAN11214-E

Failed to delete files. You must restart the OS.

ファイルの削除に失敗しました。OS の再起動が必要です

IM データベースサービスのアンインストール時にファイルの削除に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

OS を再起動すると、削除に失敗したファイルが削除されます。

## KNAN11215-E

Failed to update the IM database service. Try again from the version update step.

IM データベースサービスのアップデートに失敗しました。バージョンアップからやり直してください

IM データベースサービスのアップデート中にエラーが発生した場合に出力するメッセージ

IM データベースサービスのアップデートに失敗しました。バージョンアップからやり直してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager をアンインストールしてバージョンアップ前の状態に戻し、バージョンアップからやり直してください。

詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「12.トラブルシューティング」を参照してください。

## KFPH00212-I

Table should be reorganized,RDAREA="RD エリア名",AUTHID=認可識別子,TABLE=テーブル名

IM 構成管理 DB の再編成処理が必要になった場合に出力されるメッセージです。

RD エリア名：再編成が必要なデータベースの RD エリア名

認可識別子：JP1IMDB

テーブル名：再編成が必要なテーブル名

(S)

処理を継続します。

(O)

再編成コマンドで、IM データベースサービスの再編成を実行してください。

## KFPH00213-W

All segments in RDAREA "RD エリア名" allocated

IM 構成管理 DB の領域が不足している場合に出力されるメッセージです。

RD エリア名:容量が不足している RD エリア名

(S)

処理を中断します。

(O)

空きページ領域解放コマンド、または再編成コマンドで、IM データベースサービスの領域の空き領域を確保してください。

## KFPS01850-I

HiRDB system terminated. mode=停止モード

IM データベースサービスが停止したことを通知するメッセージです。

停止モード：正常停止，計画停止，強制停止

(S)

IM データベースサービスが停止している状態です。

## KFPS05210-I

HiRDB system initialization process complete

IM データベースサービスが正常に起動したことを通知するメッセージです。

(S)

IM データベースサービスが正常に起動しています。

## 2.17 インテリジェント統合管理データベースに関するメッセージ (KNAN12005~KNAN12150)

---

### KNAN12005-I

The Intelligent Integrated Management Database will be set up.  
インテリジェント統合管理データベースをセットアップします

インテリジェント統合管理データベースのセットアップを開始するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

### KNAN12006-I

Data storage directory for the Intelligent Integrated Management Database : ディレクトリ名  
インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリ : ディレクトリ名

作成するインテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリを通知するメッセージです。

ディレクトリ名には、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を続行します。

### KNAN12007-I

Port number for the Intelligent Integrated Management Database : ポート番号  
インテリジェント統合管理データベースのポート番号 : ポート番号

作成するインテリジェント統合管理データベースのポート番号を通知するメッセージです。

ポート番号には、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBPORT」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を続行します。

### KNAN12008-I

Data retention period for the Trend Data Management Database : データ保存期間  
トレンドデータ管理データベースのデータ保存期間 : データ保存期間

作成するトレンドデータ管理データベースのデータ保存期間を通知するメッセージです。

データ保存期間には、セットアップ情報ファイルの項目「RETENTION」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を続行します。

#### KNAN12009-Q

Do you want to continue processing? (Y/N) :

処理を続行しますか？ (Y/N) :

処理を継続するかユーザーに問い合わせるためのメッセージです。

(S)

処理を続行します。

(O)

処理を継続する場合は「Y/y」を入力します。

処理を中断する場合は「N/n」を入力します。

#### KNAN12010-I

Setup for the Intelligent Integrated Management Database will now start.

インテリジェント統合管理データベースのセットアップを開始します

インテリジェント統合管理データベースのセットアップ開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を続行します。

#### KNAN12011-I

Setup for the Intelligent Integrated Management Database will now end.

インテリジェント統合管理データベースのセットアップを終了します

セットアップコマンド実行時に出力された KNAN12009-Q メッセージで「N/n」を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN12012-I

Setup for the Intelligent Integrated Management Database ended normally.

インテリジェント統合管理データベースのセットアップは正常に終了しました



インテリジェント統合管理データベースのセットアップが正常に終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

#### KNAN12013-I

The Intelligent Integrated Management Database will be configured.

インテリジェント統合管理データベースを構築します

インテリジェント統合管理データベースの構築開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12014-I

The Intelligent Integrated Management Database was configured.

インテリジェント統合管理データベースを構築しました

インテリジェント統合管理データベースの構築終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12015-I

The settings of the Intelligent Integrated Management Database will be changed.

The Integrated Management Database will restart after the settings are changed.

インテリジェント統合管理データベースの設定を変更します

設定変更後にインテリジェント統合管理データベースは再起動されます

インテリジェント統合管理データベースの設定変更開始を通知するメッセージです。

なお、論理ホストの設定を変更したときは、サービスは再起動せず停止したままとなります。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12016-I

The settings of the Intelligent Integrated Management Database were changed.

インテリジェント統合管理データベースの設定を変更しました

インテリジェント統合管理データベースの設定変更終了を通知するメッセージです。

なお、セットアップコマンドの-c オプションに standby を指定した場合は、共有ディスク上で管理されるデータ保存期間やポート番号などの設定の変更はスキップされます。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12017-E

The command line format is invalid.

コマンドラインの書式が不正です

コマンドラインの書式が不正の場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

USAGE に出力された引数を参照し、正しい引数に変更してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12018-E

The command argument is invalid. (argument name : 引数名)

コマンドの引数が不正です(引数名 : 引数名)

コマンドの引数が不正の場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数の仕様を確認し、正しい値に変更してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12019-E

You must have administrator privileges to execute the command.

コマンドを実行するためには管理者権限が必要です

コマンドを実行したユーザーに管理者権限がない場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

管理者権限のあるユーザーでコマンドを再実行します。

## KNAN12020-I

Please wait.

しばらくお待ちください。

コマンドが実行中であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12021-E

Failed to read the database setup information file.

DB セットアップ情報ファイルの読み込みに失敗しました

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの読み込みに失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルが存在するかどうか確かめてから、正しいパスを指定して、コマンドを再実行してください。

## KNAN12022-E

One or more required items are not specified in the database setup information file. (item name : 項目名)

DB セットアップ情報ファイルに必須項目が指定されていません (項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定したインテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目が不正の場合に出力するメッセージです。

項目名：指定の必要な項目

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージの項目名に出力された項目から、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルに指定した項目の値を見直したあと、コマンドを再実行してください。

## KNAN12023-E

The specified OS user does not exist.

指定された OS ユーザは存在しません

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「USERNAME」に指定した OS ユーザーが存在しない場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「USERNAME」に正しい OS ユーザーを指定し、コマンドを再実行してください。

## KNAN12024-E

A storage directory for the Intelligent Integrated Management Database could not be created.  
インテリジェント統合管理データベースの格納先ディレクトリが作成できません

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR」で指定したパスに、ディレクトリが作成できない場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR (SHAREGNDBDIR)」に指定したパスとディレクトリの権限を見直し、コマンドを再実行してください。

## KNAN12025-E

Creation of the Intelligent Integrated Management Database failed.  
インテリジェント統合管理データベースの作成に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースのデータベースクラスタの作成に失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してください。

また、ディスクの空き容量不足でインテリジェント統合管理データベースが作成できなかったおそれがあります。その場合は、データの削除などでディスクの空き容量を増やしてください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12026-E

Failed to stop the Intelligent Integrated Management Database Service.  
インテリジェント統合管理データベースサービスの停止に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの停止に失敗した場合に出力するメッセージです。

インテリジェント統合管理データベースが不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

ただし、jimgnbdbunsetup コマンドでこのメッセージが出力された場合は、対処不要です。

## KNAN12027-E

Failed to start the Intelligent Integrated Management Database Service.  
インテリジェント統合管理データベースサービスの起動に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの起動に失敗した場合に出力するメッセージです。

インテリジェント統合管理データベースが不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

起動に失敗したサービス名のポート番号がほかのサービスと重複していないことを確認してください。重複している場合、重複しないようにポート番号を変更してから、再度実行してください。

なお、インテリジェント統合管理データベースが使用するポート番号がほかのプロセスで利用されている場合は、ポート番号が重複しないようにポート番号を変更して、インテリジェント統合管理データベースを停止後、再度実行してください。

上記に該当しない場合、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料

- ・ インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12028-E

Failed to stop the trend data management service.

トレンドデータ管理サービスの停止に失敗しました

トレンドデータ管理サービスの停止に失敗した場合に出力するメッセージです。

インテリジェント統合管理データベースが不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

ただし、jimgndbunsetup コマンドでこのメッセージが出力された場合は、対処不要です。

## KNAN12029-E

Failed to start the trend data management service.

トレンドデータ管理サービスの起動に失敗しました

トレンドデータ管理サービスの起動に失敗した場合に出力するメッセージです。

インテリジェント統合管理データベースが不正な状態となっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

停止に失敗したサービス名のポート番号がほかのサービスと重複していないことを確認してください。重複している場合、重複しないようにポート番号を変更してから、再度実行してください。

論理ホスト運用で、名前解決できない論理ホスト名の場合、名前解決できるホスト名を指定して、再度実行してください。

上記に該当しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN12030-E

An item specified in the setup information file is invalid. (item name : 項目名)

セットアップ情報ファイルに指定した項目が不正です (項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目の値が不正の場合に出力するメッセージです。

項目名：不正な項目名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージの項目名に出力された項目から、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルに指定した項目の値を見直したあと、コマンドを再実行してください。

## KNAN12031-E

The logical host number is duplicated. (item name : 項目名)

論理ホスト番号が重複しています (項目名:項目名)

論理ホスト番号が重複した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホスト番号を変更してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12032-E

A port number is duplicated. (item name : 項目名)

ポート番号が重複しています (項目名:項目名)

セットアップコマンドの-f オプションに指定した、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMDBPORT」に指定したポート番号が重複している場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、システム内で一意となるポート番号を指定してから、コマンドを再実行してください。

- ほかの論理ホストで使用しているインテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルのポート番号と重複がないか
- services ファイルに記載されているポート番号と重複がないか
- ほかの製品の PostgreSQL で使用しているポート番号と重複がないか

## KNAN12033-E

Another Intelligent Integrated Management Database operation command is running.

他のインテリジェント統合管理データベース運用コマンドが実行中です

コマンド実行時に、インテリジェント統合管理データベースサーバですでにほかのコマンドが実行されている場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースサーバでのほかのコマンドの終了を待ってから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12034-E

You cannot specify JP1\_DEFAULT for the host name.

ホスト名に JP1\_DEFAULT は指定できません

引数に指定できない文字列を指定したときに表示されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

引数を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12035-I

Unsetup of the Intelligent Integrated Management Database will be performed.

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップします

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップを開始するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12036-I

Unsetup of the Intelligent Integrated Management Database will now start.

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップを開始します

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップ開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12037-I

Unsetup of the Intelligent Integrated Management Database will now end.



インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップを終了します

アンセットアップコマンド実行時に出力された KNAN12009-Q メッセージに対して、「N/n」を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12038-I

Unsetup of the Intelligent Integrated Management Database ended normally.

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップは正常に終了しました

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップが正常に終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

#### KNAN12040-I

The Intelligent Integrated Management Database Service was deleted.

インテリジェント統合管理データベースサービスを削除しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12041-E

The Intelligent Integrated Management Database is not configured.

インテリジェント統合管理データベースは構築されていません

インテリジェント統合管理データベースサーバのセットアップコマンド以外のコマンド実行時、インテリジェント統合管理データベースが構築されていない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースのセットアップを実施してください。

#### KNAN12042-E

Unsetup of the Intelligent Integrated Management Database failed.

## インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップに失敗しました

インテリジェント統合管理データベースのアンセットアップに失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12044-I

The processing to confirm the service operating status will now start.

サービスの稼働状態確認処理を開始します

サービスの稼働状態確認処理の開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12045-I

The processing to confirm the service operating status ended normally.

サービスの稼働状態確認処理は正常に終了しました

サービスの稼働状態確認処理の終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

## KNAN12047-I

The Intelligent Integrated Management Database Service is running.

インテリジェント統合管理データベースサービスは稼働中です

インテリジェント統合管理データベースサービスの状態が稼働状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12048-I

The trend data management service is running.

トレンドデータ管理サービスは稼働中です

トレンドデータ管理サービスの状態が稼働状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12049-I

The Intelligent Integrated Management Database Service is not running.  
インテリジェント統合管理データベースサービスは停止中です

インテリジェント統合管理データベースサービスの状態が停止状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12050-I

The trend data management service is not running.  
トレンドデータ管理サービスは停止中です

トレンドデータ管理サービスの状態が停止状態であることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12051-E

Confirmation of the operating status of the Intelligent Integrated Management Database Service failed.  
インテリジェント統合管理データベースサービスの稼働状態確認処理に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの稼働状態確認処理が失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12052-E

Confirmation of the operating status of the trend data management service failed.  
トレンドデータ管理サービスの稼働状態確認処理に失敗しました

トレンドデータ管理サービスの稼働状態確認処理が失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNAN12053-E

Confirmation of the execution schedule failed.  
実行スケジュールの確認処理に失敗しました

実行スケジュールの確認処理に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースサービスが起動しているか確認してください。起動していない場合は、サービスを開始してください。

サービスが起動している状態でこのメッセージが出力された場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12054-I

The previous and next execution schedules are as follows.

Previous start date and time : [前回開始日時]

Previous end date and time : [前回終了日時]

Next start date and time : [次回開始日時]

直前および次回の実行スケジュールは次の通りです

前回開始日時 : [前回開始日時]

前回終了日時 : [前回終了日時]

次回開始日時 : [次回開始日時]

実行スケジュールの確認処理の実行結果を通知するメッセージです。

各日時データ（前回開始日時、前回終了日時、次回開始日時）のフォーマットは、ISO8601形式（ロケールに関わらず「YYYY-MM-DD hh:mm:ss±hhmm」形式）で、コマンドの実行環境のタイムゾーンに従った時刻を表示します。トレンドデータの自動削除が実行中で、日時情報を取得できない場合は、"unknown"を表示します。

(S)

処理を継続します。

(O)

日時情報に"unknown"が表示された場合は、しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。再度実行しても同じ表示になる場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

### KNAN12055-I

The Intelligent Integrated Management Database Service will now start.

インテリジェント統合管理データベースサービスの起動処理を開始します

インテリジェント統合管理データベースサービスの起動処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

### KNAN12056-I

The Intelligent Integrated Management Database Service started normally.

インテリジェント統合管理データベースサービスの起動処理が正常終了しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの起動処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

### KNAN12057-I

The trend data management service will now start.

トレンドデータ管理サービスの起動処理を開始します

トレンドデータ管理サービスの起動処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12058-I

The trend data management service started normally.  
トレンドデータ管理サービスの起動処理が正常終了しました

トレンドデータ管理サービスの起動処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

## KNAN12059-I

The Intelligent Integrated Management Database Service started.  
インテリジェント統合管理データベースサービスが起動しました

インテリジェント統合管理データベースサービスが起動したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12060-I

The trend data management service started.  
トレンドデータ管理サービスが起動しました

トレンドデータ管理サービスが起動したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12063-I

The Intelligent Integrated Management Database Service will now stop.  
インテリジェント統合管理データベースサービスの停止処理を開始します

インテリジェント統合管理データベースサービスの停止処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12064-I

The trend data management service will now stop.  
トレンドデータ管理サービスの停止処理を開始します

トレンドデータ管理サービスの停止処理開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12065-I

The Intelligent Integrated Management Database Service stopped normally.  
インテリジェント統合管理データベースサービスの停止処理が正常終了しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの停止処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

#### KNAN12066-I

The trend data management service stopped normally.  
トレンドデータ管理サービスの停止処理が正常終了しました

トレンドデータ管理サービスの停止処理終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

#### KNAN12067-I

The Intelligent Integrated Management Database Service stopped.  
インテリジェント統合管理データベースサービスが停止しました

インテリジェント統合管理データベースサービスが停止したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12068-I

The trend data management service stopped.  
トレンドデータ管理サービスが停止しました

トレンドデータ管理サービスが停止したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12071-I

The Intelligent Integrated Management Database will now be backed up.

インテリジェント統合管理データベースのバックアップを開始します

インテリジェント統合管理データベースのバックアップが開始したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12075-I

The Intelligent Integrated Management Database was successfully backed up.

インテリジェント統合管理データベースのバックアップは正常に終了しました

インテリジェント統合管理データベースのバックアップが正常終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN12076-E

An attempt to back up the Intelligent Integrated Management Database has failed.

インテリジェント統合管理データベースのバックアップは失敗しました

インテリジェント統合管理データベースのバックアップが異常終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

#### KNAN12077-E

The storage directory is invalid.

格納先ディレクトリが不正です

環境の新規構築時に、ほかのデータベースの格納先ディレクトリを指定した、または、格納先ディレクトリに、環境構築に失敗したときのファイルが残っていることを通知するメッセージです。



(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイル、またはクラスタ環境インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルに指定した格納先ディレクトリの設定内容を確認してください。

環境の設定変更時は環境構築時に指定したディレクトリ、環境の新規構築時は空ディレクトリを指定し、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12079-I

The Intelligent Integrated Management Database will now be restored.

インテリジェント統合管理データベースのリストアを開始します

インテリジェント統合管理データベースのリストアが開始したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12080-I

Processing to restore the Intelligent Integrated Management Database will be canceled.

インテリジェント統合管理データベースのリストアを中止します

リストアコマンド実行時に出力された KNAN12009-Q メッセージで「N/n」を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

#### KNAN12086-I

The Intelligent Integrated Management Database was successfully restored.

インテリジェント統合管理データベースのリストアは正常に終了しました

インテリジェント統合管理データベースのリストアが正常終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を終了します。

#### KNAN12087-E

Restore of the Intelligent Integrated Management Database has failed.

インテリジェント統合管理データベースのリストアは失敗しました

インテリジェント統合管理データベースのリストアが異常終了したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処をしてから、コマンドを再実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 資料採取ツールで採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による個別採取）

## KNAN12088-I

Intelligent Integrated Management Database installation directory : ディレクトリ名  
インテリジェント統合管理データベースのインストールディレクトリ : ディレクトリ名

作成するインテリジェント統合管理データベースのインストール先ディレクトリを通知するメッセージです。

ディレクトリ名には、インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12089-I

The Intelligent Integrated Management Database will be installed.  
インテリジェント統合管理データベースをインストールします

インテリジェント統合管理データベースの構築開始を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12090-I

The Intelligent Integrated Management Database has been installed.  
インテリジェント統合管理データベースをインストールしました

インテリジェント統合管理データベースの構築終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12091-E

The installation directory for the Intelligent Integrated Management Database could not be created.

インテリジェント統合管理データベースのインストールディレクトリが作成できません

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR」に指定したパスに、ディレクトリが作成できない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「IMGNDBDIR」に指定したパスとディレクトリの権限を見直し、コマンドを再実行してください。

## KNAN12092-E

Installation of the Intelligent Integrated Management Database failed.

インテリジェント統合管理データベースのインストールに失敗しました

インテリジェント統合管理データベースのインストールに失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

インストール先ディレクトリに書き込み権限があるか、また、ディスク容量が十分かなどインストール先ディレクトリに書き込みが可能か確認する。

問題ない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取しシステム管理者に連絡する。

## KNAN12093-I

The Intelligent Integrated Management Database is not set up.

インテリジェント統合管理データベースはセットアップされていません

インテリジェント統合管理データベースサービスが未セットアップであることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12094-I

The Intelligent Integrated Management Database is already set up.

Port number for the Intelligent Integrated Management Database : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「GNDBPORT」の値

Port number for the trend data management service : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDMSPORT」の値

Data storage directory : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「DATADIR」の値

Installation directory : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「ENVDIR」の値

Trend data retention period : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「RETENTION」の値

Maximum disk size of the trend data management database : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDDBDISKMAX」の値

Period in which to delete data when the disk size becomes close to the maximum : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDDBCUTOFFTERM」の値

インテリジェント統合管理データベースはセットアップされています

インテリジェント統合管理データベースのポート番号 : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「GNDBPORT」の値

トレンドデータ管理サービスのポート番号 : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDMSPORT」の値

データ格納ディレクトリ : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「DATADIR」の値

インストールディレクトリ : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「ENVDIR」の値

トレンドデータのデータ保存期間 : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「RETENTION」の値

トレンドデータ管理データベースの最大ディスクサイズ : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDDBDISKMAX」の値

最大ディスクサイズに迫ったときに削除するデータの期間 : インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「TDDBCUTOFFTERM」の値

インテリジェント統合管理データベースサービスのセットアップ内容を通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

## KNAN12095-E

Confirmation of the setup status of the Intelligent Integrated Management Database failed.  
インテリジェント統合管理データベースはセットアップ状態の確認に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースサービスのセットアップ情報の確認に失敗した場合に通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

## KNAN12097-I

Backup of the Intelligent Integrated Management Database will be canceled.

インテリジェント統合管理データベースのバックアップを中止します

バックアップコマンド実行時に出力された KNAN12099-Q メッセージで「N/n」を入力した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

## KNAN12098-E

An error occurred in the internal processing of the Intelligent Integrated Management Database.

インテリジェント統合管理データベースの内部処理でエラーが発生しました

インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルへのアクセスに失敗した場合に通知するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

## KNAN12099-I

The retention period is as follows:

保存期間 days

保存期間は次の通りです

## 保存期間日

トレンドデータ管理 DB のトレンドデータの保存期間を出力するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12100-I

Acquisition of the retention period failed.

保存期間の取得に失敗しました

トレンドデータ管理 DB のトレンドデータの保存期間の取得に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を完了します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースサービスが起動しているか確認してください。

## KNAN12101-I

The trend data management service was deleted.

トレンドデータ管理サービスを削除しました

トレンドデータ管理データベースサービスの削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12102-E

Deletion of the Intelligent Integrated Management Database Service failed.

インテリジェント統合管理データベースサービスの削除に失敗しました

インテリジェント統合管理データベースサービスの削除に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースサービスを手動で削除してください。

## KNAN12103-E

Deletion of the trend data management service failed.

トレンドデータ管理サービスの削除に失敗しました

トレンドデータ管理サービスの削除に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

トレンドデータ管理サービスを手動で削除してください。

#### KNAN12104-I

The Intelligent Integrated Management Database was uninstalled.

インテリジェント統合管理データベースをアンインストールしました

インテリジェント統合管理データベースのインストール先ディレクトリの削除終了を通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12105-E

Uninstallation of the Intelligent Integrated Management Database failed.

Installation directory : ディレクトリ名

インテリジェント統合管理データベースのアンインストールに失敗しました

インストール先ディレクトリ: ディレクトリ名

インテリジェント統合管理データベースのアンインストール時に、インストール先ディレクトリの削除に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースのインストール先ディレクトリを手動で削除してください。

#### KNAN12106-I

The data storage directory of the Intelligent Integrated Management Database was deleted.

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリを削除しました

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリを削除したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12107-E

Deletion of the data storage directory of the Intelligent Integrated Management Database failed.

Data storage directory : **ディレクトリ名**

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリの削除に失敗しました

データ格納ディレクトリ: **ディレクトリ名**

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリの削除に失敗したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリを手動で削除してください。

#### KNAN12108-I

Deletion of the data storage directory of the Intelligent Integrated Management Database will be skipped.

Data storage directory : **ディレクトリ名**

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリの削除をスキップします

データ格納ディレクトリ: **ディレクトリ名**

インテリジェント統合管理データベースのデータ格納ディレクトリの削除をスキップしたことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12109-I

LOGICALHOSTNAME is not specified.

The following value will be used.

Logical host name : **論理ホスト名**

LOGICALHOSTNAME の指定がありません

次の値を使用します

論理ホスト名 : **論理ホスト名**



クラスタ環境インテリジェント統合管理データベースセットアップ情報ファイルの項目「LOGICALHOSTNAME」に、空値を指定、または、指定を省略したため、セットアップコマンドの-h オプションに指定した値を使用したことを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12111-E

The specified logical host name [ホスト名] does not exist.  
指定された論理ホスト名[ホスト名]が存在しません

論理ホスト名が不正か、存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

論理ホストの共通定義情報設定に問題があります。論理ホストの設定を確認し、必要な場合は、論理ホストの再設定を行ってください。

#### KNAN12112-E

The file or directory cannot be accessed. (path name = パス名)  
ファイルまたはディレクトリにアクセスできません (パス名:パス名)

ファイルまたはディレクトリにアクセスできなかった場合に出力するメッセージです。

パス名：アクセスできなかったファイルまたはディレクトリのパス名

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたパス名にアクセスできるか確認してください。メッセージに出力されたパス名が共有ディスクを示している場合は、共有ディスクにアクセスできるか確認してください。

#### KNAN12119-I

Maximum disk size of the trend data management database: ディスクサイズ  
トレンドデータ管理データベースの最大ディスクサイズ：ディスクサイズ

作成するトレンドデータ管理 DB の最大ディスクサイズを通知するメッセージです。

ディスクサイズには、セットアップ情報ファイルの項目「TDDBDISKMAX」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12120-I

Period in which to delete data when the disk size becomes close to the maximum: **データの期間**  
最大ディスクサイズに迫ったときに削除するデータの期間 : **データの期間**

作成するトレンドデータ管理 DB で最大ディスクサイズに迫ったときに削除するデータの期間を通知するメッセージです。

**データの期間**には、セットアップ情報ファイルの項目「TDDBCUTOFFTERM」に指定した値が出力されます。

(S)

処理を継続します。

## KNAN12121-E

An illegal value is specified for the [オプション名] option.  
[オプション名]オプションに指定できない値が指定されています

オプションに指定した値が不正の場合に出力されるメッセージです。

**オプション**：値が不正なオプション

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションの指定値を見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12122-E

A network drive cannot be specified.  
ネットワークドライブは指定できません

指定したパスが、ネットワークドライブの場合に出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

DB セットアップコマンドの場合は、IMGNDDBDIR, IMGNDBENVDIR, SHAREGNDBDIR のどれかにネットワークドライブのパスを指定していないか確認してください。

DB バックアップリストアコマンドの場合は、引数に指定したパスにネットワークドライブのパスを指定していないか確認してください。

## KNAN12123-E

A file name reserved by Windows cannot be specified.

Windows の予約ファイル名は指定できません

指定したパスに Windows の予約ファイル名が含まれている場合に出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

DB セットアップコマンドの場合は、IMGNDDBDIR, IMGNDBENVDIR, SHAREGNDBDIR のどれかに Windows の予約ファイル名が含まれていないか確認してください。

DB バックアップリストアコマンドの場合は、引数に指定したパスに Windows の予約ファイル名が含まれていないか確認してください。

## KNAN12124-E

A UNC path name cannot be specified.

UNC パス名は指定できません

指定したパスが UNC パス形式のパスの場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12125-E

The specified path is too long. (path size = パスの最大長)

指定したパスが長すぎます。(パス最大長:パスの最大長)

指定したパスが、指定できるバイト長を超えた場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

## KNAN12126-E

An internal error occurred. (error code = エラーコード)

内部エラーが発生しました。(エラーコード: エラーコード)

内部エラーが発生した場合に出力するメッセージです。エラーコードには、エラーの発生要因コードを出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

## KNAN12127-E

The directory for storing backup files does not exist.

バックアップファイル格納先ディレクトリが存在しません

指定したバックアップ情報ファイルを格納するディレクトリがなかった場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力されたディレクトリがあるか確認してください。

## KNAN12130-E

The specified path is invalid.

指定したパスの形式が不正です

指定したパスが相対パスである場合、指定したパスの区切り文字が不正であるときに出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認し、コマンドを再実行してください。

- 相対パスを指定していないか。
- パスの区切り文字が重複していないか。

- Windows の場合、ファイル名の末尾に「.」や半角空白が付加されていないか。

#### KNAN12131-E

The backup file does not exist.

バックアップファイルが存在しません

リストアコマンド実行時に-i オプションに指定したバックアップファイルが存在しない場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

-i オプションに指定したバックアップファイル名を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12134-E

A stream name cannot be specified.

ストリーム名は指定できません

指定したパスが、ストリーム形式の場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12135-W

A backup file with the same name already exists. The existing file will be overwritten.

同名のバックアップファイルが既に存在します。バックアップファイルは上書きされます

バックアップコマンド実行時に、出力するバックアップファイル名と同一のファイル名が存在するため、既存のファイルが上書きされることを通知するメッセージです。

(S)

処理を継続します。

#### KNAN12137-E

Creation of the directory for storing backup files has failed.

バックアップファイル格納先ディレクトリの作成に失敗しました

バックアップコマンドの-o オプションに指定したバックアップファイルを格納するディレクトリの作成に失敗した場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

バックアップファイルを格納するディレクトリを、バックアップファイルが格納できるディレクトリパスに変更してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12141-E

There is not enough available space to store backup file.

バックアップファイルを格納する十分な空き容量がありません

バックアップファイルを格納する空き容量がバックアップファイル格納先に無い場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

バックアップファイルのサイズとバックアップファイル格納先の空き容量を見直してから、コマンドを再実行してください。

#### KNAN12142-E

Failed to retrieve the database size.

インテリジェント統合管理データベースのデータ容量の取得に失敗しました

データベースのデータ容量の取得に失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

#### KNAN12143-E

Failed to retrieve the available space of the backup file destination.

バックアップファイル格納先の空き容量の取得に失敗しました

バックアップファイルを格納する空き容量の取得に失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

### KNAN12146-E

Database update failed.

データベースの更新が失敗しました

リストアコマンドでデータベースを更新する際に失敗した場合に出力するメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

### KNAN12147-E

The [オプション名] option is defined more than once.

[オプション名]オプションが複数回指定されています

オプションが複数回指定された場合に出力されるメッセージです。

オプション：複数回指定されたオプション

(S)

処理を中断します。

(O)

オプションを見直してから、コマンドを再実行してください。

### KNAN12150-E

A directory cannot be specified.

ディレクトリは指定できません

指定したパスが、ディレクトリ名の場合に出力されるメッセージです。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したパスを見直してから、コマンドを再実行してください。



## 2.18 インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージ (KAJY00001～KAJY52032)

### KAJY00001-E

Cannot connect to the Server.  
サーバに接続できません

インテリジェント統合管理基盤サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- サービスが起動していない
- サービスがビジー状態である
- サービスとネットワーク接続できる状態にない

(S)

処理を中断します。

(O)

- サービスが起動していない場合  
インテリジェント統合管理基盤サービスを再起動してください。
- サービスがビジー状態である場合  
接続をリトライすることで接続できる場合があります。
- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない場合  
接続先ホストとのネットワーク環境を確認してください。接続先ホストとの間にファイアウォールがある場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。セッションが破棄されている場合は、ログインし直してください。

### KAJY00004-I

The Intelligent Integrated Management Base Service will now start. : 論理ホスト名  
インテリジェント統合管理基盤サービスを開始します : 論理ホスト名

インテリジェント統合管理基盤サービスを起動します。

### KAJY00005-I

The Intelligent Integrated Management Base Service will now terminate.: 論理ホスト名  
インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します : 論理ホスト名

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

## KAJY00006-E

The Intelligent Integrated Management Base Service was ended abnormally. : 論理ホスト名  
インテリジェント統合管理基盤サービスが異常終了しました : 論理ホスト名

続行できない障害が発生したため、ホスト（ホスト名）のインテリジェント統合管理基盤サービスが異常終了しました。

- (O)
- インテリジェント統合管理データベースを構築していない場合は構築してから再実行してください。  
解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY00007-E

A system error occurred. : 保守情報  
システムエラーが発生しました : 保守情報

システムエラーが発生しました。

- (S)
- エラーの発生した処理を打ち切ります。
- (O)
- 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY00008-E

A memory shortage occurred. : 保守情報  
メモリー不足が発生しました : 保守情報

メモリー不足が発生しました。

- (S)
- エラーの発生した処理を打ち切ります。
- (O)
- 再度、実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY00009-E

The REST API request body size exceeds the limit. (URL path : URL のパス, upper limit : 上限サイズ, size of the sent request body : 送信されたリクエストボディのサイズ)  
REST API のリクエストボディサイズが上限を超えています。(URL のパス : URL のパス, 上限サイズ : 上限サイズ, 送信されたリクエストボディのサイズ : 送信されたリクエストボディのサイズ)

REST API のリクエストボディサイズが上限を超えたため、要求を受け付けられません。

(S)

処理を中断します。

(O)

REST API のリクエストを分割して、1 回の REST API のリクエストボディサイズを小さくしてから、再度実行してください。

## KAJY00010-E

The specified REST API request header value is invalid. (jpluser-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス, property name : プロパティ名)

REST API のリクエストヘッダの指定が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス, プロパティ名 : プロパティ名)

REST API のリクエストヘッダの指定が不正なため、REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

メッセージに表示されたプロパティが指定されていない場合は、指定してください。指定されている場合は、指定した値が正しいか確認してください。その後、再度実行してください。

## KAJY00011-E

Cannot read the keystore used by the communication encryption function in the Intelligent Integrated Management Base Service.(file : ファイル名)

インテリジェント統合管理基盤サービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。(ファイル名 : ファイル名)

インテリジェント統合管理基盤サービスの通信暗号化機能で使用するキーストアが読み込めません。(ファイル名:ファイル名)

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

次の内容を確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- キーストアの格納先ディレクトリがない場合は格納先ディレクトリを作成してください。
- キーストアがある場合は、キーストアに読み込み権限があるか確認してください。読み込み権限がない場合は、キーストアに読み込み権限を設定してください。

- キーストアがない場合は、統合トレースログに「キーストアの作成に失敗しました」のメッセージが出力されているか確認してください。出力されている場合は、メッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJY00012-E

Cannot collect the parameters in the communication encryption function in Intelligent Integrated Management Base Service. (parameter : パラメーター名)

インテリジェント統合管理基盤サービスで通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。(パラメーター名 : パラメーター名)

インテリジェント統合管理基盤サービスの通信暗号化機能のパラメーターが取得できません。

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

次の内容を確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 共通定義にパラメーターを設定してください。

## KAJY00013-E

The parameter in the communication encryption function in Intelligent Integrated Management Base Service is invalid. (parameter : パラメーター名, parameter value : パラメーター値, cause : パラメーターに有効な値が設定されていません。)

インテリジェント統合管理基盤サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。(パラメーター名 : パラメーター名, パラメーター値 : パラメーター値, 要因 : パラメーターに有効な値が設定されていません。)

インテリジェント統合管理基盤サービスの通信暗号化機能のパラメーターに誤りがあります。

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

次の内容を確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- 共通定義のパラメーターの値に有効な値を設定してください。

## KAJY00014-E

Failed to initialize communication infrastructure. : 保守情報  
通信基盤の初期化に失敗しました : 保守情報

通信基盤の初期化に失敗しました。

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

設定ファイルを確認して対処してください。

#### KAJY00015-W

Failed to read the Intelligent Integrated Management Base definition file. The process will continue by using the default value.(property name : プロパティ名, default value : デフォルト値)  
インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの読み込みに失敗しました。デフォルトの設定値で処理を続けます(プロパティ名 : プロパティ名, デフォルト値 : デフォルト値)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルが存在するか確認してください。

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

#### KAJY00016-W

The Intelligent Integrated Management Base definition file is invalid. The process will continue by using the default value.(property name : プロパティ名, default value : デフォルト値)  
インテリジェント統合管理基盤定義ファイルに誤りがあります。デフォルトの設定値で処理を続けます(プロパティ名 : プロパティ名, デフォルト値 : デフォルト値)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルに誤りがあります。

(S)

処理を続行します。

(O)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの記載内容を確認して、修正してください。

#### KAJY00017-E

The Intelligent Integrated Management Base Service could not be started because the environment is invalid. (cause : 要因)  
環境不正のためインテリジェント統合管理基盤サービスが起動できませんでした。(要因 : 要因)

環境不正のため、インテリジェント統合管理基盤が起動できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

システムに障害が発生していないか確認してください。

JP1/IM - Manager をアンインストールし再インストール後に、再実行してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取してシステム管理者に連絡してください。

## KAJY00018-E

A connection to the authentication server could not be established.

認証サーバに接続できません。

認証サーバに接続できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- 認証サーバが起動しているか。
- 認証サーバと通信できるか。
- 認証サーバの設定が間違っていないか。
- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が間違っていないか。

## KAJY00019-W

The specified window could not be displayed because the URL is incomplete.

URL が途中で切れているため、指定された画面を表示できませんでした

URL が途中で切れているため、指定された画面を表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

取得した URL と WWW ブラウザーに指定した URL が一致しているか確認してください。

解決しない場合は、URL の長さが WWW ブラウザーの URL の最大長の制限を超えていないか確認し、サポートしている他の WWW ブラウザーで再度アクセスしてください。

## KAJY00020-W

The specified window could not be displayed because the URL is invalid.  
無効な URL が指定されたため、指定された画面を表示できませんでした

無効な URL が指定されたため、指定された画面を表示できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

URL を取得し直してください。

## KAJY00021-E

Failed to read the Intelligent Integrated Management Base definition file.  
インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの読み込みに失敗しました。

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

次の内容を確認してから、JP1/IM - Manager を再起動してください。

- インテリジェント統合管理基盤定義ファイルが存在するか確認してください。
- インテリジェント統合管理基盤定義ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY00022-E

The Intelligent Integrated Management Base definition file is invalid.(property name : プロパティ名)  
インテリジェント統合管理基盤定義ファイルに誤りがあります。(プロパティ名 : プロパティ名)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイルに誤りがあります。

(S)

インテリジェント統合管理基盤サービスを終了します。

(O)

インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (imdd.properties) の記載内容を修正し、JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAJY00023-W

The specified window could not be displayed because the parameter is invalid. (Parameter Name : パラメーター名)

指定されたパラメーターが不正なため、指定された画面を表示できませんでした。(パラメーター名 : パラメーター名)

クエリパラメーターに指定した値が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

次の内容を確認して、再度アクセスしてください。

- [統合オペレーション・ビューアー] 画面の [操作メニュー] から URL を取得した場合は、URL を取得し直してください。
- クエリパラメーターに指定した値に誤りがないか確認して修正してください。
- seqno が表示されている場合は、seqno に指定したイベント DB 通し番号のイベントが、統合監視 DB に存在することを確認してください。
- sid が表示されている場合は、業務グループの条件で対象の IM 管理ノードがフィルタリングされていないか設定を見直してください。フィルタリングされていない場合は、sid に指定したツリー SID の IM 管理ノードが存在することを確認してください。

## KAJY00024-E

The Intelligent Integrated Management Base DB cannot be connected to.(Manager host name : ホスト名)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。(マネージャーホスト名 : ホスト名)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、jimgnbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。

インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

現象が再現する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAJY00025-E

You cannot select more items than **選択可能な上限数**.  
**選択可能な上限数**件を超えて選択することはできません。

選択した数が上限を超えています。上限に収まるように選択を見直してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

選択した数が上限を超えています。上限に収まるように選択を見直してください。

## KAJY00026-W

The Intelligent Integrated Management Base DB cannot be connected to.(Manager host name : **ホスト名**)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。(マネージャーホスト名 : **ホスト名**)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、jimgndbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。

インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

現象が再現する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY00027-E

Connection to the manager failed. (manager host name = **ホスト名**)

マネージャーへの接続に失敗しました。(マネージャーホスト名 : **ホスト名**)

インテリジェント統合管理基盤サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- サービスが起動していない
- サービスがビジー状態である
- サービスとネットワーク接続できる状態にない
- [下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加していない
- 接続先ホストの JP1/IM - Manager が、該当の操作に対応したバージョンではない

(S)

処理を中断します。

(O)

- サービスが起動していない場合  
ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤サービスを再起動してください。
- ログインした JP1/IM - Manager の配下に拠点マネージャーまたは中継マネージャーが存在する場合  
拠点マネージャーまたは中継マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号が統合マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号と一致していることをご確認ください。また、[下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加しているか確認してください。
- サービスがビジー状態である場合  
接続をリトライすることで接続できる場合があります。
- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない場合  
ホスト名に表示されたホストとのネットワーク環境を確認してください。接続先ホストとの間にファイアウォールがある場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。セッションが破棄されている場合は、ログインし直してください。
- 接続先ホストの JP1/IM - Manager のバージョンを確認し、操作対象を見直してください。

#### KAJY00029-E

An error occurred in processing on the Intelligent Integrated Management Base. (JP1/IM - Manager host name = **ホスト名**, detailed information = **詳細情報**)

インテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。(JP1/IM-Manager ホスト名：**ホスト名**, 詳細情報：**詳細情報**)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の操作を再実行してください。

#### KAJY00030-W

A warning occurred during the operation.

<Details>

**詳細**

操作中に警告が発生しました。

<詳細>

## 詳細

操作中に警告が発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

操作中に発生した警告の詳細を確認し、対処してください。

## KAJY00031-E

An error occurred during the operation.

<Details>

### 詳細

操作中にエラーが発生しました。

<詳細>

### 詳細

操作中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

操作中に発生したエラーの詳細を確認し、対処してください。

詳細が「定義ファイルのダウンロードに失敗しました。」の場合は、次のメッセージの対処方法を参照し、対処してください。

KAJY68203-E, KAJY68205-E, KAJY68212-E, KAJY68501-E

上記メッセージの対処方法に該当する問題がない場合は、エージェントの jima\_message.log を参照し、対処してください。

解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY01000-E

The user does not have permission to execute REST API.(jpluser-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

REST API の実行権限がありません。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

REST API を実行する権限が不足しているため、実行に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1 ユーザーの JP1 権限レベルを見直してください。

#### KAJY01001-E

Your session is invalid.

Please log in again.

セッションが無効です

ログインからやり直してください

セッションが無効です。

(S)

処理を中断し、[ログイン] 画面を表示します。

(O)

[ログイン] 画面から再度ログインしてください。

#### KAJY02000-E

The file does not exist.(ファイル名)

ファイルは存在しません。(ファイル名)

ファイルが存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルが存在するか確認してください。

コマンドの場合、コマンドのオプションに指定したディレクトリ先にファイルが存在するか確認してください。ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

jddcreatetree コマンド実行時にエラーが発生し、上記で解決できない場合、次の内容を確認してください。

- システムノード定義ファイルが存在するか確認してください。また、読み込み権限があるか確認してください。
- jcfexport コマンドを実行し、正常終了するか確認してください。  
コマンドが異常終了した場合、表示されたエラーメッセージの対処に従ってください。
- jddcreatetree コマンドの -o オプションに指定したディレクトリに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込み権限または書き込み権限があるか確認してください。
- ディスク容量不足が発生していないか確認してください。

[ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報の生成を実行した場合、次の内容を確認してください。

- 次のディレクトリに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込み権限または書き込み権限があるか確認してください。また、次のディレクトリにファイルが存在するか確認してください。ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

Windows の場合

- 物理ホストの場合：Manager パス¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥
- 論理ホストの場合：共有フォルダ¥jp1imm¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥

UNIX の場合

- 物理ホストの場合：/var/opt/jp1imm/tmp/imnode/data/
- 論理ホストの場合：共有ディレクトリ/jp1imm/tmp/imdd/imnode/data/
- システムノード定義ファイルが存在するか確認してください。また、読み込み権限があるか確認してください。
- jcfexport コマンドを実行し、正常終了するか確認してください。  
コマンドが異常終了した場合、表示されたエラーメッセージの対処に従ってください。
- ディスク容量不足が発生していないか確認してください。

## KAJY02001-E

The file can not read.(File Name : ファイル名, Cause : 要因)

ファイルを読み込むことができません。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY02002-E

The file format is not correct.( File Name : ファイル名, Line: 行番号, Column : 列番号)

ファイルの形式が不正です。(ファイル名 : ファイル名, 行番号 : 行番号, 列番号 : 列番号)

ファイルの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの形式が合っているかを確認して修正してください。

「行番号」と「列番号」には、誤りがある記述のおおよその位置が出力されます。「行番号」と「列番号」の位置に誤りがない場合は、「行番号」と「列番号」の前後の記述を見直してください。

ファイルの文字コードが UTF-8 になっているか確認してください。

## KAJY02003-E

The specified value in the file is invalid.(File name : **ファイル名**, target location : **対象箇所**, Item : **対象項目**, Factor : **要因**)

ファイルに設定した項目が不正です。

(ファイル名 : **ファイル名**, 対象箇所 : **対象箇所**, 対象項目 : **対象項目**, 要因 : **要因**)

ファイルに記載した項目の設置値に誤りがあります。

**対象箇所**には、記載誤りのある設定項目の設定箇所が表示されます。配列の 1 要素に記載誤りがある場合は、対象箇所の位置を 0 から始まるインデックスで示します。

(例) links/0/from

(S)

処理を中断します。

(O)

- **jddcreatetree** コマンドまたは [ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報の生成時にエラーが発生した場合  
ファイルの記載内容を確認して修正してください。
- IM 管理ノードが重複している場合  
**jddupdatetree** コマンドに指定した **jddcreatetree** コマンドの出力結果を削除して、**jddcreatetree** コマンドの実行からやり直してください。または、[ツリー情報生成] ダイアログで生成したファイルを [統合マネージャーの定義ファイル一覧] ダイアログで削除して、[ツリー情報生成] ダイアログからやり直してください。
- **jddupdatetree** コマンド実行時、[ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報の反映時、または JP1/IM - Manager サービス起動時にエラーが発生した場合  
**jddcreatetree** コマンドを再実行したあと、**jddupdatetree** コマンドを実行してください。または、[ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報を再生成したあと、[ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報を反映してください。
- **jddupdatesuggestion** コマンド実行時にエラーが発生した場合  
提案定義ファイルの記載内容を確認して修正してください。

## KAJY02004-W

Since the System node definition file has not set, all hosts are set to the All Systems.(reason : 要因)

システムノード定義ファイルが設定されていないため、全てのホストを All Systems の直下に設定しました。(要因 : 要因)

システムノード定義ファイルが存在しない、または定義されているシステムの件数が0件のため、すべてのホストを All Systems の直下に設定しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

システムノード定義ファイルを設定しないで、jddcreatetree コマンドまたは [ツリー情報生成] ダイアログで実行してよいかどうかを確認してください。

## KAJY02005-W

Since there is no an applicable system, the host has set directly under the All Systems.(Host name : ホスト名)

該当するシステムがないため、このホストを All Systems の直下に設定しました。(ホスト名 : ホスト名)

該当するシステムがないホストを All Systems の直下に設定しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

All Systems の直下に設定したホストが、本当に該当するシステムがなくて良かったかどうかを確認してください。画面に表示されるホスト名については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「ホスト名定義ファイル (imdd\_host\_name.conf)」(2. 定義ファイル) の「画面に表示されるホスト名」を参照してください。

## KAJY02006-W

Since there are multiple applicable systems, the host has set in to the first defined system. (Host name : ホスト名, system set : 設定したシステム, system not set : 設定しなかったシステム)

該当するシステムが複数存在したため、このホストを最初に定義しているシステムに設定しました。(ホスト名 : ホスト名, 設定したシステム : 設定したシステム, 設定しなかったシステム : 設定しなかったシステム)

該当するシステムが複数存在したため、このホストを最初に定義しているシステムに設定しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

該当するシステムが複数存在する場合は、このホストを最初に定義しているシステムに設定しているため、設定先のシステムが正しいかどうかを確認してください。ホスト名は画面に表示されるホスト名の優先順位で表示しています。画面に表示されるホスト名については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「ホスト名定義ファイル (imdd\_host\_name.conf) (2. 定義ファイル)」の「画面に表示されるホスト名」を参照してください。

## KAJY02007-I

Since the IM configuration management function is enabled, JP1 resource group information set in to remote configuration and operation group is collected.

IM 構成管理機能が有効なため、リモート構成および業務グループに設定されている JP1 資源グループ情報の収集を行います。

IM 構成管理機能が有効のため、リモート構成および業務グループに設定されている JP1 資源グループ情報を収集します。

(S)

処理を続行します。

## KAJY02008-I

Since the IM configuration management function is disabled, JP1 resource group information set in to remote configuration and operation group is not collected.

IM 構成管理機能が無効なため、リモート構成および業務グループに設定されている JP1 資源グループ情報の収集は行いません。

IM 構成管理機能が無効のため、リモート構成および業務グループに設定されている JP1 資源グループ情報は収集しません。

(S)

処理を続行します。

## KAJY02009-I

The command (コマンド名) started.

コマンド (コマンド名) を開始しました

コマンドを開始しました。



## KAJY02010-I

The command (コマンド名) ended normally.  
コマンド (コマンド名) が正常終了しました

コマンドが正常終了しました。

## KAJY02011-E

The argument is invalid. Usage : Usage  
引数が不正です。Usage : Usage

コマンドに指定した引数が不正です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を見直してください。

## KAJY02012-E

The value specified for the argument is invalid.(argument: 引数)  
引数に指定した値が不正です。(引数 : 引数)

引数に指定した値が不正です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数に指定した値を見直してください。

## KAJY02013-E

Failed to set up authentication information.  
認証情報の設定に失敗しました

認証情報の設定に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ディスク容量の不足によって認証情報の設定に失敗しました。ディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除するなどして空き容量を増やしたあと、再度jddsetaccessuser コマンドを実行してください。

ディスク容量が不足していない場合は、しばらく待ってから、jddsetaccessuser コマンドを再実行してください。それでも解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02014-E

System error occurred by an operation in command execution(Command Name : コマンド名).  
(Cause : 要因)

コマンド(コマンド名)でシステムエラーが発生しました。(要因 : 要因)

コマンドでシステムエラーが発生しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02015-E

The specified logic host name is invalid.  
指定した論理ホスト名が不正です

指定した論理ホスト名が不正です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次の内容を確認した上で、コマンドを再実行してください。

- コマンドの-h オプション、または環境変数JP1\_HOSTNAME に指定した論理ホストがセットアップ済みであること
  - コマンドの-h オプション、または環境変数JP1\_HOSTNAME に正しい論理ホスト名を指定していること
- 上記で解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02016-E

The item specified in the file is invalid.(File Name : ファイル名, Item : 設定項目, Cause : 要因)  
ファイルに設定した項目が不正です。(ファイル名 : ファイル名, 設定項目 : 設定項目, 要因 : 要因)

ファイルに記載した項目の設置値に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの記載内容を確認して修正してください。

## KAJY02017-E

An attempt to connect the Intelligent Integrated Management Base has failed.

インテリジェント統合管理基盤への接続に失敗しました

インテリジェント統合管理基盤への接続に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理基盤サービスが起動しているかどうか確認してください。

## KAJY02018-E

The authentication to the Intelligent Integrated Management Base has failed.(Cause : 要因)

インテリジェント統合管理基盤への認証に失敗しました。(要因 : 要因)

インテリジェント統合管理基盤への接続に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- ユーザー ID およびパスワードが不正の場合  
jddsetaccessuser コマンドで、正しいユーザー ID とパスワードを再度設定してください。
- 認証サーバへの接続に失敗した場合  
認証サーバが起動しているかどうか確認してください。
- 認証に必要な権限が不足している場合  
jddsetaccessuser コマンドで指定したユーザー ID に、次に示す JP1 権限レベルのどれかを与えてください。
  - JP1\_Console\_Admin
  - JP1\_Console\_Operator
  - JP1\_Console\_User

## KAJY02019-E

Concurrent execution is being suppressed.

同時実行抑止中です

実行したコマンドと同じコマンド、または排他実行関係にあるコマンドが実行中のため実行を中止しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

しばらく待ってからコマンドを再実行してください。

## KAJY02020-E

The IM Database service cannot be connected to.

IM データベースサービスに接続できません

IM データベースサービス（統合監視 DB）に接続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合監視 DB が未セットアップの場合は、統合監視 DB をセットアップしてください。

統合監視 DB がセットアップ済みの場合は、`jimdbstatus` コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。

IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動してください。

IM データベースサービスが起動している場合は、インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (`imdd.properties`) に設定した次のプロパティの値を見直して JP1/IM-Manager サービスを再起動してください。

- `jp1.im.db.DEFAULT.portNo`
- `jp1.im.db.DEFAULT.logicalHostNum`※

注※ 論理ホストの場合だけ。

## KAJY02021-E

An attempt to acquire the event information of JP1/IM - Manager has failed.(Details : [詳細](#))

JP1/IM-Manager のイベント情報の取得に失敗しました(詳細 : [詳細](#))

JP1/IM-Manager のイベント情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJY02022-W

The System configuration that manages JP1/IM - Manager and event information mapping failed. (Details : [詳細](#))

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成とイベント情報のマッピングに失敗しました(詳細 : [詳細](#))

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成とイベント情報のマッピングに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

- 詳細にメッセージ ID 付きのメッセージが出力された場合、メッセージの対処方法に従ってください。
- 統合監視 DB に発生元ホストマッピング機能が無効の状態のときに登録された JP1 イベントが含まれる場合、このメッセージが出力される場合がありますが、対処は不要です。JP1 イベントと IM 管理ノードのマッピングの詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 導入・設計ガイド」の「3.9.1 JP1 イベントを使った評価」を参照してください。
- 上記に該当しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02023-E

Failed to create the file.(File Name : [ファイル名](#), Cause : [要因](#))

ファイルの作成に失敗しました。(ファイル名 : [ファイル名](#), 要因 : [要因](#))

ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次に示す出力先ディレクトリが存在するか、出力先ディレクトリに対して Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) の参照権限があるか、および容量が十分あるかどうかを確認してください。

- `jddcreatetree` コマンド実行の場合  
-o オプションで指定したディレクトリ
- `jddupdatetree` コマンド、`jddupdatesuggestion` コマンド、または [ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報の反映を実行した場合

Windows の場合

- 物理ホストの場合 : `Manager パス¥data¥imdd¥`
- 論理ホストの場合 : `共有フォルダ¥jp1imm¥data¥imdd¥`

UNIX の場合

- 物理ホストの場合 : `/etc/opt/jp1imm/data/imdd/`

- ・論理ホストの場合：共有ディレクトリ/jp1imm/data/imdd/
- ・ [ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報の反映を実行した場合  
Windows の場合
  - ・物理ホストの場合：Manager パス¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥
  - ・論理ホストの場合：共有フォルダ¥jp1imm¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥
- UNIX の場合
  - ・物理ホストの場合：/var/opt/jp1imm/tmp/imnode/data/
  - ・論理ホストの場合：共有ディレクトリ/jp1imm/tmp/imdd/imnode/data/

## KAJY02024-E

Failed to replace the management node related master file.(File Name : ファイル名, Cause : 要因)

管理ノード関連マスタファイルの置換えに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

管理ノード関連マスタファイルの置換えに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたファイルのアクセス権を確認し、再度jddupdatetree コマンドまたは [ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報の反映を実行してください。

## KAJY02025-W

The information received from JP1/IM - Manager system configuration is invalid.(Host Name : ホスト名, Component Name : コンポーネント名)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成情報から取得した情報が不正です。(ホスト名 : ホスト名, コンポーネント名 : コンポーネント名)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成情報から取得した情報が不正です。

(S)

処理を続行します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02026-W

Failed to create the file.(File Name : ファイル名,Cause : 要因)

ファイルの作成に失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

ファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

次に示す出力先ディレクトリが存在するか、出力先ディレクトリに対して Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) の参照権限があるか、および容量が十分あるかどうかを確認してください。

- `jddcreatetree` コマンド実行の場合
  - o オプションで指定したディレクトリ
- [ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報の生成を実行した場合
  - Windows の場合
    - 物理ホストの場合：`Manager パス¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥`
    - 論理ホストの場合：`共有フォルダ¥jp1imm¥tmp¥imdd¥imnode¥data¥`
  - UNIX の場合
    - 物理ホストの場合：`/var/opt/jp1imm/tmp/imnode/data/`
    - 論理ホストの場合：`共有ディレクトリ/jp1imm/tmp/imdd/imnode/data/`

## KAJY02028-W

An attempt to acquire the system configuration information that manages JP1/IM - Manager has failed.(Host Name : **ホスト名**, Component Name : **コンポーネント名**, Details : **詳細**)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成情報の取得に失敗しました。(ホスト名 : **ホスト名**, コンポーネント名: **コンポーネント名**, 詳細 : **詳細**)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処方法に従って対処してください。

## KAJY02029-E

The authentication information used by Intelligent Integrated Management Base is invalid.  
インテリジェント統合管理基盤が利用する認証情報が設定されていません

インテリジェント統合管理基盤が利用する認証情報が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

jddsetaccessuser コマンドを再実行してください。

#### KAJY02030-E

The information required to execute jddupdatetree command is not sufficient.  
jddupdatetree コマンド実行に必要な情報が不足しています

jddupdatetree コマンド実行に必要な情報が不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

jddcreatetree コマンドで作成されたファイルの出力先を-o オプションに指定して、jddupdatetree コマンドを実行してください。

#### KAJY02032-E

Cannot access the directory specified in the argument.(Directory Name)  
引数に指定したディレクトリにアクセスできません。(ディレクトリ名)

引数に指定したディレクトリにアクセスできません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数に指定したディレクトリが存在するか、また指定したディレクトリに対して Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) の参照権限があるか確認してください。

#### KAJY02033-E

The user does not have permission to execute.  
実行権限がありません

コマンドを実行する権限がありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

Administrators などの実行権限を持ったユーザーでログインし直してから、再度実行してください。



## KAJY02034-I

The command (コマンド名) ended with warnings.  
コマンド (コマンド名) が警告終了しました

コマンドが警告終了しました。

## KAJY02035-I

The command (コマンド名) ended abnormally.  
コマンド (コマンド名) が異常終了しました

コマンドが異常終了しました。

## KAJY02038-E

The specified directory path (ディレクトリ名) is too long.  
指定されたディレクトリパスが長すぎます(ディレクトリ名)

指定されたディレクトリパスが長すぎます。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディレクトリ名は絶対パスで 200 文字以下を指定してください。

## KAJY02040-E

An attempt to read the message file has failed.

メッセージファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のファイルが存在するか、また、指定したファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) の参照権限があるか確認してください。ファイルがない場合は、JP1/IM - Manager を再インストールしてください。

Windows の場合

- Manager パス¥public¥assets¥json¥KAJY\_messages\_en.json
- Manager パス¥public¥assets¥json¥KAJY\_messages\_ja.json

UNIX の場合

- /opt/jp1imm/public/assets/json/KAJY\_messages\_en.json
- /opt/jp1imm/public/assets/json/KAJY\_messages\_ja.json

## KAJY02041-E

The specified user is not authenticated due to insufficient permissions.(User ID: ユーザー ID)  
認証に使用したユーザーの権限が不足しています。(ユーザー ID : ユーザー ID)

認証に使用したユーザーの権限が不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

jddsetaccessuser コマンドの-id オプションで指定したユーザーに、次に示す JP1 権限レベルのどちらかを与えてください。

- JP1\_Console\_Admin
- JP1\_Console\_Operator

## KAJY02043-E

Failed to generate link information between IM management nodes.(Details : 詳細)  
IM 管理ノード間のリンク情報の生成に失敗しました。(詳細 : 詳細)

IM 管理ノード間のリンク情報の生成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処方法に従って対処したあと、jddcreatetree コマンドまたは [ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報の生成を再実行してください。

## KAJY02044-E

The Link information between IM management nodes is invalid.(Component : コンポーネント名)  
IM 管理ノード間のリンク情報が不正です。(コンポーネント名 : コンポーネント名)

IM 管理ノード間のリンク情報が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY02045-W

Failed to read the status information of the IM management node.(Filename : ファイル名,  
Cause : 要因)

IM 管理ノードのステータス情報の読み込みに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

IM 管理ノードのステータス情報の読み込みに失敗しました。

バックグラウンドで IM 管理ノードのステータスをイベント DB の先頭から再評価します。

(S)

処理を続行します。

## KAJY02046-W

Failed to read the management node related master file.  
管理ノード関連マスタファイルの読み込みに失敗しました。

管理ノード関連マスタファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

管理ノードなしで処理を続行します。

(O)

次の原因が考えられます。

- 一時的なファイルアクセスエラーが発生した。  
エラー要因を取り除いたあと、JP1/IM3-Manager サービスを再起動してください。
- 上記以外の場合  
jddupdatetree コマンドまたは [ツリー情報反映] ダイアログで、管理ノード関連情報を再作成してください。

## KAJY02047-E

The parameter specified for the REST API for publishing events is invalid.  
(parameter name : パラメーター名, cause : 要因)

イベント発行 REST API のパラメーターの指定が不正です。

(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

イベント発行 REST API のパラメーターの指定が不正なため、イベント発行 REST API を実行できません。

(S)

イベント登録処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

#### KAJY02048-E

The JP1 event (イベント ID) could not be published : 保守情報

JP1 イベント(イベント ID)が発行できませんでした : 保守情報

JP1 イベントが発行できませんでした。

(S)

イベント登録処理を中断します。

(O)

イベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。イベントサービスが起動している場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY02049-E

The REST API for acquiring URL information cannot be executed, because the specified parameter is invalid. (parameter name: パラメーター名, specified value: 指定値)

URL 情報取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、URL 情報取得 REST API を実行できません。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

URL 情報取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、URL 情報取得 REST API を実行できません。

(S)

URL 情報の取得処理を中断します。

(O)

URL 情報取得 REST API のパラメーターの指定を見直して、再度実行してください。

#### KAJY02050-E

Failed to get URL information. : 詳細情報

URL 情報の取得に失敗しました : 詳細情報

URL 情報の取得に失敗しました。

(S)

URL 情報の取得処理を中断します。

(O)

再度実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY02051-E

Failed to generate tree information of IM management nodes.(Details : 詳細)

IM 管理ノードのツリー情報の生成に失敗しました。(詳細 : 詳細)

IM 管理ノードのツリー情報の生成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処方法に従って対処したあと、jddcreatetree コマンドまたは [ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報の生成を再実行してください。

#### KAJY02052-E

The tree information of IM management nodes is invalid.(Component : コンポーネント名)

IM 管理ノードのツリー情報が不正です。(コンポーネント名 : コンポーネント名)

IM 管理ノードのツリー情報が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY02053-W

Since there is no an applicable system, the node has set directly under the All Systems.(IM management node type : IM 管理ノードタイプ, Node name : ノード名)

該当するシステムがないため、このノードを All Systems の直下に設定しました。(IM 管理ノードタイプ : IM 管理ノードタイプ, ノード名 : ノード名)

該当するシステムがないノードは All Systems の直下に設定しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

All Systems の直下に設定したノードが、本当に該当するシステムがなくて良かったかどうかを確認してください。

## KAJY02054-W

Since there are multiple applicable systems, the node has set in to the first defined system.(IM management node type : IM 管理ノードタイプ, Node name : ノード名, system set : 設定したシステム, system not set : 設定しなかったシステム)

該当するシステムが複数存在したため、このノードを最初に定義しているシステムに設定しました。  
(IM 管理ノードタイプ : IM 管理ノードタイプ, ノード名 : ノード名, 設定したシステム : 設定したシステム, 設定しなかったシステム : 設定しなかったシステム)

該当するシステムが複数存在するため、このノードを最初に定義しているシステムに設定しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

該当するシステムが複数存在する場合は、このノードを最初に定義しているシステムに設定しているため、設定先のシステムが正しいかどうかを確認してください。

## KAJY02055-I

IM Database service is connected.

IM データベースサービスに接続しました

IM データベースサービスとの接続に成功しました。

## KAJY02058-W

The file format is not correct.(File Name : ファイル名, Line : 行番号, Column : 列番号)  
ファイルの形式が不正です。(ファイル名 : ファイル名, 行番号 : 行番号, 列番号 : 列番号)

ファイルの記載内容が形式とあっていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの形式が合っているかを確認して修正してください。

「行番号」と「列番号」には誤りがある記述のおおよその位置が出力されます。「行番号」と「列番号」の位置に誤りがない場合は、「行番号」と「列番号」の前後の記述を見直してください。

ファイルの文字コードが UTF-8 になっているか確認してください。

## KAJY02060-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that applies the information related to IM management nodes.(parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

IM 管理ノード関連情報の反映 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

IM 管理ノード関連情報の反映 REST API のパラメーターの指定が不正なため、IM 管理ノード関連情報の反映 REST API を実行できません。

(S)

IM 管理ノード関連情報の反映処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

#### KAJY02065-E

Because the installation path or the path of a shared directory is long, the length of the complete name of an internal directory has exceeded 200 characters.

インストールパス、または共有ディレクトリのパスが長いため、内部ディレクトリの完全名が 200 文字を超えています。

インストールパス、または共有ディレクトリのパスが長いため、内部ディレクトリの完全名が 200 文字を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

インストールパスを短くして再インストールするか、共通定義の指定値を短くしてください。

#### KAJY02073-I

Generation of the information related to IM management nodes ended normally.

IM 管理ノード関連情報の生成が正常終了しました

IM 管理ノード関連情報の生成が正常終了しました。

#### KAJY02074-E

Failed to generate the information related to IM management nodes. (return value = 戻り値, details = 詳細)

IM 管理ノード関連情報の生成に失敗しました (戻り値 : 戻り値, 詳細 : 詳細)

IM 管理ノード関連情報の生成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報を確認して対処してください。

#### KAJY02075-I

Processing to apply the information related to IM management nodes ended normally.  
IM 管理ノード関連情報の反映が正常終了しました

IM 管理ノード関連情報の反映が正常終了しました。

#### KAJY02076-E

Failed to apply the information related to IM management nodes. (return value = 戻り値,  
details = 詳細)  
IM 管理ノード関連情報の反映に失敗しました (戻り値 : 戻り値, 詳細 : 詳細)

IM 管理ノード関連情報の反映に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報を確認して対処してください。

#### KAJY02077-I

Generating tree information process ended normally.  
ツリー情報の生成が正常終了しました

ツリー情報の生成が正常終了しました。

#### KAJY02078-I

Applying tree information process ended normally.  
ツリー情報の反映が正常終了しました

ツリー情報の反映が正常終了しました。

#### KAJY04100-E

An attempt to connect to the JP1/PFM - Web Console (host:ホスト名) has failed.

JP1/PFM - Web Console への接続に失敗しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。



(O)

次のことを確認し、要因を取り除いたあと、JP1/IM で構成情報の同期を行ってください。

- JP1/PFM - Web Console のバージョンが 12-00 以降である。
- JP1/PFM - Web Console のサービスが稼働している。
- IM ホストから JP1/PFM - Web Console ホストに対して、次の設定内容で通信できる。
  - ・ Monitoring Console Host<sup>\*</sup>で指定したホスト名（指定していない場合は jpcconf host hostmode -display コマンドで出力されるホスト名）
  - ・ Monitoring Console Port<sup>\*</sup>で指定したポート番号（指定していない場合は 20358）
  - ・ Monitoring Console Https<sup>\*</sup>で指定した通信プロトコル（指定していない場合は http）

注※ JP1/PFM - Web Console のサービス階層で、Master Manage サービスの JP1 Event Configurations から設定・確認できる。

## KAJY04101-E

An error occurred in the JP1/PFM - Web Console. (host:ホスト名, message:メッセージ ID メッセージ)

JP1/PFM - Web Console でエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

出力されたメッセージ ID ごとの対処を次に示します。

メッセージ ID	対処
KAVJR2000-E	登録されているユーザー名または正しいパスワードで認証情報を設定し、再度実行してください。それでも解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。
KAVJR2001-E	JP1/PFM にアクセス権があるユーザーで認証情報を設定し、再度実行してください。
KAVJR2002-E	認証サーバーの設定を見直し、再度実行してください。
KAVJR2003-E	JP1/PFM の認証モードを JP1 認証モードに変更し、再度実行してください。
KAVJR2004-E	JP1 認証サーバの接続先が正しいか、または JP1 認証サーバが稼働しているか確認し、再度実行してください。
KAVJR2005-E	システム管理者に連絡してください。
KAVJR2006-E	指定した IM 管理ノードに対応するエージェントが JP1/PFM - Manager にセットアップされているか確認し、セットアップされている場合は、当該エージェントの監視対象とするホストに対して、参照権限のあるユーザーで実行してください。
KAVJR2007-E	しばらく待ってから再度実行してください。それでも解決しない場合は、JP1/PFM - Manager のヘルスチェックエージェントが稼働しているか確認してください。

メッセージ ID	対処
KAVJR2008-E	指定した IM 管理ノードに対応するエージェント、または当該エージェントの Store データベースが稼働していない場合、エージェントおよび Store データベースを起動して、もう一度実行してください。
KAVJR2009-E	時間をおいて再度実行してください。それでも解決しない場合は JP1/PFM - Manager のサービスの状態を確認してください。
KAVJR2010-E	再度実行してください。解決しない場合は、JP1/PFM - Web Console サービスを再起動してください。サービスを再起動しても解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。
KAVJR2011-E	JP1/PFM - Manager が正常に動作していることを確認し、再度実行してください。それでも解決しない場合はシステム管理者に連絡してください。
KAVJR2013-E	時間をおいて再度実行してください。
KAVJR2014-E	システム管理者に連絡してください。
KAVJR2015-E	リクエストメッセージに指定した値を見直してから、再度実行してください。
KAVJR2016-E	JP1/PFM - Web Console ホストの不要なアプリケーションを終了してから、再度実行してください。
KAVJR2017-E	登録されているユーザー名または正しいパスワードで認証情報を設定し、再度実行してください。
KAVJR2018-E	前提条件を満たす JP1/PFM - Manager に接続してください。
KAVJR2202-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>性能情報取得 REST API 実行時の場合 リクエストメッセージに指定した値を見直し、再度実行してください。</li> <li>トレンド情報表示または時系列データ取得 API 実行時の場合 メトリック定義ファイルに指定した値を見直し、再度実行してください。</li> </ul>
KAVJR2203-E	指定したレコード ID が対象のエージェントで出力可能か、または JP1/PFM - Manager および JP1/PFM - Web Console に対象のエージェントを手動で登録する必要があるかを確認し、再度実行してください。エージェントの手動登録の可否については、JP1/PFM - Manager および JP1/PFM - Web Console のリリースノートを参照してください。
KAVJR2204-E	指定したフィールド ID が対象のエージェントで出力可能か確認し、再度実行してください。
KAVJR2205-E	開始日時が終了日時より過去になるように指定を見直し、再度実行してください。
KAVJR2206-E	開始日時と終了日時が指定できる範囲か確認し、再度実行してください。
KAVJR2207-E	指定したフィールド ID が対象レコードで指定可能か確認し、再度実行してください。
KAVJR2208-E	指定したフィルター条件の値が指定可能な値か確認し、再度実行してください。
KAVJR2209-E	フィルター条件の値の長さを、1~2,048 バイトの範囲に変更し、再度実行してください。
KAVJR2210-E	フィルター条件の値に指定可能な文字を指定するか、「*」（ワイルドカード）文字で代替した文字列で指定し、再度実行してください。
KAVJR2211-E	性能情報を取得する期間や間隔を見直して、再度実行してください。性能情報を取得する期間や間隔を変更せず性能情報を取得したい場合は、JP1/PFM - Web Console の初期設定ファイルでレポートのタイムアウト時間を拡張し、再度実行してください。

メッセージ ID	対処
	それでも解決しない場合は、JP1/PFM - Manager またはエージェントのサービスが Busy になっている可能性があります。Performance Management プログラムのサービスの構成および状態を表示するコマンドでサービスの状態を確認してください。
KAVJR2212-E	JP1/PFM - Manager が起動しているか、または JP1/PFM - Manager ホストと JP1/PFM - Web Console ホスト間の通信が行えるかを確認し、再度実行してください。
KAVJR2213-E	指定が必須のキーと値を指定し、再度実行してください。

## KAJY04102-E

An error occurred during communication with the JP1/PFM - Web Console. (host:ホスト名)

JP1/PFM - Web Console との通信中に障害が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM ホストから JP1/PFM - Web Console と通信ができることを確認してください。

通信ができない場合は、要因を取り除いたあと、JP1/IM で構成情報の同期を行ってください。

通信できるのにこのエラーが発生する場合は、JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY04120-E

An unexpected exception has occurred.

予期しないエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY04150-E

The JP1/PFM - Manager environment is invalid. (rc:保守コード)

JP1/PFM - Manager のシステム環境が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

システムファイルが不当に削除されたか、またはアクセス権が変更されています。JP1/PFM - Manager を再インストールしてください。

#### KAJY04151-E

Execution of the adapter command in the JP1/PFM - Manager has failed.

JP1/PFM - Manager のアダプタコマンド実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/PFM - Manager が論理ホスト環境の場合、JP1/PFM - Manager の論理ホスト名と JP1/Base の論理ホスト名を一致させてください。

JP1/PFM - Manager が物理ホスト環境の場合、JP1/PFM - Manager, JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY04152-E

Memory is insufficient in the JP1/PFM - Manager host.

JP1/PFM - Manager ホストのメモリーが不足しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/PFM - Manager ホストの使用していないアプリケーションを停止するか、またはメモリーを拡張してください。

#### KAJY04153-E

An attempt to access the configuration file in the JP1/PFM - Manager host has failed. (file: ファイル名)

JP1/PFM - Manager ホストのファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

ファイルに対してアクセスできることを確認して、アクセスできない場合はその要因を取り除いてください。

## KAJY04201-E

An internal error occurred.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS プラグインの関数で内部エラー（引数エラー）が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY04203-E

There is a contradiction in the configuration information acquisition environment. (plugin : プラグイン名, hostname : 取得対象ホスト名, details : 詳細情報)

構成情報の取得環境に矛盾があります。JP1/AJS プラグインでは取得対象ホストから収集した構成情報を処理できません。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS プラグインに対応したアダプタコマンドをセットアップしてください。詳細情報には取得対象ホストのアダプタのバージョン情報が出力されます。

## KAJY04204-E

An internal error occurred.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS プラグインの関数で内部エラー（収集データ不正）が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。詳細情報にはアダプタデータ情報が出力されます。

## KAJY04205-E

An internal error occurred.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS プラグインの関数で内部エラー（データ処理不正）が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。詳細情報にはJSON.parse エラー文字列が出力されます。

#### KAJY04250-E

The collecting information is already running on the same host.

コマンドの二重実行を検知しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

最初に実行されたコマンドの終了を待つか、強制終了してから、もう一度実行してください。

#### KAJY04251-E

Memory is insufficient.

メモリー不足が発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドを実行するために必要なメモリーを確保した後、もう一度実行してください。

#### KAJY04252-E

The permission is insufficient.

権限が不足しています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アダプタコマンドから JP1/AJS3 のファイルまたはパスに実行権限があることを確認した後、もう一度実行してください。

#### KAJY04254-E

The collecting information process could not be generated.

情報収集プロセスの生成に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

メモリー不足か、システムで生成できるプロセスの上限に達した恐れがあります。次の項目を確認した後、もう一度実行してください。

- UNIX の場合は、メモリーとプロセスに関するカーネルパラメーターを見直してください。
- コマンドを実行するために必要なメモリーが確保されているか確認してください。

#### KAJY04255-E

An error occurred during command processing.

内部コマンド実行中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の項目を確認した後、もう一度実行してください。

- JP1/AJS3 サービスが起動しているか。
- 情報取得先のホスト上に、対象の論理ホストが存在するか。

#### KAJY04257-E

I/O error occurred.

I/O エラーを検知しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の項目を確認した後、もう一度実行してください。

- プロセスやシステムのファイルオープンの上限に達したか。
- 空きディスク容量があるか。
- コマンドを実行するために必要なメモリーが確保されているか。
- ディスクにハードウェア障害が発生していないか。

## KAJY04258-E

An error occurred in the API processing.

実行中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドを実行したホストに十分な空きメモリー領域があることを確認した後、もう一度実行してください。

## KAJY04256-E

The execution environment is invalid.

実行環境が不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の項目を確認した後、もう一度実行してください。

- UNIX の場合、環境変数 LANG が存在するか。
- JP1/AJS3 がインストールされているか。
- JP1/AJS3 のコマンドを誤って削除・リネームしていないか。
- JP1/AJS3 が標準構成で運用されているか。

## KAJY04253-E

The collecting information arguments are invalid.

不正な引数が指定されました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アダプタコマンドのファイルが編集されていないことを確認した後、もう一度実行してください。

JP1/IM - Manager (インテリジェント統合管理基盤) 連携用のアダプタコマンド設定ファイルの `cmdpath` 属性に、アダプタコマンドへの絶対パスが正しく指定されていることを確認してください。



## KAJY04259-E

An unexpected error occurred in the collecting information.

情報取得中に予期せぬエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次のログファイルと JP1/IM の資料採取ツールの実行結果を採取し、システム管理者に連絡してください。

- IMDDAdapter\_HITACHI\_JP1\_AJS3\_01.log
- IMAC\_00.log
- IMAC\_01.log
- IMAC\_論理ホスト名\_00.log
- IMAC\_論理ホスト名\_01.log
- IMACE\_00.log
- IMACE\_01.log
- IMACE\_論理ホスト名\_00.log
- IMACE\_論理ホスト名\_01.log
- JP1/IM の資料採取ツールで採取した資料

## KAJY04260-E

The number of units exceeds the limit.

ユニットの上限数を超過しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

取得できるユニット数は 40 万ユニットまでです。実行登録済のユニット、ジョブグループ、マネージャージョブグループ、およびプランニンググループの合計数を 40 万以下にしてから、もう一度実行してください。

## KAJY04700-E

An attempt to read the file failed. (file:ファイル, rc:保守コード)

ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル:ファイル, rc:保守コード)

ファイルが読み込めなかったか、ファイルの更新中に操作を実行されたため、次の操作に失敗しました。

- `jddcreatetree` コマンドの実行

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

## KAJY04701-E

The format of the file is invalid. (file:ファイル, details:詳細情報)

ファイルの書式が不正です (ファイル:ファイル, 詳細情報:詳細情報)

ファイルの書式が正しくありません。または、ファイルの更新中に操作を実行された可能性があります。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、正しい書式に修正し、再度実行してください。

## KAJY04702-E

The value specified for a member is invalid. (file:ファイル, member:メンバ, specified value:指定値)

メンバに指定できない値が指定されています (ファイル:ファイル, メンバ:メンバ, 指定値:指定値)

メンバーに指定できない値が指定されています。

(例)

- 指定できない型が指定されている。
- `number` 型の場合、指定可能範囲でない値が指定されている。
- `string` 型の場合、長さが指定可能範囲でない、または指定できない文字コードが指定されている。

ファイルの格納先および詳細な指定可能値については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し、再度実行してください。

#### KAJY04703-E

```
The member is not specified. (file:ファイル, member:メンバ)
メンバが指定されていません (ファイル:ファイル, メンバ:メンバ)
```

メンバーが指定されていません。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し、再度実行してください。

#### KAJY04704-E

```
An error occurred in the API of the JP1/IM. (API:API, message:メッセージ ID メッセージ, rc:保守コード)
JP1/IM の API でエラーが発生しました (API:API, メッセージ:メッセージ ID メッセージ, rc:保守コード)
```

JP1/IM の API でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたメッセージ ID の対処を参照してください。

#### KAJY04705-E

```
Failed to obtain the configuration information of Yet another cloudwatch exporter.
Yet another cloudwatch exporter の構成情報の取得に失敗しました。
```

Yet another cloudwatch exporter の構成情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどれかの要因により、Yet another cloudwatch exporter の構成情報の取得に失敗しました。

- Yet another cloudwatch exporter で監視を行うためのセットアップ※に誤りがあり、AWS の監視ができていない。

注※ セットアップの内容については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 構築ガイド」の「2.19.2(8) Yet another cloudwatch exporter の設定」を参照してください。

- Yet another cloudwatch exporter が監視する AWS 上にリソースが存在しない。
- JP1/IM のホストと、Yet another cloudwatch exporter のホストのシステム時刻に 10 分以上のずれがある。
- Yet another cloudwatch exporter をスクレイプしている Prometheus のスクレイプ間隔の設定が 10 分以上である。

要因を解決したあと、再度実行してください。

## KAJY04706-E

Failed to communicate with the Prometheus server. (host name:ホスト名, port number:ポート番号)

Prometheus server への通信に失敗しました (ホスト名:ホスト名, ポート番号:ポート番号)

Prometheus server への通信に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどれかの要因により、Prometheus server への通信に失敗しました。

- 監視エージェント定義ファイルの設定で、ホスト名、または、ポート番号の指定が誤っている。
- JP1/IM から Prometheus server のサービスに通信ができない。

要因を解決したあと、再度実行してください。

## KAJY04707-E

The content of the Prometheus configuration file or the discovery configuration file is invalid. (host name:ホスト名, item:項目名, scrape job name:スクレイプジョブ名)

Prometheus 設定ファイル、または、ディスカバリ設定ファイルの内容が不正です (ホスト名:ホスト名, 項目名:項目名, スクレイプジョブ名:スクレイプジョブ名)

Prometheus 設定ファイル, または, ディスカバリ設定ファイルの内容が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名の Prometheus server の Prometheus 設定ファイル, または, ディスカバリ設定ファイルの内容が不正です。項目名の設定を見直して, 再度実行してください。

スクレイプジョブ名が「jpc\_cloudwatch」, 項目名が「jpl\_pc\_nodelabel」の場合, AWS のリソースの jpl\_pc\_nodelabel タグに設定した値が, 英数字またはハイフンだけを使用した 1~255 文字の文字列であるか見直して, 再度実行してください。

## KAJY04708-W

An error occurred in the API of the JP1/IM. (host name:ホスト名, API: API, message:メッセージ ID メッセージ, rc:保守コード)

JP1/IM の API でエラーが発生しました (ホスト名:ホスト名, API: API, メッセージ:メッセージ ID メッセージ, rc:保守コード)

JP1/IM の API でエラーが発生しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

表示されたメッセージ ID の対処を参照してください。

## KAJY04720-E

An unexpected exception has occurred.

予期しないエラーが発生しました。

予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KAJY12000-E

An error occurred during the information collection process of the metric definition file.  
(JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

メトリック定義ファイルの情報取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

メトリック定義ファイルの情報取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12001-E

An error occurred during the event information collection process. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

イベントの情報取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

イベントの情報取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

リクエストボディのフォーマットを見直して再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12002-E

An error occurred during the information collection process from the Intelligent Integrated Management Database. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

インテリジェント統合管理データベースからの情報取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

インテリジェント統合管理データベースからの情報取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

リクエストボディのフォーマットを見直して再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12003-E

An error occurred when adding dashboard. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, title : ダッシュボードのタイトル, URL path : URL のパス)

ダッシュボードの追加処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, title : ダッシュボードのタイトル, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの追加処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

リクエストボディのフォーマットを見直して再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12004-E

An error occurred when getting the dashboard list. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

ダッシュボード一覧の取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボード一覧の取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12005-E

The value specified in the URL is invalid. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

URL に指定した値が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

URL に指定した値が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定した id の値を見直して再実行してください。

## KAJY12006-E

There is no corresponding dashboard. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL path : URL のパス)

該当するダッシュボードがありません。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL のパス : URL のパス)

該当するダッシュボードがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ダッシュボード一覧で存在する id を確認してその id を指定して再実行してください。また、指定した id のダッシュボードの所有者と公開範囲を確認して参照できるか確認してください。

## KAJY12007-E

An error occurred when getting the dashboard. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL path : URL のパス)

ダッシュボードの取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12008-E

The request id is invalid. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL path : URL のパス)

リクエストの id が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, id : ダッシュボードの ID, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの更新処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

URL の id とリクエストボディの id が一致しているか確認して再度実行してください。



## KAJY12009-E

The content of the request is invalid. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, owner : ダッシュボードの所有者, updateTime : 最終更新時刻, URL path : URL のパス)

リクエストの内容が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, owner : ダッシュボードの所有者, updateTime : 最終更新時刻, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの更新処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

最終更新時刻以降に、ダッシュボードが更新されていた場合は、再度ダッシュボードを取得し、以下を確認して再実行してください。

- 指定したダッシュボードがダッシュボード一覧に存在するか
- 指定したダッシュボードの所有者と公開範囲を確認して参照できるか

## KAJY12010-E

An error occurred when updating dashboard. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

ダッシュボードの更新処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの更新処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

リクエストボディのフォーマットを見直して再実行してください。解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12011-E

An error occurred when deleting dashboard. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

ダッシュボードの削除処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードの削除処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY12012-E

There is no user data. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)  
ユーザーデータがありません。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードのユーザーデータがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザーデータ更新でユーザーデータを作成したあと再実行してください。

#### KAJY12013-E

An error occurred when getting user data. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)  
ユーザーデータの取得処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードのユーザーデータの取得処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY12014-E

An error occurred when updating user data. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)  
ユーザーデータの更新処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードのユーザーデータの更新処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザーデータの新規作成で発生した場合は、すでに作成されていないか確認して、作成されている場合はユーザーデータの更新を実行してください。

ユーザーデータの更新で発生した場合は、以下を確認して再実行してください。

- 更新するユーザーデータと実行ユーザーが一致しているか
  - ユーザーデータ取得の updateTime とリクエストボディに指定した updateTime が一致しているか
- 解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY12015-E

An error occurred when deleting user data. (JP1user-name : JP1 ユーザー名, URL path : URL のパス)

ユーザーデータの削除処理でエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, URL のパス : URL のパス)

ダッシュボードのユーザーデータの削除処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY22000-W

There is data that is not displayed because the upper limit is reached. (item = 項目)

上限制約のため、表示されないデータがあります。(項目 : 項目)

上限制約のため、表示されないデータがあります。

(S)

表示処理を続行します。

(O)

- 画面に出力された場合  
システム構成情報から表示の必要性が低いノードのリンク情報を削除し、システムに反映するよう、システム管理者に依頼してください。
- REST API で出力された場合  
出力された項目のパラメーターの指定値の上限を引き上げてから、再度実行してください。

## KAJY22001-E

The link information acquisition REST API cannot be executed because the user does not have the access permissions for the specified node. (jp1user-name : JP1 ユーザー名, node : ノード)

指定されたノードに対するアクセス権限がないため、リンク情報取得 REST API を実行できません。  
(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, ノード : ノード)

指定されたノードに対するアクセス権限がないため、リンク情報取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ノードに指定した値を見直してから、再度実行してください。

## KAJY22002-E

Specified parameters of the link information acquisition REST API is invalid. (jpluser-name : JP1 ユーザー名, parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)

リンク情報取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

リンク情報取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、リンク情報取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

リンク情報取得 REST API のパラメーターの指定を見直してから、再度実行してください。

## KAJY22003-E

The specified value for the parameter of the plug-in processing execution REST API is invalid. (jpluser-name : JP1 ユーザー名, parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)

プラグイン処理実行 REST API のパラメーターの指定が不正です。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

プラグイン処理実行 REST API のパラメーターの指定が不正なため、プラグイン処理実行 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プラグイン処理実行 REST API のパラメーターの指定を見直してから、再度実行してください。

## KAJY22004-E

The plug-in processing execution REST API cannot be executed because the user does not have JP1\_Console\_Admin, JP1\_Console\_Operator, or JP1\_Console\_User permission for the specified IM management node. (jpluser-name = JP1 ユーザー名, IM management node = IM 管理ノード)

指定された IM 管理ノードに対して JP1\_Console\_Admin, JP1\_Console\_Operator, または JP1\_Console\_User の権限がないため、プラグイン処理実行 REST API を実行できません。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, IM 管理ノード : IM 管理ノード)

指定された IM 管理ノードに対するアクセス権限がないため、プラグイン処理実行 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

sid パラメーターに指定した値が正しいか見直してください。指定値に問題がない場合、該当する構成情報の SID の資源グループに対して、実行ユーザーに JP1\_Console\_Admin, JP1\_Console\_Operator, または JP1\_Console\_User の権限を付与するよう、システム管理者に依頼してください。その後、再度実行してください。

## KAJY22005-E

An error occurred while plug-in processing was being executed. (jpluser-name = JP1 ユーザー名, method = 関数名, error message of the plug-in = プラグインのエラーメッセージ)

プラグイン処理実行中にエラーが発生しました。(JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, 関数名 : 関数名, プラグインのエラーメッセージ : プラグインのエラーメッセージ)

プラグイン処理中にエラーが発生したため、プラグイン処理実行 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

出力されたプラグインのエラーメッセージの対処方法を確認し、対処したあと再度実行してください。

## KAJY22006-E

Failed to obtain the time-series data. (IM management node : 構成情報の SID, metric : メトリック名, detail : 詳細)

時系列データの取得に失敗しました。(IM 管理ノード : 構成情報の SID, メトリック : メトリック名, 詳細 : 詳細)

時系列データの取得に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処法を参照し、対処してください。

#### KAJY22007-E

Failed to obtain the list of metrics. (IM management node : SID, detail : 詳細)  
メトリック一覧の取得に失敗しました。(IM 管理ノード : SID, 詳細 : 詳細)

メトリック一覧の取得に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

詳細に記載されたメッセージの対処法を参照し、対処してください。

#### KAJY22008-E

The obtained data is invalid. (IM management : SID, data type : データ種別)  
取得したデータが不正です。(IM 管理ノード : SID, データ種別 : データ種別)

取得したデータが不正です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

#### KAJY22009-E

The parameter specified for the REST API for acquiring metrics information is invalid.  
(parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)  
メトリック一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

メトリック一覧取得 API のパラメーターの指定が不正なため、メトリック一覧取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

メトリック一覧取得 REST API のパラメーターの指定を見直して、再度実行してください。

## KAJY22010-E

The parameter specified for the REST API for acquiring time-series data is invalid. (parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)

時系列データ取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

時系列データ取得 API のパラメーターの指定が不正なため、時系列データ取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

時系列データ取得 REST API のパラメーターの指定を見直して、再度実行してください。

## KAJY22011-E

Data cannot be obtained for the specified IM management node. (IM management : SID, data type : データ種別)

データを取得できない IM 管理ノードが指定されています。(IM 管理ノード :SID, データ種別 : データ種別)

データを取得できない IM 管理ノードが指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定する IM 管理ノードを見直して、再度実行してください。

## KAJY22012-W

Some data cannot be displayed, because the maximum number of instances has been reached. (maximum : 上限値)

インスタンス数の上限を超過したため、表示されないデータがあります。(上限 : 上限値)

インスタンス数の上限を超過したため、表示されないデータがあります。

(S)

処理を継続します。

(O)

- [トレンド] タブに出力された場合：システム管理者に連絡してください。
- REST API で出力された場合：出力された項目のパラメーター指定値を引き上げて、再度実行してください。

#### KAJY22015-E

The obtained data is invalid. (tyep : 種別)  
取得したデータが不正です。(種別 : 種別)

取得したデータが不正です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY22018-E

Replacement of the suggestion-related master file failed. (file name : ファイル名, cause : 要因)  
提案関連マスタファイルの置換えに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

提案関連マスタファイルの置き換えに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたファイルのアクセス権を確認し、再度jddupdatesuggestion コマンドを実行してください。

#### KAJY22019-E

The parameter specified for the previous execution history acquisition REST API is invalid.  
(parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)  
前回実行履歴取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

前回実行履歴取得 API のパラメーターの指定が不正なため、前回実行履歴取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。



(O)

前回実行履歴取得 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY22020-E

The parameter specified for the response action suggestion REST API is invalid. (parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)

対処アクション提案 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

対処アクション提案 API のパラメーターの指定が不正なため、対処アクション提案 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクション提案 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY22021-E

The specified suggestion ID cannot be used to obtain data. (suggestion ID : 提案 ID, IM management node : ツリーの SID)

データを取得できない提案 ID が指定されています。(提案 ID : 提案 ID, IM 管理ノード : ツリーの SID)

データを取得できない提案 ID が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定する提案 ID を見直して再度実行してください。

## KAJY22022-E

The specified suggestion ID is duplicated. (suggestion ID : 提案 ID)

指定した提案 ID が重複しています。(提案 ID: 提案 ID)

REST API のパラメーターに指定した提案 ID が重複しているため、REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY22023-I

The response action will now start. (suggestion ID : 提案 ID, JP1 user name : JP1 ユーザー名, IM Management node : ツリーの SID, action information : アクション情報)

対処アクションを開始します。(提案 ID : 提案 ID, JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, IM 管理ノード : ツリーの SID, アクション情報 : アクション情報)

対処アクションの実行を開始します。

## KAJY22024-I

The response action has finished. (suggestion ID : 提案 ID, JP1 user name : JP1 ユーザー名, IM Management node : ツリーの SID, action information : アクション情報)

対処アクションが完了しました。(提案 ID : 提案 ID, JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, IM 管理ノード : ツリーの SID, アクション情報 : アクション情報)

対処アクションの実行が完了しました。

## KAJY22025-E

Execution of the response action failed. (suggestion ID : 提案 ID, JP1 user name : JP1 ユーザー名, Cause : 要因, IM Management node : ツリーの SID, action information : アクション情報)

対処アクションの実行に失敗しました。(提案 ID : 提案 ID, JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名, 要因 : 要因, IM 管理ノード : ツリーの SID, アクション情報 : アクション情報)

対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

要因から失敗した原因を特定してください。提案定義に原因がある場合は提案定義ファイルを修正し、`jddupdatesuggestion` コマンドを実行して修正した内容をシステムに反映してください。原因を取り除いたあと、再度提案活性条件の判定を行ってください。

## KAJY22026-W

Conversion of the variables in the suggestion definition failed. (target area : 対象箇所, variable name : 変数名, cause : 要因)

提案定義の変数変換に失敗しました(対象箇所 : 対象箇所, 変数名 : 変数名, 要因 : 要因)

提案定義の変数変換に失敗しました。

対象箇所には、記載誤りのある変数の設定箇所が次の形式で出力されます。配列の 1 要素に記載誤りがある場合は、対象箇所の位置を 0 から始まるインデックスで示します。

提案 ID/パラメーター名/...

(例) id1/cases/0/0/description

(S)

処理を続行します。

(O)

要因から失敗した原因を特定してください。提案定義に原因がある場合は提案定義ファイルを修正し、jddupdatesuggestion コマンドを実行して修正した内容をシステムに反映してください。原因を取り除いたあと、再度提案活性条件の判定を行ってください。

## KAJY22027-W

The suggestion information after variable conversion is invalid. (target area : 対象箇所, target item : 対象項目, cause : 要因)

変数変換後の提案情報が不正です。(対象箇所 : 対象箇所, 対象項目 : 対象項目, 要因 : 要因)

変数変換後の提案情報が不正です。

配列の 1 要素に記載誤りがある場合は、対象箇所の位置を 0 から始まるインデックスで示します。

提案 ID/パラメーター名/...

(例) id1/cases/0/0/description

(S)

処理を続行します。

(O)

要因から不正内容を特定してください。提案定義が不正な場合は提案定義ファイルを修正し、jddupdatesuggestion コマンドを実行して修正した内容をシステムに反映してください。不正内容を取り除いたあと、再度提案活性条件の判定を行ってください。

## KAJY22028-W

Judgement of the activation conditions failed. (suggestion ID : 提案 ID, target area : 対象箇所, cause : 要因, IM Management node : ツリーの SID)

活性条件の判定に失敗しました。(提案 ID : 提案 ID, 対象箇所 : 対象箇所, 要因 : 要因, IM 管理ノード : ツリーの SID)

活性条件の判定に失敗しました。

対象箇所には、判定に失敗した活性条件が次の形式で表示されます。

条件種別[n]

n には同一の条件種別間での指定順が、1 以上の整数で表示されます。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

要因から失敗した原因を特定してください。提案定義に原因がある場合は提案定義ファイルを修正し、`jddupdatesuggestion` コマンドを実行して修正した内容をシステムに反映してください。原因を取り除いたあと、再度提案活性条件の判定を行ってください。

## KAJY22029-W

The response action is running. (suggestion ID : 提案 ID, IM Management node : ツリーの SID)  
対処アクションは実行中です。(提案 ID : 提案 ID, IM 管理ノード : ツリーの SID)

対処アクションは実行中です。

(S)

対処アクションが実行中であることを通知するメッセージです。

## KAJY22030-E

The suggestion definition file does not exist. (directory name : ディレクトリ名)  
提案定義ファイルが存在しません。(ディレクトリ名 : ディレクトリ名)

指定したディレクトリに提案定義ファイルが 1 つも存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したディレクトリ先に提案定義ファイルが存在するか確認し、再度実行してください。提案定義ファイル名の形式は次の通りです。

提案定義ファイルの形式

`imdd_suggestion_任意のファイル名.conf`

提案定義ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY22031-E

The parameter specified for the response action execution REST API is invalid. (parameter name : パラメーター名, specified value : 指定値)

対処アクション実行 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

対処アクション実行 API のパラメーターの指定が不正なため、対処アクション実行 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクション実行 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY22033-E

The specified response action cannot be executed because the number of concurrent response actions exceeds the maximum. (maximum number of concurrent executions : 同時実行数上限)  
対処アクションの同時実行数が上限を超えたため、対処アクションを実行できません。(同時実行数上限 : 同時実行数上限)

対処アクションの同時実行数が上限を超えたため、対処アクションを実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクションの同時実行数が上限を超えていないことを確認し、対処アクションを再度実行してください。

### KAJY22034-W

A suggestion definition is not mapped to any IM managed node. (suggestion ID : 提案 ID)  
どの IM 管理ノードにもマッピングされない提案定義が存在します。(提案 ID : 提案 ID)

jddupdatesuggestion コマンドで反映する提案定義に、どの IM 管理ノードにもマッピングされない提案定義が存在します。

(S)

処理を続行します。

(O)

表示された提案 ID の提案定義について、メンバー「node」の値を確認してください。誤りがある場合は、定義を修正し、再度jddupdatesuggestion コマンドを実行してください。

### KAJY22035-W

Duplicate pre-conversion characters have been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line : 行番号)  
イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が重複しています。(行番号 : 行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が重複しています。

(S)

重複した定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAJY22036-W

An invalid pre-conversion character has been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line : 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が不正です。(行番号 : 行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換前の文字が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAJY22037-W

An invalid post-conversion character string has been specified in the configuration file for converting information during event succession. (line : 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換後の文字列が不正です。(行番号 : 行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された変換後の文字列が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAJY22038-W

The number of definitions specified in the configuration file for converting information during event succession has exceeded the maximum of 最大数.

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義数が最大数(最大数件)を超えています。

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義数が最大数を超えています。

(S)

最大数を超えた定義を無視して処理を続行します。

(O)

定義数を見直し、修正してください。

#### KAJY22039-W

The syntax of a definition, specified in the configuration file for converting event succession information, is invalid. (line : 行番号)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義のフォーマットが不正です。(行番号 : 行番号)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルに指定された定義が不正です。

(S)

不正な定義を無視して処理を続行します。

(O)

メッセージに表示される行番号が誤っている個所です。誤りを修正してください。

#### KAJY22040-I

The configuration file for converting event succession information was read.

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルを読み込みました。

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルを読み込みました。

#### KAJY22041-W

An attempt to read the configuration file for converting event succession information has failed. (cause : 要因)

イベント引継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みに失敗しました。(要因 : 要因)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルの読み込みを中止し、処理を続行します。

(O)

イベント引き継ぎ情報変換設定ファイルが読み込み可能になっているかを確認してください。読み込み可能な場合は、次の OS のログを確認し、ファイルディスクリプタなどの OS のリソース不足が発生していないかを確認してください。

- Windows の場合 : Windows イベントログ
- UNIX の場合 : シスログ (syslog)

発生していない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY22042-W

It will take a long time to perform matching by using the specified regular expression. This will affect the performance of the `jddupdatesuggestion` command and the judgment of activation conditions. (file name : **ファイル名**, target area : **対象箇所**, item : **対象項目**, cause : **要因**)

マッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのため `jddupdatesuggestion` コマンドまたは提案活性条件の判定性能に影響があります。(ファイル名 : **ファイル名**, 対象箇所 : **対象箇所**, 対象項目 : **対象項目**, 要因 : **要因**)

マッチング処理に時間の掛かる正規表現が指定されています。そのため `jddupdatesuggestion` コマンドまたは提案活性条件の判定性能に影響があります。

対象箇所には、記載誤りのある設定項目の設定箇所が表示されます。

配列の 1 要素に記載誤りがある場合は、対象箇所の位置を 0 から始まるインデックスで示します。

(例) `suggestions/0/cases/0/1/key/REGEX_B.MESSAGE`

(S)

処理を続行します。

(O)

マッチング処理に時間の掛かる正規表現を修正してください。

- 「先頭または末尾に「.\*」が指定されています」`“.*” is specified at the beginning or the end.`」  
先頭または末尾に指定されている「.\*」を削除してください。
- 「「.\*」が連続して指定されています」`“.*” is specified repeatedly.`」  
連続して指定されている箇所の「.\*」を一つにしてください。

## KAJY22043-E

The value specified for an argument of a common method is invalid. (method name : **メソッド名**, argument name : **引数名**, specified value : **指定値**)

共通メソッドの引数に指定した値が不正です。(メソッド名 : **メソッド名**, 引数名 : **引数名**, 指定値 : **指定値**)

引数の指定が不正なため、共通メソッドを実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

共通メソッドの引数の指定を見直してください。



## KAJY22044-W

Failed to read the suggestion-related master file.  
提案関連マスタファイルの読み込みに失敗しました。

提案関連マスタファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

提案関連情報を読み込まずに処理を続行します。

(O)

次の原因が考えられます。

- 一時的なファイルアクセスエラーが発生した。  
エラー要因を取り除いたあと、JP1/IM3-Manager サービスを再起動してください。
- 上記以外の場合  
jddupdatesuggestion コマンドを実行して、提案関連情報を再作成してください。

## KAJY22045-W

Failed to read the previous execution history information of the response action. (file name :  
ファイル名, cause : 要因)

対処アクションの前回実行履歴情報の読み込みに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

対処アクションの前回実行履歴情報の読み込みに失敗しました。

(S)

対処アクションの前回実行履歴情報を読み込まずに処理を続行します。

## KAJY22046-E

Failed to replace the previous execution history file. (file name : ファイル名, cause : 要因)

前回実行履歴ファイルの置換えに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名, 要因 : 要因)

JP1/IM3-Manager サービスを起動してから JP1/IM3-Manager サービスを停止するまでの間の、対処アクションの前回実行履歴情報を保存できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたファイルのアクセス権を確認してください。

また、保存できなかった前回実行履歴情報は、対処アクション実行履歴ファイルを参照してください。

## KAJY22047-W

Failed to obtain information from the Repeated event list window. (suggestion ID: 提案 ID, cause: 要因)

繰り返しイベント一覧画面の情報の取得に失敗しました。(提案 ID : 提案 ID, 要因 : 要因)

提案定義で指定した繰り返しイベント一覧画面の対象イベントについて、情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

要因から失敗した原因を特定してください。提案定義に原因がある場合は提案定義ファイルを修正し、`jddupdatesuggestion` コマンドを実行して修正した内容をシステムに反映してください。原因を取り除いたあと、再度提案活性条件の判定を行ってください。

## KAJY24100-E

An attempt to connect to the JP1/PFM - Web Console (host:ホスト名) has failed.

JP1/PFM - Web Console への接続に失敗しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次のことを確認し、要因を取り除いたあと、JP1/IM で構成情報の同期を行ってください。

- ・ JP1/PFM - Web Console のバージョンが 12-00 以降である。
- ・ JP1/PFM - Web Console のサービスが稼働している。
- ・ IM ホストから JP1/PFM - Web Console ホストに対して、次の設定内容で通信できる。
  - ・ Monitoring Console Host<sup>※</sup>で指定したホスト名（指定していない場合は `jpccconf host hostmode -display` コマンドで出力されるホスト名）
  - ・ Monitoring Console Port<sup>※</sup>で指定したポート番号（指定していない場合は 20358）
  - ・ Monitoring Console Https<sup>※</sup>で指定した通信プロトコル（指定していない場合は `http`）

注※ JP1/PFM - Web Console のサービス階層で、Master Manage サービスの JP1 Event Configurations から設定・確認できる。

## KAJY24101-E

An error occurred in the JP1/PFM - Web Console. (host:ホスト名, message:メッセージID メッセージ)

JP1/PFM - Web Console でエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

出力されたメッセージ ID ごとの対処を次に示します。

メッセージ ID	対処
KAVJR2000-E	登録されているユーザー名または正しいパスワードで認証情報を設定し、再度実行してください。それでも解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。
KAVJR2001-E	JP1/PFM にアクセス権があるユーザーで認証情報を設定し、再度実行してください。
KAVJR2002-E	認証サーバーの設定を見直し、再度実行してください。
KAVJR2003-E	JP1/PFM の認証モードを JP1 認証モードに変更し、再度実行してください。
KAVJR2004-E	JP1 認証サーバの接続先が正しいか、または JP1 認証サーバが稼働しているか確認し、再度実行してください。
KAVJR2005-E	システム管理者に連絡してください。
KAVJR2006-E	指定した IM 管理ノードに対応するエージェントが JP1/PFM - Manager にセットアップされているか確認し、セットアップされている場合は、当該エージェントの監視対象とするホストに対して、参照権限のあるユーザーで実行してください。
KAVJR2007-E	しばらく待ってから再度実行してください。それでも解決しない場合は、JP1/PFM - Manager のヘルスチェックエージェントが稼働しているか確認してください。
KAVJR2008-E	指定した IM 管理ノードに対応するエージェント、または当該エージェントの Store データベースが稼働していない場合、エージェントおよび Store データベースを起動して、もう一度実行してください。
KAVJR2009-E	時間をおいて再度実行してください。それでも解決しない場合は JP1/PFM - Manager のサービスの状態を確認してください。
KAVJR2010-E	再度実行してください。解決しない場合は、JP1/PFM - Web Console サービスを再起動してください。サービスを再起動しても解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。
KAVJR2011-E	JP1/PFM - Manager が正常に動作していることを確認し、再度実行してください。それでも解決しない場合はシステム管理者に連絡してください。
KAVJR2013-E	時間をおいて再度実行してください。
KAVJR2014-E	システム管理者に連絡してください。
KAVJR2015-E	リクエストメッセージに指定した値を見直してから、再度実行してください。
KAVJR2016-E	JP1/PFM - Web Console ホストの不要なアプリケーションを終了してから、再度実行してください。
KAVJR2017-E	登録されているユーザー名または正しいパスワードで認証情報を設定し、再度実行してください。
KAVJR2018-E	前提条件を満たす JP1/PFM - Manager に接続してください。
KAVJR2202-E	<ul style="list-style-type: none"><li>性能情報取得 REST API 実行時の場合</li></ul>

メッセージ ID	対処
	<p>リクエストメッセージに指定した値を見直し、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トレンド情報表示または時系列データ取得 API 実行時の場合</li> </ul> <p>メトリック定義ファイルに指定した値を見直し、再度実行してください。</p>
KAVJR2203-E	指定したレコード ID が対象のエージェントで出力可能か、または JP1/PFM - Manager および JP1/PFM - Web Console に対象のエージェントを手動登録する必要があるかを確認し、再度実行してください。エージェントの手動登録の要否については、JP1/PFM - Manager および JP1/PFM - Web Console のリリースノートを参照してください。
KAVJR2204-E	指定したフィールド ID が対象のエージェントで出力可能か確認し、再度実行してください。
KAVJR2205-E	開始日時が終了日時より過去になるように指定を見直し、再度実行してください。
KAVJR2206-E	開始日時と終了日時が指定できる範囲か確認し、再度実行してください。
KAVJR2207-E	指定したフィールド ID が対象レコードで指定可能か確認し、再度実行してください。
KAVJR2208-E	指定したフィルター条件の値が指定可能な値か確認し、再度実行してください。
KAVJR2209-E	フィルター条件の値の長さを、1~2,048 バイトの範囲に変更し、再度実行してください。
KAVJR2210-E	フィルター条件の値に指定可能な文字を指定するか、「*」（ワイルドカード）文字で代替した文字列で指定し、再度実行してください。
KAVJR2211-E	<p>性能情報を取得する期間や間隔を見直して、再度実行してください。性能情報を取得する期間や間隔を変更せず性能情報を取得したい場合は、JP1/PFM - Web Console の初期設定ファイルでレポートのタイムアウト時間を拡張し、再度実行してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、JP1/PFM - Manager またはエージェントのサービスが Busy になっている可能性があります。Performance Management プログラムのサービスの構成および状態を表示するコマンドでサービスの状態を確認してください。</p>
KAVJR2212-E	JP1/PFM - Manager が起動しているか、または JP1/PFM - Manager ホストと JP1/PFM - Web Console ホスト間の通信が行えるかを確認し、再度実行してください。
KAVJR2213-E	指定が必須のキーと値を指定し、再度実行してください。

## KAJY24102-E

An error occurred during communication with the JP1/PFM - Web Console. (host: ホスト名)

JP1/PFM - Web Console との通信中に障害が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM ホストから JP1/PFM - Web Console と通信ができることを確認してください。

通信ができない場合は、要因を取り除いたあと、JP1/IM で構成情報の同期を行ってください。

通信できるのにこのエラーが発生する場合は、JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24103-E

An invalid argument is specified. (引数名：指定値)

引数の値が不正です。または引数が指定されていません。引数が指定されていない場合は指定値は空文字になります。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

有効な値の引数を指定し、再度実行してください。

## KAJY24104-E

The specified IM management node does not exist. (IM management node: IM 管理ノード)

指定された IM 管理ノードが存在しません。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

IM 管理ノードの値を見直し、再度実行してください。

## KAJY24105-E

The configuration might have changed during processing.

処理中に構成情報が変更された可能性があります。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

直前に行った操作により、次の対処を行ってください。

- ブラウザでの操作を行った場合  
画面を最新の状態に更新し、ブラウザでの操作を再度行ってください。
- REST API を実行した場合  
REST API のパラメータを見直し、再度実行してください。

構成情報を変更していない場合は、JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24106-E

An attempt to read the file failed. (file:ファイル)

ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル: ファイル)

ファイルが読み込めなかったか、ファイルの更新中に操作を実行されたため、以下のどれかの操作に失敗しました。

- トレンド情報の表示
- メトリック一覧取得 API の実行
- 時系列データ取得 API の実行

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

ファイルがメトリック定義ファイルである場合、対象の JP1/PFM エージェントに対応するメトリック定義ファイルを作成していない場合があります。その場合、対象の JP1/PFM エージェントに対応するメトリック定義ファイルを作成し、再度実行してください。

## KAJY24107-E

The format of the file is invalid. (file:ファイル, details:詳細情報)

ファイルの書式が不正です (ファイル: ファイル, 詳細情報: 詳細情報)

ファイルの書式が正しくありません。または、ファイルの更新中に操作を実行された可能性があります。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、正しい書式に修正し、再度実行してください。

## KAJY24108-E

The value specified for a member is invalid. (file:ファイル, member:メンバー, specified value: 指定値)

メンバに指定できない値が指定されています (ファイル: ファイル, メンバ: メンバー, 指定値: 指定値)

メンバーに指定できない値が指定されています。

(例)

- 指定できない型が指定されている。
- number 型の場合、指定可能範囲でない値が指定されている。
- string 型の場合、長さが指定可能範囲でない、または指定できない文字コードが指定されている。

ファイルの格納先および詳細な指定可能値については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し、再度実行してください。

## KAJY24109-E

The specified metric is not defined in the metric definition file. (file:ファイル, metric:指定値)  
指定されたメトリックは、メトリック定義ファイルに定義されていません (ファイル:ファイル, メトリック名:指定値)

指定されたメトリックは、メトリック定義ファイルに定義されていません。

メトリック定義ファイルが更新された可能性があります。

メトリック名を指定せずに REST API を実行した場合、ファイルと指定値は空文字になります。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

直前に行った操作によって、次のどちらかの対処を行ってください。

- ブラウザで操作した場合  
画面を最新の状態に更新し、ブラウザでの操作を再度行ってください。
- REST API を実行した場合  
REST API のパラメータを見直し、再度実行してください。

## KAJY24110-E

The member is not specified. (file:ファイル, member:メンバー)

メンバが指定されていません (ファイル:ファイル, メンバ:メンバー)

メンバーが指定されていません。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し、再度実行してください。

## KAJY24111-E

The value of a member is specified more than once. (file:ファイル, member:メンバー, specified value:指定値)

メンバの値が重複して指定されています (ファイル:ファイル, メンバ:メンバー, 指定値:指定値)

メンバーの値が重複して指定されています。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

ファイルのメンバーの値をファイル内で重複しないように指定し、再度実行してください。

## KAJY24112-E

The number of metrics is outside the allowable range. (file:ファイル)

メトリックの個数が範囲外です (ファイル:ファイル)

メトリックの個数が範囲外です。

ファイルの格納先および定義可能な範囲については、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

ファイルに定義されているメトリックの個数を範囲内に修正し、再度実行してください。



## KAJY24113-E

The suggestion definition file content is invalid. (plugin-function:プラグイン関数, member:メンバー)

提案定義ファイルの内容が不正です (プラグイン関数: プラグイン関数, メンバ: メンバー)

提案定義ファイルの内容が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

プラグイン関数のメンバーの値を正しく指定し、再度実行してください。

メンバーの値がsidの場合、プラグイン関数で指定できるsidを指定してください。

正しく指定している場合、JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24114-E

JP1/PFM - Manager command could not be executed. (host:ホスト, command:コマンド, error code:エラーコード)

JP1/PFM - Manager のコマンドを実行することができませんでした (ホスト:ホスト, コマンド:コマンド, エラーコード:エラーコード)

JP1/PFM - Manager のコマンドを実行することができませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから、再度実行してください。再度実行しても改善されない場合以下のことを確認し、要因を取り除いたあと、再度実行してください。

- ホストの JP1/Base のサービスが起動しているか
- ホストの JP1/Base の設定で、ユーザーマッピングのサーバーホストに JP1/IM のホストが含まれているか
- 提案定義ファイルの jp1User に指定した JP1 ユーザーに対して、実行先ホストの OS ユーザーとのマッピングを行っているか
- ホストの JP1/PFM - Manager のバージョンが 12-50 以降か
- JP1/PFM - Manager を 12-00 以前から 12-50 以降にバージョンアップした場合、jddcreatetree コマンドを実行してシステム構成情報を再取得し、jddupdatetree コマンドを実行して IM 管理ノード関連ファイルを反映させたか

## KAJY24115-E

An error occurred in the JP1/PFM - Manager command. (host:ホスト, command:コマンド, error code:エラーコード, message:メッセージ ID メッセージ)

JP1/PFM - Manager のコマンドでエラーが発生しました (ホスト:ホスト, コマンド:コマンド, エラーコード:エラーコード, メッセージ:メッセージ ID メッセージ)

JP1/PFM - Manager のコマンドでエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたメッセージ ID の対処は、マニュアル「JP1/Performance Management リファレンス」の「7. メッセージ」を参照してください。

メッセージ ID に JP1/PFM のメッセージが設定されていない場合、以下のことを確認してください。

- 提案定義ファイルでコマンドを指定している場合、コマンド名が誤っていないか
- コマンドが、JP1/PFM - Manager の tools ディレクトリの下に存在するか

## KAJY24116-E

An error occurred in the API of the JP1/IM2. (API:API, message:メッセージ ID メッセージ)

JP1/IM2 の API でエラーが発生しました (API:API, メッセージ:メッセージ ID メッセージ)

JP1/IM の API でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたメッセージ ID の対処を参照してください。

## KAJY24120-E

An unexpected exception has occurred.

予期しないエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/PFM - Manager, JP1/PFM - Web Console, および JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24201-E

An internal error occurred.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS プラグインの関数で内部エラー（引数エラー）が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

取得可能な時系列データのメトリックの一覧を取得するメソッドを呼び出した場合：

- JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 12-10 未満である  
スケジューラーサービスが定義されている JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 12-10 以上か確認してください。

確認対象の JP1/AJS3 - Manager がインストールされているホスト名は、指定した SID のうち、種別が JP1AJS-M\_ の名称を参照してください。

時系列データを取得するメソッドを呼び出した場合：

- JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 12-10 未満である  
スケジューラーサービスが定義されている JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 12-10 以上か確認してください。  
確認対象の JP1/AJS3 - Manager がインストールされているホスト名は、指定した SID のうち、種別が JP1AJS-M\_ の名称を参照してください。
- 指定したメトリック名が不正な文字列である  
指定可能なメトリック名は、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 画面リファレンス」の「2.7.1 JP1/AJS から取得できるメトリック」を参照してください。

上記に該当する場合は、要因を取り除いてからメソッドを再度実行してください。

上記に該当しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24204-E

An internal error occurred. (plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS プラグインの関数で内部エラー（収集データ不正）が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24210-E

The metric definition file is invalid. (plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 のメトリック定義ファイルから情報を取得できませんでした。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

- メトリック定義ファイルが配置されていない。
- メトリック定義ファイルのデータの形式が正しくない。

対処したあと、再度操作してください。

要因が不明な場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24211-E

The JP1/AJS3 plug-in settings file is invalid. (plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 プラグイン設定ファイルから情報を取得できませんでした。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

- JP1/AJS3 プラグイン設定ファイルが配置されていない。
- JP1/AJS3 プラグイン設定ファイルのデータの形式が正しくない。

対処したあと、再度操作してください。

要因が不明な場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24212-E

An error occurred during the acquisition of information. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager からの情報取得処理でエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

- 情報取得先のホストが停止している。
- JP1/IM と情報取得先のホストとのネットワークに問題がある。
- JP1/AJS3 - Manager が停止している。
- 情報取得先のホスト上に、対象の論理ホストが存在しない。
- 情報取得先のホスト上に、対象のスケジューラーサービスが存在しない。

対処したあと、再度操作してください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24213-E

No metric information exists. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager から取得が取得できませんでした。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

- メトリック定義ファイルに存在しないインスタンスを指定した。
- メトリックに、情報取得対象の JP1/AJS3 - Manager のバージョンにより取得できないインスタンスが指定されている。

対処したあと、再度操作してください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24217-E

The specified unit name is invalid.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

IM 管理ノードリンク定義ファイルに指定したユニット名の指定に誤りがあります。

(S)

プラグインは対象のユニットの情報の取得を行いません。処理は続行します。

(O)

次の要因が考えられます。

- precedingJob の指定に誤りがある

from で指定したルートジョブネットと同じ名称ではない  
from で指定したルートジョブネットの配下のユニットではない

- succeedingJob の指定に誤りがある  
to で指定したルートジョブネットと同じ名称ではない  
to で指定したルートジョブネットの配下のユニットではない
- from, to, precedingJob, succeedingJob に指定されている文字列が長すぎる

IM 管理ノードリンク定義ファイルの内容を確認し、正しく指定してください。インテリジェント統合管理サーバに反映する必要がある場合、jddupdatetree コマンドを実行して定義内容をインテリジェント統合管理サーバに反映してください。

対処したあと再度操作を行ってください。

要因が不明な場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24218-W

The related information exceeds the limit.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

関連情報の数が以下の値を超えました。超えた情報は取得を行いません。

上限値は、JP1/AJS3 プラグイン設定ファイルで指定した「linkValueLimit」の値、または指定していない場合はデフォルトで 64 です。

上限値を変更する場合は、JP1/AJS3 プラグイン設定ファイル「linkValueLimit」に指定してください。

## KAJY24219-E

The host name (ホスト名) IP address could not be acquired.(plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager でホスト名の IP アドレス解決に失敗しました。JP1/AJS プラグインでは、JP1 イベント連携によるつながりを生成できない可能性があるため、処理できません。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager で、hosts ファイル、jplhosts ファイル、jplhosts2 ファイル、または DNS サーバなどで、ホスト名から IP アドレスが求められるように、ネットワークの設定が正しく設定されている必要があります。ネットワークの設定を訂正したあと、再度実行してください。

## KAJY24250-E

Memory is insufficient. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager でメモリー不足が発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

情報取得対象の JP1/AJS3 - Manager で必要なメモリーを確保した後、再度操作してください。

エラーが解消されない場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24252-E

The collecting information arguments are invalid. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で情報を収集するためのコマンドに不正な引数が指定されました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次の要因が考えられます。

- トレンド情報の開始時刻、または終了時刻に、JP1/AJS3 - Manager で取得できる範囲外の値が指定された。

正しく指定したあと再度操作してください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager で資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24253-E

The collecting information process could not be generated. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で情報収集プロセスの生成に失敗しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager でメモリー不足か、システムで生成できるプロセスの上限に達した恐れがあります。次の項目を確認した後、もう一度操作を実行してください。

- UNIX の場合は、メモリーとプロセスに関するカーネルパラメーターを見直してください。
- コマンドを実行するために必要なメモリーが確保されているか確認してください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24254-E

An error occurred during command processing. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で情報を収集するためのコマンドの実行中にエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager で次の項目を確認した後、もう一度操作を実行してください。

- 情報取得先のホストに十分な空きメモリー領域があるか。
- 情報取得先のホスト上に、対象の論理ホストが存在するか。
- 情報取得先のホスト上に、対象のスケジューラーサービスが存在するか

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24255-E

I/O error occurred. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で I/O エラーを検知しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager で次の項目を確認した後、もう一度操作を実行してください。

- プロセスやシステムのファイルオープンの上限に達したか。
- 空きディスク容量があるか。
- コマンドを実行するために必要なメモリーが確保されているか。
- ディスクにハードウェア障害が発生していないか。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



## KAJY24257-E

An unexpected error occurred in the collecting information. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で情報を収集するためのコマンドで予期せぬエラーが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24259-W

Unit does not exist. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager でユニットが存在しません。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

次のことが要因として考えられます。それぞれの要因に対応する対処方法に従ってください。

### 要因 1

JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の情報が不一致になっていないか確認してください。

### 対処

不一致の場合、必要に応じて次の対処を行ってください。

- JP1/AJS3 - Manager でルートジョブネットの定義や状態が正しいか確認し、必要に応じて定義や実行登録を実施してください。
- インテリジェント統合管理サーバに反映する必要がある場合、jddcreatetree コマンドを実行して IM 管理ノード関連ファイルを生成し、jddupdatetree コマンドを実行して定義内容をインテリジェント統合管理サーバに反映してください。

### 要因 2

連携ユニット表示で、IM 管理ノードリンク定義ファイルに指定したユニット名長が長い (930 バイトを超えている)。

### 対処

IM 管理ノードリンク定義ファイルに正しく指定してください。

インテリジェント統合管理サーバに反映する必要がある場合、jddupdatetree コマンドを実行して定義内容をインテリジェント統合管理サーバに反映してから、再度操作を行ってください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24260-E

A timeout occurred during the acquisition of information. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager で情報取得処理でタイムアウトが発生しました。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager で次の項目を確認した後、もう一度操作を実行してください。

- CPU 負荷が高くなっていないか。
- ネットワーク環境に問題がないか。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24261-W

The unit is not registered for execution. ( plugin : プラグイン名, function : 関数名, details : 詳細情報)

JP1/AJS3 - Manager でユニットが実行登録されていません。

(S)

プラグインはこの処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の情報が不一致になっていないか確認してください。不一致の場合、必要に応じて次の対処を行ってください。

- JP1/AJS3 - Manager でルートジョブネットの定義や状態が正しいか確認し、必要に応じて実行登録を実施してください。
- インテリジェント統合管理サーバに反映する必要がある場合、jddcreatetree コマンドを実行して IM 管理ノード関連ファイルを生成し、jddupdatetree コマンドを実行して定義内容をインテリジェント統合管理サーバに反映してください。

要因が不明な場合は、JP1/AJS3 - Manager と JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24600-E

An invalid argument is specified. (引数名:指定値)

### 引数の値が不正です (引数名：指定値)

引数の値が不正です。または引数が指定されていません。引数が指定されていない場合、指定値は空文字になります。

(S)

処理を中断します。

(O)

有効な値の引数を指定し、再度実行してください。

### KAJY24601-E

The specified IM management node does not exist. (IM management node:IM 管理ノード)  
指定された IM 管理ノードが存在しません (IM 管理ノード：IM 管理ノード)

指定された IM 管理ノードが存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IM 管理ノードの値を見直し、再度実行してください。

### KAJY24602-E

The configuration might have changed during processing.  
処理中に構成情報が変更された可能性があります。

処理中に構成情報が変更された可能性があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前に行った操作により、次の対処を行ってください。

- ブラウザでの操作を行った場合  
画面を最新の状態に更新し、ブラウザでの操作を再度行ってください。
- API (REST API) を実行した場合  
API のパラメーターを見直し、再度実行してください。

構成情報を変更していない場合、監視エージェントの障害情報を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY24603-E

An attempt to read the file failed. (file:ファイル)

ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル:ファイル)

ファイルが読み込めなかったか、ファイルの更新中に操作を実行されたため、次のどれかの操作に失敗しました。

- トレンド情報の表示
- メトリック一覧取得 API の実行
- 時系列データ取得 API の実行

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

ファイルがメトリック定義ファイルである場合、Prometheus トレンド名に対応するメトリック定義ファイルを作成していない場合があります。その場合、対象の Prometheus トレンド名に対応するメトリック定義ファイルを作成し、再度実行してください。

## KAJY24604-E

The format of the file is invalid. (file:ファイル, details:詳細情報)

ファイルの書式が不正です (ファイル:ファイル, 詳細情報:詳細情報)

ファイルの書式が正しくありません。または、ファイルの更新中に操作を実行された可能性があります。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、正しい書式に修正し、再度実行してください。

## KAJY24605-E

The value specified for a member is invalid. (file:ファイル, member:メンバ, specified value:指定値)

メンバに指定できない値が指定されています (ファイル:ファイル, メンバ:メンバ, 指定値:指定値)

メンバーに指定できない値が指定されています。

(例)

- 指定できない型が指定されている。
- number 型の場合, 指定可能範囲でない値が指定されている。
- string 型の場合, 長さが指定可能範囲でない, または指定できない文字コードが指定されている。

ファイルの格納先および詳細な指定可能値については, マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し, 再度実行してください。

## KAJY24606-E

The specified metric is not defined in the metric definition file. (file:ファイル, metric:指定値)

指定されたメトリックは, メトリック定義ファイルに定義されていません (ファイル:ファイル, メトリック名:指定値)

指定されたメトリックは, メトリック定義ファイルに定義されていません。

メトリック定義ファイルが更新された可能性があります。

メトリック名を指定せずに API (REST API) を実行した場合, ファイルと指定値は空文字になります。

ファイルの格納先については, マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前に行った操作により, 次の対処を行ってください。

- ブラウザでの操作を行った場合  
画面を最新の状態に更新し, ブラウザでの操作を再度行ってください。

- API (REST API) を実行した場合  
APIのパラメーターを見直し、再度実行してください。

## KAJY24607-E

The member is not specified. (file:ファイル, member:メンバ)  
メンバが指定されていません (ファイル:ファイル, メンバ:メンバ)

メンバーが指定されていません。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのメンバーに有効な値を指定し、再度実行してください。

## KAJY24608-E

The value of a member is specified more than once. (file:ファイル, member:メンバ, specified value:指定値)  
メンバの値が重複して指定されています (ファイル:ファイル, メンバ:メンバ, 指定値:指定値)

メンバーの値が重複して指定されています。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのメンバーの値をファイル内で重複しないように指定し、再度実行してください。

## KAJY24609-E

The number of metrics is outside the allowable range. (file:ファイル)  
メトリックの個数が範囲外です (ファイル:ファイル)

メトリックの個数が範囲外です。

ファイルの格納先および定義可能な範囲については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当するファイルの説明の該当するファイルの説明を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルに定義されているメトリックの個数を範囲内に修正し、再度実行してください。

定義されているメトリックの個数が範囲内でも発生する場合は、cloud\_srv または module の設定を見直してください。設定が誤っていると、使用するメトリック定義の絞り込みが正しく行えず 0 件とみなされることがあります。設定の修正後、再度実行してください。

## KAJY24610-E

An error occurred in the API of the JP1/IM3. (API:API, message:メッセージ ID メッセージ)  
JP1/IM の API でエラーが発生しました (API : API, メッセージ : メッセージ ID メッセージ)

JP1/IM の API でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

表示されたメッセージ ID の対処を参照してください。

## KAJY24620-E

An unexpected exception has occurred.  
予期しないエラーが発生しました。

予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32000-E

The event information could not be acquired because it can not connect to the event console server.  
イベントコンソールサービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした

イベントコンソールサービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

jco\_spmd\_status コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベントコンソールサービスが起動しているか確認し、再実行してください。

## KAJY32001-E

The event information could not be acquired because an error occurred while communicating with the event console server.

イベントコンソールサービスとの通信中にエラーが発生したため、イベントを取得できませんでした

イベントコンソールサービスとの通信中にエラーが発生したため、イベントを取得できませんでした。

次の要因が考えられます。

- マネージャーが起動されていない。
- イベントサービスが起動されていない。
- 処理要求の負荷が一時的に高くなっている。
- IM データベースサービスの状態が稼働中になっていない。
- 通信暗号化機能の設定が正しくない。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

要因に従って対処してください。

- マネージャーが起動されているか確認してください。
- イベントサービスが起動されているか確認してください。
- 統合監視 DB を使用している場合は、jimdbstatus コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認し、再実行してください。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KAJY32002-E

The event information could not be acquired because it can not connect to the event base service.

イベント基盤サービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした

イベント基盤サービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした。



(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

- `jco_spmd_status` コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベント基盤サービスが起動しているか確認し、再実行してください。
- `jimdbstatus` コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動し、再度操作してください。

## KAJY32003-E

The event information could not be acquired because it can not connect to the IM Database service.

IM データベースサービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした

IM データベースサービスに接続できないため、イベントを取得できませんでした。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

`jimdbstatus` コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動し、再度操作してください。IM データベースサービスが起動している場合は、ほかの JP1/IM - View やインテリジェント統合管理基盤サービスのビューアからの操作によって、統合監視 DB がビジー状態のおそれがあります。しばらく待ってから再度操作してください。

## KAJY32004-E

An error occurred while acquiring event information from the Integrated Monitoring Database.

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

- IM データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースを再起動して再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。

- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32005-W

An error occurred in acquiring an event from the integrated monitoring database. Cannot recover the error after attempting the number of retries specified in the system profile. Event search processing was interrupted due to this error.

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。システムプロファイルに指定された回数リトライしましたが、回復しません。このため、イベント検索を中断しました

統合監視 DB からイベントを取得するときにエラーが発生しました。

(S)

イベント検索処理を中断します。

(O)

IM データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースを再起動して再実行してください。

## KAJY32006-E

The settings for a regular expression is incorrect.

正規表現の指定が正しくありません

指定した正規表現に誤りがあります。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

条件を設定し直して、再実行してください。

## KAJY32007-E

The information on the selected event could not be acquired because an error occurred in the Integrated Monitoring Database.

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、選択中のイベントに関する情報を取得できませんでした

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、指定したイベントに関する情報を取得できませんでした。

(S)

イベントに関する情報の取得を中止します。

(O)

- IM データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースを再起動して再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32008-E

Failed to obtain detailed event information.

イベント詳細情報の取得に失敗しました

詳細表示するイベントの情報をイベントコンソールサービスから取得する際に、予期できない障害を検出しました。

(S)

イベントに関する情報の取得を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32010-W

The acquisition of events from the integrated monitoring database was interrupted because the set event search limit was reached. (serial number in the event database : イベント DB 内通し番号)

設定されたイベント検索回数上限に達したため、統合監視 DB からのイベント取得を中断しました。  
(イベント DB 内通し番号 : イベント DB 内通し番号)

設定されたイベント検索回数上限に達したため、イベント取得を中断しました。

次の原因が考えられます。

- 指定した IM 管理ノードにマッピングされているイベントに、ユーザーフィルターにより取得できないイベントが含まれている
- 業務グループの設定変更がインテリジェント統合管理基盤に反映されていないため、指定した IM 管理ノードにマッピングされているイベントが取得できない

(S)

イベントの取得を中断します。

(O)

業務グループの設定変更がインテリジェント統合管理基盤に反映されているか確認し、反映されていない場合は、`jddcreatetree` コマンドを実行したあと、`jddupdatetree` コマンドを実行するか、[ツリー情報生成] ダイアログでツリー情報を生成したあと、[ツリー情報反映] ダイアログでツリー情報を反映してください。

ユーザーフィルターを設定している場合は、次の対処を実施してください。

- 画面に出力された場合

中断位置からイベント取得を再開する場合は、[イベント一覧] 領域の [戻る] ボタンまたは [進む] ボタンをクリックしてください。

また、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager 運用ガイド」の「5.6.2 ユーザーフィルターを使用する場合の注意事項」を参照し、必要に応じてイベント検索回数上限の変更を検討してください。

- REST API で出力された場合

中断位置からイベント取得を再開する場合は、`since` パラメーターにレスポンスボディの `endSid` を指定して再実行してください。

## KAJY32100-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because it can not connect to the Event Console Server.

イベントコンソールサービスに接続できないため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベントコンソールサービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

`jco_spmd_status` コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベントコンソールサービスが起動しているか確認し、再実行してください。

## KAJY32101-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because an error occurred while communicating with the Event Console Server.

イベントコンソールサービスとの通信中にエラーが発生したため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベントコンソールサービスとの通信中にエラーが発生したため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

次の要因が考えられます。

- マネージャーが起動されていない。
- イベントサービスが起動されていない。
- 処理要求の負荷が一時的に高くなっている。
- IM データベースサービスの状態が稼働中になっていない。
- 通信暗号化機能の設定が正しくない。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因に従って対処してください。

- マネージャーが起動されているか確認してください。
- イベントサービスが起動されているか確認してください。
- 統合監視 DB を使用している場合は、`jimdbstatus` コマンドを実行し、マネージャーホストの IM データベースサービスの状態を確認してください。IM データベースサービスが稼働中になったことを確認できたら、再実行してください。
- 通信暗号化機能を使用している場合は、通信暗号化機能の設定が間違っていないか確認してください。

## KAJY32102-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because it can not connect to the Event Base Service.

イベント基盤サービスに接続できないため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベント基盤サービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

`jco_spmdb_status` コマンドを実行してマネージャーホスト上のイベント基盤サービスが起動しているか確認し、再実行してください。

## KAJY32103-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because it can not connect to the IM Database Service.

IM データベースサービスに接続できないため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

IM データベースサービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

jimdbstatus コマンドを実行し、IM データベースサービスが起動しているか確認してください。IM データベースサービスが起動していない場合は、IM データベースサービスを起動し、再度操作してください。IM データベースサービスが起動している場合は、ほかの JP1/IM - View やインテリジェント統合管理基盤サービスのビューアーからの操作によって、統合監視 DB がビジー状態のおそれがあります。しばらく待ってから再度操作してください。

## KAJY32106-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because an error occurred while operating the Integrated Monitoring Database.

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

統合監視 DB の操作中にエラーが発生したため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

- IM データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、IM データベースを再起動して再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32107-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because the Event Service can not connect to that database.

イベントサービスに接続できないため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベントサービスに接続できないため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

- マネージャー上のイベントサービスが起動しているか確認し、起動していない場合は、起動してから再実行してください。
- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32109-E

The **操作名** operation could not be performed on the Integrated Monitoring Database because an error occurred while operating the Event Database.

イベント DB の操作中にエラーが発生したため、**操作名**操作を統合監視 DB に反映できませんでした

イベント DB の操作中にエラーが発生したため、メッセージに表示された操作を統合監視 DB に反映できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

- メモリー不足になっていないか確認し、メモリー不足になっている場合は、JP1/IM - Manager を再起動してから再実行してください。
- マネージャーホストが高負荷状態になっていないか確認し、高負荷状態になっている場合は、しばらく時間をおいてから再実行してください。
- そのほかの場合、または再実行しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY32110-W

An operation could not be performed for an event because the user does not have the permissions necessary to perform the operation.

操作ができなかったイベントがあります。操作に必要な権限がありません。

操作できなかったイベントがあります。

(S)

操作に必要な権限があるイベントだけ操作を実行します。

(O)

指定したイベントに対してユーザー操作に必要な JP1\_Console\_Admin, または JP1\_Console\_Operator の権限があるか確認してください。

## KAJY32200-E

The specified parameter for the event search REST API is disabled. 要因  
イベント検索 REST API のパラメータ指定が不正です。要因

イベント検索 REST API のパラメーターの指定が不正なため、イベント検索 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY32201-E

The syntax of the event search condition is invalid. 要因 (エラー発生箇所)  
イベント検索条件の記述が不適切です。要因 (エラー発生箇所)

イベント検索 REST API の `filter` パラメーターの記述が不適切なため、イベント検索 REST API を実行できません。

(S)

イベント検索 REST API の処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、`filter` パラメーターの記述を見直してください。

## KAJY32202-E

The specified node was not be found. (node : ノード)  
指定したノードが見つかりません。(ノード : ノード)

指定したノードがマネージャーに存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

REST API のパラメーターに指定したノードを見直してください。

## KAJY32210-E

The specified Event Detailed Information Acquisition REST API is invalid. 要因  
イベント詳細情報取得 REST API のパラメータ指定が不正です。要因



イベント詳細情報取得 REST API のパラメーター I の指定が不正なため、イベント詳細情報取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY32211-E

The specified event was not be found.

指定したイベントが見つかりません。

指定したイベントを取得できませんでした。次の原因が考えられます。

- 指定したイベントが統合監視 DB からなくなった
- ユーザーフィルターや業務グループの設定により指定したイベントを参照できない
- 指定した JP1 イベントの SID に該当するイベントが見つからない

(S)

処理を中断します。

(O)

- ユーザーフィルターや業務グループの条件でフィルタリングされていないか設定を見直してください。
- REST API で出力された場合、REST API のパラメーターに指定した JP1 イベントの SID を見直してください。
- ダイレクトアクセス URL 機能でパラメーター名に seqno を指定した場合、seqno に指定したイベント DB 通し番号のイベントが、ユーザーフィルターや業務グループの条件でフィルタリングされていないか設定を見直してください。

### KAJY32220-E

The specified parameter for the Event Corresponding Condition Change REST API is invalid.

**要因**

イベント対処状況変更 REST API のパラメータ指定が不正です。**要因**

イベント対処状況変更 REST API のパラメーターの指定が不正なため、イベント対処状況変更 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY32221-E

The operation cannot be performed, because the statuses are being changed at once. Wait a while, and then try again.

一括対処状況変更中のため操作できません。しばらく待ってから再度操作してください。

一括対処状況変更中のため操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

一括対処状況変更中のため操作できません。しばらく待ってから再度操作してください。

### KAJY32227-E

An error occurred during processing to obtain event information from the Intelligent Integrated Management Database. (detailed information = 失敗時の例外メッセージ)

インテリジェント統合管理データベースからイベント情報を取得するときにエラーが発生しました。  
(詳細情報：失敗時の例外メッセージ)

インテリジェント統合管理データベースからイベント情報を取得するときにエラーが発生しました。

(S)

イベントの取得を中止します。

(O)

- インテリジェント統合管理データベースが起動しているか確認し、起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを再起動してください。
- 例外メッセージを確認して対処してください。

### KAJY52001-E

Login failed due to a bad username or password.

ユーザー名またはパスワードが不正なため、ログインに失敗しました。

ログインに失敗しました。

(O)

指定したユーザー名とパスワードを見直して再実行してください。

## KAJY52002-E

A communication error occurred while establishing connection with JP1/Base authentication server.

JP1/Base の認証サーバーへの通信エラーが発生したため、ログインに失敗しました。

ログインに失敗しました。

(O)

JP1/Base の認証サーバに接続できるか確認してください。

## KAJY52003-E

Login failed due to an error occurred in the communication with the Intelligent Integrated Management Base Service.

インテリジェント統合管理基盤の通信エラーが発生したため、ログインに失敗しました。

ログインに失敗しました。

(O)

インテリジェント統合管理基盤サービスが起動しているかどうか確認してください。

## KAJY52004-E

Login failed because the user has not given permission to login to the Intelligent Integrated Management Base Service.

ユーザーにインテリジェント統合管理基盤へのログイン権限が付与されていないため、ログインに失敗しました。

ログインに失敗しました。

(O)

指定したユーザーにログインに必要な JP1\_Console\_Admin, JP1\_Console\_Operator, または JP1\_Console\_User の権限があるか確認してください。

## KAJY52005-E

Session timeout occurred in the Intelligent Integrated Management Base Service.

インテリジェント統合管理基盤へのセッションがタイムアウトしました。

セッションタイムアウトしました。

(O)

ログイン処理を再度実行してください。

## KAJY52010-E

Authentication of the token failed.

トークンの認証に失敗しました。

トークンの認証に失敗しました。

(O)

ログイン API でトークンを取得し直して、再実行してください。

## KAJY52012-E

Specified parameters of Proxy REST API is invalid. (parameter name : **パラメーター名**, specified value : **指定値**)

プロキシ認証情報設定 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : **パラメーター名**, 指定値 : **指定値**)

プロキシ認証情報設定 REST API のパラメーターの指定が不正なため、プロキシ認証情報設定 REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロキシ認証情報設定 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY52013-E

Failed to exclusive proxy credentials.

プロキシ認証情報の排他処理に失敗しました

プロキシ認証情報の排他処理に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

## KAJY52014-E

Failed to set proxy credentials.

プロキシ認証情報の設定に失敗しました

プロキシ認証情報の設定に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

プロキシ認証情報の削除の場合は、指定したプロキシ認証情報が登録済みか確認してください。

上記で解決しない場合、ディスクの容量が不足していないか確認してください。ディスク容量が不足していない場合は、しばらく経ってから再実行してください。再実行しても実行に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY52015-W

Proxy credentials will take effect after manager restart.

プロキシ認証情報は JP1/IM-Manager の再起動後に有効になります

プロキシ認証情報は JP1/IM - Manager の再起動後に有効になります。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager サービス実行中の場合、インテリジェント統合管理基盤との接続に失敗しているため、再度実行してください。

## KAJY52016-W

Disable the setting value and continue because the IP address of the proxy server cannot be resolved. (property name : プロパティ, value : 指定値)

プロキシサーバーの IP アドレスが見つからないため、設定値を無効にして続行します。(プロパティ名 : プロパティ, 指定値 : 指定値)

jp1.imdd.proxy.server[n].host に指定したプロキシサーバーの IP アドレスが解決できませんでした。

(S)

jp1.imdd.proxy.server[n]の設定を無効にして処理を続行します。

(O)

IP アドレスが解決できるホスト名を設定してください。

## KAJY52017-W

Disable the setting value and continue because the proxy server port number is invalid. (property name : プロパティ, value : 指定値)

プロキシサーバーのポート番号が不正なため、設定値を無効にして続行します。(プロパティ : プロパティ, 指定値 : 指定値)

jp1.imdd.proxy.server[n].port に指定したプロキシサーバーのポート番号の値が不正です。

(S)

jp1.imdd.proxy.server[n]の設定を無効にして処理を続行します。

(O)

1~65535 の範囲内で設定してください。

## KAJY52018-W

Disable the setting value and continue because the proxy server corresponding to the REST API execution target host is not set. (property name : プロパティ, value : 指定値)

REST API 実行対象のホストに対応したプロキシサーバーが設定されていないため、設定値を無効にして続行します。(プロパティ : プロパティ, 指定値 : 指定値)

jp1.imdd.proxy.target[n].serverHost に指定したプロキシサーバーがjp1.imdd.proxy.server[n]に定義されていないか無効です。

(S)

jp1.imdd.proxy.target[n]の設定を無効にして処理を続行します。

(O)

jp1.imdd.proxy.target[n].serverHost にはjp1.imdd.proxy.server[n]に定義されているプロキシサーバーのホスト名を設定してください。

対応したプロキシサーバーのプロパティjp1.imdd.proxy.server[n]の KAJY52017-W メッセージが出力されている場合は、プロキシサーバーの定義を正しく設定してください。

## KAJY52019-W

The setting value will have no effect because the OpenID provider property is invalid.

Processing continues. (OpenID provider : OpenID プロバイダのキー名, property name : プロパティ, value : 指定値)

OpenID プロバイダのプロパティの設定が不正であるため、設定値を無効にして続行します。(OpenID プロバイダ : OpenID プロバイダのキー名, プロパティ : プロパティ, 指定値 : 指定値, ...)

jp1.imdd.oidc. < OpenID プロバイダのキー名 > に指定したプロパティまたはjddsetopinfo コマンドで設定するクライアントシークレットが指定されていないか無効な値を指定しています。

(S)

jp1.imdd.oidc. < OpenID プロバイダのキー名 > プロパティの設定を無効にして処理を続行します。

(O)

jp1.imdd.oidc. < OpenID プロバイダのキー名 > プロパティの設定内容を見直してください。

jddsetopinfo コマンドの設定内容を見直してください。

## KAJY52020-E

Failed to set client information for the OpenID provider.  
OpenID プロバイダのクライアント情報の設定に失敗しました

OpenID プロバイダのクライアント情報の設定に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ディスクの容量が不足していないか確認してください。ディスク容量が不足していない場合は、しばらく経ってから再実行してください。再実行しても実行に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。

## KAJY52021-E

The client information for the OpenID provider does not exist.  
OpenID プロバイダのクライアント情報が存在しません

削除しようとした OpenID プロバイダのクライアント情報が存在しません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定した OpenID プロバイダのキー名が正しいか確認してください。

## KAJY52022-E

Failed to lock the Single Sign-on mapping definition information.  
シングルサインオンマッピング定義情報の排他処理に失敗しました

シングルサインオンマッピング定義情報の排他処理に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

## KAJY52023-E

Failed to update the Single Sign-on mapping definition information.  
シングルサインオンマッピング定義情報の反映に失敗しました

シングルサインオンマッピング定義情報の反映に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ディスクの容量が不足していないか確認してください。ディスク容量が不足していない場合は、しばらく経ってから再実行してください。再実行しても実行に失敗した場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY52024-W

The version of the JP1/Base authentication server is not a prerequisite version for the OpenID authentication feature.

認証サーバのバージョンが OpenID 認証機能の前提バージョンを満たしていません

認証サーバのバージョンが OpenID 認証機能の前提バージョンを満たしていません。

(S)

OpenID 認証機能を無効にして処理を続行します。

(O)

システム管理者は、OpenID 認証機能が有効な場合、認証サーバのあるホストにインストールされている JP1/Base のバージョンが 11-50 以降か、認証サーバが閉塞していないか確認してください。

#### KAJY52025-W

The Single Sign-on mapping definition information has not been applied.

シングルサインオンマッピング定義情報が反映されていません

インテリジェント統合管理基盤にシングルサインオンマッピング定義情報が反映されていません。シングルサインオンマッピング定義情報を反映してください。

(S)

処理を続行します。

#### KAJY52026-E

The Single Sign-on mapping definition file could not be loaded correctly.

シングルサインオンマッピング定義ファイルが正しく読み込めませんでした

シングルサインオンマッピング定義ファイルが正しく読み込めませんでした。

(S)

処理を中断します。



(O)

シングルサインオンマッピング定義ファイル (`imdd_sso_mapping.properties`) が存在するか、ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) の参照権限があるか確認してください。存在する場合は、ファイルの形式が合っているかを確認して修正してください。

シングルサインオンマッピング定義ファイルについては、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「シングルサインオンマッピング定義ファイル (`imdd_sso_mapping.properties`) (2. 定義ファイル)」を参照してください。

## KAJY52027-E

```
Single Sign-on mapping authentication failed. (OpenID user ID : OpenID ユーザー ID, JP1 user name : JP1 ユーザー名)
```

```
シングルサインオンマッピング認証に失敗しました。(OpenID ユーザー ID : OpenID ユーザー ID, JP1 ユーザー名 : JP1 ユーザー名)
```

シングルサインオンマッピング認証に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- シングルサインオンマッピング定義ファイル (`imdd_sso_mapping.properties`) の定義情報が正しいか。
- シングルサインオンマッピング定義がインテリジェント統合管理基盤に反映されているか。
- `jddsetaccessuser` コマンドで登録したユーザー情報が正しいか。
- 認証サーバに JP1 ユーザーが登録されているか。
- JP1 ユーザーにログインに必要な `JP1_Console_Admin`, `JP1_Console_Operator`, または `JP1_Console_User` の JP1 権限レベルがあるか。
- シングルサインオンマッピング認証で使用できない DS ユーザーを指定していないか。

シングルサインオンマッピング定義ファイル, `jddsetaccessuser` コマンドについては、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「シングルサインオンマッピング定義ファイル (`imdd_sso_mapping.properties`) (2. 定義ファイル)」, 「`jddsetaccessuser` (1. コマンド)」をそれぞれ参照してください。

DS ユーザーについては、マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を参照してください。

## KAJY52028-E

```
OpenID authentication failed.
```

```
OpenID 認証に失敗しました
```

OpenID 認証に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のことを確認し、問題点を対処してください。

- インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (`imdd.properties`) の OpenID プロバイダの定義情報が正しいか。
- OpenID プロバイダへの通信ができるか。
- OpenID プロバイダに登録しているインテリジェント統合管理基盤の情報が正しいか。
- REST API 実行時の場合、指定したアクセストークンが OpenID プロバイダが発行した正しいトークンか。
- REST API 実行時の場合、OpenID プロバイダの設定でアクセストークンの `preferred_username` クレームに OpenID プロバイダのログインユーザー名を含めるようにしているか。
- インテリジェント統合管理基盤ログイン URI のインテリジェント統合管理サーバのホスト名と、インテリジェント統合管理基盤定義ファイルの `jp1.imdd.oidc.<OpenID プロバイダのキー名>.redirect-uri` プロパティで指定したリダイレクト URL の URI の、インテリジェント統合管理サーバのホスト名は一致しているか。
- OpenID プロバイダと JP1/IM - Manager ホストの時刻に秒単位の差異がないか。

HTTP セッションは、WWW ブラウザーに保存した Cookie が削除されたり、認証リクエストから認証完了までの間隔が空いたりすると、無効になる可能性があります。このため、設定や通信状況に問題がない場合でも、認証リクエスト処理中に作成した HTTP セッションが無効となり、認証に失敗する場合があります。このような場合は、[ログイン] 画面での OpenID プロバイダによる認証をもう一度実行してください。

上記で解決しない場合、`jddsetopinfo` コマンドで登録したクライアントシークレットが誤っている可能性があります。OpenID プロバイダに登録されているクライアントシークレットを確認し、`jddsetopinfo` コマンドを再実行して登録したあと、JP1/IM - Manager を再起動してください。

問題が解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (`imdd.properties`) については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (`imdd.properties`) (2. 定義ファイル)」を参照してください。

## KAJY52029-E

Failed to lock the client information of the OpenID provider.

OpenID プロバイダのクライアント情報の排他に失敗しました

OpenID プロバイダのクライアント情報の排他処理に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

しばらく時間をおいてから再実行してください。

## KAJY52030-E

The value specified for the REST API X-Token-Issuer request header is invalid. (value : 指定値)  
REST API の X-Token-Issuer リクエストヘッダに指定した値が不正です。(指定値: 指定値)

REST API の X-Token-Issuer リクエストヘッダーの指定値が不正なため、REST API を実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

X-Token-Issuer リクエストヘッダーを指定していない場合は指定してください。指定されている場合は、インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (imdd.properties) で定義した OpenID プロバイダのキー名と、指定値が正しいか確認してください。

インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (imdd.properties) については、マニュアル「JPI/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」の「インテリジェント統合管理基盤定義ファイル (imdd.properties) (2. 定義ファイル)」を参照してください。

## KAJY52031-W

The Single Sign-on mapping definition file does not contain a valid definition.  
シングルサインオンマッピング定義ファイルに有効な定義がありません

シングルサインオンマッピング定義ファイルに有効な定義がないため、シングルサインオンマッピング定義情報がクリアされます。

(S)

処理を続行します。

(O)

シングルサインオンマッピング定義情報をクリアすることが目的でない場合は、シングルサインオンマッピング定義ファイルの内容を確認して再実行してください。

## KAJY52032-W

The OpenID authentication feature cannot be used because the authentication information used by Intelligent Integrated Management Base is invalid.  
インテリジェント統合管理基盤が利用する認証情報が不正なため、OpenID 認証機能を使用できません

インテリジェント統合管理基盤が利用する認証情報が不正、または設定されていません。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されている場合、そのメッセージの対処を実行してください。

このメッセージより前にエラーメッセージが出力されていない場合、次の対処を実行してください。

- `jddsetaccessuser` コマンドを実行していない場合は、`jddsetaccessuser` コマンド実行してください。
- `jddsetaccessuser` コマンドを実行している場合は、設定するユーザー ID とパスワードを見直し、`jddsetaccessuser` コマンドを再実行してください。

## 2.19 IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージ (KAJY62000~KAJY62005)

### KAJY62000-E

Failed to communicate with the trend data management service.

トレンドデータ管理サービスとの通信に失敗しました。

トレンドデータ管理サービスとの通信が失敗したため、トレンドデータの書き込み、または参照ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

トレンドデータ管理サービスが起動しているか確認してください。

起動していない場合はトレンドデータ管理サービスを起動してから再度実行してください。

### KAJY62001-E

Failed to write the trend data. (error message :トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

トレンドデータの書き込みに失敗しました。(エラーメッセージ:トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

トレンドデータ管理サービスからエラーが返却されたため、トレンドデータの書き込みができません。

(S)

処理を打ち切ります。該当トレンドデータは破棄されます。

(O)

トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージを確認し、対処してください。

トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージから対処できない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

### KAJY62002-E

Failed to reference the trend data. (error message :トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

トレンドデータの参照に失敗しました。(エラーメッセージ:トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

トレンドデータ管理サービスからエラーが返却されたため、トレンドデータの参照ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージを確認し、対処してから再度実行してください。  
トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージから対処できない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で採取した資料
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による個別採取)

## KAJY62003-E

The SID format of the specified configuration information is invalid. (specified value : 指定値)  
指定した構成情報の SID の形式が不正です。(指定値 : 指定値)

構成情報の SID の指定形式が不正のため、トレンドデータの参照ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定した構成情報の SID の形式を確認し、修正してから再度実行してください。

## KAJY62004-E

Failed to get the port number of the trend data management service.  
トレンドデータ管理サービスのポート番号取得に失敗しました。

トレンドデータ管理サービスとの通信するための情報が取得できないため、トレンドデータ情報の書き込み、または参照ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

トレンドデータ管理サービスのセットアップがされているか確認してください。  
トレンドデータ管理サービスをセットアップしてから再度実行してください。

## KAJY62005-E

Failed to get the list of the label set. (error message : トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

ラベルセットの一覧取得に失敗しました。(エラーメッセージ:トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージ)

トレンドデータ管理サービスからエラーが返却されたため、トレンドデータの参照ができません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージを確認し、対処してから再度実行してください。  
トレンドデータ管理サービスから返却されたメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

## 2.20 対処アクションの自動実行機能に関するメッセージ (KAJY63000～KAJY63704)

### KAJY63000-E

Failed to execute a response action because the system configuration managed by JP1/IM - Manager could not be obtained. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

### KAJY63001-E

Failed to execute a response action because the information about the execution host cannot be obtained from the system configuration managed by JP1/IM - Manager. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, reason code = 要因コード, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 要因コード : 要因コード, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

次の内容について確認し、該当の対処アクションを再実行してください。

- 実行先ホスト名に指定したホストが JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。
- 実行先ホスト名に指定したホストを管理する統合エージェント管理基盤が、JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。



## KAJY63002-E

Failed to execute a response action because of failure in communicating with JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, host name of JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts = 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 詳細情報)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名 : 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報 : 詳細情報)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

## KAJY63003-E

Failed to execute a response action because an error was returned from JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, host name of JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts = 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名 : 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報 : 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の対処アクションを再実行してください。

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY63004-E

Failed to execute a response action because of failure in communicating with the JP1/IM agent management base. (response action SID = **対処アクション SID**, action name = **アクション名**, execution host name = **実行先ホスト名**, host name of JP1/IM agent management base = **統合エージェント管理基盤のホスト名**, detailed information = **詳細情報**)

統合エージェント管理基盤との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : **対処アクション SID**, アクション名 : **アクション名**, 実行先ホスト名 : **実行先ホスト名**, 統合エージェント管理基盤のホスト名 : **統合エージェント管理基盤のホスト名**, 詳細情報 : **詳細情報**)

統合エージェント管理基盤との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

対処アクション実行先を管理する統合エージェント管理基盤が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

## KAJY63005-E

Failed to execute a response action because an error was returned from the JP1/IM agent management base. (response action SID = **対処アクション SID**, action name = **アクション名**, execution host name = **実行先ホスト名**, host name of JP1/IM agent management base = **統合管理エージェント基盤のホスト名**, detailed information = **返却されたエラーメッセージ**)

統合エージェント管理基盤からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : **対処アクション SID**, アクション名 : **アクション名**, 実行先ホスト名 : **実行先ホスト名**, 統合管理エージェント基盤のホスト名 : **統合管理エージェント基盤のホスト名**, 詳細情報 : **返却されたエラーメッセージ**)

統合エージェント管理基盤からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。または、統合エージェント管理基盤との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

統合エージェント管理基盤から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の対処アクションを再実行してください。

エージェント管理基盤から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

または、対処アクション実行先を管理する統合エージェント管理基盤が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

## KAJY63006-E

Failed to execute a response action because of failure in parsing the REST API URI. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, URI = URI, detailed information = 詳細情報)

REST API の URI の解析に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, URI : URI, 詳細情報 : 詳細情報)

REST API の URI の解析に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

REST API の URI が正しいか確認してください。

## KAJY63007-W

Failed to write the results of a response action because of failure in communicating with the ResponseAction results-management database. (detailed information = 詳細情報)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクションの結果書き込みに失敗しました。(詳細情報 : 詳細情報)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクションの結果書き込みに失敗しました。

(S)

対処アクション結果管理 DB への書き込みを打ち切り、対処アクション実行処理を継続します。

このため、対処アクションの実行状態、実行結果は保存されません。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してください。

## KAJY63008-W

Failed to write the results of a response action because an error was returned by the ResponseAction results-management database. (response action SID = 対処アクション SID, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、対処アクションの結果書き込みに失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, 詳細情報 : 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、対処アクションの結果書き込みに失敗しました。

(S)

対処アクション結果管理 DB への書き込みを打ち切り、対処アクション実行処理を継続します。

このため、対処アクションの実行状態、実行結果は保存されません。

(O)

対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の対処アクションを再実行してください。

対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY63023-I

The response action automatic execution function was activated by loading autoResponseAction definitions. The loaded definitions will take effect for the processing of the next-received event and the following events. (number of definitions = 有効な定義数 / 定義内の全定義数, last-received event's arrivaltime = 最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS), sequence number in integrated monitoring database = 最後に処理したイベントの統合監視 DB 内通し番号)

自動対処アクション定義を読み込み対処アクション自動実行機能を稼働状態にしました。次に受信したイベントから読み込んだ定義で処理されます。(定義数 : 有効な定義数 / 定義内の全定義数, 最後に受信したイベント : 到着時刻=最後に処理したイベントの到着時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS), 統合監視 DB 内通し番号=最後に処理したイベントの統合監視 DB 内通し番号)

自動対処アクション定義を読み込み、対処アクションの自動実行機能が稼働状態になりました。表示される統合監視 DB 内通し番号で示されるイベントの次から読み込んだ自動対処アクション定義の内容で対処アクションの自動実行処理を行います。

インテリジェント統合管理基盤がイベントを受信していない場合は、「到着時刻」と「統合監視 DB 内通し番号」には「--」が表示されます。

## KAJY63025-I

The response action for an event was sent to the JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションを対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager に送信しました

対処アクションの実行要求を実行先ホストを管理する JP1/IM - Manager に登録しました。

#### KAJY63026-I

The JP1/IM agent management base was requested to execute the response action for an event. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションを統合エージェント管理基盤に要求しました。

対処アクションの実行要求を統合エージェント管理基盤に登録しました。

#### KAJY63027-I

Execution of the response action for an event ended. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号, return code = 終了コード)

イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションの実行が終了しました。(終了コード=終了コード)

対処アクションの実行が終了し、状態が「終了」、「キャンセル」、または「強制終了」となりました。

状態が「キャンセル」「強制終了」の場合は終了コードは-1 になります。

#### KAJY63028-E

The response action for an event ended abnormally. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

イベント(統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号)に対する対処アクションが異常終了しました。

対処アクションが JP1/IM3 - Manager または JP1/IM3-Agent で異常終了し、「実行失敗」か「実行不可」の状態になりました。

(O)

対処アクション結果一覧から実行不可または実行失敗のアクションを確認し、該当対処アクションの実行結果詳細に出力されているメッセージに従って対処してください。

#### KAJY63029-I

The response action for a response-action status notification event was sent to the JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

対処アクション状態通知イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションを対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager に送信しました

対処アクションの実行要求を実行先ホストを管理する JP1/IM - Manager に登録しました。

## KAJY63030-I

The JP1/IM agent management base was requested to execute the response action for a response-action status notification event. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

対処アクション状態通知イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションを統合エージェント管理基盤に要求しました。

対処アクションの実行要求を統合エージェント管理基盤に登録しました。

## KAJY63031-I

Execution of the response action for a response-action status notification event ended. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号, return code = 終了コード)

対処アクション状態通知イベント (統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号) に対する対処アクションの実行が終了しました。(終了コード=終了コード)

対処アクションの実行が終了し、状態が「終了」、「キャンセル」、または「強制終了」となりました。

状態が「キャンセル」「強制終了」の場合は終了コードは-1になります。

## KAJY63032-E

The response action for a response-action status notification event ended abnormally. (sequence number in integrated monitoring database = 統合監視 DB 内通し番号)

対処アクション状態通知イベント(統合監視 DB 内通し番号=統合監視 DB 内通し番号)に対する対処アクションが異常終了しました。

対処アクションが JP1/IM3 - Manager または JP1/IM3-Agent で異常終了し、「実行失敗」か「実行不可」の状態になりました。

(O)

対処アクション結果一覧から実行不可または実行失敗のアクションを確認し、該当対処アクションの実行結果詳細に出力されているメッセージに従って対処してください。

## KAJY63033-W

Although execution of a response action was requested, a response-action status notification event cannot be issued because the information about the response action does not exist in the ResponseAction results-management database. (detailed information = 詳細情報)

対処アクションの実行を要求しましたが、対処アクション結果管理 DB に対処アクションの情報が存在しないため対処アクション状態通知イベントが発行できません。(詳細情報：詳細情報)

対処アクションの実行を要求しましたが、対処アクション結果管理 DB に対処アクションの情報が存在しないため対処アクション状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

対処アクションの実行件数が多いため、対処アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点で対処アクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数の対処アクションを行っている場合、複数の対処アクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- 対処アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。

## KAJY63034-W

Although execution of a response action ended, a response-action status notification event cannot be issued because the information about the response action does not exist in the ResponseAction results-management database. (detailed information = [詳細情報](#))

対処アクションの実行が終了しましたが、対処アクション結果管理 DB にアクションの情報が存在しないため対処アクション状態通知イベントが発行できません。(詳細情報：[詳細情報](#))

対処アクションの実行が終了しましたが、対処アクション結果管理 DB に対処アクションの情報が存在しないため対処アクション状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

対処アクションの実行件数が多いため、対処アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点で対処アクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数の対処アクションを行っている場合、複数の対処アクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- 対処アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。

## KAJY63035-E

Although a response action ended abnormally, a response-action status notification event cannot be issued because the information about the response action does not exist in the ResponseAction results-management database. (detailed information = [詳細情報](#))

対処アクションが異常終了しましたが、対処アクション結果管理 DB にアクションの情報が存在しないためアクション状態通知イベントが発行できません。(詳細情報：詳細情報)

対処アクションが異常終了しましたが、対処アクション結果管理 DB に対処アクションの情報が存在しないため対処アクション状態通知イベントが発行できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

対処アクションの実行件数が多いため、対処アクションの実行が遅延していることが考えられますので、次の観点で対処アクションの内容を見直してください。

- 一つのイベントに対して複数の対処アクションを行っている場合、複数の対処アクションを一つのバッチファイル（シェルスクリプト）にまとめて実行すると、実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。
- 対処アクションに不要な標準出力・標準エラー出力を行っている場合は、出力を抑えることを検討してください。出力を抑えることで実行効率が向上し、実行遅延を減少できます。

## KAJY63036-E

Failed to load the autoResponseAction definition file. (file name = ファイル名)

自動対処アクション定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名：ファイル名)

自動対処アクション定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動対処アクション定義がない状態で処理を続行します。

(O)

自動対処アクション設定ファイルが存在するか確認してください。

自動対処アクション設定ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY63037-E

A autoResponseAction definition parameter is invalid. (parameter name = パラメーター名, specified value = 指定値)

自動対処アクション定義のパラメータが不正です。(パラメーター名：パラメーター名, 指定値：指定値)

自動対処アクション定義が不正のため、定義の反映ができませんでした。

(S)

処理を中断し、反映前の定義で動作します。



(O)

パラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY63039-E

Failed to reference the results of a response action because the system configuration managed by JP1/IM - Manager could not be obtained. (detailed information = **詳細情報**)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクション結果の参照に失敗しました。(詳細情報：詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクション結果の参照に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してから、再度実行してください。

## KAJY63040-E

Failed to execute a response action because the information about the host from which to reference the response action results cannot be obtained from the system configuration managed by JP1/IM - Manager. (response action results reference-target host = **対処アクション結果参照先ホスト**, reason code = **要因コード**, detailed information = **詳細情報**)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成から対処アクション結果参照先ホストの情報が取得できないため、対処アクションの実行結果取得に失敗しました。(対処アクション結果参照先ホスト：**対処アクション結果参照先ホスト**, 要因コード：**要因コード**, 詳細情報：**詳細情報**)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクション結果の参照に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次の内容について確認し、再度実行してください。

- 実行先ホスト名に指定したホストが JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。

## KAJY63041-W

Failed to reference the results of some response actions because of failure in communicating with JP1/IM - Manager that manages the response action results. (host name of JP1/IM -

Manager that manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 詳細情報)

対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager との通信に失敗したため、一部の対処アクション結果の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名: 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、該当ホストが管理する対処アクション結果が参照できません。対処アクション結果の一部が欠落している場合があります。

(S)  
処理を継続し、ほかの JP1/IM - Manager ホストの対処アクション結果参照処理を行います。

(O)  
対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、再度実行してください。

## KAJY63042-W

Failed to reference the results of some response actions because an error was returned from JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (host name of JP1/IM - Manager that manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager からエラーが返却されたため、一部の対処アクション結果の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名: 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報: 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、該当ホストが管理する対処アクション結果が参照できません。対処アクション結果の一部が欠落している場合があります。

(S)  
処理を継続し、ほかの JP1/IM - Manager ホストの対処アクション結果参照処理を行います。

(O)  
JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから再度実行してください。JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、次の資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- JP1/IM - Manager の資料 (資料採取ツールによる採取)
- インテリジェント統合管理データベースのログ (手動による採取)

## KAJY63043-W

Failed to reference response action results because of failure in communicating with the ResponseAction results-management database. (host name of JP1/IM - Manager that

manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名,  
detailed information = 詳細情報)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクション結果の参照に失敗しました。  
(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名：対処アクション結果を管理する JP1/  
IM-Manager のホスト名, 詳細情報：詳細情報)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、該当ホストが管理する対処アクション結果が参照  
できません。対処アクション結果の一部が欠落している場合があります。

(S)  
処理を継続し、ほかの JP1/IM - Manager ホストの対処アクション結果の参照処理を行います。

(O)  
インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合は  
インテリジェント統合管理データベースを起動してください。起動していた場合はシステム管理者に連  
絡してください。

## KAJY63044-W

Failed to reference response action results because an error was returned by the  
ResponseAction results-management database. (host name of JP1/IM - Manager that  
manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名,  
detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、対処アクション結果の参照に失敗しまし  
た。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名：対処アクション結果を管理する  
JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報：返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、該当ホストが管理する対処アクション結果が  
参照できません。対処アクション結果の一部が欠落している場合があります。

(S)  
処理を継続し、ほかの JP1/IM - Manager ホストの対処アクション結果の参照処理を行います。

(O)  
対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから再度実行してく  
ださい。

対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、次の資料を  
採取し、システム管理者に連絡してください。

- JP1/IM - Manager の資料（資料採取ツールによる採取）
- インテリジェント統合管理データベースのログ（手動による採取）

## KAJY63045-E

The results of the response action with the specified SID does not exist. (response action SID = 対処アクション SID)

指定した SID の対処アクション結果がありません。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

指定した対処アクション SID の実行結果が対処アクション結果管理 DB にありませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定した対処アクション SID が正しいかを確認してください。

## KAJY63046-E

Failed to reference the detailed results of a response action because the system configuration managed by JP1/IM - Manager could not be obtained. (response action SID = 対処アクション SID, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してから、再度実行してください。

## KAJY63047-E

Failed to reference the detailed results of a response action because the information about the host from which to reference the response action results cannot be obtained from the system configuration managed by JP1/IM - Manager. (response action results reference-target host = 対処アクション結果参照先ホスト, response action SID = 対処アクション SID, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成から対処アクション結果参照先ホストの情報が取得できないため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション結果参照先ホスト: 対処アクション結果参照先ホスト, 対処アクション SID : 対処アクション SID, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容について確認し、再度実行してください。

- 結果参照先ホスト名に指定したホストが JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。

## KAJY63048-E

Failed to reference the detailed results of a response action because of failure in communicating with JP1/IM - Manager that manages response action results. (host name of JP1/IM - Manager that manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 詳細情報)

対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager との通信に失敗したため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名: 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、再度実行してください。

## KAJY63049-E

Failed to reference the detailed results of a response action because an error was returned by JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (host name of JP1/IM - Manager that manages response action results = 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager からエラーが返却されたため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名: 対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報: 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション結果を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから再度実行してください。  
JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY63050-E

Failed to reference the detailed results of a response action because of failure in communicating with the ResponseAction results-management database. (host name of JP1/IM - Manager that manages response action results = **対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名**, detailed information = **詳細情報**)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名：**対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名**, 詳細情報：**詳細情報**)

対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してください。

## KAJY63051-E

Failed to reference the detailed results of a response action because an error was returned by the ResponseAction results-management database. (host name of JP1/IM - Manager that manages response action results = **対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名**, detailed information = **返却されたエラーメッセージ**)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。(対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名：**対処アクション結果を管理する JP1/IM-Manager のホスト名**, 詳細情報：**返却されたエラーメッセージ**)

対処アクション結果管理 DB からエラーが返却されたため、対処アクション結果詳細の参照に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから再度実行してください。

対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY63052-E

An action could not be executed because its execution script was too long. (action name = アクション名, parameter name = パラメーター名)

実行内容が長過ぎるためアクションが実行できませんでした (アクション名 : アクション名, パラメーター名 : パラメーター名)

アクション名に表示された対処アクションを実行しようとしたのですが、実行内容が長すぎるためアクションが実行できませんでした。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

自動対処アクション定義の内容を見直してください。

## KAJY63053-E

Failed to load the responseAction state monitoring definition file. (file name = ファイル名)

対処アクション状態監視定義ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名 : ファイル名)

対処アクション状態監視定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

デフォルト値で処理を続行します。

(O)

対処アクション状態監視定義ファイルが存在するか確認してください。

対処アクション状態監視定義ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY63054-E

A parameter in the responseAction state monitoring definition file is invalid. (parameter name = パラメーター名, specified value = 指定値)

対処アクション状態監視定義ファイルのパラメータが不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値)

対処アクション状態監視定義ファイルのパラメータが不正です。

(S)

デフォルト値で処理を続行します。

(O)

パラメーターの指定を見直して JP1/IM - Manager を再起動してください。

## KAJY63055-W

Failed to load the file that stores the events subject to automatic execution of response actions. (file name = ファイル名)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名：ファイル名)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルがない状態で処理を続行します。

(O)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルが存在するか確認してください。

自動対処アクション対象イベント保存ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY63056-W

Failed to write data to the autoResponseAction-target event storage file. (file name = ファイル名)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルへの書き込みに失敗しました。(ファイル名：ファイル名)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルに自動対処アクション対象イベントとなった JP1 イベントの統合監視 DB 内通し番号は追加されずに処理を続行します。

(O)

自動対処アクション対象イベント保存ファイルが存在するか確認してください。

自動対処アクション対象イベント保存ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合)、root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。またはファイルのロックを解除してください。

## KAJY63057-W

Failed to load the file that stores the sequence numbers of events that have been associated with action definitions. (file name = ファイル名)



マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名: ファイル名)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルがない状態で処理を続行します。

(O)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルが存在するか確認してください。

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。

## KAJY63058-W

Failed to write data to the file that stores the sequence numbers of events that have been associated with action definitions. (file name = ファイル名)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルへの書き込みに失敗しました。(ファイル名: ファイル名)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルへの書き込みに失敗しました。

(S)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルの最後にマッチングしたイベント JP1 イベントの統合監視 DB 内通し番号は更新されずに処理を続行します。

(O)

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルが存在するか確認してください。

マッチング済統合監視 DB 内通し番号保存ファイルが存在する場合、ファイルに Administrators (Windows の場合), root (UNIX の場合) で読み込みの権限があるか確認してください。またはファイルのロックを解除してください。

## KAJY63301-E

The autoResponseAction definition file has an invalid format. (file name = ファイル名, line = 行番号)

自動対処アクション定義ファイルのフォーマットが不正です。(ファイル名: ファイル名, 行番号: 行番号)

自動対処アクション定義ファイルのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

自動対処アクション定義ファイルのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

「行番号」には誤りがある記述のおおよその位置が出力されます。

「行番号」の位置に誤りがない場合は、「行番号」の前後の記述を見直してください。

### KAJY 63302-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that obtains a list of response action execution results. (parameter name = **パラメーター名**, specified value = **指定値**, cause = **要因**)

対処アクションの実行結果一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : **パラメーター名**, 指定値 : **指定値**, 要因 : **要因**)

対処アクションの実行結果一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、対処アクションの実行結果一覧取得 REST API を実行できません。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

自動対処アクション定義更新 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY63303-E

The request body of the REST API function that obtains response action execution results has an invalid format.

対処アクションの実行結果取得 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

対処アクションの実行結果取得 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

リクエストボディのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

### KAJY63304-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that obtains the records of response action execution results. (parameter name = **パラメーター名**, specified value = **指定値**, cause = **要因**)

対処アクション実行結果のレコード取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : **パラメーター名**, 指定値 : **指定値**, 要因 : **要因**)

対処アクションの実行結果一覧取得(2)REST APIのパラメーターの指定が不正なため、対処アクションの実行結果一覧取得(2)REST APIを実行できません。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

自動対処アクション定義更新 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY63305-E

The request body of the REST API function that obtains records of response action execution results has an invalid format.

対処アクション実行結果のレコード取得 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

対処アクション実行結果のレコード取得 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

リクエストボディのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

### KAJY63306-E

A list of response action results is not found.

対処アクション結果一覧が見つかりませんでした。

指定した対処アクション結果が対処アクション結果格納 DB に存在しません。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

指定した対処アクション結果検索フィルタを見直して再度実行してください。

### KAJY63307-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that accepts response-action automatic execution requests. (parameter name = パラメーター名, specified value = 指定値, cause = 要因)

対処アクションの自動実行要求受付 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値, 要因 : 要因)

対処アクションの自動実行要求受付 REST API のパラメーターの指定が不正なため、対処アクションの自動実行要求受付 REST API を実行できません。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

対処アクションの自動実行要求受付 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

#### KAJY63308-E

The request body of the REST API function that requests automatic execution of a response action has an invalid format.

対処アクションの自動実行要求 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

対処アクションの自動実行要求 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

リクエストボディのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

#### KAJY63309-E

The status of an action could not be changed because of failure in communicating with the database that manages the response action results of the response action execution control. (response action SID = 対処アクション SID, action status = アクション状態)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、アクション状態の変更ができませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション状態 : アクション状態)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB との通信に失敗したため、対処アクション再実行のための情報が取得できませんでした。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB が起動しているかを確認してください。起動していない場合は対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB を起動してください。起動している場合は、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY63310-E

The status of an action could not be changed because of failure in writing data to the database that manages the response action results of the response action execution control. (response action SID = 対処アクション SID, action status = アクション状態, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB の書き込みに失敗したため、アクション状態の変更ができませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション状態 : アクション状態, 詳細情報 : 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB の読み込みに失敗したため、対処アクション再実行のための情報が取得できませんでした。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の対処アクションを再実行してください。

対処アクション実行制御の対処アクション結果管理 DB から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、ログを採取しシステム管理者に連絡してください。

## KAJY63321-E

The request body of the REST API function that allows the user to manually execute a response action has an invalid format.

対処アクションの手動実行 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

対処アクションの手動実行 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

リクエストボディのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

## KAJY63328-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that converts the information passed from events. (parameter name = パラメーター名, specified value = 指定値, cause = 要因)

イベント引き継ぎ情報変換 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 指定値 : 指定値, 要因 : 要因)

イベント引き継ぎ情報変換 REST API のパラメーターの指定が不正なため、イベント引き継ぎ情報変換 REST API を実行できません。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

イベント引き継ぎ情報変換 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## KAJY63329-E

The request body of the REST API function that converts the information passed from event has an invalid format.

イベント引き継ぎ情報変換 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

イベント引き継ぎ情報変換 REST API のリクエストボディのフォーマットが不正です。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

リクエストボディのフォーマット形式を見直して再度実行してください。

## KAJY63330-E

Conversion of the information passed from an event caused a parameter value to be longer than the maximum. (parameter name = パラメーター名)

イベント引き継ぎ情報変換処理を行った結果、パラメーターに指定可能なバイト数の上限を超えました。(パラメーター名: パラメーター名)

イベント引き継ぎ情報変換処理を行った結果、パラメーターに指定可能なバイト数の上限を超えました。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

実行する対処アクションのパラメーターを見直して指定可能な範囲のバイト数に変更して実行してください。

## KAJY63332-E

Failed to obtain a JP1 event. (event SID = イベント SID)

JP1 イベントの取得に失敗しました。(イベント SID : イベント SID)

JP1 イベントの取得に失敗しました。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

該当イベント SID のイベントが存在するか、SID の形式が正しいか等を見直してください。

## KAJY63333-E

An error occurred in processing on the 機能名 API.(detail code:detail コード,class:クラス名,method:メソッド名)

機能名 API でエラーが発生しました。(detail コード : detail コード,クラス名 : クラス名,メソッド名 : メソッド名)

REST API 処理で想定外のエラーが発生しました。

(S)

REST API 処理を打ち切ります。

(O)

detail code が"005"の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。  
detail code が"005"以外の場合は、ログインし直して、再度実行してください。

## KAJY63704-E

The triggering event did not exist.

契機となったイベントが存在しませんでした。

対処アクションがイベントを契機に自動実行が行われませんでした。

(S)

対象イベント検索処理を打ち切ります。

(O)

選択された対処アクションがイベント契機の自動実行かを確認してください。

## 2.21 対処アクションの手動実行機能に関するメッセージ (KAJY64000～KAJY64703)

### KAJY64000-E

Failed to execute a response action because the system configuration managed by JP1/IM - Manager could not be obtained. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが起動しているかを確認してください。起動していない場合はインテリジェント統合管理データベースを起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

### KAJY64001-E

Failed to execute a response action because the information about the execution host could not be obtained from the system configuration managed by JP1/IM - Manager. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, reason code = 要因コード, detailed information = 詳細情報)

JP1/IM-Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 要因コード : 要因コード, 詳細情報 : 詳細情報)

JP1/IM - Manager が管理するシステム構成から実行先ホストの情報が取得できないため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

次の内容について確認し、該当の対処アクションを再実行してください。

- 実行先ホスト名に指定したホストが JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。
- 実行先ホスト名に指定したホストを管理する統合エージェント管理基盤が、JP1/IM - Manager が管理するシステム構成に含まれているか確認してください。



## KAJY64002-E

Failed to execute a response action because of failure in communicating with the JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts.(response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, host name of JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts = 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 詳細情報)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名 : 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報 : 詳細情報)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager との通信に失敗したため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager が起動しているか確認してください。起動していない場合は起動してから、該当の対処アクションを再実行してください。

## KAJY64003-E

Failed to execute a response action because an error was returned by the JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts. (response action SID = 対処アクション SID, action name = アクション名, execution host name = 実行先ホスト名, host name of JP1/IM - Manager that manages response-action execution hosts = 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, detailed information = 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID, アクション名 : アクション名, 実行先ホスト名 : 実行先ホスト名, 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名 : 対処アクション実行先を管理する JP1/IM-Manager のホスト名, 詳細情報 : 返却されたエラーメッセージ)

対処アクション実行先を管理する JP1/IM - Manager からエラーが返却されたため、対処アクションの実行に失敗しました。

(S)

対処アクション実行処理を打ち切ります。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の対処アクションを再実行してください。

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージから対処ができない場合は、jim\_log.bat (Windows) や jim\_log.sh (Linux) で資料を採取し、加えてインテリジェント統合管理データベースのログも個別に手動で採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KAJY64004-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that allows the user to manually execute a response action. (action name = **アクション名**, parameter name = **パラメーター名**, specified value = **指定値**, cause = **要因**)

対処アクションの手動実行 REST API のパラメータの指定が不正です。(アクション名 : **アクション名**, パラメーター名 : **パラメーター名**, 指定値 : **指定値**, 要因 : **要因**)

対処アクションの手動実行 REST API のパラメータの指定が不正なため、対処アクションの手動実行 REST API を実行できません。

- (S) 処理を打ち切ります。
- (O) 対処アクションの手動実行 REST API のパラメータの指定を見直して再度実行してください。

#### KAJY64005-E

Failed to change the event handling status. (response action SID = **対処アクション SID**, action name = **アクション名**, execution host name = **実行先ホスト名**, detailed information = **詳細情報**) イベント対処状況の変更に失敗しました。(対処アクション SID : **対処アクション SID**, アクション名 : **アクション名**, 実行先ホスト名 : **実行先ホスト名**, 詳細情報 : **詳細情報**)

対処アクションの手動実行機能で実行要求したイベント対処状況の変更に失敗しました。

- (S) 対処アクション実行処理を打ち切ります。
- (O) 詳細情報に含まれているメッセージに従って対処してください。

#### KAJY64006-E

Failed to convert the information passed from an event because the action execution script was too large to run up to the end. (action name = **アクション名**, detailed information = **詳細情報**)

アクション実行内容の上限を超過したため、イベント引き継ぎ情報の変換に失敗しました。(アクション名 : **アクション名**, 詳細情報 : **詳細情報**)

アクション名に表示された対処アクションのイベント引き継ぎ情報を変換しようとしたが、変換後の実行内容が長すぎるためイベント引き継ぎ情報が変換できませんでした。

- (S) イベント引き継ぎ情報の変換処理を打ち切ります。
- (O) 対処アクション実行画面の入力内容および手動対処アクションボタン定義を見直してください。

#### KAJY64012-E

Required parameter パラメータ名 is null or empty.

メソッドの引数が null または空白になっています。

- (S) 処理を打ち切ります。
- (O) 指定した引数を見直してください。

#### KAJY64013-E

パラメータ名 size is limit over.size : サイズ

メソッドの引数がサイズの上限を超えています。

- (S) 処理を打ち切ります。
- (O) 指定した引数を見直してください。

#### KAJY64014-E

The host ホスト名 is not in configuration information.

実行先ホストが構成情報にないため、コマンドが実行できません。

- (S) 処理を打ち切ります。
- (O) 実行先ホストの指定を見直してください。

## KAJY64015-E

The user ユーザー名 does not have permission to execute command to ホスト名.

指定されたユーザーに実行先ホストへのコマンド実行権限がないため、コマンドが実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定したユーザー、コマンドの実行権限、および実行先ホスト名を見直してください。

## KAJY64016-E

An attempt to connect the JP1/IM - Manager has failed.

コマンド実行先を管理する JP1/IM - Manager との接続に失敗したため、コマンドが実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

実行先ホストを管理する JP1/IM - Manager が起動しているか確認し、再実行してください。

## KAJY64017-E

an error occurred while communicating with the JP1/IM - Manager.(error message : エラーメッセージ)

JP1/IM - Manager からエラーが返却されたため、コマンドが実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

返却されたエラーメッセージに従って対処してください。

## KAJY64018-E

Received data size exceeds the limit.

実行コマンドの標準出力、標準エラー出力のサイズが上限を超過しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

実行コマンドの出力を見直してください。

## KAJY64019-E

Timeout occurred.

タイムアウトが発生しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

実行コマンドの内容（実行時間が長いコマンドを実行していないか）を見直してください。

実行コマンドの内容が問題ない場合、しばらく待ってから再実行してください。

## KAJY64020-E

Internal error occurred.

内部エラーが発生しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY64700-E

Enter 入力情報.

入力情報を入力してください。

未入力の項目があります。

(O)

未入力の項目に入力し、対処アクションを実行してください。

## KAJY64701-E

The 入力情報 condition exceeds the maximum (最大値).

入力情報の条件が最大値(最大値)を超えています。

入力情報のサイズが最大サイズを超えています。

(O)

入力情報を修正し、対処アクションを実行してください。

## KAJY64702-I

A response action was accepted. (response action SID = 対処アクション SID)  
対処アクションが受け付けられました。(対処アクション SID:対処アクション SID)

手動対処アクションの実行の受け付けが完了しました。

## KAJY64703-E

A parameter is incorrectly specified for a response action. (action name = アクション名,  
parameter name = パラメーター名, specified value = 指定値, cause = 要因)  
対処アクションのパラメータの指定が不正です。(アクション名: アクション名, パラメーター名: パ  
ラメーター名, 指定値: 指定値, 要因: 要因)

対処アクションのパラメーターの指定が不正なため、対処アクションを実行できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

対処アクションのパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

## 2.22 JP1 イベント変換機能に関するメッセージ (KAJY67000～KAJY67199)

---

KAJY67120-E

An unexpected exception has occurred.

予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## 2.23 共通シークレットに関するメッセージ (KAJY68001~KAJY68126)

### KAJY68001-E

Failed to issue the initial secret. (cause = 要因)  
初期シークレットの発行に失敗しました。(要因 : 要因)

初期シークレットの発行に失敗しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- マネージャーホストでサービスを受け付けることができない状態になっている可能性があります。マネージャーホストが起動しているか確認してください。(停止などによるサービスエラー)
- インテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、`jimgndbstatus` コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

### KAJY68002-E

A REST API parameter is incorrectly specified. (parameter name = パラメーター名, cause = 要因)  
REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

REST API のパラメーターの指定が不正なため、処理を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

出力された要因を元にパラメーターの指定を見直してください。

### KAJY68004-E

A client secret has already been issued. (IM client ID = IM クライアント ID)  
IM クライアントシークレットは既に発行されています。(IM クライアント ID: IM クライアント ID)

既に IM クライアントシークレットは発行されており、IM クライアントシークレットの発行ができません。

(S)

処理を中断します。



(O)

IM クライアント ID を変えるか、既に発行している IM クライアントシークレットを削除してから再度実行してください。

#### KAJY68007-E

Failed to delete an IM client secret. (IM client ID = IM クライアント ID, cause = 要因)  
IM クライアントシークレットの削除に失敗しました。(IM クライアント ID: IM クライアント ID, 要因: 要因)

IM クライアントシークレットの削除に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

KAJY68001-E の対処方法 (O) を参照してください。

#### KAJY68008-E

Failed to issue an IM client secret. (IM client ID = IM クライアント ID, cause = 要因)  
IM クライアントシークレットの発行に失敗しました。(IM クライアント ID: IM クライアント ID, 要因: 要因)

IM クライアントシークレットの削除に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

KAJY68001-E の対処方法 (O) を参照してください。

#### KAJY68009-E

Failed to obtain a list of IM client secrets. (cause = 要因)  
IM クライアントシークレットの一覧取得に失敗しました。(要因: 要因)

IM クライアントシークレットの一覧取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

KAJY68001-E の対処方法 (O) を参照してください。

## KAJY68010-I

Authentication was successful. (IM client ID = IM クライアント ID, URL = URL, SrcIP = アクセス元 IP アドレス)

認証に成功しました。(IM クライアント ID: IM クライアント ID, URL:URL, SrcIP:アクセス元 IP アドレス)

認証に成功しました。

(S)

処理をします。

## KAJY68011-E

Authentication failed because an IM client ID or IM client secret was invalid. (IM client ID = IM クライアント ID, URL = URL, SrcIP = アクセス元 IP アドレス)

IM クライアント ID または IM クライアントシークレットが不正のため、認証に失敗しました。(IM クライアント ID: IM クライアント ID, URL:URL, SrcIP:アクセス元 IP アドレス)

認証が失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

認証情報を見直してください。

## KAJY68012-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that registers the information about lower managers. (parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

下位マネージャー情報登録 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名: パラメーター名, 要因: 要因)

下位マネージャー情報登録 REST API のパラメーターの指定が不正なため、下位マネージャー情報登録 REST API を実行できません。

(S)

下位マネージャー情報登録処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

## KAJY68013-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that deletes the information about lower managers. (parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

下位マネージャー情報削除 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

下位マネージャー情報登録 REST API のパラメーターの指定が不正なため、下位マネージャー情報登録 REST API を実行できません。

(S)

下位マネージャー情報登録処理を中断します。

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

## KAJY68016-W

The information about lower managers does not exist. (host name = ホスト名)

下位マネージャー情報が存在しません。(ホスト名 : ホスト名)

指定したホストの下位マネージャー情報は存在しません。

(S)

処理を継続します。

(O)

下位マネージャー情報の一覧を取得、表示し、指定したホストが存在するか確認してください。

## KAJY68017-E

Failed to register the information about lower managers. (host name = ホスト名, detailed information = 詳細情報)

下位マネージャー情報の登録に失敗しました。(ホスト名 : ホスト名, 詳細情報 : 詳細情報)

指定したホストの下位マネージャー情報の登録に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に表示されたメッセージの対処方法を実施してください。

## KAJY68018-W

Failed to delete the information about lower managers. (host name = ホスト名, detailed information = 詳細情報)

下位マネージャー情報の削除に失敗しました。(ホスト名:ホスト名, 詳細情報: 詳細情報)

指定したホストの下位マネージャー情報の削除に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報に表示されたメッセージの対処方法を実施してください。

## KAJY68019-E

Failed to log in because an error occurred during connection to the Intelligent Integrated Management Database. (IM client ID = IM クライアント ID, URL = URL, SrcIP = アクセス元 IP アドレス)

インテリジェント統合管理データベースへの接続エラーが発生したため、ログインに失敗しました。  
(IM クライアント ID: IM クライアント ID, URL:URL, SrcIP:アクセス元 IP アドレス)

インテリジェント統合管理データベースへの接続エラーが発生したため、ログインに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、jimgndbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。

インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

現象が再現する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## 2.24 ファイル操作機能に関するメッセージ (KAJY68101~KAJY68125)

### KAJY68101-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that obtains a list of definition files. (parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

定義ファイル一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

定義ファイル一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、定義ファイル一覧取得 REST API を実行できません。

(S)

定義ファイル一覧取得処理を中断します

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

### KAJY68104-E

An error occurred in processing on the JP1/IM agent base. (detailed-information = 詳細情報)

統合エージェント基盤の処理でエラーが発生しました。(詳細情報 : 詳細情報)

統合エージェント基盤の処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

要因に記載のメッセージの対処を実施してください。

### KAJY68105-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that obtains definition files.

(parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

定義ファイル取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

定義ファイル取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため、定義ファイル取得 REST API を実行できません。

(S)

定義ファイル取得処理を中断します

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

## KAJY68107-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that deletes definition files.  
(parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

定義ファイル削除 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

定義ファイル削除 REST API のパラメーターの指定が不正なため、定義ファイル取得 REST API を実行できません。

(S)

定義ファイル削除処理を中断します

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

## KAJY68111-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that updates definition files.  
(parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

定義ファイル更新 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : パラメーター名, 要因 : 要因)

定義ファイル更新 REST API のパラメーターの指定が不正なため、定義ファイル更新 REST API を実行できません。

(S)

定義ファイル更新処理を中断します

(O)

不正内容を要因から特定して、パラメーターの指定を見直してください。

## KAJY68115-I

Deletion of definition files was performed. (files deleted = ファイル名, files not deleted = ファイル名)

定義ファイルの削除を行いました。(削除したファイル:ファイル名,削除できなかったファイル:ファイル名)

定義ファイルの削除の結果です。

(S)

処理を続行します。

(O)

削除を行った画面に表示されたエラーメッセージあるいは削除に失敗したファイルについての JP1 イベント (00007640,00007641) の内容を確認し対処してください。

#### KAJY68116-E

Failed to delete definition files.  
定義ファイルの削除に失敗しました

定義ファイルの削除に失敗しました

(S)

処理を中断します。

(O)

削除を行った画面に表示されたエラーメッセージあるいは削除に失敗したファイルについての JP1 イベント (00007640,00007641) の内容を確認し対処してください。

#### KAJY68119-I

Update of definition files was performed. (files updated = ファイル名, files not updated = ファイル名)  
定義ファイルの更新を行いました。(更新したファイル:ファイル名,更新できなかったファイル:ファイル名)

定義ファイルの更新の結果です。

(S)

処理を続行します。

(O)

更新を行った画面に表示されたエラーメッセージあるいは更新に失敗したファイルについての JP1 イベント (00007642,00007643) の内容を確認し対処してください。

#### KAJY68120-E

Failed to update definition files.  
定義ファイルの更新に失敗しました

定義ファイルの更新に失敗しました

(S)

処理を中断します。

(O)

更新を行った画面に表示されたエラーメッセージあるいは更新に失敗したファイルについての JP1 イベント (00007642,00007643) の内容を確認し対処してください。

## KAJY68126-W

A warning occurred in the integrated agent control platform. (detailed-information : [詳細情報](#))

統合エージェント制御基盤でワーニングが発生。(詳細情報 : [詳細情報](#))

統合エージェント制御基盤でワーニングが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

詳細情報を確認し, 原因を取り除いて再実行してください。



## 2.25 統合エージェントの管理に関するメッセージ (KAJY68200～KAJY68700)

---

### KAJY68201-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that deletes the integrated agent. (parameter name = パラメーター名, cause = 要因)

統合エージェント情報削除 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名: パラメーター名, 要因: 要因)

統合エージェント情報削除 REST API のパラメーターの指定が不正なため、統合エージェント情報削除 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェント情報削除 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

### KAJY68203-E

Failed to connect to the Intelligent Integrated Management Base. (JP1/IM - Manager host name = ホスト名)

インテリジェント統合管理基盤への接続に失敗しました。(JP1/IM-Manager ホスト名: ホスト名)

インテリジェント統合管理基盤サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- サービスが起動していない
- サービスがビジー状態である
- サービスとネットワーク接続できる状態にない
- [下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加していない
- 接続先ホストの JP1/IM - Manager が、該当の操作に対応したバージョンではない

(S)

処理を中断します。

(O)

- サービスが起動していない場合  
ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤サービスを再起動してください。
- ログインした JP1/IM - Manager の配下に拠点マネージャーまたは中継マネージャーが存在する場合  
拠点マネージャーまたは中継マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号が統合マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号と一致していることを

ご確認ください。また、[下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加しているか確認してください。

- サービスがビジー状態である場合  
接続をリトライすることで接続できる場合があります。
- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない場合  
ホスト名に表示されたホストとのネットワーク環境を確認してください。接続先ホストとの間にファイアウォールがある場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。セッションが破棄されている場合は、ログインし直してください。
- 接続先ホストの JP1/IM - Manager のバージョンを確認し、操作対象を見直してください。
- 下位マネージャーに追加しようとしたホストが IM 構成または JP1/Base の構成管理で統合マネージャーの下位ホストとして登録されていない場合  
下位マネージャーに追加するホストを IM 構成または JP1/Base の構成管理で統合マネージャーの下位ホストとして登録してください。

## KAJY68204-W

Failed to connect to the Intelligent Integrated Management Base. (JP1/IM - Manager host name = ホスト名)

インテリジェント統合管理基盤への接続に失敗しました。(JP1/IM-Manager ホスト名 : ホスト名)

インテリジェント統合管理基盤サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- サービスが起動していない
- サービスがビジー状態である
- サービスとネットワーク接続できる状態にない
- [下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加していない
- 接続先ホストの JP1/IM - Manager が、該当の操作に対応したバージョンではない

(S)

処理を続行します。

(O)

- サービスが起動していない場合  
ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤サービスを再起動してください。
- ログインした JP1/IM - Manager の配下に拠点マネージャーまたは中継マネージャーが存在する場合  
拠点マネージャーまたは中継マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号が統合マネージャーのインテリジェント統合管理基盤サービスのポート番号と一致していることをご確認ください。また、[下位マネージャー一覧] 画面で下位マネージャーに追加しているか確認してください。
- サービスがビジー状態である場合

接続をリトライすることで接続できる場合があります。

- 接続先ホストとネットワーク接続できる状態ではない場合  
ホスト名に表示されたホストとのネットワーク環境を確認してください。接続先ホストとの間にファイアウォールがある場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。セッションが破棄されている場合は、ログインし直してください。
- 接続先ホストの JPl/IM - Manager のバージョンを確認し、操作対象を見直してください。

## KAJY68205-E

A host from which data cannot be obtained is specified. (host name = **ホスト名**)  
データを取得できないホストが指定されています。(ホスト名 : **ホスト名**)

データを取得できないホストが指定されています。次の原因が考えられます。

- リクエストに指定した統合エージェントホスト名または、マネージャーホスト名が統合マネージャーが管理する構成に存在しません。
- ログインユーザーにリクエストに指定した統合エージェントの参照・操作権限がありません。
- リクエストに指定したマネージャーホストが下位マネージャーで、[下位マネージャー一覧] ダイアログで下位マネージャーに追加していません。
- 削除済みの統合エージェントを指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合マネージャーが管理するホストの中に指定したホスト名のホストが存在すること、ログインユーザーに統合エージェントの参照または操作に必要な権限を付与していることを確認してください。指定したマネージャーホストが下位マネージャーの場合、[下位マネージャー一覧] ダイアログで追加している確認してください。また、[統合エージェント一覧] ダイアログを開きなおして、対象の統合エージェントが表示されるか確認してください。見直したあと、再度実行してください。

## KAJY68206-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that adds, updates, or deletes secrets. (parameter name = **パラメーター名**, cause = **要因**)  
シークレットの追加/更新/削除 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名 : **パラメーター名**, 要因 : **要因**)

シークレットの追加/更新/削除 REST API のパラメーターの指定が不正なため、シークレットの追加/更新/削除 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

シークレットの追加／更新／削除 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

#### KAJY68207-E

An error occurred in processing on the JP1/IM agent base. (detailed information = 詳細情報)  
統合エージェント基盤の処理でエラーが発生しました。(詳細情報：詳細情報)

統合エージェント基盤の処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に表示された統合エージェント基盤のメッセージの対処を実施してください。

#### KAJY68208-I

Processing to add, change, or delete secrets was successful.  
シークレットの追加，変更，削除の適用に成功しました。

シークレットの追加，変更，削除の適用に成功しました。

#### KAJY68209-E

A parameter is incorrectly specified for the REST API function that obtains a list of secrets.  
(parameter name = パラメーター名, cause = 要因)  
シークレットの一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正です。(パラメーター名：パラメーター名, 要因：要因)

シークレットの一覧取得 REST API のパラメーターの指定が不正なため，シークレットの一覧取得 REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

シークレットの一覧取得 REST API のパラメーターの指定を見直して再度実行してください。

#### KAJY68210-W

An error occurred in processing on the Intelligent Integrated Management Base. (JP1/IM - Manager host name = ホスト名, detailed information = 詳細情報)  
インテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。(JP1/IM-Manager ホスト名：ホスト名, 詳細情報：詳細情報)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の操作を再実行してください。

#### KAJY68211-E

An error occurred in processing on the Intelligent Integrated Management Base. (JP1/IM - Manager host name = ホスト名, detailed information = 詳細情報)

インテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。(JP1/IM-Manager ホスト名：ホスト名, 詳細情報：詳細情報)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理基盤の処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/IM - Manager から返却されたエラーメッセージを確認し、対処してから該当の操作を再実行してください。

#### KAJY68212-E

Failed to connect to the JP1/IM agent base. (JP1/IM - Manager host name = ホスト名)  
統合エージェント基盤への接続に失敗しました。(JP1/IM-Manager ホスト名：ホスト名)

統合エージェント基盤サービスに接続できません。次の原因が考えられます。

- サービスが起動していない
- サービスがビジー状態である
- サービスとネットワーク接続できる状態にない

(S)

処理を中断します。

(O)

- サービスが起動していない場合  
ホスト名に表示されたホストの統合エージェント基盤サービスを再起動してください。
- サービスがビジー状態である場合  
接続をリトライすることで接続できる場合があります。

## KAJY68213-W

A host from which data cannot be obtained is specified. (host name = ホスト名)  
データを取得できないホストが指定されています。(ホスト名 : ホスト名)

データを取得できないホストが指定されています。次の原因が考えられます。

- リクエストに指定した統合エージェントホスト名またはマネージャーホスト名が、統合マネージャーが管理する構成に存在しません。
- ログインユーザーにリクエストに指定した統合エージェントの参照・操作権限がありません。
- リクエストに指定したマネージャーホストが下位マネージャーで、[下位マネージャー一覧] ダイアログで下位マネージャーに追加していません。
- 削除済みの統合エージェントを指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合マネージャーが管理するホストの中に指定したホスト名のホストが存在すること、ログインユーザーに統合エージェントの参照または操作に必要な権限を付与していることを確認してください。指定したマネージャーホストが下位マネージャーの場合、[下位マネージャー一覧] ダイアログで追加しているか確認してください。また、[統合エージェント一覧] ダイアログを開きなおして、対象の統合エージェントが表示されるか確認してください。見直したあと、再度実行してください。

## KAJY68500-W

The Intelligent Integrated Management Base DB cannot be connected to.(JP1/IM-Manager host name : ホスト名)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。(JP1/IM-Manager ホスト名 : ホスト名)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースに接続できません。

(S)

処理を続行します。

(O)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、jimgnbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。

インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

現象が再現する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY68501-E

The Intelligent Integrated Management Base DB cannot be connected to.(JP1/IM-Manager host name : ホスト名)

インテリジェント統合管理データベースに接続できません。(JP1/IM-Manager ホスト名 : ホスト名)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースに接続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名に表示されたホストのインテリジェント統合管理データベースが未セットアップの場合は、セットアップしてください。セットアップ済みの場合は、jimgndbstatus コマンドを実行し、インテリジェント統合管理データベースが起動していることを確認してください。

インテリジェント統合管理データベースが起動していない場合は、インテリジェント統合管理データベースを起動してください。

現象が再現する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KAJY68700-E

You cannot select more items than 選択可能な上限数.

選択可能な上限数件を超えて選択することはできません。

選択した数が上限を超えています。上限に収まるように選択を見直してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

選択した数が上限を超えています。上限に収まるように選択を見直してください。

## 2.26 統合エージェント基盤に関するメッセージ(KNBC00001～KNBC20079)

---

### KNBC00001-I

A service started. (service name = サービス名)  
サービスが起動しました。(サービス名:サービス名)

サービスが起動しました。

(S)

処理を継続します。

### KNBC00002-I

A service stopped. (service name = サービス名)  
サービスが停止しました。(サービス名:サービス名)

サービスが停止しました。

(S)

処理を継続します。

### KNBC00003-E

A service abnormally stopped. (service name = サービス名)  
サービスが異常停止しました。(サービス名:サービス名)

サービスが異常停止しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージの前にエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーの原因を取り除いて再度実行してください。

解決できない場合は、JP1/IMの資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNBC00004-E

Failed to read a file. (file = ファイル, details = 詳細情報)  
ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル:ファイル, 詳細情報:詳細情報)

ファイルの読み込みに失敗しました。



ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当する定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

それでも改善されない場合、JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00005-E

The file format is invalid. (file = ファイル, details = 詳細情報)

ファイルの書式が不正です。(ファイル：ファイル, 詳細情報：詳細情報)

ファイルの書式が正しくありません。

ファイルの格納先については、マニュアル「JP1/Integrated Management 3 - Manager コマンド・定義ファイル・API リファレンス」(2. 定義ファイル) の該当する定義ファイルについて説明している個所を参照してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

書式が正しいことを確認し、再度実行してください。

## KNBC00009-E

A host that has the same name already exists. (host name = ホスト名)

既に同じ名前のホストが存在します。(ホスト名：ホスト名)

既に同じ名前のホストが存在します。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実行してください。

- ホスト名を変更してから再度実行してください。
- 同じホスト名のレコードを削除してから再度実行してください。

## KNBC00010-E

An error occurred during database processing.  
データベース処理でエラーが発生しました。

データベース処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

対処アクション結果管理 DB が起動していることを確認して再度実行してください。

それでも改善されない場合、JP1/IM の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00012-E

The specification of a REST API request parameter is invalid. (URL path = URL のパス,  
parameter name = パラメーター名)

REST API のリクエストパラメータ-の指定が不正です。(URL のパス :URL のパス, パラメーター  
名 :パラメーター名)

REST API のリクエストパラメーターの指定が不正なため、REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに表示されたパラメーターが指定されていない場合は、指定してください。指定されている場合は、パラメーターの名称や指定した値が正しいか確認してください。その後、再度実行してください。

## KNBC00013-E

The user does not have permission to use the REST API. (URL path = URL のパス)  
REST API の実行権限がありません。( URL のパス:URL のパス)

REST API を実行する権限が不足しているため、実行に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

共通シークレットキーの設定を見直し、再実行してください。

## KNBC00014-E

An internal error occurred. Collect the relevant data, and then contact the system administrator. (maintenance information = 保守情報)

内部エラーが発生しました。資料を採取してシステム管理者に連絡してください。(保守情報: 保守情報)

内部エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00015-E

A timeout occurred while the definition file manipulation function was being executed. (URL path = URL のパス)

定義ファイル操作機能の実行時にタイムアウトが発生しました。(URL のパス:URL のパス)

定義ファイル操作機能の処理中にタイムアウトが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

しばらく待ってから再度実行してください。再実行してもタイムアウトが発生する場合は、imbase 設定ファイルのfile\_opereation\_timeout キーの設定を見直してください。

## KNBC00017-E

Failed to obtain the definition file. (details = 詳細情報)

定義ファイルの取得に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

定義ファイルの取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に記載のメッセージの対処を実施してください。

## KNBC00018-I

A definition file was deleted. (file name = ファイル名, file path = ファイルパス)

定義ファイルを削除しました。(ファイル名: ファイル名, ファイルパス: ファイルパス)

定義ファイルを削除しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00019-I

A definition file was updated. (file name = ファイル名, file path = ファイルパス)

定義ファイルを更新しました。(ファイル名: ファイル名, ファイルパス: ファイルパス)

定義ファイルを更新しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00022-E

An error occurred in the JP1/IM agent control base. (details = 詳細情報)

統合エージェント制御基盤でエラーが発生しました。(詳細情報: 詳細情報)

統合エージェント制御基盤でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に記載のメッセージの対処を実施してください。

#### KNBC00030-I

The addition of an agent was detected. (host = ホスト)

エージェントの追加を検知しました。(ホスト: ホスト)

エージェントの追加を検知しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00031-I

The deletion of an agent was detected. (host = ホスト)

エージェントの削除を検知しました。(ホスト: ホスト)

エージェントの削除を検知しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00032-I

An agent update was detected. (host = ホスト)  
エージェントの更新を検知しました。(ホスト：ホスト)

エージェントの更新を検知しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00033-E

Failed to collect the agent host information.  
エージェントホスト情報の取得に失敗しました。

エージェントホスト情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC00034-E

An error occurred while the database for managing the integrated agent host was being updated.  
統合エージェントホスト管理 DB の更新処理でエラーが発生しました。

統合エージェントホスト管理 DB の更新処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェントホスト管理 DB が起動していることを確認して再度実行してください。  
それでも改善されない場合、JP1/IM - Manager の資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00035-W

The definition file contains an error. The system will continue processing by using the default value. (file name = ファイル名, item name = 項目名, default value = デフォルト値)

定義ファイルに誤りがあります。デフォルトの設定値で処理を継続します。(ファイル名: ファイル名, 項目名: 項目名, デフォルト値: デフォルト値)

定義ファイルに誤りがあります。デフォルトの設定値で処理を継続します。

(S)

処理を続行します。

(O)

「ファイル名」が示す定義ファイルの記載内容を確認して、修正してください。

## KNBC00036-E

The definition file contains an error. (file name = ファイル名, item name = 項目名)

定義ファイルに誤りがあります。(ファイル名: ファイル名, 項目名: 項目名)

定義ファイルに誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

「ファイル名」が示す定義ファイルの記載内容を確認して、修正してください。

## KNBC00037-E

Failed to write data to a file. (file = ファイル, details = 詳細情報)

ファイルの書き込みに失敗しました。(ファイル: ファイル, 詳細情報: 詳細情報)

ファイルの書き込みに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

それでも改善されない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00038-W

Failed to read a definition file. The system will continue processing by using the default values for the items that could not be read. (file = ファイル, details = 詳細情報)

定義ファイルの読み込みに失敗しました。読み込めなかった全項目についてデフォルト値を適用して処理を続けます。(ファイル：ファイル, 詳細情報：詳細情報)

定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

再度実行してください。再度実行しても改善されない場合、ファイルにアクセスできることを確認し、再度実行してください。

それでも改善されない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00039-E

An error occurred during communication with the JP1/IM agent management base. (details = 詳細情報)

統合エージェント管理基盤との通信でエラーが発生しました。(詳細情報: 詳細情報)

統合エージェント制御基盤で統合エージェント管理基盤との通信でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェント管理基盤の状態、ネットワークの状態を確認して原因を取り除き、再度実行してください。

それでも改善されない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00042-E

Failed to create secret information.

シークレット情報の作成に失敗しました。

シークレット情報の作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

データベースが起動していることを確認して再度実行してください。

それでも改善されない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC00400-E

The specification of a REST API request is invalid. (URL path = URL のパス, property name = プロパティ名)

REST API のリクエストの指定が不正です。(URL のパス:URL のパス, プロパティ名:プロパティ名)

REST API のリクエストの指定が不正なため、REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

URL のパスに下記の URL が出力されている場合は、各設定ファイルを見直してください。

- Prometheus 設定ファイルのremote\_write の URL
- Alertmanager 設定ファイルのremote\_write の URL
- ログ監視共通定義ファイルのendpoint

上記以外は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC00403-E

An authentication error occurred. (URL path = URL のパス)

認証エラーが発生しました。(URL のパス:URL のパス)

認証エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

インテリジェント統合管理基盤で一度も初期シークレットを発行していない場合は、インテリジェント統合管理基盤で初期シークレットの発行を行ってください。

統合エージェント制御基盤初回起動時に発生する場合は、初期シークレットを見直して統合エージェントを再インストールしてください。

上記でない場合は、マネージャーホストでエージェントが登録されているか確認してください。

問題ない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC00404-E

A resource specified in a URL was not found. (URL path = URL のパス)

URL で指定したリソースが見つかりません。(URL のパス:URL のパス)



REST API のリクエストの指定が不正なため、REST API を実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

URL のパスに下記の URL が出力されている場合は、各設定ファイルを見直してください。

- Prometheus 設定ファイルの `remote_write` の URL
- Alertmanager 設定ファイルの `remote_write` の URL
- ログ監視共通定義ファイルの `endpoint`

上記以外は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNBC00413-E

The body of a REST API request is too large. (URL path = URL のパス)

REST API のリクエストボディサイズが上限を超えています。(URL のパス:URL のパス)

REST API のリクエストボディサイズが上限を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

定義ファイル操作機能を使用している場合は、`imbase` 設定ファイル(`jpc_imbase.json`)の `max_content_length` パラメーターを見直してください。

上記以外の場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KNBC00500-E

An internal error occurred on the REST API server. (URL path = URL のパス, maintenance information = 保守情報)

REST API のサーバで内部エラーが発生しました。(URL のパス:URL のパス, 保守情報:保守情報)

REST API のサーバで内部エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00503-E

The REST API service is unavailable. (URL path = URL のパス, maintenance information = 保守情報)

REST API のサービスが利用できません。(URL のパス:URL のパス, 保守情報:保守情報)

REST API サービスが利用できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェント基盤が起動していることを確認し、しばらく待ってから再実行してください。

繰り返し発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00604-E

The specified response action SID was not found. (response action SID = 対処アクション SID)

指定した対処アクション SID が見つかりません。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

指定した対処アクション SID が統合エージェント管理基盤に存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC00605-E

A command cannot be executed because the host on which the command is executed is not managed. (command execution host = コマンド実行先ホスト)

コマンド実行先ホストが管理対象でないため、コマンドが実行できません。(コマンド実行先ホスト : コマンド実行先ホスト)

コマンド実行先ホスト (統合エージェントホスト) が、統合エージェント管理基盤で管理されていないため、コマンドを実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンド実行先ホスト (統合エージェントホスト) を統合エージェント管理基盤に登録したあと、再度実行してください。

## KNBC00606-E

A command cannot be executed because the connection to the host on which the command is executed cannot be confirmed. (command execution host = コマンド実行先ホスト)

コマンド実行先ホストの接続を確認できないため、コマンドが実行できません。(コマンド実行先ホスト：コマンド実行先ホスト)

コマンド実行先ホストの接続を確認できないため、コマンドが実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤とコマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か。
- コマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤が起動しているか。
- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が正しいか。

## KNBC00612-E

Command execution failed because the connection to the host on which the command is executed cannot be confirmed. (command = コマンド, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンド実行先ホストの接続を確認できないため、コマンドの実行が失敗しました。(コマンド：コマンド, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンド実行先ホストの接続を確認できないため、コマンドの実行が失敗しました。

(S)

対処アクションの実行を終了します。コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤とコマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か。
- コマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤が起動しているか。
- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が正しいか。

## KNBC00615-E

No operations can be performed on the definition file because the integrated agent host is not managed. (integrated agent host = 統合エージェントホスト)

統合エージェントホストが管理対象でないため、定義ファイルを操作できません。(統合エージェントホスト：統合エージェントホスト)

統合エージェントホストが、統合エージェント管理基盤で管理されていないため、定義ファイルを操作できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
統合エージェントホストを統合エージェント管理基盤に登録したあと、再度実行してください。

## KNBC00616-E

No operations can be performed on the definition file because the connection to the integrated agent host cannot be confirmed. (integrated agent host = 統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの接続を確認できないため、定義ファイルを操作できません。(統合エージェントホスト：統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの接続を確認できないため、定義ファイルを操作できません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
次の要因が考えられます。環境を確認してください。
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェントホストの統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か。
  - 統合エージェントホストの統合エージェント制御基盤が起動しているか。
  - 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が正しいか。

## KNBC00617-E

A command cannot be executed because the processing of the integrated agent host is stalled. (integrated agent host = 統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの処理が滞留しているため、コマンドを実行できません。(統合エージェントホスト：統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの処理が滞留しているため、コマンドを実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェント管理基盤と統合エージェントホストの統合エージェント制御基盤間でネットワーク障害が発生していないか確認してください。

#### KNBC00618-E

No operations can be performed on the definition file because the processing of the integrated agent host is stalled. (integrated agent host = 統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの処理が滞留しているため、定義ファイルを操作できません。(統合エージェントホスト：統合エージェントホスト)

統合エージェントホストの処理が滞留しているため、定義ファイルを操作できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合エージェント管理基盤と統合エージェントホストの統合エージェント制御基盤間でネットワーク障害が発生していないか確認してください。

#### KNBC00621-I

A request to execute a command was accepted. (command = コマンド, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行要求を受け付けました。(コマンド：コマンド, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンドの実行要求を受け付けました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00622-I

Execution of a command started. (command = コマンド, process ID = プロセス ID, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行を開始しました。(コマンド：コマンド, プロセス ID：プロセス ID, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンドの実行を開始しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00623-I

Execution of a command ended. (command = コマンド, process ID = プロセス ID, return code = 終了コード, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行が終了しました。(コマンド：コマンド, プロセス ID：プロセス ID, 終了コード：終了コード, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンドの実行が終了しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC00624-E

A command could not be executed. (command = コマンド, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンドを実行できませんでした。(コマンド：コマンド, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンドを実行できませんでした。

(S)

対処アクションの実行を終了します。コマンドを実行しません。

(O)

直前に発生しているエラーメッセージの対処を実施してください。

#### KNBC00625-E

The execution status of a command could not be confirmed. (command = コマンド, host name of JP1/IM agent management base = 統合エージェント管理基盤のホスト名, command execution host name = コマンド実行先ホスト名, response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行状態を確認できませんでした。(コマンド：コマンド, 統合エージェント管理基盤のホスト名：統合エージェント管理基盤のホスト名, コマンド実行先ホスト名：コマンド実行先ホスト名, 対処アクション SID：対処アクション SID)

コマンドの実行状態を確認できませんでした。

(S)

コマンドの実行状態に関わらず、対処アクションの実行を終了します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤とコマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か。
- コマンド実行先ホストの統合エージェント制御基盤が起動しているか。
- 通信暗号化機能を使用している場合、通信暗号化機能の設定が正しいか。

コマンド実行先ホストでコマンドの実行状態を確認してください。

必要に応じて、対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC10001-I

A service started. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスが起動しました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10002-W

A service has already started. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービスが起動しています。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10003-E

A service is not enabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスが有効化されていません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービスを有効化してから再実行してください。

## KNBC10004-E

A service definition file was not found. (file name = ファイル名)

サービス定義ファイルが見つかりません。

(S)

処理を続行します。

(O)

指定されたディレクトリにサービス定義ファイルを配置してから再実行してください。

- Windows の場合  
物理ホストおよび論理ホスト：Agent パス¥bin¥
- Linux の場合  
物理ホストおよび論理ホスト：/usr/lib/systemd/system/

## KNBC10005-E

Failed to start a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = エラーコード)

サービスの起動に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

- サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルが次に示す正しいパスに配置されているか。
  - サービス定義ファイル  
物理ホスト：Agent パス¥bin¥サービス名.xml  
論理ホスト：インストール先ディレクトリ¥jp1ima¥bin¥サービス名\_論理ホスト名.xml
  - ユニット定義ファイル  
物理ホスト：/usr/lib/systemd/system/サービス名.service  
論理ホスト：/usr/lib/systemd/system/サービス名\_論理ホスト名.service



- サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルが正しく記載されているか（サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルを編集した場合、編集前後の差分を調査してください）。

#### KNBC10006-I

A service stopped. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスが停止しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10007-W

A service has already stopped. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービスが停止しています。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10008-E

Failed to stop a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = コード)

サービスの停止に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC10009-I

A service was reloaded. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

再読み込みしました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10010-E

Failed to reload a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

再読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルが次に示す正しいパスに配置されているか。
  - サービス定義ファイル  
物理ホスト：インストール先ディレクトリ¥jp1ima¥bin¥サービス名.xml  
論理ホスト：インストール先ディレクトリ¥jp1ima¥bin¥サービス名\_論理ホスト名.xml
  - ユニット定義ファイル  
物理ホスト：/usr/lib/systemd/system/サービス名.service  
論理ホスト：/usr/lib/systemd/system/サービス名\_論理ホスト名.service
- サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルが正しく記載されているか（サービス定義ファイルまたはユニット定義ファイルを編集した場合、編集前後の差分を調査してください）。

## KNBC10011-I

A service is inactive. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスは非稼働状態です。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10012-I

A service is active. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスは稼働状態です。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10013-I

Service-specific installation was performed. (service key = サービスキー)

サービス固有のインストール処理をしました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10014-E

Failed to perform service-specific installation. (service key = サービスキー)

サービス固有のインストール処理に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アドオンプログラムのログに出力されている要因を確認してください。

## KNBC10015-I

Service-specific uninstallation was performed. (service key = サービスキー)

サービス固有のアンインストール処理をしました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10016-E

Failed to perform service-specific uninstallation. (service key = サービスキー)

サービス固有のアンインストール処理に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アドオンプログラムのログに出力されている要因を確認してください。

## KNBC10017-I

Processing to collect maintenance information ended normally. (service key = サービスキー)

保守資料の採取処理が正常終了しました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10018-E

Processing to collect maintenance information ended abnormally. (service key = サービスキー)

保守資料の採取処理が異常終了しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

共通ログおよびアドオンプログラムのログに出力されている要因を確認し、再実行してください。

#### KNBC10019-I

A service was enabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスを有効化しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10020-W

A service is already enabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービスが有効化されています。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10021-I

A service was disabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスを無効化しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10022-W

A service is already disabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービスが無効化されています。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10023-I

Automatic startup of a service was enabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービス自動起動を有効化しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10024-W

Automatic startup of a service is already enabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービス自動起動が有効化されています。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10025-E

Failed to enable automatic startup of a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = コード)

サービス自動起動の有効化に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC10026-I

Automatic startup of a service was disabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービス自動起動を無効化しました。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10027-W

Automatic startup of a service is already disabled. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

既にサービス自動起動が無効化されています。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10028-E

Failed to disable automatic startup of a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = コード)

サービス自動起動の無効化に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC10029-I

The initial setup command will now start.

初期設定コマンドを開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10030-I

Processing will now end, because jpc\_setup.properties is missing.

jpc\_setup.properties が存在しないため、処理を終了します。

(S)

処理を終了します。

#### KNBC10031-I

Generation of a definition file will be skipped. (file = ファイル)

すでに定義ファイルが存在するため生成を行いません。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10032-E

The specified command option is invalid.

指定したコマンドオプションは不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資初期設定コマンドを実行してください。

## KNBC10048-E

A mandatory service cannot be specified. (service key = サービスキー)

必須サービスは指定できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

## KNBC10049-E

Failed to enable a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = エラーコード)

サービスの有効化に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービス定義ファイルが正しく記載されているか確認して再実行してください。

アドオンプログラムのログに出力されている要因を確認してください。

それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10050-E

Failed to disable a service. (service key = サービスキー, host name = ホスト名, error code = エラーコード)

サービスの無効化に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービス定義ファイルが正しく記載されているかを確認し、再実行してください。

アドオンプログラムのログに出力されている要因を確認してください。

それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC10052-I

```
Initial setup was completed successfully.
```

初期設定コマンドを終了します。

(S)

コマンドを終了します。

#### KNBC10053-E

```
Processing will now stop, because an attempt to load jpc_setup.properties failed.
```

jpc\_setup.properties の読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

#### KNBC10054-E

```
Processing will now stop, because jpc_setup.properties does not contain the required information.
```

jpc\_setup.properties に必要な情報がないため、処理を継続できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

#### KNBC10055-E

```
Processing will now stop, because creation of a directory failed. (path = パス)
```

ディレクトリの作成に失敗しました。



(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

### KNBC10056-E

Processing will now stop, because creation of a definition file failed. (path = パス)

定義ファイルの作成に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

### KNBC10057-E

Processing will now stop, because a service could not be registered in Windows. (service = サービス)

Windows へのサービス登録が失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

### KNBC10058-E

Processing will now stop, because systemd could not be reloaded.

systemd のリロードが失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

### KNBC10059-E

Processing will now stop, because the automatic startup of a service could not be specified. (service = サービス)

サービスの自動起動の設定が失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

#### KNBC10060-E

Processing will now stop, because the settings for disabling a service could not be specified.  
(service = サービス)

サービスの無効化の設定が失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

JP1/IM - Agent のアンインストールを行い、環境構築をやり直してください。

#### KNBC10061-E

Processing will now stop, because jpc\_setup.properties could not be deleted.

jpc\_setup.properties の削除に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

conf ディレクトリに存在する jpc\_setup.properties ファイルを手動で削除してください。

#### KNBC10062-E

Processing will now stop, because an internal error occurred. (保守情報)

内部エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10063-E

A service is being started. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスが起動中です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービスを停止してから実行してください。

## KNBC10064-E

The uname -n command failed. (詳細)

uname -n コマンドが失敗したため、ホスト名の取得ができませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アンインストールを行い、uname -n コマンドでホスト名が返却されることを確認してから、環境構築をやり直してください。

## KNBC10065-E

The hostname command failed. (詳細)

hostname コマンドが失敗したため、ホスト名の取得ができませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

アンインストールを行い、hostname コマンドでホスト名が返却されることを確認してから、環境構築をやり直してください。

## KNBC10066-I

A definition file was generated. (file = ファイルパス)

定義ファイルを生成しました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10067-I

Registration of a secret will now start. (key = キー)  
シークレットの登録を開始します。(Key: キー)

シークレットの登録を開始します。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10068-I

Deletion of a secret will now start. (key = キー)  
シークレットの削除を開始します。(Key: キー)

シークレットの削除を開始します。

(S)

処理を終了します。

## KNBC10069-I

Registration of a secret succeeded.  
シークレットの登録が成功しました。

シークレットの登録が成功しました。

(S)

処理を終了します。

## KNBC10070-I

Deletion of a secret succeeded.  
シークレットの削除が成功しました。

シークレットの削除に成功しました。

(S)

処理を終了します。

## KNBC10073-E

The specified shared directory does not exist. (path = パス)  
指定された共有ディレクトリが存在しません。(パス:パス)

-l オプションで指定された共有ディレクトリが存在しません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しい共有ディレクトリのパスを指定して再実行してください。

#### KNBC10074-E

The specified path is not a shared directory. (path = パス)  
指定されたパスは共有ディレクトリではありません。(パス:パス)

-l オプションで指定された共有ディレクトリの下に必要なディレクトリがありません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

正しい共有ディレクトリのパスを指定して再実行してください。

#### KNBC10075-E

The specified key contains invalid characters. (key = キー)  
指定されたキーに使用できない文字が含まれます。(Key: キー)

指定されたキーに使用できない文字が含まれます。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

キーを見直し再実行してください。

#### KNBC10076-E

The specified key is too long. (key = キー)  
指定されたキーが長すぎます。(Key: キー)

指定されたキーが長すぎます。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

キーを見直し再実行してください。

## KNBC10077-E

The specified secret contains invalid characters.  
指定されたシークレットに使用できない文字が含まれます。

指定されたシークレットに使用できない文字が含まれます。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

シークレットを見直し再実行してください。

## KNBC10078-E

The specified secret is too long.  
指定されたシークレットが長すぎます。

指定されたシークレットが長すぎます。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

シークレットを見直し再実行してください。

## KNBC10079-E

The -list, -add, and -rw options cannot be specified at the same time.  
-list, -add, -rw を同時に指定することはできません。

-list, -add, -rw が同時に指定されています。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドライン見直し再実行してください。

## KNBC10080-E

When you specify the -add option, you must also specify the -key and -s options.  
-add を指定する場合は、-key と-s も指定してください。

-key または-s が指定されていません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドライン見直し再実行してください。

### KNBC10081-E

When you specify the -rm option, you must also specify the -key option.  
-rm を指定する場合は、-key も指定してください。

-key が指定されていません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンドライン見直し再実行してください。

### KNBC10082-E

The specified key does not exist. (key = キー)  
指定したキーが存在しません。(Key: キー)

指定したキーが存在しないため削除できませんでした。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

キーを見直し再実行してください。

### KNBC10083-E

Failed to obtain locks. (詳細)  
排他の確保に失敗しました。(詳細)

競合が発生したため排他の確保に失敗した可能性があります。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

再実行してください。再実行しても同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10084-E

The save location of a secret is corrupted. (詳細)

シークレットの保管先が破損しています。(詳細)

シークレットの保管先が破損しているため処理を継続できません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10085-E

Failed to save a secret. (詳細)

シークレットの保管に失敗しました。(詳細)

シークレットの保管に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10086-E

Processing will now stop, because an internal error occurred. (詳細)

内部エラーが発生したため、処理を中断します。(詳細)

内部エラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10087-W

The service is stopped. (service key = サービスキー, host name = ホスト名)

サービスが停止中です。



(S)

処理を続行します。

(O)

サービスを起動してください。

#### KNBC10088-E

The name of a service is invalid. (service key = サービスキー)

サービスキーが不正です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

次の内容を確認し、再実行してください。

- 正しいサービスキーが指定されているか
- サービスを有効にしているか

#### KNBC10089-I

A command will now start. (command name = コマンド名, argument = 引数)

コマンドを開始します。

(S)

処理を続行します。

#### KNBC10090-E

A script file does not exist. (file name = ファイル名)

スクリプトファイルが存在しません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

製品を上書きインストールしてください。

#### KNBC10091-E

Failed to execute the command because of insufficient permissions.

権限不足のためコマンド実行に失敗しました。

権限不足のためコマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

コマンド実行に必要な権限でコマンドを実行してください。

#### KNBC10093-E

The specified command option is invalid. (不正なオプション)

指定したコマンドオプションは不正です。(不正なオプション)

指定したコマンドオプションは不正です。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

正しいコマンドオプションを指定して、再度資料採取ツールを実行してください。

#### KNBC10094-E

The specified shared directory name is too long.

指定された共有ディレクトリが長すぎます。

指定された共有ディレクトリが長すぎます。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

コマンドラインに指定した共有ディレクトリが 63 バイト以内であることを見直してから、再実行してください。

#### KNBC10095-E

No more secrets can be registered.

シークレットの登録の上限を超えています。

シークレットの登録が上限を超えたため、登録できません。

(S)

コマンドの処理を中断します。

(O)

登録済みのシークレットの見直しを実施し、不要なシークレットを削除してから、再実行してください。

## KNBC10097-E

Another command is now being executed.

他のコマンドが実行中です。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

他のコマンドが終了してからコマンドを実行してください。

## KNBC10098-I

A service stopped. (subsystem = サブシステム名)

サービスが停止しました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10099-W

A service has already stopped. (subsystem = サブシステム名)

既にサービスが停止しています。

(S)

処理を続行します。

## KNBC10100-E

Failed to stop a service. (subsystem = サブシステム名)

サービスの停止に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

-f オプションを指定して再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC10101-E

A service is not enabled. (subsystem = サブシステム名)

サービスが有効化されていません。

(S)

コマンドの実行を中止します。

(O)

サービスを有効化してから再実行してください。

## KNBC20009-E

The format of a file is invalid. (file name = ファイル名, line = 行番号, column = 列番号)  
ファイルの形式が不正です。(ファイル名:ファイル名, 行番号:行番号, 列番号:列番号)

ファイルの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの形式が合っているかを確認し、修正してください。

「行番号」と「列番号」には、誤りがある記述のおおよその位置が出力されます。「行番号」と「列番号」の位置に誤りがない場合は、「行番号」と「列番号」の前後の記述を見直してください。

ファイルの文字コードが UTF-8 になっているか確認してください。

## KNBC20010-W

An item specified in a file is invalid. (file name = ファイル名, item = 設定項目, cause = 要因)  
ファイルに設定した項目が不正です。(ファイル名:ファイル名, 設定項目:設定項目, 要因:要因)

ファイルに記載した項目の設置値に誤りがあります。

例:

- 設定がありません
- ファイル名、あるいはファイルパスが長すぎます
- カテゴリ名が長すぎです
- カテゴリ名が「jpl\_」から始まっています
- 定義反映のための操作の記載が長すぎます
- 定義できない定義ファイルが指定されています

(S)

処理を継続します。

(O)

「要因」を確認し、ファイルの「設定項目」の記載内容を修正した後再実行してください。

## KNBC20011-W

A definition file was not found. (file name = ファイル名)  
定義ファイルが見つかりません。(ファイル名:ファイル名)

定義ファイルが見つかりません。

(S)

処理を継続します。

(O)

ユーザー定義ファイルが見つからない場合、ユーザー作成定義ファイルリスト定義ファイルの内容を確認してください。製品提供の定義ファイルが見つからない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20012-E

Failed to register information in the ResponseAction results-management database. (details = 詳細情報)  
対処アクション結果管理 DB への情報の登録に失敗しました。(詳細情報：詳細情報)

対処アクション結果管理 DB への情報の登録に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に記載のメッセージの対処を実施してください。

## KNBC20013-E

None of the definition files to be collected was found.  
取得する定義ファイルが1件も見つかりません。

取得する定義ファイルが1件も見つかりません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザー定義ファイルが見つからない場合、ユーザー作成定義ファイルリスト定義ファイルの内容を確認してください。製品提供の定義ファイルが見つからない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20014-E

An internal error occurred. Collect the relevant data, and then contact the system administrator. (maintenance information = 保守情報)

内部エラーが発生しました。資料を採取してシステム管理者に連絡してください。(保守情報:保守情報)

内部エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20015-W

Failed to delete a definition file. (details = 詳細情報)

定義ファイルの削除に失敗しました。(詳細情報：詳細情報)

定義ファイルの削除に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報を確認し、原因を取り除いて再実行してください。

## KNBC20016-W

Failed to apply a definition file. (details = 詳細情報)

定義ファイルの反映処理に失敗しました。(詳細情報：詳細情報)

定義ファイルの反映処理に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報を確認し、原因を取り除いて再実行してください。

## KNBC20017-W

After the processing to apply a definition file failed, the processing to recover from the failure failed. (details = 詳細情報)

定義ファイルの反映処理に失敗後のリカバリー処理に失敗しました。(詳細情報：詳細情報)

定義ファイルの反映処理に失敗後のリカバリー処理に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報を確認し、原因を取り除いて再実行してください。

注

定義ファイルの反映処理に失敗した際のメッセージは imagent の公開ログ (jima\_message.log) の最新の「KNBC20017-W」のワーニングメッセージの直前に発生している「KNBC20016-W」を参照してください。

## KNBC20018-E

Failed to delete all definition files.

すべての定義ファイルの削除に失敗しました。

すべての定義ファイルの削除に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

imagent の公開ログ (jima\_message.log) の最新の「KNBC20018-E」のエラーメッセージの直前に発生しているワーニングメッセージの対処を実施してください。

コンテナ環境では定義ファイル操作機能による削除はできません。コンテナに直接ログインして定義ファイルを削除し、サービスを再起動してください。

## KNBC20019-E

Failed to update all definition files.

すべての定義ファイルの更新に失敗しました。

すべての定義ファイルの更新に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

imagent の公開ログ (jima\_message.log) の最新の「KNBC20019-E」のエラーメッセージの直前に発生しているワーニングメッセージの対処を実施してください。

コンテナ環境では定義ファイル操作機能による更新はできません。コンテナに直接ログインして定義ファイルを更新し、サービスを再起動してください。

## KNBC20020-W

Failed to update a definition file. (details = 詳細情報)

定義ファイルの更新に失敗しました。(詳細情報: 詳細情報)

定義ファイルの更新に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報を確認し、原因を取り除いて再実行してください。

## KNBC20021-W

The definition file properties file is invalid. (details = 詳細情報)

定義ファイルプロパティファイルが不正です。(詳細情報: 詳細情報)

定義ファイルプロパティファイルが不正です。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細情報を確認し、原因を取り除いて再実行してください。

## KNBC20022-E

The definition file properties file was not found.

定義ファイルプロパティファイルが見つかりません。

定義ファイルプロパティファイルが見つかりません。

(S)

処理を中断します。

(O)

更新したい定義ファイルと定義ファイルプロパティファイルを圧縮したファイルを指定して再実行してください。既に指定している場合は定義ファイルプロパティファイル名が正しいか確認してください。

## KNBC20023-E

A definition file was not found. (file name = ファイル名)

定義ファイルが見つかりません。(ファイル名: ファイル名)

定義ファイルが見つかりません。



(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC20024-W

A definition file to be retrieved to the definition file list file is not defined. (definition file name = **定義ファイル名**)

定義ファイルリストファイルに取得する定義ファイルの定義がありません。(定義ファイル名:**定義ファイル名**)

定義ファイルリストファイルに取得する定義ファイルの定義がありません。

(S)

処理を継続します。

(O)

定義ファイルリストファイルに該当のファイルの定義が存在するか確認してください。

#### KNBC20031-W

A transfer of command execution results stopped because the number of transferred lines reached the upper limit. (upper limit for the number of command execution result lines = **コマンド実行結果の上限**, response action SID = **対処アクション SID**)

コマンド実行結果の上限に達したため、コマンド実行結果の転送を打ち切りました。(コマンド実行結果の上限：**コマンド実行結果の上限行**, 対処アクション SID：**対処アクション SID**)

コマンド実行結果の上限に達したため、以降のコマンド実行結果の転送を打ち切りました。

(S)

コマンド実行結果の転送は打ち切りましたが、コマンドの処理は続行します。

#### KNBC20032-E

An environment variable file was not found. (file name = **ファイル名**)

環境変数ファイルが見つかりません。(ファイル名：**ファイル名**)

指定した環境変数ファイルが見つかりません。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

指定したファイルがコマンド実行先ホスト上にあるか、ファイル名（ファイルパスを含む）が誤っていないか確認してください。

## KNBC20033-W

Failed to read an environment variable file. (file name = ファイル名)  
環境変数ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名：ファイル名)

環境変数ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを実行しますが、環境変数ファイルの内容は有効になりません。

(O)

ファイル名に、フォルダ名やディレクトリ名を指定していないか、また、ファイルの権限や内容が正しいかを確認してください。

## KNBC20035-I

Secret information was reloaded.  
シークレット情報をリロードしました。

シークレット情報が更新されていたためリロードしました。

(S)

処理を継続します。

## KNBC20036-E

Failed to reload secret information.  
シークレット情報のリロードに失敗しました。

シークレット情報が更新されていたためリロードしようとしたのですが、リロードに失敗しました。更新前のシークレット情報を使って処理を継続します。

(S)

処理を継続します。

(O)

このメッセージが出力されたあとに KNBC20035-I が出力されている場合は、リロードが正常に行われたので対処不要です。

継続してエラーが出力される場合は、サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20037-W

Secret information is not registered. (key = シークレットのキー)  
シークレットが登録されていません。(キー：シークレットのキー)

キーに対応したシークレットが登録されていません。シークレットなしで処理を継続します。

(S)

処理を継続します。

(O)

シークレットの登録が必要な場合は、シークレットを登録してください。

## KNBC20038-E

Failed to issue a JP1 event. (reason = エラーの内容, event ID = JP1 イベントの内容)  
JP1 イベントの発行に失敗しました。(理由：エラーの内容, イベント ID：JP1 イベントの内容)

JP1 イベントの発行に失敗しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

JP1/IM - Manager のインテリジェント統合管理基盤サービスまたは統合エージェント管理基盤サービスが起動しているか確認し、起動していない場合は起動してください。起動している場合は資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20039-I

The lowest TLS version required to accept requests in HTTPS communications is TLS 最小バージョン.  
HTTPS 通信で受付可能な TLS 最小バージョンは TLS 最小バージョンです。

HTTPS 通信で受付可能な TLS 最小バージョンを表示します。

(S)

処理を継続します。

## KNBC20040-E

Failed to set up an internal component. (details = 詳細情報)  
内部コンポーネントのセットアップに失敗しました。(詳細:詳細情報)

詳細に記載されている理由により内部コンポーネントのセットアップに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に記載されている内容を確認し、対処してから起動してください。

#### KNBC20041-I

The service will now start. (service name = サービス名)  
サービスを起動します。(サービス名:サービス名)

サービスを起動します。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20042-E

Failed to parse the request header.  
リクエストヘッダの解析に失敗しました。

リクエストヘッダの解析に失敗したため、リクエストを処理できませんでした。

(S)

処理を継続します。

(O)

継続してエラーが出力される場合は、サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KNBC20043-E

The JP1/IM agent management base detected that the JP1/IM agent control base is not connected. (host name = 統合エージェント制御基盤のホスト名)  
統合エージェント管理基盤は統合エージェント制御基盤が接続していないことを検知しました。(ホスト名:統合エージェント制御基盤のホスト名)

統合エージェント管理基盤は統合エージェント制御基盤が接続していないことを検知しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント制御基盤が停止している

- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤の間のネットワーク通信に失敗している

#### KNBC20044-I

The JP1/IM agent control base connected to the JP1/IM agent management base. (host name = 統合エージェント制御基盤のホスト名)

統合エージェント制御基盤が統合エージェント管理基盤に接続しました。(ホスト名:統合エージェント制御基盤のホスト名)

統合エージェント制御基盤のサービスが起動して接続, または統合エージェント制御基盤が統合エージェント管理基盤から切断されたあと再接続しました。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20045-I

The JP1/IM agent control base will now disconnect from the JP1/IM agent management base. (host name = 統合エージェント制御基盤のホスト名)

統合エージェント制御基盤が統合エージェント管理基盤から切断されます。(ホスト名:統合エージェント制御基盤のホスト名)

統合エージェント制御基盤のサービスが正常停止により統合エージェント管理基盤から切断されます。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20046-E

Failed to start a service. (service name = サービス名, details = 詳細情報)

サービスの起動に失敗しました。(サービス名:サービス名, 詳細:詳細情報)

サービスの起動に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細情報に記載のメッセージの対処を実施し, サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

#### KNBC20047-E

A command line option is invalid. (details = 詳細情報)

コマンドラインオプションが不正です。(詳細:詳細情報)

コマンドラインオプションが不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンドラインオプションを見直し、サービスを再起動してください。

## KNBC20048-E

Execution of the polling monitoring function of the JP1/IM agent control base timed out.  
(target host name = 統合エージェント制御基盤のホスト名の一覧をコンマ区切りで表示)

統合エージェント制御基盤のポーリング監視機能の実行時にタイムアウトが発生しました。(対象のホスト名:統合エージェント制御基盤のホスト名の一覧をコンマ区切りで表示)

統合エージェント制御基盤のポーリング監視機能の実行時にタイムアウトが発生しました。対象のエージェントが JP1 イベントを発行できませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

対象のホスト名についてイベント ID が 00007620 の JP1 イベントが発行されているか確認してください。イベント ID が 00007620 の JP1 イベントのメッセージにホスト名が含まれていますのでそこを確認してください。JP1 イベントが発行されている場合は、KNBC20043-E のメッセージの対処を実施してください。JP1 イベントが発行されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20051-I

Client binding will now be enabled. (IP address = バインドする IP アドレス)  
クライアントバインドを有効にします。(IP アドレス:バインドする IP アドレス)

リクエストを送信する際に、送信元 IP アドレスを固定します。

(S)

処理を継続します。

## KNBC20052-I

Server binding will now be enabled. (IP address = バインドする IP アドレス (複数の場合あり))  
サーバーバインドを有効にします。(IP アドレス:バインドする IP アドレス (複数の場合あり))

リクエストを受け付けるポートに、IP アドレスをバインドします。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20053-I

Connectivity to the JP1/IM agent management base will now be confirmed.  
統合エージェント管理基盤に接続できることを確認します。

統合エージェント管理基盤に接続できることを確認します。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20054-I

Connectivity to the JP1/IM agent management base was confirmed. Startup processing will continue.  
統合エージェント管理基盤に接続できることを確認しました。起動処理を継続します。

統合エージェント管理基盤に接続できることを確認しました。起動処理を継続します。

(S)

処理を継続します。

#### KNBC20055-I

A service will now be stopped. (service name = サービス名)  
サービスを停止します。(サービス名:サービス名)

停止シグナルを受信しました。処理を終了します。

(S)

処理を中断します。

#### KNBC20056-I

Process ID = コマンドのプロセス ID, コマンド実行結果  
プロセス ID : コマンドのプロセス ID, コマンド実行結果

コマンド実行結果をログに出力しました。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20057-W

Connection to the JP1/IM agent management base failed. Processing to confirm connectivity will continue. (details = 詳細)

統合エージェント管理基盤への接続に失敗しました。接続確認を継続します。(詳細: 詳細)

統合エージェント管理基盤に接続できませんでした。接続確認を継続します。

同じエラーが継続している間はエラーの出力を抑止します。

(S)

処理を続行します。

(O)

以下の理由が考えられます。

- 接続先のマネージャーホストが起動しているか。
- 接続先のマネージャーホストまでの通信経路に問題はないか。
- 接続先の統合エージェント管理基盤が起動しているか。
- 初期シークレットに誤りはないか。
- 統合マネージャーを再構築していないか。

原因を特定できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20058-I

The client's communication protocol for sending request will be the ANY binding method.

リクエスト送信時のクライアントのバインド方式を ANY とします。

リクエスト送信時のクライアントのバインド方式を ANY とします。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20059-I

The client's communication protocol for sending request will be the IP binding method. (IP address = IP アドレス)

リクエスト送信時のクライアントのバインド方式を IP とします。(IP アドレス: IP アドレス)

リクエスト送信時のクライアントのバインド方式を IP とします。

(S)

処理を続行します。



## KNBC20060-I

The client's communication protocol for data transfer will be the ANY binding method.  
データ転送時のクライアントのバインド方式を ANY とします。

データ転送時のクライアントのバインド方式を ANY とします。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20061-I

The client's communication protocol for data transfer will be the IP binding method. (IP address = IP アドレス)  
データ転送時のクライアントのバインド方式を IP とします。 (IP アドレス:IP アドレス)

データ転送時のクライアントのバインド方式を IP とします。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20062-I

The communication protocol of the web server will be the ANY binding method.  
Web サーバーのバインド方式を ANY とします。

Web サーバーのバインド方式を ANY とします。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20063-I

The communication protocol of the web server will be the IP binding method. (IP address = IP アドレス)  
Web サーバーのバインド方式を IP とします。 (IP アドレス:IP アドレス)

Web サーバーのバインド方式を IP とします。

(S)

処理を続行します。

## KNBC20064-E

The web server(IP アドレスとポート) terminated abnormally. (details = 詳細)

Web サーバー(IP アドレスとポート)が異常終了しました。(詳細: 詳細)

サーバーが異常終了しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に記載されている内容を確認し、対処してから起動してください。

原因を特定できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20065-E

The information required to execute the command could not be retrieved. (details = 詳細)

コマンド実行に必要な情報の取得に失敗しました。(詳細: 詳細)

コマンド実行に必要な情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

詳細に記載されている内容、および、以下の内容を確認し、再実行してください。

- imagent 設定ファイルに指定したコマンド実行のユーザー名やドメイン名に誤りがないか？
- imagent 設定ファイルに指定したコマンド実行のユーザーのホームディレクトリが存在するか？
- imagent 設定ファイルに指定したコマンド実行のユーザーで OS にログインできるか？
- Windows の場合、コマンド実行のユーザーのパスワードを登録したか？パスワードに誤りがないか？

原因を特定できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20066-E

Failed to read an environment variable file. (file name = ファイル名)

環境変数ファイルの読み込みに失敗しました。(ファイル名: ファイル名)

環境変数ファイルの内容を最後まで読み込めませんでした。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次のことを確認してから対処アクションを再度実行してください (対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください)。

- 指定したファイル (ファイルパスを含む) が正しいこと

- 指定したファイルがコマンド実行先ホスト上に存在すること
- ファイルに参照権限があること
- ファイルが排他ロックされていないこと

## KNBC20067-E

An error occurred in the process of starting the command execution. (response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行を開始する処理でエラーが発生しました。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

コマンドの実行を開始する処理でエラーが発生しました。

(S)

コマンドの実行を開始する処理を中断します。コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください (対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください)。

## KNBC20068-E

An error occurred while checking the execution status of the command that is still running.

実行中のままになっているコマンドの実行状況を確認する処理でエラーが発生しました。

実行中のままになっているコマンドの実行状況を確認する処理でエラーが発生しました。

(S)

実行中のままになっているコマンドの実行状況を確認する処理を中断します。

実行中のコマンドは継続して実行されます。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC20069-E

Failed to update that the command execution has started. (response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行を開始したことを更新できませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

コマンドの実行を開始したことを更新できませんでした。

(S)

コマンドの実行を開始したことを更新する処理を中断します。コマンドの実行処理は続行します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC20070-E

Failed to update command execution results. (response action SID = 対処アクション SID)

コマンド実行結果を更新できませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

コマンド実行結果を更新できませんでした。

(S)

コマンド実行結果を更新する処理を中断します。コマンドの実行処理は続行します。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC20071-E

Failed to update that the command has ended. (response action SID = 対処アクション SID)  
コマンドの実行が終了したことを更新できませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

コマンドの実行が終了したことを更新できませんでした。

(S)

コマンドの実行が終了したことを更新する処理を中断します。コマンドの実行処理は終了しています。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC20072-E

Failed to update the command that is still running to unknown status.  
実行中のままになっているコマンドを状態不明に更新できませんでした。

実行中のままになっているコマンドを状態不明に更新できませんでした。

(S)

実行中のままになっているコマンドを状態不明に更新する処理を中断します。  
コマンドの実行処理は終了しています。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

## KNBC20073-E

The command could not be executed. (response action SID = 対処アクション SID, maintenance information = 保守情報)

コマンドを実行できませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID, 保守情報 : 保守情報)

コマンドを実行できませんでした。

(S)

コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。確認して、対処アクションを再度実行してください（対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください）。

- imagent 設定ファイルに指定したコマンド実行のユーザーのホームディレクトリが存在するか？

原因を特定できない場合は、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20074-E

Failed to update that the command execution failed. (response action SID = 対処アクション SID)

コマンドの実行に失敗したことを更新できませんでした。(対処アクション SID : 対処アクション SID)

コマンドの実行に失敗したことを更新できませんでした。

(S)

コマンドの実行に失敗したことを更新する処理を中断します。コマンドを実行しません。

(O)

次の要因が考えられます。環境を確認してください。

- 統合エージェント管理基盤が起動しているか
- 統合エージェント管理基盤と統合エージェント制御基盤間のネットワークが正常か

統合エージェント管理基盤のログを確認して、KNBC00010-E が出力されている場合は、KNBC00010-E の対処に従ってください。

KNBC00010-E が出力されていない場合は、次の手順で対処アクションを再度実行してください。

1. JP1/IM - Manager のサービスが起動していない場合は、JP1/IM - Manager のサービスを起動してください。
2. 統合エージェント制御基盤を再起動してください。
3. 対処アクションを再度実行してください (対処アクションの自動実行に失敗した場合は、対処アクションを手動実行してください)。

## KNBC20075-E

The environment variable is not set, or is invalid. (variable name = 環境変数の変数名, maintenance information = 保守情報)

環境変数が設定されていない、または正しくありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数の設定、または設定内容を見直して、対処後に再度実行してください。

## KNBC20076-E

Failed to load secret information.

シークレット情報のロードに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数 JP1IMADIR に指定したパスが正しいことを確認し、サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20077-E

Secret information is not registered. (key = シークレットのキー)

キーに対応したシークレットが登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

シークレットを登録してください。

## KNBC20078-E

Failed to lock the secret information file. (maintenance information = 保守情報)

シークレット情報ファイルのロックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数 JP1IMADIR に指定したパスが正しいことを確認し、サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KNBC20079-E

Failed to unlock the secret information file. (maintenance information = 保守情報)

シークレット情報ファイルのアンロックに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

環境変数 JP1IMADIR に指定したパスが正しいことを確認し、サービスを再起動してください。再起動しても改善されない場合、資料を採取し、システム管理者に連絡してください。



# 索引

## I

- IM 管理ノードごとのトレンドデータ管理に関するメッセージの出力先 99
- IM 構成管理に関するメッセージの出力先 75
- IM 構成管理の共通メッセージの出力先 84
- IM 構成管理・ビューアーに関するメッセージの出力先 69
- IM データベースのメッセージの出力先 87

## J

- JP1/IM に関する共通メッセージの出力先 58
- JP1 イベント変換機能に関するメッセージの出力先 101

## K

- KAJV2001~KAJV3999 972
- KAJY00001~KAJY52032 1481
- KAJY62000~KAJY62005 1589
- KAJY63000~KAJY63704 1592
- KAJY64000~KAJY64703 1616
- KAJY67000~KAJY67199 1623
- KAJY68000~KAJY68126 1624
- KAJY68101~KAJY68125 1629
- KAJY68201~KAJY68700 1633
- KAVB0001~KAVB2000 116
- KAVB2001~KAVB2999 382
- KAVB3001~KAVB3200 459
- KAVB3501~KAVB3999 496
- KAVB4001~KAVB6000 532
- KAVB6001~KAVB6999 680
- KAVB7001~KAVB7999 724
- KAVB8000~KAVB8999 859
- KAVB9001~KAVB9999 929
- KFPH00212~KFPH00213 1386
- KFPS01850 1386
- KFPS05210 1386
- KNAN11005~KNAN11215 1386

- KNAN12005~KNAN12120 1447
- KNAN20000~KNAN21999 1035
- KNAN22000~KNAN26999 1143
- KNAN29000~KNAN29999 1352
- KNAN30000~KNAN30003 1385
- KNBC00001~KNBC20079 1640

## S

- syslog 一覧 107

## W

- Windows イベントログ一覧 107

## い

- インストールおよびセットアップに関するメッセージの出力先 62
- インテリジェント統合管理基盤に関するメッセージの出力先 90
- インテリジェント統合管理データベースに関するメッセージ (KNAN12005~KNAN12120) 96

## う

- 運用中にトラブルが発生した場合のシステム管理者の対応について 113

## き

- 共通シークレットに関するメッセージの出力先 101

## こ

- 構成管理に関するメッセージの出力先 36
- コマンド実行に関するメッセージの出力先 30

## し

- 自動アクションおよびイベント基盤サービスに関するメッセージの出力先 42

## せ

- セントラルコンソール・ビューアーに関するメッセージの出力先 16

セントラルスコープサービスに関するメッセージの出力先 [51](#)

セントラルスコープ・ビューアーに関するメッセージの出力先 [48](#)

## そ

相関イベント発行サービスに関するメッセージの出力先 [65](#)

操作ログに出力されるメッセージの出力先 [87](#)

## た

対処アクションの自動実行機能に関するメッセージの出力先 [99](#)

対処アクションの手動実行機能に関するメッセージの出力先 [100](#)

## と

統合エージェントの管理に関するメッセージの出力先 [103](#)

## ふ

ファイル操作機能に関するメッセージの出力先 [102](#)

プロセス管理に関するメッセージの出力先 [38](#)

## め

メッセージ

一覧 [114](#)

概要 [14](#)

記載形式 [115](#)

形式 [105](#)

出力形式 [105](#)

出力先一覧 [16](#)

詳細情報 [106](#)

分類 [15](#)

メッセージ ID [105](#)

記載マニュアル一覧 [15](#)

---

 株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

---